『「学生による授業評価」アンケート』報告書

「授業および修士論文指導についての検討会」
「授業および博士論文指導についての検討会」
報告書

東京女子大学

2016 年度･2017 年度

「学生による授業評価」
アンケート報告書

(2016 年度･2017 年度)

目　　次

I.　東京女子大学における「学生による授業評価」アンケートの概要 ･････････････････････ p.1
1. アンケートの目的
2. 実施状況
3. 実施方法・集計方法等の改善
4. アンケートのモデル設問

II.　全学的なフィードバック体制 ･･･ p.5
1. 授業科目担当者へのフィードバック
2. 全体集計結果、科目区分別集計等の教員・学生へのフィードバック
3. 「授業評価に関する検討会」の実施と教員・学生へのフィードバック

III.　「授業評価に関する検討会」報告書より（学生への開示項目）･････････････････････ p.9
1. 学科科目
(1) 「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会報告書･････････････････ p.10
(2) 「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会報告書･････････････････ p.31
2. 全学共通カリキュラム*1 等（学科科目以外）
(1) 「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会報告書･････････････････ p.57
(2) 「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会報告書（日本語科目）････ p.76
(3) 「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会報告書･････････････････ p.79

IV.　FD 委員会による分析・総括と今後の展望　*2 2009 年度～2017 年度 ･････････････････ p.101
1. 8 年間*2 の授業評価アンケート結果の推移―全学の概要 ･････････････････････････ p.102
2. 学科科目における 8 年間*2 の授業評価アンケート結果推移の分析
(1) 各専攻による 8 年間*2 の授業評価アンケート結果推移の分析 ･････････････････ p.104
(2) 学科科目における 2016 年度～2017 年度授業評価アンケート結果についての
検討会から得られた知見 ･･･ p.117
3. 学科科目以外の科目における 8 年間*2 の授業評価アンケート結果推移の分析
(1) 各科目運営委員会等による 8 年間*2 の授業評価アンケート結果推移の分析 ･･････ p.127
(2) 学科科目以外の科目における 2016～2017 年度授業評価アンケート結果についての
検討会から得られた知見 ･･･ p.136
4. 女性学・ジェンダー関係科目における 8 年間*2 の授業評価アンケート結果推移の分析 p.149
5. （資料）8 年間*2 の授業評価アンケート結果推移 ･････････････････････････････ p.150

V.　アンケート集計結果（資料編）･･･ p.240
1. 学科科目
(1) 2016 年度後期（日本語科目含む）
(2) 2017 年度前期
2. 全学共通カリキュラム*1 等（学科科目以外）
(1) 2016 年度前期
(2) 2017 年度後期

*1 全学共通カリキュラム
総合教養科目、キリスト教学科目、外国語科目、日本語科目、情報処理科目、挑戦する知性科目

Ⅰ．東京女子大学における「学生による授業評価」アンケートの概要

本学では、「自己点検・評価」の一環として、2003 年度後期より全学的規模で継続的に「学生による授業評価」アンケート（以下、「授業評価アンケート」または「アンケート」）を実施している。

以来、集計結果を二年ごとに『東京女子大学「学生による授業評価」アンケート報告書』として冊子に纏めて刊行している。2009 年度前期・後期と 2010 年度前期・後期の結果以降は、本学公式ウェブサイトにも開示している。

本報告書は 2016 年度前期・後期および 2017 年度前期・後期の結果について纏めたものである。

1. 「学生による授業評価」アンケートの目的

授業評価アンケートは、東京女子大学 FD 委員会が実施するもので、授業の実態を把握し、教員個々の授業改善・充実を通して、東京女子大学全体の教育力の向上に資することを目的としている。具体的には、アンケート結果に基づいた教員一人ひとりの努力を「授業評価に関する検討会」を通して全学的に共有し、大学全体の教育の向上に役立てている（詳細は「Ⅱ．全学的なフィードバック体制」を参照）。

非常勤講師を含めた本学の教員全員がこの目的を確認した上でアンケート結果を授業改善に活かすことができるよう、アンケートの目的は、「実施概要」および「実施要領」に記載し、各学期の実施 2 週間前（実施対象科目の通知時）および実施当日に配付している。

また学生には、実施 2 週間前に学内掲示にてアンケートの実施を告知した上で、アンケートに回答する直前に教室で次のように告知し協力を求めている。「このアンケートは、受講者の皆さんの意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における学科科目（または「全学共通カリキュラム等」）の授業の教育方法を検討し、今後の授業改善・充実に役立てることを目的として実施します。回答は、無記名です。裏面の自由回答も含め、回答の内容は集計され、担当教員等が閲覧しますが、誰がどのように回答したかわかることは一切ありません。成績評価に反映されることもありません。」（アンケート用紙冒頭）。

2. 実施状況

2016 年度前期・後期および 2017 年度前期・後期の各学期末に合計 4 回、非常勤講師を含む全ての教員を対象として統一設問を用いて実施した（統一設問の詳細は「Ⅴ．アンケート集計結果資料編」のマークシート用紙サンプルを参照のこと）。

実施状況は次の通りである。

(1) 2016 年度前期

実 施 期 間：　2016 年 7 月 6 日（水）～7 月 20 日（水）　各科目、期間中に 1 回実施

対 象 科 目：　学科科目以外の授業科目

*ただし原則として次の科目は実施対象外：履修者が 10 人未満の授業、チェーンレクチャー等の複数教員担当の授業（ただし第二外国語は実施）、英語特別プログラム、総合教養演習、副専攻演習、教育実習、博物館実習 2

対象科目数：　470 科目
実施科目数：　430 科目
実　施　率：　91.5%

(2)　2016 年度後期
実 施 期 間：　2016 年 12 月 21 日(水)～2017 年 1 月 23 日(月)　各科目、期間中に 1 回実施
対 象 科 目：　学科科目および日本語科目「日本語表現法Ⅰ」
*ただし原則として次の科目は実施対象外：履修者が 10 名未満の授業、チェーンレクチャー等の複数教員担当の授業、4 年次特殊演習（哲日英史）、4 年次演習Ⅱ（国コ）、4 年次演習（経社言）、特殊実験演習 2B（心）、数学講究（数）、情報理学講究（情）
対象科目数：　357 科目
実施科目数：　344 科目
実　施　率：　96.4%

(3)　2017 年度前期
実 施 期 間：　2017 年 7 月 3 日（月）～7 月 21 日（金）　各科目、期間中に 1 回実施
対 象 科 目：　学科科目
*ただし原則として次の科目は実施対象外：履修者が 10 人未満の授業、チェーンレクチャー等の複数教員担当の授業、4 年次特殊演習Ⅰ（哲日英）、4 年次演習Ⅰ（国経社コ言）、4 年次演習（史）、特殊実験演習 2A（心）、数学講究（数）、情報理学講究（情）
対象科目数：　417 科目
実施科目数：　396 科目
実　施　率：　95.0%

(4)　2017 年度後期
実 施 期 間：　2017 年 12 月 20 日（水）～2018 年 1 月 22 日（月）　各科目、期間中に 1 回実施
対 象 科 目：　学科科目以外の授業科目
*ただし原則として次の科目は実施対象外：履修者が 10 人未満の授業、チェーンレクチャー等の複数教員担当の授業（ただし第二外国語および「女性の起業」は実施）、英語特別プログラム、総合教養演習、副専攻演習、教育実習、博物館実習 2
対象科目数：　437 科目
実施科目数：　375 科目
実　施　率：　85.8%

3.　実施方法･集計方法等の改善
本学における授業評価アンケートは、全学的に統一フォームで継続的に実施するという基本方針の下に、集計結果の分析、改善方法の策定に関しては FD 委員会が随時検討を加え、見直しを行っている。2016 年度前期・後期および 2017 年度前期・後期の全 4 回の実施にあたって行った主な見直し等の内容は次の通りである。

(1) 設問

経年での改善状況を把握するため、2016 年度・2017 年度は設問の修正・追加は行っていない。なお、現代教養学部が発足し、1 学部 4 学科 12 専攻体制となった 2009 年度以降のアンケート結果経年変化およびその分析についてはⅣ章に掲載している。

(2) 新設科目への対応

2014 年度より、全学共通カリキュラムに「日本語科目」が設置された。本来であれば学科科目以外の科目が対象の学期にアンケートを行うものであるが、科目の効果や学生の反応を確認するため、しばらくの間、学科科目対象の学期にも例外的にアンケートを実施することとした。これにより学科科目が対象の 2016 年度後期にも「日本語科目」のアンケートを実施した。その結果、科目の運営が円滑に行われていることが確認できたため、2017 年度以降、「学科科目以外」が対象の学期のみ実施することとした。

(3) 「授業評価に関する検討会」共通テーマの設定

2016 年度は「学生を主体的に学習させる工夫」、2017 年度は「学生の教室外学習を促進する工夫」を、「“学生による授業評価”に関する検討会」の共通テーマとして検討事項のひとつに設定した。報告書は FD 委員会の検討を経て非常勤講師を含む全教員に開示し、さらに、参考となる取り組みについては FD 学内研修として事例報告を行い、他専攻・他科目運営委員会等の工夫や手法を全学的に共有した。

(4) 「“学生による授業評価”に関する検討会」報告項目の見直し

2016 年度まで、「アンケート結果の分析」の項目を設けており、過年度や全体、他専攻等と比較して今回の改善状況を検討のうえ記載していた。しかしながら、多くの場合、前年度や全体との比較では数字に大きな違いは見られず、数パーセントの動きについて細かく検討することは FD としてそれほどの意味をもたないと判断し、この項目を削除した。その代わり、「学生へのフィードバック」や「授業改善等に向けた具体的な方策」に重点を置いて各専攻等で検討し、全体に共有することで、より実質的な FD となるよう工夫した。なお、現代教養学部が発足し現体制となった 2009 年度以降のアンケート結果経年変化およびその分析についてはⅣ章に掲載している。

4. アンケートのモデル設問

2007 年度より、授業の内容や形態に即した細やかな評価が可能となるよう、個別設問欄（3 問まで設定可能）の有効利用を授業科目担当者に提案している。具体的には、統一設問とすることが難しいような各学科・専攻の特性に合った設問を、個別設問欄を利用して実施することを推奨している。設問は授業担当者が自由に設定することができ、また参考用として FD 委員会がモデル設問を授業担当者に配付している（詳細は次ページ「個別設問欄活用のためのモデル設問について」を参照）。

SAMPLE

2016 年度前期･後期
2017 年度前期･後期

アンケート対象授業 ご担当者　各位

東京女子大学 FD 委員会

「学生による授業評価アンケート」個別設問欄活用のためのモデル設問について

FD 委員会において「学生による授業評価」アンケートの内容充実をはかるための検討を行い、「授業の種類にあった評価が可能となるよう個別設問（3 問まで設定可能）を有効利用することを授業担当者の皆様に提案することといたしました。

具体的には、従来の統一設問だけでは難しかった各学科の特性にあった設問や、ゼミ・実習等の授業形態に即した設問を、個別設問欄を利用して設定していただくよう、ご協力をお願いするものです。

設問は各授業担当者が自由に設定していただいて結構ですが、ご参考までに、以下のようなモデル設問を用意いたしました。ご利用いただく場合は、お手数ですが、板書をお願いいたします。

なお、個別設問の設定にあたっては、次の 4 選択肢に合うような設問を設定していただく必要があります。自由記述を求めることはできませんのでご注意ください。

(1)非常にそう思う　(2)ある程度そう思う　(3)あまりそう思わない　(4)全くそう思わない

また、以下のモデル設問を利用（多少の文言の変更も含む）した場合は、実施当日、外封筒の該当箇所に〇印を付して下さい。利用状況の集計に使用します。

※ＴＡを任用している授業科目では、項目Ｋは必須項目です。

A	教員は遅刻者や私語をする学生に対し適切な注意をしていましたか？
B	レポートの課題の難易度、量は適切でしたか？
C	板書の速度は適当でしたか？
D	板書量は適切でしたか？
E	板書の文字、記号等は判読しやすかったですか？
F	あなたの知識の幅を拡げる手助けになりましたか？
G	あなたの専門分野の学習にとって良い刺激となりましたか？
H	〇〇語圏の文化、社会に興味をもちましたか？
I	〇〇語の本を自主的に開く意欲がわきましたか？
J	映像資料の使用はあなたの講義理解に役立ちましたか？
K	授業の学生アシスタントまたは TA は役に立ちましたか？　※
L	男女の性差をめぐる社会的･文化的諸問題への理解や関心が深まりましたか？
M	女性の生き方を考えるのに役立ったと思いますか？
N	(ゼミ発表の際) 発表能力が養われましたか？
O	意見交換をするコミュニケーション能力が養われましたか？
P	論理的な思考能力が養われましたか？
Q	ゼミや実習においてグループ活動は有効でしたか？

以上

Ⅱ.全学的なフィードバック体制

1.　授業科目担当者へのフィードバック

授業科目毎の集計結果は、授業評価アンケート実施 1～2 ヶ月後に、授業科目担当者本人に届けている。専任教員には教授会等で配付し、非常勤講師には自宅郵送により、集計結果（紙に出力したもの p.7～8 参照）および自由記述欄の入力データ（CD-R）をフィードバックした。

2.　全体集計、科目区分別集計等の教員･学生へのフィードバック

各年度の前期結果は同年度の 9 月～10 月以降に、後期結果は次年度の 4 月以降に、ファイル綴じした紙媒体（以下「ファイル」と表記）および本学公式サイトにて開示し、フィードバックした。

ファイルについては、学生は図書館と教育研究支援課で、専任教員および非常勤講師は図書館、教育研究支援課に加えて学科・専攻オフィス、全学共通教育センター、女性学研究所等で随時閲覧可能である。（詳細は「Ⅴ.集計結果（資料編）」を参照）

3.　「授業評価に関する検討会」の実施と教員･学生へのフィードバック

本学では、2009 年度以降、「授業評価に関する検討会」（以下「検討会」）を全学的な取組みとして実施している。

この検討会は、学科・専攻、科目運営委員会、女性学研究所等（以下「学科・専攻等」）で、非常勤講師を含む教員が各自のアンケート集計結果を持ち寄り、アンケート結果の分析を行った上で授業改善のための具体的な方策等について十分議論・検討して報告書を提出してもらうもので、①報告書を開示することによってアンケートに回答した学生へのフィードバックを行うことと、②検討会を通して教員間で情報を共有し、大学全体の授業改善に資することを目的としている。

各学科・専攻等から提出された報告書の内容を FD 委員会が検討し、必要に応じて各学科・専攻等に報告書を戻して再度分析や改善策の検討を促し、再提出された報告書の内容を FD 委員会が再び検討するプロセスを経て、報告書の最終版をファイルおよび公式サイトで教員と学生に開示しフィードバックした。

検討会を実施する上での主な留意事項は以下の通りである。

- 学科・専攻等の科目全体（女性学研究所は「女性学・ジェンダー科目」全体）の教育の改善策を検討する。
- アンケート結果の全体集計、科目区分別集計等に加えて、個々の授業科目別のアンケート結果を検討会に参加する教員が各自持ち寄り、学科・専攻等の科目全体として共有する教育（カリキュラム等）の問題点を明らかにし、それに対する具体的な改善策を検討する。
- アンケートの結果、学生からの要望があれば、それについての具体的な改善策を検討する。
- 前回までの検討会報告書にある他の学科・専攻等の授業運営上の手法や工夫も参考とする。
- 非常勤講師の検討会への参加等は学科・専攻等の判断とする。

また、2010 年度以降、報告書の内容を FD 委員会が分析・検討することで全学的に共通する課題を洗い出し、その中から１つを選んで報告書の検討項目の「共通テーマ」として設定する取り組みを実施している。各学科・専攻等で共通テーマについて重点的に検討することを促すとともに、報告書を教員にフィードバックすることにより、他学科・専攻の情報を全学的に共有することをねらいとしている。

なお、報告項目の見直しについてはⅠ章 3.(4)「“学生による授業評価”に関する検討会」報告項目の見直し」に記載した通りである。

「授業評価に関する検討会」の実施とフィードバックの概要は以下の通りである。

(1) 2016 年度前期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」
実施単位： 科目運営委員会等、女性学研究所
検討項目： 1.アンケート結果の分析、2.学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）、3.授業改善等に向けた具体的な方策、4.共通テーマ「学生を主体的に学習させる工夫」
学生へのフィードバック内容： 検討項目のうち「2」「3」
教員へのフィードバック内容： すべての検討項目

(2) 2016 年度後期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」
実施単位： 学科・専攻、日本語科目運営委員会、女性学研究所
検討項目： 1.アンケート結果の分析、2.学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）、3.授業改善等に向けた具体的な方策、4.共通テーマ「学生を主体的に学習させる工夫」
学生へのフィードバック内容： 検討項目のうち「2」「3」
教員へのフィードバック内容： すべての検討項目

(3) 2017 年度前期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」
実施単位： 学科・専攻、女性学研究所
検討項目： 1.学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）、2.授業改善等に向けた具体的な方策、3.共通テーマ「学生の教室外学習を促進する工夫」、4.その他
学生へのフィードバック内容： 検討項目のうち「1」「2」
教員へのフィードバック内容： すべての検討項目

(4) 「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会
実施単位： 科目運営委員会等、女性学研究所
検討項目： 1.学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）、2.授業改善等に向けた具体的な方策、3.共通テーマ「学生の教室外学習を促進する工夫」、4.その他
学生へのフィードバック内容： 検討項目のうち「1」「2」
教員へのフィードバック内容： すべての検討項目

授業科目別集計フォーム（実施対象：学科科目）

SAMPLE

授業評価アンケート集計結果

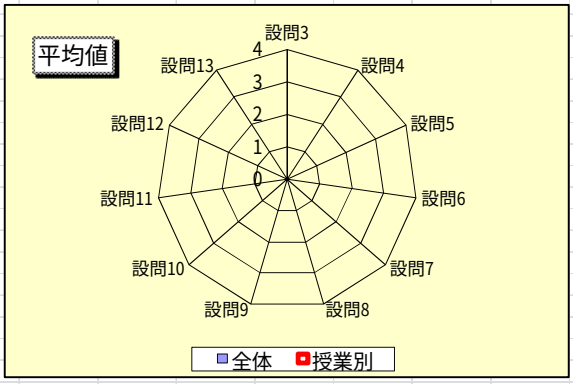
授業番号　：　999
科目　：　○○○○○○○○○○○○
担当者　：　○○○○○○○○○○○○
受講登録者　：　999　（有効回収率 99.9%）

回答者内訳														
学年	1年	2年	3年	4年	院生	その他								
	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999								
学科専攻	哲	日	英	史	社	経	心	数	情	コミュ	地	国際関係	言	
	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	0	0	0	0	0	0

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	0	0	0	0	0

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	0	0	0	0	0
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	0	0	0	0	0
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	0	0	0	0	0
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	0	0	0	0	0
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	0	0	0	0	0
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	0	0	0	0	0
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	0	0	0	0	0
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	0	0	0	0	0
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	0	0	0	0	0
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	0	0	0	0	0
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	0	0	0	0	0
設問14	個別設問１	0	0	0	0	0
設問15	個別設問２	0	0	0	0	0
設問16	個別設問３	0	0	0	0	0



平均値の見方

平均値は、評価の値で計算しています。

評価の値は、
非常にそう思う　：４点
ある程度そう思う　：３点
あまりそう思わない：２点
全くそう思わない　：１点
となります。

設問1、2、14～16については、グラフ対象外としています。

授業科目別集計フォーム（実施対象：学科科目以外）

SAMPLE

授業評価アンケート集計結果

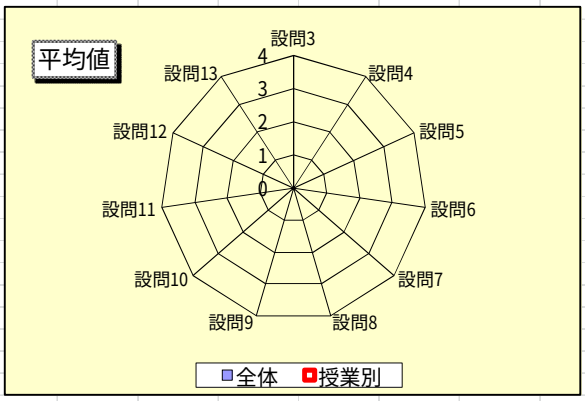
授業番号　：　999
科目　：　○○○○○○○○○○○○
担当者　：　○○○○○○○○○○○○
受講登録者数　：　999　（有効回収率 99.9%）

回答者内訳														
学年	1年	2年	3年	4年	院生	その他								
	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999								
学科専攻	哲	日	英	史	社	経	心	数	情	コミュ	地	国際関係	言	
	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	0	0	0	0	0	0

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	0	0	0	0	0

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	0	0	0	0	0
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	0	0	0	0	0
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	0	0	0	0	0
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	0	0	0	0	0
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	0	0	0	0	0
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	0	0	0	0	0
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	0	0	0	0	0
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	0	0	0	0	0
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	0	0	0	0	0
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	0	0	0	0	0
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	0	0	0	0	0
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	0	0	0	0	0
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	0	0	0	0	0
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	0	0	0	0	0
設問17	（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	0	0	0	0	0
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	0	0	0	0	0
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	0	0	0	0	0
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	0	0	0	0	0
設問21	個別設問１	0	0	0	0	0
設問22	個別設問２	0	0	0	0	0
設問23	個別設問３	0	0	0	0	0



平均値の見方

平均値は、評価の値で計算しています。

評価の値は、
非常にそう思う　：４点
ある程度そう思う　：３点
あまりそう思わない：２点
全くそう思わない　：１点
となります。

設問1、2、14～23については、グラフ対象外としています。

Ⅲ.「授業評価に関する検討会」報告書より（学生への開示項目）

報告書の検討項目（詳細は p.6 を参照のこと）のうち、学生への開示項目を以下に掲載する。

1. 学科科目

⑴ 2016 年度後期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」報告書
⑵ 2017 年度前期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」報告書

2. 全学共通カリキュラム*等（学科科目以外）

⑴ 2016 年度前期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」報告書
⑵ 2016 年度後期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」報告書（日本語科目のみ）
⑶ 2017 年度後期アンケート結果に対する「授業評価に関する検討会」報告書

＊ 全学共通カリキュラム
総合教養科目、キリスト教学科目、外国語科目、日本語科目、情報処理科目、挑戦する知性科目

1．学科科目

（1）2016 年度後期「学生による授業評価」アンケート

「授業評価に関する検討会」報告書

（学生へのフィードバック・授業改善等に向けた具体的な方策）

目　次

人文学科	哲学専攻	p.11
	日本文学専攻	p.12
	英語文学文化専攻	p.13
	史学専攻	p.16
国際社会学科	国際関係専攻	p.17
	経済学専攻	p.18
	社会学専攻	p.19
人間科学科	心理学専攻	p.20
	コミュニケーション専攻	p.21
	言語科学専攻	p.24
数理科学科	数学専攻	p.28
	情報理学専攻	p.29
女性学研究所（女性学・ジェンダー科目）		p.30

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 5 月 31 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人文学科哲学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	黒崎　政男
検討会実施日	2017 年 5 月 17 日	出席者数	3 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

・授業では、内容についてのプリントを配ってください、という要望がありました。
テキスト資料などは受講者に配布することもあります。しかし、あらかじめの結論が書かれたものを配布するのではなく、その場で自分の頭で考え、あるいは板書されたことを、自分で書き写すことによって、真の理解を深めさせるという形式の授業もあります。プリントを配らないことが意味あることである、ということも理解してください。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

＜人文学科共通＞

設問９「教員が受講生の理解の程度を、点検・配慮していたか」のところで、「あまりそう思わない」が１割を超えていたことは、考慮しなければならない点です。一方的に教師だけが話し続けるような講義スタイルから、合間合間で学生の質問や意見を求めるなどのインターラクティブな構造を構築するとか、コメントペーパーをさらに活用して、受講者の理解度を点検・配慮することに努めます。

＜哲学専攻＞

設問２「教室外学習の時間」ですが、「全くしていない」が四分の一を超え、「週４時間以上」と「週二時間以上」を加えても、9.5%となっており一割にも達しません。課題をあらかじめ学生に課しておく、参考文献などの指示をさらに明確にしていく、などの形で、今度とも工夫を重ねたいと思います。

また、昨年度に引き続き、講義での板書などは、大きな字ではっきり書くように心がけています。

それから、講義の要所要所で、質問の機会を設け、理解度を確かめたり、さらにはその質問に応じて、さらに分かりやすく問題を説明するように心がけています。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年　5 月 12 日・6 月 20 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人文学科日本文学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	今井　久代
検討会実施日	2017 年 5 月 10 日・6 月 14 日	出席者数	6 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

・映像（動画）を多数視聴し、それについて論ずる授業において、動画がよく映らず、しばしば授業に支障をきたした。もっと実際に動画を見た上の方が、授業の理解が増したと思う。
→動画を動かす環境の整備について、改善をはかるよう、大学側に求めます。

・コメントペーパーを書く時間をけずって、もっと授業を聴いていたいです→昨年の授業では、全く逆の意見を頂きました、バランスの試行錯誤を続けたいと思います。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・演習などでグループワークという形を取る場合、組んだメンバーとの間のコミュニケーションに苦労する、相性の問題への要望がありました。これに対し、グループを固定しないで組み替えるといった方法で一部対応しました。このことで、多少は問題が改善されました。また、実際にグループワークでの発表に入る前に、グループ内のコミュニケーションを円滑にするための時間を取るようにしてゆきます。このことで、自由に発言しやすい環境を整えていきたいと考えます。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 25 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人文学科英語文学文化専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	野村　恵造
検討会実施日	2017 年 6 月 14 日～6 月 21 日 （メール会議）	出席者数	8 名 （内、非常勤講師　1名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

■演習

・準備が大変でしたが、その分、自分のためになったように思います。グループワークが苦手で、うまく発言できませんでしたが、いい経験になったと思います。

・学生同士での話し合いの場面が多く、充実していた。いろんな人の意見を聞くことで視野が広がり良かった。みんなの提出したレポートの中で特に良かった物を取り上げてくれたので、とても勉強になったしモチベーションの向上にもつながったと思う。

・毎回、やるべき事が多く、大変でしたが、要約の仕方、発表の仕方、そして何よりも英語の読解力がとても身についた授業であったと思います。

→お互い苦労した甲斐があったように思えます。

・毎回質問点が各グループからあがるのですが、解決しきれない量なので少しもったいなかったです。

・プリントをすべて読み上げるのではなく、重要な部分のみ読むと時間の短縮になってよいと思う。

・もう少しちゃんと読める時間が与えられるといいと思います。

→今年度、ディスカッションに使う時間を増やす工夫を行い、欲張りすぎず、もう少し読解に時間を増やすことができるよう調整しています。

・毎週かなりの量の英文を読むので、根気強く英文を読んで分からなくても理解しようとする意識がついたと思う。発表原稿も丁寧に訂正してくださり助かった。グループでディスカッションする時も手助けして下さり理解を深めることができた。

・発表について：印刷されているものを全て読む必要はないと思った。先生の補足もあるので要点だけで良いのでは。(時間も限られているので)本当に身になる授業でした。ようやく文学の楽しさを知ることができました。ありがとうございました。

→これらの意見には励まされます。ただ、設問 6 の「授業の内容は、良く理解できましたか」の質問に対する回答が 16 名中、「非常にそう思う」が 4 名、「ある程度そう思う」が 10 名で平均を下回っています。ディスカッションや発表へのフォローアップがもう少し必要かと反省しています。

■演習

・先生が質問に対して丁寧に答えて下さったので、内容をより理解できました。これからも、グループ毎に回って質問に対応して下さるスタイルを続けて欲しいです。

・前期の時のように、全体で大きな輪をつくって討論する形の方が楽しかったです。

・メールで提出よりもペーパーの方がやり易い。GW の発表はプリントをよむだけだった上、GID の時間が足りなかったのでそこに充ててほしい。

・ゼミとは違ってグループでの話し合いがあまり盛り上がらなかった。自分も含めてだが、人によって授業に対しての熱量が違いすぎる気がした。前期は全体的に熱心に取り組めた気がしたのは全体での討論があったからではないかと思う。

→5〜6 名のメンバーによるグループ・ディスカッションを好む意見とクラス全員で丸く囲んで意見を交換するスタイルを良いとする意見と、どちらを評価するかで意見が二分しました。全員のモチベーションをもっと高めるよう、頂いたコメントを参考に、もう一工夫必要だと思っています。

■演習

・ディスカッションの時間を前期よりも取ることができて、議論を通して深く考えるきっかけとなった。

→前期よりも学生たちが教科書の内容の講読、発表準備、プレゼンテーションに慣れてきたおかげで、ほぼ毎回、20 分ほどのディスカッションの時間を設けることができ、グループ毎に出た意見/コメントを全体で共有することができました。

・メールを使った毎回のリアクション・ペーパーの提出の仕方に慣れず、戸惑った。

→私が週 1 度しか来られないため、手渡しやメールボックス等を使ったリアクション・ペーパーの回収方法は難しかった。しかし、前期とは方法も変わってしまい、学生たちには混乱を生じさせてしまったかもしれません。

・(授業前後や)メールで質問に答えてくれて助かった。

→学生たちには発表時に「よくわからないから飛ばした」等々のことが無いよう、事前にメールやその前の授業までに質問をするように促していた。理解がより深まったとのことで実践してよかったと思います。

・毎回、ハンドアウトに対する添削を非常に細かくしてもらって、驚いた。ライティングの授業などでも活かしたい。

→学生たちにとってプラスになっていると感じた。時間はかかるが、実践してよかったと感じています。

・英語のショートペーパー課題への添削がとてもありがたかった。こんなに丁寧に早く返してもらったことは無かった。

→年末年始に課した、短めの英語エッセイ課題に対して英語や内容、パラグラフライティングの指導、引用方法などについての添削を行ったが、これも好評でよかったと思います。

■演習

・全体的に考えると授業は充実していた。しかし抽象性の高いものより、具体性のある作品を扱いたかった。

→Thank you for your comment. Since Junior Composition is a writing class, I try to choose texts that are short, interesting, and good to write about. I would be happy to use Tennessee Williams's works but unfortunately his plays tend to be long and don't fit the structure of the class.

■講義

・The teacher talks so clearly that it is easy to understand for me.

→I really appreciate your comment. I always try to speak and explain the texts clearly in English without simplifying the ideas that are sometimes quite complicated.

■講義

・一番満足している授業でした。もっと予習する時間が欲しかったです。個人の問題ですが。

→Thank you for your comment.　I'm glad the class was useful.　In the future, I'll try to allow more time for students to prepare their practice teaching.

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

今年度から、教員がシラバスを執筆する際に、フィードバックの方法を指定することが義務化されましたが、英語文学文化専攻では、昨年度の報告書にも「リアクション・ペーパーが有効であるという点は教員の間で共有が進み、講義もののクラスを中心に取り組む教員が増えています」とあるとおり、従来から、様々な方法・チャンネルでフィードバックを行う努力をしてきました。引き続き、教室内外での学生と教員の間のインタラクションを強化していきたいと思います。

また、特に演習系の科目について、受講生の理解度を点検し、学習活動の工夫をさらに進めるとともに、学生自身が学習効果を実感し、小さな達成感を積み重ねていくことができる学習環境を作りたいと考えています。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 30 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人文学科史学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	高田 陽介
検討会実施日	2017 年 6 月 21 日	出席者数	7 名 （内、非常勤講師 0 名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答） 学生・WEB 開示

(1)受験で世界史を選択し、日本史にまったく触れないまま大学に入ったのに、この授業で使うテキストが日本史に関する話ばかりで非常に理解しにくかった。世界史選択者と日本史選択者でクラスを分けてしまった方が、それぞれのクラスで、より授業の理解度が深まるのではないかと感じた。

→史学専攻では 2 年次後期から専門分野に分かれる仕組みになっており、それまではできるだけさまざまな時代や地域の歴史にふれて視野を拡げてもらいたいと考えて、カリキュラムを設計しています。「わたしは世界史受験だから」といったような意識が自然となくなるよう、充実した授業づくりを教員側も心がけますので、みなさんも「わたしは世界史受験だから」という言葉を言い訳にしないよう努力してみてください。

(2)学期初めに決められた演習での報告担当の予定日が、学期途中で変更されないよう、スケジュール通りに授業を進めてほしい。

→同じような要望は以前にもいくつかのクラスの各担当者へ向けて寄せられてきました。報告題材をめぐって予想外に興味深い質疑応答が交わされたり、新たな解説が必要になった場合などに備えて、学期途中に予め数回の予備日を設定しておくよう、工夫します。

(3)とくに演習では、教員の一方的な説明・解説にばかり時間を取らず、学生どうしの質疑応答や討論に、時間を充ててほしい。

→これも、同様なリクエストが以前にも寄せられました。教員は、自分で解説してしまいたい衝動に駆られがちですが、学生の発言を粘り強く促すべく、自制します。

授業改善等に向けた具体的な方策 学生・WEB 開示

(1)参考文献の紹介・指示は、ひきつづき丁寧な実施に取り組みます。シラバスへの掲載だけで済まさず、授業中に学生たちへ直接案内し、しかも口頭で済ますことなく、最低でも板書し、可能な限りプリントを用意して配布します。

(2)講義科目において、質問時間の確保を図り、また、積極的に受講者に質問を促します。当座での発言の引き出しが進まない場合には、質問用紙の配布・回収といった手立ても考えます。

(3)演習では、報告者以外にも何らかのコメント書面の準備（さらにはクラスへの配布）を課すことも促進します。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 30 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	国際社会学科国際関係専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	茂木　敏夫
検討会実施日	2017 年 4 月 5 日	出席者数	12 名 （内、非常勤講師　　0名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・「話が聞き取りにくい」という指摘がありましたが、今後注意するとともに、普段から授業時においてもその都度確認するようにしていきます。

・ある 1 年次演習では、「人前で意見をいうことに慣れていなかったけど、この授業を通して少し慣れました。」という感想がありました。1 年次演習における学習スキルの向上に一定の効果があったと手応えを感じています。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・本専攻についての評価は回答 1（非常にそう思う）、回答 2（ある程度そう思う）の合計が、前回同様ほぼ 90%に達しており、総じて肯定的な評価を得ています。今後もそうした評価を維持・発展させられるように取り組んでいきます。

・学生の理解度を把握するためコメントペーパーを活用したり、質問の時間を十分にとるようにしています。設問 9（理解度の点検・配慮）の「非常にそう思う」は、2015 年度 37.6%に対し、2016 年度 45.4%となっており、改善されているので、一定の効果があったと思われます。今後も継続して取り組んでいきます。

・ただ、教室外学習について、そのほとんど、70%が 1 時間未満という現状は、足できるものではありません。教室外学習の指導にも留意していきます。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 7 月 6 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	国際社会学科経済学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	古沢　希代子
検討会実施日	2017 年 6 月 21 日	出席者数	5 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

「開発経済学 II」でお昼休みに授業が食い込んだことがあったとの指摘がありました。→時間どおりに授業を終えるように努めます。また、どのプリントのどこを説明されているかわからない時があったとの指摘もありました。→説明の前には「〇〇のプリントの△△を見て下さい」と言っています。指示が聞き取りにくい、あるいは、聞き逃した場合には、遠慮せずきいて下さい。「資料が充実していて良かった」という声がありました。→資料は講義のポイントを示したレジュメと補助的な読み物やデータに大別されます。今後とも良い資料を提供できるよう努めたいと思います。

（※2016 年前期　「国際協力とジェンダー」で、シラバスに当初記載された成績評価を授業の途中で変更したという苦情がありました。→本科目では第 1 回目の授業で受講予定者が教室の収容人数を超えたため、授業終了前に「成績評価をレポートから試験に変えるかもしれないので学務課掲示版に注意してほしい」とアナウンスしました。その後、履修登録に間に合うよう、速やかにシラバス変更の届出をし、掲示を出してもらいました。大学 HP のシラバスには変更日時が記載されています。）

付記：ある教員から、「シラバスは役に立ったか？」という項目で高い評価を得たが、シラバスに書かれた内容について質問すると、実はその内容が把握されていない（＝見ていない）ことが判明したという指摘があった。シラバスを見ること、また、シラバスは変更されること、変更されると学務課掲示版に掲示されることを、改めて注意する必要があるという認識を共有した。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

受講生が抱く疑問やわかりにくい箇所は各人異なると思います。多くの科目で授業終了時に「質問のある方は来て下さい」と声をかけていますので遠慮なく来て下さい。授業後は時間がない場合は教員のオフィスアワーを利用して下さい。また、コメントペーパーに書いて下さった質問は整理・分析し、重要なことは授業で紹介し解説するように努めています。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 30 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	国際社会学科社会学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	赤堀　三郎
検討会実施日	2017 年 5 月 24 日	出席者数	6 名 (内、非常勤講師　　0名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

- 「プリントがわかりやすいとありがたい」との要望がありましたが、これに対しましては、レイアウトを工夫するなど、プリントのわかりやすさを向上すべく努力しました。
- 「授業資料のデータをネットに上げる場合、授業直前ではなく、前日夜９時ごろまでにアップロードしてほしい」との要望がありましたが、これは、時間ぎりぎりまで資料の品質向上をはかっているためではあるのですが、今後、善処します。
- 「Webclass が使いにくい」という意見もありましたが、たしかに、他大学の同様のサービスに比べると、双方向性等の点で改善の余地もあるように思います。今後も使いやすいサービスをめざすために、具体的な改善点についての意見をいただけるとありがたく思います。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

- あるクラスでは、今年度（2017 年度）から本学 Webclass 上に授業用スペースを立ち上げました。ここでは授業関連データを授業前にアップロードして閲覧に供するほか、学生に課題を提出させたり、レスポンス・意見を徴したりするなどして、教室外学習の推進をはかっています。
- ある演習クラスでは、レポート課題の分量をやや多めにするようにします。ややハードルが高いレポートを作成することで、教室外学習時間の増加につながればと考えています。
- 講義科目については、教員の話し方を聞き取りやすくしたり、授業終了時その他に質問の機会を適切かつ公正に設けたりするなど、できるところから、理解しやすい授業づくりをめざすという目標を、教員間で共有しました。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 15 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人間科学科心理学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	田中　健夫
検討会実施日	2017 年 5 月 31 日、6 月 7 日	出席者数	9 名 （内、非常勤講師　0名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

※ 心理学研究法１でのアドバンストの授業内容

さらに応用的な練習問題に取り組みたいという要望が書かれていましたが，１年次後期配当の必修科目であり，研究法２やさらなる応用的な心理学研究法の基礎となる研究・統計法の基礎を習得することを目的とした授業であるため，ただちにこの要望に応えていくことは難しいところですが，積極的な意欲をもつ学生の要望に応えられるような Web class の活用による課題提示等を今後検討していきたいと考えています。

※ 実験演習での口頭による課題提示に関わる詳しい説明についても，配布資料には必ず載せてほしい

実験や実習の進行とともに重要な手続きや課題を示していく場合があるため，すべてについてこの要望に応えることは困難であり，また適切でない場合もあることをご了解ください。口頭だけでわかりにくいという意見をふまえて，できる限り配布資料にも明記するように配慮していきます。

※ 講義資料やテキストに書かれたことについて，すべて口頭でも必ず説明してほしい

上のコメントにも関連しますが，講義の進行とともにそこに書かれた内容以外のことについても補足しながら授業は展開します。資料やテキストの文字情報だけではわかりにくいという意見があることを考慮して授業を進めるようにしていきます。

※ ディスカッションの時間が十分にとられており，他の受講生の意見を聞いて考える機会をもてたことがよかったというコメントがあり，授業の性質にもよりますが，こうしたディスカッションの形式を今後さらに有効に取り入れていきたいと考えています。また，リアクション・ペーパーに対する教員からのリコメントにより，関心の共有や知識の補充ができたという内容の記載があり，今後も継続していきたいと考えています。

※ 心理的支援の現場の方の話を聞けたことが非常に参考になり興味をもてたことが大きな収穫だったという感想があり，これからも適切にそういった現場の実際を知る機会を授業展開の中に組み込んでいくようにします。

授業改善等に向けた具体的な方策

※ 肯定的なフィードバックが多く，心理学専攻としてひきつづき適切な授業方法・内容の検討と改善，双方向的な学びの機会の提供を行っていきます。また教室外学習について，学生が個々の関心をより広げ深めていくことができるよう，主体的に取り組んでいける具体的な課題提示を試みていくようにしたいと考えています。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 30 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人間科学科 コミュニケーション専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	斉藤　慎一
検討会実施日	2017 年 6 月 14 日	出席者数	11 名 (内、非常勤講師　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

実習科目：「「社会調査士資格」(以下「資格」) をとらない人にとってはハードすぎる。」「予定通り終わらせるために課題が多すぎる。」「質問紙調査に関する授業は勉強になったが大変だった。」＝（回答）：(他の科目と比べて大変という意味だととらえますと)課題が多いから大変、という意味であろうと理解しています。研究法実習科目は 2016 年度から「資格」取得希望者とそうでない人が混在しています。このため、「資格」取得が目的でない学生にとっては負担を感じることもあるようです。しかし卒業論文を執筆、完成させる 4 年次になればこの科目で学習したことが役に立ったと実感が持てると思いますので、どうか頑張って身につけて頂きたいです。
実習科目：「予定通りに終わらなくて年末年始にハードになった。後半が大変。」＝(回答)：　年末の最後の授業時間に課題を終わらせる事が出来なかったため、いくつかのグループに年末年始に宿題を課しました。今後はもう少し進捗状況を把握して早めに対応したいと思います。
実習科目：「プリントが多すぎて何が要点かよく分からなかった」/講義科目：「プリントが多すぎていつ配布したか分からなくなるのですべての資料に日付を書いて欲しい」「先週の資料を出して、といってもどれか分からない」＝(回答) ：　教科書を指定しておらず、毎回最新のトピックを取り上げるため、直前に資料を作成しその都度印刷/配布するようにしています。授業ごとにフォルダやファイルを作成し、配布されたプリントをとじて毎回授業に持ってくるのが受講の基本です。プリントを整理する作業が授業の復習にもなるので是非試して下さい。
講義科目：「(必要な授業資料は) 最初に全部(WebClass に)アップしてほしい」＝(回答)：　講義の進み具合を学生の理解度をみながら調整し、予習が学生の負担になり過ぎない程度に毎回授業前にアップしています。授業をする側として、学生の理解度や全体の授業の構成、進捗状況、最新の研究動向などを鑑みてその都度講義内容やトピックを慎重に吟味し、微調整して工夫しています。教員の意図を理解して下さい。　これに関連して、教科書を指定しても期日までに用意しない学生がいます。購買センターから履修者数に比して教科書の販売数が極端に少ないと問合せがくる場合もあります。指定された教科書は、予習復習にも必要です。必ず用意して下さい。
実習科目：「先生が話しに行くのが決まったグループばかりで進捗に差がある。」＝(回答)：　教員としては、個々のグループの進捗をみて、全体が同じ進度になるよう配慮しているつもりですが、つい遅れているグループにかかりきりになってしまうことがあります。熱心に質問をしてくる人やグループにはついこちらも指導に時間がかかってしまいます。今後は注意します。TA が配置されている授業の場合は、TA に質問するなど上手に活用してみて下さい。
実習科目：「(TA は何も言わないのに) 教員ばかり学生に注意する。」(最後の報告書作成について)＝(回答)：　誤字脱字のチェックは基本的には学生たち本人同士でやってくださいと指導していますが、気づいた点は指摘しています。(報告書の記載については)直して下さいと注意された箇所は次回までにきちんと全て修正するようにお願いします。
実習科目：「生徒が先生の話を聞いていなかったので教員がかわいそうだった。」＝(回答)：　グループ作業をしているときにその横で作業についての追加説明が必要な場合などは、学生同士の私語が気にな

ることがあります。教室のマイクが故障している時など聞き取りにくかったことがあったようです。注意します。
「レポートの段取りが悪い。」＝(回答)：　もう少し早く課題を教えて欲しい。レポートの指示をもっと早くして欲しい。という意見と受け取りました。授業の終わり直前までの内容がわからないと課題ができないような授業構成だったため、年末年始に課題をこなす必要があるにも関わらず家庭の事情で PC が使えなかったという学生もいました。年末に WebClass にアクセスできなかった学生がいました（WebClass 利用については 9 月にアナウンスをしています。アクセスができない学生に対しては個別に対応しメール添付で送付しています)。「段取り」がレポートの課題を出してから提出までの期間という意味であれば、課題提示から締め切りまでは一週間の時もあれば 3 ヶ月の場合もあり先生によってまちまちですのでその点をご理解ください。回収日当日の受け取り（回収直前にホチキスをまわしたり印鑑を押したり）の「段取り」が悪いという意味であれば、課題を発表したときにレポート提出票を先に渡しておくなど提出チェックシステムの改善策を検討します。
実習科目：「授業当日に WebClass から資料がダウンロードできない」＝（回答）：　事前に資料をアップして、各自ダウンロードやプリントアウトを指示しています。資料ダウンロードには事前の予習を促す意味がありますので、当日にはアクセスできないようにしています。何度も注意喚起しても改善がみられず、数名の学生は授業時にデータを取得できておらず困っています。他科目では WebClass にあげてさらにデータを取得できない学生には個別にメールして対応しているようですが、予習をして欲しいための措置ですのでその点ご理解ください。
実習実習：「5 人グループにするとサボる人が出るから 3 人にしてほしい。」＝(回答)：　サボる人は 2 人にしても 1 人でも結局サボると思います。うまくいかない場合はグループ運営が失敗しているケースかもしれません。5 人でも全員きちんと役割を果たせるグループもあります。社会に出る前に世の中には必ず「手抜き」する人がいるということを経験し、それをどう防ぐか、チームワークの勉強をすることも課題を解決するという重要な学習ではないでしょうか。全て含めて学習と認識して下さい。
「(同じゼミの人同士でグループを作ったので）グループでゼミをばらばらにしてほしい。(同じゼミの人だから、誰がサボったかを言いにくいので）＝（回答）：　同じゼミの人同士ならば時間割も似ているし一緒に作業をする時間がとりやすいなど利点がありチームワークの学習の面からも同じゼミ同士の組合せにしています。同じゼミだと気心が知れていてはっきり言いやすい場合も、その後の人間関係があるので気を遣って言いにくい場合も両方あります。コミュニケーションの学習だと考えて下さい。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

概論科目：「面白かった」「難しかった」という相反する評価がみられました。最後のまとめなどで専門用語や新しい概念について少し説明不足の点があったかもしれません。一方、学生のなかでも説明を冗長だと感じる方もいるので今後さらに用語の解説や概念の説明を工夫します。

実習作業の際は進行が遅いグループに教員が多く関わるようになりがちですが、今後は特定のグループばかり見ずローテーションで各グループを回るように配慮します。また TA と教員の分担やアドバイスの割合を調整します。
実習科目で、学期末に課題が負担だったとの意見がみられました。予定通り進まなかったいくつかのグループに年末年始に宿題を課したのが負担だったようです。今後は進捗状況を適切に把握して早めに対応したいと思います。

「出欠管理」「コメントペーパーの活用」：　複数の教員が「大福帳」というシステムを一部活用し、それ

ぞれの授業に合ったように改善させながら、コメントと出欠管理を工夫しています。今後より時間をかけて毎回のコメントを丁寧に読み、授業や指導に反映させます。授業中に手をあげて積極的に発言していない学生でも、コメントペーパーに毎回良い指摘や大事なポイントをついた質問を書いてくる学生がいるためです。そのようなコメントに対してはさらに工夫して授業に取り入れ、質問に回答し、コメントに応答していきます。

「シラバスの活用」:　シラバスを丁寧に記載し、事前に準備するものや読んでおく資料を具体的に指示しています。初回授業では時間をかけて評価の方法や教材や勉強方法など、学生が授業外学習に活用できるようシラバス記載事項についても詳しく説明します。

「Web 公開とアクセスログ管理」:　いくつかの授業のテキストを（授業用に書き下ろして）Web で公開して、アクセスログを録っています（有料のサービスです)。いつどのページが何分読まれて、ページのどの範囲がアクセスされて、どうスクロールして、どのリンクがクリックされて... というような情報が記録されており、授業のページにアクセスしてきたユーザの行動をすぐ横で見ているように再現できます。この情報を元に授業のページのわかりにくそうなところ、使いにくそうなところを改善しています。
それ以外に毎日の総アクセス数を見ていると授業日にアクセス数が伸びるのは当然として、それ以外の日のアクセス数が学生の教室外学習に費やす時間の目安になることに気が付きました。(別添の図は univ-web.org より作成)
ドメインの総アクセス数ですが, この期間のアクセスの殆どは「情報処理技法（Web での情報表現)」のサイトへのアクセスです)。課題を出した週はある程度のアクセスがあることがこれで分かります。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 5 月 31 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	人間科学科言語科学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	松尾　慎
検討会実施日	2017 年 5 月 24 日	出席者数	8 名 （内、非常勤講師　0名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・「英文の理解ができていない学生が目立ち、先生がそのフォローに追われた印象がある。TOEFL スコアでグループ分けするか、それができなければシラバスに理解できると思われる目安の TOEFL スコアをのせて欲しい」

→専門用語は調べなくても済むように、すべてリストでお渡ししたので、英文読解にそこまで苦戦するとは思っておりませんでした。

・「友人と授業をとっている前提なのか、授業外コミュニケーションでの課題が出されましたが、１人でとっていて大学にもあまり来ない場合は難しいので、１人でもできる課題だと有難いです」

→これについては、2017 年度、どうしようか悩んでいます。

・「前日に Web class を up されても一人暮らしで家に印刷する機械をもっていない人には資料の準備ができず、つらかった」

→次回からの反省事項にします。

・「ただ講義を聞くだけではなく、何かしらの質問に学生が考えて答えることも必要だと考えた」

→大人数のため全員にはまわりませんでしたが、授業では講義だけでなく質問に答えてもらうこともしていました。また、（質問を待つだけでなく）聞いた内容から各自が自発的にものを考えることも重要だと思っています。

・「もう少し人数に合った広々とした教室でないと途中で気分を悪くする人もいると思う。」

→諸般の事情から小さめの教室で申し訳なかったと思います。なるべく快適な教室環境を確保できるように留意します。

・プロジェクター/スクリーンが見づらかったとの意見が二点ありました。前方に着席するよう指示し、また教室内の照明を暗くする、逐次画像を拡大するなど工夫を重ねましたが、次回は可能な限り新しい機材のある教室への変更をお願いするなど、ひきつづき対応に工夫してまいりたいと思います。

・「CHILDES の使い方は前期の図書検索の様に実演してもよかったのではないかと思う」

→そうですね。今年度は Command を使う例も加えてみます。

・「卒業論文についての取り組みをもう少しはやく進めたかったです。でも生成文法の授業はとてもおもしろかったです。ディスカッション形式で分からないことを列挙したり、例外について話し合えたことで、より理解を深められました。質問に対しても分かりやすい具体例で説明されたので記憶によく残る授業でした」

→意味論・統語論ともに難しい教科書でしたが、熱心に取り組む中でつかんだものが 4 年次になったみんなの中で活きているように思います。「3 年次演習」の学びから卒論への移行は本当に難しいですが、先行研究がどういう問いに答えを出そうとしたかを考えて、そこから自分の問いを見つけていく工夫を増やしていきたいと思います。

・The comments indicate that students found my level of English, explanations and teaching style easy to understand and clear. Also, students seem to have found the level and type of feedback suitable and helpful. This makes me satisfied as I strive to make my instructions clear through effective lesson planning and materials design. I think that having clear instructions and example essays helps the students understand what is expected of them, and to produce the best work that they can.

・It seems from the few comments made that some students found the level of difficulty of the c ourse, and the amount of homework quite difficult. This is to be expected as the seminar is carried out in English and all materials and assignments are also in English.

・There were very few comments, but the one comment received was very positive and indicated t hat the student enjoyed the class and found it beneficial. I hope this feeling is shared by other students in the class, and based on in-class feedback, it seems that many students found the class challenging but enjoyable and beneficial.

・A couple of students liked being able to do their homework online (on the class blog)
→Having students do their homework online makes it easy for them to do and easy for me to check. Also, if students miss a class, they can look at the blog to see what they missed.

・One writing student said she wanted feedback more often
→This semester I am trying to give a little feedback each week, instead of a lot of feedback only twice (as I did last year).

・One writing student said the syllabus was confusing (seemed different from the class)
→I'm not sure what I did differently from the syllabus (I thought I followed it).

・Two writing students said they appreciated that the teacher treated the repeating students equally as the new students

・「教科書の問題の解答をプリントにして配るか黒板に書いてもらえるとうれしいです」
→Will keep that in mind.

・「毎回学生のコメントや質問を取り扱っていただけた所がよかったと思います。他の人の反応や、おもしろい考えなどが知れて楽しかったです。」
→　今後も続けていくようにします。

・難しい内容だけれどもわかりやすかったとのことで、よかったです。また資料をたくさん配布してく

れたのがよかったというコメントがありましたが、なるほどそうなのかと思った一方で、紙を多く消費することは環境によくないなあということがいつも気になっています。

・「言語の授業で今まで病気などのカテゴリーを学んだことがなかったので、良い経験だった」

・「分かりやすくて、興味が持てました。実際の映像を見せてくださったので、分かりやすかったです」

・「失語症の存在を知る良いきっかけとなった」

・「答えがないものに対してディスカッションを通して色々な意見を取り入れ、自分なりの考えを構築できたことはとても有意義だったと思います。

・「DVD を通して、普段、ふつうに生活しているだけでは知ることのない事実を知ることができた。また、授業でのディスカッションや先生の話をきくことで、それを整理することができた」

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・90 分間を講義だけにせず、学生のプレゼンテーション 40 分、それに対するフィードバックと講義で 50 分という構成にして、ことばの使い方や言語についての学びを促しています。
・遅刻（特に 1 限の授業）や授業中のおしゃべり、内職が増えてきているので、こまめに注意する場合も増やしています。
・グループでのディスカッションや発表を積極的に取り入れることによって、主体的な活動と学びを増やし、テーマに関する理解を深めることにつなげています。また、聞く側も受身にならないよう、発表やレジュメに対してコメント（良かった点の評価、より良くするための提言など）を書いてもらい、論理的・批判的に見る力を養っています。他者の発表を客観的に評価することで、自身が発表するときの改善にもつながります。同時に、コメントシートの内容は、発表したグループ（およびクラス全体）と共有し、発表へのフィードバックや全体での議論にも役立てています。
・「反転学習」を引き続き積極的に取り入れています。「反転学習」とは、通常は授業で行う講義部分を教室外学習とし、それに基づく活動を授業内で行うものです。例えば、教室外学習として Youtube で授業テーマに即した動画をいくつか視聴してもらい、授業ではそれをもとにした議論や活動を行っています。事前の準備によって、授業での能動的な参加・活動の量と幅が広がり、深みも増します。
・昨年に引き続き、ビブリオバトルを授業に取り入れています。ビブリオバトルでは、各々の参加者が自分の選んだ本を 5 分間で紹介します。それらの発表について全体でディスカッションした後、「一番読みたくなった本」を参加者の投票で決めます。このような新しいタイプの活動によって、受講者の関心が高まり、文章を的確に読み解く力、情報や意見を効果的に他者に伝える力、他者の意見も聞きながら議論する力も養われると考えています。
・授業の最初で前回の授業に関するフィードバックの時間を設けています。質問への回答や補足説明などを行い、確認と同時に次の部分につなげる導入にしていきます。時間が許せば、授業の最後でも短い質問コーナーを設けています。
・質問やコメントを一覧資料にして配布し、質問には全体に対して回答・説明しています。それによって、大教室（100 人前後）の講義でも個々の受講者の疑問や意見を共有でき、受講者間のコミュニケーションを発生させることにもつながると考えます。
・ノート・テイキングや授業内容の理解に役立つよう、板書を多く取り入れたり、早口に気をつけたり

していきます。

・I will work on improving the materials and instructions to make them even clearer. Also, I will try to plan the class timing carefully, as I sometimes ran out of time to do all planned activities in class. In addition, I will encourage students to write more comments on the questionnaire this semester.

・I have changed some of the assignments to make it more comparable with other seminar classes. However, rather than simply reducing the amount of work, I have added extra guidelines and changed the schedule to make it more manageable.

・Based on in-class feedback from students, I will require secondary research to incorporate more English-language sources to maximize the amount of English input during the course.

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 30 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	数理科学科数学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	大阿久　俊則
検討会実施日	2017 年 5 月 24 日	出席者数	8 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

(1) 演習問題の模範解答が欲しい、あるいは学生に解かせるのではなく、先生が解答をわかりやすく説明して欲しい、という意見がありました。模範解答を配ったり教員が先に解答を解説したりすると、答えをきちんと確認して復習できる利点がある一方で、わかるまで自分でじっくりと考えるという習慣が付きにくくなる恐れがあります。また、解き方が一つとは限りません。そこで、それぞれの授業の担当教員が教育効果を考慮して方式を決めています。模範答案が配布されない授業では、自力で解く努力をしてください。どうしてもわからない場合は担当教員に質問すればヒントをもらえると思います。

(2) 板書の字が見えにくいという意見や、声が聞き取りにくいという意見がありました。担当教員は今後気を付けますが、その場で教員に伝えるのが一番良いと思います。また、数学ではどうしても複雑な式が出てくるので、できるだけ前の方の座席に着席してください。

好評だった点としては、板書がわかりやすかった、授業内の小テストや演習が役に立ったという意見がありました。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

(1) 数学専攻の 2 年次以上の科目では、演習科目がありませんが、各担当教員が、レポート課題を与えて添削の上返却する、授業中に演習の時間を設定して学生に黒板で解かせてそれに対する講評を行う、授業中に小テストを実施する、などの方法で学生が自ら問題に取り組み、それを通して授業内容の理解を深められるように工夫しています。2016 年度後期の授業評価アンケートでは、授業内容の理解度や授業に対する総合的な満足度が以前よりも向上しています。上記のような各教員の努力が学生の皆さんに評価されたと考えています。今後も演習問題やレポート課題を通して受講生が授業の復習をしながら理解を確認して応用力を養えるようにしたいと考えています。

なお、演習問題の解答については、模範解答を教員が黒板で解説したりプリントで配ったりして欲しいという意見もありました。そのようにしている授業もありますが、学生が自ら問題を考える前に模範解答を示すのは、自ら考える力を養うという観点からは不適当な場合もあります。学生の皆さんには、模範解答を見る前にまずは自分の頭と手を使って試行錯誤しながら問題に取り組むという習慣を身につけることを希望します。

(2) 1 年次の数学基礎（学科共通必修科目）については、学生の出席状況は良いものの、理解度や満足度については全般的に評価が低くなっています。また 2 クラスに分けて欲しいという要望も過去にありました。習熟度に応じてクラスを分けるのが理想ですが、開講コマ数の増加を伴うため当面は実現困難です。このような制約の中で各担当教員は良く理解できるような授業を目指して努力を重ねていますが、２年次以降の各分野の授業の基礎となるため、授業内容のレベルを下げるわけにはいきません。そこで、講義内容の理解を確実にして応用力を養うために講義と並行して演習の授業を置いています。演習問題を演習の時間に初めて解くのではなく、演習の授業までに自分で講義の復習をしながら予め解いてみることがとても重要です。授業評価アンケートでは、約６割の学生は、授業のための教室外学習にかける

時間が１科目あたり週１時間未満でした。特に１年次必修科目については教室外学習の時間を十分取ることを希望します。また担当者は、受講生の多様な学力や興味にできるだけ対応できるような授業を心掛けます。授業の疑問点などについては積極的に質問してください。

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日： 2017 年 6 月 30 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	数理科学科　情報理学専攻	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	加藤　由花
検討会実施日	2017 年 6 月 13 日	出席者数	6 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

(1) 授業で配布され，個人 HP にも掲載された講義ノートが分かりやすかった．→　今後も分かりやすい講義ノートを作成し，HP に掲載するようにします．
(2) 授業のスライドが授業用の Web ページにアップロードされており，いつでもどこからでも見ることができるようになっていて良かった．→　引き続き，スライドをアップロードするようにします．
(3) 授業教室からしか授業サイトにアクセスできないのが不便だった．→　授業教室だけではなく，大学内であればサイトにアクセスできたのですが，周知が不十分でした．今後は WebClass を利用し，学外からでもアクセスできるように改善します．
(4) スライドが非常にわかりやすく，授業を受けやすかったですが，もう少しゆっくり説明して（話して）いただけると嬉しいです．→　今後も分かりやすいスライドを作成するようにします．授業の進め方はより丁寧な説明を心がけ，早口にならないよう注意します．

授業改善等に向けた具体的な方策

(1) 一昨年の講義の内容がやや高度で分かり難かったとの反省から，今年度の内容については，かなり変更を加えて臨みました．しかし，講義内容があまり理解できなかったとの回答者が数名居り，更なる内容の吟味を行います．
(2) 授業中に使用する有料ソフトウェア（MATLAB）を，教室外でも自由に使用できるようにします．これにより，教室外学習の促進が期待できます．
(3) 教室外学習の時間を増やすために，情報実習室外での課題の実施方法について，授業の中で具体的に説明するようにします．また，授業サイトはいつでもどこからでもアクセスできるようにし，課題を行う際のサポート環境を整えます．

2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 10 月 20 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	女性学研究所 （女性学・ジェンダー関係科目） ＊注参照のこと	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	李　津娥
検討会実施日	2017 年 10 月 16 日	出席者数	2 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

＜女性学・ジェンダー関係科目の性質上（詳細は末尾＊注を参照のこと)、現状では個別アンケート結果の「持ち寄り」ができないため、割愛させていただきます。＞

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

女性学・ジェンダー関係科目全体として、設問 3(シラバスに基づく展開)、設問 5(授業の準備・計画性)、および 設問 8(教材の適切さ)、設問 10 （授業運営の適切性・公正性)、設問 11（教室外学習の指導)、設問 13（授業への満足度）で「非常にそう思う」、「ある程度そう思う」を合わせた肯定的回答がいずれも 95%を超えました。とりわけ設問 8(教材の適切さ)は 97%と高く評価されていました。教室外学習の指導の成果として、設問 2（教室外学習の時間）で「週 1 時間以上」という回答が継続的に増加傾向を見せていました。前回に引き続き設問 4 (シラバスの有用性)について、9 割を超える高い評価でした。授業を理解し、学習を進めていく上でシラバスは大変重要であり、女性学・ジェンダー問題に対する理解を深めるよう、今後シラバスの有用性をより高め、教室外学習の指導をより丁寧に行いたいと思います。設問 9（受講者の理解度の点検）についても 9 割を超える高い評価が得られました。今後も学生の理解度の点検をより丁寧に行っていきたいと思います。総合的評価として授業への満足度も 95%を超える高い評価でした。全体的に高い評価を得ている現状を維持しつつ、引き続き「シラバスの有用性」をより高めるよう工夫し、女性学・ジェンダー分野の問題を自ら学ぶ教室外学習を促し、受講生の理解度の点検・配慮をより丁寧に行うことにも留意しながら、女性学・ジェンダー関係科目のさらなる充実を図りたいと思います。

＊注　「女性学・ジェンダー関係科目」について

授業評価アンケートの実施にあたっては、本学が開示している全シラバスの中から「女性学・ジェンダー関係科目」を抽出しています。抽出に際しての代表的なキーワードとして挙げられるのは、「ジェンダー」、「家族」、「男女共同参画」、「キャリア」などです。また、全体的な抽出基準としては、ジェンダー（社会的・文化的性差）に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共同参画社会のあり方を考える視点を養う上で有効であることが重視されています。

（2）2017 年度前期「学生による授業評価」アンケート

「授業評価に関する検討会」報告書

（学生へのフィードバック・授業改善等に向けた具体的な方策）

目　次

人文学科	哲学専攻	p.32
	日本文学専攻	p.33
	英語文学文化専攻	p.35
	史学専攻	p.39
国際社会学科	国際関係専攻	p.40
	経済学専攻	p.41
	社会学専攻	p.42
人間科学科	心理学専攻	p.43
	コミュニケーション専攻	p.45
	言語科学専攻	p.48
数理科学科	数学専攻	p.53
	情報理学専攻	p.54
女性学研究所（女性学・ジェンダー科目）		p.56

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 12 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　人文学科哲学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　黒崎　政男
■検討会実施日　2018 年 3 月 10 日
■出席者数　3 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

１）授業では、内容についてのプリントを配ってください、という要望がありました。
テキスト資料などは受講者に配布することもあります。しかし、あらかじめの結論が書かれたものを配布するのではなく、その場で自分自身で考える、あるいは板書されたことを、自分で書き写すことによって、真の理解を深めさせるという形式の授業もあります。プリントを配らないことが意味あることである、ということも理解してください。

２）教室が定員ぎりぎりで狭すぎるので広い教室を使ってほしい、という要望がありました。
定員ぎりぎりの狭さの場合には、広い教室に変更することも考えます。受講者が比較的少人数の場合には、マイクを使用した間接的な伝達ではなく、教員の直接的な肉声で講義をおこなうほうが、内容が伝わりやすい、ということもあります。快適に受講できる環境を考えます。

３）入門的な授業について、哲学を身近に感じるようになった、クラスの反応を見て授業が展開されていたので、分からない点もよくわかるようになった、身近で哲学への興味がわいた、などのポジティブな評価がありました。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

授業評価アンケートの集計結果をみると、設問１（出席の程度）についてみると、「すべて出席した」「１～２度欠席した」を合わせると、約９割に至っており、出席に関してはまず良好な結果となった。
設問３・４のシラバス関係も「非常にそうおもう」「ある程度そう思う」を合わせると９割に達しており、シラバスに基づく授業の展開、およびシラバスの有効性が示されたかたちとなった。
設問１３「総合的満足度」も「非常にそうおもう」「ある程度そう思う」を合わせて９割を超えており、哲学専攻の学生たちの満足度がきわめて高いことがわかる。
問題点としては、設問２「教室外学習の時間」であるが、「全くしていない」が３分の１をこえ、「週一時間以上」でも二割程度にすぎない。この件は積年の課題である。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　　人文学科日本文学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　　今井　久代
■検討会実施日　　2018 年 3 月 15 日
■出席者数　　6 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・映像をたくさん見ることができたのが、わかりやすくて良かった。
・資料の説明とともにプリントの説明が続いたのが単調だった。
・文学にもっと踏み込んで授業を展開して欲しい。
・課題のワークシートの答え合わせがもう少し時間が欲しい。Web クラスなどであとでゆっくり解答をみせてほしい。
・パワーポイントのスライドが工夫されていて良かった。しかし難しい漢字は読むのは難しかった。もう少しスライドの内容をプリントで配布して欲しかった。
・プリントに対応する教科書のページを指示して欲しい。

といった意見が寄せられました。後半三つについては、web クラスの利用や、プリントのもう一工夫などの形で、できるだけ対処していきたいと思います。PowerPoint の枚数の関係で、そのまま全部を配布するのは難しい（プリント過多になってしまう）という事情もあるのですが、要約した文字情報を配布できるように工夫する必要があると考えました。一方で、上三つの意見はある意味矛盾した部分を抱えています。

・マイクを回して学生からいろいろな意見を聞くことができたのが良かった。ただ全員にも回して欲しいとも思った。

という、参加型授業についての感想でもそうですが、90 分という時間のなかで、文学に関する知識をふやし（知識が増えることで、読みや考察が深まる部分がたくさんあります）、実際に作品をよく読み込んで自分の意見をもつということと、映像を見たり自分たちの意見を言い合って共有することとを両立させるのはなかなか難しいです。後者の時間が増えるほど、前者について、授業時間内でかけられる割合が減り、内容が薄くなりがちです。それを防ぐのに必要なのが、各自が教室外学習を増やすことです。授業の予習として示される課題に取り組んできたことが前提での授業を展開する必要があると考えています。

・もう一度履修してよくわかるようになり良かった
・授業の毎回のテーマが決まっていて、それが全体の構成に波及し良かった。
・高校とは違う大学の学びがわかった。
・他の人の書いた感想や意見が、プリントとなって翌週に配布されたので、他の人の意見を知ることができてよかった。

という意見については、こういう感想を持ってもらえる授業を目指して頑張っていきます。また、授業によっては最初難しすぎると思えるものもあるでしょうが、教室外学習を充実させたり、学年が進んでからもう一度履修するなどして、その授業の面白さを発見していってもらえたらと思います。

・演習の人数が多すぎる(50 人)という意見があった。人数が多いため最初の授業時に担当を割り振ってしまった結果、この授業を強制的に履修するしかなかったという意見も。

この意見については、深刻な問題と受け止めていますが、改善の方策としては、授業の冒頭で履修制限をかけるという形しかなさそうです。そのような結果になってしまった場合、種々の興味をもって、ほかの分野の演習の履修を検討してもらえればと思います。

２．授業改善等に向けた具体的な方策 学生・WEB 開示

１の繰り返しになりますが、プリントの工夫、web クラスの利用などで、授業内で示す知について、あとで復習しやすい形を整えていきたいと考えます。また具体的な興味をもつという点で、文章を読むだけでなく、映像や音声も積極的に取り入れていく必要があると考えています。

また一方で、授業を受けての皆さんの考えや疑問を何らかの形で共有していく、そのための時間を大事にしていきたいと考えます。コメントペーパーを活用し、その内容を全体で共有するなどです。

そしてその結果、授業で十分な知識を獲得できなくなっては大変ですので、教室外学習の充実をめざしていきたいと考えています。配布するプリントを工夫して、授業後の復習がしやすくなるようにというだけでなく、授業前に提示された課題について学んでくることで、より授業が面白くなるように、課題が前提となる授業を考えていきます。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 31 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　人文学科英語文学文化専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　野村　恵造
■検討会実施日　2018 年 2 月 27 日
■出席者数　11 名（他に非常勤講師 8 名
：非常勤講師はメールによる参加）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生･WEB 開示

○「宿題や重要な連絡事項などを、もっと強調して伝えていただきたかった」
→宿題や重要な連絡事項は、ハンドアウトにまとめて初回の授業で配布しましたが、変更などについての周知が徹底していなかった結果のコメントだと受け止めています。ただクラス全体の宿題の提出率は非常に良かったので、欠席者などへの連絡方法を徹底するようにしたいと思います。
○「この授業を受けることで音声学に対する興味がわき、また、授業内容と自主学習内容で自分の発話レベルが向上したと思います」
→音声学に興味を持ち、自主学習内容で発話レベルが向上したという手ごたえを覚えたとのこと、非常に喜ばしいことと思います。テキストを使い、授業内で音声学に必要な語句や調音方法を学びながら、授業外ではコンピュータソフトウエアを使い、発音練習を行っていただきました。自律学習を積極的に行っていただくために、レポートの提出も課題としましたが、その中で、録音された自身の発音とソフトウエアに録音されているお手本の発音を比較し、学習したことを基に考察を加えている学生が多く見受けられました。
　また、このコメントを書いた方は、発話レベルの向上を感じています。これは、時間をかけて何度も課題に取り組んで初めて得られる結果だと思います。素晴らしい取り組みだと思います。このような積極的な取り組みを促すことができるよう、今後も課題の重要性などを授業内でも伝えていきたいと思います。
○「自習学習の Tell me More は良かったが、ATR CALL BRIX は意味があるのか良くわからなかった」
→Tell Me More と ATR CALL BRIX について､学生の反応は様々ですが､レポートにコメントする形で、積極的に取り組むように勧めてきました。また、ATR CALL BRIX は、音声練習と音声練習以外のアクティビティを区別し、音声練習に特化して取り組むよう、指導しました。センテンスの発音などは、評点が表示されるので、練習の結果が数値に現れ、やりがいを感じる学生が多いのも事実です。
　コンピュータのソフトを利用しての発音改善が万能ではないかもしれませんが、４年生まで、東京女子大在学中は利用できるソフトウエアなので、音声学で学んだ知識を持って、何年生になっても発音練習に役立てることができるきっかけになるよう、授業内でも工夫したいと思います。
○「(この）授業はきちんと身につくように何度も発音の練習をさせてくれて、このクラスでよかったと思えました」
→授業内で、ペア練習をし、教卓でモニターして改善点を指摘するなどもしました。ペアをランダムに組む機能を利用すると、学生たちがとても喜び、また、積極的に練習に取り組んでいました。発音の上手な学生から刺激を受けて練習する姿が印象的でした。
○「授業外（自習）教材（Tell Me More）の不具合の改善についてもう少し真剣に取り合ってほしい」
→個々人の授業外学習の中で起こるオンラインプログラム上の不具合については、基本的に視聴覚事務室へ相談するように伝えています。不具合の改善などについて、専門の知識のある方に学生が直接うかがえる機会/方法があれば良いのではないかと思います。

○「重要な点、テストに出る点が全くわからない。『自分たちで考えて』という方針なら先生はいらない」
→ 自主学習の習慣が身についていない学生が散見されます。そうした学生は、基本的に予習をせず、いつも初めから講義を聞くような受動的な姿勢で授業に参加するため、いざ教科書を見ても、重要な点を自ら発見することができません。そうしては、テストに出るか出ないかという点ばかりを気に病んでいるようです。英文のテキストを「一度は自分の頭で考えながら読み、わからない箇所も（すぐに人に答えを聞いてわかったつもりになるのではなく）立ち止まって粘り強く考えてみる」という姿勢を身につけてほしいと願っています。
○「毎週大変でしたが議論することに慣れることができた気がします」「グループワークが多く周りの人の意見を取り入れながら理解を深めていけたので良かったです。ありがとうございました」
→グループでの議論を肯定的に評価してくれているのは嬉しく思います。
○「自分に合ったスピードでとても分かりやすかった」「クラスの生徒にとても肯定的な態度を取って下さり、どの個々人の事情も考慮して下さるので、とても安心して受けられると思います」
→今後も受講者一人ひとりに目配りしながら授業していければと思います。
○「議論中全く話し合いに参加しない人や、Question をやってこない人、調べものをしない人がいるので、グループ変えをしたい」
→意見を拝見し、後期はグループを変更しました。グループワークの難しいことではありますので、今後も皆さんの声を聞きながら進めたいと思います。
○「すごく面白かった」「コメントペーパーを丁寧に読んでくださり、授業の理解がより深まった」「取り上げられた教材がとても興味深く、夏休みにもう一度ゆっくり見たり読んだりしたいと思いました」
→大半の学生は満足度がとても高く、2017 年後期は、コメントを参考に授業の修正をいたしました。たとえば、授業外の 120 分の課題について、2〜3 の要望があったので、課題のディスカッションの後に、解答を配布するなどの工夫をしました。
○「たまに解説を飛ばすところがあったので、全部やるならやってほしいです」
→時間の制約もあり、重要度に応じて取捨選択していますが、その旨をはっきりさせることにします。
○「とても分かりやすくて、英語学にとても興味をもつことができました。ありがとうございました」
→有難うございます。励みになります。
○「時々、話すのが早くて聞き取れないこともあったが、毎回の授業がすごく面白かった」
→有難うございます。自分ではゆっくり話しているつもりなのですが、気をつけます。
○「興味深かった」「毎回プリント等、分かりやすい題材が用意されていて役に立つ授業だと思います。本当に知識が深くてすごいなと思います」「色々な例え話や先生の実体験を混ぜた授業は毎回楽しかったです！有難うございました」
→有難うございます。励みになります。
○「テストでの重要な点を知りたかった」
→その分野で何が幹で何が枝葉なのかを認識すること自体が勉強です。
○「毎年、先生の授業を受講していますが、その中でもかなり面白い授業内容でした。有難うございました」「シラバス通り、とてもていねいな授業でした」
→有難うございます。励みになります。
○「話し合いの時間があまり取れなかった」
→当初の予測よりも授業の進度が遅れてしまい、ディスカッションのための時間を削って発表を行うことになってしまい、申し訳ありませんでした。学期末にかけて遅れも回復し、数回は議論の時間もしっかりと取れました。
○「授業の前後やメールで質問に答えてくれて助かった」
→昨年度と同様、学生たちには発表時に「よくわからないから飛ばした」等々のことが無いよう、事前にメールやその前の授業までに質問をするように促しました。理解が深まったとのことで実践してよか

った。
○「ハンドアウトの添削と発表に対するフィードバックをしてもらえてよかった」
→こちらも昨年度と同様、学生たちにとってプラスになっていると感じました。時間はかかるが、実践してよかったと思います。
○「なぜこのテキストなのですか」
→この授業のテキストは東照二さんという一人の社会言語学者の先生が書かれました。東さんは長くアメリカで教えていらしたのでアメリカの例が多く書かれていますので、その点では英文のみなさんにはなじみがあると考え、選びました。ただ、アメリカの事例ばかりでは、現実に住んでいる日本の例に結びつかないこともあり、そこで私が現在調査をしている沖縄県宮古島市における消滅危機言語、言語と文化についても具体例として紹介しました。テキストよりも、写真なども見せたこともあり、インパクトが強かったかもしれませんが、これを紹介した教員の意図は、テキストの「アメリカ」の例と私たちが現在住んでいる「日本」の例を比較しながら、現在の問題を考えることでしたので、それがうまく伝わらなかったのかもしれません。
○「英語学というより社会言語学だったのは、英語の諸相とは違っていると思った」
→英語学という学問領域は、英語が発達したイギリスの英語だけではなく、現在では世界の諸英語に見られるように時代とともに、歴史が動き、またこの歴史が近代になると加速するように変化が著しいというところも今後は含めると考えることもできます。その点では、この近代化の変化は社会言語学で扱う分野とも重なっていますので、広い意味で英語学の「英語」の変化を考えることは、世界各地の社会と言語の変遷を考えることにもつながるのではないでしょうか。後期の授業で学んだことですがソシュールの通時的、共時的な時間軸の捉え方も、これに関わっているのでその意味では広く英語学も社会言語学もつながっていると考えることができると思います。半期だけではこれが伝えきれなかったので、その点では全体像を初めにもっとはっきりと提示するべきだったかもしれません。
○「コメントペーパーを書く時間が短かったので宿題として出せるようにしてくれるとじっくり授業を反芻することができたかもしれない」
→おっしゃるとおり、コメントを書きながら、自分の内省、授業を反芻することは大事ですね。後期は、このコメントを活かして、コメントペーパーを書く時間をできるかぎり確保しましたので、とても助かりました。積極的に学ぼうとするコメントは教師を勇気づけるものでもあります。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生･WEB 開示

■前回は下記のように記述しましたが、全体的に、リアクションペーパーを求めることが一般化し、教室内外でのインタラクションが一層活発になったと考えています。

「今年度から、教員がシラバスを執筆する際に、フィードバックの方法を指定することが義務化されましたが、英語文学文化専攻では、昨年度の報告書にも「リアクションペーパーが有効であるという点は教員の間で共有が進み、講義もののクラスを中心に取り組む教員が増えています」とあるとおり、従来から、様々な方法・チャンネルでフィードバックを行う努力をしてきました。引き続き、教室内外での学生と教員の間のインタラクションを強化していきたいと思います」

■講義系の科目
○教室外での学習に充てている時間が短いと感じます。講義主体の授業なので受け身の学習になりやすいのですが、もう少し参考文献の紹介等に力を入れる必要があると思います。
○毎回確認テストを行っていることに対し、理解度を確認するために役立つとの意見がありました。確認テストは次の回に解説してオフィスを通して返却、その後何回分かをまとめてプリントにして配布しています。準備と採点にやや負担はありますが、続けていくべき方向と思います。

〇学生に批判的思考力を身につけさせるために、授業内でソクラテス式問答法または産婆術を意識して、問を発するようにしています。

■演習系の科目

〇設問３、設問４について、ほとんどの学生が４点と３点と答えているので、しっかりとシラバスを作っていただいたおかげと思っています。設問９、１０については、小テストを行ったり、毎回の授業の最後で振り返りを記入してもらい、それについて返答やコメントを記入して返却しているのが功を奏したのかもしれません。

〇学生が自主的に学ぶ工夫にもつながるが、ペア練習をしたときに、パートナーの発音の改善点を指摘できるような雰囲気を作りたいと思います。

〇授業内で、課題に使われていたパッセージやセンテンスを使ったアクティビティを行うなどの工夫も必要かと感じました。

〇音声学については、発音をきれいにしたい、という希望（学習動機）が一定量、学生側に見受けられるため、授業にも熱心に取り組む学生が多いように思います。発音矯正を行ない、矯正前後の音声を自分で確認させるなど、成果がすぐに実感できる課題の満足度が高いようです。オンライン教材の学習率は高く、主体的学習法として有効なのではないでしょうか。

〇英文法については、学生の学習履歴や学習の在り方にかなりの格差があるように思われます。基礎力の度合いによって、テキストの理解度にはっきり差が現れます。自力では英文のテキストの説明文自体を理解できない学生も増えているようです。基本的に、「文法 = 正誤問題」として捉えている学生は、現在のテキストの説明（文体によって使用法が異なる、普通はＡだが、Ｂのこともある等）はなかなか納得できないようです。文法に対して苦手意識を持つ学生ほど、「文法は暗記科目」と考えて、試験に出る箇所ばかりを聞きたがる傾向があります。前もって個々に分担箇所を割り当てると、その部分だけしか学習しないため、授業中に分担を決め、その場でグループ学習や相互にプレゼンをさせるなど、授業時間内は学生が常に何か作業をするような課題を課しています。

〇以前から思うことですが、演習の場合、グループワークが比較的機能します。全員で話し合う円卓形式では促さないと発言がでませんが、担当学生が主導権を取るようにすると、多くのグループで、必ずしも議論とは言えないまでも盛り上がり、予習してこない学生も減る傾向があると思います。ただし、学生の負担も大きいので、どのクラスでもという訳には行かないと思います。専攻内で調整し、役割分担をする手もあるかと思います。

〇毎回、学生に授業に関するコメントを書いてもらい、次週の授業のときに紹介しています。どのような点が参考になったのか、疑問点などへ回答しています。人前で発言するのが苦手な人もいるので、コメントだと自由に書けていいようです。書く作業を通じて、授業の振り返りができる利点があります。全ての学生の質問に答えられませんが、なるべく学期中にいろんな学生の質問に答えるようにしています。

〇授業では、前半は学生のコメントに対するフィードバック、120 分の授業外学習の課題についてのディスカッションにあてています。授業評価アンケートの結果をみると、学生の満足度が高いようです。また、学期の後半で行う Poster Session の評判はとてもよかったです。Poster Session では、学生がトピックに関して、A3 の Poster を作成し、当日発表をします。クラスを 2 グループに分け、授業の前半で発表した学生は、後半は発表の聞き手にまわります。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　人文学科史学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　高田　陽介
■検討会実施日　2018 年 3 月 16 日
■出席者数　7 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生･WEB 開示

科目名・クラス・担当者等についてはあえて明記を避けますが、受講学生より、指定テキストの内容が専門的過ぎて、ほとんど理解できなかった、との趣旨の御指摘がありました。

たしかに、そのクラスで扱った図書は専門的な論文集であり、「大学院の受験勉強用に好適」といった評価も聞かれるレベルの内容なので、学び始めたばかりの学部学生には相当に難しかったことと思います。ただ、テキスト選定の狙いは、歴史学のテーマごとに最前線で真摯に取り組む研究者が、どのような問題設定を試み、先行研究の蓄積を前にしてどのような把握を試みているのか、という生き生きとした歴史研究の「熱さ」に接してもらい、受講学生に「ようし、自分も」という気持ちになってもらうことが第一であって、テキスト内容の完全な理解を期待してはいません。そして、こつこつと史料に向き合う大事な作業とは別に、自ら課題を設定し、これまでの研究を自身で評価し位置づける、という営みの重要性を認識してもらおうと考えました。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生･WEB 開示

16 年度後期分の報告書では、下記３点を示しました。

(1)参考文献の紹介･指示は、ひきつづき丁寧な実施に取り組みます。シラバスへの掲載だけで済まさず、授業中に学生たちへ直接案内し、しかも口頭で済ますことなく、最低でも板書し、可能な限りプリントを用意して配布します。

(2)講義科目において、質問時間の確保を図り、また、積極的に受講者に質問を促します。当座での発言の引き出しが進まない場合には、質問用紙の配布・回収といった手立ても考えます。

(3)演習では、報告者以外にも何らかのコメント書面の準備（さらにはクラスへの配布）を課すことも促進します。

上記３点が 17 年度前期に、すべての史学専攻科目で完全に達成された訳ではなく、ひきつづき各項に取り組んでゆく必要がある、との認識を専攻内で共有しています。

まず(1)の参考文献データの提示については、きちんとプリントで提示するクラスが多くなっている中、取り組みの遅れていた一部教員も、最低限板書での提示は実行しました。ただ、板書が行なわれた回にたまたま欠席した受講学生に、学期末まで情報が伝わらないまま、といった事態もあり、やはり書面での配布という水準へ揃えるべく、努力を継続致します。

また(2)の講義科目での質問時間の確保は、やはり一部教員にとってなかなか実現が難しく（つい、授業時間いっぱいを使って語りたくなってしまう)、課題でありつづけています。時間切れによる質問タイムの省略を回避するため、講義の最後に質問を受ける形ではなく、途中にインターバルを設けて質問を促す、という形を試みる教員もいます。質問紙の提出については、それが成績評価の対象に含まれるのか否かが受講学生にとって重要な問題となるため、扱いの難しさ（出任せの的外れなひと言のみであっても、何か書いてありさえすれば「提出」としてカウントするのか、など）から採用を見送っている教員もいます。

さらに(3)の演習における報告者以外からの積極的参加については、コメント書面とは別に、報告担当者に前の週の授業でレジュメを配布させ、報告者以外にも目を通して予習して来させた上で、授業

での報告への質疑・コメントを促す、といった方式を採った教員もいますが、実際の授業では、教員の質問に対する報告者自身からの応答が中心となってしまい、効果を上げられなかったようです。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	国際社会学科国際関係専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	湯浅　成大
■検討会実施日	2018 年 3 月 10 日
■出席者数	11 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生･WEB 開示

・学生の要望例 1

黒板の板書が読みづらいという意見があったので、それは担当教員に改善してもらうことにしました。ただ、同じ授業においても、レジュメを配布してほしいという要望がある一方で、板書がわかりやすくていいというコメントもあり、板書の教育効果を重視する教員の考えもあるので、レジュメを配布しない授業の場合はできるだけわかりやすい板書を行うことを申し合わせました。

・学生の要望例 2

教科書を使用している場合、教科書にかかれている以上の情報を求める声がある一方、教科書準拠の授業が分かりやすかったという声もあったので、両者のバランスを心がけることを確認しました。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生･WEB 開示

・授業をできるだけ一方通行の形ではなく、何らかの形で双方向性を実現するツールとして、コメントシートの活用を申し合わせてきましたが、授業に関する感想だけでなく、細かな疑問点に対する応答や、小テスト形式の知識の確認など、様々な活用方法が試みられるようになりました。この取り組みを継続して、さらなる有効な活用法を見出していきたいと思います。

・また演習については、個人発表だけでなく、グループ発表も取り入れることで学生の参加意欲の向上が図られました。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 2 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　国際社会学科経済学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　古沢　希代子
■検討会実施日　2017 年 11 月 22 日
■出席者数　6 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生･WEB 開示

(1)「レジュメの重要な部分がわかるように強調表示してほしい」
→一口にレジュメと言ってもその内容は様々です。レジュメの意図を理解してもらうためにきちんと説明をしたいと思います。レジュメは各教員が工夫を凝らして作成しています。教員によっては、用語をボールドにする、下線を引く、空欄にして答えを考えてもらう、といったやり方をすることがありますが、教員にとっては基本的にすべてが重要なことです。皆さんは授業を聞きながら自分にとって重要だと思う部分を自分自身で考えて下さい。
(2)「常時マイクを使ってほしい」
→音量が変化すると聞き取りにくいですね。できるだけマイクを使うように心がけます。
(3)教室が暑くて集中できなかったので、クーラーを入れる時期を早めるか教室を変えてほしい。
→適切な収容定員の教室、あるいは、状況に応じたクーラーの使用を事務方に要請します。
(4)次の授業があるので授業を時間どおりに終わらせてほしい。
→ 了解しました。授業が延びないように注意します。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生･WEB 開示

(1)受講者の理解度に関して教員がどのように配慮を行うかについてですが、各授業でその方法を提示したいと思います。
(2)授業開始後に教員がスケジュールを変更することがあります。その際には、教員は説明をし、かつ、シラバスの訂正を出します。
(3)生きた学びを経験していただくために、現実に起きていることを授業で学んでいる理論で考えていただくよう促しています。そのため、特定の政策や特定の人物の発言を批判的に取り上げることがありますが、その際の説明に異論があれば意見を下さい。
(4)補助教材として新聞記事等を配布する場合には、なぜその記事を選んだのか説明するようにします。
(5)経済学の基礎理論が難しいという声があります。ミクロ経済学とマクロ経済学は一つずつプロセスを積み上げていく学問なので、そのプロセスごとに自分の理解を確認し、わからないことが見つかった場合は遠慮せずに質問して下さい。
(6)「村松安子研究奨励金」には多様な活用方法があります。先輩たちのこれまでの取り組みをお伝えし、積極的に活用していただけるようよう努めます。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 29 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　国際社会学科社会学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　赤堀　三郎
■検討会実施日　2018 年 3 月 10 日
■出席者数　4 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・ アンケートの「自由記述欄」への記述がたいへん少なく、紹介したり回答したりするべき質問・意見・要望は特にありませんでした。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・ 講義科目については、教員の話し方を聞き取りやすくしたり、授業終了時その他に質問の機会を適切かつ公正に設けたりするなど、できるところから「理解しやすい授業づくりをめざす」という目標を、教員間で共有しました。
・ 講義科目については、これまでも使ってきたようなプリント教材、パワーポイント等のスライド教材などの充実（わかりやすさの追求、情報の盛り込み、画像や動画の導入など）により学生の興味を惹起すること、および、学生の学習効果を上げること、また、レスポンスカード等の積極的使用により学生からのフィードバックを得るとともに授業づくりへ学生も参加しているという意識を喚起することなどが、今後なしうる工夫として話題になりました。
・ 演習科目については、受講学生に「参加している」という意識をもたせることが重要で、そのために次のような工夫を行っているとの報告がなされました:
  (1) ある演習クラスでは、毎回、受講生の中から教師的役割を遂行するものを割り当て、主体的に知識をつけさせるとともに、自主的にクラスを切り盛りさせるという工夫を行っています。
  (2) ある講義クラスでは、教員が話す時間をなるべく減らし、受講生同士のグループワークやディスカッションなどを導入しているという事例が提供されました。同クラスでは、毎回、指名した数名を前に出させてトークさせるなどの工夫も行っています。
  (3) 人数の多い演習クラス（1 年生の「基礎演習」など）では、受講者をいくつかのグループに分け、グループ学習を導入して、グループ内での共同作業の導入、グループ間で競わせる作業の導入など、学生を主体的に学習させるための工夫を行っています。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 10 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　　人間科学科心理学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　　田中　健夫
■検討会実施日　　2018 年 2 月 28 日
■出席者数　　9 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・「１年次演習(心理学)」については，大学でのスタディ･スキルを全般的に学ぶことができ，１年次後期以降の心理学の意欲的な学びにつながった旨の自由記述が多くありました。改善希望と思われる意見としては，「レジュメの作り方に自信がもてない」「発表にあたって作成したレジュメについて評価シートなどでフィードバックしてほしい」等がありました。初めての場合もあるレジュメの作り方について，こうした不安があることを考慮に入れてフィードバックをするようにしていきます。演習後半で読んだ文献については，導入として読みやすく興味深いものであったという記述がほとんどでしたが,「内容が広く浅いため難しい」という意見も１件あり, 文献の選定に反映させていく予定です。その他には，ワープロ作業に習熟していない，口頭での指示だけではわかりにくい，担当回以外の文献の理解が不足だったという自由記述がありましたが，個人差のある経験，指示の受けとめ方について十分にふまえながら，授業を進めていきたいと考えています。
・「２，３年次演習(心理学)」については，2015 年度(同じ前期実施)結果と比較して教室外学習時間が増えており, 授業の実質を高める取り組みは効を奏してきていると考えます。演習クラスについて,「くじで決めること」「(３年次演習で)英語を読まないゼミがある」点についての疑義のコメントがありました。希望をふまえてクラス分けをしており，適正な人数にするために最終的にくじになる場合があったこと，英語論文は多くのゼミで読んでおり，また読むことの必要性は理解されているものと思われますので，引き続き積極的に英語論文も読んでいくように進めていきたいと考えています。
・選択科目である心理学特殊演習の２クラスについては意欲的な学生が多く,「実践的体験ができた」「ゼミよりゼミっぽくてよかった」などと高評価でした。他の学年との交流がよかった，もっとそういう機会を増やしてほしいという意見については，カリキュラム上の制約はあるものの徐々に取り入れていきたいと考えています。
・講義科目については,「コメントペーパーに対するフィードバックがわかりやすい」「他の人の考えていることがわかってよい」という肯定的評価が書かれていました。こうしたフィードバックの形式は，学びの内容を広げ，また定着させるという意味において有効ですが，フィードバックに割く時間が長いという意見も１名書かれていました。フィードバックも授業内容の復習や補足，展開への導入となっている点を理解していただくとともに，バランスをみながら進めていきたいと考えています。
・実験演習の欠席の減点が大きいことについて１名から意見がありましたが，ペアを組んだり小グループで実験を実施してレポートを書くという授業の性質上，現行の基準で進めていくことが適切だと専攻では判断しています。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・前回，教室外学習について，主体的に取り組んでいけるように具体的な課題提示を試みるという方策を挙げましたが，教室外学習の時間は着実に増加しています。事前に疑問点を提出するという方式をとると，次回の授業で扱う該当の章を丁寧に読むことになりますので，演習で採用しているような方法を援用するなどの授業改善をさらに進めていきたいと考えています。
・肯定的な自由記述が多く，引き続き双方向的な学びの機会を提供していきます。新課程においても，

それぞれの授業内容が学生に有機的かつ補完的に蓄積していくことができるように，現在，必修科目について授業のレジュメを専攻内ですべて共有していますが，そのような工夫を今後とも継続していく予定です。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　人間科学科コミュニケーション専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　斉藤　慎一
■検討会実施日　2018 年 3 月 14 日
■出席者数　11 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

授業について自由記述のコメントは概ね好意的なものが多かったです。いくつか例をあげると、「配布物がわかりやすかった」「視聴覚教材により授業内容の理解を深められた」「毎回テーマに沿っていてわかりやすかった」「補足資料が WebClass にアップされていたのがよかった」「他の人の考えや意見を知れてよかった」「コメントペーパーに先生がコメントを書いてくれたので、ちゃんと読んでくれているとわかって嬉しかった」などでした。肯定的評価のほとんどは、授業担当者がアルバイトの助けを借りて時間をかけて学生たちにフィードバックしているものです。学生たちはこういった工夫に喜んだり、授業内容に興味をもったり、モチベーションが上がるのだと実感しました。

一方、コメントの中には「授業で使用されていたマイクが、声が反響してしまったりして、聞き取りづらいことがあったので改善してほしい」という指摘がなどもありました。マイク等教室の設備については、講義の始まる 10～15 分前には教室に入って毎回チェックしますが、前回使用時と異なる状況になっている場合もあり、教員も困っています。今後、管財課とも連携して、授業に支障のないよう教室設備の整備をより一層充実させていきたいと考えています。また、設備については、ボードマーカーのインクが切れている、DVD 上映すると端が切れる、教室が暑すぎる/寒すぎる、など教員からの指摘もありました。黒板にマス目を入れたり、黒板が上下するようになど教室の備品について改善の要望を大学に提出することを検討します。

演習科目については、「板書の字をきれいに書いてほしい」、「書く位置もうしろの人でも見やすいようにしてほしい」という要望がありました。字が汚いこと、また背が低いため気を抜くと低めの位置に書く癖があることは日ごろから自覚しているため、申し訳なく思います。今後はより丁寧に読みやすい板書に努めます。

さらに、「グループ活動はやる人とやらない人の差が出てくるのでどうにかすべき」との指摘がありました。現状でも相互評価シートの導入など授業外学習のがんばりを反映できる工夫には努めていますが、それがより多くの履修者にとってもわかりやすくモチベーションにつながるよう、さらに工夫したいと思います。

講義科目で「毎週の課題のフィードバックが欲しかった(特に計算問題)」と「WebClass の課題の答え合わせの時間が欲しいと感じました」という 2 件同じ趣旨の要望がありました。後期 WebClass で課題を出す授業では、毎回授業時最初に、前回授業で出した WebClass 課題の解答解説とよく見られた回答や間違いについて簡単なフィードバックをするように改善しました。「難しい内容だったのですが、先生が分かりやすく難しく感じないような喋り方だったので入ってきやすかったです」というポジティヴな評価も得られました。また　「毎回の小テストは大変だが「勉強しなければ」と思う動機になったり，自分の理解度を把握できるので良かった」という自由記述が多かったです。効果を上げていることを確認できたので、今後も実施したいと思います。

授業のペースについて　「授業のペースが少し早い」という自由記述がある一方、「ちょうどよいペースだった」とか「ゆっくりだった」という記述もありました。学生の理解度によって適正なペースは異なるので受講生全員を満足させるのが難しいですが、理解度を毎回確認しながら授業を進めていくようにしたいと思います。

アルゴリズムの理解を主体的に学ぶために Scratch を使って受講生が自分でプログラムを組む課題を出しました。「課題が重かった」という自由記述もあれば「面白かった」という記述もあり、これも受講生によって感じ方が異なるので難しいと思う受講生へのサポートを工夫したいと思います。

演習では、「実際に手を動かして何かを作成したり意見を出し合ったりすることでより学びが深まった」という自由記述がありました。一方で「授業時間内に行うにはスケジュールがタイトだ」という指摘もありました。90 分という限られた枠内でワークショップを実施するのは難しいところもありますが、授業開始のチャイムと共に授業をスタートさせる、各ワークの時間制限を明確にするなどの工夫をして、授業の目的である学びのテーマが身につくように工夫したいと思います。

グループワークは「他の授業であまりないので新たな学びがたくさんあった」という記述や、「自分の意見を見つめなおし深めることができた」という記述がありました。「もっとグループワークをしたい」という要望もありましたので、できる範囲でグループワークの時間を多くしたいと思います。

以下、いくつか個別のコメントに対する教員からのフィードバックを紹介します。

課題の提出期限を 2-3 週間後に設定しましたが、もう少し余裕がほしいという記述がありました。もう少し早めに課題を伝えたいと思います。

「メーリスを見落としがちなので授業でもアナウンスしなおしてほしい」という記述があったので、そのようにしたいと思います。

「教員の話し方は聞き取りやすかったですか」の評価が低かったので、もう少しゆっくり話すようにしたいと思います。

授業のハンドアウトを、学期初めにまとめて WebClass にアップロードしてほしいという要望がありますが、
授業の進み具合や受講生の反応などを見ながら各回の内容を改善し充実を図っているので、授業前にアクセスし、ダウンロードしてほしいと思います。

「WebClass の課題を出すタイミングを決めてほしい」という要望がありました。WebClass の課題が、日時設定の操作ミスであがっていなかったことがあり、混乱させて申し訳ありませんでした。今後、日時をきちんと設定し、学生モードでも確認できるかを確認し、このようなミスがないように留意します。

「あまりに文字が小さい図を載せられても、と思います」というコメントについては、レジメの文字が小さいとのことでしたので、今後、印刷物とする場合には十分な大きさとなるように注意します。

「先生の指示のやり方に生徒への対応の差がみられた気がする。（ちょっとわかりにくいのですが、おそらく教員の対応が学生によって違ったということを言いたいのだと判断）」という記述がありました。レポート執筆については、進捗状況や理解度に応じて教員からのアドバイスや指導が異なります。当然、一人ひとり教員から言われる内容、また場合によっては教員の指導を受ける回数が異なってきますが、出来の良い学生に特別に何回も指導してよりよいレポートを書かせたということはありません。

「たまには班のメンバーを変えても刺激があって良いかもと思いました（２年次演習）」（回答）ディスカッションの様子などを見ながら、今後は授業期間の前半と後半での班替えを検討します。

「映像・音声資料があり理解が深まったので、これからも続けてほしい（多数）（講義科目）」今後も視聴覚教材を厳選して、活用していきます。授業内容の理解につながったことがわかり嬉しく思います。

２．授業改善等に向けた具体的な方策 学生・WEB 開示

授業改善に向けた方策については、1.の内容と重複するものも少なくありませんでしたので、重複するものは 1.の方に記載してあります。それ以外のものを下記に記します。

前期に行った二つの講義科目について、「その日の講義内容に即した映像を観ることで理解が深まった」というようなコメントが複数にありました。ただ、ものによっては講義内容に直接関係する映像（主

にニュース番組や情報番組の一部）が数年前のものしかなく、映像が少し古いという印象を与えたかもしれません。引き続き、最新の映像を探す努力を続けていきたいと思います。

あと、特に指摘があったわけではありませんが、講義科目では出来るだけ教員が一方的に話をするような形ではなく、受講生に意見を聞くなど教員と学生のインタラクションを重視していますが、まだ十分とは言えないと思うので、今後さらに工夫をしていきたいと考えています。

印刷資料への追加を板書で行う際、書く分量が多いと読みづらくなりやすいので、今後は追加情報についてもできるだけパワーポイント上で提示するように改善します。

演習でのグループ学習について、昨年２種類だった相互評価シートを今年は単純化のため１種類にしたのですが、今後はまた２種類に戻すことを検討したいと思っています。

実習科目では、90 分という短い時間枠で一つのテーマを完結して伝えるために、授業進度が速く受講生が詰め込まれたと思ってしまうところがあるようです。もう少し受講生に考える時間を与えることで先生が教えるというよりは受講生主体で学ぶことができるように授業の進行を改善したいとかんがえています。

プロジェクタの画面が小さくて見にくかったので、新しいプロジェクタを購入しました。

授業に関する全データを記載し共有している Scrapbox がわかりにくいという記述があったので，パッと見てもわかるような説明を入れるなどして記載方法を改善したいです。

ファシリテーションの知識と実践のトレーニングを受けました。学生が主体的に学ぶためには学生の上に立って指示をする「教員」という立場ではなく、学習目標に向かって学生同士が学びを分かち合い理解を深めていく過程を手助け（ファシリテート）するファシリテーターへの転換が教員に求められていると考えたからです。学生主体で教員は授業をファシリテートしていくような学習形態をより増やしたいと考えています。

理解度の異なる多様な専攻の受講生の理解を助けるため、参考文献・サイトを多数紹介しているので、授業の前後に学習してほしいと思います。

演習科目で夏休み中に学生が自主的に前期のゼミの不満や改善箇所をゼミ生全員に調査し、その集計結果をもとに後期が始まる前にゼミ長と教員で前期の反省点、不満な点及び改善方法（後期の課題や強化する箇所等）を打ち合わせました。後期の初回の授業でゼミ長からこの件をゼミ生に提案してもらい、更に議論をして、自主的に行う課題（教室外学習）と強化箇所を決めました。このことにより、後期のゼミはゼミ生の満足度が改善したと考えられます。

「補足資料でわかりにくかったところを補ってもらってよかった」（講義科目）本来ならば、補足資料を翌週に作成して説明することなしに、理解してもらえるように授業準備をしなくてはいけないと思います。よりわかりやすい事例、よりわかりやすいパワーポイントの作成、そしてよりわかりやすく説明することなどを心がけます。

WebClass 上での学びについて、計画的に学べるように事前にすべての課題を掲示するようにし、十分な準備ができるよう工夫していきます。

授業に関連したデモや記事を Web から探し、授業の中で紹介し、授業後も楽しめるように配布物や WebClass で共有した点が自由記述でも好評でした（「授業の内容に関する動画等を授業中に見せて下さったことで、とても理解しやすくなったので良かったです。これからも関連動画の提示を続けると良いと思います」との意見がありました）。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 2 月 28 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　人間科学科言語科学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　松尾　慎
■検討会実施日　2018 年 2 月 21 日
■出席者数　7 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

・授業中にマイクのせいか「キーン」という音が断続的に鳴っているのがとても耳障りだったので改善を望みます、というご意見をいただきました。気がつかずご迷惑をかけましたが、今後はすぐに知らせていただければマイク設備の調整など対応策を試みますので、遠慮なく口頭でもコメントペーパーででもお知らせください。

・「授業内容が理解できない」と感じる学生の割合が少し多かったように感じました。授業の内容が理解できるように、専門用語の解説は、授業の初めにするようにしています。また、資料や文献が英語の場合に（日本語の文献が無い場合）は、英語の内容をわかりやすく解説すると同時に、資料配付時に重要な部分に下線を引くようにしています。

・授業は実習を伴う内容だったので、本来であれば履修学生は 30 人程度で、お互いに発音を確認をしながら進めるのが理想的でした。しかし、実際は履修学生が 90 名を超えてしまいました。音がよく聞こえなかったり、口が見えなかったりというコメントが多かったと思います。授業ではコメントシートを使って学生の要望を汲み取るようにしましたが、履修制限をして履修学生数を減らし、一人ひとりのケアをするという選択肢もあったかと思います。今後、人数と授業の内容のバランスを取る工夫をしたいと思います。

・2 年次演習に関し

It seems that some students found the course and the amount of homework quite difficult, but also useful and interesting. It can be expected that students will find the course challenging as the seminar is carried out in English and all materials and assignments are also in English.

Writing Skills 2B に関し

There were very few comments, but the comments received indicated that the students found the course challenging, but also enjoyable and beneficial.

Advanced Writing に関し

Based on students in-class comments and comments to the office, it seems that students found the course extremely beneficial in improving their writing in general, but especially in terms of completing their graduation thesis.

・（以下の回答は、言語科学専攻としての回答です）。「2 年次演習」は希望の分野を取り上げるクラスで履修できるようにしてほしいという意見がありました。以前は希望を取った上で人数調整を行っていましたので、希望通りだった人も希望に合わなかった人もいました。現在は教職課程等の各人の学習計画

に時間割上の支障が生じないよう調整することを最優先しています。

Writing Skills 1 A

英語が苦手なので、授業に対し非常に消極的でしたが、Bates 先生はとても優しく教えて下さったので、とても楽しかったです。

Great. A bit of kindness (along with firmness) goes a long way.

みんなが理解出来るようにゆっくりと話してくれて良かった。

Good. It is easy to forget that English is a foreign language to most students.

良かった点はプリントがわかりやすかったところ。writingIA は何を学ぶのだろう、と初めはばくぜんとしていたが授業をとおしていく上で何が重要であるのかを理解することができた。

Keep instructions simple and clear. Don't overload students with information. Try to keep instructions to 1 A4 page.

エッセイライティングが大変でしたが、良い授業だったと思います。

Academic has to be approached in a serious manner if you want serious results.

全て英語による会話の下で行われるため、宿題やテストなどの内容を学生が理解しているか確認や配慮が行き届いておりとても良かった。また、学生に合わせ話すスピードをかえてくれたので内容を把握しやすかったです。

Speaking slowly, clearly, plainly, using repetition, and giving students the chance to process, translate, and comprehend in English is of value to students. They are receiving an education in English.

先生が説明した後に、学生同士で相談する時間をとり、質問コーナーをとってくれたところが良かった。レポートを提出するとき、６段落なのに、最初の週は２段落だけで、次の週は全文だと、全文提出の日の負担が大きくて大変だった。

Students should be given the chance to process information in their first language with each other.

Good. Students need a challenge.

書く力を鍛えられました。ワードでの課題もまだ時間がかかりますが、少しずつ慣れていくことができて良かったです。

Part of a teacher's job is that of a trainer. Students need to have their skills developed, built up step by step.

今まで英語を用いてエッセイを作成したり、文章の構成を考える機会がなかったため、とても良い機会となったと思う。文章を書く時だけでなく、読む時にも役立つような要点をおさえる力がつくような気がした。

Japanese students are very good at writing about their impression of things, and self-reflection. A big part of teaching writing is having students get out of that style. Writing and reading are bound together, so should be

taught that way.

課題が多く大変だったが、自分のためになったと思うので良かった。カードを使って毎回ちがう人とペアを組めたのが良かった。

Students need to be kept busy. Pairing and small group word is an important part of most of my classes. These are usually random, so it makes the experience interesting for students.

人が書いた文章を暗読するという作業が、印象的で面白かったです。エッセイを書く課題の際、１回目の提出が段落１と２、２回目で全段落と、１回目と２回目で課題の分量の配分が差があるので、もう少し１回目を増やすなどして、分量をならして欲しいです。

Students are required to read each other's work and give feedback.

No. By concentrating on the first 2 paragraphs, I am able to check that individual students are in the right direction for the essay.

ライティングのエッセイを書く宿題がとても大変ですが、英語力を伸ばすためには必要なスキルだと思うので、この宿題を出してくれる先生に感謝しています。授業中に先生の話すスピードが速い時があり、聞きとれない時があります。

Good. English writing is not easy, and I do not pretend it is.

OK, fair enough! I do get excited sometimes, and I start speaking too fast. Have to remember to SLOW IT DOWN.

英語のエッセイを書くことは初めてだったので、大変でしたが、先生が添削してくれたおかげでうまく書けるようになっていったことが自分でも実感できてうれしかったです。先生が添削してくれる点はものすごくいいと思います。改善点は、たまに行う、出席の返事の時に先生に英語で質問を考えるのを、毎回やってほしいです。毎回じゃなくても回数をふやしてほしいです。

Great! Doing corrections is teaching.

Question times are quite limited in writing class, as there is always a lot of information that needs to be given. Questioning cannot go on for too long, as it takes up too much time.

英作文を書いて添削してもらうのはとても良かったが、読みづらい字が多かった。生徒が分かりやすいように説明してくれたのが良かった。

Ooops. At least I always give students the opportunity to ask about any comments I make on their paper that they don't understand.

Again, helping each other with processing information.

Writing Skills 2A

英語が苦手な子でも大丈夫なように周りと確認する時間を設けていた所。

It is important to set the classroom up as a supportive environment FOR ALL.

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・演習の授業でレポートの書き方、特に構成の立て方、文中での引用の仕方、文献リストの作り方（書誌情報の記載方法）を詳しく取り上げたことが役立ったという意見を複数いただきました。中間課題にも間に合うよう、なるべく学期の早い時期から取り上げていきたいと思います。

・人数の多い講義科目では、毎回の質問やコメントを次回の授業の最初に紹介し、質問に答えたりコメントへのフィードバックを行ったりすることで前回の復習をするとともに、受講生間でもお互いの意見を共有し、それに刺激された意見を提供してもらえるようにしています。

・授業毎に受講学生に振り返りを書いてもらい、その中から何名かの学生の振り返りを紹介しています。コメントを加えることもありますし、振り返りの中に質問があれば答えるようにしています。

・比較的大人数の授業であっても授業中にペアワークやグループワークを取り入れ、その結果を全体共有してもらうようにしています。少しでも学生が主体的に授業に参加できるよう努めています。

・授業内容に関連している学内外で開かれるイベントや講演、研究会などを紹介しています。例えば、日本語教員養成課程の学生には日本語活動（難民留学生、日本人学生、大学院生などが参加）を紹介し、入れ替わりで多くの受講学生が参加しています。また、明治大学で開催されたヒューマンライブラリーには 10 数名の学生が参加し、多くの学びと刺激を受けたとの報告を受けています。その他、UNHCR の難民映画祭も毎年、受講学生に案内していますが、映画祭で映画を見ることで授業での学びを深めている学生がいます。今後とも、こうしたイベントや講演、研究会などを紹介していきたいと考えています。

・ゼミの授業では、ゼミ日誌を書いてもらっていますが、その中から次回の授業でディスカッションができるようなテーマを探し、授業の中で日誌に書かれていたことが扱われるように心がけています。

・授業で扱う内容が難しい場合には、グループで相談ができるようにグループワークの準備をしています（グループのカードを作る、課題をまとめる話合いに使う画用紙を用意する、など）。

・授業内では、道具を使って体験・体感できる工夫をしています。授業外では、Web 教材も活用して練習の機会をもうけていますが、各学生がどれほどアクセスができているか管理できていません。

・2 年次演習に関し

To improve the course, I have reduced the number and type of assignments a little. However, rather than simply reducing the amount of work, I have added extra guidelines and changed the schedule to make it more manageable. In addition, I will give students more time to read the assigned papers and complete the homework.

Writing Skills 2B に関し

I will work on improving the materials and instructions to make them even clearer. Also, I will require both secondary and primary English-medium research to maximize the amount of English input during the course.

Advanced Writing に関し

To improve the course, I will set smaller assignments each week that will help them build their graduation thesis from an earlier time period. Also, I will provide more handouts regarding APA, research methods, and data analysis.

・2018 年度の「統語論」は、第二外国語科目の言語（韓国語・中国語・スペイン語・フランス語・ドイツ語）と履修者の中に母語話者がいた言語（ビルマ語・中国語）を言語学的な観点から見直すグループワークと、講義の組合せで構成しました。（履修者の皆さんご協力ありがとうございました。）教科書・講義で学んだ基礎を各自が自分に合った範囲・方法で活かしてレポートを書くことができるよう、それぞれの言語を取り上げた研究書や論文、信頼できるウェブサイトを紹介しました。

・学習意欲は高くてもグループワークが必ずしも得意ではない学生も存在します。そうした学生にはグループワークで書記の役割を担ってもらうなどすべての学生が十全に参加できる工夫をしています。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	数理科学科数学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	大阿久　俊則
■検討会実施日	2018 年 3 月 10 日
■出席者数	8 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

(1) ある授業では、もっと大きい黒板のある教室が良いという多数の意見がありました。数学の授業では複雑な式や図の板書も多いため、大きめの黒板のある教室を割り当ててもらえるよう数学専攻として要望しました。

(2) いくつかの授業で板書が読みにくいという意見がありました。特に数式の判読がしづらい場合があったようです。今後は字の大きさに配慮して板書しますが、特に添字などはどうしても小さくなることがあるので、読みにくい場合は直接質問してください。教室の前方の席が空いていることも多いので、なるべく前の席に着席するのも良いと思います。また(1)のように、なるべく大きな黒板のある教室を割り当ててもらうことで改善できる部分もあると考えています。

(3) 板書のスピードが速くてノートを取るのに精一杯で、しっかりと授業を聴く余裕がなかったという意見がありました。今後は板書のスピードと説明の時間配分等について配慮しますが、教えるべき内容との兼ね合いもあり、時間の余裕があまりないこともあります。毎回予習や復習をしっかり行うことによって授業が格段に理解しやすくなると思います。また、教科書や教材を使った授業では、要点のみをノートに取るというやり方もできると思います。なお、スマートホンなどによる板書の撮影は担当者の許可があったときだけにしてください。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

(1)大きな黒板のある教室を要望する声が学生からも教員からもあったため、2018 年度授業計画作成に当たって、数学専攻の授業には大きな黒板のある教室を割り当てることを文書で要望しました。

(2)数学専攻の 2 年次以降の科目では、問題演習のみを行う授業がありませんが、各担当教員が、頻繁にレポート課題を課す、授業内に問題演習や小テストを行う、などの工夫によって受講生が授業内容を復習して消化するための機会を提供しています。受講生からはそのことを積極的に評価するコメントが多く寄せられました。一方でごく少数ですが、課題が多すぎるという意見もありました。授業を理解するためには、予習と復習が重要です。授業の内容を復習しながら問題を解くというプロセスは数学の理解に欠かせません。授業だけで数学を理解するのは困難です。

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　数理科学科情報理学専攻
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　加藤　由花
■検討会実施日　2018 年 3 月 10 日
■出席者数　6 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

- 授業のスライドを授業用の Web ページにアップロードしておき、いつでもどこからでも見ることができるようにしていたところが好評でした。今後も続ける予定です。
- Java 以外の言語も学習したいと思いました。→1 つの授業の中で様々なプログラミング言語を扱うのはなかなか難しいことですが、他の授業も含め、複数言語を経験できるよう工夫したいと思います。
- 先生の話すトーンが暗くて低くて聞こえにくかったです。→毎授業中行っていたクイズのコメント欄でも同様の指摘があり、途中からマイクを使用するようにしました。話し方については、授業の最初の方では気を付けていても熱中し出すと徐々に話し方への注意が無くなってくることは自覚しており、来年度以降は改善したいと思います。
- アンケートの自由記述欄ではないですが、毎授業中行っていたクイズのコメント欄でその日に学んだ内容のどの部分が面白かったのかを書いてくれる方がいました。授業を行う側として大変参考になりますし、また励みにもなりますので、今後も授業評価アンケートに関わらず忌憚なく意見を述べてもらえるとうれしく思います。
- 文系の学生さんから理系の授業を受講出来て良かったとのコメントがありました。また、いくつかの授業で分かり易かった、履修して良かったとの評価がありました。→今後も分かり易く、満足度の高い授業を心だけます。
- 履修者の多い授業では騒がしい時があった。→こまめに注意する様に心掛けたいと思います。
- 期末試験の予想問題集の配布がテストの準備に役立った。→今後も継続したいと考えています。
- 実験をする機会が今まで余りなかったので良かった。→講義で学んだ理論を直接に利用する実験で、実習室のコンピューターでデータ解析をしたので、授業・実験・解析が有機的に連携していたと思います。解析が少し難しかったこともあり、全員にレポートを再提出してもらいましたが、大幅に改善されたレポートもありましたので、教育効果はあったと考えています。レポートと解析の方法を事前にもっと丁寧に説明することを、来年度の改善点とようと考えています。
- 参考書があった方が良かったと思う。→参考書はシラバスや初回授業で紹介したのですが、分厚くて上下巻のものだったので、買うのは躊躇したかも知れません。一方、配布プリントは記述が淡白だったかも知れませんが、現在、それに例題、章末問題、コラムなどを追加して推敲を重ねており、来年あたりに教科書として出版される予定になっています。
- 数理的な考え方を理解するのが難しかったので、もう少し説明に時間をかけてほしい。→とくに数式については、生物学的な意味が理解できるよう丁寧な説明を心がけます。
- 植物の話が多かったので、もっと動物のことを取り上げてほしい。→テーマによって説明に適した生物があるので難しいのですが、取り上げる生物の種類に偏りが無いように工夫します。
- コメントペーパーに質問を書いてもらい次回に答えましたが、疑問がすぐに解消されるので非常に良かったという意見が多くありました。これからも続けたいと思います。

・できるだけ映像資料（写真、動画）、実物（標本）を用いました。講義で取り上げられる生物、概念、数式等について実感が得られ理解が深まったという意見がありました。今後も映像資料や実物を用いた授業を行っていきます。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・アンケート結果によると、授業内容の理解がやや不足しているように見受けられたので、次年度では、その原因を探りながら授業を進めることにします。
・WebClass を利用し，学外からも講義資料にアクセスできるようにしました。概ね好評でした。
・毎授業中に行っていたクイズのコメント欄で「内容が難しかった」という感想を複数人からもらうことが多くありました。主にパワーポイントスライドを用いて講義を行ったので、情報量が多くなり過ぎていたかもしれないと反省しています。来年度以降は本科目の担当ではありませんが、今後の担当科目では基本事項を板書で解説し、発展的事項をパワーポイントスライドに回すなど授業の構成を工夫したいと考えています。
・履修者数の多い（59 名）科目で講義内容があまり理解できなかったとの回答者が 5 名いました。履修者が多い科目でいかに集中力を維持できる様にするか、というのは中々難しい課題ですが、座学だけでなく、講義内容の理解を深めるための実験のテーマを増やす等、興味を持続しながら学習できる様な工夫を引き続き試みたいと思います。
・レポートの書き方とコンピューターによる解析について、事前説明に時間を掛ける、または予習準備用のチェックシートなどを作るようにします。
・教科書を指定する、または配布プリントの内容を充実させます。
・問題演習の時間または過重でない宿題を増やすようにします。
・課題の回数を増やし、一方で１回の課題の量を減らすようにします。
・講義で配布するレジュメは、テキストの記述とあまり重複せず、テキストを補完するようなものにしていきます。
・テキストに載っていないテーマも取り上げ、講義全体の内容を充実させていきます。

「2017 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 3 月 30 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　女性学研究所
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　李　津娥
■検討会実施日　2018 年 3 月 29 日
■出席者数　2 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

＜女性学・ジェンダー関係科目の性質上（詳細は末尾＊注を参照のこと）、現状では個別アンケート結果の「持ち寄り」ができないため、割愛させていただきます。＞

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

女性学・ジェンダー関係科目全体の総合的評価として設問１３「授業への満足度」は 94%を超える高い評価でした。具体的な評価項目をみると、設問３「シラバスに基づく展開」、設問５「授業の準備･計画性」、設問８「教材の適切さ」、設問１０「授業運営の適切性・公正性」、設問１１「教室外学習の指導」、設問１２「授業の対象分野への問題意識・関心」、設問１３「授業への満足度」において、「非常にそう思う」、「ある程度そう思う」を合わせた肯定的回答がいずれも 94%を超えました。設問４「シラバスの有用性」についても、9 割を超える高い評価が得られました。今後も授業の展開を理解し、女性学・ジェンダー問題に対する理解を深め、計画的に学習を進められるよう、シラバスの有用性をより高めたいと思います。設問９「受講者の理解度の点検」についても、9 割を超える高い評価でした。今後も引き続き学生の理解度の点検を丁寧に行っていきたいと思います。

設問１１「教室外学習の指導」においても高い評価が得られましたが、実際の教室外学習の時間について、週 1 時間以上の割合が前回より若干増えました。引き続き毎回予復習を行うべき部分とポイントを明確に提示し、教室外学習の指導を丁寧に行っていきたいと思います。最新の資料や文献などを多数紹介し、図書館を積極的に活用するよう、指導していきたいと思います。女性学・ジェンダーに関する研究分野への問題意識や関心をより深められるよう、女性学・ジェンダー分野の問題を学ぶ自主的学習を促し、女性学・ジェンダー関係科目のさらなる充実を図りたいと思います。

＊注　「女性学・ジェンダー関係科目」について

授業評価アンケートの実施にあたっては、本学が開示している全シラバスの中から「女性学・ジェンダー関係科目」を抽出しています。抽出に際しての代表的なキーワードとして挙げられるのは、「ジェンダー」、「家族」、「男女共同参画」、「キャリア」などです。また、全体的な抽出基準としては、ジェンダー（社会的・文化的性差）に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共同参画社会のあり方を考える視点を養う上で有効であることが重視されています。

2. 全学共通カリキュラム*等（学科科目以外）

＊全学共通カリキュラム
　総合教養科目、キリスト教学科目、外国語科目、日本語科目、情報処理科目、挑戦する知性科目

（1） 2016 年度前期「学生による授業評価」アンケート

「授業評価に関する検討会」報告書

（学生へのフィードバック・授業改善等に向けた具体的な方策）

目　次

総合教養科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.58
総合教養科目＜女性のウェルネス領域＞担当者会 ・・・・・・・・・・ p.59
キリスト教学科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.60
第一外国語運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.61
第二外国語運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.69
日本語科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.70
情報処理教育運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.72
教職課程運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.73
学芸員課程運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.74
女性学研究所（女性学・ジェンダー科目）・・・・・・・・・・・・・・・ p.75

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 11 月 1 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	総合教養科目運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	光延　真哉
検討会実施日	2017 年 10 月 25 日	出席者数	9 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

コメントペーパーで寄せた質問、意見に対する教員のリアクションについてのご要望がありました。授業時間内でのコメントの紹介、回答は、特に履修者数が多い授業ではどうしても取捨選択せざるを得ない面があります。もし自分のコメントが授業時間内に取り上げられなかった場合には、どうぞ遠慮なく、直接教員に尋ねてみてください。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

履修者数が多い授業については、プリントの配布が円滑に行なわれるよう、必要に応じて、ＳＡをつける、ウェブクラスを活用するなどの対応を取っていきたいと思います。総合教養科目は非常勤講師に担当をお願いする授業が比較的多いですが、非常勤の先生にもこうしたシステムをより積極的に活用して頂けるような工夫を心がけていきます。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 15 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	総合教養科目「女性のウェルネス領域」	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	曽我　芳枝
検討会実施日	2017 年 3 月 10 日 （非常勤の方々へは、メールで 10 月 1 日から 7 日）	出席者数	15 名 （内、非常勤講師　12名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

要望

・体育館の構造もあるが、たまに指示が聞きづらい。（必修）
　→回答：大学に改善の要望を出します。

良かった点

・毎週楽しかったです。（必修）
・ヨガ、ピラティス、マッサージとスポーツ以外のことも学べてとても良かったです。（必修）
・家でもできそうなエクササイズなども教えてもらい良かった。友だちも増え、チームワークでたのしむスポーツができてとても楽しかったです。（必修）
・知らないスポーツ（シッティングバレー、キンボール）も体験できてよかったです。（必修）
・激しすぎる競技がなかったので、運動が苦手な自分でも楽しめました。（必修）
・高校の時の体育と違い、楽しんで取り組むことができました。（必修）
・ダイエットや貧血や腸内環境など女子大生が興味のわくことばかりで楽しかったです。（講義）
・身近なお話から分かりやすく進めて下さったので、とても満足しています。（講義）
・食品添加物やダイエットなど身近な話題についても取り扱ってくださり、ためになりました。（講義）
・女子大学だからこそ性についてより詳しく学ぶことができたので良かったと思います。（講義）
・からだに関する授業ということで、特定のことではなく幅広い分野を学べたのが非常に良かったです。スライドもカラーで資料も使用していただき、とてもわかりやすかったです。（講義）
・自分の身体について詳しく知ることができて良かったです。（講義）
・映像や写真などの資料が充実していたので、とても理解しやすかったです。（講義）
・とても分かりやすく、ためになるものでした。私たちと同じ女性がこれまでどんな扱いを受けてきたのか、様々なことを考えることができました。（講義）

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・必修の教科書（ハンドブック）の内容について吟味し、教材の変化等に合わせた追記・修正を行っています。
・新しいトレーニングシステムの導入をし、これまで以上に各自の身体について理解し、その変化もわかりやすいものにしました。
・これまで荒れていたグラウンドを整備し、冬季でも緑豊かな芝生を敷設する事にしました。これで、より運動しやすい環境が整いました。
・授業の中で、スポーツや運動が苦手な学生でもできる教材をもっと工夫し、日常生活にも取り入れることができる運動を指導していきます。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 21 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	キリスト教学運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	佐野　正子
検討会実施日	2017 年 3 月 16 日	出席者数	3 名 （内、非常勤講師　0名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・出席が厳しい→授業に出席することを前提にして授業は組み立てられています。

・プリントが分かりやすかった→これからも授業の助けとなるプリントを配布したいと思います。

・毎時間コメントを書くことは、内容を振り返る時間となり理解が深まって良かった→コメントは毎回目を通し、次回の授業で幾つかコメントを紹介し、また質問が書いてある時には次回の授業で答えるようにしました。学生のコメントによって、学生の授業の理解度を見ることができ、分かりづらかったと思われる内容は次回の授業で補うようにしました。

・回収した課題を戻して欲しい→一人ひとりにコメントを付けて返すことは、１００名を超える大型授業では時間的にできかねますが、次回の授業に反映させ、ときには書かれたコメントシートや予習シートの内容を紹介して授業を進めました。自分が書いたことが取り上げられず、正しかったかどうか心配な人は是非質問に来てください。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・ 予習シートや具体的な予習箇所を提示することにより予習がしやすくなり、授業内容の理解度が深まったことがコメントシートに表れている。

・資料や画像、映像などを積極的に用いて、授業の内容の助けとしたいと思います。

・一方的な講義ではなく、時々学生の考えや意見を聞いたり、コメント用紙に書いてもらい、学生たちの理解のフィードバックを心がけたいと思います。

・授業の進み具合は、学生の理解度を見ながら、皆が理解できる適正なスピードを保つようにしたいと思います。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 20 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	第一外国語運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	野村　恵造
検討会実施日	2017 年 2 月 24 日～3 月 8 日（メール会議）	出席者数	25 名（内、非常勤講師　21 名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

学生への直接的なフィードバックだけではなく、先生方が行っておられる工夫も含めて、寄せられた情報をそのまま掲載しました。ただし、一部、文言を調整し、また、学生のコメントとそれに対する教員の回答が明確に分かれている場合は、「学生のコメント→教員の回答」としました。

■日本人教員のコメント

1. 設問２（教室外学習の時間）が「週一時間未満」との回答が１３件ありましたので、教室外での学習方法についてやや詳しい指導の必要性を感じています。
　設問４（シラバスの有効性）については、全体として授業シラバスに沿いながらも、学生の理解度を見ながら適宜進度を調整しましたが、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」がそれぞれ 7 件、1 件ありましたので、工夫していきたいと思います。
　設問１４（読解力向上）については、後期は教科書以外の素材（英語で書かれた新聞・雑誌記事、インタビューなど）を用いて、英語の学習を通して現代社会の直面する諸問題に対する意識を高められるような工夫をしました。

2. 授業外でのリーディングにつながればと思い、毎回授業の初めにリーディングプレゼンテーションと称して２・３人にそれぞれ３分ほどで自分の選んだネット上の記事などの発表をしてもらいました。学生のコメントを見るとポジティブなものが多く、教員である私自身も学生の興味や習熟度を知ることができる良い機会になったと思っています。
　毎回コンピューターを持参し、関連するビデオを見せたり、パワーポイントも使用しましたが、コメントの中に「後ろの人に見えたか気になった」というコメントがありました。確かに、座席によっては見えにくかったかもしれませんし、もっと板書するなど配慮が必要であったと気が付かされました。
　今年度は４限（上級クラス）と５限（普通クラス）を担当させていただきました。データを見ると４限の方が数字が良く、コメントも多くありました。５限で使った教科書は今年初めて使ったもので、私の教材研究が足りなかったのかもしれないと申し訳なく思っています。

3. 「単調な時があって中学校の授業みたいだなと思いました。」
→教科書の構成が各チャプター同じなので、このアンケートを実施した頃にはチャプターを６つくらい終了しており、学生には予習がしやすいと思いましたが、このような意見が出てきてはっとしました。これは regular クラスからの感想というのも意外でした。進路の都合上、どうしても各チャプター最後の Discussion や Writing は飛ばしがちでしたが、これからはここをもう少しカバーして変化を持たせたいと思います。

4. 文法を忘れ始めているので、もっと確認しながらすすめたい。Reading のクラスなので、テキストに出てきた文法はその都度取り上げましたが、それ以上の文法項目を授業中に取り扱う時間はないので、例えば「マーフィのケンブリッジ英文法」の（初級編）や（中級編）を授業中に紹介してみようと思います。これらは大学でも貸し出しがあるようなので。また定期試験では１０点分文法項目を課しており、その際は上の文法書の該当部分をコピーして渡しています。

5. 「高校の時に比べ多読本を読む機会が増え、英語に慣れることができるようになりました。」
→多読点として１００点中１０点を当てましたが、全く関心を示さず、取り組めない学生もいた中、こういう感想には、こちらが励まされました。
　設問１２（授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や感心が深まりましたか）と設問１３（総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか）の２問に対して評価があまりよくありませんでした。教室外での多読を強調したので（本の貸し出し、プリントの配布など)、多読に興味を持てない学生には満足度が得にくかったのかもしれません。新学期の導入部分でもう少し多読の必要性を理解させるような工夫をしたいと思います。
　授業改善のためのアイデア・工夫となるかわかりませんが、できるだけ教科書で扱っているトピックに関連した英文の記事などを配布しています。またそれらは authentic な物です。多読用の貸し出し本は最初から全部提示せず、前半と後半で入れ替えたりして、興味が続くようにし、配布するプリントはその都度内容を簡単に説明して、興味を持たせるようにしています。

6.　設問１４（読解力向上）について、この評価が非常に思う 7 人、ある程度思う 8 人、あまりそう思わない 3 人の結果でした。この結果は他の結果と比較してあまりよくありませんでした。リーディングの授業ですので、ここは反省すべき点です。e-learning を取り入れ、期末テストにも出題しましたが、もう少し細やかに進度をチェックし、授業外学習を促せばよかったと感じています。

7. もう少しわかりやすく話すよう心がけ、発声に気をつけたいと思います。予定していた分量を読み終われるよう、ディスカッションや演習などの時間配分に気をつけます。読解力の向上に役立つ授業を行なうよう、内容を充実させていきたいと思います。
　語彙力の向上のため、学期の中間に語彙力テストを実施しています。テキストの内容理解を深めるために、テーマに関連する書籍を紹介したり、資料を配布しています。ディスカッションは活発に行なわれていますが、一人ずつの口頭での発表はまだ苦手な学生さんが多いようです。どんどん意見を引き出していけたらと考えています。

8.「Unit ごとに確認の速読問題を解いたのは、勉強になった」
→よかったと思います。今後も定期的に学生の理解度を確認しつつ、丁寧にフィードバックしていきたいと考えています。
「速読問題の制限時間をもう少し伸ばしてほしい」
→授業時間内の学習のため限度はありますが、検討していきたいと思います。
「難しい文の細かな文法の説明をもう少し詳しくしてほしい。」
→説明が不十分なところがあったようで、反省しています。今後は詳しく板書したり、定期的に一人一人の理解度を確認したりすることなどを心がけ、学生のさらなる理解を深めていきたいと考えています。
今年度の授業では、学生の理解度を確認するために、Unit ごとに学習した内容に関連する速読問題を解きました。定期的に学習を振り返るよい機会になったと思います。今後はさらに学生の意欲を高め

るために、より丁寧なフィードバックの時間と機会を設けたい。また多読学習のため、学期中に数回、学生に Reading Log を提出してもらった。授業の外で英語を読むという意識付けに役立ったかと思います。今後はこの機会をさらに活かし、学生同士で読んだ本の情報をシェアする機会などを設けていきたいと思います。そうすることで、授業内でのディスカッションもさらに盛り上がるのではないかと期待しています。

今回の結果を謙虚に受け止め、次年度もさらに学生の興味や意欲を刺激し、主体的な学習を促せるよう、彼らの関心を引きつけられる授業を心がけていきたいと思います。

9. 「長文を読む時間がもう少しほしい」との声が寄せられました。本文の種類によっては限られた時間内で問題を解く作業も必要なため、その点について後期にクラスでフィードバックし、本文に取り組む際、目的を共有できるように、より詳しく説明するようにしました。

単語の派生語も紹介するようにしていますが、この点については好意的な意見が寄せられました。語彙力強化も目指しておりますので、英英辞典の定義のみならず、なるべく派生的に語彙を覚えられるように今後も心がけていきたいと思います。また、授業改善につきましては、テキスト以外の教材の種類を豊富にしていきたいと考えています。

10. 進む速度が速いと感じる学生もいるようですが、読めば読むほど読めるようになるので、なるべくたくさんの英文を読んでもらいたいと思っています。

ただ英文を読むのではなく、内容を深く考えながら読めるようになってほしいので、適宜プリントなども使うようにしています。

11. 「授業中に質問がまとまらず、すべてを発言することはできなかった」という内容のコメントが 2 件ありました。このコメントをもとに、後期の授業では、授業中に質問を筆記して授業終わりに自由に提出する、という方法を試みました。

「授業中に質問の時間が十分にとられていた」という全体の評価が高かったのに対して、個別のコメント欄には、「十分な質問を授業中・授業後にすることができなかった」という記述が見られました。疑問があっても、十分にまとまっていないために質問を躊躇してしまうケースがあることを認識しました。

前期は、質問・疑問は授業中・授業後またはメールで、以前に読んだユニットにさかのぼっても受け付け、重要と思われたものは授業でも取り上げていました。後期はさらに、コメントペーパーに、また課題の提出時に、自由に質問を書いて出してもらうという方法を取ることにしました。

その結果、一つのリーディングにつき、重複するものをまとめて平均 10 個ほどの質問が提出されました。質問は、トピックに関することからグラマーや表現に関することまで多岐にわたりましたが、授業中には質問されていなかったことも含まれていました。

それらの質問に対しては、個別に記述して答えると同時に、次の授業の最初に一つずつ全体に対しても説明し、ディスカッションすることもできました。次年度の授業にもこの方法を取り入れてみたいと思います。

12. 総じてもう一方の授業よりも評価が高かったのですが、読解力向上についてはもう少し学生が意識・自覚できるように授業展開をしたいと思います。テキストだと章ごとの文章の難易度にあまり違いがなかったため、後期（Reading IIB）では難易度をあげた文章も扱うようにしました（プリント配布）。読むスピードをあげる練習も含めて、次年度は年度の初めから計画的に行なえたらと思います。

他方のクラスも数値（人数）で見るとやはり、設問 14（読解力向上）の満足度が相対的に低かった

ため、後期（Reading IIB）では難易度をあげた文章も扱うようにしました（プリント配布）。読むスピードをあげる練習も含めて、次年度は年度の初めから計画的に行なえたらと思います。

13. 文章全体の内容の把握とともに、英文表現に時折含まれる、微妙なニュアンスの違いが分かっていない時には、説明を加えています。そのためか、進み具合が遅くなり、シラバスとずれてしまうことがあります。担当したクラスの学生のレベルにあわせ、シラバスを臨機応変に変えていくことにしました。

14. コメントが「ありがとうございます」など抽象的なものばかりで、フィードバックできるような具体的な記述はありませんでした。アンケートの結果については、好意的に評価してもらっていると思うので、特に回答などはありません。
　苦労していることは、予習してくる学生とそうでない学生が混在していて、授業のペースを守るのが難しい場合があります。後期は予習確認小テスト（教科書やノートは見てもいいが辞書はダメ）をやったところ、あらかじめ辞書を引いて全文に目を通すなどの予習をしてくる学生が増えました。

15. 「ペースが丁度良く、英語が苦手な私でも理解しやすかったです。」「Pleasure Reading として、5 分でいいから多読の本を読む時間があれば、楽に読み始められると思った。」「先生が丁寧で生徒のことを考えてくれて英語のクラスに初めて苦を感じませんでした。よかったです。」
→限られた授業時間内で取り上げたい内容は多く、何にどれだけの時間をかけるか?が、常に難しい問題でした。今後も、学生にとって真に役立つ授業となるよう、工夫してまいりたいと思います。
　以上の学生コメントを受けて、後期の Reading IIB では、授業の始めに 5 分、多読の本を読む時間をとりました。また、多読に関心を深めてもらうために、毎授業 3 人ずつ、多読に関するフリースピーチ(約 1 分)をしてもらいました。全体として、多読については定着したように思われるものの、テキスト以外の時事ニュースの Reading に費やす時間がなくなってしまい、どちらを取るべきだったか?と未だに迷っています。

■英語母語話者教員のコメント：

1. Both classes involved pair work and small group work. Supplemental material involved activities such as information gap-fill activities, surveys, and grammar practice on occasion. Other times students needed to take part in authentic listening activities and answer questions responding to gist and details. I don't think my students did surveys this year, so I don't have their comments.

2. On my end, my classes were a bit higher level this year than in years past, especially my CS classes. I could do a lot more with them. The text dictologosses were very easy for them, so I used some movie clips and other real stories such as news clips or "stories from my life" that were more challenging and interesting for the groups. I was amazed at how many details they got, even with movie clips that were difficult in my opinion.
In DS, I focused on textbook activities and textbook based topics in the first term, then in the second term on discussion leading with more than half of the material student-chosen. I tried to lead them though how to see an article as a spring board for discussion by looking at the different aspects of the topic. I have done this for several years now, but each year I try to explain and model the ideas a little better and feel that this year students were able to go deeper into their topics than in years past.

Next year I will continue to work on encouraging logical thinking and analyzing input.

3. With regards to the classes I teach there were no comments to comment on! The results of the classes I teach, however, were for the most part above average. I was, therefore, generally pleased with the results and did not deem it necessary to make any modifications to my teaching methods. The only adaption I made was to give the students more information about the syllabus in the first class. In many cases, the syllabus is written by one teacher on behalf of all the other teachers and may lack certain details.

4. 「I can speak English. I practice speech every week.」「English speech is very difficult. So I studied very hard every week.」「Thank you for your great class. It was first period class and it hard to come. But I never think I do not want to go your class except emergency.」「I hope practice times get less gradually. It's like at the beginning of the course. We practice three times or twice, before we give a speech. But the end of the course. We practice one time or zero.」「英語で話すことを実践できた点で良かった。」「楽しい雰囲気で授業を受けるができました。」
→I took in one of the students' feedback and in the second semester, I cut down the practice time .

5. 「I enjoyed talking with you every time. Thank you very much.」「答える機会等平等で良かった。また、毎週楽しい話、印象深い話があり、耳もきたえられたと思う。」「たのしかった。」
→Probably because of what they are majoring in, students in Class XX seemed to be more motivated in learning English.

6. 「Thank you!」
→You are very welcome! I really enjoyed our classes.
「Thank you for exciting classes!!」
→You're welcome! They were exciting for me, too. I want you to know that even though our course has finished, journalism and the news are very exciting subjects and you can continue to study them forever! Please use the links I gave you on our class website to help you do this.
「Our class conversations were not always the same as the textbook.」
→That's true! We use the textbook to help us learn about different aspects of journalism, for example "what makes a story news". Then we analyze current articles and news events to see how these guidelines apply to them.
「Interest class that I ever took.」
→I'm so glad to hear you say that. I want you to know that the class was also extremely interesting to me. Even though the class has finished, journalism and the news are still interesting subjects to study! Please use the links I gave you on our class website to help you do this.

I love teaching this class, both because I am strongly interested in the subject matter and because I think it is critically important for students to gain the skills necessary to understand and analyze national and international media. I feel that the course is going very well and the results of the student evaluations strongly support this. Examples of topics we cover during the spring semester of this class include understanding the roles of reporters, news agencies, and newspapers, the structure of the "inverted pyramid" article construction and how it differentiates

journalistic writing from other styles of writing, and the value of press freedom and how strict limitations on the free flow of information can affect society.

As for innovation in the class, I have for several years maintained a comprehensive blog specifically for my students at TWCU. Journalistic English topics covered on the blog include aspects of journalism and story construction discussed in class, articles containing background information to help the students thoroughly understand current events in context, and information to help provide detailed answers to the students' questions. The class blog received about 7000 hits during this semester, suggesting that students refer to it very often.

「In this class, my English skill improved very much!」
→Thanks very much for your comment, and I'm glad! You can be proud of your progress, because if your English skill has improved, it was your work that made it possible.

This is an important class in that it helps students to enhance their ability to read quickly and critically, express their opinions on various issues both orally and in writing, and vastly increase their knowledge on a wide variety of subjects through their work analyzing dozens of articles. Thus, it is an excellent companion to the Journalistic English class and very satisfying to teach. Students seem to look forward to this class and enjoy participating in it, which is fortunate because most students work hard on their news files. On the evaluation form, students gave the class a very positive rating.

Regarding innovation in the course, as mentioned above, I maintain a blog for my TWCU students which is used frequently by the students. Articles which generate intense interest during class discussion are reposted on this blog, and I also use it to provide background information or expand upon answers to questions asked in class. The blog thus acts as a sort of online archive of the students' work and thoughts throughout the course.

7. I taught four CS classes this past year and had two challenges with the course. The first was that there were too many desks in the classrooms which made it difficult for me to move around and monitor effectively. Having about 5 fewer students/desks in the room would have been ideal (or a larger room). Also, although I really like the listening exercises in the textbook, I found it difficult to use at first and needed to add quite a lot of supplementary material/activities to keep the students interested. It would be a good idea to have new teachers talk with others who have taught the text before. The best part of the course are the listening exercises as I felt like my students significantly improved their skills over the year.

I taught two DS classes this year. The first challenge I had was getting the students to speak in English. As I monitored, I would call on those using Japanese and write their names down. I would also keep track of who was using English the entire time. Towards the end of class, I would go speak to both types of students. To those who used Japanese, I would explain how many points they lost that day. To those speaking in English I would thank them for doing a great job. On about three occasions, I stopped the class mid-activity and make them start again when I felt like too many people were not using English. By mid-term of the first semester most students were speaking only in English during the exercises.

The other challenge was with the text book. At the first, it was difficult for the students to

follow the procedures so I would suggest to new teachers that they need to go very slowly and write the procedures (with examples) on the board for the first 4 or 5 weeks. Also, there was a handful of difficult vocabulary in each unit that I ended up giving my students as homework and quizzing them on at the beginning of each class. I found discussions were much better when I also made them prepare their answers to the discussion questions for homework. Overall, I liked the textbook and found it was great for preparing the students for natural discussions.

I taught one Listening/Presentations class. This is a great course and gives the students lots of opportunity to speak English. The textbook is well-organized and topics are interesting, however the listenings were too easy so I had to use supplementary materials and extra activities to challenge them.

8. My overall impression is that students enjoy the class, as it is filled with a variety of classroom activities of which they can learn language skills in a relaxed and non-threatening environment. Activities such as look up and speak and act it out, allow students to perform and develop their language skills within a range of direct rote memorization versus a less constrained method allowing freedom of expression and imagination. Vocabulary is introduced through listening and writing exercises, and is reinforced through natural pronunciation exercises. Writing assignments and drama performances further develop language skills using the vocabulary learned throughout the course. Vocabulary, writing, listening and speaking midterm and final examinations are given for students to measure their progression in the English language.

   Student feedback I have received has encouraged me to continue the teaching methods referred to above. Always trying to make sure all students understand clearly what is expected of them, and keeping a relaxed classroom atmosphere for language learning in which they are fairly assessed is the constant challenge of which I strive for.

   Again, my overall impression is that students enjoy the class, as it is filled with a variety of classroom activities of which they can learn language skills in a relaxed and non-threatening environment. Group speaking activities in small group discussions, help students gain confidence needed to express opinions with each other in a safe environment. Students further develop their speaking skills in full class discussions, and presentations. Students are assessed in timed speaking tests of which their speaking participation is measured in how well they expressed agreement and disagreement and used answering with details to support their opinions.

9. 「日本語で言いたい表現を、英語で言いたい時に丁寧に教えてくださり大変助かりました。また、単語の意味がわからない時も具体的に表現してくださり、大変助かりました。」「教材の構成がおもしろかった。A、B、C 分かれている。先生がよく生徒と話してて、コミュニケーションがよくとれた。」「ディスカッションを通して、話したことのなかった子とも交流できてよかった。」
   →In addition to acquiring the necessary skills to carry out discussions in English, my goal for the course is to provide a chance for students to get to know each other through discussing about various topics that elicit meaningful communication. Although there are many things that I could still improve on, I feel that that goal was met.

「友人と英語でコミュニケーションとること、リスニングをすることが自分にとって良い刺激となった。」

→Although the course is mainly constructed as a listening-based course, I was very happy to see students muster up their creativity and work together to produce dialogues and stories in English. I felt that in general, the students had a lot of fun using English.

Methods I used in class:

Since this was my first year teaching at TWCU, I had to play things by ear quite a lot. Nonetheless, regardless of what course I teach, I make a conscious effort to have students work together. By doing so, the students have a lot more fun learning English without it feeling like a chore. Examples of specific activities I employed in class were...

-skits

-discussing/brainstorming in groups to produce writing in English

-role-play

授業改善等に向けた具体的な方策　学生･WEB 開示

今回は、前回までの段階ですでに肯定的回答である「評価点４」と「評価点３」の割合が 9 割前後であったものについては、全体としては大きな変化は見られませんでしたが、前回ほぼ横ばいであった項目も含めて、ほぼすべての設問で「評価点４」の割合が多少なりとも上昇しました。

とりわけ、前回、7.8 ポイントと大幅に伸びた設問４（シラバスの有効性）は、今回さらに 3.1 ポイント上昇しました。先生方が工夫を重ね、履修者の皆さんもシラバスや授業中の指示を上手に活かした結果であろうと思います。

過去６年間の推移を見ると、設問４（シラバスの有効性）の 23.1 ポイントを筆頭に、設問１３（総合的に満足）も含めて、ほぼすべての項目で 10 ポイント以上の伸びがありました。第一外国語委員会としては、これからもＦＤ活動を通じて、履修者のニーズやウオンツに対応しながら、出来る限りの改善を続けていきたいと考えています。

本学では 2018 年度に大幅な改組が行われますが、それに合わせて、第一外国語委員会でも以下のような改革を計画しています。

1．２年次～４年次対象科目の選択必修化

現行の制度では、必修科目は１年次の Communication Skills、Discussion Skills、Reading Ⅰの３科目と、２年次の ReadingⅡの１科目だけでしたが、従来は選択科目であった２年次～４年次対象の授業群から、必ず一つを履修して頂くことになりました。１～２年生で獲得した英語力をさらに伸ばし、卒業時まで維持して頂くことを目的としています。

授業も、従来の科目に加えて、将来のキャリアも視野に入れた Business English や Tour Guide Interpreting などを新設し、バリエーションを持たせています。また、検定試験（TOEFL、TOEIC、IELTS）のための講座もさらに充実します。

2．カリキュラムの平準化

現行制度では１年生に配当していた Discussion Skills を２年次に移行し、３年次以降の専門につながる内容にすることを目指します。従来、オーラル系の授業（Communication Skills と Discussion Skills）は１年次に集中させていましたが、１年に一つずつという配分になります。オーラル系の授

業を２年にわたって受講することのメリットを考えた結果ですが、１年次の履修科目が減る分、教室外学習をする時間的な余裕を持って頂くこともこの改革の目的です。

3．レベルへの対応

必修の科目は、プレースメントテストに基づいて、普通クラスと上級クラスに編成していましたが、さらに上のクラスを設けることになりました（クラス数の関係で可能な学科のみ）。

これらは、ここ数年のＦＤ活動の分析結果を踏まえた改革です。学生の皆さんが、大学が設ける授業その他の学習の機会を積極的に活用し、各自が得たいと思う英語力を獲得することを期待しています。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 5 月 1 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	第二外国語運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	白井　恵一
検討会実施日	2017 年 3 月 30 日	出席者数	3 名 (内、非常勤講師　　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

・教科書以外で、自習できる練習問題がもっと欲しい、という要望については、十分に対応できる体制を作ります。

・板書の量や読みにくさについては、効率よくノートできるように改善します。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

特に初級の授業は、実際に外国語を使う場面に直接結びつかないことが多く、学習のモチベーションを維持し続けるこが難しいかもしれません。その中で、現状の教室外学習時間等、全体に比べてかなり頑張っているとは思います。

とはいえ、実践的な力を付けるにはまだ不足ですから、ここを強化するとともに、中級レベルの選択者が減少傾向にあることなどを踏まえ、できるだけ学生のみなさんの要望に沿うような内容にカリキュラム編成を検討し、言語運用能力の獲得と向上を実感できるように、授業方法を改善してゆきます。

授業評価の方法を、学期末の定期試験を非常に重視している現行のものから、毎回の授業への参加状況を重視するものへと変更します。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 21 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	日本語科目運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	丸山　直子
検討会実施日	2017 年　3 月 非常勤講師を含むため、メーリングリストでの検討会を実施した。分析結果等は文面で提出してもらった。	出席者数	5 名 （内、非常勤講師　2 名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・「2000 字を一度採点していただいてから最後提出したいです。」

→　最終課題である 2000 字課題については、課題の下書きをもとにグループワークを行う時間を取っています。また、最終的な成果を示す課題であるため、アドバイスはしますが、事前に採点をするということは避けるべきと考えます。

・「要約やレポート草稿についてのコメントが役立ったが、欲を言えばもう一回くらい、個々人への指導がほしかった。」

→「添削」という形でなくても、コメントや留意点の指摘などの回数を増やすように努力します。

・「提出された小論文に対してさらなる具体的な添削が欲しかった。」

→　次年度は、評価項目等を毎回提示し、より詳細な添削を行っていきたいと考えています。

●好評だった点

「非常にためになる授業でした」「少しずつ力がついた」「すごく文章が変わったと思います」「課題をやる価値がある」

「日本語表現法の授業を取るにあたり、全てのシラバスを熟読し、悩んで、この授業を選びました。この授業を受けることができてとてもよかったと感じています。前期の授業で一番得るものが多かったです。」

「レポートの書き方や引用の仕方などを具体的に学べたのが良かった」

「コメントペーパーの質問に毎回すべて答えてくれていたのが良かった」

「大学生入門として非常に良く、不可欠な授業だった」

「最終課題が 2000 字と聞いてひるみましたが、段階を踏んだ授業だったおかげで、無理することなく、良い論文を書くことに集中することができました」

「グループのメンバーで、文章のよい点、悪い点などを言い合うことができてよかったです。自分で気が付かなかったことに気づくことができたし、逆に人の文章を見て自分はできているかたしかめることもできてよかったです」

その他、毎回取り上げたトピックが思考を深める上で有意義であったこと、トピックを巡るグループでのアクティビティやプレゼンテーション等が学生には好評でした。

授業改善等に向けた具体的な方策 学生･WEB 開示

・最終課題への不安があるようなので、こうした不安を解消できるように、声掛けを行ったり、アドバイスを行ったりする時間をより多くとるように心がけたいと思います。

・アンケートの平均値をみると、全項目において全体より高い数値となっています。年度やクラスによって学生の履修目的も変化するため、これに満足することなく、臨機応変に対応できるように自身も学びを深めていきます。

・レポート作成時の具体的な注意点、引用の仕方や文献の書誌情報の書き方など、これまでも授業で取り上げてきましたが、他の科目での中間課題作成などにも間に合うよう、早めから折にふれて提示していきたいと思います。

・毎回の課題をすべて添削することは難しいのですが、要約の見本例を提示して各自参考にしてもらう、多くの人に共通する注意点をまとめて述べるなど、さまざまなやり方でフィードバックをなるべく多く返すように工夫しようと思います。

・コメントペーパーを用いた質疑応答やクラス全体でのディスカッションは今後も続けていきたいと思っています。

・毎回とりあげるトピックや「問い」が思考を豊かにし深めることができるものであるように工夫を凝らしたいと考えています。

・思考を深めるための様々なアクティビティによって、他者との深い対話の中で、多様な視座を持つことができるよう方法の探究を深めます。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 15 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	情報処理教育運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	加藤　尚吾
検討会実施日	2017 年 3 月 10 日	出席者数	4 名 (内、非常勤講師　0 名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

「情報処理技法（リテラシ）I」の授業でパワーポイントの内容がほとんどないのに、最終課題がパワーポイントを使うことに対する不満の意見がありました。この意見に対する回答は次のようになります。「リテラシ I」は情報処理の基礎を扱うものであり、パワーポイントなどの Office ソフトの使用については授業時間内にすべてを扱うことは困難であるため、教室外学習をしなくてはいけません。しかし授業内で扱う Word、Excel、PowerPoint の 3 つの時間配分の調整は可能ですので、次年度からは最終課題で使う Office ソフトに関しては、他の Office ソフトに比べて授業内の時間配分を大きくするように調整したいと思います。

「情報処理技法（リテラシ）I」の授業で教科書を読むよりも実践的な内容が良かったという要望の意見がありました。この意見に対する回答は次のようになります。「リテラシ I」は覚えることが多いため座学の時間も長いです。しかし、次年度からは教室外学習をより促進し、全学生が予習として教科書をきちんと読んで授業に出席し、授業では演習が主体となるように工夫したと思います。

「情報処理技法（C プログラミング）I」の授業で、学生アシスタントが同年代で話しかけやすく、授業中も見回ってくれたので質問しやすかったというコメントがありました。アシスタントについては一定の効果があるようですので、今後も質の高いアシスタントを確保できるように努力します。

「情報処理技法（C プログラミング）I」の授業で、スライドがあって復習しやすかったが、簡潔すぎてわからなかったものもあったので、プログラムのところにもう少し補足を入れてほしいというコメントがありましたので、今後は復習のときに理解しやすいように、プログラム中にもう少し詳しくコメントをいれます。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

引き続き、多くの授業で、教室外学習のために WebClass（e ラーニング）を活用していくことを考えています。

また、授業アシスタントの学生の募集についても工夫したいと考えています。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 21 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	教職課程運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	大家　まゆみ
検討会実施日	2017 年 3 月 16 日	出席者数	3 名 （内、非常勤講師 1 名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・教員がこれまで出会った子どもたちの事例を紹介し、教員自身の体験談を語ったことによって、授業内容に対する理解が深まったという感想をいただきました。履修者の皆さんがふだんの生活では出会うことが少ない問題をかかえた子ども、発達に遅れがある子どもとどのように接するべきかを考える機会となったことは、教職課程を今後も履修する上では役に立つので良かったです。特に、介護等体験に行く前に、特別な支援を必要とする子どもについて学んでおいたため、実際に障害のある子どもと向き合うときに大いに参考になったというエピソードから、事前学習の大切さを改めて考えました。

・複数の履修者同士がペアを組んでロールプレイを行ったり、個々の事例に対してどのように対応すべきかを考察して意見を述べ合ったりする時間を持ったことによって、より実践的な知識が身についたという意見から、今後もこのような活動を継続していきたいと思います。

・テキストに関して　高等学校までの歴史・公民に深く関連している担当科目については、基本的な事象や事項についての知識が不足がちになるので、テキストを用いて基本的な事項をおさらいしながら説明する手法をとってきましたたが、テキストが難しかったようです。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・授業で配布しているプリントに書き込めるように、括弧で穴埋め形式にしている箇所があります。括弧の大きさが小さいので、もっと大きくして文字を書きやすくしてほしいという要望がありました。この点については今後、括弧の欄を大きくして書き込みをしやすくしていきたいと思います。

・少数ですが、「設問９　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。」という質問に対して「あまりそう思わない」と回答した履修者がいました。大教室ではつい一方的に講義することが多くなりがちなので、なるべく多くの履修者の声に耳を傾けるよう努力しているつもりです。しかし 1 人でもこのように感じている履修者がいるならば、できるだけ多くの履修者の方々と意見を交わしたり、声を取り上げたりしていきたいと思います。

・テキストに指定したのは新書版の入門書で、学問的に権威もあり、汎用性もあることから、最も適切だと考えての採用でしたが、2018 年度からは別のテキストを用いるかを含めて検討します。一部の学生にはかなり評判がよかったのですが、多くの履修者の皆さんにとっては難しすぎたようです。

・動機付けに関連して　原理的あるいは歴史的な領域の講義では、教育実習で直接試される教授の内容・方法の授業とは異なり、切実な問題と感じられていないようなので、動機付けに試行錯誤し、映像の教材を多用してきました。これには、今まで以上に、集団討議等で理論的な考察を十分に組み込まなければならないと深く反省しています。この点は不十分でした。

・以前からの課題、もっともっと丁寧にはっきりと話す、板書の字は崩さない、等は今後も意識して取り組みます。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 20 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	学芸員課程運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	髙橋　修
検討会実施日	2017 年 3 月 14 日	出席者数	2＋2(文書回答)名 (内、非常勤講師　3名)

学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)　学生・WEB 開示

○授業の仕方について、いわゆる口頭での説明にとどまらず、板書やパワーポイント、スライド上映など多面的な手法を用いているので、集中して授業に取り組むことが出来たとの意見が出されました。今後も授業の進め方について、単調に陥らないよう様々な工夫を凝らすこととします。

○博物館ではあらゆる意味において実物資料を重視する現場であることから、授業においても実物資料に触れる機会を積極的に設けてきました。このことにより博物館への興味・関心が高まったとの意見が出されました。本学は実習教材として様々な実物資料、また用具を収蔵しています。今後もこれらを積極的に活用した授業を展開することとします。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

○博物館活動は日進月歩で、最新の動向を押さえておく必要があります。そのためにも最新の現場写真・広報（ちらし・ポスターなど）・刊行物（図録・年報・紀要など）等の画像・実物資料を活用した授業展開をし、実際の博物館現場に対する興味・関心を喚起します。

○本学の学芸員課程の授業を担当している講師は全員、博物館をはじめとした生涯学習機関に携わった経験があり、それが大きな特色といえます。授業においては博物館等での勤務体験を織り交ぜながら、「生きた授業内容」となるよう工夫をします。

○本学の学芸員課程では実物の古文書・掛軸・巻物などを教材として収蔵し、それらはいずれも実際の博物館において十分に収蔵・展示に堪え得る価値を有しています。この点は本学の大きな利点・特色ですので、今後もそれらを活かしながら、学生達に興味を持ってもらえるように授業を工夫します。

「2016 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 3 月 22 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	女性学研究所 （女性学・ジェンダー関係科目） ＊注参照のこと	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	岡村　清子
検討会実施日	2017 年 3 月 16 日	出席者数	3 名 （内、非常勤講師　　0 名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答） 学生・WEB 開示

＜女性学・ジェンダー関係科目の性質上（詳細は末尾＊注を参照のこと）、現状では個別アンケート結果の「持ち寄り」ができないため、割愛させていただきます。＞

授業改善等に向けた具体的な方策 学生・WEB 開示

女性学・ジェンダー関係科目全体として、設問 3(シラバスに基づく展開)、設問 5(授業の準備・計画性)、および 設問 8(教材の適切さ)、設問 10 （授業運営の適切性・公正性）で、肯定的回答（「非常に／ある程度そう思う」）がいずれも 92%を超えました。設問 4 (シラバスの有用性)についても、引き続き 9 割を超える回答が得られました。設問 11 （授業外学習の指導の適切さ）も 9 割を超える高い評価でした。今後、さらなる充実を図るため、シラバスの有用性をより高めるよう工夫し、教室外学習の指導をより丁寧に行いたいと思います。設問 7（教員の話し方の聞き取りやすさ）の評価が相対的にやや低く、聴きやすい話し方や、より平易な言葉選びと説明を心がけるなど、留意していきたいと思います。

＊注　「女性学・ジェンダー関係科目」について

授業評価アンケートの実施にあたっては、本学が開示している全シラバスの中から「女性学・ジェンダー関係科目」を抽出しています。抽出に際しての代表的なキーワードとして挙げられるのは、「ジェンダー」、「家族」、「男女共同参画」、「キャリア」などです。また、全体的な抽出基準としては、ジェンダー（社会的・文化的性差）に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共同参画社会のあり方を考える視点を養う上で有効であることが重視されています。

⑵　2016 年度後期「学生による授業評価」アンケート

「授業評価に関する検討会」報告書

⑴学生へのフィードバック・授業改善等に向けた具体的な方策⑵

目　次

日本語科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.77

「2016 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2017 年 6 月 18 日

学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	日本語科目運営委員会	学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	丸山　直子
検討会実施日	2017 年 6 月 該当授業は 4 つであり、すべて非常勤担当のものだったため、メーリングリストでの検討会を実施した。分析結果等は文面で提出してもらった。	出席者数	5 名 （内、非常勤講師　4名）

学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

・指示をもう少し的確にお願いします。
→話し方がやや早口になってしまったこともあり、聞き取りづらかった点や分かりづらかった点があったと思います。作業の内容や流れなど板書やレジュメに記すなどしようと思います。

・レポートの書き方の基礎（そもそもレポートとは何か？から、構成の仕方、提出する際の必要事項）などをもっと学べたら良かったな、と思いました。
→意見文を書くこととそれに必要な要約の練習をメインにしており、レポートの書き方については一般的な構成や注意事項を紹介するのみとなりました。しかし、実際に何が不安であったのかをこちらも把握して、それに即した授業展開をしようと思います。

・必須課題をもっと出してほしい。
→授業では、必須課題を 3 回課し、丁寧に添削、返却を行いました。それ以外に自主的に取り組んでもらうための課題を毎回自由課題として、課しました。自由課題は自主的なトレーニングと位置づけ、評価、添削は、基本的に行わないとしています。ご意見は、より多くの評価・添削の機会を設けてほしいという希望を反映したものと思います。

・自分が今まで知らなかったことを学ぶことが出来て良かった。引用の仕方の課題があっても良いと思う。
→引用の方法については、授業では解説のみを行い、必要に応じて、提出された論述文の中で個別に添削指導を行うという対応でした。引用にまだ不慣れな受講生も少なくないことを鑑み、次年度は引用の方法についての練習問題等を取り入れたいと思います。

・論理的な表現が身について、受けて良かったです。ただ少しかっちりしすぎた授業だったように感じます。
→集中して学習できる環境をととのえるためには、一定程度きちんとした授業進行を行うことは必要であると考えます。一方で、自由な意見交換や質問がしにくくなるような雰囲気となることは避けたいとも考えますので、状況に応じた対応を心がけたいと思います。

【学生に好評だった点】
※アンケートの自由記述をそのまま以下に引用。

・正しい日本語の使い方を基礎から学ぶことができ、レポートを書く際に役立てた点が良かったです。
・授業の途中で、授業をより良くするための要望・意見を伝えたところ、迅速に対応して授業を実施してもらえたのが非常に良かったです。
・レポートや論文など、今後乗り越えていかなければならないものの書き方を教えていただけて役立ったと思います。
・先生の美しい日本語に、感動していました。ありがとうございます。
・課題が大変だったが、役に立った。
・レポート作成について総合的に学ぶことが出来たことが良かった。

授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・学生の行う作業の内容や流れを板書するなどして、学生にどのような学習活動をすればよいのかを的確に伝えようと考えます。
・また、学生が日本語表現法の授業で何を学びたいのかを確認して、それに即した授業展開をしようと思います。

・前回のアンケート結果を踏まえて、課題に対する質問を受け付ける、あるいは助言をする時間をより多く取るように心がけました。結果、後期では、2,000 字の論述文作成に対する自己評価が全て「非常にそう思う」「ある程度そう思う」という前向きな評価に繋がったと思われます。また、アンケートの平均値をみると、今年度も全項目において全体より高い評価となっています。これまでの授業内容を土台としつつ、履修者の性質や特徴、あるいは履修の目的に応じた授業運営に努めていきたいと考えます。
・読み・書きともに鍛えるためのちょうどいいテキストが見つからず、自主課題は講師が独自に作成しており、答え合わせしづらい点もあったかと思います。今後、自主学習しやすいような工夫（添削に代わる解説プリントの作成など）をしていきたいと思います。

・授業に対する質問・意見・感想を受講生に自由に書かせて授業終了時に回収し、次回授業の冒頭でフィードバックのコメントを教員がするということを毎回行っています。受講生の理解度や関心のありかを把握できるとともに、前回の内容の確認・補足を行った上で授業に入れるという点でも有益であると感じています。今後もこうした対応を継続し、授業運営のための材料として活用したいと思います。
・グループ内で発表を行い、受講生どうしで評価や助言をしあうという作業をする際、グループによっては単に互いにほめあうのみになってしまい、話し合いが十分には深まりにくいようなケースも見受けられました。作業に際しては、評価の観点を具体的に列挙したシートを作成して配布し、その項目に沿って意見交換を行うよう指示をしましたが、シートの記載内容や作業指示の方法等についてさらに工夫をしてみたいと思います。

⑶　2017 年度後期「学生による授業評価」アンケート

「授業評価に関する検討会」報告書

⑵学生へのフィードバック･授業改善等に向けた具体的な方策⑵

目　次

総合教養科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.80
総合教養科目＜女性のウェルネス領域＞担当者会 ・・・・・・・・・・ p.81
キリスト教学科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.83
第一外国語運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.84
第二外国語運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.94
日本語科目運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.95
情報処理教育運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.97
教職課程運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.98
学芸員課程運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.99
女性学研究所（女性学・ジェンダー科目）・・・・・・・・・・・・・・・ p.100

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 6 月 26 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	総合教養科目運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	光延　真哉
■検討会実施日	2018 年 6 月 13 日
■出席者数	9 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

「黒板やパワーポイントの文字が見えにくい」「配布資料の文字が小さい」

→大きくはっきりと板書したり、文字の大きさに留意したりして、対応していきたいと考えています。なお、授業によっては、黒板の大きさに対して教室が広過ぎるという事情があったことも想定されます。場合によっては履修者制限をかけつつ、授業内容にふさわしい適切なサイズの教室で開講するよう心がけたいと思います。

「授業中に使う言葉が難しい」

→教員は気をつけて解説するようにしていますが、教員が知っていて当然だと思っている言葉が学生には分かっていなかったという、常識レベルのずれに起因するケースもあるようです。教員が今後もより一層気をつけることは言うまでもありませんが、一方で、学生の皆さんも、自らの語彙力を増やすべく日々の学習を積み重ねて頂ければと思います。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・コメントシートに質問事項を書いてもらい、翌週フィードバックを行なうなどして、履修者の理解の程度をはかりながら、適切なレベルで授業が展開できるようにしていきたいと思います。

・大人数の授業であってもマイクを回して発言してもらうなどして、授業への積極的な参加を促したいと思います。

・ミニレポートやミニテストを課すことで、学習意欲を維持していきたいと思います。

・出席点を取るためだけに教室に来て、授業に集中せずに他のことをやったり、挙げ句は私語をして周囲の真面目な学生の学習を妨げたりする学生が、遺憾ながら一部に見受けられることを非常に問題視しています。授業初回時に「受講の注意」をプリントにして配布する、私語をしている学生に学生番号と氏名を尋ねる、友人同士で隣り合わないように座席を指定するなどして、学生の皆さんの受講態度の改善を図っていきたいと思います。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 6 月 28 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　総合教養科目＜女性のｳｪﾙﾈｽ領域＞担当者会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　曽我　芳枝
■検討会実施日　2018 年 5 月 30 日
■出席者数　14 名（内、非常勤講師　11 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

（１）必修授業について

自由記述のコメントについては、肯定的なものがほとんどでした。

例をあげると「楽しく運動ができて良かった」「小・中・高の体育ではできなかったスポーツ（ボルダリングや、ヨガなど）ができて良かった」「毎回とても楽しかった。運動する機会になったのももちろん、先生のお話をきけてとてもよかった」「メジャーなスポーツからマイナーなスポーツまでウェルネスを通して体験することができて良かった」「この授業を通して運動の大切さをあらためて感じた」などでした。これらのことから授業内容が学生たちのニーズに合ったものであったと考えました。

ただ、教場がグラウンドやテニスコートの授業時には、学生からの要望に「グラウンドやテニスコートに日陰になる場所（施設）を設置して欲しかった」という意見がありました。屋外のスポーツ種目は天候や気温の影響を受け易く、特に前期は雨が降れば外で出来ず反対に天気が良すぎて暑くなると、学生からは不評を買うことになります。特に日焼け対策や熱中症予防の水分補給の徹底などを指導していますが、日陰ができるような施設設置の要望を大学に提出することを検討します。

（２）選択講義について

学生からの要望は特にありませんでしたが、次のような好意的な自由記述がありました。

「先生の説明が簡潔でわかりやすかった」「自分が知らない知識をたくさん知ることができ、また、まだまだ多くのことを知らないのだと実感することができた」「とてもためになる授業でした。なかなか学ぶことのできないことなのでとても良かった」

毎回のコメントペーパーでは以下のような意見がありました。「人には質問しにくいが大切なことについて確かな情報を示してもらえてよかった」「性についてのマイナスイメージが減った」「同じ年代の人の考え方や経験を聞くことができてよかった」これは、匿名でコメントのフィードバックの時間を設けているのでそれを指しているものと思われます。さらにコメントペーパーで受けた質問を次の回で皆に紹介していたことが好評でしたのでこれからも続けたいと思います。

（３）選択実習について

「スポーツＢ（バドミントン）」の授業では、「ハネの打つ位置やラケットの持ち方などの細かいアドバイスがよかった」「指導が上手く、分かりやすい」「一人一人のレベルに合わせて助言をくださった」と肯定的な記述が多くありました。

「フィジカルエクササイズＢ（ヨガ）」の授業では、「講義と実践を並行して行ってくれたのが良かった」「運動が苦手でもサポートが丁寧で楽しく受けられた」「自分の体の特徴を把握して体を整える体操を教わったので、続けて行きたい」「授業外でも活用できる方法が知れて、復習のきっかけとなった」「週２回欲しいくらい面白かったです」と好評だった授業の感想が記述されていました。「着替えの時間を考慮して、５分前に終えて欲しい」との要望につきましては 3 時限目と 4 時限目の間の時間が 10 分しかないことからもう少し早く終わるようにしたいと思います。「バランスボールの

時間をもう少し増やして欲しい」という要望に関しましては、次年度のスケジュール作成時に検討したいと思います。

「身体表現Ｂ（ジャズダンス）」の授業自由記述には、「ジャズダンス初心者でも、基本のストレッチや柔軟から学べて、リズムを覚えながらレッスンを受けられたため、非常に良い運動になった。この学びを日常生活においても率先して役立てたい」「 一人一人ダンスのスキルが違ったと思うのだが、先生はできる人にもできない人にも、よりダンスや体の使い方が向上できるよう指導して下さった。先生のおかげで楽しくできた」という内容の自由記述が多くありました。

要望としては、「色々な曲を踊ることができて楽しかったです。理解して体で表現するまでに時間がかかるので、ついていくのに必死でした。流している曲の題名等を教えてもらえると自主練がしやすいかと思いました」というように、今後は曲名を伝えていきたいと思いました。

その他の選択実習の授業評価も 90%近くの高い満足度を示しています。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

全体

・新しいトレーニングシステムの導入をし、これまで以上に各自の身体について理解し、その変化もわかりやすいものにしました。

・これまで荒れていたグラウンドを整備し、冬季でも緑豊かな芝生を敷設する事にしました。これで、より運動しやすい環境が整いました。

（１）必修授業について

・必修の教科書（ハンドブック）の内容について吟味し、教材の変化等に合わせた追記・修正を行っています。

・授業の中で、スポーツや運動が苦手な学生でもできる教材をもっと工夫し、日常生活にも取り入れることができる運動を指導していきます。

・学生同士がコミュニケーションをとるような場面を作る工夫をします。

・前期に外で授業の場合、あまりにも暑く日陰がないので学生の運動意欲が低下してしまいます。どうにかして運動を楽しめる環境を構築したいと考えています。

（２）選択講義について

・毎回の授業で、その内容に関連する文献や読み物（あれば時事問題など）の紹介をおこなっていきます。

・授業内で詳細に話しきれない関連トピックスについてもキーワードを示し、紹介していきます。

・コメントペーパーで受けた質問を次の回に学生たちに紹介していきます。

（３）選択実習について

・ゲームの DVD を観戦しながらゲームの解説をしていきます。

・国際大会、国内大会の東京大会の観戦を促し、興味を深めてもらいます。

・運動について（図解入り等）のプリントを配布し、学習効果を高めていきます。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 5 月 14 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　キリスト教学科目運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　遠藤　勝信
■検討会実施日　2018 年 5 月 9 日
■出席者数　3 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）　学生・WEB 開示

〇パワーポイントやプリントを多く用いている点は学生に好評でしたので、授業内容を理解しやすくする工夫をしていきたいと思います。

〇「あらかじめ配布した資料に後から追加するのはやめて欲しい」という要望が一件ありました。極力そうしますが、内容を新鮮、正確、かつ充実したものとするためクラス開始ぎりぎりまで準備をしていることを理解して頂けると幸いです。

〇「詳しく、濃厚で、丁寧なレジメ」と評価してくださる学生の声が多く聴かれました。皆さんが聖書の世界に興味を持てるよう、レジメとスライドをさらに充実したものにしたいと願っています。

〇２４３０１教室の温度調節については、集中管理室にその都度温度調節を頼まないとならない関係で、教員も困っています。なるべく気をつけるようにしますが、学生の方も調節が可能であるような衣服を心がけてください。

〇コメントを書く時間をもっと欲しいという要望については、もう少し余裕を持たせるよう工夫します。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

〇遅刻者を減らす対策として、遅刻者には入室した時刻を記入して教員から手渡しで出席票を渡しています。そうすることによって遅刻者はほとんどいなくなります。

〇「スライドの展開が早い」という要望を受けて、もう少しゆっくりページをめくるよう心がけました。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 6 月 29 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　第一外国語運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　森　博英
■検討会実施日　2018 年 5 月 28 日～6 月 15 日（メール会議）
■出席者数　35 名（内、非常勤講師　28 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

学生へのフィードバックとして、学生のコメントへのフィードバックとアンケート結果についてのコメントを寄せられた情報をほぼそのまま掲載しました（文体を「です。」「ます。」に統一するために微修正したものもあります）。

■日本人教員の学生のコメントへのフィードバック

1. 声が聞き取り易く、わかりやすい授業だったとのコメントをいただきました。いつも心がけていることなので、今後も継続していきたいです。また英語に関する興味と関心が高まった授業だったとのコメントは、素直に嬉しく思います。常に、学生の意欲を刺激し、興味を惹きつける授業とは何かと模索しているため、今後の励みになりました。

2. 「TOEFL 英単語学習システムで学習したことについて、本来、学習は紙でやるもので記憶に残らなかった」というコメントがありました。PC で学習していただいたことに関しては、社会へ出てから留学する場合でも企業で仕事をする場合でも PC を使いこなすことは必須だと思いますので、大学１年生の頃から学習しながら PC を使いなれる機会を作っています。また、記憶に残らないとのことについては、脳科学からも証明されているそうですが、Output する(書きだすか声に出すこと）と記憶に定着しやすいようです。オンラインの問題集では音声を聞きながら自分一人でディクテーションもできますし、モデルの音声を声を出してまねをしたり繰り返すことで発音の練習を兼ねながら記憶に残すことができますので継続的に試してみて下さい。CALL 教室を利用して何回も同じ文を声に出して言う学習方法を実際に試してもらいましたが、その方法も折に触れて実践してみて下さい。

   「ホワイトボードの書く場所によっては教卓 pc で見えない」とのコメントがありました。今後は書画カメラを使うようにします。

   「本文を読まないで問題の答え合わせをしたことがあり困ったので、次に何をするのか前の授業で言って欲しい」とのコメントがありました。最初の授業でも一緒にシラバスを読み、各自で毎回確認するように説明しましたが、次回何をするのか確認したいということについては、今後の参考にします。

   「学生の英語の実力だけでなく、授業にやる気がある取り組みに評価してもらい嬉しかったが、もう少し細かくやってもらいたかったところもある」とのコメントがありました。基本的には精読というよりも英語の論理展開法を習得してメインアイディアを読み取り、英文の構成を理解することが主目的でした。そのため、メインアイディアを理解して何か作業をしてもらうことが多かったと思いますが、ゆっくり内容を鑑賞する時間については今後の参考にします。

3. コメントは「わかりやすくて楽しかったです。」、「1 年間ありがとうございました。」　「わからないと

ころを教えてくださったのが助かりました。ありがとうございます。」の 3 点で、ありがたいと思っています。励みとして、今後とも授業改善に取り組みたいと思います。

4. コメントの数は多くありませんでしたが、どれも好意的なもので安心しました。具体的には、テキストに関連したサイトや Youtube 動画の紹介などが好評だったので、今後も自分なりの工夫をして学生の興味を引き出したいです。また、時には変化をと思い入れてみた dictogloss のことを今後の勉強にも取り入れていきたいと書いている学生がいるのは個人的にうれしく思いました。それぞれの個性があり、全員の心に響くことをするのは難しいと思いますが、色々なことを試す大切さを感じました。声が聞きとりやすかったというのもうれしいことでした。

5. 「説明が聞き取りづらい」とのコメントにつきましては、早口、滑舌の悪さ、整理されていない内容等考えられますので気を付けます。

6. 「ランダムに当てるのはやめてほしい。」とのコメントがありました。緊張感があって良かったと思いましたが、学生の中には嫌だった人もいたということがわかりましたので、どのような当て方がより好ましいか検討させていただきます。また、「計画的に授業がすすんでいて良かったと思う。」というコメントもありましたが、シラバス通りに進めていって皆もそれについてきてくれたからだと思います。

7. ほとんどが温かい肯定的なコメントだったので、特にフィードバックすることはありません。「もっと TOEFL や IELTS に対応できる教科書を使用してほしい」という要望がありましたが、TOEFL や IELTS は、それぞれの試験に対応した授業が開講されていますので、そのような授業を履修することをお勧めします。

8. 「前期と比べて後期の多読のレベルが少し高く、難しく感じました。」、「後期からの多読一冊ごとに小レポートを書かなくてはならないのはやる気を失ってしまいました。」というコメントがありました。これに関しては、夏休みにも続けて英語の本を読み続ける習慣があると、後期への橋渡しとなってあまり重荷に感じずに多読に取り組めるかと思いますので、口頭で夏休みも英語の本を読むように促していきます。
「毎回やることが同じでただテキストをやっているだけ、という感じがあったので、もう少し学生が考えたり発表する機会があればよかったと思います。」というコメントもありました。この点については、使用しているテキスト（Select Reading） が毎チャプター同じ構成になっているのでそれに沿って授業を進めたのでこのような感想を持たれたかと思います。Pair work や Discussion & Writing も各チャプターにあるので、これからはこれらを少しずつ取り入れたいです。ただ気を付けないと本文を読む時間が足りなくなってしまうので、どのようなバランスにするかは検討させていただきます。

9. 以下の評価は今後のやり方を考える上で参考になります。良い評価を頂き、個人的にも励みになります。
   - 英語がとても好きになりました。１年間ありがとうございました。
   - 小テストと Book レポートがとても良かったです。授業の進め方もとても良かったです。
   - 小テストがあることで復習がしやすくなったので良かった。
   - じっくりと内容読解をする形式の授業が良いと思いました。一つ一つのセクションの理解が深まったと思います。

＜学生からの要望など＞

以下に改善点など指摘を頂きました。

・ speaking につながることもやっていただけたら、もっとよかったです。

＜回答＞Reading 活動とのバランスを考えながら、どの程度 speaking 活動を入れることができるか検討してみます。

・ 小テスト、リーディングレポートがあることで、英語に触れる時間を増やすことができました。ただ、解説が丁寧な分、進度がゆっくりだったので、改善があればとても良いと思います。

＜回答＞確かに、あまり進まなかった点は反省です。わかりやすくする点と、量をこなす点と、今後は両立できるよう模索していきます。

・ Open Text だと、授業を聴いているかで評価されるので、授業への取り組みが反映されていてよかったと思う。しかしながら、単語や文法の知識が広がりづらくはあったので、補教材などあれば尚良かったと思う。

＜回答＞ご意見、ありがとうございます。今後検討します。

10. 今回のアンケートでは学生からの自由記述は殆どありませんでしたが、「それぞれのストーリーを丁寧に解説して下さり、分かりやすかった。」というコメントがありました。今後もこのような形で丁寧な授業を心掛けたいと思っています。

11. Reading II のクラスでは、コメントは１件のみで、これは、アンケート実施の前に、TOEFL ITP 受験振り返りシートの記入をお願いしたので、そちらに 1 年次、2 年次の Reading 授業についてのコメントをまとめて書いたからかもしれません。振り返りシートにあった記述のうち、私の授業に関する部分で言及が比較的多かったのは、毎週、授業開始時の 5 分間で行っていたニュースレポートです。好意的なコメントが多く、学生も熱心に取り組んでいたと思います。

コメント例）

・海外のニュースソースを毎日チェックすることが自分の中で日常化し、自然と毎日、英語に触れることができたのでよかった。

・これまで海外のことには関心がなかったが、日本以外の国がどのような状況なのか理解することにつながった。

・同じ出来事でも取り上げ方がメディアで違うものがあり、イギリス、アメリカ、日本を読み比べてみるとおもしろかった。

・ニュースは比較的短い記事で、思ったほど見出しの英語も難しくなく、抵抗なく英語が読めるようになった。

それ以外の学生からのコメント

・授業時にもっとリスニングをしたかった →　授業時ではテキスト CD や関連 DVD（学期に 1, 2 度、字幕付）程度なので、授業外学習で対応できたらと思います。

・グループ学習があったので、眠くならずにすんだ→　グループ学習では誰も寝ないので効果的ですが、個人評価とのバランスが大切だとも思っています。

12. グループで意見をシェアする時間があることが良かったとのコメントがありました。グループでは、テキストのパッセージについて各自の考えを交換することがありました。また、多読活動で読んだ作品について、情報交換をしたり、テキストのリーディングに関連したテーマでオンラインリサーチをし、グループで調査報告も行いました。学生の皆さんが積極的にグループでの活動に係り、情報交換をすることがお互いの学習意欲の刺激になり、リーディング力の向上に貢献していたと思います。

13.さまざまな英文に触れてよかったという感想があり、今後とも多読など授業外学習にも力を入れて指

導していきたいです。

14. 教科書とは別の英語の読み物（後期はアメリカの奴隷制について）を読むことが楽しかったという評価がありました。また、読んだ記事のアウトラインを作ったり、グラフによるオーガナイザーを作る作業が役に立つという評価がありました。2018 年度も引き続き、英語を自分の力で読み解く力を付けられるような授業を進めていきたいです。

■日本人教員のアンケート結果についてのコメント

1. 全体的に良い評価をいただけました。2017 年度は、授業で使用するテキストに加えて多読の課題を出し、一定の効果があったように思います。読んだ多読本の内容や感想をグループでシェアする時間を何度か設けることで、真剣に課題に取り組むことができたようです。しかし、学生の読解力の向上のためには、さらなる工夫が必要だとも感じました。

2. アンケートでは、全項目で肯定的な評価をいただいたので、今後とも教授内容や方法を常に見直しながら、学生のニーズに合わせて教えていきたいと思います。

3. 全体的には肯定的な結果で安心しました。しかしながら、一番気になったのは、設問２の教室外学習の時間が両クラス１時間未満という回答が一番多かったことです。これを踏まえて、今年度は時々小テストや宿題提出をさせるようにしています。また、肝心のリーディング力については、学生が読解力が向上したともっと強く思えるような工夫をしたいと思います。

4. 14、の読解力の向上の満足度が少ないのは毎回の授業で学生の疑問点を把握し切れていないのだと思います。どれくらい理解されているのか、踏み込んだ質問するなど工夫したいと思います。

5. ほとんど全体の値と一致していました。設問３のシラバス通り、とか設問５よく計画されていた、とか設問７聞き取りやすかったなどがこの授業の方が全体より少し勝っていました。

6. 「英語を読む習慣が身についたか」「英語を聞く習慣が身についたか」という２つの質問項目を追加したのですが、ついたと答えた人は少数でした。

7. 当該クラスの担当が初年度ということもあり、テキスト中心の授業運営を行ってまいりました。「読解力の向上」をより実感してもらえるよう、今後は、可能な範囲内で、他の教材も取り入れながら工夫を凝らしていきたいと考えております。

8. 「問題意識や関心の深まり」と「読解力の向上」の項目において相関関係が見受けられましたので、両項目の相乗効果をはかるべく工夫を凝らしていきたいと考えております。

9. 私が日ごろ心掛けている、「わかりやすくて、楽しい授業」が達成できていることが確認できました。コメントの中に、「リーディングは中学校からずっと学習してきたが、苦手なことを理由にあまり自分から勉強しようと思わなかった。しかしこの授業を通して苦手だとしても読むことを恐れないでリーディングをする姿勢が身についたと思います。」というものがありました。授業外で Pleasure Reading をして Book Report を提出することを推奨したり、授業内に短時間で読む訓練をした結果が結びついたのであれば幸いです。また、「間違えてもいいよという雰囲気を作ってくれたので発言しやすかった。」というコメントもあり、これは一番心掛けていたことなので、コメントを見つけてうれしかったです。

10．全体の平均値が大変高く、他の先生方のご努力の成果で、学生の満足度が高いと感心しました。これはやはり少人数（理想的には 25 人までと思うが）での授業という点も大きいかと思われます。私のコメントの中にも「授業中あてられることが多く、そのため集中して授業がきけました」とか「毎回必ず一人一回は発言する機会が与えられる公平な授業であった。」というものがありましたが、これもクラスの人数が少ないためにできることと思います。

11．今年度は学生の評価が高かったです。大きな原因はオープンテクスト形式の小テストと期末テストを採用したことにあります。従来から小テストを毎回行ってきたが、オープンテクスト形式にすることにより、小テストの位置付けが明確になったと思われます。結果的に読解の方法や書かれた内容の理解を深めることに力点を置くことになった点を学生は評価していると思われます。

12．2 クラスとも 8 割以上の学生が（ある程度及び非常に、の両方含めて）「読解力が向上したと思う」と答えていたのでその点は良かったと思います。テキスト、リーディングのレポートや発表など課題が多い授業でしたが、今後もできるだけ、読むだけでなく内容についての意見交換ができる環境を保ち（テキストの内容に関連した英語のグループワークも毎回設けています）、リーディング及び総合的な英語力をつけていってもらいたいと思っています。

13．授業時間の最後の 20 分くらいを多読・速読の時間にあてて、学生が自由に選んで持参した易しい英語の本を読んでもらい、その場でブックレポートを書いてもらって提出してもらうという試みをしましたが、これは好評でした。教科書とは別のオリジナル課題を毎回宿題として出していましたが、その日の授業を欠席した学生はそのプリントを受け取れないので次回の授業で提出できないので、その場合はどうしたらいのかというコメントがありましたが、毎回の授業の出席を促すという意味でも、このオリジナル課題宿題はこのまま継続して行う方がいいと私自身は思っています。

14．設問 2 の「この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。」の回答と、設問 14 の「読解力が向上しましたか。」の回答結果に相関関係があるようです。
教室外で課題（メディアリサーチ、多読とそのリーディングリポート）や予習に取り組んだ時間と「読解力向上」の自己評価が比例するように数字から見えます。
教室外学習の課題を適切に設定し、指導することが読解力向上の手ごたえに反映されると考え、今後の授業に生かしていきたいと思います。

15．Reading 1 のクラスでは、授業内容の理解、教室外学習の指導などに対し、高評価を得ています。学習分野への問題意識や関心が高まった学生の割合が多かったのも評価される点です。
一方、Reading II のクラスでは、教材の内容が難しく感じた割合が高く、それに伴い理解度もあまり満足いく結果ではなかったです。今後は、テキストなどの難易度をよく見極め、必要と思われる場合は教材理解のためのさらに詳細な解説と補助教材の配布、具体的な授業外学習の指示が必要だと考えます。

16．アンケート結果は概ね例年通りのものだが、設問１２、１３の評価が全体に比べて低いため、学生の専門分野に寄ったような教材を教科書とは別に用意する必要があります。授業内容が理解できたかという評価で全体に比べて低評価が多いので、改善の余地があります。

■英語話者教員の学生のコメントへのフィードバック

1. The student feedback I received last year encouraged me even more to continue the teaching methods referred to below. Always trying to make sure all students understand clearly what is expected of them, and keeping a relaxed classroom atmosphere for language learning in which they are fairly assessed, is the constant challenge of which I strive for.

2. • I could learn good English communication skills and enjoyed studying.
   • Your class was very fun! Thank you so much!
   • I think the classes which changed every session enjoyed.
   • Communication class has listening program. I like listening. So I enjoyed this class.
   I really appreciate getting positive comments and feedback from students who enjoyed the classes. From the comments I did get it seems students enjoy having variety of activity types in class and opportunities to interact with others when practicing communication skills.

3. 先生がききとりやすい話し方をしてくださって良かったです。(I am glad that the teacher was able to speak clearly). - Clear voice, slow down, repeat things. The students need support.
   I enjoyed this class for years. I want to choice this class. - Great!
   In this class, I like English more. Thank, you so much!!! - (^__^)
   リスニングの宿題の答えを、プリントにして配布してほしかったです。(I wanted you to print the answer of my listening homework, and distribute it).
   - Too much printing!

4. とても楽しかったし、優しかった、先生の生徒で良かったです! (It was a lot of fun and it was a good teacher's student!) - Nice.
   Thank you!! I love you - (*^__^*)
   I enjoyed myself in your class. - Great!

5. テキストのディクテーションのページにErmやAhなども書き起こさなくてはならずわかりにくかったです。(I had to transcribe “Erm, Ah” etc. on the text dictation page and it was hard to understand).
   - Experiencing natural English (verbatim) was a good experience for them.
   先生が明るくて授業が楽しかったです! (My teacher was bright and I enjoyed my lesson!)- Yes well there is no point in being miserable. If you don’t enjoy life, then what is the point?

6. ・I enjoyed class!　Thank you.
   ・I enjoyed this lass so much! I learned many vocabularies and knowledge. Thank you for your interesting class.

7. Comment: "Thank you!!"
   My response: You are very welcome!　Thank you too.　I really enjoyed our classes.
   Comment: "This class is awesome!"
   My response: Thank you for your nice comment!　If this class was awesome, it was because of your hard work and participation.

8. Comment: "I like Michael!!"

My response: I'm glad that you enjoyed the class!　Thank you very much for your positive attitude and enthusiasm, that's what makes it a productive experience for everyone.

9. In terms of students' comments, first, it seems that they enjoyed the course and found it useful: "This class was helpful for my English study! Thank you so much", "Discussing is interesting for me".　I am happy with these responses and want students to know that. Second, however, some students indicated that the amount of homework was quite tough; "I felt hard to do my homework", "it took me an hour to choose nice news". My response to this would be that the course is designed to be challenging due to the fact that it is one of the required courses for the Career English Program. Overall, I am happy with the comments.

10. 1) I would like more feedback (from Writing students)

2) Repeating students appreciated how I treated them the same way as other students

3) A few students said they really enjoyed the class visits by the Mt Holyoke student

My Reactions:

1) Before, I was only able to give feedback twice a semester because I had more than 50 writing students. This year I have 30, so I am able to give feedback each week.

2) I try to treat all students equally. But I think this shows that repeaters are self-conscious about their place in the class.

3) The class visits are always great. And this year's visitor is especially talented at getting the students excited to speak English.

■英語話者教員のアンケート結果についてのコメント

1．The overall results were good.

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

授業改善等に向けた具体的な方策、もしくは、それに関連すると思われる寄せられた情報をほぼそのまま掲載しました（文体を「です。」「ます。」に統一するために微修正した箇所もあります）。

■日本人教員の授業改善等に向けた具体的な方策に関するコメント

1．学生の主体的な学習を促すため、より能動的に授業に取り組めるよう授業を改善していきたいです。

2．2017 年度の授業については、次のようなことを行いました。

- 要約を中心としたワークシートで教科書の内容の把握を確かめた。ワークシートはいったん回収して、次回にフィードバックを行いました。
- ワークシート記入などの際には、教科書そのままの文をコピーせず、自分のことばで表現するよう毎回指示した。「剽窃」について何度か授業内で説明し、注意するよう呼びかけました。
- 読解だけでなく、教科書で扱われているトピックについて、自分の考えを口頭で述べさせました。

・ ペアやグループワークを毎回取り入れました。
・ 多読記録用紙を配付し、多読を奨励しました。短いものをたくさん読む場合と、長いものをじっくり読む場合とで、2 種類の記録用紙を用意しました。

3．授業では、多読の課題として、読んだ題材とページ数量を半年に 2 回提出してもらうようにし、これは成績評価には加えないことにしました。これをきっかけに読む習慣ができた学生がいるようなので、効果はあったかと考えます。今年度の Reading Ⅰ では、授業中 5 分間多読の時間を設けることにしました。

4.今年度からは、テキストをすべてワードに取り込んで書き込めるスペースも取り、調べて欲しい単語、意味を考えてきて欲しい箇所にすべて印をつけて事前に渡すようにしました。また、授業最初にその紙を回収し、予習を行って来たかどうかチェックし、成績に反映させることにしました。この方式にしてから、授業がスムーズに進むようになりました。

5．私が実践している方法は、一週間の間に特に気になったニュースを一つ取り上げ、○1 見出しを英語で ○2 内容を簡単に日本語で　○3 情報源（４月に英、米、日の英語メディアをいくつか紹介）　○4 なぜそのニュースを選んだのか　　以上の４項目を全部で３～４行にまとめます。毎回、２人の学生に口頭で紹介してもらいます。その後、用紙を回収し、私が簡単なコメントを全員に書いて翌週に返却します。また、学期に 1 回は、BBC 100 Women のサイトから、inspire された女性の記事を一つ選ぶようにも指示しています。

6．どのクラスも多読の感想、プレゼンテーション、グループワークなどを積極的にとり入れていますが、今後もクリティカルリーディング、そして考えを英語で表現する力の育成を目指す授業を進めていきたいです。

■英語話者教員の授業改善等に向けた具体的な方策に関するコメント

1．For several years, I have maintained a comprehensive blog specifically for my students at TWCU. Journalistic English topics covered on the blog include aspects of journalism and story construction discussed in class, articles containing background information to help the students thoroughly understand current events in context, and information to help provide detailed answers to the students' questions. The class blog has received over 2,700 hits so far this semester, suggesting that students refer to it very often.
I have tried to improve my teaching by regularly altering lesson plans to better suit the changing nature of journalism, as well as current journalistic trends and sensibilities. I also tweak the types of material that appear on the blog to increase student interest.

2. As mentioned above, I maintain a blog for my TWCU students which is used frequently by the students. Articles which generate intense interest during class discussion are reposted on this blog, and I also use it to provide background information or expand upon answers to questions asked in class. The blog thus acts as a sort of online archive of the students' work and thoughts throughout the course, and I've tried to improve its usefulness by making sure that the content reflects the news files and group discussion work of many different students in the class.

3. One student commented that they liked listening to news instead of just reading, but another said they did not like the listening reports. Therefore, I will allow all students to do one report a week based on listening materials instead of reading materials if they like.

4. Students use a variety of materials and methods in this class, for example, researching on the internet or in the library, presenting on the written reports, and working in groups. Also, students are given autonomy in the topics they choose to write about and what type of media they use to find them. Furthermore, students actively choose and study vocabulary that they feel is important for the English language development. They also must actively think about what parts of their report content could be difficult for other students in their groups, and decide how best to overcome this in order to have active communication.

5. All of the courses I teach have a class blog where I post information and homework. The students must check this blog outside of class and do the tasks required (vocabulary, answer questions, research topics, watch videos, etc.)

■第一外国語運営委員会のコメント：
2018 年度に大幅な改組に伴い、第一外国語運営委員会でも以下のような改変をしました。

1．２年次～４年次対象科目の選択必修化
必修科目（Communication Skills、Discussion Skills、Reading I、Reading II）に加え、旧課程では「選択」科目であった２年次～４年次対象の授業を「選択必修」科目として履修していただくことになりました。１～２年次で習得した英語力を基盤に、そのレベルにとどまらず、卒業時まで継続的に英語力を高めることを目的としています。
また、従来の科目に加えて、実用的な英語力の向上を目指した Business English や Tour Guide Interpreting などを新設し、学生の多様な実践的なニーズに対応するようにしました。また、検定試験（TOEFL、TOEIC、IELTS）のための講座もさらに充実させて、就職活動や留学、職場での英語使用など、今後学生が実社会で要求されると思われる英語力を見据えた学習に取り組んでもらうようなカリキュラムにしました。

2．授業の分散化・段階化
旧課程では、リーティングの授業（Reading I と Reading II）は１年次と２年次に分散していましたが、オーラル系の授業（Communication Skills と Discussion Skills）は１年次に集中していたため、Discussion Skills を２年次に移行し、２年にわたって継続的かつ段階的に学習してもらうように変更しました。このように再編することで、１・２年次でバランスよく多読等の教室外学習ができるようにするというのもこの変更の目的のひとつです。さらに、将来的には、授業内容についても、授業中の言語活動を技能統合化（例えば、読んだものをもとに話したり、聞いたものをもとに書いたりすること）したり、よりアカデミックなものにしたりする等して、３年次以降の専門につながるように、ここ数年間をかけて授業内容のさらなる改善を目指して現在検討を重ねています。

3．より細かなレベル別クラス編成
必修の科目は、プレースメントテストに基づいて、普通クラスと上級クラスの 2 レベル編成をしてい

ましたが、より細かく 3 つのレベルに分けました。この変更により、クラス内での履修者の英語力の差が減少して、学生にとっても、また、教員にとってもより好ましいクラス編成になるように改編しました。

4. FCP(Freshman Call Program)の成績評価方法の変更

旧課程では FCP はネイティブスピーカーの担当する Discussion Skills の成績に反映されており、また、FCP の基準を満たさないと Discussion Skills の単位が取れない方針となっていました。そのため、学生の FCP の進捗状況に関して細やかな指導ができていないといった課題や、Discussion Skills 自体の成績はよくても FCP の基準が満たされていないと単位が取れないことに対する改善の声が寄せられていました。これらの点に対処するために、本年度より FCP での授業外学習は日本人が担当する Reading I の成績の 0～30%として反映されることとし、FCP の基準を満たせないことのみで Reading I の単位が取得できないことはないようにしました。また、CALL 学習センターが開発したプログレスチャートの活用を開始して、Reading I の担当教員が常に学生の FCP の進捗状況を確認できるようにして、日本語で適宜指導できる体制を整えました。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 10 月 31 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　第二外国語運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　白井　恵一
■検討会実施日　2018 年 10 月 24 日
■出席者数　5 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

・「他の言語では中間テストや小テストがあるのに、韓国は定期テストの 1 回というのが怖い。出席も全てし、宿題も全てだし、自分なりにやったつもりなのにテストがボロボロだったのが単位をもらえずつらかった」というコメントについて、2018 年度以降は試験以外の比重を増やしましたが、必修科目という性格上、出席と課題ができていても内容を理解できていない場合は単位を出すのが難しいという面があります。
・「教科書が使いにくかった」というコメントについて、2018 年度は 2017 年度と同じものを使いますが（韓国語）、今後改善を進めていきます。
・「音声、映像資料をもっと使ってほしい」というコメントについては、文法などとのバランスをとりながら、増やしていく予定です。
・「日本の政治を批判するような言い方をする先生がいたので授業ではそのような話はしない方がいいと思いました」というコメントがありました。教員がペアで行う授業なのでどちらの教員のどのような発言をそのように受け止められたのかは定かではありませんが、今後政治に関する話題を使用する場合にも、第二外国語の学習と関係あることが学習者にわかるように話すように注意したいと思います。
・板書の量や読みにくさについては、効率よくノートできるように改善します。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・特に初級の授業は、実際に外国語を使う場面に直接結びつかないことが多く、学習のモチベーションを維持し続けるこが難しいかもしれません。そのためか、教室外学習時間は、全体に比べると多いものの、実践的な力を付けるにはやや不足しています。日頃の学習効果をこまめに計り、実感することができるように、学期末試験による評価に対する平常点評価の比率を増加させることにしました。また実生活での言語活動とリンクするような教材の選定をし、授業内容、方法の改善をしています。
・初級授業のクラス担当者間の連絡に関しては、2 冊の教科書を使う場合でも、また 1 冊の教科書をリレー式に使用する場合は特に、今まで以上に確実で迅速な情報交換を密に行います。
・獲得した知識を教室内で実際に使う機会、特に聞く、話す能力に関する実践練習を増やす予定です。
・「質問しやすい環境だったのがとてもよかった」というようなコメントが多数ありました。気軽に質問ができるようにということは普段から自分が心がけていることなので、引き続き、授業中、巡回をしながら学生に声を掛けたり、コメントペーパー等で学生が質問しやすい環境を維持したいです。
・初級ではテキストの内容を補足するプリントを毎回配り、その最後に自由にコメントや質問を書いてもらうようにしていました。出席票を兼ねていたので、必ず授業の最後に提出してもらい、コメントや質問には個別に返事や回答を書くと同時に、全体にフィードバックが必要と思われる内容については、次の授業の冒頭でフィードバックを行いました。これについては、直接質問しにくいときもコメント用紙で質問がしやすかった、フィードバックがわかりやすかった、というような好評をもらいましたので、引き続き実施していきたいと思います。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 6 月 14 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　日本語科目運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　丸山　直子
■検討会実施日　2018 年 6 月
■出席者数　3 名（内、非常勤講師　　2 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

・自由課題をやるかやらないかは自由と言われたのにやってきてほしいと言われてよくわからなかった。それなら最初から「課題」と書いて明確に期限を示してほしかった。
→昨年は添削対象の「必須課題」として提出させる機会は全部で 4 回でした。
それ以外にも「もっと練習したい、自分から学びたい」という人のために自由課題という名の、様々なトレーニングを提案致しました。

提出した場合には必ず添削し、返却しておりましたが、クラスの半分以上が（評価に入れる入れないにかかわらず）自身のために提出されていました。期限を設けなかったのは、こうした「遅れてでも出したい」「学びたい」という気持ちにお応えするためでしたが、期限を設け、強制的にやってほしいというご意見もあろうかと思います。

大学での学びは人から言われてするのではなく「自らする姿勢が大切」だということは初回にも述べた通りです。自由課題は、その自ら学ぶお手伝いという趣旨で出していたことをご理解いただけたらと思います。今後は提出期限を設け、プラス評価のポイントにするなど、工夫していきたいと思います。

【学生に好評だった点】（アンケートの自由記述をそのまま引用）。
・レポート、論文作成についての基本的な用法が身についた。この授業内のみならず今後の様々なレポート等の作成の際にも役立つと思う。
・書くだけでなく話すことにも焦点が当てられ、非常にためになる授業でした。
・毎週課題等があり、少し負担もあったが、それによってきちんと学習を継続することができた為、とても良かった。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・名前はふせたうえですが、授業中、様々な答案例を紹介しました。
OHP を使用しながら、その場で添削するということも行いましたが、同じような誤りが減り、各自の要約の練習に活かされているように思いました。

・授業に対する質問・意見・感想を受講生に自由に書かせて授業終了時に回収し、次回授業の冒頭でフィードバックのコメントを教員がするということを毎回行っています。受講生の理解度や関心のありかを把握できるとともに、前回の内容の確認・補足を行った上で授業に入れるという点でも有益であると感じています。今後もこうした対応を継続し、授業運営のための材料として活用したいと思います。

・2017 年度の授業においては、全体を通じて前年度以前と比べて欠席者が目立つ印象を受けました。

特に、グループワークを行うことを事前に予告していた週には欠席者が多いという傾向が認められ、グループワークを嫌って、もしくはグループワークに向けた事前学習が不十分であることを理由に欠席した者が一定数いたのではないかと推察されます。事前学習の具体的な内容の指示をもっと早い時点で行って準備のための時間をより多くとれるようにする、グループワークの目的や意義を理解してもらうような働きかけを工夫するなどの対応を検討したいと思います。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 7 月 11 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	情報処理教育運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	加藤　尚吾
■検討会実施日	2018 年 7 月 4 日
■出席者数	4 名（内、非常勤講師　　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生･WEB 開示

「授業の進み方が早すぎる」というコメントがありました。当該科目は演習主体の授業でしたが、全員の様子を確認しながら授業を進めることが十分でなかったと考えられます。今後は、単元ごとに学生の皆さんの理解度を確認しながら授業を進めていきます。

「説明が丁寧でわかりやすい」というコメントがありました。当該科目は 2018 年度より必修科目になりますので、扱う内容がやや増えることになりますが、教室外学習に移せるところは移し、授業内では引き続き丁寧な説明をするように努めたいと思います。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生･WEB 開示

Ｃプログラミング Ｉ においては、理解度の項目が特に芳しくありませんでした。プログラミングは自身で手を動かしてはじめて身に付く技術ですが、授業中の演習では時間に限りがありますので、来年度以降は課題の量をより増やすことを考えています。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 6 月 29 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　教職課程運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　竹内　久顕
■検討会実施日　2018 年 6 月 21 日
■出席者数　3 名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

・授業内でグループ討議や意見発表といった方法を取り入れた参加型の授業では、「他の学生の意見を聞くことで新たな視点や考え方に気づくことができた」のような肯定的な感想が多く見られました。こうした授業方法は、新学習指導要領でも重視されている「アクティブラーニング」の視点にたつものです。教職課程履修学生は、今は授業を受ける側ですが、いずれ授業をする側に立つことになります。教職課程の授業では、アクティブラーニングの理論を学ぶだけでなく実際に経験してもらうことで、その利点と課題を学生自らが発見できるように工夫しているつもりです。今回のアンケートからは、こうした我々の意図がうまく伝わっていたように思われます。

・教職の就職状況や教職に就くための方法(教採の方式や必要な準備等)に関する情報を聞けたことが、自らの進路を考えるうえで参考になったといった記述が多く見られました。教職課程の授業では、教職の進路に関する情報提供や助言等を行なうことも目標としているので、今後も教職の進路情報提供は積極的に行なうつもりです。

・テキストの内容が難しいとの指摘が見られました。確かに、高校までの学習内容を前提にしているテキストなので、高校までの知識の習得状況によって理解に差が出るものと思われます。差を補うための授業の工夫も必要ですが、高校までの学習で身に着けるべき知識・理解を習得する努力も学生に求められると考えます。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

・テキストの難しさに関する指摘について。当該授業で用いているテキストは、教育学の入門書で学問的にも信頼されているものです。教育を深いところから考察する知性と態度を備えた教員として育ってほしいとのねらいで指定したテキストですが、高校までの学習事項の習得の差によって理解に差が出てくることも首肯できるところです。そこで、基礎事項を繰り返し説明したり、高校教科書や参考書のコピーを配布したりといった工夫をしてはいますが、わかっている学生にとっては馬鹿にされているように感じる者もおり、バランスのとり方が難しいのが現状です。高校までの学習事項の蓄積に個人差があるのは致し方ないので、受け身の姿勢で授業に臨むのではなく、理解が及ばない点を質問に来たり、スマホ等を活用して調べたりといった積極的な学習姿勢を期待します。人数の多い講義形式授業の宿命ですが、学びへの積極的な姿勢に対しては我々も真摯に応じます。

・授業の技術的な点に関して次のような要望がありました。①板書が読みにくい＝丁寧に書くよう心掛けるしか手がありませんが、略字を使用している場合は読み上げて注意喚起するようにします。②ノートを取りやすいようにしてほしい＝自分でノートを工夫すること自体が学生の学びでもあると考えます。とりわけ、教職課程履修学生の場合、将来教員として授業ノートを作成する側に立つことになるので、そのための力量を身に着けることも学生には求められます。もっとも、そうした我々の意図を十分に伝えられていなかった点もあるので、ノートのとり方に関する助言も適宜することとします。③言葉がはっきりしない(聞き取りにくい)＝アンケート設問７「教員の話し方は聞き取りやすかったですか」に対して 14%の学生がマイナス評価をしていることからも、この点の改善が必要であると自覚しております。今後は、教室の大きさによってはマイク使用を検討します。また、聞き取りに

くさは本人にはわからない場合が多いので、例えば、「今日の授業の〇〇のくだりが聞き取れなかった」のように、授業終了後に具体的な指摘をしてもらえれば、我々としても助かります。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 6 月 29 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等	学芸員課程運営委員会
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者	高橋　修
■検討会実施日	2018 年 6 月 25 日
■出席者数	3+1（文書回答）名（内、非常勤講師 3 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）学生・WEB 開示

〇授業に関する基礎知識を探るために、また、授業に対する集中力を促すために、随時、学生にマイクを差し向け、質問や意見を述べる機会を設けています。このことに対し、圧迫感を感じる旨の回答が寄せられました。一方的に講義をする形式では授業への参加意識が低下するため、あえて対話形式の手法を導入しています。

〇教材として実物資料が数多く用いられることから、書籍等の資料を見るよりも具体的に授業内容を理解することが出来たという回答が寄せられました。今後も実物資料はもとより、参考資料として現場写真・広報（ちらし・ポスターなど）・刊行物（図録・年報・紀要など）等、最新の資料・情報を積極的に参考資料として用い、より実践的に博物館の現場について理解を深められる授業を展開します。

２．授業改善等に向けた具体的な方策　学生・WEB 開示

〇講義のみでは、授業への参加意識が低下するので、適宜、対話型の形式やワークショップ的な内容を盛り込み、主体的に授業に参加しているという実感が得られるような授業を展開します。

〇近年、本学出身者が博物館や生涯学習・文化施設に就職し、現場の第一線で活躍する事例が見受けられるようになりました。将来のロールモデルとなり得るよう、彼女達が勤務する現場の関する最新の情報を適宜、授業の中で紹介します。そのことで、卒業後にどのような形で本学の授業内容が活用され得るのか、体感的に理解が深められるよう工夫を施します。

〇2017 年度からの試みとして、本学教職・学芸員課程から研究紀要（『教職・学芸員課程研究』）を発刊しました（本学図書館に架蔵）。博物館に勤務している本学卒業生のナマの声の他、本学での学芸員資格取得者数の推移や卒業生の勤務先一覧等といった基礎的情報も掲載しています。学芸員課程履修にあたり、また、将来の進路選択にあたり参考となる内容ですので、参照・活用してください。

「2017 年度後期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2018 年 8 月 1 日

■学科・専攻、研究所、科目運営委員会等　女性学研究所
■学科・専攻主任、所長、委員長等責任者　唐澤　真弓
■検討会実施日　2018 年 8 月 1 日
■出席者数　3　名（内、非常勤講師　0 名）

１．学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答） 学生・WEB 開示

＊女性学・ジェンダー関係科目の性質上現状では個別アンケート結果の持ち寄りができないため、割愛させていただきます。（その他の欄参照）

２．授業改善等に向けた具体的な方策 学生・WEB 開示

女性学・ジェンダー関係科目全体として、設問3～13の11項目中10項目で肯定的回答が95%を超え、またそのほとんどにおいて、「非常にそう思う」という最も高い評価が50%を超えていました。設問 7(話し方)および設問 9 (受講者の理解度の点検)、設問 10(授業運営の適切性・公正性)、設問12（問題意識の深まり）、設問 13(授業への満足度)で「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合わせた肯定的回答が高く、2016年度前期よりも多くの項目で95%を超えた事になります。2017年度前期と同様に設問 3(シラバスに基づく展開)、設問 5(授業の準備・計画性)、設問 8(教材の適切さ)設問 11(授業運営の適切性・公正性) は肯定的な評価が高く、シラバスや教材などが適切に用意され、準備されていることが、女性学・ジェンダー関係科目に対する学生の満足度を高めていると考えられます。残念ながら、設問 2(教室外学習の時間)で「週1時間未満」、「全くしていない」という回答が85%となっていることは、他の科目よりも高くなっています。教室外学習の指導を再点検し、より丁寧に行いたいと思います。例えば、女性研および図書館で蔵書している文献の紹介や精読をしていくことが挙げられます。設問 9(受講者の理解度の点検)についても9割を超える高い評価ながら、他の項目に比べると低い評価を与えた学生が多くなっています。学生の理解度の点検をより丁寧に行っていきたいと思います。全体的に高い評価を得ている現状を維持しつつ、引き続き受講生の理解度の点検・配慮をより高めるよう工夫し、女性学・ジェンダー分野の問題がさらなる学習を促すようにより留意しながら、女性学・ジェンダー関係科目のさらなる充実を図りたいと思います。

「女性学・ジェンダー関係科目」について|

授業評価アンケートの実施にあたっては、本学が開示している全シラバスの中から「女性学・ジェンダー関係科目」を抽出しています。抽出に際しての代表的なキーワードとして挙げられるのは、「ジェンダー」、「家族」、「男女共同参画」、「キャリア 」などです。また、全体的な抽出基準としては、ジェンダー(社会的・文化的性差)に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共同参画社会のあり方を考える視点を養う上で有効であることが重視されています。

Ⅳ．FD 委員会による分析・総括と今後の展望

執筆担当者一覧

*2009年度～2017年度

1．授業評価アンケート結果の8年間*の推移―全学の概要
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・FD委員長　小田浩一

2．学科科目における8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析
(1)各専攻による8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析
哲学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　黒崎政男
日本文学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　今井久代
英語文学文化専攻・・・・・・・・・・・・・・・・主任　野村恵造
史学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　樋脇博敏
国際関係専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・教務委員　家永真幸、主任　聶莉莉
経済学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　二村真理子
社会学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　赤堀三郎
心理学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　森田慎一郎
コミュニケーション専攻・・・・・・・・・・・・主任　小田浩一
言語科学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　松尾慎
数学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　大阿久俊則
情報理学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・主任　加藤由花
(2)学科科目における2016年度～2017年度「学生による授業評価」アンケートに関する検討会から得られた知見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・FD委員長　小田浩一

3．学科科目以外の科目における8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析
(1)各科目運営委員会等による8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析
総合教養科目運営委員会・・・・・・・・・・・・委員長　光延真哉
総合教養科目<女性のウェルネス領域>担当者会・・・責任者　曽我芳枝
キリスト教学科目運営委員会・・・・・・・・・・委員長　遠藤勝信
第一外国語運営委員会・・・・・・・・・・・・・委員長　森博英
第二外国語運営委員会・・・・・・・・・・・・・委員長　白井恵一
日本語科目運営委員会・・・・・・・・・・・・・委員長　丸山直子
情報処理教育運営委員会・・・・・・・・・・・・委員長　加藤尚吾
教職課程運営委員会・・・・・・・・・・・・・・委員長　竹内久顕
学芸員課程運営委員会・・・・・・・・・・・・・委員長　髙橋修
(2)学科科目以外の科目における2016年度～2017年度「学生による授業評価」アンケートに関する検討会から得られた知見・・・・FD委員　雨田英一、永原歩

4．女性学・ジェンダー科目における8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・女性学研究所長　唐澤真弓

1．授業評価アンケート結果の8年間の推移―全学の概要

FD委員長　小田浩一

1．経年変化の可視化

各教員がいろいろに工夫した結果も、すぐに授業評価アンケートの数値として見える形で現れてくるわけではない。専攻や科目群でまとめたり、大学組織全体としてみた場合には、さらにその変化は見えにくくなる。そもそも受講する学生自体が同じでないこともあって、ある程度の変動をもった数値となるので、前年度の数値との比較では、それが単年度の変動による（たまたまそうなっただけ）のか、何か一定の傾向をもった変化（実際に改善がみられた）なのか区別することが難しい。しかし、その見えにくい変化も長い時間経過として可視化してみると、年度ごとの変動とその通底にある一貫した傾向を見出すことができる。

今回の報告書では、過去８年間の授業評価アンケートの結果について経年変化を集計して分析してみた。まず、大学全体について概観し、その後に、各専攻ごと、科目群ごとに詳しく分析する。各専攻ごと、科目群ごとの推移に関しては、それぞれの責任者から短い評価と今後の見通しを報告いただいた。

2．大学全体の傾向

授業評価アンケートは、開講されている授業を学科科目と学科科目以外の科目の２群にわけて半年ごとに交互に実施している。例えば、前期が学科科目で後期が学科科目以外、翌年はその反対というようになっている。大学全体の傾向をみるために、前期後期にわけずに、これらをまとめて年度ごとに全部集計した結果（ 5.資料　8年間*の授業評価アンケート結果推移）について概観する。

授業への出欠については、もともとの水準が高い。全部出席した学生と、１～２度のみ欠席した学生を合わせると、2009年にはすでに90%を超えている。すでに出席については高い水準にあるのだが、８年間を通して微増している傾向がみえる。

教室外学習については、2009年から最初の３年間で、全くしていない学生の割合が40%超えから30%未満に急激に減っている。その後はあまり大きな変化がみられないが、2015年度以降にまた若干の増加傾向があるようにも見える。このような変化の原因が何かを特定することは難しい。シラバスの改訂はしばしば行われており、そのいずれも学生の教室外学習を促進する効果が期待されるものである。2009年度から起こった大きな変化は、学部統合に関係したカリキュラム改革である。シラバスには、2009年に授業回数13回分の各授業回の内容の記述が行われ、2010年には成績評価について、評価の方法と評価の基準が分けて具体的に記載されるようになった。2011年には15回の授業について詳述されるようになった。2009年度からの４年間で現代教養学部のカリキュラムが完成していく過程で学生の教室外学習時間は急激に増えたと見ることができる。と言っても、以前として教室外学習を全くしていない学生は30%弱、と比較的高い水準（教室外学習時間として非常に低い水準）にとどまっている。

授業評価アンケートの検討会では、一貫して学生の自主的な学習や教室外学習時間を増やすための工夫を共通テーマとして設定して検討しつづけており、設問３以降の結果を見ると、それが一貫して効果をあげて来ていると思われる。特にシラバスの頻繁な改訂は設問３、４を見ると学生に好意的に評価されていることがわかる。しかし、それに比べると、教室外学習時間の増加はにぶいと評価せざるを得ないであろう。特に設問11では、教室外学習の指導の適切さは一貫して改善されていると評価されている。

ところが、教室外学習時間はこの評価を反映したようには伸びていない。

教室外学習時間は、専門知識や汎用的能力の獲得にとって重要なだけでなく、学生が主体的に学んでいく態度を形成している指標とも言えるので、教養教育にとって重要である。他の授業評価アンケートの指標（設問）に対する評価はおしなべて高く、それらを評価している限り、これ以上の授業改善の伸びしろを期待することは難しいように思われる。例えば、設問13を見ると、授業に対する満足度は、満足した学生とある程度満足した学生を合わせると2009年度から90%を超えている。学生は満足しているのだから、もう改善しなくてもいいのではないか？全員が100%満足する授業をすることには無理があるという気分になる。しかし、満足しているが、教室外学習をする気にならないという学生の状態は、果たして望ましい状態か？ということを考えると、教育改善の方向性が見えてくるように思われる。言い換えれば、教室外学習時間にはまだまだ伸びしろがあるし、それを指標にすることで教育改善を進める可能性が出てくるということである。

実際、何年にも渡ってつづけてきた、シラバスの改善や授業評価アンケートの検討会における教室外学習を促す工夫の検討の成果が、全学の８年間の経年変化の中に、すべての設問に見られる着実な改善のトレンドとして現れているのだと評価することができる。設問13の授業に対する満足度についても、非常にそう思う学生の割合は2017年に50%を超えているが、2009年からずっと微増のトレンドにあるように見える。つまり、もうこれ以上の満足度など望むべくもないということはなく、教職員のたえまないFD・SDの取り組みはこのような形で報われうるものということができるであろう。

2．学科科目における8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析

(1)各専攻による 8 年間*の授業評価アンケート結果推移の分析

哲学専攻主任　黒崎政男

(1)結果の分析・評価

8 年間の全体を見通してみると、学科科目全体と同様に、哲学専攻においても、シラバスの有効性がしだいに浸透していく様子が見て取れる。また、全体的な満足度には大きな変化は見られないと考えられる。

さらに、さまざまな設問において、前期と後期での周期変動が見て取れる。これは設問によってすこしずつ意味が異なっている。

設問 1「出席率」では、前期の方が出席率が高く、後期では出席率が若干落ちる。これは「すべて出席した」の割合が前期と後期で大きく変動しているからである。ところが、これに「1～2 度欠席した」を加えると、その合計は、全体の約 90%に達していて、これは 8 年間を通じてほぼ安定していることがわかる。この設問で目立つギザギザは、前期では「すべて出席」していた学生が後期で「1～2 度欠席」に変化することが多い、ということを示しているだけで、なにか深刻な事態を示しているとは考えなくてよいと思われる。

これに対して設問 4 シラバスは有効だったか、においては、「非常に」と「ある程度」の肯定的意見を加えると約 90%前後で、やはり、8 年間あまり変化はないが、「非常に」が一定して少しずつ増加している。これは FD のよい成果がでていると思う。

設問 6「内容の理解？」では、やはりジグザグを示すが、これは後期のほうが「非常に」が増えるためである。「非常に」と「ある程度」を加えるとあまり変化はない。同様の傾向は設問 7「聞き取りやすい話し方」でも後期のほうが「非常が増える」ギザギザである。

設問 13「総合的満足度」では、「非常に」と「ある程度」を加えると、ほぼ一定して９０%に達しており、満足できる。この問いのギザギザは後期に「非常に」が増えるためである。

(2)今後の対策、この成果をどのように生かしていくか

総じてこのように分析できるが、2017 年度前期の調査では設問 6「内容の理解」で、全体的に「非常に」＋「ある程度」の合計が多少衰退しているようにも見える。設問 13「総合的満足度」でも、周期変更なのか、衰退傾向なのか、ちょっと見極めかねる。この点に留意し、この分析結果を生かして、学生に内容をより理解させる努力をしていきたい。

日本文学専攻主任　今井久代

(1)結果の分析・評価

授業の出席率については、3 分の 2 程度出席は、2010 年度後期と 2012 年度後期が多い（1 割かそれ以上）であるのを除くと、だいたい 3～7%でそう大きくは違わないのに対し、「すべて出席」と「1～2 度欠席」が前期と後期で有意に違っている。すなわち、後期になると、1～2 回ぐらい休んでも大丈夫だという安心(慢心)がうまれるようである。とはいえ、３分の１以上欠席するところまではいかず、多少欠席が増える程度というところに、真面目な日本文学専攻の気質らしさが表れている。

設問 3「教室外学習にかけた時間」も、概ね前期の方が長く、後期は短くなる傾向にあるといえる。それほど劇的な変化があるわけではないが、2009 年度、2010 年度のころより、ここ数年は若干(1 割程度)ではあるが、学習を「全くしていない」が減ったようである。学習するものであるという習慣が多少は身についたようである。2015 年度は有意に教室外学習の時間が増えているのだが、この年の授業の理解度や、授業満足度との間にほとんど相関関係が見られないのが興味深かった。授業の理解度が有意に上がり、またわかるから面白い、と思うようになるには、もっと自習の時間が必要であるのかもしれない。

シラバスが授業の理解や学習を進めていくうえで役に立ったという回答も、なだらかに右肩上がりの変化が見られ、8 年間でおよそ 2 割以上向上している。

また、設問 5「授業の計画性」や設問 9「理解の程度の点検・配慮」についても、およそ１割ぐらいであるが、全体的に向上している印象である。しかしそれ以外の設問 8「教材内容の適切さ」、設問 10「授業運営の適切・公正さ」、設問 11「教室外学習の指導の適切さ」・設問 6「授業内容の理解度」などについては、特に変化はみられない。

設問 6「授業内容の理解」は全体的な傾向はうかがえず、その時々でわずかに（1 割程度の範囲内で）変動しているようであるが、おおよそ設問 7「聞き取りやすさ」への回答と連動しているようであり、またこれは設問 9「受講者への配慮」や設問 13「授業満足度」とも関連しているように思われた。聞き取りやすい話し方が、授業の理解や満足度向上の第一歩であるようだ。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

シラバスについては、全学的にその内容の充実がはかられており、その流れに従うこととなる。教室外学習の時間を増やすのが求められるところであるが、前期の方が学生もフレッシュな気持で積極的に学習する傾向がわずかに確認できるので、特に前期を授業担当する際に、教室外学習の必要性を感じるような授業運営を心がけ、後期にもその影響が及ぼされることを期待したい。

また「聞き取りやすさ」「受講生への配慮」は、「授業理解」「授業満足と深く関わるようなので、ここに意を砕くことが大切であると考える。

英語文学文化専攻主任　野村恵造

過去8年の間に、学科科目全体では、シラバスの有効性が少しずつ上昇している、出席率が前期と後期で周期変動している、全般的な満足度に大きな変化がみられない、などの傾向があるが、英語文学文化専攻でもほぼ同様の値を示している。

以下､本専攻に関して特記すべき事柄を記述する（学科科目全体の数値との差は概してわずかであり、統計的には誤差の範囲かもしれない）。

設問1の「出席回数」の回答結果によると、本専攻は全体よりも出席率が高い。演習形式の授業はもちろん、講義であっても英語の文献やテキストを授業内で分析したり議論したりするため、出席して授業に参加することが求められ、そのことが高い出席率として表れていると思われる。ただし、前期と後期の周期変動は全体と同様であり、就職活動などの影響による可能性もあるが、理由ははっきりしない。

設問 2 の「教室外学習の時間」も、全体より高い値であるが、英語のテキストや文献を扱う関係で予習は必須であること、さらに、本専攻では、授業のタイプに関わらず、レポートを頻繁に課す授業や、自ら調べ、その結果をまとめて発表したりする形式の授業が多いこと、などに起因すると思われる。

設問 6 の「内容理解」、設問 7 の「聞き取りやすさ」については、英語のみで行われる授業が多い専攻であることから、低めの評価が予想されたが、全体とほぼ同様の値である。これは、授業内容を理解できるように教員が工夫していることによるものと思われるが、しかし、設問 9 の「理解度の点検・配慮」も全体と同様なので、いずれの専攻の先生方も、それぞれの分野の内容を学生に理解させるために意を用いておられ、それと同程度ということなのであろう。

設問 1、2、3 を除くすべての項目について、「2011 年度前期→2012 年度後期」の間で、「非常にそう思う」という回答が 10 ポイント以上の上昇を記録している。学科科目全体には見られない変化であり、また、本専攻においても、ほかの期間は変化があるとしても漸進的であることを考えると、特異な現象だと思われるが、理由は不明である。

この 8 年間でシラバスが整備され、教員の間で授業の目標や計画を明示することに対する意識が高まってきた。さらに、本専攻では従来から、いわゆるアクティブラーニングの手法を用いた授業運営を行う教員が多かったが、学生による授業評価の結果を毎回、専攻内で共有し、各教員が授業のレベルや進め方、学生との対話の仕方について、いっそう工夫を凝らすようになったと言える。本専攻はいずれ国際英語専攻にバトンタッチするが、移行後もこれまでのＦＤ活動の蓄積を踏まえて、さらに授業の改善に努めたいと考えている。

史学専攻主任　樋脇博敏

(1)結果の分析・評価

①設問全体を通して、前期科目の評価は低く、後期科目のそれは高い。授業計画（開講学期、授業担当者、授業内容等）のあり方が、このような現象の主たる原因とは考えがたい。

②教室外学習については、(ⅰ)2010 年度後期から 2011 年度前期にかけて伸び、次いで、(ⅱ)2016 年度後期から 2017 年度前期にかけて伸びている。(ⅰ)は、教室外学習の不足が問題視され、対策が論じられるようになった時期、(ⅱ)は、学修成果の可視化を目指して、教室外学習の定義の明確化等が図られた時期にあたる。

③シラバスの有用性については、徐々にではあるが、評価が高くなっている。シラバスの充実に継続的に取り組んできた成果と評価できる。

④設問 6「授業内容は、よく理解できましたか」と設問 9「教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか」については、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」の結果が似たような動態を示しており、連動していると考えられる。

⑤授業の満足度に経年変化は認められない。さらなる向上に向けた取り組みが必要である。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

①評価の隔年現象は学科科目全体で認められるので、FD 委員会、IR 委員会等での総合的な分析が望まれる。

②教室外学習の指導をより具体化し、徹底させてゆく。

③引き続きシラバスの充実に努める。

④学期末だけでなく学期中にも理解度をチェックする段階評価の導入を検討する。

⑤「総合的に判断して…満足」という評価は漠然としていて、どこを／どこから改善すればよいのか迷うが、まずは授業内容の理解度を上げていくことが起点になると思われるので、そのための方策を急ぎ検討する。

国際関係専攻教務委員　家永真幸
国際関係専攻主任　　聶　莉莉

以下、設問ごとに「(1)分析・評価」を述べた上で、「(2)専攻としての今後の対策、FD への活用」に下線を引いてある。

設問 1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
「すべて出席した」回答が、毎年前期が後期を 10 ポイント程度上回る点は、全学と同様の傾向を示している。「すべて出席した」と「1～2 度欠席した」と合わせると 9 割強前後をキープしていることから、学生の出席状況は良好と判断してよいのではないか。

設問 2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。
「全くしていない」が漸減、週 1 時間以上の合計が漸増傾向にあることから、教室外学習への促しは改善傾向にあると考えられる。ただし、全学の数値よりはやや低い値を示していることから、他専攻の優れた取り組みは積極的に参考にすべきであろう。

設問 3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。
3 年度分のデータしかないが、若干の改善傾向を示していると言えなくもない。

設問 4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。（この授業においてシラバスは有用でしたか。）
明らかな改善傾向を示している。近年の努力、とりわけシラバスの内容を充実させたこと、フォームを改善したこと等によるものと思われる。この良い状態を維持していくべきであろう。

設問 5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。
若干の改善傾向を示している。設問 1 と同様、この点はもとより高水準だったため、良い状態が維持できていると評価してよいだろう。

設問 6　授業の内容は、よく理解できましたか。
全体としては改善傾向にあるが、すでに「高止まり」しているとも言える。アンケートの数値を上げることに気にしてこれ以上の改善を目指すと、かえって授業内容の（不要不急の）簡素化が起こり、向学心の高い学生の満足度が下がることも考えられる。学生の個別の「わかりにくい」という反応に対しては丁寧に対応すべきだが、授業内容や段取りにかかかわる対応まですべきかどうかは、慎重に考えるべきであろう。

設問 7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。
若干の改善傾向を示しているが、伸びが鈍化しているようにも見える。2 割の学生に「聞き取りにくい」と思われている状況は真摯に受け止め、各教員が個別に改善を試みる必要がある。特に大教室では、後ろのほうの席まで声が届いているかどうかを時々学生に確認する、マイクを使用するなど状況に見合

った方法で改善に努めるべきであろう。このほか、他専攻の優れた取り組みは積極的に参考にしたい。

設問 8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。
　若干の改善傾向にあり、良好な状態が維持されている。

設問 9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。
　若干の改善傾向にあるが、伸びが鈍化している。リアクションペーパーの活用などの対応が必要であろう。

設問 10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。
　高い水準が維持されている。

設問 11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。
　改善傾向にあり、高い水準が維持されている。このままさらなる改良を続ければよい。

設問 12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。
　肯定的な回答が 9 割前後を推移しており、おおむね良好な状態である。さらなる改善の余地もあるが、否定的な回答をした 1 割は「自分の問題関心は国際関係ではなく、別のところにある」ということに気づけた学生であるとも考えられ、性急な改善が必要とも思われない。

設問 13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。
　2009 年度からの経年変化でみれば改善傾向にあるが、伸びは鈍化している。「高止まり」と言えなくもないが、この設問については、数値の追求が授業の改善につながる可能性が高いので、さらなる努力をすべきであろう。そのためにも、不満を持つ学生が何に不満を持っているのか、具体的な内容に個別に対応しなくてはならない。

経済学専攻主任　二村真理子

(1)結果の分析・評価

まず、大学全体と経済学専攻の結果を比較した。あまり傾向に大きな違いがあるとは思わないが、教室外学習の部分については、経済学専攻は「全くしていない」が３割を超えている。経済学の場合、用意をしなくては授業が受けられない、と言う授業はあまり多くは無いし、復習をすることが有意義である、という性質の授業も限られると思われる。講義によっては、このような項目を質問することが適切であるかどうか疑問がある。

しかし、基礎理論のように予習、復習が必要である科目もあり、できれば、質問項目にメリハリを持たせることはできないかと考えた。教室外学習が必要であるものとそうではない性質のもので、一部質問内容を変えることはできないか。

とはいえ、全くしていない、と３人に１人が答えて恥じない状況は由々しいことであり、今後改善が必要であるとも思った。

設問１の出席状況であるが､後期の欠席率が高い点に関しては､欠席の理由が分かると面白いと思う。秋冬ですから風邪などによる「体調不良」であれば問題ないし、それ以外に要因があるのであれば、探ってみる必要があると思う。

これは学生から指摘されたことであるが、隔年の授業の場合、何年たっても授業評価に当たらないものがある。学生の声を反映するためにも、何か方策は無いか？

(2)今後の対策、この成果をどのようにFDに生かしていくか

今回のアンケート結果より、学生は授業に不満を持っていても、直接に教員に言うなどの行動に出ない学生が一定数いることは驚くべきことであった。特に「教員の話し方」「授業の内容の理解」などは授業の根幹にかかわる部分もあり、今後、学生が改善を要求しやすい環境を作ることが出来るだろうか、と考えているところである。

８割を超える学生が、シラバスが有用である（非常にそう思う＋ある程度そう思う）と回答しているので、シラバスの充実、事前の授業計画の精度向上を図ることが必要であろう。ただし、経済学の場合、実際の社会経済情勢や学生の理解度に合わせて内容を変更することは改善に資するものであるので、今後も柔軟に対応する必要があると思う。シラバス変更の場合には、学生に説明するなどして、理解を求めることも必要であると思った。

経済学専攻では、専攻会議の際などに自らの授業で経験したことや感じたことなど、意見交換を頻繁に行っている。今後もこのような機会を設けることで、授業の改善に努めたい。

社会学専攻主任　赤堀三郎

(1)結果の分析・評価

社会学専攻のみの趨勢としては、設問 4「シラバスの有用性」設問 5「授業がよく準備・計画されていたかどうか」設問 6「授業内容の理解度」設問 7「教員の話し方の聞き取りやすさ」設問 8「教材の適切性」設問 9「受講生の理解度への点検・配慮」設問 10「授業運営の適切性・公正性」設問 11「教室外学習の指導の適切性」設問 12「受講生の問題意識や関心の深まり」設問 13「授業への総合的満足度」といった設問群に対し、もっともポジティブな選択肢（非常にそう思う）を回答した者の割合がここ 7、8 年のあいだにじりじりと上がってきている。

これを全学の趨勢と比較すると、社会学専攻のみの趨勢のほうがグラフの右上がりの傾きが急である。

つまり社会学専攻においては、上記項目に関して、ここ 5 年ほどのあいだに授業評価が劇的に向上したといえる。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

設問 3「教室外学習にかけた時間」の回答を見ると、社会学専攻では、教室外学習を「全くしていない」、「週 1 時間未満」という回答が 8 割を占める。

これは全学の趨勢と比較すると、低調であるといえる。

社会学専攻としては、学生に教室外学習をさせる仕組みを考え、組織的に授業に導入していく必要があるだろう。

心理学専攻主任　森田慎一郎

(1)結果の分析・評価

心理学専攻において最も出席の厳しい科目は実験演習科目であるが、その科目を除いた回答である本結果において、全体よりも高い出席率が示されていることは注目に値する。その要因の一部として考えられるのが、シラバスが整備され、授業がよく準備・計画されてきていることである。このことは、それらを問う設問における好ましい評価の割合が、全体よりも高いレベルを維持しながら、少しずつ上がってきていることに示されている。非常勤講師を含む担当教員が、年々精緻化されているシラバスの作成基準に従って質の高いシラバスを作成したり、学生の理解度の向上を目指して、教材の準備や受講者の理解度のチェックを入念に行ったりしていることが、成果をもたらしていると言えるだろう。実際に設問 6「授業の内容の理解度」設問 8「教材の内容の適切さ」設問 9「受講者の理解の程度への配慮」についての設問における好ましい評価の割合も、全体よりも高いレベルを維持しながら、少しずつ上がってきている。以上のことをふまえれば、設問 12「授業を受講しての問題意識や関心の深まり」設問 13「総合的な授業への満足度」が上がってきていることも納得できる。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

心理学専攻としては、引き続き、シラバス作成を含めた授業の準備、ならびに受講者の理解度のチェックをはじめとする実際の授業における様々な工夫において、担当教員を支援できるような FD 活動や対策に取り組みたい。具体例としては、恒例となっている教員相互の授業参観が挙げられる。他者の授業には学ぶべき点が多数あるため、参観することの意義は極めて大きい。さらに、それとも関連するが、IT 技術に代表される最新の技術を導入した授業方法を知る機会についても確保したい。特に近年、受講者の理解度のチェック、さらには、チェックした結果について受講者へのフィードバックを行う際に便利な技術が開発されているため、授業における双方向性の向上に役立つものは積極的に取り入れたい。なお現実場面では、シラバスなどを念入りに準備しても、それを見ていない学生も若干名は存在する。そのような学生は、教室外学習を含めた学習の進め方そのものへの理解が不足していることが多いと思われる。したがって、そのような学生の存在を意図した、地道な授業の方法（例えば、繰り返し教えること）も忘れないようにしたい。

コミュニケーション専攻主任　小田浩一

コミュニケーション専攻の授業評価アンケート結果の2009年度前期から2017年度前期までの推移を見ると、ほとんどの設問で改善の傾向を見ることができる。変化があまり見られない設問は、出席とシラバスに基づいて授業が行われていたかの２つだけである。特に改善の著しいのはシラバスの有用性で、非常にそう思う学生の割合は2009年度の9.7%から2017年度の44.6%までほぼ一貫して増加しているように見える。シラバスの改善は設問5「授業の計画性」と関連しており、設問8「用意された教材」、設問9「受講者の理解度への配慮」、設問10「授業運営」、設問11「教室外学習の指導」などのすべての設問で「非常にそう思う」の割合は伸びている。これらはおそらく教員側の各方面における地道な改善が評価され、学生の学習にも影響したのではないか、努力が効を奏したと評価することができる。学生の出席率については、大学全体と同じく、前期高め後期低めの１年周期の変動がみられるが、興味深いのは、この出席率の変動と設問2「教室外学習の時間」や設問6「授業の理解度」などが同期していることである。学科全体でみると、出席率と設問6「授業の理解度の間には若干だが位相の反転が見られるが、コミュニケーション専攻ではすなおに、出席率は他の評価と同期している。

シラバス関係については、大学全体で教務委員会とFD委員会が中心に改善してきた努力によるものと考える。教室外学習の増加については、初期には大学全体（学科科目全体）と比べて低い結果となっているが、2017年度前期はほぼ全体と同じ程度に学習しているように見える。増加が著しいのは、最初が低かったからということも影響している。コミュニケーション専攻では、授業評価アンケートの検討会にて、検討会のテーマに基づいて教員個々の教室外学習時間を増やす工夫等について報告しあい授業を改善してきた。その成果があらわれたのではないかと評価する。総じてこれまでのFD活動が成功していると評価でできるので、今後もこれを原則的に継続していくとともに、特に教室外学習を促す工夫を共有していくことが望ましいと考える。

言語科学専攻主任　松尾慎

FD 委員会の分析によれば、8 年間の経年変化を可視化したところ、学科科目全体でみると(1)シラバスの有効性がじりじりと上昇していたり、(2) 出席率が前期と後期で周期変動していたり、(3) 全般的な満足度には、大きな変化がみられないことなどが見えたとのことである。この点に関し、言語科学専攻の専攻科目の結果に関し分析を加えたい。

(1)の「シラバスの有効性」に関し、設問 4「この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか」という問いに対する回答を見てみると学科の傾向同様に本専攻学生の回答は、「非常にそう思う」の割合が増加傾向にある。例えば、2009 年度前期は、12.2%、2013 年度前期は 35.3%、2017 年度前期は 47.8%となっている。学科科目全体では 2017 年度前期は 41.6%であるので、本専攻科目における「シラバスの有効性」は比較的高いといえるだろう。

(2)の出席率が前期と後期で周期変動している点に関しては、本専攻において学科全体とほぼ同じ結果であり周期変動していることが明らかになった。この点に関しアンケート結果からその理由を探ることは困難ではあるが一定数の学生が後期には風邪やインフルエンザなどに罹患するなど体調面の管理が前期よりもむずかしいというような理由も考えられるのではないかと思われる。

(3)の全般的な満足度には、大きな変化がみられないという点に関しては、本専攻の場合、多少の増減を繰り返しながら、緩やかに満足度が増加傾向にあるように見える。次に設問 13「総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか」という問いに対する「非常にそう思う」の回答割合に関し学科科目全体と本専攻の結果を比較してみる。学科全体では、9 年間の調査において 50%を超えたのは 1 回のみであるのに対し、本専攻では 6 回超えていることが分かった。なお、本専攻の傾向として、回答人数の多い回（2011 年度、2013 年度、2015 年度）には「非常にそう思う」の回答割合がやや低めとなっていることも注目される。

今後専攻としてどのような FD や対策をとっていくのが良いか、この成果をどのように FD に生かしていけるかに関しては、今回学科全体の結果で明らかになったシラバスの有効性を専攻構成員で共有し、さらに授業を理解し学習を進めていく上で役に立つシラバスのあり方を検討していくことが重要ではないかと思われる。特に教室外学習に関する指示の明確化、分かりやすさなどを検討していきたいと思う。

数学専攻主任　大阿久俊則

設問2「授業の出席率」については改善の傾向が見られる。また設問3「教室外学習の時間」については2009年度から2013年度までは顕著に増加しており、その後は大きな変動はない。これは教員が頻繁に演習問題やレポート課題などを課すようになったことが大きな理由であると思われる。2013年度以降は平均学習時間が2時間弱程度で推移しており、学生の履修科目数を考えると、これ以上の大幅な改善は難しいのではないかと思われる。今後もこの水準を維持できるように授業運営を行うのがよいと考える。

設問4「シラバスの有効性」、設問5「授業の準備・計画」、設問9「教材」、設問9「学生の理解度のチェック」、設問10「授業運営」、設問11「教室外学習の指示」等についても改善の傾向が見られる。FD活動によって授業が改善されてきたことを示すものと考えられる。

一方で、設問6「授業内容の理解度」については大きな変動は見られない。設問3「教室外学習の時間」は増えているのに理解度はそれほど向上していない。数学専攻の授業内容については2009年度以降大きな改訂はないので不思議である。ただし、9年間一貫して「ある程度理解できた」という学生が8割前後いるので、これは2009年度以降一貫して教員が学生の理解度を考慮した授業を行っていたことを示していると考えることもできる。また試験実施前の時点での理解度の学生による自己評価であるため、教員側が判定した理解度とずれがあることも考えられる。

授業満足度については2016、2017年度で肯定的回答がやや増加していることを除いて顕著な変動はなく、9年間一貫して8割から9割の学生がある程度満足している。授業満足度は教員の努力だけでなく学生の学力や興味にも左右されるので、現状でも十分に評価できる数値であると思われる。

今回のデータは全般的に教員の授業改善が着実に行われてきたことを示していると考える。一方で授業評価アンケートは結果を向上させるために学生に迎合した授業を進める等の弊害も懸念されるため、ある程度の水準を保っている限り授業評価の結果には過度にこだわらない方が良いと考える。

情報理学専攻主任　加藤由花

学科全体では、以下の 3 点の傾向が読み取れる。（1）シラバスの有効性が年を追うごとに上昇している。（2）出席率は前期と後期で周期変動しており、後期に出席率が落ちる傾向にある。（3）全般的な授業に対する満足度に大きな変化は見られないが、2010 年度以降は各項目ともに十分な水準に達しており、授業運営について特段の問題は発生していないと考えられる。

専攻内評価に関して、上記と対応させて考えると、以下の 3 点の傾向が読み取れる。（1）シラバスの有効性は学科全体の傾向とほぼ同様であり、年を追うごとに上昇している。シラバスは、毎年フォーマット等が改良されており、教員の立場では作成に手間がかかり煩雑だが、学生にとっての有効性は高まっていると推察され、全学的な取り組みの成果が出ていると考えられる。（2）出席率は一部例外もあるが、学科全体と比べると前期と後期の差が少ない。ここ数年は、約 60～70%の学生が「全て出席」しており、高い出席率を維持している。他専攻と比べて、実習を含む科目が多いことが要因かもしれない。（3）全般的な授業に対する満足度は、学科全体の傾向とさほど違いはないが、2017 年度は「非常にそう思う」の割合が大きく上昇している。「授業評価に関する検討会」等を通じて、継続的に授業改善に向けた具体的な方策を策定しており、その成果が出ていると考えられる。一方、学科全体と比較すると、設問 6「授業の内容の理解」については、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計が 20%程度であり（学科全体では 10%程度）、相対的に低い評価になっている。ここ数年大きな変化も見られず、改善が必要な項目である。これは、授業はよく準備され、適切に運営されているが、それが学生の理解度につながっていないことを示唆している。

以上、総括すると、これまでの FD 活動の成果から、2010 年度以降、適切な授業運営がなされ、学生の授業に対する満足度は向上している。一方、それが授業内容の理解度につながっていない。この観点から、再度分析結果を見てみると、学科全体と比較したときに当専攻では、設問 3「教室外学習の時間」が相対的に低いことが読み取れる。学習時間は増加傾向にあるものの、「全くしていない」「週 1 時間未満」を合わせると約 70%という高い数値になっている。授業内容の理解度については、授業の工夫だけではなく、予習、復習を含めた主体的な学習が不可欠である。学びの姿勢については、今後の検討委員会等で話し合っていきたい。また、各授業科目においての工夫の他、学習スペースの確保等、設備面の拡充も必要であると考える。

(2)学科科目における 2016 年度～2017 年度「学生による授業評価」アンケートに関する検討会から得られた知見

FD委員長　小田浩一

授業評価アンケートの検討会では、年度ごとに１つの共通テーマを設けて、そのテーマをめぐる教育改善の工夫について、専攻で話し合っている。本報告書に掲載されている専攻ごとの検討会の報告からは、その部分は割愛されている。ここでは、その共通テーマに関する教育改善の工夫について、各専攻から報告されている具体的なアイデアをまとめて共有する。学生の学習を促進するために教員がいろいろな工夫をしていることが良く分かる記述になっている。

1．学生を主体的に学習させる工夫

2016年度の共通テーマは、学生を主体的に学習させる工夫であった。記載されていた内容は、大きく分けて、授業の中で学生に行わせるグループワークにおける工夫、授業中に書かせるリアクションペーパーやコメントペーパーやフィードバックについての工夫、学生に課す課題や教室外学習の工夫とその他に分けることができた。内容には重複する部分もあるが、無理に整理してまとめて抽象化してしまうと、せっかくの具体的な工夫が分かりにくくなるので、各専攻が記載した内容をそのまま転載列挙させていただき、読者の授業改善のヒントとして供する。

1.1 グループワークに関するもの

・グループワークでは、グループ内のコミュニケーション能力が欠かせない。これを高めるための実践的工夫（カードを利用しゲーム感覚で、協働でコミュニケーションをとりながら工夫し合って解決することになる、課題を与える。10分～30分程度かかるような内容）が提示された。知識の教授とはやや異なるが、協力し合ってグループで何かをするアクティブラーニングの姿勢を、ゲーム感覚で引き出す興味深い教材であった。ただしこの課題（教材）の作成にはコツが必要で、かつ実際に作るのにはそれなりに手間がかかる。あるいは、こうした課題を作るといった事前準備に、TAに関わってもらうのが良いかもしれない。

・演習クラスの場合、グループ・ディスカッションはやはり有効だと思う。グループ・ディスカッションの成果を発表する形式を採ると、効果が大きいように思える。同じテクストを読み、それぞれのグループが発表するスタイルを採ると、グループ発表というゴールがあるので予習やグループ・ディスカッションにも力が入る。この形式ばかりになると学生としては時間が足りないことになるだろうが、一つの有効な方策であると思える。なお、グループ発表に対してコメントをメールで提出させ、それをまとめて配布しているが、それもレポートを書く際の刺激になっていると思われる。

・必ず毎回扱う箇所に関するディスカッションクエスチョンを複数考えて準備して授業に臨み、学生たちをグループに分け、机間巡視をしながらディスカッションをさせる。自分たちのコメントを全体と共有する中で新たな発見を促す。

・ある演習クラスでは、毎回、受講生の中から教師的役割を遂行するものを割り当て、主体的に知識をつけさせるとともに、自主的にクラスを切り盛りさせるという工夫を行っている。

・ある講義クラスでは、教員が話す時間を減らし、受講生のワークや周囲の人たちとのディスカッショ

ンなどを導入しているという事例が提供された。同クラスでは、毎回、指名した数名を前に出させてトークさせるなどの工夫も行っている。

・人数の多い演習クラスでは、受講者をいくつかのグループに分け、グループ学習を導入して、グループ内での共同作業の導入、グループ間で競わせる作業の導入など、学生を主体的に学習させるための工夫を行っている。

・1年次演習における工夫：「グループ発表や個人発表への評価を受講者自身に行ってもらう。」「個人発表では、全員がそれぞれ、発表者への感想及び質問をコメントペーパーに書き、発表者に渡す。発表者は期末レポートをまとめる際に寄せられた感想及び質問を参考にする。」

・「自主評価」と「相互評価」をディスカッションやプレゼンのときに取り入れている。自分はこうやったけど、相手はどうだったか、など、学生各自がお互いを評価し、自分も同級生から評価されるということを経験させている。

・プレゼンなどの評価をつける際、自分の評価と他人の評価がそれぞれ見えるように工夫している。

・グループワーク、ディスカッション、発表などをなるべく多く取り入れることによって、そのための準備など、教室外学習につなげる。教員が出す「宿題」としての内容指定的な教室外学習にとどまらず、議論や発表を充実させるための、自分たちの関心や方針に基づく主体的な情報収集・理解、文献講読などを促すように努めている。

・個人やグループで発表する際に、聞く側も受身にならないよう、発表やレジュメに対するコメント（良かった点の評価、より良くするための提言など）を書かせ、能動的・分析的な姿勢を養っている。他者の発表を客観的に評価することで、自身が発表するときの工夫や気づきにもつながることを目指している。発表する側も、フィードバックを受けることで改善につながり、学生同士で刺激を与え合い、高め合うことができる。

・Students not only work individually, but also in groups both in and out of class. Also, students carry out both secondary research using the internet and library, but also do primary research. In addition, students are asked to critically examine and respond to the various reading and lecture contents.

1.2 リアクションペーパー、フィードバックに関するもの

・リアクションペーパーへの回答、演習授業における個々の発表者への応答は、学生のモチベーションを大いに高めるため、今後も発展的・継続的に行っていきたいが、これも一つの上の項目と同様、大人数の授業の場合はTAの関わりが求められるだろう。

・「出欠管理」「コメントペーパーの活用」：複数の教員が「大福帳」というシステムを一部活用し、それぞれの授業に合ったように改善させながら、コメントと出欠管理を工夫している。コメントペーパーを工夫し、学生自身が自らの学びの成果を確認できるように工夫した。

・授業中に手をあげて積極的に発言していない学生でも、コメントペーパーに毎回良い指摘や大事なポイントをついた質問を書いてくる。そのようなコメントに対しては授業中に全体に共有して質問に回答し、コメントにも応答して、学生の学習意欲を向上させるようにしている。

・教員は、時間をかけて毎回のコメントを丁寧に読み、授業や指導に反映させている。

・1回ごとのコメントペーパーでなく、毎週の講義のキーワードやグループ発表へのコメントを継続して記入できるよう、各回分の枠を設けたワークシートを使用している。毎回、授業の最後に回収して出

席管理にも用い、次回また各人に戻して記入させる。自分の書いたことが半期分一覧できることにより、きちんと聞いて授業に参加する態度が養われ、半期分まとめての自身の振り返りや自己評価にも役立てられる。

・2年次以上の科目では演習科目がないが、各担当教員が、レポート課題を与えて添削の上返却する、授業中に演習の時間を設定して学生に黒板で解かせてそれに対する講評を行う、授業中に小テストを実施する、などの方法で学生が自ら問題に取り組み、それを通して授業内容の理解を深められるように工夫している。2016年度後期の授業評価アンケートでは、授業内容の理解度や授業に対する総合的な満足度が以前よりも向上しており、上記のような各教員の努力が学生に評価されたと考えてよいであろう。

1.3 課題や教室外学習に関するもの

・「挑戦する知性」の一環として新渡戸記念室で古典籍の展示を行ったが、そこに学生が古典籍に挑むというコーナーを設け、３年次演習での古典籍調査を、展示発表という具体的な場に向けて行うという動機付けを行った。主体的かつ工夫した調査が行われ、大きな成果があった。

・メールや授業前後での質問を通して、事前に発表内容の不明確な点を解消させ、その分授業では、関連する内容(講師の集めたネット/新聞記事など)について深く考える授業を行う。

・３年次の演習で実践されていた方式は、毎回の授業とは別に、学期を通して完成させる課題を各人に課し、自分が研究したいテーマに関する専門的論文を見つけて、その詳しい要約を４０００字程度にまとめるというもの。当該演習クラスの学生たちは、授業で使用するテキスト（担当教員が指定）よりもずっと興味を持って、自分が見つけ出してきた専門論文と格闘していた、という。

・授業での共通テキスト（演習クラスの全員が取り組む）とは別に、学期を通した課題として、自分で当該領域の専門的研究論文を探し、熟読し、内容を整理して要約をまとめる、という作業を、２年次後期の演習クラスでも考えてみたい。

・ある演習クラスでは、クラス内で読むテキストを教師側から一方的に指示するのではなく、読む文献を受講生自らに選ばせることによって、受講生を主体的学習へと水路づける工夫を行っている。

・３年次演習のあるクラスでは、卒業論文制作への動機づけとして、字数多めのレポート課題を出している。

・課題を出す。小テストやミニテストを実施する。

・授業に関連するTV番組や図書館に所蔵されている映像資料を紹介する。

・日常的に経済の動向に触れ身近なものとする。教科書とは別に経済ニュースの紹介を毎回行う（例：アベノミクス「三本の矢」に関連して日本の「金融」「財政」「成長戦略」、アメリカ経済、中国経済、EU経済、企業のグロバール戦略、ベンチャー企業、エネルギー問題、格差社会、地域活性化、経済社会と女性など）各自の担当テーマを決め、継続的にモニターし、重要な報道を選び、毎週その記事を紹介する。各自が記事のコピーと用語解説などを一枚の紙にまとめ全員分コピーをして配布、それを束ねてその週の冊子ができる。）

・多くの資料を配付して、授業後に読んでくるよう指示したり次回の関連資料を配付し、授業前に予習として読むよう指示している。また、紙の資料は読まない学生も残念ながら一定数いるが、動画などを予習改題として出している。(本だと読まないが)動画だと、60分間ほど時間のかかるものでも学生は興味を持って見てくれているようだ。

・事前学習として、WebClassを活用してコメントを書かせたり印象を書かせたりして興味をもたせるようにしている。
・「シラバスの活用」：シラバスを丁寧に記載し、事前に準備するものや読んでおく資料を具体的に指示している。初回授業では時間をかけて評価の方法や教材や勉強方法など、シラバス記載事項についても詳しく説明している。学生は都度シラバスにたちかえって、実際の授業の進捗状況にあわせて予習や復習ができるようになってる。
・いくつかの授業のテキストを（授業用に書き下ろして）Webで公開しており、アクセスログを録っている（有料サービス）。いつどのページが何分読まれてページのどの範囲がアクセスされて、どうスクロールしてどのリンクがクリックされて．．．という情報が記録されており、授業のページにアクセスしてきたユーザの行動をすぐ横で見ているように再現できる。この情報を元に授業資料のわかりにくそうなところ、使いにくそうなところを改善している。またページの総アクセス数を見ていると（授業日にアクセス数が伸びるのは当然として）日々のアクセス数が学生の教室外学習に費やす時間の目安になるので学習課題作成の参考になる。課題を出した週はある程度のアクセスがある。
・学習内容の理解を深める目的で、ミニレポート形式で演習問題を解かせている。それでも、学習時間が週1時間未満の学生が多数いるのが現状である。
・レポートは、こちらから問題を与えるのではなく、自分が興味を持てるテーマを設定させている。それにより、主体的な学習が促進されていると思う。
・科目によると思うが、レポート課題だけではなかなか主体的な学習につながっていないように感じる。次年度は、持ち込み不可の中間試験を複数回行い、教室外学習を促すようにしたい。
・ワークシートを作って、教室外学習、ミニクイズ、授業への関わりについての自己評価を書かせることによって、意識を促し、積極的な姿勢を養うようにしている。
・Students will use a variety of materials and methods in this class, for example, researching on the internet, conducting primary research projects, working in groups in and outside of the classroom, and constructing their own time frames when working on major assignments. Also, students are given autonomy in the topics they choose to write about.

1.4 その他

・３年次の演習クラスにおける取り組みを、２年次後期の演習でも応用することを検討している。現行の演習クラス編成では、２年次後期の演習クラスから対象領域（地域や時代）を固定し、３年次前後期、および４年次前期の演習へと同じ領域を継続して専門性を深めてゆき、その領域で卒論のテーマを設定することになる。このため、２年次後期の演習でその対象領域に関する興味関心を促し、自発的・主体的に学ぶ姿勢を取らせる工夫をすることで、以後の当該領域での勉学の深化へと、より確かに結びつけたい。
・「教室外学習の指導は適切だったか」という問いには圧倒的に肯定的評価があるものの、教室外学習時間は満足できるものではない。授業内で小テストを実施したり、課題を出したりすることで教室外学習に仕向けるのも一方だが、はたしてそれが「主体的」な学習といえるかは疑問も残る。授業に触発されて読書の幅を広げたり、別の授業に関心を寄せて受講したりという、授業に直接関わる学習ではない「主体的」な学習もありうるだろう。そうした授業によって啓発された発展的学習は授業科目ごとのアンケートには表われにくいかもしれない。そう考えると、専攻の演習科目で、設問12「問題

意識や関心が深まりましたか」に72.8%が回答1を示しているのは案外いい線をいっているのかもしれない。

・学生が主体的に学習を進めていくにあたっての，演習科目におけるシラバスの位置づけについて議論をした。学生が学びを進め，授業内容について関心を深めるにつれてシラバスが柔軟に改訂されていくようなあり方が(到達目標にもよるが)ひとつ考えられよう。あるいは，学生自身が到達目標と授業計画を十分に把握して，見通しをもち，発表とディスカッションの蓄積の中でその質を向上させていくような方法もある。分野や授業のねらいによっても異なるが，学生が自ら学ぶ内容についても発見し関心を広げ，教室外学習を充実させていく方法についてさらに試みをしていきたいと考えている。併せて，大人数クラスでの講義におけるアクティブ･ラーニングの工夫について，今後のFDなどで検討していきたいという意見が出された。

・１年次共通必修科目では、専攻の科目と比べて評価が低い。履修者が多く大教室での授業であることと履修者の学力のばらつきが大きいことが要因であると思われる。習熟度または専攻別に各授業を２クラスにすることが理想であるが、開講コマ数の制約から現時点では実現困難である。特に講義科目と並行して設置している演習科目で学生を主体的に学習させるための方策を考えることが重要であろう。講義と対応する演習科目は同一の担当者であることが多く、そうでない場合も担当者の間で十分な連携をとっており（たとえば講義の進捗状況と演習問題の消化状況を報告し合うなど）、学生が講義の復習をしながら解くための演習問題もあらかじめ与えている。学生が自主的に勉強するための材料は十分なはずであるが、学生がそれを十分に活用しているとは言えない。特に、演習の授業内だけで問題を解こうとする学生や、演習中も他の学生の黒板での解答を書き写すことに専念して自分で解こうとしない学生が見受けられる。たとえば、学生に黒板で問題を解かせるだけでなく小テストを行うことなどが効果的であろう。また、必修科目であるため、学習への動機付けを与えたり興味を喚起したりするための工夫も重要であろう。

2．学生の教室外学習を促進する工夫

2017年度の共通テーマは、学生の教室外学習を促進する工夫であった。記載されていた内容は、大きく分けて、モチベーションを高めたり主体的学習態度を促進する工夫、学生に課す課題や教材の工夫とその他に分けることができた。内容には重複する部分もあるが、無理に整理してまとめて抽象化してしまうと、せっかくの具体的な工夫が分かりにくくなるので、記載いただいた内容をそのまま転載列挙させていただき、読者の授業改善のヒントに供することにした。その他には、授業時間外の勉強会開催、シラバスを動的に改訂しながら利用するアイデア、反転授業などの工夫が書かれていた（2016年度とほぼ同内容の記述もみられたが再掲した）。

2.1 モチベーションや主体的学習態度

・アンケートを見る限り、いまだに、教室外学習の時間が増えていない。そもそもそれほど予習の必要でない講義系の授業と、事前の予習がほぼ絶対的に必要な講読演習の両方向があるが、後者に関しては、予習してくることがいかに演習受講に有益であるかを、実感させるような授業運びを工夫する必要がある

・授業外学習がそのまま自分の授業に役に立つという成功体験があれば、学生は頑張ると思われる。ま

た、授業内で発言できるということが、学生自身にとっても大変よい体験であるようなので、そういう時間を増やせれば良いが、その結果授業内で実質的な内容について教える時間が少なくなってしまう。そういう意味でも、授業外学習がとても重要と思われる。具体的なやり方については、模索していく他ないが、教室外学習を深めることで授業がおもしろくなる、逆に教室外学習をおろそかにすると、授業がまったくわからなくて面白くないという授業にしていく必要がある。またそのためには、具体的な予習の指示（課題として与えてしまう、いわゆる反転学習型授業とすること）が重要であろう。

・メールや授業前後での質問を通して、事前に発表内容の不明確な点を解消させ、その分授業では、関連する内容(講師の集めたネット/新聞記事など)について深く考える授業を行う。

・必ず毎回扱う箇所に関するディスカッションクエスチョンを複数考えて準備して授業に臨み、学生たちをグループに分け、机間巡視をしながらディスカッションをさせる。自分たちのコメントを全体と共有する中で新たな発見を促す。

・昨年度の反省を活かし、発表中にこちらから学生の理解を確かめるための質問を行った。それを通じて、「なんとなく」訳していたり、誤解をしていたりする部分について、気づきを与えるようにする。

・過去に日本語教育の実践として、ヨーロッパ実践例をもとに自律学習に取り組み成果をあげた経験があるが、学習者が主体的になるための、「自律」的になる訓練が授業の中で、または授業の他にも必要である。図書館などのイベントやプログラムの中や、チュートリアル授業などで、まずは「自律」的になることをファシリテーターとなる教員たちと考え、実践しながら半期程度は少なくとも一緒に活動することが必要なのではないだろうか。これは、留学生教育の日本語教育での実践例であるため、東女で応用できるわけではないとは思うが、ただ、自律的になることは大学卒業後の自立にも繋がるので、アクティブラーニングと関連して、学生にとって必要なスキルにつながるように思われる。

・専門性の深まる２年次後期以降の演習科目において、学期前半に受講学生に自身の興味関心に即して研究論文１本を選ばせ、学期中に精読・検討させた上で、学期末の課題（の一部）として当該論文の概要整理と論評をレポートにまとめさせる、といった課題の出し方が以前の検討会で実践例として報告され、学生に自発的に学術論文に取り組ませるためのよい方策である、と賛同を集めた。この方式を全演習クラスで一斉採用することはしないが、有効な方策の１例として、各演習クラスの担当者は選択肢の中に備えている。

・演習については、学生の発表機会を増やすことによって、学生がより主体的に授業外の準備に向かうように仕向けるという方策についても検討された。

・ある1年次基礎演習では、学生たちの発表を学生たちが評価して順位を付けるという試みを行い、発表のための学習に対する意欲を高めている。また、最後に「これからの3年間を自分でプロデュースしよう」というテーマで大学生活の構想（目標と行動計画）を書かせ、自ら学び行動することへの意欲を刺激している、

2.2 課題や教材の工夫

・前年度に比べて、1時間以上授業外学習に費やしたという学生の割合は、講義科目で、17.5%から20.1%に、演習科目で66.1%から71.8%に増加している。前年度の報告書で、授業内での小テストに対する準備を促したり、課題を出したりして教室外学習に仕向けるという取り組みについて述べられているが、上記の数字が示すように、その効果は少しずつではあるが表れていると評価できる。

・ある演習クラスでは、Webclassを積極的に活用し、学生に課題を提出させたり、レスポンス・意見を徴したりするなどして、教室外学習の推進をはかっている。
・ある演習クラスでは、テキストの輪読という課題に対して学生がテキストを読んでこないという問題に直面し、次のような改善を講じた。(1)読みやすく学生の興味を引きやすいテキストを選定することにした。(2)テキスト輪読は1周で終わりとし、以後は受講生各自がテキストやテーマを選んで発表するという形式に変えた。(1)(2)の結果、教室外学習の時間は増加することになると見込まれる。
・ある演習クラスでは、レポート課題の分量をやや多めにするようにした。学生のレベルからすればややハードルが高いレポートを作成することで、教室外学習時間の増加につながるはずである。
・教室外で定期的に経済学理論を学習する方法として、NHK教育テレビの経済学教養番組「オイコノミア」の視聴をプロモートしてきた。今年度は、番組開始当初から講師をされてきた大阪大学社会経済研究所の大竹文雄教授を本学にお招きし、「競争社会と女性」という題目で、既存の競争社会において男女間格差が発生する理由と競争に対する考え方や自信の持ち方という意識による影響について伝統的経済学と行動経済学の見地から読み解いていただいた。自分たちの意識や行動に関わる分析に学生は大きな関心を示し、受講生の感想を読まれた大竹先生は自分の大学より熱心に聞いてもらったと述べられた。教室外学習への影響としては、講演後に行動経済学の代表的著作について質問する学生がおり、期末レポートで行動経済学を取り上げる学生も出て、自分で学ぶことのきっかけになった。
・多くの2年次演習で学生自身が経済ニュースをモニターすることを奨励している。あるゼミでは教員が時々ニュース解説を行って興味を引き出している。また、別のゼミでは、各自が自分のテーマ（例：アベノミクス、米国、中国、EU経済の動向、企業のグローバル戦略、エネルギー、ベンチャー、格差、女性と経済社会等）を持ち、そのテーマで1年間新聞記事のモニターを行い、毎週自分が選んだニュースを報告するというプログラムを組み込んでいる。
・ある演習クラスでは、地域社会の具体的なフィールドに関して実際に踏査することを課題に取り入れた。この結果、文字通り「教室外学習」をする時間は増加したはずである。
・毎回のように小レポート課題を課し、一つ一つの分析方法について受講生が確実に理解出来ているかどうかを小まめにチェックしながら授業を進めた。レポートに関しても、可能な限りフィードバックを行い、理解が不十分と思われる分析方法については、翌週追加の資料を配付して再度詳しく説明した。ただ、50名弱の履修者の間には理解度にかなりの開きがあり、理解が遅い学生に合わせていると、よく分かっている学生は多少不満を感じたかもしれない。TAを活用しながら、理解が遅い学生はTAが個別に説明するなど工夫はしているが、本来なら、学生の理解度によってクラス分けをした方が良いのではないかと感じている。
・WebClass上で自宅学習用の資料、動画などを配布し、予復習を促進した。また、演習では履修生同士のフィードバックやTAからのフィードバックも共有クラウド上で随時閲覧可能にすることで、それぞれの生活スケジュールに合わせた学習と双方向のコミュニケーションを促進した。
・ほぼ毎回、授業の最初に小テストを課した。前の週に試験範囲を明示し、教室外学習を促すようにした。
・Scratchを用いたプログラミングの課題を出し、テキストを見ながら自分のペースで教室外でコーディングを進め、授業時間はわからないことやうまくいかないところの質問を受け付ける時間にあてた。授業時間内にはやり方を教え、それを実践する時間を教室外でとり、次の授業でその成果を発表・共有・フィードバックした。

・テキストや参考文献を用いて授業内容と関連させたリーディングを進め、リアクションペーパーを課し、授業時にすぐれた意見やコメントを紹介することで、受講生の学習意欲を高めることができる。リアクションペーパーでは、日常の経験や具体例などを概念や理論と関連づけて考察することで理解を深めることができる。
・教室外学習を促進するために、授業外学習の教材としてリーディング教材だけでなく授業内容と関連するネット上の教育的な動画素材を活用することも効果的である。
・教員が指示する通常の課題に加え、後期の初回のゼミで話し合い、ゼミ生全員がゼミの前までに毎週提出する課題を自主的に決めて実施した。また、この課題の提出はゼミ全体で各ゼミ生の進捗と内容が共有できるように、Googleの共有機能を用いた。Googleの共有機能を用いることも、ゼミ生が自主的に決めた。
・予習すべきポイントをより明確に伝えるようにする。また、WebClassにアップする予習すべき教材について、授業の最後に忘れずにアナウンスする。
・学生には、WebClass上で予習としての設問と復習としての用語確認を行わせるようにし、ミニテストも行い、学生の知識が確認できるように試みた。学生の学習時間は確保されたが、課題が多すぎるという不満もあった。学生が教室外学習をする動機を高めるために、身近なトピックを取り上げて教室外学習への意識を高める。
・ある講義科目では、毎回の授業の終わりにその授業で学習した内容を補強、応用する課題を翌週の授業までに回答するようWebClassで課した。回答にはおよそ30分程度かかるくらいにした。課題への回答は成績に反映させた。この課題を出す前の授業についての授業評価のデータがない（減担のため非常勤に長く担当をしてもらっていた）ため、実際にどの程度学習時間が増えたのかはわかないが、78名の回答者の教室外学習の時間の平均値は週0.81時間（SD 0.56）であった。ちなみに、事前事後学習には120分程度の調べ学習課題をしていた。
・ある演習では、発表方法にPechaKucha形式（建築系のプレゼンで人気のある方法、20枚のスライドを１枚20秒で提示しながら話す形式）を採用して、毎回のゼミで全員が発表できるようにした。12名の回答者の教室外学習の時間の平均値は週2.08時間（SD 1.51）であった。
・ある研究法実習では、２週に１回程度新しい実験を実施するようにしている。授業時間には実験計画の発表か、実施した結果の発表が交互に繰り返される。実験の目的や材料は自由に選べるようにしているので、学生たちは好きなテーマでグループ実証実験を行う。15名の回答者の教室外学習の時間の平均値は週2.43時間（SD 1.18）であった。（週４時間以上を4.5時間、週２時間以上４時間未満を3時間、週１時間以上２時間未満を1.5時間、週１時間未満を0.5時間として集計）
・人数の多い講義科目では、毎回の質問やコメントを次回の授業の最初に紹介し、全員に向けて質問に答え、コメントへのフィードバックを行って前回の復習をし、同時に受講生間でも互いの意見の共有を図っているが、その際に質問やコメントに関連した文献などを紹介している。教員の判断で紹介する参考文献だけでなく、受講生が授業を聞いてその都度感じた疑問や関心に基づいて授業外で読みそうな文献や新聞記事を勧めるようにしている。
・授業内容に関連する学内外で開かれるイベントなどを紹介している。例えば、日本語教員養成課程の学生には日本語活動（難民留学生、日本人学生、大学院生などが参加）を紹介し、入れ替わりで多くの受講学生が参加している。また、明治大学で開催されたヒューマンライブラリーには10数名の学生が参加し、多くの学びと刺激を受けたとの報告を受けている。その他、UNHCRの難民映画祭に2年連続

参加し、難民をテーマにした映画を見ることで授業での学びをさらに深めた学生も複数名存在している。

・教室外学習を前提とする授業冒頭のクイズを学期に10週ほど取り入れている。このクイズは学期の成績評価に組み込まれている。

・授業でグループ発表をプロジェクトとして課し、学生が、授業外での調べ学習をおこなうようにしている。

・授業の最後に、授業に関係した文献（論文や資料）を配布し、次回の授業で取り扱うディスカッションクエスチョンと一緒に渡している。ただ文献や論文を読むだけではなく、「何を読み取ればよいのか」を前もって提示することで、読む目的が明確になると考えている。

・授業ではコメントシートを使って、授業に関連する課題を回答させている。課題は成績評価に含まれ、面白い回答については、翌週の授業時に紹介することで、前回の復習をし、内容の定着をはかっている。

・Students not only work individually, but also in groups both in and out of class. Also, students carry out both secondary research using the internet and library, but also do primary research. In addition, students are asked to critically examine and respond to the various reading and lecture contents.

・Students will use a variety of materials and methods in this class, for example, researching on the internet and library, presenting on the written reports, conducting primary research projects, working in groups in and outside of the classroom, and constructing their own time frames when working on major assignments. Also, students are given autonomy in the topics they choose to write about.

・大学図書館に所蔵されている参考書・研究書の中で英語で書かれているものが学生にあまり活用されていないように感じるため、グループワークなどに活かせるよう授業の内容に関連のあるeBookを紹介し、演習科目ではRead on-line, Downloadなどの実習を行った。少数ではあるが研究書を読んでグループワークやレポートに活かす例が見られた。授業の中で「eBookの研究書が役に立った」という声が学生の間で出ていたので、今後少しずつ広がっていってほしいと思っている。

・第二外国語科目の言語（韓国語・中国語・スペイン語・フランス語・ドイツ語）と履修者の中に母語話者がいた言語（ビルマ語・中国語）を言語学的な観点から見直す課題を学習項目に含め、教科書・講義で学んだ基礎を各自が自分に合った範囲・方法で活かしてレポートが書けるよう、これらの言語に関わる研究書や論文、信頼できるウェブサイトを紹介した。授業で取り上げられなかった研究について理解を深めていった学生もいたことを学期末レポートから読み取ることができた。

・学生の教室外学習を促進するためにはレポート課題を頻繁に出したり授業内の小テストを頻繁に実施したりすることが効果的であることが、教員からのコメントと学生の自由記述の双方から明らかになった。ただし学習意欲が低く課題に熱心に取り組まず、小テストの成績もほとんど0点であるような学生も一定数存在する。このような学生にも学習意欲を持たせるためには成績評価をより厳格にすることも必要かもしれない。さらに今後の課題としては、教室外学習で単に解法を習得させるだけではなく、教科書や授業内容を鵜呑みにしない批判的な思考力や、数式の羅列ではなく文章による論理展開を行えるような力を養成することも重要であろう。

・授業中に使用する有料ソフトウェア（MATLAB）を、教室外でも自由に使用できるようにする。今年度

は、学科の情報実習室以外でも、情報処理教室で使用できるようにした。これによって、教室外学習が促進されることが期待できる。

・レポートは、こちらから問題を与えるのではなく、自分が興味を持てるテーマを各自で設定させる（シミュレーションの授業では、そのようにしている）。

・中間試験を行った。

・ほぼ毎回レポートを課し、回答例の解説を授業中に行った。書籍やインターネットを通じて自身で調べないと回答できない課題も含めた。

・毎授業の最後に基本情報技術者試験の過去問を利用したクイズを課して回答を提出してもらうことで出席の代わりとし、次回の授業で問題の解説を行った。情報理学専攻の学生は基本情報技術者試験を受験する者が多いと思われるため、そのための学習の一助となることを狙って行った。

・学習内容の理解を深める目的で、ミニレポート形式で演習問題を解かせているが、解答例の解説は行っているものの、もう少しフィードバックを充実させる努力をしたい。

・難度と分量が適切な宿題を，ほぼ毎回出すようにする。

・例えば「化学の発展史」や「現代化学のトピック」について非専門家向けに紹介するようなレポートを課して、計算などの技術的な側面だけではない、学問の意義について考えさせる。

・講義内容を復習するための課題（計算問題、説明問題など）を出す。

・次回以降の講義で取り上げるテキストの一部について要約を作成・提出してもらった。講義の理解に非常に役立ったという意見が多かった。

2.3 その他

・授業外の勉強会：3年次演習では以下の方法で教室外学習を奨励している。1)年度の後半（「3年次演習II」）で学生に小論文を作成させ、複数回その論文を発表しながら、各自が論文を完成させるという学習方法を試みている。2) 校外学習として空港や港湾施設を学生と見学している。3) 毎年ゼミ単位で図書館における情報検索ガイダンスを実施しており、学生たちは適切なキイワードで検索ができるようになった。4)専門分野の英語教科書を読みこなすためにレポーターと教員が毎週勉強会を実施してきたが、授業評価アンケートの自由記述欄で「勉強会でごりごりにしごいてもらってよかった」という声が寄せられた。

・ダイナミックなシラバス：教室外学習の時間が増加している現状をふまえて，学生が主体的に学びを進めていく中で，授業内容についての関心を深めるにつれてシラバスが柔軟に改訂されていくようなあり方も検討の余地があるだろう。学生が，授業計画を十分に把握して，個々が見通しを持ちながら積極的に授業に(授業進行にも)関与していくような試みもしていきたい。アクティブ･ラーニングの授業形態に即した工夫などについて，今後のＦＤで検討していくことができるとよいであろう。

・反転授業：授業外学習の時間を学生に取らせることは容易ではない。また、具体的にどのような学習をするよう指導すればいいのかも案外、簡単ではない。授業評価の結果においても、このあたりが示されている。そこで、「反転授業」の方法論を模索している。反転授業とは、「講義を宿題としてオンラインで視聴させ、教室で演習を行う授業」が大まかな定義である。講義そのものをオンラインで視聴させる段階にはないし、その必要性に関しては、まだ検討中であるが、現状では、宿題動画をYouTubeなどインターネットから調達する試みを3年次演習、「日本語教育研究概論」などで行っている。

3. 学科科目以外の科目における8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析

(1) 各科目運営委員会等による8年間の授業評価アンケート結果の分析

総合教養科目運営委員長　光延真哉

(1)結果の分析・評価

設問 1 と設問 2 を除いた設問において、「非常にそう思う」の割合は 2012 年度前期から 2017 年度後期までの間に、概ね 10～20%増加している。全般的には良い傾向にあると言えるだろう。

「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の 2 つのプラス評価を合計した数値は、過去 8 年間ともに 8 割を超えている。その推移に着目すると、①「増加が緩やかな設問」、②「増加がやや著しい設問」の２種類があることに気がつく。分類すると次の通りである。

①：設問 5「授業の準備・計画」設問 7「話しの聞き取りやすさ」設問 8「教材の適切性」設問 10「授業運営の適切・公正性」設問 11「教室外学習の指導の適切性」設問 12「問題意識・関心の深まり」設問 13「満足度」

②：設問 3「シラバスの有用性」設問 6「内容の理解度」設問 9「理解度の点検・配慮」

つまり、②の要素についての評価が近年高まっていることになる。

総合教養科目は自分の専門外の学問を学び、自らの知見を広げることを趣旨とする。学生にとって未知の領域の学問の道しるべとなるのがシラバスであり、とりわけ様々な分野から成るこの科目こそ、シラバスのはたす役割は専門科目より大きいものがある。学生が適切にシラバスを活用するようになっているのは望ましいことである。

また、専門外の学生が多く受講するからこそ、理解度の定着に教員はより配慮する必要がある。教員の努力によって、その点検・配慮の機会が多く設けられていることは歓迎すべきことで、その結果が内容の理解度の伸びにもつながっているものと思われる。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

設問 9「理解度の点検・配慮」の肯定的回答の割合が増加傾向にあるが、その一方で、教室外学習を「全くしていない」層は依然として 50%前後で推移している。この割合をいかに減らしていくかが今後の課題であろう。なぜ教室外学習を全くしないのか、アンケートの項目を増やしたり、学生に自由記述をさせたりするなどして、学生の意識の実態について、より具体的に把握する必要があると思われる。

「理解度の点検・配慮」の重要性は明らかであるが、とりわけ受講生の多い総合教養科目の場合、いたずらにそれを促進することは教員の負担増につながる。いかにすれば、教員の負担を軽減しつつ効果的に「理解度の点検・配慮」を行うことができるか、その議論が不可欠であろう。

総合教養科目＜女性のウェルネス領域＞担当責任者　曽我芳枝

設問項目ごとに 8 年間の数値の変化を見てみると、設問 1 と設問 2 を除いて全ての設問において「非常にそう思う」「ある程度そう思う」と肯定的に考えている学生の割合が増加していることがわかる。特に設問 4「シラバスは役に立ったか」設問 5「授業は、良く準備・計画されていたか」設問 6「授業の内容は、よく理解できたか」設問 7「教員の話し方は聞き取りやすかったか」設問 8「教科書やプリント等、教材は適切であったか」設問 9「教員は受講者の理解を配慮していたか」等全て「非常にそう思う」という意見が 2010 年度と比較して 10%以上増加している。特にシラバスの有効性は 20%以上増加している。これらは、女性のウェルネスの教員個々の努力と工夫が功を奏したものと考えられる。また、大学全体がシラバスの改善を進めてきた結果も現れていると考えられよう。さらに 2013 年度から使用している本学教員作成のシラバスに沿った内容の教科書も学生の授業理解に大変効果があったと考えられる。

出席率に関する設問 1「あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。」の回答傾向は、全体の傾向とよく似ている。「すべて出席した」の割合で見てみると、前期が高く後期で低くなっている。これは他の国立大学でも見られる傾向で、文系と理系の差もない。本学の女性のウェルネスの場合、基本的に大学初年度に履修し、出席を重視するという実習科目の性格上、前期の出席率が高くなると考えられる。しかしながら、前期で大学での単位修得について理解するようになると、後期では最低限必要な出席数を計算して授業に参加するようになるため、結果的に出席率の周期的変動のように見えるのかもしれない。教室外学習に関する設問 2「この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。」の回答で「全くしていない」の割合で見てみると、全体と比較すると女性のウェルネスは高い傾向にある。しかしながら、2009 年度以降その割合は徐々に減少している。これは、学生にさまざまな課題を課しているからと考えられる。例えば、授業内で行われた体力テストの結果を日常生活との関連から考察させている。また、1 か月間の基礎体温の測定を行わせ、基礎体温と体調の関連について考察させている。これらは、自分自身の身体を理解する一助となると考えられる。さらに教室外学習時間を増やすためには、自発的な運動の実施を促すような授業内での取り組み、例えば、自宅で行えるような簡単なストレッチ体操やトレーニングなどを学生に伝えることが必要だと考える。

第一外国語運営委員長　森博英

ここでは、＜第一外国語＞の授業評価アンケート結果の経年変化を＜全体＞と比較しながら分析した結果を述べることにする。

まず、設問 1「授業への出席率」については、＜全体＞と同様に、毎年、前期の方が後期より出席率が高いという傾向を示している。また、経年変化はどうかというと、2009 年後期の時点で既に「全て出席した」と「1～2 度欠席した」を合わせて 93.4%で、2017 年度後期には 94.1%であることからほぼ横ばい状態である。第一外国語の授業は以前より出席がかなり重視されており、成績評価に占める割合も比較的高いこと等が高い出席率が保持されている要因のひとつと言えそうである。

次に、設問 2「授業外学習の時間」については、「全くしていない」が 2009 年度後期に 13.1%で最も多く、2012 年度前期が 6.1%と最も少ない。これは＜全体＞の数値に比べてもかなり少なく、＜第一外国語＞では学生が常日頃から何らかの学習をしていることが垣間見られる。また、「週 1 時間未満」と「週 1 時間以上 2 時間未満」でも＜全体＞より＜第一外国語＞の割合が多く、おそらく予習や復習、宿題等に取り組むための時間のように思われる。一方、ある程度じっくりと授業外学習に取り組んでいることを示す「週 2 時間以上 4 時間未満」、「週 4 時間以上」となると、＜全体＞と＜第一外国語＞の間には大差がなく、今後の課題としては、時間をかけて集中してじっくり取り組むような課題、もしくは、毎日 30 分程度で週 4～5 日程度に分散した宿題を課すこと等も検討すべきかと思われる。

設問 4「シラバスの有用度」については、＜全体＞と＜第一外国語＞は似たような傾向を示しており、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせると 2009 年度後期には 67.5%であったものが、2017 年度後期には 91.6%に達している。この伸びは、特に「非常にそう思う」の伸びに起因するものであり、シラバスをより整備することで、さらなる伸びが期待される。

さらに、設問 5「教員の授業の準備・計画」についても、＜全体＞と＜第一外国語＞は似たような傾向を示しており、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせると 2009 年度後期には 91.6%のものが、2017 年度後期には 96.0%と微増であるが、学生からの高い評価を保っている。その中でも、特に「非常にそう思う」の伸びが著しく、とても喜ばしい結果と言える。また、設問 6「学生の授業の理解度」、設問 7「教員の話の聞き取りやすさ」、設問 8「教材の内容の適切さ」、設問 9「教員の学生の理解度の点検・配慮」設問 10「教員の授業運営」設問 11「教員の教室外学習の指導の適切さ」設問 12「学生の問題意識や関心の深まり」設問 13「学生の総合的な授業満足度」についても、同様の傾向を示している。

ここからは＜第一外国語＞のみの分析結果となるが、読解力の向上については、2009 年度から「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合算値が 70%後半で推移しており、ほぼ横ばいの状態である。また、「非常にそう思う」は微増であるが、2013 年度以降は 15～17%程度に留まっている。学生からは高校時代の授業と大学の授業の内容が似ている（例えば、英文和訳や文法解説）といったコメントも多く寄せられており、大学ならではの教え方（例：アカデミックな授業内容や日本語に頼らない英語による授業運営）の検討が早急に必要であるように思われる。

一方、聴く力や話す力の向上については、本学では全てネイティブ・スピーカーの英語による授業であり、そのような授業を高校で受ける機会のなかった学生も多く、読解力に比べて、聞く力や話す力の向上を感じている学生（「非常にそう思う」「ある程度そう思う」）が多いようである。この値はほぼ横ばい状態であるが、「非常にそう思う」の割合が微増傾向にあり、2009 年度後期に比べて 2017 年度後期は

約 10%程度伸びている。英語 CS や DS の授業はこれから大幅に内容を変更することを検討しており、向上感がより高くなるよう授業内活動や評価法の工夫が期待される。

第二外国語運営委員長　白井恵一

(1) 分析・評価

① 第二外国語全体の傾向

5 言語に共通する全体的傾向として、各項目とも「非常にそう思う」「ある程度そう思う」の合計（グラフの青系色部分）は、高い数値で安定しているか、年を追って右肩上がりの傾向を示しているので、ほぼ満足すべき結果であると考えられる。

② 特筆すべき点

1. ただし、「教室外学習」の項目に関しては、あわせて「2 時間未満」との回答が 60%程度を占めており、全体との比較では良好な結果を示しているものの、満足すべき状態とはいえない。
2. これに関しては、中国語だけが右肩上がりの傾向を示していることが注目される。
3. 逆にフランス語については、他言語に比して低い数値が出ている。
4. FD 委員長の指摘にもある通り、前期が高く後期が低い傾向（出席率において一番顕著であるが、それ以外に関しても）がある。第二外国語が通年科目であることを鑑みると、理由としては、後期になって内容が難しくなるにつれてついていけなくなる、等が考えられる。

(2) 今後この成果をどのように FD に生かしていけるか。

① 教室外学習については、中国語の改善が、特にフランス語に関して参考になる。担当者によれば、以前に比べて小テスト、宿題などの頻度が明らかに高くなっているとのこと。第二外国語は今年度から成績評価における定期試験以外の評価（いわゆる「平常点」）の比率を増やしているので、その結果が今後反映されると考えられる。

② 前期に比べて後期に学生のモチベーションが下がったり、理解が追い付かなくなったりしないように、後期には一層きめ細やかな学生対応が必要になる、ということを意識した授業の実施が求められる。

日本語科目運営委員長　丸山直子

(1)結果の分析・評価
日本語科目は、2016 年度まで、毎期アンケートを行ってきた。2017 年度からは、他の科目同様、隔年で半期ずつアンケートを行う形になっている。2014 年度前期から 2017 年度後期までのアンケート結果を眺めて分かることを列挙する。

・シラバスについての設問の回答に顕著な変化が見られる。設問 3「この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。」設問 4「この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。（この授業においてシラバスは有用でしたか。）」の設問は、「そう思う」が明らかに増えてきている。シラバスの有効性が年々上昇してきていると言えよう。

・設問 5「この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。」設問 6「授業の内容は、よく理解できましたか。」設問 7「教員の話し方は聞き取りやすかったですか。」設問 8「教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。」についても、2014 年度後期の値が特別高いことを除けば、年を重ねるごとに「そう思う」が増えてきている。新設だったこの科目も、年々授業内容がよくなって、理解度も上がっていると解釈できる。

・この科目独自の目標を達成できたかという質問に対しては、「要約」も「文章表現・口頭表現」も「2000 字文」も、「ある程度そう思う」が大半を占めていて、一定の効果は上げていると解釈できるものの、「非常にそう思う」が増えるよう、努める必要があろう。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか
・引き続き、それぞれの教員の個性を重んじた授業を展開していく。シラバスの大筋は共通であるが、授業の細部は、それぞれの教員の工夫によっており、それぞれの魅力を有した授業となっている。それが学生からの高い評価に結びついていると考えられる。

・学生が、力をつけたと実感できるようにしていく工夫は、さらに必要であろう。

・毎年、アンケートの結果をもとに対応策を考え、教員にもフィードバックしてきたが、非常勤講師が多いため、会って話すことはしてこなかった。今年度 8 月頭に、初めて非常勤講師の先生方を交えて意見交換会を行った。それぞれの試みを知ることができて有意義であった。欠席だった先生にもフィードバックを行った。

・授業参観や意見交換会は、担当教員にとって、大変参考になるものである。今後も積極的に行っていきたい。

キリスト教学科目運営委員長　遠藤勝信

・学生の授業への取り組み度は、過去９年間の出席日数及び教室外学習時間を見る限り、前期より後期の方が 10%程下がっていることが観て取れる。特にキリスト教学Ｉ（前期・後期）は入門クラスとなっており、学生の多くは入学年度に履修するため、前期は＜すべて出席＞する学生が多く、課題への取り組みも積極的である。後期には少々気の緩みも観られる。とは言え、約 90%の学生は約 90%は出席していることからも学生の授業への取り組み度は決して低くはなく、また年度毎に若干増している。
・本学に入学してはじめてキリスト教学に接する学生たちの理解度を配慮して、キリスト教学の授業では、学生たちの理解に寄りそう授業を心掛けている。パワーポイントを用いることで視覚的に、音声や映像を用いることで聴覚的に。シラバスを用いることで、学生が講義を整理して聴けるという点だけでなく、黒板の板書のために時間を使い過ぎないための配慮を行っている。キリスト教学科目に関しても 90%以上の学生たちが、シラバスの有効性を実感していることが窺える。
・学生の授業内容の理解度も年々増しており、2017 年度後期では、「非常にそう思う」と答えた学生（48.6%）と「ある程度そう思う」（42.5%）と答えた学生の合計は 90%に達している。一方、「あまりそう思わない」（7.6%）、「全くそう思わない」（1.3%）と答えた学生の合計は 10%に満たない。それは、例えば 2014 年度前期の 25.0%という数字に比べるとかなり改善されていることが分かる。その数字の変化は、教員の授業運営に対する評価にも表れており、2014 年度前期では約 80%の学生が評価していたのに対し（「非常にそう思う」32.6%、「ある程度そう思う」51.8%）、2017 年度後期では約 95%となっている（「非常にそう思う」51.7%、「ある程度そう思う」43.9%）。そのひとつの理由として、それぞれの授業でコメントシートを重視している点を挙げることが出来る。授業の終わりに 10～15 分の時間を取り、学生たちにはその日の授業内容に基づくエッセイを書いて貰っているが、殆どの学生が B5 一枚しっかりとコメントを書く。教員はそれを丁寧に読みながら学生たちの理解度を確認しつつ、またそこに記された質問や疑問等に関しては、出来るだけ次の授業で取り上げるようにしている。そういった地道な努力が功を奏しているのだと思われる。
・キリスト教学科目受講者の授業の満足度が、2017 年度後期では、「非常にそう思う」が 50.9%、「ある程度そう思う」が 42.7%で、93.6%に達していることは、授業の運営が良好に成されていることを表していると言える。
・その一方で、「全くそう思わない」と答えた学生が 1559 人中 18 名（1.2%）いた。それを、2014 年前期の数字（1403 名中 111 名,7.9%）と比べると圧倒的に減少したと言えるが、たとえ少数であっても授業に不満を抱く学生が存在することは残念なことである。その理由として、学生の理解不足の問題だけでなく、様々な事情（健康、アルバイト、関心度）で授業に積極的に臨めなかったことが考えられる。キリスト教学科目の場合、必修若しくは選択必修科目として履修する場合が殆どであるため、履修態度が消極的になる傾向もある。そういった学生たちに対しても、関心の糸口をどのように示せるのかがキリスト教学科目を担当する教員の課題である。

情報処理科目運営委員長　加藤尚吾

情報処理科目は、前期に一年生の必修科目「情報処理技法（リテラシ）I」が設置され、そのほかのほとんどの選択科目は後期に設置されている。なお、2018 年度より新たに一年生の必修科目「情報処理技法（リテラシ）II」が後期に設置された。

2009 年度後期から 2017 年度後期までのデータを前期と後期で比較すると違いが見られる。具体的には、前期のほうが「すべてに出席した」と回答した割合は高いが、そのほかの設問 2「教室外学習の時間」、設問 6「授業内容の理解」、設問 13「授業に対する満足」については後期の方が良い結果である。2009 年度より前期後期に限らず、年々設問 4「授業を理解し学習を進めていく上でシラバスが役に立ったか」、設問 5「授業がよく準備・計画されていたか」については良くなっている。それ以外も特に悪くはなってはいないことがわかる。

したがって、前期の「情報処理技法（リテラシ）I」は、学生の入学前の知識やスキルにばらつきがあるため、すべての学生が満足できるような授業を実施することは難しいと考えられる。しかし、設問 6「授業内容の理解」については、「非常にそう思う」だけを見ると年々向上しているようであり、「情報処理技法（リテラシ）I」は内容をやや詰め込みすぎであったが、2018 年度より一部の内容を後期の「情報処理技法（リテラシ）II」へ移動したことにより、今後はより改善されることが予測される。プログラミングやマルチメディア表現、ネットワークとセキュリティ、統計解析など専門性の高い後期の科目については、学生のニーズに合う授業が行われていると考えられる。また、設問 4「授業を理解し学習を進めていく上でシラバスが役に立ったか」や設問 5「授業がよく準備・計画されていたか」などの質問への回答より、授業運営全般については、前期後期に限定されず、年々向上していると考えられる。また、設問 11「教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切であったか」についても、年々向上しており、教室外学習を実施することに対する学生や教員の理解が深まったと考えられる。

今後の対策としては、必修科目である「情報処理技法（リテラシ）I」の設問 13「授業に対する満足」を上げるための検討を続けることが必要である。すなわち、学生の大学入学時の情報処理の知識とスキルの違いによって対応できるよう、授業内の演習や課題で基礎から発展までの選択ができるようにするなどの工夫が考えられる。また、年々向上している項目については、維持できるよう情報処理教育運営委員会や担当者の意見交換会で引き続き授業改善を行う。

教職課程科目運営委員長　竹内久顕

① 設問 2「教室外学習」の結果が実態と食い違っているようだ。教職課程では、後期のすべての教科教育法で模擬授業を全員に課している。教科書分析、教材作成、学習指導案作成を時間をかけて行なうことになるが、それらはすべて授業時間外に行なうもので、実際、後期になると 2〜3 年次の学生は教職オフィスや図書館で教科書の検討等に取り組んでおり、各自が作成した学習指導案の添削指導や授業時間外の個別面談による指導を行なっている。したがって、「教室外学習」の時間が後期は大幅に増えるはずだが、なぜかデータはそうはなっていない(そもそも、指導案作成等が「週 1 時間未満」でできるはずはないが、後期の 8 割近い学生が「週 1 時間未満」「全くしていない」と答えており、解せない)。原因として、設問 11「教室外学習の指導」の注記「参考文献の提示、文献の調べ方など」から、講義科目で必要とされるような文献講読(読書)を「教室外学習」と学生は認識しているからではないだろうか、との意見がデータ検討会で出された。そうであれば、教職課程の学習の特殊性(教員の仕事は本来的に実践的なものであり、したがって教職課程での学びは実践的であること)を踏まえ、例えば、教材プリント・掲示物の作成や板書の練習といった、一見学問的には見えない「作業」も教員の重要な仕事の一環であり、単なる事務作業ではないという自覚を促すような、「教室外学習」に対する意識形成の指導を、今後は授業に取り入れる必要がある。

② 設問 6「授業内容は、よく理解できましたか」に対し、「全くそう思わない」が 2016 年度と 2017 年度に連続して 2%を越えた。わずかな割合とはいえ、従来 1%以下の年が多かったことを踏まえると、良い傾向とは言えない。この両年度が他年度と異なる点は、教職課程専任教員 3 名のうち 1 名が研究休暇中であったことが挙げられる。教職課程科目では、上述した教科教育法のみならず、「特別活動論」「道徳教育の理論と実践」「教育相談」等の講義形式の科目においても指導案作成等の実践を伴う課題を出していることもあり、学習に不安を抱える学生に対しては呼び出しによる個別面談・個別指導を頻繁に行なってきたが、当該年度限りの非常勤講師の担当授業が多かった両年度は、こうした従来からの指導が十分にできなかった。これが原因であるとすれば、教職課程専任教員が 2 人体制になる 2020 年度に向けて、学習不安を抱える学生に対する指導体制の在り方を再検討する必要がある。

学芸員課程運営委員長　高橋修

(1)結果の分析・評価

「学科科目以外の全体（以下『全体』)」の傾向として、①シラバスの有効性については上昇傾向にあること、②出席率については前期が高く、後期は低いというサイクルを繰り返していること、③全般的な授業の満足度は微増傾向にあること、以上３点を指摘し得る。

学芸員課程科目について全体と比較をすると、①については全体と同様の傾向にあること、②については全体のサイクルが当てはまらず、とりわけ 2016 年前期の数値の落ち込みが目立つこと、③について「非常にそう思う」回答が全体では 40～50%の間で微増傾向であるのに対し、学芸員課程では 2009 年では 32%であったのが、最新の 2017 年では 66%とほぼ倍増しているという特徴が見受けられる。

②の相違点について、2016 年は平年に比べて学芸員課程科目の内容そのものに興味・関心の低い学生が比較的多く集まった年であったことが数値落ち込みの原因と考えられる。設問２「教室外学習の時間」の結果において、同年は平年と比較すると、学習時間が全体的に低いことからもその点は指摘し得る。

設問２に関連し、全体と比較した中で学芸員科目の特異性として挙げられるのが、教室外学習を「週１時間以上」と回答している割合が、2013 年を境に大幅に増加している点である。全体では 20～30%の間で推移する傾向であるのに対し、学芸員課程では 2013 年以降は 40～60%と大幅な向上傾向にあることが看取される。

全設問においても 2013 年以降が数値向上のおおよその画期となっている。以上から、「教室外学習の時間」数の向上がその他の設問における数値向上と連動した関係にあると結論づけられる。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

前節を踏まえ、今後、全体的な授業の満足度について現水準を保つ、もしくは高めていくためには、過去 9 年分の分析結果からすると、「教室外学習の時間」数を高めることが重要であるといえよう。

学芸員課程では、実践性を重視するという視点から、博物館の現場における「現在」を重視した授業内容としている。このことから既に、教材として実際の博物館現場で使用されている実物資料・用具・器具の類を教材として積極的に取り入れること、また、博物館刊行のパンフ・リーフ、ポスター・ちらし、紀要・研究報告書、年報等の各種広報・刊行物類の提示などの工夫を各授業において導入している。

「教室外学習の時間」を向上させるためには、博物館現場における実情視察、博物館イベントへの参加、最新図書・情報の入手などを課題レポートとして課す等の試みを行っているところである。今後は上記結果に基づき、より効果的な課題の出し方について検討する必要がある。

(2)学科科目における 2016 年度～2017 年度「学生による授業評価」アンケートに関する検討会から得られた知見

FD 委員　雨田英一、永原歩

注記

＊作成に当たっては原文をそのまま引用したり要約したりしている。引用箇所は煩雑になるので「」を用いなかった。文責はすべて作成者にある。

＊まとめるに当たっては、すべて明確に腑分けできるわけではないが、下記の四つに分けて整理した。

１．成果を上げたと見なされている、あるいは受講生に好評だったと教員が認識している方策および今後の課題に関わる記述（ここから授業評価アンケートに裏付けられた有効性の高い方策についての知見が得られるだろう。）

２．これまで取り組んできている、あるいは今後とるべき必要な方策に関わる記述（1 のように裏付けは明確でないものの、個々の受講生からの要望・意見などを踏まえ取り組んでみる価値ある方策についての知見が得られるだろう。）

３．説得性のあるデータ調査の仕方に関する提言（より説得性のある根拠を探求するための知見が得られるだろう。）

４．その他

＊それぞれ固有の問題を有していると思われるので、科目区分ごとにまとめた。

１．成果を上げたと見なされている、あるいは受講生に好評だったと教員が認識している方策および今後の課題に関わる記述

＜総合教養科目＞

2016.2017 年度

1)授業内での小テストの実施やミニレポート等の点検などが教室外学習に結びついていることは明らかであった。しかし、これらを行うには、現実問題として、総合教養科目のように履修者数が多い授業においては、ＳＡやウェブクラス、その他の活用を通じて、教員の負担をでき得る限り減らせるような仕組み作りが不可欠である。

＜女性のウェルネス科目＞

2016 年度前期

1)シラバスの見直しと教科書の使用とが功を奏し、教室外学習を含めて、全体的に授業の質が高まった。

2)教室外学習を促すために教員側から課題を出すことが有効であった。

3)必修授業について好評だったのは、2013 年度からの新カリキュラムの効果が順調に現れている、特に教科書の利用が功を奏していると考えられる。

4)コメントペーパーで受けた質問を次の回で皆に紹介していたことが好評だった。

＜キリスト教学科目＞

2016 年度

1)分かりやすいプリントを作成し配布することが効果的であった。

2)毎回コメントを提出させ、次回の授業で、そのなかから幾つかのコメントを選んで紹介し、またコメントに記載の質問には答え、分かりにくかったと思われる内容を補った。教員はこのコメントによって学生の理解度を見ることができた。学生にとってコメントを書くことは、内容を振り返る機会となり理解が深まる機会となった。

2016 年度、2017 年度

3)レジメやパワーポイントやスライドやプリントを多く用いることは、授業内容についての学生の理解をしやすくしていた。

2017 年度

4)遅刻者を減らす対策として、遅刻者には入室した時刻を記入して教員から手渡したところ、効果が見られた。

5)キリスト教学Ⅱ以上のクラスでは、学生にひとり５分程度の発表がある。発表担当者は教員からのアドヴァイスを受け、時間をかけてプレゼンを用意しており、よい学習の機会となっていた。

＜第一外国語科目＞

2016 年度

1) 予習確認小テスト（教科書やノートは見てもいいが辞書はダメ）を実施したところ、あらかじめ辞書を引いて全文に目を通すなどの予習をしてくる学生が増えたとの報告があった。

2) 毎回授業の初めにリーディングプレゼンテーションと称して２，３人にそれぞれ 3 分ほどで自分で選んだネット上の記事などの発表をしてもらった。学生のコメントもポジティブなものが多く、教員自身も学生の興味や習熟度を知るよい機会になったと評価された。

3) 多読学習のための Reading Log の提出を課した。授業外で英語を読むという意識づけに役立ったと考えられる。

2017 年度

4) 学生のコメントから、「Open text の小テストであることによって、暗記ではなく Reading の方法を学ぶことができたと思う。何に注目して読むかなど。」とあり、Opentext 型の試験が内容理解に役立っていると思われる。

5) グループで意見をシェアする時間があることがよかったとのコメントについて、学生が積極的にグループでの活動に係り、情報交換することがお互いの学習意欲の刺激になりリーディング力の向上に貢献していたと思うとの報告。

6)「リーディングは中学校からずっと学習してきたが、苦手なことを理由にあまり自分から勉強しようと思わなかった。しかしこの授業を通して苦手だとしても読むことを恐れないでリーディングをする姿勢が身についたと思います。」というコメントに対し、授業外で Pleasure Reading をして Book Report を提出することを推奨したり、授業内に短時間で読む訓練をした結果が結びついた可能性があると判断された。また、「間違えてもいいよという雰囲気を作ってくれたので発言しやすかった。」というコメントについて、担当教員が一番心掛けていたことであり効果を実感したようである。

7)今年度からは、テキストをすべてワードに取り込んで書き込めるスペースも取り、調べて欲しい単語、意味を考えてきて欲しい箇所にすべて印をつけて事前に渡すようにした。また、授業最初にその紙を回収し、予習を行って来たかどうかチェックし、成績に反映させることにした。この方式にしてから、授業がスムーズに進むようになったとの報告があった。

8) Group speaking activities in small group discussions, help students gain confidence needed to express opinions with each other in a safe environment. Students further develop their speaking skills in full class discussions, and presentations.

＜第二外国語科目＞

特になし。

＜日本語科目＞

2016 年度

1)授業に対する質問・意見・感想を受講生に自由に書かせて授業終了時に回収し、次回授業の冒頭で教員がフィードバックのコメントを毎回行った。受講生の理解度や関心のありかを把握できるとともに、前回の内容の確認・補足を行った上で授業に入れるという点でも有益である。

2)課題に対する質問を受け付ける、あるいは助言をする時間をより多く取るように心がけた結果、後期では、2,000 字の論述文作成に対する自己評価が前向きな評価に繋がった。

2017 年度

3)毎回取り上げたトピックが思考を深める上で有意義であったこと、トピックを巡るグループでのアクティビティやプレゼンテーション等が好評であった。

4)名前はふせたうえで、授業中、様々な答案例を紹介した。OHP を使用しながら、その場で添削することも行った。それらによって、同じような誤りが減り、各自の要約の練習の機会となった。

＜情報処理科目＞

2017 年度

1)授業外学習を全くしていない学生の割合が小さい。その理由として、当該科目では課題の提出をもとめることが多いことや、WebClass を利用した e ラーニングを活用していることが考えられる。

＜教職課程科目＞

2016 年度

1)教員がこれまで出会った子どもたちの事例を紹介し、教員自身の体験談を語ったことによって、授業内容に対する理解が深まったと、受講生は評価している。

2)複数の履修者同士がペアを組んでロールプレイを行ったり、個々の事例に対してどのように対応すべきかを考察して意見を述べ合ったりする時間を持ったことによって、より実践的な知識が身についたと受講生は評価している。

3)授業内でグループ討議や意見発表といった方法を取り入れた参加型の授業では、「他の学生の意見を聞くことで新たな視点や考え方に気づくことができた」のような肯定的な感　想が多く見られた。

4)教職の就職状況や教職に就くための方法(教採の方式や必要な準備等)に関する情報を聞けたことが、自らの進路を考えるうえで参考になったと受講生は評価している。

2017 年度

5)「教育課程教育方法論」では、4 つの課題を 1 つずつ名簿順に割り当て、知識構成型ジグソー法の手法に基づくグループ討議を行っている。この場合、教室外学習で課題の準備をしてこないものが一人でもいた場合グループ討議が成立しないため、半ば強制的に教室外学習をやらざるを得ないこととなるので、一定の効果があると思われる。

＜学芸員課程科目＞

2016 年度

1)口頭での説明にとどまらず、板書やパワーポイント、スライド上映など多面的な手法を用いる授業の仕方によって、集中して授業に取り組むことが出来たとの意見が出された。

2)実物資料に触れる機会を積極的に設けてきたことにより、博物館への興味・関心が高まったとの意見が出された。また、書籍等の資料を見るよりも具体的に授業内容を理解することが出来たという回答が寄せられた。

2017 年度

3)授業に関する基礎知識を探るために、また、授業に対する集中力を促すために、随時、学生にマイクを差し向け、質問や意見を述べる機会を設けている。圧迫感を感じる旨の感想をもつ学生がいるが、一方的に講義をする形式では授業への参加意識が低下するため、あえて対話形式の手法を導入している。

4)近年、本学出身者が博物館や生涯学習・文化施設に就職し、現場の第一線で活躍する事例が見受けられるようになった。将来のロールモデルとなり得るよう、彼女達が勤務する現場の関する最新の情報を適宜、授業の中で紹介する。そのことで、卒業後にどのような形で本学の授業内容が活用され得るのか、体感的に理解が深められるよう工夫を施す。

＜女性学・ジェンダー関係科目＞

2016 年度

1)よりよいシラバス作成への継続的な努力の成果が高い評価に現れている。

2)学生の理解度の点検を丁寧に行うなどの努力が、「受講者の理解度の点検」の評価を前回より高くしていると思われる。

3)学生を主体的に学習させる工夫として､初回の授業で全体の授業の構造が分かるように丁寧に説明し、授業の意義や到達目標を理解したうえで計画的に学習に取り組むようにすることや、さらに、身近な人たちの具体的な事例などを示すとともに、社会の色々な人たちとの情報や意見の共有し、実践的に学べるように教室外学習を促すことが、コメントペーパーの内容からもその有効性が確認される。

4)すぐれたコメントの紹介は、学生の学習意欲を高めるうえで大変有効で、授業外学習の促進にもつながると考える。

２．これまで取り組んできている、あるいは今後とるべき必要な方策に関わる記述

＜総合教養科目＞

2016 年度

1)授業時間内でのコメントの紹介、回答は、特に履修者数が多い授業ではどうしても取捨選択せざるを得ない面があるので、自分のコメントが授業時間内に取り上げられなかった場合には、遠慮なく、直接教員に尋ねてみることを明確に伝える。

2)履修者数が多い授業については、プリントの配布が円滑に行なわれるよう、必要に応じて、ＳＡをつける、ウェブクラスを活用するなどの対応を取る。非常勤の先生にもこうしたシステムをより積極的に活用して頂けるよう工夫する。

2017 年度

3)「黒板やパワーポイントの文字が見えにくい」との記述に対して、授業によっては、黒板の大きさに対して教室が広過ぎるという事情がある場合があるので、履修者制限をかけつつ、授業内容にふさわしい適切なサイズの教室で開講する。

4)「授業中に使う言葉が難しい」との記述に対しては、教員が知っていて当然だと思っている言葉が学生には分かっていなかったという、常識レベルのずれに起因するケースもあるので、教員が今後もより一層気をつけることは言うまでもないが、一方で、学生に対しても、自らの語彙力を増やすべく日々の学習を積み重ねるよう求める。

5)適切なレベルの授業展開のため、コメントシートに質問事項を書いてもらい、翌週フィードバックを行なうなどして、履修者の理解の程度をはかる。

6)授業への積極的参加を促すため、大人数の授業であってもマイクを回して発言してもらうなどの工夫をする。

7)学習意欲の喚起と維持のためにミニレポートやミニテストを課す。

8)出席点を取るためだけに教室に来て、授業に集中せずに他のことをやったり、挙げ句は私語をして周囲の真面目な学生の学習を妨げたりする状況に対して、授業初回時に「受講の注意」をプリントにして配布する、私語をしている学生に学生番号と氏名を尋ねる、友人同士で隣り合わないように座席を指定するなどして、受講態度の改善を図っていく。

9)テストやレポートを期末の１度きりにするのではなく、学期中に複数回課する。学生自主的な学習を促すのには限界があるので、これによって半強制的に学習させる。しかし、成績評価にかかわるこの採点の業務によって教員の負担は今まで以上に増える。負担軽減策、あるいはそれに代わるもの（手当の増額など）を大学として考えることなく、いたずらに奨励することには慎重でなければならない。負担軽減策としてはティーチング・アシスタント（TA）の活用がまず挙げられるが、現在の制度では大学院生しか応募することができない。大学院生の数にも限りがあり、必ずしも TA を希望する全ての授業でつけられている訳ではないのが現状である。

打開策として、例えば、その科目の単位を既に修得している学部学生に、TA に準じるスチューデント・アシスタント（SA）というような形でサポートしてもらえるようにする。

第２には Web クラスの活用である。プリントの配布や課題の提出を Web クラスで行なうようにすれば、印刷の手間を省くことができ、課題の管理も容易である。Web クラスをどのように授業運営に活用することができるのか、FD の研修会やその他の方法を通じて、非常勤講師も含めた全ての教員がこのシステムを理解、把握できるような機会が設けられることが望まれる。

もっとも、テストやレポートの採点といった成績評価に関わる部分を、アシスタントの学生に任せる訳にはいかないため、上記のような方策を取ったところで、教員の負担の根本的なところは解決されない。小手先の工夫だけではなく、担当コマ数を減らす、成績評価を行える助教のポストを新設するといった、人件費に関わるような対策も講じられてしかるべきであろう。

10)出席点を取るためだけに（友人と話すために）教室に来る学生がいるため、出席をとらない方が平均的受講態度は改善すると感じる、という意見があった。例えば出席票を毎時間機械的に配り、それを提出させるのみで平常点をつけるという安易な方法は、授業運営上必ずしもよい効果を生むとは限らないという指摘であり、傾聴に値する。つまるところ、平常点の一部として、ミニレポートやミニテストを適切な回数課していくこと（教員負担の面においても適切な頻度で）が、必要となってくるということであろうか。

11)板書のカメラ撮影への対応。教員に無許可で撮影することが法律の面で問題があることは学生に周知しなければならないが、一方で、大教室の後方の席から板書の字が小さくて見えないために、カメラで撮影して拡大して見ている、という事情も一部にはあるようである。一概に糾弾できない部分もあることを教員は認識しておいた方がよい。

＜女性のウェルネス科目＞

2017 年度

1)これまでの授業経験をもとに、必修の教科書（ハンドブック）の内容について吟味し、教材の変化等に合わせた追記修正を行っている。

2)新しいトレーニングシステムの導入をし、これまで以上に各自の身体について理解し、その変化もわかりやすいものにした。

3)これまで荒れていたグラウンドを整備し、冬季でも緑豊かな芝生を敷設して、より運動しやすい環境が整えた。

4)授業の中で、スポーツや運動が苦手な学生でもできる教材をもっと工夫し、日常生活にも取り入れることができる運動を指導してゆく。

＜キリスト教学科目＞

2016 年度

1)回収した課題を戻して欲しいという要求があるが、一人ひとりにコメントを付けて返すことは、100 名を超える大型授業では時間的にできかねるが、これまでは次回の授業に反映させ、ときには書かれたコメントシートや予習シートの内容を紹介して授業を進めた。自分が書いたことが取り上げられず、正しかったかどうか心配な受講生には是非質問に来るよう学生に呼びかける。

2017 年度

2)一方通行の講義としないために、講義の合間に講義内容のフィードバックとして学生にコメントを書いてもらう時間を設けている。コメントを書く時間をもっと欲しいという要望については、もう少し余裕を持たせるよう工夫する。

3)予習の内容を示すに留まらず、レポートや読書ノートの提出を求めてもよいと思う。しかし必修でない場合、課題を増やすと学生たちが履修を敬遠してしまう傾向があるため、課題への動機付けへの工夫が求められる。

4)各クラスにおける課題の量等で、差が出ないようにすることで、学生のクラス選択の幅が広がると思われる。

＜第一外国語科目＞

2016 年度

1)語彙力向上のため学期の中間に語彙力テストを実施する。

2)I taught two DS classes this year. The first challenge I had was getting the students to speak in English. As I monitored, I would call on those using Japanese and write their names down. I would also keep track of who was using English the entire time. Towards the end of class, I would go speak to both types of students. To those who used Japanese, I would explain how many points they lost that day. To those speaking in English I would thank them for doing a great job.

3)Since this was my first year teaching at TWCU, I had to play things by ear quite a lot. Nonetheless, regardless of what course I teach, I make a conscious effort to have students work together. By doing so, the students have a lot more fun learning English without it feeling like a chore.

4)例年、Reading を担当する専任・非常勤の教員を対象に研修会を開催しているが、今年度は「多読の取り入れ方」をテーマに実施した。数名の教員による事例報告をもとに、課外学習としての多読の勧め方について議論した。今後も教員の間で有益な情報交換を行う試みを進めていきたいと考えている。

2017 年度

5)ホワイトボードの書く場所によっては教卓 PC で見えないとのコメントに対し、今後は書画カメラを使うことで対応する。

7)I have for several years maintained a comprehensive blog specifically for my students at TWCU. Journalistic English topics covered on the blog include aspects of journalism and story construction discussed in class, articles containing background information to help the students thoroughly understand current events in context, and information to help provide detailed answers to the students' questions. The class blog received about 7000 hits during this semester, suggesting that students refer to it very often.（第一外国語 16、17 年度も同様の方法を取られている）

8)要約を中心としたワークシートで教科書の内容の把握を確かめた。ワークシートはいったん回収して、次回にフィードバックを行った。

9)多読記録用紙を配付し、多読を奨励した。

10)The class visits are always great. And this year's visitor, ren, is especially talented at getting the students excited to speak English.

11)At the beginning of the class hour, students would practice with each other making summaries of passages they had studied in the previous week. Then the teacher would pick 4 or 5 students at random to make a summary individually. As the students didn’t know if they would be chosen to do the task or not, generally they would have prepared well. As one individual student was making the summary, the whole class listened attentively. The purpose of this task was to let the students have an opportunity to compare their work, learn from each other and get motivated and inspired by the better ones.

＜第二外国語科目＞

2016 年度

1)教室外学習時間について不十分であり、初級の段階では反復復習が重要であることから、宿題や小テストを今まで以上に頻繁に実施する必要がある。これを「主体的」と呼ぶのは困難であろうが、非常に限られた時間の中で学習効果を上げるには、避けられないものである。ただ一方で外国語ができるようになったという実感が乏しくてはモチベーションの維持が困難であるので、教室内での学生間の相互学習など、単純なものでも実際に使う場面を増やしていくこと、こう言うことを伝えたい時には何が必要かを学生自身が発見するよう促すことを考えた授業を導入することも検討している。

＜日本語科目＞

2016 年度

1)指示をもう少し的確にとの要望があった。話し方がやや早口になってしまったこともあり、聞き取りづらかった点や分かりづらかった点があったと思う。作業の内容や流れなどを板書やレジュメに記すなどしてより明確な指示をする。

2)レポート作成時の具体的な注意点、引用の仕方や文献の書誌情報の書き方など、これまでも授業で取り上げてきたが、他の科目での中間課題作成などにも間に合うよう、早めから折にふれて提示していきたい。

3)コメントペーパーを用いた質疑応答やクラス全体でのディスカッションは有効なので、今後も続けていきたい。

4)思考を深めるための様々なアクティビティによって、他者との深い対話の中で、多様な視座を持つことができるよう方法の探究を深める。

5)学生の行う作業の内容や流れを板書するなどして、学生にどのような学習活動をすればよいのかを的確に伝えるようにする。

6)学生が日本語表現法の授業で何を学びたいのかを確認して、それに即した授業展開をすることで、受講生の要求を満たし、また意欲をより高めたい。

7)読み・書きともに鍛えるためのちょうどいいテキストが見つからず、自主課題は講師が独自に作成しているので、答え合わせしづらい点もあったようだ。今後、自主学習しやすいような工夫（添削に代わる解説プリントの作成など）をしていきたい。

8)グループ内で発表を行い、受講生どうしで評価や助言をしあうという作業をする際、グループによっては単に互いにほめあうのみになってしまい、話し合いが十分には深まりにくいようなケースも見受けられた。作業に際しては、評価の観点を具体的に列挙したシートを作成して配布し、その項目に沿って意見交換を行うよう指示したが、シートの記載内容や作業指示の方法等についてさらに工夫をしてみたい。

9)500 字、1000 字、2000 字課題のほか、レポート課題執筆に向けた具体的な準備内容（情報収集と吟味、整理など）を提示し、自主的に調べ、考えるという習慣を身につけさせるように努めている。そのため、図書館課の協力のもと、授業内で情報検索ガイダンスとして書籍のみならず、新聞記事や雑誌論文の検索と収集について実践的に教示する時間を設けている。また、コミュニケーション能力の向上にも努めたいという考えから、グループワーク（ディスカッションや課題の講評）にも力を入れている。その際、机間巡視を行ってグループごとに声がけを行うなど、グループワークが深まるようなサポートを心がけている。

10)基本的に毎回、次回までの課題や準備が明確に提示される科目についても、「宿題をこなす」以上の主体的自発的学習を促すために、受講者たちが関心を持ちそうな文献や情報のありかをより多く提示する。

11)アクチェアルなトピックや問いを提示し、学生たちの思考の深まりを促すアクティビティを工夫することが大切だと考える。ディスカッション・ディベート・ロールプレイ・ミニドラマ等様々なアクティビティによって、学生たちの思考をゆする仕掛け作りを行いたい。

12)自分の考えを論理的に、分かりやすく、正確に伝えることのできる日本語表現力は、大学での今後の学習のみならず、社会で生きていく上でも必要となるスキルであることを折に触れて説明することで、学習への動機付けを促すことをめざした。

13)最終課題において、文献からの引用を必ず入れるとの条件を課すことで、図書館で自主的に調査する

という手順を踏ませるとともに、関連する文献に触れることを通じて受講生自身の考えをより深めさせることをめざした。

14)受講生の間で、大きな能力差がある場合にどのように対応するのかが課題である。名前をふせて、評価の高い添削答案も低い答案も配り、コメントするという形もとっているが、そもそも同じ課題でいいのか、最終的にどのように評価するかなど。

15)授業を受ける前と後でどのくらい成長したのか、語彙、文法、論理能力など、分野別に数値化できないか。

16)高校までに口頭発表することが増えてきたのか、パワーポイントを使って口頭発表するに慣れ、書く事以上に発表が上手な受講生も多い。学習の順序として、口頭発表の練習→論文の書き方の練習という順の方がよいのではと思うこともある。

17)自由課題として様々な課題を提案し、提出された答案は授業でも時々とりあげ、自ら学ぶ姿勢を激励した。

18)図書館で資料を調査する方法に関しては図書館にて伝え、具体的に本棚の場所、使用するとよい資料やデーターベースの使用方法を紹介している。

19)新聞記事やシソーラスを使った語彙を増やすトレーニングなど自宅でできる方法も提案している。

2017 年度

20)要約やレポート草稿についてのコメントの数を増やし個々人への指導がほしい、という要望があった。「添削」という形でなくても、コメントや留意点の指摘などの回数を増やすように努力する。毎回の課題をすべて添削することは難しいので、要約の見本例を提示して各自参考にしてもらう、多くの人に共通する注意点をまとめて述べるなど、さまざまなやり方でフィードバックをなるべく多く返すように工夫する。

21)2017 年度の授業においては、全体を通じて前年度以前と比べて欠席者が目立つ印象を受けた。特に、グループワークを行うことを事前に予告していた週には欠席者が多いという傾向が認められ、グループワークを嫌って、もしくはグループワークに向けた事前学習が不十分であることを理由に欠席した者が一定数いたのではないかと推察される。事前学習の具体的な内容の指示をもっと早い時点で行って準備のための時間をより多くとれるようにする、グループワークの目的や意義を理解してもらうような働きかけを工夫するなどの対応を検討したい。

＜情報処理科目＞

2016 年度

1)「コンピュータスキルが向上したか？」については決して高い評価とはいえないため、継続して工夫する。一つの方策として、引き続き、全クラスにきちんと学生アシスタントの配置をする。現在、学生アシスタントが配置されていない、あるいはアシスタントの配置が１名のクラスがあり、実習時等の履修者の質問への対応が完全とはいえない。アシスタントの学生の募集についても工夫したい。

2)「情報処理技法（C プログラミング）I」の授業で、学生アシスタントが同年代で話しかけやすく、授業中も見回ってくれたので質問しやすかったというコメントがあった。アシスタントについては一定の効果があるので、今後も質の高いアシスタントを確保する。

3)「情報処理技法（リテラシ）I」の授業でパワーポイントの内容がほとんどないのに、最終課題がパワーポイントを使うことに対する不満の意見があった。授業時間内にすべてを扱うことは困難であるため、教室外学習を求めざるを得ないところがあるが、同時に、授業内で取り扱えるように時間配分を

可能なかぎり調整する。

4)「情報処理技法（リテラシ）I」の授業で教科書を読むよりも実践的な内容が良かったという意見があった。当該科目は覚えることが多いため座学の時間も長くなるが、次年度からは教室外学習をより促進し、全学生が予習として教科書をきちんと読んで授業に出席し、授業では演習が主体となるように工夫する。

5)「情報処理技法（C プログラミング）I」の授業で、スライドがあって復習しやすかったが、簡潔すぎてわからなかったものもあったとの意見があった。今後は復習のときに理解しやすいように、プログラム中にもう少し詳しくコメントを入れる。

5)教室外学習の充実につながると考えられるので、引き続き、多くの授業で、教室外学習のためにWebClass（e ラーニング）を活用していく。

6)「授業の進み方が早すぎる」というコメントがあった。当該科目は演習主体の授業であったが、全員の様子を確認しながら授業を進めることが十分でなかったと考えられるので、今後は、単元ごとに理解度を確認しながら授業を進める。

7)主体的な学習につながるので、学内のすべての場所で無線 LAN が使える環境を整える。

8)C プログラミング I においては、理解度の項目が特に芳しくない。プログラミングは自身で手を動かしてはじめて身に付く技術であるが、授業中の演習では時間に限りがあるので、来年度以降は課題の量をより増やすことを考えている。

＜教職課程科目＞

2016 年度

1)動機付けに関連して　原理的あるいは歴史的な領域の講義では、教育実習で直接試される教授の内容・方法の授業とは異なり、切実な問題と感じられていないようなので、動機付けに試行錯誤し、映像の教材を多用してきた。また、これまで以上に、集団討議等で受講生相互の理解を深めることが課題である。

2)もっともっと丁寧にはっきりと話す、板書の字は崩さない、等は継続的な課題である。

3)テキストが難しいとの指摘があるが、当該授業で用いているテキストは、教育学の入門書で学問的にも信頼されているものであり、授業終了後も読み返す価値の高いものであるので、授業外学習の具体的な指示で当面は補いたい。

4)グループ学習が苦手な学生にも、集団討論やロールプレイで学ぶ形式を身につける必要があるので、授業中に積極的に学生同士でペアを組ませてディスカッションしてもらう等、教育問題に取り組むための主体的な学習方法として取り入れている。

2017 年度

5)高等学校までの歴史・公民に深く関連している担当科目については、基本的な事象や事項についての知識が不足がちになるので、基礎事項を繰り返し説明したり、高校教科書や参考書のコピーを配布したりといった工夫をしているが、わかっている学生にとっては馬鹿にされているように感じる者もおり、バランスのとり方が難しい。理解が及ばない点は質問したり、スマホ等でその場で調べたりするように指示しているが、人数の多い講義形式授業ではこれも難しい。テキストの選択の検討の必要もあるが、高校までの学習で身に着けるべき努力を可能な限り具体的な形で学生に求める必要がある。

6)ノートを取りやすいようにしてほしいとの要望があるが、自分でノートを工夫すること自体が学生の学びでもあると考え、そのように説明し、求めている。

7)授業内で小課題を出し、授業時間の一部および授業時間外にテキストや教育学の事典、インターネットを駆使して自分で調べて小レポートを次週に提出させ、教員が解説している。
8)「教科指導法」「特別活動論」「道徳教育の理論と方法」では、学習指導案や授業構成案などの課題を出しており、各自が教室外学習として作成することとしている。作成した課題は、授業時間外の個別指導、授業時間内のグループでの相互批評といった方法で検討を行うため、教室外学習として課題作成を必ずやることとなっている。

＜学芸員課程科目＞

2016 年度

1)博物館活動は日進月歩で、最新の動向を押さえておく必要がある。そのためにも最新の現場写真・広報（ちらし・ポスターなど）・刊行物（図録・年報・紀要など）等の画像・実物資料を活用した授業展開をし、実際の博物館現場に対する興味・関心を喚起している。
2)本学の学芸員課程の授業を担当している講師は全員、博物館をはじめとした生涯学習機関に携わった経験があり、それが大きな特色である。授業においては博物館等での勤務体験を織り交ぜながら、「生きた授業内容」となるよう工夫している。
3)本学の学芸員課程では実物の古文書・掛軸・巻物などを教材として収蔵し、それらはいずれも実際の博物館において十分に収蔵・展示に堪え得る価値を有している。これら本学の大きな利点・特色を活かして授業を展開する。

2017 年度

4)講義のみでは、授業への参加意識が低下するので、適宜、対話型の形式やワークショップ的な内容を盛り込み、主体的に授業に参加しているという実感が得られるような授業を展開する。
5)2017 年度からの試みとして、本学教職・学芸員課程から研究紀要（『教職・学芸員課程研究』）を発刊した（本学図書館に架蔵）。博物館に勤務している本学卒業生のナマの声の他、本学での学芸員資格取得者数の推移や卒業生の勤務先一覧等といった基礎的情報も掲載し、学芸員課程履修にあたり、また、将来の進路選択にあたり参考となる内容であるので、参照・活用を奨める。
6)レポートについては、実際に博物館現場に足を運ぶことを前提とした課題を出している。実際に勤務している職員・専門家と交流・触れ合うことを条件としているため（博物館で開催している展示説明会やワークショップへの参加等）、ネットや書籍等だけでは得られない体験をすることが出来、理解が深められたとする声が学生から寄せられている。今後もレポートを課す場合はこの点を意識することとしたい。
7)学生の読書経験が少ないため、随時、参考図書を授業中に紹介し、また、図書館の活用を促している。レポートには、複数の図書・参考資料の閲読を前提とした課題を意識的に出し（ある問題に対し、賛成派と反対派それぞれの文献・参考資料を挙げさせ、それを前提に論を展開させる等）、教室外学習の促進を図っている。

＜女性学・ジェンダー関係科目＞

2016 年度

1)学生の理解度の点検をより丁寧に行うことが必要であると読み取れ、課題である。
2)教員の話し方の聞き取りやすさの評価が相対的にやや低く、聴きやすい話し方や、より平易な言葉選びと説明が課題である。

3)授業内、授業後にリアクションペーパーを課し、点検し、理解度のすぐれた意見やコメントを授業の冒頭で紹介し、共有できるようにしている。理解度のすぐれたコメントは、学生の学習意欲を高めるよい刺激となっている。また理解度の不足が見られる内容については、具体例を示し、身近な問題として捉えられるように指導している。

３．説得性のあるデータ調査の仕方に関する提言

＜教職課程科目＞

2017 年度

1)「学生による授業評価アンケート」の結果と学生の成績との相関を明らかにしないままで、アンケート結果のみを検討することには有効性がないと思われる。たとえば、テキストが難解であるとの指摘は、その原因を教員の授業方法にのみ帰することは一面的であり、本質的な解決を講ずることは出来ないものと考える。

＜学芸員課程科目＞

2016 年度

1)問１「授業への出席」、問 2「教室外学習の時間」の集計数値の減少が際立つ結果となったが、上記の減少の原因として考えられるのは、2016 年度は前期にアンケートを集計したのに対し、2015 年度は後期にそれを実施したこと、すなわちアンケート実施時期の違いによることである。一般に前期ははじめて本課程の授業を受講するので、出席を含む平常点を重視するという評価の在り様が学生の間に十分に浸透しにくい。それに対し、後期の場合は前期の成績評価を踏まえて授業に臨むため、その意識の高まりが授業出席率の向上へとつながったものと捉えられる。問２も同様に、後期は夏休みを挟み、あわせて前期の授業経験を踏まえ、より積極的に教室外学習に取り組む意欲が醸成されたものと見做せる。別言すれば、授業及び教室外学習に対する意欲は１年間という時間を必要とするということである。

この点を証明するには、今後、なお、数年間分のデータの蓄積が必要とされる。

４．その他

＜女性のウェルネス＞

2016 年度

1)体育館での指示が聞きにくいので、大学に改善の要望を出す。

2017 年度

2)グランドやテニスコートでの授業時、熱中症などの対策を含めて日陰ができるように施設設備の要望を出す。

＜第二外国語科目＞

2016 年度

1)現状では、教室外（学内）で学生が外国語の学習のために自主的に作業をできる場が限られているので、そのようなスペースが欲しい。

＜日本語科目＞

2016 年度

1) ウェッブクラスなどを用いれば、もう少し効率的なクラス運営が可能かと思うが、ウェッブクラスについては、例えば立教大学などと比べ、登録が難しくまた機能も少ないので改善が望まれる。

若干の感想―読み取れる知見―

検討会報告書を通読し整理してみると、本学の教員が、授業をよりよくするために、授業内外を問わず、実に様々な工夫を凝らして、受講生との教育的なコミュニケーションを成り立たせようと模索している姿が浮かび上がってくる。とくに大勢の受講者を相手にせざるを得ない教員にとっては切実である。教授した内容がどうすれば受講生に届き受け止められるのか、受講生の理解を深めることができるのか、これらを問い続け、受講生の受け止め方や理解の仕方をコメントペーパーなどで丁寧にチェックし、必要な事柄を教え伝えるための工夫を具体的な形ですすめている。そしてその工夫が実を結ぶためには、生身の教員の努力では及ばないほどの実に多くの時間と労力が求められており、組織・制度改革によって支えられなければならない性格のものであるということも、切実な問題としてますます明確になってきている。検討会報告書はこのことを強く訴えているように思う。

以上

4. 女性学･ジェンダー関係科目における8年間*の授業評価アンケート結果推移の分析

女性学研究所長　唐澤真弓

(1)結果の分析・評価

2009 年前期～2017 年後期までの女性学･ジェンダー科目の授業に対する学生の評価は全般に緩やかに良くなっているように見受けられる。

まず「設問１　授業への出席」について、2013 年度前期以降、「すべて出席」と「１－２度欠席」と回答したものが安定して 9 割以上となり、十分に授業に出席しているといえる。次に「設問 2　教室外学習」は、2014 年度前期以降、「週４時間以上」から「週 1 時間未満」に回答したものを合わせると約半数が授業外で学習している。しかし教室外学習時間は 1 時間未満が 3‐4 割を占め、学習習慣があるものの、全体の結果に比べると教室外学習時間は短い。「設問 3 シラバスに沿った展開」は、調査開始以降約 95%以上の学生がシラバスに沿っていると評価している。

「設問 7　教員の話し方」についても 9 割以上が「非常にそう思う」もしくは「ある程度そう思う」と回答し、よい評価を受けている。そのほか「設問 8　教材」「設問 9　理解の程度の点検」などほとんどの項目において、全体評価よりも評点が高い。最終的に「設問 13　総合的満足度」も、2016 年度後期以降約 95%の学生が満足と回答していることから、女性学・ジェンダー科目の授業は学生からよい評価受けている。

(2)今後の対策、この成果をどのように FD に生かしていくか

分析結果を踏まえ、女性学関連の科目においては次の対策を考えている。第 1 に学生が持つジェンダーへの関心を積極的な学習に結びつけるよう、わかりやすい授業構成と運営を行い、学生の理解度を確認しながら行うことを継続することである。フェミニズムには、女性自身が自らの経験や意見を語ることによって理解と共感を深める学習方法がある。今後もこのような方法を授業に取り入れていくことがより求められる。

第 2 に、教室外学習の促進である。教室外学習はできていても、多くの学生の学習時間は 1 時間前後と短い。これを改善するため、今後は文献紹介、テキストを読み、ミニ・レポートを書くというような課題を通じて教室外学習の時間の増加を促進していきたい。

女性学は、日常生活のトピックや学生の経験などを振り返りながら社会におけるジェンダー問題を取り上げるため、学生にとって学びやすく、関心が高い授業が多い。今後は学生がこうした日常的な問題の解決に向けた思考力を養い、女性学・ジェンダー研究に基づいた理論的知識と論理的思考が得られるような教材提供と授業展開をしていく所存であると同時に残念ながら、授業科目は減少となっており、学生の幅広い関心事にどのように対応していくかが今後の課題である。

5. (資料) 8 年間*の授業評価アンケート結果推移

*2009 年度～2017 年度

目　次

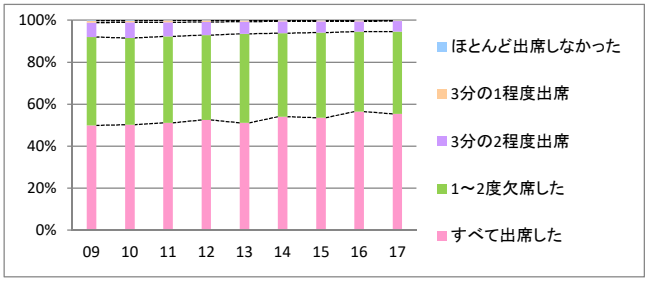
全体		p.151
学科科目　全体		p.154
人文学科	哲学専攻	p.157
	日本文学専攻	p.160
	英語文学文化専攻	p.163
	史学専攻	p.166
国際社会学科	国際関係専攻	p.169
	経済学専攻	p.172
	社会学専攻	p.175
人間科学科	心理学専攻	p.178
	コミュニケーション専攻	p.181
	言語科学専攻	p.184
数理科学科	数学専攻	p.187
	情報理学専攻	p.190

全学共通カリキュラム等（学科科目以外）　全体	p.193
総合教養科目	p.197
総合教養科目＜女性のウェルネス領域＞	p.200
キリスト教学科目	p.203
第一外国語	p.206
第二外国語（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語）	p.209
日本語科目	p.224
情報処理	p.227
教職課程	p.230
学芸員課程	p.233
女性学研究所（女性学・ジェンダー科目）	p.236

＜全体合計＞

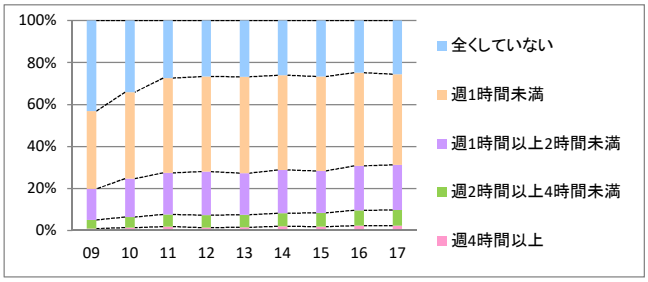
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09	49.8%	42.2%	6.9%	0.9%	0.2%
10	50.2%	41.3%	7.4%	0.9%	0.2%
11	51.1%	41.2%	6.7%	0.8%	0.2%
12	52.5%	40.5%	6.2%	0.7%	0.1%
13	51.2%	42.3%	5.8%	0.6%	0.1%
14	54.1%	39.7%	5.6%	0.5%	0.1%
15	53.6%	40.5%	5.4%	0.4%	0.1%
16	56.5%	38.1%	4.9%	0.4%	0.1%
17	55.4%	39.2%	5.1%	0.3%	0.0%



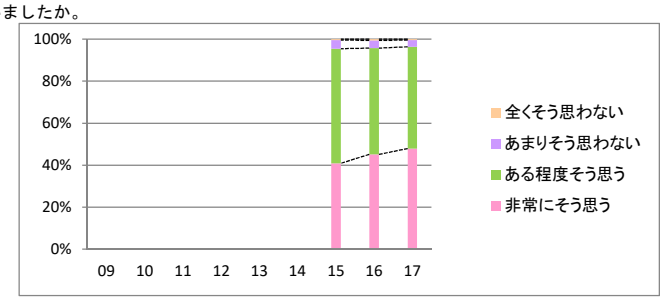
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09	1.0%	4.0%	14.9%	37.0%	43.1%
10	1.4%	5.1%	18.2%	41.2%	34.1%
11	1.9%	5.7%	19.9%	45.1%	27.4%
12	1.5%	6.0%	20.7%	45.2%	26.6%
13	1.5%	6.1%	19.7%	45.8%	26.8%
14	2.0%	6.3%	20.6%	45.1%	26.1%
15	1.9%	6.5%	20.0%	44.9%	26.7%
16	2.3%	7.3%	21.3%	44.3%	24.9%
17	2.4%	7.5%	21.5%	43.1%	25.6%



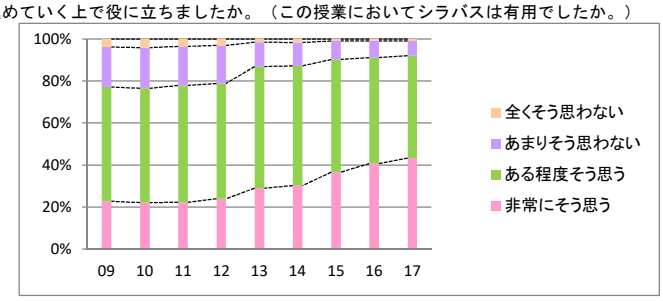
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09				
10				
11				
12				
13				
14				
15	40.8%	54.6%	4.1%	0.5%
16	45.2%	50.5%	3.7%	0.6%
17	47.9%	48.5%	3.2%	0.4%



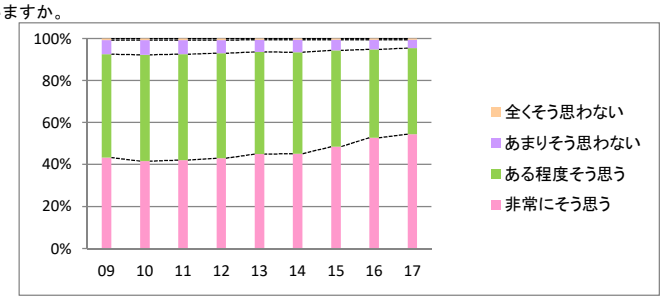
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。（この授業においてシラバスは有用でしたか。）

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	22.7%	54.4%	19.1%	3.8%
10	22.1%	54.4%	19.4%	4.1%
11	22.3%	55.6%	18.7%	3.5%
12	23.9%	54.9%	18.2%	3.1%
13	28.9%	58.0%	11.6%	1.5%
14	30.3%	57.0%	11.2%	1.6%
15	36.6%	53.5%	8.9%	0.9%
16	40.7%	50.5%	7.9%	0.9%
17	43.3%	48.8%	7.0%	0.8%



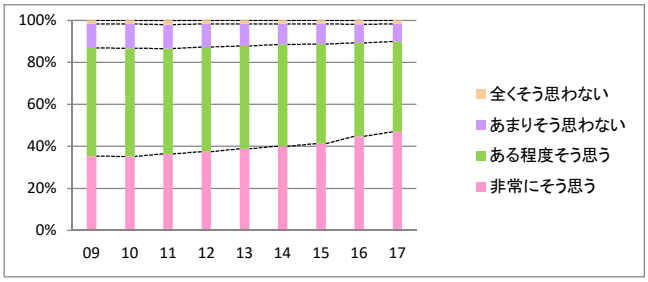
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	43.2%	49.4%	6.7%	0.8%
10	41.7%	50.6%	7.0%	0.8%
11	42.0%	50.5%	6.6%	0.8%
12	42.9%	50.1%	6.2%	0.7%
13	45.0%	48.6%	5.8%	0.6%
14	45.1%	48.3%	5.9%	0.7%
15	48.4%	45.9%	5.1%	0.6%
16	52.7%	42.2%	4.5%	0.6%
17	54.5%	40.9%	4.0%	0.6%



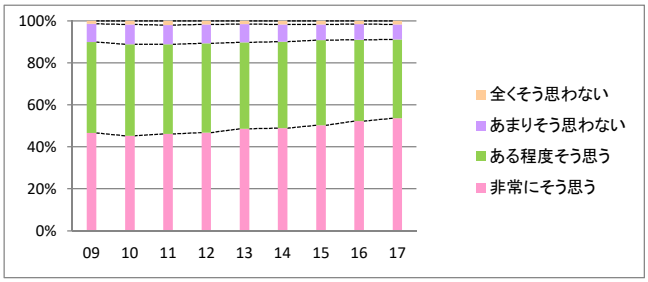
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	35.3%	51.5%	11.5%	1.7%
10	35.3%	51.5%	11.6%	1.7%
11	36.4%	50.1%	11.5%	2.0%
12	37.6%	49.8%	11.0%	1.6%
13	38.8%	49.0%	10.6%	1.6%
14	40.1%	48.4%	9.8%	1.7%
15	41.3%	47.3%	9.6%	1.7%
16	44.7%	44.5%	9.0%	1.8%
17	46.9%	43.0%	8.4%	1.6%



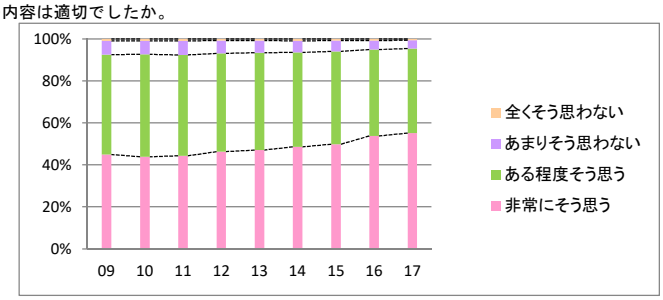
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	46.7%	43.2%	8.8%	1.4%
10	45.3%	43.6%	9.4%	1.7%
11	46.1%	42.7%	9.2%	2.1%
12	46.7%	42.6%	8.9%	1.8%
13	48.5%	41.2%	8.6%	1.6%
14	48.8%	41.3%	8.3%	1.7%
15	50.3%	40.6%	7.5%	1.7%
16	52.2%	38.8%	7.5%	1.6%
17	53.5%	37.6%	7.2%	1.7%



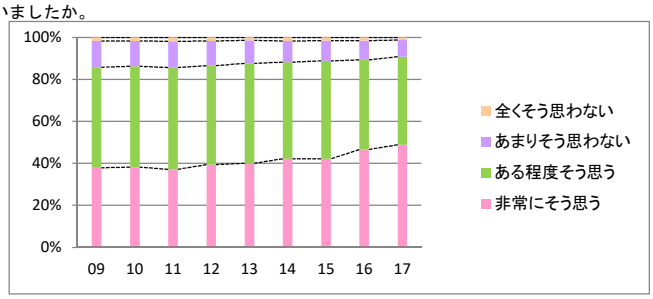
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	44.9%	47.6%	6.5%	1.0%
10	43.9%	48.8%	6.3%	1.0%
11	44.3%	48.0%	6.7%	1.0%
12	46.3%	46.7%	6.1%	0.9%
13	47.1%	46.2%	5.9%	0.8%
14	48.5%	45.1%	5.5%	0.9%
15	49.8%	44.2%	5.1%	0.8%
16	53.8%	41.1%	4.3%	0.8%
17	55.2%	40.2%	3.9%	0.7%



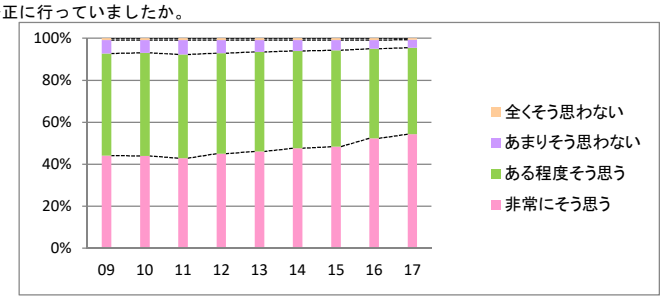
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	37.9%	47.9%	12.5%	1.7%
10	38.2%	48.0%	12.0%	1.8%
11	37.2%	48.5%	12.5%	1.9%
12	39.5%	47.0%	11.8%	1.8%
13	40.1%	47.5%	11.0%	1.5%
14	42.2%	46.1%	10.1%	1.7%
15	42.2%	46.6%	9.5%	1.6%
16	46.5%	42.7%	9.1%	1.6%
17	48.9%	41.8%	8.0%	1.3%



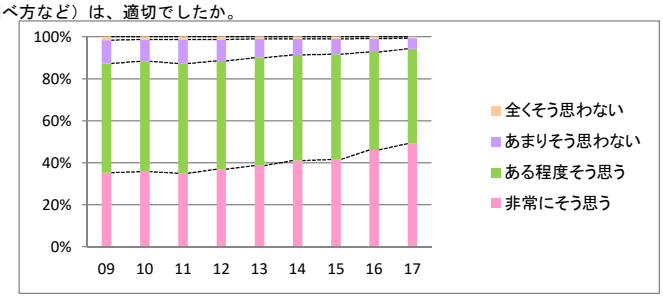
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	44.1%	48.7%	6.4%	0.8%
10	44.0%	49.1%	6.0%	0.9%
11	42.9%	49.5%	6.8%	0.9%
12	45.1%	47.9%	6.2%	0.9%
13	46.1%	47.4%	5.7%	0.8%
14	47.7%	46.3%	5.1%	0.9%
15	48.4%	45.9%	4.9%	0.8%
16	52.4%	42.7%	4.2%	0.8%
17	54.3%	41.1%	3.8%	0.7%



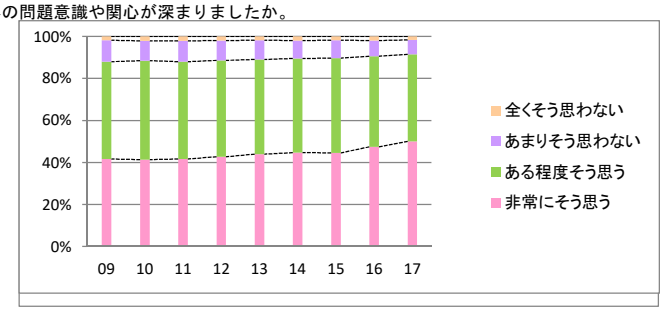
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	35.3%	51.9%	11.2%	1.6%
10	35.7%	52.5%	10.4%	1.3%
11	35.0%	52.3%	11.4%	1.4%
12	37.0%	51.5%	10.3%	1.3%
13	38.7%	51.3%	9.0%	1.0%
14	41.0%	50.3%	7.6%	1.1%
15	41.4%	50.2%	7.4%	1.0%
16	46.1%	46.7%	6.3%	0.9%
17	49.1%	45.2%	5.0%	0.7%



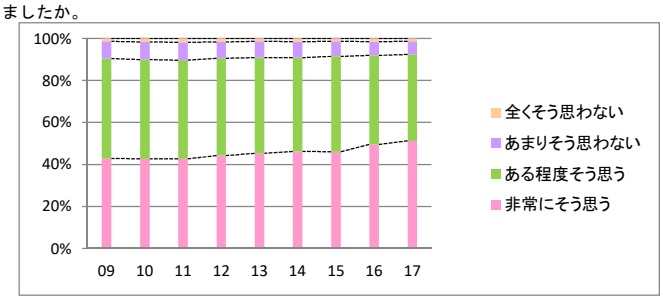
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	41.7%	46.4%	10.1%	1.8%
10	41.3%	47.2%	9.5%	2.0%
11	41.7%	46.3%	9.9%	2.1%
12	42.8%	45.9%	9.4%	2.0%
13	44.0%	45.0%	9.2%	1.8%
14	44.7%	44.8%	8.6%	1.9%
15	44.5%	45.2%	8.5%	1.8%
16	47.5%	43.1%	7.5%	1.9%
17	50.0%	41.5%	6.9%	1.6%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

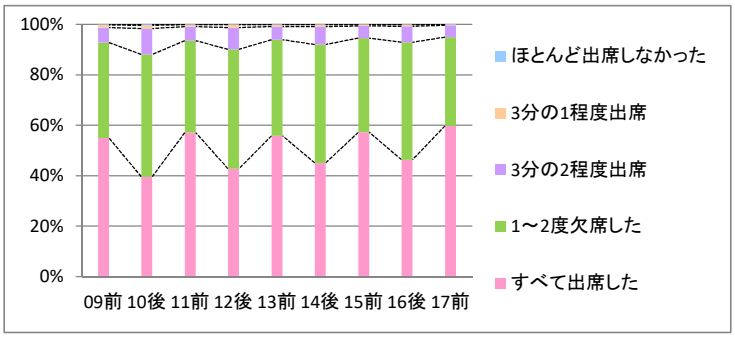
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09	42.9%	47.6%	8.1%	1.4%
10	42.7%	47.3%	8.4%	1.7%
11	42.8%	46.9%	8.6%	1.8%
12	44.2%	46.3%	7.9%	1.6%
13	45.3%	45.5%	7.9%	1.3%
14	46.2%	44.7%	7.6%	1.5%
15	46.1%	45.3%	7.2%	1.3%
16	49.6%	42.4%	6.5%	1.6%
17	51.2%	41.2%	6.2%	1.4%



＜学科科目　全体＞

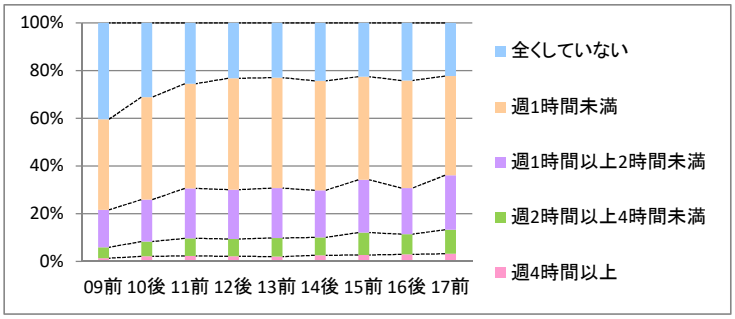
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	55.0%	37.8%	6.0%	1.0%	0.2%
10後	39.6%	48.6%	10.3%	1.3%	0.3%
11前	57.2%	36.4%	5.5%	0.8%	0.1%
12後	42.8%	47.3%	8.7%	1.1%	0.1%
13前	55.9%	38.0%	5.3%	0.7%	0.1%
14後	45.0%	47.0%	7.2%	0.7%	0.1%
15前	57.3%	37.3%	4.8%	0.5%	0.1%
16後	46.3%	46.5%	6.4%	0.6%	0.1%
17前	59.8%	35.1%	4.7%	0.4%	0.0%



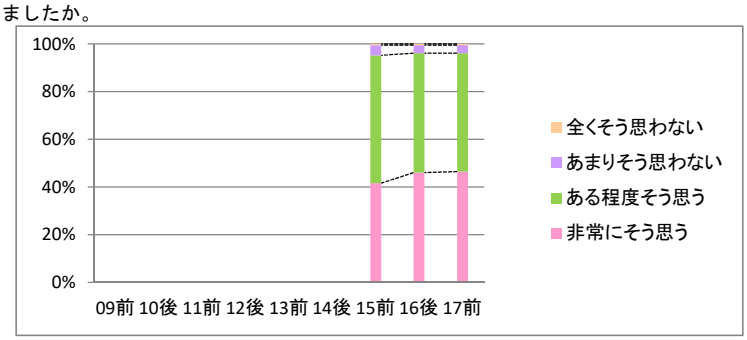
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	1.3%	4.5%	15.7%	38.0%	40.4%
10後	2.1%	6.2%	17.6%	42.9%	31.2%
11前	2.2%	7.3%	21.0%	43.8%	25.6%
12後	2.1%	7.3%	20.7%	46.8%	23.2%
13前	1.9%	7.8%	21.0%	46.3%	23.0%
14後	2.5%	7.5%	19.7%	45.9%	24.4%
15前	2.7%	9.3%	22.2%	43.2%	22.6%
16後	2.9%	8.5%	19.4%	45.1%	24.2%
17前	3.2%	10.1%	22.8%	41.6%	22.3%



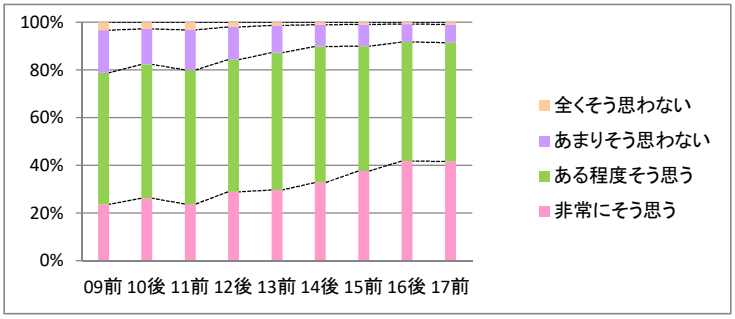
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	41.7%	53.6%	4.3%	0.5%
16後	46.1%	50.0%	3.4%	0.5%
17前	46.5%	49.7%	3.3%	0.5%



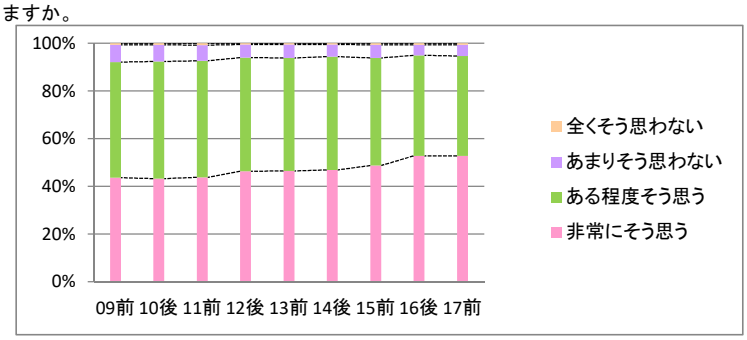
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	23.6%	55.2%	17.9%	3.3%
10後	26.2%	56.1%	14.8%	2.9%
11前	23.8%	56.1%	16.9%	3.2%
12後	28.8%	55.5%	13.7%	2.0%
13前	29.6%	57.6%	11.3%	1.4%
14後	32.7%	57.1%	9.1%	1.0%
15前	37.5%	52.4%	9.2%	0.9%
16後	41.7%	50.0%	7.4%	0.9%
17前	41.6%	49.8%	7.7%	0.9%



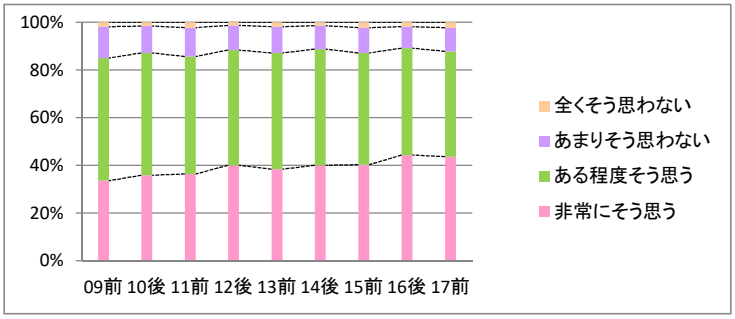
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	43.6%	48.5%	7.2%	0.8%
10後	43.2%	49.0%	7.0%	0.7%
11前	43.7%	48.9%	6.5%	0.9%
12後	46.3%	47.6%	5.5%	0.6%
13前	46.4%	47.3%	5.7%	0.6%
14後	46.8%	47.5%	5.2%	0.6%
15前	48.7%	45.1%	5.6%	0.7%
16後	52.7%	42.1%	4.5%	0.7%
17前	52.7%	42.0%	4.6%	0.7%



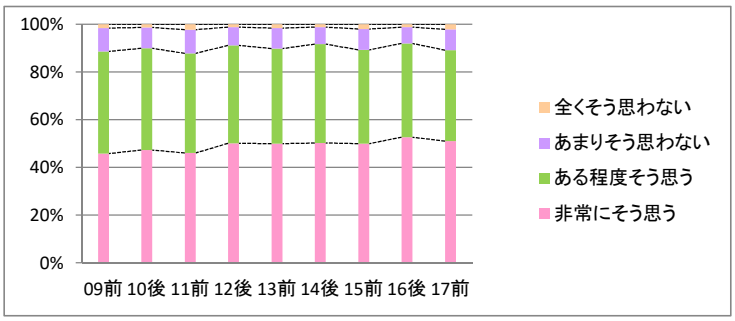
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.5%	51.5%	13.2%	1.8%
10後	35.9%	51.3%	11.3%	1.6%
11前	36.4%	49.3%	12.0%	2.3%
12後	40.0%	48.4%	10.3%	1.3%
13前	38.4%	48.7%	11.0%	1.8%
14後	40.0%	48.8%	9.8%	1.4%
15前	40.3%	46.8%	10.7%	2.2%
16後	44.3%	44.8%	9.0%	1.9%
17前	43.6%	44.2%	9.9%	2.2%



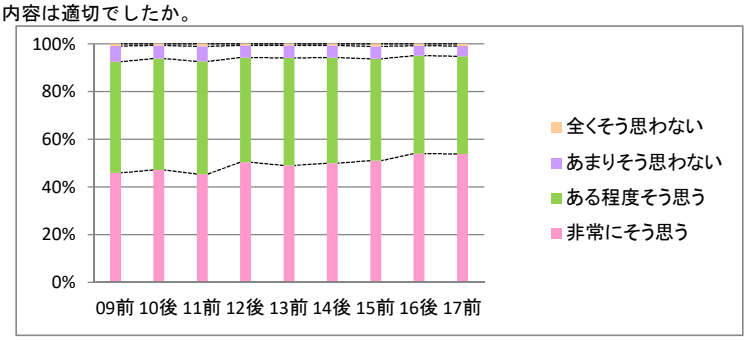
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	45.7%	42.9%	9.8%	1.6%
10後	47.2%	42.8%	8.7%	1.3%
11前	46.1%	41.7%	9.9%	2.3%
12後	50.1%	41.0%	7.7%	1.3%
13前	50.0%	39.9%	8.5%	1.6%
14後	50.2%	41.5%	7.1%	1.2%
15前	49.9%	39.3%	8.7%	2.1%
16後	52.6%	39.4%	6.8%	1.2%
17前	51.0%	38.2%	8.6%	2.2%



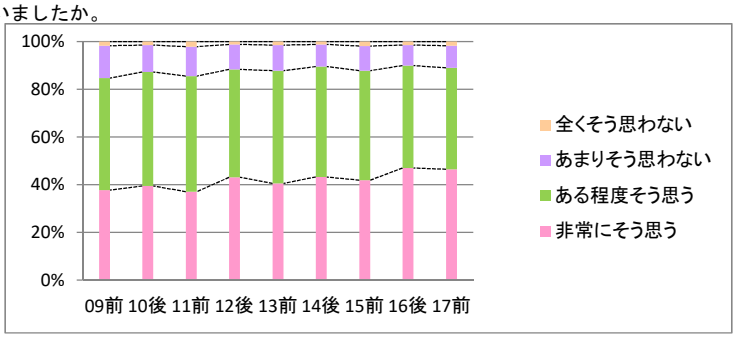
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	46.0%	46.5%	6.6%	0.9%
10後	47.2%	46.7%	5.5%	0.6%
11前	45.4%	47.3%	6.3%	0.9%
12後	50.5%	43.9%	5.2%	0.5%
13前	49.1%	45.1%	5.2%	0.6%
14後	50.0%	44.3%	5.0%	0.6%
15前	51.1%	42.7%	5.3%	1.0%
16後	54.0%	41.2%	4.1%	0.8%
17前	53.9%	40.9%	4.3%	0.8%



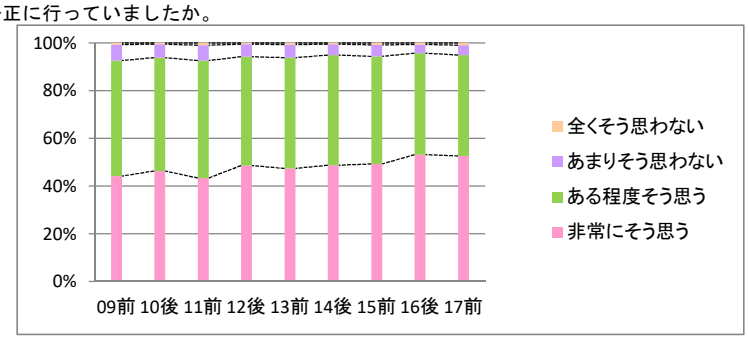
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	37.8%	47.0%	13.5%	1.7%
10後	39.4%	47.8%	11.4%	1.4%
11前	37.1%	48.4%	12.4%	2.1%
12後	43.0%	45.3%	10.5%	1.2%
13前	40.6%	47.3%	10.8%	1.4%
14後	43.2%	46.4%	9.2%	1.2%
15前	41.9%	46.0%	10.2%	1.9%
16後	47.0%	43.0%	8.5%	1.5%
17前	46.4%	42.6%	9.1%	1.8%



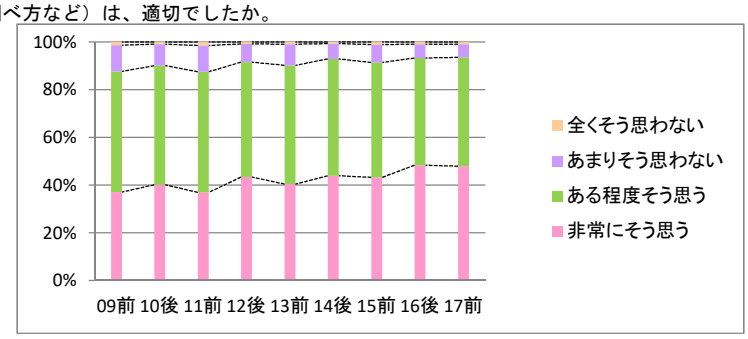
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	44.2%	48.3%	6.7%	0.8%
10後	46.2%	47.6%	5.6%	0.6%
11前	43.4%	49.2%	6.5%	0.9%
12後	48.6%	45.7%	5.2%	0.5%
13前	47.4%	46.4%	5.5%	0.7%
14後	48.8%	46.1%	4.6%	0.5%
15前	49.2%	45.1%	4.9%	0.8%
16後	53.1%	42.6%	3.6%	0.8%
17前	52.6%	42.2%	4.3%	0.9%



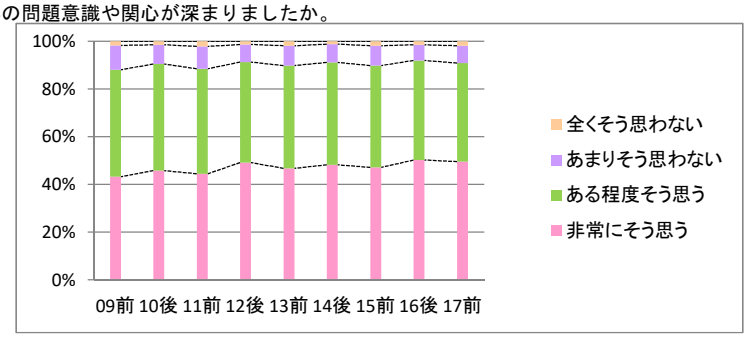
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	37.1%	50.5%	11.0%	1.3%
10後	40.1%	50.0%	9.0%	0.9%
11前	36.9%	50.7%	11.0%	1.4%
12後	43.4%	48.2%	7.6%	0.7%
13前	40.4%	49.9%	8.8%	0.9%
14後	44.0%	48.9%	6.4%	0.6%
15前	43.3%	48.1%	7.5%	1.1%
16後	48.4%	45.0%	5.7%	0.9%
17前	47.9%	45.7%	5.5%	0.9%



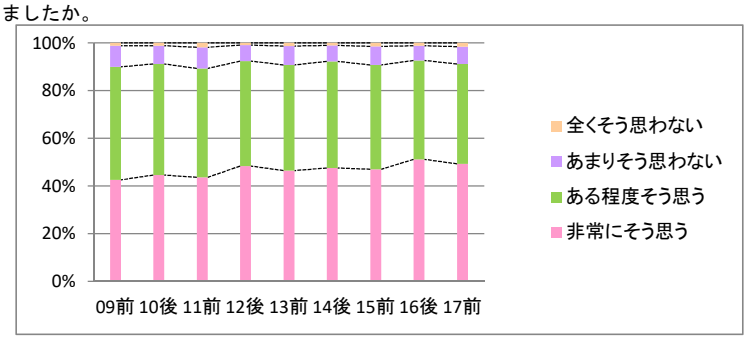
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	43.2%	44.9%	10.1%	1.8%
10後	45.8%	44.7%	8.0%	1.5%
11前	44.4%	44.1%	9.4%	2.1%
12後	49.1%	42.2%	7.4%	1.3%
13前	46.7%	43.1%	8.3%	1.9%
14後	48.2%	42.9%	7.7%	1.2%
15前	47.1%	42.6%	8.4%	1.9%
16後	50.1%	41.8%	6.6%	1.5%
17前	49.5%	41.3%	7.3%	1.9%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

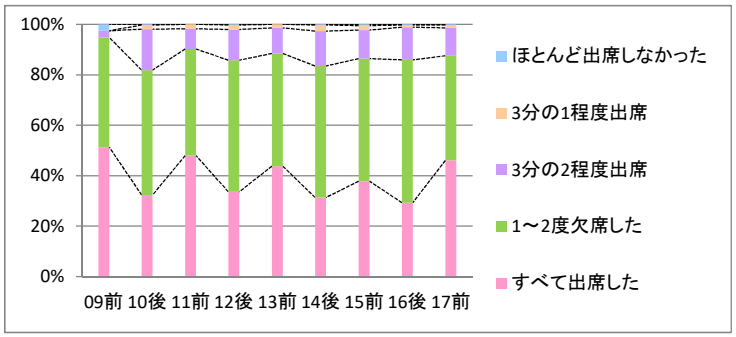
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	42.5%	47.4%	8.9%	1.3%
10後	44.5%	46.6%	7.6%	1.3%
11前	43.5%	45.6%	8.9%	1.9%
12後	48.3%	43.9%	6.7%	1.1%
13前	46.4%	44.3%	7.9%	1.3%
14後	47.5%	44.6%	6.8%	1.1%
15前	46.9%	43.8%	7.8%	1.5%
16後	51.0%	41.5%	6.1%	1.3%
17前	49.3%	41.8%	7.2%	1.7%



＜哲学専攻＞

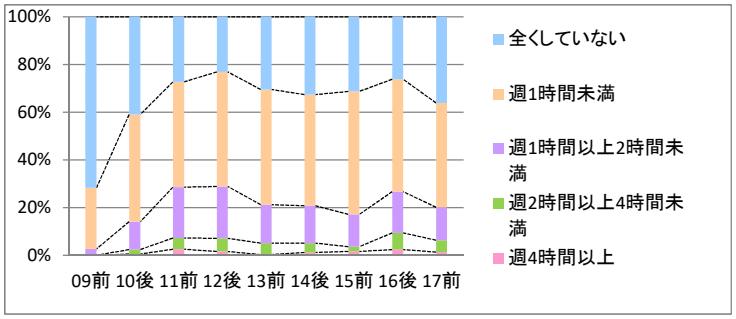
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	51.3%	43.6%	2.6%	0.0%	2.6%
10後	32.4%	49.5%	16.2%	1.7%	0.2%
11前	48.0%	42.2%	8.1%	1.7%	0.0%
12後	33.6%	52.1%	12.2%	1.8%	0.2%
13前	43.8%	44.7%	10.1%	1.4%	0.0%
14後	31.4%	52.2%	13.9%	2.4%	0.2%
15前	37.8%	48.7%	11.3%	1.8%	0.4%
16後	29.4%	56.6%	13.0%	0.9%	0.2%
17前	46.1%	41.5%	11.0%	1.2%	0.2%



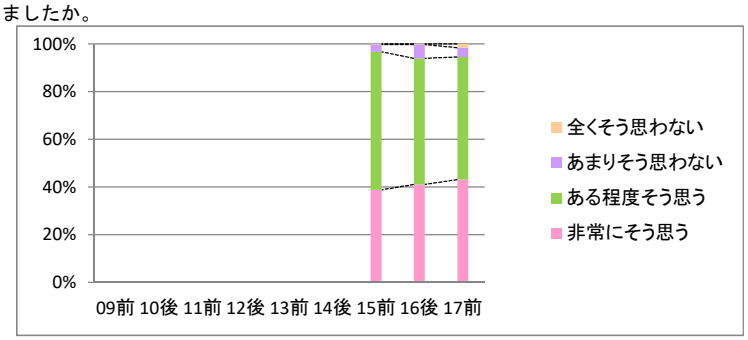
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.0%	0.0%	2.6%	25.6%	71.8%
10後	0.5%	1.9%	11.6%	45.0%	40.9%
11前	2.5%	4.7%	21.3%	44.2%	27.4%
12後	1.6%	5.4%	21.8%	48.1%	23.1%
13前	0.2%	4.8%	16.1%	48.3%	30.6%
14後	1.1%	3.9%	15.8%	46.6%	32.6%
15前	1.6%	2.0%	13.6%	51.6%	31.3%
16後	2.4%	7.1%	17.3%	47.0%	26.3%
17前	1.2%	5.0%	13.9%	43.7%	36.2%



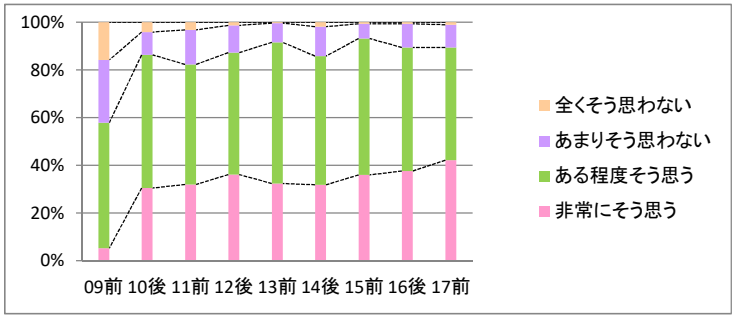
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	38.8%	57.9%	3.1%	0.2%
16後	41.2%	52.9%	5.8%	0.2%
17前	43.2%	51.3%	3.9%	1.6%



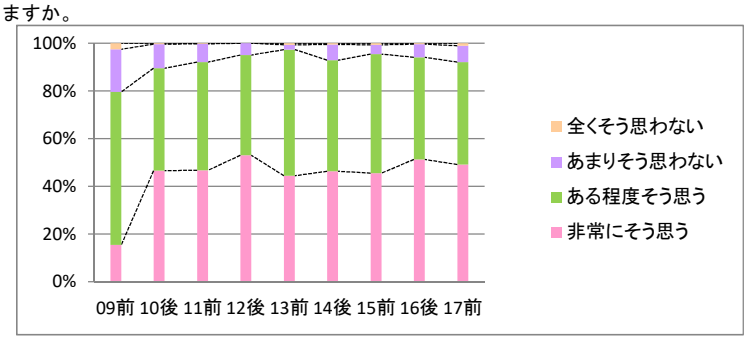
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	5.3%	52.6%	26.3%	15.8%
10後	30.5%	55.9%	9.5%	4.1%
11前	31.9%	50.4%	14.5%	3.2%
12後	36.1%	51.1%	11.4%	1.4%
13前	32.3%	59.2%	8.0%	0.5%
14後	31.8%	53.9%	12.3%	1.9%
15前	35.9%	57.2%	6.2%	0.7%
16後	37.5%	51.8%	10.0%	0.6%
17前	42.2%	47.2%	9.6%	1.1%



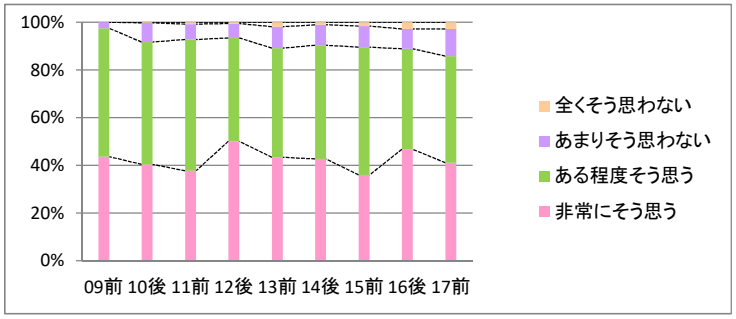
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	15.4%	64.1%	17.9%	2.6%
10後	46.5%	43.1%	10.0%	0.5%
11前	46.6%	45.5%	7.5%	0.4%
12後	52.9%	42.1%	5.0%	0.0%
13前	44.4%	52.9%	2.1%	0.7%
14後	46.3%	46.5%	6.5%	0.7%
15前	45.4%	49.9%	4.0%	0.7%
16後	51.3%	42.7%	5.6%	0.4%
17前	49.1%	42.9%	6.9%	1.1%



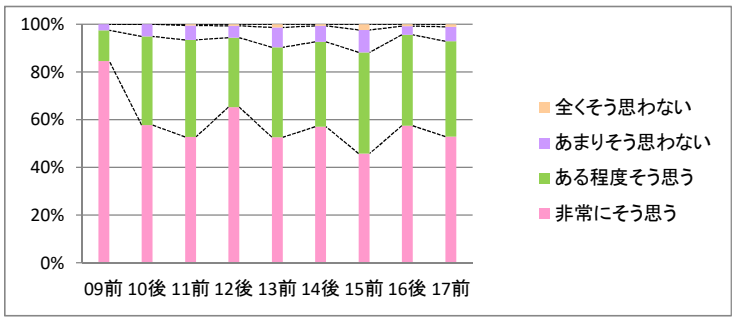
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	43.6%	53.8%	2.6%	0.0%
10後	40.4%	51.3%	8.0%	0.2%
11前	37.8%	55.0%	6.5%	0.8%
12後	50.1%	43.3%	6.1%	0.5%
13前	43.3%	45.9%	8.9%	1.8%
14後	42.7%	47.7%	8.5%	1.1%
15前	35.9%	53.6%	8.9%	1.6%
16後	46.8%	42.1%	8.3%	2.8%
17前	41.1%	44.7%	11.4%	2.8%



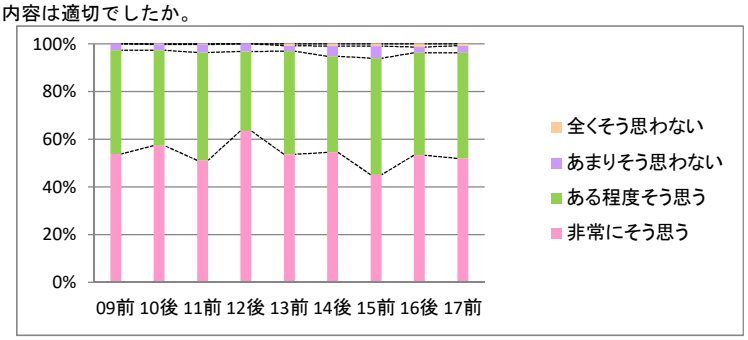
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	84.6%	12.8%	2.6%	0.0%
10後	57.7%	37.2%	5.1%	0.0%
11前	52.7%	40.6%	6.0%	0.6%
12後	65.2%	29.2%	5.0%	0.7%
13前	52.5%	37.7%	8.3%	1.4%
14後	57.0%	35.6%	6.7%	0.7%
15前	45.8%	42.4%	9.3%	2.4%
16後	57.4%	38.1%	3.6%	0.9%
17前	52.8%	40.0%	6.0%	1.1%



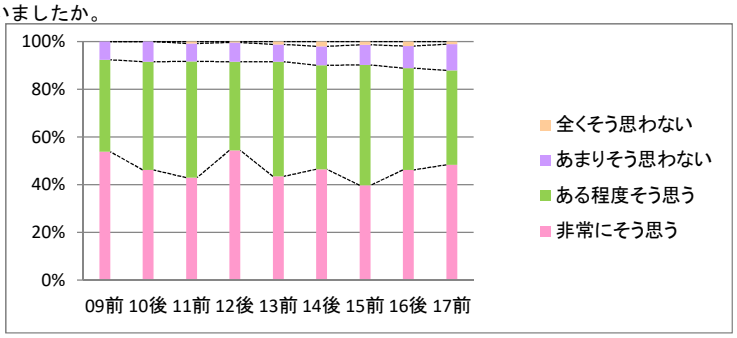
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	53.8%	43.6%	2.6%	0.0%
10後	57.3%	40.0%	2.4%	0.2%
11前	51.2%	45.2%	3.4%	0.2%
12後	63.6%	33.3%	3.2%	0.0%
13前	53.8%	43.2%	2.3%	0.7%
14後	54.6%	40.2%	4.3%	0.9%
15前	45.2%	48.8%	5.1%	0.9%
16後	53.3%	43.0%	2.4%	1.3%
17前	52.0%	44.2%	3.0%	0.7%



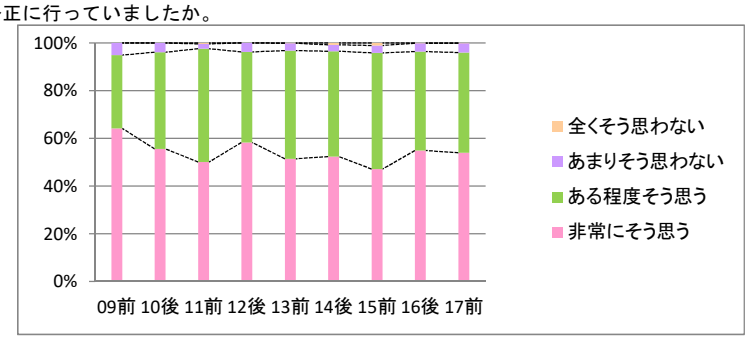
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%
10後	46.1%	45.4%	8.5%	0.0%
11前	42.9%	48.8%	7.5%	0.8%
12後	54.3%	37.3%	8.0%	0.5%
13前	43.4%	48.0%	7.4%	1.1%
14後	46.4%	43.6%	8.0%	2.0%
15前	39.7%	50.6%	8.4%	1.3%
16後	46.2%	42.7%	9.2%	1.9%
17前	48.3%	39.6%	11.0%	1.1%



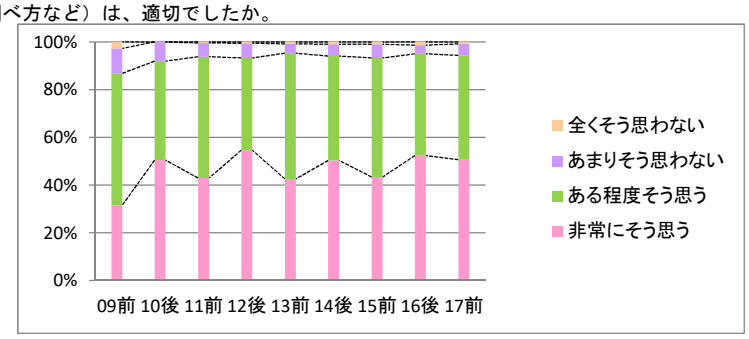
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	64.1%	30.8%	5.1%	0.0%
10後	55.6%	40.5%	3.9%	0.0%
11前	50.0%	47.5%	2.1%	0.4%
12後	58.3%	37.9%	3.9%	0.0%
13前	51.4%	45.4%	3.0%	0.2%
14後	52.4%	44.1%	2.6%	0.9%
15前	47.1%	48.7%	3.1%	1.1%
16後	54.9%	41.4%	3.4%	0.2%
17前	53.9%	42.0%	3.9%	0.2%



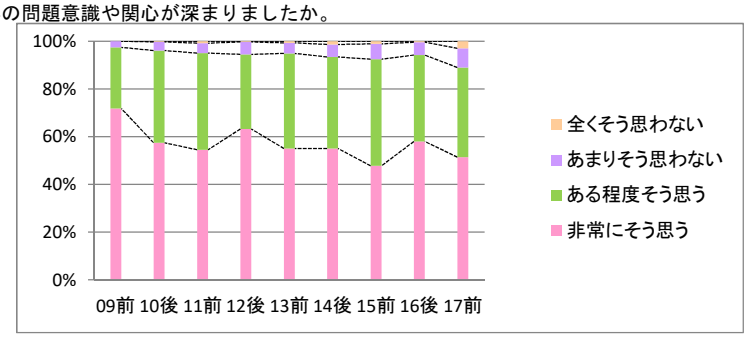
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	31.6%	55.3%	10.5%	2.6%
10後	50.5%	41.5%	8.0%	0.0%
11前	43.0%	50.9%	5.7%	0.4%
12後	54.7%	38.7%	6.2%	0.5%
13前	42.6%	52.8%	3.9%	0.7%
14後	50.4%	43.7%	5.0%	0.9%
15前	43.4%	49.9%	5.8%	0.9%
16後	52.4%	42.7%	3.6%	1.3%
17前	50.6%	43.9%	4.8%	0.7%



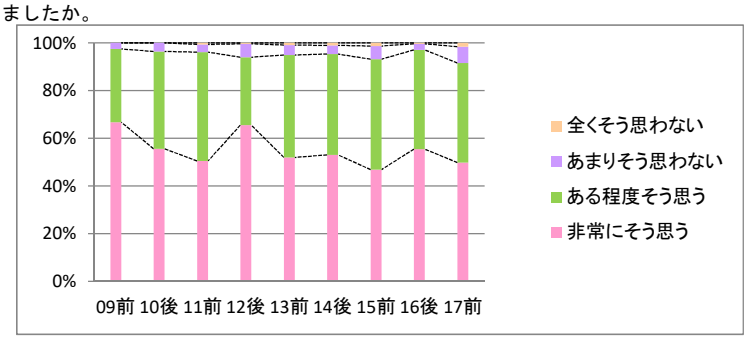
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	71.8%	25.6%	2.6%	0.0%
10後	57.5%	38.6%	3.7%	0.2%
11前	54.5%	40.5%	4.2%	0.8%
12後	63.2%	31.4%	5.2%	0.2%
13前	55.1%	39.8%	4.4%	0.7%
14後	55.0%	38.5%	5.2%	1.3%
15前	47.8%	44.7%	6.4%	1.1%
16後	58.0%	36.2%	5.4%	0.4%
17前	51.4%	37.6%	8.0%	3.0%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

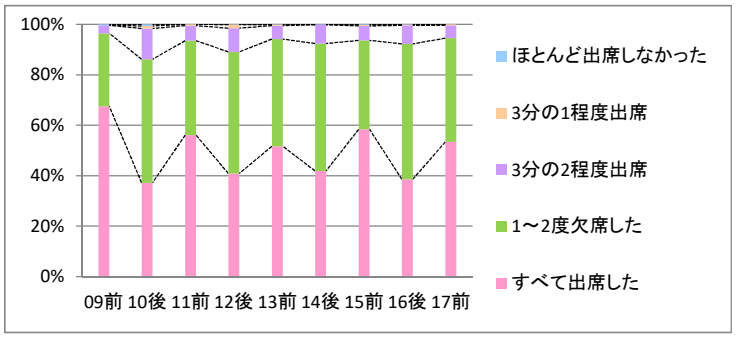
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	66.7%	30.8%	2.6%	0.0%
10後	55.5%	40.9%	3.6%	0.0%
11前	50.5%	45.5%	3.2%	0.8%
12後	65.5%	28.4%	5.7%	0.5%
13前	52.0%	43.0%	4.2%	0.9%
14後	52.9%	42.3%	3.7%	1.1%
15前	46.8%	46.3%	5.5%	1.3%
16後	55.4%	41.6%	2.6%	0.4%
17前	49.8%	41.7%	6.9%	1.6%



＜日本文学専攻＞

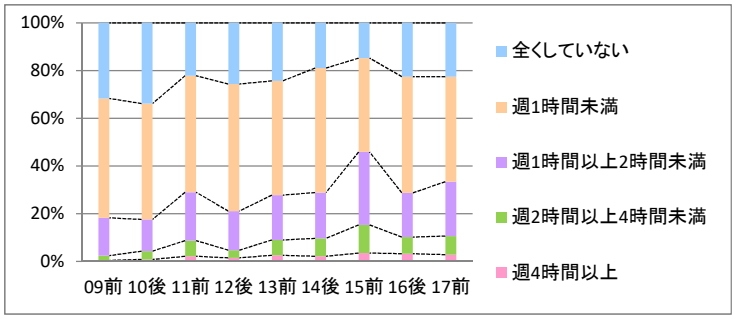
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	67.6%	29.0%	3.1%	0.0%	0.4%
10後	37.1%	49.1%	12.1%	1.0%	0.6%
11前	56.1%	37.4%	6.0%	0.5%	0.0%
12後	40.9%	48.2%	9.4%	1.4%	0.2%
13前	51.6%	42.7%	5.3%	0.4%	0.1%
14後	41.8%	50.5%	7.5%	0.0%	0.1%
15前	58.4%	35.3%	5.6%	0.5%	0.2%
16後	38.6%	53.8%	7.3%	0.3%	0.1%
17前	53.5%	41.1%	5.0%	0.4%	0.0%



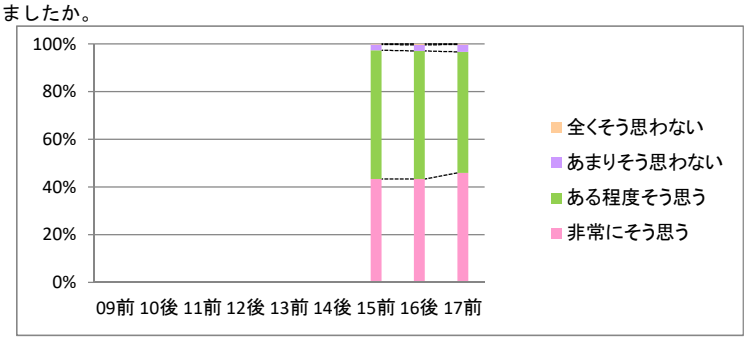
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.4%	1.9%	15.8%	50.2%	31.7%
10後	0.7%	3.5%	13.3%	48.6%	33.8%
11前	2.1%	6.5%	20.3%	48.8%	22.2%
12後	1.4%	3.2%	16.4%	53.3%	25.7%
13前	2.5%	6.4%	18.8%	47.9%	24.3%
14後	2.1%	7.5%	19.1%	52.2%	19.0%
15前	3.4%	11.9%	30.6%	39.3%	14.8%
16後	3.2%	7.0%	18.5%	48.7%	22.5%
17前	2.8%	7.8%	22.7%	44.1%	22.6%



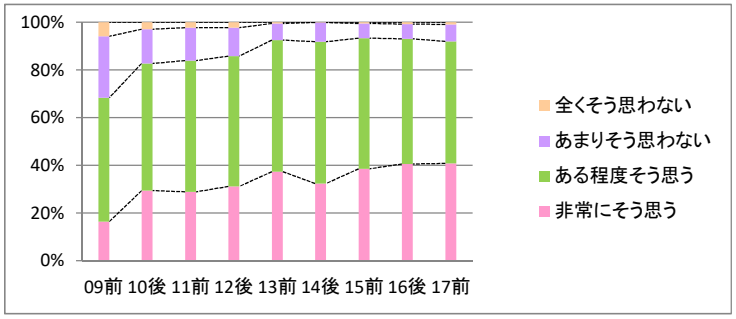
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	43.3%	54.0%	2.4%	0.2%
16後	43.5%	53.6%	2.5%	0.4%
17前	45.9%	50.8%	3.0%	0.3%



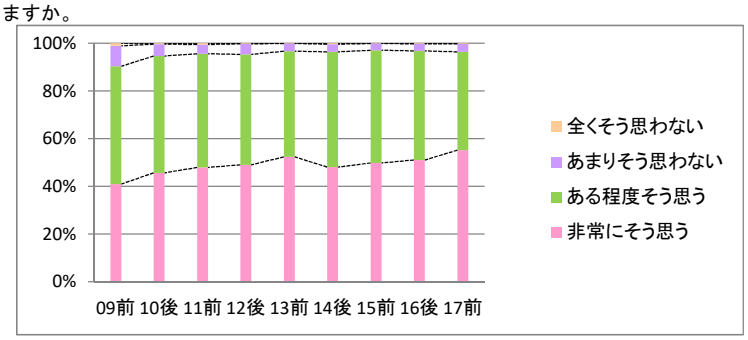
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	16.4%	52.0%	25.8%	5.9%
10後	29.3%	53.3%	14.4%	2.9%
11前	28.9%	55.0%	13.8%	2.3%
12後	31.2%	54.6%	12.0%	2.2%
13前	37.3%	55.2%	7.0%	0.6%
14後	32.3%	59.5%	8.1%	0.2%
15前	38.6%	54.7%	6.3%	0.5%
16後	40.5%	52.5%	6.2%	0.8%
17前	40.8%	51.1%	7.2%	0.9%



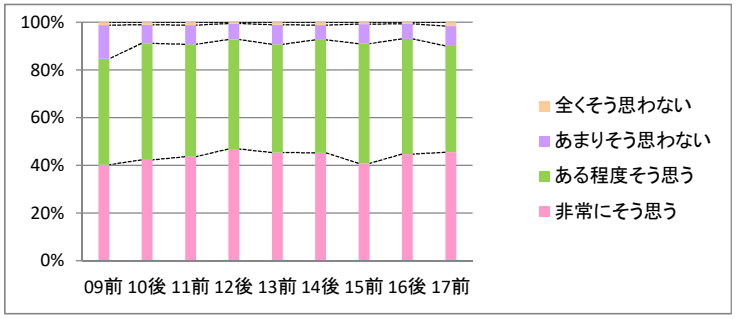
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	40.9%	49.4%	8.6%	1.2%
10後	45.6%	48.9%	4.9%	0.5%
11前	47.8%	47.7%	3.9%	0.6%
12後	49.0%	46.3%	4.4%	0.3%
13前	52.4%	44.2%	3.2%	0.2%
14後	48.0%	48.3%	3.2%	0.4%
15前	49.8%	47.2%	2.8%	0.2%
16後	51.0%	45.8%	2.9%	0.3%
17前	55.1%	41.3%	3.2%	0.4%



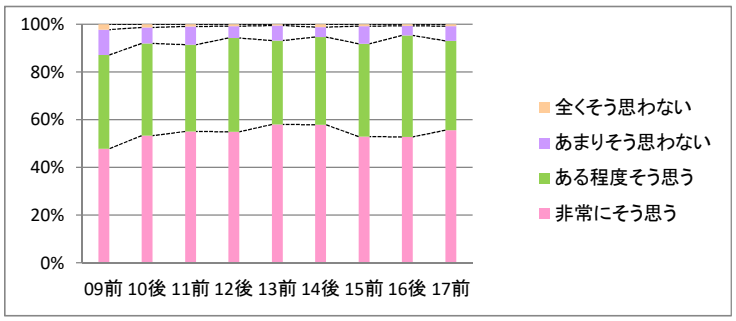
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	40.2%	44.5%	14.1%	1.2%
10後	42.3%	48.9%	7.8%	1.0%
11前	43.6%	47.2%	8.1%	1.1%
12後	46.9%	46.0%	6.6%	0.5%
13前	45.4%	45.4%	8.2%	1.1%
14後	45.3%	47.3%	6.2%	1.2%
15前	40.9%	50.2%	8.2%	0.7%
16後	44.7%	48.3%	6.3%	0.7%
17前	45.5%	44.5%	8.4%	1.5%



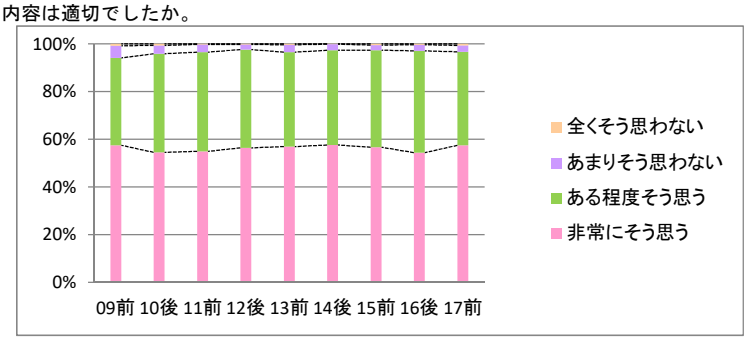
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.8%	39.2%	10.6%	2.4%
10後	53.3%	38.6%	6.7%	1.4%
11前	55.0%	36.5%	7.6%	1.0%
12後	55.0%	39.3%	4.9%	0.9%
13前	58.0%	35.0%	6.4%	0.5%
14後	57.9%	36.8%	4.1%	1.2%
15前	52.9%	38.9%	7.3%	0.8%
16後	52.7%	42.7%	4.0%	0.6%
17前	55.5%	37.5%	6.1%	0.8%



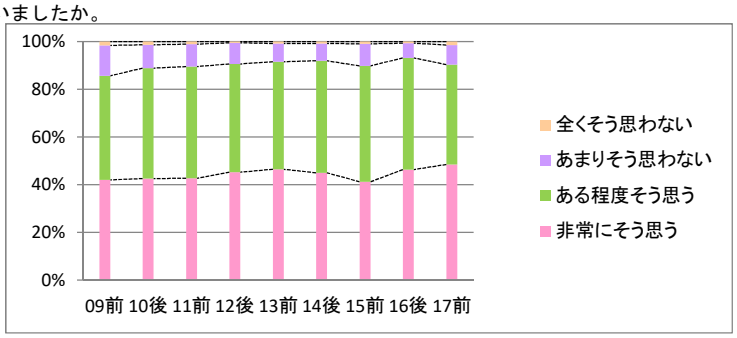
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	57.5%	36.6%	5.1%	0.8%
10後	54.5%	41.3%	3.5%	0.6%
11前	54.9%	41.6%	3.3%	0.2%
12後	56.4%	41.2%	2.2%	0.2%
13前	57.0%	39.5%	3.1%	0.3%
14後	57.7%	39.7%	2.5%	0.1%
15前	56.8%	40.6%	2.2%	0.4%
16後	54.5%	42.6%	2.5%	0.4%
17前	57.5%	39.2%	2.7%	0.6%



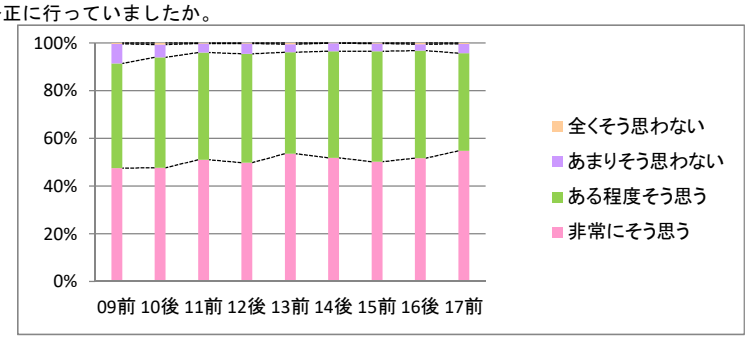
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	42.0%	43.6%	12.8%	1.6%
10後	42.5%	46.4%	9.8%	1.3%
11前	42.7%	46.9%	9.4%	1.0%
12後	45.3%	45.4%	8.8%	0.5%
13前	46.4%	45.1%	7.7%	0.8%
14後	45.0%	47.0%	7.2%	0.8%
15前	41.2%	48.7%	9.1%	1.0%
16後	46.4%	46.8%	6.1%	0.7%
17前	48.5%	41.9%	8.1%	1.5%



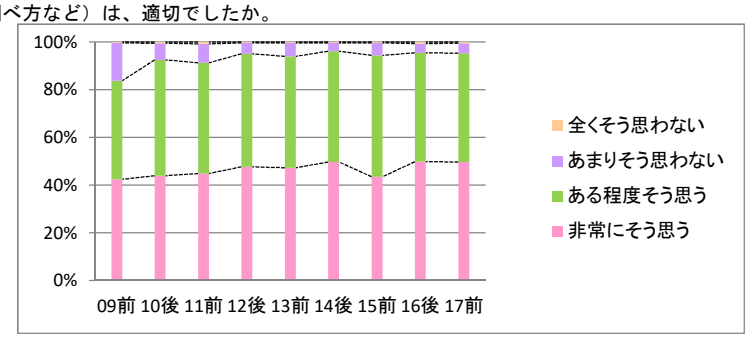
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.5%	43.9%	8.2%	0.4%
10後	47.6%	46.3%	5.4%	0.7%
11前	51.0%	45.0%	3.8%	0.2%
12後	49.7%	45.7%	4.2%	0.3%
13前	53.6%	42.5%	3.4%	0.5%
14後	51.8%	44.8%	3.3%	0.2%
15前	50.1%	46.4%	3.2%	0.2%
16後	51.7%	45.0%	2.8%	0.6%
17前	54.7%	40.9%	3.9%	0.5%



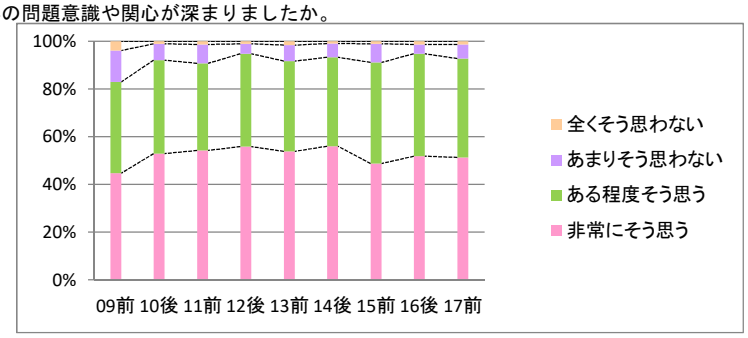
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	42.5%	41.3%	15.7%	0.4%
10後	43.9%	48.7%	7.0%	0.4%
11前	44.9%	46.4%	8.0%	0.7%
12後	47.6%	47.5%	4.6%	0.3%
13前	47.3%	46.7%	5.7%	0.4%
14後	49.7%	46.4%	3.5%	0.4%
15前	43.6%	50.9%	5.1%	0.4%
16後	49.8%	45.6%	3.9%	0.6%
17前	49.6%	45.7%	4.1%	0.5%



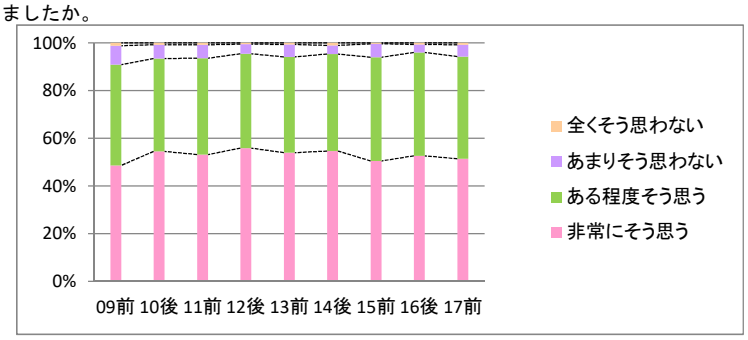
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	44.7%	38.3%	13.0%	4.0%
10後	52.9%	39.1%	6.9%	1.0%
11前	54.2%	36.6%	7.8%	1.4%
12後	55.8%	39.0%	4.2%	1.1%
13前	53.8%	38.0%	6.6%	1.7%
14後	55.9%	37.3%	5.9%	0.9%
15前	48.8%	42.4%	7.7%	1.1%
16後	51.8%	43.0%	3.9%	1.3%
17前	51.3%	41.4%	6.0%	1.3%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

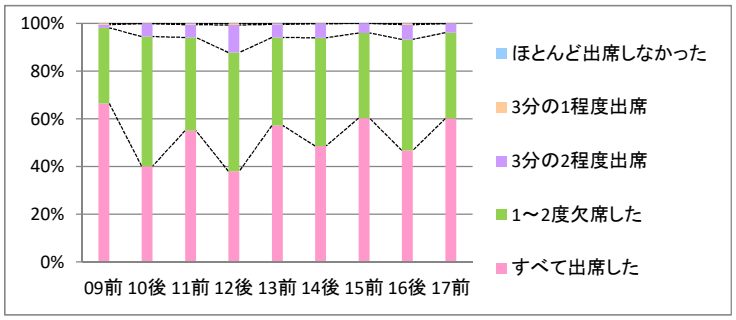
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	48.6%	42.2%	8.0%	1.2%
10後	54.5%	38.8%	5.8%	0.9%
11前	53.1%	40.4%	5.7%	0.8%
12後	55.8%	39.6%	4.0%	0.5%
13前	53.9%	40.2%	5.2%	0.7%
14後	54.6%	40.7%	3.6%	1.1%
15前	50.5%	43.5%	5.6%	0.4%
16後	52.6%	43.3%	3.4%	0.7%
17前	51.4%	42.9%	4.8%	0.9%



＜英語文学文化専攻＞

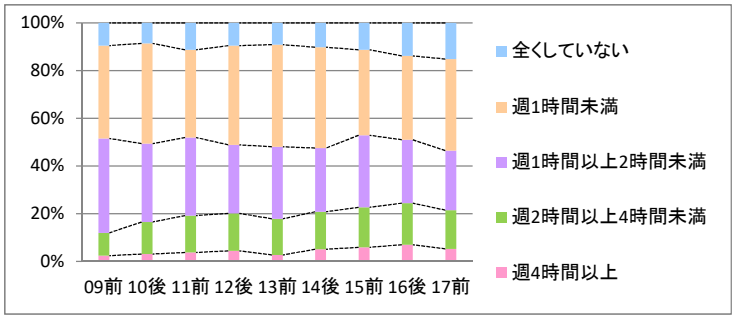
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	66.5%	31.6%	1.4%	0.5%	0.0%
10後	40.2%	54.3%	5.3%	0.1%	0.0%
11前	55.0%	39.0%	5.4%	0.4%	0.1%
12後	38.0%	49.8%	11.6%	0.6%	0.0%
13前	57.2%	36.9%	5.5%	0.2%	0.2%
14後	48.5%	45.4%	6.0%	0.1%	0.0%
15前	60.2%	35.8%	4.0%	0.0%	0.0%
16後	46.8%	46.5%	6.2%	0.5%	0.0%
17前	60.2%	35.9%	3.8%	0.2%	0.0%



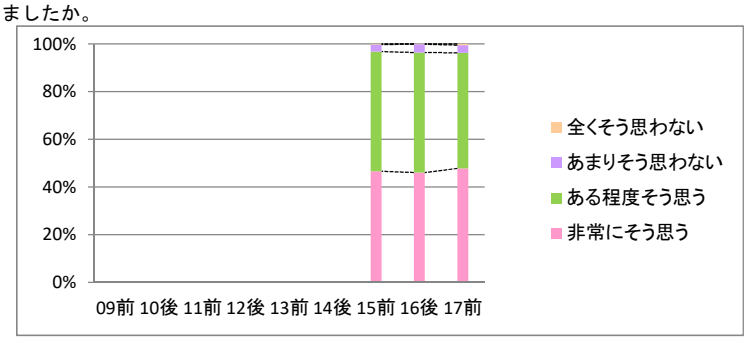
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	2.4%	9.5%	39.5%	39.0%	9.5%
10後	3.0%	13.5%	32.9%	42.1%	8.6%
11前	3.7%	15.4%	32.9%	36.8%	11.3%
12後	4.4%	15.7%	28.7%	41.7%	9.6%
13前	2.6%	15.3%	30.1%	42.8%	9.2%
14後	5.1%	15.6%	26.8%	42.3%	10.2%
15前	5.8%	16.8%	30.2%	35.8%	11.4%
16後	6.9%	17.4%	26.6%	35.2%	13.9%
17前	5.2%	16.3%	25.0%	38.4%	15.2%



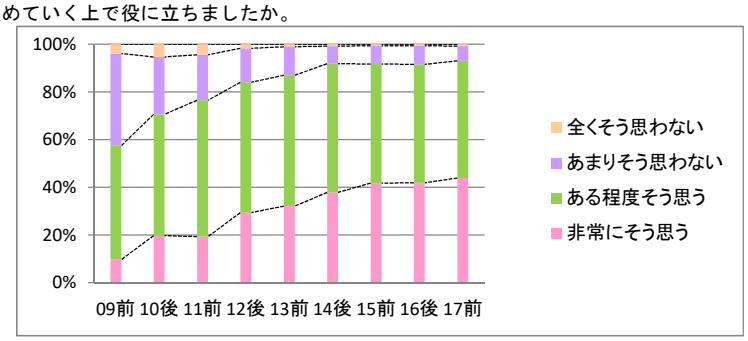
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	46.7%	50.1%	3.0%	0.2%
16後	46.1%	50.4%	3.4%	0.2%
17前	47.8%	48.5%	3.1%	0.6%



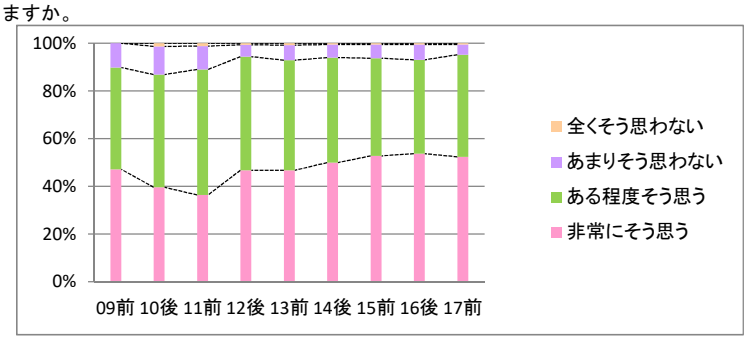
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	9.7%	47.8%	38.6%	3.9%
10後	19.7%	50.9%	24.1%	5.3%
11前	19.2%	57.3%	19.0%	4.5%
12後	29.3%	54.6%	14.2%	1.8%
13前	32.0%	54.9%	11.9%	1.1%
14後	37.9%	53.9%	7.4%	0.8%
15前	41.8%	49.8%	7.8%	0.6%
16後	41.8%	49.7%	7.8%	0.6%
17前	43.8%	49.2%	6.1%	0.8%



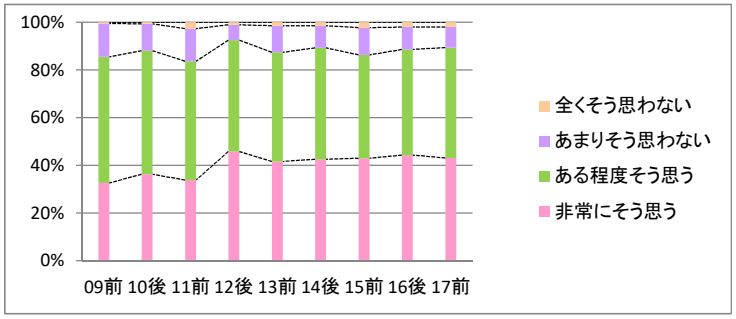
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.1%	42.7%	10.2%	0.0%
10後	39.6%	47.2%	11.8%	1.4%
11前	36.3%	52.7%	9.7%	1.3%
12後	46.6%	47.7%	4.9%	0.8%
13前	46.6%	46.3%	6.3%	0.9%
14後	49.9%	44.0%	5.5%	0.6%
15前	52.7%	40.9%	5.9%	0.6%
16後	53.6%	39.4%	6.4%	0.6%
17前	52.3%	42.7%	4.3%	0.6%



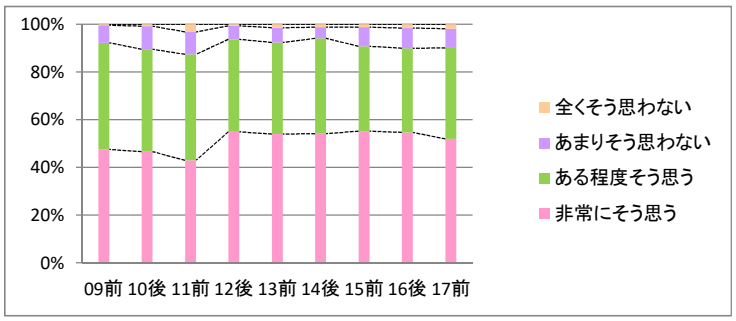
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	32.7%	52.9%	13.9%	0.5%
10後	36.2%	51.8%	11.3%	0.7%
11前	33.8%	49.9%	13.6%	2.7%
12後	45.8%	46.7%	6.5%	1.0%
13前	41.7%	45.7%	11.2%	1.5%
14後	42.5%	46.8%	9.3%	1.4%
15前	42.9%	43.4%	11.4%	2.2%
16後	44.3%	44.3%	9.5%	2.0%
17前	43.1%	46.3%	8.6%	2.0%



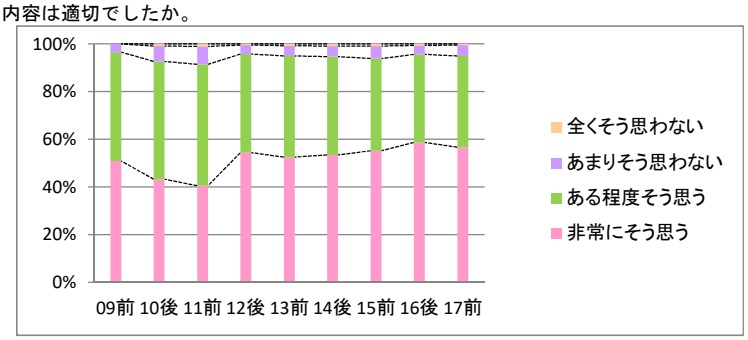
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.6%	44.7%	7.3%	0.5%
10後	46.6%	43.0%	9.6%	0.8%
11前	43.0%	44.5%	9.4%	3.2%
12後	54.9%	38.8%	5.5%	0.8%
13前	53.9%	38.5%	6.1%	1.5%
14後	54.1%	40.0%	4.8%	1.2%
15前	55.1%	35.5%	8.1%	1.3%
16後	54.7%	35.3%	8.5%	1.6%
17前	52.0%	38.2%	8.0%	1.9%



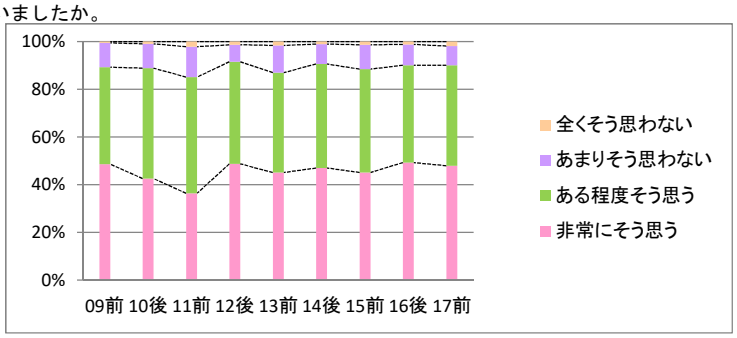
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	51.0%	45.6%	3.4%	0.0%
10後	43.3%	49.4%	6.5%	0.8%
11前	40.6%	50.8%	7.6%	1.0%
12後	54.5%	41.4%	3.6%	0.5%
13前	52.6%	42.4%	4.3%	0.7%
14後	53.4%	41.2%	4.4%	0.9%
15前	55.3%	38.6%	5.2%	0.9%
16後	58.7%	36.9%	3.7%	0.6%
17前	56.7%	38.3%	4.6%	0.4%



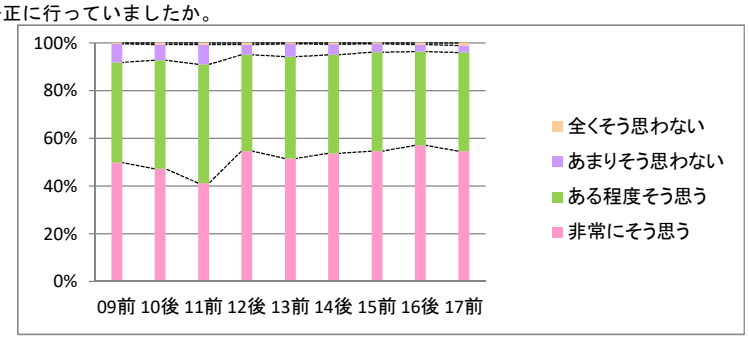
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	48.5%	40.8%	10.2%	0.5%
10後	42.6%	46.3%	10.1%	1.0%
11前	36.4%	48.7%	12.8%	2.1%
12後	48.7%	42.9%	7.0%	1.4%
13前	45.1%	41.8%	11.5%	1.5%
14後	47.0%	43.7%	8.2%	1.1%
15前	45.2%	43.3%	10.3%	1.3%
16後	49.2%	40.8%	8.7%	1.3%
17前	47.9%	42.2%	8.0%	1.9%



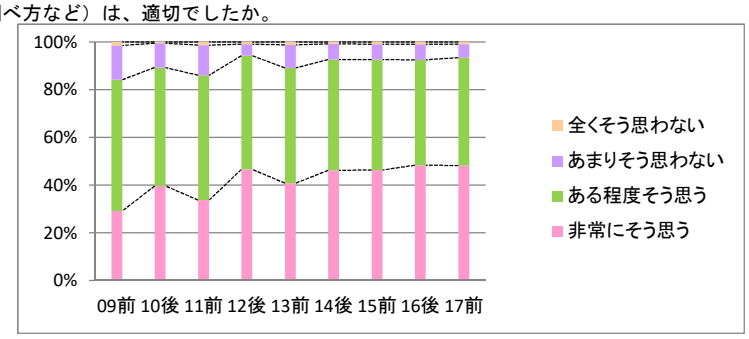
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	49.8%	42.0%	7.7%	0.5%
10後	47.2%	45.5%	6.6%	0.7%
11前	41.2%	49.8%	8.3%	0.7%
12後	54.6%	40.5%	4.2%	0.8%
13前	51.6%	42.6%	5.4%	0.4%
14後	53.7%	41.3%	4.4%	0.6%
15前	54.6%	41.5%	3.4%	0.5%
16後	57.0%	39.3%	3.0%	0.7%
17前	54.6%	41.4%	3.0%	1.1%



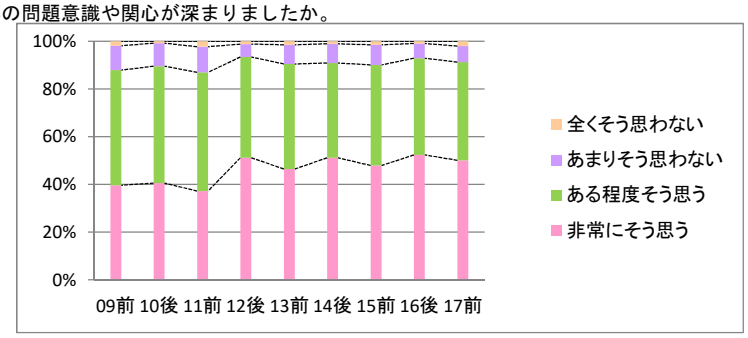
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	29.2%	55.0%	14.4%	1.5%
10後	39.7%	49.6%	10.3%	0.4%
11前	33.7%	52.4%	12.6%	1.2%
12後	46.6%	47.6%	4.9%	0.8%
13前	40.9%	48.3%	9.7%	1.1%
14後	46.2%	46.4%	6.6%	0.8%
15前	46.3%	46.3%	6.4%	0.9%
16後	48.3%	44.3%	6.5%	0.9%
17前	48.2%	45.3%	5.6%	0.9%



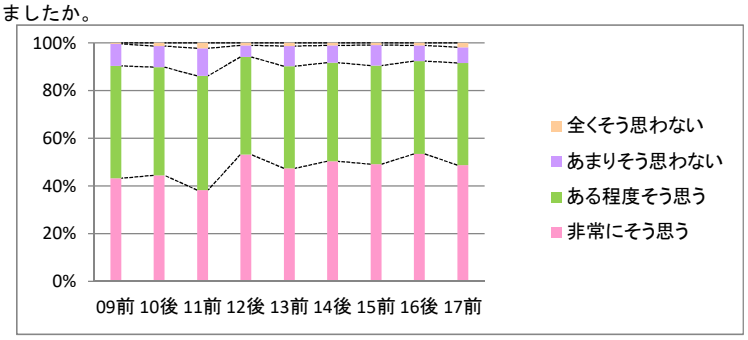
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	39.6%	48.3%	10.1%	1.9%
10後	40.5%	49.1%	9.6%	0.8%
11前	37.1%	49.9%	10.7%	2.3%
12後	51.1%	42.3%	5.4%	1.2%
13前	46.5%	44.0%	8.1%	1.4%
14後	51.1%	39.7%	8.1%	1.0%
15前	47.9%	42.2%	8.4%	1.5%
16後	52.4%	40.5%	6.2%	0.9%
17前	50.1%	41.2%	6.6%	2.0%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

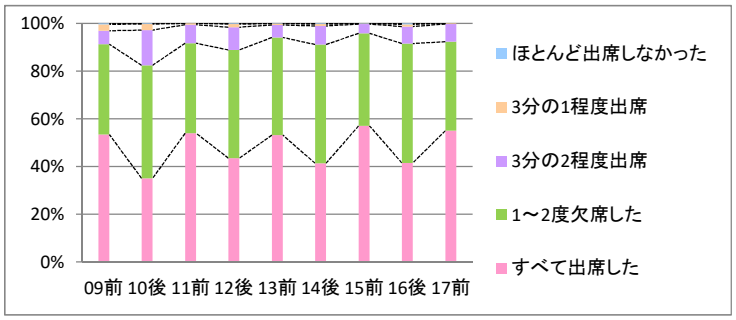
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	43.2%	47.1%	9.2%	0.5%
10後	44.4%	45.4%	8.8%	1.4%
11前	38.2%	48.0%	11.5%	2.3%
12後	53.1%	41.0%	4.8%	1.1%
13前	47.4%	42.7%	8.5%	1.4%
14後	50.3%	41.4%	7.1%	1.2%
15前	49.1%	41.3%	8.6%	1.0%
16後	53.3%	39.0%	6.5%	1.2%
17前	48.6%	42.9%	6.5%	1.9%



＜史学専攻＞

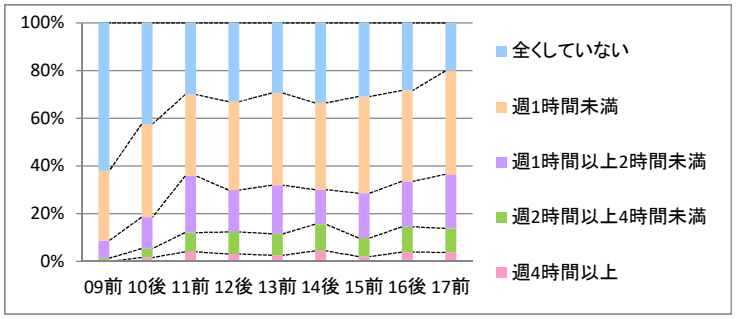
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	53.5%	37.8%	5.7%	2.6%	0.4%
10後	35.0%	47.4%	14.8%	2.4%	0.3%
11前	53.9%	37.8%	7.7%	0.6%	0.0%
12後	43.5%	45.3%	9.5%	1.3%	0.3%
13前	53.2%	40.9%	5.3%	0.5%	0.1%
14後	41.4%	49.8%	7.7%	0.9%	0.2%
15前	57.0%	38.8%	3.9%	0.2%	0.2%
16後	41.5%	50.1%	7.0%	1.0%	0.4%
17前	55.1%	37.3%	7.3%	0.3%	0.0%



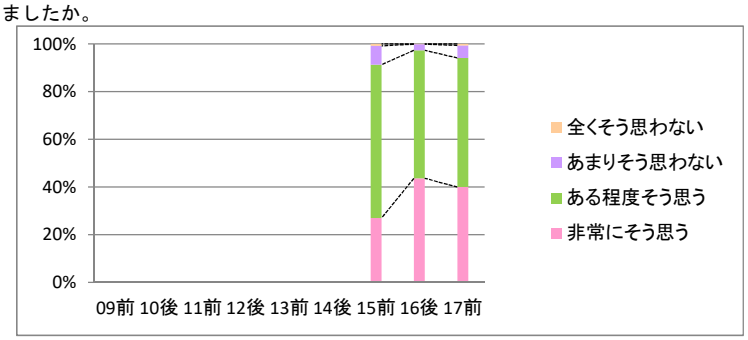
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.0%	1.3%	7.4%	29.3%	62.0%
10後	1.5%	3.8%	13.2%	39.1%	42.4%
11前	4.0%	8.0%	23.7%	34.1%	30.1%
12後	3.0%	9.4%	17.6%	37.0%	33.1%
13前	2.5%	9.0%	20.3%	38.7%	29.4%
14後	4.4%	11.2%	14.5%	36.4%	33.6%
15前	1.9%	7.7%	18.9%	40.5%	31.0%
16後	3.8%	10.7%	19.0%	38.1%	28.4%
17前	3.7%	10.2%	22.7%	43.3%	20.2%



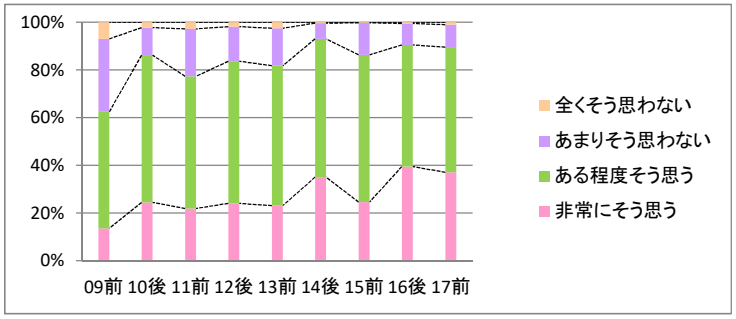
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	27.0%	64.3%	7.9%	0.8%
16後	43.7%	53.6%	2.5%	0.1%
17前	40.1%	54.1%	5.2%	0.7%



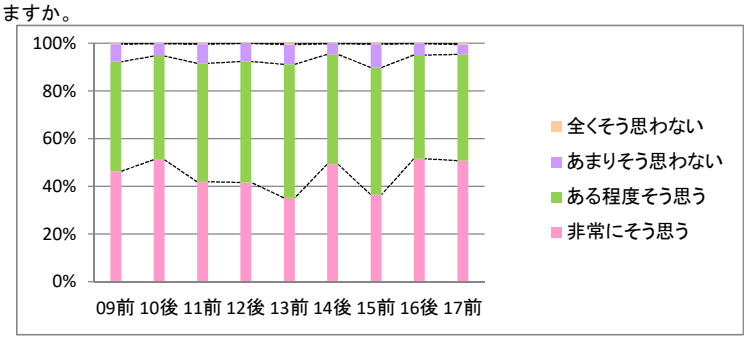
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	13.5%	48.9%	30.6%	7.0%
10後	24.4%	61.7%	11.6%	2.3%
11前	21.8%	55.5%	19.8%	2.9%
12後	24.0%	59.6%	14.5%	1.9%
13前	23.1%	58.7%	15.6%	2.6%
14後	35.0%	58.0%	6.5%	0.4%
15前	24.6%	61.8%	13.3%	0.3%
16後	39.5%	51.0%	9.0%	0.6%
17前	37.0%	52.5%	9.4%	1.1%



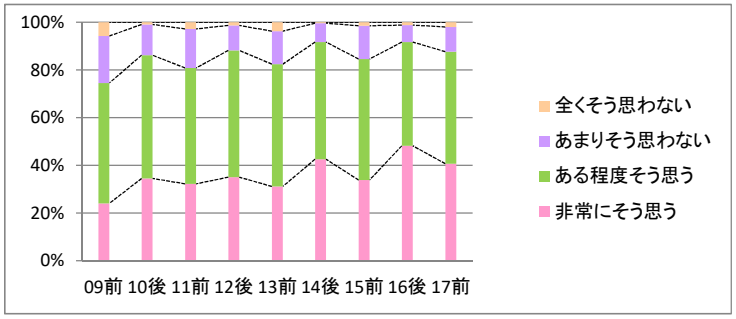
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	46.3%	45.9%	7.4%	0.4%
10後	51.1%	43.5%	5.1%	0.3%
11前	41.9%	49.6%	8.0%	0.4%
12後	41.5%	50.7%	7.5%	0.2%
13前	35.1%	56.0%	8.3%	0.6%
14後	49.2%	46.0%	4.5%	0.3%
15前	36.5%	53.2%	9.8%	0.5%
16後	51.5%	43.4%	4.8%	0.3%
17前	50.7%	44.5%	4.2%	0.6%



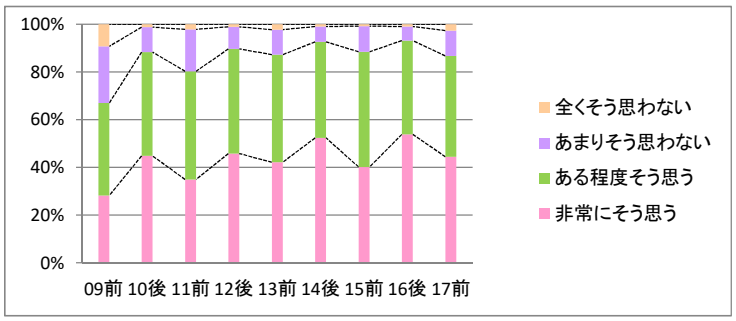
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	24.1%	50.4%	19.6%	5.8%
10後	34.6%	51.7%	12.8%	0.9%
11前	32.3%	48.5%	16.5%	2.7%
12後	35.1%	53.1%	10.4%	1.4%
13前	31.1%	51.4%	13.7%	3.8%
14後	42.6%	49.1%	8.0%	0.3%
15前	33.9%	50.7%	14.0%	1.4%
16後	48.2%	43.6%	7.1%	1.1%
17前	40.7%	47.0%	10.4%	2.0%



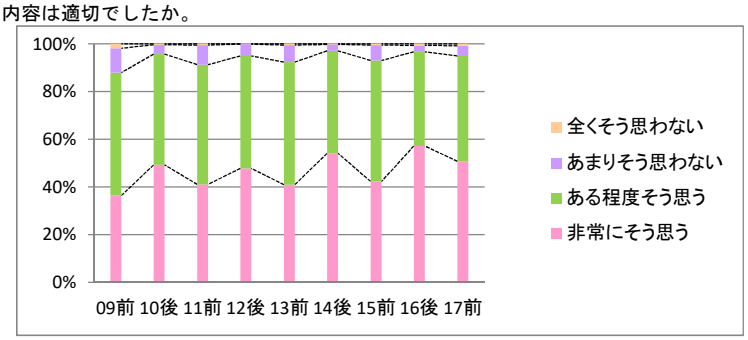
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	28.2%	38.8%	23.8%	9.3%
10後	44.9%	43.5%	10.4%	1.2%
11前	34.9%	45.4%	17.6%	2.1%
12後	45.8%	43.9%	9.2%	1.1%
13前	42.1%	45.2%	10.5%	2.3%
14後	52.3%	40.3%	6.5%	1.0%
15前	40.1%	48.3%	10.8%	0.8%
16後	53.8%	39.4%	5.9%	1.0%
17前	44.4%	42.3%	10.5%	2.7%



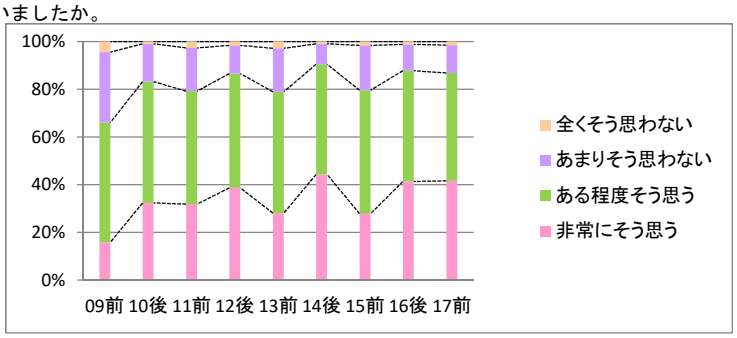
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	36.4%	51.6%	10.2%	1.8%
10後	49.3%	46.4%	4.0%	0.3%
11前	41.2%	50.2%	8.2%	0.4%
12後	47.9%	47.1%	4.9%	0.1%
13前	41.1%	51.4%	7.0%	0.5%
14後	54.1%	43.1%	2.6%	0.2%
15前	42.4%	50.7%	6.4%	0.5%
16後	57.3%	39.4%	2.8%	0.6%
17前	50.8%	44.2%	4.2%	0.8%



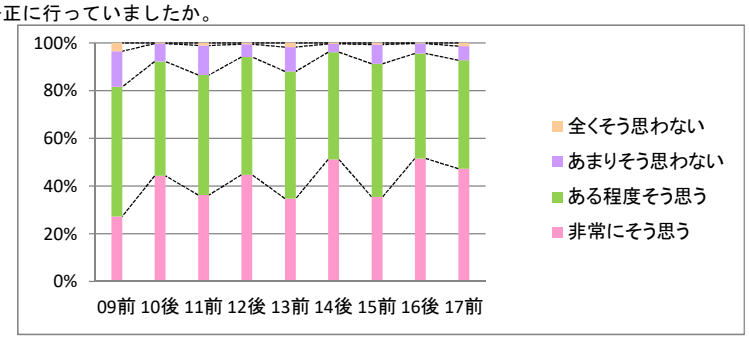
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	15.9%	50.2%	29.5%	4.4%
10後	32.4%	50.9%	15.8%	0.9%
11前	31.8%	47.3%	18.2%	2.6%
12後	38.7%	47.8%	11.9%	1.6%
13前	28.1%	50.9%	18.2%	2.8%
14後	44.3%	46.2%	8.5%	1.0%
15前	27.8%	51.8%	18.8%	1.6%
16後	41.3%	46.5%	10.9%	1.3%
17前	41.6%	45.3%	11.7%	1.4%



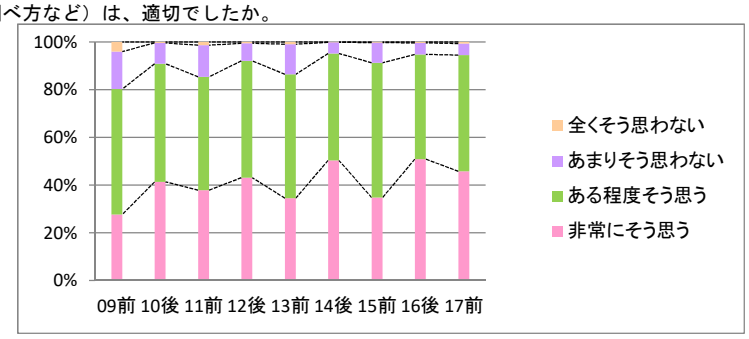
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	27.2%	54.4%	14.9%	3.5%
10後	44.3%	47.9%	7.5%	0.3%
11前	36.2%	50.3%	12.4%	1.1%
12後	44.7%	49.4%	5.4%	0.5%
13前	34.7%	53.3%	10.2%	1.7%
14後	51.1%	45.0%	3.5%	0.4%
15前	35.4%	55.9%	8.1%	0.6%
16後	51.5%	44.0%	4.2%	0.3%
17前	47.2%	45.6%	5.8%	1.4%



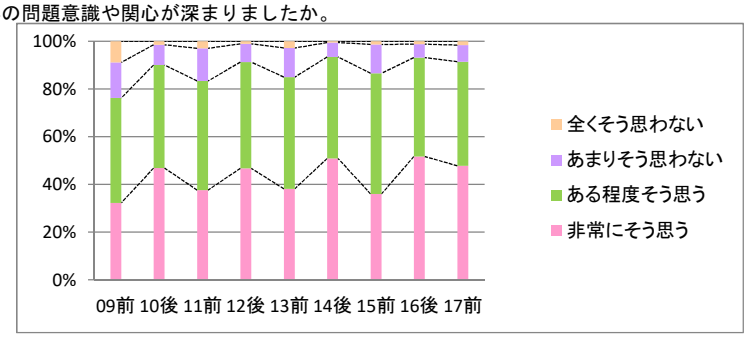
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	27.7%	52.7%	15.6%	4.0%
10後	41.4%	49.5%	8.7%	0.3%
11前	37.8%	47.6%	13.2%	1.3%
12後	43.2%	49.0%	7.3%	0.5%
13前	34.5%	52.0%	12.6%	0.9%
14後	50.4%	44.8%	4.7%	0.1%
15前	34.8%	56.5%	8.5%	0.2%
16後	50.9%	43.9%	4.8%	0.4%
17前	45.8%	48.7%	4.8%	0.7%



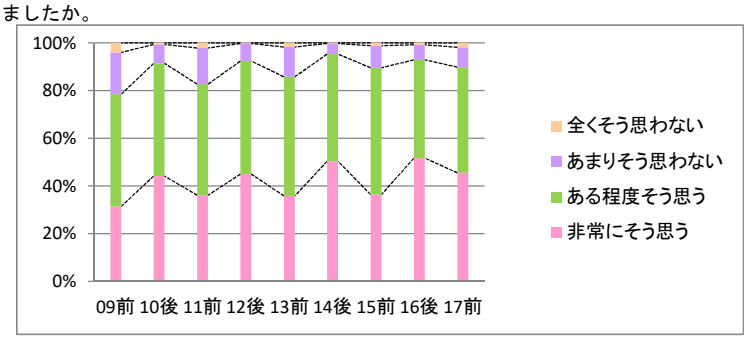
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	32.2%	44.1%	15.0%	8.8%
10後	46.8%	43.3%	8.4%	1.5%
11前	37.5%	45.9%	13.7%	2.9%
12後	46.7%	44.6%	7.6%	1.1%
13前	38.2%	46.9%	12.1%	2.9%
14後	50.9%	42.6%	6.0%	0.5%
15前	35.9%	50.7%	12.1%	1.3%
16後	51.6%	41.5%	5.6%	1.3%
17前	47.8%	43.6%	7.0%	1.6%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

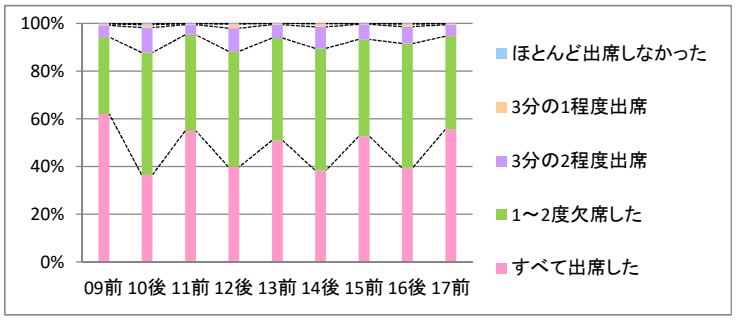
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	31.4%	47.1%	17.5%	4.0%
10後	44.1%	47.3%	7.8%	0.8%
11前	36.0%	46.7%	15.1%	2.2%
12後	45.0%	47.4%	7.3%	0.3%
13前	35.8%	49.8%	12.5%	1.8%
14後	50.3%	45.0%	4.4%	0.3%
15前	36.3%	53.2%	9.2%	1.3%
16後	51.6%	41.3%	6.3%	0.8%
17前	45.5%	44.3%	8.3%	1.9%



＜国際関係専攻＞

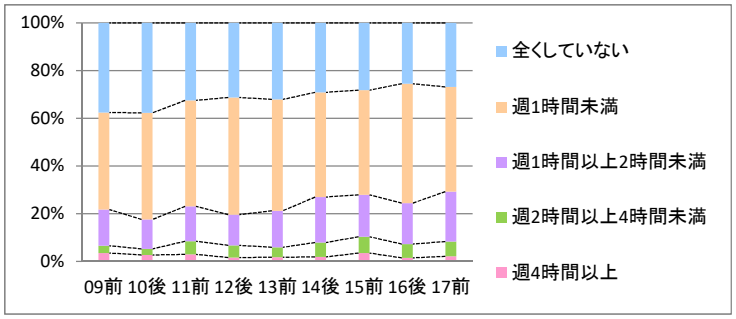
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	62.1%	32.2%	4.9%	0.6%	0.2%
10後	36.6%	51.2%	10.5%	1.3%	0.5%
11前	54.9%	40.3%	4.2%	0.5%	0.1%
12後	39.9%	48.4%	9.7%	1.8%	0.2%
13前	50.9%	42.9%	5.7%	0.4%	0.1%
14後	38.4%	51.1%	9.1%	1.3%	0.1%
15前	52.7%	40.7%	6.2%	0.4%	0.1%
16後	39.5%	52.1%	7.1%	1.0%	0.3%
17前	55.6%	39.0%	4.8%	0.5%	0.1%



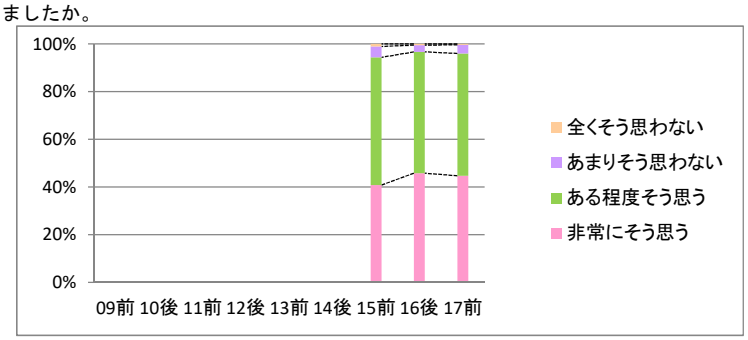
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	3.4%	3.2%	15.1%	40.8%	37.6%
10後	2.7%	2.5%	12.3%	44.8%	37.7%
11前	2.9%	5.5%	14.7%	44.4%	32.5%
12後	1.5%	5.1%	12.9%	49.2%	31.3%
13前	1.7%	4.1%	15.3%	46.8%	32.1%
14後	1.8%	6.1%	19.0%	43.9%	29.2%
15前	3.5%	6.8%	17.5%	43.9%	28.2%
16後	1.4%	5.8%	17.2%	50.1%	25.6%
17前	2.1%	6.2%	21.0%	43.9%	26.9%



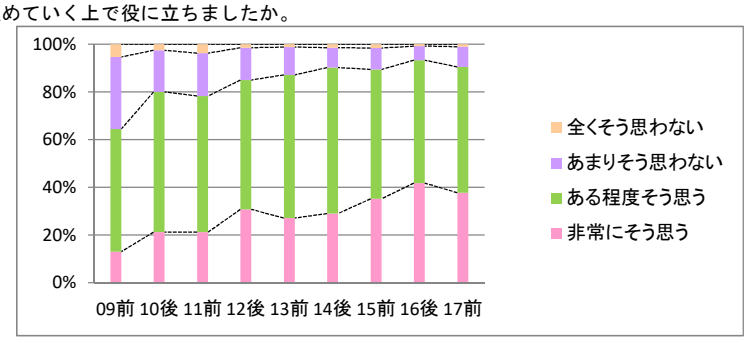
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	40.9%	53.5%	4.5%	1.1%
16後	45.8%	50.8%	2.9%	0.5%
17前	44.7%	51.3%	3.7%	0.3%



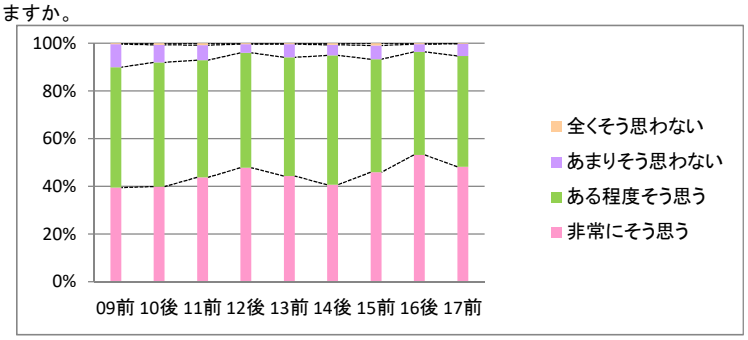
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	13.1%	51.4%	30.2%	5.4%
10後	21.2%	58.7%	17.5%	2.6%
11前	21.2%	57.1%	17.9%	3.8%
12後	30.7%	54.2%	13.6%	1.5%
13前	27.1%	60.1%	11.6%	1.2%
14後	29.0%	61.2%	8.3%	1.5%
15前	35.1%	54.2%	9.1%	1.6%
16後	41.7%	51.6%	5.8%	0.9%
17前	37.7%	52.7%	8.4%	1.1%



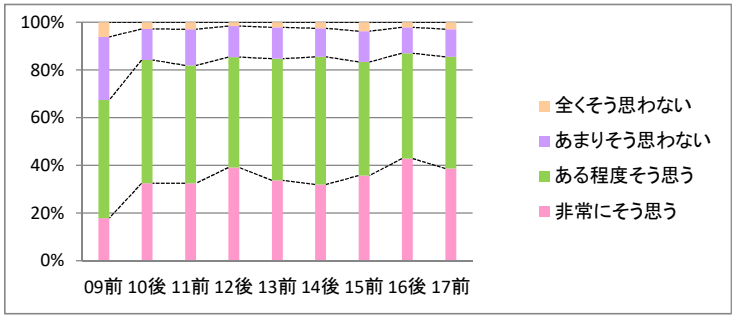
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	39.4%	50.5%	9.6%	0.4%
10後	39.8%	52.1%	7.4%	0.7%
11前	43.8%	49.0%	6.4%	0.9%
12後	47.7%	48.2%	3.7%	0.5%
13前	44.3%	49.7%	5.6%	0.4%
14後	40.6%	54.3%	4.4%	0.7%
15前	45.9%	47.4%	5.8%	1.0%
16後	53.1%	43.2%	3.3%	0.4%
17前	48.2%	46.4%	5.0%	0.4%



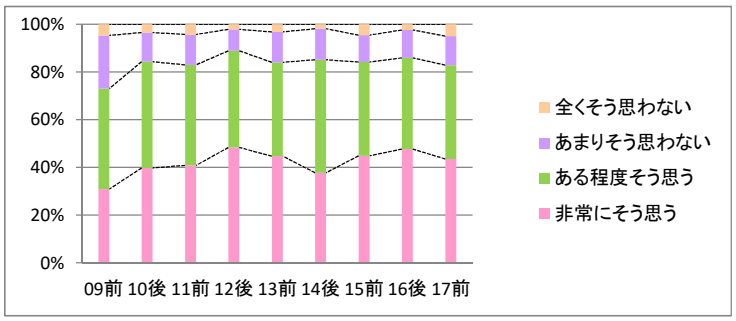
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	17.9%	49.6%	26.4%	6.2%
10後	32.4%	51.8%	13.0%	2.8%
11前	32.5%	49.4%	15.2%	2.9%
12後	39.1%	46.3%	13.0%	1.6%
13前	33.7%	51.0%	13.3%	2.1%
14後	31.9%	53.6%	12.0%	2.5%
15前	35.7%	47.6%	13.0%	3.7%
16後	42.8%	44.2%	10.9%	2.1%
17前	38.7%	46.9%	11.5%	2.9%



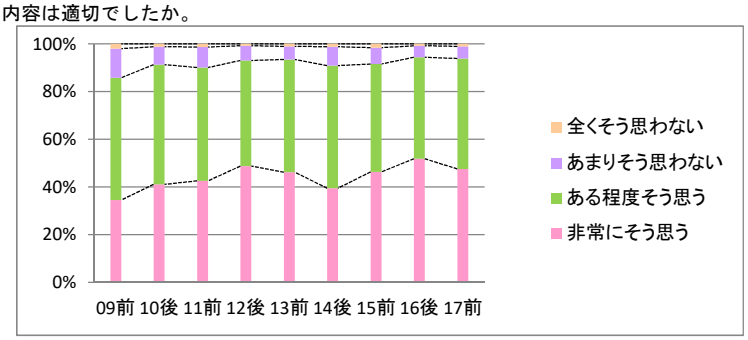
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	30.8%	42.2%	22.3%	4.7%
10後	39.7%	44.6%	12.1%	3.6%
11前	40.8%	42.2%	12.7%	4.3%
12後	48.3%	40.5%	9.0%	2.2%
13前	44.7%	39.3%	12.7%	3.2%
14後	37.7%	47.4%	13.0%	1.9%
15前	44.8%	39.4%	11.2%	4.6%
16後	47.7%	38.1%	11.8%	2.4%
17前	43.5%	39.2%	12.2%	5.0%



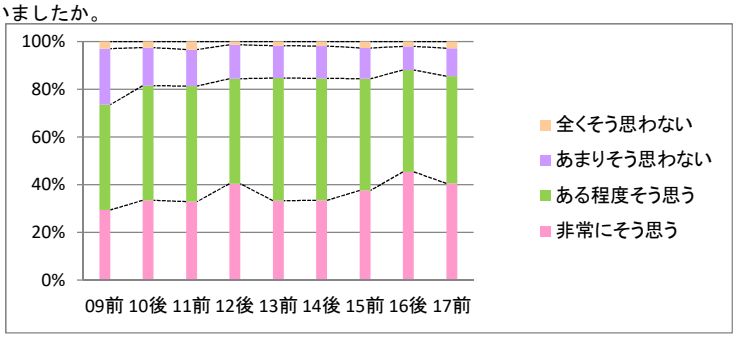
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	34.5%	51.3%	12.2%	1.9%
10後	41.1%	50.2%	7.4%	1.2%
11前	42.6%	47.4%	8.6%	1.3%
12後	48.8%	44.3%	6.1%	0.8%
13前	46.2%	47.4%	5.5%	1.0%
14後	39.6%	51.4%	7.9%	1.1%
15前	46.4%	45.2%	6.9%	1.6%
16後	51.9%	42.6%	4.8%	0.8%
17前	47.6%	46.3%	5.1%	1.0%



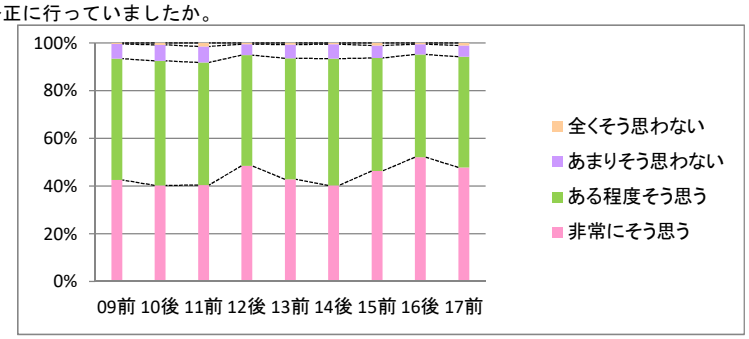
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	29.4%	44.2%	23.4%	3.0%
10後	33.4%	48.1%	16.0%	2.6%
11前	32.8%	48.5%	15.3%	3.3%
12後	40.4%	44.0%	14.3%	1.3%
13前	33.3%	51.4%	13.6%	1.7%
14後	33.4%	51.1%	13.6%	1.9%
15前	37.6%	46.8%	12.9%	2.7%
16後	45.4%	42.6%	9.9%	2.0%
17前	40.6%	45.0%	11.6%	2.8%



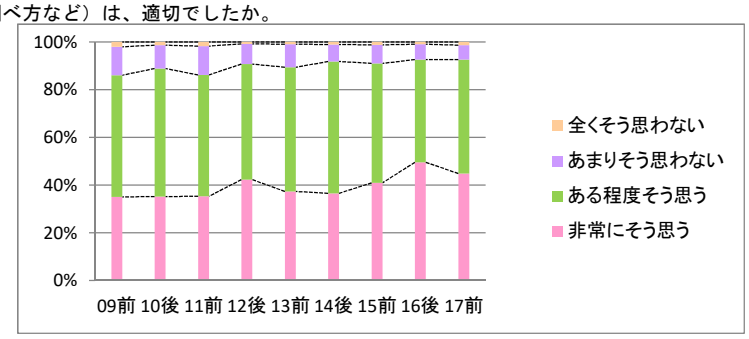
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	42.6%	50.9%	6.2%	0.4%
10後	40.3%	52.2%	6.7%	0.8%
11前	40.4%	51.4%	6.8%	1.5%
12後	48.4%	46.5%	4.5%	0.5%
13前	42.8%	50.8%	5.7%	0.8%
14後	40.2%	53.2%	6.0%	0.6%
15前	46.3%	47.4%	5.3%	1.1%
16後	52.1%	43.0%	4.2%	0.6%
17前	47.8%	46.3%	4.7%	1.1%



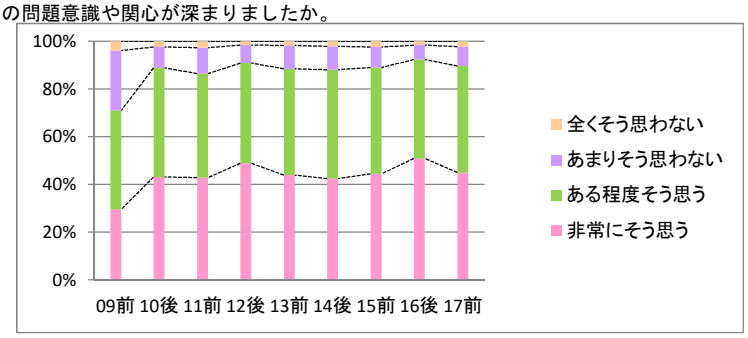
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	35.1%	51.0%	11.9%	2.0%
10後	35.2%	53.7%	9.8%	1.3%
11前	35.3%	50.8%	12.1%	1.7%
12後	42.4%	48.4%	8.4%	0.8%
13前	37.4%	52.0%	9.7%	0.9%
14後	36.5%	55.4%	7.1%	1.1%
15前	41.0%	50.0%	7.8%	1.2%
16後	49.5%	43.1%	6.5%	0.9%
17前	44.9%	47.7%	6.0%	1.3%



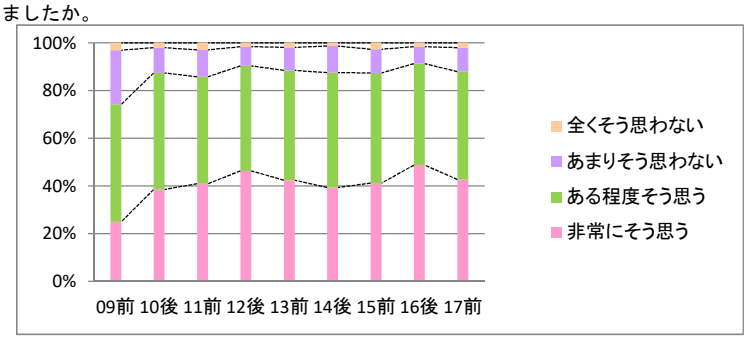
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	29.5%	41.5%	25.2%	3.8%
10後	43.1%	45.7%	8.7%	2.5%
11前	42.8%	43.6%	10.9%	2.7%
12後	48.8%	42.0%	7.6%	1.6%
13前	43.9%	44.6%	9.9%	1.7%
14後	42.3%	45.7%	9.8%	2.2%
15前	44.4%	44.6%	8.5%	2.4%
16後	50.8%	41.5%	6.1%	1.6%
17前	44.9%	44.7%	8.1%	2.3%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

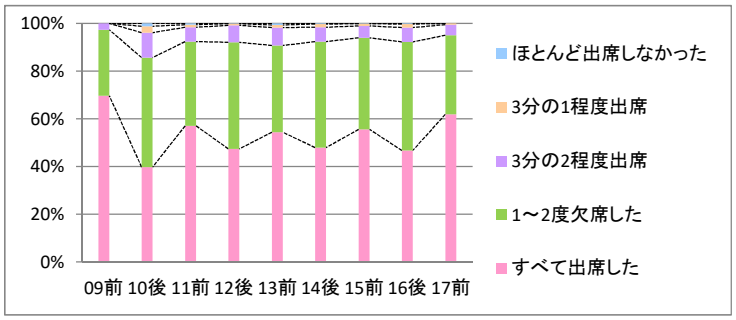
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	24.9%	49.4%	22.6%	3.2%
10後	38.5%	48.8%	10.7%	2.1%
11前	40.9%	44.8%	11.3%	2.9%
12後	46.2%	44.0%	8.0%	1.7%
13前	42.4%	46.1%	9.6%	1.9%
14後	39.3%	48.1%	11.2%	1.4%
15前	41.2%	46.1%	10.0%	2.7%
16後	48.7%	42.6%	7.1%	1.6%
17前	42.7%	45.2%	10.0%	2.1%



＜経済学専攻＞

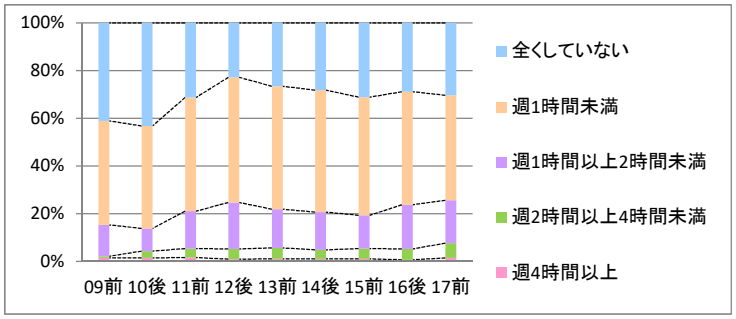
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	69.6%	27.6%	2.7%	0.0%	0.0%
10後	39.8%	45.9%	10.4%	2.7%	1.2%
11前	57.1%	35.2%	6.1%	1.0%	0.5%
12後	47.3%	44.7%	7.2%	0.6%	0.2%
13前	54.4%	36.3%	7.6%	1.0%	0.7%
14後	47.9%	44.4%	6.1%	1.3%	0.3%
15前	55.6%	38.3%	5.1%	0.8%	0.2%
16後	46.7%	45.4%	6.1%	1.4%	0.3%
17前	61.9%	33.1%	4.5%	0.5%	0.0%



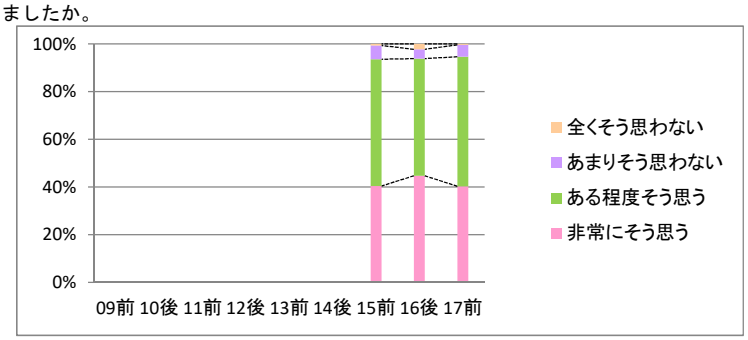
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	1.4%	0.7%	13.1%	43.6%	41.2%
10後	1.5%	2.8%	9.6%	43.0%	43.3%
11前	1.5%	3.8%	15.7%	47.6%	31.4%
12後	0.9%	4.2%	19.5%	52.5%	22.8%
13前	1.0%	4.6%	16.2%	51.6%	26.6%
14後	1.1%	3.7%	15.9%	51.1%	28.2%
15前	1.0%	4.3%	14.0%	49.5%	31.2%
16後	0.7%	4.6%	18.5%	47.4%	28.9%
17前	1.4%	6.2%	18.0%	43.9%	30.4%



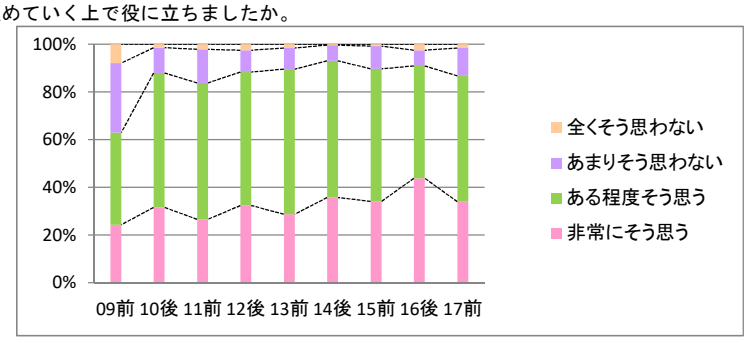
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	40.5%	53.0%	5.9%	0.6%
16後	44.7%	49.2%	3.9%	2.2%
17前	40.4%	54.3%	4.9%	0.4%



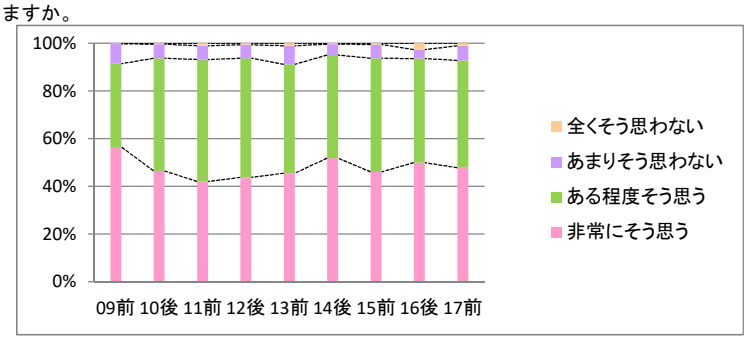
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	24.2%	38.8%	29.1%	8.0%
10後	31.5%	56.5%	10.6%	1.5%
11前	26.6%	57.2%	14.1%	2.2%
12後	32.4%	55.9%	9.2%	2.5%
13前	28.8%	60.8%	8.8%	1.6%
14後	35.7%	57.2%	6.6%	0.4%
15前	34.0%	55.6%	9.6%	0.8%
16後	43.7%	47.2%	6.5%	2.6%
17前	33.9%	52.8%	11.8%	1.6%



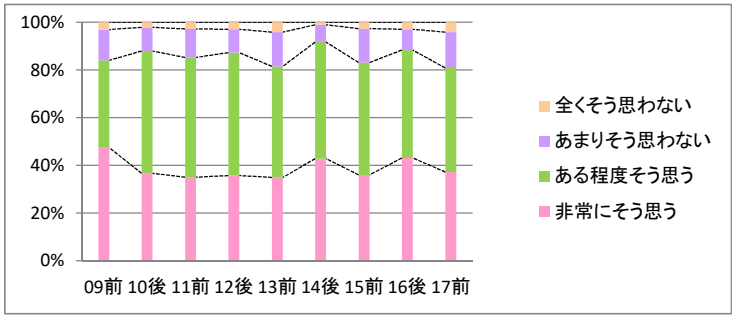
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	56.4%	34.9%	8.3%	0.3%
10後	46.4%	47.2%	6.0%	0.4%
11前	42.0%	51.0%	5.9%	1.1%
12後	43.7%	49.9%	5.6%	0.8%
13前	45.5%	45.6%	7.8%	1.1%
14後	51.8%	43.2%	4.6%	0.4%
15前	46.0%	47.6%	5.7%	0.7%
16後	49.9%	43.6%	3.8%	2.7%
17前	47.7%	45.0%	6.1%	1.2%



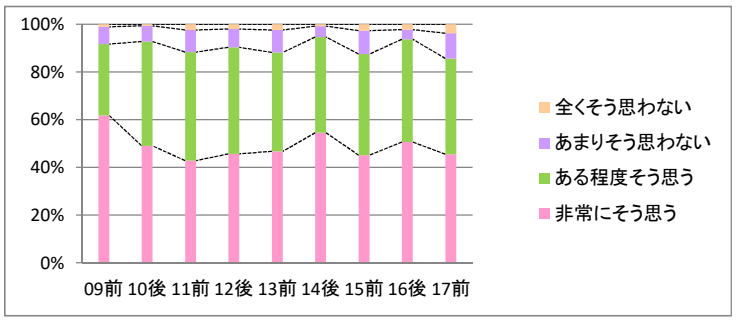
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.4%	36.7%	12.8%	3.1%
10後	36.7%	51.2%	9.9%	2.2%
11前	35.1%	50.2%	12.0%	2.8%
12後	35.7%	51.6%	9.7%	3.0%
13前	34.9%	46.7%	14.3%	4.2%
14後	42.8%	48.9%	7.3%	1.1%
15前	36.0%	47.1%	14.3%	2.6%
16後	43.0%	45.3%	8.8%	2.9%
17前	37.1%	43.7%	14.9%	4.2%



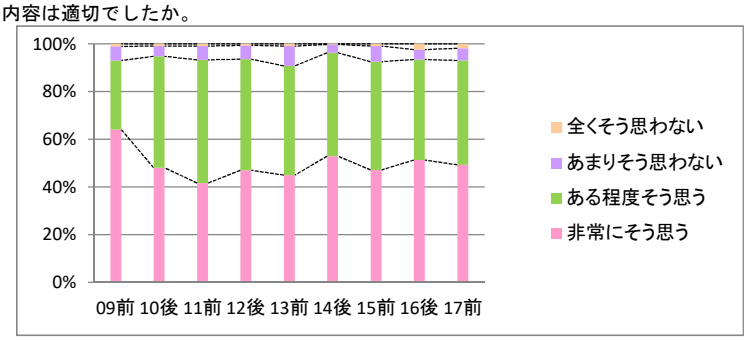
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	61.7%	30.0%	7.2%	1.0%
10後	49.0%	43.8%	6.5%	0.7%
11前	42.9%	45.5%	9.2%	2.4%
12後	45.7%	44.6%	7.7%	2.0%
13前	46.7%	41.5%	9.3%	2.5%
14後	54.5%	40.2%	4.5%	0.8%
15前	45.1%	42.4%	9.8%	2.7%
16後	50.6%	43.0%	4.0%	2.3%
17前	45.5%	40.1%	10.5%	3.8%



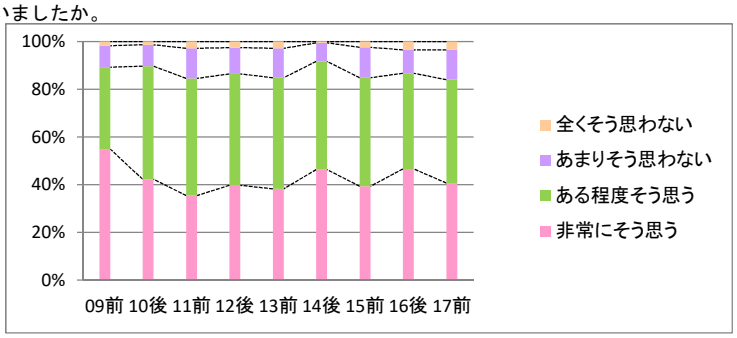
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	64.1%	28.9%	5.9%	1.0%
10後	48.1%	46.7%	4.4%	0.9%
11前	41.7%	51.7%	5.8%	0.8%
12後	47.0%	46.6%	5.8%	0.6%
13前	45.0%	45.7%	8.4%	0.9%
14後	52.9%	43.4%	3.4%	0.3%
15前	47.1%	45.4%	6.7%	0.8%
16後	51.4%	42.1%	4.2%	2.3%
17前	49.4%	43.7%	5.1%	1.8%



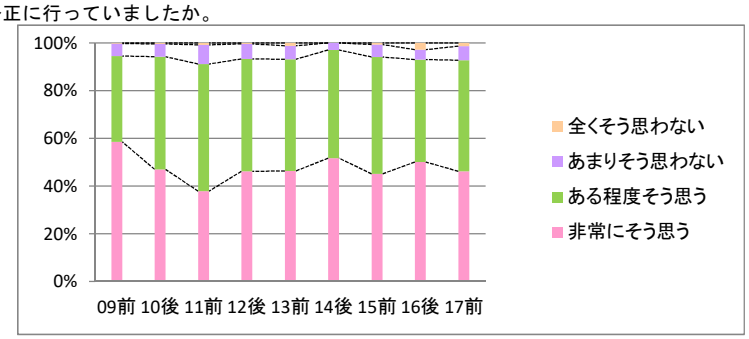
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	54.9%	34.4%	9.0%	1.7%
10後	42.2%	47.5%	9.0%	1.3%
11前	35.4%	49.2%	12.6%	2.8%
12後	39.8%	46.7%	11.0%	2.5%
13前	38.3%	46.5%	12.4%	2.8%
14後	46.3%	45.3%	7.8%	0.5%
15前	39.4%	45.5%	12.8%	2.3%
16後	46.6%	40.1%	9.7%	3.5%
17前	40.6%	43.4%	12.6%	3.4%



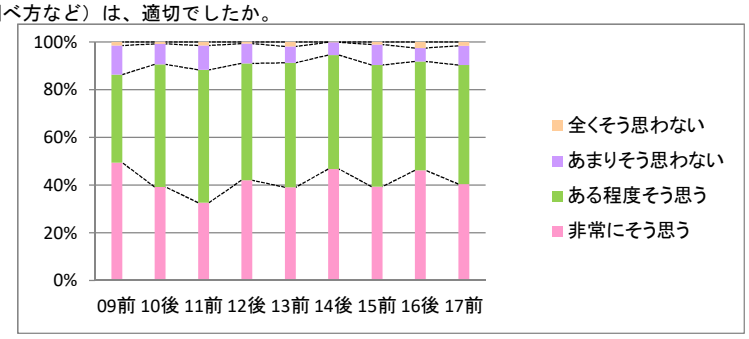
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	58.5%	36.0%	5.2%	0.3%
10後	47.0%	47.2%	5.4%	0.4%
11前	37.9%	53.2%	8.0%	0.9%
12後	46.1%	47.1%	6.3%	0.5%
13前	46.3%	46.9%	5.7%	1.2%
14後	51.7%	45.4%	2.9%	0.0%
15前	45.1%	49.0%	5.2%	0.8%
16後	50.1%	42.9%	4.2%	2.9%
17前	46.1%	46.5%	5.9%	1.4%



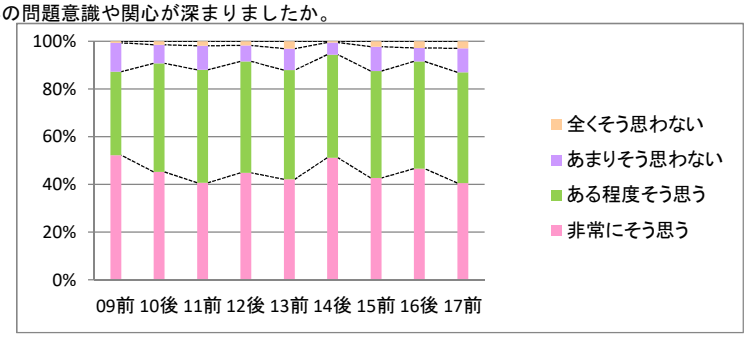
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	49.5%	36.8%	12.3%	1.4%
10後	39.2%	51.5%	8.6%	0.7%
11前	32.7%	55.7%	10.2%	1.4%
12後	42.1%	49.0%	8.3%	0.6%
13前	39.1%	52.2%	6.9%	1.8%
14後	46.8%	47.7%	5.3%	0.1%
15前	39.4%	50.9%	8.6%	1.0%
16後	46.2%	45.6%	5.7%	2.5%
17前	40.4%	50.0%	8.0%	1.6%



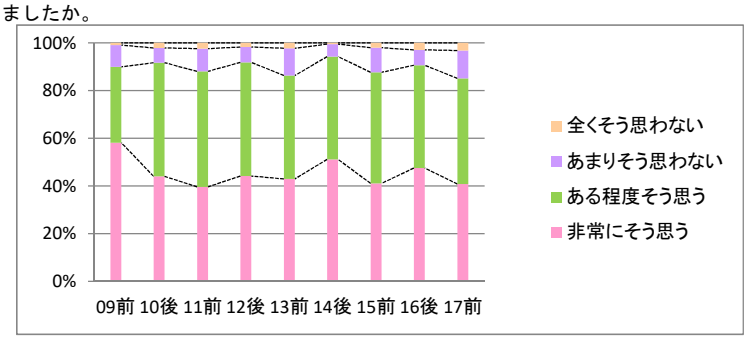
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	52.2%	34.9%	12.1%	0.7%
10後	45.3%	45.4%	7.9%	1.5%
11前	40.6%	47.4%	10.0%	1.9%
12後	44.9%	46.6%	6.8%	1.7%
13前	42.1%	45.9%	8.9%	3.1%
14後	51.2%	43.2%	5.0%	0.5%
15前	42.6%	44.9%	10.1%	2.3%
16後	46.6%	44.9%	5.6%	2.9%
17前	40.6%	46.3%	10.1%	3.0%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

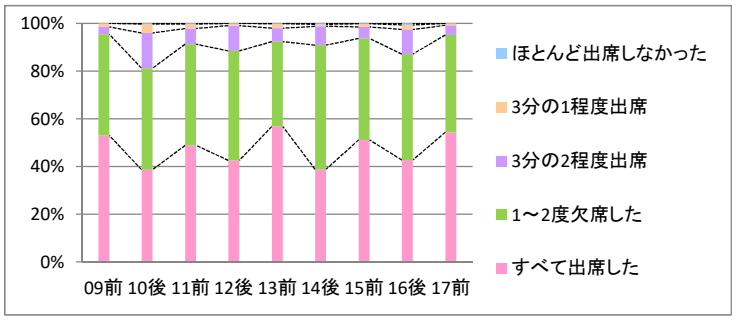
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	58.0%	31.8%	9.1%	1.0%
10後	44.0%	47.6%	6.2%	2.2%
11前	39.5%	48.5%	9.5%	2.4%
12後	44.2%	47.6%	6.4%	1.7%
13前	42.9%	43.4%	11.3%	2.4%
14後	51.1%	43.1%	5.3%	0.5%
15前	41.1%	46.5%	10.3%	2.1%
16後	47.5%	43.1%	6.4%	3.0%
17前	40.8%	44.3%	11.7%	3.3%



＜社会学専攻＞

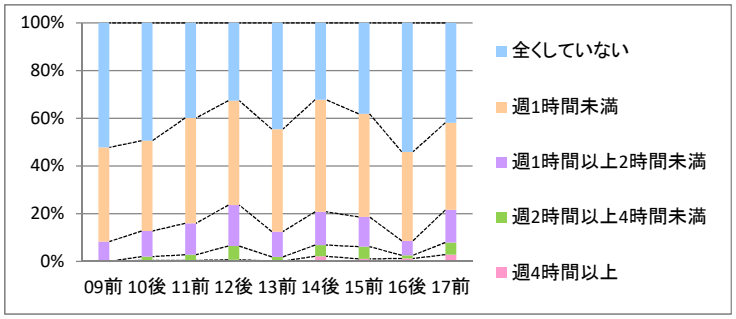
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	53.0%	42.4%	3.0%	1.5%	0.0%
10後	38.6%	42.7%	14.7%	3.7%	0.3%
11前	48.9%	42.4%	6.5%	1.8%	0.3%
12後	42.6%	45.9%	10.7%	0.9%	0.0%
13前	56.8%	35.5%	5.6%	1.9%	0.1%
14後	38.8%	52.1%	7.9%	0.9%	0.3%
15前	51.2%	42.5%	4.9%	1.3%	0.1%
16後	42.7%	44.4%	10.3%	1.9%	0.6%
17前	54.3%	40.8%	4.0%	0.8%	0.0%



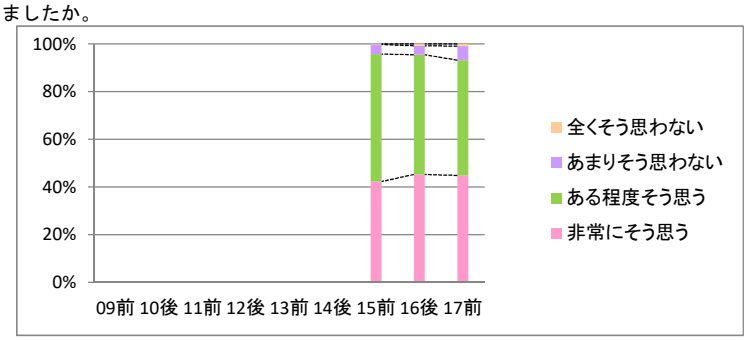
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.0%	0.0%	8.3%	39.4%	52.3%
10後	0.3%	1.7%	10.7%	37.9%	49.4%
11前	0.3%	2.4%	13.2%	44.2%	39.9%
12後	0.7%	5.7%	17.3%	43.8%	32.6%
13前	0.1%	1.6%	10.6%	43.0%	44.6%
14後	2.1%	4.7%	13.9%	47.0%	32.3%
15前	1.0%	5.1%	12.6%	43.1%	38.2%
16後	1.1%	1.4%	6.0%	37.4%	54.1%
17前	2.8%	5.1%	13.8%	36.5%	41.9%



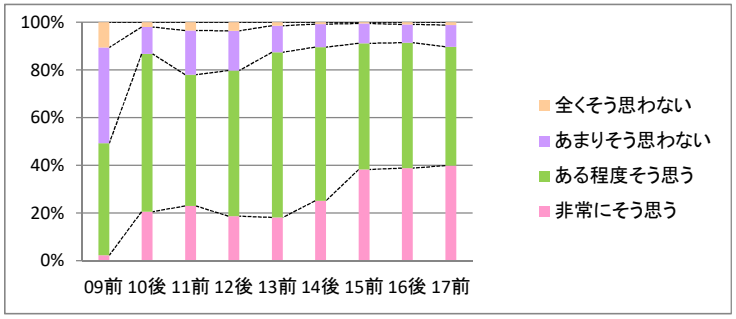
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	42.3%	53.4%	4.0%	0.3%
16後	45.3%	50.2%	3.8%	0.8%
17前	44.9%	48.4%	5.8%	0.9%



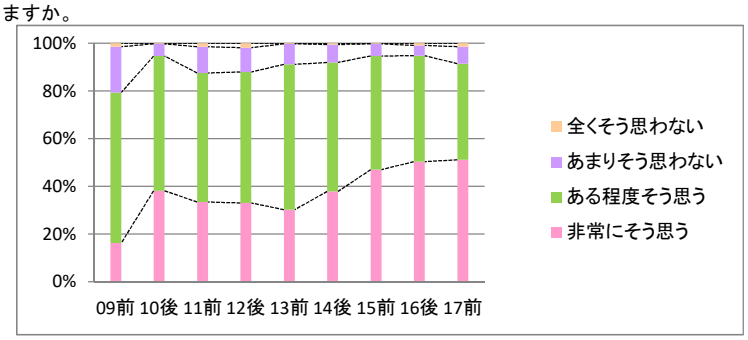
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	2.3%	47.0%	40.2%	10.6%
10後	20.5%	66.3%	11.2%	2.0%
11前	23.0%	55.0%	18.4%	3.5%
12後	18.7%	61.1%	16.5%	3.7%
13前	18.1%	69.2%	11.1%	1.5%
14後	25.1%	64.3%	9.7%	0.9%
15前	38.2%	53.0%	8.2%	0.6%
16後	38.8%	52.6%	7.7%	0.9%
17前	39.8%	49.8%	9.2%	1.2%



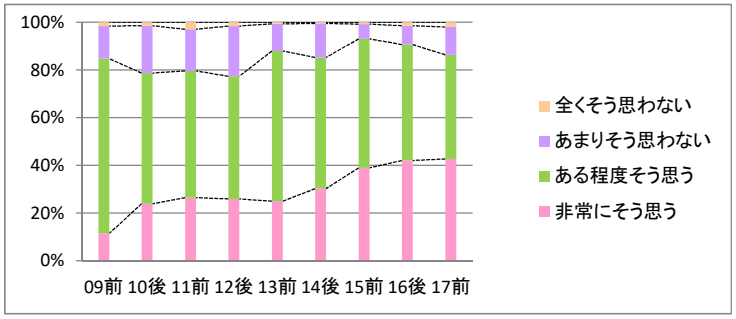
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	16.2%	63.1%	19.2%	1.5%
10後	38.0%	56.5%	5.2%	0.3%
11前	33.4%	54.1%	11.0%	1.6%
12後	33.0%	54.8%	10.2%	2.0%
13前	30.2%	60.9%	8.6%	0.3%
14後	37.8%	54.1%	7.5%	0.5%
15前	47.0%	47.6%	5.2%	0.3%
16後	50.3%	44.4%	4.4%	0.9%
17前	51.1%	40.3%	7.1%	1.6%



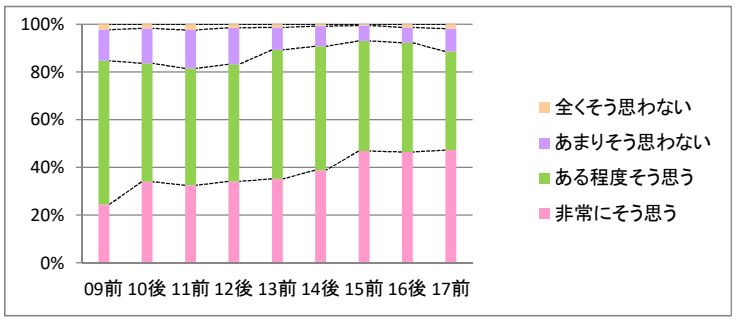
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	11.5%	73.3%	13.7%	1.5%
10後	23.9%	54.8%	19.9%	1.4%
11前	26.5%	53.2%	17.4%	3.0%
12後	25.9%	51.5%	21.1%	1.5%
13前	25.0%	62.9%	11.4%	0.7%
14後	30.2%	55.1%	14.2%	0.5%
15前	39.0%	54.0%	6.3%	0.7%
16後	42.0%	48.6%	8.0%	1.4%
17前	42.7%	43.6%	11.7%	2.0%



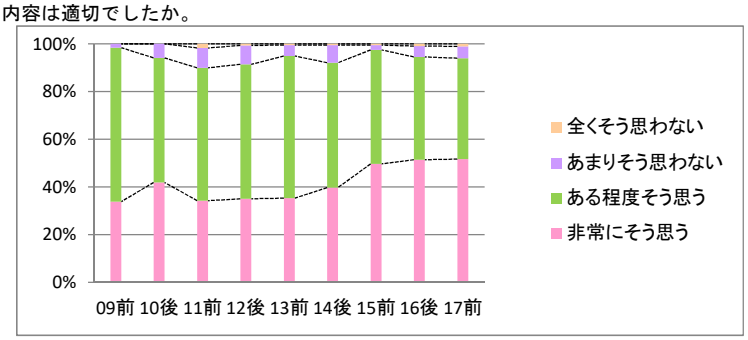
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	24.4%	60.3%	13.0%	2.3%
10後	34.0%	49.6%	14.7%	1.7%
11前	32.5%	49.0%	16.0%	2.4%
12後	34.1%	49.1%	15.2%	1.5%
13前	35.1%	54.2%	9.3%	1.4%
14後	38.8%	51.9%	8.4%	0.9%
15前	46.8%	46.1%	6.4%	0.6%
16後	46.4%	45.8%	6.4%	1.4%
17前	47.3%	41.4%	9.5%	1.9%



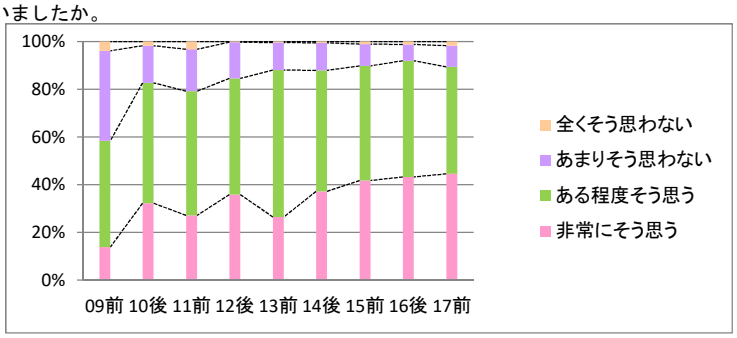
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.9%	64.6%	1.6%	0.0%
10後	41.9%	52.3%	5.8%	0.0%
11前	34.3%	55.7%	8.3%	1.7%
12後	35.1%	56.4%	7.8%	0.7%
13前	35.3%	59.6%	4.7%	0.4%
14後	39.8%	52.3%	7.4%	0.5%
15前	49.8%	47.8%	2.0%	0.4%
16後	51.5%	43.0%	4.5%	0.9%
17前	51.7%	42.3%	5.1%	0.9%



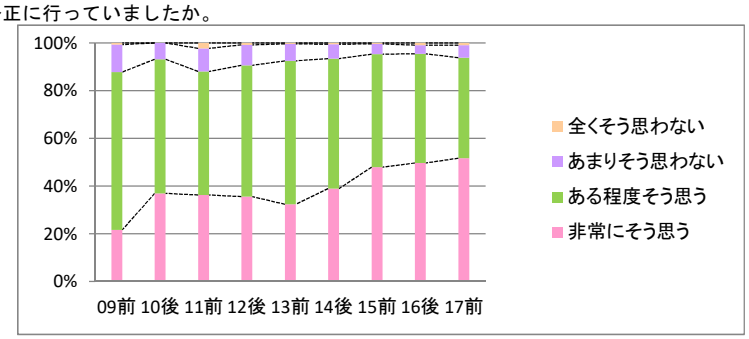
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	13.8%	44.6%	37.7%	3.8%
10後	32.3%	50.4%	15.6%	1.7%
11前	27.2%	52.1%	17.5%	3.3%
12後	35.9%	48.7%	15.2%	0.2%
13前	26.4%	61.6%	11.5%	0.4%
14後	37.1%	50.8%	11.6%	0.5%
15前	41.7%	48.1%	9.2%	1.0%
16後	43.3%	48.7%	6.7%	1.3%
17前	44.5%	44.9%	8.8%	1.8%



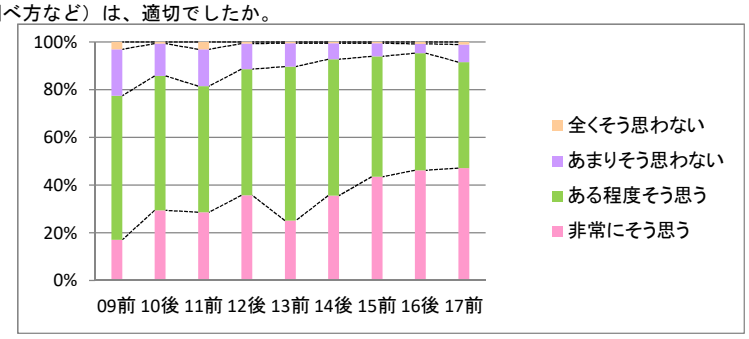
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	21.5%	66.2%	11.5%	0.8%
10後	36.9%	56.2%	6.9%	0.0%
11前	36.3%	51.7%	9.7%	2.3%
12後	35.5%	55.1%	8.5%	0.9%
13前	32.3%	60.2%	7.1%	0.4%
14後	38.9%	54.4%	6.1%	0.5%
15前	47.9%	47.3%	4.3%	0.4%
16後	49.7%	45.8%	3.6%	0.9%
17前	51.7%	42.1%	5.3%	0.9%



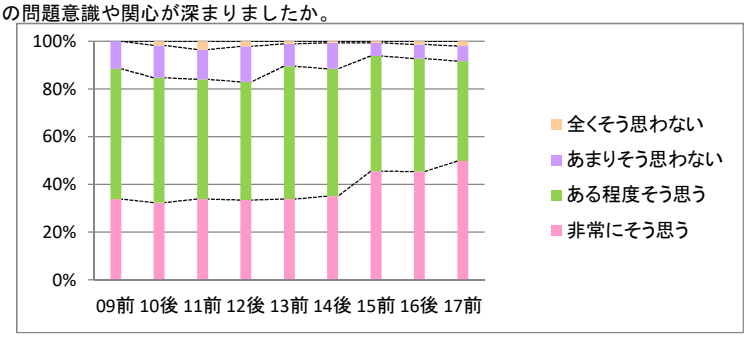
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	17.1%	60.5%	19.4%	3.1%
10後	29.4%	56.5%	13.5%	0.6%
11前	28.7%	52.8%	15.5%	3.0%
12後	35.7%	52.9%	10.7%	0.7%
13前	25.2%	64.5%	9.8%	0.6%
14後	35.6%	57.2%	6.7%	0.5%
15前	43.5%	50.4%	5.6%	0.4%
16後	46.3%	49.1%	3.9%	0.8%
17前	47.2%	44.4%	7.4%	1.1%



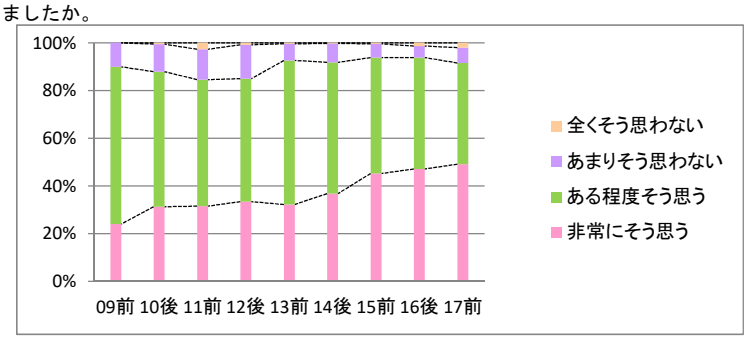
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.8%	54.6%	11.5%	0.0%
10後	32.3%	52.4%	13.5%	1.7%
11前	33.9%	50.2%	12.4%	3.6%
12後	33.4%	49.6%	14.8%	2.2%
13前	33.8%	55.7%	9.4%	1.1%
14後	35.0%	53.4%	10.9%	0.7%
15前	45.5%	48.4%	5.5%	0.7%
16後	45.3%	47.5%	5.8%	1.4%
17前	49.8%	41.9%	6.3%	2.0%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

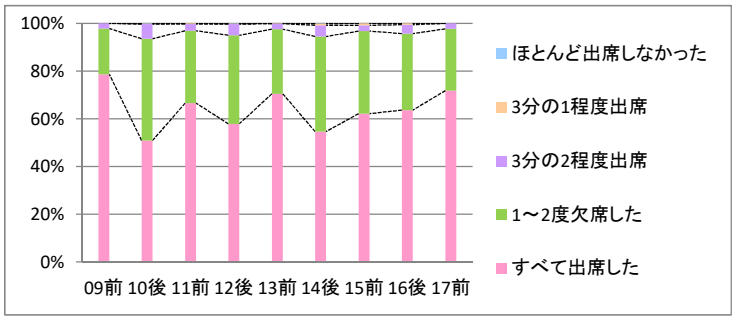
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	24.0%	65.9%	10.1%	0.0%
10後	31.2%	56.6%	11.6%	0.6%
11前	31.5%	53.1%	12.7%	2.7%
12後	33.4%	51.5%	14.2%	0.9%
13前	32.1%	60.4%	7.0%	0.4%
14後	36.7%	55.1%	7.9%	0.3%
15前	45.2%	48.6%	5.7%	0.4%
16後	47.0%	46.7%	4.8%	1.4%
17前	49.1%	42.3%	6.5%	2.0%



＜心理学専攻＞

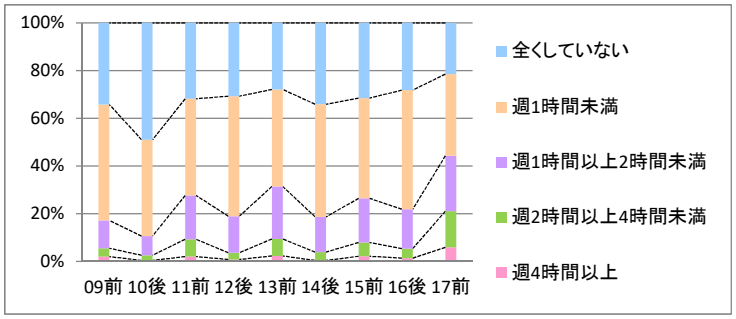
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	78.6%	19.2%	2.2%	0.0%	0.0%
10後	50.9%	42.7%	6.2%	0.1%	0.1%
11前	66.6%	30.3%	2.8%	0.3%	0.0%
12後	57.8%	37.2%	4.7%	0.1%	0.1%
13前	70.5%	27.1%	2.3%	0.1%	0.0%
14後	54.7%	39.8%	4.8%	0.6%	0.1%
15前	62.1%	34.7%	2.4%	0.8%	0.0%
16後	63.7%	32.0%	3.8%	0.5%	0.0%
17前	71.9%	25.9%	2.3%	0.0%	0.0%



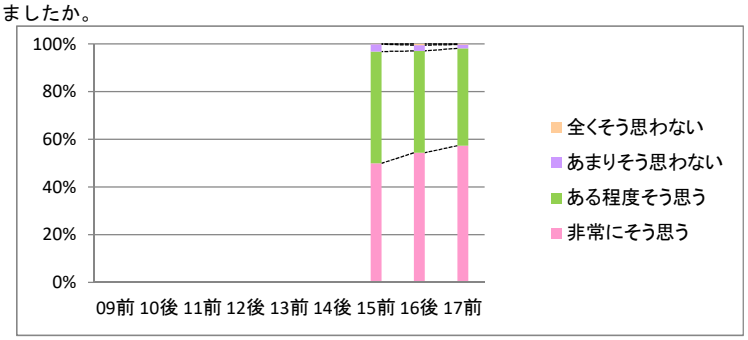
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	1.9%	3.5%	11.7%	48.6%	34.3%
10後	0.4%	2.1%	8.1%	40.4%	49.0%
11前	2.0%	7.2%	18.5%	40.5%	31.9%
12後	0.7%	2.8%	15.4%	50.3%	30.8%
13前	2.2%	7.1%	22.0%	40.6%	28.0%
14後	0.4%	3.4%	14.9%	47.2%	34.1%
15前	2.1%	5.7%	18.6%	42.0%	31.6%
16後	1.3%	4.0%	16.6%	49.9%	28.3%
17前	5.9%	15.2%	23.1%	34.2%	21.6%



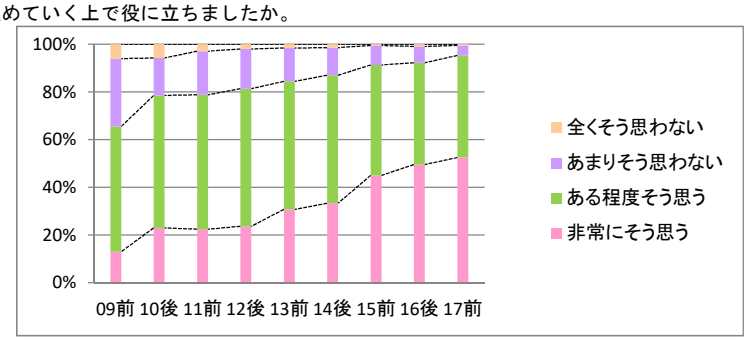
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	49.9%	46.9%	3.0%	0.2%
16後	54.4%	42.8%	2.4%	0.5%
17前	57.4%	40.7%	1.6%	0.2%



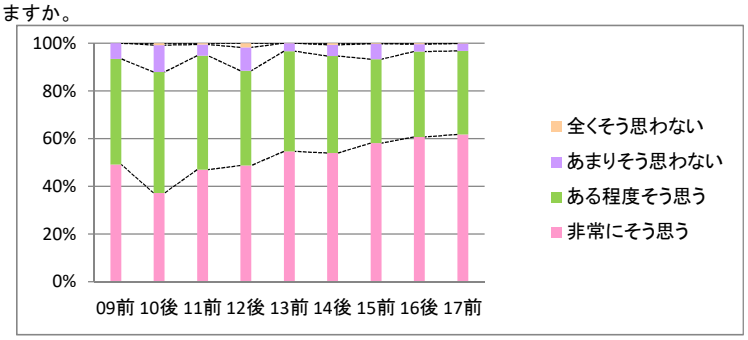
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	13.0%	52.5%	28.5%	6.0%
10後	22.9%	55.7%	15.6%	5.8%
11前	22.4%	56.4%	18.2%	3.0%
12後	23.6%	57.8%	16.6%	2.1%
13前	30.8%	53.6%	13.9%	1.7%
14後	33.3%	53.7%	11.6%	1.5%
15前	44.9%	46.3%	8.1%	0.6%
16後	49.6%	42.7%	6.8%	1.0%
17前	52.5%	42.8%	4.2%	0.5%



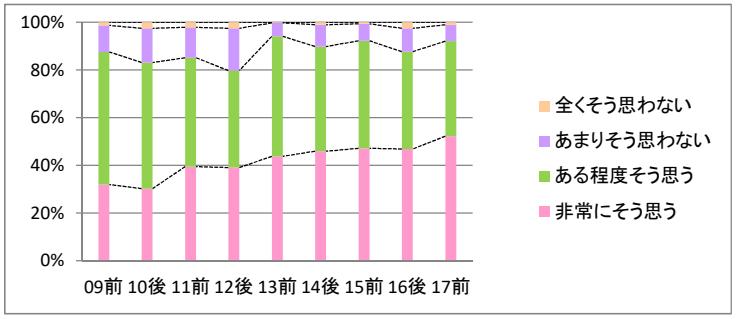
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	49.1%	44.3%	6.6%	0.0%
10後	37.2%	50.7%	11.2%	0.9%
11前	46.9%	47.8%	4.8%	0.6%
12後	48.7%	39.8%	9.8%	1.8%
13前	54.7%	41.9%	3.4%	0.1%
14後	53.9%	40.7%	4.6%	0.7%
15前	58.1%	35.1%	6.5%	0.3%
16後	60.7%	35.8%	3.0%	0.5%
17前	61.7%	35.0%	3.1%	0.2%



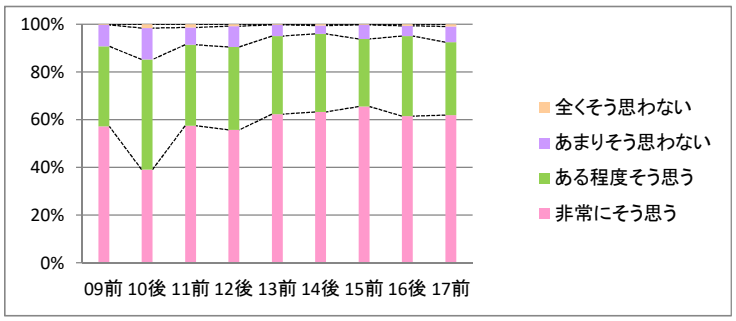
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	31.9%	55.6%	11.2%	1.3%
10後	30.2%	52.9%	14.4%	2.5%
11前	39.4%	45.7%	12.7%	2.1%
12後	39.1%	40.7%	17.8%	2.5%
13前	43.8%	50.4%	5.5%	0.3%
14後	46.0%	43.9%	9.0%	1.1%
15前	47.2%	45.1%	7.1%	0.6%
16後	46.9%	40.9%	9.8%	2.5%
17前	52.2%	39.9%	6.9%	1.0%



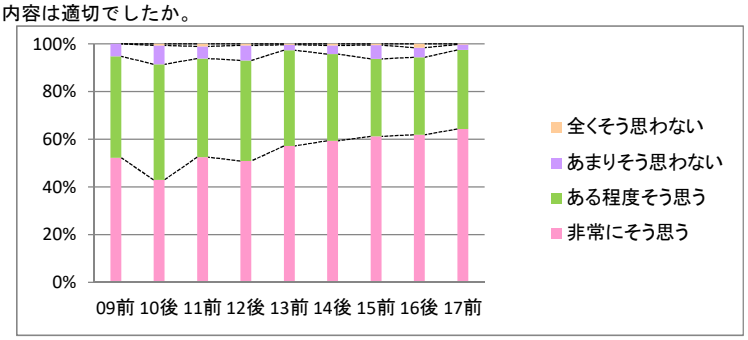
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	57.2%	33.4%	9.0%	0.3%
10後	39.0%	46.2%	13.2%	1.6%
11前	57.5%	34.0%	7.2%	1.4%
12後	55.7%	34.8%	8.6%	0.9%
13前	62.3%	32.6%	4.7%	0.3%
14後	63.2%	32.8%	3.5%	0.5%
15前	65.5%	28.4%	5.9%	0.3%
16後	61.4%	33.6%	4.4%	0.6%
17前	61.9%	30.5%	6.7%	0.9%



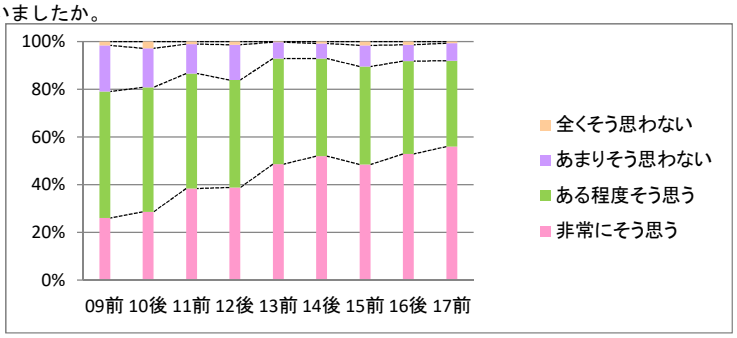
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	52.2%	42.6%	5.1%	0.0%
10後	43.0%	48.5%	7.9%	0.6%
11前	52.5%	41.4%	5.0%	1.0%
12後	51.0%	42.1%	6.4%	0.6%
13前	57.2%	40.1%	2.4%	0.3%
14後	59.4%	36.3%	3.7%	0.6%
15前	61.2%	32.6%	5.7%	0.5%
16後	61.9%	32.5%	4.1%	1.5%
17前	64.4%	33.2%	2.3%	0.2%



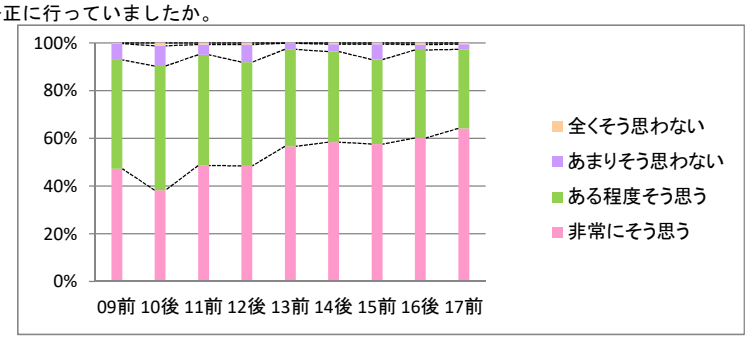
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	26.0%	53.1%	19.3%	1.6%
10後	28.7%	52.2%	16.4%	2.8%
11前	38.4%	48.2%	12.2%	1.1%
12後	38.8%	45.1%	14.8%	1.3%
13前	48.7%	44.2%	6.9%	0.2%
14後	52.0%	40.9%	6.3%	0.7%
15前	48.4%	41.2%	8.7%	1.7%
16後	52.9%	39.0%	6.8%	1.4%
17前	56.0%	35.9%	7.4%	0.7%



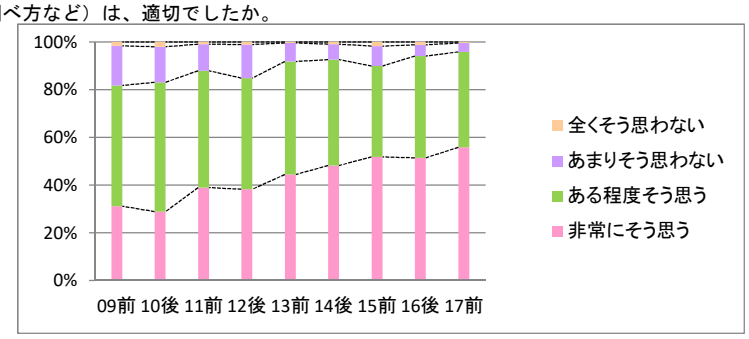
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.2%	45.6%	6.8%	0.3%
10後	38.3%	52.0%	8.5%	1.2%
11前	48.6%	46.4%	4.2%	0.8%
12後	48.4%	43.5%	7.4%	0.7%
13前	56.7%	40.5%	2.6%	0.2%
14後	58.4%	37.9%	3.0%	0.6%
15前	57.6%	35.5%	6.3%	0.6%
16後	60.2%	36.8%	2.3%	0.8%
17前	64.1%	33.2%	2.2%	0.5%



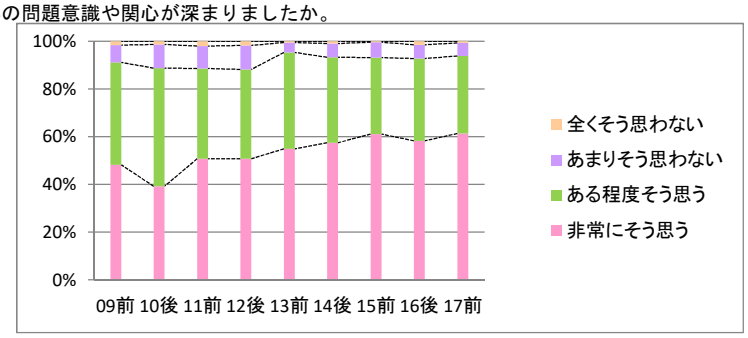
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	31.2%	50.6%	16.6%	1.6%
10後	28.8%	54.3%	14.9%	2.0%
11前	39.0%	49.0%	11.1%	0.9%
12後	38.3%	46.6%	14.1%	1.0%
13前	44.4%	47.4%	7.9%	0.3%
14後	48.2%	44.4%	6.5%	0.9%
15前	51.8%	38.2%	8.3%	1.7%
16後	51.4%	42.7%	4.8%	1.1%
17前	55.9%	40.0%	3.7%	0.4%



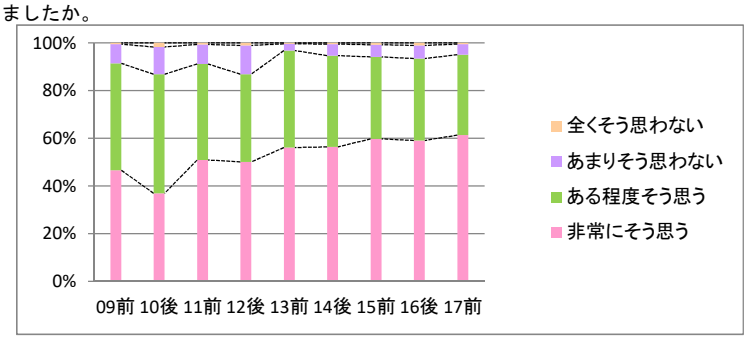
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	48.2%	43.0%	7.2%	1.6%
10後	39.2%	49.4%	10.0%	1.4%
11前	50.7%	37.8%	9.5%	2.0%
12後	50.7%	37.5%	10.0%	1.8%
13前	54.9%	40.4%	4.1%	0.6%
14後	57.5%	35.8%	5.7%	1.0%
15前	61.0%	32.2%	6.3%	0.5%
16後	58.3%	34.5%	5.8%	1.5%
17前	61.3%	32.5%	5.5%	0.6%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

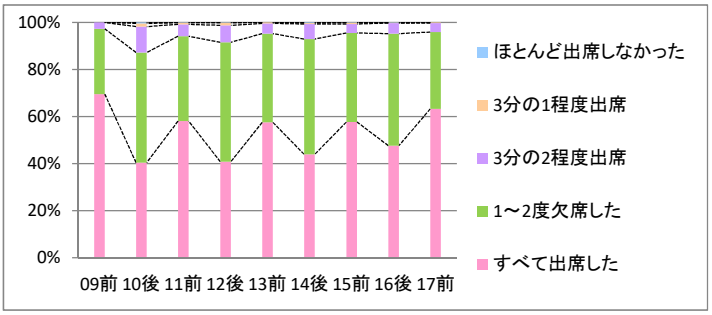
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	46.5%	44.9%	8.0%	0.6%
10後	36.9%	49.9%	11.3%	1.8%
11前	50.8%	40.2%	8.2%	0.7%
12後	50.0%	36.8%	12.0%	1.2%
13前	56.0%	40.7%	2.9%	0.4%
14後	56.3%	38.3%	4.8%	0.6%
15前	59.8%	34.3%	5.0%	0.9%
16後	59.0%	34.4%	5.5%	1.1%
17前	61.3%	33.7%	4.4%	0.6%



＜コミュニケーション専攻＞

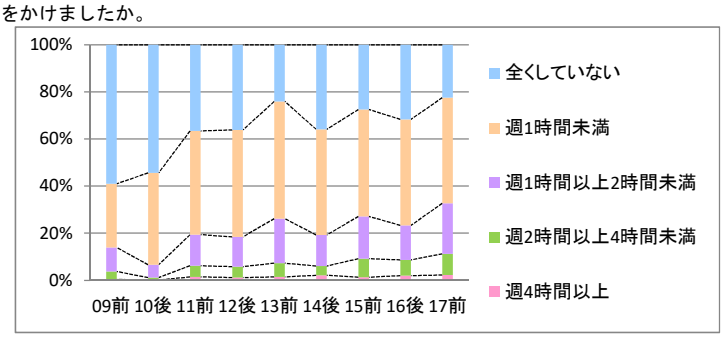
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	69.6%	27.6%	2.7%	0.0%	0.0%
10後	40.5%	46.8%	11.0%	1.4%	0.4%
11前	58.2%	36.0%	4.9%	0.8%	0.1%
12後	40.9%	50.7%	7.2%	1.1%	0.1%
13前	57.6%	37.7%	4.3%	0.4%	0.0%
14後	44.0%	49.0%	6.3%	0.5%	0.2%
15前	57.8%	37.7%	3.9%	0.5%	0.1%
16後	47.6%	47.7%	4.5%	0.2%	0.1%
17前	63.4%	32.6%	3.8%	0.2%	0.0%



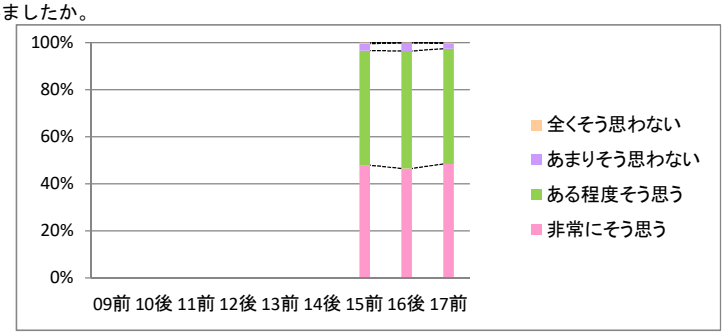
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.3%	3.5%	10.1%	27.1%	59.0%
10後	0.1%	1.1%	5.5%	38.9%	54.4%
11前	1.4%	4.8%	13.1%	44.0%	36.6%
12後	1.1%	4.6%	12.7%	45.4%	36.1%
13前	1.5%	5.8%	18.9%	49.8%	24.1%
14後	2.2%	3.9%	13.1%	44.9%	35.9%
15前	1.3%	7.9%	18.0%	45.3%	27.5%
16後	2.1%	6.7%	14.7%	45.0%	31.6%
17前	2.2%	9.0%	21.4%	44.9%	22.4%



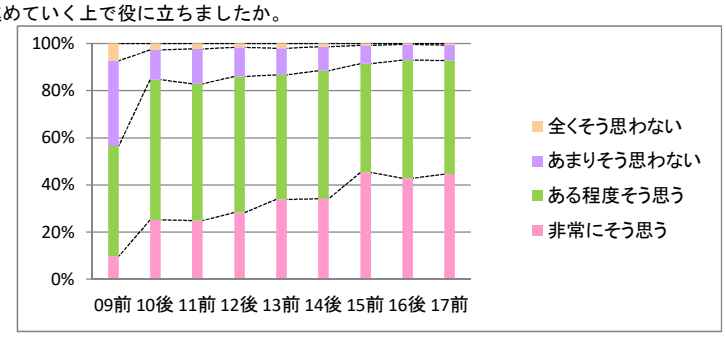
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	47.9%	48.7%	3.0%	0.4%
16後	46.5%	49.9%	3.3%	0.2%
17前	48.4%	48.9%	2.4%	0.3%



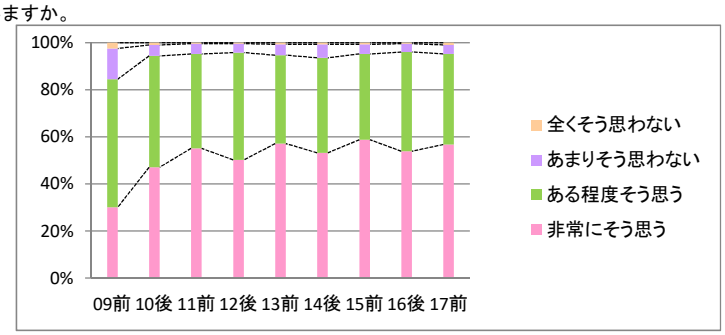
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	9.7%	46.9%	36.2%	7.2%
10後	25.1%	59.5%	12.7%	2.7%
11前	24.9%	58.1%	14.8%	2.2%
12後	28.2%	57.8%	12.4%	1.6%
13前	33.9%	52.8%	11.3%	2.0%
14後	34.1%	54.4%	10.2%	1.3%
15前	45.2%	46.2%	7.7%	0.8%
16後	42.9%	50.1%	6.6%	0.4%
17前	44.6%	48.3%	6.5%	0.7%



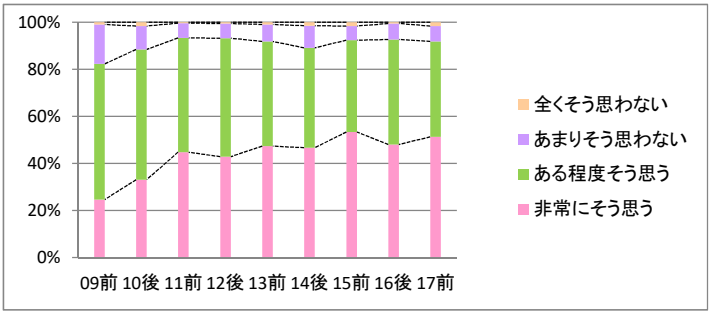
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	30.1%	54.3%	13.1%	2.4%
10後	47.0%	47.4%	4.7%	0.9%
11前	55.1%	40.1%	4.3%	0.4%
12後	50.2%	45.6%	3.8%	0.4%
13前	57.2%	37.5%	4.7%	0.6%
14後	53.2%	40.3%	5.7%	0.7%
15前	58.8%	36.4%	4.1%	0.7%
16後	53.9%	42.2%	3.5%	0.4%
17前	56.8%	38.4%	3.9%	0.9%



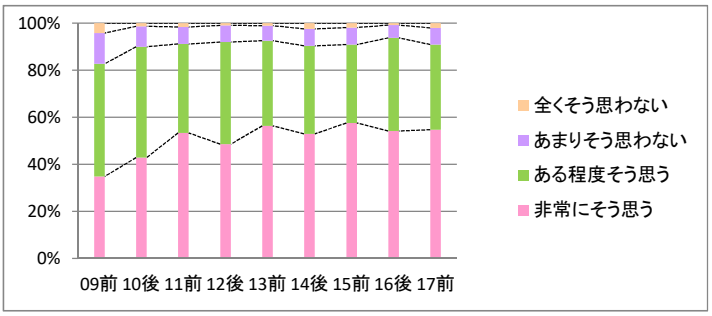
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	24.7%	57.6%	16.7%	1.0%
10後	33.1%	55.3%	10.0%	1.6%
11前	44.7%	48.6%	6.2%	0.5%
12後	42.8%	50.3%	6.4%	0.6%
13前	47.3%	44.5%	7.2%	1.0%
14後	46.7%	42.4%	9.5%	1.5%
15前	53.4%	38.9%	6.0%	1.7%
16後	48.0%	44.6%	6.8%	0.6%
17前	51.3%	40.6%	6.4%	1.7%



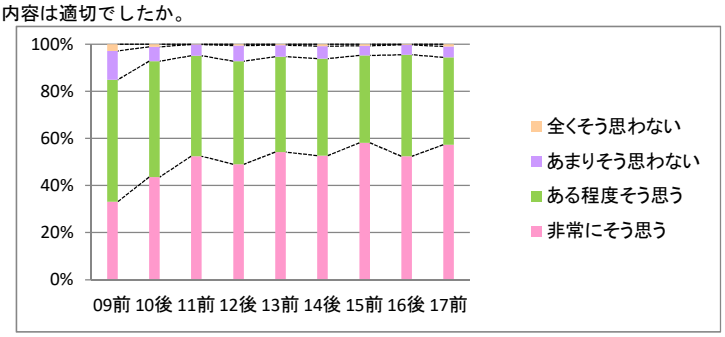
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	34.8%	47.9%	13.1%	4.1%
10後	42.9%	47.0%	8.7%	1.4%
11前	53.4%	37.7%	7.3%	1.5%
12後	48.6%	43.4%	7.1%	0.9%
13前	56.4%	36.2%	6.4%	1.0%
14後	52.9%	37.5%	7.1%	2.5%
15前	57.6%	33.3%	7.3%	1.8%
16後	54.1%	39.6%	5.5%	0.8%
17前	54.8%	36.1%	7.1%	2.0%



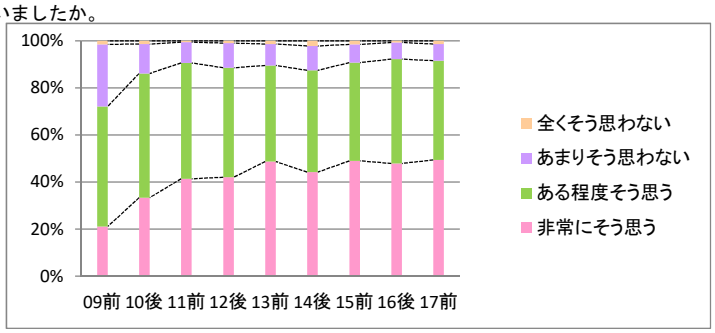
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.1%	51.8%	12.3%	2.8%
10後	43.5%	49.3%	6.0%	1.2%
11前	52.4%	42.7%	4.8%	0.1%
12後	49.1%	43.7%	6.7%	0.6%
13前	54.2%	40.5%	4.9%	0.4%
14後	52.6%	41.2%	5.4%	0.8%
15前	58.1%	37.1%	4.2%	0.6%
16後	52.4%	43.1%	4.2%	0.3%
17前	57.3%	37.1%	4.6%	1.0%



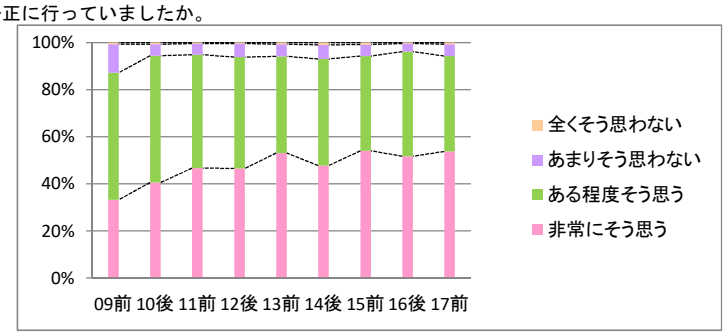
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	21.1%	51.1%	26.4%	1.4%
10後	33.5%	52.7%	12.6%	1.3%
11前	41.4%	49.3%	8.7%	0.5%
12後	42.1%	46.6%	10.5%	0.8%
13前	48.7%	40.9%	9.2%	1.2%
14後	44.3%	43.3%	10.3%	2.1%
15前	49.0%	41.8%	7.8%	1.4%
16後	48.0%	44.3%	7.1%	0.6%
17前	49.4%	42.2%	7.1%	1.3%



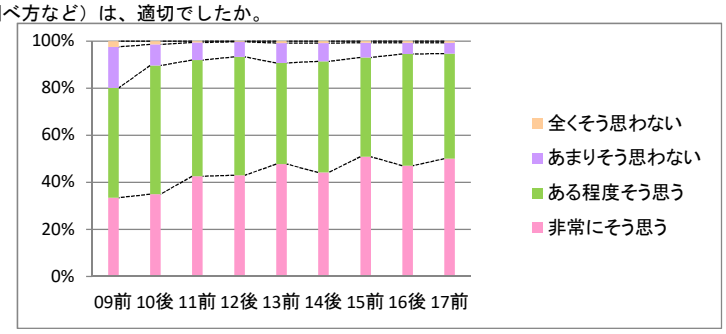
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.2%	54.1%	12.0%	0.7%
10後	40.5%	53.9%	4.9%	0.7%
11前	46.7%	48.2%	4.7%	0.4%
12後	46.5%	47.3%	5.8%	0.4%
13前	53.0%	41.1%	5.2%	0.6%
14後	47.8%	45.3%	6.0%	0.9%
15前	54.0%	40.3%	4.9%	0.8%
16後	51.7%	44.5%	3.3%	0.4%
17前	53.7%	40.6%	5.0%	0.7%



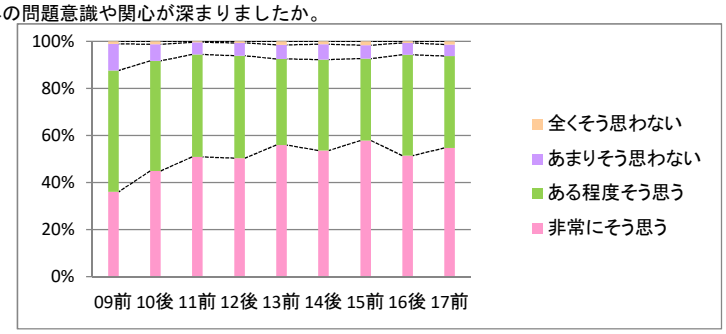
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.5%	46.6%	17.4%	2.5%
10後	35.0%	54.7%	8.9%	1.4%
11前	42.5%	49.4%	7.5%	0.6%
12後	43.0%	50.4%	6.4%	0.3%
13前	47.7%	43.0%	8.4%	0.9%
14後	44.1%	47.3%	7.7%	0.9%
15前	50.8%	42.2%	6.3%	0.7%
16後	47.0%	47.5%	4.8%	0.7%
17前	50.0%	44.6%	4.7%	0.7%



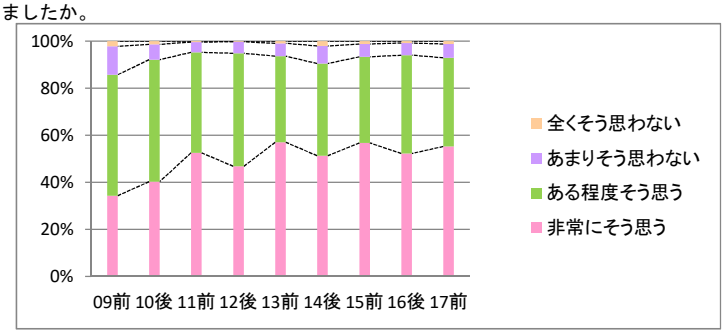
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	36.1%	51.6%	11.2%	1.1%
10後	44.9%	46.8%	7.1%	1.2%
11前	50.9%	43.7%	5.1%	0.3%
12後	50.4%	43.6%	5.5%	0.6%
13前	56.0%	36.6%	6.0%	1.4%
14後	53.6%	38.7%	6.6%	1.2%
15前	57.9%	34.8%	5.7%	1.6%
16後	51.4%	42.9%	5.0%	0.6%
17前	54.7%	39.0%	5.0%	1.3%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

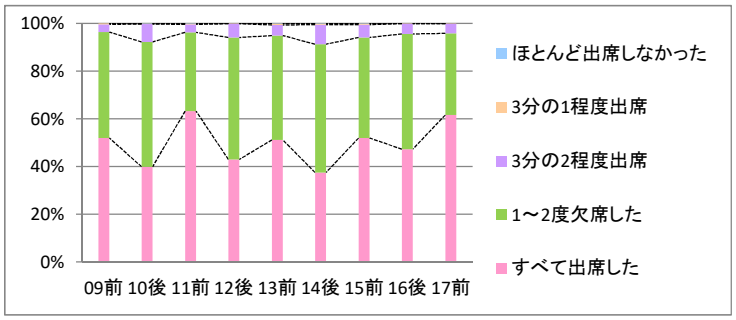
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	34.3%	51.4%	12.1%	2.1%
10後	40.4%	51.8%	6.4%	1.4%
11前	52.5%	42.8%	4.3%	0.5%
12後	46.8%	48.1%	4.9%	0.3%
13前	57.0%	36.6%	5.4%	1.0%
14後	51.3%	39.2%	7.5%	2.0%
15前	56.8%	36.5%	5.4%	1.3%
16後	52.3%	41.8%	5.2%	0.7%
17前	55.3%	37.7%	5.8%	1.2%



＜言語科学専攻＞

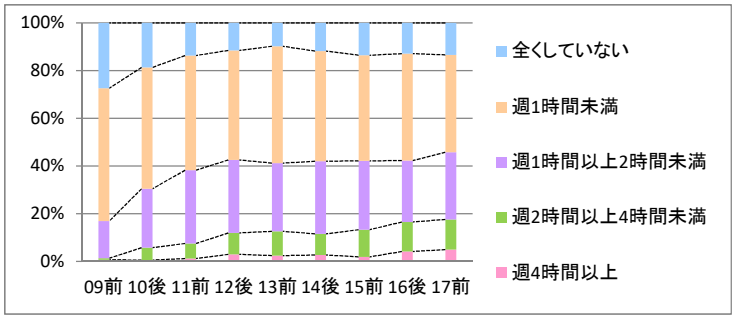
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	52.0%	44.4%	3.3%	0.3%	0.0%
10後	39.9%	52.3%	7.5%	0.1%	0.1%
11前	63.3%	33.0%	3.4%	0.3%	0.1%
12後	42.9%	51.1%	5.8%	0.1%	0.0%
13前	51.1%	43.8%	4.4%	0.6%	0.2%
14後	37.4%	53.8%	8.2%	0.5%	0.1%
15前	52.0%	42.1%	5.4%	0.5%	0.1%
16後	47.3%	48.2%	4.4%	0.1%	0.0%
17前	61.7%	34.2%	4.0%	0.1%	0.0%



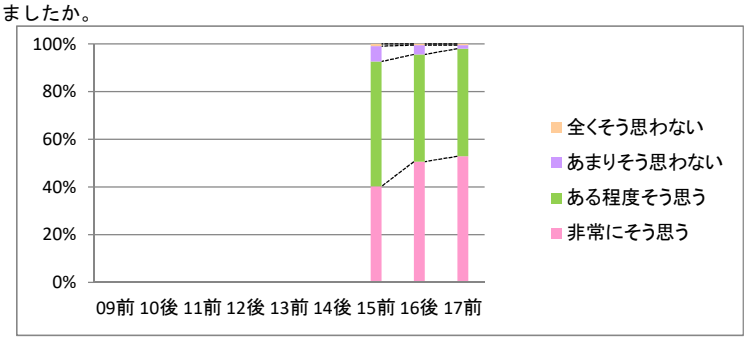
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.7%	0.7%	15.5%	55.8%	27.4%
10後	0.5%	5.2%	24.6%	50.9%	18.7%
11前	1.1%	6.3%	30.8%	48.1%	13.7%
12後	2.9%	9.0%	30.5%	45.9%	11.6%
13前	2.3%	10.3%	28.6%	49.0%	9.8%
14後	2.6%	8.9%	30.5%	46.1%	11.9%
15前	1.8%	11.4%	28.9%	44.3%	13.6%
16後	4.1%	12.4%	25.7%	44.9%	13.0%
17前	4.9%	12.7%	28.1%	40.8%	13.5%



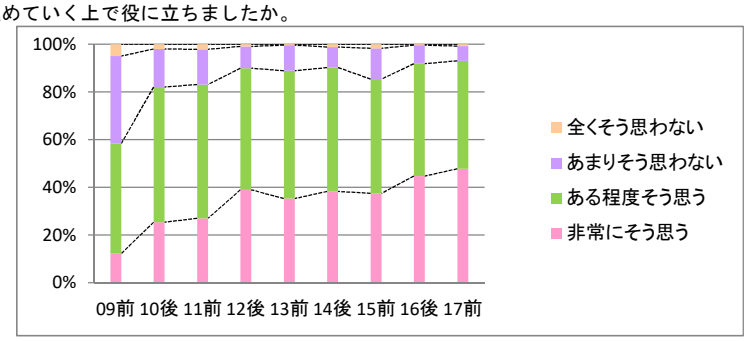
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	40.3%	52.4%	6.4%	0.9%
16後	50.6%	45.0%	3.9%	0.5%
17前	52.9%	45.1%	1.4%	0.6%



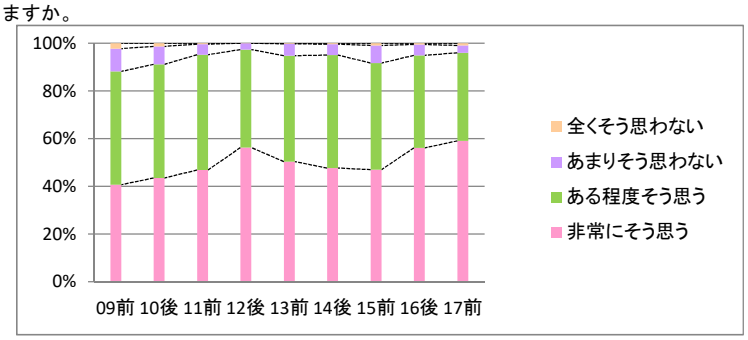
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	12.2%	46.2%	36.6%	5.0%
10後	25.4%	56.6%	16.0%	2.0%
11前	26.9%	56.1%	14.8%	2.2%
12後	38.8%	51.1%	9.1%	1.0%
13前	35.3%	53.5%	10.7%	0.5%
14後	38.2%	52.0%	8.6%	1.2%
15前	37.4%	47.9%	13.0%	1.7%
16後	44.7%	47.0%	7.9%	0.4%
17前	47.8%	45.2%	6.2%	0.8%



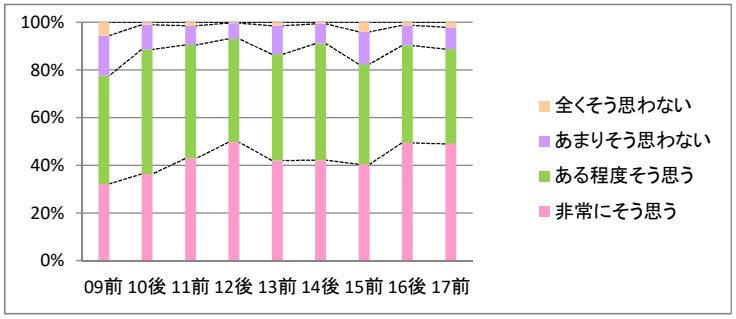
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	40.6%	47.5%	9.6%	2.3%
10後	43.5%	47.7%	7.5%	1.3%
11前	46.8%	48.3%	4.5%	0.4%
12後	56.2%	41.0%	2.7%	0.1%
13前	50.4%	44.3%	5.0%	0.3%
14後	47.6%	47.4%	4.6%	0.4%
15前	47.0%	44.7%	7.4%	1.0%
16後	56.1%	38.7%	4.6%	0.6%
17前	59.0%	37.0%	3.1%	0.9%



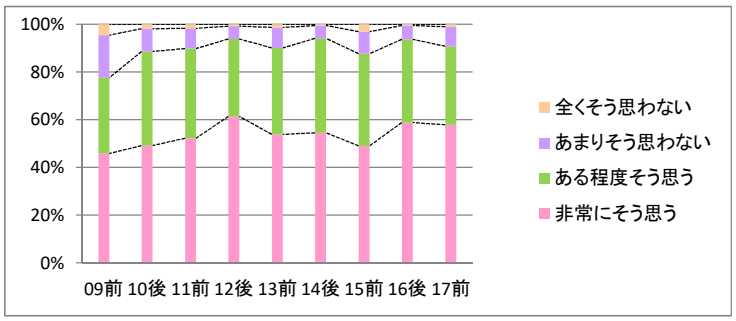
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	32.2%	45.4%	16.8%	5.6%
10後	36.4%	52.2%	10.3%	1.1%
11前	42.8%	47.7%	8.1%	1.4%
12後	49.7%	43.3%	6.7%	0.4%
13前	42.0%	44.6%	12.0%	1.4%
14後	42.2%	48.8%	8.3%	0.7%
15前	40.4%	42.0%	13.6%	4.0%
16後	49.4%	40.9%	8.4%	1.3%
17前	49.0%	39.7%	9.3%	2.1%



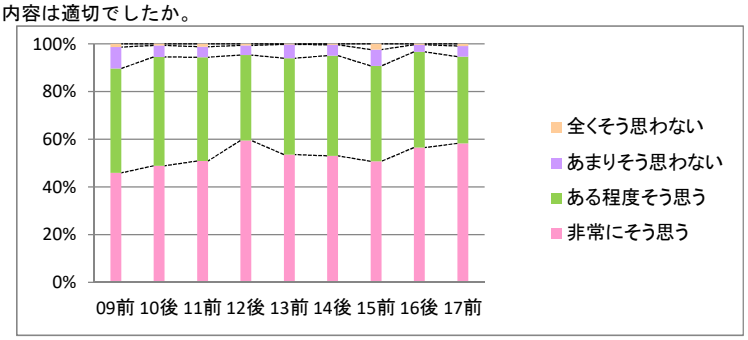
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	45.7%	31.9%	17.8%	4.6%
10後	49.1%	39.5%	9.5%	1.9%
11前	52.2%	37.6%	8.4%	1.7%
12後	61.4%	32.4%	5.4%	0.8%
13前	53.8%	36.3%	8.6%	1.4%
14後	54.5%	39.5%	5.3%	0.6%
15前	49.0%	38.7%	9.2%	3.1%
16後	58.7%	35.0%	5.7%	0.6%
17前	57.8%	32.9%	8.2%	1.1%



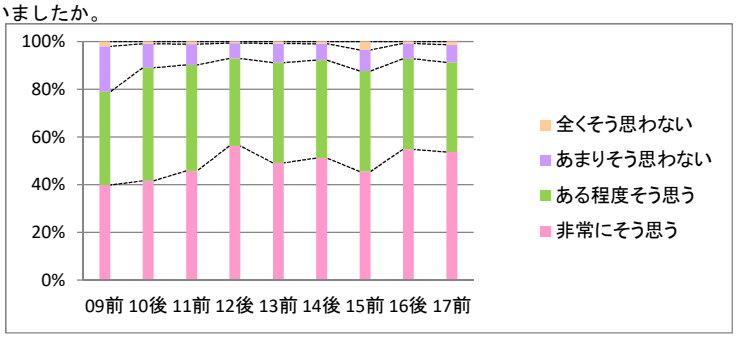
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	46.0%	43.7%	9.0%	1.3%
10後	48.9%	45.8%	4.7%	0.7%
11前	50.9%	43.4%	4.4%	1.2%
12後	59.6%	35.8%	4.0%	0.6%
13前	53.7%	40.4%	5.7%	0.2%
14後	53.0%	42.2%	4.4%	0.4%
15前	50.8%	40.0%	6.8%	2.4%
16後	56.6%	40.1%	3.1%	0.3%
17前	58.4%	36.3%	4.5%	0.8%



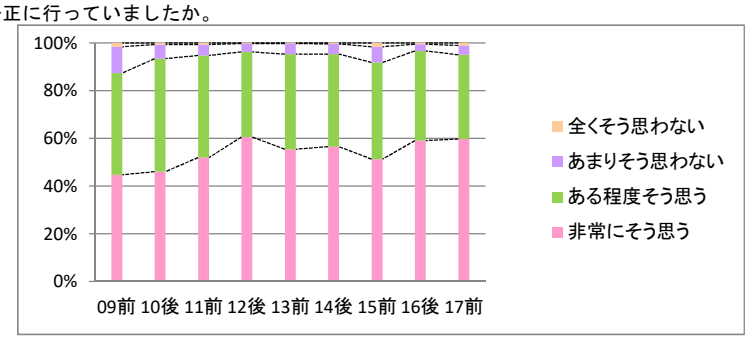
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	39.9%	38.9%	19.1%	2.0%
10後	41.7%	47.3%	10.1%	0.9%
11前	45.7%	44.5%	8.7%	1.1%
12後	56.2%	36.7%	6.5%	0.6%
13前	49.2%	42.0%	8.1%	0.8%
14後	51.1%	41.1%	6.9%	0.9%
15前	45.6%	42.1%	9.0%	3.4%
16後	54.8%	38.0%	6.4%	0.8%
17前	53.7%	37.6%	7.4%	1.3%



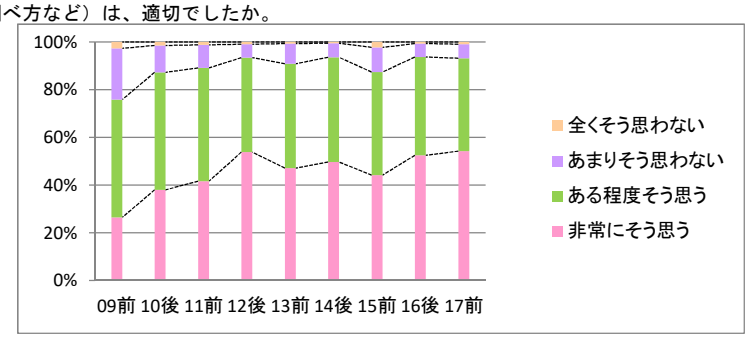
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	44.7%	42.7%	11.0%	1.7%
10後	46.0%	47.4%	5.9%	0.7%
11前	52.0%	42.7%	4.7%	0.7%
12後	60.5%	35.7%	3.5%	0.4%
13前	55.4%	39.9%	4.5%	0.3%
14後	56.5%	38.7%	4.3%	0.4%
15前	51.2%	40.6%	6.5%	1.7%
16後	59.0%	37.6%	2.9%	0.6%
17前	59.7%	35.3%	3.8%	1.1%



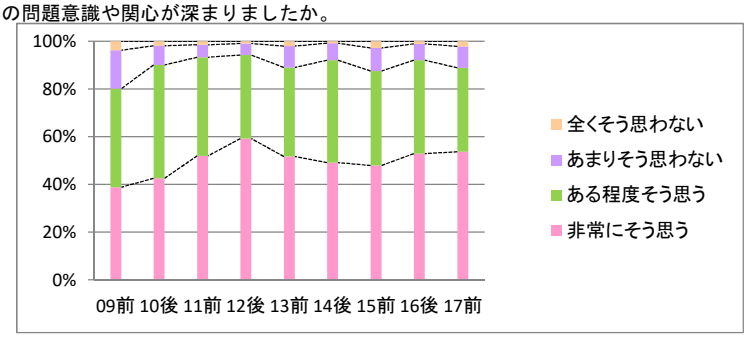
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	26.5%	49.3%	21.5%	2.7%
10後	38.0%	49.3%	11.2%	1.5%
11前	41.7%	47.5%	9.6%	1.1%
12後	53.8%	39.6%	5.7%	0.9%
13前	47.1%	43.8%	8.5%	0.6%
14後	49.7%	44.0%	5.9%	0.5%
15前	44.2%	43.2%	10.3%	2.2%
16後	52.5%	41.2%	5.6%	0.6%
17前	54.3%	38.8%	5.9%	0.9%



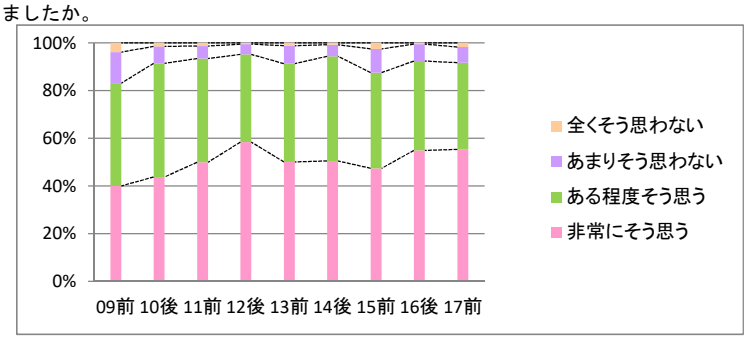
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	38.7%	41.4%	16.2%	3.7%
10後	42.6%	47.5%	8.1%	1.9%
11前	51.9%	41.4%	5.3%	1.5%
12後	59.2%	35.1%	4.7%	1.0%
13前	51.7%	37.3%	9.1%	2.0%
14後	49.2%	42.9%	7.1%	0.8%
15前	48.0%	39.5%	9.8%	2.8%
16後	52.9%	39.3%	6.7%	1.1%
17前	53.7%	35.1%	9.0%	2.2%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

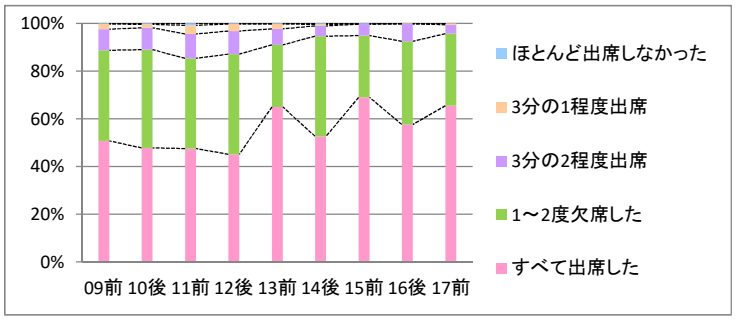
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	40.0%	43.0%	13.0%	4.0%
10後	43.7%	47.6%	7.1%	1.5%
11前	50.0%	43.4%	5.3%	1.4%
12後	58.3%	36.9%	4.2%	0.6%
13前	50.1%	41.1%	7.5%	1.3%
14後	50.4%	44.0%	4.7%	0.9%
15前	47.4%	40.2%	9.9%	2.5%
16後	54.9%	37.4%	7.0%	0.6%
17前	55.3%	36.4%	6.6%	1.8%



＜数学専攻＞　※2009年度は数理学科のデータを反映

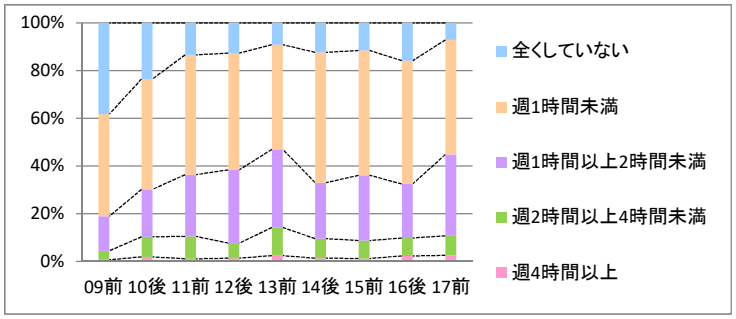
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	50.8%	37.9%	8.9%	2.2%	0.2%
10後	47.8%	41.2%	9.2%	1.5%	0.4%
11前	47.5%	37.9%	10.1%	3.7%	0.7%
12後	45.1%	42.0%	9.7%	2.9%	0.2%
13前	65.0%	26.1%	6.6%	2.1%	0.2%
14後	52.7%	42.0%	4.3%	0.7%	0.3%
15前	69.0%	26.0%	4.8%	0.0%	0.2%
16後	57.5%	34.9%	7.3%	0.3%	0.0%
17前	65.6%	30.1%	3.8%	0.5%	0.0%



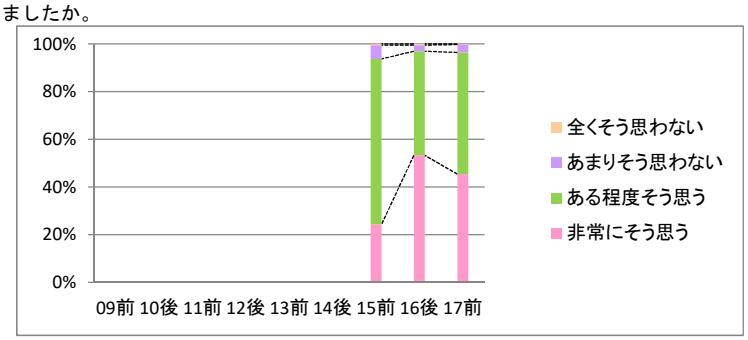
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.6%	3.8%	14.5%	42.9%	38.3%
10後	1.8%	8.5%	19.9%	46.3%	23.5%
11前	1.0%	9.5%	25.9%	50.2%	13.4%
12後	1.2%	6.4%	30.8%	48.9%	12.7%
13前	2.3%	11.9%	32.7%	43.9%	9.2%
14後	1.3%	8.1%	23.6%	54.5%	12.5%
15前	1.2%	7.5%	27.4%	52.4%	11.5%
16後	2.3%	7.5%	22.6%	51.8%	15.8%
17前	2.6%	8.2%	34.0%	48.1%	7.2%



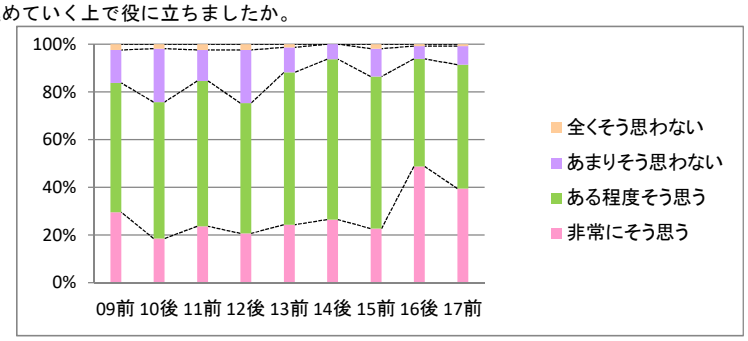
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	24.4%	69.3%	5.8%	0.5%
16後	53.4%	43.6%	2.5%	0.5%
17前	45.5%	51.0%	3.3%	0.3%



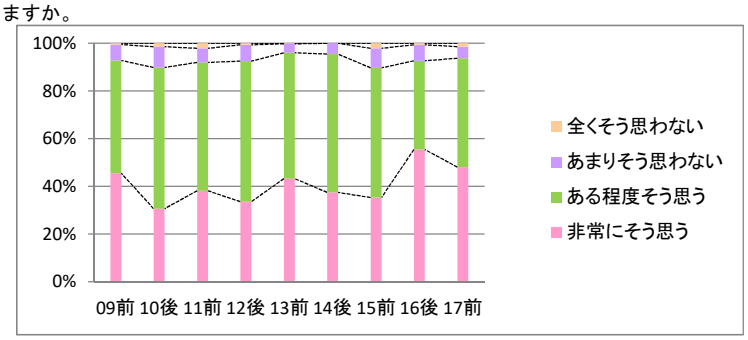
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	29.5%	54.2%	13.9%	2.4%
10後	18.5%	57.2%	22.5%	1.8%
11前	23.6%	61.0%	12.9%	2.5%
12後	20.6%	54.6%	22.3%	2.4%
13前	24.3%	63.9%	10.5%	1.4%
14後	26.4%	67.2%	6.4%	0.0%
15前	22.7%	63.8%	11.6%	1.9%
16後	48.8%	45.0%	5.5%	0.8%
17前	39.5%	51.9%	7.8%	0.8%



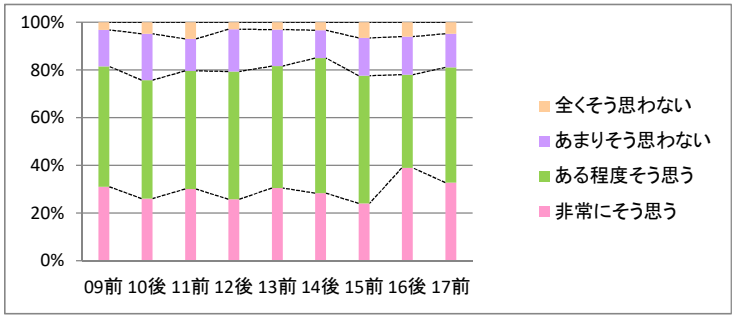
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	45.5%	47.3%	6.7%	0.6%
10後	30.5%	59.2%	8.8%	1.5%
11前	38.1%	53.7%	5.9%	2.2%
12後	33.5%	59.0%	6.8%	0.7%
13前	43.2%	52.7%	3.7%	0.4%
14後	37.5%	57.9%	4.7%	0.0%
15前	35.3%	54.3%	8.2%	2.2%
16後	55.4%	37.2%	6.7%	0.7%
17前	48.0%	45.7%	4.8%	1.5%



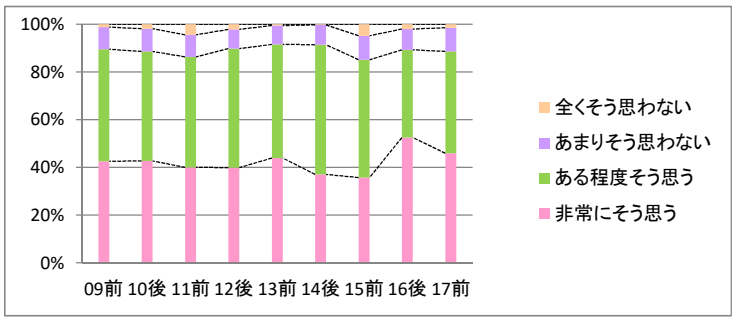
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	31.0%	50.5%	15.3%	3.2%
10後	26.1%	49.6%	19.5%	4.8%
11前	30.0%	49.6%	13.4%	6.9%
12後	25.8%	53.5%	17.8%	2.9%
13前	30.5%	51.2%	15.2%	3.1%
14後	28.3%	56.7%	11.7%	3.3%
15前	24.1%	53.5%	15.9%	6.5%
16後	38.9%	39.2%	16.0%	6.0%
17前	32.8%	48.2%	14.1%	4.8%



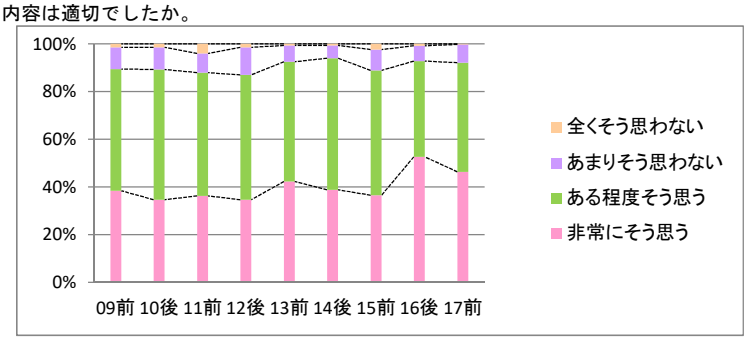
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	42.6%	46.9%	9.2%	1.3%
10後	42.6%	46.0%	9.6%	1.8%
11前	40.0%	46.4%	9.2%	4.5%
12後	39.8%	50.0%	8.0%	2.2%
13前	43.8%	47.7%	7.8%	0.6%
14後	37.0%	54.3%	8.3%	0.3%
15前	35.7%	49.4%	10.1%	4.8%
16後	52.5%	36.8%	8.8%	2.0%
17前	46.0%	42.7%	9.8%	1.5%



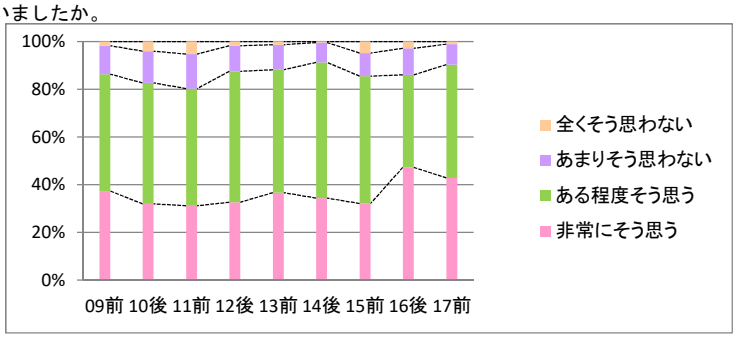
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	38.4%	51.0%	9.2%	1.4%
10後	34.7%	54.6%	9.2%	1.5%
11前	36.3%	51.8%	8.0%	4.0%
12後	34.6%	52.4%	11.5%	1.5%
13前	42.4%	50.2%	6.8%	0.6%
14後	38.8%	55.2%	5.4%	0.7%
15前	36.6%	52.3%	8.7%	2.4%
16後	52.6%	40.1%	6.5%	0.7%
17前	46.3%	45.8%	7.6%	0.3%



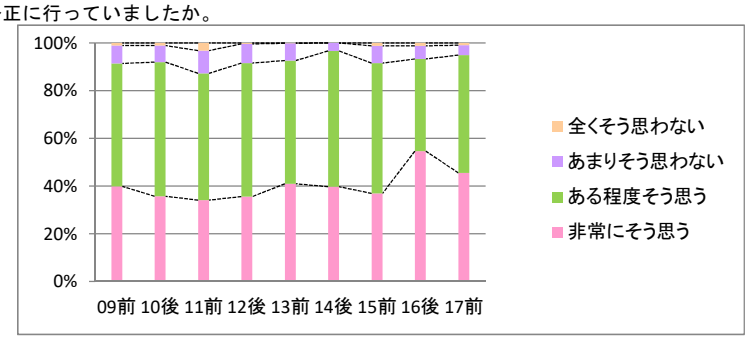
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	37.3%	49.0%	12.0%	1.7%
10後	32.0%	50.7%	13.2%	4.0%
11前	31.2%	49.1%	14.5%	5.2%
12後	32.7%	54.9%	10.7%	1.7%
13前	36.7%	51.6%	10.4%	1.4%
14後	34.3%	57.0%	8.3%	0.3%
15前	32.0%	53.5%	9.6%	4.8%
16後	47.3%	38.8%	11.3%	2.8%
17前	42.8%	47.6%	8.6%	1.0%



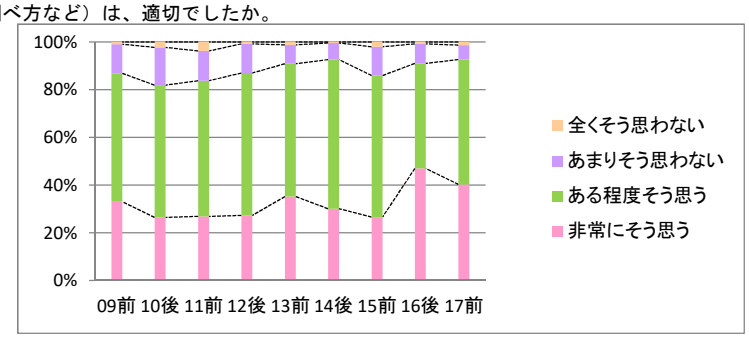
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	39.9%	51.5%	7.5%	1.1%
10後	35.7%	56.3%	7.0%	1.1%
11前	34.1%	53.1%	9.5%	3.3%
12後	35.5%	56.0%	8.0%	0.5%
13前	40.9%	51.7%	7.2%	0.2%
14後	39.7%	57.0%	3.3%	0.0%
15前	37.0%	54.6%	7.2%	1.2%
16後	54.6%	38.7%	5.5%	1.2%
17前	45.4%	49.5%	4.1%	1.0%



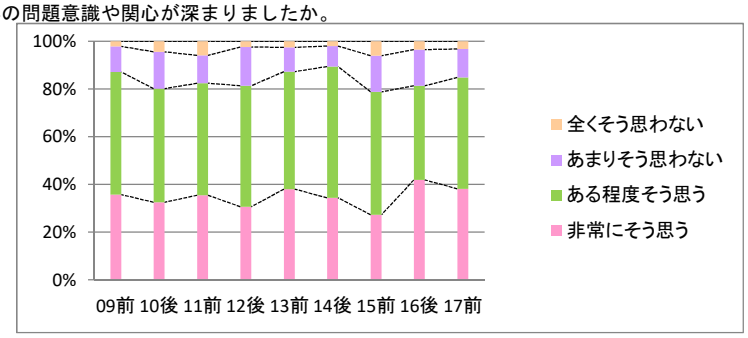
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.0%	53.9%	12.2%	0.9%
10後	26.5%	55.5%	15.8%	2.2%
11前	26.9%	56.9%	12.5%	3.7%
12後	27.3%	59.8%	12.2%	0.7%
13前	35.2%	55.8%	7.9%	1.2%
14後	30.1%	62.5%	7.0%	0.3%
15前	26.6%	59.3%	12.1%	1.9%
16後	47.0%	44.0%	8.3%	0.8%
17前	40.4%	52.3%	6.1%	1.3%



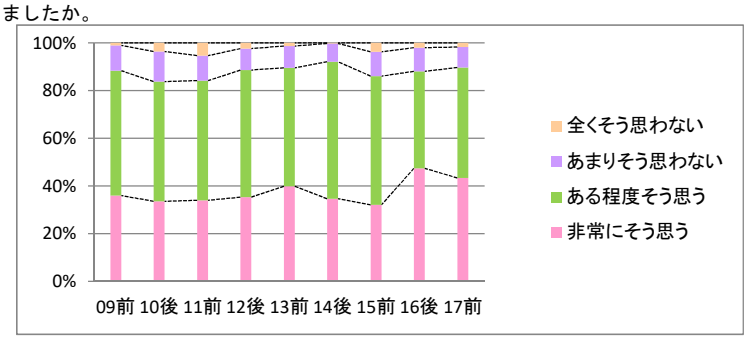
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	35.7%	51.4%	10.8%	2.2%
10後	32.5%	47.6%	15.5%	4.4%
11前	35.5%	46.9%	11.7%	6.0%
12後	30.6%	50.7%	16.3%	2.4%
13前	37.9%	49.3%	10.2%	2.6%
14後	34.3%	55.0%	8.7%	2.0%
15前	27.2%	51.6%	15.2%	6.0%
16後	41.9%	39.4%	15.2%	3.5%
17前	38.1%	46.7%	11.9%	3.3%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

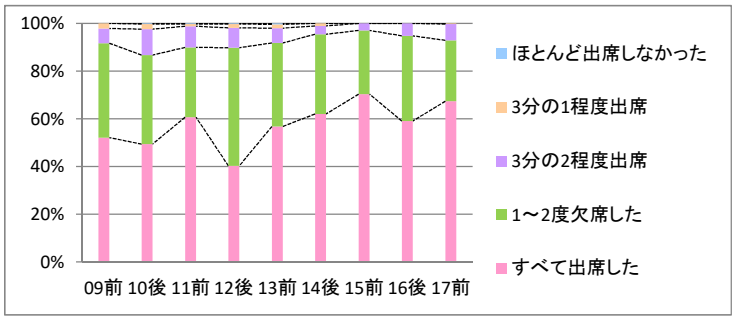
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	35.9%	52.4%	10.6%	1.1%
10後	33.6%	50.2%	12.5%	3.7%
11前	34.0%	50.1%	10.4%	5.5%
12後	35.3%	53.3%	9.0%	2.4%
13前	39.9%	49.6%	9.1%	1.4%
14後	34.7%	57.3%	7.7%	0.3%
15前	32.0%	54.0%	10.1%	3.9%
16後	47.4%	40.6%	10.0%	2.0%
17前	43.3%	46.3%	8.6%	1.8%



＜情報理学専攻＞

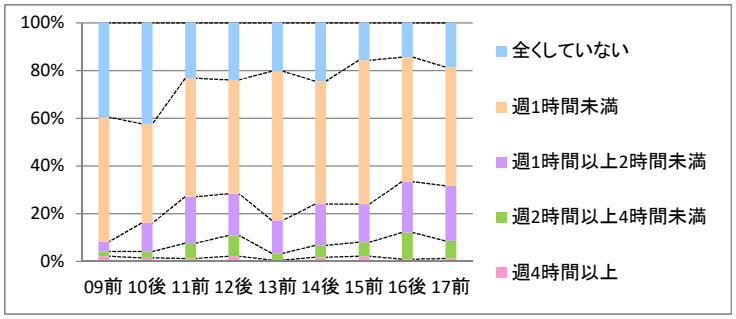
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	52.1%	39.6%	6.3%	2.1%	0.0%
10後	49.5%	37.3%	10.8%	2.2%	0.3%
11前	60.7%	29.2%	8.9%	0.9%	0.2%
12後	40.2%	49.5%	8.3%	1.7%	0.2%
13前	56.8%	35.0%	6.2%	1.5%	0.4%
14後	62.1%	33.3%	3.5%	1.1%	0.0%
15前	70.3%	26.7%	3.0%	0.0%	0.0%
16後	59.1%	35.8%	5.2%	0.0%	0.0%
17前	67.4%	25.5%	6.8%	0.2%	0.0%



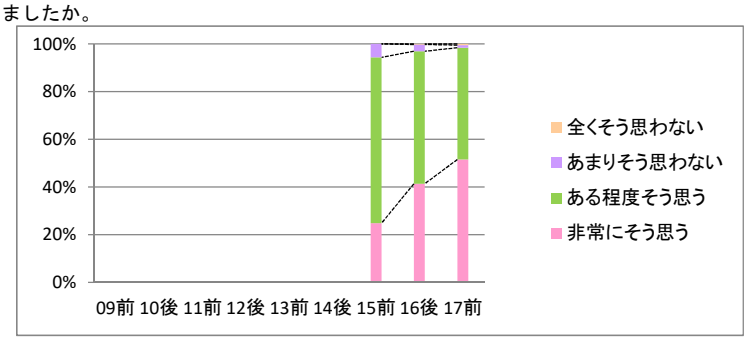
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	2.1%	2.1%	4.2%	52.1%	39.6%
10後	1.4%	2.7%	11.9%	41.7%	42.3%
11前	1.2%	6.4%	19.5%	49.6%	23.3%
12後	2.2%	8.6%	17.5%	47.8%	23.9%
13前	0.4%	2.9%	13.9%	62.6%	20.3%
14後	1.7%	5.0%	17.3%	51.5%	24.5%
15前	2.1%	5.9%	16.0%	60.2%	15.7%
16後	0.9%	11.1%	21.3%	52.2%	14.4%
17前	1.1%	7.3%	23.2%	49.8%	18.6%



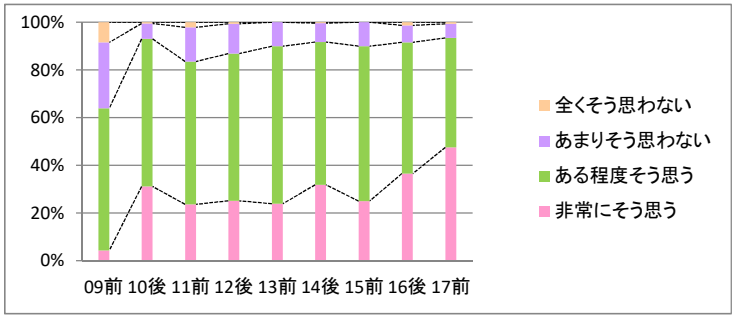
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
10後				
11前				
12後				
13前				
14後				
15前	24.9%	69.4%	5.6%	0.0%
16後	41.4%	55.5%	2.8%	0.2%
17前	51.6%	46.8%	1.1%	0.5%



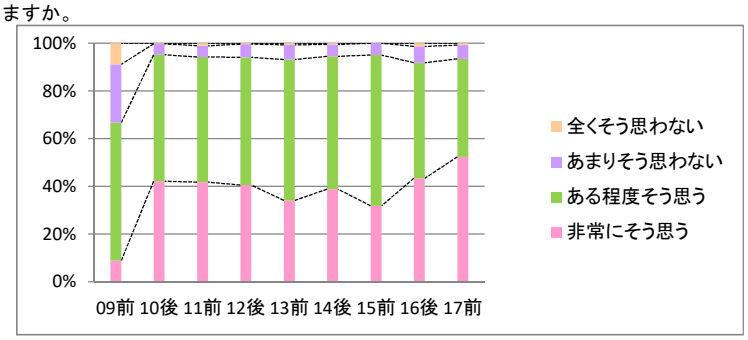
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	4.3%	59.6%	27.7%	8.5%
10後	31.1%	61.9%	6.5%	0.5%
11前	23.5%	59.9%	14.5%	2.1%
12後	25.1%	61.8%	12.4%	0.7%
13前	23.9%	66.0%	10.1%	0.0%
14後	31.8%	59.9%	7.9%	0.4%
15前	24.9%	65.0%	10.1%	0.0%
16後	36.5%	55.1%	7.1%	1.4%
17前	47.5%	45.9%	5.9%	0.7%



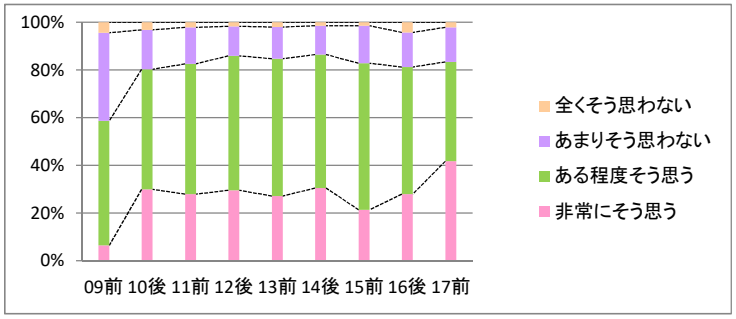
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	8.9%	57.8%	24.4%	8.9%
10後	42.2%	53.0%	4.6%	0.3%
11前	41.7%	52.5%	4.7%	1.2%
12後	40.4%	53.6%	5.5%	0.5%
13前	34.1%	59.0%	6.2%	0.7%
14後	38.7%	55.8%	5.0%	0.6%
15前	31.8%	63.2%	5.0%	0.0%
16後	43.3%	48.5%	6.8%	1.4%
17前	52.3%	41.1%	5.7%	0.9%



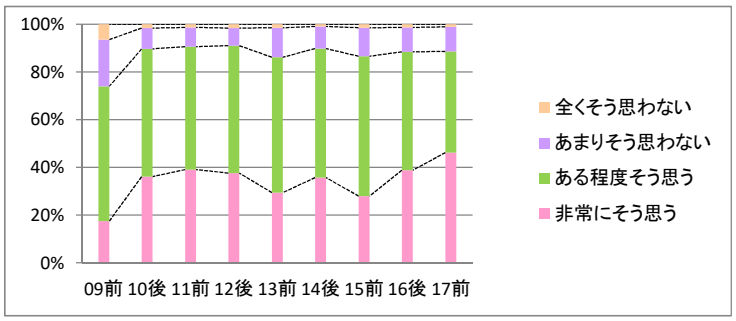
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	6.5%	52.2%	37.0%	4.3%
10後	29.9%	50.4%	16.4%	3.2%
11前	27.9%	54.7%	15.3%	2.1%
12後	29.5%	56.4%	12.4%	1.7%
13前	27.2%	57.5%	13.3%	2.0%
14後	30.5%	55.9%	12.1%	1.5%
15前	21.4%	61.4%	15.7%	1.5%
16後	28.0%	53.2%	14.6%	4.2%
17前	41.8%	41.6%	14.6%	2.1%



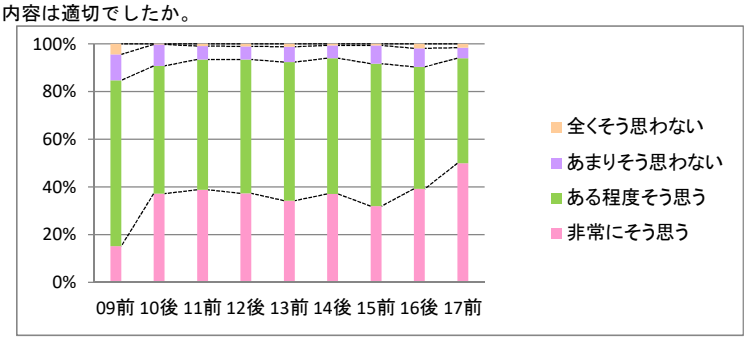
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	17.4%	56.5%	19.6%	6.5%
10後	36.0%	53.7%	8.7%	1.6%
11前	39.1%	51.5%	8.0%	1.4%
12後	37.5%	53.4%	7.4%	1.7%
13前	29.4%	56.8%	12.2%	1.6%
14後	35.6%	54.1%	9.3%	0.9%
15前	28.0%	58.6%	11.9%	1.5%
16後	38.8%	49.6%	10.1%	1.4%
17前	46.2%	42.3%	10.3%	1.1%



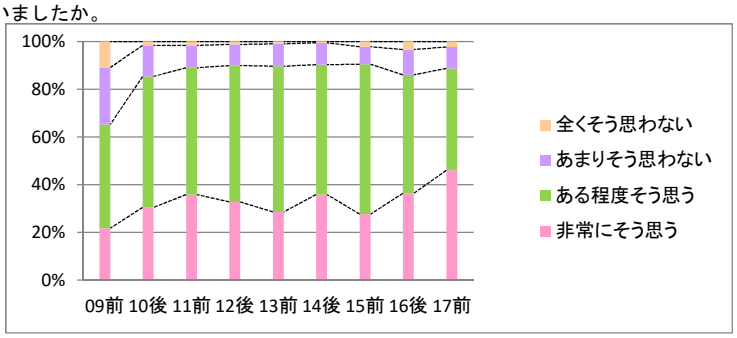
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	15.2%	69.6%	10.9%	4.3%
10後	37.3%	53.5%	8.9%	0.3%
11前	38.9%	54.6%	5.6%	0.9%
12後	37.4%	56.1%	5.5%	1.0%
13前	34.2%	58.2%	6.4%	1.1%
14後	37.1%	56.9%	5.5%	0.5%
15前	32.0%	59.6%	7.7%	0.6%
16後	39.3%	51.1%	7.8%	1.9%
17前	50.0%	44.1%	4.3%	1.6%



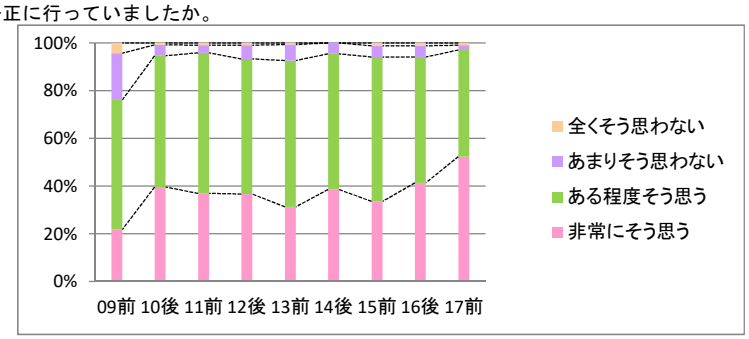
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	21.7%	43.5%	23.9%	10.9%
10後	30.5%	54.9%	13.0%	1.6%
11前	35.9%	53.1%	9.3%	1.6%
12後	32.7%	57.3%	8.8%	1.2%
13前	28.6%	61.2%	9.4%	0.9%
14後	35.8%	54.5%	9.1%	0.5%
15前	27.6%	62.9%	7.4%	2.1%
16後	36.3%	49.8%	10.6%	3.3%
17前	46.0%	42.8%	8.9%	2.3%



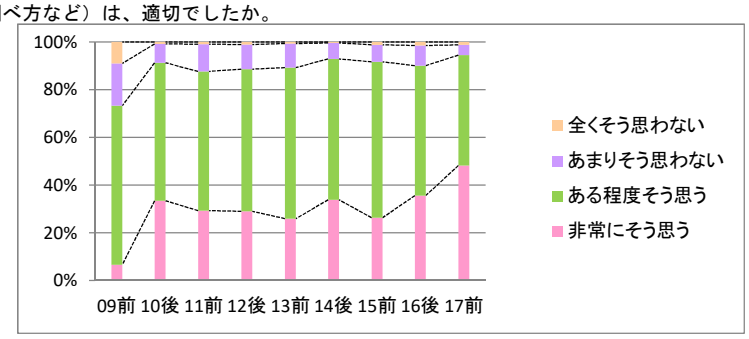
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	21.7%	54.3%	19.6%	4.3%
10後	39.6%	55.0%	4.6%	0.8%
11前	36.9%	58.8%	3.3%	0.9%
12後	36.6%	56.7%	5.7%	1.0%
13前	31.3%	61.4%	6.7%	0.7%
14後	38.5%	57.0%	4.6%	0.0%
15前	33.5%	60.5%	4.7%	1.2%
16後	41.3%	52.8%	4.7%	1.2%
17前	52.3%	44.7%	2.1%	0.9%



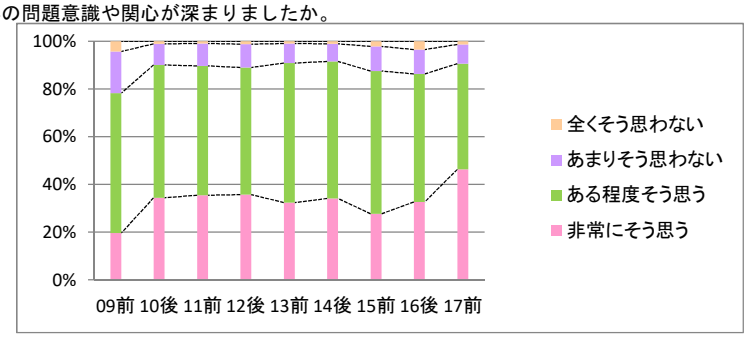
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	6.7%	66.7%	17.8%	8.9%
10後	33.4%	58.0%	7.8%	0.8%
11前	29.2%	58.5%	11.3%	0.9%
12後	29.1%	59.6%	10.3%	1.0%
13前	26.0%	63.3%	10.1%	0.7%
14後	33.9%	59.1%	6.6%	0.4%
15前	26.4%	65.3%	7.1%	1.2%
16後	35.6%	54.5%	8.5%	1.4%
17前	48.2%	46.3%	4.4%	1.1%



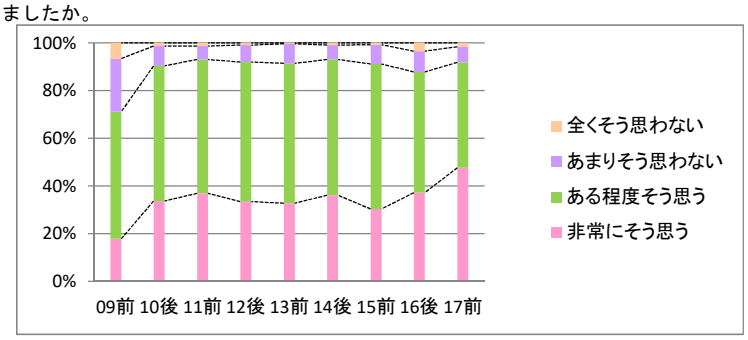
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	19.6%	58.7%	17.4%	4.3%
10後	34.3%	55.7%	8.9%	1.1%
11前	35.4%	54.2%	9.4%	0.9%
12後	35.7%	53.3%	9.8%	1.2%
13前	32.4%	58.5%	8.3%	0.9%
14後	34.1%	57.5%	7.3%	1.1%
15前	27.7%	59.8%	10.4%	2.1%
16後	32.5%	53.8%	10.1%	3.5%
17前	46.3%	44.3%	8.0%	1.4%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

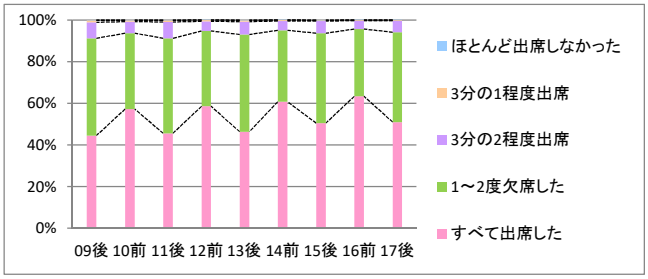
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	17.8%	53.3%	22.2%	6.7%
10後	33.7%	56.6%	8.4%	1.3%
11前	36.9%	56.0%	5.6%	1.4%
12後	33.3%	58.5%	7.2%	1.0%
13前	32.7%	58.7%	8.2%	0.4%
14後	36.0%	57.0%	6.1%	0.9%
15前	30.3%	60.8%	8.0%	0.9%
16後	37.2%	50.6%	8.7%	3.5%
17前	47.6%	44.2%	6.6%	1.6%



＜全学共通カリキュラム等（学科科目以外）　全体＞

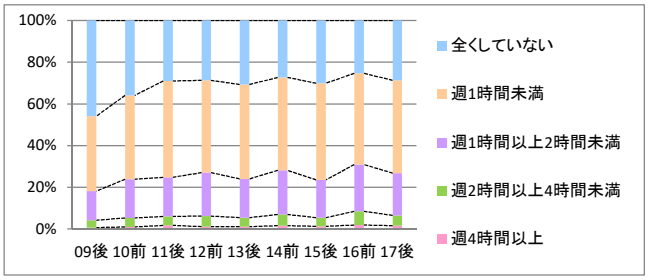
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	44.5%	46.7%	7.8%	0.9%	0.2%
10前	57.3%	36.4%	5.5%	0.6%	0.1%
11後	45.6%	45.6%	7.9%	0.8%	0.2%
12前	58.7%	36.1%	4.6%	0.5%	0.1%
13後	46.4%	46.7%	6.2%	0.6%	0.1%
14前	60.8%	34.4%	4.5%	0.3%	0.1%
15後	50.5%	43.2%	5.9%	0.4%	0.1%
16前	63.4%	32.3%	3.9%	0.3%	0.1%
17後	51.0%	43.2%	5.5%	0.3%	0.0%



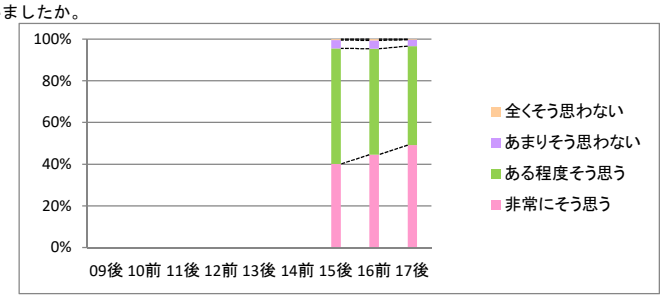
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.7%	3.5%	14.1%	35.9%	45.9%
10前	0.9%	4.3%	18.6%	40.1%	36.0%
11後	1.7%	4.3%	18.8%	46.2%	29.0%
12前	1.1%	5.1%	20.8%	44.2%	28.8%
13後	1.1%	4.3%	18.5%	45.3%	30.8%
14前	1.6%	5.4%	21.2%	44.5%	27.3%
15後	1.2%	4.1%	18.2%	46.3%	30.1%
16前	2.0%	6.5%	22.5%	43.7%	25.3%
17後	1.5%	4.9%	20.2%	44.6%	28.7%



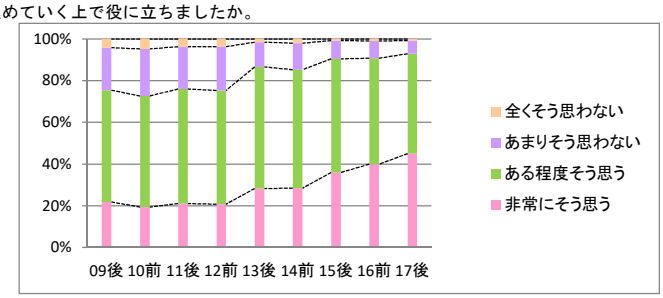
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	40.1%	55.4%	4.0%	0.4%
16前	44.6%	50.8%	4.0%	0.6%
17後	49.2%	47.4%	3.1%	0.3%



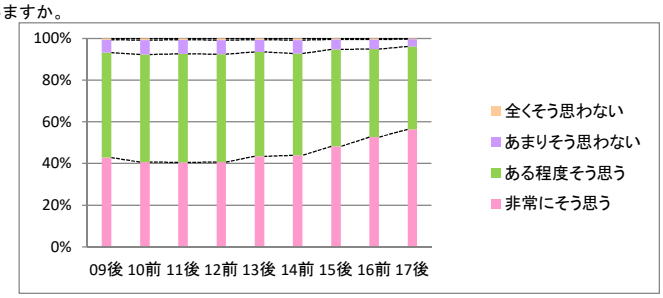
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	21.8%	53.6%	20.3%	4.2%
10前	19.4%	53.3%	22.4%	4.9%
11後	21.0%	55.0%	20.3%	3.7%
12前	20.7%	54.4%	21.1%	3.7%
13後	28.2%	58.4%	11.8%	1.6%
14前	28.5%	56.8%	12.7%	2.0%
15後	35.9%	54.5%	8.7%	0.9%
16前	40.0%	50.8%	8.3%	1.0%
17後	45.0%	47.9%	6.4%	0.8%



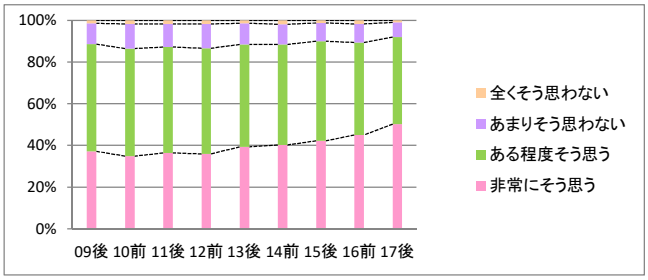
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	42.9%	50.3%	6.1%	0.7%
10前	40.6%	51.6%	6.9%	0.8%
11後	40.5%	52.0%	6.7%	0.7%
12前	40.7%	51.7%	6.7%	0.8%
13後	43.5%	50.0%	5.8%	0.7%
14前	43.9%	48.9%	6.5%	0.8%
15後	48.2%	46.6%	4.7%	0.5%
16前	52.6%	42.3%	4.6%	0.5%
17後	56.3%	39.9%	3.5%	0.4%



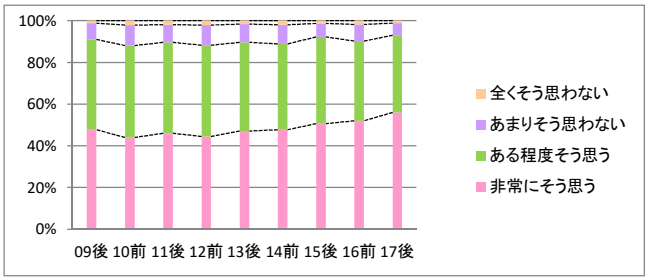
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	37.1%	51.5%	9.9%	1.5%
10前	34.8%	51.6%	11.8%	1.8%
11後	36.4%	50.8%	11.1%	1.7%
12前	36.0%	50.7%	11.5%	1.8%
13後	39.2%	49.2%	10.2%	1.4%
14前	40.2%	48.1%	9.8%	1.8%
15後	42.2%	47.8%	8.7%	1.3%
16前	45.0%	44.3%	8.9%	1.7%
17後	50.2%	41.8%	7.0%	1.0%



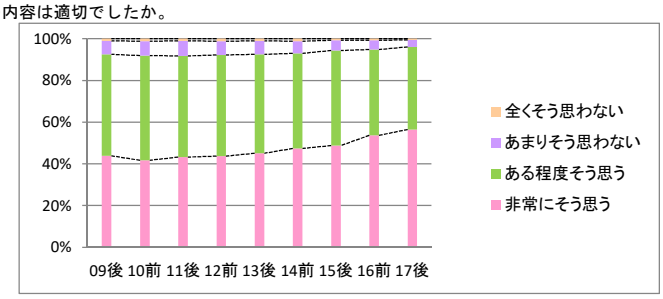
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	47.6%	43.4%	7.7%	1.2%
10前	44.0%	44.1%	9.9%	2.0%
11後	46.1%	43.6%	8.5%	1.9%
12前	44.5%	43.7%	9.7%	2.1%
13後	47.0%	42.6%	8.8%	1.6%
14前	47.8%	41.1%	9.2%	2.0%
15後	50.6%	41.7%	6.4%	1.3%
16前	52.0%	38.3%	7.9%	1.8%
17後	56.0%	37.0%	5.8%	1.1%



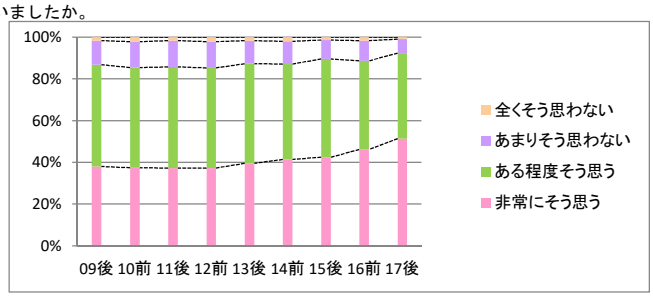
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.8%	48.6%	6.5%	1.1%
10前	41.6%	50.3%	6.9%	1.2%
11後	43.2%	48.6%	7.1%	1.1%
12前	43.7%	48.5%	6.7%	1.1%
13後	45.1%	47.4%	6.5%	1.0%
14前	47.4%	45.6%	5.9%	1.1%
15後	48.7%	45.6%	5.0%	0.7%
16前	53.7%	41.1%	4.4%	0.8%
17後	56.4%	39.6%	3.4%	0.5%



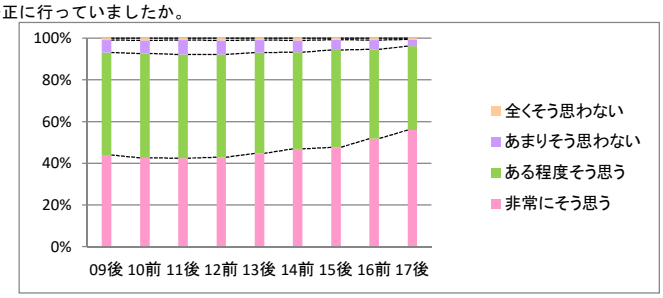
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	38.0%	48.8%	11.4%	1.7%
10前	37.4%	48.1%	12.5%	2.1%
11後	37.2%	48.6%	12.6%	1.7%
12前	37.2%	48.1%	12.5%	2.2%
13後	39.6%	47.7%	11.2%	1.6%
14前	41.4%	45.8%	10.8%	2.0%
15後	42.5%	47.1%	8.9%	1.4%
16前	46.2%	42.6%	9.6%	1.7%
17後	51.4%	41.0%	6.8%	0.9%



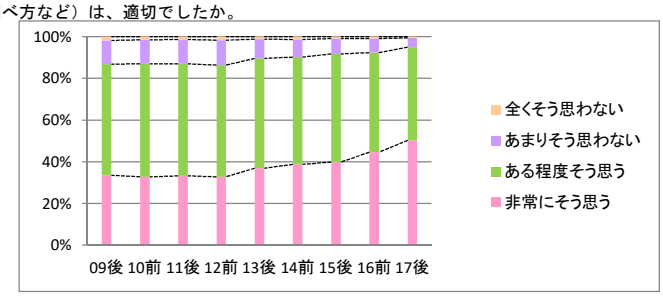
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	44.0%	49.1%	6.1%	0.8%
10前	42.6%	50.1%	6.3%	1.1%
11後	42.4%	49.7%	7.0%	0.9%
12前	42.9%	49.3%	6.8%	1.1%
13後	44.7%	48.3%	6.0%	1.0%
14前	46.9%	46.4%	5.6%	1.1%
15後	47.7%	46.6%	4.9%	0.8%
16前	51.9%	42.7%	4.5%	0.9%
17後	56.0%	40.1%	3.3%	0.6%



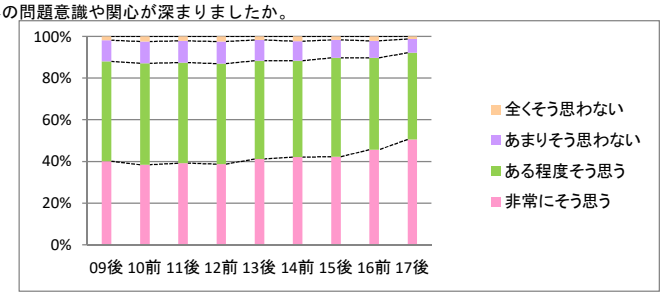
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	33.5%	53.3%	11.5%	1.8%
10前	32.8%	54.2%	11.4%	1.6%
11後	33.3%	53.7%	11.7%	1.4%
12前	32.8%	53.6%	12.0%	1.7%
13後	36.9%	52.8%	9.2%	1.2%
14前	38.8%	51.4%	8.5%	1.4%
15後	39.9%	51.9%	7.3%	0.9%
16前	44.6%	47.8%	6.7%	0.9%
17後	50.3%	44.7%	4.5%	0.6%



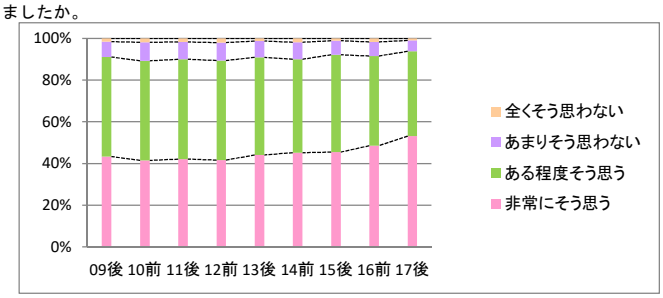
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	40.1%	47.8%	10.2%	1.9%
10前	38.4%	48.8%	10.4%	2.4%
11後	39.3%	48.2%	10.4%	2.2%
12前	38.7%	48.2%	10.7%	2.4%
13後	41.2%	47.0%	10.1%	1.7%
14前	42.1%	46.2%	9.4%	2.4%
15後	42.3%	47.4%	8.7%	1.7%
16前	45.6%	44.0%	8.1%	2.2%
17後	50.5%	41.6%	6.6%	1.3%



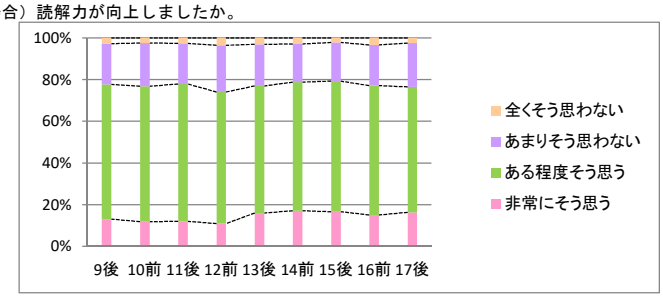
設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.3%	47.8%	7.4%	1.5%
10前	41.4%	47.8%	8.9%	1.9%
11後	42.1%	48.0%	8.3%	1.7%
12前	41.5%	47.9%	8.6%	2.0%
13後	44.1%	46.7%	7.8%	1.3%
14前	45.1%	44.8%	8.2%	1.9%
15後	45.5%	46.7%	6.7%	1.2%
16前	48.5%	42.9%	6.8%	1.8%
17後	53.2%	40.7%	5.2%	1.0%



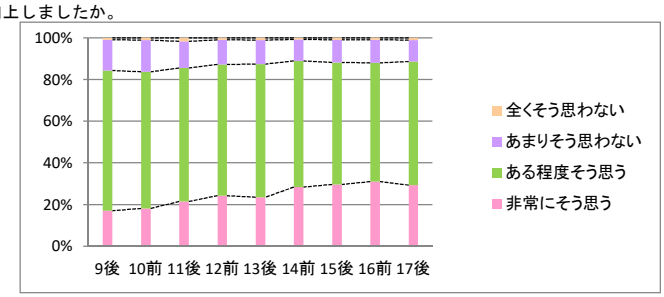
設問13 （この授業が英語ReadingⅠ又はReadingⅡの場合）読解力が向上しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後	13.1%	64.7%	19.5%	2.8%
10前	11.9%	64.8%	20.8%	2.5%
11後	12.0%	65.8%	19.5%	2.6%
12前	11.0%	63.0%	22.4%	3.6%
13後	16.0%	60.9%	20.0%	3.1%
14前	17.1%	61.7%	18.3%	2.9%
15後	16.6%	62.6%	18.7%	2.2%
16前	15.0%	62.0%	19.6%	3.4%
17後	16.3%	60.2%	21.1%	2.5%



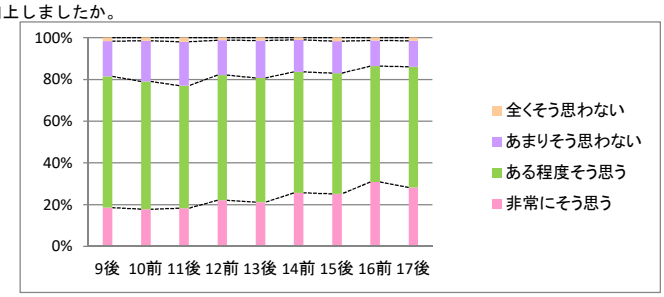
設問14 （この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後	17.0%	67.2%	14.8%	0.9%
10前	18.1%	65.6%	15.2%	1.1%
11後	21.5%	64.0%	12.8%	1.7%
12前	24.3%	63.0%	11.8%	0.9%
13後	23.4%	63.9%	11.6%	1.1%
14前	28.4%	60.5%	10.3%	0.8%
15後	29.6%	58.6%	10.9%	1.0%
16前	31.0%	57.0%	10.9%	1.1%
17後	29.3%	59.2%	10.4%	1.1%



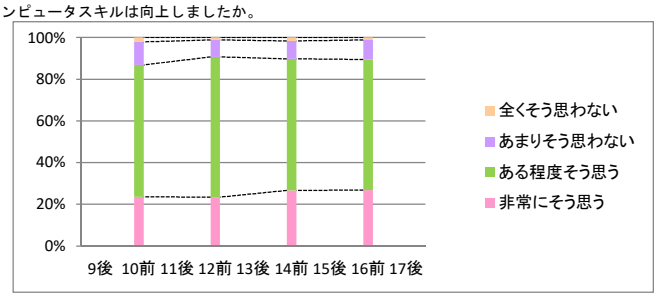
設問15 （この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後	18.6%	62.9%	16.9%	1.6%
10前	17.8%	61.2%	19.5%	1.5%
11後	18.2%	58.8%	21.0%	2.0%
12前	22.0%	60.0%	16.7%	1.2%
13後	21.1%	59.6%	18.0%	1.3%
14前	25.7%	58.0%	15.3%	1.0%
15後	25.1%	57.9%	15.3%	1.7%
16前	30.8%	55.6%	12.4%	1.2%
17後	28.3%	57.8%	12.5%	1.4%



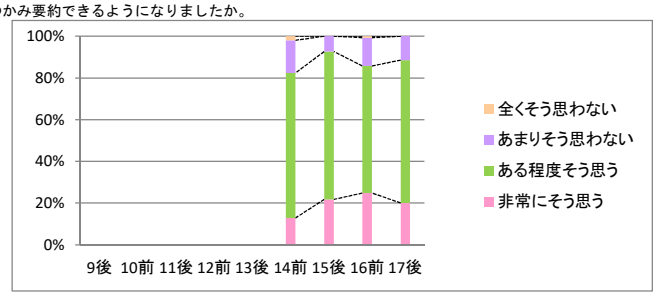
設問16 （この授業が情報処理技法（リテラシ）Ｉの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後				
10前	23.5%	63.3%	11.2%	2.0%
11後				
12前	23.5%	67.3%	8.1%	1.2%
13後				
14前	26.7%	63.1%	8.6%	1.6%
15後				
16前	26.9%	62.7%	9.2%	1.2%
17後				



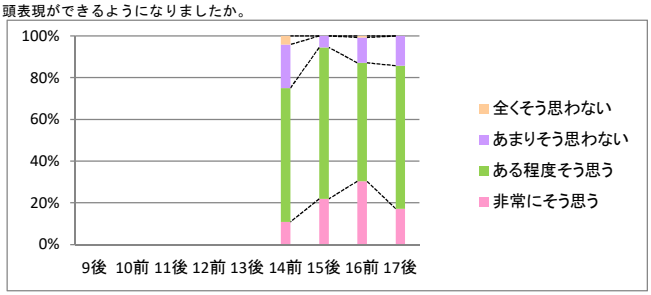
設問17 (この授業が日本語表現法Ｉの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前	12.8%	69.6%	15.5%	2.0%
15後	21.8%	70.9%	7.3%	0.0%
16前	24.8%	60.9%	13.5%	0.8%
17後	20.0%	68.6%	11.4%	0.0%



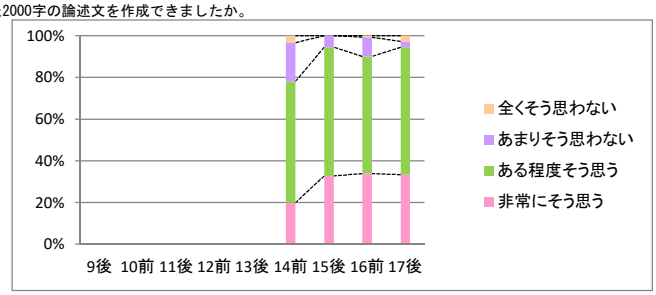
設問18 (この授業が日本語表現法Ｉの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前	10.8%	64.2%	20.9%	4.1%
15後	21.8%	72.7%	5.5%	0.0%
16前	30.3%	56.8%	12.1%	0.8%
17後	17.1%	68.6%	14.3%	0.0%



設問19 (この授業が日本語表現法Ｉの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。

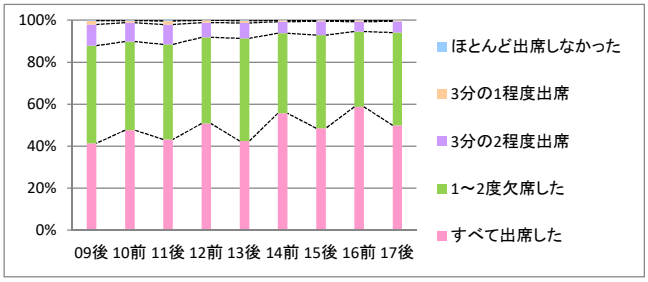
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前	19.9%	58.2%	18.5%	3.4%
15後	32.7%	61.8%	5.5%	0.0%
16前	33.8%	56.2%	9.2%	0.8%
17後	33.3%	61.1%	2.8%	2.8%



＜総合教養科目＞

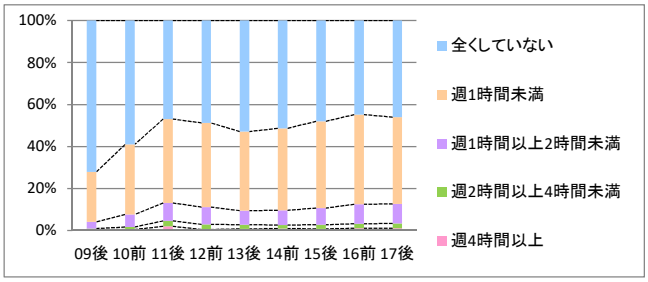
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	41.3%	46.5%	10.1%	1.8%	0.3%
10前	47.6%	42.3%	8.9%	0.9%	0.3%
11後	43.2%	45.2%	9.6%	1.7%	0.3%
12前	50.8%	41.1%	6.9%	1.0%	0.2%
13後	42.4%	49.0%	7.4%	1.1%	0.2%
14前	55.7%	38.1%	5.4%	0.6%	0.1%
15後	48.5%	44.4%	6.5%	0.5%	0.1%
16前	58.7%	35.9%	4.7%	0.6%	0.1%
17後	49.8%	44.3%	5.3%	0.4%	0.1%



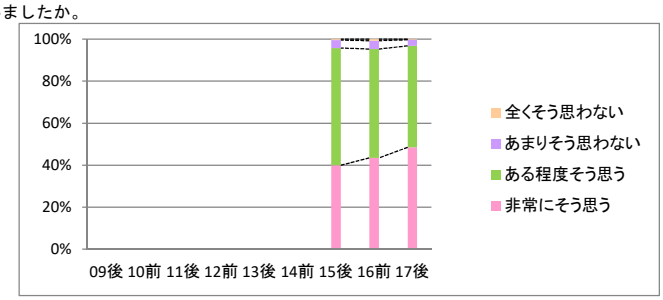
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.5%	0.5%	3.2%	23.8%	72.0%
10前	0.5%	1.3%	5.9%	33.4%	59.0%
11後	2.0%	2.6%	8.5%	39.9%	47.0%
12前	0.6%	2.4%	8.3%	40.1%	48.7%
13後	0.7%	2.0%	6.8%	37.6%	52.9%
14前	0.9%	1.8%	6.9%	39.0%	51.4%
15後	0.9%	2.0%	7.8%	41.3%	48.0%
16前	1.1%	2.1%	9.2%	42.7%	44.8%
17後	1.0%	2.4%	9.2%	41.4%	45.9%



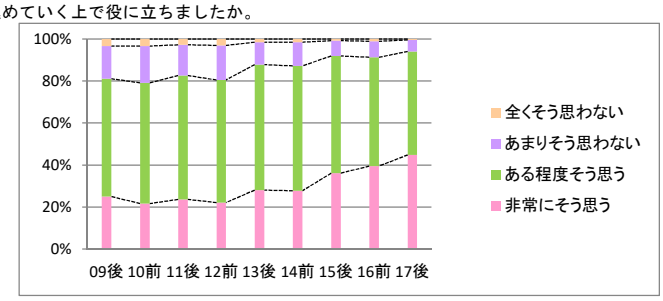
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	40.0%	55.8%	3.8%	0.4%
16前	43.5%	51.7%	4.1%	0.7%
17後	48.6%	48.2%	2.9%	0.3%



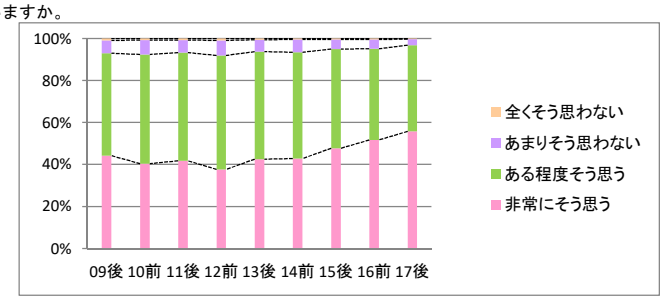
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	25.0%	56.1%	15.6%	3.3%
10前	21.7%	57.4%	17.6%	3.3%
11後	23.6%	59.1%	14.6%	2.7%
12前	22.1%	58.5%	16.3%	3.1%
13後	28.1%	59.7%	10.7%	1.5%
14前	27.7%	59.5%	11.3%	1.5%
15後	36.1%	55.8%	7.3%	0.8%
16前	39.5%	51.8%	7.6%	1.1%
17後	44.9%	49.2%	5.4%	0.5%



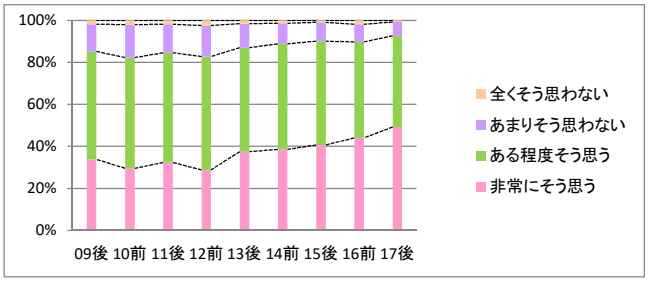
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	44.2%	48.8%	6.1%	0.9%
10前	40.3%	52.0%	6.9%	0.8%
11後	41.8%	51.5%	5.9%	0.8%
12前	37.6%	54.3%	7.3%	0.9%
13後	42.6%	51.2%	5.6%	0.6%
14前	42.8%	50.6%	6.1%	0.5%
15後	47.7%	47.3%	4.6%	0.5%
16前	51.7%	43.4%	4.4%	0.5%
17後	55.8%	41.0%	2.9%	0.3%



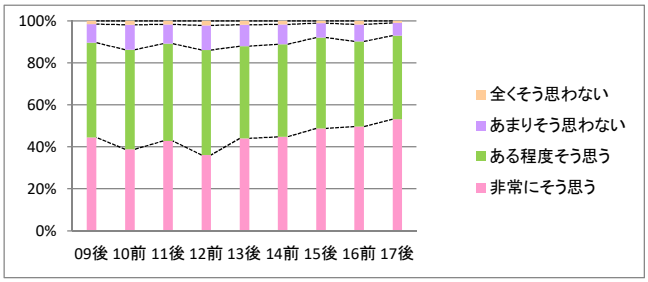
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	33.9%	51.2%	13.0%	1.9%
10前	29.5%	52.7%	15.7%	2.0%
11後	32.3%	52.3%	13.6%	1.8%
12前	28.9%	53.9%	14.8%	2.5%
13後	37.5%	49.6%	11.4%	1.5%
14前	38.6%	50.3%	9.8%	1.3%
15後	40.7%	49.3%	9.0%	0.9%
16前	44.1%	45.6%	8.4%	1.9%
17後	49.2%	43.5%	6.5%	0.8%



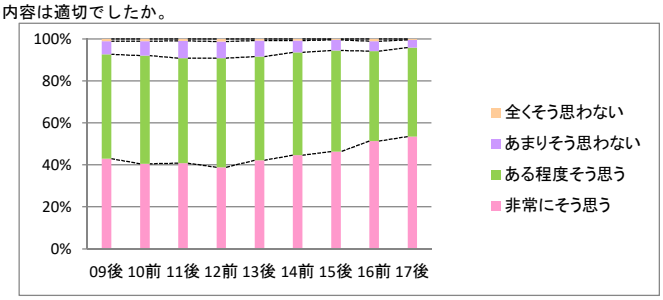
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	44.5%	45.0%	8.9%	1.6%
10前	38.8%	47.4%	11.8%	1.9%
11後	42.9%	46.3%	9.1%	1.8%
12前	36.1%	50.1%	11.6%	2.2%
13後	44.0%	43.8%	10.2%	1.9%
14前	44.7%	44.1%	9.3%	1.8%
15後	48.8%	43.2%	6.9%	1.1%
16前	49.6%	40.7%	8.0%	1.8%
17後	53.2%	39.8%	6.1%	0.9%



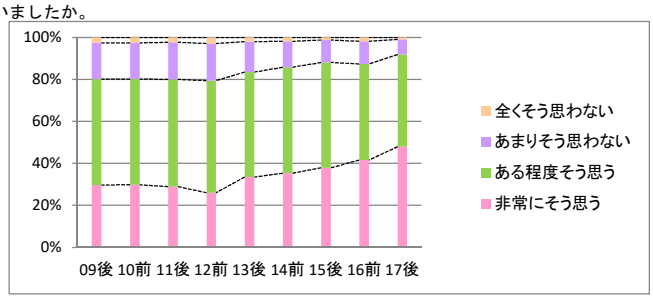
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	42.9%	49.7%	6.3%	1.1%
10前	40.5%	51.5%	6.9%	1.2%
11後	40.8%	50.0%	8.2%	1.0%
12前	38.8%	52.0%	8.0%	1.2%
13後	42.1%	49.4%	7.6%	0.9%
14前	44.5%	49.0%	5.7%	0.7%
15後	46.2%	48.2%	5.1%	0.5%
16前	51.4%	42.8%	4.8%	1.1%
17後	53.5%	42.3%	3.7%	0.5%



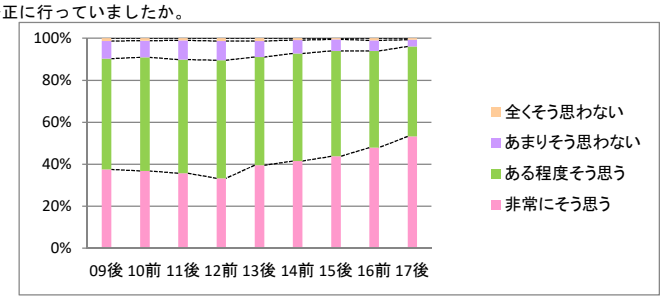
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	29.6%	50.5%	17.1%	2.7%
10前	29.7%	50.4%	17.1%	2.7%
11後	28.9%	51.0%	17.8%	2.3%
12前	26.1%	53.3%	17.7%	2.9%
13後	33.4%	50.0%	14.4%	2.1%
14前	35.3%	50.5%	12.4%	1.9%
15後	37.9%	50.2%	10.6%	1.3%
16前	41.6%	45.7%	10.8%	1.9%
17後	47.9%	43.9%	7.2%	1.0%



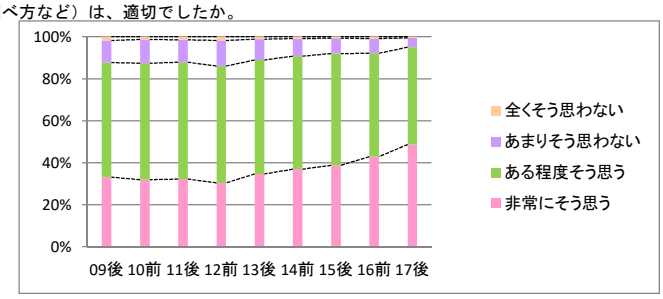
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	37.6%	52.7%	8.5%	1.3%
10前	36.8%	54.1%	8.0%	1.1%
11後	35.7%	54.2%	9.2%	0.9%
12前	33.3%	56.2%	9.1%	1.4%
13後	39.5%	51.5%	7.7%	1.3%
14前	41.5%	51.3%	6.4%	0.8%
15後	43.8%	50.1%	5.6%	0.5%
16前	47.9%	46.1%	5.1%	1.0%
17後	53.3%	42.8%	3.3%	0.6%



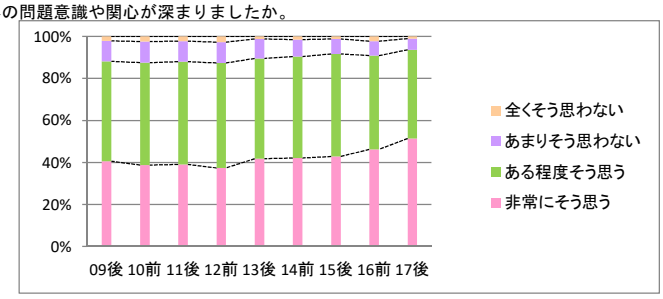
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	33.1%	54.7%	10.4%	1.8%
10前	31.9%	55.5%	11.2%	1.3%
11後	32.2%	55.6%	10.8%	1.4%
12前	30.4%	55.7%	12.2%	1.8%
13後	34.6%	54.3%	10.0%	1.2%
14前	37.0%	53.8%	8.3%	0.9%
15後	38.7%	53.3%	7.3%	0.7%
16前	42.9%	49.3%	6.9%	0.9%
17後	48.7%	46.4%	4.4%	0.6%



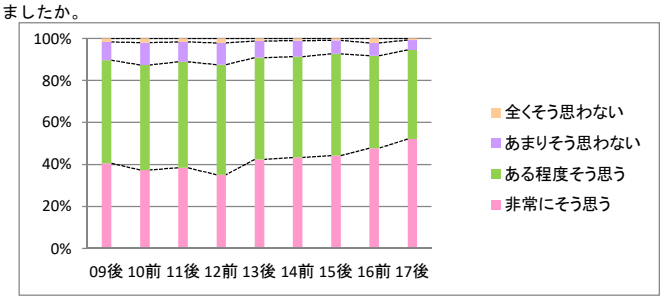
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	40.6%	47.6%	9.8%	2.0%
10前	38.7%	48.8%	10.0%	2.5%
11後	39.1%	48.9%	9.7%	2.2%
12前	37.4%	49.9%	9.9%	2.8%
13後	41.8%	47.8%	9.2%	1.2%
14前	42.1%	48.3%	8.2%	1.5%
15後	42.8%	48.9%	7.2%	1.1%
16前	46.2%	44.6%	6.9%	2.2%
17後	51.4%	42.3%	5.3%	1.0%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

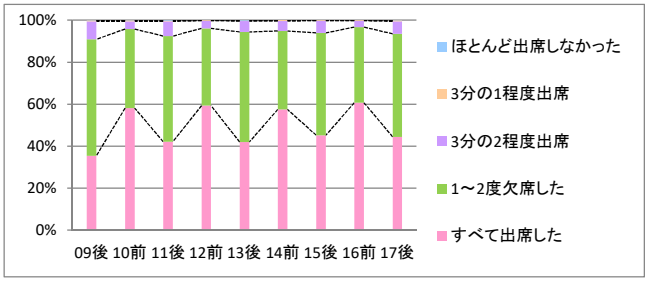
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	40.6%	49.1%	8.7%	1.7%
10前	37.3%	50.1%	10.6%	2.0%
11後	38.5%	50.4%	9.4%	1.7%
12前	35.1%	52.3%	10.3%	2.2%
13後	42.3%	48.5%	7.9%	1.2%
14前	43.3%	47.9%	7.7%	1.0%
15後	44.3%	48.5%	6.4%	0.8%
16前	47.7%	44.1%	6.1%	2.1%
17後	52.2%	42.3%	4.8%	0.7%



＜女性のウェルネス＞

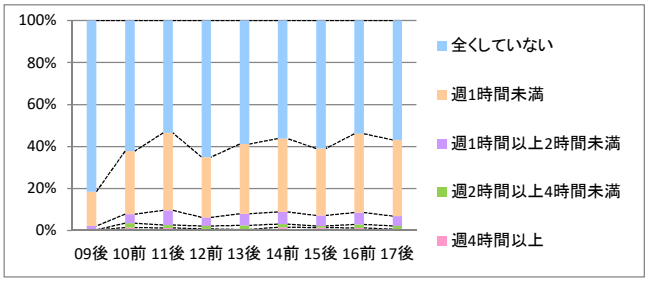
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	35.4%	55.5%	8.5%	0.6%	0.1%
10前	58.2%	37.6%	3.7%	0.3%	0.2%
11後	42.2%	50.2%	7.0%	0.4%	0.2%
12前	59.4%	36.6%	3.7%	0.3%	0.0%
13後	42.0%	52.4%	5.2%	0.2%	0.2%
14前	57.5%	37.4%	4.7%	0.4%	0.0%
15後	45.2%	48.8%	5.7%	0.3%	0.0%
16前	60.8%	35.9%	3.1%	0.2%	0.0%
17後	44.4%	49.2%	5.9%	0.4%	0.1%



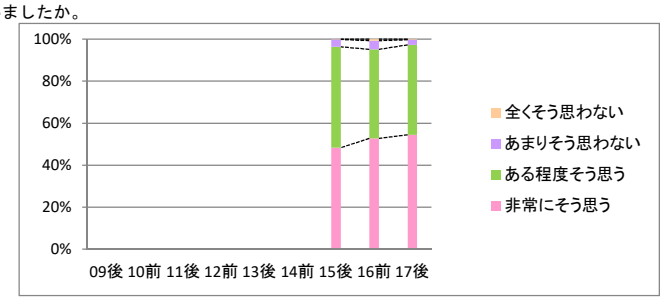
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.1%	0.3%	1.7%	16.3%	81.5%
10前	1.5%	2.0%	4.4%	30.0%	62.1%
11後	1.3%	1.4%	7.0%	36.8%	53.5%
12前	0.8%	1.4%	4.2%	28.5%	65.1%
13後	0.6%	2.0%	5.4%	33.3%	58.8%
14前	1.5%	1.6%	5.8%	34.9%	56.2%
15後	1.4%	0.8%	4.9%	31.9%	60.9%
16前	1.3%	1.7%	5.7%	37.5%	53.9%
17後	0.7%	1.4%	4.7%	36.4%	56.8%



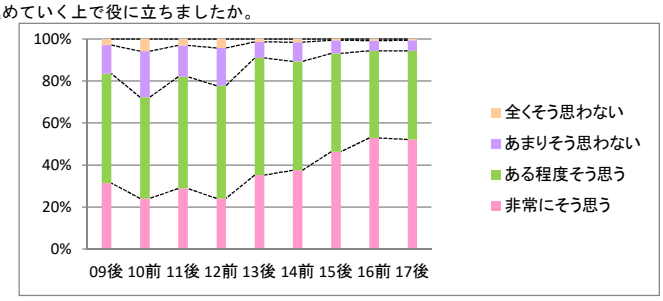
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	48.3%	48.1%	3.4%	0.1%
16前	52.7%	42.5%	4.1%	0.7%
17後	54.5%	42.8%	2.4%	0.3%



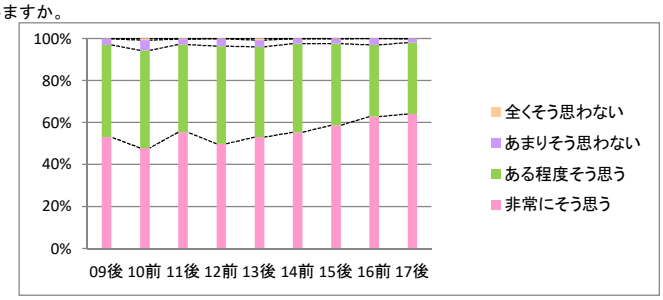
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	31.4%	52.2%	13.5%	2.9%
10前	24.1%	48.3%	21.8%	5.8%
11後	28.9%	53.1%	15.0%	3.0%
12前	24.1%	53.7%	17.9%	4.3%
13後	35.3%	55.8%	7.6%	1.3%
14前	37.5%	51.9%	9.1%	1.5%
15後	46.4%	46.7%	6.3%	0.6%
16前	52.9%	41.5%	4.9%	0.7%
17後	52.2%	42.2%	5.0%	0.6%



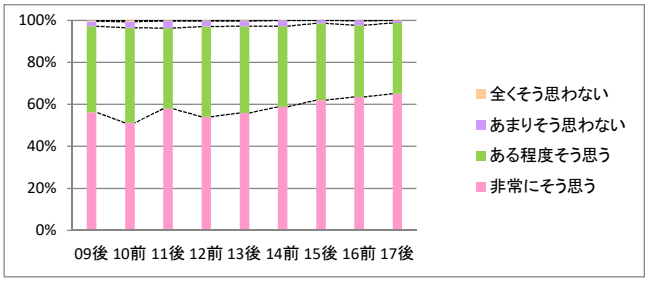
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	53.1%	43.8%	2.9%	0.2%
10前	47.9%	46.5%	4.9%	0.7%
11後	55.3%	41.7%	2.6%	0.4%
12前	49.8%	46.5%	3.6%	0.2%
13後	53.1%	42.9%	3.3%	0.7%
14前	55.4%	42.1%	2.4%	0.1%
15後	58.6%	39.0%	2.2%	0.1%
16前	62.8%	34.2%	3.0%	0.1%
17後	64.0%	34.0%	1.8%	0.1%



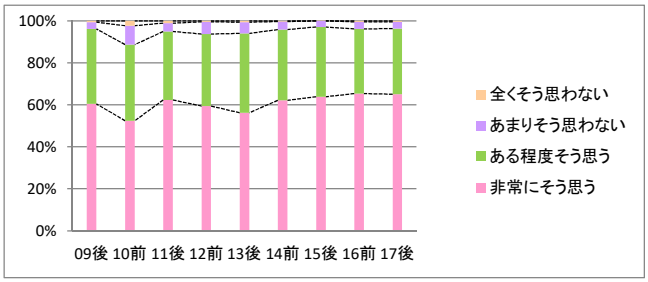
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	56.2%	41.1%	2.3%	0.4%
10前	51.2%	45.3%	2.9%	0.6%
11後	57.9%	38.4%	3.3%	0.3%
12前	54.1%	43.0%	2.6%	0.3%
13後	56.0%	41.2%	2.5%	0.3%
14前	58.9%	38.4%	2.7%	0.1%
15後	62.1%	36.5%	1.4%	0.0%
16前	63.5%	34.2%	2.1%	0.2%
17後	65.1%	33.8%	1.1%	0.1%



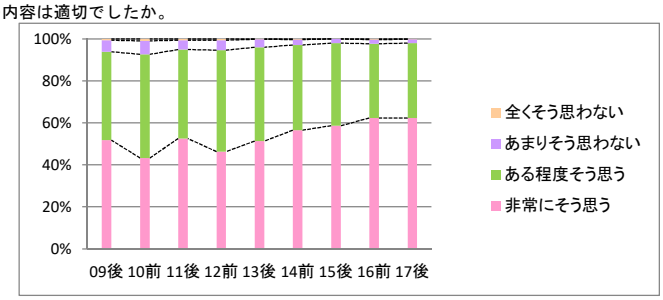
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	60.5%	35.7%	3.2%	0.6%
10前	52.4%	36.3%	8.9%	2.4%
11後	62.3%	32.7%	4.0%	1.1%
12前	59.5%	34.3%	5.7%	0.5%
13後	56.1%	37.9%	5.3%	0.7%
14前	62.1%	33.7%	3.9%	0.3%
15後	63.9%	33.2%	2.8%	0.1%
16前	65.4%	30.8%	3.4%	0.4%
17後	65.0%	31.4%	3.2%	0.4%



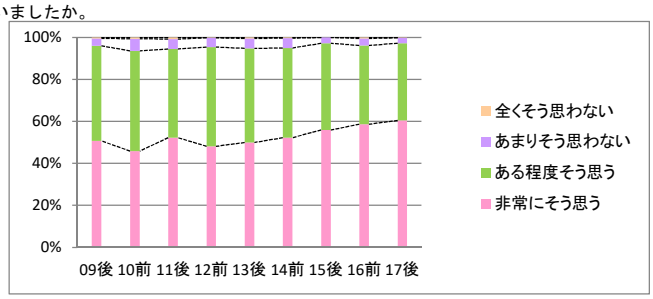
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	51.8%	42.0%	5.4%	0.7%
10前	43.2%	49.4%	6.4%	1.0%
11後	52.5%	42.5%	4.3%	0.7%
12前	46.4%	48.3%	4.7%	0.6%
13後	51.3%	44.8%	3.7%	0.3%
14前	56.5%	40.6%	2.5%	0.4%
15後	58.7%	39.2%	2.1%	0.0%
16前	62.3%	35.3%	2.0%	0.4%
17後	62.3%	35.7%	1.8%	0.3%



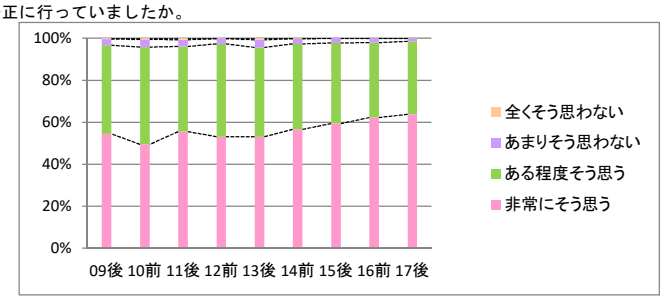
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	50.7%	45.2%	3.5%	0.6%
10前	45.9%	47.6%	5.8%	0.7%
11後	52.2%	42.3%	4.7%	0.8%
12前	48.1%	47.2%	4.4%	0.3%
13後	49.9%	44.8%	4.7%	0.6%
14前	52.3%	42.6%	4.8%	0.4%
15後	55.9%	41.3%	2.8%	0.0%
16前	58.7%	37.4%	3.4%	0.5%
17後	60.5%	36.7%	2.6%	0.2%



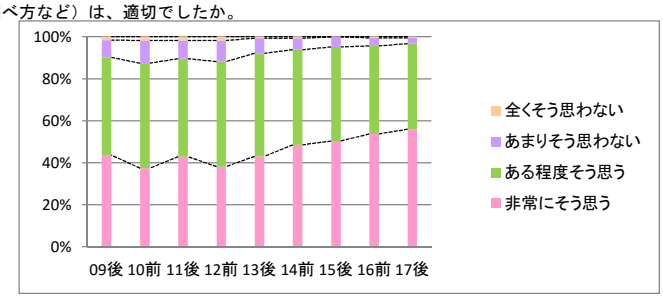
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	54.5%	42.2%	2.9%	0.3%
10前	49.5%	46.2%	3.7%	0.6%
11後	55.5%	40.6%	3.2%	0.7%
12前	53.2%	44.1%	2.6%	0.2%
13後	53.1%	42.6%	3.7%	0.7%
14前	56.7%	40.6%	2.5%	0.3%
15後	59.3%	38.4%	2.2%	0.1%
16前	62.2%	35.7%	1.9%	0.1%
17後	63.9%	34.6%	1.4%	0.1%



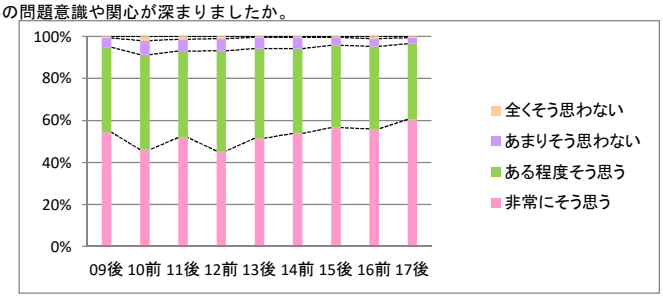
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.7%	46.4%	8.2%	1.6%
10前	37.3%	50.1%	10.8%	1.7%
11後	42.9%	46.7%	8.6%	1.8%
12前	38.2%	50.0%	10.1%	1.7%
13後	43.1%	49.1%	7.2%	0.7%
14前	48.5%	45.3%	5.5%	0.8%
15後	50.3%	44.9%	4.8%	0.1%
16前	53.8%	41.8%	3.9%	0.5%
17後	55.9%	40.8%	2.7%	0.6%



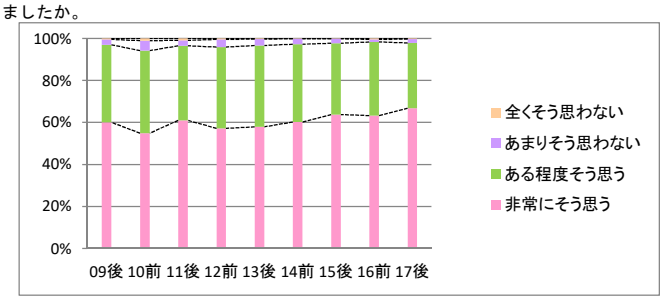
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	54.5%	40.4%	4.4%	0.8%
10前	46.1%	45.3%	6.7%	1.9%
11後	51.9%	41.1%	5.6%	1.4%
12前	45.4%	47.7%	5.8%	1.0%
13後	51.5%	42.7%	5.3%	0.5%
14前	53.8%	40.5%	5.2%	0.5%
15後	56.6%	39.3%	3.7%	0.4%
16前	55.9%	39.4%	3.7%	1.0%
17後	60.6%	36.0%	2.9%	0.5%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

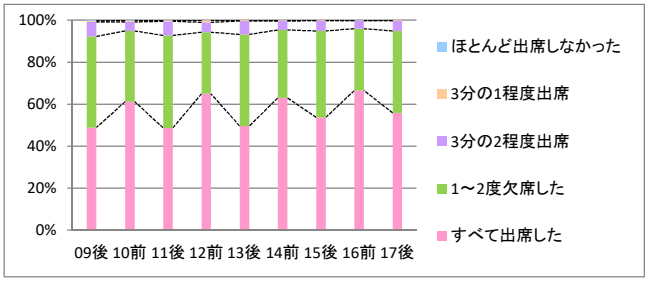
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	60.1%	36.9%	2.6%	0.5%
10前	54.8%	39.4%	4.7%	1.1%
11後	61.0%	35.6%	2.5%	0.9%
12前	57.2%	38.7%	3.6%	0.5%
13後	57.9%	38.7%	3.1%	0.3%
14前	60.2%	37.2%	2.5%	0.1%
15後	63.7%	34.0%	2.2%	0.1%
16前	63.3%	35.0%	1.2%	0.5%
17後	66.7%	31.1%	1.9%	0.3%



＜キリスト教学科目＞

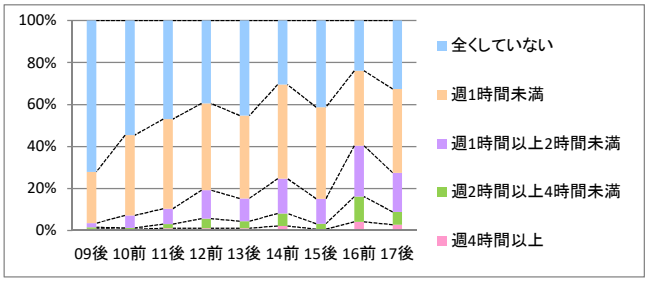
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	48.8%	43.5%	6.9%	0.5%	0.4%
10前	61.2%	33.7%	4.3%	0.6%	0.3%
11後	48.6%	44.1%	6.7%	0.4%	0.2%
12前	65.0%	29.2%	4.8%	0.8%	0.2%
13後	49.6%	43.6%	6.3%	0.5%	0.0%
14前	63.1%	32.3%	4.2%	0.3%	0.1%
15後	53.7%	41.2%	4.9%	0.2%	0.0%
16前	66.5%	29.4%	3.8%	0.2%	0.1%
17後	55.9%	39.0%	4.8%	0.3%	0.0%



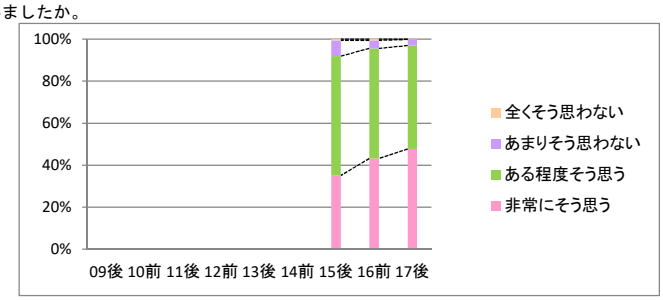
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.8%	0.8%	1.9%	24.5%	72.1%
10前	0.7%	0.6%	5.9%	38.2%	54.6%
11後	1.1%	2.0%	7.3%	42.6%	46.9%
12前	1.1%	4.6%	13.5%	41.4%	39.4%
13後	1.1%	3.4%	10.7%	39.5%	45.2%
14前	2.1%	6.0%	16.6%	44.7%	30.5%
15後	0.7%	2.5%	11.9%	43.6%	41.3%
16前	4.2%	12.0%	24.3%	35.6%	23.9%
17後	2.8%	6.0%	18.7%	39.8%	32.6%



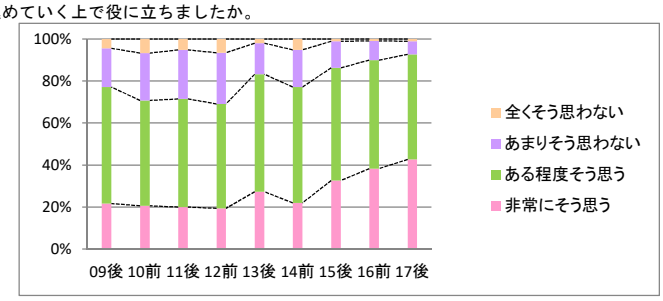
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	35.1%	56.9%	7.4%	0.5%
16前	43.2%	52.4%	3.8%	0.5%
17後	47.8%	49.2%	2.9%	0.2%



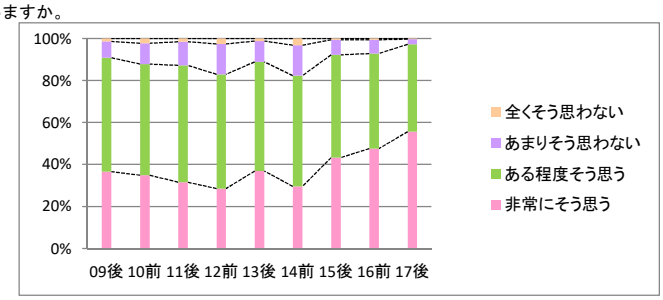
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	21.7%	55.5%	18.4%	4.4%
10前	20.6%	50.1%	22.6%	6.7%
11後	20.0%	51.4%	23.3%	5.2%
12前	19.3%	49.7%	24.4%	6.6%
13後	27.4%	55.8%	14.8%	2.0%
14前	22.0%	55.1%	17.7%	5.2%
15後	32.6%	53.7%	12.7%	1.0%
16前	38.2%	51.7%	9.1%	0.9%
17後	42.7%	50.0%	6.3%	1.0%



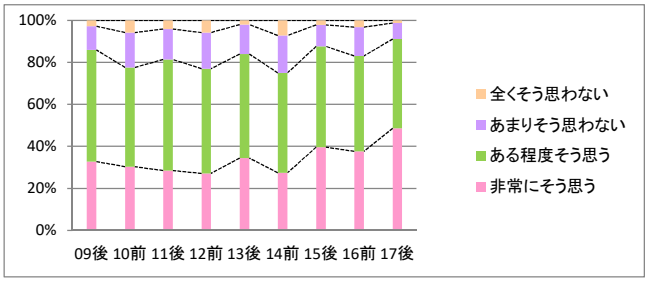
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	36.5%	54.3%	7.8%	1.4%
10前	34.9%	53.0%	9.8%	2.3%
11後	31.5%	55.7%	11.2%	1.5%
12前	28.5%	54.3%	14.5%	2.6%
13後	36.9%	52.0%	9.9%	1.3%
14前	29.6%	52.7%	14.4%	3.3%
15後	43.2%	49.0%	7.1%	0.7%
16前	47.6%	45.2%	6.5%	0.7%
17後	55.6%	41.5%	2.5%	0.3%



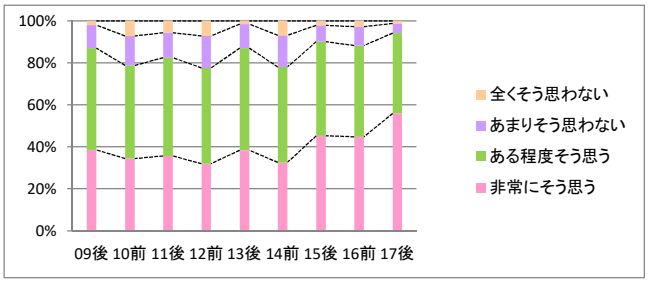
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	32.8%	53.1%	11.4%	2.7%
10前	30.3%	47.3%	16.5%	5.9%
11後	28.6%	52.9%	14.4%	4.2%
12前	27.1%	50.0%	17.2%	5.8%
13後	34.4%	49.5%	14.1%	2.0%
14前	27.5%	47.5%	17.8%	7.2%
15後	39.6%	48.1%	10.2%	2.1%
16前	37.6%	45.5%	13.6%	3.3%
17後	48.6%	42.5%	7.6%	1.3%



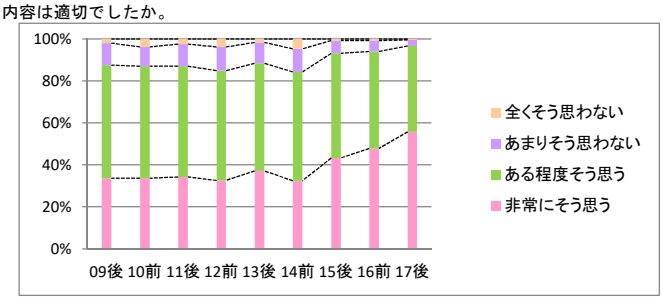
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	38.5%	48.4%	11.1%	2.0%
10前	34.3%	44.5%	14.0%	7.2%
11後	35.7%	46.7%	12.0%	5.6%
12前	32.0%	45.6%	15.1%	7.2%
13後	38.4%	48.6%	11.5%	1.6%
14前	32.6%	45.4%	15.1%	7.0%
15後	45.3%	44.8%	7.6%	2.2%
16前	44.8%	43.4%	9.0%	2.8%
17後	55.8%	38.3%	4.6%	1.3%



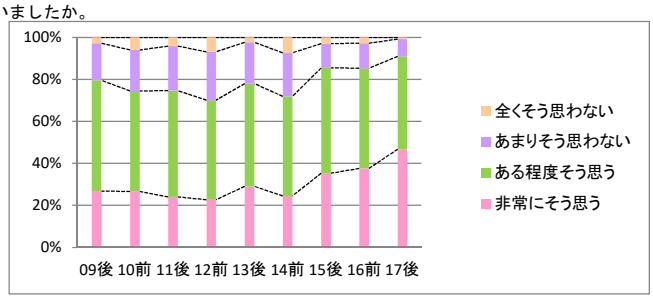
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	33.7%	53.8%	10.4%	2.1%
10前	33.6%	53.5%	9.0%	3.9%
11後	34.3%	52.7%	10.5%	2.5%
12前	32.6%	52.2%	11.3%	3.9%
13後	37.1%	51.2%	9.9%	1.7%
14前	32.4%	52.0%	11.0%	4.7%
15後	43.2%	49.8%	6.1%	0.9%
16前	47.7%	46.2%	5.2%	0.9%
17後	55.8%	40.9%	2.9%	0.4%



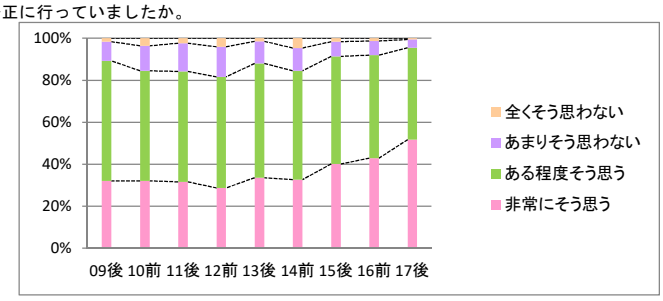
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	26.7%	52.7%	17.8%	2.8%
10前	26.6%	47.8%	19.5%	6.1%
11後	24.0%	50.7%	21.1%	4.2%
12前	22.6%	47.4%	23.0%	7.0%
13後	29.1%	48.9%	19.5%	2.4%
14前	24.6%	47.3%	20.9%	7.3%
15後	35.4%	50.1%	11.5%	3.0%
16前	37.5%	47.7%	12.0%	2.8%
17後	46.7%	44.3%	8.2%	0.8%



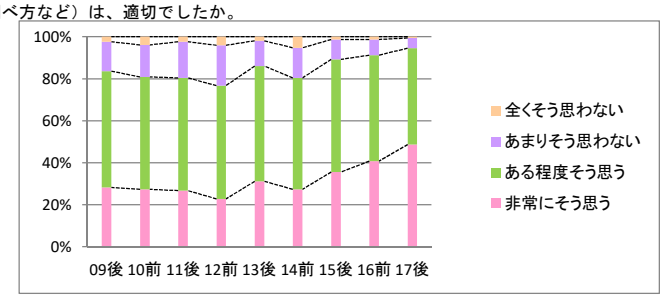
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	32.1%	57.1%	9.1%	1.7%
10前	32.1%	52.4%	11.9%	3.7%
11後	31.7%	52.6%	13.3%	2.4%
12前	28.7%	52.9%	14.3%	4.1%
13後	33.6%	54.4%	10.6%	1.4%
14前	32.6%	51.8%	10.8%	4.7%
15後	40.1%	51.3%	7.1%	1.6%
16前	43.0%	49.0%	6.7%	1.3%
17後	51.7%	43.9%	3.9%	0.6%



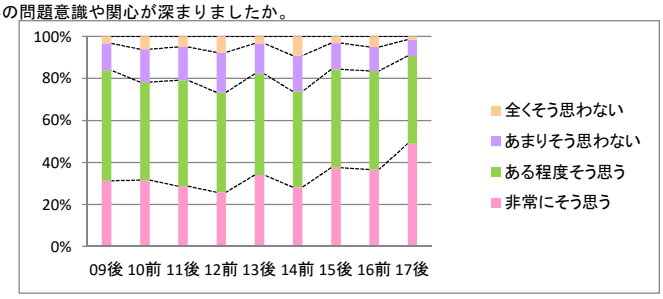
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	28.2%	55.4%	14.0%	2.3%
10前	27.4%	53.4%	15.3%	3.9%
11後	26.7%	53.7%	17.2%	2.4%
12前	22.8%	53.9%	19.2%	4.1%
13後	31.2%	54.9%	12.0%	2.0%
14前	27.4%	53.1%	14.2%	5.3%
15後	35.6%	53.6%	9.4%	1.4%
16前	40.7%	50.5%	7.5%	1.3%
17後	48.7%	45.9%	4.9%	0.5%



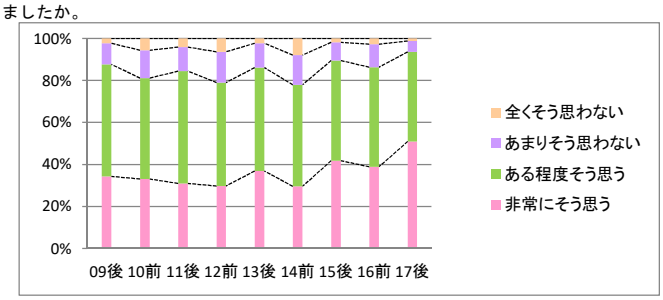
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	31.3%	52.6%	12.8%	3.3%
10前	31.6%	46.6%	15.8%	6.0%
11後	28.7%	50.5%	15.9%	4.9%
12前	25.8%	47.6%	19.0%	7.6%
13後	34.0%	48.1%	14.5%	3.3%
14前	28.3%	45.6%	17.0%	9.1%
15後	37.5%	46.9%	12.5%	3.2%
16前	36.7%	46.9%	11.4%	5.1%
17後	49.0%	41.7%	7.8%	1.5%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

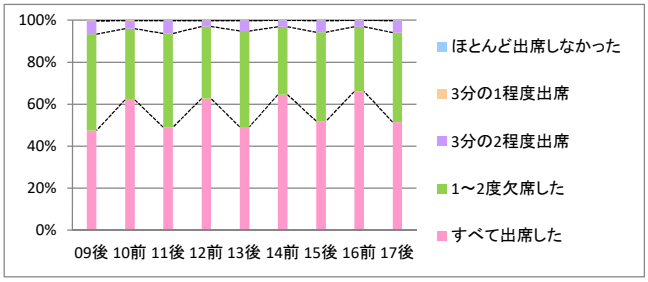
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.3%	53.4%	10.1%	2.3%
10前	33.0%	48.1%	13.3%	5.6%
11後	30.9%	53.5%	11.5%	4.1%
12前	29.7%	49.2%	14.7%	6.3%
13後	36.9%	49.2%	11.5%	2.3%
14前	29.5%	48.4%	14.2%	7.9%
15後	41.8%	47.7%	8.7%	1.8%
16前	38.9%	47.3%	11.0%	2.7%
17後	50.9%	42.7%	5.3%	1.2%



＜第一外国語＞

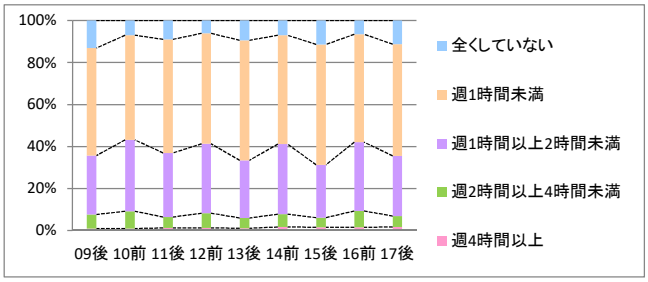
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	47.4%	46.0%	6.3%	0.3%	0.1%
10前	62.1%	34.0%	3.7%	0.3%	0.0%
11後	49.0%	44.7%	6.0%	0.2%	0.1%
12前	62.8%	34.2%	2.8%	0.1%	0.0%
13後	49.1%	45.8%	4.9%	0.1%	0.1%
14前	64.5%	32.5%	3.0%	0.0%	0.0%
15後	51.9%	42.4%	5.5%	0.2%	0.1%
16前	66.1%	30.8%	3.1%	0.1%	0.0%
17後	51.4%	42.7%	5.6%	0.2%	0.0%



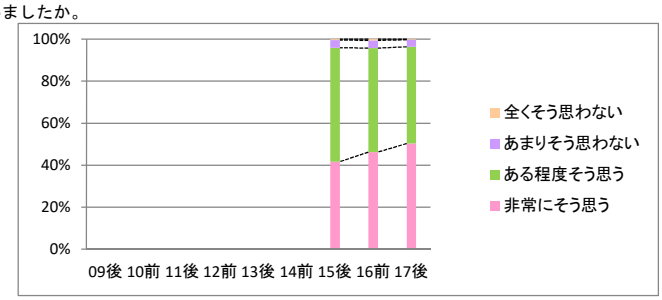
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	1.0%	6.7%	28.1%	51.1%	13.1%
10前	0.9%	8.3%	34.1%	49.7%	7.0%
11後	1.2%	5.2%	30.6%	54.0%	9.0%
12前	1.2%	7.1%	33.1%	52.6%	6.1%
13後	1.2%	4.8%	27.4%	57.2%	9.4%
14前	1.7%	6.2%	33.4%	51.8%	7.0%
15後	1.5%	4.6%	25.2%	57.3%	11.4%
16前	1.6%	7.7%	32.9%	51.4%	6.5%
17後	1.7%	5.2%	28.7%	53.2%	11.2%



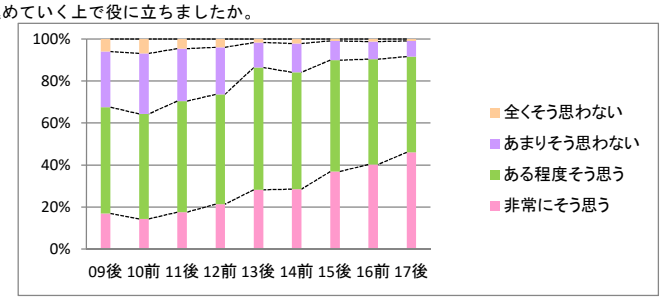
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	41.7%	54.3%	3.6%	0.5%
16前	46.2%	49.5%	3.8%	0.6%
17後	50.4%	46.0%	3.3%	0.3%



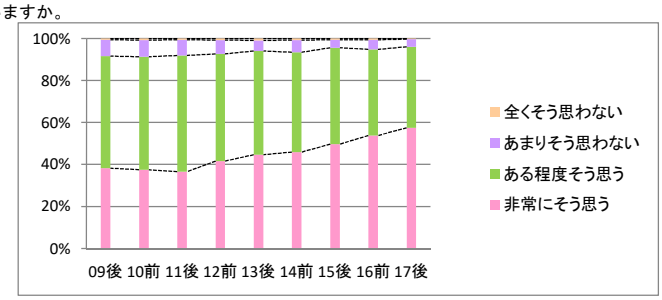
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	16.9%	50.6%	26.6%	5.9%
10前	14.4%	49.9%	28.9%	6.8%
11後	17.6%	52.9%	25.0%	4.5%
12前	21.3%	52.3%	22.5%	3.9%
13後	28.3%	58.2%	11.9%	1.7%
14前	28.5%	55.6%	13.8%	2.1%
15後	36.9%	53.1%	9.0%	1.0%
16前	40.2%	50.3%	8.4%	1.2%
17後	46.0%	45.6%	7.5%	0.9%



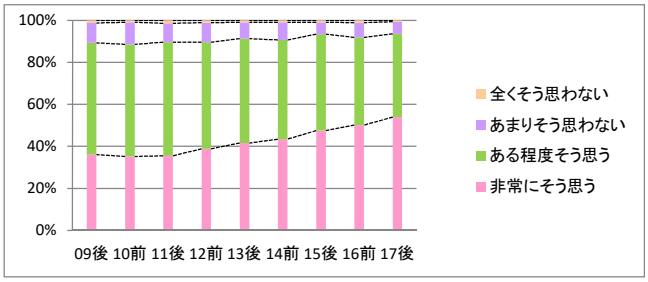
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	38.3%	53.3%	7.8%	0.7%
10前	37.5%	53.8%	7.9%	0.7%
11後	36.6%	55.4%	7.4%	0.7%
12前	41.6%	51.1%	6.5%	0.8%
13後	44.6%	49.4%	5.1%	0.9%
14前	45.9%	47.6%	5.8%	0.7%
15後	49.7%	45.8%	3.8%	0.7%
16前	53.8%	41.1%	4.5%	0.6%
17後	57.4%	38.6%	3.7%	0.3%



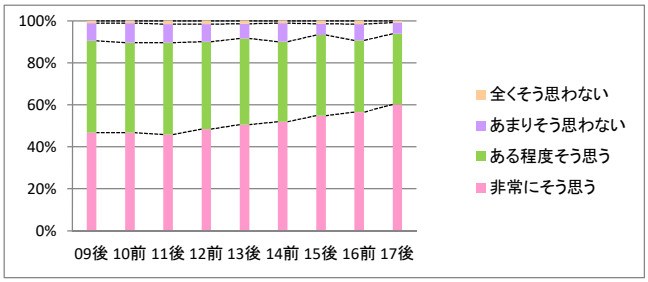
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	36.2%	53.1%	9.5%	1.2%
10前	35.3%	53.3%	10.5%	0.9%
11後	35.5%	54.1%	9.0%	1.5%
12前	38.9%	50.7%	9.3%	1.1%
13後	41.5%	49.7%	7.8%	1.0%
14前	43.5%	47.2%	8.4%	0.9%
15後	47.6%	45.8%	5.7%	1.0%
16前	50.2%	41.7%	7.0%	1.1%
17後	54.0%	39.7%	5.7%	0.7%



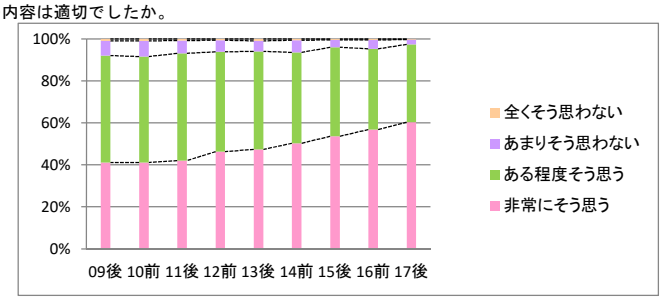
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	46.8%	43.7%	8.4%	1.2%
10前	46.8%	42.8%	9.4%	1.0%
11後	45.9%	43.8%	8.8%	1.6%
12前	48.4%	41.6%	8.5%	1.5%
13後	50.5%	41.0%	7.0%	1.4%
14前	52.0%	38.0%	8.9%	1.2%
15後	54.8%	38.5%	5.3%	1.4%
16前	56.5%	34.2%	7.7%	1.6%
17後	60.1%	33.8%	5.3%	0.7%



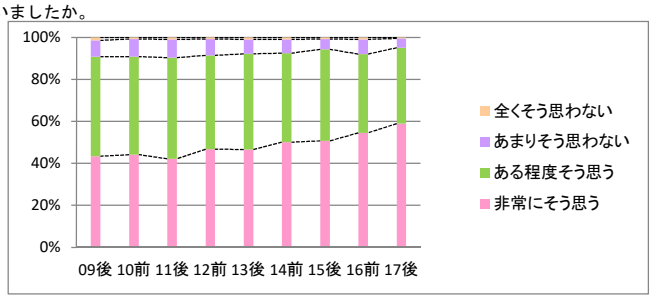
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	41.1%	50.9%	7.0%	1.0%
10前	41.2%	50.3%	7.5%	0.9%
11後	42.0%	51.1%	6.0%	0.9%
12前	46.3%	47.6%	5.4%	0.7%
13後	47.3%	46.6%	5.1%	1.0%
14前	50.2%	43.3%	5.7%	0.7%
15後	53.6%	42.4%	3.5%	0.5%
16前	56.7%	38.5%	4.2%	0.6%
17後	60.4%	37.0%	2.2%	0.4%



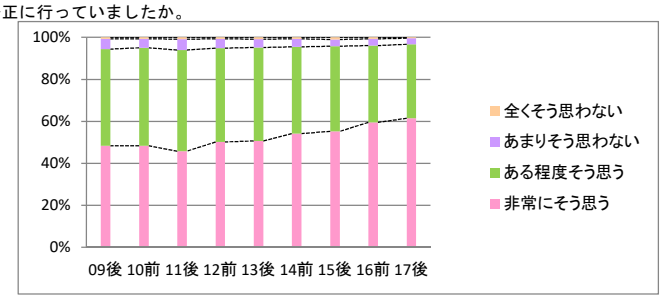
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.4%	47.4%	7.8%	1.4%
10前	44.1%	46.7%	8.3%	0.9%
11後	42.2%	48.1%	8.7%	1.0%
12前	46.7%	44.7%	7.7%	0.8%
13後	46.6%	45.6%	6.8%	1.0%
14前	50.1%	42.3%	6.6%	1.0%
15後	50.7%	43.5%	5.0%	0.8%
16前	54.5%	37.6%	6.9%	1.0%
17後	58.9%	36.1%	4.5%	0.5%



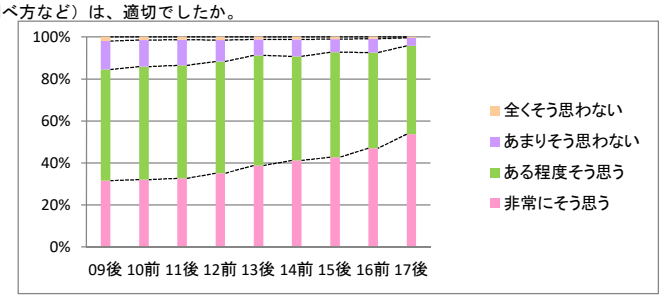
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	48.3%	46.1%	5.0%	0.6%
10前	48.4%	46.7%	4.3%	0.6%
11後	45.8%	48.2%	5.2%	0.8%
12前	50.2%	44.7%	4.3%	0.7%
13後	50.7%	44.5%	4.0%	0.8%
14前	54.1%	41.4%	3.7%	0.7%
15後	55.3%	40.5%	3.2%	1.0%
16前	59.6%	36.6%	3.3%	0.6%
17後	61.5%	35.2%	2.9%	0.4%



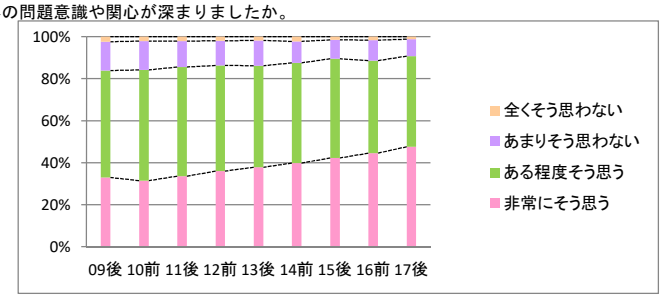
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	31.5%	52.9%	13.6%	1.9%
10前	32.1%	53.7%	12.7%	1.5%
11後	32.7%	53.7%	12.3%	1.3%
12前	35.1%	53.2%	10.2%	1.5%
13後	38.7%	52.4%	7.7%	1.1%
14前	41.3%	49.5%	8.1%	1.1%
15後	42.7%	50.1%	6.2%	1.0%
16前	47.0%	45.6%	6.7%	0.8%
17後	53.7%	42.1%	3.8%	0.5%



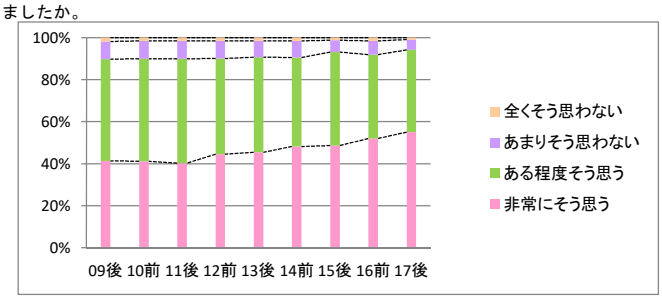
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	32.9%	51.0%	13.8%	2.3%
10前	31.4%	52.8%	13.7%	2.1%
11後	33.6%	52.0%	12.2%	2.2%
12前	36.0%	50.3%	11.7%	1.9%
13後	37.8%	48.3%	12.0%	1.9%
14前	39.8%	47.7%	10.2%	2.3%
15後	42.2%	47.4%	9.0%	1.4%
16前	44.6%	44.1%	9.7%	1.7%
17後	47.5%	43.2%	8.0%	1.2%



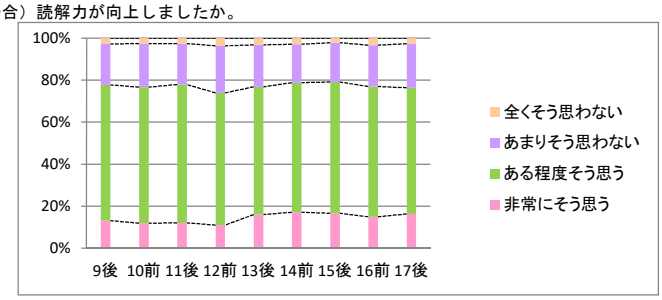
設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	41.3%	48.5%	8.5%	1.7%
10前	41.2%	48.7%	8.6%	1.5%
11後	40.3%	49.7%	8.5%	1.5%
12前	44.6%	45.6%	8.3%	1.6%
13後	45.4%	45.3%	7.9%	1.4%
14前	48.2%	42.3%	8.0%	1.5%
15後	48.7%	44.5%	5.7%	1.1%
16前	52.0%	39.9%	6.7%	1.5%
17後	55.0%	39.2%	4.9%	1.0%



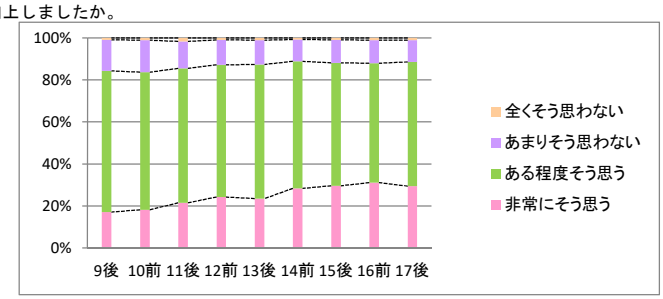
設問14 （この授業が英語ReadingⅠ又はReadingⅡの場合）読解力が向上しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後	13.1%	64.7%	19.5%	2.8%
10前	11.9%	64.8%	20.8%	2.5%
11後	12.0%	65.8%	19.5%	2.6%
12前	11.0%	63.0%	22.4%	3.6%
13後	16.0%	60.9%	20.0%	3.1%
14前	17.1%	61.7%	18.3%	2.9%
15後	16.6%	62.6%	18.7%	2.2%
16前	15.0%	62.0%	19.6%	3.4%
17後	16.3%	60.2%	21.1%	2.5%



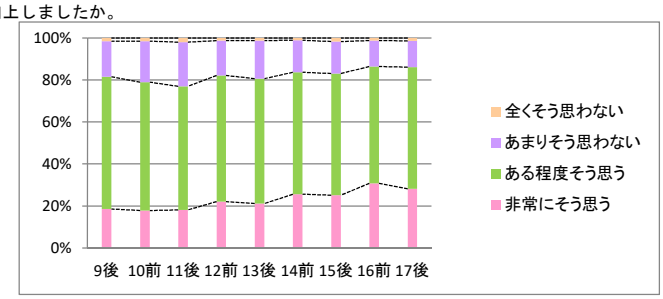
設問15 （この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後	17.0%	67.2%	14.8%	0.9%
10前	18.1%	65.6%	15.2%	1.1%
11後	21.5%	64.0%	12.8%	1.7%
12前	24.3%	63.0%	11.8%	0.9%
13後	23.4%	63.9%	11.6%	1.1%
14前	28.4%	60.5%	10.3%	0.8%
15後	29.6%	58.6%	10.9%	1.0%
16前	31.0%	57.0%	10.9%	1.1%
17後	29.3%	59.2%	10.4%	1.1%



設問16 （この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。

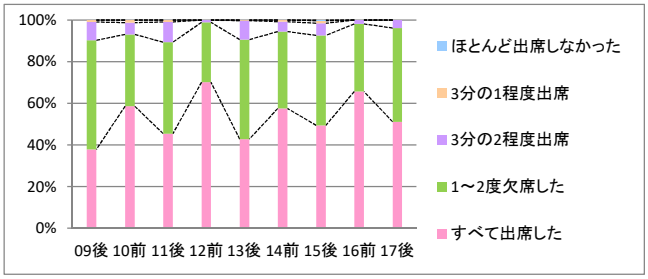
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後	18.6%	62.9%	16.9%	1.6%
10前	17.8%	61.2%	19.5%	1.5%
11後	18.2%	58.8%	21.0%	2.0%
12前	22.0%	60.0%	16.7%	1.2%
13後	21.1%	59.6%	18.0%	1.3%
14前	25.7%	58.0%	15.3%	1.0%
15後	25.1%	57.9%	15.3%	1.7%
16前	30.8%	55.6%	12.4%	1.2%
17後	28.3%	57.8%	12.5%	1.4%



＜ドイツ語＞

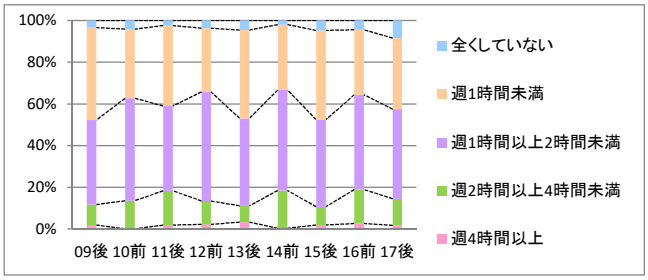
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	37.9%	52.4%	8.7%	1.0%	0.0%
10前	58.6%	34.4%	5.7%	1.2%	0.0%
11後	45.4%	44.0%	9.7%	1.0%	0.0%
12前	70.2%	28.7%	1.1%	0.0%	0.0%
13後	42.8%	47.8%	9.0%	0.4%	0.0%
14前	57.6%	36.8%	4.8%	0.8%	0.0%
15後	49.4%	43.2%	5.9%	1.1%	0.4%
16前	65.8%	32.4%	1.8%	0.0%	0.0%
17後	51.1%	45.0%	3.9%	0.0%	0.0%



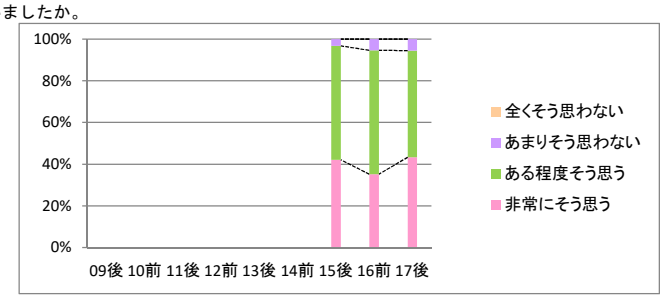
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	2.0%	9.8%	40.5%	44.4%	3.4%
10前	0.0%	13.5%	49.2%	33.2%	4.1%
11後	1.9%	16.4%	40.6%	38.6%	2.4%
12前	2.2%	11.3%	52.4%	30.5%	3.6%
13後	3.2%	7.9%	41.9%	42.3%	4.7%
14前	0.4%	18.1%	48.2%	31.3%	2.0%
15後	1.8%	8.9%	41.7%	42.8%	4.8%
16前	2.7%	16.2%	45.5%	31.1%	4.5%
17後	1.7%	12.8%	43.0%	34.1%	8.4%



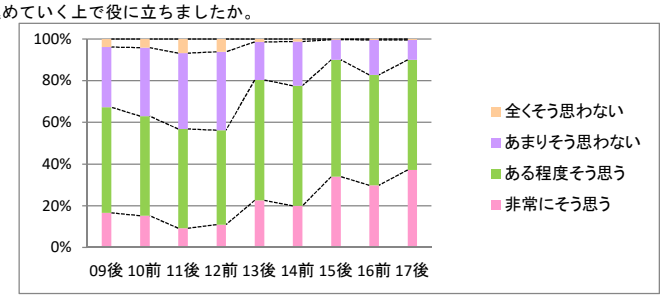
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	42.1%	54.6%	3.3%	0.0%
16前	35.1%	59.5%	5.4%	0.0%
17後	43.3%	51.1%	5.6%	0.0%



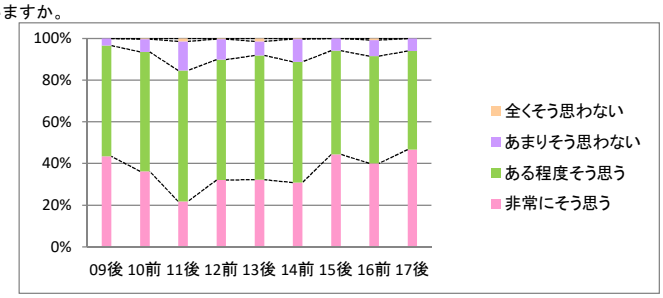
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	16.6%	50.7%	28.8%	3.9%
10前	15.2%	47.7%	32.9%	4.1%
11後	9.2%	47.6%	36.4%	6.8%
12前	10.9%	45.3%	37.7%	6.2%
13後	22.6%	57.7%	18.3%	1.4%
14前	20.0%	57.6%	21.2%	1.2%
15後	33.9%	56.1%	9.6%	0.4%
16前	29.9%	52.9%	16.7%	0.5%
17後	37.2%	52.8%	9.4%	0.6%



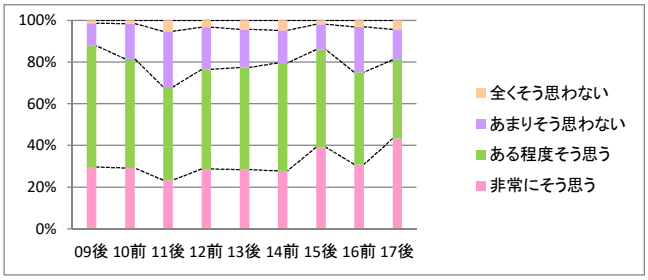
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.4%	53.2%	3.4%	0.0%
10前	36.2%	57.2%	6.2%	0.4%
11後	21.7%	62.8%	14.0%	1.4%
12前	32.1%	57.7%	9.9%	0.4%
13後	32.3%	59.5%	6.8%	1.4%
14前	30.8%	58.0%	10.8%	0.4%
15後	44.3%	49.8%	5.9%	0.0%
16前	40.1%	51.4%	7.7%	0.9%
17後	46.7%	47.2%	6.1%	0.0%



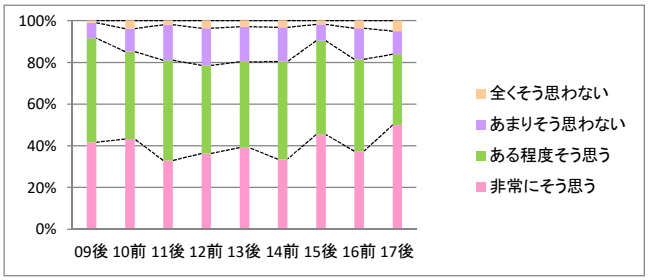
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	29.6%	58.3%	10.7%	1.5%
10前	29.1%	52.5%	16.8%	1.6%
11後	23.3%	44.7%	26.7%	5.3%
12前	28.6%	47.8%	20.3%	3.3%
13後	28.3%	49.1%	18.3%	4.3%
14前	27.7%	51.8%	15.7%	4.8%
15後	39.1%	46.9%	12.2%	1.8%
16前	30.8%	44.3%	21.7%	3.2%
17後	43.3%	37.8%	14.4%	4.4%



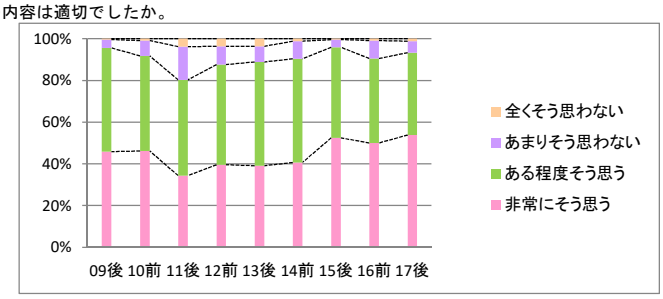
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	41.7%	50.0%	7.4%	1.0%
10前	43.2%	42.0%	11.1%	3.7%
11後	33.0%	48.1%	17.0%	1.9%
12前	36.4%	42.2%	17.8%	3.6%
13後	39.1%	41.2%	16.8%	2.9%
14前	33.6%	46.8%	16.4%	3.2%
15後	45.4%	45.0%	7.7%	1.8%
16前	37.4%	44.1%	14.9%	3.6%
17後	50.0%	33.9%	11.1%	5.0%



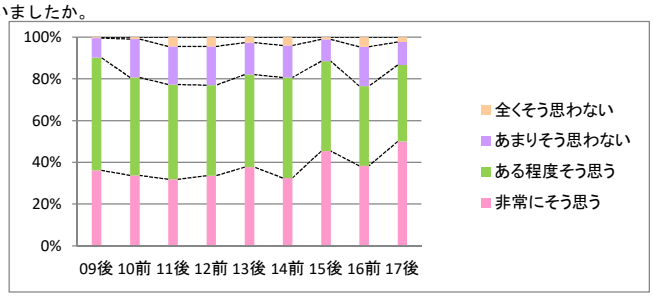
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	45.9%	49.8%	3.9%	0.5%
10前	46.1%	45.7%	7.4%	0.8%
11後	34.3%	45.9%	15.9%	3.9%
12前	39.6%	48.0%	8.8%	3.7%
13後	39.1%	49.8%	7.5%	3.6%
14前	40.6%	49.8%	8.4%	1.2%
15後	52.4%	43.5%	3.7%	0.4%
16前	50.0%	40.5%	8.6%	0.9%
17後	53.9%	39.4%	5.6%	1.1%



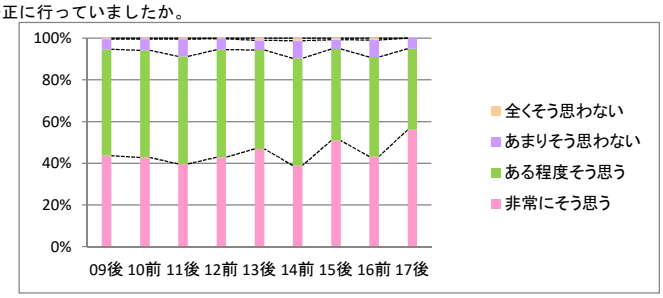
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	36.1%	54.1%	9.3%	0.5%
10前	33.7%	46.9%	18.5%	0.8%
11後	31.9%	45.4%	18.4%	4.3%
12前	33.6%	43.4%	18.6%	4.4%
13後	37.6%	44.4%	15.4%	2.5%
14前	32.5%	48.2%	15.3%	4.0%
15後	45.4%	43.2%	10.3%	1.1%
16前	38.3%	38.3%	18.9%	4.5%
17後	50.0%	36.7%	11.1%	2.2%



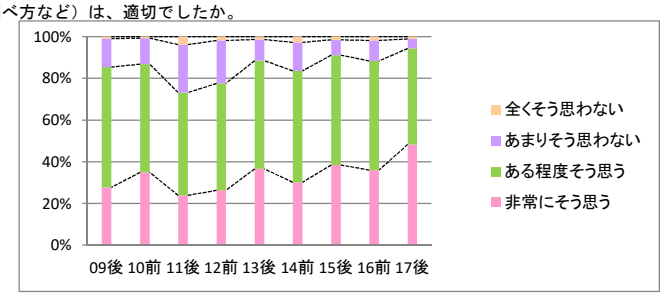
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.7%	51.0%	4.9%	0.5%
10前	42.8%	51.4%	5.3%	0.4%
11後	39.6%	51.7%	8.2%	0.5%
12前	42.9%	51.6%	5.1%	0.4%
13後	47.0%	47.3%	4.7%	1.1%
14前	39.0%	51.4%	8.4%	1.2%
15後	50.9%	43.9%	4.4%	0.7%
16前	43.2%	47.7%	8.1%	0.9%
17後	56.1%	38.9%	5.0%	0.0%



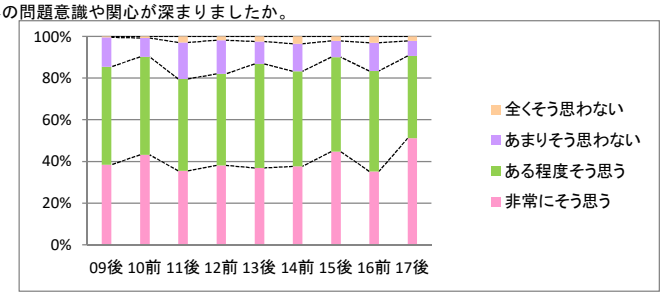
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	27.7%	57.8%	13.6%	1.0%
10前	35.0%	51.9%	12.3%	0.8%
11後	23.9%	49.3%	22.9%	3.9%
12前	26.4%	51.3%	20.5%	1.8%
13後	36.6%	52.0%	10.0%	1.4%
14前	30.1%	53.4%	13.7%	2.8%
15後	38.4%	52.8%	7.4%	1.5%
16前	36.0%	52.3%	9.9%	1.8%
17後	48.3%	46.1%	4.5%	1.1%



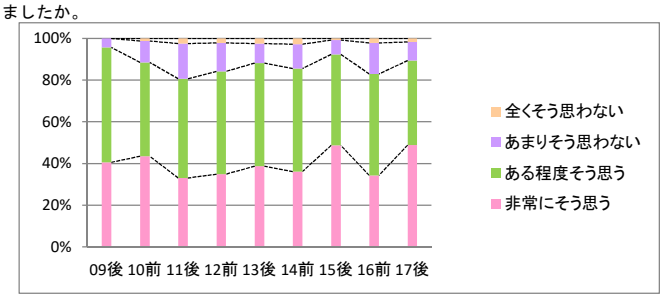
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	38.3%	47.1%	14.1%	0.5%
10前	43.2%	46.9%	9.1%	0.8%
11後	35.4%	44.2%	17.5%	2.9%
12前	38.1%	44.0%	16.1%	1.8%
13後	36.9%	49.8%	10.8%	2.5%
14前	37.6%	45.6%	13.2%	3.6%
15後	44.6%	45.4%	7.7%	2.2%
16前	35.1%	48.2%	13.5%	3.2%
17後	51.1%	39.4%	7.2%	2.2%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

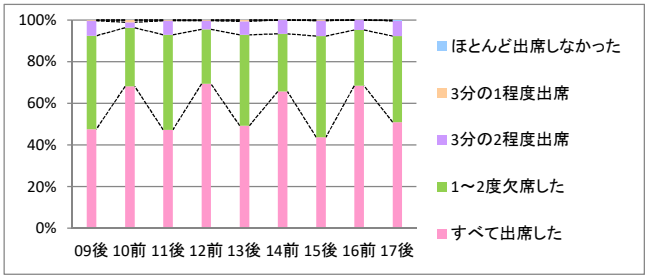
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	40.5%	55.1%	4.4%	0.0%
10前	43.4%	45.1%	10.2%	1.2%
11後	33.0%	47.6%	17.0%	2.4%
12前	34.9%	49.3%	13.6%	2.2%
13後	38.7%	49.5%	9.3%	2.5%
14前	36.1%	49.4%	11.6%	2.8%
15後	48.7%	43.5%	7.0%	0.7%
16前	34.2%	48.6%	14.9%	2.3%
17後	48.9%	40.6%	8.9%	1.7%



＜フランス語＞

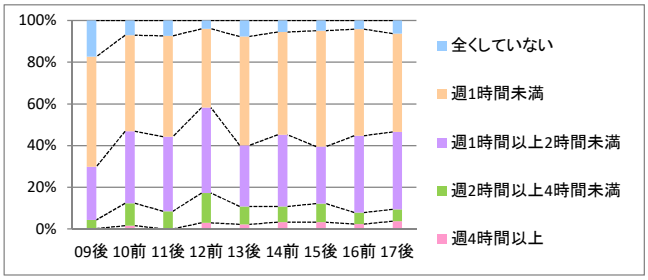
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	47.5%	44.9%	7.4%	0.2%	0.0%
10前	68.1%	28.2%	2.6%	1.0%	0.0%
11後	47.3%	45.6%	6.8%	0.3%	0.0%
12前	69.4%	26.1%	4.2%	0.3%	0.0%
13後	49.3%	43.6%	6.5%	0.6%	0.0%
14前	65.7%	27.7%	6.5%	0.0%	0.0%
15後	43.6%	48.6%	7.5%	0.3%	0.0%
16前	68.5%	26.8%	4.8%	0.0%	0.0%
17後	51.0%	41.3%	7.3%	0.0%	0.3%



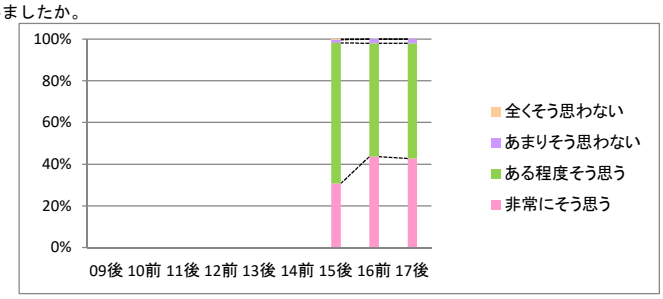
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.2%	4.1%	25.5%	52.7%	17.4%
10前	1.6%	10.7%	34.6%	46.1%	7.1%
11後	0.0%	8.4%	35.8%	48.3%	7.4%
12前	3.0%	14.2%	41.1%	37.8%	3.9%
13後	2.3%	8.5%	29.4%	52.3%	7.6%
14前	3.3%	7.6%	34.3%	49.2%	5.6%
15後	3.3%	8.8%	27.3%	55.5%	5.0%
16前	2.4%	5.4%	36.9%	51.1%	4.2%
17後	3.7%	5.7%	37.2%	47.0%	6.4%



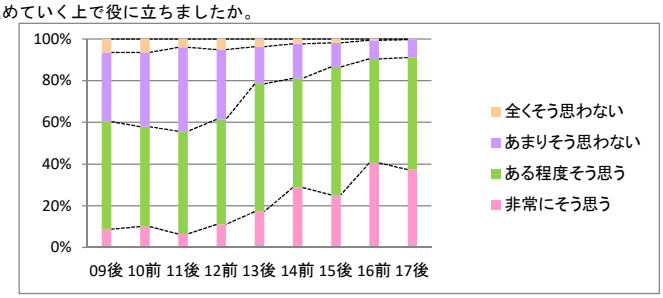
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	30.7%	67.4%	1.6%	0.3%
16前	43.6%	54.3%	2.1%	0.0%
17後	42.7%	55.3%	2.0%	0.0%



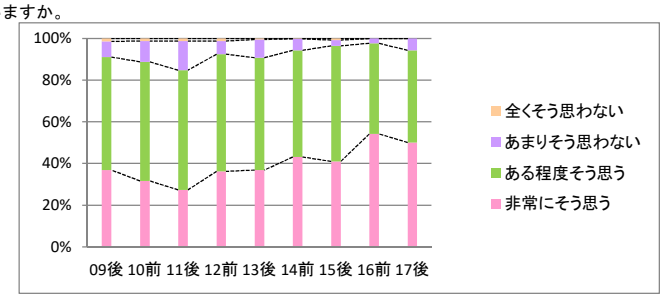
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	8.8%	51.5%	33.3%	6.4%
10前	9.9%	47.9%	35.6%	6.5%
11後	6.4%	49.3%	40.2%	4.1%
12前	11.1%	50.3%	33.4%	5.1%
13後	17.2%	61.3%	17.8%	3.7%
14前	28.8%	52.3%	16.7%	2.3%
15後	25.2%	61.4%	11.5%	1.9%
16前	40.6%	49.9%	9.0%	0.6%
17後	37.3%	53.7%	8.7%	0.3%



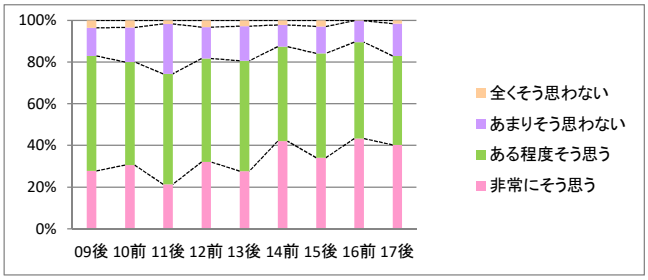
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	36.8%	54.2%	7.6%	1.4%
10前	31.7%	57.1%	9.9%	1.3%
11後	27.4%	57.4%	13.9%	1.4%
12前	36.2%	56.2%	6.4%	1.2%
13後	36.8%	53.8%	8.8%	0.6%
14前	43.1%	51.1%	5.5%	0.3%
15後	40.9%	55.5%	2.7%	0.8%
16前	54.2%	43.4%	2.4%	0.0%
17後	50.0%	44.3%	5.7%	0.0%



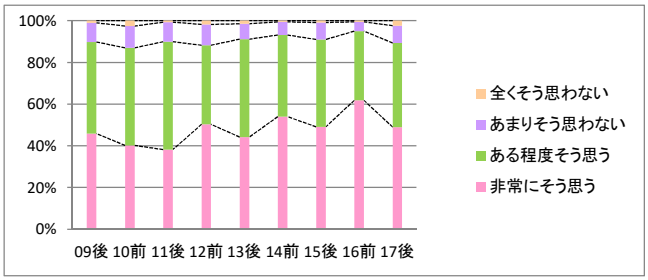
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	27.8%	55.1%	13.5%	3.6%
10前	30.5%	49.3%	16.7%	3.4%
11後	21.3%	53.0%	24.0%	1.7%
12前	32.0%	49.7%	14.9%	3.4%
13後	27.7%	52.8%	16.7%	2.8%
14前	42.1%	45.3%	10.3%	2.3%
15後	34.1%	50.0%	12.9%	3.0%
16前	43.3%	46.3%	10.1%	0.3%
17後	40.1%	42.8%	15.4%	1.7%



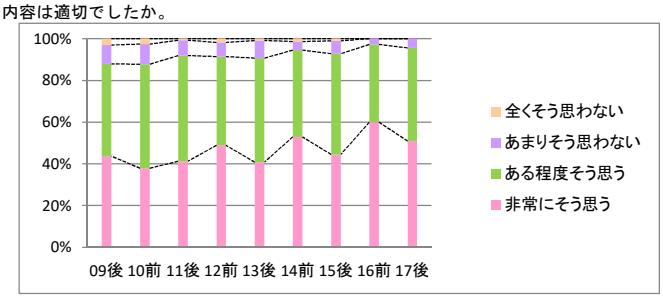
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	45.8%	43.9%	9.3%	1.0%
10前	40.2%	46.7%	10.4%	2.6%
11後	38.2%	51.7%	9.5%	0.7%
12前	50.3%	37.9%	10.0%	1.8%
13後	44.2%	47.0%	7.4%	1.4%
14前	54.0%	39.1%	6.3%	0.5%
15後	49.0%	41.9%	8.2%	0.8%
16前	61.8%	33.1%	4.5%	0.6%
17後	49.0%	40.3%	8.3%	2.3%



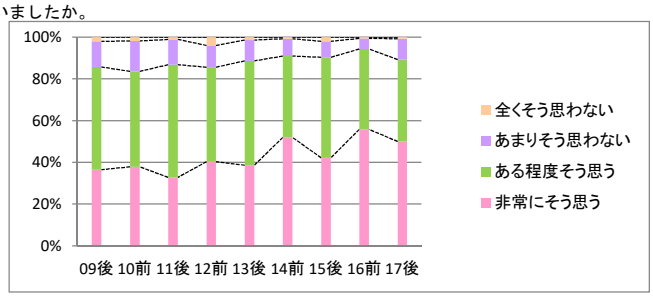
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.7%	44.2%	9.0%	3.1%
10前	37.9%	49.9%	9.7%	2.6%
11後	41.2%	50.7%	7.4%	0.7%
12前	48.9%	42.5%	6.7%	1.8%
13後	40.8%	49.9%	8.5%	0.8%
14前	52.9%	41.6%	4.3%	1.3%
15後	44.5%	48.4%	6.0%	1.1%
16前	60.0%	37.3%	2.7%	0.0%
17後	51.0%	44.7%	4.3%	0.0%



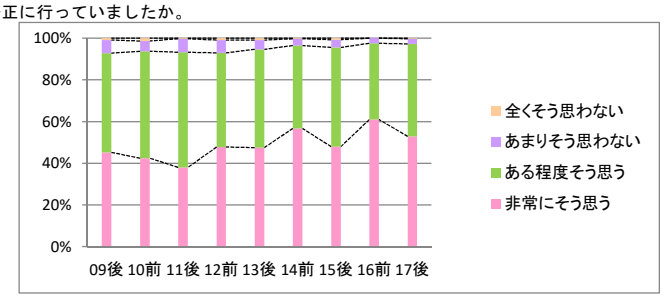
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	36.5%	49.2%	12.4%	1.9%
10前	37.9%	45.7%	14.6%	1.8%
11後	32.8%	54.1%	12.2%	1.0%
12前	40.2%	45.4%	10.4%	4.0%
13後	38.7%	50.0%	9.9%	1.4%
14前	52.0%	38.9%	8.3%	0.8%
15後	42.2%	48.2%	7.7%	1.9%
16前	55.8%	38.5%	5.1%	0.6%
17後	50.0%	39.3%	10.0%	0.7%



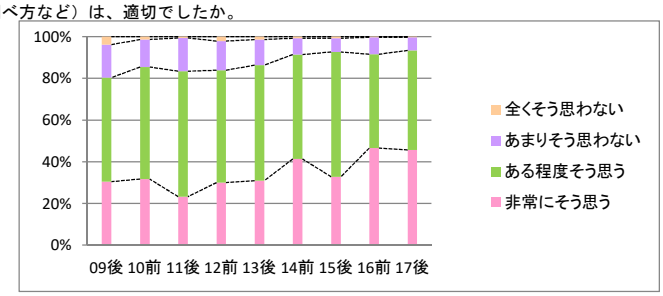
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	45.2%	47.6%	6.2%	1.0%
10前	42.4%	51.3%	4.9%	1.3%
11後	38.0%	55.3%	6.4%	0.3%
12前	47.9%	45.1%	6.1%	0.9%
13後	47.5%	47.2%	4.5%	0.8%
14前	56.7%	39.8%	3.3%	0.3%
15後	47.9%	47.7%	3.6%	0.8%
16前	61.1%	36.5%	2.4%	0.0%
17後	52.8%	44.5%	2.3%	0.3%



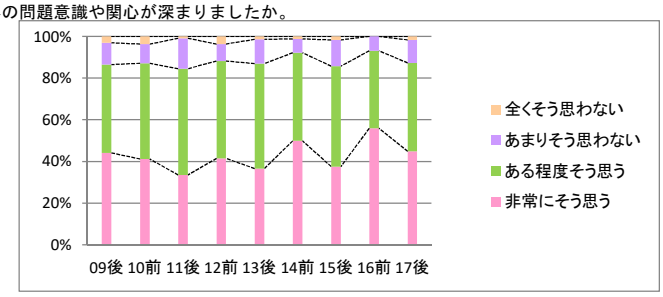
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	30.5%	49.8%	15.9%	3.8%
10前	31.7%	53.7%	13.2%	1.3%
11後	23.3%	60.1%	15.9%	0.7%
12前	29.9%	54.0%	13.9%	2.2%
13後	31.0%	55.4%	12.2%	1.4%
14前	41.4%	50.0%	7.8%	0.8%
15後	32.8%	59.8%	6.6%	0.8%
16前	46.5%	45.0%	8.1%	0.3%
17後	45.7%	47.7%	6.3%	0.3%



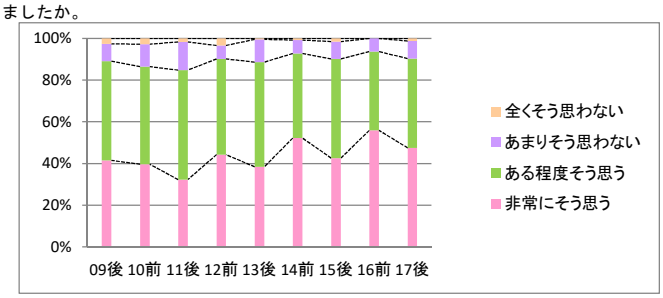
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	44.0%	42.4%	10.5%	3.1%
10前	41.2%	45.9%	9.2%	3.7%
11後	33.4%	51.0%	14.5%	1.0%
12前	41.5%	46.6%	8.2%	3.7%
13後	36.5%	50.4%	11.6%	1.4%
14前	49.9%	42.3%	6.5%	1.3%
15後	37.5%	48.2%	12.6%	1.6%
16前	56.0%	37.1%	6.9%	0.0%
17後	44.8%	42.5%	11.0%	1.7%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

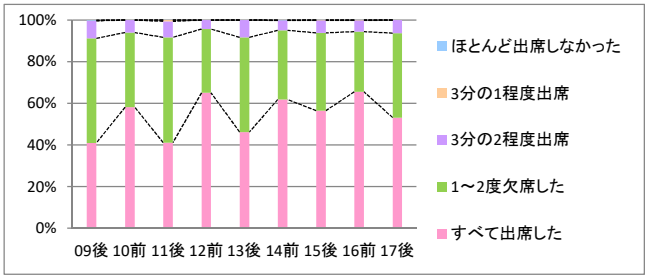
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	41.4%	47.6%	8.3%	2.6%
10前	39.7%	46.7%	10.7%	2.9%
11後	32.2%	52.5%	13.6%	1.7%
12前	44.2%	46.0%	6.4%	3.4%
13後	38.4%	50.3%	10.8%	0.6%
14前	52.1%	40.6%	6.5%	0.8%
15後	42.5%	47.7%	8.2%	1.6%
16前	55.9%	37.8%	6.3%	0.0%
17後	47.5%	42.8%	8.4%	1.3%



＜スペイン語＞

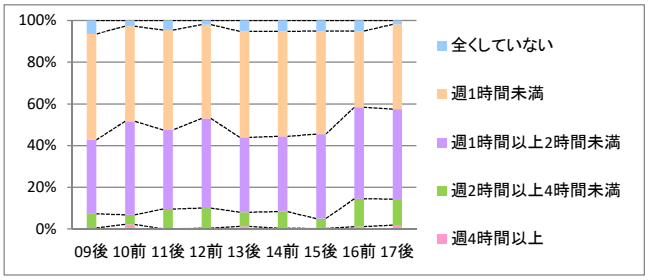
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	41.0%	50.3%	8.4%	0.0%	0.3%
10前	58.1%	35.9%	5.9%	0.0%	0.0%
11後	41.1%	50.5%	7.7%	0.7%	0.0%
12前	65.1%	30.6%	4.3%	0.0%	0.0%
13後	46.2%	45.4%	8.4%	0.0%	0.0%
14前	61.9%	33.3%	4.7%	0.0%	0.2%
15後	56.5%	37.4%	5.9%	0.2%	0.0%
16前	65.5%	28.9%	5.4%	0.2%	0.0%
17後	53.1%	40.6%	6.2%	0.0%	0.0%



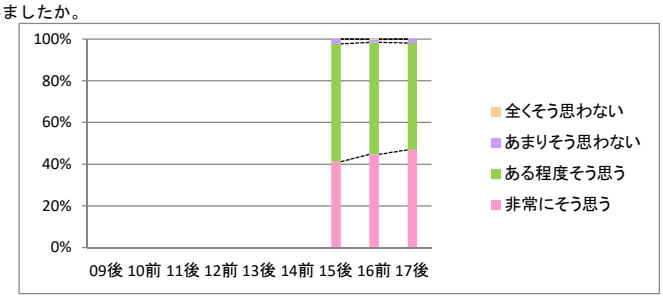
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.6%	6.7%	35.5%	50.9%	6.4%
10前	2.2%	4.7%	44.7%	45.6%	2.8%
11後	0.0%	9.5%	38.0%	47.9%	4.6%
12前	0.3%	9.7%	43.0%	45.0%	2.0%
13後	1.3%	6.7%	35.9%	50.8%	5.3%
14前	0.4%	8.0%	36.0%	50.4%	5.3%
15後	0.2%	4.8%	40.4%	49.6%	5.0%
16前	1.2%	13.3%	43.9%	36.4%	5.1%
17後	1.9%	12.5%	43.1%	40.7%	1.9%



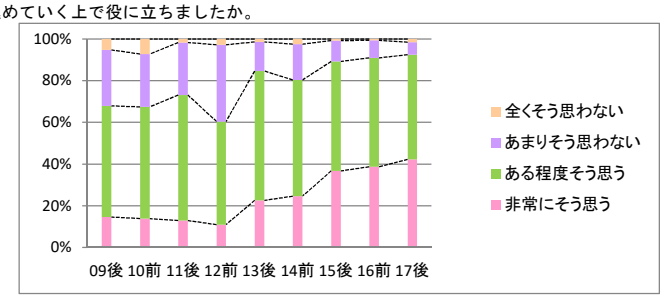
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	41.2%	56.4%	2.4%	0.0%
16前	44.8%	53.6%	1.4%	0.2%
17後	46.9%	51.3%	1.8%	0.0%



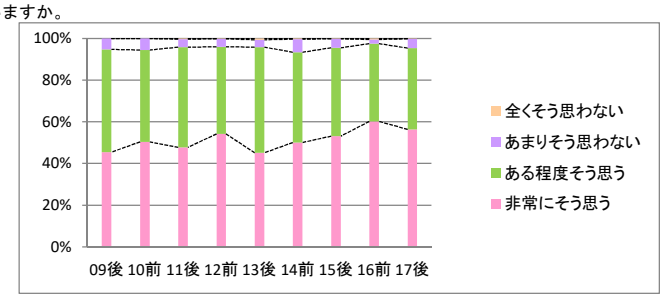
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	14.6%	53.2%	26.9%	5.3%
10前	13.8%	53.6%	25.4%	7.2%
11後	12.9%	60.1%	25.2%	1.7%
12前	10.9%	49.4%	36.8%	2.9%
13後	22.5%	62.1%	13.9%	1.5%
14前	24.6%	55.8%	17.2%	2.5%
15後	36.7%	52.5%	10.0%	0.9%
16前	38.7%	52.2%	8.4%	0.7%
17後	42.3%	50.1%	6.0%	1.6%



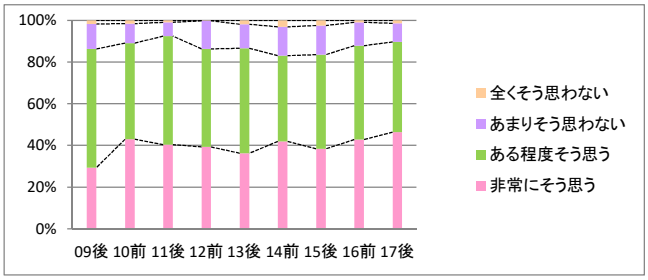
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	45.5%	49.3%	5.2%	0.0%
10前	50.3%	44.1%	5.6%	0.0%
11後	47.7%	48.1%	3.8%	0.3%
12前	54.2%	41.8%	3.7%	0.3%
13後	45.2%	50.6%	3.6%	0.6%
14前	50.0%	43.4%	6.2%	0.4%
15後	53.1%	42.3%	4.3%	0.2%
16前	60.1%	37.3%	2.1%	0.5%
17後	56.4%	39.0%	4.4%	0.2%



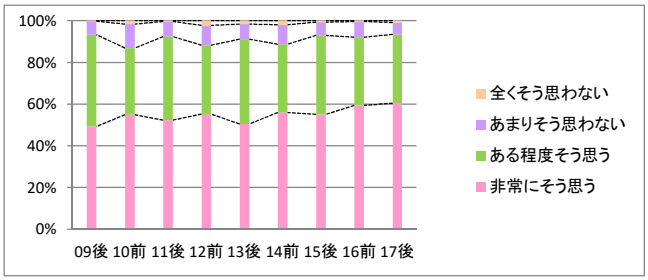
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	29.2%	57.0%	12.0%	1.8%
10前	42.9%	46.1%	9.4%	1.6%
11後	40.4%	51.9%	6.6%	1.0%
12前	39.3%	47.0%	13.5%	0.3%
13後	36.3%	50.3%	11.5%	1.9%
14前	41.9%	41.1%	13.8%	3.1%
15後	38.4%	45.1%	13.9%	2.6%
16前	42.8%	45.1%	11.2%	0.9%
17後	46.4%	43.2%	9.0%	1.4%



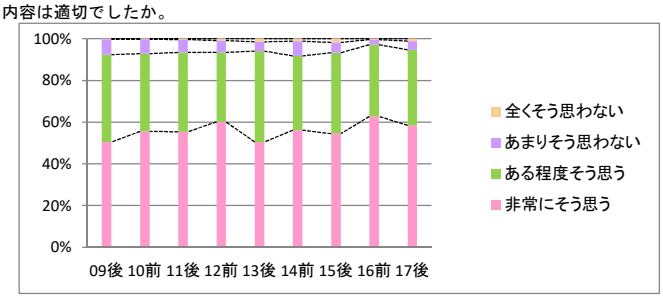
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	49.3%	44.0%	6.4%	0.3%
10前	54.9%	32.0%	11.6%	1.6%
11後	52.3%	40.1%	7.3%	0.3%
12前	55.2%	33.0%	9.5%	2.3%
13後	50.4%	40.8%	7.1%	1.7%
14前	56.1%	32.6%	9.4%	2.0%
15後	55.1%	37.9%	6.3%	0.7%
16前	59.3%	32.7%	7.5%	0.5%
17後	60.5%	33.0%	5.5%	0.9%



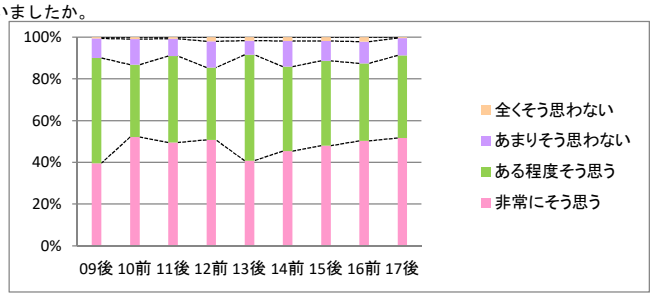
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	50.4%	41.9%	7.3%	0.3%
10前	55.5%	37.3%	6.9%	0.3%
11後	55.4%	38.0%	6.3%	0.3%
12前	60.1%	33.3%	5.7%	0.9%
13後	50.5%	43.6%	4.4%	1.5%
14前	56.2%	35.6%	7.0%	1.2%
15後	54.4%	38.8%	5.0%	1.7%
16前	62.7%	34.5%	2.3%	0.5%
17後	58.4%	36.3%	4.2%	1.2%



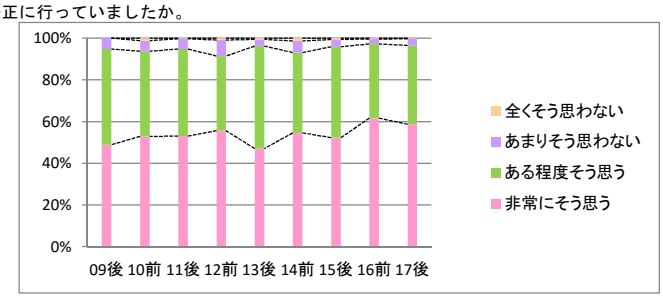
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	39.5%	50.6%	9.4%	0.6%
10前	52.2%	34.6%	12.3%	0.9%
11後	49.5%	41.5%	8.4%	0.7%
12前	50.7%	34.7%	12.6%	2.0%
13後	40.8%	50.8%	6.7%	1.7%
14前	45.4%	40.5%	12.3%	1.8%
15後	47.9%	40.8%	9.5%	1.7%
16前	50.2%	37.1%	10.5%	2.1%
17後	51.7%	39.5%	8.3%	0.5%



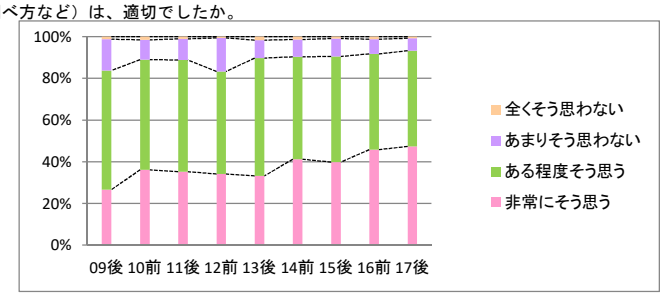
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	48.8%	45.9%	5.3%	0.0%
10前	52.8%	40.9%	5.0%	1.3%
11後	53.0%	41.8%	4.9%	0.3%
12前	55.6%	35.7%	7.8%	0.9%
13後	47.1%	49.2%	3.2%	0.6%
14前	54.6%	38.6%	5.5%	1.4%
15後	52.3%	43.6%	3.5%	0.7%
16前	61.6%	35.6%	2.3%	0.5%
17後	58.7%	37.9%	3.2%	0.2%



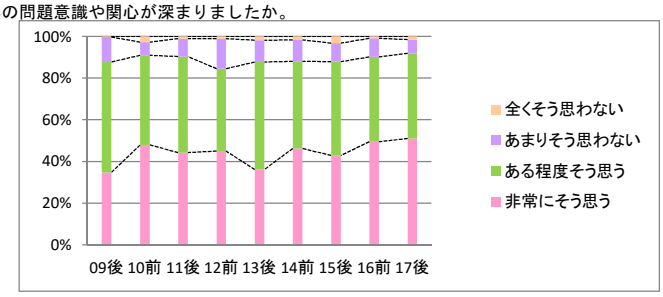
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	26.6%	57.1%	15.1%	1.2%
10前	36.1%	52.8%	9.5%	1.6%
11後	35.2%	53.7%	10.1%	1.0%
12前	34.2%	49.1%	16.1%	0.6%
13後	33.2%	56.5%	8.6%	1.7%
14前	41.1%	49.2%	8.3%	1.4%
15後	39.8%	50.7%	8.7%	0.9%
16前	45.8%	46.0%	7.0%	1.2%
17後	47.3%	46.0%	6.0%	0.7%



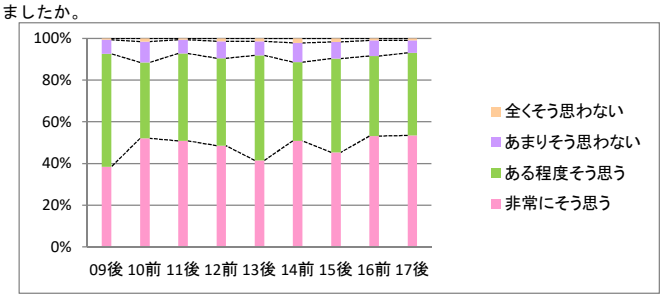
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.8%	52.9%	12.0%	0.3%
10前	48.0%	42.9%	6.3%	2.8%
11後	44.3%	46.0%	8.7%	1.0%
12前	45.0%	39.5%	14.3%	1.1%
13後	36.1%	51.7%	10.3%	1.9%
14前	46.3%	41.8%	10.2%	1.8%
15後	43.0%	44.9%	8.9%	3.3%
16前	49.4%	40.7%	8.9%	0.9%
17後	51.0%	40.9%	6.5%	1.6%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

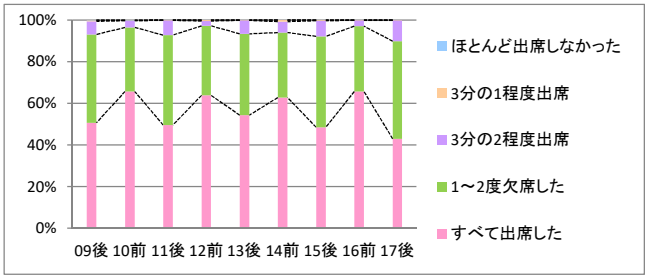
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	38.4%	54.3%	6.7%	0.6%
10前	52.0%	36.4%	10.0%	1.6%
11後	50.9%	41.8%	6.6%	0.7%
12前	48.6%	41.9%	8.1%	1.4%
13後	41.4%	50.3%	6.8%	1.5%
14前	50.9%	37.7%	9.2%	2.2%
15後	45.3%	44.9%	8.0%	1.7%
16前	53.2%	38.4%	7.5%	0.9%
17後	53.5%	39.6%	6.0%	0.9%



＜中国語＞

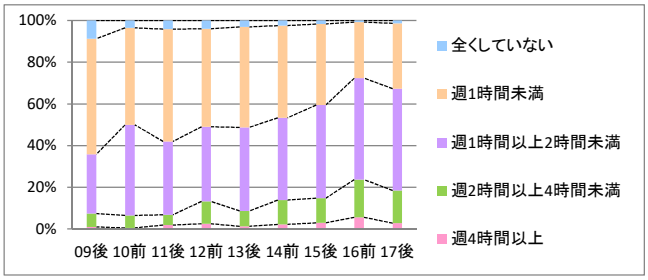
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	50.6%	42.5%	6.3%	0.4%	0.2%
10前	65.7%	30.8%	3.2%	0.2%	0.2%
11後	49.6%	43.1%	7.1%	0.2%	0.0%
12前	63.9%	33.3%	2.3%	0.5%	0.0%
13後	54.3%	39.1%	6.4%	0.2%	0.0%
14前	62.7%	31.2%	5.2%	0.8%	0.0%
15後	48.5%	43.7%	7.6%	0.3%	0.0%
16前	65.8%	31.3%	2.7%	0.2%	0.0%
17後	43.0%	46.9%	9.9%	0.2%	0.0%



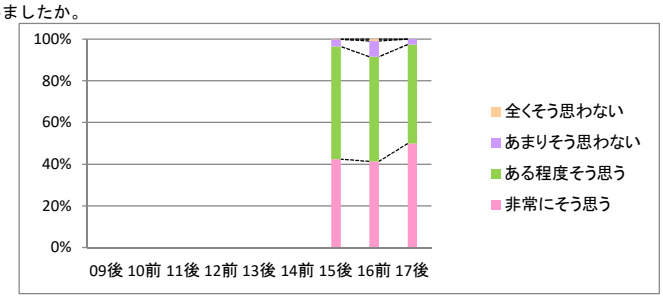
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	1.0%	6.4%	28.4%	55.4%	8.7%
10前	0.5%	6.0%	43.5%	46.5%	3.5%
11後	1.9%	5.0%	35.1%	53.8%	4.2%
12前	2.5%	10.7%	35.8%	47.0%	4.0%
13後	1.3%	7.3%	40.2%	48.1%	3.1%
14前	2.2%	11.7%	39.4%	44.2%	2.5%
15後	3.0%	11.8%	44.6%	38.8%	1.8%
16前	5.5%	18.2%	48.6%	26.9%	0.8%
17後	2.9%	15.6%	48.8%	31.4%	1.3%



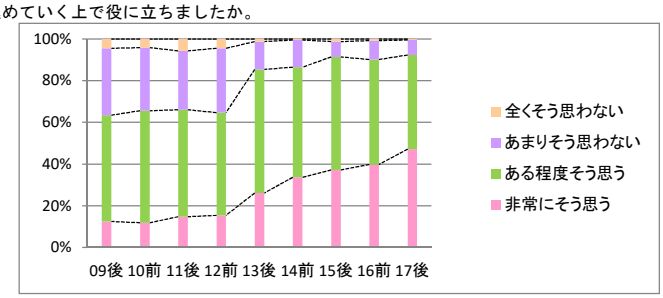
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	42.4%	54.0%	3.3%	0.3%
16前	41.4%	50.2%	7.4%	1.0%
17後	49.9%	47.5%	2.6%	0.0%



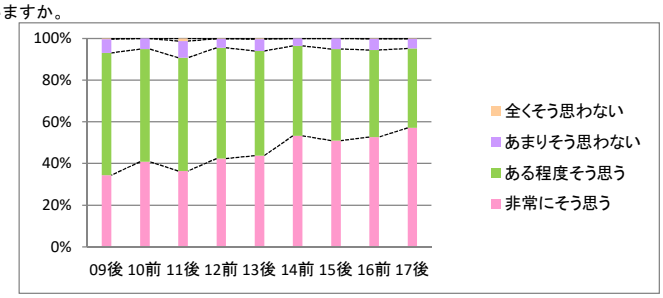
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	12.4%	50.9%	32.1%	4.6%
10前	11.8%	53.8%	30.2%	4.2%
11後	14.7%	51.4%	28.2%	5.7%
12前	15.3%	49.3%	31.0%	4.4%
13後	26.1%	59.3%	13.3%	1.3%
14前	33.7%	52.8%	13.0%	0.6%
15後	37.1%	54.3%	7.3%	1.3%
16前	39.7%	50.4%	9.0%	0.8%
17後	47.1%	45.2%	7.3%	0.4%



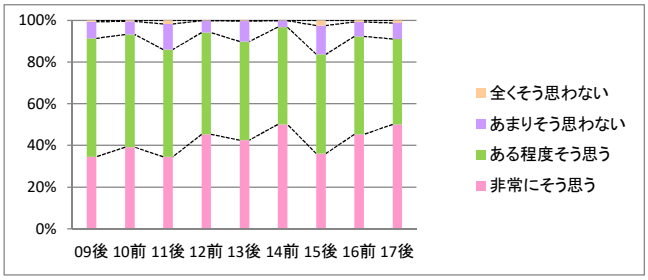
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.4%	58.6%	6.6%	0.4%
10前	40.8%	54.1%	5.1%	0.0%
11後	36.3%	54.4%	8.0%	1.2%
12前	42.3%	53.2%	4.3%	0.2%
13後	43.8%	50.2%	5.5%	0.4%
14前	53.2%	43.2%	3.6%	0.0%
15後	51.0%	43.9%	5.1%	0.0%
16前	52.6%	41.9%	5.4%	0.2%
17後	57.1%	38.0%	4.6%	0.2%



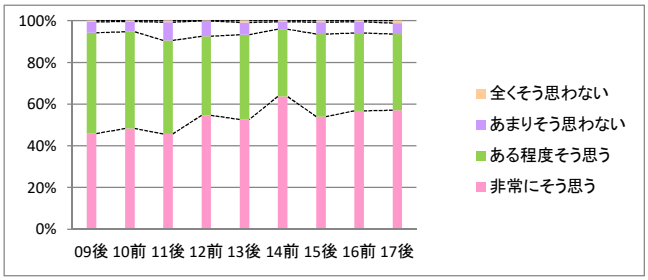
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.5%	56.8%	8.1%	0.6%
10前	39.1%	54.0%	6.3%	0.5%
11後	34.5%	51.5%	12.4%	1.7%
12前	45.3%	48.8%	5.8%	0.2%
13後	42.6%	47.2%	9.8%	0.4%
14前	50.0%	46.7%	3.0%	0.3%
15後	36.1%	47.5%	13.9%	2.5%
16前	45.3%	46.9%	7.0%	0.8%
17後	50.1%	40.9%	7.7%	1.3%



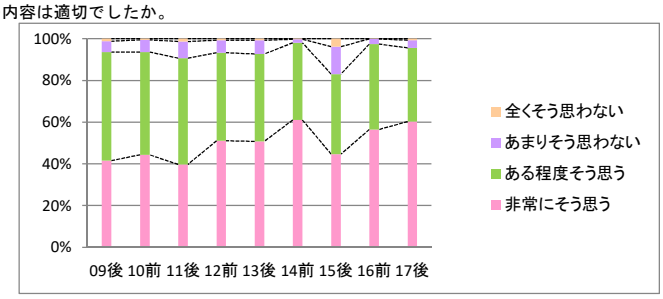
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	45.9%	48.3%	5.2%	0.6%
10前	48.2%	46.5%	4.9%	0.4%
11後	45.7%	44.8%	8.7%	0.8%
12前	54.6%	38.0%	7.3%	0.2%
13後	52.7%	40.7%	5.8%	0.9%
14前	63.7%	32.1%	3.6%	0.6%
15後	54.0%	39.6%	5.6%	0.8%
16前	56.7%	37.3%	5.5%	0.5%
17後	57.1%	36.5%	5.3%	1.1%



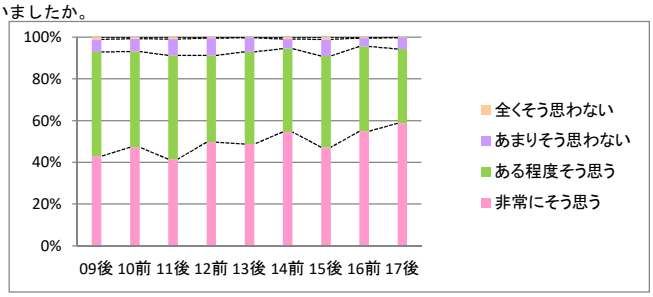
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	41.6%	52.0%	5.2%	1.2%
10前	44.3%	49.4%	5.8%	0.5%
11後	39.7%	51.1%	7.9%	1.4%
12前	51.1%	42.3%	6.0%	0.7%
13後	50.8%	41.9%	6.7%	0.7%
14前	61.0%	37.0%	1.7%	0.3%
15後	44.7%	38.4%	13.1%	3.8%
16前	56.5%	40.9%	2.4%	0.2%
17後	60.2%	35.4%	3.7%	0.7%



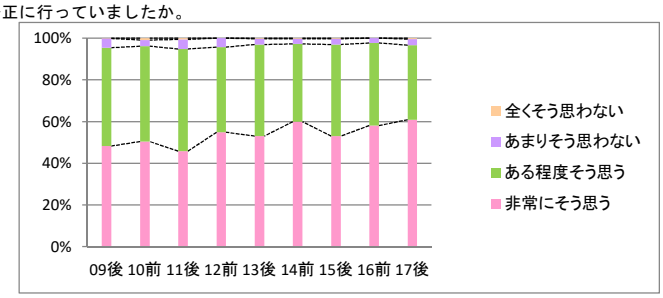
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	42.9%	50.0%	6.0%	1.0%
10前	47.3%	45.9%	6.2%	0.7%
11後	41.6%	49.8%	7.7%	0.9%
12前	49.8%	41.5%	8.3%	0.5%
13後	48.8%	44.1%	6.9%	0.2%
14前	54.6%	39.9%	4.7%	0.8%
15後	47.2%	43.7%	8.1%	1.0%
16前	54.9%	40.7%	3.9%	0.5%
17後	58.7%	35.6%	5.5%	0.2%



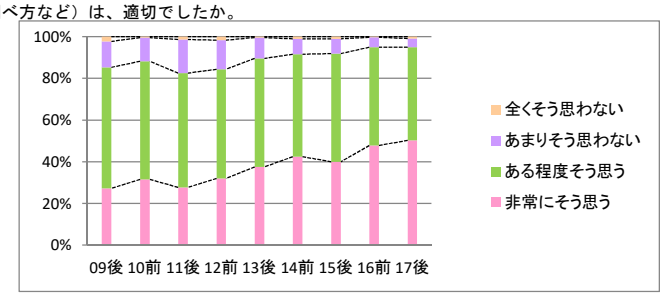
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	48.2%	47.2%	4.4%	0.2%
10前	50.4%	45.8%	3.0%	0.9%
11後	45.7%	49.0%	4.6%	0.6%
12前	54.9%	40.8%	4.3%	0.0%
13後	53.0%	43.9%	2.9%	0.2%
14前	60.0%	37.2%	2.5%	0.3%
15後	53.0%	43.9%	2.8%	0.3%
16前	58.2%	39.6%	2.3%	0.0%
17後	60.8%	35.9%	2.9%	0.4%



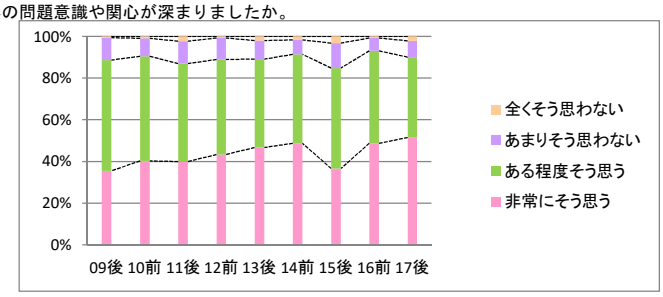
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	27.3%	57.9%	12.5%	2.3%
10前	31.5%	56.6%	11.3%	0.5%
11後	27.6%	54.8%	16.1%	1.4%
12前	32.1%	52.3%	14.0%	1.7%
13後	37.5%	52.1%	10.0%	0.4%
14前	42.5%	49.2%	7.3%	1.1%
15後	40.0%	51.9%	7.1%	1.0%
16前	47.7%	47.2%	4.7%	0.3%
17後	50.2%	44.7%	4.2%	0.9%



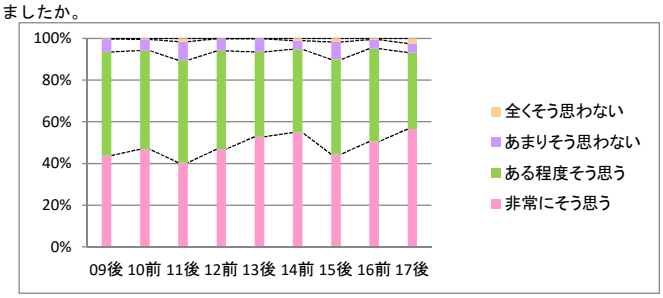
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	35.6%	53.0%	10.8%	0.6%
10前	40.2%	50.3%	8.6%	0.9%
11後	40.0%	46.8%	10.8%	2.3%
12前	43.3%	45.6%	10.2%	0.8%
13後	46.7%	42.5%	8.8%	2.0%
14前	48.7%	42.6%	7.0%	1.7%
15後	36.6%	48.2%	11.9%	3.3%
16前	48.7%	44.3%	6.1%	0.8%
17後	51.4%	38.6%	7.7%	2.2%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

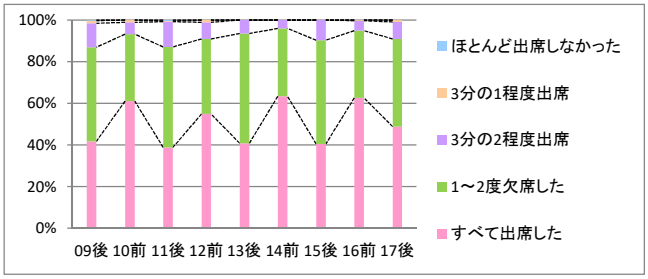
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	43.8%	49.7%	6.1%	0.4%
10前	46.9%	47.3%	5.3%	0.5%
11後	40.3%	49.1%	9.0%	1.5%
12前	46.8%	47.1%	5.9%	0.2%
13後	52.9%	40.7%	6.2%	0.2%
14前	54.7%	39.9%	4.2%	1.1%
15後	44.4%	45.4%	8.4%	1.8%
16前	50.6%	44.4%	4.4%	0.6%
17後	56.5%	36.6%	4.4%	2.4%



＜韓国語＞

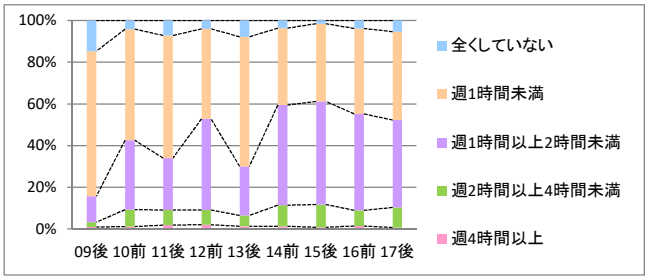
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	41.7%	45.2%	11.5%	1.3%	0.3%
10前	61.0%	32.2%	5.7%	1.1%	0.0%
11後	38.9%	48.2%	12.1%	0.4%	0.4%
12前	54.9%	36.0%	8.1%	1.0%	0.0%
13後	40.9%	52.6%	6.5%	0.0%	0.0%
14前	63.4%	32.5%	4.1%	0.0%	0.0%
15後	40.5%	49.8%	9.7%	0.0%	0.0%
16前	62.7%	32.2%	4.8%	0.3%	0.0%
17後	48.8%	42.2%	8.1%	0.9%	0.0%



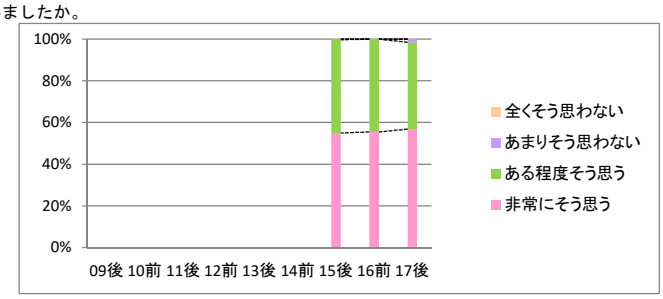
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	1.0%	2.2%	12.5%	69.6%	14.7%
10前	1.1%	8.2%	33.3%	53.3%	4.1%
11後	1.9%	7.2%	24.9%	58.7%	7.2%
12前	2.0%	7.1%	43.8%	43.1%	4.0%
13後	1.3%	5.2%	23.5%	62.2%	7.8%
14前	1.2%	10.2%	48.0%	36.9%	3.7%
15後	0.8%	10.9%	49.4%	37.2%	1.6%
16前	1.4%	7.6%	46.2%	41.0%	3.8%
17後	0.6%	9.7%	41.9%	42.5%	5.3%



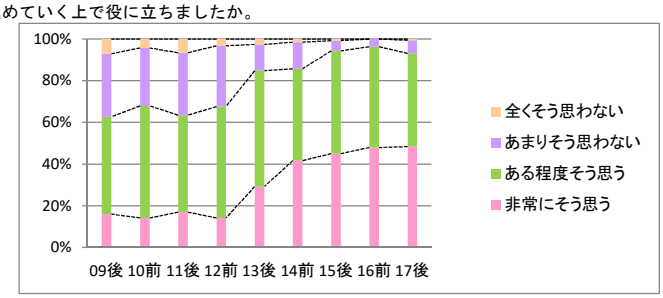
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	55.1%	44.5%	0.4%	0.0%
16前	55.5%	44.5%	0.0%	0.0%
17後	56.9%	41.6%	1.6%	0.0%



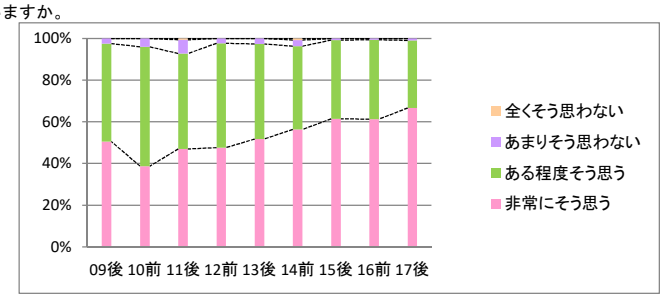
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	16.0%	46.6%	30.4%	7.0%
10前	14.1%	53.8%	27.7%	4.3%
11後	16.9%	46.4%	30.1%	6.6%
12前	14.2%	53.4%	29.1%	3.3%
13後	29.1%	55.7%	12.6%	2.6%
14前	41.6%	44.1%	12.7%	1.6%
15後	44.9%	49.4%	4.9%	0.8%
16前	47.9%	48.3%	3.8%	0.0%
17後	48.4%	44.7%	6.3%	0.6%



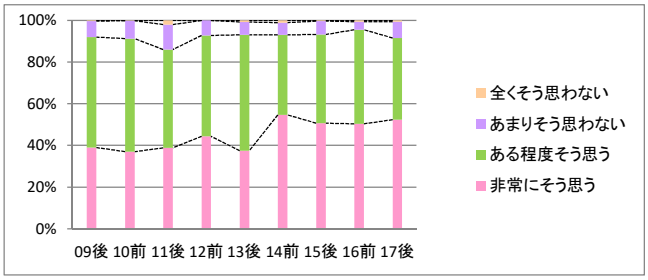
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	50.5%	47.0%	2.6%	0.0%
10前	38.7%	57.2%	4.1%	0.0%
11後	47.0%	45.8%	6.6%	0.6%
12前	47.6%	50.1%	2.3%	0.0%
13後	51.7%	45.7%	2.6%	0.0%
14前	56.3%	40.0%	2.9%	0.8%
15後	61.4%	37.8%	0.8%	0.0%
16前	61.3%	38.0%	0.7%	0.0%
17後	66.6%	32.5%	0.9%	0.0%



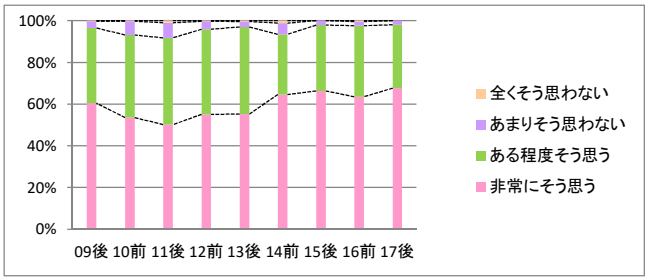
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	39.0%	53.0%	7.7%	0.3%
10前	37.0%	54.2%	8.5%	0.3%
11後	38.9%	47.1%	11.9%	2.1%
12前	44.3%	48.4%	7.3%	0.0%
13後	37.4%	55.7%	6.1%	0.9%
14前	54.7%	38.4%	5.7%	1.2%
15後	50.6%	42.5%	6.5%	0.4%
16前	50.3%	45.2%	3.8%	0.7%
17後	52.4%	39.2%	7.8%	0.6%



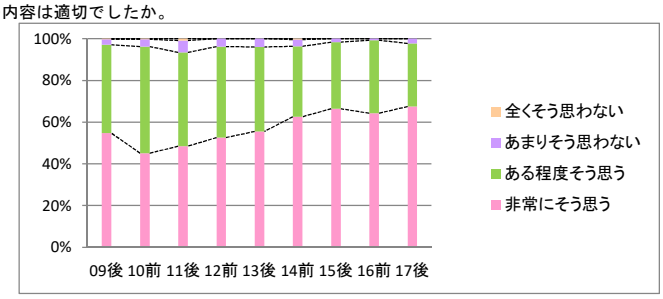
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	60.4%	36.1%	3.2%	0.3%
10前	53.6%	39.6%	6.6%	0.3%
11後	50.2%	41.5%	7.2%	1.1%
12前	55.1%	40.8%	3.8%	0.3%
13後	55.2%	41.7%	2.6%	0.4%
14前	64.6%	28.9%	5.3%	1.2%
15後	66.3%	31.7%	2.0%	0.0%
16前	63.6%	34.0%	2.1%	0.3%
17後	67.7%	30.4%	1.9%	0.0%



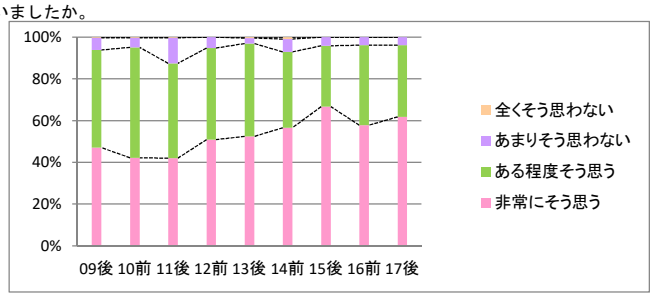
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	54.8%	42.4%	2.5%	0.3%
10前	45.1%	51.1%	3.6%	0.3%
11後	48.5%	44.9%	5.7%	0.8%
12前	52.6%	43.6%	3.8%	0.0%
13後	55.5%	40.6%	3.9%	0.0%
14前	62.6%	33.7%	3.3%	0.4%
15後	66.4%	32.0%	1.6%	0.0%
16前	64.3%	35.1%	0.7%	0.0%
17後	67.5%	30.3%	2.2%	0.0%



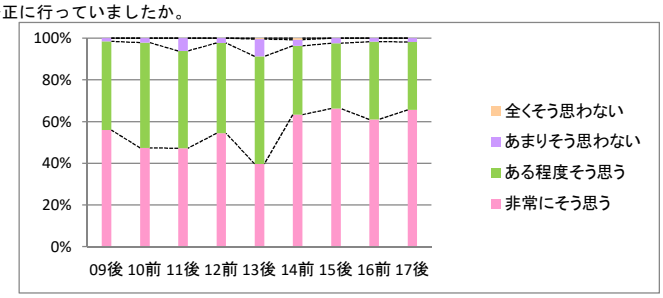
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	47.1%	46.8%	5.7%	0.3%
10前	42.2%	52.9%	4.7%	0.3%
11後	41.9%	45.6%	12.3%	0.2%
12前	50.9%	44.0%	5.1%	0.0%
13後	52.4%	44.5%	2.6%	0.4%
14前	56.6%	36.5%	6.1%	0.8%
15後	66.7%	29.3%	4.1%	0.0%
16前	57.9%	38.4%	3.8%	0.0%
17後	61.9%	34.4%	3.8%	0.0%



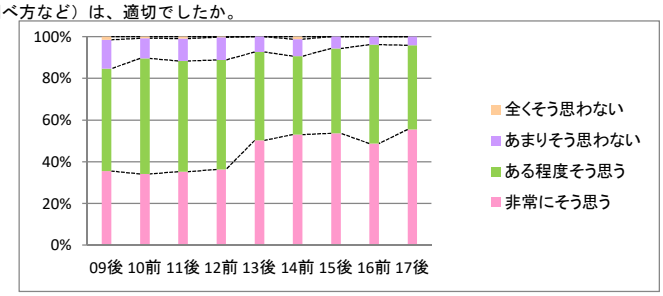
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	55.9%	42.5%	1.6%	0.0%
10前	47.4%	50.4%	2.2%	0.0%
11後	47.1%	46.7%	6.2%	0.0%
12前	54.3%	43.4%	2.3%	0.0%
13後	39.7%	51.5%	8.3%	0.4%
14前	63.3%	33.1%	2.9%	0.8%
15後	66.3%	31.3%	2.4%	0.0%
16前	61.0%	37.3%	1.7%	0.0%
17後	65.6%	32.5%	1.9%	0.0%



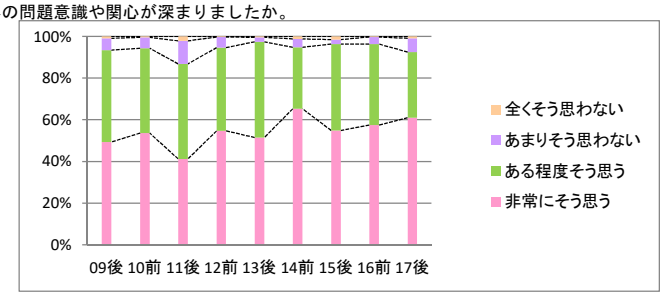
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	35.6%	49.0%	13.8%	1.6%
10前	34.2%	55.5%	9.6%	0.8%
11後	35.2%	53.2%	10.8%	0.8%
12前	36.3%	52.5%	11.0%	0.3%
13後	50.2%	42.4%	7.4%	0.0%
14前	53.1%	37.6%	8.2%	1.2%
15後	53.7%	40.7%	5.7%	0.0%
16前	48.8%	47.4%	3.8%	0.0%
17後	55.5%	40.4%	4.1%	0.0%



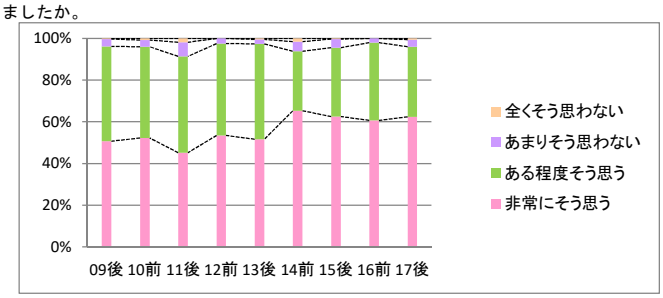
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	49.4%	43.9%	5.7%	1.0%
10前	53.7%	40.5%	5.2%	0.5%
11後	41.2%	45.6%	11.0%	2.1%
12前	54.8%	39.8%	5.1%	0.3%
13後	51.5%	45.9%	2.2%	0.4%
14前	65.3%	29.4%	4.1%	1.2%
15後	54.9%	41.5%	2.0%	1.6%
16前	57.5%	38.7%	3.4%	0.3%
17後	60.9%	31.6%	6.6%	0.9%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

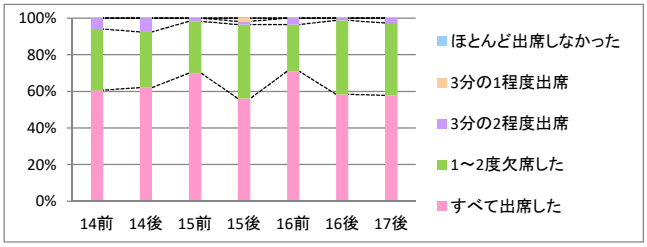
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	50.6%	45.5%	3.5%	0.3%
10前	52.2%	43.7%	3.3%	0.8%
11後	45.2%	46.1%	6.8%	1.9%
12前	53.4%	44.0%	2.5%	0.0%
13後	51.5%	45.9%	2.2%	0.4%
14前	65.3%	28.6%	4.5%	1.6%
15後	62.4%	33.1%	4.1%	0.4%
16前	60.6%	37.3%	2.1%	0.0%
17後	62.4%	33.5%	3.4%	0.6%



＜日本語科目＞

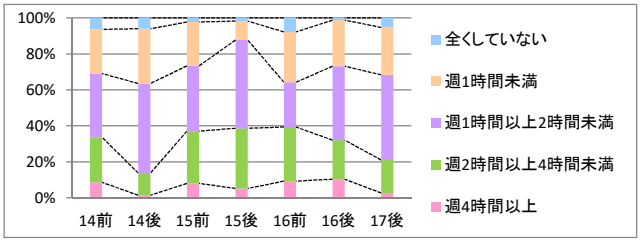
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
14前	60.6%	33.5%	5.9%	0.0%	0.0%
14後	62.1%	30.3%	7.6%	0.0%	0.0%
15前	69.9%	28.3%	1.7%	0.0%	0.0%
15後	56.1%	40.4%	1.8%	1.8%	0.0%
16前	70.9%	25.5%	3.5%	0.0%	0.0%
16後	58.4%	40.3%	1.3%	0.0%	0.0%
17後	57.9%	39.5%	2.6%	0.0%	0.0%



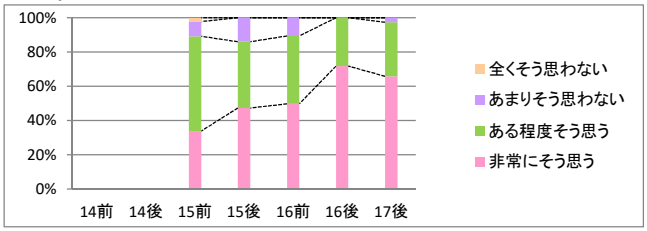
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
14前	8.6%	25.1%	35.3%	24.6%	6.4%
14後	1.5%	12.1%	50.0%	30.3%	6.1%
15前	8.1%	28.9%	36.4%	24.3%	2.3%
15後	5.3%	33.3%	49.1%	10.5%	1.8%
16前	9.3%	30.0%	25.0%	27.9%	7.9%
16後	10.3%	21.8%	41.0%	25.6%	1.3%
17後	2.6%	18.4%	47.4%	26.3%	5.3%



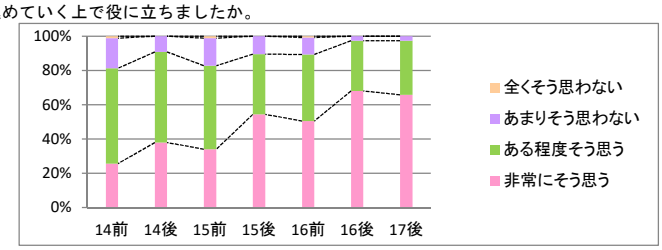
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前				
14後				
15前	33.9%	55.2%	8.6%	2.3%
15後	47.4%	38.6%	14.0%	0.0%
16前	49.6%	39.7%	10.6%	0.0%
16後	71.8%	28.2%	0.0%	0.0%
17後	65.8%	31.6%	2.6%	0.0%



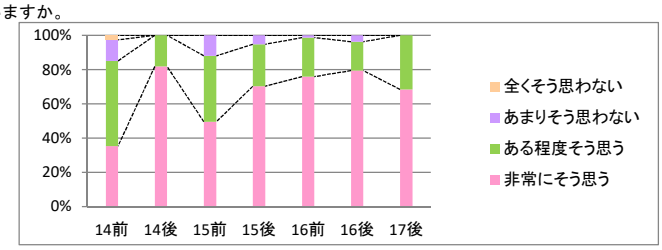
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	25.5%	55.9%	17.6%	1.1%
14後	37.9%	53.0%	9.1%	0.0%
15前	33.9%	48.9%	16.1%	1.1%
15後	54.4%	35.1%	10.5%	0.0%
16前	50.4%	39.0%	9.9%	0.7%
16後	67.9%	29.5%	2.6%	0.0%
17後	65.8%	31.6%	2.6%	0.0%



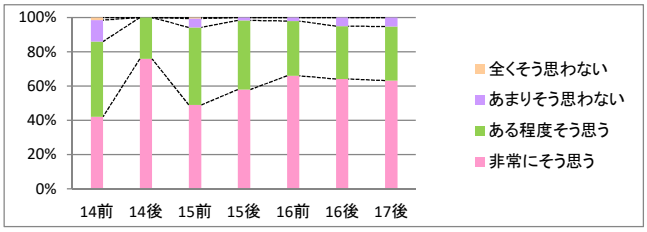
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	35.3%	49.7%	12.3%	2.7%
14後	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
15前	49.4%	38.5%	12.1%	0.0%
15後	70.2%	24.6%	5.3%	0.0%
16前	75.9%	22.7%	1.4%	0.0%
16後	79.5%	16.7%	3.8%	0.0%
17後	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%



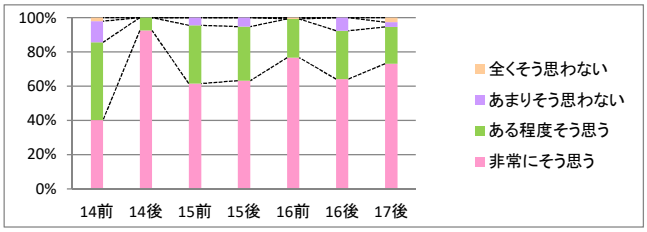
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

09前	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	41.9%	44.1%	12.4%	1.6%
14後	75.8%	24.2%	0.0%	0.0%
15前	48.9%	45.4%	5.2%	0.6%
15後	57.9%	40.4%	1.8%	0.0%
16前	66.0%	31.9%	2.1%	0.0%
16後	64.1%	30.8%	5.1%	0.0%
17後	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%



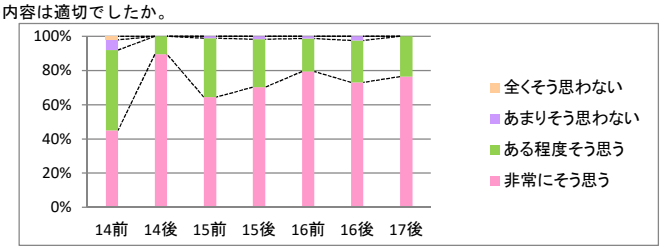
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	40.1%	45.5%	12.3%	2.1%
14後	92.4%	7.6%	0.0%	0.0%
15前	61.5%	33.9%	4.6%	0.0%
15後	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%
16前	76.6%	22.7%	0.0%	0.7%
16後	64.1%	28.2%	7.7%	0.0%
17後	73.0%	21.6%	2.7%	2.7%



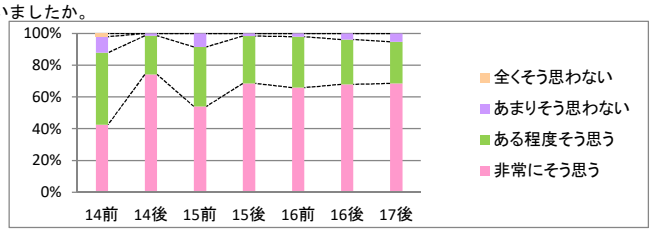
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	44.9%	47.1%	5.9%	2.1%
14後	89.4%	10.6%	0.0%	0.0%
15前	64.4%	34.5%	1.1%	0.0%
15後	70.2%	28.1%	1.8%	0.0%
16前	79.4%	19.1%	1.4%	0.0%
16後	73.1%	24.4%	2.6%	0.0%
17後	76.3%	23.7%	0.0%	0.0%



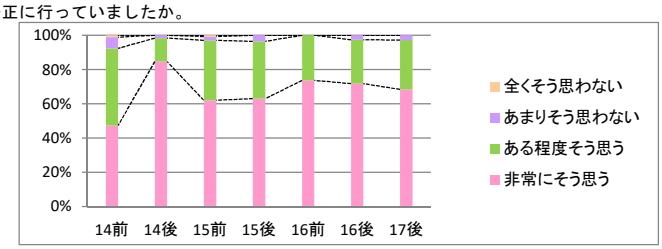
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	42.6%	45.2%	10.1%	2.1%
14後	74.2%	24.2%	1.5%	0.0%
15前	54.0%	37.4%	8.6%	0.0%
15後	68.4%	29.8%	1.8%	0.0%
16前	66.0%	31.9%	2.1%	0.0%
16後	67.9%	28.2%	3.8%	0.0%
17後	68.4%	26.3%	5.3%	0.0%



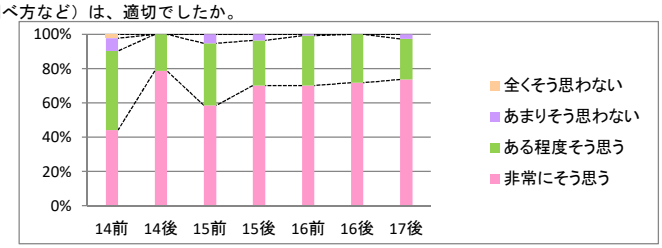
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	47.3%	45.2%	6.5%	1.1%
14後	84.8%	13.6%	1.5%	0.0%
15前	62.1%	35.1%	2.3%	0.6%
15後	63.2%	33.3%	3.5%	0.0%
16前	73.8%	26.2%	0.0%	0.0%
16後	71.8%	25.6%	2.6%	0.0%
17後	68.4%	28.9%	2.6%	0.0%



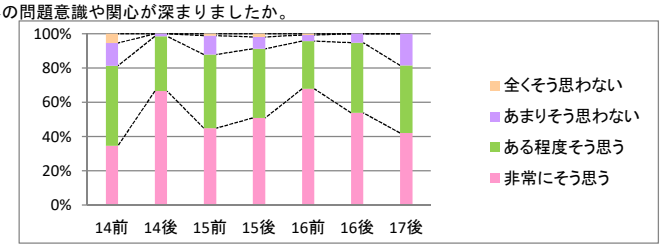
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	44.1%	46.3%	7.4%	2.1%
14後	78.8%	21.2%	0.0%	0.0%
15前	58.6%	36.2%	5.2%	0.0%
15後	70.2%	26.3%	3.5%	0.0%
16前	70.2%	29.1%	0.7%	0.0%
16後	71.8%	28.2%	0.0%	0.0%
17後	73.7%	23.7%	2.6%	0.0%



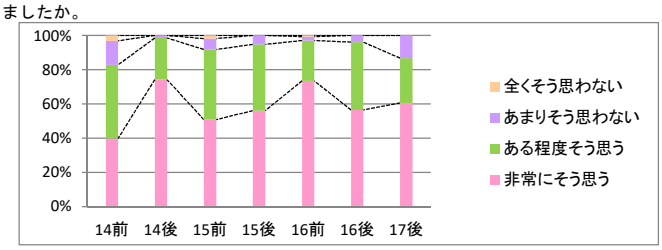
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	34.6%	46.8%	13.3%	5.3%
14後	66.7%	31.8%	1.5%	0.0%
15前	44.8%	43.1%	10.9%	1.1%
15後	50.9%	40.4%	7.0%	1.8%
16前	67.9%	27.9%	3.6%	0.7%
16後	53.8%	41.0%	5.1%	0.0%
17後	42.1%	39.5%	18.4%	0.0%



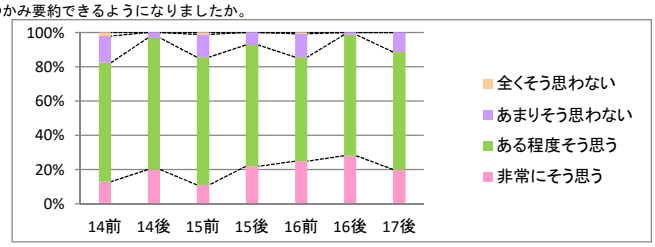
設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	39.8%	43.0%	14.0%	3.2%
14後	74.2%	24.2%	1.5%	0.0%
15前	50.9%	41.0%	6.4%	1.7%
15後	56.1%	38.6%	5.3%	0.0%
16前	73.6%	23.6%	2.1%	0.7%
16後	56.4%	39.7%	3.8%	0.0%
17後	60.5%	26.3%	13.2%	0.0%



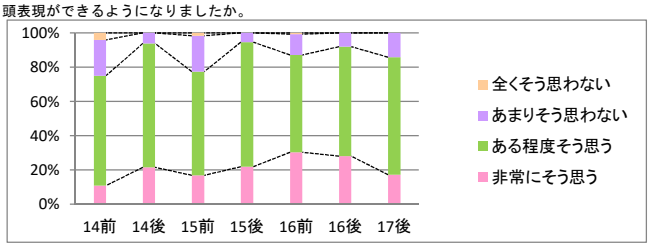
設問17 (この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	12.8%	69.6%	15.5%	2.0%
14後	20.0%	76.9%	3.1%	0.0%
15前	11.0%	74.6%	13.3%	1.2%
15後	21.8%	70.9%	7.3%	0.0%
16前	24.8%	60.9%	13.5%	0.8%
16後	28.0%	70.7%	1.3%	0.0%
17後	20.0%	68.6%	11.4%	0.0%



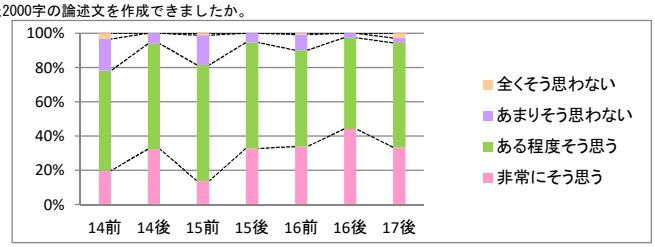
設問18 (この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	10.8%	64.2%	20.9%	4.1%
14後	21.5%	72.3%	6.2%	0.0%
15前	16.8%	60.7%	20.8%	1.7%
15後	21.8%	72.7%	5.5%	0.0%
16前	30.3%	56.8%	12.1%	0.8%
16後	28.0%	64.0%	8.0%	0.0%
17後	17.1%	68.6%	14.3%	0.0%



設問19 (この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。

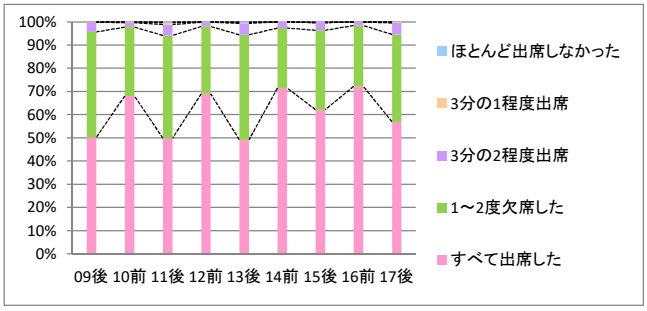
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14前	19.9%	58.2%	18.5%	3.4%
14後	32.3%	61.5%	6.2%	0.0%
15前	13.8%	67.7%	17.4%	1.2%
15後	32.7%	61.8%	5.5%	0.0%
16前	33.8%	56.2%	9.2%	0.8%
16後	44.0%	53.3%	2.7%	0.0%
17後	33.3%	61.1%	2.8%	2.8%



＜情報処理科目＞

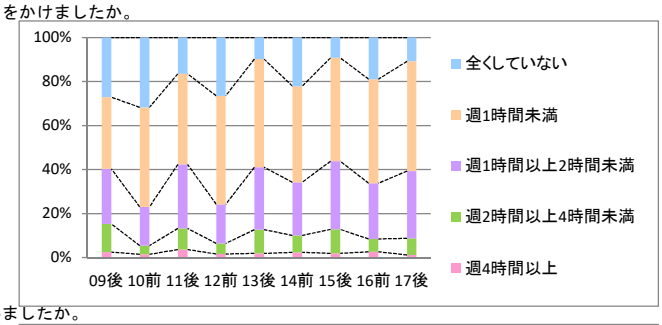
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	50.3%	45.5%	4.0%	0.3%	0.0%
10前	68.1%	29.7%	1.9%	0.3%	0.0%
11後	49.8%	44.3%	4.8%	0.7%	0.4%
12前	69.0%	29.1%	1.8%	0.2%	0.0%
13後	49.2%	45.1%	5.0%	0.3%	0.3%
14前	71.6%	25.8%	2.5%	0.1%	0.0%
15後	62.2%	34.2%	3.3%	0.0%	0.3%
16前	72.2%	26.3%	1.5%	0.0%	0.0%
17後	56.9%	37.7%	5.0%	0.4%	0.0%



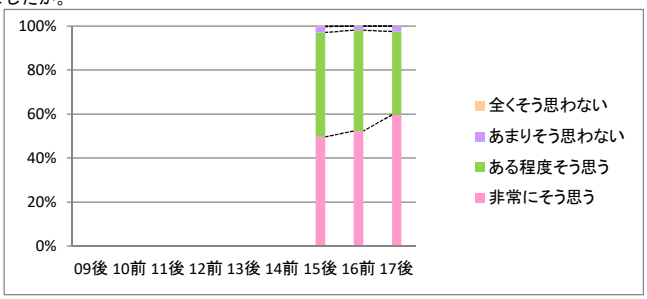
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	2.5%	12.7%	25.1%	32.5%	27.2%
10前	1.5%	4.0%	17.5%	45.2%	31.8%
11後	3.7%	9.6%	29.0%	41.2%	16.5%
12前	1.6%	4.9%	17.6%	49.3%	26.6%
13後	1.9%	10.7%	28.4%	49.2%	9.8%
14前	2.4%	7.7%	24.0%	43.7%	22.2%
15後	2.0%	10.9%	30.9%	47.0%	9.2%
16前	2.6%	5.9%	25.3%	47.2%	19.0%
17後	1.3%	7.5%	30.5%	49.8%	10.9%



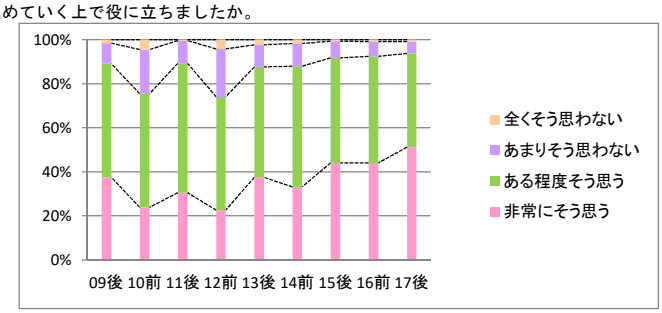
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	49.7%	47.4%	2.6%	0.3%
16前	52.2%	45.9%	1.8%	0.1%
17後	59.6%	37.9%	2.5%	0.0%



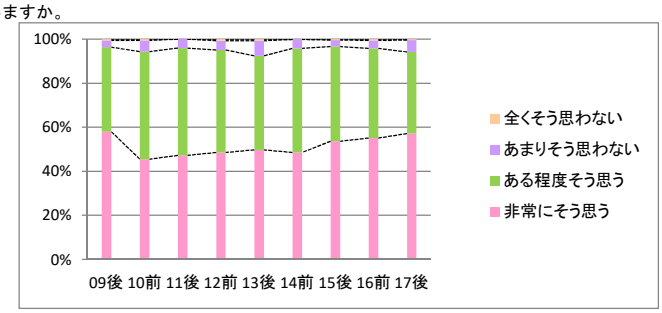
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	37.5%	51.6%	9.4%	1.5%
10前	23.8%	51.6%	20.1%	4.4%
11後	30.5%	58.8%	10.3%	0.4%
12前	22.5%	51.6%	21.8%	4.1%
13後	37.5%	50.2%	10.1%	2.2%
14前	33.2%	54.8%	10.4%	1.7%
15後	44.1%	47.7%	7.5%	0.7%
16前	44.1%	48.4%	6.8%	0.8%
17後	51.3%	42.5%	5.4%	0.8%



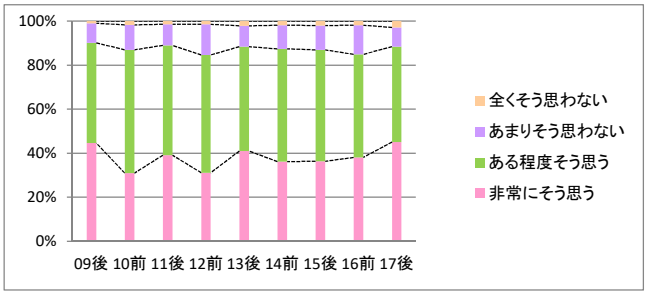
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	58.0%	38.4%	3.1%	0.5%
10前	45.5%	48.8%	5.1%	0.6%
11後	47.3%	48.7%	4.0%	0.0%
12前	48.5%	46.6%	4.1%	0.7%
13後	49.7%	42.8%	6.9%	0.6%
14前	48.6%	47.2%	4.1%	0.1%
15後	53.6%	43.1%	2.9%	0.3%
16前	55.1%	40.7%	3.7%	0.5%
17後	57.1%	37.1%	5.4%	0.4%



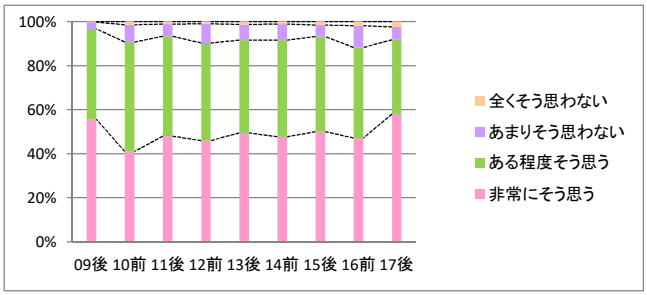
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	44.6%	45.6%	8.9%	1.0%
10前	30.9%	56.0%	11.3%	1.7%
11後	39.1%	49.8%	9.6%	1.5%
12前	31.1%	53.5%	13.9%	1.4%
13後	41.0%	47.3%	9.5%	2.2%
14前	36.1%	51.3%	10.7%	1.8%
15後	36.4%	50.5%	11.1%	2.0%
16前	38.1%	46.9%	13.2%	1.8%
17後	45.0%	43.3%	8.8%	2.9%



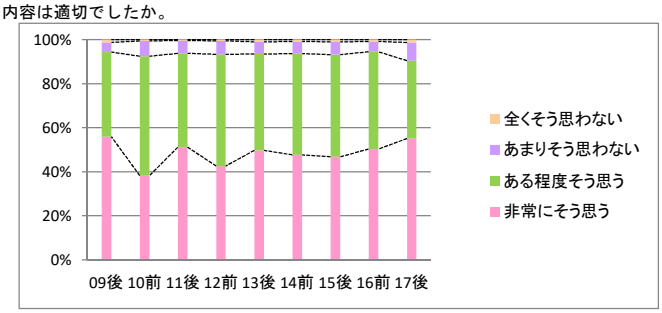
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	55.7%	41.0%	3.0%	0.3%
10前	40.9%	49.8%	7.9%	1.5%
11後	48.0%	45.4%	5.5%	1.1%
12前	45.8%	44.5%	8.7%	1.0%
13後	49.4%	42.2%	7.2%	1.3%
14前	47.6%	43.9%	7.4%	1.1%
15後	50.0%	43.1%	5.2%	1.6%
16前	47.1%	41.1%	9.8%	1.9%
17後	57.9%	33.8%	5.8%	2.5%



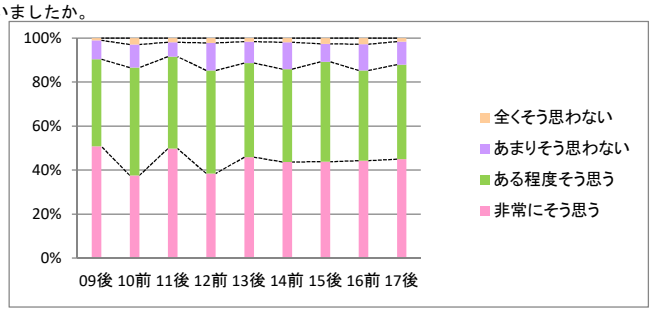
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	56.0%	38.4%	4.3%	1.3%
10前	38.2%	54.2%	7.0%	0.6%
11後	51.1%	42.6%	5.9%	0.4%
12前	42.5%	50.8%	6.1%	0.6%
13後	49.7%	43.7%	5.7%	0.9%
14前	47.6%	45.9%	5.6%	0.9%
15後	46.7%	46.4%	5.9%	1.0%
16前	50.2%	44.2%	4.7%	0.9%
17後	55.0%	35.4%	8.3%	1.3%



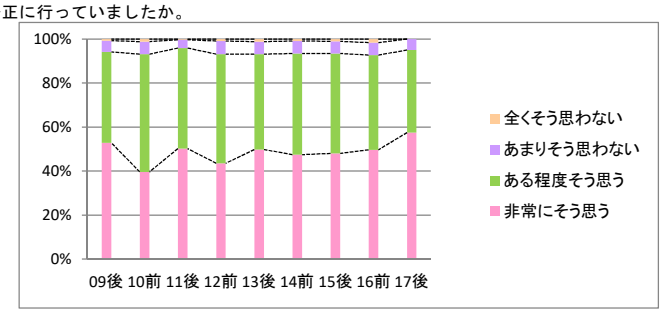
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	50.9%	39.5%	8.6%	1.0%
10前	37.5%	49.0%	10.6%	2.9%
11後	49.8%	41.8%	6.6%	1.8%
12前	38.5%	46.9%	12.5%	2.2%
13後	45.9%	42.8%	9.7%	1.6%
14前	43.6%	42.2%	12.2%	1.9%
15後	43.8%	45.4%	8.2%	2.6%
16前	44.2%	41.0%	12.1%	2.7%
17後	45.0%	42.9%	10.4%	1.7%



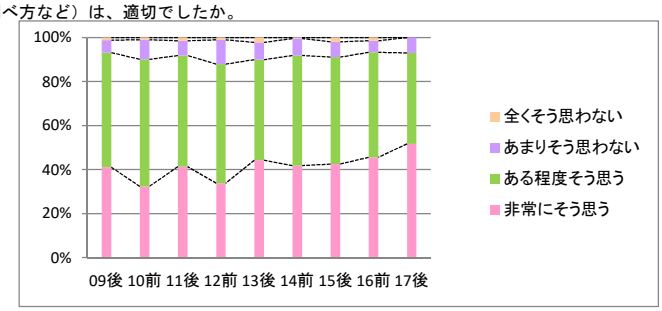
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	52.9%	41.3%	5.1%	0.8%
10前	39.7%	53.5%	5.7%	1.1%
11後	50.2%	45.8%	3.7%	0.4%
12前	43.6%	49.5%	6.0%	0.9%
13後	49.8%	43.3%	5.6%	1.3%
14前	47.5%	46.0%	5.7%	0.8%
15後	48.0%	45.4%	5.6%	1.0%
16前	49.7%	43.1%	5.6%	1.6%
17後	57.5%	37.5%	5.0%	0.0%



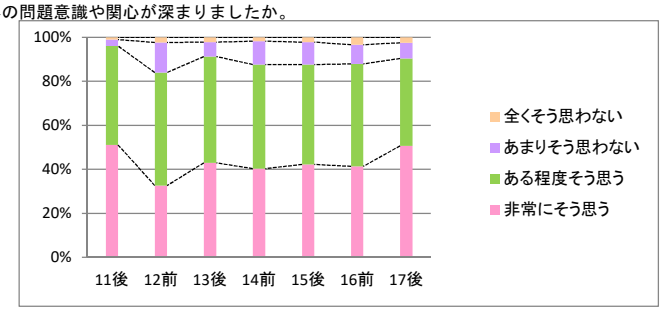
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	41.1%	52.0%	5.6%	1.3%
10前	32.3%	57.8%	8.9%	1.0%
11後	41.3%	50.6%	6.6%	1.5%
12前	33.7%	54.2%	11.1%	1.0%
13後	44.3%	45.6%	7.9%	2.2%
14前	41.7%	50.1%	7.7%	0.5%
15後	42.4%	48.7%	6.9%	2.0%
16前	45.6%	47.6%	5.2%	1.5%
17後	51.7%	41.3%	7.1%	0.0%



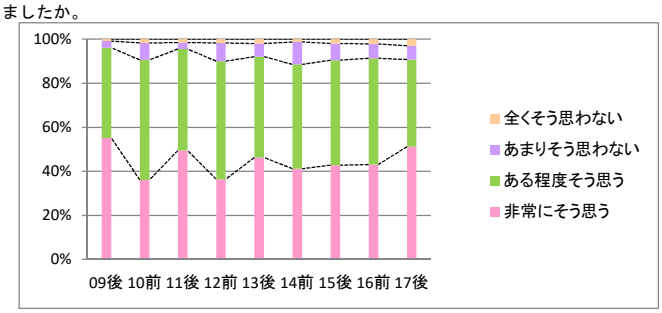
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	51.0%	43.1%	5.4%	0.5%
10前	32.1%	54.8%	10.7%	2.4%
11後	51.1%	44.9%	2.9%	1.1%
12前	32.6%	51.4%	13.7%	2.3%
13後	42.9%	48.3%	6.6%	2.2%
14前	40.2%	47.3%	10.7%	1.8%
15後	42.2%	45.4%	10.1%	2.3%
16前	41.3%	46.6%	8.7%	3.4%
17後	50.6%	39.7%	7.1%	2.5%



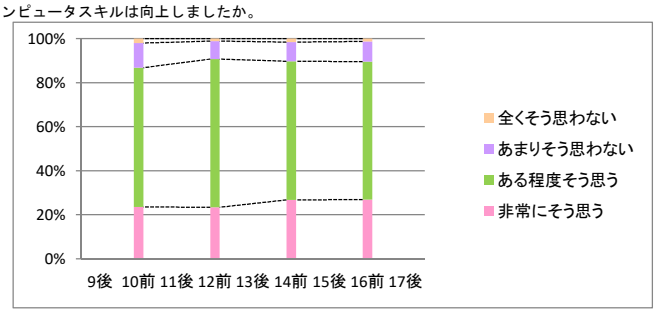
設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	55.2%	41.0%	3.0%	0.8%
10前	36.1%	54.5%	7.8%	1.6%
11後	49.4%	46.1%	3.0%	1.5%
12前	36.4%	53.7%	8.2%	1.7%
13後	46.2%	45.9%	6.0%	1.9%
14前	41.2%	47.3%	10.2%	1.2%
15後	42.8%	47.7%	7.5%	2.0%
16前	43.0%	48.3%	6.6%	2.1%
17後	51.3%	39.6%	6.3%	2.9%



設問16 （この授業が情報処理技法（リテラシ）Ｉの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。

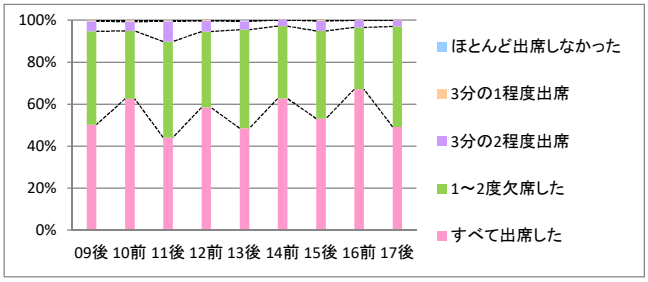
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
9後				
10前	23.5%	63.3%	11.2%	2.0%
11後				
12前	23.5%	67.3%	8.1%	1.2%
13後				
14前	26.7%	63.1%	8.6%	1.6%
15後				
16前	26.9%	62.7%	9.2%	1.2%
17後				



＜教職科目＞

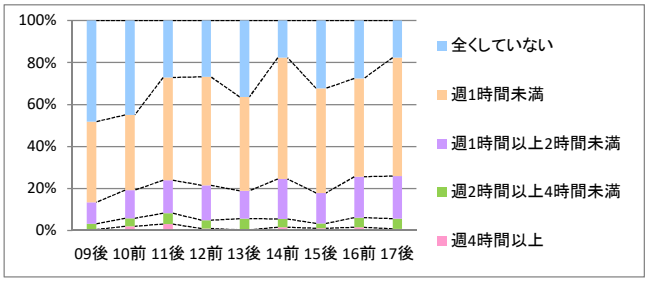
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	50.2%	44.5%	4.8%	0.4%	0.1%
10前	62.6%	32.3%	4.5%	0.5%	0.1%
11後	44.2%	45.7%	9.5%	0.4%	0.1%
12前	58.4%	36.2%	4.9%	0.5%	0.0%
13後	48.6%	46.8%	4.0%	0.3%	0.3%
14前	62.6%	34.5%	2.9%	0.0%	0.0%
15後	53.2%	41.7%	4.7%	0.5%	0.0%
16前	67.2%	29.4%	3.3%	0.1%	0.0%
17後	49.1%	47.9%	2.9%	0.1%	0.0%



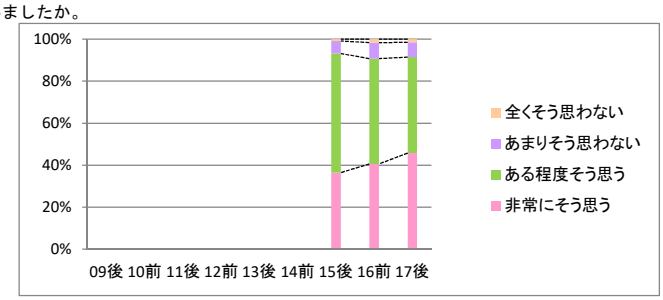
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.5%	2.7%	10.3%	38.3%	48.2%
10前	2.0%	3.9%	13.3%	35.9%	44.9%
11後	3.0%	5.2%	15.7%	49.0%	27.1%
12前	0.9%	4.0%	16.6%	51.6%	26.8%
13後	0.4%	5.3%	13.2%	44.7%	36.4%
14前	1.6%	3.8%	19.1%	57.8%	17.6%
15後	1.1%	2.3%	14.6%	49.8%	32.3%
16前	1.5%	4.6%	19.5%	46.8%	27.5%
17後	0.9%	4.9%	20.2%	56.5%	17.6%



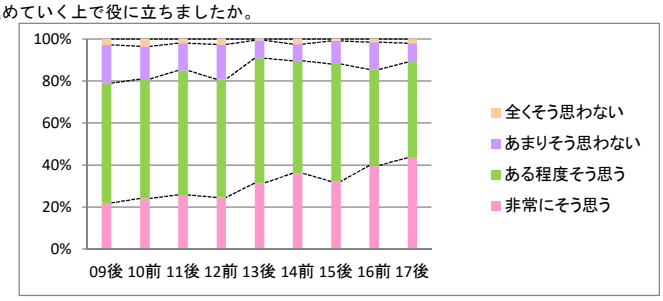
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	36.5%	56.7%	5.9%	0.9%
16前	40.5%	50.3%	7.6%	1.6%
17後	45.8%	45.7%	7.0%	1.6%



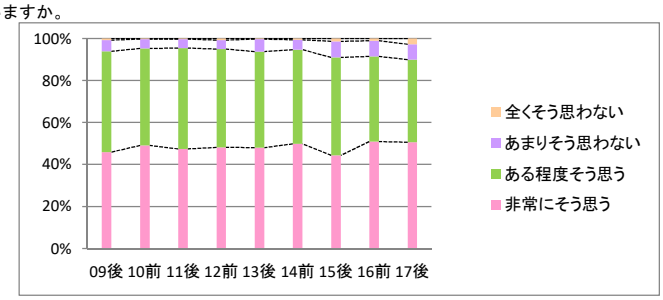
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	22.0%	57.0%	18.3%	2.7%
10前	24.1%	56.9%	15.5%	3.6%
11後	25.8%	59.3%	12.8%	2.0%
12前	24.6%	56.3%	16.6%	2.6%
13後	31.4%	59.5%	8.6%	0.5%
14前	36.1%	53.6%	7.8%	2.5%
15後	32.2%	55.9%	11.0%	0.9%
16前	39.8%	45.6%	13.0%	1.5%
17後	43.5%	45.5%	9.0%	2.0%



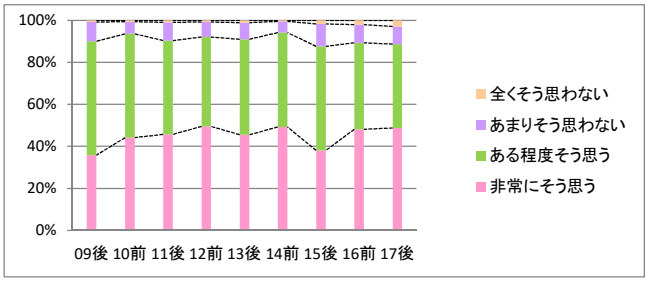
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	45.8%	48.2%	5.3%	0.7%
10前	49.1%	46.2%	4.4%	0.3%
11後	47.4%	48.0%	4.3%	0.3%
12前	48.2%	46.7%	4.2%	0.8%
13後	48.0%	45.7%	6.0%	0.3%
14前	49.9%	44.8%	4.7%	0.7%
15後	44.4%	46.6%	7.7%	1.4%
16前	50.9%	40.6%	7.4%	1.1%
17後	50.6%	39.3%	7.4%	2.7%



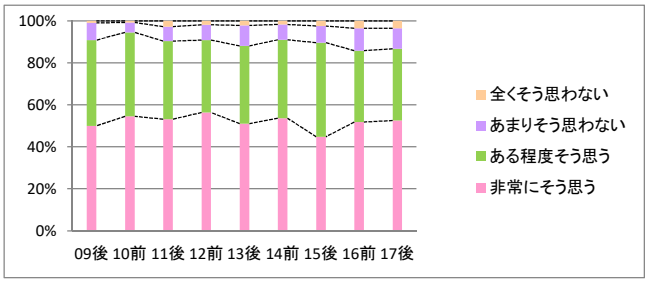
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	35.8%	54.3%	9.1%	0.8%
10前	44.2%	49.3%	5.9%	0.6%
11後	45.7%	44.7%	8.6%	1.0%
12前	49.6%	42.5%	7.2%	0.7%
13後	45.6%	45.3%	8.0%	1.1%
14前	49.2%	45.0%	5.2%	0.6%
15後	38.2%	49.5%	10.7%	1.7%
16前	48.1%	41.3%	8.6%	2.0%
17後	48.8%	40.0%	8.4%	2.8%



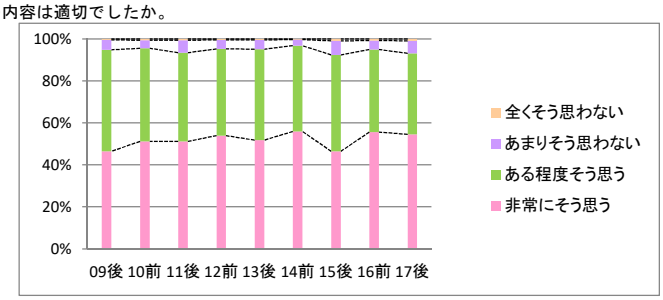
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	49.9%	40.9%	8.2%	0.9%
10前	54.5%	39.9%	4.8%	0.7%
11後	53.2%	37.2%	6.9%	2.7%
12前	56.4%	34.4%	7.3%	1.9%
13後	50.9%	37.2%	9.7%	2.2%
14前	53.7%	37.4%	7.3%	1.7%
15後	44.8%	44.8%	8.0%	2.4%
16前	51.8%	34.0%	10.6%	3.5%
17後	52.5%	34.3%	9.7%	3.6%



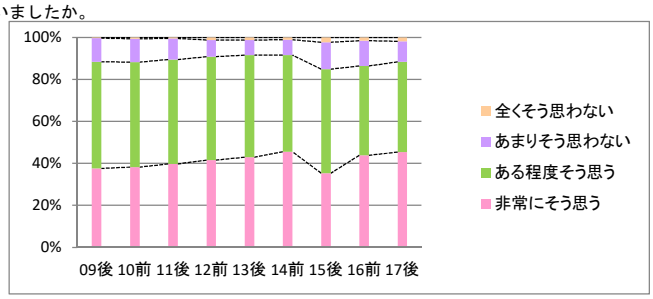
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	46.4%	48.4%	4.7%	0.5%
10前	51.2%	44.4%	3.7%	0.7%
11後	51.2%	42.2%	5.9%	0.7%
12前	53.9%	41.4%	4.2%	0.5%
13後	51.8%	43.3%	4.3%	0.5%
14前	55.9%	40.8%	2.9%	0.4%
15後	46.4%	45.9%	6.8%	0.9%
16前	55.6%	39.3%	4.2%	0.9%
17後	54.5%	38.5%	6.0%	1.0%



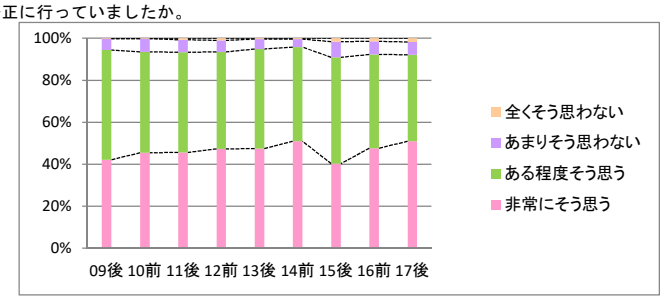
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	37.5%	50.8%	11.2%	0.4%
10前	38.2%	49.9%	11.1%	0.7%
11後	39.8%	49.7%	9.9%	0.6%
12前	41.5%	49.2%	7.9%	1.3%
13後	43.0%	48.6%	7.1%	1.4%
14前	45.5%	46.1%	7.3%	1.1%
15後	35.3%	49.6%	12.7%	2.4%
16前	43.9%	42.5%	12.0%	1.6%
17後	45.4%	43.0%	9.8%	1.8%



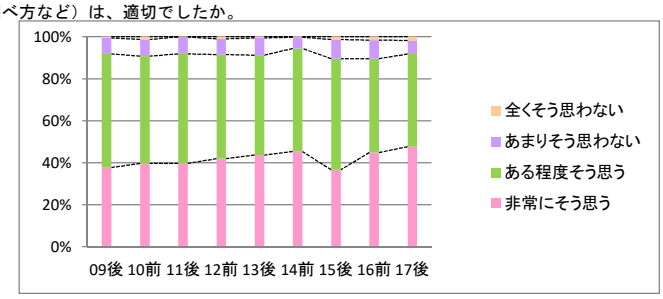
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	42.1%	52.3%	5.4%	0.2%
10前	45.4%	48.1%	6.3%	0.2%
11後	45.7%	47.7%	5.9%	0.7%
12前	47.3%	46.2%	5.6%	0.9%
13後	47.4%	47.4%	4.8%	0.4%
14前	50.9%	45.0%	3.7%	0.4%
15後	40.3%	50.7%	7.4%	1.7%
16前	47.6%	44.7%	6.2%	1.5%
17後	50.9%	41.3%	6.1%	1.7%



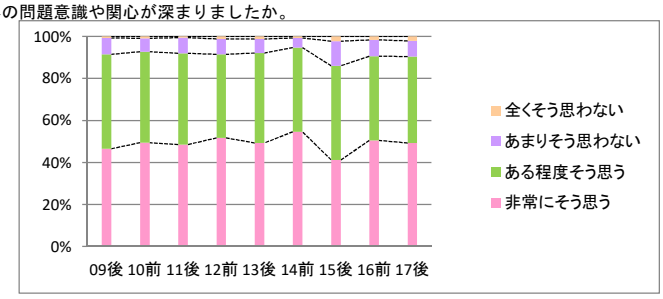
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	37.8%	54.1%	7.5%	0.6%
10前	39.7%	51.1%	8.0%	1.3%
11後	39.7%	52.2%	8.0%	0.1%
12前	42.0%	49.6%	7.4%	1.1%
13後	43.6%	47.5%	8.3%	0.5%
14前	45.4%	49.1%	5.2%	0.3%
15後	36.6%	53.0%	9.0%	1.4%
16前	44.9%	44.7%	8.8%	1.7%
17後	47.6%	44.2%	6.4%	1.7%



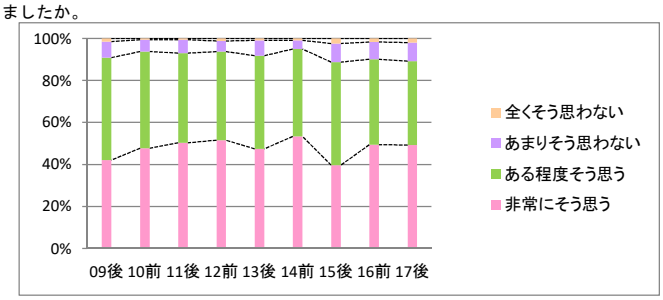
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	46.6%	44.9%	7.8%	0.7%
10前	49.5%	43.2%	6.4%	0.9%
11後	48.5%	43.4%	7.5%	0.6%
12前	51.8%	39.8%	7.3%	1.2%
13後	49.3%	42.8%	6.7%	1.2%
14前	54.5%	40.2%	4.5%	0.7%
15後	41.2%	44.8%	11.7%	2.3%
16前	50.5%	40.1%	7.7%	1.6%
17後	49.2%	41.3%	7.4%	2.1%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

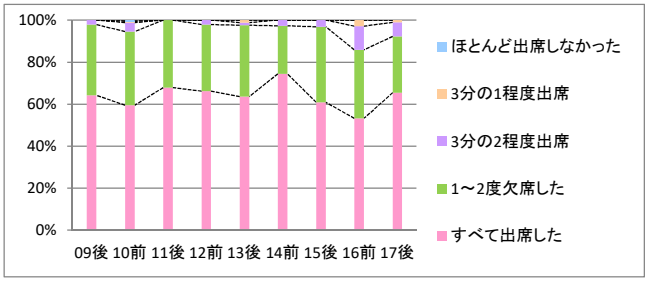
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	42.1%	48.7%	7.7%	1.4%
10前	47.7%	46.0%	5.8%	0.5%
11後	50.3%	42.7%	6.5%	0.6%
12前	51.5%	42.2%	5.1%	1.2%
13後	47.5%	44.4%	7.2%	0.9%
14前	53.3%	41.7%	4.0%	1.0%
15後	39.6%	49.1%	8.9%	2.4%
16前	49.4%	40.8%	8.2%	1.6%
17後	49.3%	39.9%	8.8%	2.0%



＜学芸員課程科目＞

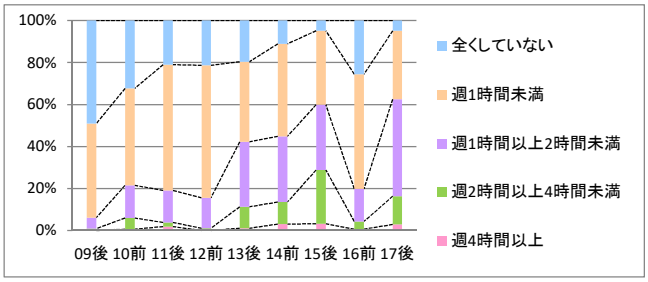
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09後	64.3%	33.7%	2.0%	0.0%	0.0%
10前	59.5%	35.1%	4.2%	0.6%	0.6%
11後	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%	0.0%
12前	66.1%	31.8%	2.1%	0.0%	0.0%
13後	63.7%	33.9%	1.2%	1.2%	0.0%
14前	74.4%	22.9%	2.6%	0.0%	0.0%
15後	60.8%	36.0%	3.2%	0.0%	0.0%
16前	53.2%	32.6%	11.3%	2.8%	0.0%
17後	65.4%	26.9%	6.7%	1.0%	0.0%



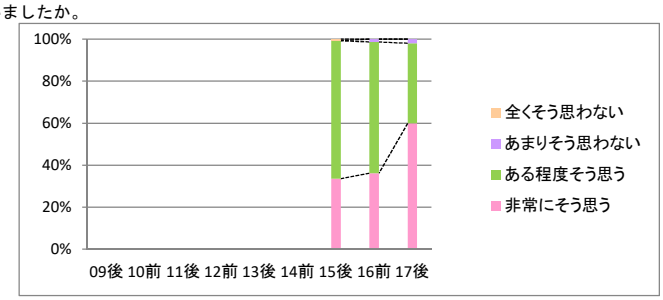
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09後	0.0%	1.0%	5.1%	44.9%	49.0%
10前	0.6%	5.4%	15.6%	46.1%	32.3%
11後	1.9%	1.9%	15.2%	60.0%	21.0%
12前	0.0%	1.0%	14.6%	63.0%	21.4%
13後	1.2%	10.1%	31.0%	38.1%	19.6%
14前	3.1%	10.6%	31.3%	44.1%	11.0%
15後	3.2%	25.6%	31.2%	35.2%	4.8%
16前	0.7%	3.5%	15.6%	54.6%	25.5%
17後	2.9%	13.5%	46.2%	32.7%	4.8%



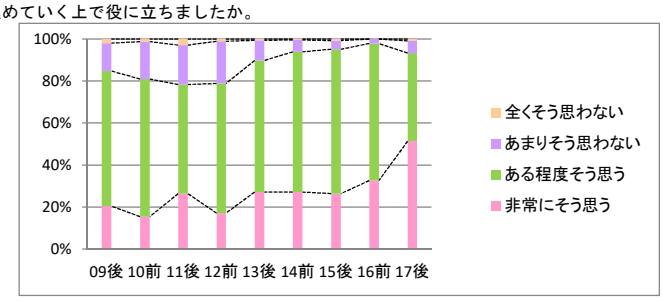
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後				
10前				
11後				
12前				
13後				
14前				
15後	33.6%	65.6%	0.0%	0.8%
16前	36.2%	62.4%	1.4%	0.0%
17後	60.0%	38.1%	1.9%	0.0%



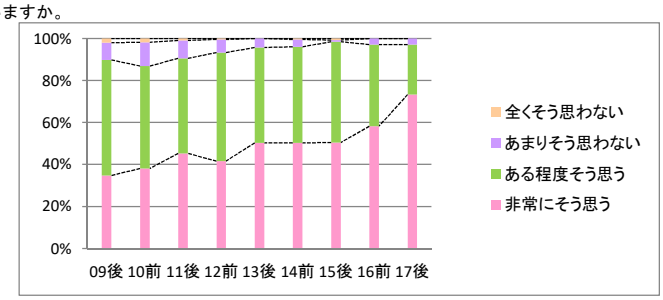
設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	20.4%	64.3%	13.3%	2.0%
10前	15.5%	65.5%	17.9%	1.2%
11後	26.4%	51.9%	18.9%	2.8%
12前	17.1%	61.7%	20.2%	1.0%
13後	27.1%	62.7%	9.6%	0.6%
14前	27.2%	66.7%	5.7%	0.4%
15後	26.4%	68.8%	4.0%	0.8%
16前	32.6%	65.2%	2.1%	0.0%
17後	51.4%	41.9%	5.7%	1.0%



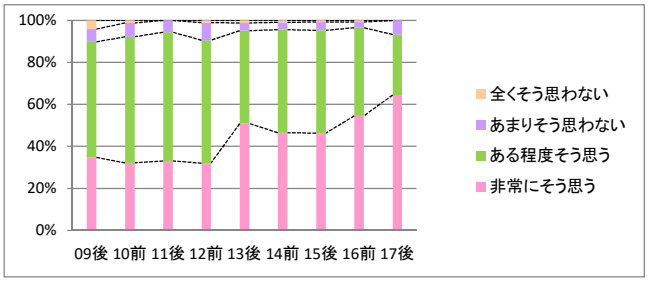
設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.7%	55.1%	8.2%	2.0%
10前	38.1%	48.8%	11.3%	1.8%
11後	45.3%	45.3%	8.5%	0.9%
12前	41.7%	51.6%	6.3%	0.5%
13後	50.3%	45.5%	4.2%	0.0%
14前	50.2%	45.9%	3.5%	0.4%
15後	50.4%	48.0%	0.8%	0.8%
16前	58.2%	39.0%	2.8%	0.0%
17後	73.3%	23.8%	2.9%	0.0%



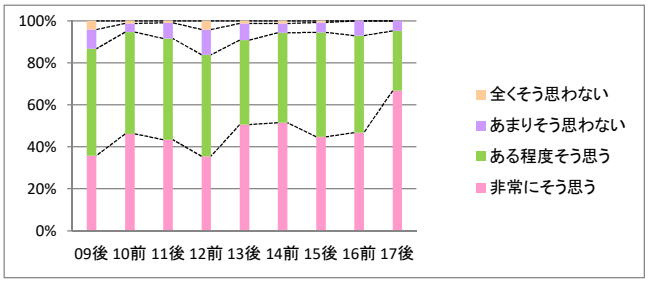
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.7%	55.1%	6.1%	4.1%
10前	32.1%	60.1%	6.5%	1.2%
11後	33.0%	61.3%	5.7%	0.0%
12前	31.9%	58.6%	8.4%	1.0%
13後	50.9%	44.2%	3.6%	1.2%
14前	46.5%	49.1%	3.5%	0.9%
15後	46.4%	48.8%	4.0%	0.8%
16前	54.6%	41.8%	2.8%	0.7%
17後	64.4%	28.8%	6.7%	0.0%



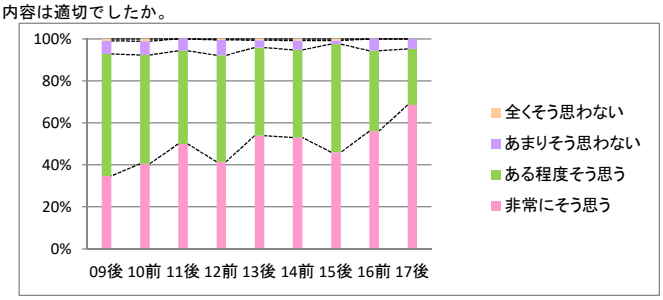
設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	35.7%	51.0%	9.2%	4.1%
10前	46.1%	48.5%	4.2%	1.2%
11後	43.4%	48.1%	7.5%	0.9%
12前	35.4%	48.4%	12.0%	4.2%
13後	50.6%	40.2%	7.9%	1.2%
14前	51.5%	42.7%	4.4%	1.3%
15後	44.8%	49.6%	4.8%	0.8%
16前	46.8%	46.1%	7.1%	0.0%
17後	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%



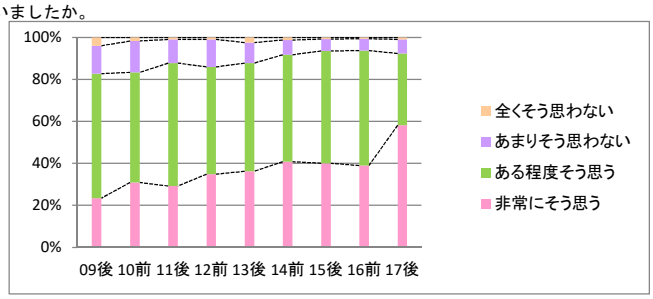
設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	34.7%	58.2%	6.1%	1.0%
10前	40.5%	51.8%	6.5%	1.2%
11後	50.0%	44.3%	5.7%	0.0%
12前	41.4%	50.8%	7.3%	0.5%
13後	53.9%	41.8%	3.6%	0.6%
14前	53.1%	41.7%	4.4%	0.9%
15後	46.0%	51.6%	1.6%	0.8%
16前	56.0%	38.3%	5.7%	0.0%
17後	68.6%	26.7%	4.8%	0.0%



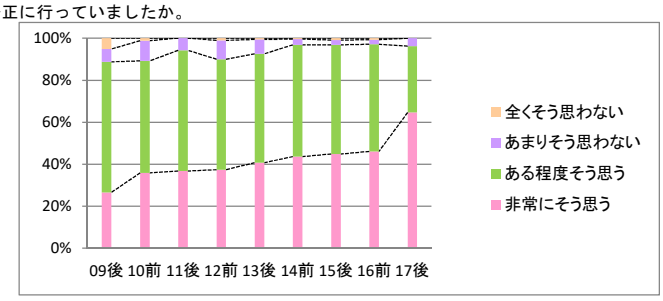
設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	23.5%	59.2%	13.3%	4.1%
10前	31.0%	52.4%	14.9%	1.8%
11後	29.2%	58.5%	11.3%	0.9%
12前	34.9%	51.0%	13.0%	1.0%
13後	36.2%	51.5%	9.8%	2.5%
14前	40.8%	50.9%	7.0%	1.3%
15後	40.0%	53.6%	5.6%	0.8%
16前	39.0%	54.6%	5.7%	0.7%
17後	58.1%	34.3%	6.7%	1.0%



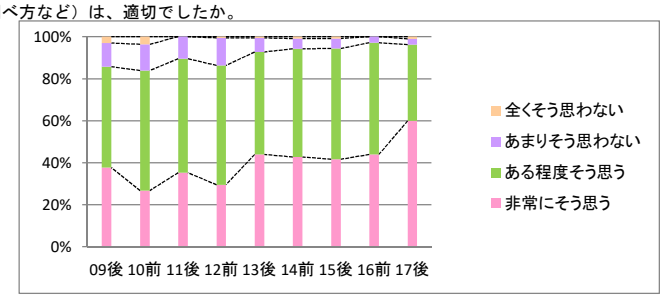
設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	26.5%	62.2%	6.1%	5.1%
10前	35.9%	53.3%	9.6%	1.2%
11後	36.8%	57.5%	5.7%	0.0%
12前	37.4%	52.6%	8.9%	1.1%
13後	40.7%	51.9%	6.8%	0.6%
14前	43.6%	53.3%	2.6%	0.4%
15後	44.8%	52.0%	2.4%	0.8%
16前	46.1%	51.1%	2.1%	0.7%
17後	64.8%	31.4%	3.8%	0.0%



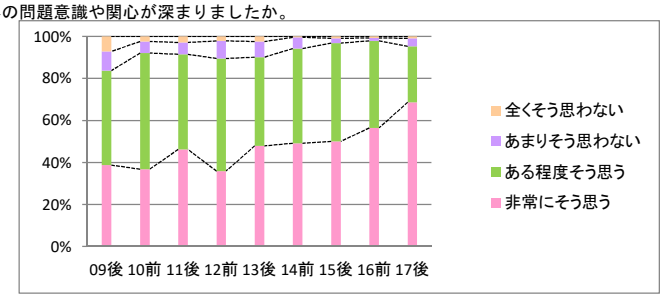
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	37.8%	48.0%	11.2%	3.1%
10前	26.8%	57.1%	12.5%	3.6%
11後	35.2%	54.3%	10.5%	0.0%
12前	29.5%	56.8%	13.2%	0.5%
13後	43.9%	48.8%	6.7%	0.6%
14前	42.7%	51.5%	4.8%	0.9%
15後	41.6%	52.8%	4.8%	0.8%
16前	44.0%	53.2%	2.8%	0.0%
17後	60.0%	36.2%	2.9%	1.0%



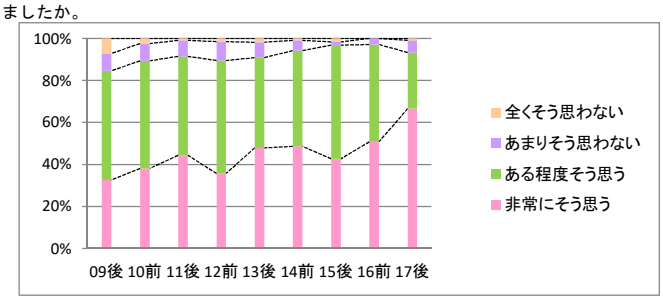
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	38.8%	44.9%	9.2%	7.1%
10前	36.7%	55.4%	5.4%	2.4%
11後	46.2%	45.3%	5.7%	2.8%
12前	35.8%	53.7%	8.4%	2.1%
13後	47.9%	42.3%	7.4%	2.5%
14前	49.1%	45.2%	5.3%	0.4%
15後	50.0%	46.8%	2.4%	0.8%
16前	56.4%	41.4%	1.4%	0.7%
17後	68.6%	26.7%	3.8%	1.0%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

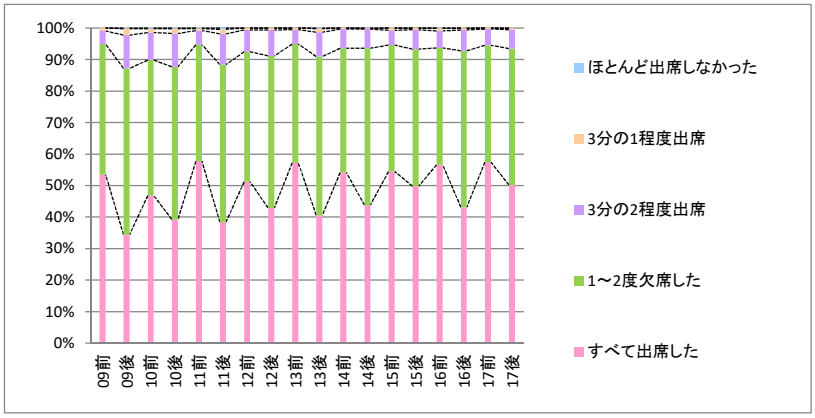
(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09後	32.7%	52.0%	8.2%	7.1%
10前	38.1%	51.2%	8.3%	2.4%
11後	44.3%	47.2%	7.5%	0.9%
12前	35.6%	53.9%	8.9%	1.6%
13後	47.9%	42.9%	7.4%	1.8%
14前	48.7%	45.6%	4.8%	0.9%
15後	42.7%	54.0%	1.6%	1.6%
16前	50.7%	46.4%	2.9%	0.0%
17後	66.7%	26.7%	5.7%	1.0%



＜女性学＞

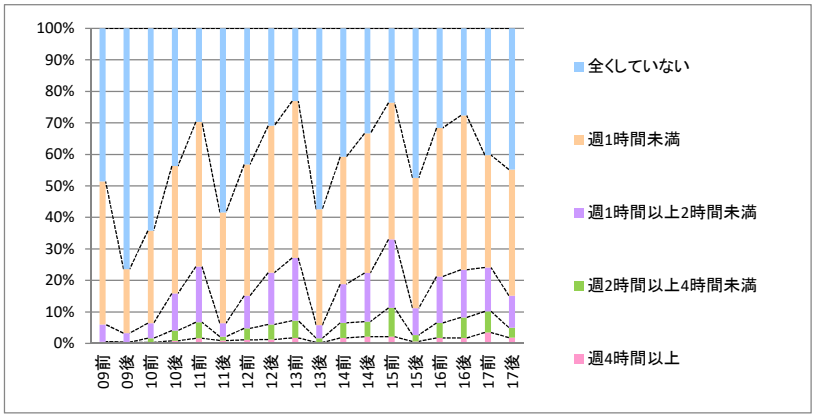
設問1　あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

(%)	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
09前	53.5%	41.4%	4.2%	0.9%	0.0%
09後	34.5%	52.7%	10.6%	2.0%	0.1%
10前	46.8%	43.0%	8.8%	1.2%	0.2%
10後	39.2%	48.5%	10.5%	1.5%	0.2%
11前	57.7%	37.0%	4.4%	0.7%	0.2%
11後	38.4%	50.0%	9.8%	1.4%	0.4%
12前	51.2%	41.3%	6.9%	0.6%	0.0%
12後	42.9%	48.3%	8.2%	0.6%	0.0%
13前	57.2%	37.7%	4.5%	0.5%	0.0%
13後	40.6%	50.4%	7.7%	1.1%	0.2%
14前	54.2%	39.4%	6.1%	0.3%	0.0%
14後	43.8%	49.9%	6.0%	0.2%	0.1%
15前	54.5%	40.2%	4.7%	0.7%	0.0%
15後	49.8%	43.6%	6.2%	0.5%	0.0%
16前	56.6%	37.1%	5.4%	0.8%	0.1%
16後	43.1%	49.7%	6.6%	0.6%	0.1%
17前	57.5%	37.1%	5.1%	0.3%	0.0%
17後	50.2%	43.3%	5.9%	0.4%	0.1%



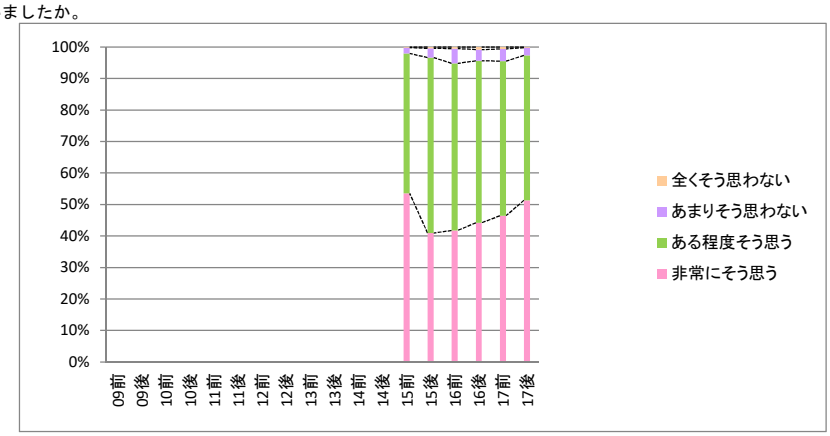
設問2　この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。

(%)	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
09前	0.5%	0.0%	5.6%	45.4%	48.6%
09後	0.3%	0.1%	2.8%	20.4%	76.4%
10前	0.3%	1.3%	4.8%	29.4%	64.2%
10後	0.8%	3.3%	11.8%	40.4%	43.7%
11前	1.6%	5.1%	17.7%	45.9%	29.7%
11後	0.9%	1.2%	4.2%	35.2%	58.4%
12前	1.2%	3.6%	10.3%	41.7%	43.2%
12後	1.2%	4.8%	16.4%	46.6%	30.9%
13前	1.7%	5.5%	20.0%	49.8%	23.0%
13後	0.3%	1.3%	4.2%	36.8%	57.4%
14前	1.7%	4.8%	12.3%	40.4%	40.8%
14後	2.1%	4.8%	15.5%	44.3%	33.4%
15前	2.1%	9.1%	21.8%	43.5%	23.5%
15後	0.6%	2.0%	8.5%	41.4%	47.5%
16前	1.7%	4.8%	14.8%	47.1%	31.6%
16後	1.7%	6.6%	15.1%	48.9%	27.7%
17前	3.4%	6.8%	13.8%	35.7%	40.2%
17後	1.8%	3.1%	10.2%	40.0%	44.9%



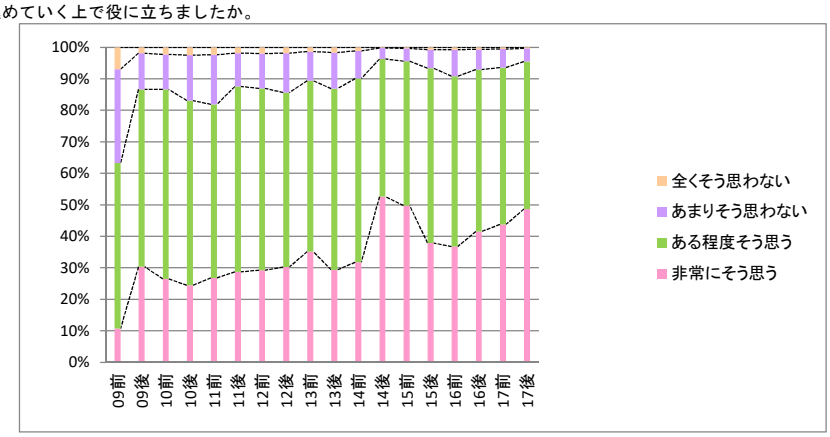
設問3　この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前				
09後				
10前				
10後				
11前				
11後				
12前				
12後				
13前				
13後				
14前				
14後				
15前	53.6%	44.4%	1.9%	0.2%
15後	41.0%	55.7%	2.9%	0.4%
16前	41.8%	53.0%	4.7%	0.5%
16後	44.2%	51.5%	3.5%	0.8%
17前	46.4%	49.1%	3.8%	0.7%
17後	51.3%	46.1%	2.4%	0.3%



設問4　この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	10.7%	52.6%	29.8%	7.0%
09後	30.4%	56.3%	11.4%	1.9%
10前	26.5%	60.1%	11.2%	2.2%
10後	24.4%	58.6%	14.5%	2.5%
11前	26.8%	55.0%	15.8%	2.4%
11後	28.8%	58.8%	10.6%	1.8%
12前	29.2%	57.8%	11.0%	2.0%
12後	30.2%	55.4%	12.4%	1.9%
13前	35.1%	54.3%	9.3%	1.3%
13後	29.3%	57.5%	11.5%	1.7%
14前	31.8%	58.3%	8.8%	1.1%
14後	52.6%	43.7%	3.4%	0.3%
15前	49.8%	45.8%	4.1%	0.3%
15後	37.9%	55.5%	5.9%	0.7%
16前	36.8%	54.0%	8.4%	0.7%
16後	41.5%	51.5%	6.4%	0.6%
17前	43.8%	49.8%	5.9%	0.6%
17後	48.6%	46.8%	4.2%	0.3%

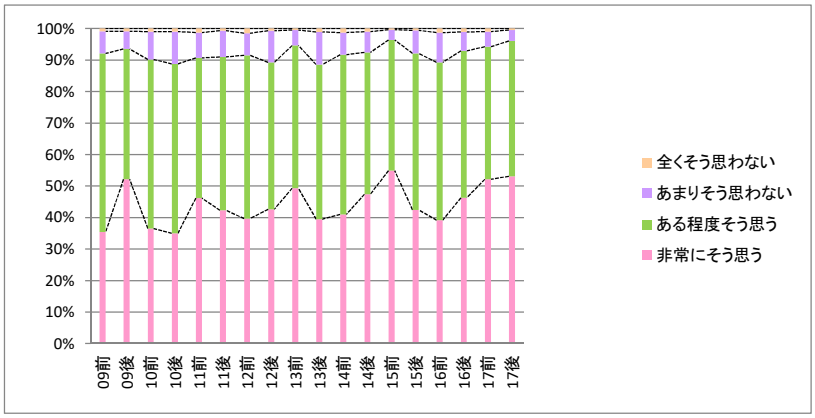


設問5　この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	38.8%	47.2%	12.6%	1.4%
09後	54.1%	43.4%	2.4%	0.1%
10前	47.4%	50.2%	2.1%	0.2%
10後	40.3%	53.9%	5.6%	0.2%
11前	49.7%	42.0%	7.2%	1.1%
11後	47.7%	48.1%	3.5%	0.7%
12前	43.8%	51.1%	4.5%	0.5%
12後	45.8%	49.3%	4.6%	0.3%
13前	56.7%	38.9%	4.2%	0.2%
13後	40.2%	52.8%	6.5%	0.5%
14前	46.8%	47.5%	5.4%	0.3%
14後	52.6%	43.7%	3.4%	0.3%
15前	60.6%	37.0%	2.2%	0.1%
15後	48.5%	47.2%	4.1%	0.2%
16前	46.6%	46.5%	6.3%	0.7%
16後	52.9%	43.1%	3.3%	0.7%
17前	55.6%	40.1%	3.5%	0.8%
17後	58.0%	40.0%	2.0%	0.1%

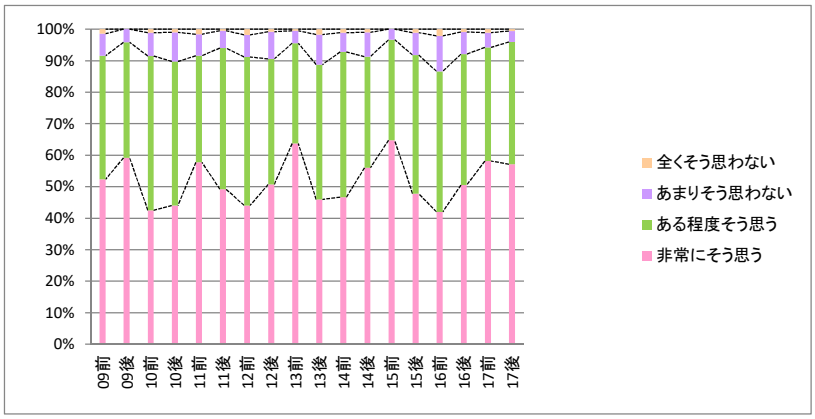
設問6　授業の内容は、よく理解できましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	35.3%	56.7%	7.0%	0.9%
09後	52.1%	41.4%	5.6%	0.9%
10前	36.5%	53.6%	8.9%	0.9%
10後	35.0%	53.8%	10.3%	1.0%
11前	46.1%	44.5%	8.1%	1.3%
11後	42.3%	48.6%	8.4%	0.7%
12前	39.6%	51.9%	7.0%	1.5%
12後	42.6%	46.7%	10.0%	0.7%
13前	49.4%	45.3%	4.9%	0.5%
13後	39.4%	49.1%	10.4%	1.0%
14前	41.0%	50.7%	7.0%	1.3%
14後	47.4%	45.1%	6.5%	1.0%
15前	54.9%	41.5%	3.2%	0.4%
15後	42.4%	49.7%	7.3%	0.6%
16前	39.1%	50.1%	9.5%	1.3%
16後	46.3%	46.6%	6.0%	1.1%
17前	52.2%	42.0%	4.7%	1.0%
17後	53.1%	43.0%	3.4%	0.5%



設問7　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	52.3%	39.3%	7.0%	1.4%
09後	59.1%	36.7%	4.1%	0.0%
10前	42.5%	49.0%	7.4%	1.1%
10後	44.0%	45.8%	9.2%	1.0%
11前	57.7%	33.9%	6.8%	1.6%
11後	49.2%	44.9%	5.5%	0.5%
12前	44.0%	47.2%	7.0%	1.8%
12後	50.7%	39.9%	8.7%	0.8%
13前	63.8%	31.8%	3.9%	0.5%
13後	45.9%	42.8%	9.6%	1.7%
14前	46.6%	46.2%	6.0%	1.1%
14後	56.0%	35.3%	7.7%	1.0%
15前	64.8%	31.9%	3.3%	0.0%
15後	47.8%	44.0%	7.1%	1.1%
16前	42.0%	44.6%	11.3%	2.1%
16後	50.5%	41.6%	6.9%	0.9%
17前	58.1%	36.1%	4.6%	1.1%
17後	57.2%	38.8%	3.4%	0.6%

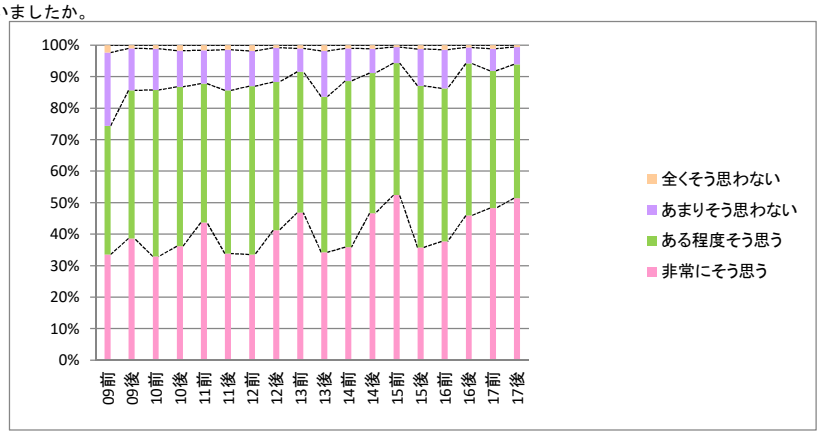


設問8　教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	54.3%	43.8%	1.9%	0.0%
09後	52.7%	43.3%	3.7%	0.3%
10前	43.1%	52.6%	3.9%	0.4%
10後	46.1%	48.7%	4.5%	0.7%
11前	53.5%	40.2%	5.3%	0.9%
11後	48.0%	46.7%	5.1%	0.2%
12前	46.3%	47.5%	5.2%	1.0%
12後	50.3%	45.1%	4.1%	0.5%
13前	58.2%	38.8%	2.7%	0.2%
13後	42.8%	48.4%	8.0%	0.8%
14前	47.5%	47.5%	4.4%	0.6%
14後	54.8%	40.5%	4.1%	0.7%
15前	62.0%	36.1%	1.5%	0.4%
15後	47.6%	47.9%	3.9%	0.6%
16前	47.0%	45.6%	6.4%	0.9%
16後	54.4%	42.6%	2.6%	0.4%
17前	56.4%	39.3%	3.5%	0.8%
17後	57.7%	39.5%	2.6%	0.2%

設問9　教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	33.5%	40.9%	23.3%	2.3%
09後	38.6%	47.1%	13.3%	1.0%
10前	33.0%	52.8%	13.1%	1.1%
10後	36.2%	50.6%	11.4%	1.7%
11前	43.7%	44.1%	10.6%	1.6%
11後	33.8%	51.8%	13.0%	1.4%
12前	33.5%	53.5%	11.2%	1.8%
12後	41.3%	47.0%	10.8%	0.9%
13前	46.9%	44.7%	7.5%	1.0%
13後	34.3%	49.3%	14.5%	1.9%
14前	35.9%	52.7%	10.3%	1.1%
14後	46.6%	44.6%	7.7%	1.1%
15前	52.4%	41.9%	5.1%	0.6%
15後	35.7%	51.3%	11.8%	1.2%
16前	37.6%	48.7%	12.3%	1.4%
16後	45.9%	48.3%	5.1%	0.7%
17前	48.2%	43.6%	7.0%	1.1%
17後	51.4%	42.5%	5.5%	0.6%

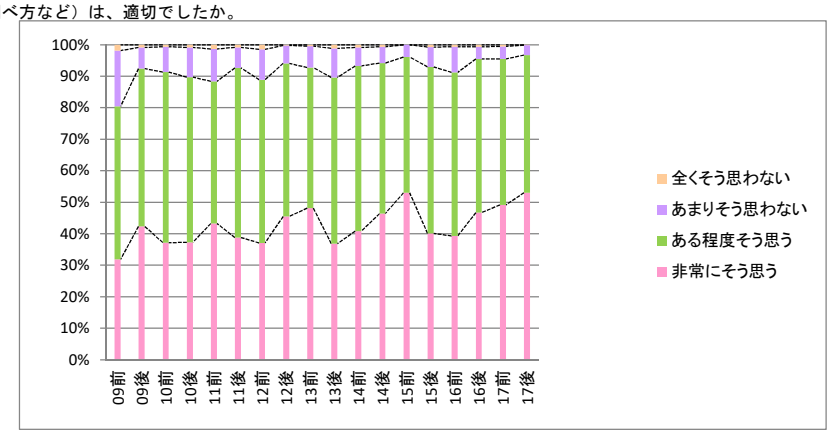


設問10 教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	42.7%	48.8%	8.1%	0.5%
09後	46.6%	46.3%	6.9%	0.1%
10前	40.2%	54.6%	4.8%	0.4%
10後	43.3%	50.0%	6.3%	0.4%
11前	51.8%	41.2%	5.8%	1.2%
11後	40.8%	51.8%	6.8%	0.6%
12前	39.0%	53.2%	6.6%	1.2%
12後	47.2%	47.3%	4.8%	0.7%
13前	54.5%	41.0%	4.2%	0.3%
13後	40.4%	52.0%	6.7%	1.0%
14前	42.7%	50.3%	6.2%	0.8%
14後	51.1%	44.6%	3.9%	0.4%
15前	58.5%	38.5%	2.8%	0.2%
15後	42.3%	51.6%	5.8%	0.3%
16前	41.5%	52.1%	5.4%	1.0%
16後	51.3%	45.6%	2.5%	0.6%
17前	55.2%	40.6%	3.6%	0.6%
17後	56.9%	40.1%	2.7%	0.3%

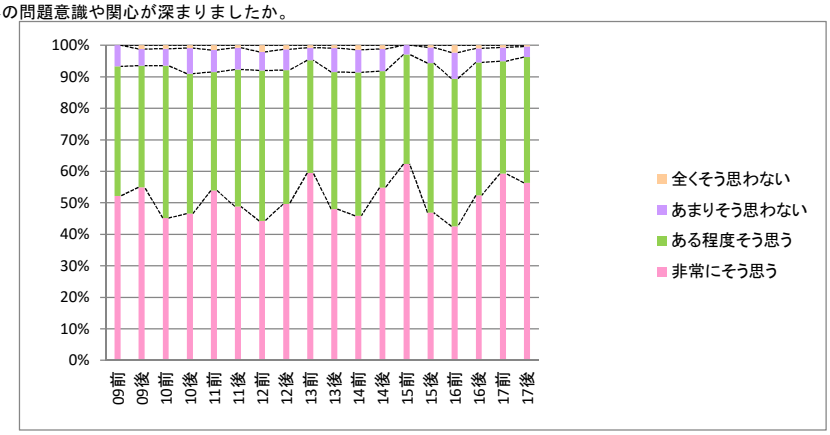
設問11 教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	31.9%	48.6%	17.6%	1.9%
09後	42.3%	50.1%	6.7%	0.9%
10前	37.2%	54.2%	8.0%	0.7%
10後	37.3%	52.4%	9.4%	0.9%
11前	43.3%	45.1%	10.3%	1.4%
11後	38.7%	53.9%	6.4%	0.9%
12前	37.1%	51.8%	9.6%	1.5%
12後	45.5%	48.6%	5.7%	0.3%
13前	48.1%	44.6%	6.9%	0.4%
13後	36.8%	52.8%	9.3%	1.1%
14前	40.8%	52.5%	5.8%	0.9%
14後	46.4%	47.8%	5.2%	0.6%
15前	53.0%	43.1%	3.9%	0.0%
15後	40.0%	52.9%	6.3%	0.7%
16前	39.3%	51.9%	8.1%	0.7%
16後	46.7%	48.7%	3.9%	0.6%
17前	49.1%	46.4%	4.0%	0.6%
17後	53.0%	43.7%	3.1%	0.2%



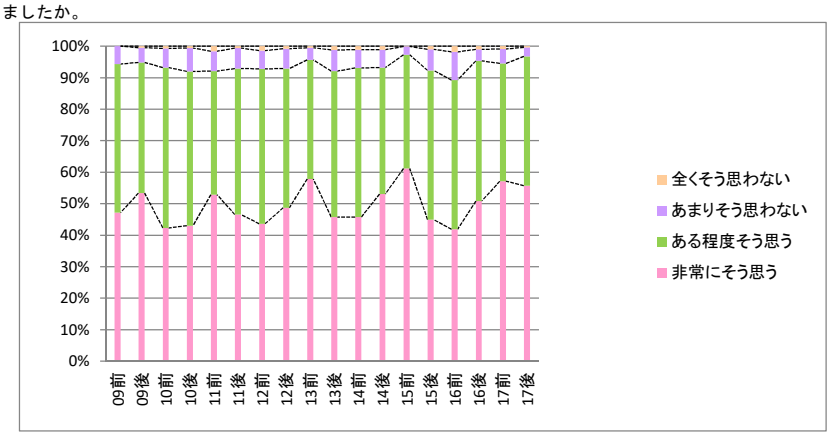
設問12 授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	52.2%	41.1%	6.7%	0.0%
09後	54.9%	38.6%	5.3%	1.2%
10前	45.2%	48.3%	5.4%	1.1%
10後	46.6%	44.4%	8.1%	0.9%
11前	53.9%	37.7%	7.0%	1.5%
11後	48.8%	43.5%	6.9%	0.8%
12前	44.2%	47.8%	5.9%	2.1%
12後	49.7%	42.5%	6.5%	1.3%
13前	59.5%	35.7%	4.0%	0.8%
13後	48.0%	43.5%	7.6%	0.9%
14前	45.9%	45.5%	7.2%	1.3%
14後	54.8%	37.0%	7.0%	1.2%
15前	62.3%	34.7%	2.9%	0.0%
15後	46.9%	47.5%	5.0%	0.6%
16前	42.5%	46.8%	8.4%	2.3%
16後	52.4%	42.2%	4.4%	1.0%
17前	59.3%	35.6%	4.4%	0.7%
17後	56.3%	39.9%	3.4%	0.4%



設問13 総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。

(%)	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
09前	47.1%	47.1%	5.7%	0.0%
09後	53.4%	41.4%	4.7%	0.4%
10前	42.3%	51.0%	6.1%	0.7%
10後	43.0%	49.0%	7.5%	0.6%
11前	52.9%	39.3%	6.3%	1.6%
11後	46.6%	46.3%	6.5%	0.6%
12前	43.7%	49.1%	5.8%	1.4%
12後	48.7%	44.2%	6.3%	0.8%
13前	57.8%	37.9%	3.8%	0.5%
13後	45.8%	46.4%	6.7%	1.2%
14前	45.7%	47.4%	5.7%	1.1%
14後	53.1%	40.1%	5.7%	1.1%
15前	61.2%	36.1%	2.6%	0.1%
15後	45.0%	47.3%	6.7%	1.0%
16前	41.9%	47.3%	8.9%	1.9%
16後	50.8%	44.5%	3.6%	1.0%
17前	57.2%	37.4%	4.5%	0.9%
17後	55.8%	41.0%	2.8%	0.4%



Ⅴ.アンケート集計結果（資料編）

各年度の前期集計結果は同年度の 10 月以降に、後期集計結果は次年度の 4 月以降に、ファイル綴じした紙媒体（以下「ファイル」と表記）および本学公式サイトにて開示し、フィードバックした。

1. 学科科目

⑴ 2016 年度後期 （日本語科目を含む）
⑵ 2017 年度前期

2. 全学共通カリキュラム*等（学科科目以外）

⑴ 2016 年度前期
⑵ 2017 年度後期

＊ 全学共通カリキュラム
総合教養科目、キリスト教学科目、外国語科目、日本語科目、情報処理科目、挑戦する知性科目

２０１６年度後期

「学生による授業評価」アンケート集計結果

学科科目および日本語科目「日本語表現法Ⅰ」

2017年４月

東京女子大学ＦＤ委員会

2016 年度後期「学生による授業評価」アンケート実施結果概要

今回のアンケートも、先生方及び履修者の協力を得て、下記の通り多くの対象科目で実施することができました。

個別の授業別集計結果については、2017 年 3 月上旬に担当教員にお渡ししています。

学部全体集計、学科・専攻別集計等については、次頁以降に掲載します。

記

実施機関：　東京女子大学ＦＤ委員会

目　　的：　受講者の意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における学科科目等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的とする。

実施期間：　2016 年 12 月 21 日（水）～2017 年 1 月 23 日（月）　※各授業、期間中に 1 回実施

実施対象：　学科科目および日本語科目「日本語表現法Ⅰ」

対象科目：　357 科目

＊現代教養学部 2013 課程（2013 年度以降入学者に適用）が、現代教養学部 2009 課程（2012 年度以前入学者に適用）と共通開講の場合は、現代教養学部 2013 課程の授業として実施・集計した。

実施科目：　344 科目

実 施 率：　96.4%

開　　示：　専任教職員・本学学生には本学公式 Web サイト上でインターネット開示するとともに、学内の次の場所で紙媒体で開示します。非常勤講師には紙媒体で開示します。

本学公式 Web サイト

教職員（専任教職員のみ）　http://office.twcu.ac.jp/univ/staff/news_list.html

学　生　http://office.twcu.ac.jp/univ/students/news_list.html

紙媒体閲覧場所

教職員（非常勤講師を含む）

図書館、教育研究支援課、学科・専攻オフィス、全学共通教育センター、教職課程・学芸員課程、女性学研究所

学　生　図書館、教育研究支援課

SAMPLE

「学生による授業評価」アンケート

2016年度(後期)

このアンケートは、受講者の皆さんの意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における学科科目等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的として実施します。

回答は、無記名です。回答の内容は統計的に処理され、誰がどのように回答したかわかることは一切ありません。成績評価に反映されることもありません。

アンケートの回収、封入は皆さんの中の協力者にお願いします。

全体集計、学科・専攻別集計等の集計結果は、来学期初めに本学公式ウェブサイト、図書館、教育研究支援課で閲覧することができます。

東京女子大学ＦＤ委員会

注意事項	・この用紙を折ったり、汚したりしないでください。 ・マークは直接機械にかけるため、選択肢の ⬭ 印を例のように塗りつぶしてください。 ・回答には必ずＨＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。 （例）　良いマーク ●　悪いマーク ●⬭　✓　⬭　●

A．学年　（1）1年　（2）2年　（3）3年　（4）4年　（5）院生　（6）それ以外	① ⑥	②	③	④	⑤
B．専攻　（1）哲　（2）日　（3）英　（4）史　（5）国 （6）経　（7）社　（8）心　（9）コミュ　（10）言 （11）数　（12）情	① ⑥ ⑪	② ⑦ ⑫	③ ⑧	④ ⑨	⑤ ⑩

	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
1）あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	①	②	③	④	⑤

	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
2）この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	①	②	③	④	⑤

	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
3）この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	①	②	③	④
4）この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	①	②	③	④
5）この授業は、よく準備･計画されていたと思いますか。	①	②	③	④
6）授業の内容は、よく理解できましたか。	①	②	③	④
7）教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	①	②	③	④
8）教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	①	②	③	④
9）教員は受講者の理解の程度を、点検･配慮していましたか。	①	②	③	④
10）教員は授業運営(質問の機会等)を適切かつ公正に行っていましたか。	①	②	③	④
11）教室外学習の指導(参考文献の提示、文献の調べ方など)は、適切でしたか。	①	②	③	④
12）授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	①	②	③	④
13）総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	①	②	③	④

●以下の問14～16は、この授業が、日本語表現法Ｉの場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14）(この授業が日本語表現法Ｉの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	①	②	③	④
15）(この授業が日本語表現法Ｉの場合)論理的・説得的な文章表現・口頭表現ができるようになりましたか。	①	②	③	④
16）(この授業が日本語表現法Ｉの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	①	②	③	④

●以下の問17～19は、この授業担当教員の個別の設問ですので、教員の指示に従って回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
17）個別設問 1	①	②	③	④
18）個別設問 2	①	②	③	④
19）個別設問 3	①	②	③	④

（裏面に続く）

自由回答欄

この授業の良かった点、あるいは改善すべき点は何ですか。改善すべき点については、単なる批判でなく授業の改善につながるような建設的な意見を、簡潔に50字程度で書いて下さい。

2016年度後期　授業評価アンケート集計結果

§§　目次　§§

全体集計	(※人間科学科共通1件＊を含む。日本語表現法Ｉを除く)	1
学科・専攻別集計	人文学科	
	人文学科共通＊	2 －1
	哲学専攻	2 －2
	日本文学専攻	2 －3
	英語文学文化専攻	2 －4
	史学専攻	2 －5
	国際社会学科	
	国際社会学科共通＊	2 －6
	国際関係専攻	2 －7
	経済学専攻	2 －8
	社会学専攻	2 －9
	人間科学科	
	心理学専攻	2 －10
	コミュニケーション専攻	2 －11
	言語科学専攻	2 －12
	数理科学科	
	数理科学科共通＊	2 －13
	数学専攻	2 －14
	情報理学専攻	2 －15
講義科目集計	現代教養学部 (※人文学科共通＊、人間科学科共通＊各1件を含む。 日本語表現法Ｉを除く)	3 －1
	人文学科	
	哲学専攻	3 －2
	日本文学専攻	3 －3
	英語文学文化専攻	3 －4
	史学専攻	3 －5
	国際社会学科	
	国際関係専攻	3 －6
	経済学専攻	3 －7
	社会学専攻	3 －8
	人間科学科	
	心理学専攻	3 －9
	コミュニケーション専攻	3 －10
	言語科学専攻	3 －11
	数理科学科	
	数理科学科共通＊	3 －12
	数学専攻	3 －13
	情報理学専攻	3 －14
演習科目集計	現代教養学部	4 －1
	人文学科	
	人文学科共通＊	4 －2
	哲学専攻	4 －3
	日本文学専攻	4 －4
	英語文学文化専攻	4 －5
	史学専攻	4 －6
	国際社会学科	
	国際社会学科共通＊	4 －7
	国際関係専攻	4 －8
	経済学専攻	4 －9
	社会学専攻	4 －10
	人間科学科	
	心理学専攻	4 －11
	コミュニケーション専攻	4 －12
	言語科学専攻	4 －13
	数理科学科	
	数理科学科共通＊	4 －14
女性学・ジェンダー関係科目集計	現代教養学部	5
科目集計	日本語表現法Ｉ	6
履修者数別集計	(※日本語表現法Ｉを除く)	
	100名以下	7 －1
	101名以上200名以下	7 －2
	201名以上300名以下	7 －3
散布図＋バブルチャート	設問13(総合評価)	8

＊学科共通科目(他学科との共有科目を除く)のみを対象とした集計

(例) 2－1は、2－2から2－5の合計ではありません。

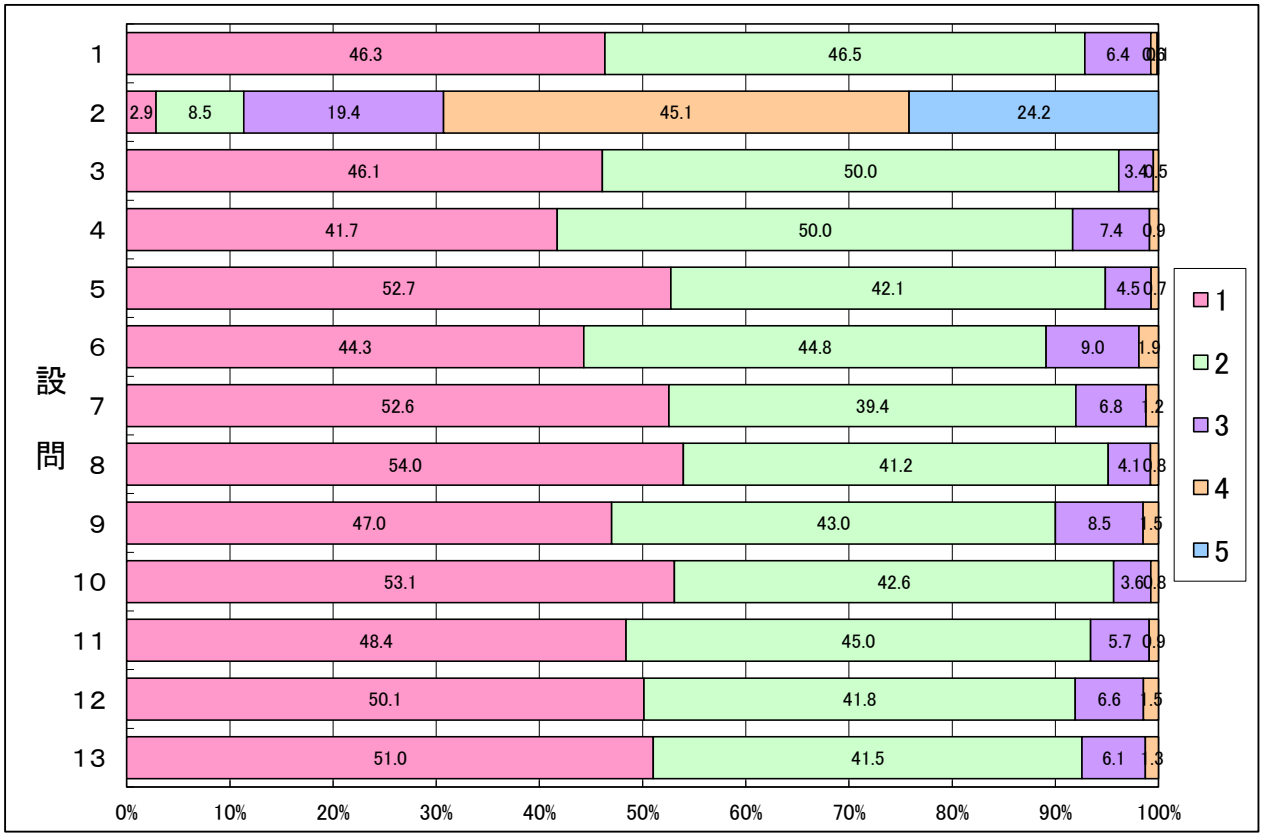
2016年度後期　全体集計（人間科学科共通1件を含む。日本語表現法Ｉを除く）

授業評価アンケート集計結果

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	5,199	5,222	714	70	16	11,221

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	319	951	2,167	5,049	2,704	11,190

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	5,179	5,624	377	58	11,238
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	4,687	5,612	835	99	11,233
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	5,921	4,727	500	81	11,229
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	4,975	5,036	1,009	214	11,234
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	5,903	4,428	761	138	11,230
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	6,060	4,624	458	89	11,231
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	5,278	4,829	956	167	11,230
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	5,956	4,777	404	85	11,222
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	5,425	5,048	637	103	11,213
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	5,628	4,690	742	166	11,226
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	5,730	4,664	687	145	11,226



2016年度後期　学科･専攻別

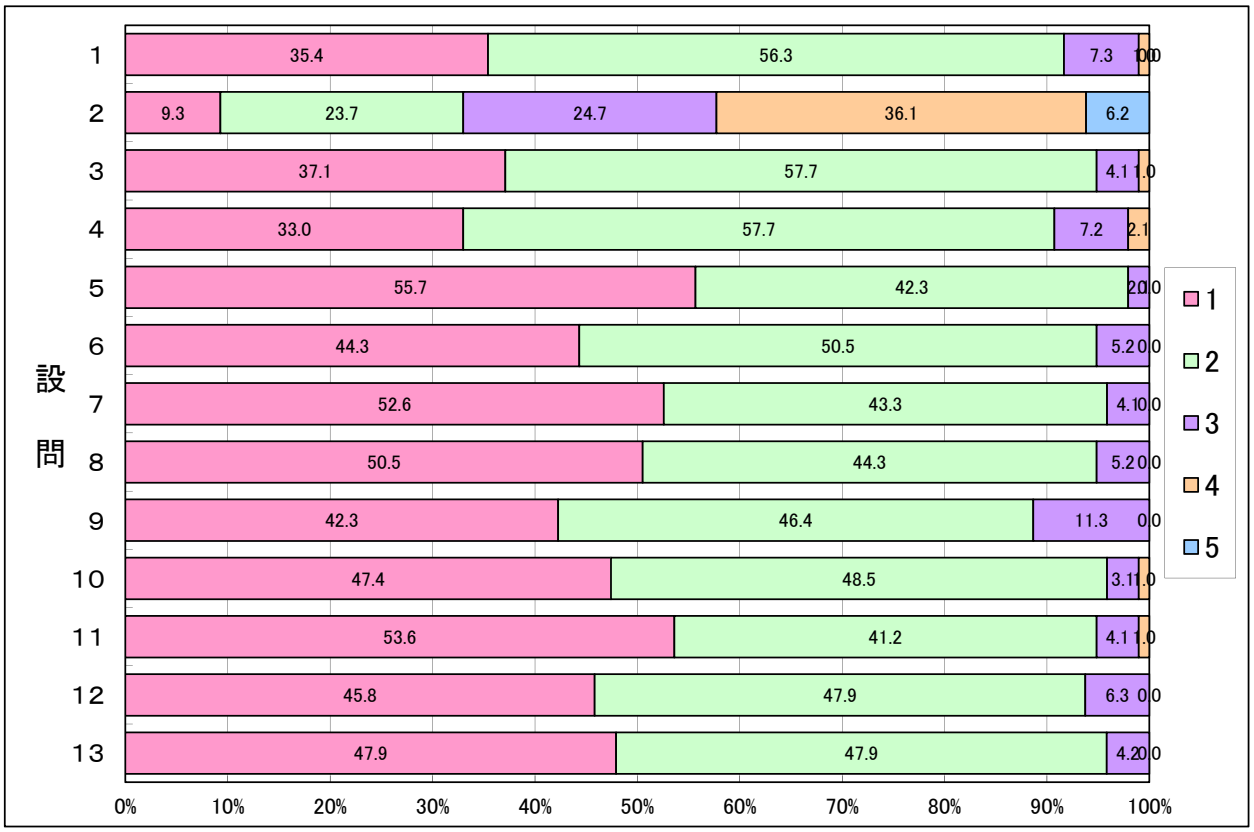
授業評価アンケート集計結果

人文学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	34	54	7	1	0	96

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	23	24	35	6	97

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	36	56	4	1	97
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	32	56	7	2	97
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	54	41	2	0	97
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	43	49	5	0	97
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	51	42	4	0	97
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	49	43	5	0	97
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	41	45	11	0	97
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	46	47	3	1	97
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	52	40	4	1	97
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	44	46	6	0	96
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	46	46	4	0	96



2016年度後期　学科･専攻別

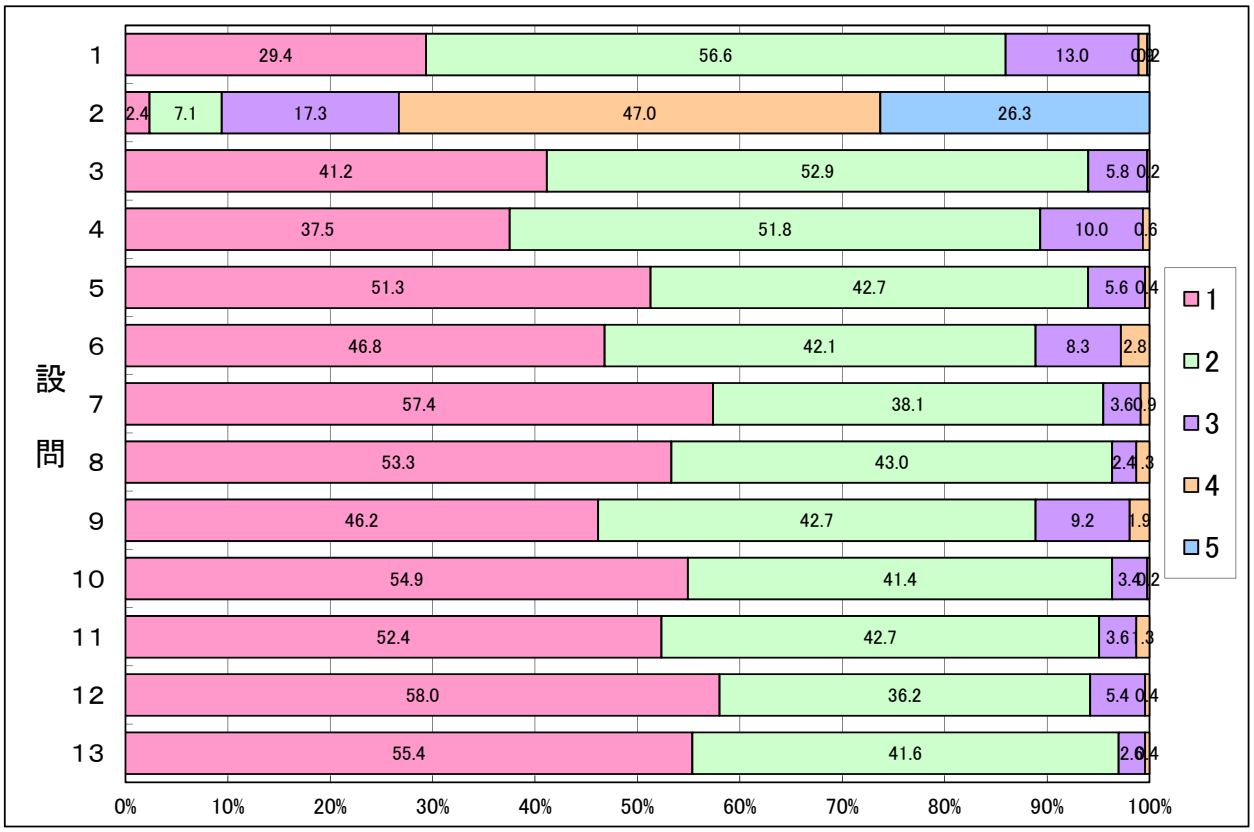
授業評価アンケート集計結果

哲学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	138	266	61	4	1	470

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	11	33	81	220	123	468

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	193	248	27	1	469
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	176	243	47	3	469
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	240	200	26	2	468
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	219	197	39	13	468
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	268	178	17	4	467
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	249	201	11	6	467
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	216	200	43	9	468
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	256	193	16	1	466
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	245	200	17	6	468
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	271	169	25	2	467
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	258	194	12	2	466



2016年度後期　学科･専攻別

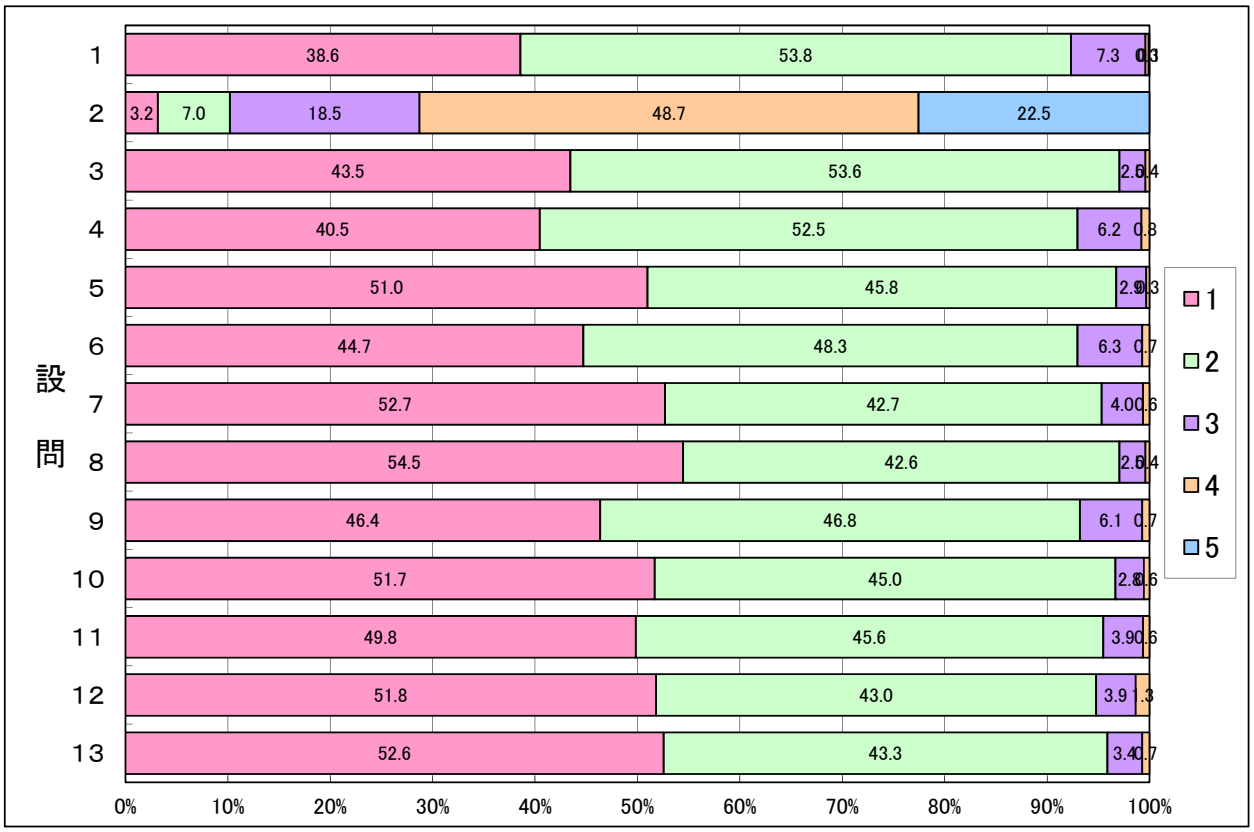
授業評価アンケート集計結果

日本文学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	488	680	92	4	1	1,265

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	40	89	234	616	285	1,264

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	551	680	32	5	1,268
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	513	666	79	10	1,268
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	645	579	37	4	1,265
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	567	612	80	9	1,268
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	667	540	51	8	1,266
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	690	540	32	5	1,267
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	587	593	77	9	1,266
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	655	570	35	7	1,267
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	630	577	49	8	1,264
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	656	544	49	17	1,266
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	666	549	43	9	1,267



2016年度後期　学科･専攻別

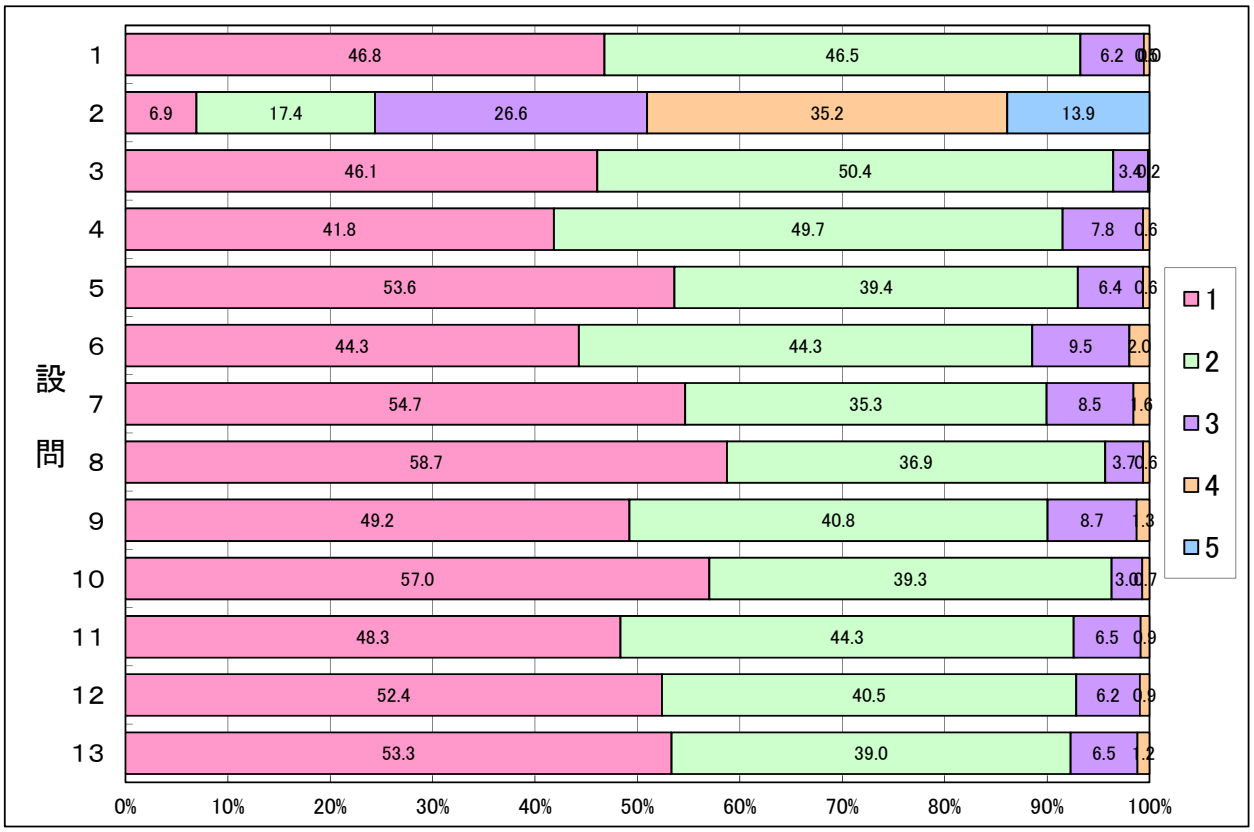
授業評価アンケート集計結果

英語文学文化専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	597	593	79	7	0	1,276

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	88	221	337	446	176	1,268

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	587	642	43	2	1,274
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	533	633	100	8	1,274
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	683	502	81	8	1,274
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	565	565	121	25	1,276
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	697	450	108	20	1,275
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	749	471	47	8	1,275
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	628	521	111	16	1,276
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	726	500	38	9	1,273
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	614	562	83	11	1,270
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	667	515	79	12	1,273
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	680	497	83	15	1,275



2016年度後期　学科･専攻別

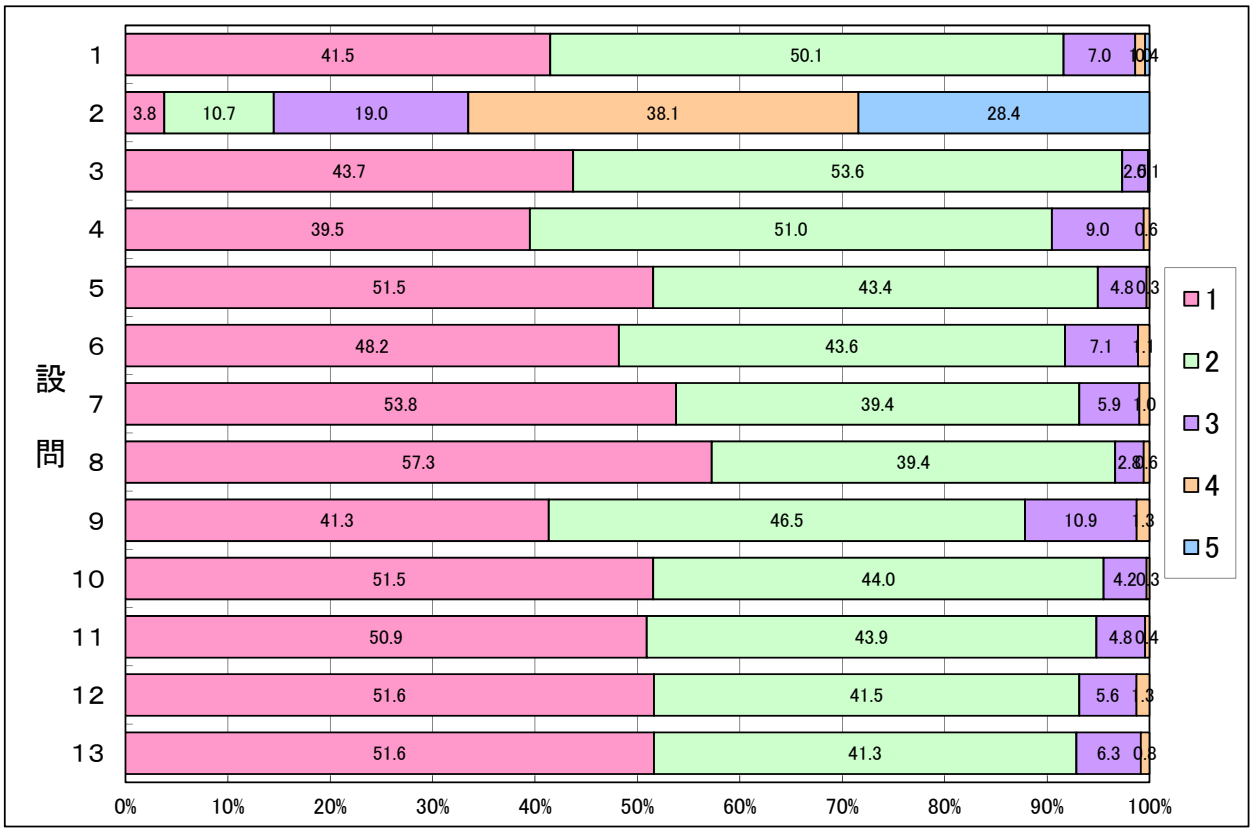
授業評価アンケート集計結果

史学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	297	359	50	7	3	716

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	27	76	135	271	202	711

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	313	384	18	1	716
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	282	364	64	4	714
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	368	310	34	2	714
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	345	312	51	8	716
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	385	282	42	7	716
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	410	282	20	4	716
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	296	333	78	9	716
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	369	315	30	2	716
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	364	314	34	3	715
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	369	297	40	9	715
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	369	295	45	6	715



2016年度後期　学科･専攻別

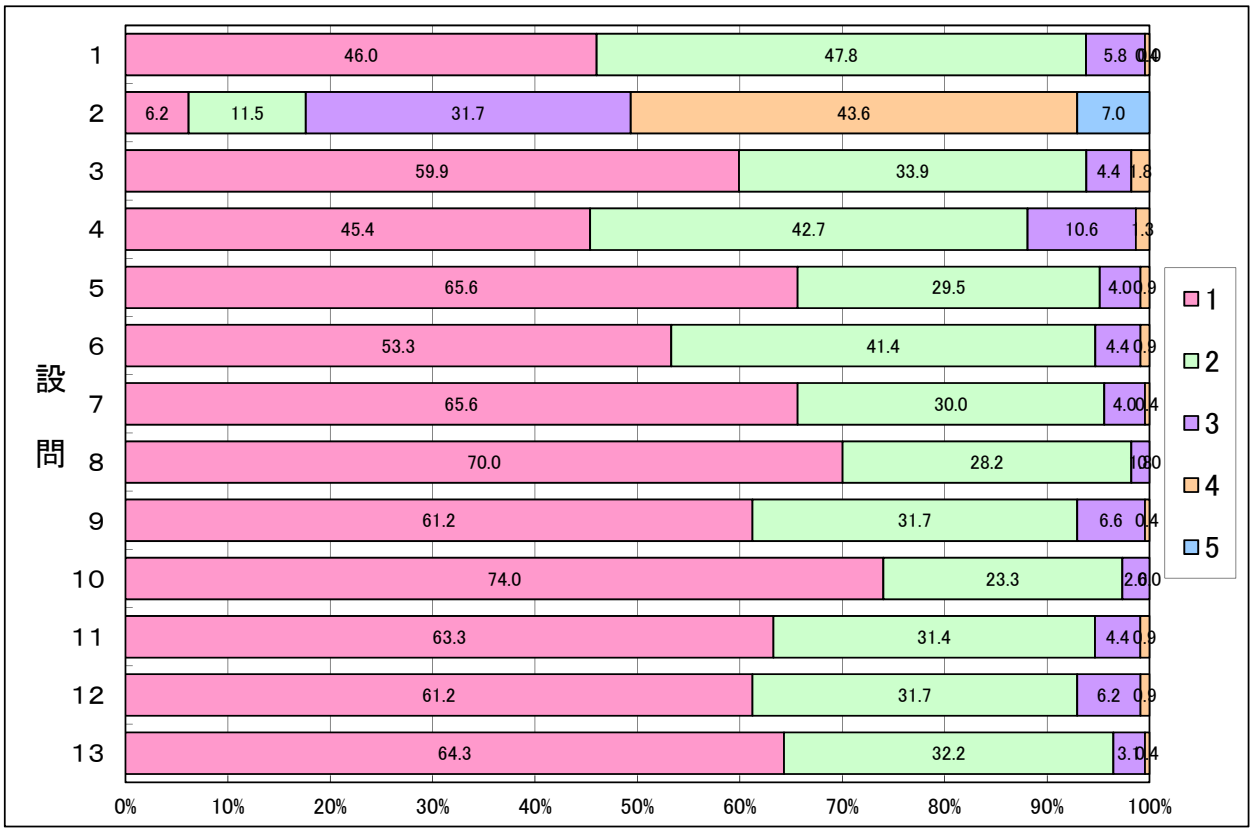
授業評価アンケート集計結果

国際社会学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	104	108	13	1	0	226

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	14	26	72	99	16	227

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	136	77	10	4	227
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	103	97	24	3	227
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	149	67	9	2	227
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	121	94	10	2	227
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	149	68	9	1	227
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	159	64	4	0	227
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	139	72	15	1	227
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	168	53	6	0	227
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	143	71	10	2	226
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	139	72	14	2	227
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	146	73	7	1	227



2016年度後期　学科･専攻別

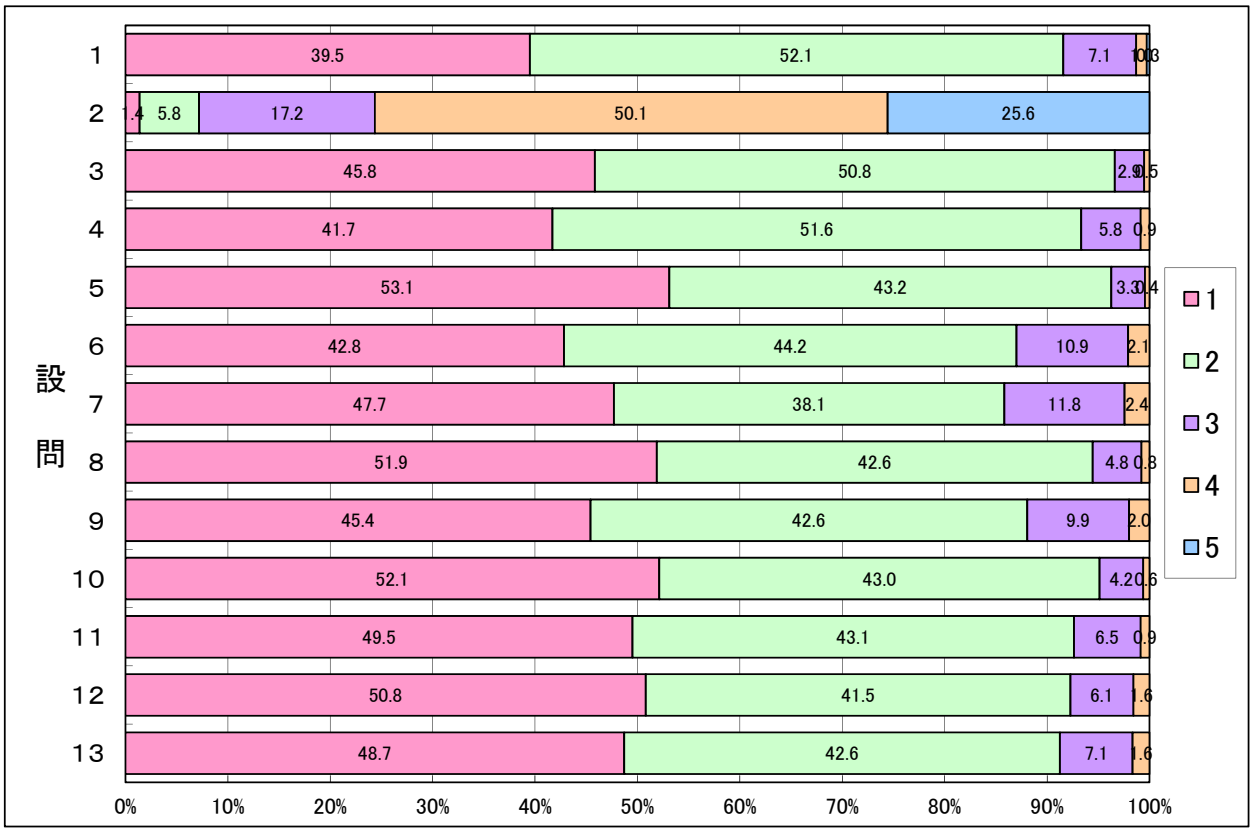
授業評価アンケート集計結果

国際関係専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	455	600	82	12	3	1,152

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	16	67	198	578	295	1,154

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	530	587	33	6	1,156
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	482	597	67	10	1,156
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	614	499	38	5	1,156
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	495	511	126	24	1,156
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	552	441	136	28	1,157
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	600	492	55	9	1,156
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	525	493	115	23	1,156
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	601	496	49	7	1,153
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	571	497	75	10	1,153
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	587	479	71	18	1,155
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	563	492	82	19	1,156



2016年度後期　学科･専攻別

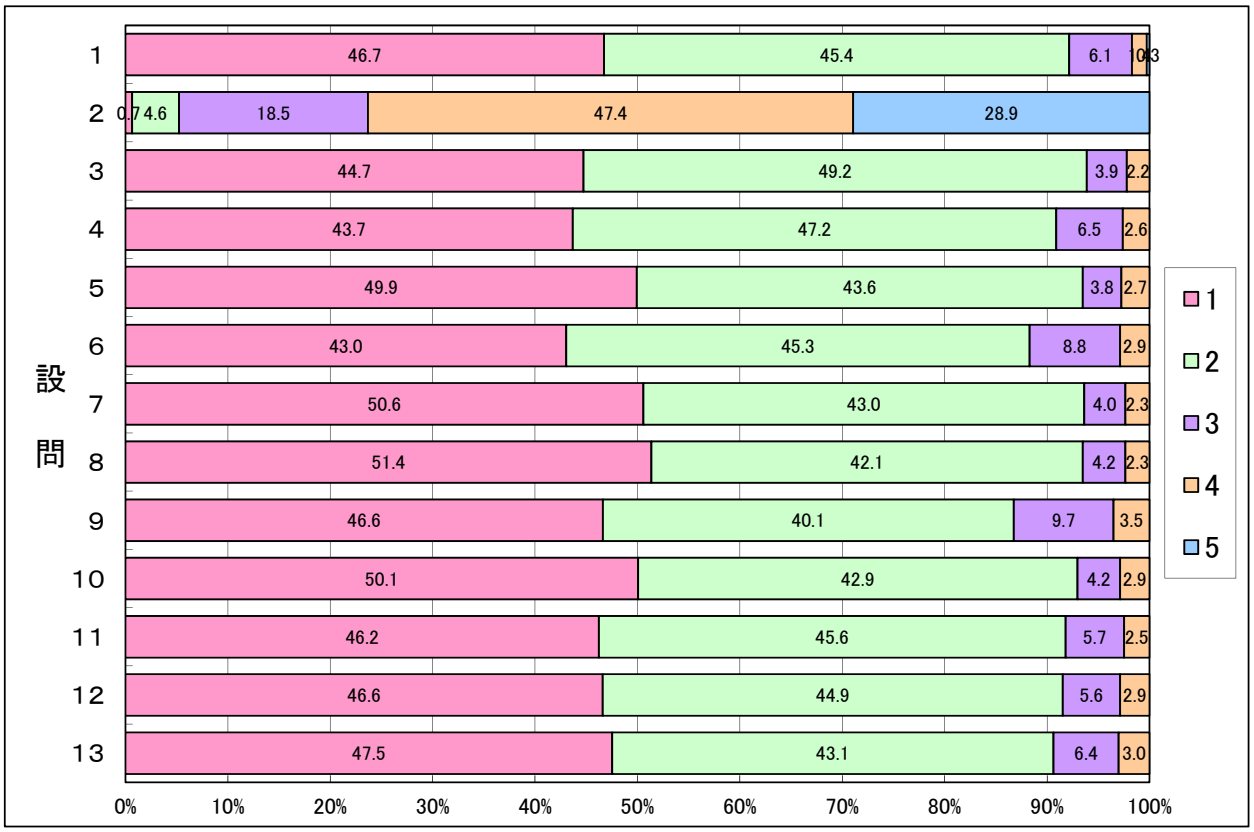
授業評価アンケート集計結果

経済学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	358	348	47	11	2	766

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	35	141	362	221	764

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	344	378	30	17	769
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	336	363	50	20	769
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	384	335	29	21	769
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	331	348	68	22	769
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	389	331	31	18	769
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	395	324	32	18	769
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	359	309	75	27	770
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	385	330	32	22	769
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	356	351	44	19	770
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	358	345	43	22	768
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	365	331	49	23	768



2016年度後期　学科･専攻別

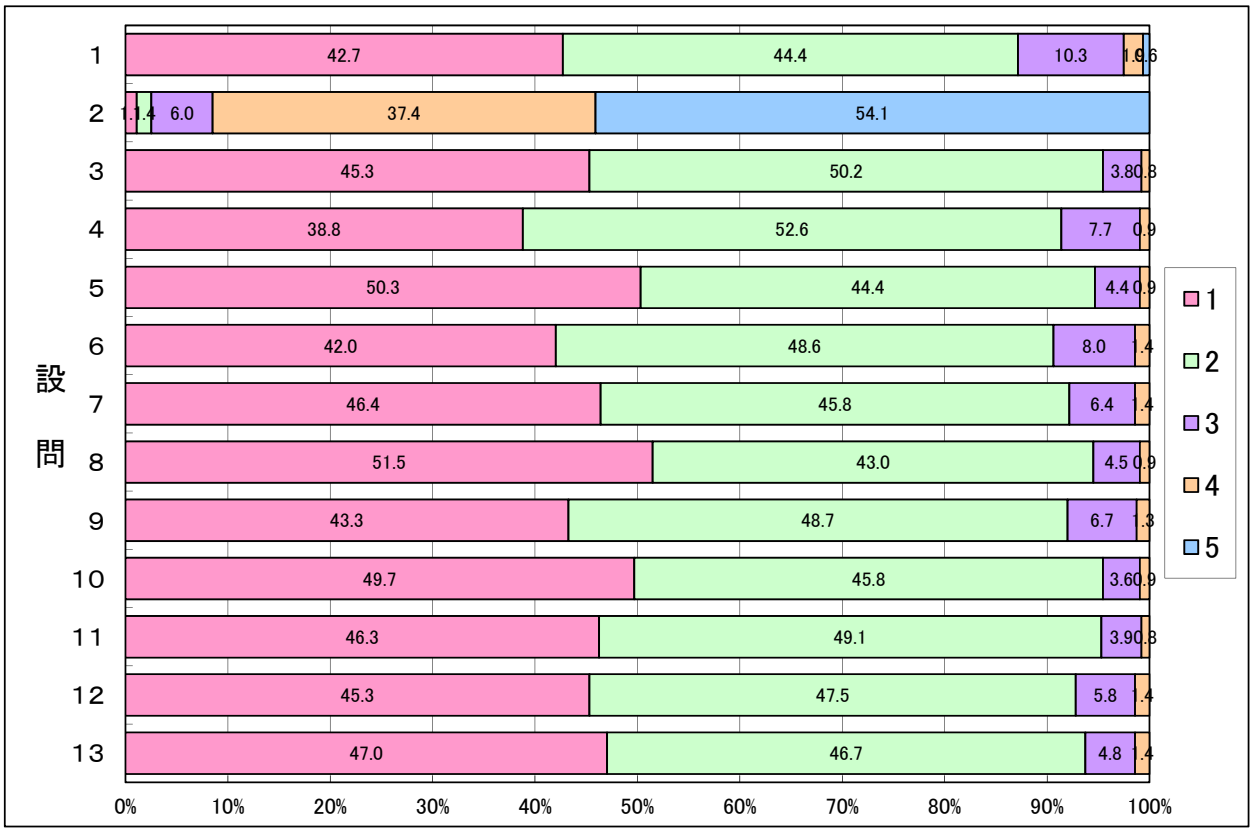
授業評価アンケート集計結果

社会学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	273	284	66	12	4	639

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	7	9	38	237	343	634

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	290	321	24	5	640
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	248	336	49	6	639
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	322	284	28	6	640
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	269	311	51	9	640
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	297	293	41	9	640
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	329	275	29	6	639
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	276	311	43	8	638
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	318	293	23	6	640
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	296	314	25	5	640
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	290	304	37	9	640
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	301	299	31	9	640



2016年度後期　学科･専攻別

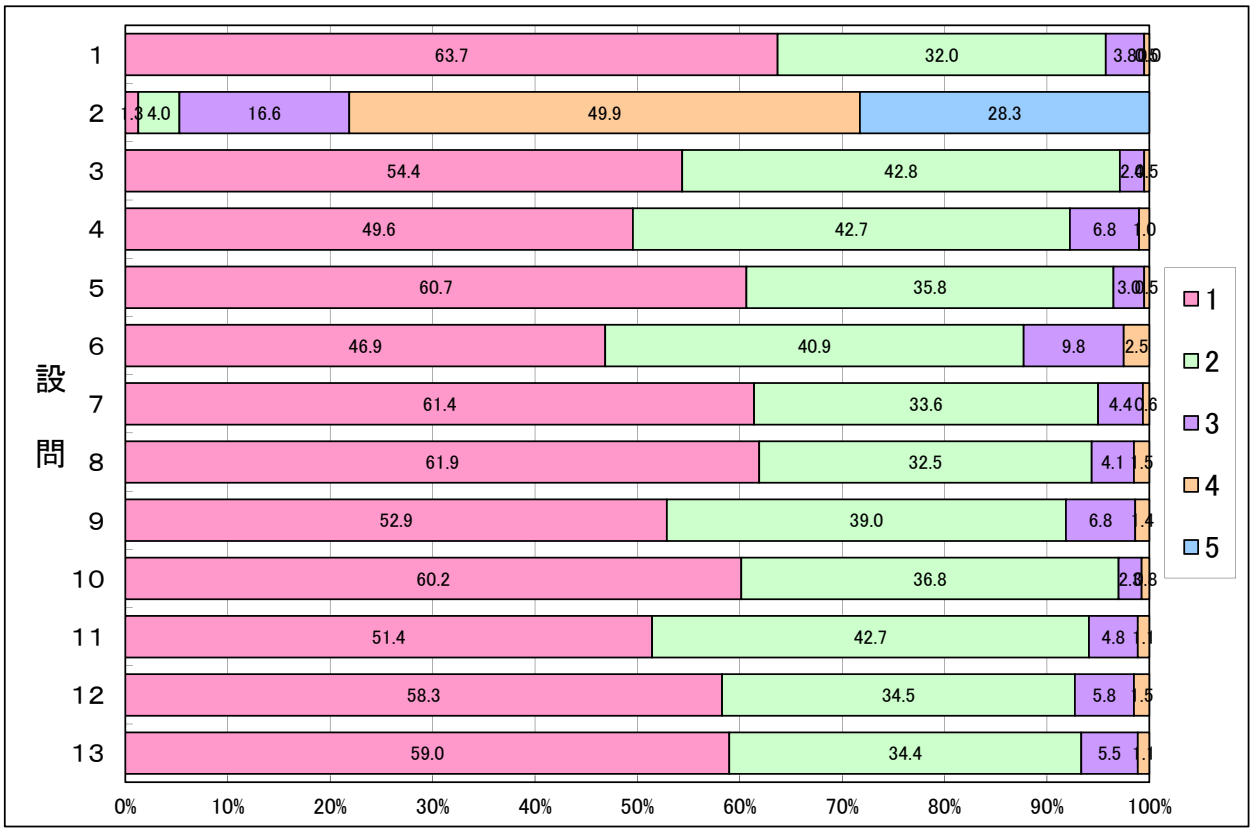
授業評価アンケート集計結果

心理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	509	256	30	4	0	799

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	10	32	132	397	225	796

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	435	342	19	4	800
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	396	341	54	8	799
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	484	286	24	4	798
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	374	326	78	20	798
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	490	268	35	5	798
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	494	259	33	12	798
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	422	311	54	11	798
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	480	294	18	6	798
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	410	340	38	9	797
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	465	275	46	12	798
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	470	274	44	9	797



2016年度後期　学科･専攻別

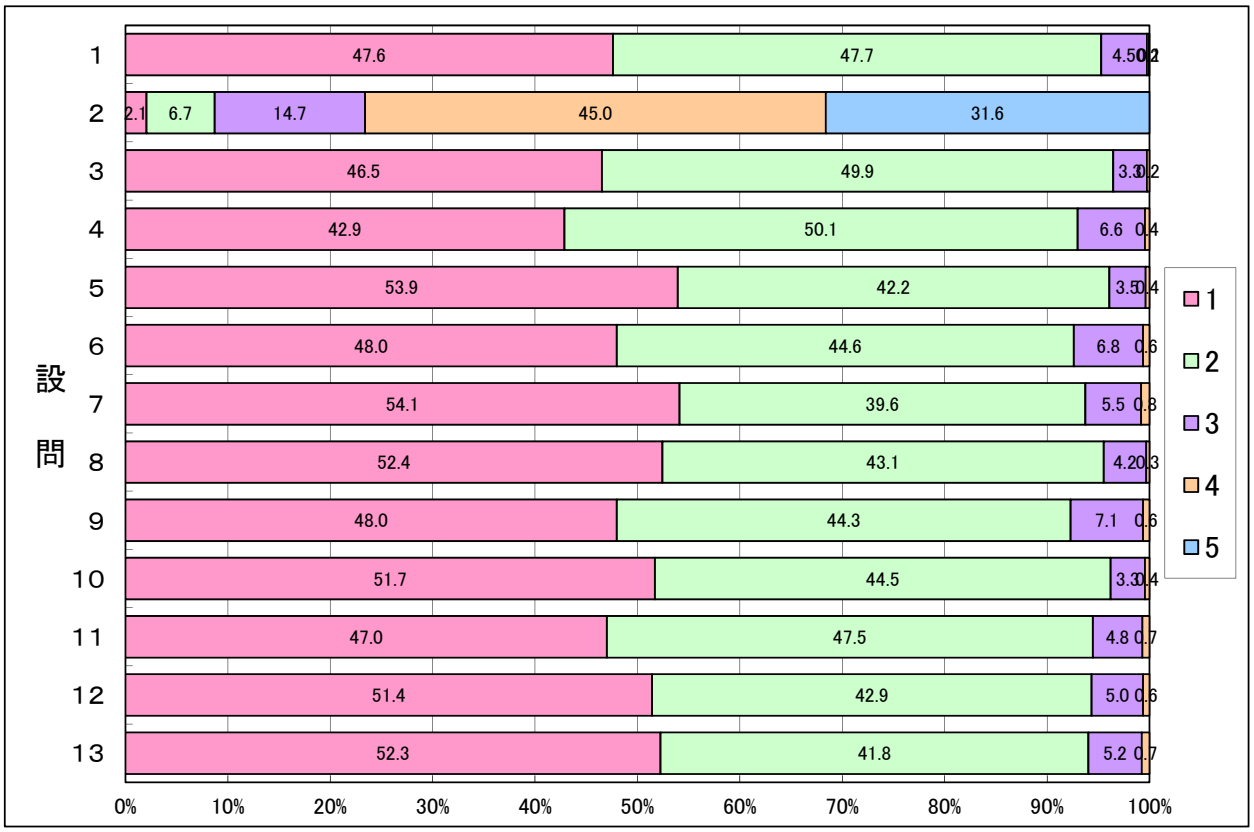
授業評価アンケート集計結果

コミュニケーション専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	768	769	72	3	1	1,613

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	33	107	236	723	508	1,607

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	751	806	53	4	1,614
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	692	809	106	7	1,614
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	870	680	57	6	1,613
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	774	720	109	10	1,613
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	873	639	88	13	1,613
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	846	695	67	5	1,613
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	774	715	114	10	1,613
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	834	718	54	7	1,613
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	757	764	78	11	1,610
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	830	693	81	10	1,614
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	843	674	84	12	1,613



2016年度後期　学科･専攻別

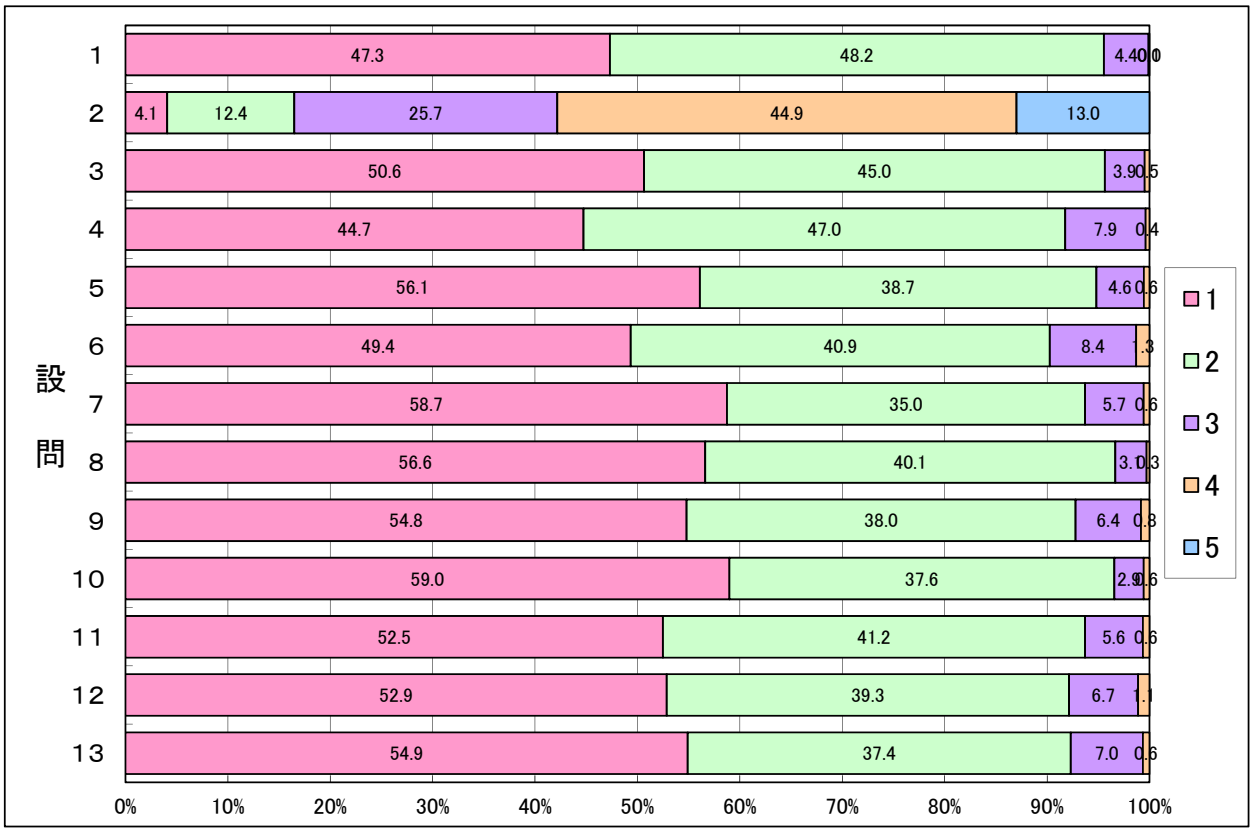
授業評価アンケート集計結果

言語科学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	511	521	47	1	0	1,080

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	44	134	277	484	140	1,079

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	548	487	42	5	1,082
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	484	509	85	4	1,082
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	607	419	50	6	1,082
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	533	442	91	14	1,080
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	635	378	62	6	1,081
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	612	433	33	3	1,081
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	593	411	69	9	1,082
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	637	406	31	6	1,080
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	568	446	61	7	1,082
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	572	425	73	12	1,082
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	593	404	76	7	1,080



2016年度後期　学科･専攻別

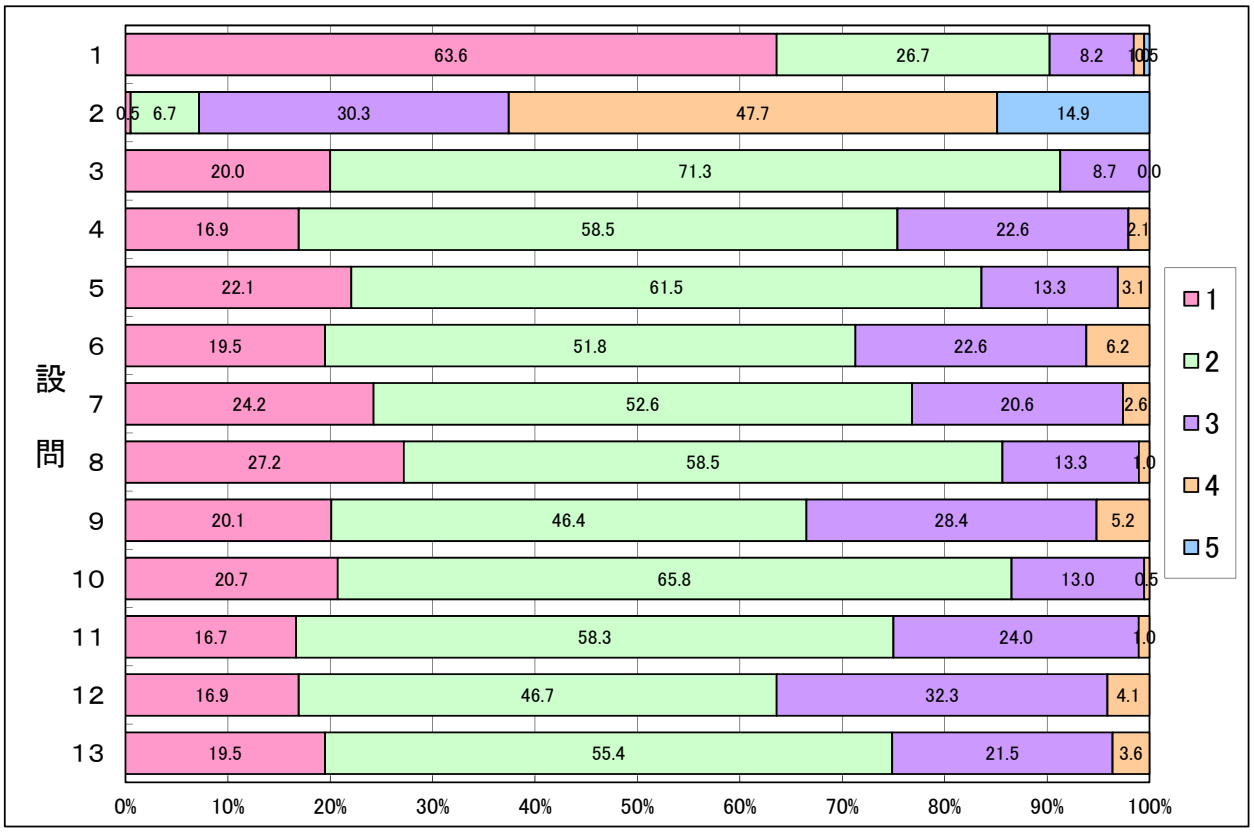
授業評価アンケート集計結果

数理科学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	124	52	16	2	1	195

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	13	59	93	29	195

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	39	139	17	0	195
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	33	114	44	4	195
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	43	120	26	6	195
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	38	101	44	12	195
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	47	102	40	5	194
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	53	114	26	2	195
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	39	90	55	10	194
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	40	127	25	1	193
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	32	112	46	2	192
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	33	91	63	8	195
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	38	108	42	7	195



2016年度後期　学科･専攻別

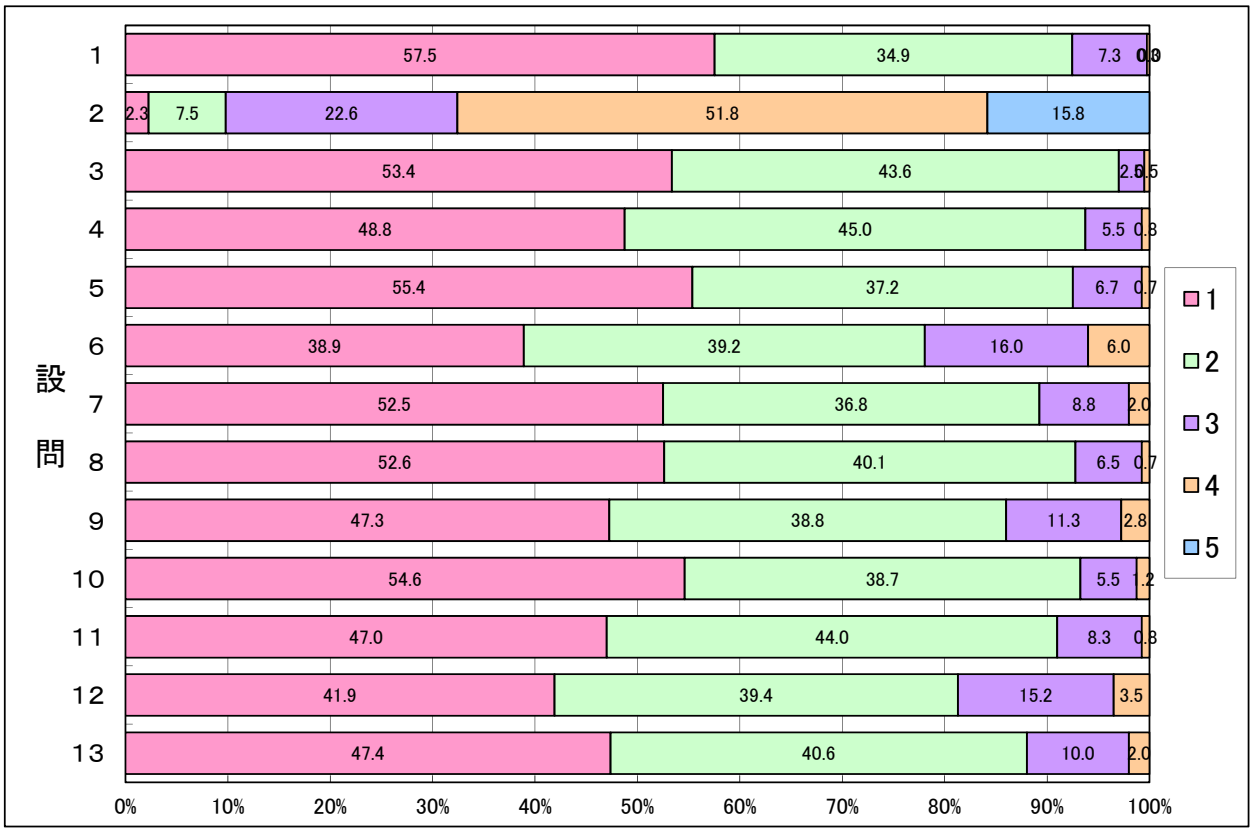
授業評価アンケート集計結果

数学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	229	139	29	1	0	398

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	30	90	206	63	398

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	214	175	10	2	401
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	195	180	22	3	400
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	222	149	27	3	401
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	156	157	64	24	401
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	210	147	35	8	400
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	211	161	26	3	401
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	189	155	45	11	400
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	219	155	22	5	401
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	188	176	33	3	400
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	168	158	61	14	401
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	190	163	40	8	401



2016年度後期　学科･専攻別

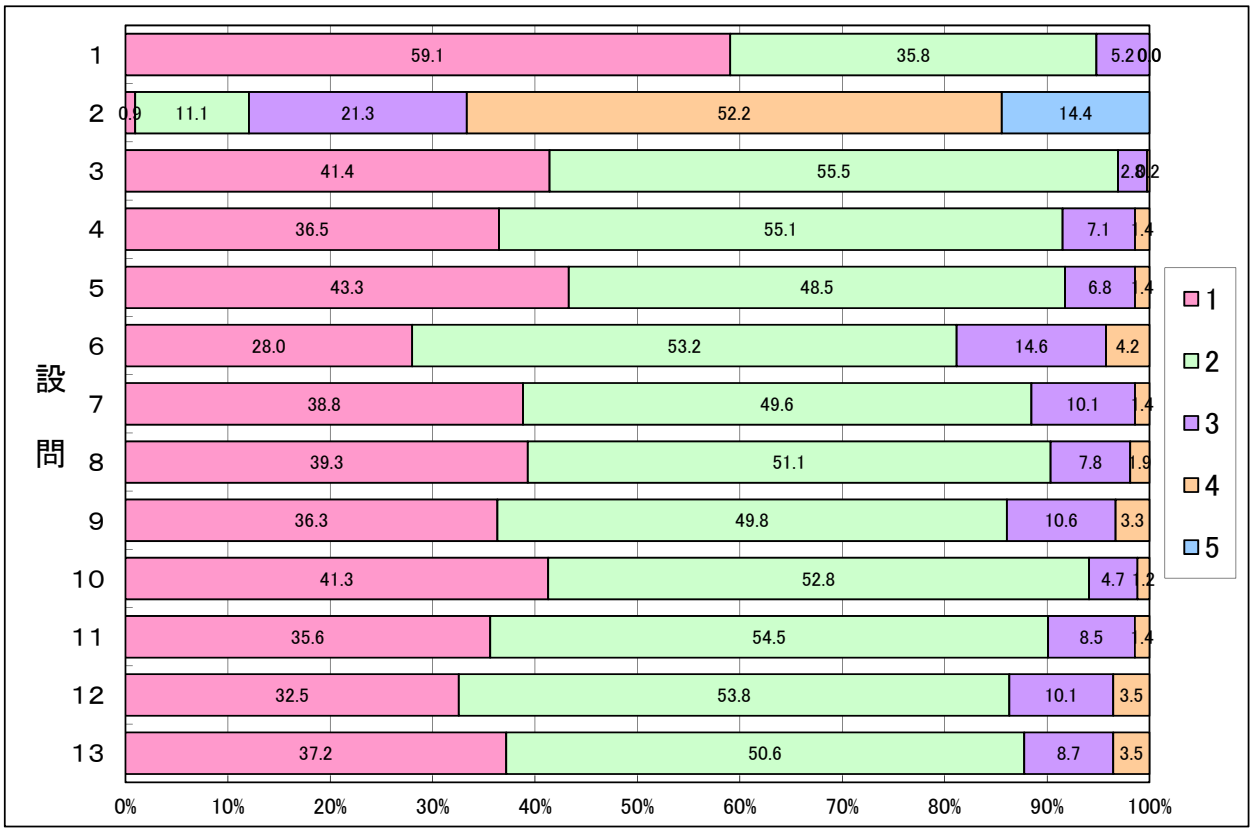
授業評価アンケート集計結果

情報理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	251	152	22	0	0	425

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	47	90	221	61	423

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	176	236	12	1	425
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	155	234	30	6	425
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	184	206	29	6	425
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	119	226	62	18	425
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	165	211	43	6	425
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	167	217	33	8	425
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	154	211	45	14	424
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	175	224	20	5	424
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	151	231	36	6	424
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	138	228	43	15	424
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	158	215	37	15	425



2016年度後期　講義科目

授業評価アンケート集計結果

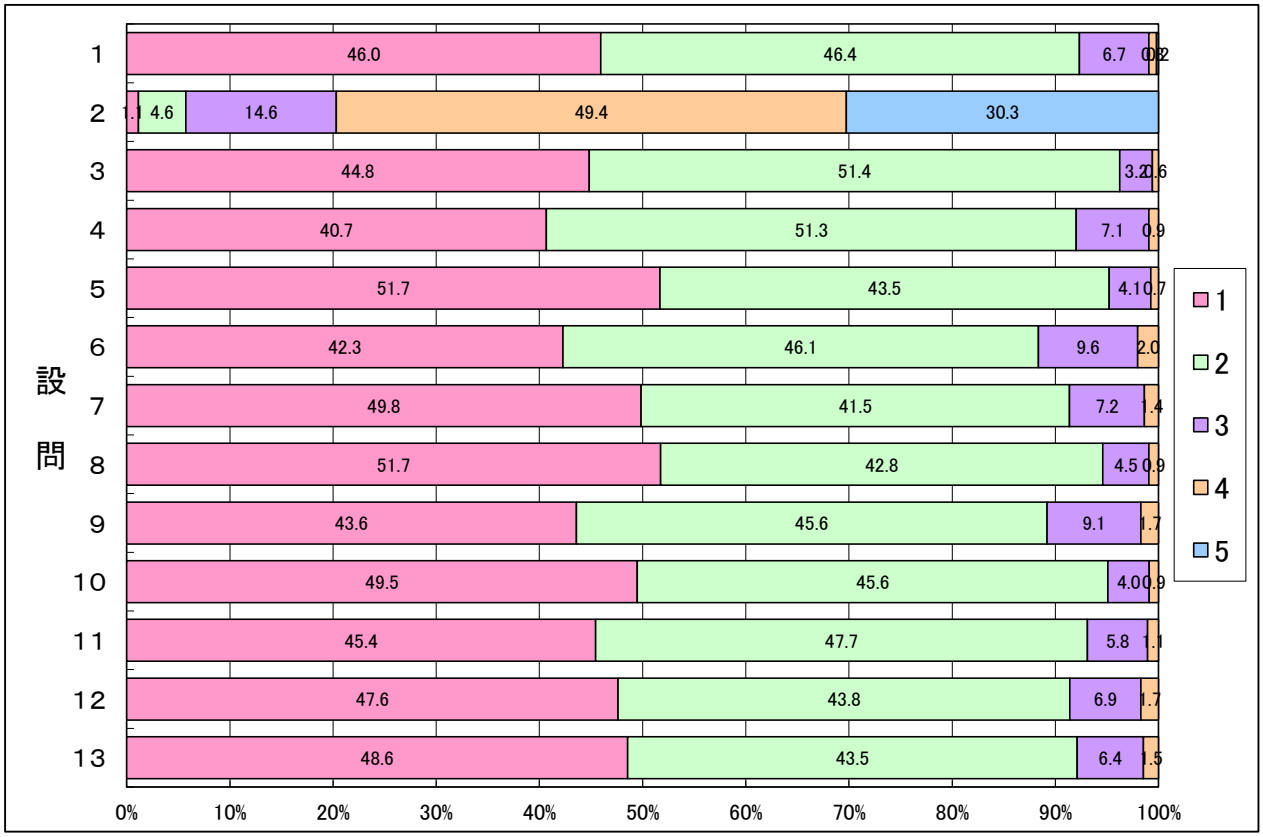
現代教養学部

（※人文学科共通、人間科学科共通各1件を含む。日本語表現法Ｉを除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	3,807	3,843	556	64	15	8,285

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	93	380	1,204	4,080	2,498	8,255

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	3,719	4,266	263	49	8,297
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	3,374	4,257	585	78	8,294
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	4,285	3,607	336	62	8,290
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	3,506	3,823	796	169	8,294
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	4,132	3,443	601	114	8,290
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	4,290	3,552	371	78	8,291
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	3,611	3,781	755	141	8,288
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	4,101	3,780	331	75	8,287
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	3,761	3,947	483	87	8,278
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	3,948	3,629	569	143	8,289
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	4,024	3,608	533	122	8,287



2016年度後期　講義科目

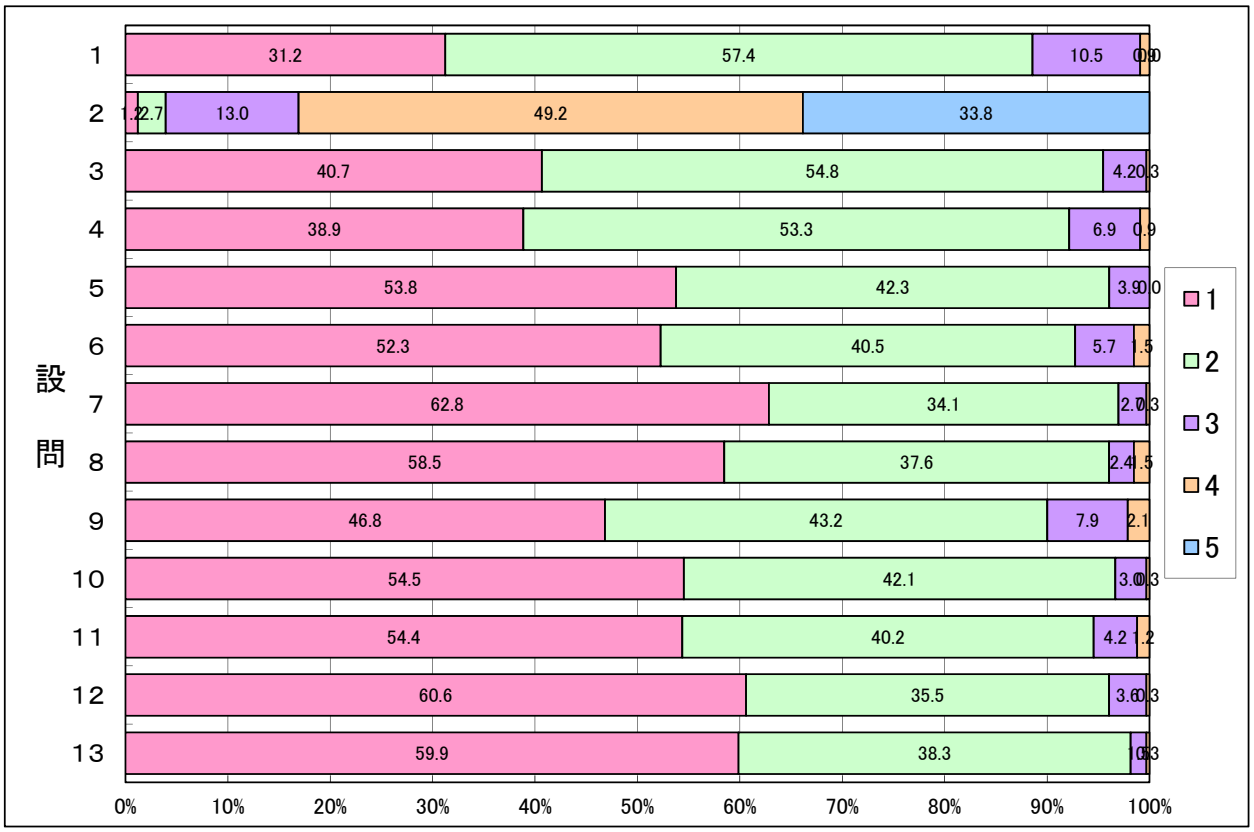
授業評価アンケート集計結果

哲学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	104	191	35	3	0	333

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	9	43	163	112	331

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	135	182	14	1	332
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	129	177	23	3	332
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	178	140	13	0	331
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	173	134	19	5	331
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	208	113	9	1	331
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	193	124	8	5	330
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	155	143	26	7	331
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	180	139	10	1	330
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	180	133	14	4	331
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	200	117	12	1	330
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	197	126	5	1	329



2016年度後期　講義科目

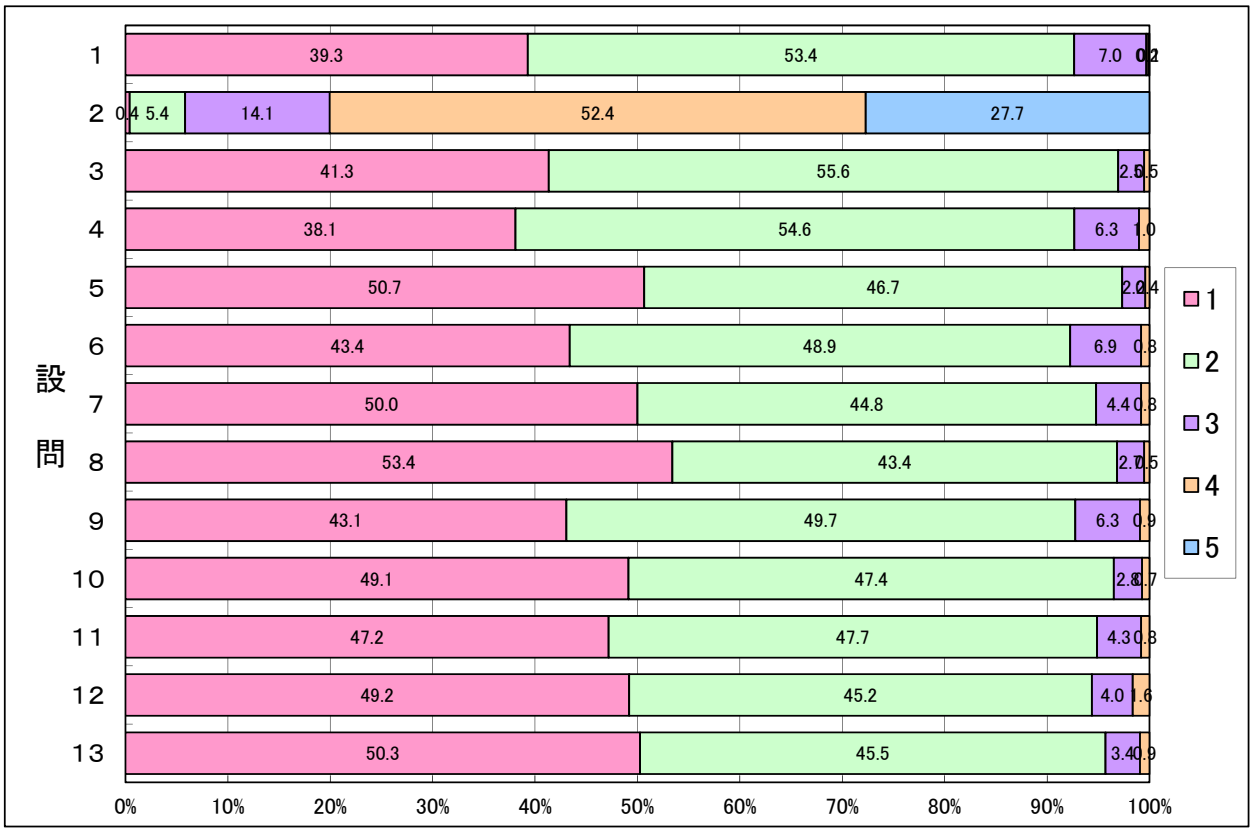
授業評価アンケート集計結果

日本文学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	385	523	69	2	1	980

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	53	138	512	271	978

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	406	546	25	5	982
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	374	536	62	10	982
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	496	457	22	4	979
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	426	480	68	8	982
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	490	439	43	8	980
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	524	426	26	5	981
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	422	487	62	9	980
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	482	465	27	7	981
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	462	467	42	8	979
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	482	443	39	16	980
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	493	446	33	9	981



2016年度後期　講義科目

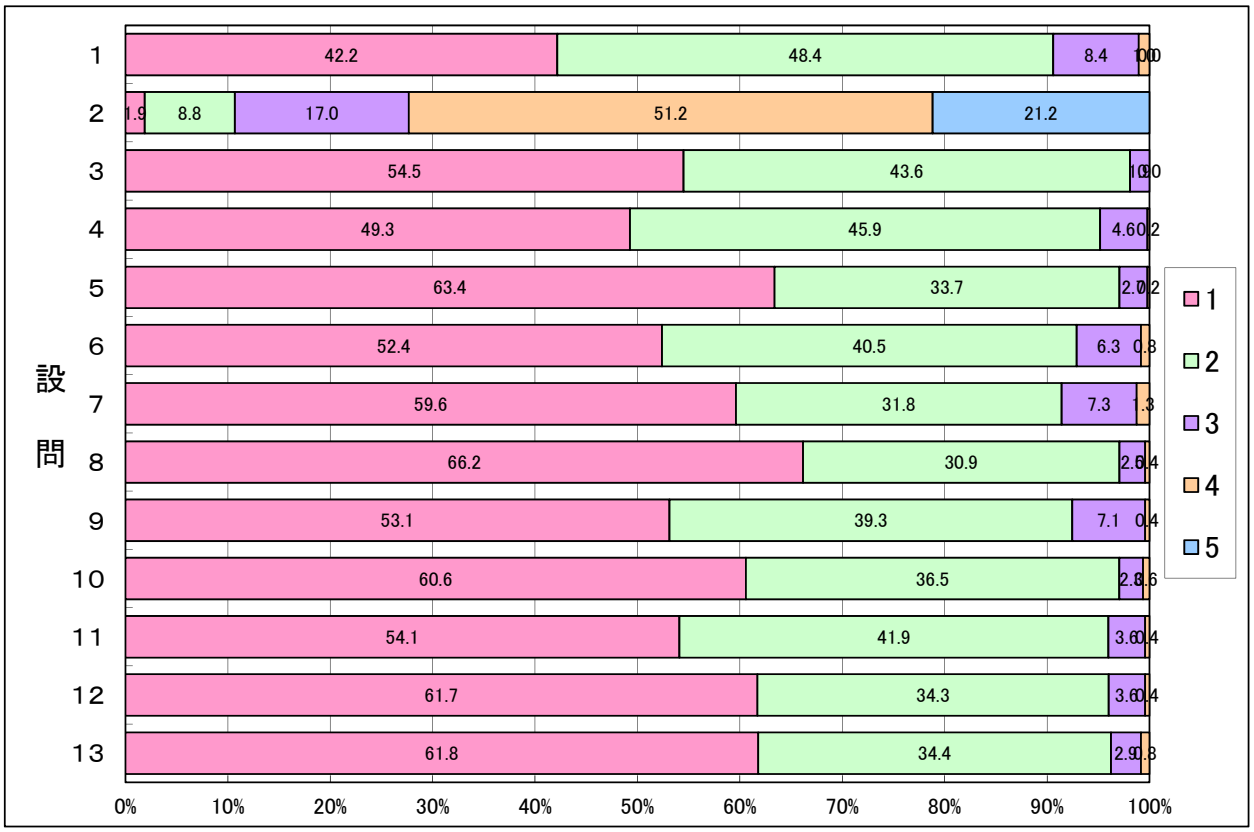
授業評価アンケート集計結果

英語文学文化専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	202	232	40	5	0	479

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	42	81	244	101	477

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	260	208	9	0	477
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	235	219	22	1	477
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	303	161	13	1	478
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	251	194	30	4	479
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	285	152	35	6	478
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	317	148	12	2	479
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	254	188	34	2	478
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	289	174	11	3	477
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	257	199	17	2	475
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	295	164	17	2	478
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	296	165	14	4	479



2016年度後期　講義科目

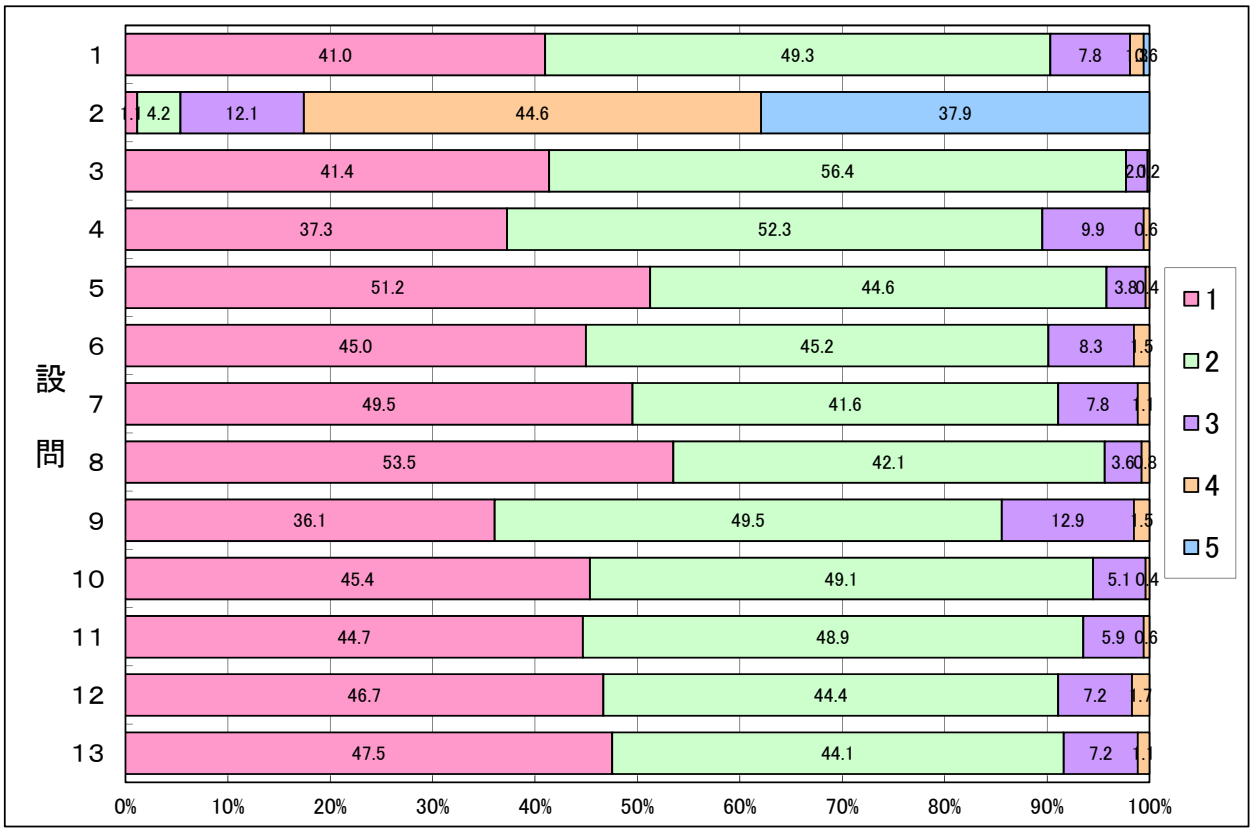
授業評価アンケート集計結果

史学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	216	260	41	7	3	527

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	6	22	63	233	198	522

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	218	297	11	1	527
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	196	275	52	3	526
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	269	234	20	2	525
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	237	238	44	8	527
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	261	219	41	6	527
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	282	222	19	4	527
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	190	261	68	8	527
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	239	259	27	2	527
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	235	257	31	3	526
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	246	234	38	9	527
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	250	232	38	6	526



2016年度後期　講義科目

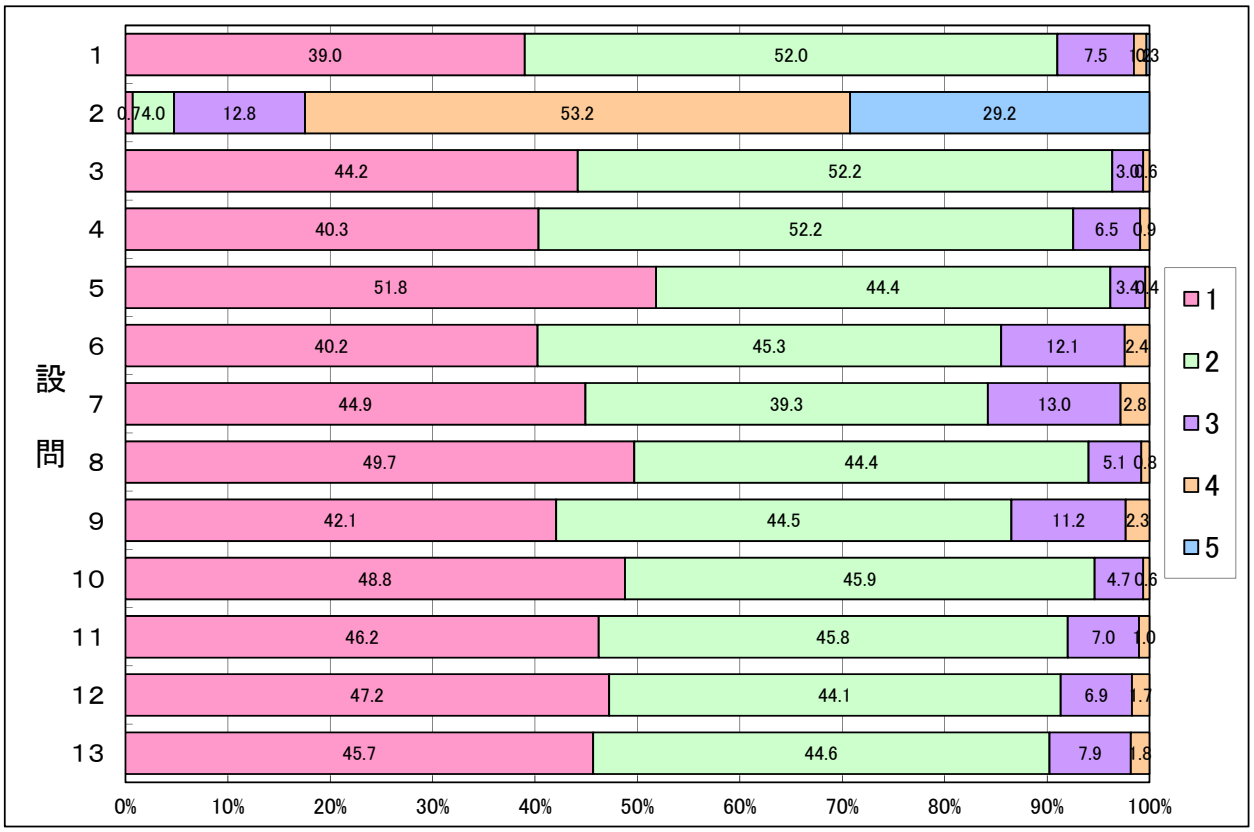
授業評価アンケート集計結果

国際関係専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	386	515	74	12	3	990

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	7	40	127	528	290	992

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	439	519	30	6	994
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	401	519	65	9	994
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	515	441	34	4	994
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	400	450	120	24	994
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	447	391	129	28	995
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	494	441	51	8	994
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	418	442	111	23	994
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	484	455	47	6	992
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	458	454	69	10	991
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	469	438	69	17	993
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	454	443	79	18	994



2016年度後期　講義科目

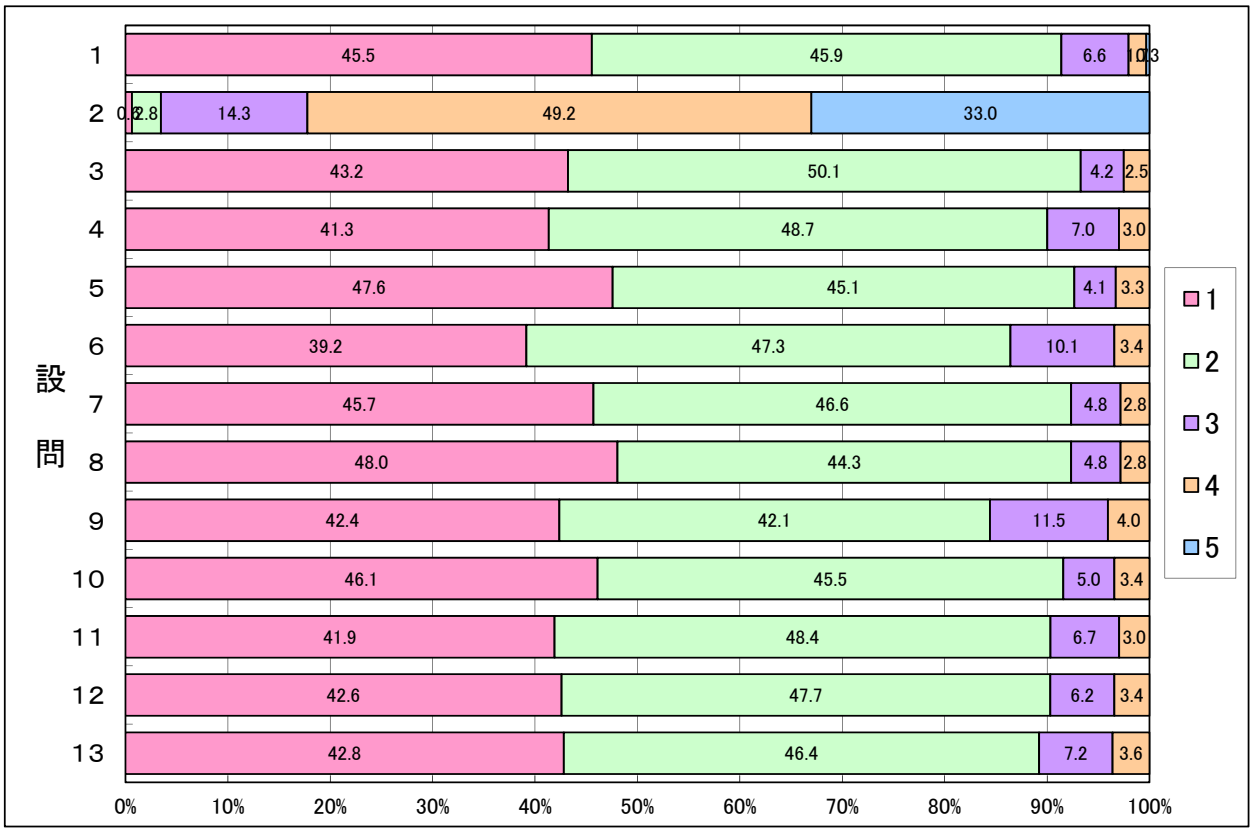
授業評価アンケート集計結果

経済学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	291	293	42	11	2	639

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	18	91	313	210	636

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	277	321	27	16	641
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	265	312	45	19	641
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	305	289	26	21	641
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	251	303	65	22	641
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	293	299	31	18	641
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	308	284	31	18	641
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	272	270	74	26	642
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	296	292	32	22	642
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	269	311	43	19	642
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	273	306	40	22	641
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	274	297	46	23	640



2016年度後期　講義科目

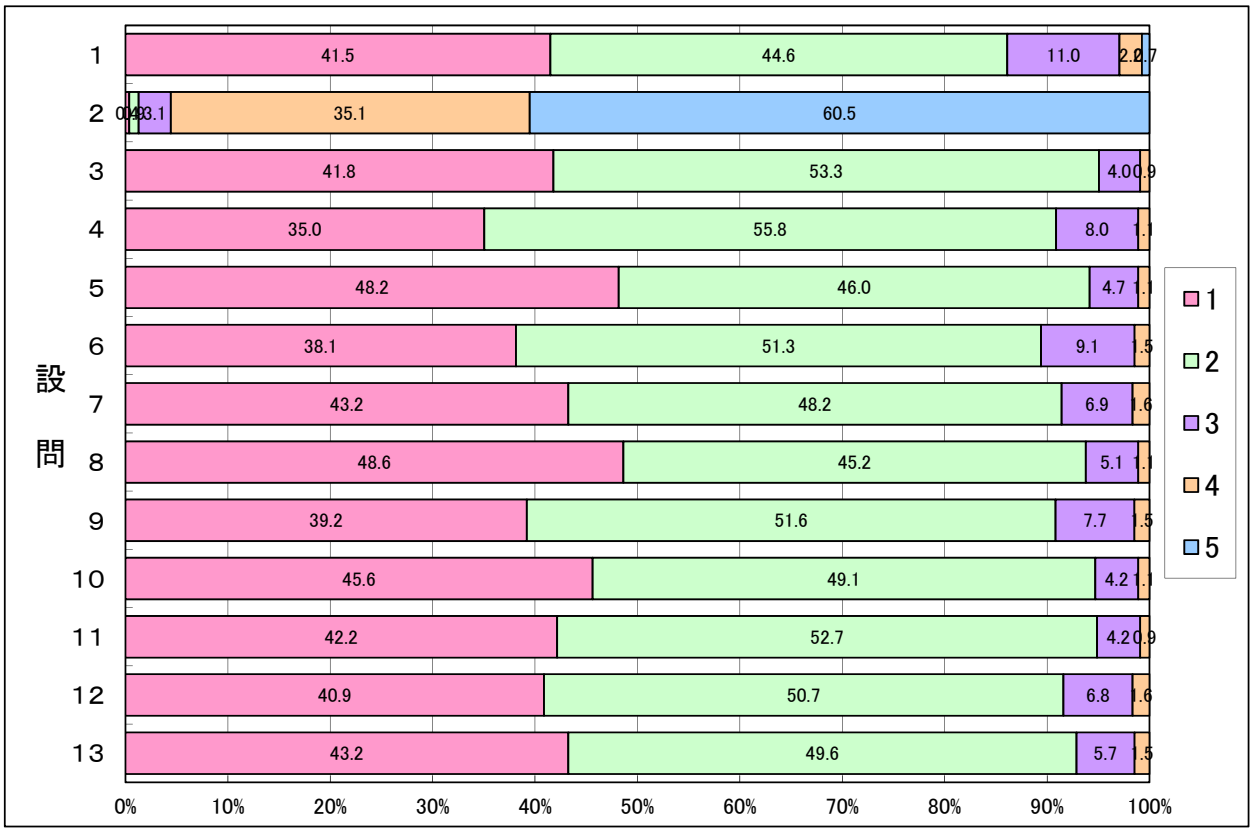
授業評価アンケート集計結果

社会学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	227	244	60	12	4	547

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	5	17	190	328	542

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	229	292	22	5	548
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	192	306	44	6	548
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	264	252	26	6	548
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	209	281	50	8	548
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	237	264	38	9	548
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	266	247	28	6	547
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	214	282	42	8	546
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	250	269	23	6	548
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	231	289	23	5	548
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	224	278	37	9	548
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	237	272	31	8	548



2016年度後期　講義科目

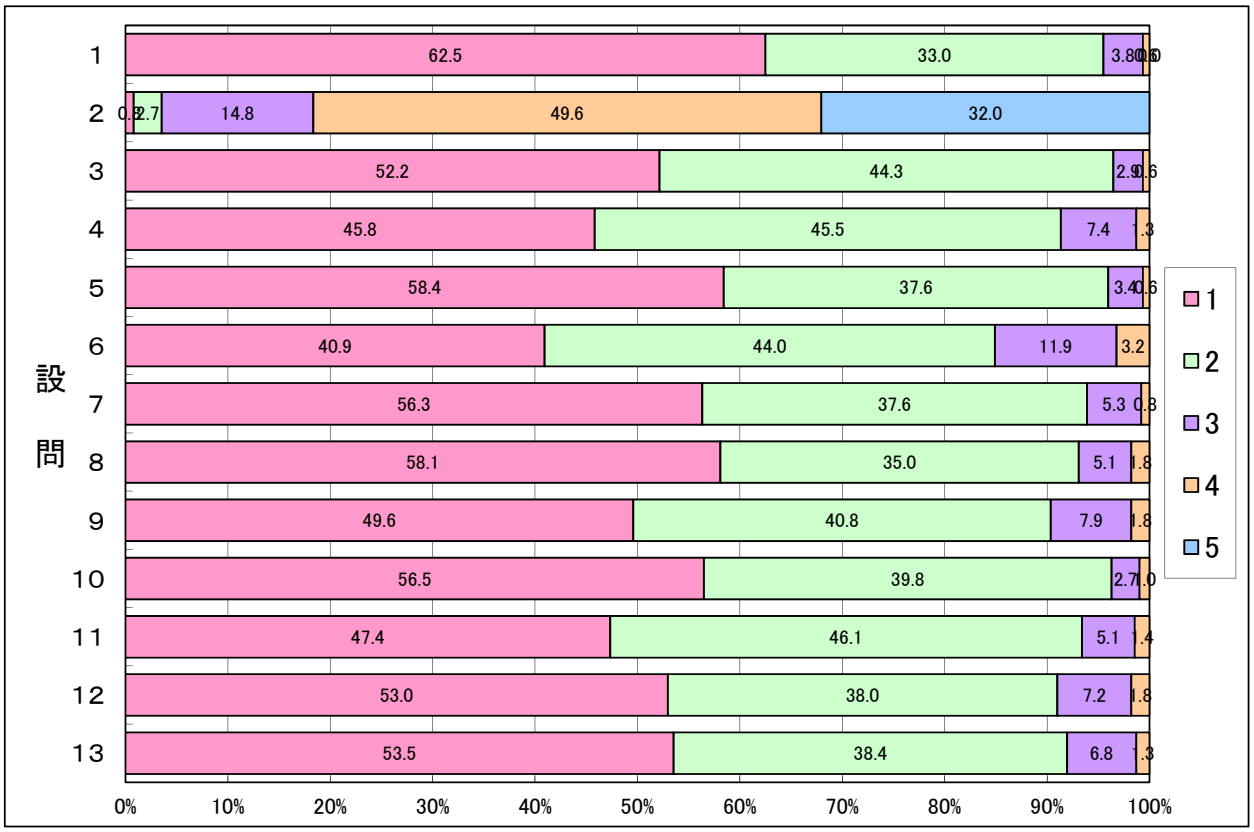
授業評価アンケート集計結果

心理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	390	206	24	4	0	624

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	17	92	308	199	621

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	326	277	18	4	625
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	286	284	46	8	624
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	364	234	21	4	623
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	255	274	74	20	623
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	351	234	33	5	623
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	362	218	32	11	623
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	309	254	49	11	623
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	352	248	17	6	623
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	295	287	32	9	623
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	330	237	45	11	623
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	333	239	42	8	622



2016年度後期　講義科目

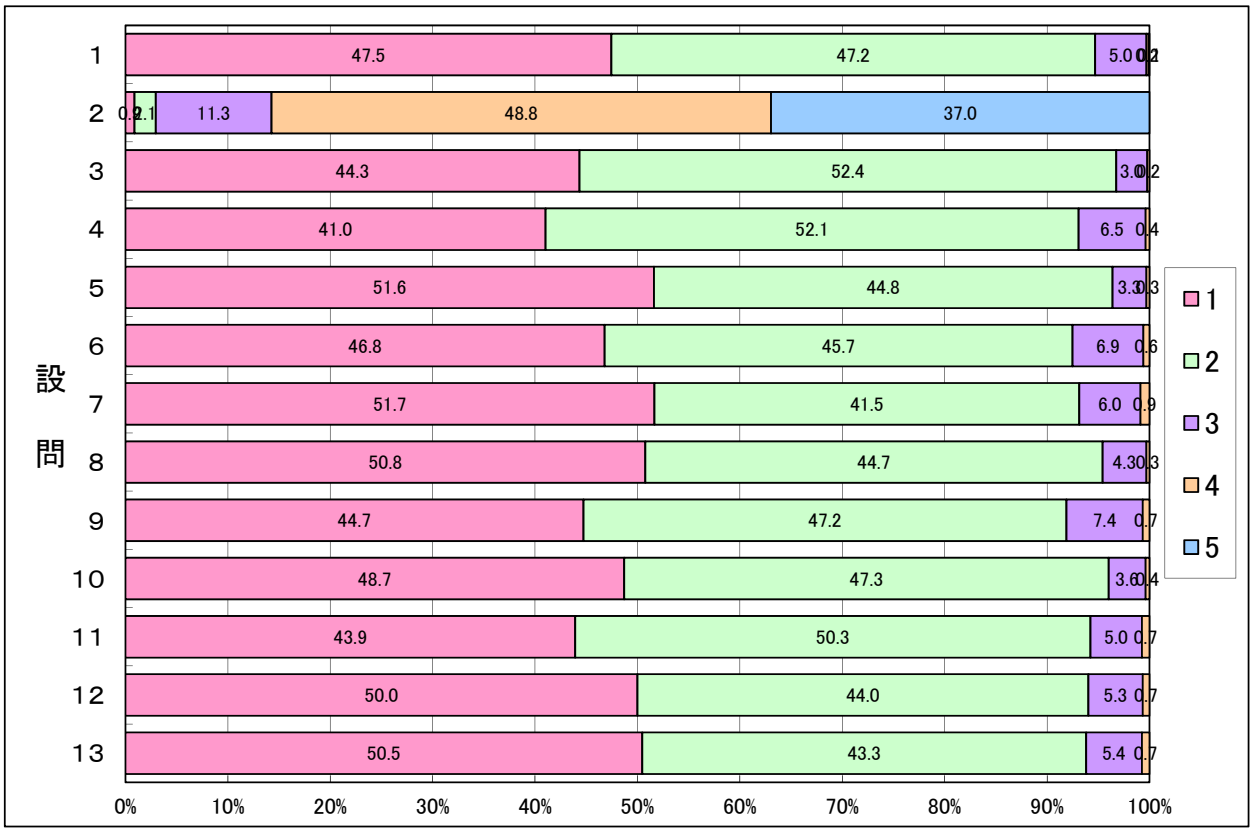
授業評価アンケート集計結果

コミュニケーション専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	645	642	68	3	1	1,359

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	12	28	153	660	500	1,353

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	603	713	41	3	1,360
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	558	708	89	5	1,360
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	702	609	45	4	1,360
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	636	621	94	8	1,359
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	702	564	81	12	1,359
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	690	607	58	4	1,359
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	608	641	101	9	1,359
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	662	643	49	5	1,359
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	596	683	68	10	1,357
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	680	599	72	9	1,360
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	686	589	74	10	1,359



2016年度後期　講義科目

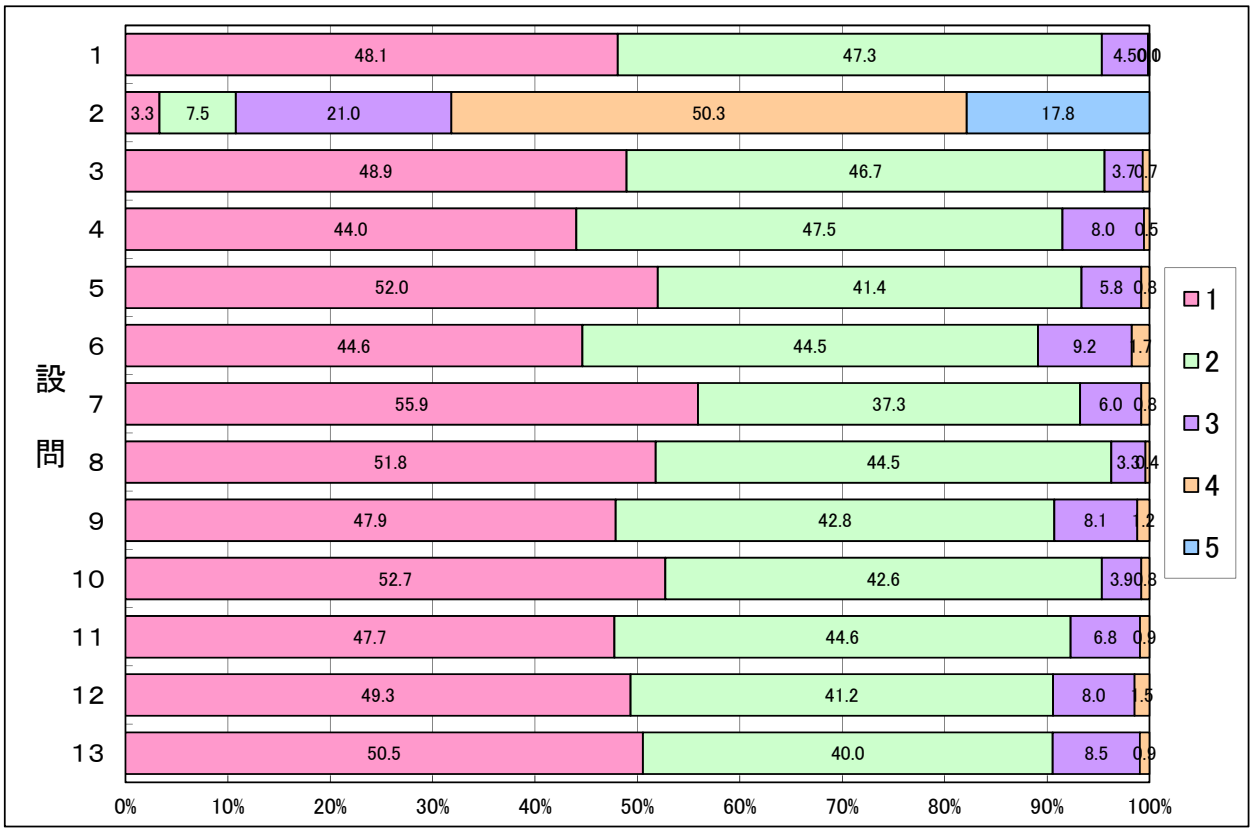
授業評価アンケート集計結果

言語科学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	362	356	34	1	0	753

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	25	56	158	378	134	751

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	369	352	28	5	754
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	332	358	60	4	754
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	392	312	44	6	754
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	336	335	69	13	753
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	421	281	45	6	753
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	390	335	25	3	753
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	361	323	61	9	754
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	397	321	29	6	753
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	360	336	51	7	754
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	372	311	60	11	754
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	380	301	64	7	752



2016年度後期　講義科目

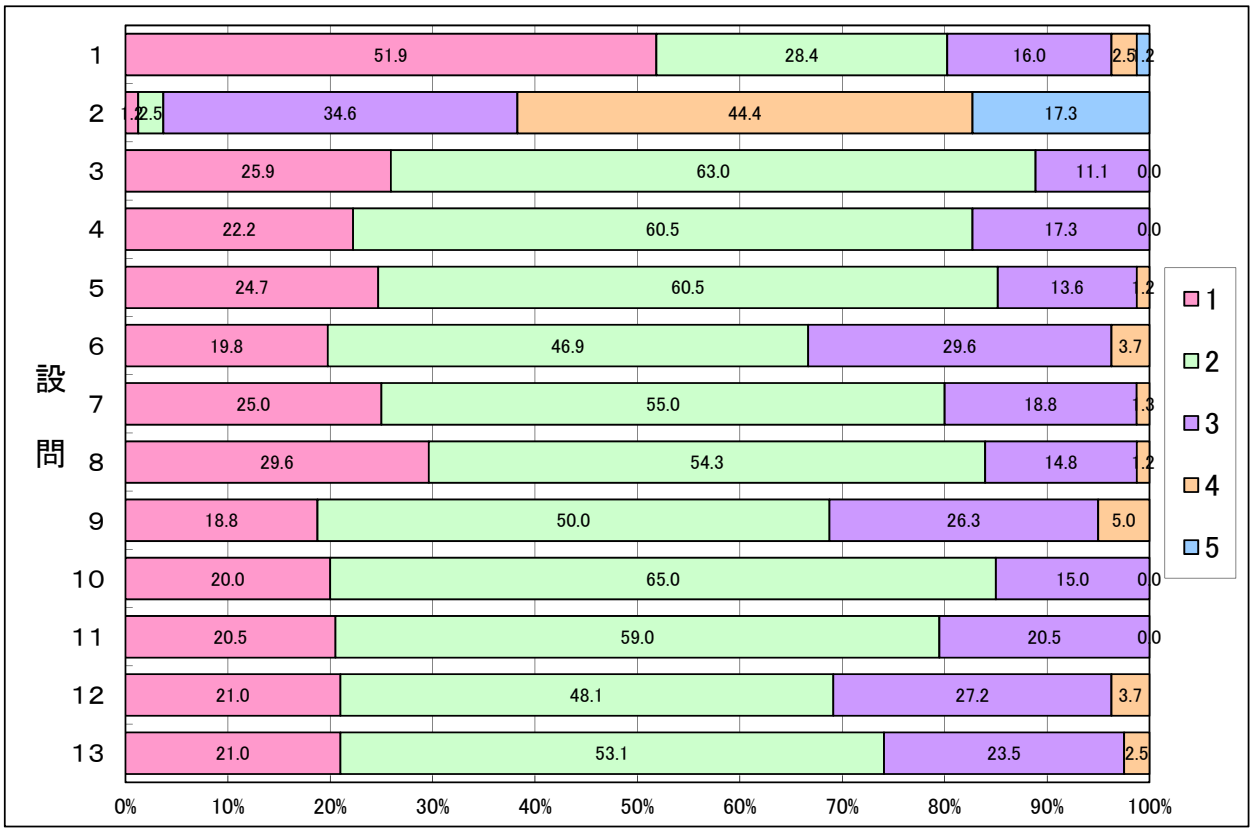
授業評価アンケート集計結果

数理科学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	42	23	13	2	1	81

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	2	28	36	14	81

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	21	51	9	0	81
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	18	49	14	0	81
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	20	49	11	1	81
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	16	38	24	3	81
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	20	44	15	1	80
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	24	44	12	1	81
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	15	40	21	4	80
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	16	52	12	0	80
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	16	46	16	0	78
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	17	39	22	3	81
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	17	43	19	2	81



2016年度後期　講義科目

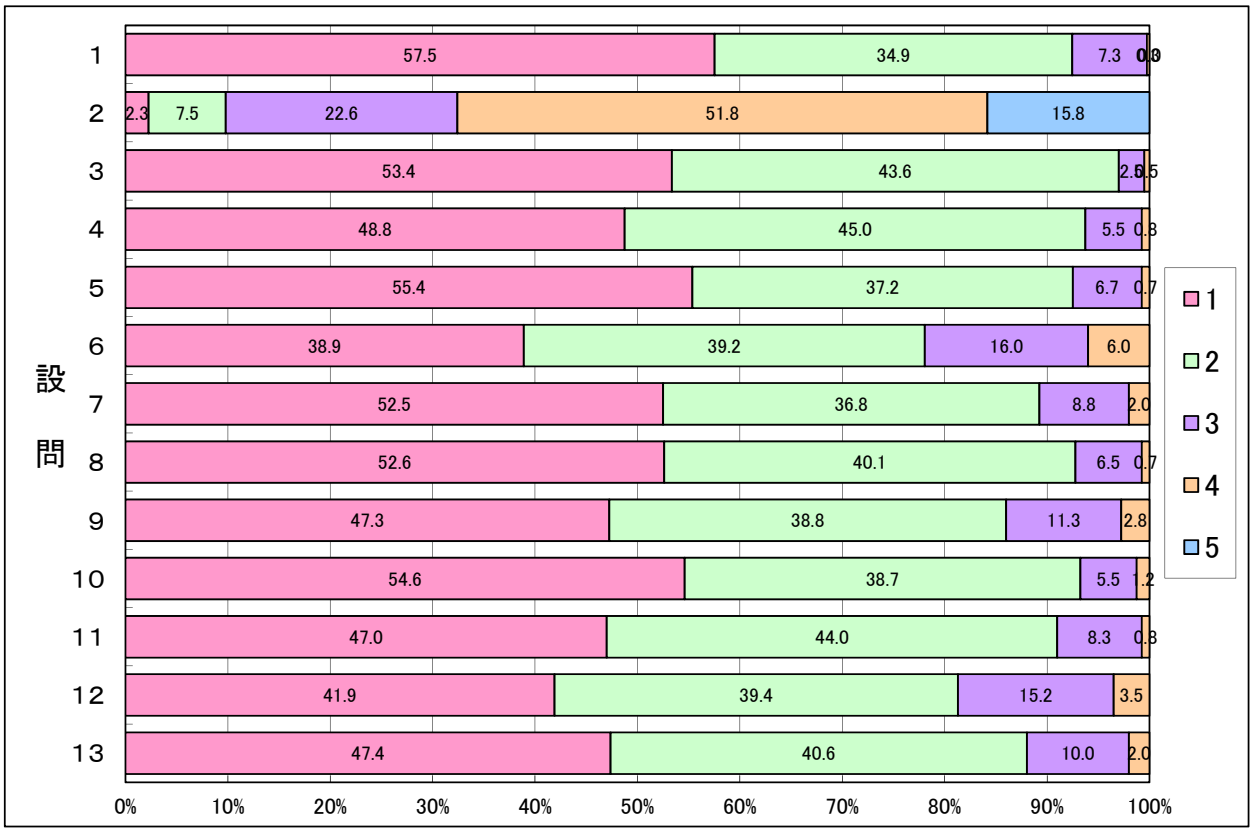
授業評価アンケート集計結果

数学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	229	139	29	1	0	398

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	30	90	206	63	398

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	214	175	10	2	401
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	195	180	22	3	400
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	222	149	27	3	401
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	156	157	64	24	401
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	210	147	35	8	400
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	211	161	26	3	401
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	189	155	45	11	400
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	219	155	22	5	401
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	188	176	33	3	400
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	168	158	61	14	401
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	190	163	40	8	401



2016年度後期　講義科目

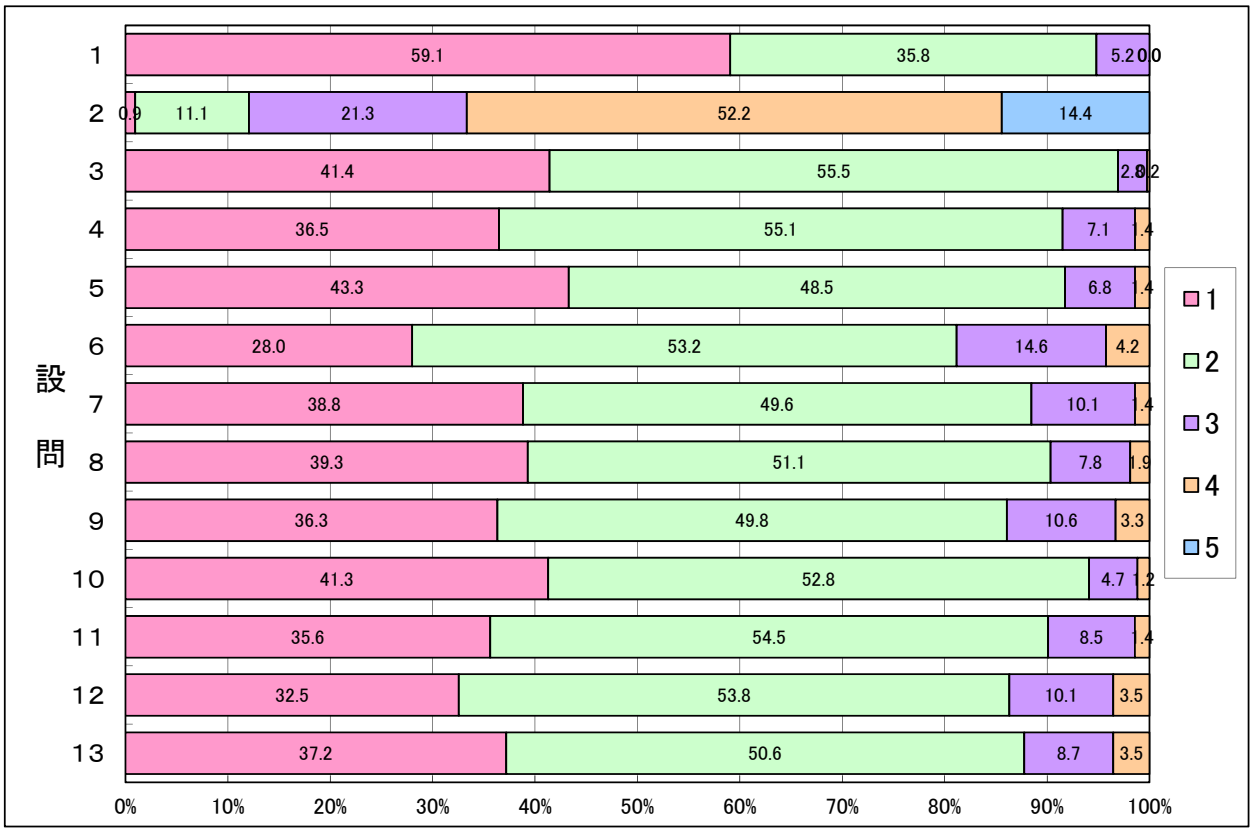
授業評価アンケート集計結果

情報理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	251	152	22	0	0	425

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	47	90	221	61	423

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	176	236	12	1	425
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	155	234	30	6	425
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	184	206	29	6	425
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	119	226	62	18	425
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	165	211	43	6	425
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	167	217	33	8	425
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	154	211	45	14	424
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	175	224	20	5	424
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	151	231	36	6	424
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	138	228	43	15	424
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	158	215	37	15	425



2016年度後期　演習科目

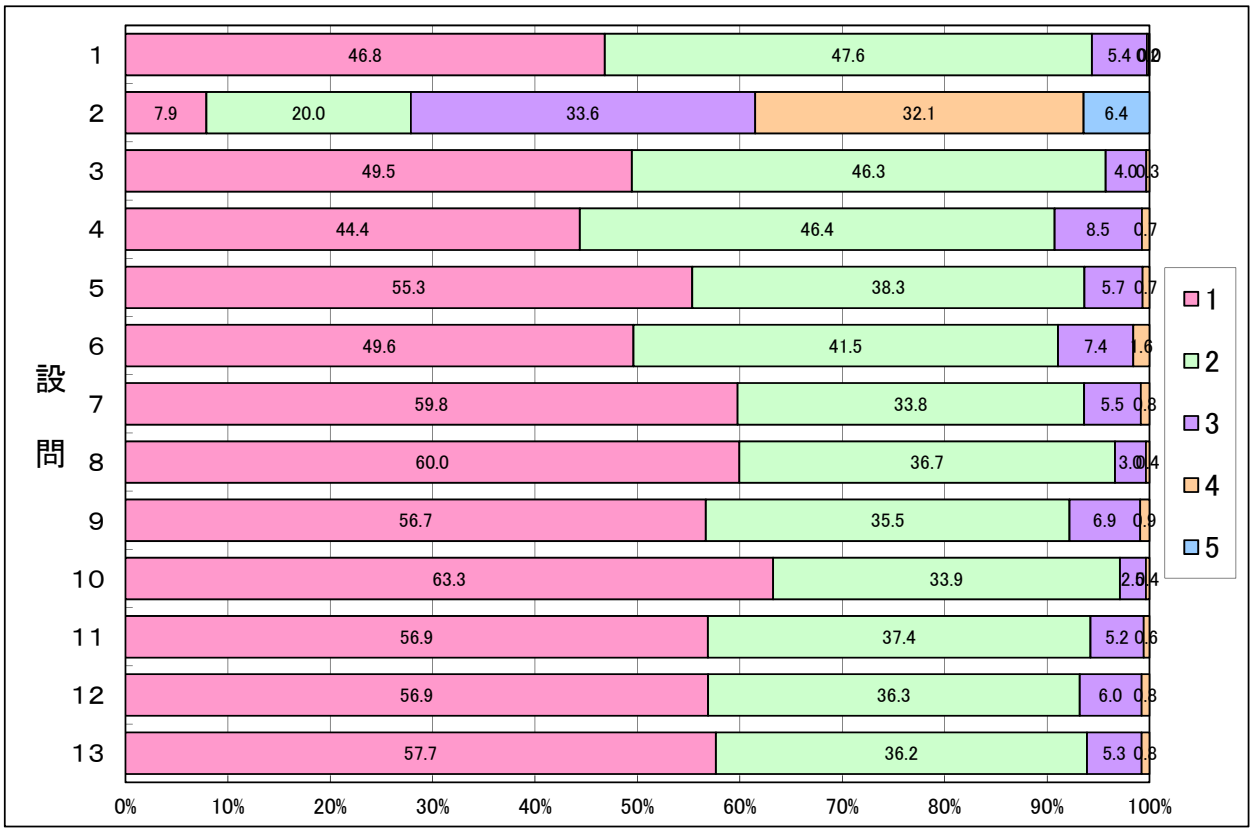
授業評価アンケート集計結果

現代教養学部

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1,334	1,356	153	6	1	2,850

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	225	569	958	914	183	2,849

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	1,412	1,321	113	9	2,855
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	1,266	1,323	243	21	2,853
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,579	1,093	162	19	2,853
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,416	1,183	210	45	2,854
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,706	966	158	24	2,854
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,711	1,047	86	10	2,854
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	1,619	1,014	197	26	2,856
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,802	965	72	10	2,849
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	1,621	1,065	148	16	2,850
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	1,622	1,035	172	22	2,851
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,645	1,034	152	22	2,853



2016年度後期　演習科目

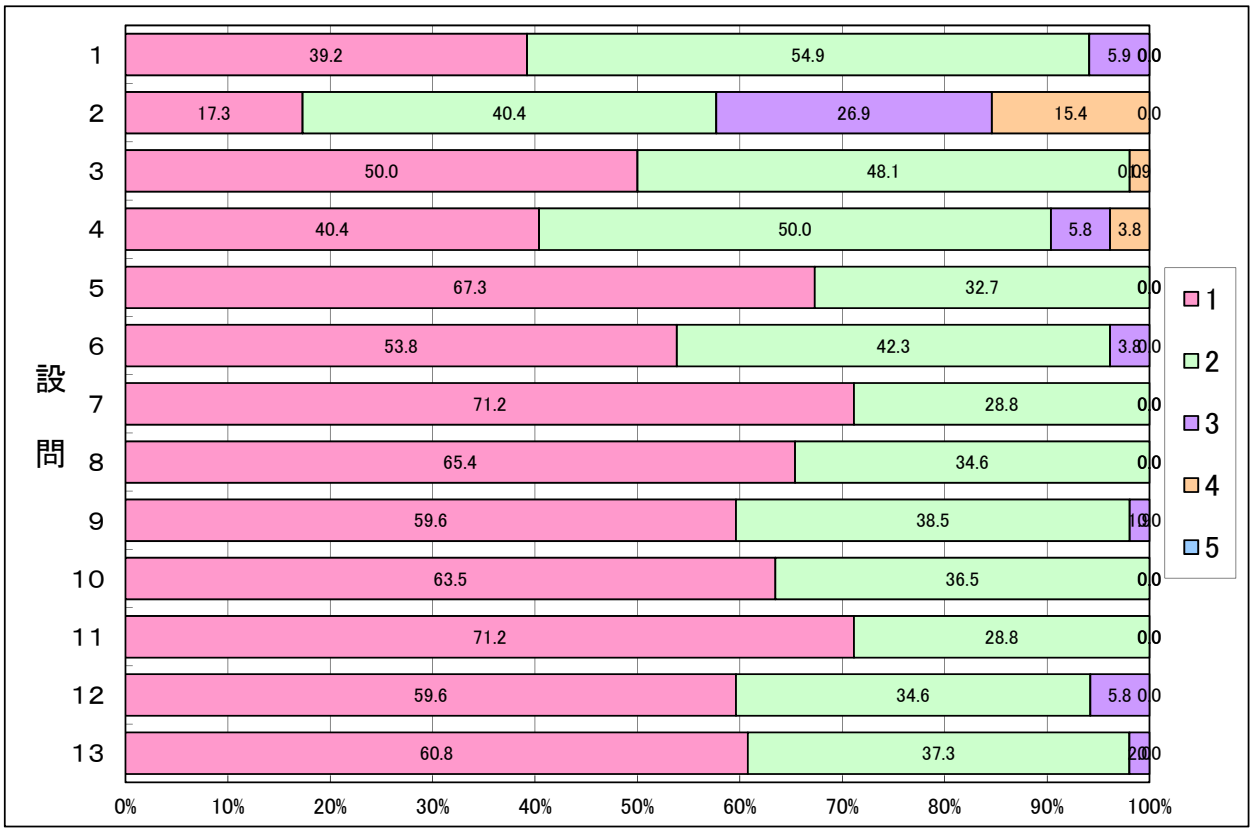
授業評価アンケート集計結果

人文学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	20	28	3	0	0	51

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	21	14	8	0	52

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	26	25	0	1	52
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	21	26	3	2	52
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	35	17	0	0	52
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	28	22	2	0	52
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	37	15	0	0	52
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	34	18	0	0	52
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	31	20	1	0	52
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	33	19	0	0	52
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	37	15	0	0	52
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	31	18	3	0	52
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	31	19	1	0	51



2016年度後期　演習科目

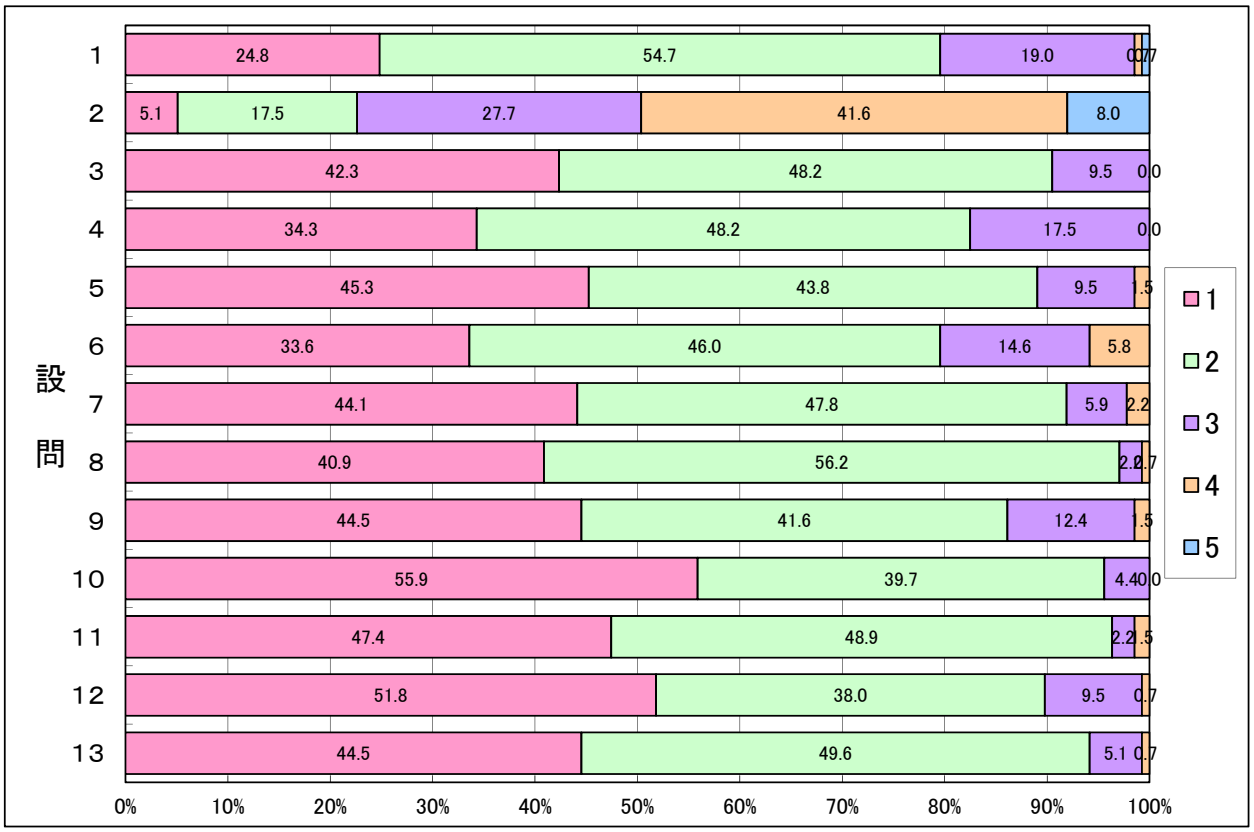
授業評価アンケート集計結果

哲学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	34	75	26	1	1	137

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	7	24	38	57	11	137

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	58	66	13	0	137
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	47	66	24	0	137
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	62	60	13	2	137
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	46	63	20	8	137
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	60	65	8	3	136
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	56	77	3	1	137
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	61	57	17	2	137
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	76	54	6	0	136
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	65	67	3	2	137
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	71	52	13	1	137
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	61	68	7	1	137



2016年度後期　演習科目

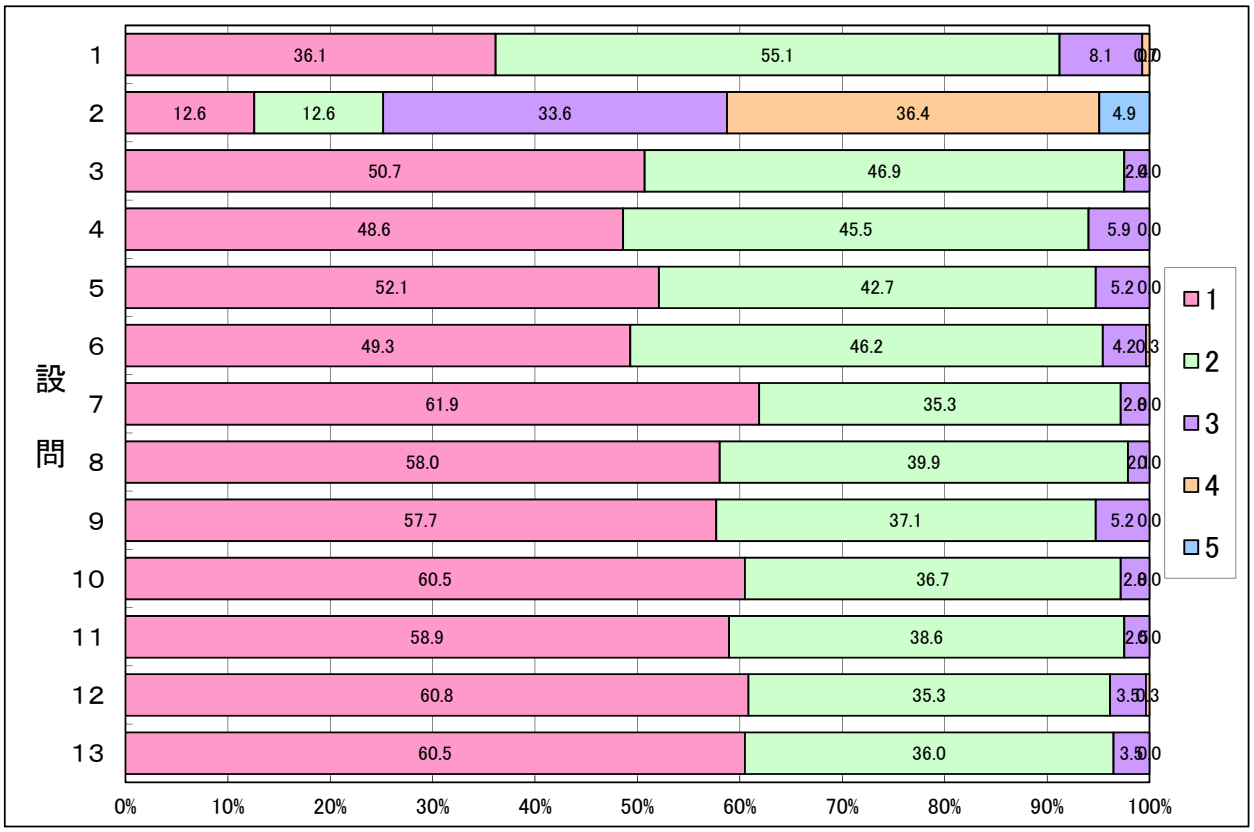
授業評価アンケート集計結果

日本文学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	103	157	23	2	0	285

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	36	36	96	104	14	286

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	145	134	7	0	286
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	139	130	17	0	286
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	149	122	15	0	286
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	141	132	12	1	286
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	177	101	8	0	286
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	166	114	6	0	286
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	165	106	15	0	286
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	173	105	8	0	286
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	168	110	7	0	285
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	174	101	10	1	286
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	173	103	10	0	286



2016年度後期　演習科目

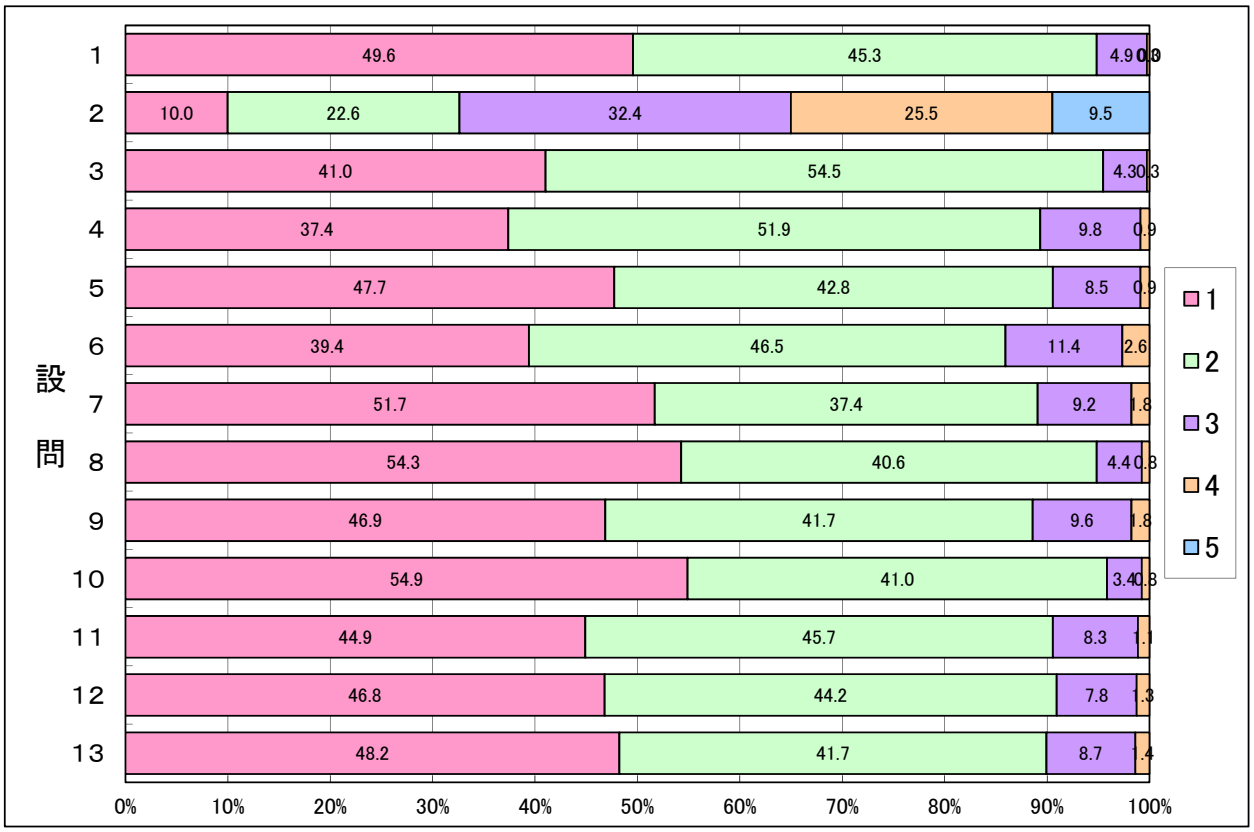
授業評価アンケート集計結果

英語文学文化専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	395	361	39	2	0	797

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	79	179	256	202	75	791

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	327	434	34	2	797
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	298	414	78	7	797
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	380	341	68	7	796
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	314	371	91	21	797
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	412	298	73	14	797
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	432	323	35	6	796
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	374	333	77	14	798
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	437	326	27	6	796
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	357	363	66	9	795
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	372	351	62	10	795
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	384	332	69	11	796



2016年度後期　演習科目

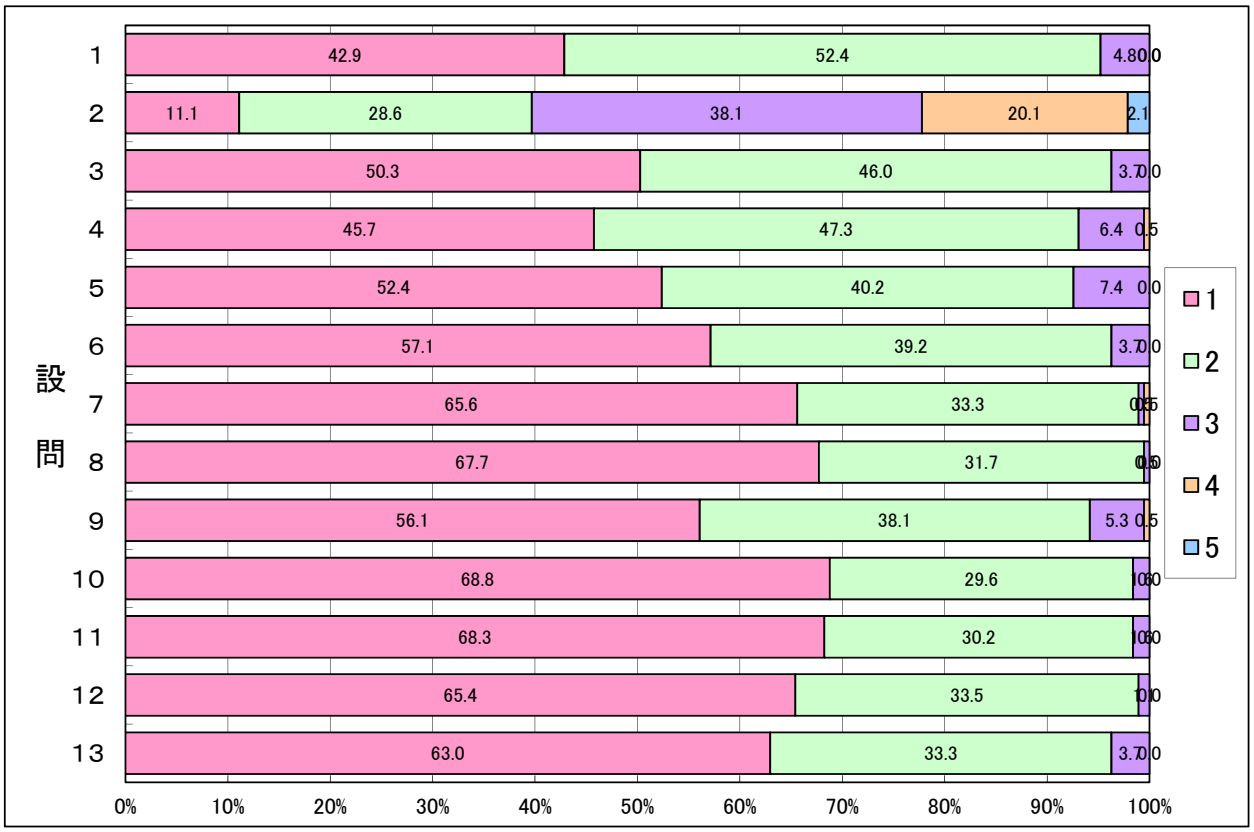
授業評価アンケート集計結果

史学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	81	99	9	0	0	189

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	21	54	72	38	4	189

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	95	87	7	0	189
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	86	89	12	1	188
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	99	76	14	0	189
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	108	74	7	0	189
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	124	63	1	1	189
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	128	60	1	0	189
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	106	72	10	1	189
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	130	56	3	0	189
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	129	57	3	0	189
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	123	63	2	0	188
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	119	63	7	0	189



2016年度後期　演習科目

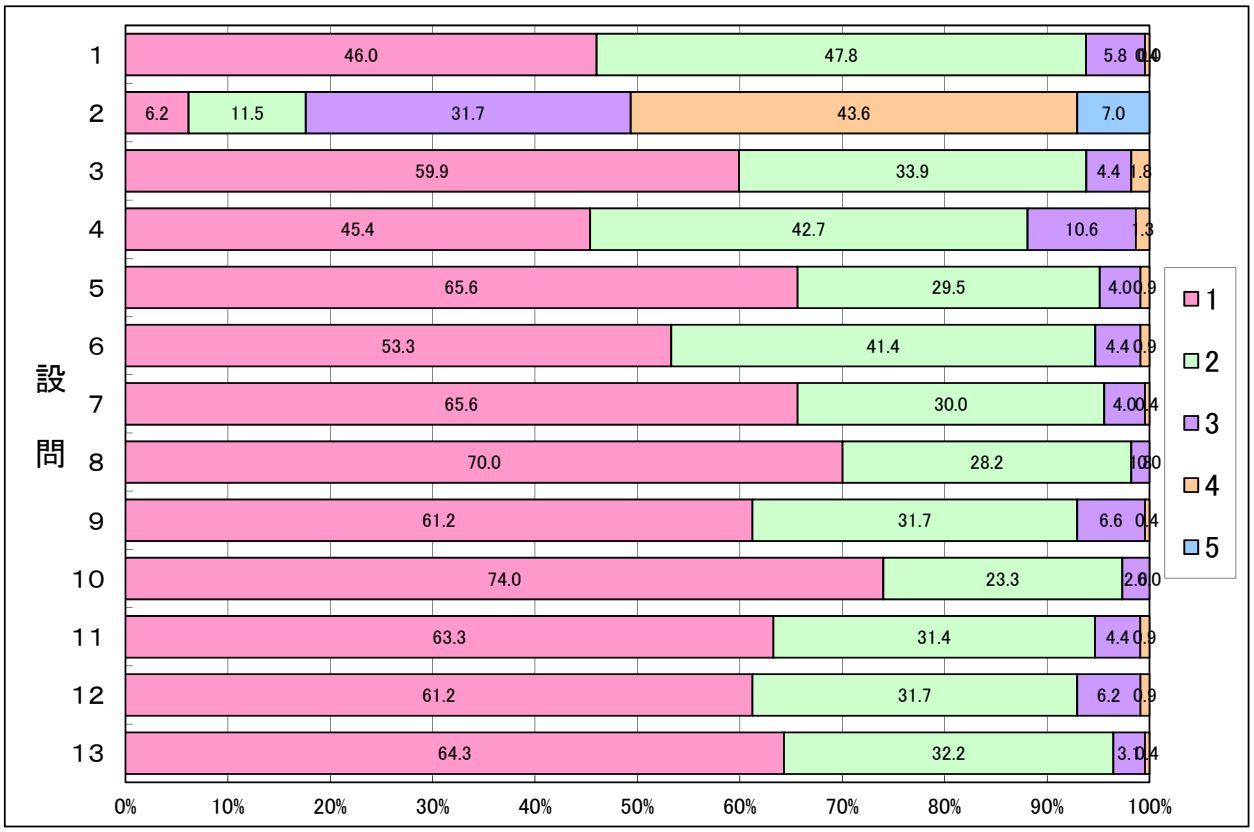
授業評価アンケート集計結果

国際社会学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	104	108	13	1	0	226

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	14	26	72	99	16	227

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	136	77	10	4	227
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	103	97	24	3	227
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	149	67	9	2	227
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	121	94	10	2	227
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	149	68	9	1	227
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	159	64	4	0	227
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	139	72	15	1	227
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	168	53	6	0	227
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	143	71	10	2	226
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	139	72	14	2	227
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	146	73	7	1	227



2016年度後期　演習科目

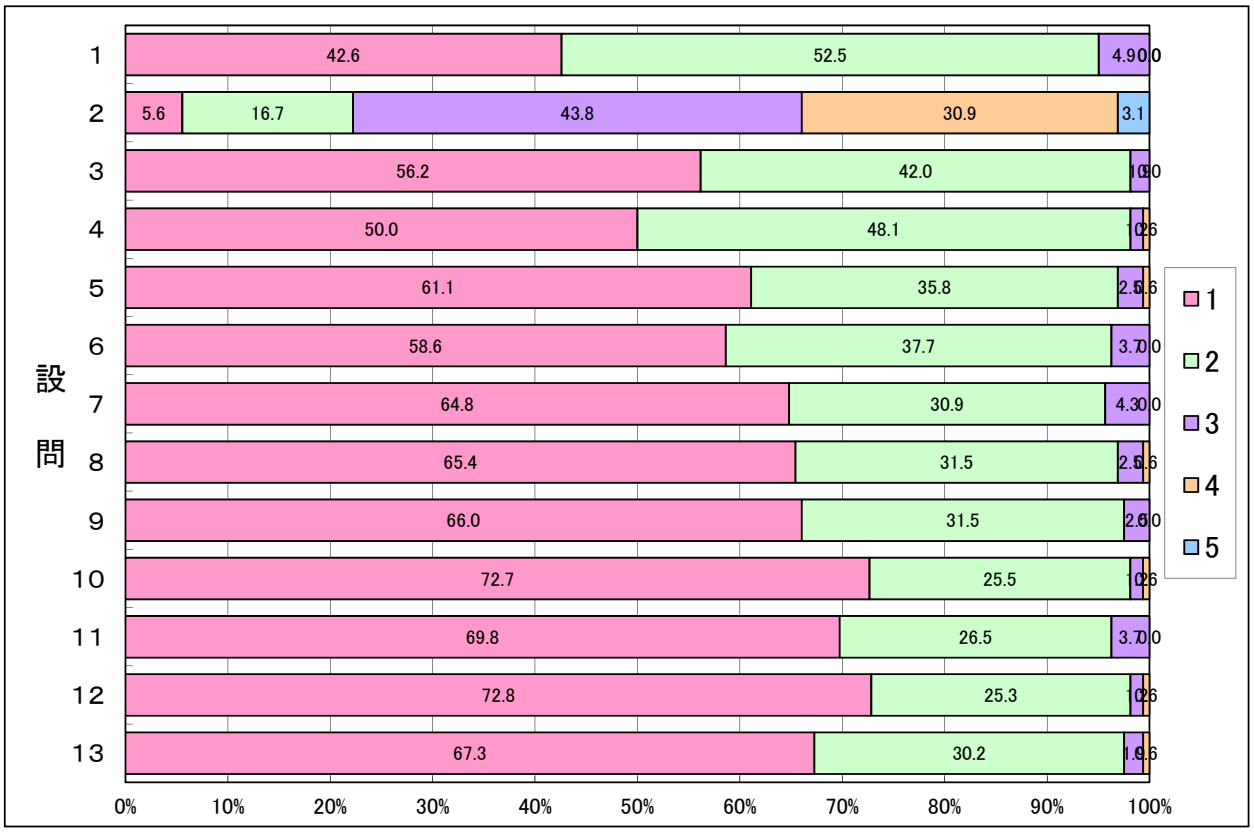
授業評価アンケート集計結果

国際関係専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	69	85	8	0	0	162

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	27	71	50	5	162

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	91	68	3	0	162
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	81	78	2	1	162
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	99	58	4	1	162
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	95	61	6	0	162
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	105	50	7	0	162
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	106	51	4	1	162
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	107	51	4	0	162
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	117	41	2	1	161
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	113	43	6	0	162
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	118	41	2	1	162
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	109	49	3	1	162



2016年度後期　演習科目

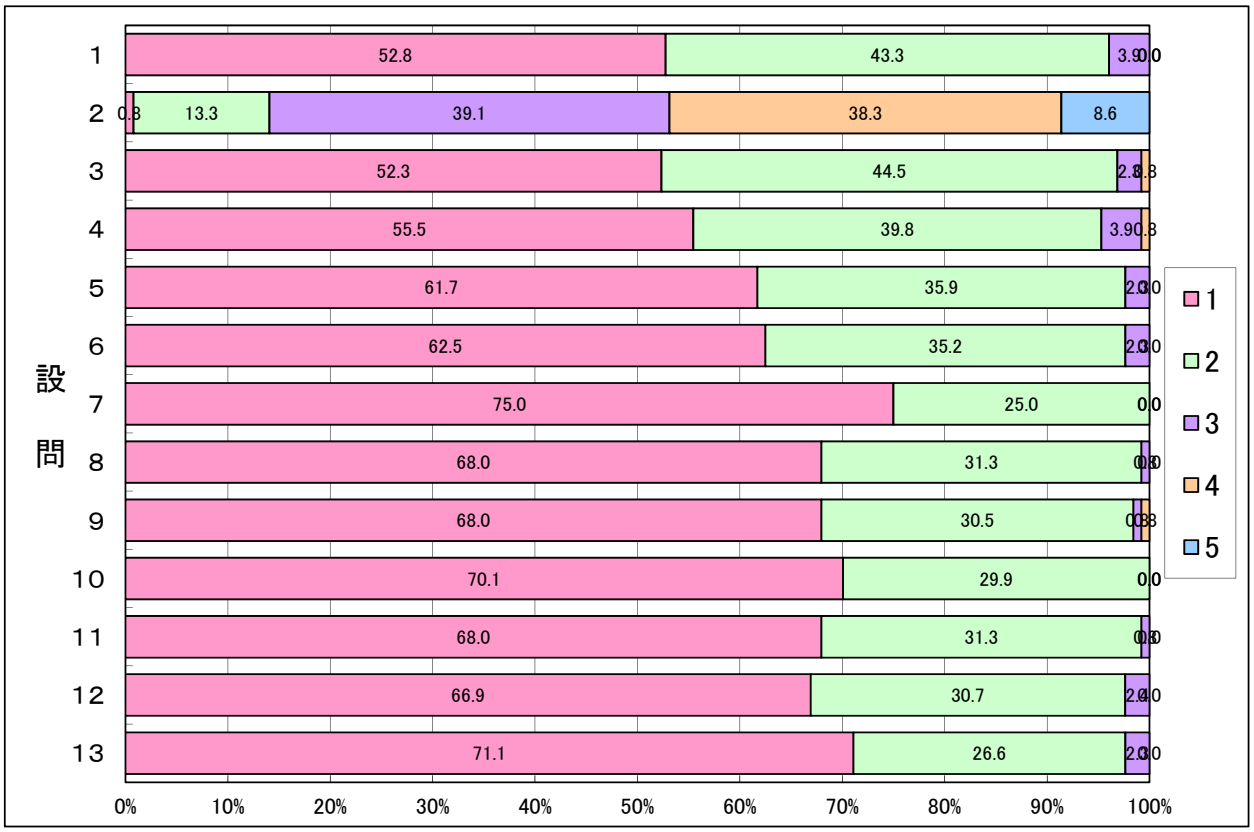
授業評価アンケート集計結果

経済学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	67	55	5	0	0	127

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	17	50	49	11	128

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	67	57	3	1	128
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	71	51	5	1	128
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	79	46	3	0	128
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	80	45	3	0	128
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	96	32	0	0	128
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	87	40	1	0	128
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	87	39	1	1	128
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	89	38	0	0	127
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	87	40	1	0	128
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	85	39	3	0	127
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	91	34	3	0	128



2016年度後期　演習科目

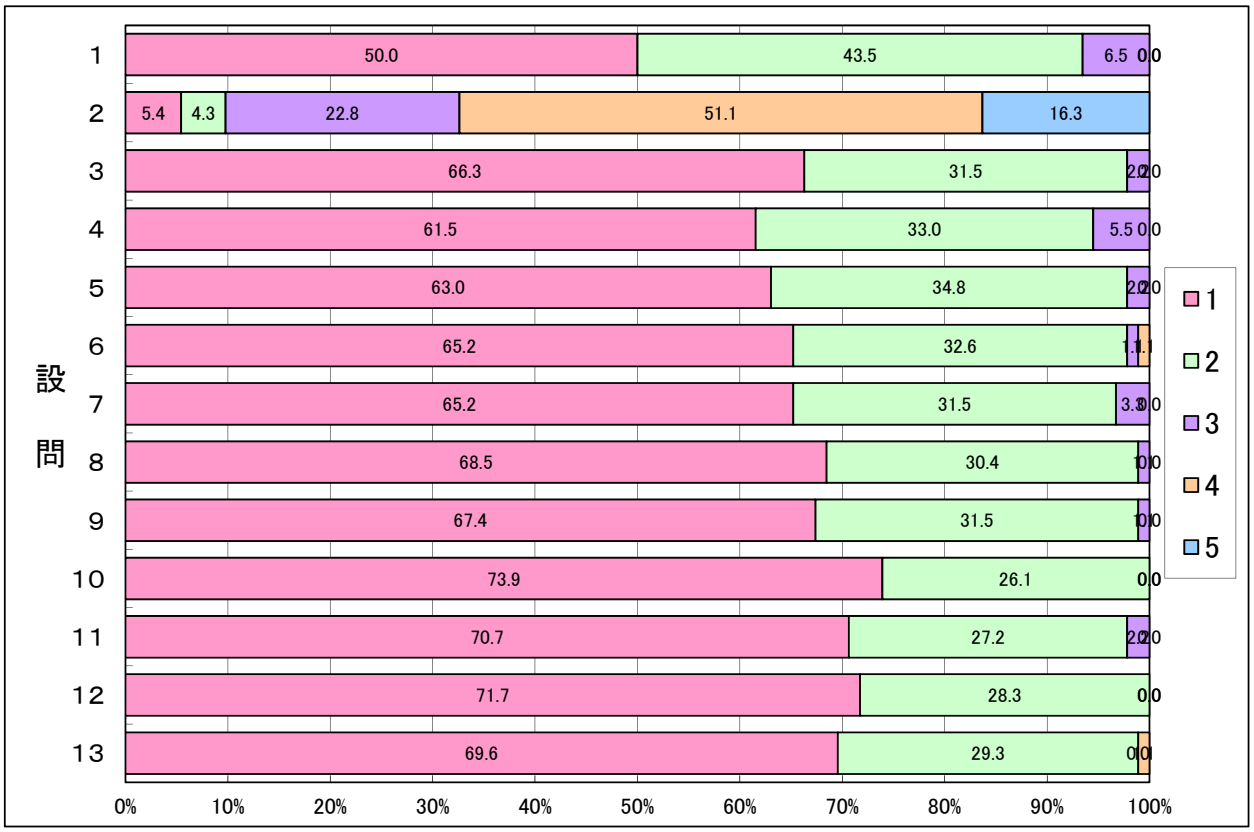
授業評価アンケート集計結果

社会学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	46	40	6	0	0	92

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	4	21	47	15	92

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	61	29	2	0	92
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	56	30	5	0	91
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	58	32	2	0	92
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	60	30	1	1	92
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	60	29	3	0	92
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	63	28	1	0	92
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	62	29	1	0	92
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	68	24	0	0	92
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	65	25	2	0	92
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	66	26	0	0	92
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	64	27	0	1	92



2016年度後期　演習科目

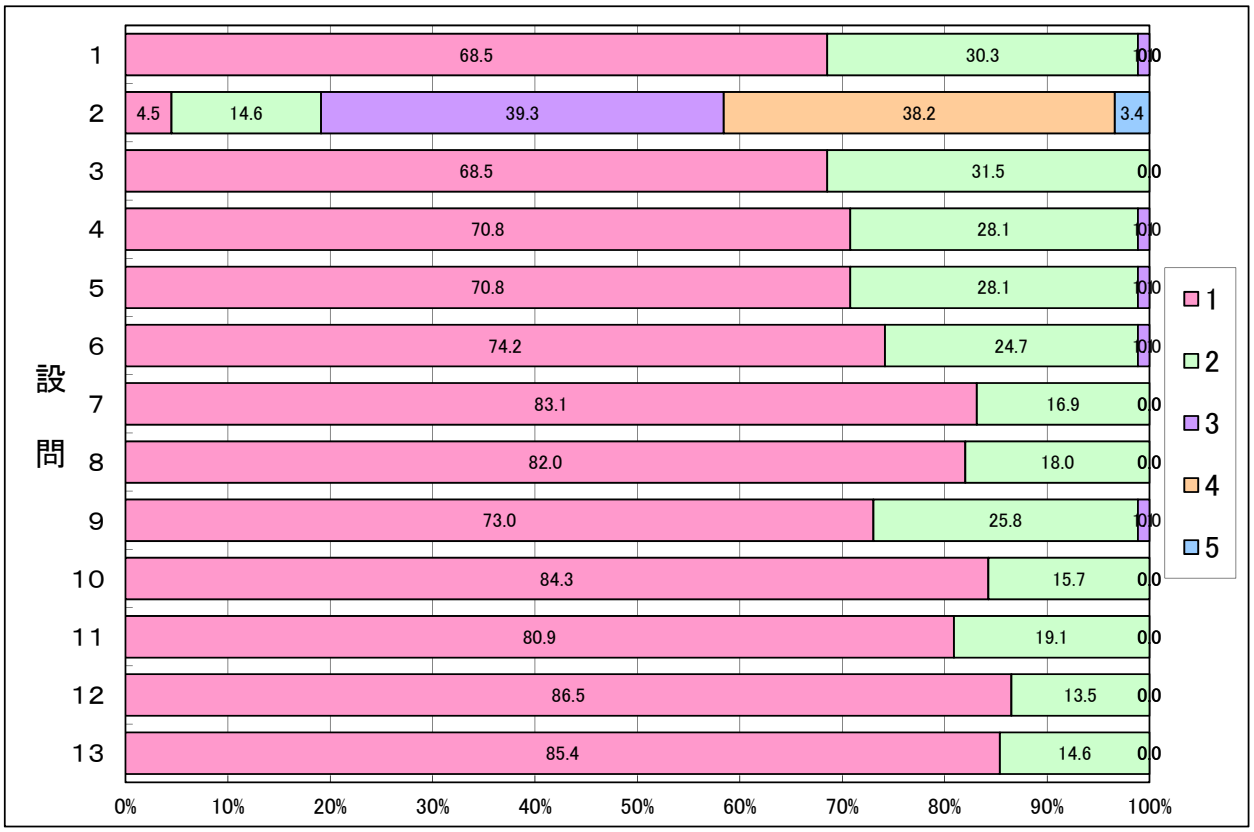
授業評価アンケート集計結果

心理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	61	27	1	0	0	89

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	13	35	34	3	89

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	61	28	0	0	89
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	63	25	1	0	89
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	63	25	1	0	89
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	66	22	1	0	89
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	74	15	0	0	89
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	73	16	0	0	89
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	65	23	1	0	89
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	75	14	0	0	89
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	72	17	0	0	89
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	77	12	0	0	89
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	76	13	0	0	89



2016年度後期　演習科目

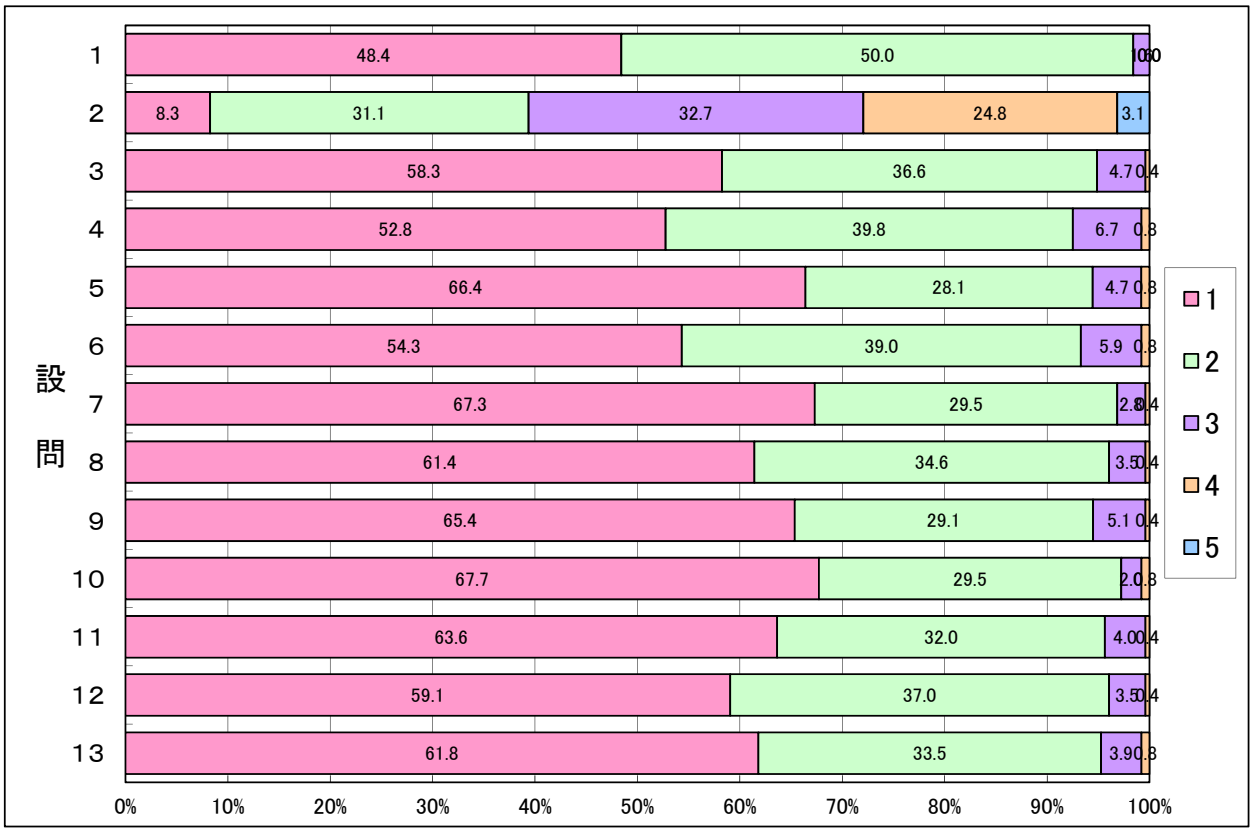
授業評価アンケート集計結果

コミュニケーション専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	123	127	4	0	0	254

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	21	79	83	63	8	254

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	148	93	12	1	254
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	134	101	17	2	254
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	168	71	12	2	253
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	138	99	15	2	254
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	171	75	7	1	254
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	156	88	9	1	254
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	166	74	13	1	254
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	172	75	5	2	254
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	161	81	10	1	253
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	150	94	9	1	254
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	157	85	10	2	254



2016年度後期　演習科目

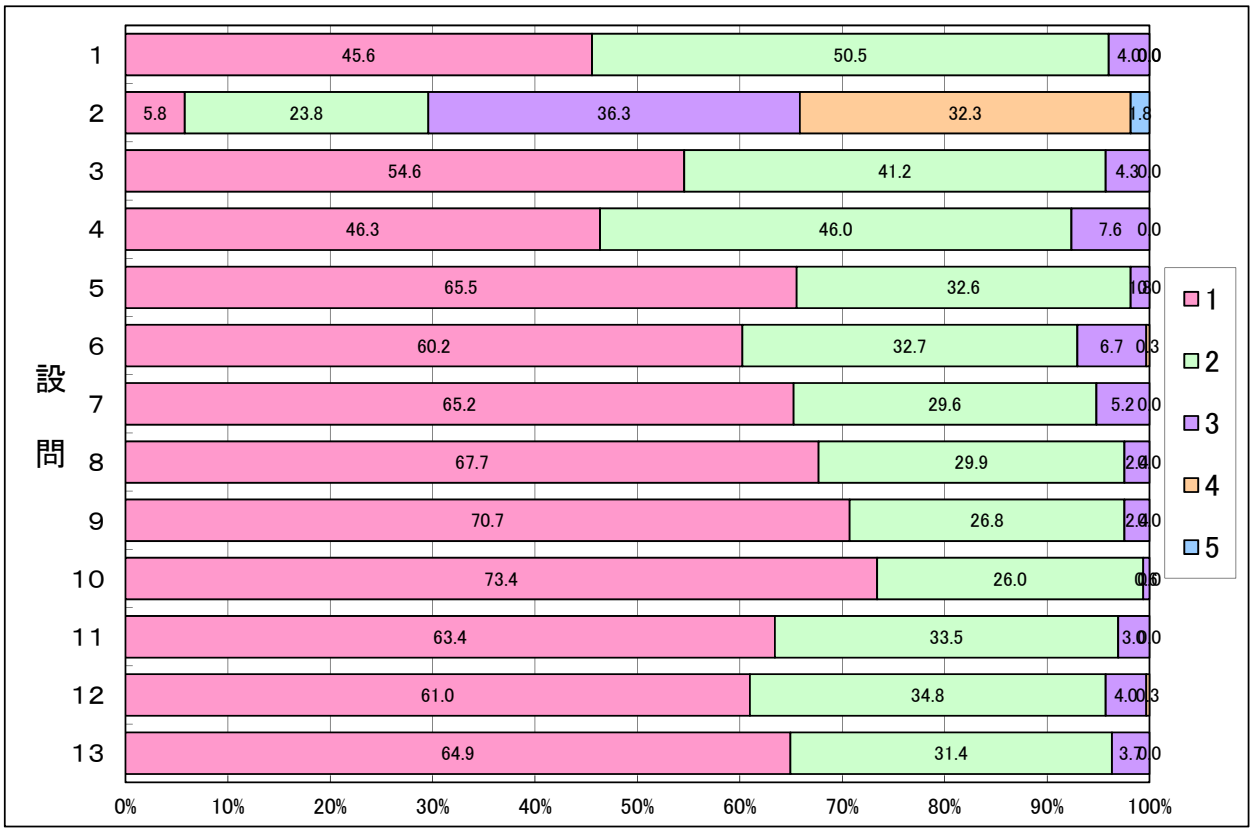
授業評価アンケート集計結果

言語科学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	149	165	13	0	0	327

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	19	78	119	106	6	328

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	179	135	14	0	328
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	152	151	25	0	328
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	215	107	6	0	328
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	197	107	22	1	327
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	214	97	17	0	328
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	222	98	8	0	328
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	232	88	8	0	328
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	240	85	2	0	327
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	208	110	10	0	328
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	200	114	13	1	328
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	213	103	12	0	328



2016年度後期　演習科目

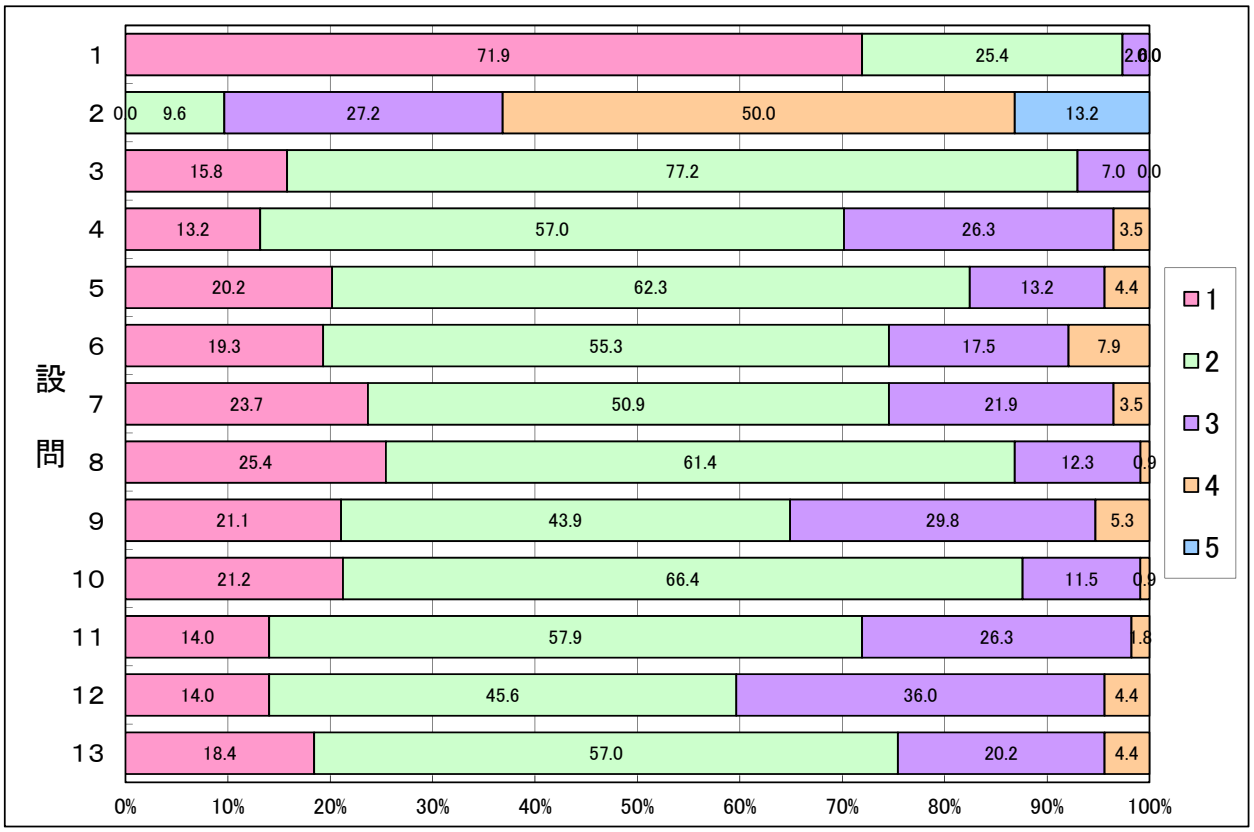
授業評価アンケート集計結果

数理科学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	82	29	3	0	0	114

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	11	31	57	15	114

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	18	88	8	0	114
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	15	65	30	4	114
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	23	71	15	5	114
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	22	63	20	9	114
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	27	58	25	4	114
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	29	70	14	1	114
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	24	50	34	6	114
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	24	75	13	1	113
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	16	66	30	2	114
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	16	52	41	5	114
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	21	65	23	5	114



2016年度後期　女性学･ジェンダー関係科目

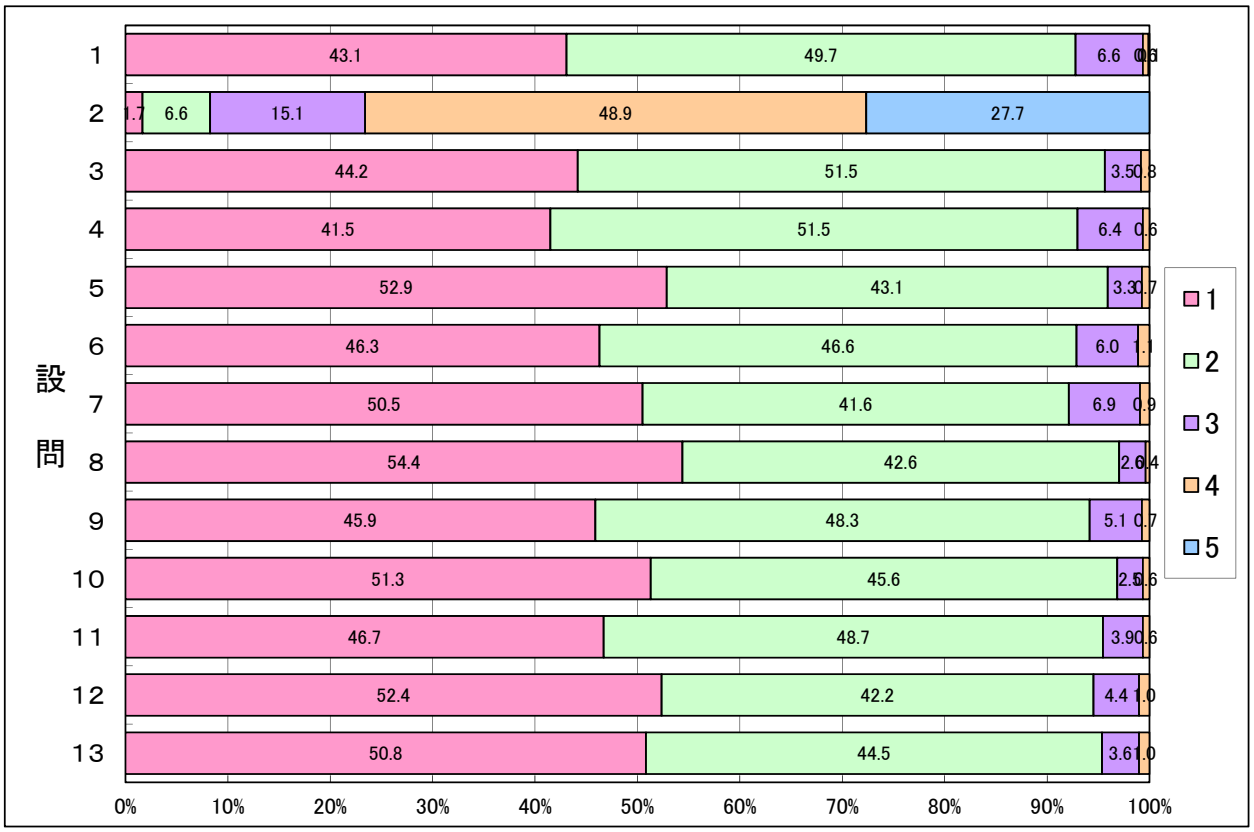
授業評価アンケート集計結果

現代教養学部

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	466	538	71	6	1	1,082

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	18	71	163	527	298	1,077

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	478	557	38	9	1,082
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	449	557	69	7	1,082
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	572	466	36	8	1,082
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	501	504	65	12	1,082
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	546	450	75	10	1,081
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	588	461	28	4	1,081
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	496	522	55	8	1,081
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	554	492	27	7	1,080
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	504	526	42	7	1,079
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	566	456	48	11	1,081
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	549	481	39	11	1,080



2016年度後期　科目集計

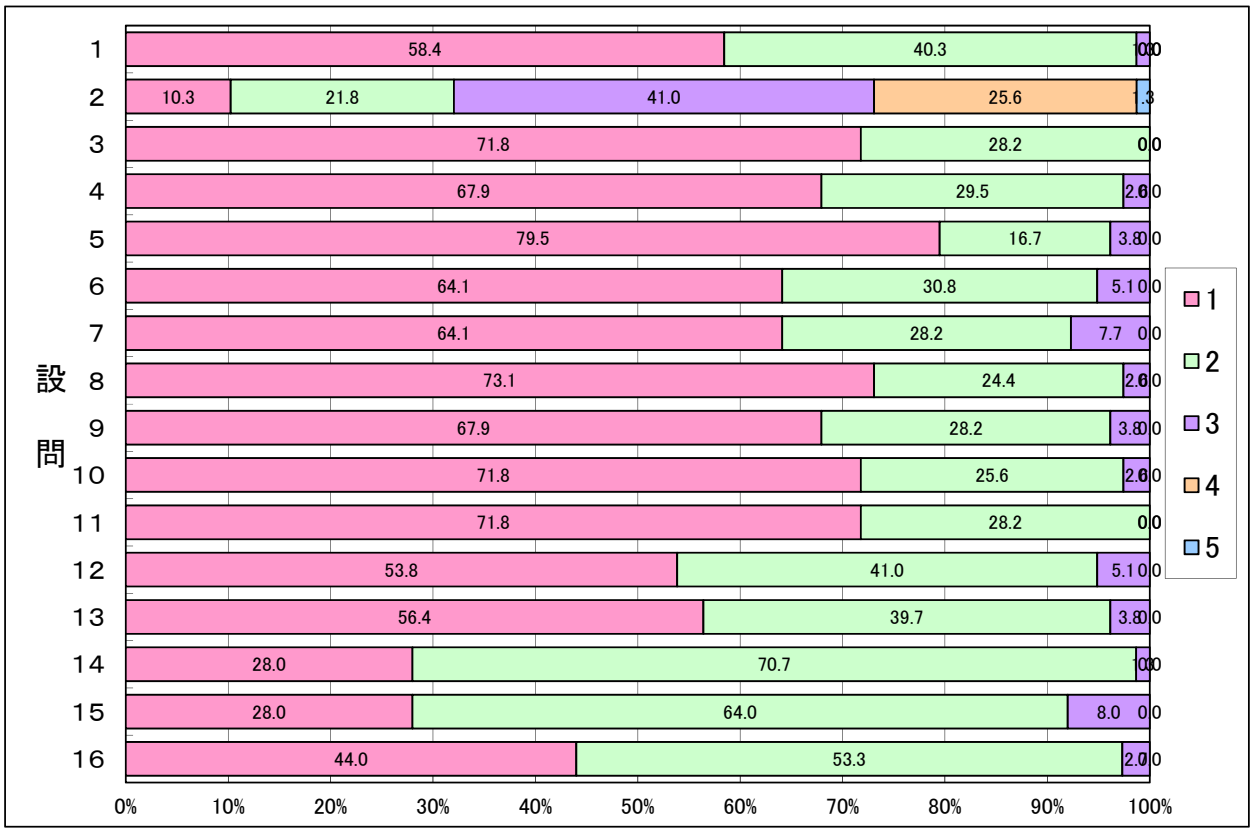
授業評価アンケート集計結果

日本語表現法Ⅰ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	45	31	1	0	0	77

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	8	17	32	20	1	78

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	56	22	0	0	78
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	53	23	2	0	78
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	62	13	3	0	78
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	50	24	4	0	78
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	50	22	6	0	78
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	57	19	2	0	78
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	53	22	3	0	78
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	56	20	2	0	78
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	56	22	0	0	78
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	42	32	4	0	78
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	44	31	3	0	78
設問14	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	21	53	1	0	75
設問15	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	21	48	6	0	75
設問16	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	33	40	2	0	75



2016年度後期　履修者数別（日本語表現法Ｉを除く）

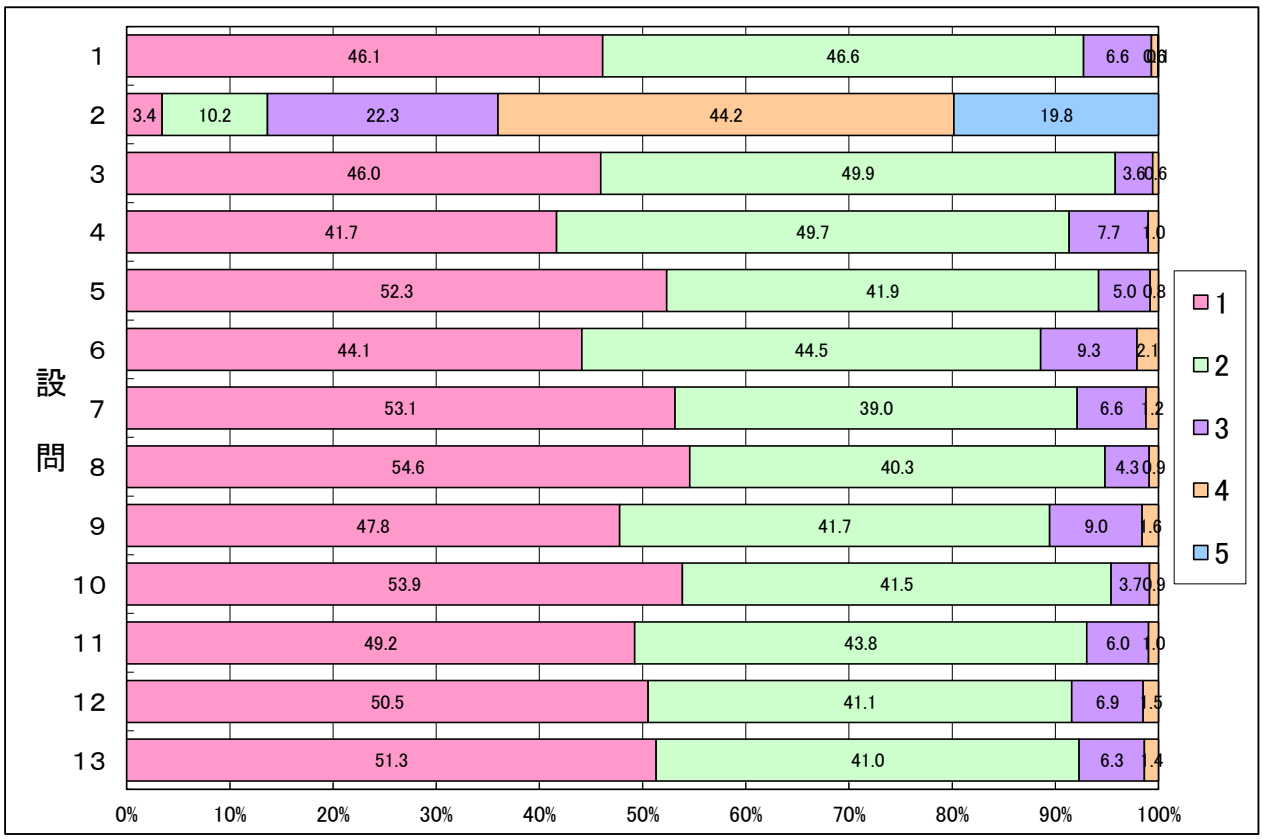
授業評価アンケート集計結果

100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	3,962	4,001	566	52	7	8,588

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	294	876	1,913	3,785	1,698	8,566

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	3,952	4,288	312	48	8,600
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	3,581	4,269	661	85	8,596
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	4,498	3,597	428	70	8,593
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	3,794	3,822	803	179	8,598
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	4,567	3,349	571	106	8,593
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	4,690	3,461	369	77	8,597
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	4,106	3,582	770	136	8,594
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	4,624	3,567	319	75	8,585
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	4,224	3,758	513	83	8,578
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	4,340	3,526	594	128	8,588
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	4,408	3,522	543	118	8,591



2016年度後期　履修者数別（日本語表現法Ｉを除く）

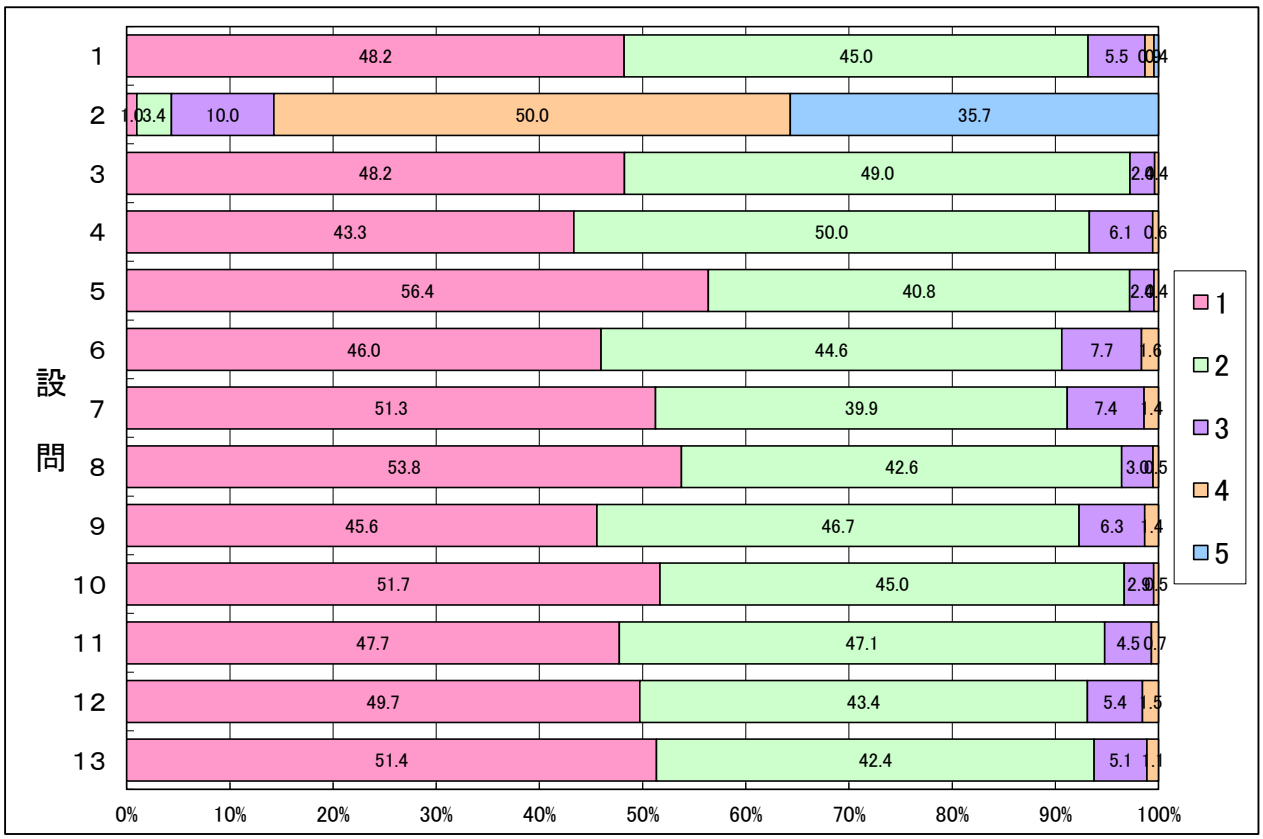
授業評価アンケート集計結果

101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	996	929	114	18	9	2,066

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	20	69	205	1,030	735	2,059

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	998	1,014	49	8	2,069
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	896	1,033	127	12	2,068
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,165	844	49	9	2,067
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	951	923	160	34	2,068
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,060	825	154	29	2,068
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,111	881	63	11	2,066
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	942	966	131	28	2,067
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,069	930	59	10	2,068
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	987	973	94	14	2,068
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	1,029	897	111	32	2,069
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,061	876	106	23	2,066



2016年度後期　履修者数別（日本語表現法Ｉを除く）

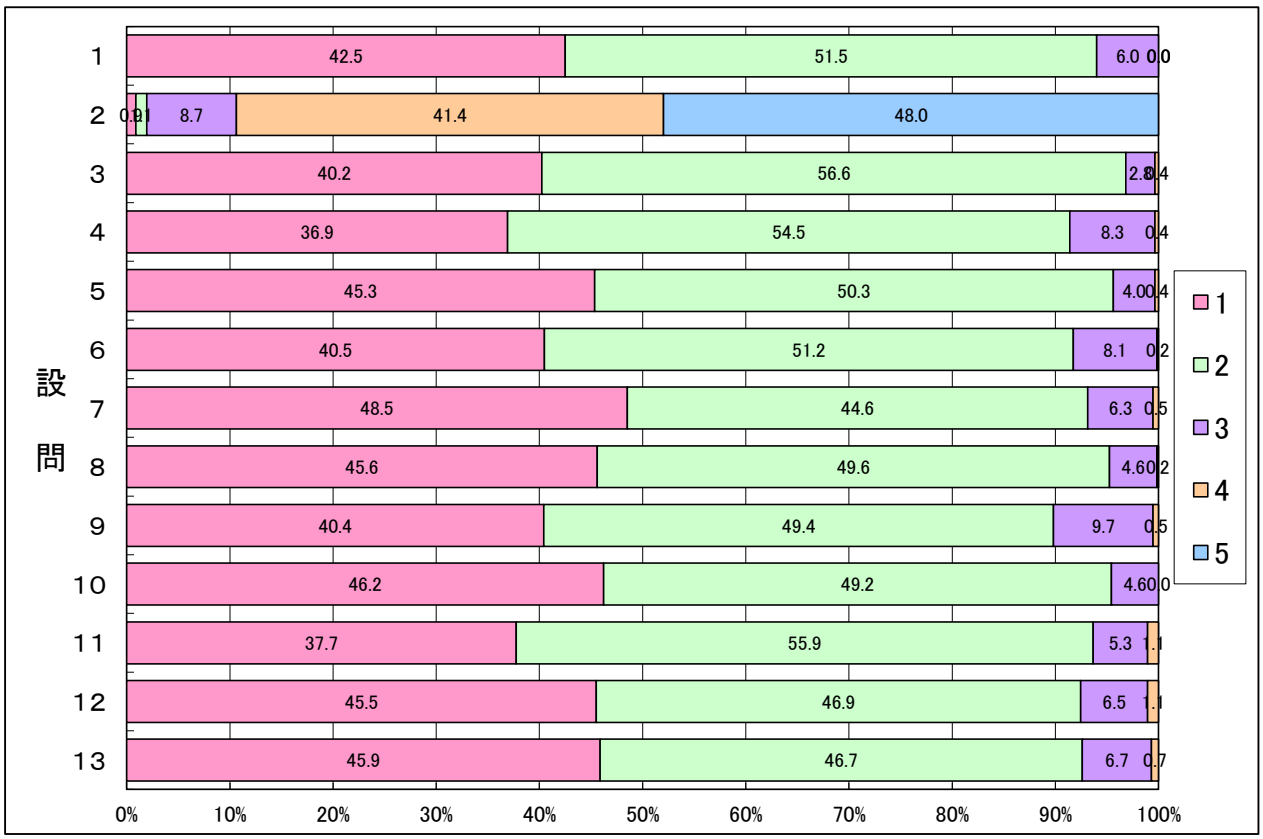
授業評価アンケート集計結果

201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	241	292	34	0	0	567

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	6	49	234	271	565

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	229	322	16	2	569
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	210	310	47	2	569
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	258	286	23	2	569
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	230	291	46	1	568
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	276	254	36	3	569
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	259	282	26	1	568
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	230	281	55	3	569
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	263	280	26	0	569
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	214	317	30	6	567
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	259	267	37	6	569
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	261	266	38	4	569

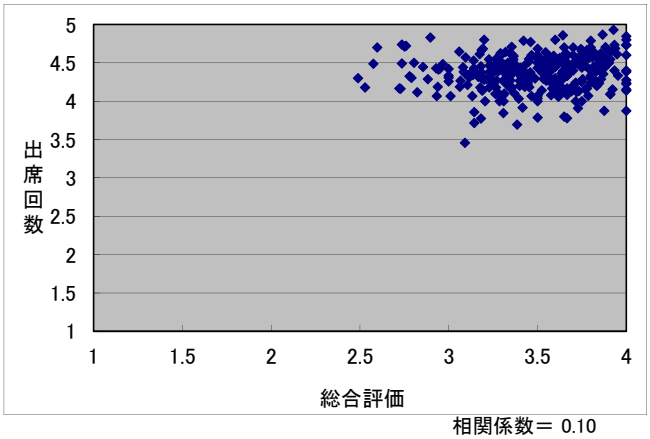


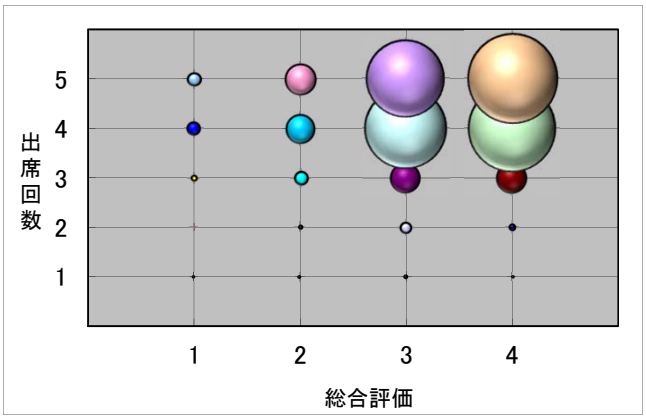
授業評価アンケート集計結果

2016年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

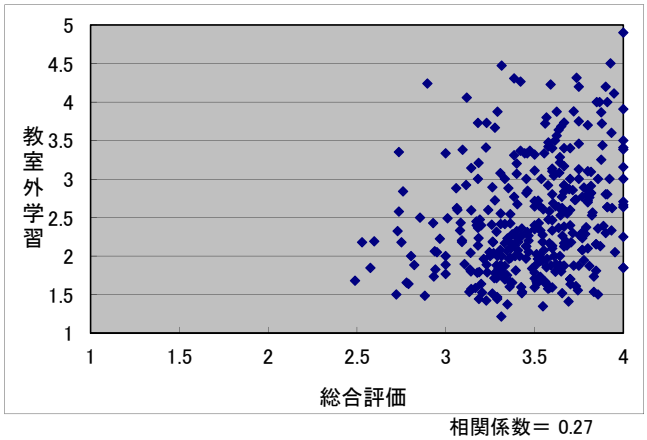
総合評価と出席回数（設問1）の関係

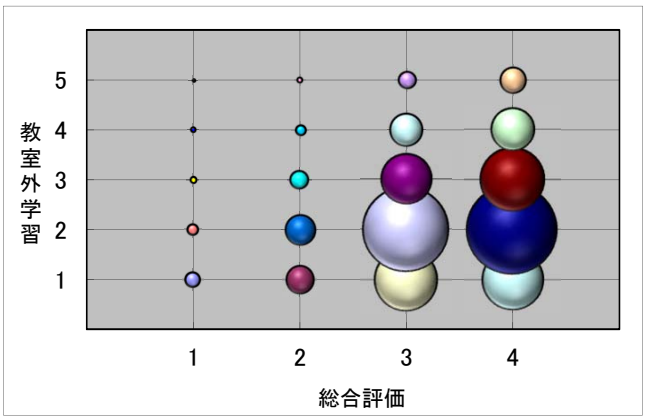




相関係数＝ 0.10

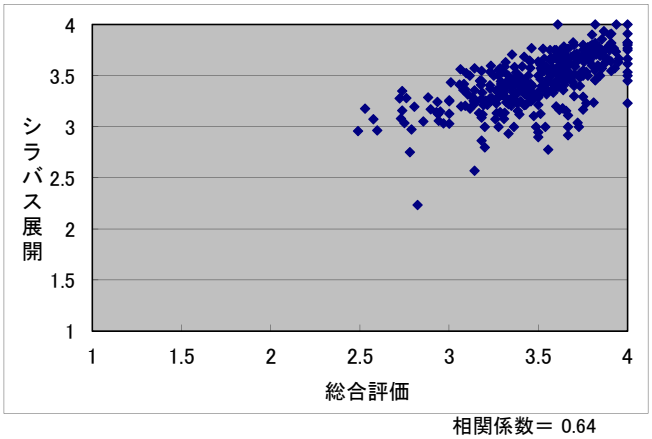
総合評価と教室外学習（設問2）の関係

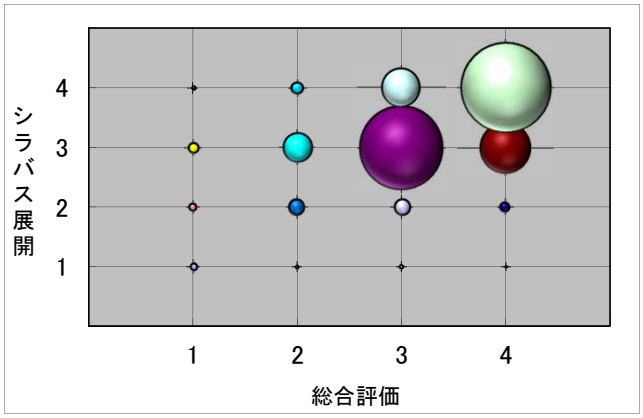




相関係数＝ 0.27

総合評価とシラバス展開（設問3）の関係





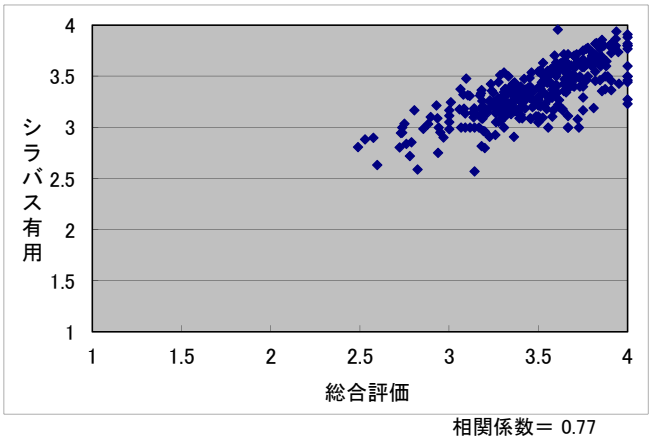
相関係数＝ 0.64

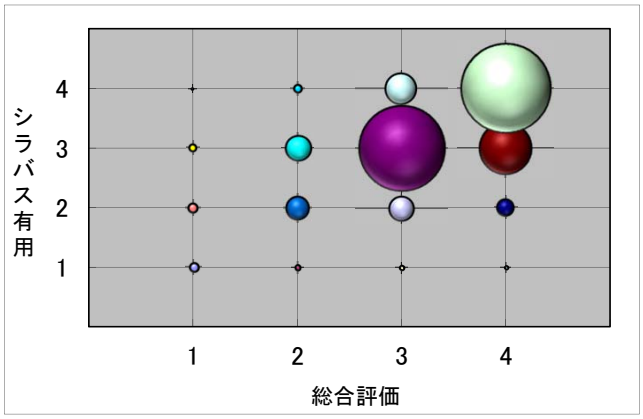
授業評価アンケート集計結果

2016年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

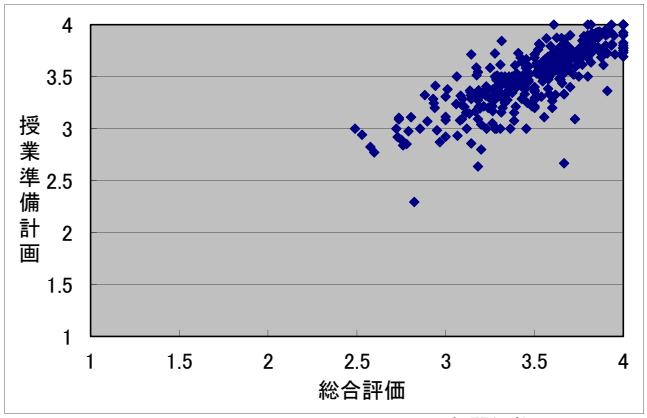
総合評価とシラバス有用（設問4）の関係

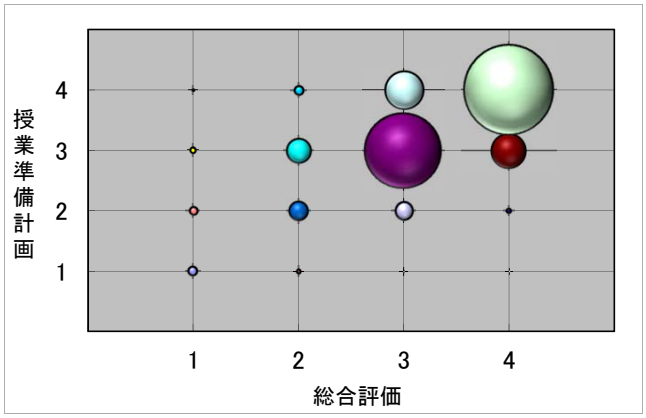




相関係数＝ 0.77

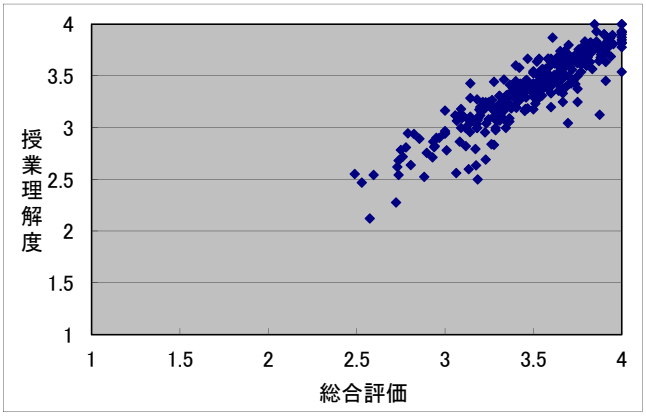
総合評価と授業準備計画（設問5）の関係

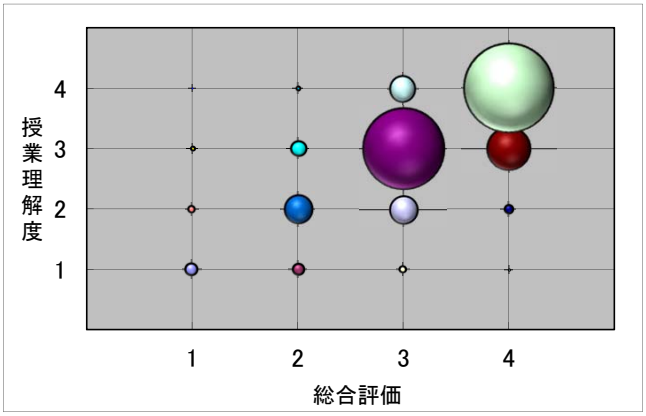




相関係数＝ 0.80

総合評価と授業理解度（設問6）の関係





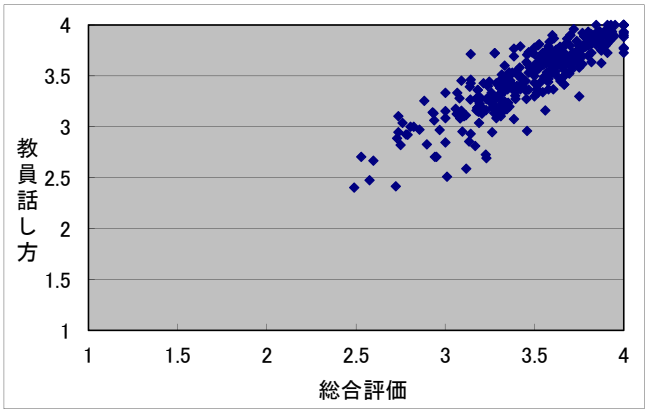
相関係数＝ 0.91

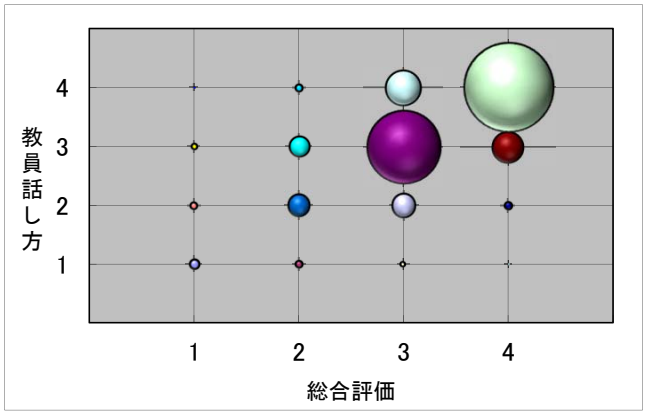
授業評価アンケート集計結果

2016年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

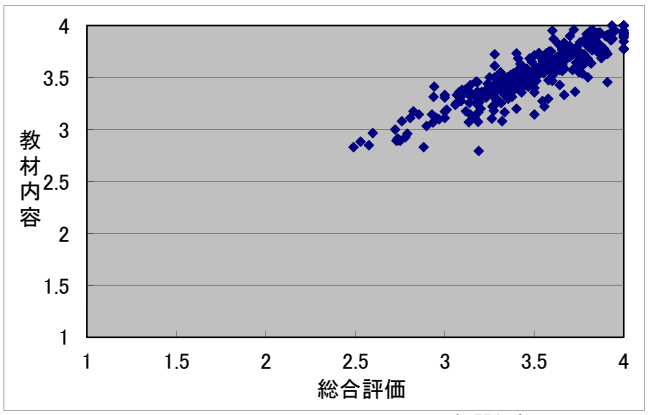
総合評価と教員話し方（設問7）の関係

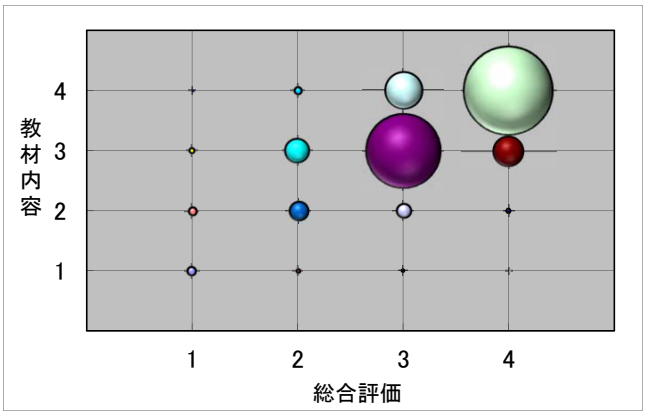




相関係数＝ 0.88

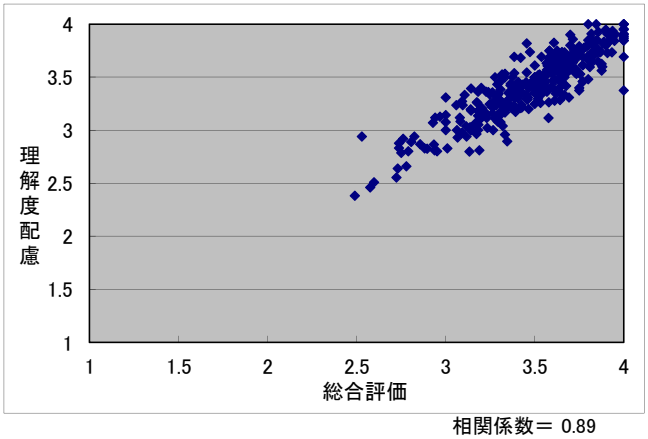
総合評価と教材内容（設問8）の関係

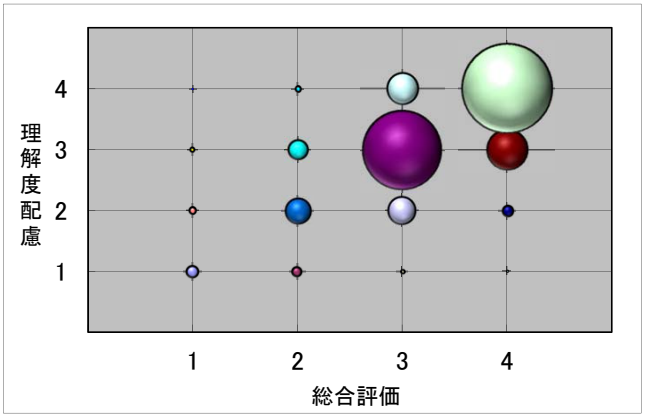




相関係数＝ 0.89

総合評価と理解度配慮（設問9）の関係





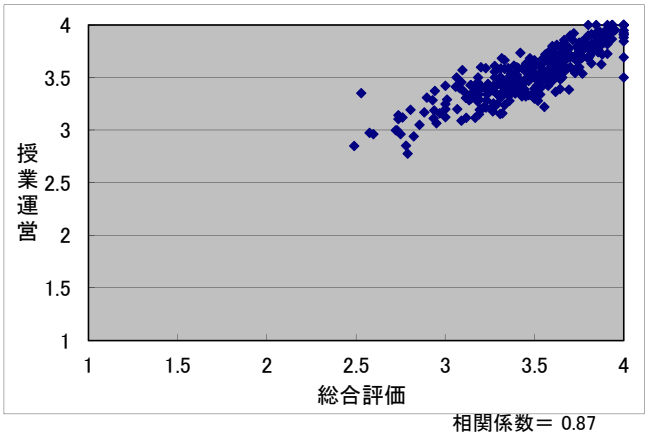
相関係数＝ 0.89

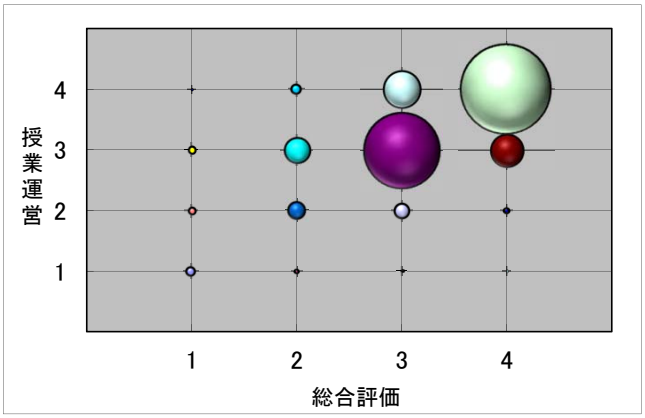
授業評価アンケート集計結果

2016年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

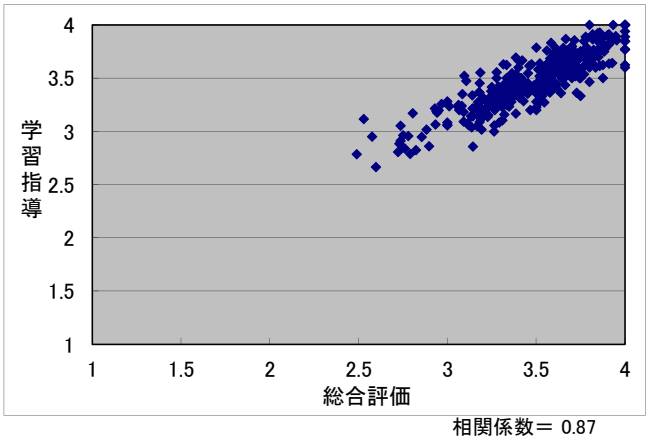
総合評価と授業運営（設問10）の関係

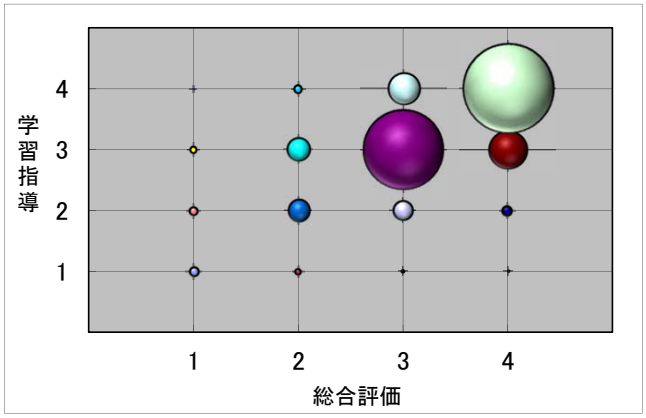




相関係数＝ 0.87

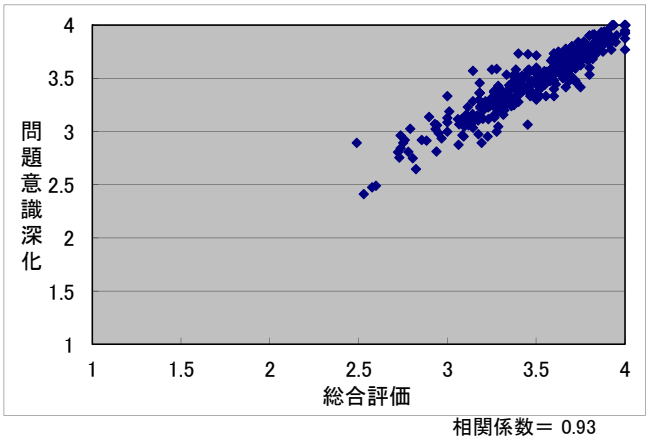
総合評価と学習指導（設問11）の関係

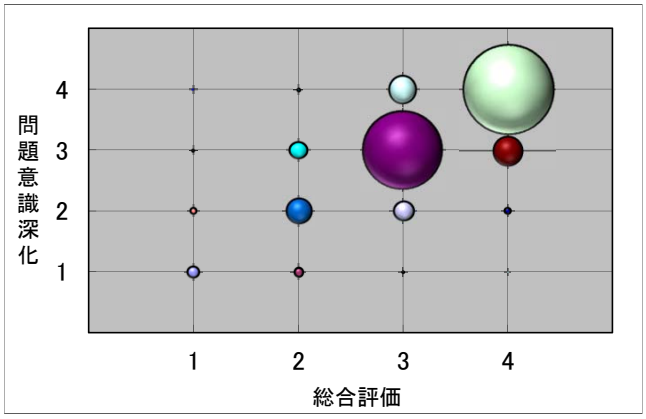




相関係数＝ 0.87

総合評価と問題意識深化（設問12）の関係





相関係数＝ 0.93

２０１７年度前期

「学生による授業評価」アンケート集計結果

学科科目

2018年1月

東京女子大学ＦＤ委員会

2017 年度前期「学生による授業評価」アンケート実施結果概要

今回のアンケートも、先生方及び履修者の協力を得て、下記の通り多くの対象科目で実施することができました。

個別の授業別集計結果については、2017 年 9 月下旬に担当教員にお渡ししています。

学部全体集計、学科・専攻別集計等については、次頁以降に掲載します。

記

実施機関：　東京女子大学ＦＤ委員会

目　　的：　受講者の意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における学科科目等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的とする。

実施期間：　2017 年 7 月 3 日（月）～7 月 21 日（金）　※各授業、期間中に 1 回実施

実施対象：　学科科目

対象科目：　417 科目

＊現代教養学部 2014 課程（2014 年度以降入学者に適用）が、現代教養学部 2009 課程（2013 年度以前入学者に適用）と共通開講の場合は、現代教養学部 2014 課程の授業として実施・集計した。

実施科目：　396 科目

実 施 率：　95.0%

開　　示：　専任教職員・本学学生には本学公式 Web サイト上でインターネット開示するとともに、学内の次の場所で紙媒体で開示します。非常勤講師には紙媒体で開示します。

本学公式 Web サイト

教職員（専任教職員のみ）　http://office.twcu.ac.jp/univ/about/gp/fd/

学　生　http://office.twcu.ac.jp/univ/about/gp/fd/

紙媒体閲覧場所

教職員（非常勤講師を含む）

図書館、教育研究支援課、学科・専攻オフィス、全学共通教育センター、教職課程・学芸員課程、女性学研究所

学　生　図書館、教育研究支援課

SAMPLE

「学生による授業評価」アンケート

2017年度(前期)

このアンケートは、受講者の皆さんの意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における学科科目の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的として実施します。

回答は、無記名です。裏面の自由回答も含め、回答の内容は集計され、担当教員等が閲覧しますが、誰がどのように回答したかわかることは一切ありません。

成績評価に反映されることもありません。

アンケートの回収、封入は皆さんの中の協力者にお願いします。

全体集計、学科・専攻別集計等の集計結果は、来学期初めに本学公式ウェブサイト、図書館、教育研究支援課で閲覧することができます。

東京女子大学ＦＤ委員会

注意事項	・この用紙を折ったり、汚したりしないでください。 ・マークは直接機械にかけるため、選択肢の ⬭ 印を例のように塗りつぶしてください。 ・回答には必ずＨＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。 （例）　良いマーク ●　悪いマーク ●⊃　✓　○　●

A．学年　（1）1年　（2）2年　（3）3年　（4）4年　（5）院生　（6）それ以外	① ⑥	②	③	④	⑤
B．専攻　（1）哲　（2）日　（3）英　（4）史　（5）国 （6）経　（7）社　（8）心　（9）コミュ　（10）言 （11）数　（12）情	① ⑥ ⑪	② ⑦ ⑫	③ ⑧	④ ⑨	⑤ ⑩

	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
1）あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	①	②	③	④	⑤

	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
2）この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	①	②	③	④	⑤

	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
3）この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	①	②	③	④
4）この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	①	②	③	④
5）この授業は、よく準備･計画されていたと思いますか。	①	②	③	④
6）授業の内容は、よく理解できましたか。	①	②	③	④
7）教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	①	②	③	④
8）教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	①	②	③	④
9）教員は受講者の理解の程度を、点検･配慮していましたか。	①	②	③	④
10）教員は授業運営(質問の機会等)を適切かつ公正に行っていましたか。	①	②	③	④
11）教室外学習の指導(参考文献の提示、文献の調べ方など)は、適切でしたか。	①	②	③	④
12）授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	①	②	③	④
13）総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	①	②	③	④

●以下の問14～16は、この授業担当教員の個別の設問ですので、教員の指示に従って回答して下さい。

	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14）個別設問 1	①	②	③	④
15）個別設問 2	①	②	③	④
16）個別設問 3	①	②	③	④

（裏面に続く）

自由回答欄

この授業の良かった点、あるいは改善すべき点は何ですか。改善すべき点については、単なる批判でなく授業の改善につながるような建設的な意見を、簡潔に50字程度で書いて下さい。

ここに記入された自由回答は、誰が回答したかわからないよう集計され、この授業を担当した教員等が閲覧し、授業の改善に役立てられます。

2017年度前期　授業評価アンケート集計結果

§§　目次　§§

全体集計		1
学科･専攻別集計	人文学科	
	人文学科共通＊	2 －1
	哲学専攻	2 －2
	日本文学専攻	2 －3
	英語文学文化専攻	2 －4
	史学専攻	2 －5
	国際社会学科	
	国際関係専攻	2 －6
	経済学専攻	2 －7
	社会学専攻	2 －8
	人間科学科	
	心理学専攻	2 －9
	コミュニケーション専攻	2 －10
	言語科学専攻	2 －11
	数理科学科	
	数理科学科共通＊	2 －12
	数学専攻	2 －13
	情報理学専攻	2 －14
講義科目集計	現代教養学部	3 －1
	人文学科	
	哲学専攻	3 －2
	日本文学専攻	3 －3
	英語文学文化専攻	3 －4
	史学専攻	3 －5
	国際社会学科	
	国際関係専攻	3 －6
	経済学専攻	3 －7
	社会学専攻	3 －8
	人間科学科	
	心理学専攻	3 －9
	コミュニケーション専攻	3 －10
	言語科学専攻	3 －11
	数理科学科	
	数理科学科共通＊	3 －12
	数学専攻	3 －13
	情報理学専攻	3 －14
演習科目集計	現代教養学部	4 －1
	人文学科	
	人文学科共通＊	4 －2
	哲学専攻	4 －3
	日本文学専攻	4 －4
	英語文学文化専攻	4 －5
	史学専攻	4 －6
	国際社会学科	
	国際関係専攻	4 －7
	経済学専攻	4 －8
	社会学専攻	4 －9
	人間科学科	
	心理学専攻	4 －10
	コミュニケーション専攻	4 －11
	言語科学専攻	4 －12
	数理科学科	
	数理科学科共通＊	4 －13
女性学･ジェンダー関係科目集計	現代教養学部	5
履修者数別集計		
	100名以下	6 －1
	101名以上200名以下	6 －2
	201名以上300名以下	6 －3
散布図＋バブルチャート	設問13（総合評価）	7

＊学科共通科目（他学科との共有科目を除く）のみを対象とした集計
（例）2－1は、2－2から2－5の合計ではありません。

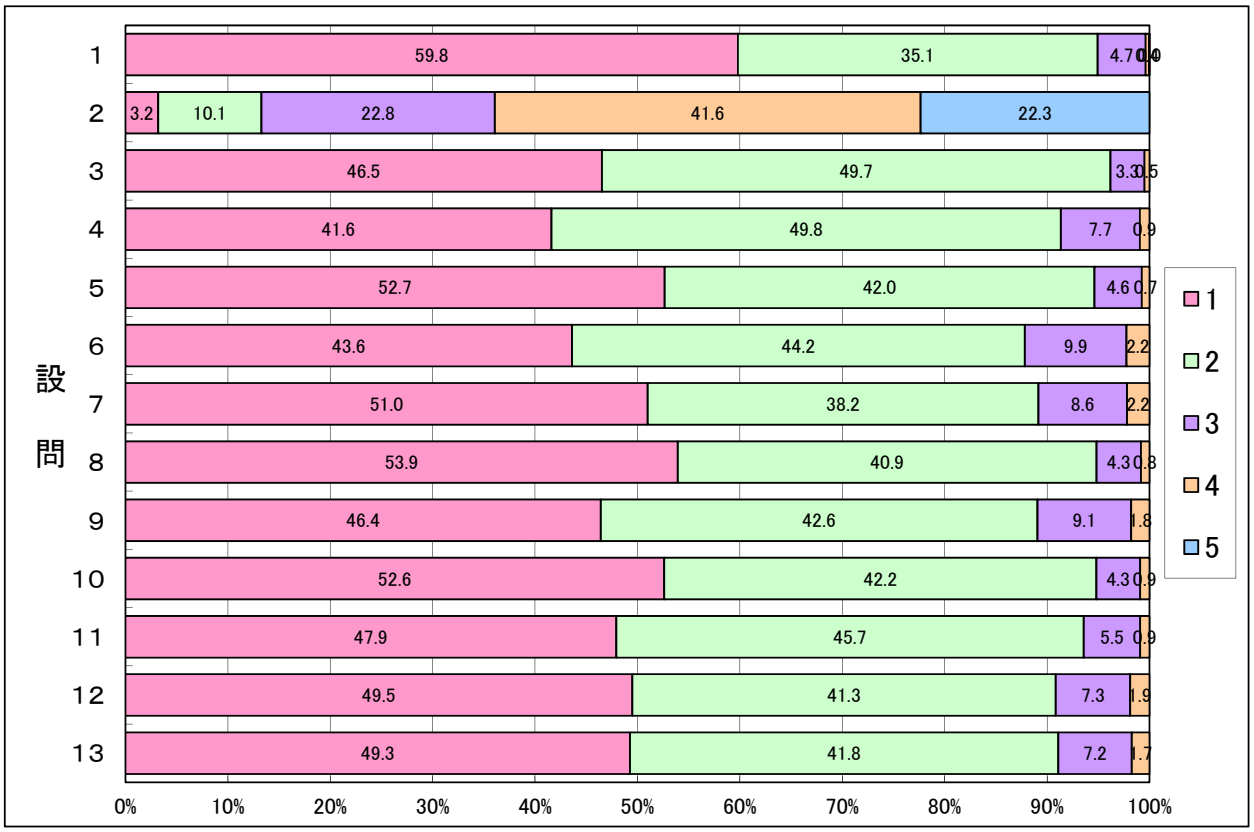
2017年度前期　全体集計

授業評価アンケート集計結果

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	8,584	5,044	673	51	2	14,354

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	458	1,443	3,257	5,949	3,196	14,303

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	6,684	7,137	476	69	14,366
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	5,974	7,144	1,107	134	14,359
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	7,559	6,025	662	107	14,353
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	6,260	6,348	1,426	321	14,355
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	7,319	5,474	1,241	314	14,348
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	7,745	5,871	623	119	14,358
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	6,662	6,121	1,313	256	14,352
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	7,550	6,055	613	130	14,348
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	6,872	6,545	790	129	14,336
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	7,108	5,936	1,043	270	14,357
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	7,066	5,999	1,030	246	14,341



2017年度前期　学科･専攻別

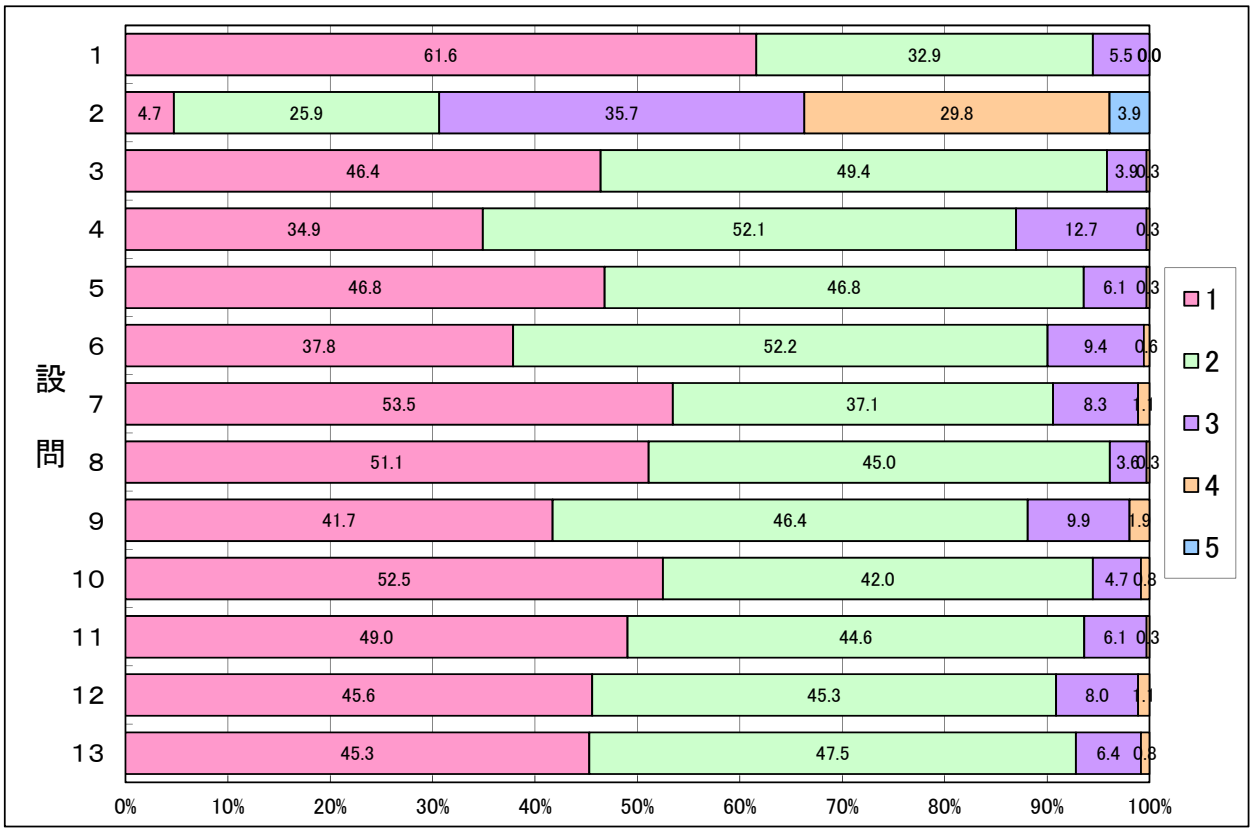
授業評価アンケート集計結果

人文学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	223	119	20	0	0	362

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	17	93	128	107	14	359

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	168	179	14	1	362
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	126	188	46	1	361
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	168	168	22	1	359
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	137	189	34	2	362
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	193	134	30	4	361
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	185	163	13	1	362
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	151	168	36	7	362
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	190	152	17	3	362
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	177	161	22	1	361
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	165	164	29	4	362
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	164	172	23	3	362



2017年度前期　学科･専攻別

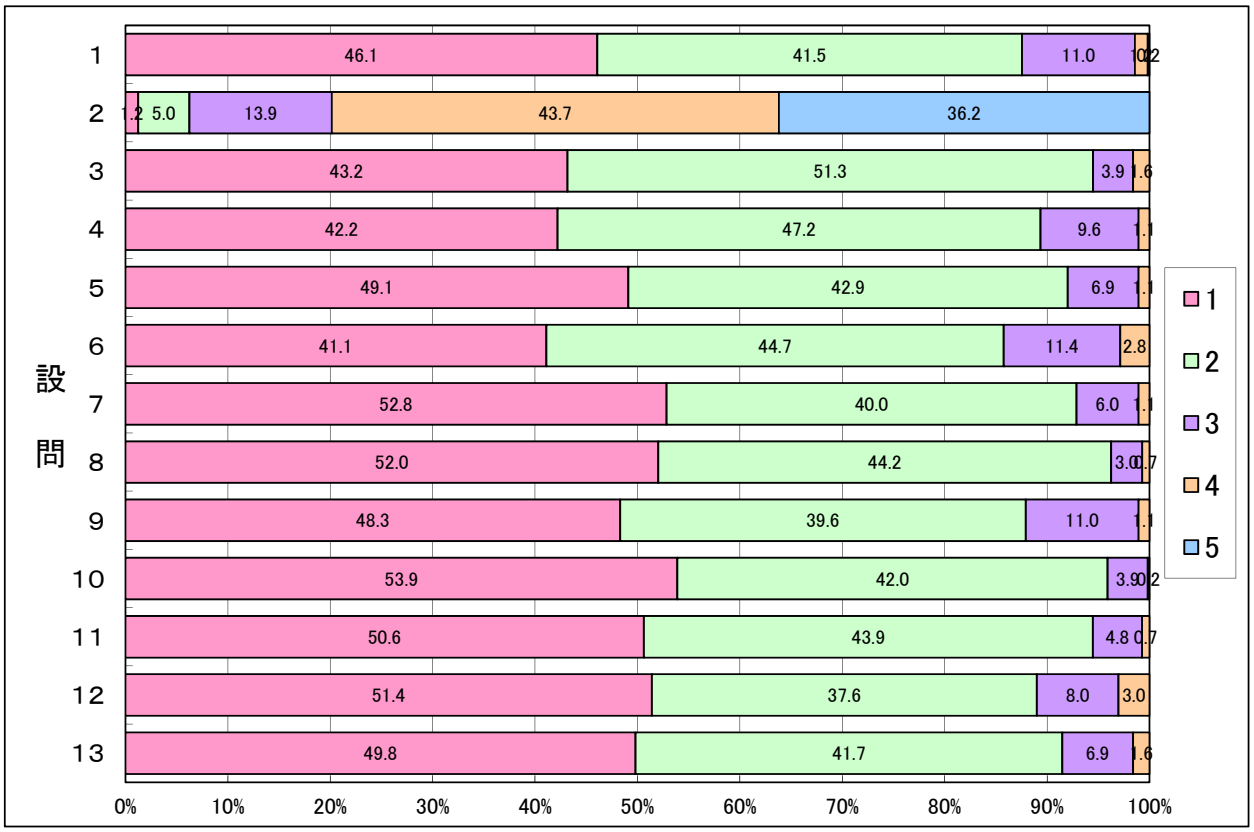
授業評価アンケート集計結果

哲学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	259	233	62	7	1	562

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	7	28	78	245	203	561

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	243	289	22	9	563
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	238	266	54	6	564
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	277	242	39	6	564
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	231	251	64	16	562
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	297	225	34	6	562
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	293	249	17	4	563
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	272	223	62	6	563
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	304	237	22	1	564
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	284	246	27	4	561
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	290	212	45	17	564
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	281	235	39	9	564



2017年度前期　学科･専攻別

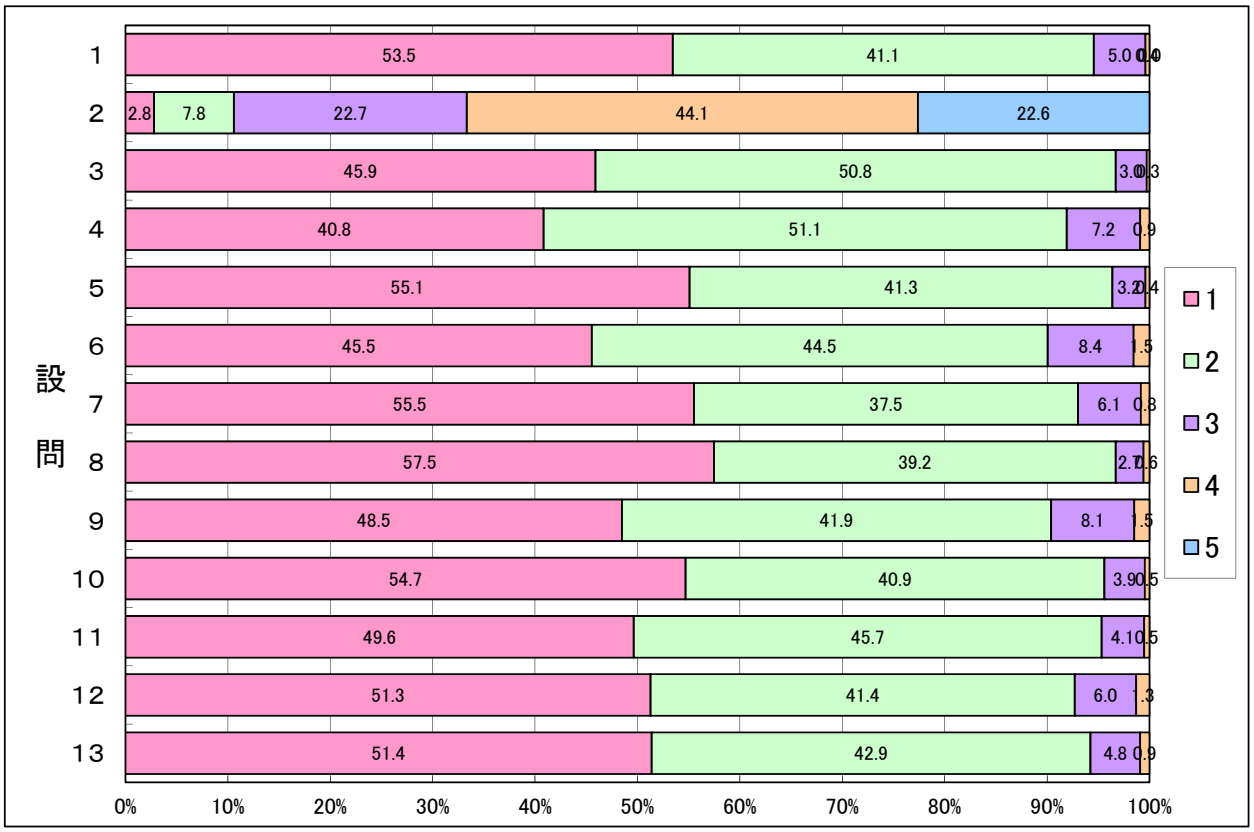
授業評価アンケート集計結果

日本文学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	827	636	78	6	0	1,547

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	43	120	350	678	348	1,539

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	712	788	47	4	1,551
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	633	792	111	14	1,550
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	854	640	50	6	1,550
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	706	690	130	24	1,550
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	860	581	95	13	1,549
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	891	608	42	9	1,550
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	752	650	126	23	1,551
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	848	634	61	7	1,550
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	768	707	64	8	1,547
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	795	642	93	20	1,550
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	795	663	75	14	1,547



2017年度前期　学科･専攻別

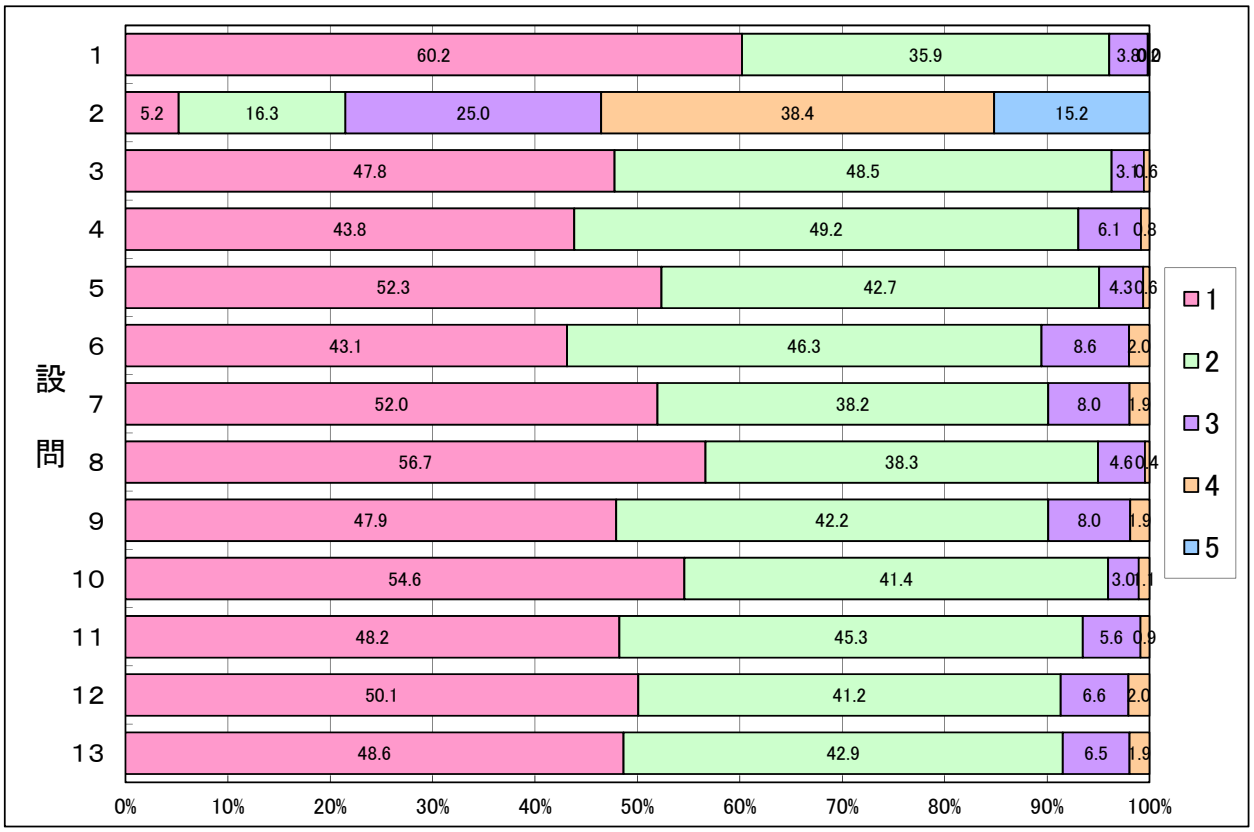
授業評価アンケート集計結果

英語文学文化専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1,091	650	68	3	0	1,812

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	94	294	451	693	274	1,806

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	866	880	57	10	1,813
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	795	893	111	15	1,814
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	948	774	78	11	1,811
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	781	839	155	36	1,811
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	941	691	144	35	1,811
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,026	694	83	8	1,811
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	868	764	145	34	1,811
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	987	748	54	19	1,808
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	874	820	102	16	1,812
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	907	747	120	37	1,811
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	880	776	118	35	1,809



2017年度前期　学科･専攻別

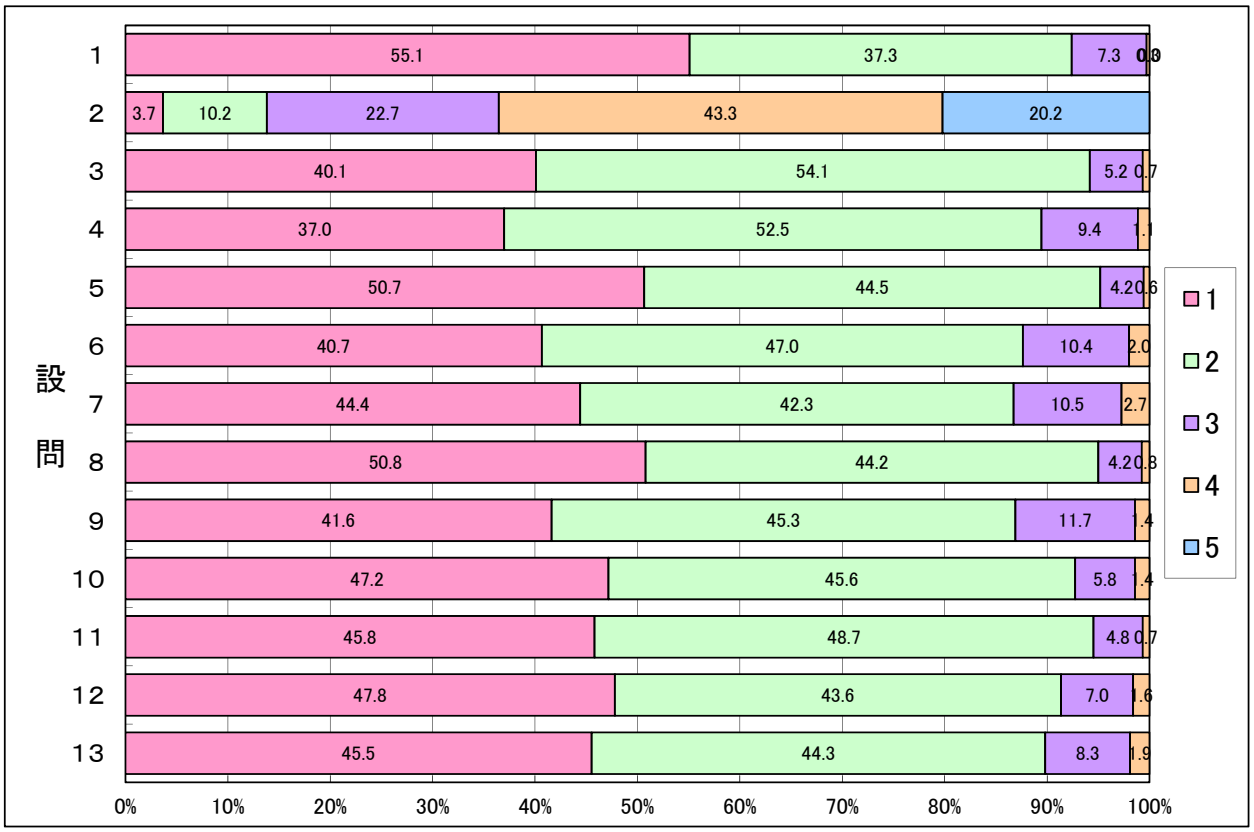
授業評価アンケート集計結果

史学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	588	398	78	3	0	1,067

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	39	108	241	461	215	1,064

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	427	576	55	7	1,065
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	393	558	100	12	1,063
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	538	473	45	6	1,062
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	431	498	110	21	1,060
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	472	450	112	29	1,063
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	539	469	45	8	1,061
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	442	481	124	15	1,062
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	501	484	62	15	1,062
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	487	518	51	7	1,063
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	509	464	75	17	1,065
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	483	470	88	20	1,061



2017年度前期　学科･専攻別

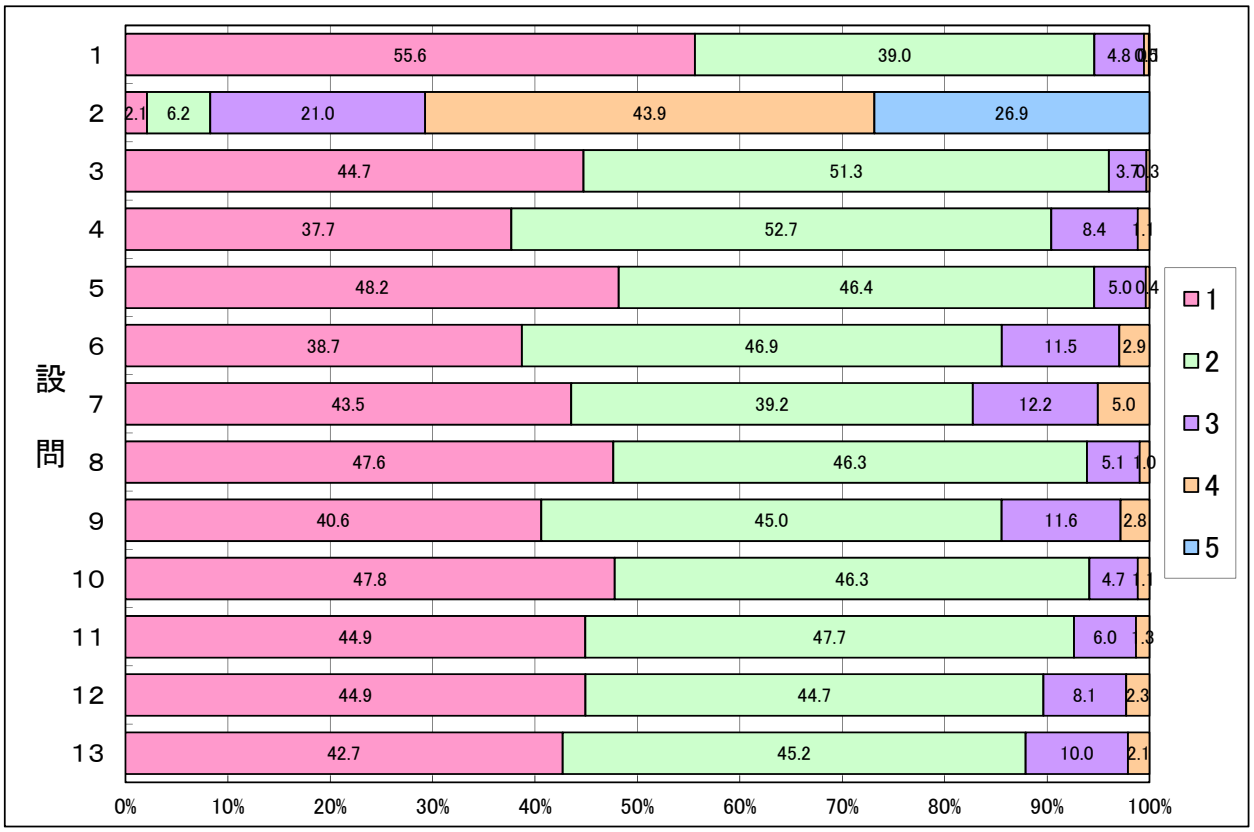
授業評価アンケート集計結果

国際関係専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	930	652	81	8	1	1,672

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	35	103	350	731	448	1,667

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	747	857	61	5	1,670
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	629	880	141	19	1,669
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	803	774	84	6	1,667
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	647	783	192	49	1,671
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	727	655	204	84	1,670
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	796	773	86	16	1,671
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	678	751	194	47	1,670
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	798	774	79	19	1,670
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	750	797	101	22	1,670
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	751	748	135	38	1,672
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	713	755	167	35	1,670



2017年度前期　学科･専攻別

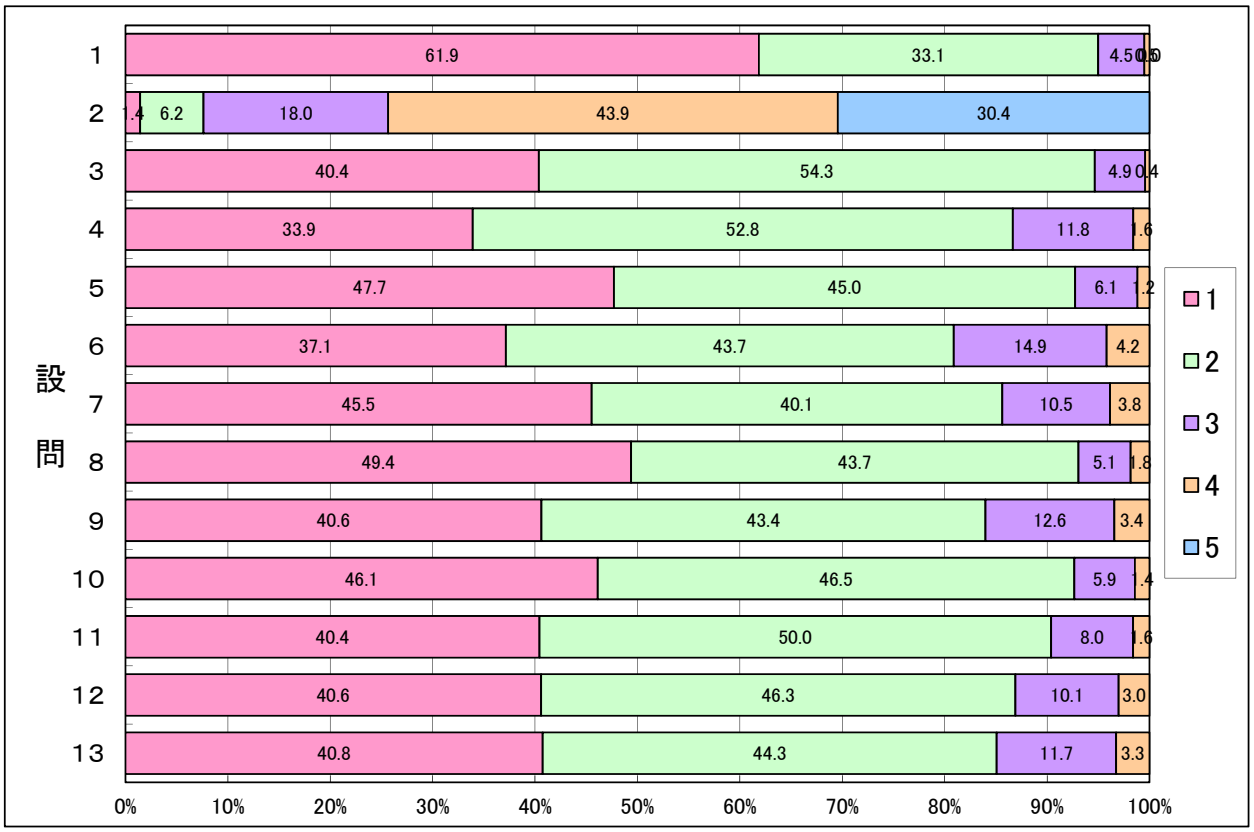
授業評価アンケート集計結果

経済学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	741	397	54	6	0	1,198

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	17	74	215	524	363	1,193

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	484	651	59	5	1,199
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	407	633	141	19	1,200
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	572	540	73	14	1,199
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	445	524	179	50	1,198
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	545	480	126	46	1,197
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	592	524	61	22	1,199
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	487	520	151	41	1,199
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	553	558	71	17	1,199
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	484	598	96	19	1,197
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	487	556	121	36	1,200
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	489	532	140	39	1,200



2017年度前期　学科･専攻別

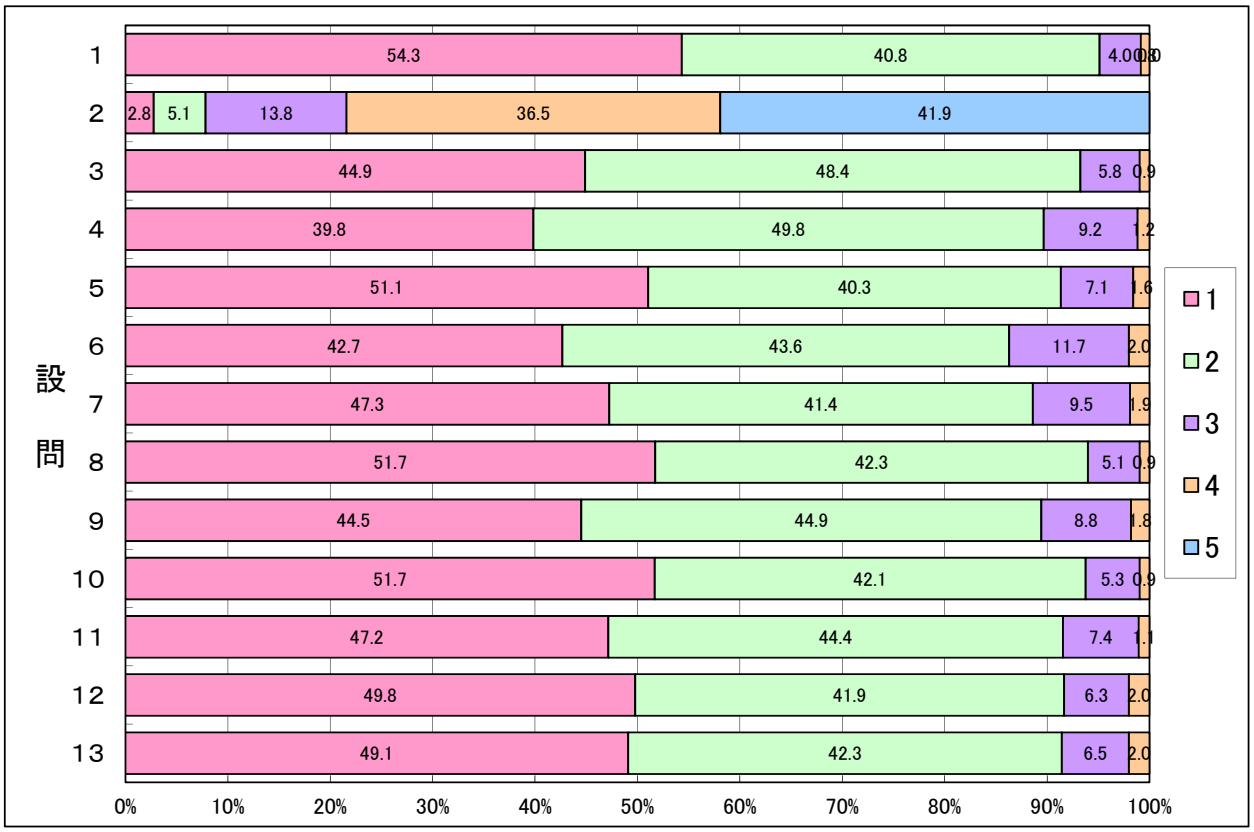
授業評価アンケート集計結果

社会学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	514	386	38	8	0	946

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	26	48	130	345	396	945

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	426	459	55	9	949
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	378	473	87	11	949
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	484	382	67	15	948
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	405	414	111	19	949
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	448	392	90	18	948
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	491	401	48	9	949
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	422	426	83	17	948
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	490	399	50	9	948
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	447	421	70	10	948
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	472	397	60	19	948
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	465	401	62	19	947



2017年度前期　学科･専攻別

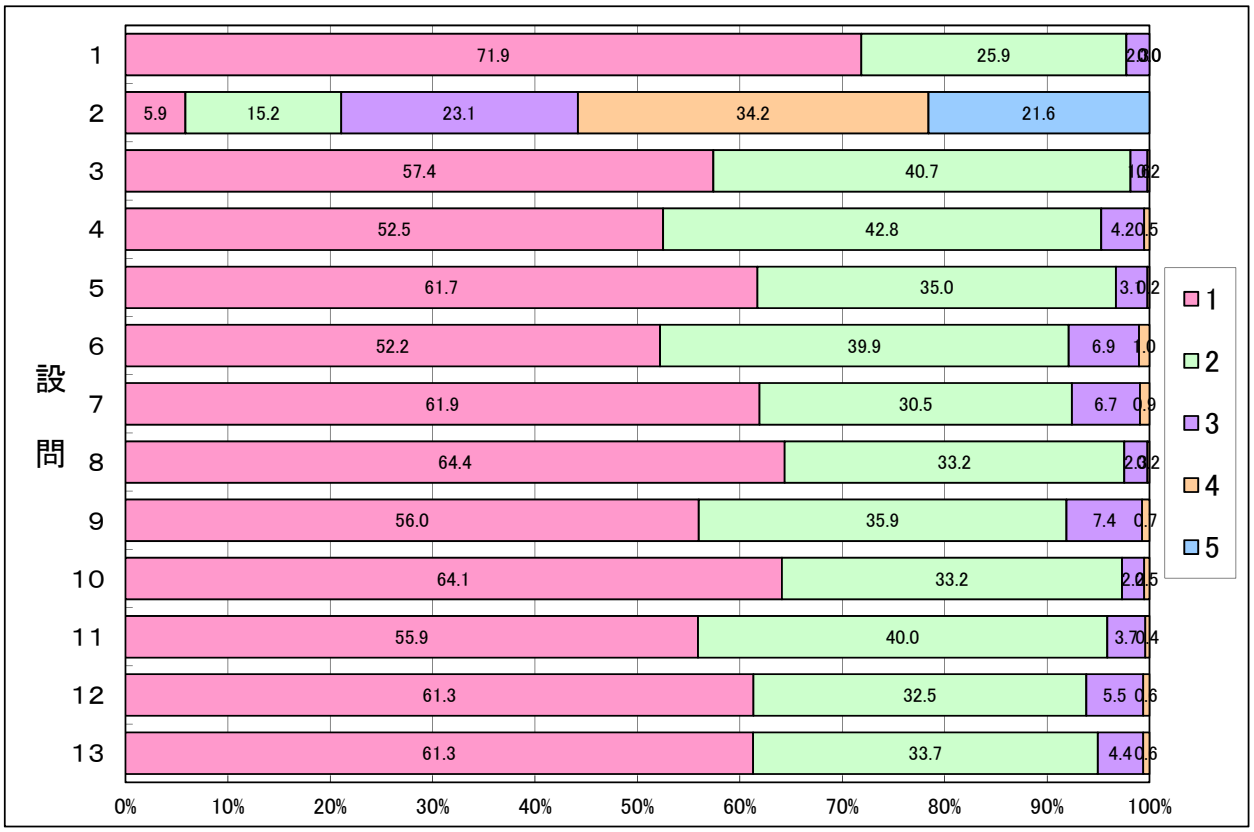
授業評価アンケート集計結果

心理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	700	252	22	0	0	974

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	57	148	225	333	210	973

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	561	398	16	2	977
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	513	418	41	5	977
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	603	342	30	2	977
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	510	390	67	10	977
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	605	298	65	9	977
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	629	324	22	2	977
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	546	350	72	7	975
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	625	324	21	5	975
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	544	389	36	4	973
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	598	317	54	6	975
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	597	328	43	6	974



2017年度前期　学科･専攻別

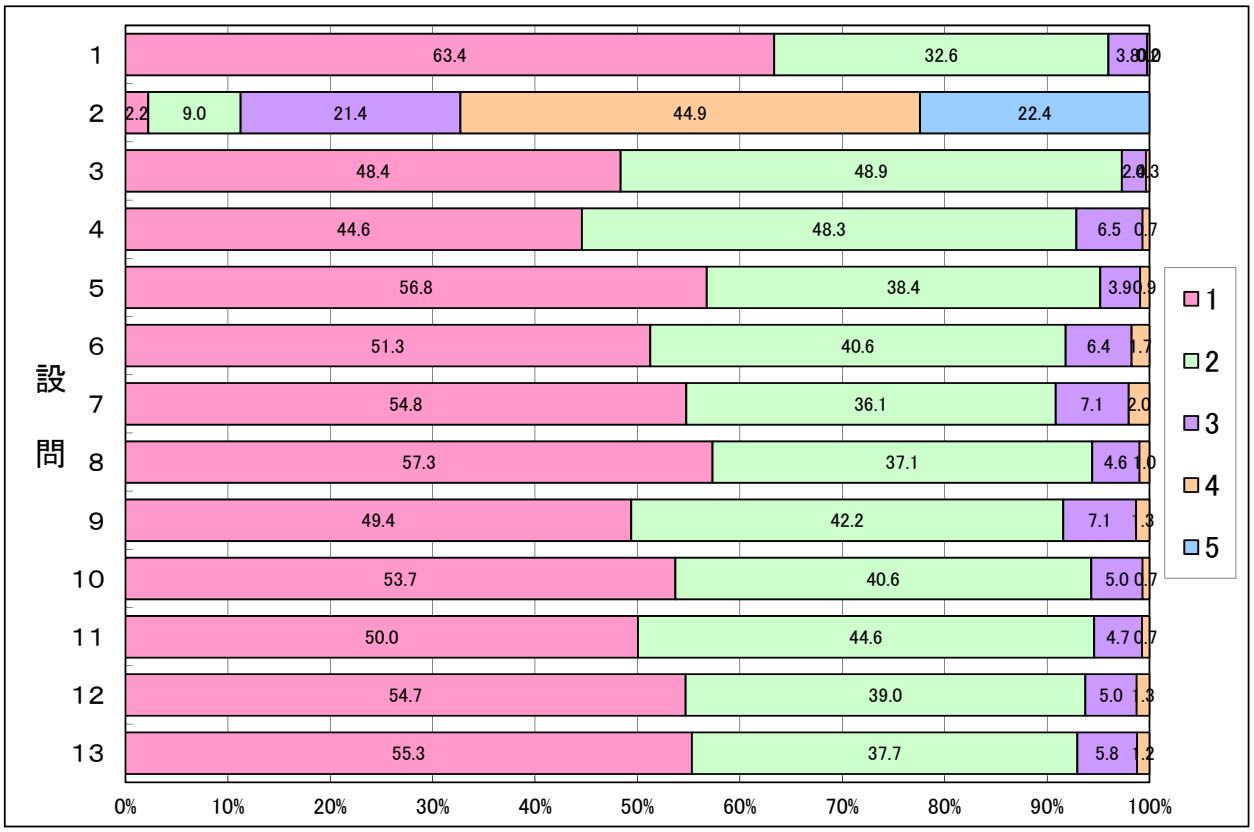
授業評価アンケート集計結果

コミュニケーション専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1,316	678	78	5	0	2,077

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	46	187	444	929	464	2,070

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	1,006	1,018	49	7	2,080
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	926	1,003	134	14	2,077
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,181	799	81	19	2,080
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,066	844	134	36	2,080
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,137	749	148	42	2,076
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,192	771	96	20	2,079
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	1,027	877	148	27	2,079
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,116	844	104	14	2,078
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	1,039	925	97	15	2,076
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	1,137	811	104	26	2,078
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,149	782	121	25	2,077



2017年度前期　学科･専攻別

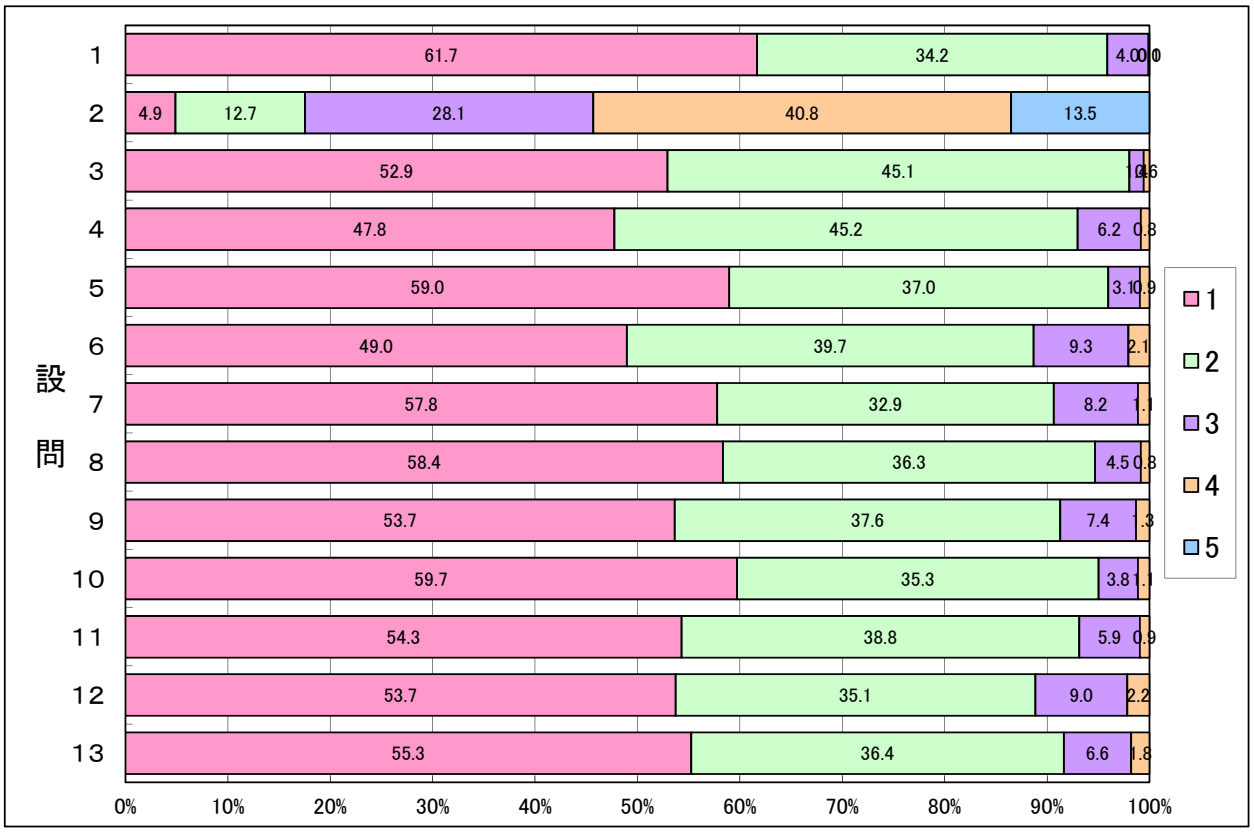
授業評価アンケート集計結果

言語科学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	660	366	43	1	0	1,070

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	52	135	300	435	144	1,066

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	567	483	15	6	1,071
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	511	484	66	9	1,070
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	631	396	33	10	1,070
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	524	425	99	22	1,070
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	619	352	88	12	1,071
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	625	389	48	9	1,071
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	573	402	79	14	1,068
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	638	377	41	12	1,068
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	579	414	63	10	1,066
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	574	375	96	23	1,068
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	589	388	70	19	1,066



2017年度前期　学科･専攻別

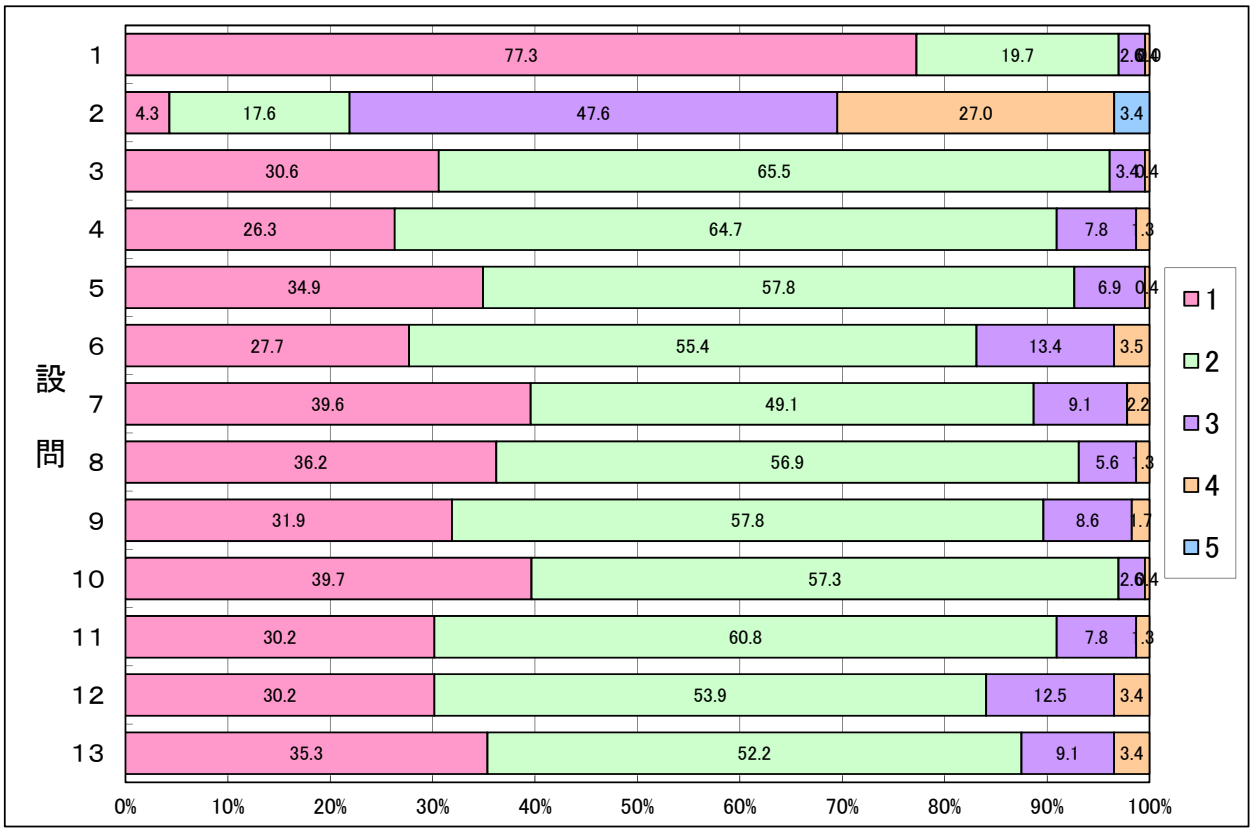
授業評価アンケート集計結果

数理科学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	180	46	6	1	0	233

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	10	41	111	63	8	233

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	71	152	8	1	232
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	61	150	18	3	232
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	81	134	16	1	232
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	64	128	31	8	231
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	91	113	21	5	230
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	84	132	13	3	232
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	74	134	20	4	232
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	92	133	6	1	232
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	70	141	18	3	232
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	70	125	29	8	232
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	82	121	21	8	232



2017年度前期　学科･専攻別

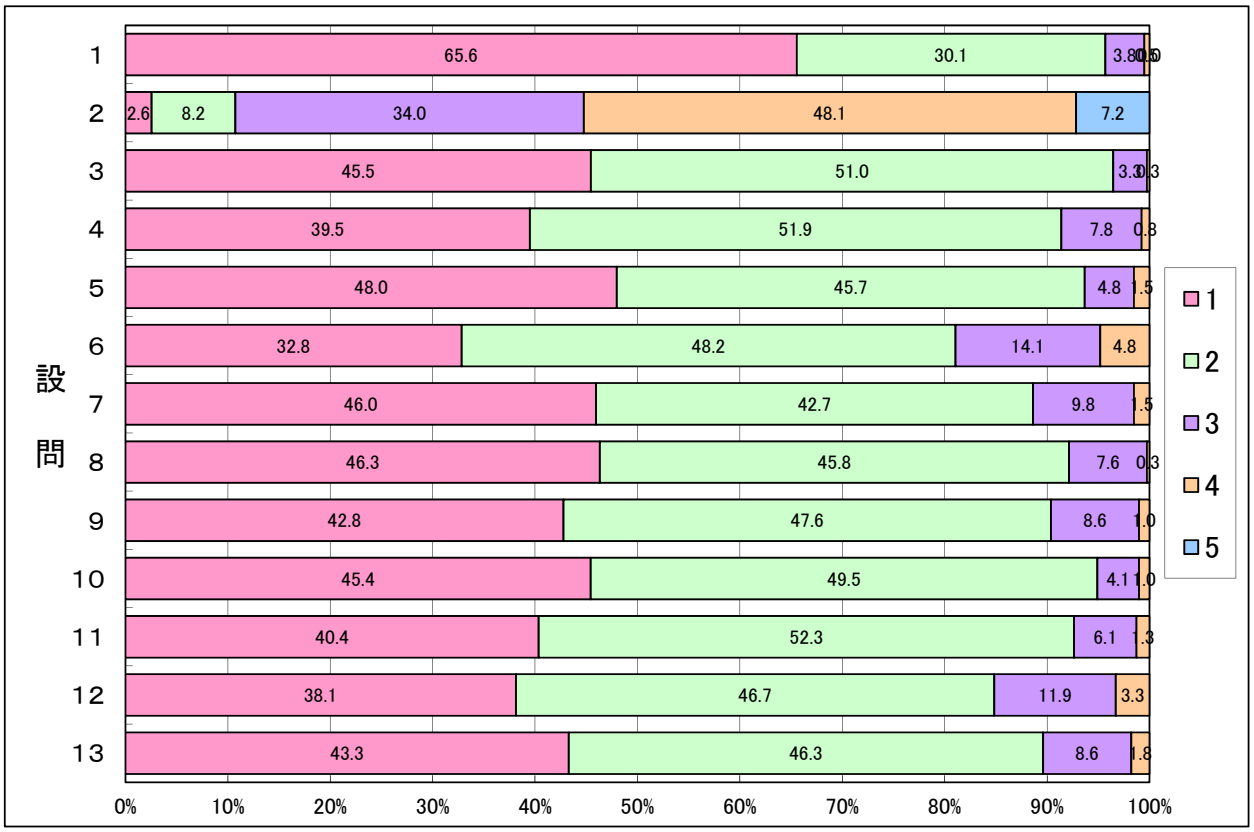
授業評価アンケート集計結果

数学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	259	119	15	2	0	395

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	10	32	133	188	28	391

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	180	202	13	1	396
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	156	205	31	3	395
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	190	181	19	6	396
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	130	191	56	19	396
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	182	169	39	6	396
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	183	181	30	1	395
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	169	188	34	4	395
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	179	195	16	4	394
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	159	206	24	5	394
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	151	185	47	13	396
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	171	183	34	7	395



2017年度前期　学科･専攻別

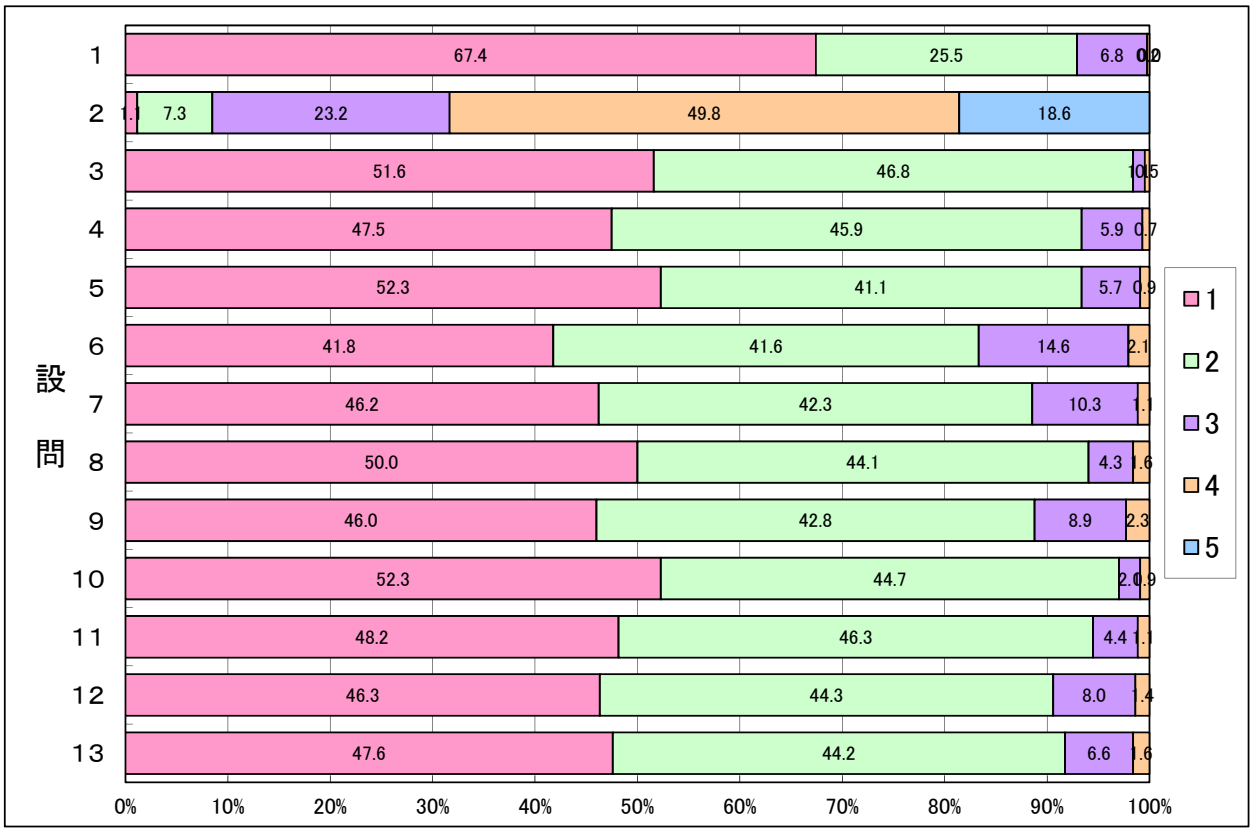
授業評価アンケート集計結果

情報理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	296	112	30	1	0	439

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	32	101	217	81	436

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	226	205	5	2	438
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	208	201	26	3	438
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	229	180	25	4	438
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	183	182	64	9	438
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	202	185	45	5	437
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	219	193	19	7	438
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	201	187	39	10	437
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	229	196	9	4	438
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	210	202	19	5	436
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	202	193	35	6	436
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	208	193	29	7	437



2017年度前期　講義科目

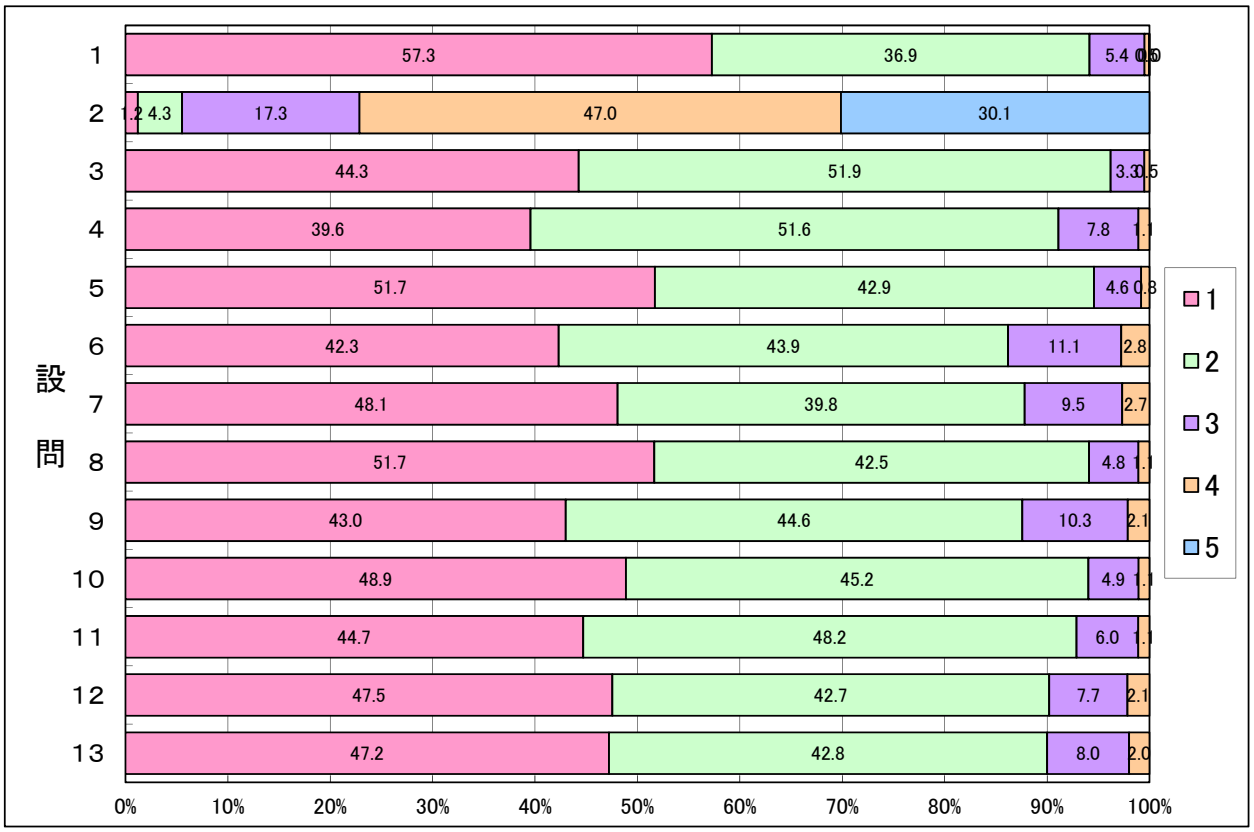
授業評価アンケート集計結果

現代教養学部

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	5, 754	3, 703	539	47	2	10, 045

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	121	433	1, 733	4, 708	3, 015	10, 010

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	4, 449	5, 222	330	51	10, 052
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	3, 974	5, 179	784	108	10, 045
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	5, 193	4, 305	463	81	10, 042
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	4, 248	4, 405	1, 110	277	10, 040
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	4, 823	3, 989	956	267	10, 035
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	5, 188	4, 264	484	108	10, 044
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	4, 317	4, 476	1, 034	212	10, 039
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	4, 906	4, 534	491	107	10, 038
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	4, 482	4, 833	604	109	10, 028
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	4, 776	4, 285	769	215	10, 045
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	4, 738	4, 293	803	199	10, 033



2017年度前期　講義科目

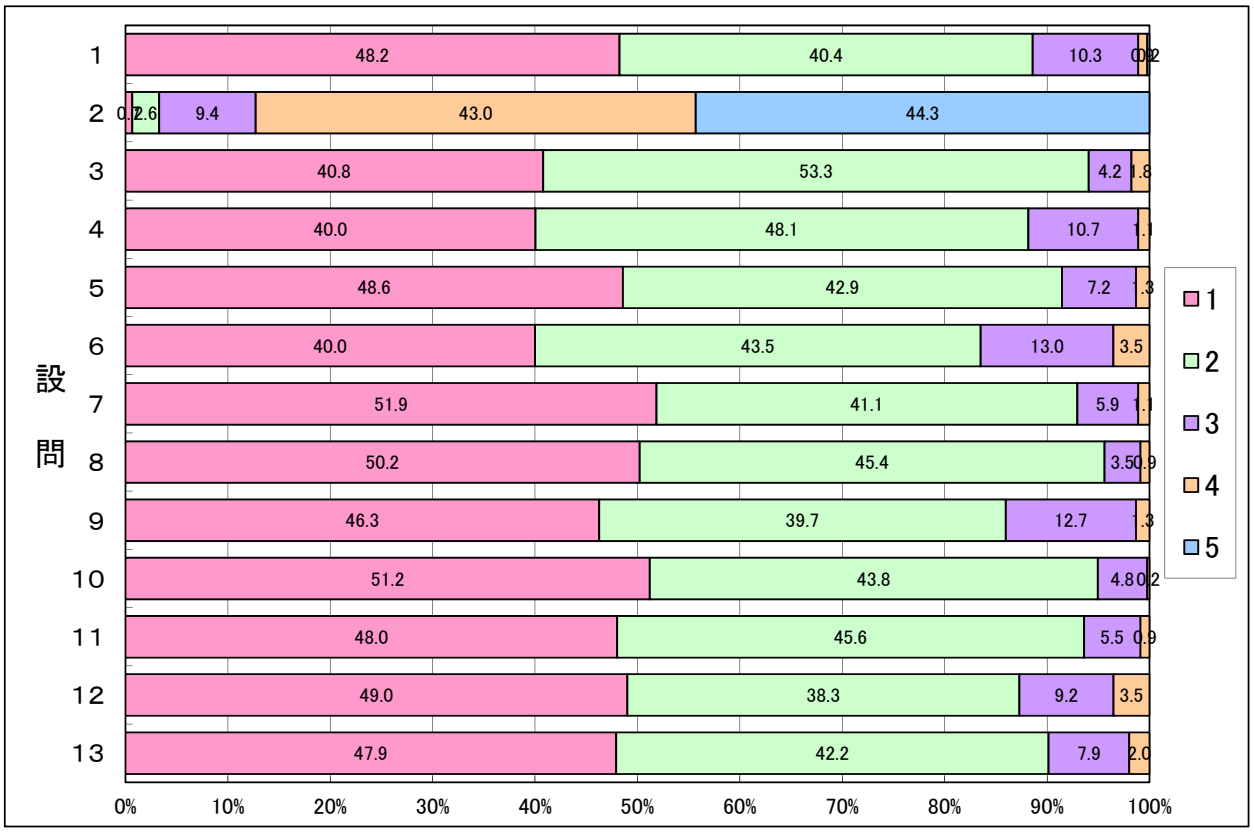
授業評価アンケート集計結果

哲学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	220	184	47	4	1	456

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	12	43	196	202	456

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	186	243	19	8	456
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	183	220	49	5	457
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	222	196	33	6	457
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	182	198	59	16	455
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	236	187	27	5	455
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	229	207	16	4	456
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	211	181	58	6	456
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	234	200	22	1	457
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	218	207	25	4	454
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	224	175	42	16	457
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	219	193	36	9	457



2017年度前期　講義科目

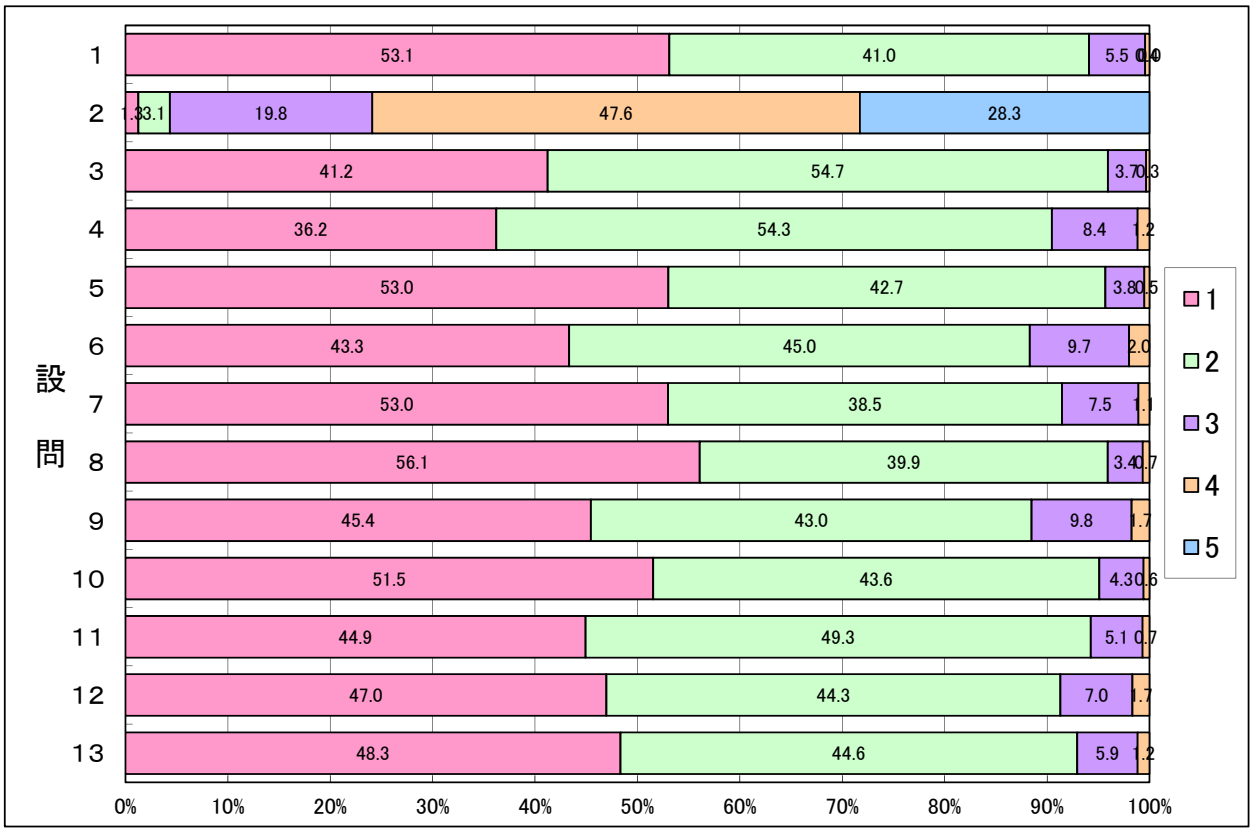
授業評価アンケート集計結果

日本文学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	640	494	66	5	0	1,205

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	15	37	237	571	339	1,199

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	498	661	45	4	1,208
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	437	655	101	14	1,207
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	640	515	46	6	1,207
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	523	543	117	24	1,207
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	639	464	90	13	1,206
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	677	481	41	8	1,207
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	549	520	118	21	1,208
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	622	526	52	7	1,207
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	541	594	61	8	1,204
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	567	535	85	20	1,207
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	582	537	71	14	1,204



2017年度前期　講義科目

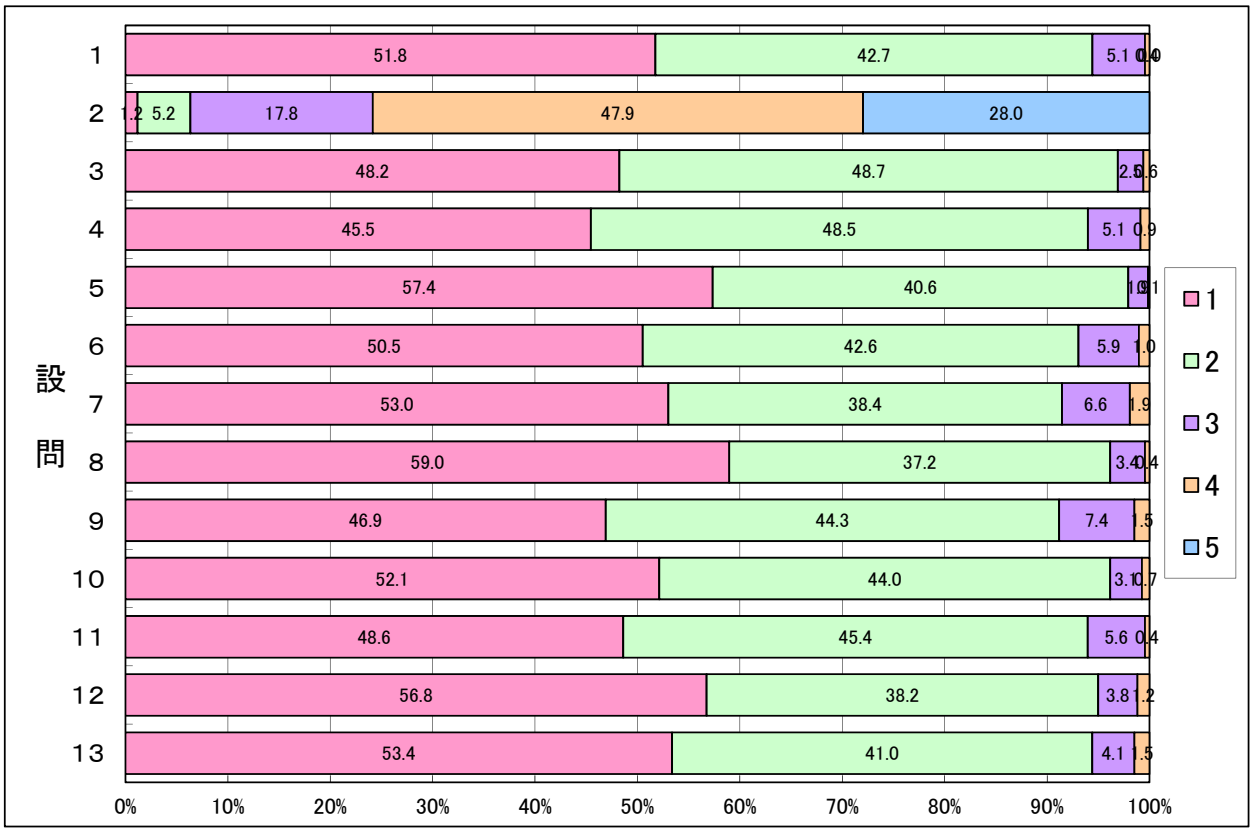
授業評価アンケート集計結果

英語文学文化専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	353	291	35	3	0	682

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	8	35	121	325	190	679

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	329	332	17	4	682
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	310	331	35	6	682
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	390	276	13	1	680
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	343	289	40	7	679
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	360	261	45	13	679
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	401	253	23	3	680
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	319	301	50	10	680
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	354	299	21	5	679
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	331	309	38	3	681
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	386	260	26	8	680
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	363	279	28	10	680



2017年度前期　講義科目

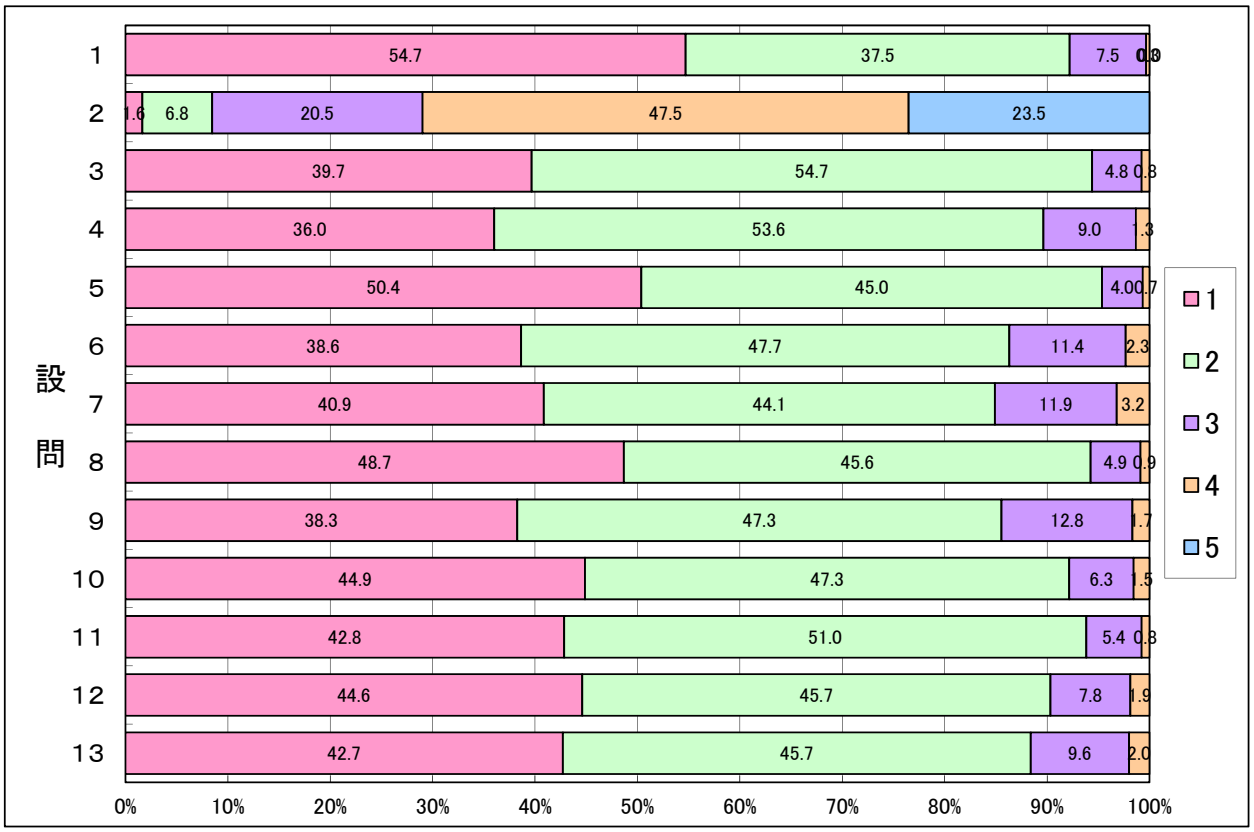
授業評価アンケート集計結果

史学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	499	342	68	3	0	912

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	15	62	187	432	214	910

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	361	498	44	7	910
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	327	487	82	12	908
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	457	408	36	6	907
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	350	432	103	21	906
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	371	400	108	29	908
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	441	413	44	8	906
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	347	429	116	15	907
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	407	429	57	14	907
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	389	463	49	7	908
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	406	416	71	17	910
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	387	414	87	18	906



2017年度前期　講義科目

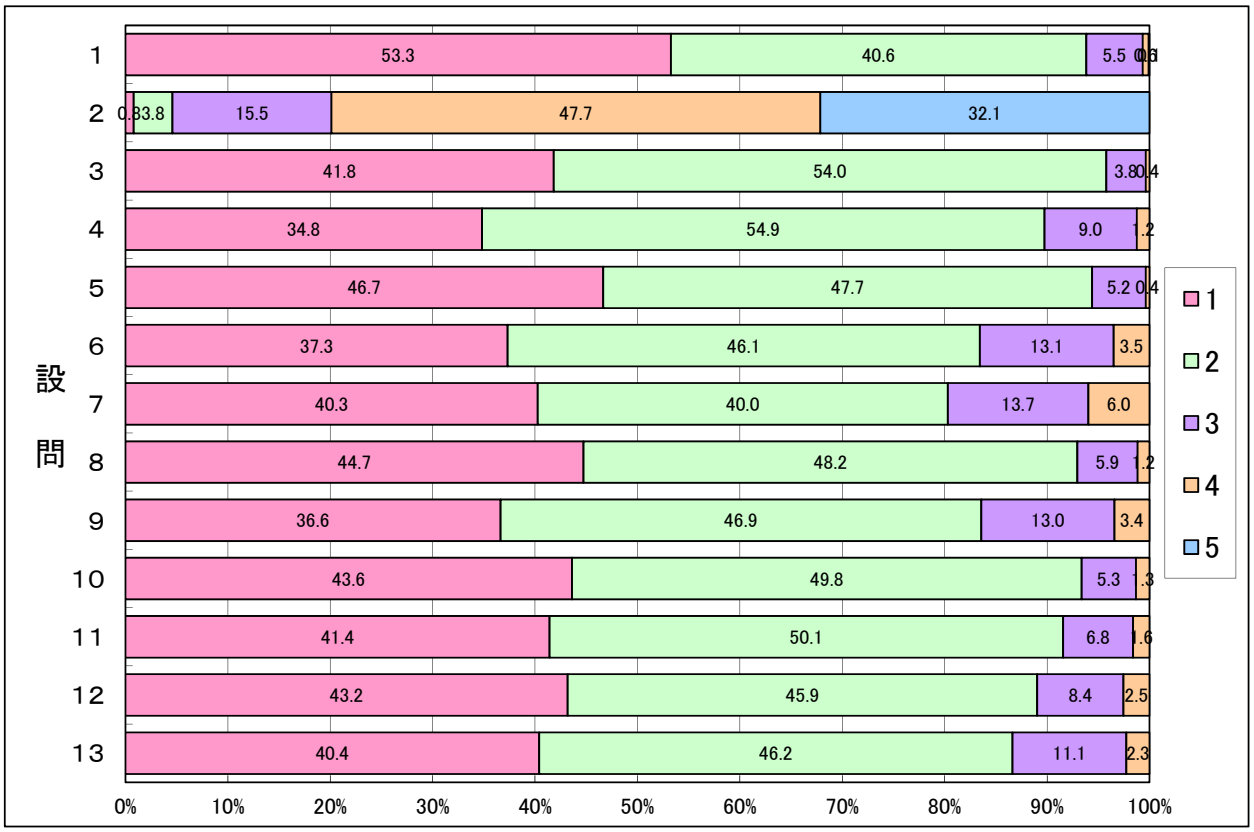
授業評価アンケート集計結果

国際関係専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	734	559	76	8	1	1,378

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	11	52	213	655	441	1,372

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	576	743	53	5	1,377
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	479	756	124	17	1,376
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	641	656	72	5	1,374
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	514	635	180	48	1,377
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	554	551	189	82	1,376
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	616	664	81	16	1,377
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	504	646	179	47	1,376
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	600	685	73	18	1,376
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	570	690	94	22	1,376
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	595	632	116	35	1,378
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	556	636	153	31	1,376



2017年度前期　講義科目

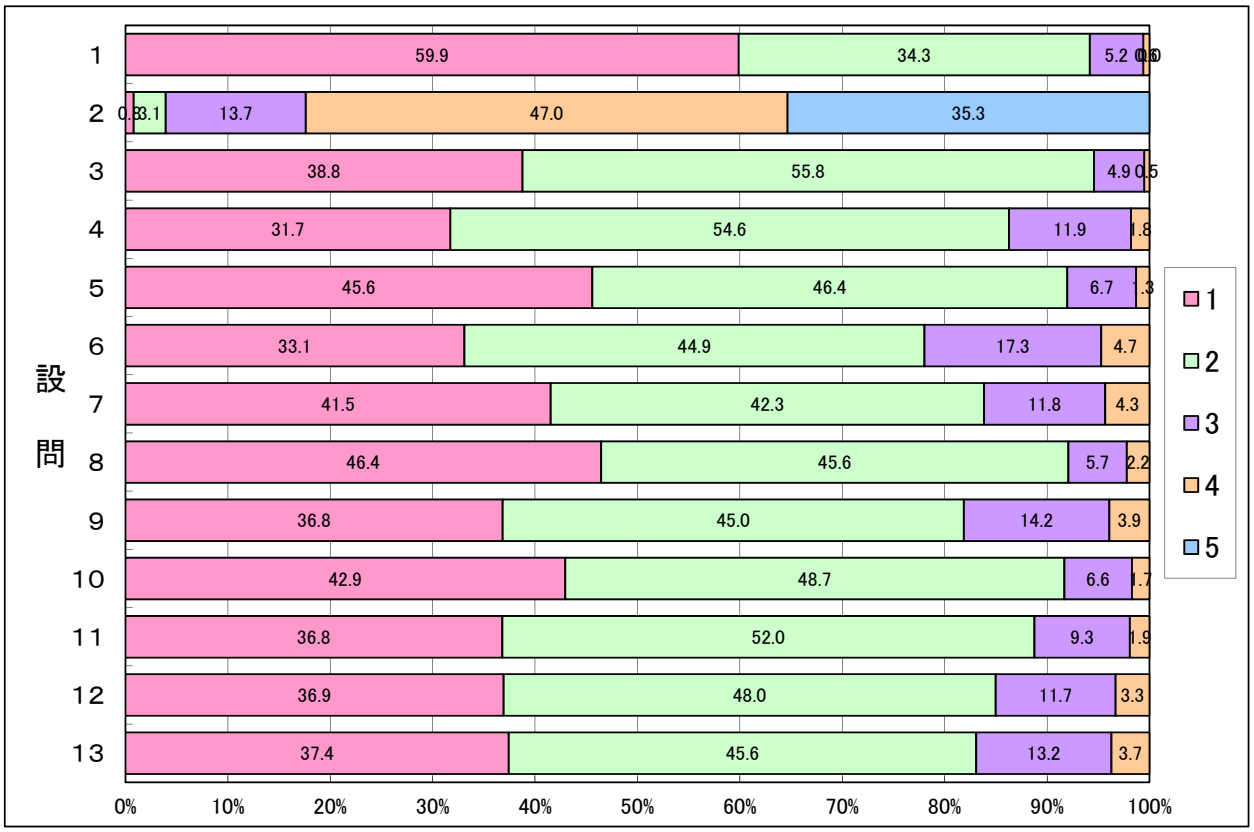
授業評価アンケート集計結果

経済学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	597	342	52	6	0	997

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	8	31	136	467	351	993

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	387	557	49	5	998
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	317	545	119	18	999
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	455	463	67	13	998
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	330	448	172	47	997
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	414	422	118	43	997
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	464	456	57	22	999
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	368	450	142	39	999
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	429	487	66	17	999
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	367	518	93	19	997
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	369	480	117	33	999
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	374	456	132	37	999



2017年度前期　講義科目

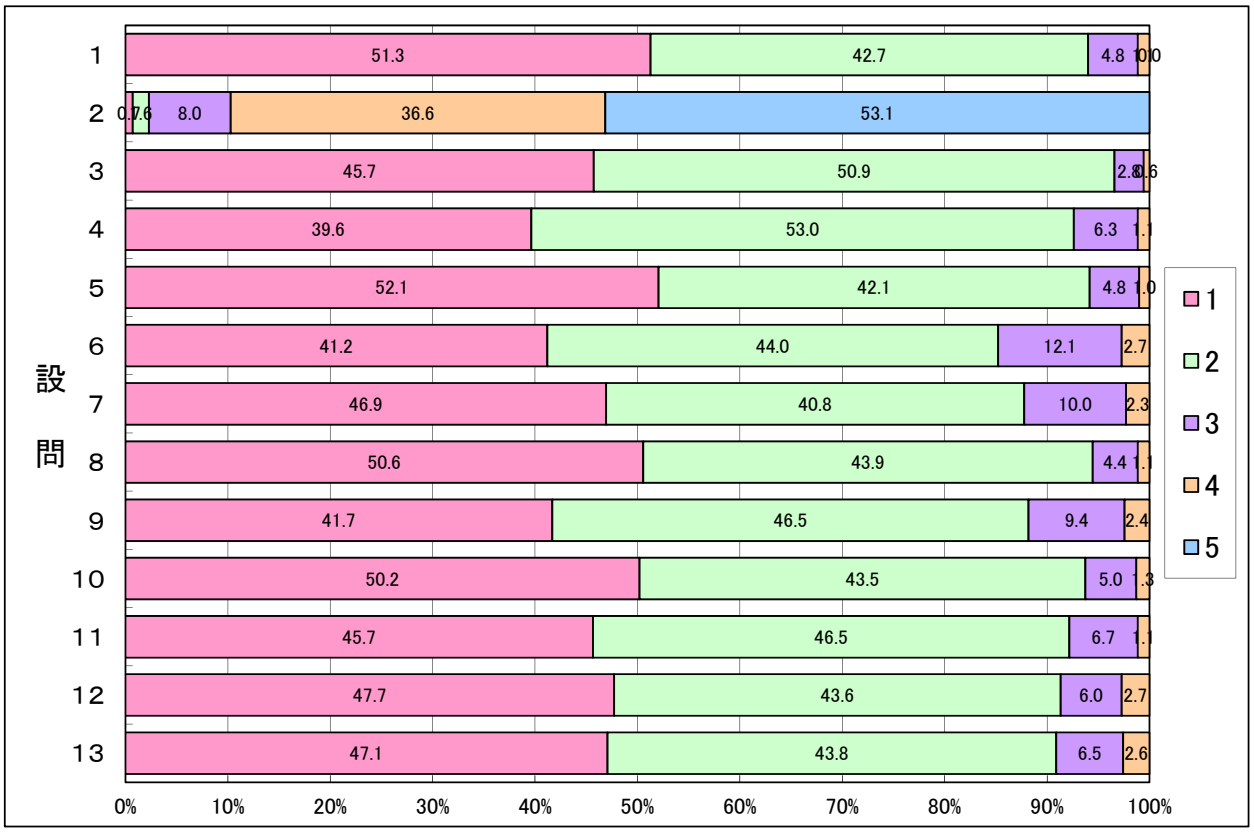
授業評価アンケート集計結果

社会学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	360	300	34	8	0	702

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	11	56	256	372	700

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	322	358	20	4	704
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	279	373	44	8	704
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	366	296	34	7	703
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	290	310	85	19	704
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	330	287	70	16	703
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	356	309	31	8	704
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	293	327	66	17	703
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	353	306	35	9	703
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	321	327	47	8	703
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	336	307	42	19	704
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	331	308	46	18	703



2017年度前期　講義科目

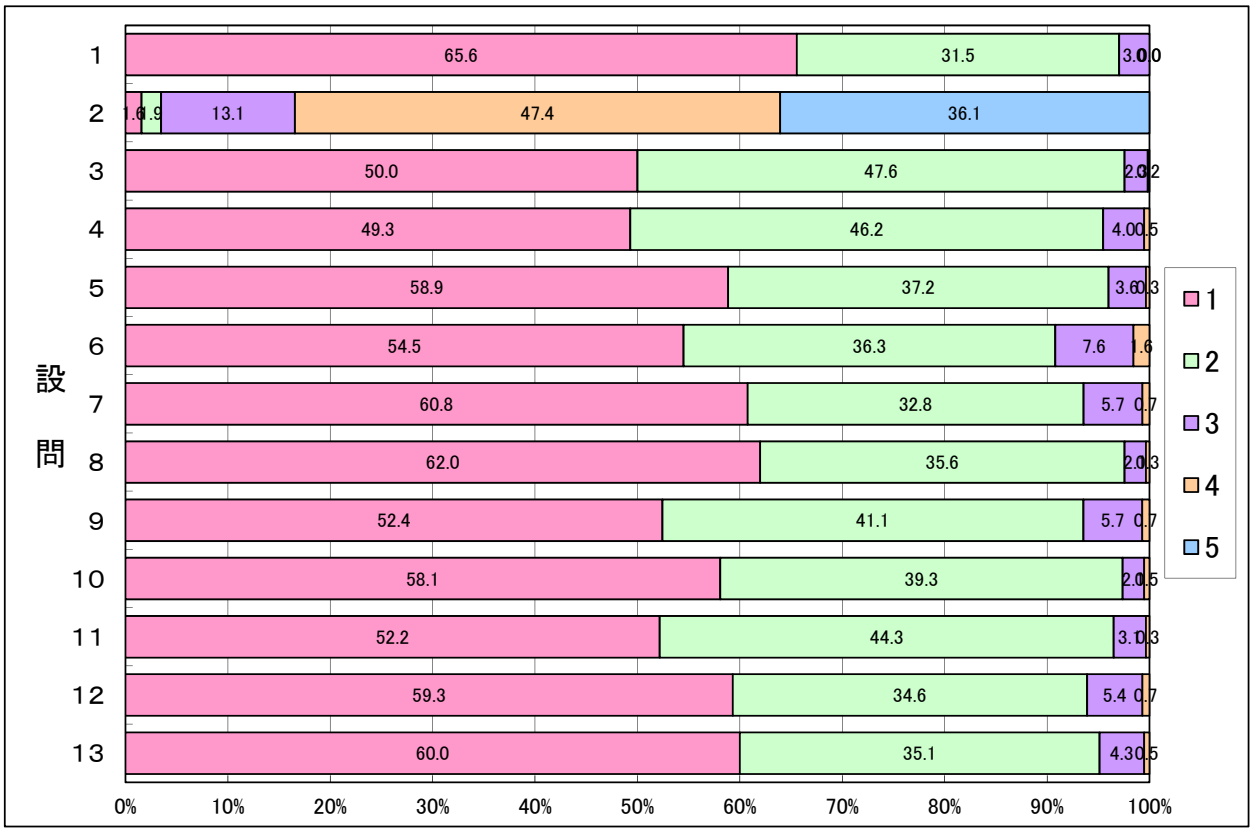
授業評価アンケート集計結果

心理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	377	181	17	0	0	575

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	11	75	272	207	574

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	288	274	13	1	576
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	284	266	23	3	576
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	339	214	21	2	576
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	314	209	44	9	576
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	350	189	33	4	576
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	357	205	12	2	576
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	301	236	33	4	574
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	334	226	12	3	575
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	299	254	18	2	573
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	341	199	31	4	575
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	345	202	25	3	575



2017年度前期　講義科目

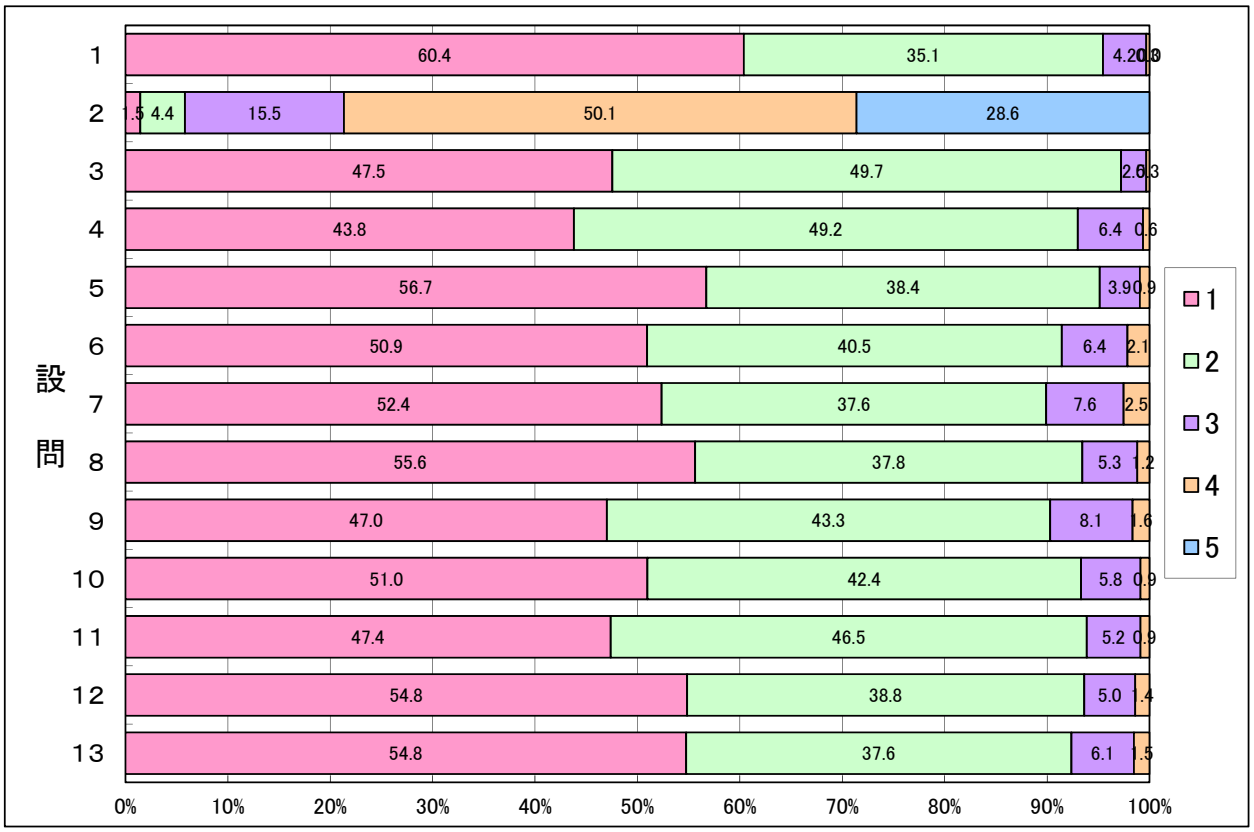
授業評価アンケート集計結果

コミュニケーション専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	959	557	67	5	0	1,588

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	23	69	246	793	453	1,584

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	756	790	39	5	1,590
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	695	781	101	10	1,587
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	902	611	62	15	1,590
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	810	644	102	34	1,590
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	831	596	120	40	1,587
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	884	601	85	19	1,589
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	747	688	128	26	1,589
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	810	673	92	14	1,589
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	752	738	83	14	1,587
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	871	616	79	22	1,588
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	870	598	97	24	1,589



2017年度前期　講義科目

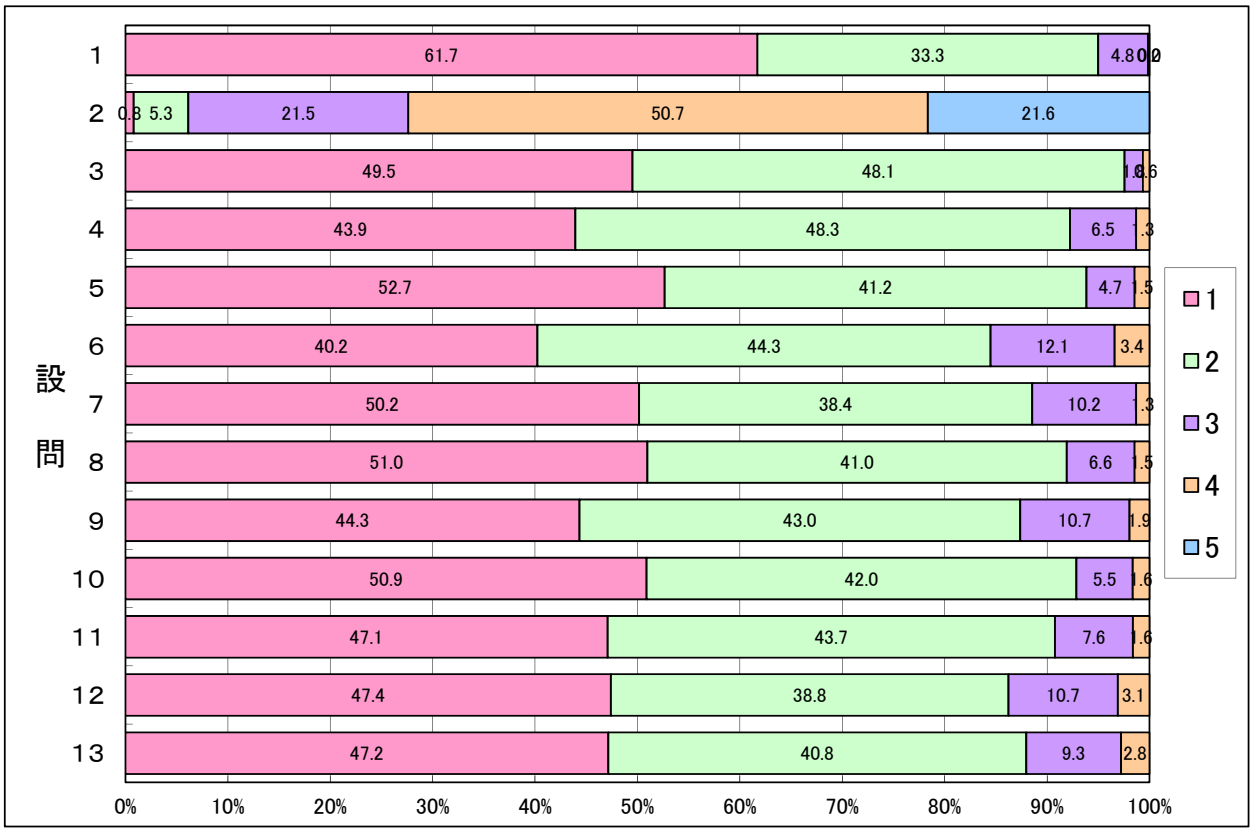
授業評価アンケート集計結果

言語科学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	382	206	30	1	0	619

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	33	133	314	134	619

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	307	298	11	4	620
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	272	299	40	8	619
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	326	255	29	9	619
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	249	274	75	21	619
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	311	238	63	8	620
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	316	254	41	9	620
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	274	266	66	12	618
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	314	259	34	10	617
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	291	270	47	10	618
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	293	240	66	19	618
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	290	251	57	17	615



2017年度前期　講義科目

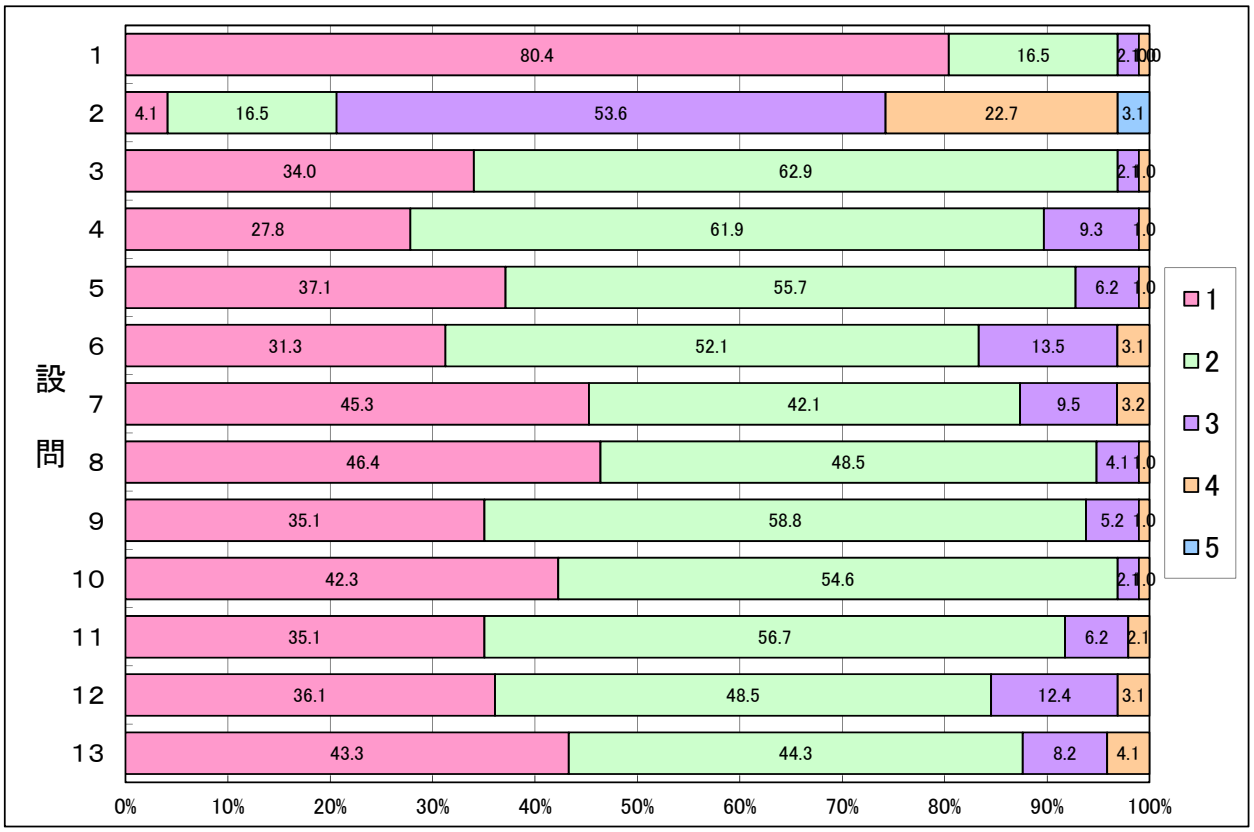
授業評価アンケート集計結果

数理科学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	78	16	2	1	0	97

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	16	52	22	3	97

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	33	61	2	1	97
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	27	60	9	1	97
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	36	54	6	1	97
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	30	50	13	3	96
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	43	40	9	3	95
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	45	47	4	1	97
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	34	57	5	1	97
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	41	53	2	1	97
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	34	55	6	2	97
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	35	47	12	3	97
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	42	43	8	4	97



2017年度前期　講義科目

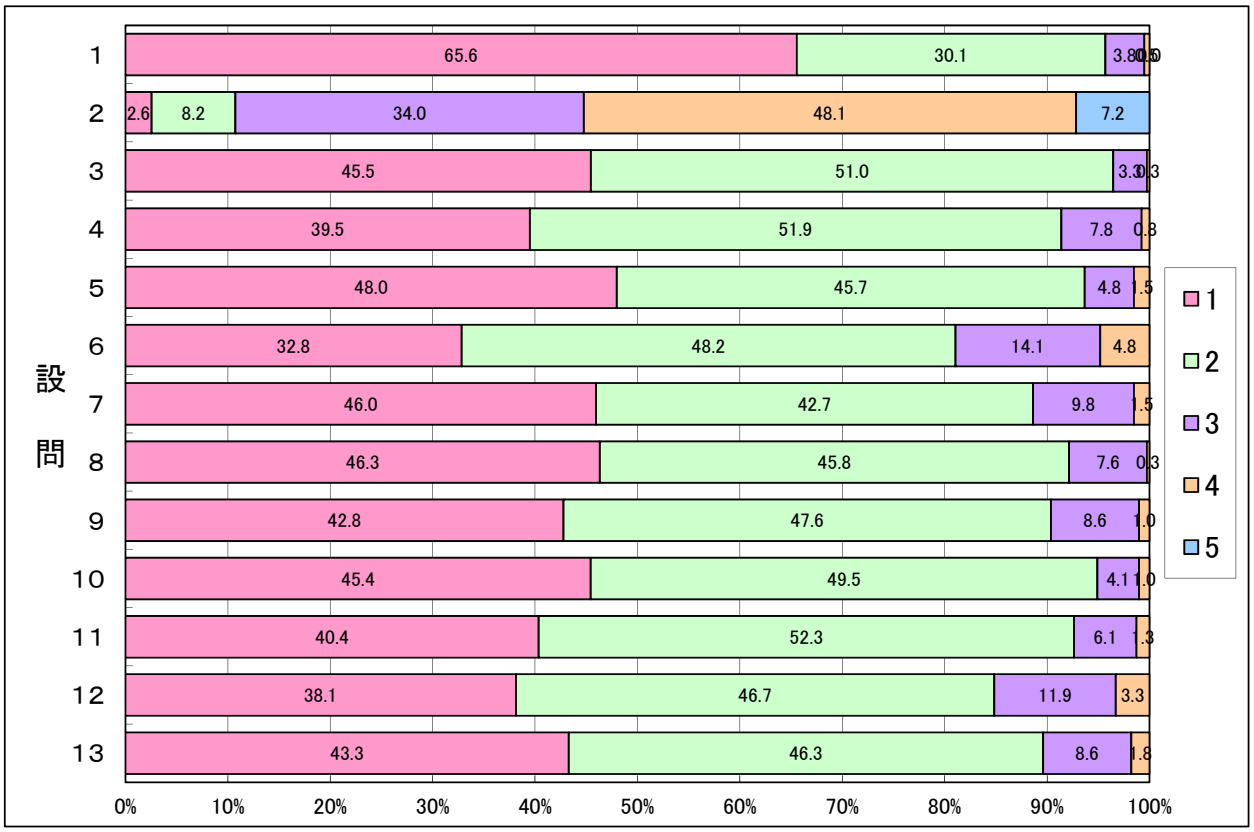
授業評価アンケート集計結果

数学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	259	119	15	2	0	395

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	10	32	133	188	28	391

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	180	202	13	1	396
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	156	205	31	3	395
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	190	181	19	6	396
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	130	191	56	19	396
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	182	169	39	6	396
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	183	181	30	1	395
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	169	188	34	4	395
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	179	195	16	4	394
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	159	206	24	5	394
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	151	185	47	13	396
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	171	183	34	7	395



2017年度前期　講義科目

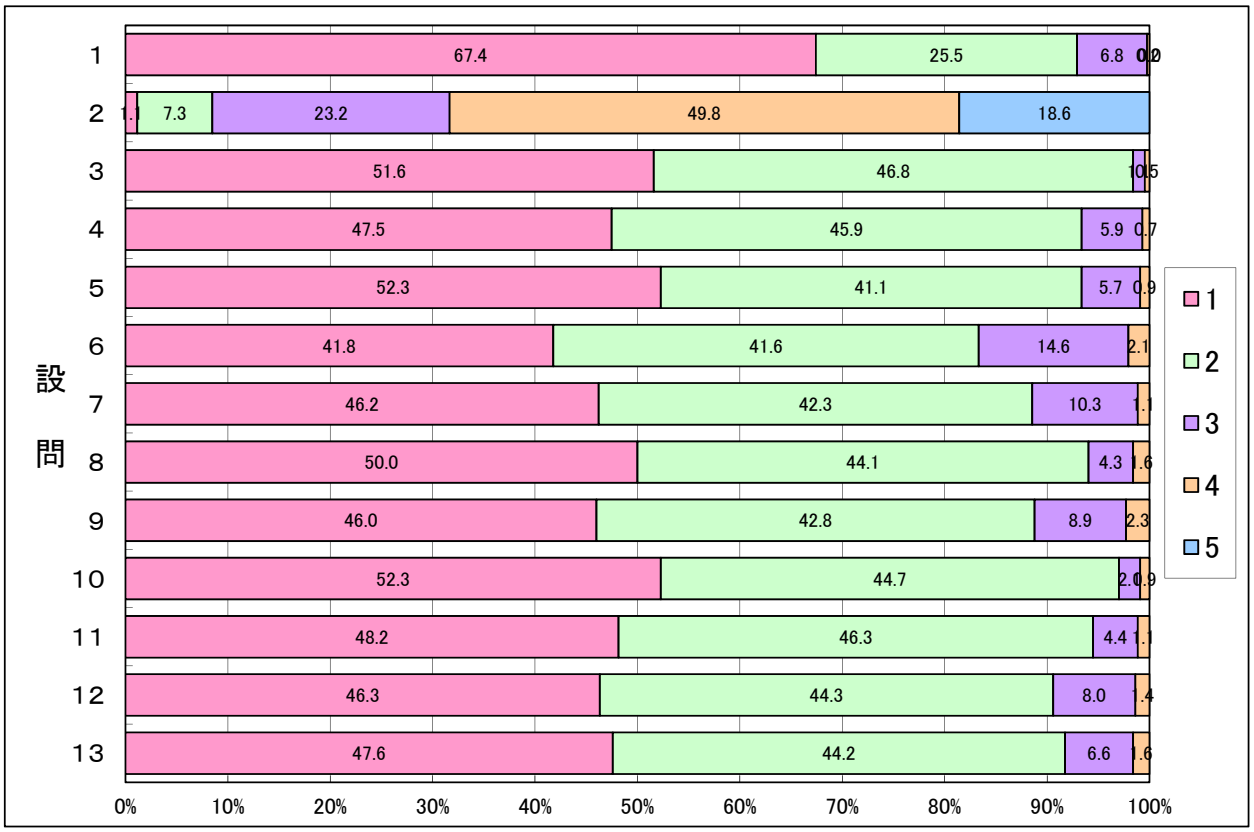
授業評価アンケート集計結果

情報理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	296	112	30	1	0	439

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	32	101	217	81	436

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	226	205	5	2	438
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	208	201	26	3	438
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	229	180	25	4	438
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	183	182	64	9	438
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	202	185	45	5	437
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	219	193	19	7	438
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	201	187	39	10	437
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	229	196	9	4	438
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	210	202	19	5	436
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	202	193	35	6	436
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	208	193	29	7	437



2017年度前期　演習科目

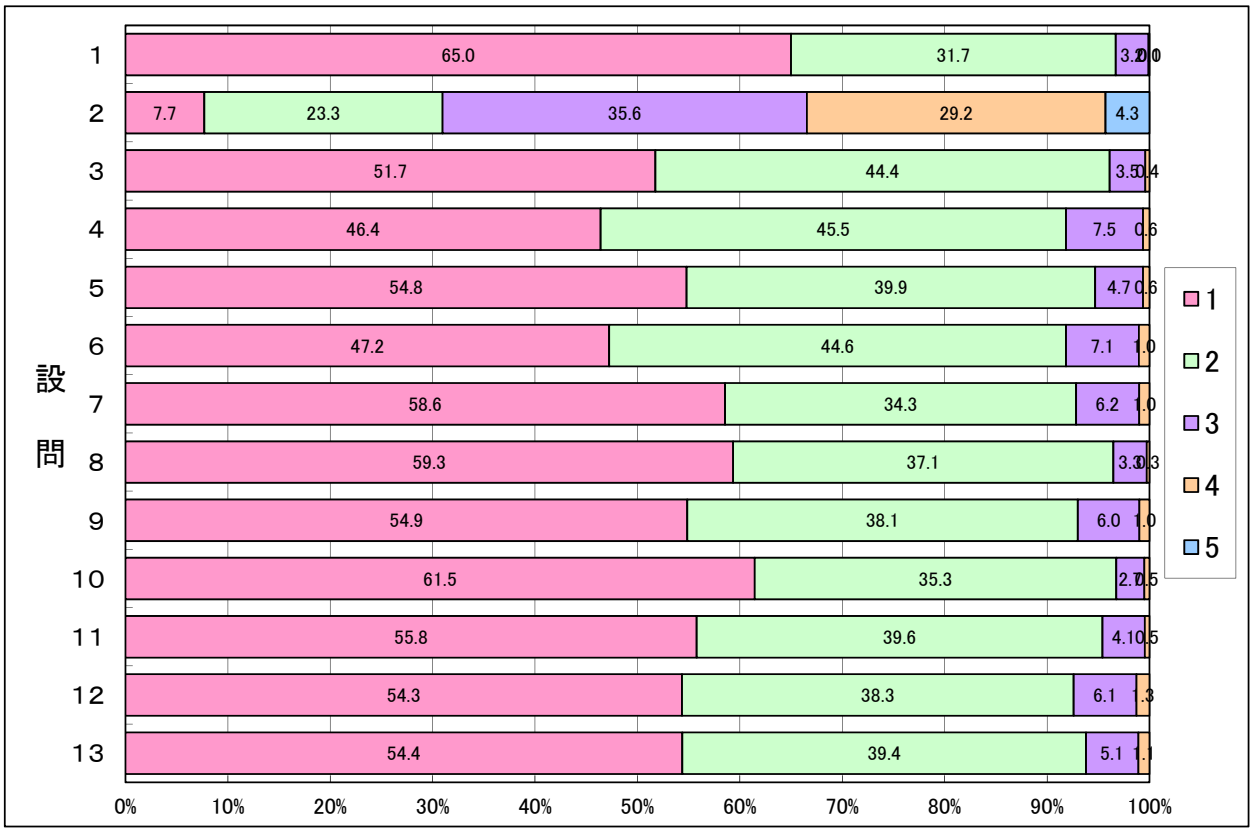
授業評価アンケート集計結果

現代教養学部

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	2,712	1,323	133	4	0	4,172

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	320	967	1,479	1,212	178	4,156

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	2,161	1,853	145	17	4,176
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	1,938	1,898	314	26	4,176
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	2,287	1,665	195	26	4,173
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,973	1,864	297	43	4,177
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	2,445	1,431	257	42	4,175
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	2,478	1,551	136	11	4,176
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	2,291	1,592	251	41	4,175
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	2,564	1,473	114	21	4,172
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	2,327	1,653	172	19	4,171
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	2,269	1,597	256	53	4,175
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	2,268	1,645	213	45	4,171



2017年度前期　演習科目

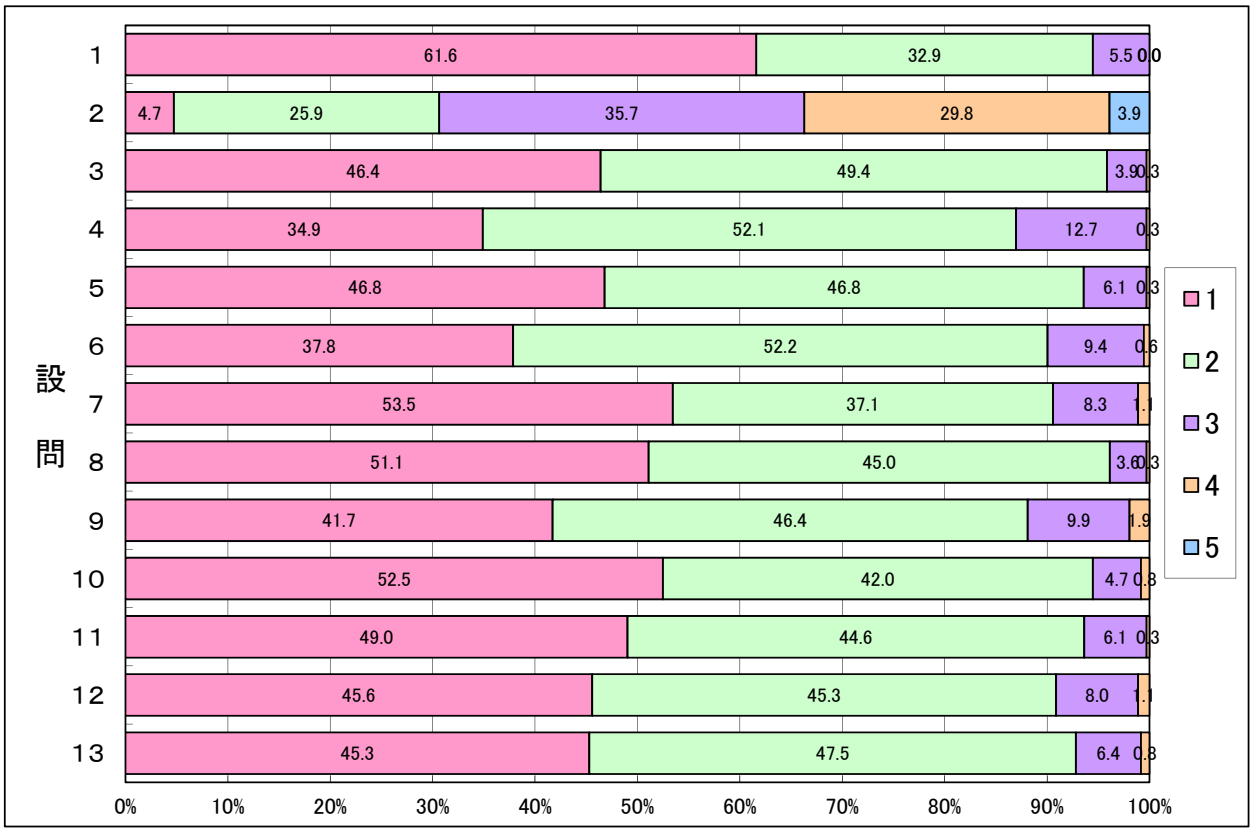
授業評価アンケート集計結果

人文学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	223	119	20	0	0	362

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	17	93	128	107	14	359

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	168	179	14	1	362
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	126	188	46	1	361
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	168	168	22	1	359
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	137	189	34	2	362
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	193	134	30	4	361
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	185	163	13	1	362
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	151	168	36	7	362
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	190	152	17	3	362
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	177	161	22	1	361
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	165	164	29	4	362
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	164	172	23	3	362



2017年度前期　演習科目

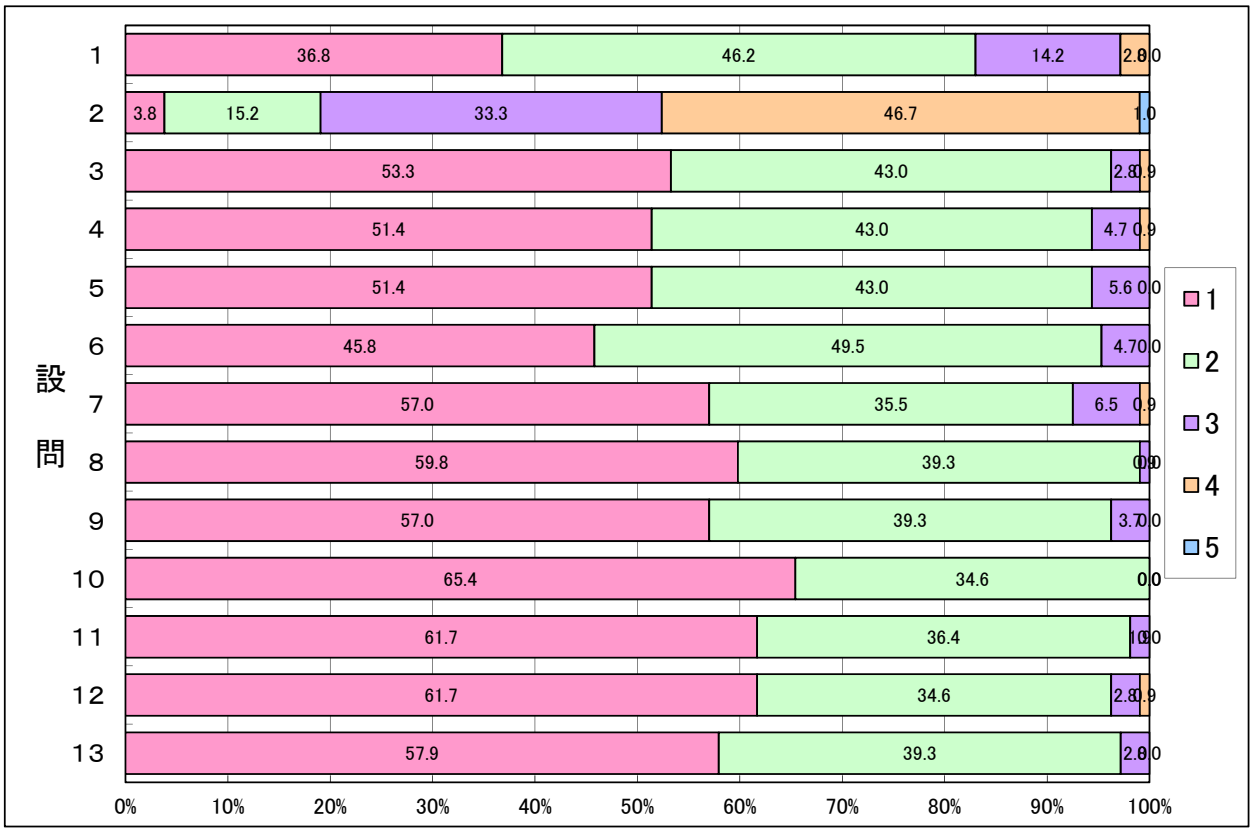
授業評価アンケート集計結果

哲学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	39	49	15	3	0	106

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	16	35	49	1	105

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	57	46	3	1	107
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	55	46	5	1	107
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	55	46	6	0	107
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	49	53	5	0	107
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	61	38	7	1	107
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	64	42	1	0	107
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	61	42	4	0	107
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	70	37	0	0	107
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	66	39	2	0	107
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	66	37	3	1	107
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	62	42	3	0	107



2017年度前期　演習科目

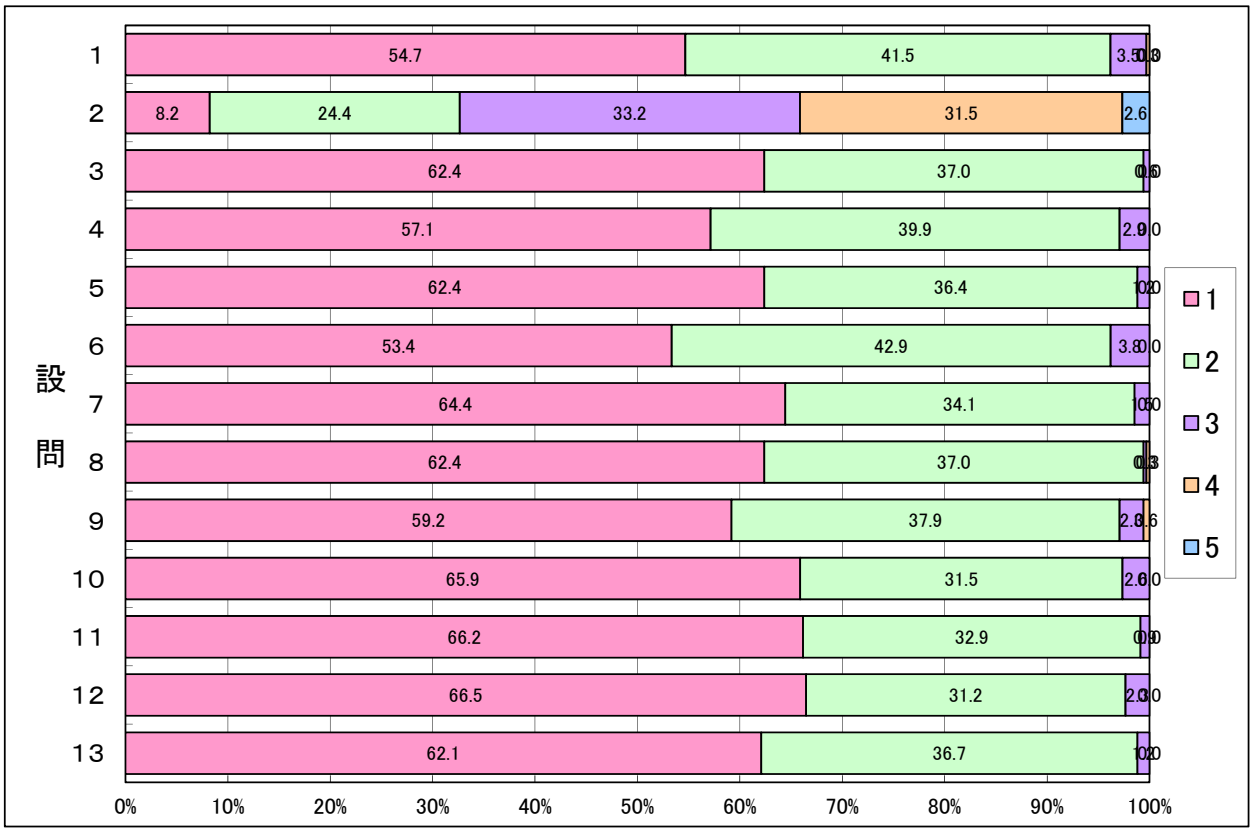
授業評価アンケート集計結果

日本文学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	187	142	12	1	0	342

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	28	83	113	107	9	340

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	214	127	2	0	343
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	196	137	10	0	343
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	214	125	4	0	343
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	183	147	13	0	343
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	221	117	5	0	343
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	214	127	1	1	343
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	203	130	8	2	343
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	226	108	9	0	343
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	227	113	3	0	343
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	228	107	8	0	343
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	213	126	4	0	343



2017年度前期　演習科目

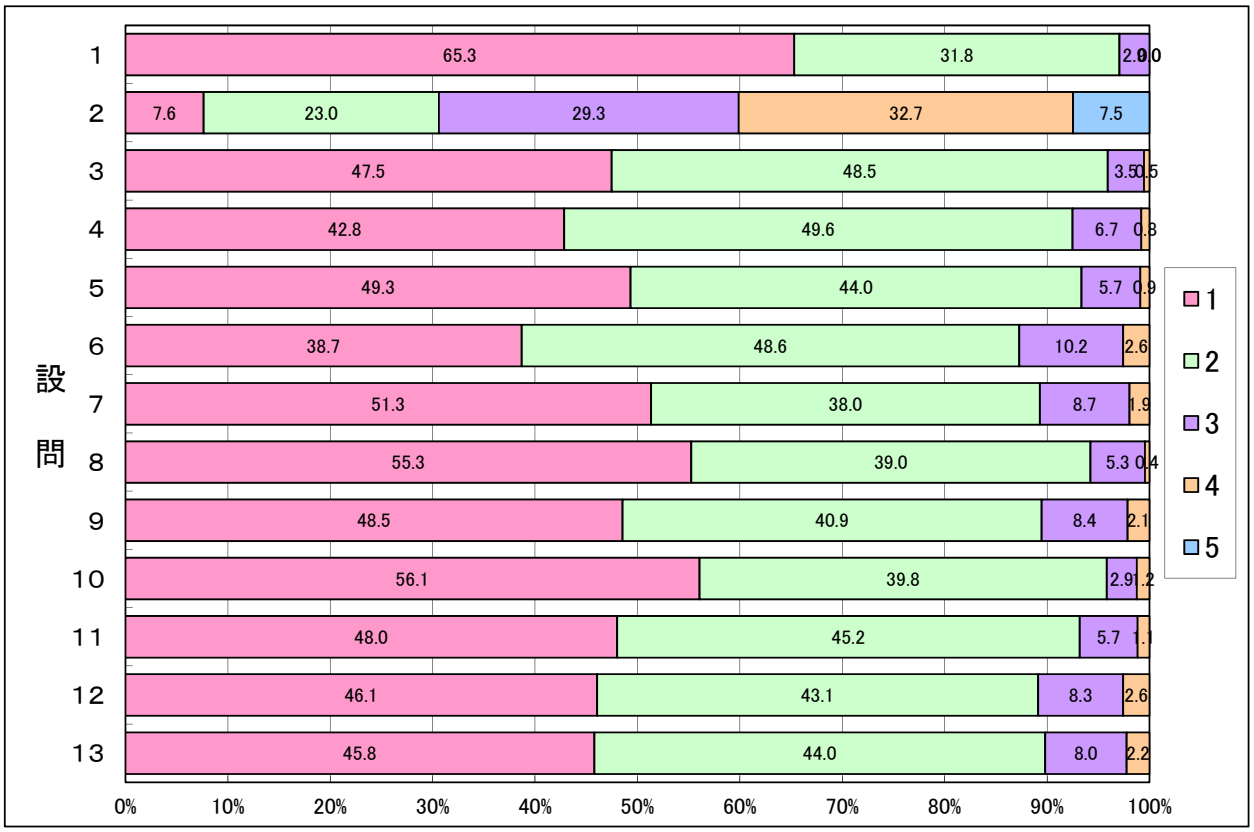
授業評価アンケート集計結果

英語文学文化専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	738	359	33	0	0	1,130

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	86	259	330	368	84	1,127

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	537	548	40	6	1,131
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	485	562	76	9	1,132
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	558	498	65	10	1,131
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	438	550	115	29	1,132
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	581	430	99	22	1,132
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	625	441	60	5	1,131
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	549	463	95	24	1,131
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	633	449	33	14	1,129
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	543	511	64	13	1,131
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	521	487	94	29	1,131
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	517	497	90	25	1,129



2017年度前期　演習科目

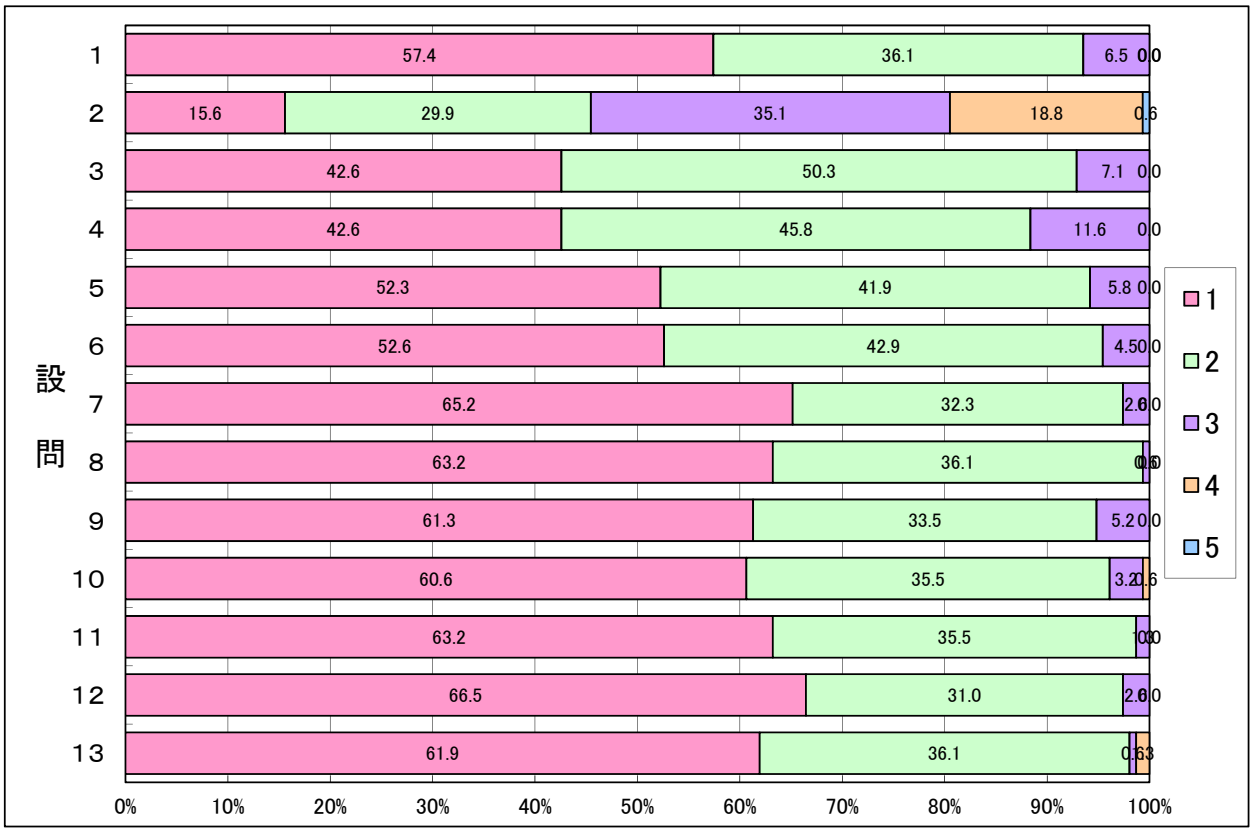
授業評価アンケート集計結果

史学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	89	56	10	0	0	155

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	24	46	54	29	1	154

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	66	78	11	0	155
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	66	71	18	0	155
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	81	65	9	0	155
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	81	66	7	0	154
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	101	50	4	0	155
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	98	56	1	0	155
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	95	52	8	0	155
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	94	55	5	1	155
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	98	55	2	0	155
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	103	48	4	0	155
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	96	56	1	2	155



2017年度前期　演習科目

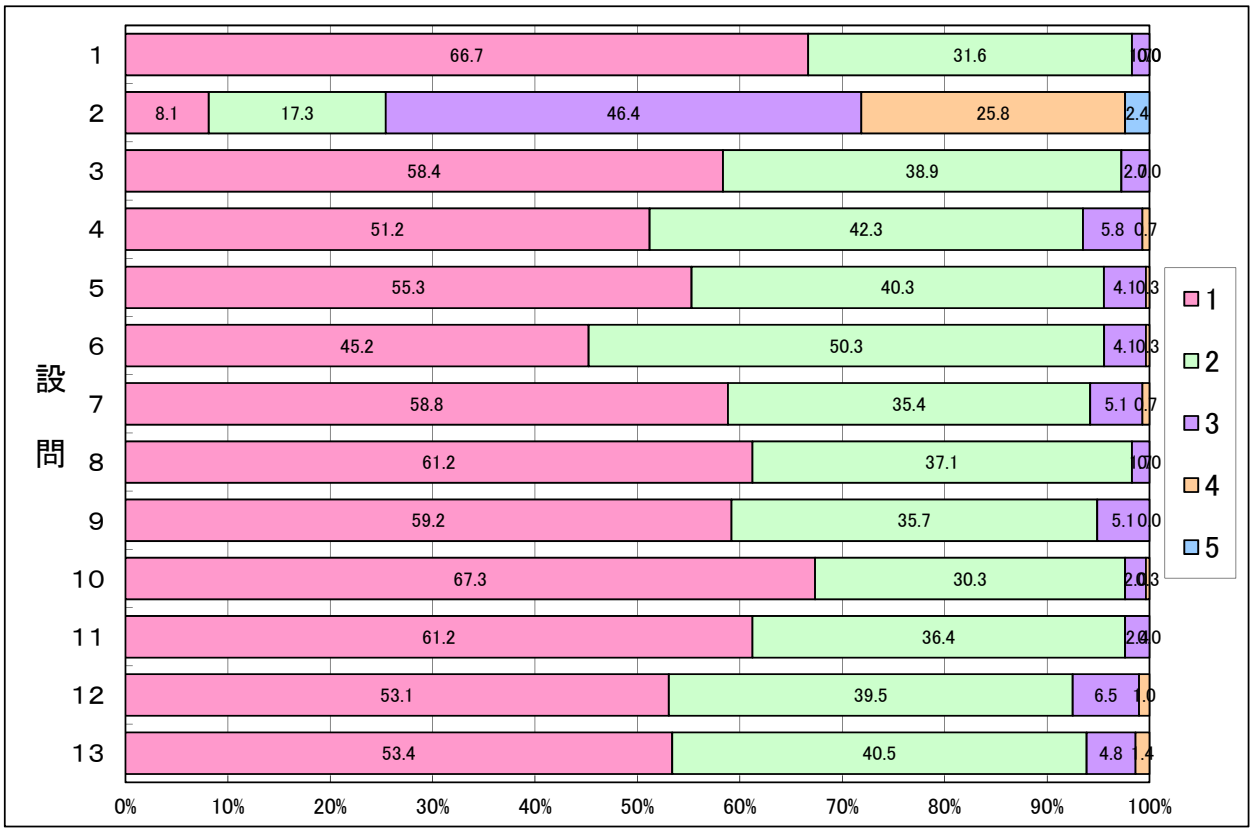
授業評価アンケート集計結果

国際関係専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	196	93	5	0	0	294

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	24	51	137	76	7	295

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	171	114	8	0	293
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	150	124	17	2	293
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	162	118	12	1	293
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	133	148	12	1	294
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	173	104	15	2	294
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	180	109	5	0	294
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	174	105	15	0	294
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	198	89	6	1	294
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	180	107	7	0	294
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	156	116	19	3	294
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	157	119	14	4	294



2017年度前期　演習科目

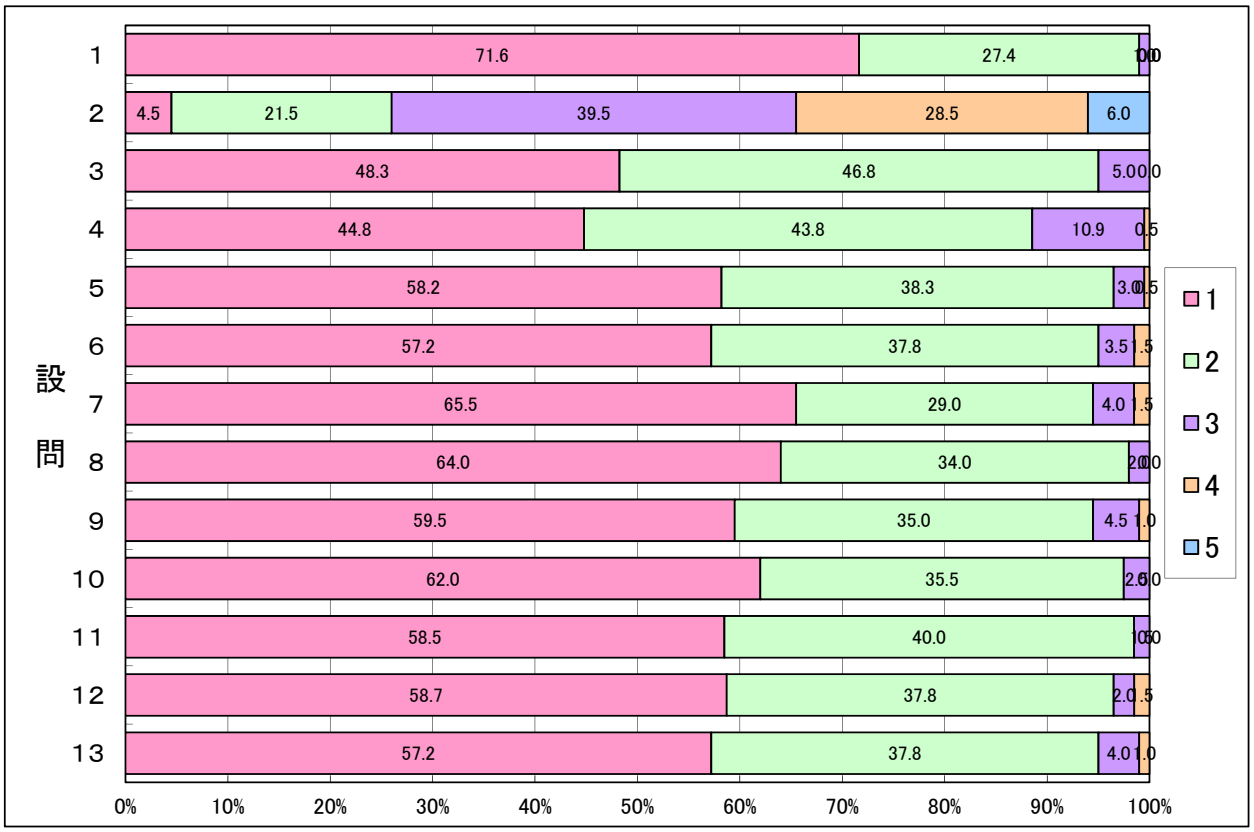
授業評価アンケート集計結果

経済学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	144	55	2	0	0	201

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	43	79	57	12	200

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	97	94	10	0	201
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	90	88	22	1	201
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	117	77	6	1	201
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	115	76	7	3	201
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	131	58	8	3	200
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	128	68	4	0	200
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	119	70	9	2	200
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	124	71	5	0	200
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	117	80	3	0	200
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	118	76	4	3	201
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	115	76	8	2	201



2017年度前期　演習科目

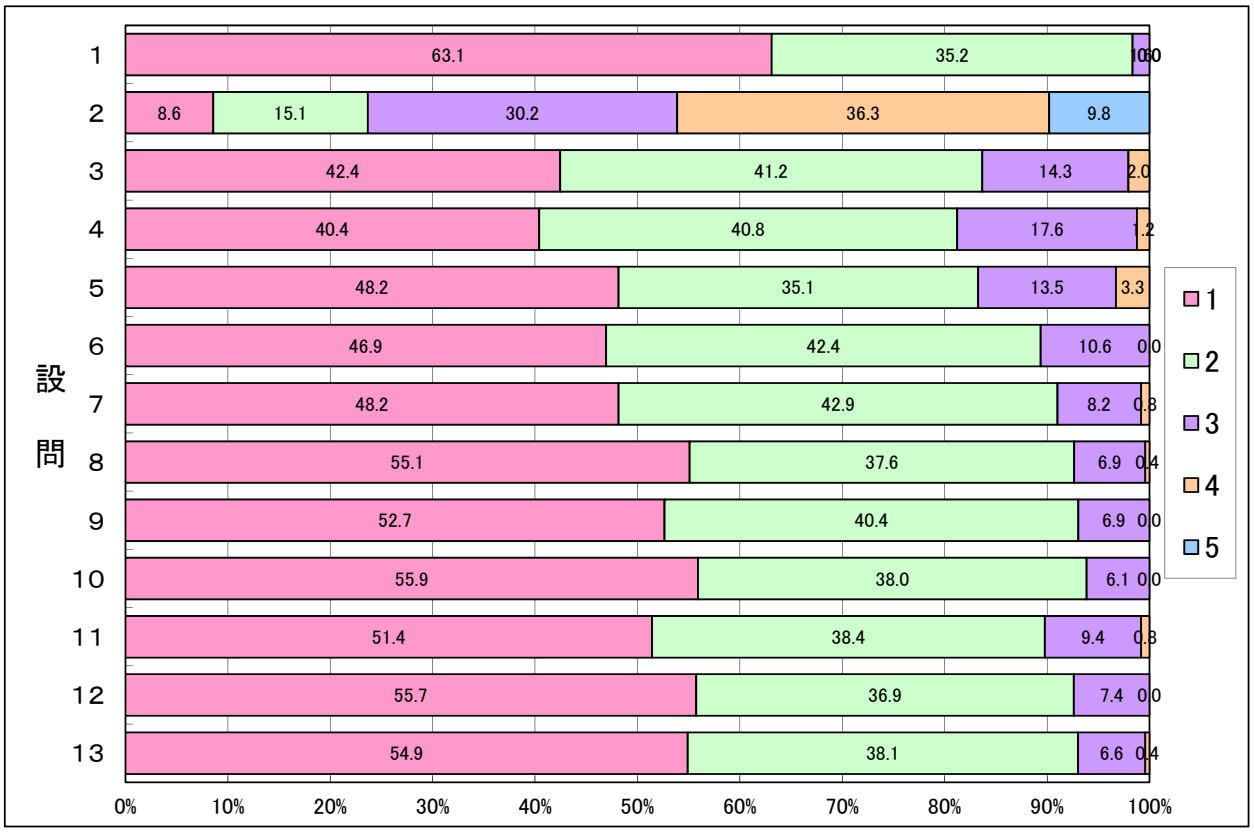
授業評価アンケート集計結果

社会学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	154	86	4	0	0	244

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	21	37	74	89	24	245

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	104	101	35	5	245
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	99	100	43	3	245
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	118	86	33	8	245
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	115	104	26	0	245
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	118	105	20	2	245
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	135	92	17	1	245
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	129	99	17	0	245
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	137	93	15	0	245
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	126	94	23	2	245
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	136	90	18	0	244
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	134	93	16	1	244



2017年度前期　演習科目

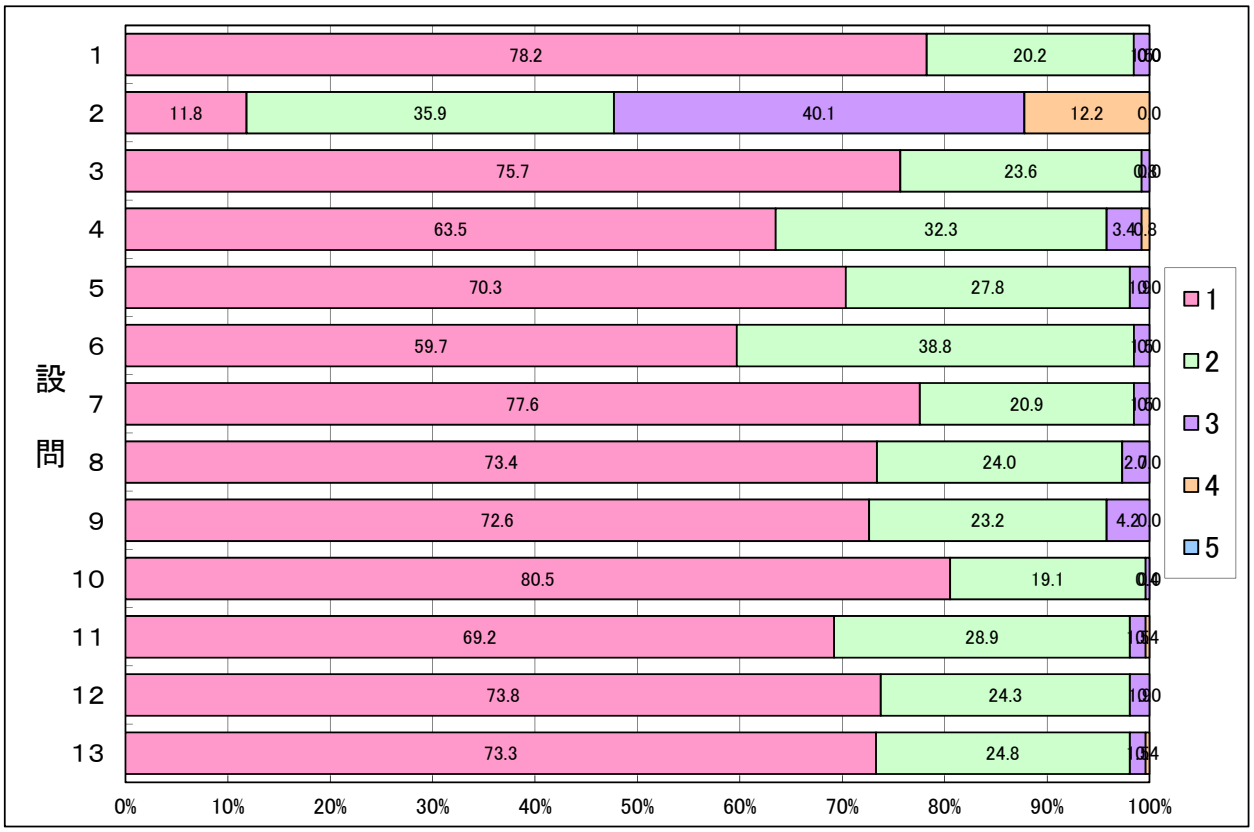
授業評価アンケート集計結果

心理学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	205	53	4	0	0	262

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	31	94	105	32	0	262

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	199	62	2	0	263
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	167	85	9	2	263
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	185	73	5	0	263
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	157	102	4	0	263
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	204	55	4	0	263
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	193	63	7	0	263
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	191	61	11	0	263
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	211	50	1	0	262
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	182	76	4	1	263
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	194	64	5	0	263
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	192	65	4	1	262



2017年度前期　演習科目

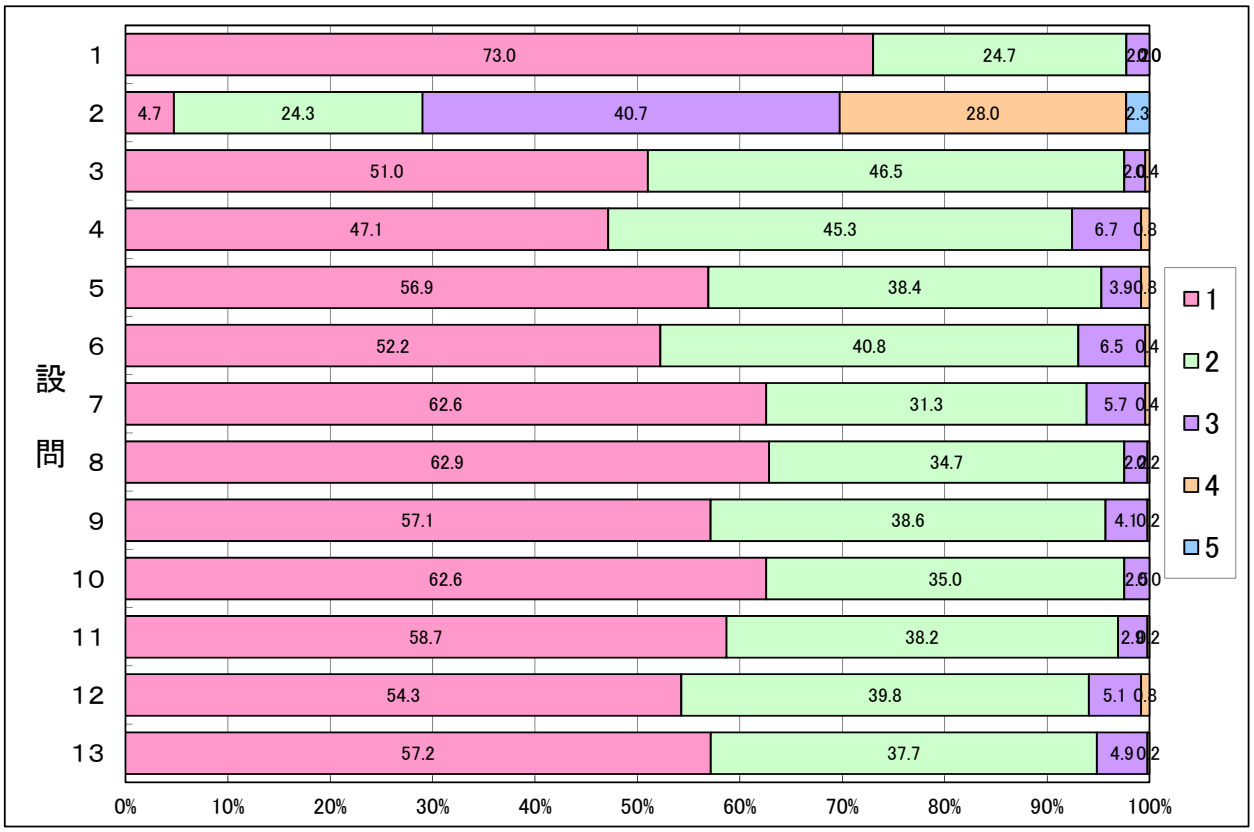
授業評価アンケート集計結果

コミュニケーション専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	357	121	11	0	0	489

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	23	118	198	136	11	486

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	250	228	10	2	490
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	231	222	33	4	490
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	279	188	19	4	490
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	256	200	32	2	490
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	306	153	28	2	489
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	308	170	11	1	490
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	280	189	20	1	490
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	306	171	12	0	489
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	287	187	14	1	489
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	266	195	25	4	490
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	279	184	24	1	488



2017年度前期　演習科目

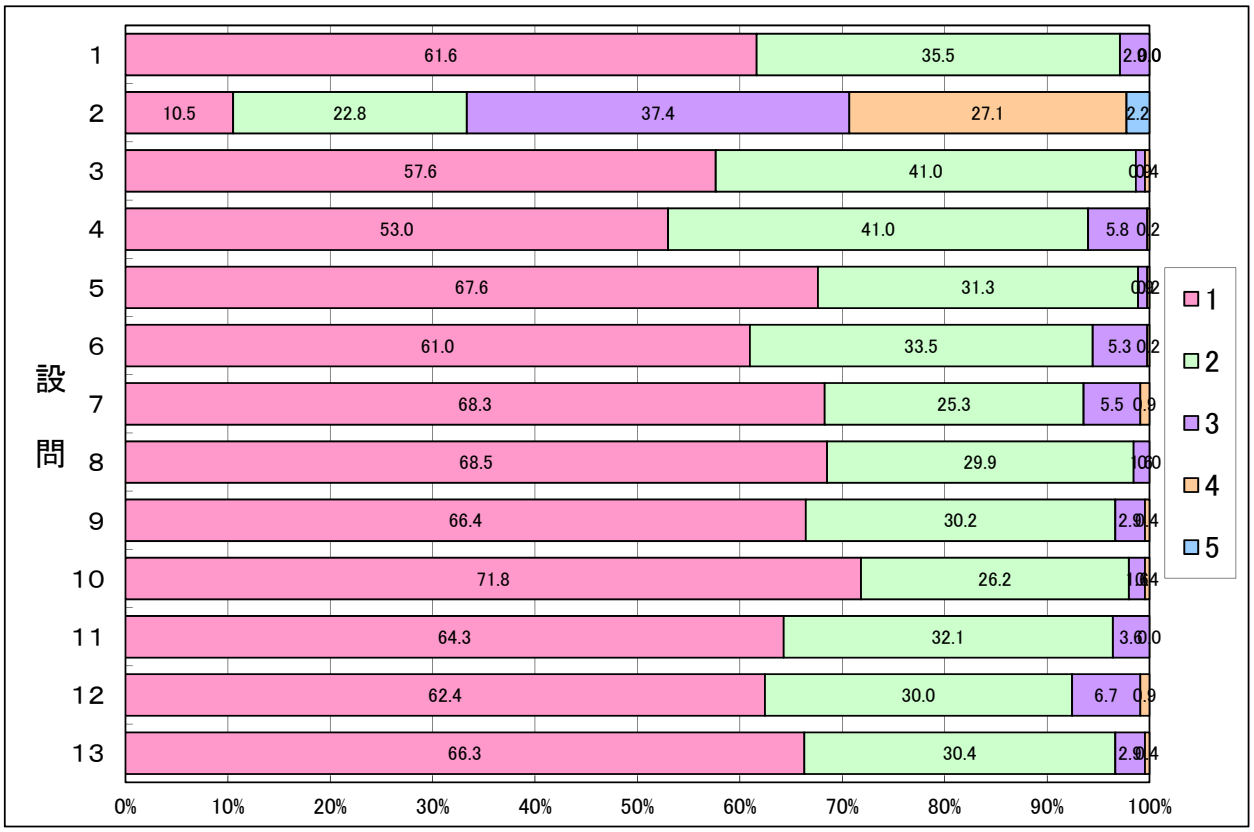
授業評価アンケート集計結果

言語科学専攻

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	278	160	13	0	0	451

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	47	102	167	121	10	447

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	260	185	4	2	451
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	239	185	26	1	451
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	305	141	4	1	451
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	275	151	24	1	451
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	308	114	25	4	451
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	309	135	7	0	451
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	299	136	13	2	450
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	324	118	7	2	451
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	288	144	16	0	448
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	281	135	30	4	450
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	299	137	13	2	451



2017年度前期　演習科目

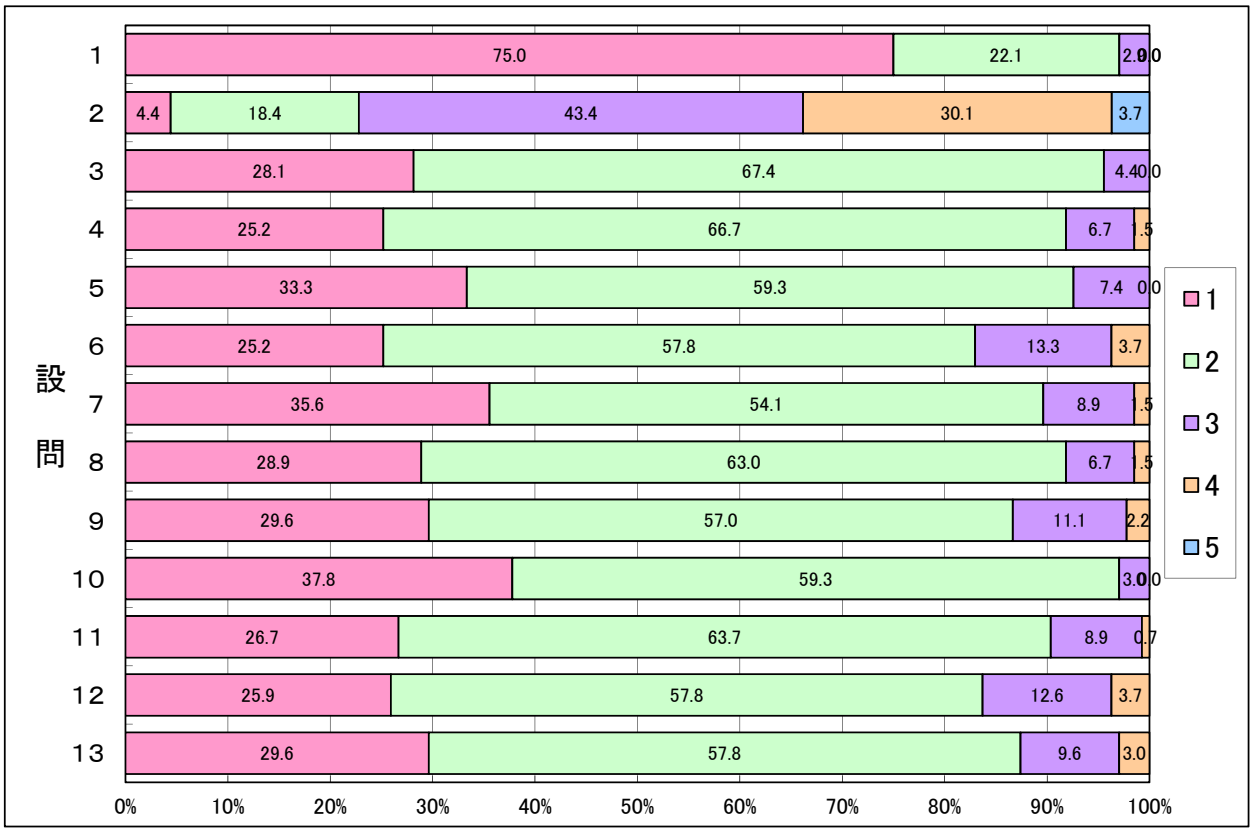
授業評価アンケート集計結果

数理科学科共通

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	102	30	4	0	0	136

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	6	25	59	41	5	136

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	38	91	6	0	135
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	34	90	9	2	135
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	45	80	10	0	135
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	34	78	18	5	135
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	48	73	12	2	135
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	39	85	9	2	135
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	40	77	15	3	135
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	51	80	4	0	135
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	36	86	12	1	135
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	35	78	17	5	135
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	40	78	13	4	135



2017年度前期　女性学･ジェンダー関係科目

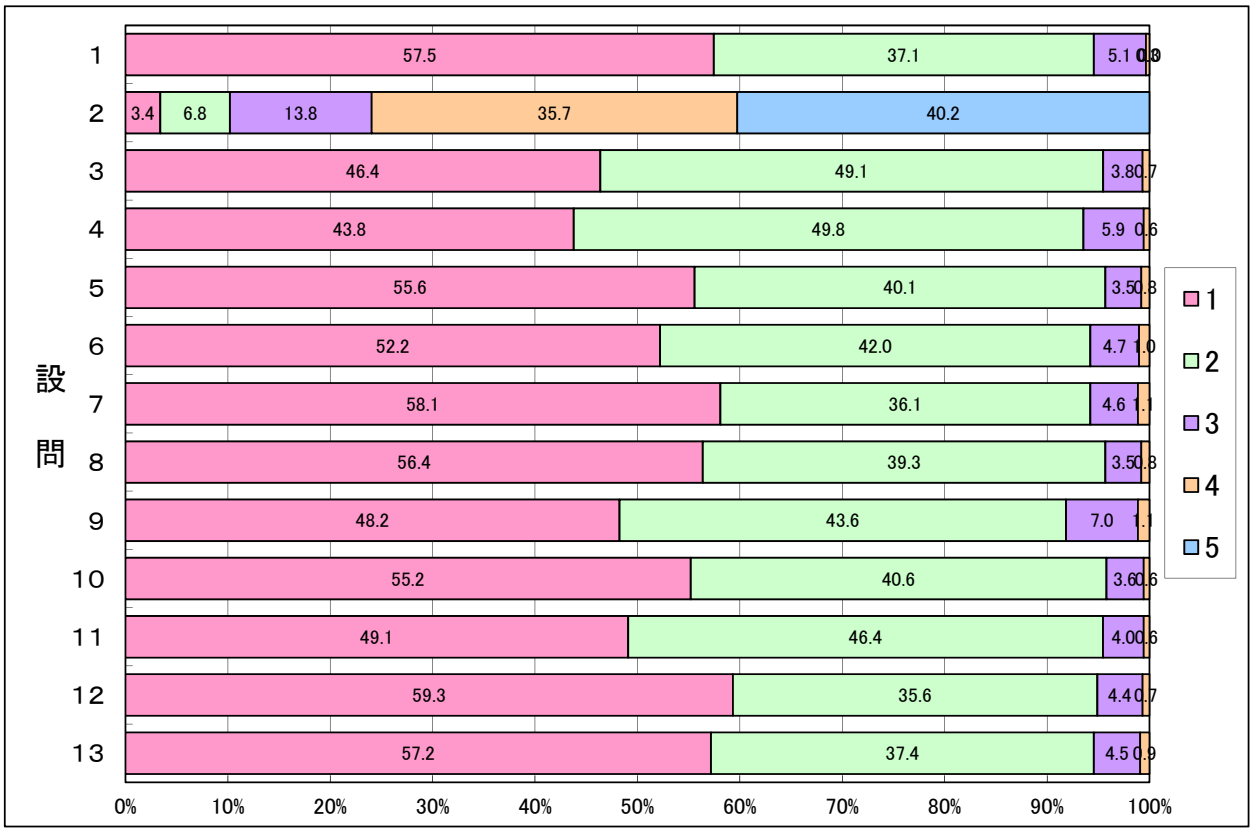
授業評価アンケート集計結果

現代教養学部

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	508	328	45	3	0	884

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	30	60	122	315	355	882

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	410	434	34	6	884
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	387	440	52	5	884
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	492	355	31	7	885
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	462	372	42	9	885
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	513	319	41	10	883
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	499	348	31	7	885
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	426	385	62	10	883
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	488	359	32	5	884
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	433	409	35	5	882
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	525	315	39	6	885
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	506	331	40	8	885



2017年度前期　履修者数別

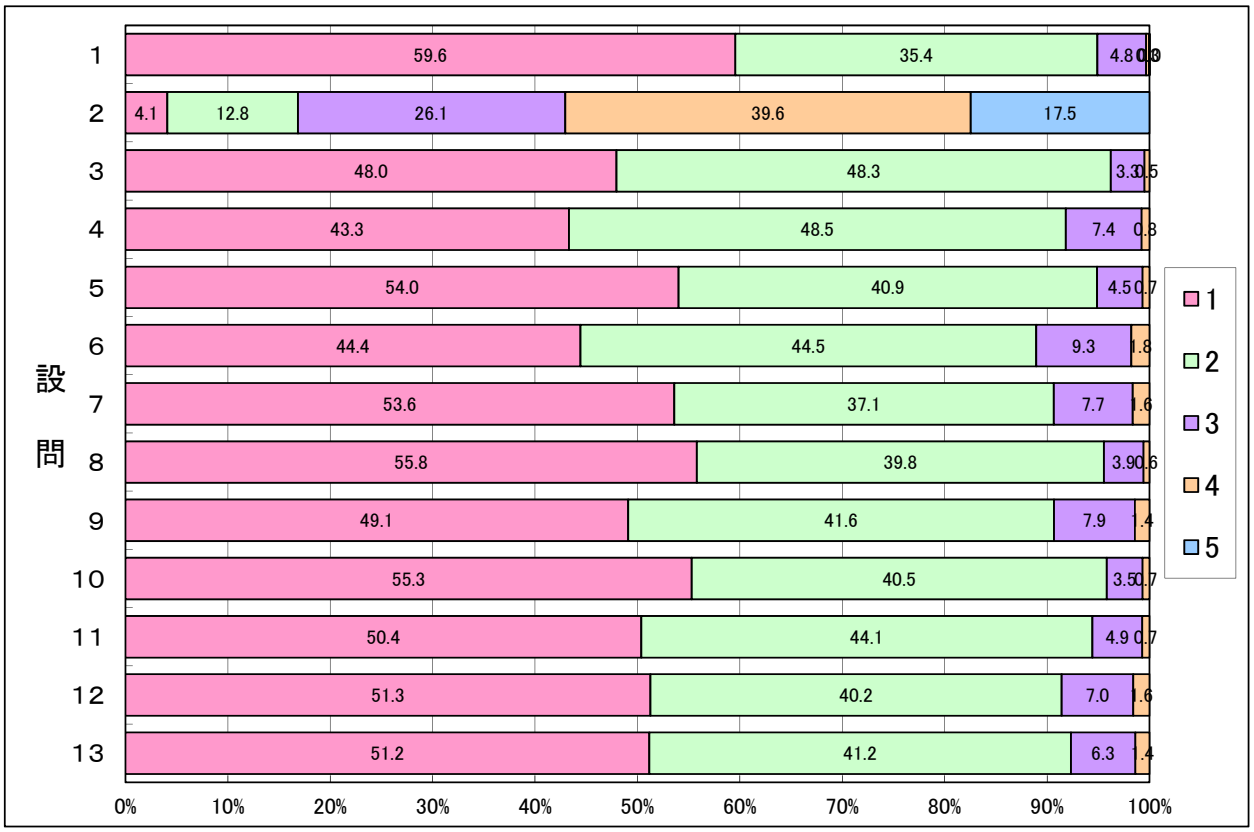
授業評価アンケート集計結果

100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	6,084	3,612	487	32	1	10,216

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	416	1,298	2,656	4,028	1,776	10,174

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	4,902	4,935	336	49	10,222
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	4,426	4,960	755	79	10,220
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	5,519	4,173	455	68	10,215
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	4,538	4,546	949	180	10,213
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	5,473	3,783	788	166	10,210
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	5,702	4,063	394	59	10,218
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	5,013	4,247	805	146	10,211
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	5,648	4,139	356	69	10,212
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	5,140	4,495	497	71	10,203
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	5,238	4,104	713	162	10,217
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	5,221	4,203	642	140	10,206



2017年度前期　履修者数別

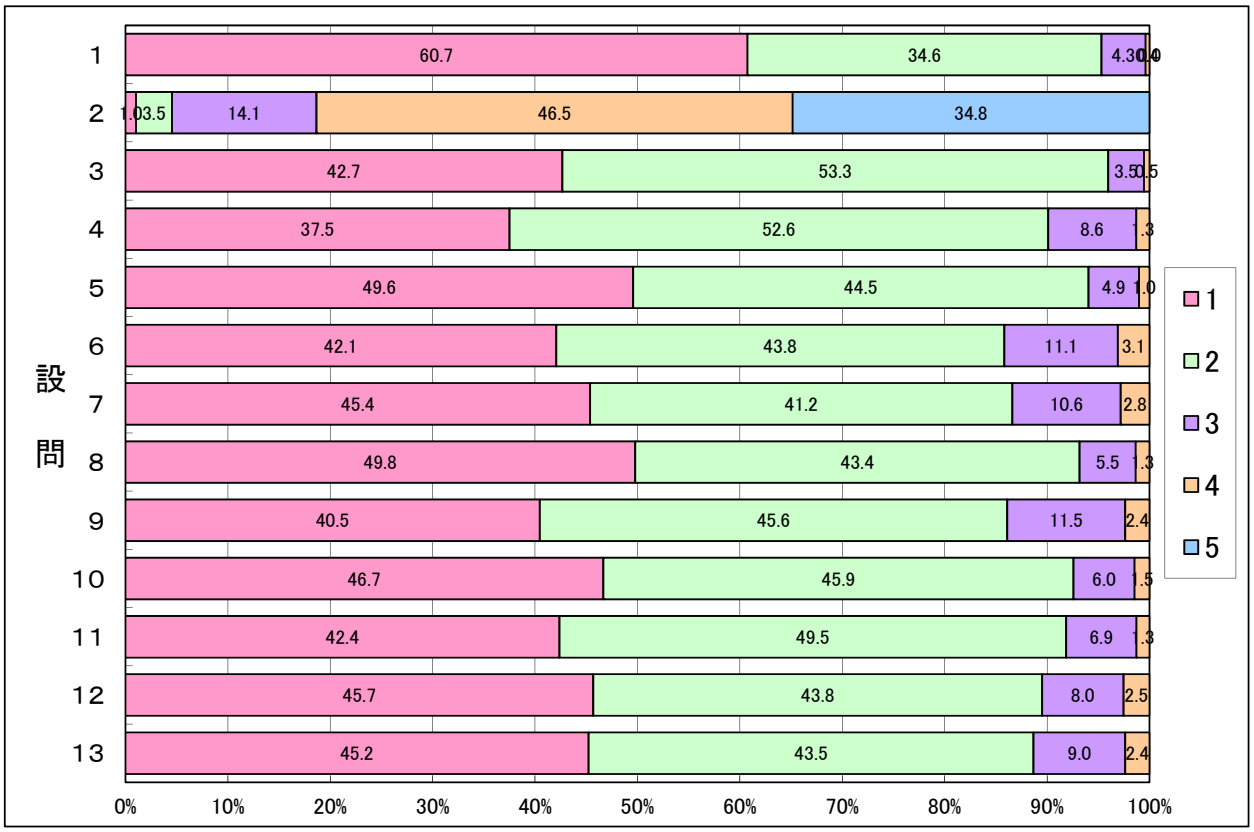
授業評価アンケート集計結果

101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	2,261	1,287	160	14	0	3,722

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	38	131	525	1,728	1,295	3,717

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	1,590	1,987	130	20	3,727
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	1,396	1,958	320	48	3,722
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,845	1,655	183	38	3,721
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,567	1,630	413	115	3,725
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,689	1,535	394	104	3,722
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,854	1,616	204	50	3,724
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	1,507	1,700	429	88	3,724
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,736	1,708	222	54	3,720
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	1,575	1,839	255	47	3,716
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	1,701	1,632	296	94	3,723
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,682	1,616	333	88	3,719



2017年度前期　履修者数別

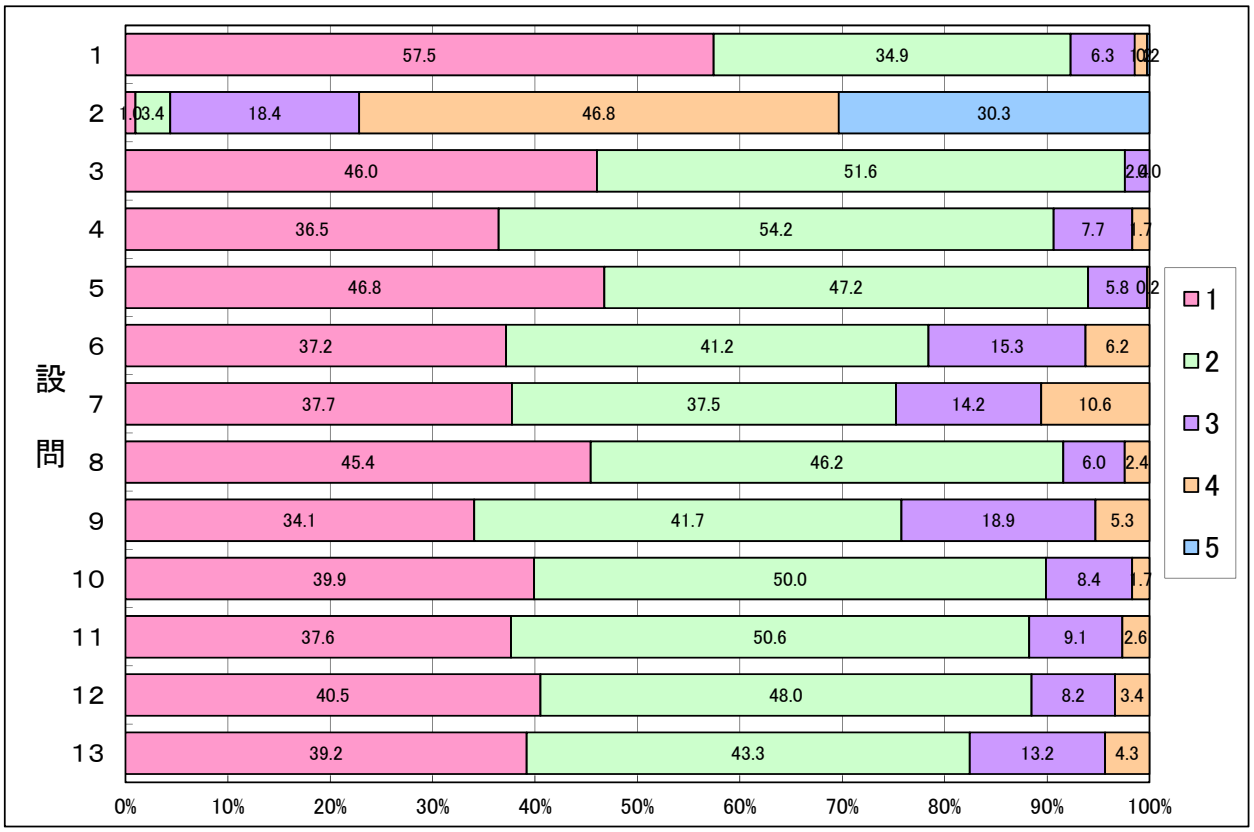
授業評価アンケート集計結果

201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	239	145	26	5	1	416

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	14	76	193	125	412

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	192	215	10	0	417
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	152	226	32	7	417
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	195	197	24	1	417
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	155	172	64	26	417
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	157	156	59	44	416
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	189	192	25	10	416
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	142	174	79	22	417
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	166	208	35	7	416
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	157	211	38	11	417
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	169	200	34	14	417
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	163	180	55	18	416

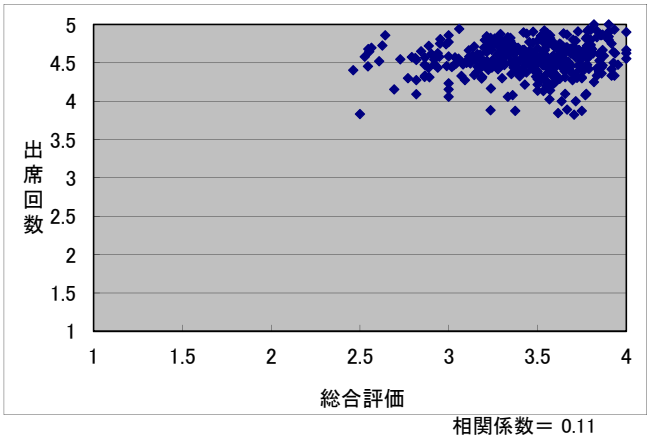


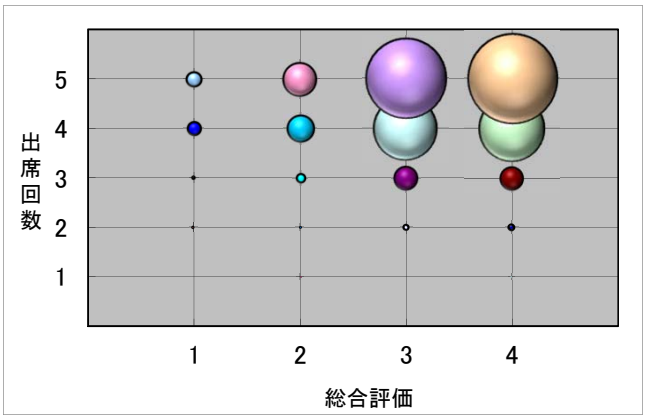
授業評価アンケート集計結果

2017年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

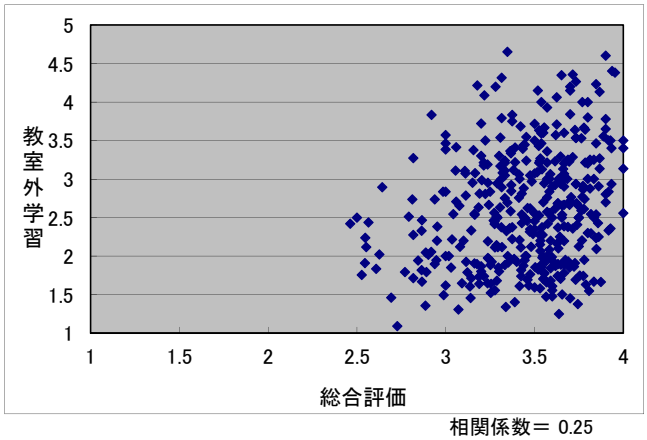
総合評価と出席回数（設問1）の関係

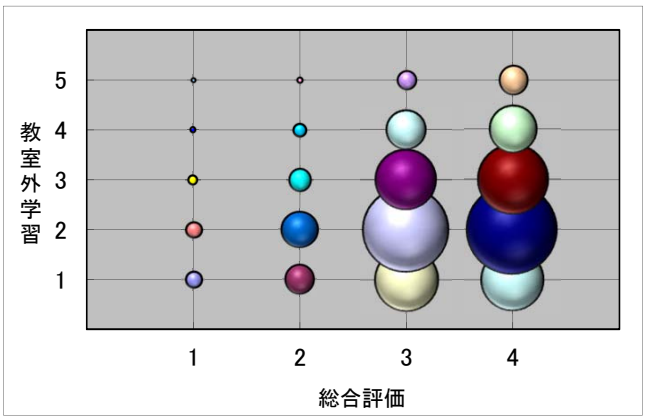




相関係数＝ 0.11

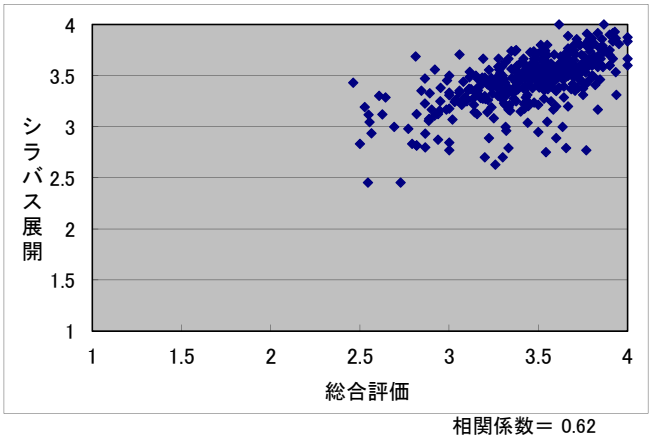
総合評価と教室外学習（設問2）の関係

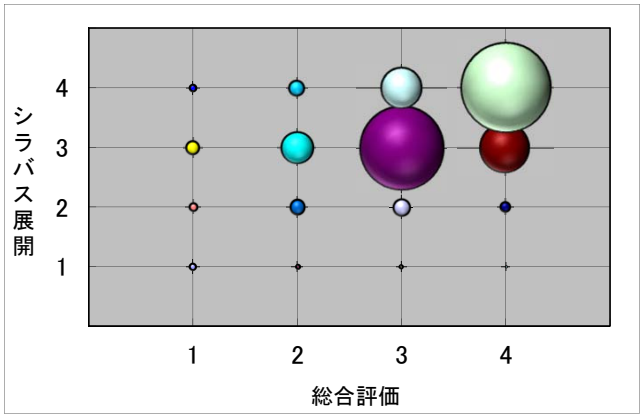




相関係数＝ 0.25

総合評価とシラバス展開（設問3）の関係





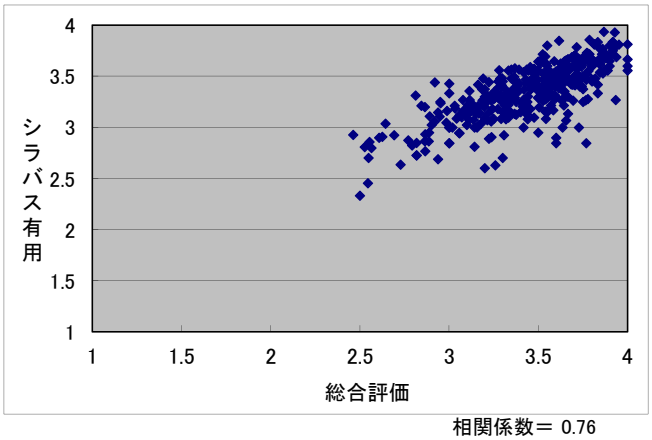
相関係数＝ 0.62

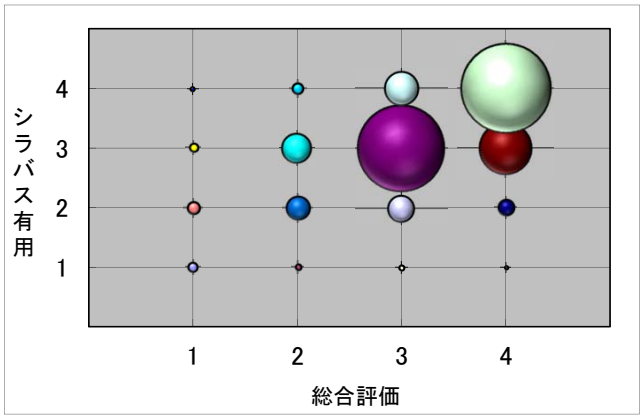
授業評価アンケート集計結果

2017年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

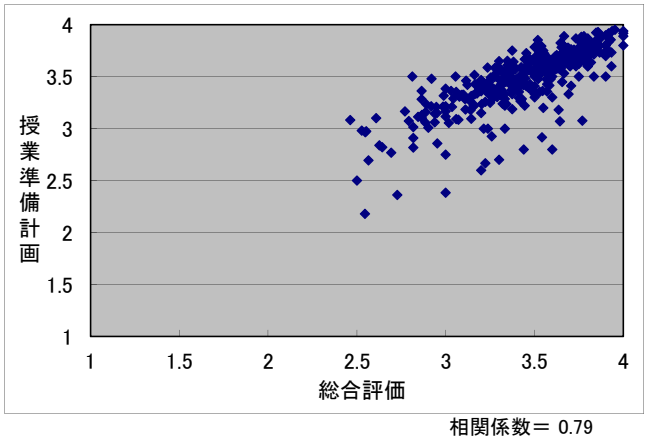
総合評価とシラバス有用（設問4）の関係

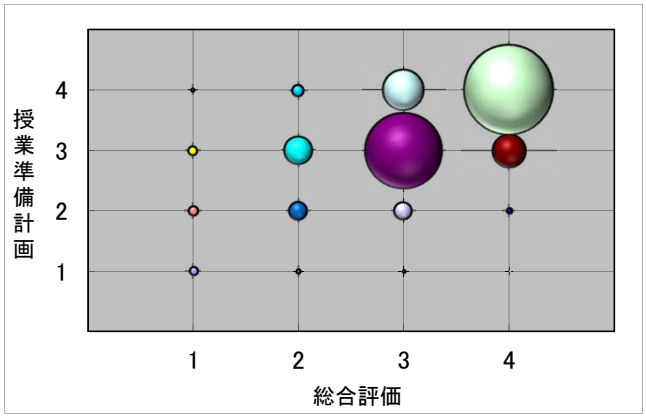




相関係数＝ 0.76

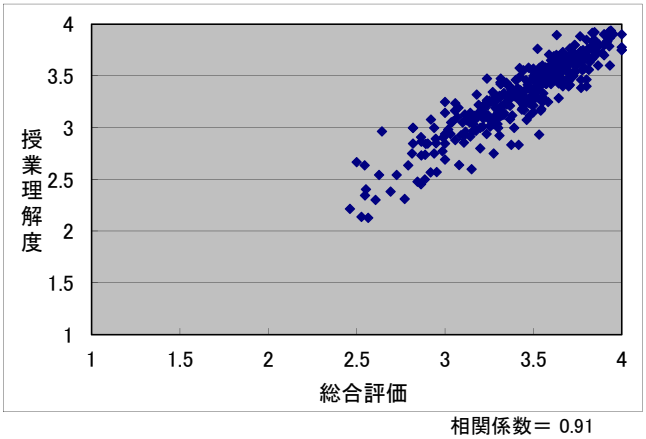
総合評価と授業準備計画（設問5）の関係

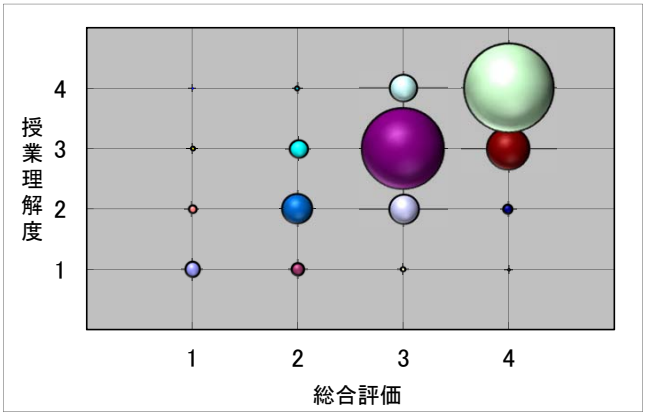




相関係数＝ 0.79

総合評価と授業理解度（設問6）の関係





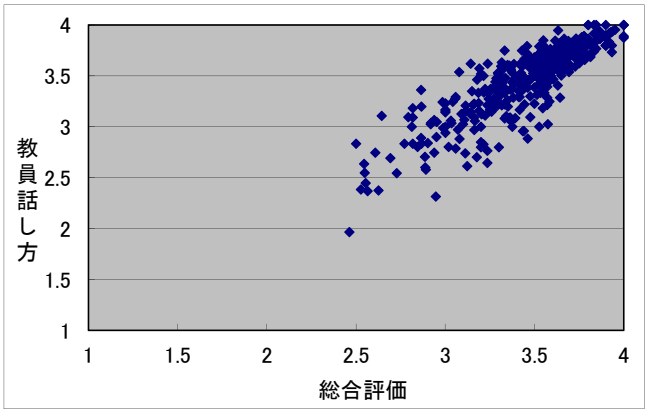
相関係数＝ 0.91

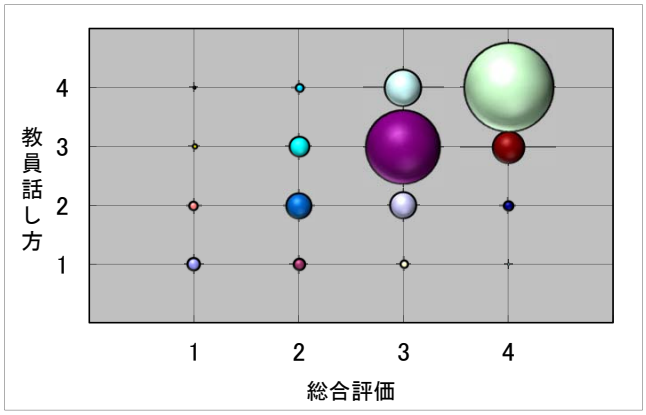
授業評価アンケート集計結果

2017年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

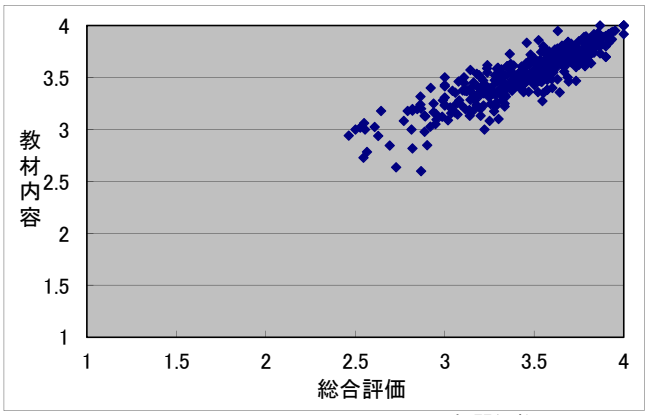
総合評価と教員話し方（設問7）の関係

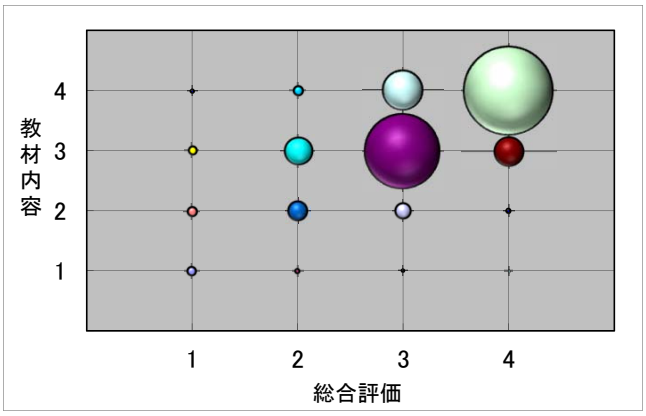




相関係数＝ 0.86

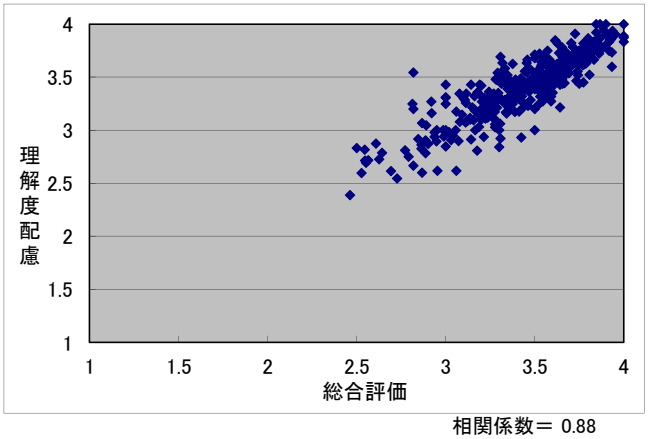
総合評価と教材内容（設問8）の関係

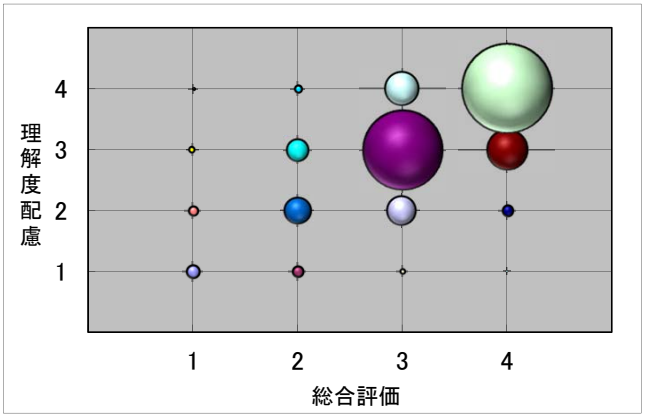




相関係数＝ 0.88

総合評価と理解度配慮（設問9）の関係





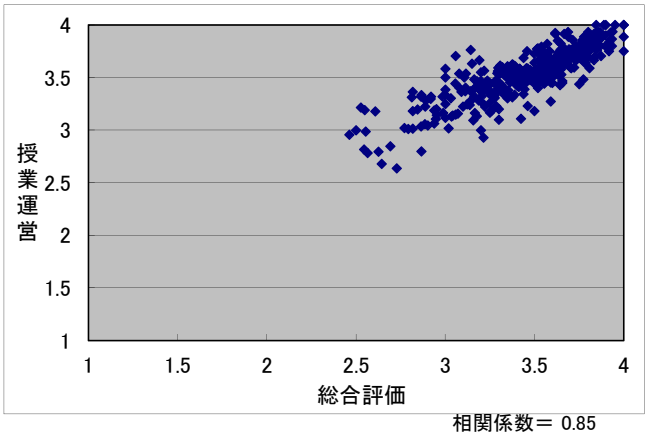
相関係数＝ 0.88

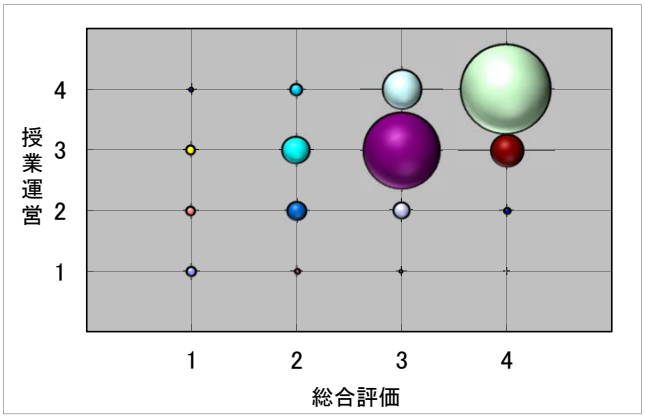
授業評価アンケート集計結果

2017年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

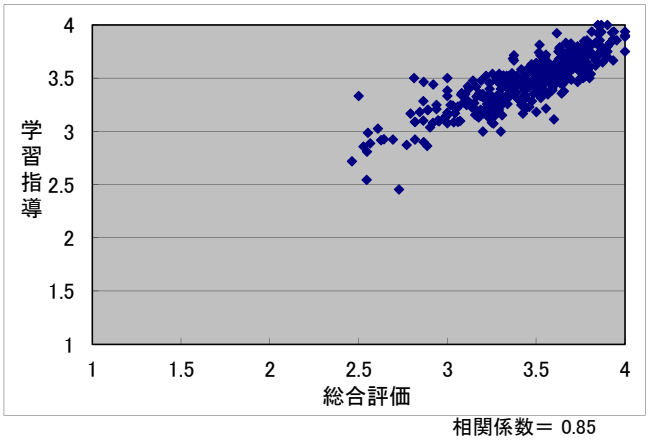
総合評価と授業運営（設問10）の関係

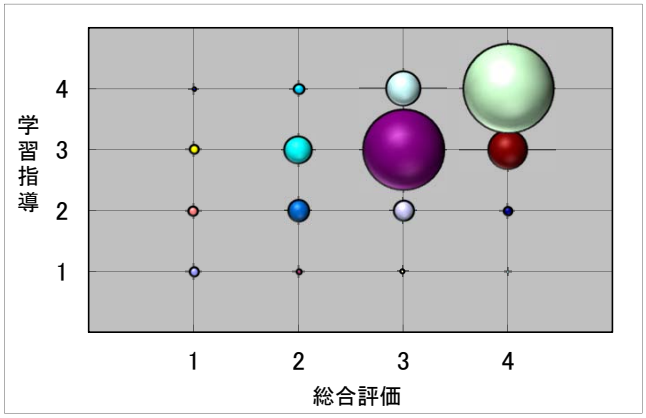




相関係数＝ 0.85

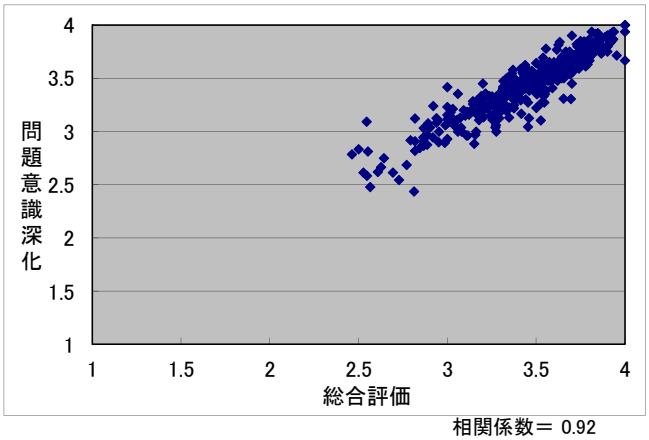
総合評価と学習指導（設問11）の関係

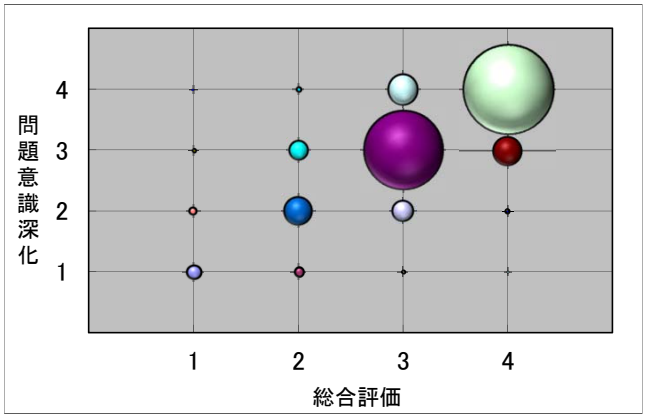




相関係数＝ 0.85

総合評価と問題意識深化（設問12）の関係





相関係数＝ 0.92

２０１６年度前期

「学生による授業評価」アンケート集計結果

学科科目以外の授業科目

2017 年 1 月

東京女子大学ＦＤ委員会

2016年度前期「学生による授業評価」アンケート実施結果概要

今回のアンケートも、先生方及び履修者の協力を得て、下記の通り多くの対象科目で実施することができました。

個別の授業別集計結果については、2016年9月下旬に担当教員にお渡ししています。

学部全体集計、科目別集計等については、次頁以降に掲載します。

記

実施機関：　東京女子大学ＦＤ委員会

目　　的：　受講者の意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における全学共通カリキュラム等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的とする。

実施期間：　2016年7月6日（水）～7月20日（水）　※各授業、期間中に1回実施

実施対象：　学科科目以外の授業科目

対象科目：　470科目

＊現代教養学部13課程（2013年度以降入学者に適用）が、現代教養学部09課程（2012年度以前入学者に適用）と共通開講の場合は、現代教養学部13課程の授業として実施・集計した。

実施科目：　430科目

実 施 率：　91.5%

開　　示：　専任教職員・本学学生には本学公式Webサイト上でインターネット開示するとともに、学内の次の場所で紙媒体で開示します。非常勤講師には紙媒体で開示します。

本学公式Webサイト

教職員（専任教職員のみ）　http://office.twcu.ac.jp/univ/staff/news_list.html

学　生　http://office.twcu.ac.jp/univ/students/news_list.html

紙媒体閲覧場所

教職員（非常勤講師を含む）

図書館、教育研究支援課、学科・専攻オフィス、

全学共通教育センター、教職課程・学芸員課程、女性学研究所

学　生　図書館、教育研究支援課

SAMPLE

「学生による授業評価」アンケート

2016年度(前期)

このアンケートは、受講者の皆さんの意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における全学共通カリキュラム等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的として実施します。
回答は、無記名です。回答の内容は統計的に処理され、誰がどのように回答したかわかることは一切ありません。
成績評価に反映されることもありません。
アンケートの回収、封入は皆さんの中の協力者にお願いします。
全体集計、科目別集計等の集計結果は、来学期初めに本学公式ウェブサイト、図書館、教育研究支援課で閲覧することができます。

東京女子大学ＦＤ委員会

注意事項	
	・この用紙を折ったり、汚したりしないでください。 ・マークは直接機械にかけるため、選択肢の ⬭ 印を例のように塗りつぶしてください。 ・回答には必ずＨＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。 （例）　良いマーク ●　悪いマーク ●⬭ ✓ ⬭ ●

A．学年　（1）1年　（2）2年　（3）3年　（4）4年　（5）院生　（6）それ以外	① ⑥	②	③	④	⑤
B．専攻　（1）哲　（2）日　（3）英　（4）史　（5）国 （6）経　（7）社　（8）心　（9）コミュ　（10）言 （11）数　（12）情	① ⑥ ⑪	② ⑦ ⑫	③ ⑧	④ ⑨	⑤ ⑩

	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
1）あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	①	②	③	④	⑤

	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
2）この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	①	②	③	④	⑤

	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
3）この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	①	②	③	④
4）この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	①	②	③	④
5）この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	①	②	③	④
6）授業の内容は、よく理解できましたか。	①	②	③	④
7）教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	①	②	③	④
8）教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	①	②	③	④
9）教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	①	②	③	④
10）教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	①	②	③	④
11）教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	①	②	③	④
12）授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	①	②	③	④
13）総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	①	②	③	④

●以下の問14～16は、この授業が、外国語英語（必修）の場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14）（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	①	②	③	④
15）（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	①	②	③	④
16）（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	①	②	③	④

●以下の問17は、この授業が、情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
17）（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	①	②	③	④

●以下の問18～20は、この授業が、日本語表現法Ⅰの場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
18）（この授業が日本語表現法Ⅰの場合）文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	①	②	③	④
19）（この授業が日本語表現法Ⅰの場合）論理的・説得的な文章表現・口頭表現ができるようになりましたか。	①	②	③	④
20）（この授業が日本語表現法Ⅰの場合）学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	①	②	③	④

●以下の問21～23は、この授業担当教員の個別の設問ですので、教員の指示に従って回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
21）個別設問 1	①	②	③	④
22）個別設問 2	①	②	③	④
23）個別設問 3	①	②	③	④

（裏面に続く）

自由回答欄

この授業の良かった点、あるいは改善すべき点は何ですか。改善すべき点については、単なる批判でなく授業の改善につながるような建設的な意見を、簡潔に50字程度で書いて下さい。

2016年度前期　授業評価アンケート集計結果

§§　目次　§§

全体集計		1
科目別集計	リベラル・スタディーズ	２－１
	総合教養科目	２－１－１
	総合教養科目（女性の生きる力）	２－１－１－１
	総合教養科目（人間と自然科学）	２－１－１－２
	総合教養科目（人間自身を知る）	２－１－１－３
	総合教養科目（人間の知的生産）	２－１－１－４
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）	２－１－１－５
	総合教養科目（女性のウェルネス）	２－１－１－６
	総合教養科目（女性のウェルネス）（必修）	２－１－１－６－１
	総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）	２－１－１－６－２
	総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・実習）	２－１－１－６－３
	総合教養科目（演習）	２－１－１－７
	キリスト教学科目	２－１－２
	アカデミック・スキル科目（※フランス語（選択）、スペイン語（選択）、ギリシア語・ラテン語各1件を含む）	２－２
	英語（必修）	２－２－１
	Communication Skills	２－２－１－１
	Discussion Skills	２－２－１－２
	Reading Ⅰ	２－２－１－３
	Reading Ⅱ	２－２－１－４
	英語（選択）	２－２－２
	ドイツ語（選択必修）	２－２－３
	ドイツ語（選択）	２－２－４
	フランス語（選択必修）	２－２－５
	スペイン語（選択必修）	２－２－６
	中国語（選択必修）	２－２－７
	中国語（選択）	２－２－８
	韓国語（選択必修）	２－２－９
	韓国語（選択）	２－２-１０
	日本語科目（日本語表現法Ⅰ）	２－２-１１
	情報処理科目	２－２-１２
	教職特設科目	２－３
	教職課程科目	２－４
	学芸員課程科目	２－５
女性学・ジェンダー関係科目集計	学科科目以外	3
履修者数別集計	総合教養科目（女性の生きる力）　101名以上200名以下（100名以下の科目1件は除く）	４－１
	総合教養科目（女性の生きる力）　201名以上300名以下	４－２
	総合教養科目（人間と自然科学）　100名以下	４－３
	総合教養科目（人間と自然科学）　101名以上200名以下	４－４
	総合教養科目（人間と自然科学）　201名以上300名以下	４－５
	総合教養科目（人間自身を知る）　100名以下	４－６
	総合教養科目（人間自身を知る）　101名以上300名以下（201名以上300名以下の科目1件を含む）	４－７
	総合教養科目（人間の知的生産）　100名以下	４－８
	総合教養科目（人間の知的生産）　101名以上200名以下	４－９
	総合教養科目（人間の知的生産）　201名以上300名以下	４-１０
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）　100名以下	４-１１
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）　101名以上200名以下	４-１２
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）　201名以上300名以下	４-１３
	総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）　101名以上200名以下（100名以下の科目、301名以上400名以下の科目各1件は除く）	４-１４
散布図＋バブルチャート	設問13（総合評価）	5

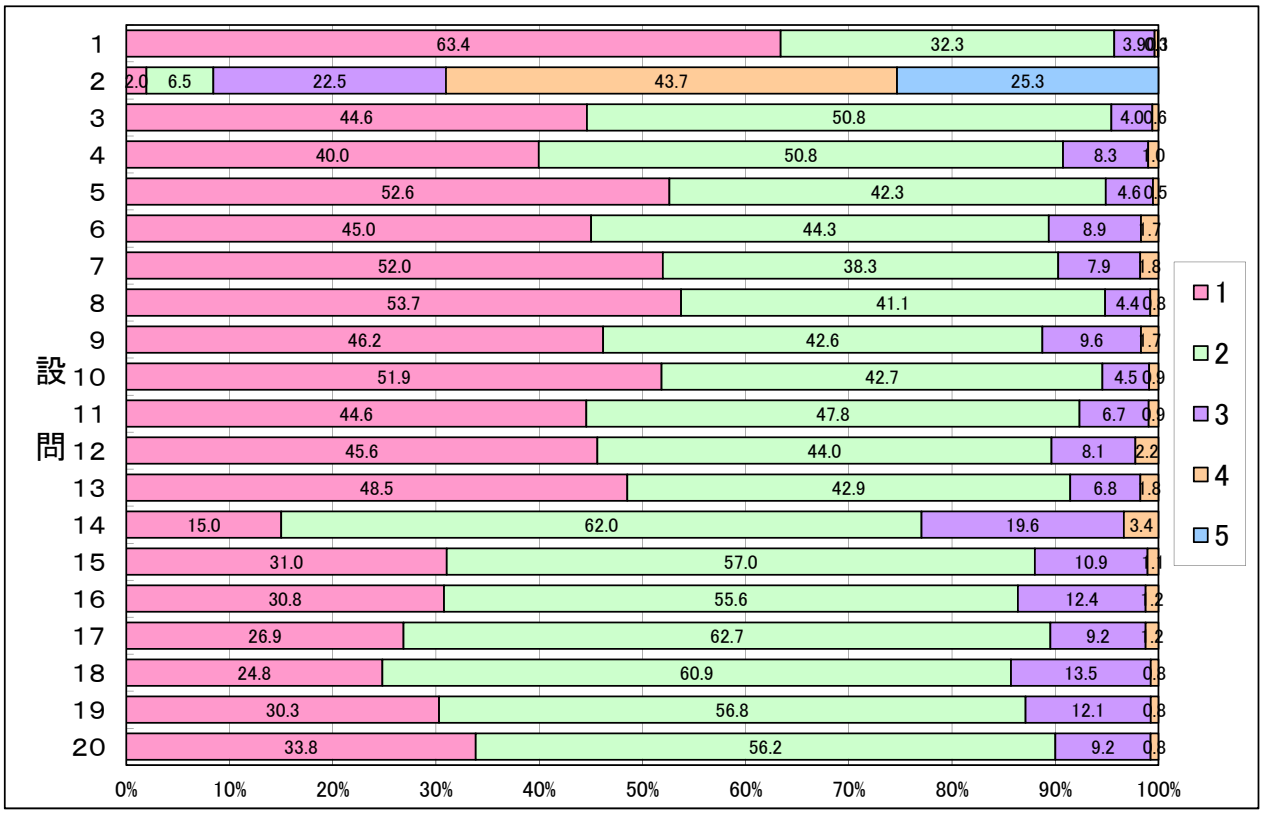
2016年度前期　全体集計

授業評価アンケート集計結果

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	10,428	5,318	642	54	9	16,451

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	320	1,062	3,696	7,166	4,155	16,399

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	7,350	8,369	655	97	16,471
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	6,580	8,363	1,360	164	16,467
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	8,655	6,955	753	88	16,451
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	7,412	7,299	1,472	279	16,462
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	8,554	6,306	1,306	292	16,458
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	8,815	6,740	717	130	16,402
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	7,602	7,003	1,573	279	16,457
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	8,534	7,029	745	148	16,456
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	7,301	7,826	1,099	155	16,381
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	7,501	7,233	1,337	367	16,438
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	7,977	7,054	1,116	289	16,436
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReadingⅡの場合）読解力が向上しましたか。	255	1,054	333	57	1,699
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	500	918	176	17	1,611
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	495	894	199	20	1,608
設問17	（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	195	455	67	9	726
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	33	81	18	1	133
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	40	75	16	1	132
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	44	73	12	1	130



2016年度前期　科目別

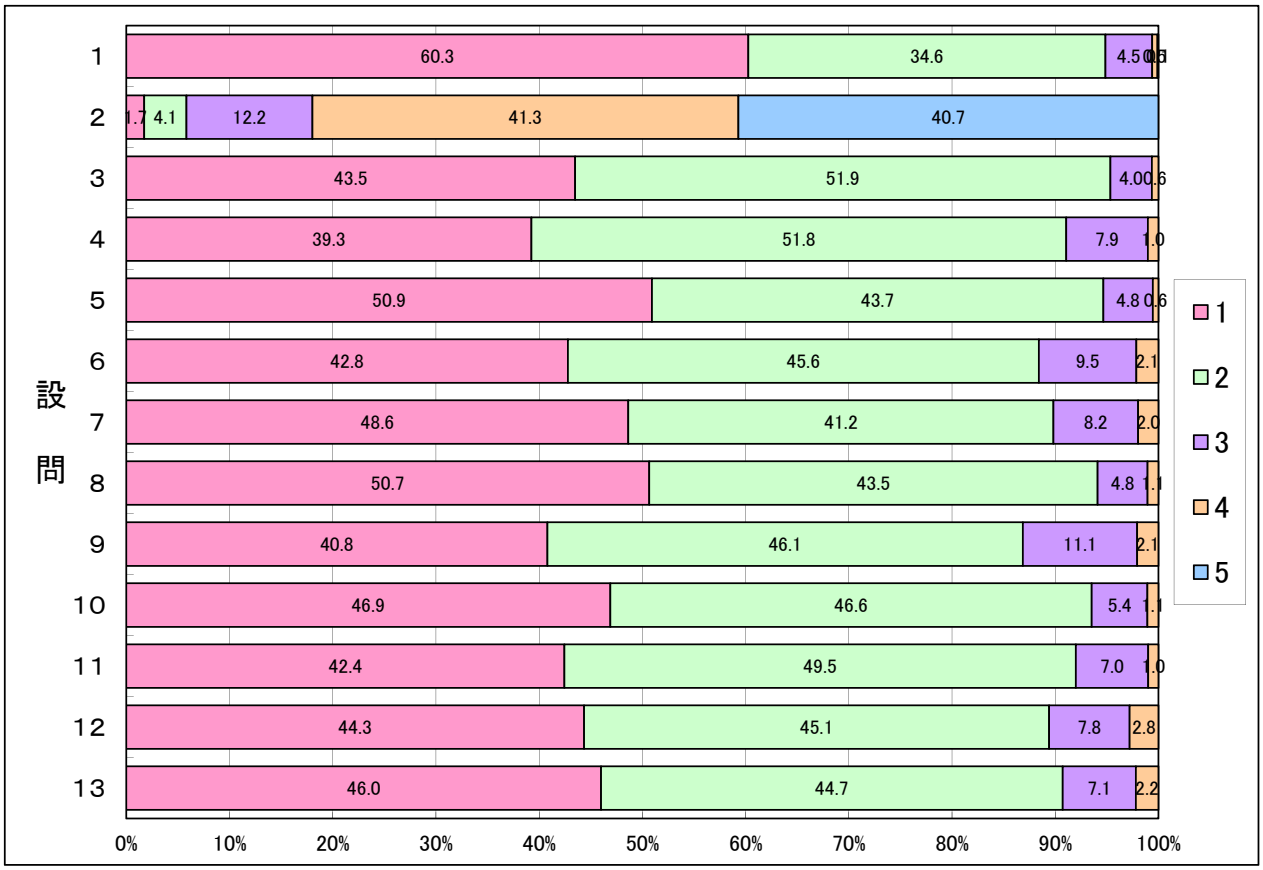
授業評価アンケート集計結果

リベラル・スタディーズ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	5,012	2,878	376	43	8	8,317

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	144	339	1,011	3,421	3,374	8,289

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	3,622	4,320	334	54	8,330
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	3,267	4,312	658	86	8,323
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	4,237	3,639	399	46	8,321
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	3,560	3,796	787	178	8,321
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	4,047	3,427	682	165	8,321
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	4,186	3,591	400	87	8,264
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	3,395	3,833	921	172	8,321
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	3,901	3,881	449	89	8,320
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	3,509	4,096	580	82	8,267
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	3,688	3,747	649	232	8,316
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	3,822	3,717	589	182	8,310



2016年度前期　科目別

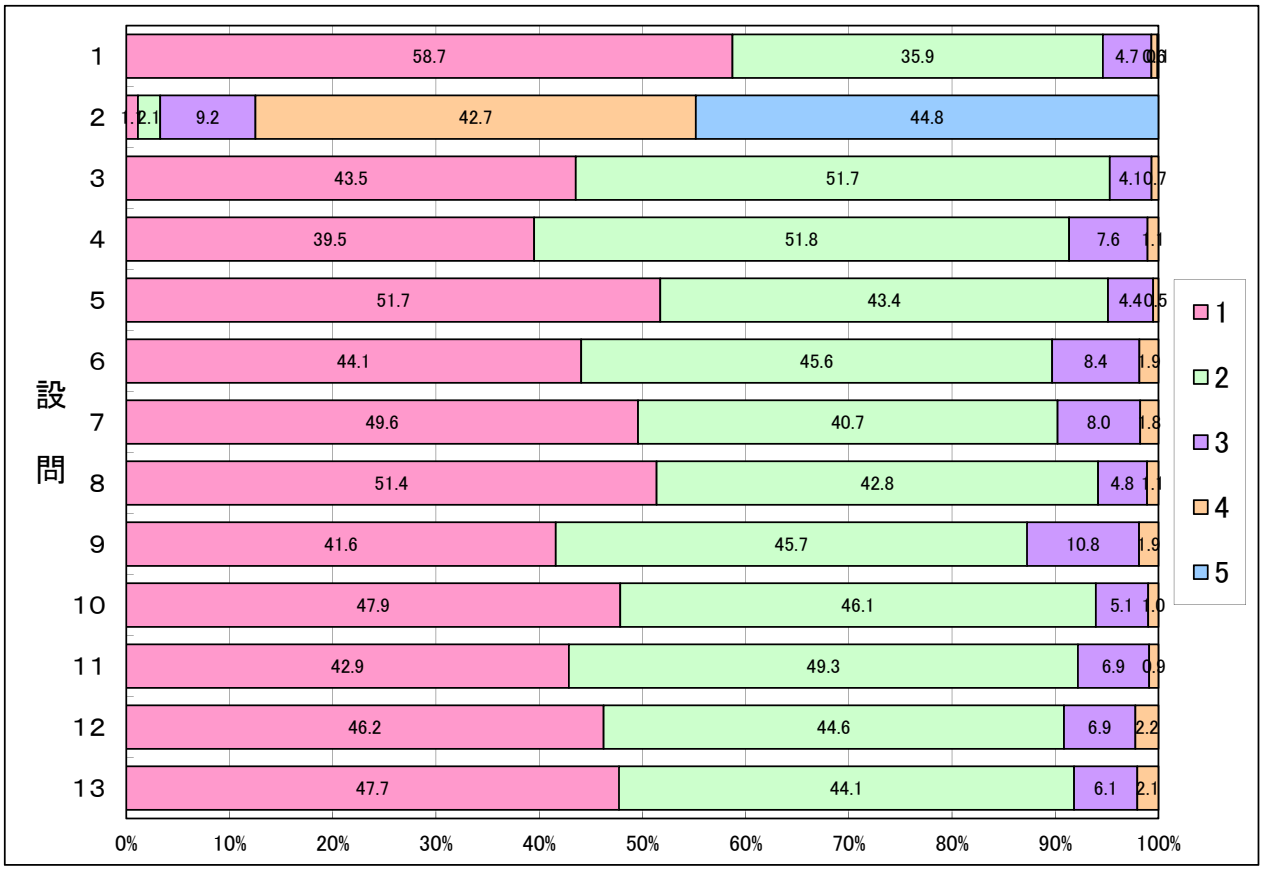
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	3,920	2,395	314	39	7	6,675

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	75	143	614	2,838	2,982	6,652

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	2,912	3,460	271	45	6,688
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	2,640	3,464	508	71	6,683
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	3,456	2,897	292	35	6,680
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	2,944	3,049	564	124	6,681
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	3,312	2,716	534	119	6,681
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	3,404	2,834	315	73	6,626
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	2,780	3,052	725	126	6,683
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	3,197	3,078	339	67	6,681
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	2,843	3,271	458	60	6,632
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	3,086	2,977	462	149	6,674
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	3,183	2,941	408	137	6,669



2016年度前期　科目別

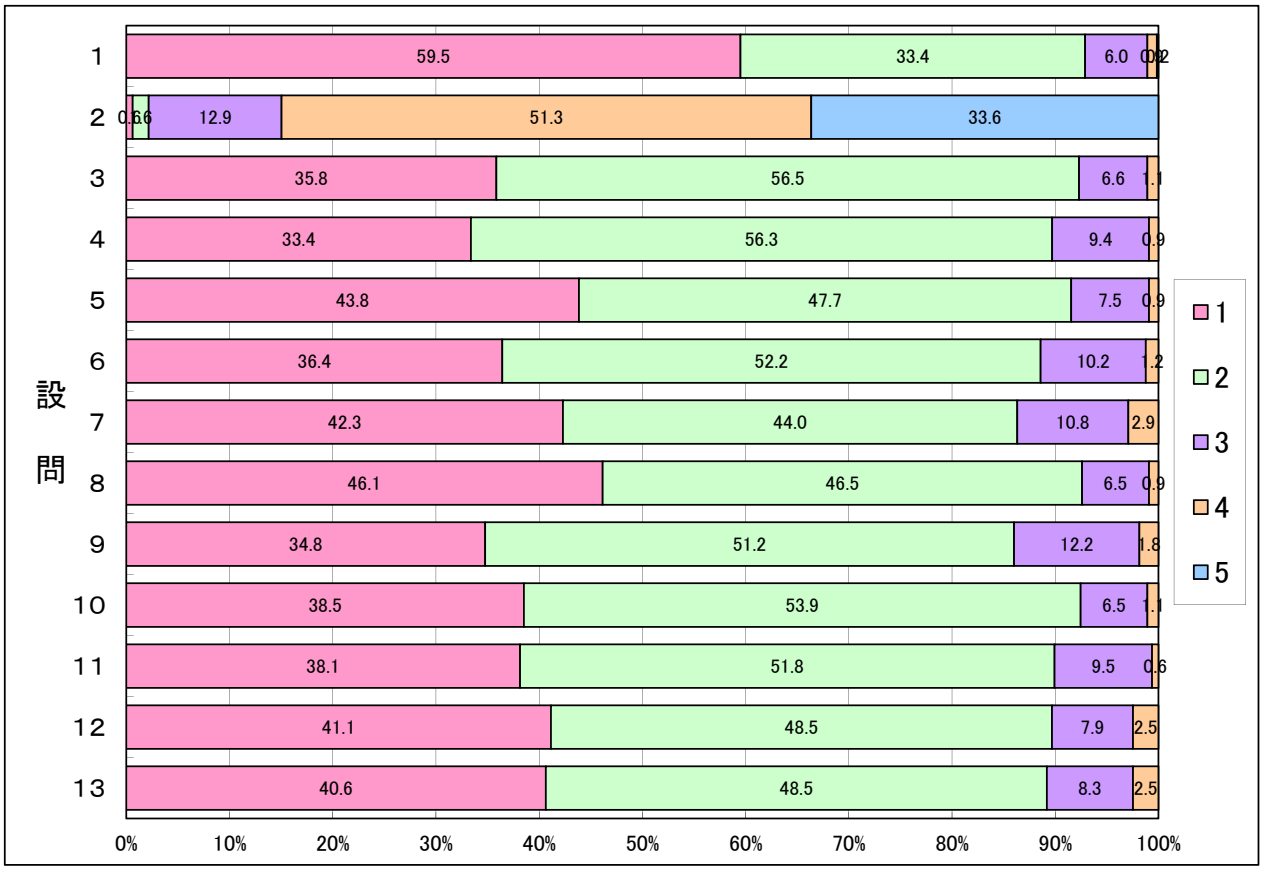
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性の生きる力）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	385	216	39	6	1	647

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	10	83	331	217	645

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	233	367	43	7	650
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	217	366	61	6	650
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	285	310	49	6	650
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	236	338	66	8	648
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	275	286	70	19	650
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	299	301	42	6	648
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	226	333	79	12	650
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	250	350	42	7	649
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	246	334	61	4	645
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	267	315	51	16	649
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	263	314	54	16	647



2016年度前期　科目別

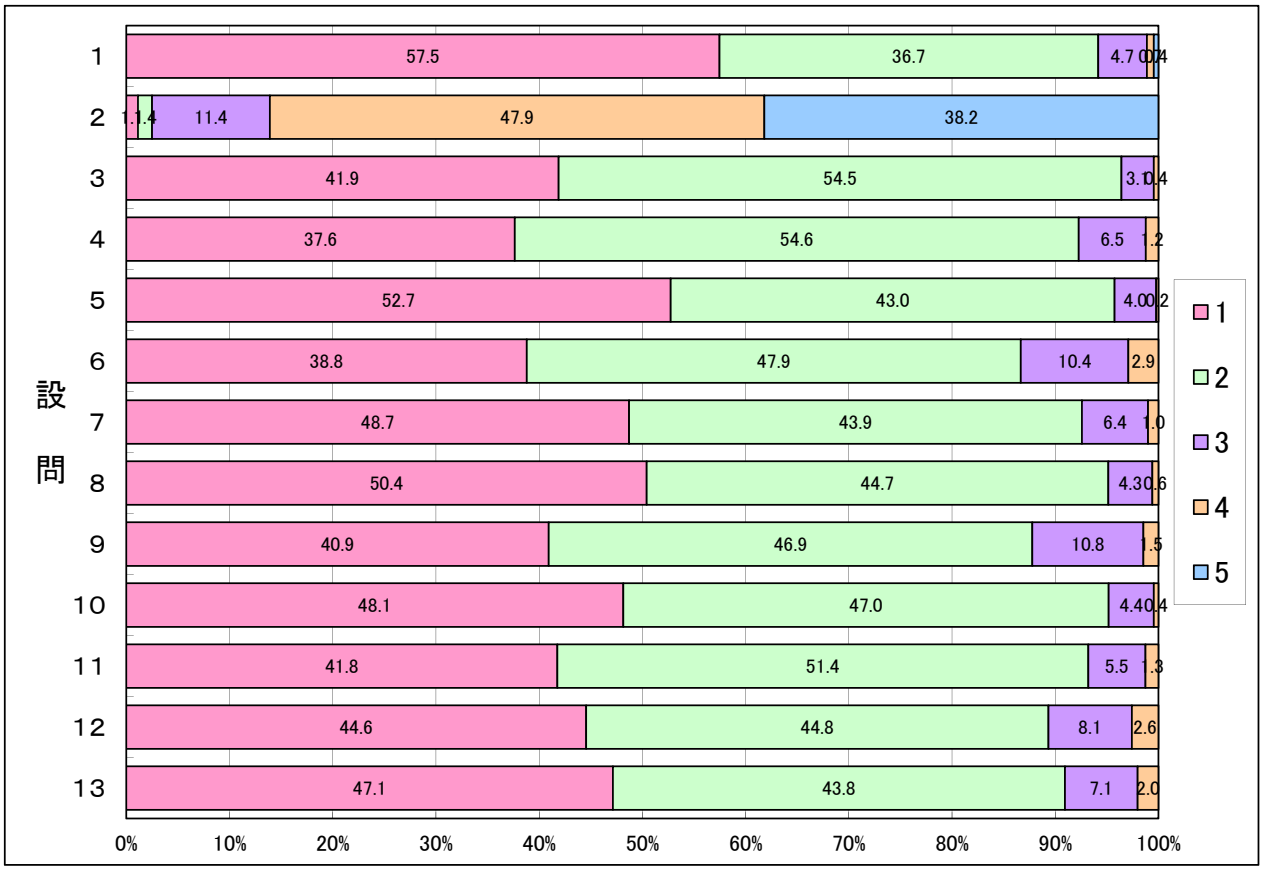
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	512	327	42	6	4	891

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	10	12	101	424	338	885

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	374	487	28	4	893
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	336	488	58	11	893
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	471	384	36	2	893
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	346	427	93	26	892
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	433	390	57	9	889
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	425	377	36	5	843
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	365	418	96	13	892
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	429	419	39	4	891
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	362	446	48	11	867
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	397	399	72	23	891
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	421	391	63	18	893



2016年度前期　科目別

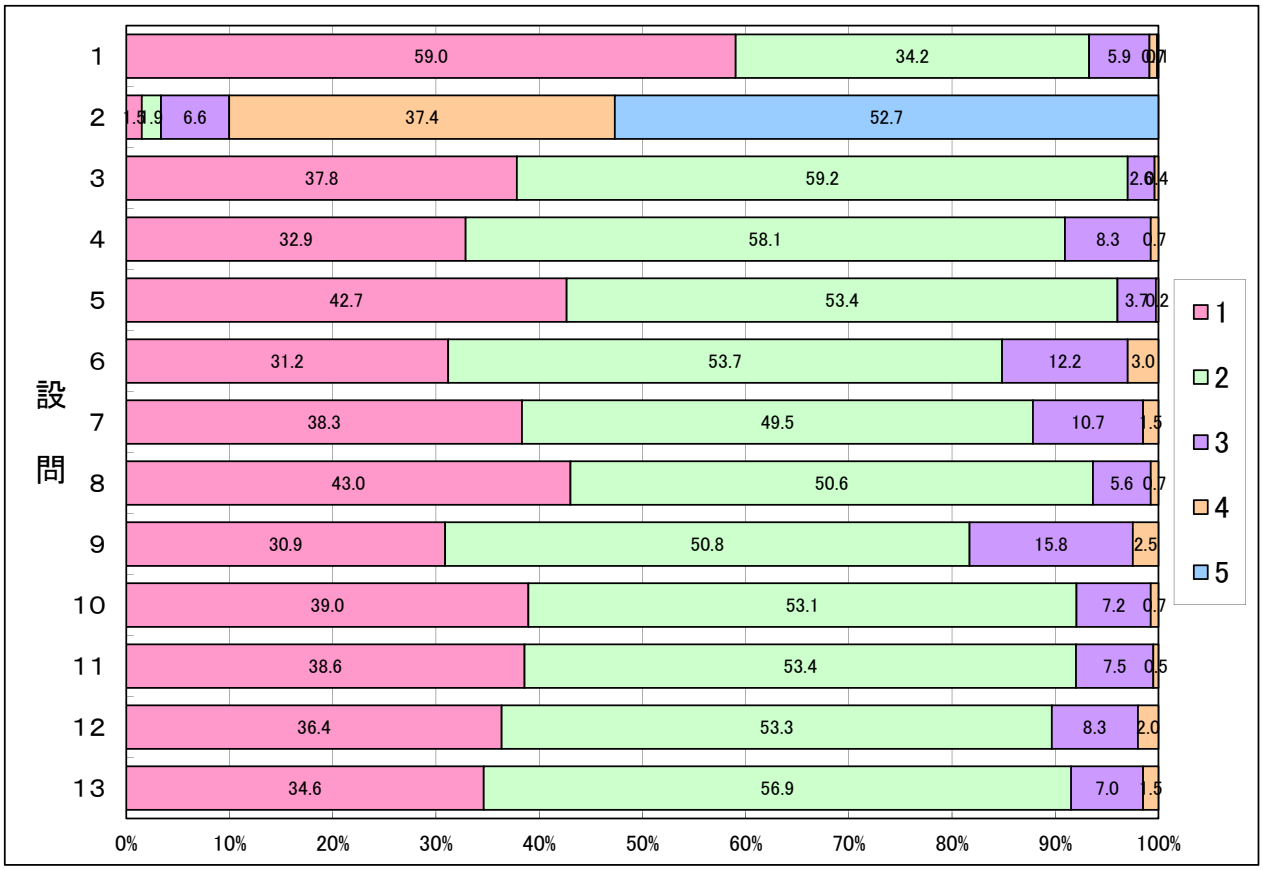
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間自身を知る）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	474	275	47	6	1	803

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	12	15	53	300	423	803

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	305	477	21	3	806
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	265	468	67	6	806
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	343	429	30	2	804
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	251	432	98	24	805
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	309	399	86	12	806
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	346	407	45	6	804
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	248	408	127	20	803
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	314	428	58	6	806
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	309	428	60	4	801
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	292	428	67	16	803
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	278	457	56	12	803



2016年度前期　科目別

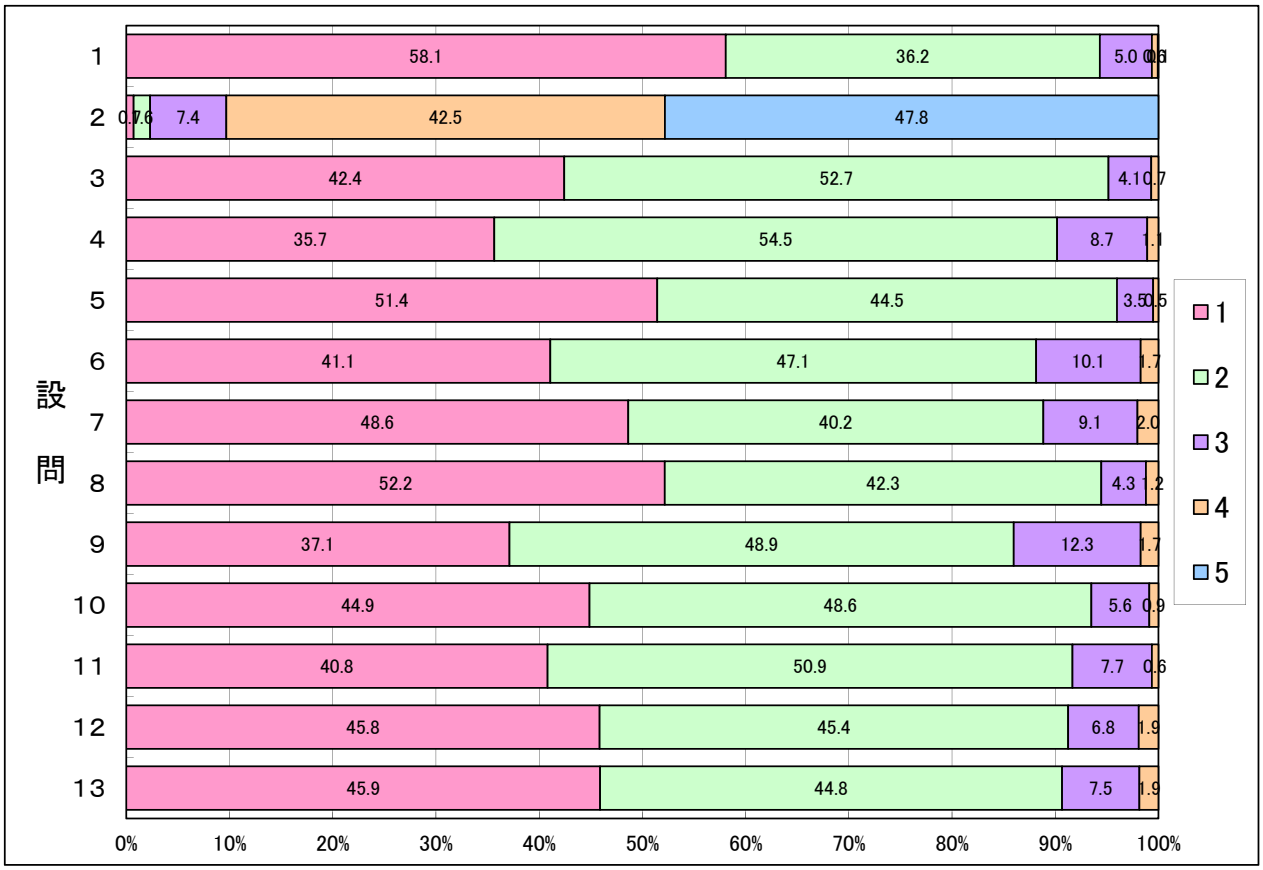
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	910	568	79	9	1	1,567

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	11	25	115	663	746	1,560

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	666	828	65	11	1,570
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	559	855	137	17	1,568
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	806	698	55	8	1,567
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	645	739	159	27	1,570
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	763	631	143	32	1,569
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	818	663	68	19	1,568
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	582	766	193	27	1,568
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	704	763	88	14	1,569
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	637	794	120	10	1,561
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	718	711	107	30	1,566
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	717	699	117	29	1,562



2016年度前期　科目別

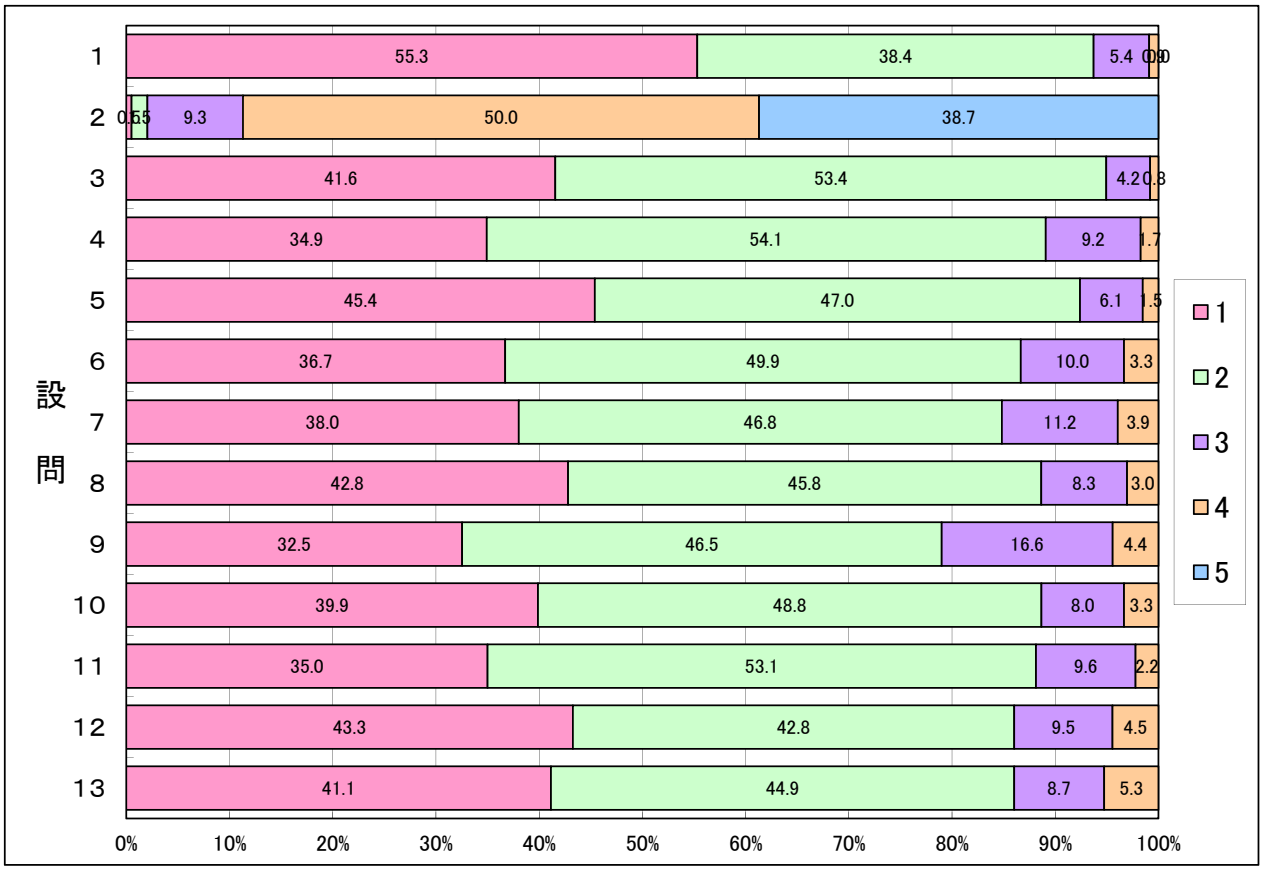
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	546	379	53	9	0	987

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	15	91	491	380	982

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	411	528	42	8	989
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	345	535	91	17	988
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	448	464	60	15	987
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	363	494	99	33	989
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	376	463	111	39	989
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	422	452	82	30	986
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	322	460	164	44	990
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	394	482	79	33	988
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	345	524	95	22	986
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	427	422	94	44	987
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	406	443	86	52	987



2016年度前期　科目別

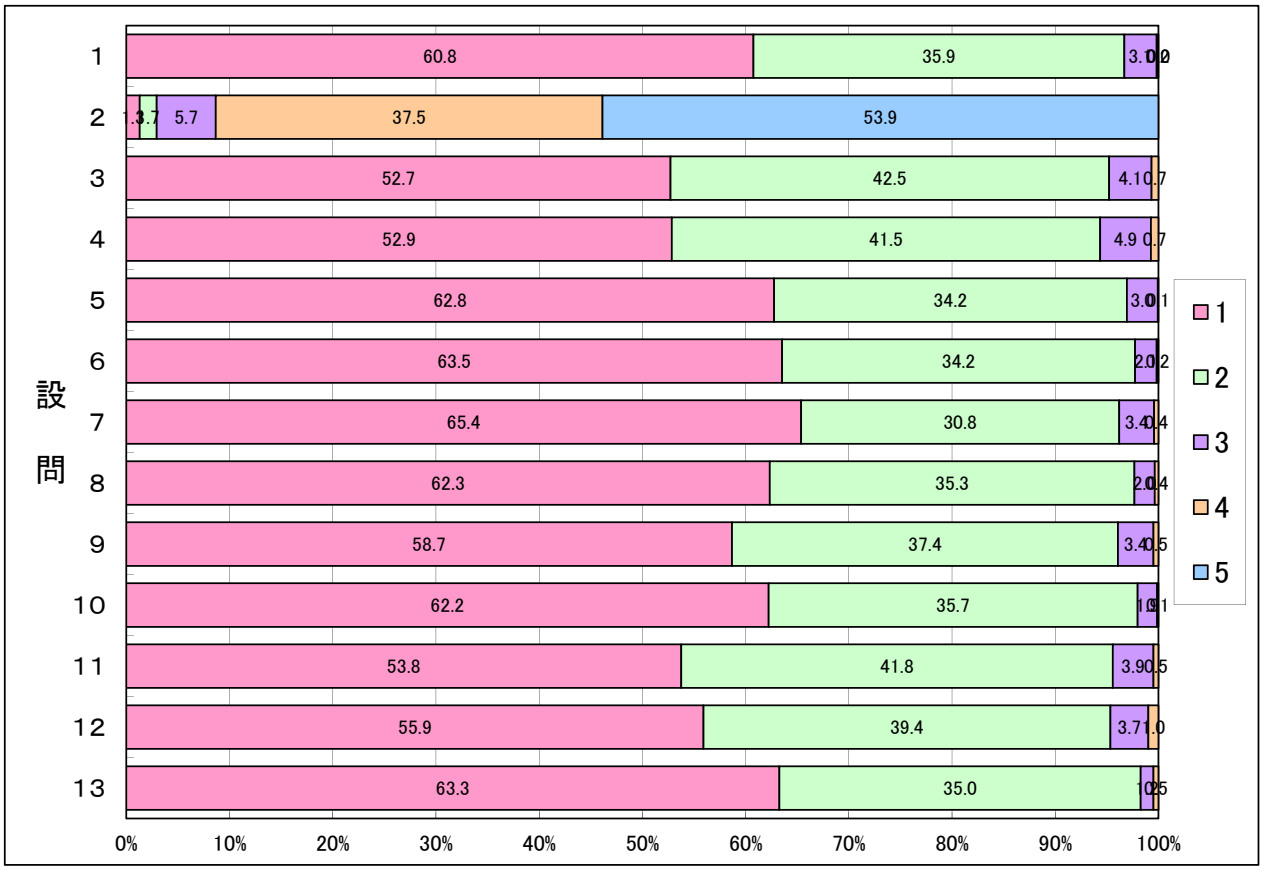
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	991	586	51	3	0	1,631

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	21	27	93	610	877	1,628

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	860	693	67	11	1,631
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	861	676	80	12	1,629
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,023	557	49	1	1,630
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,035	557	34	3	1,629
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,065	502	55	7	1,629
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,015	575	32	6	1,628
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	957	610	56	8	1,631
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,013	582	31	2	1,628
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	873	679	64	8	1,624
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	911	642	60	16	1,629
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,030	570	20	8	1,628



2016年度前期　科目別

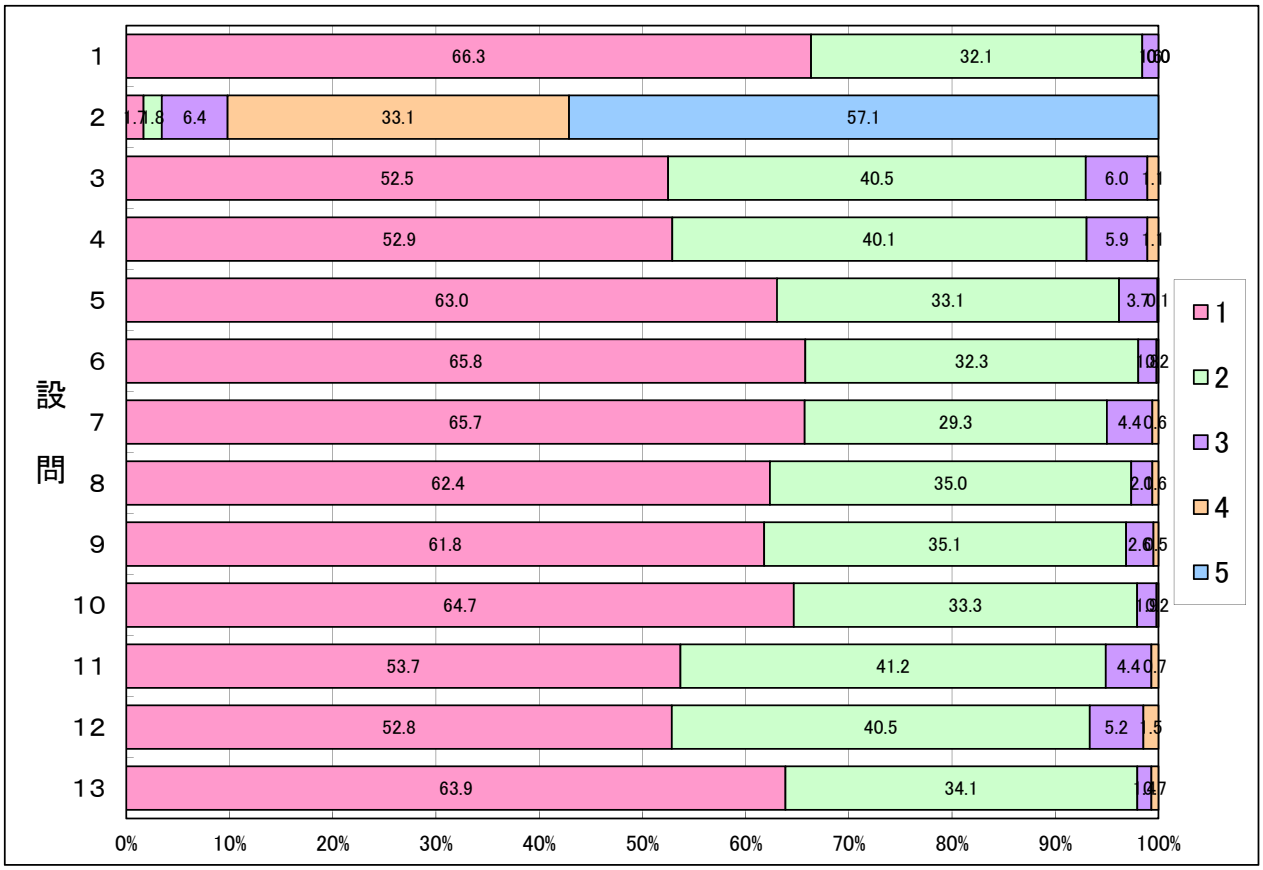
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	678	328	16	0	0	1,022

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	17	18	65	337	582	1,019

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	536	413	61	11	1,021
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	539	409	60	11	1,019
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	643	338	38	1	1,020
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	671	329	18	2	1,020
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	671	299	45	6	1,021
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	636	357	21	6	1,020
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	631	358	27	5	1,021
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	659	339	19	2	1,019
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	546	419	45	7	1,017
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	539	413	53	15	1,020
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	652	348	14	7	1,021



2016年度前期　科目別

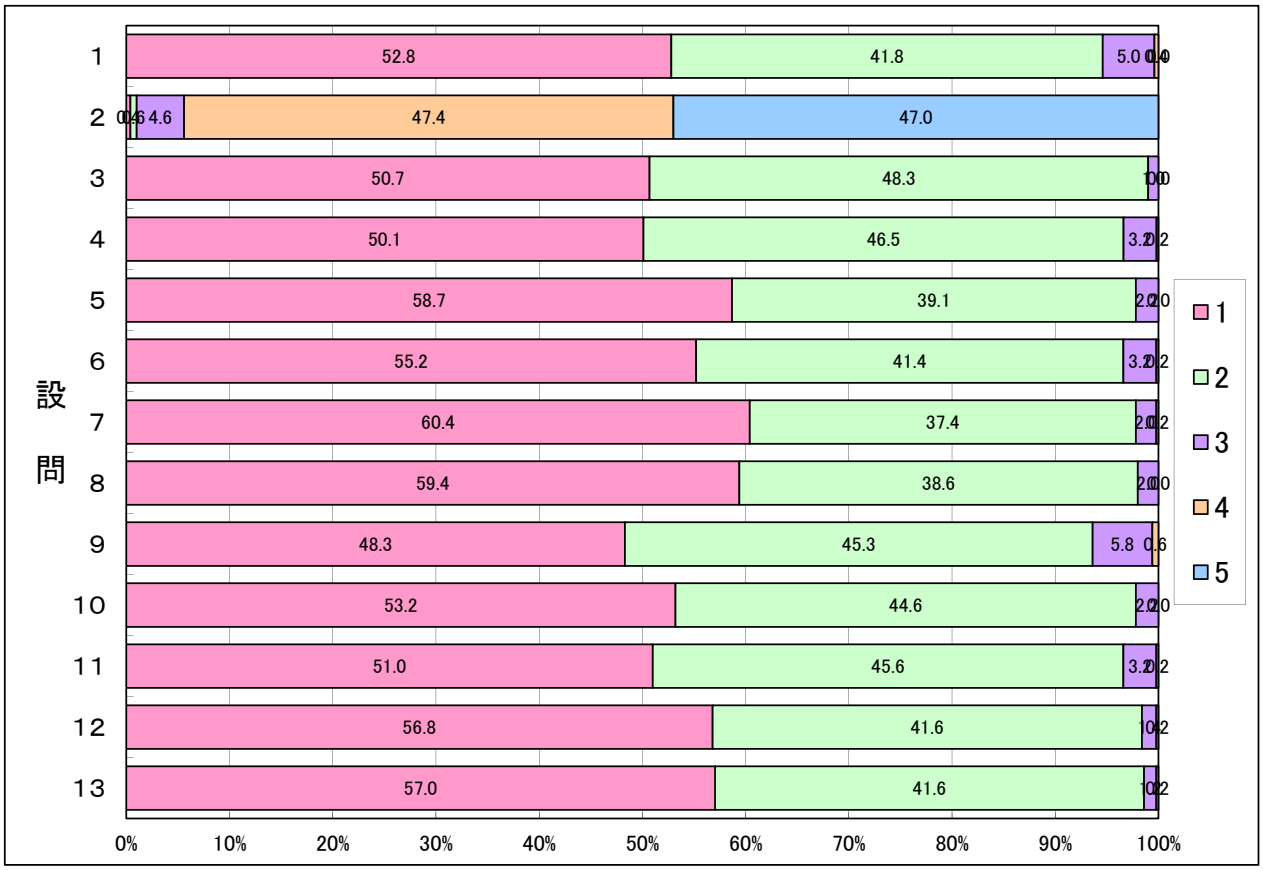
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	264	209	25	2	0	500

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	3	23	237	235	500

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	254	242	5	0	501
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	251	233	16	1	501
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	294	196	11	0	501
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	276	207	16	1	500
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	302	187	10	1	500
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	297	193	10	0	500
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	242	227	29	3	501
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	266	223	11	0	500
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	255	228	16	1	500
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	284	208	7	1	500
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	284	207	6	1	498



2016年度前期　科目別

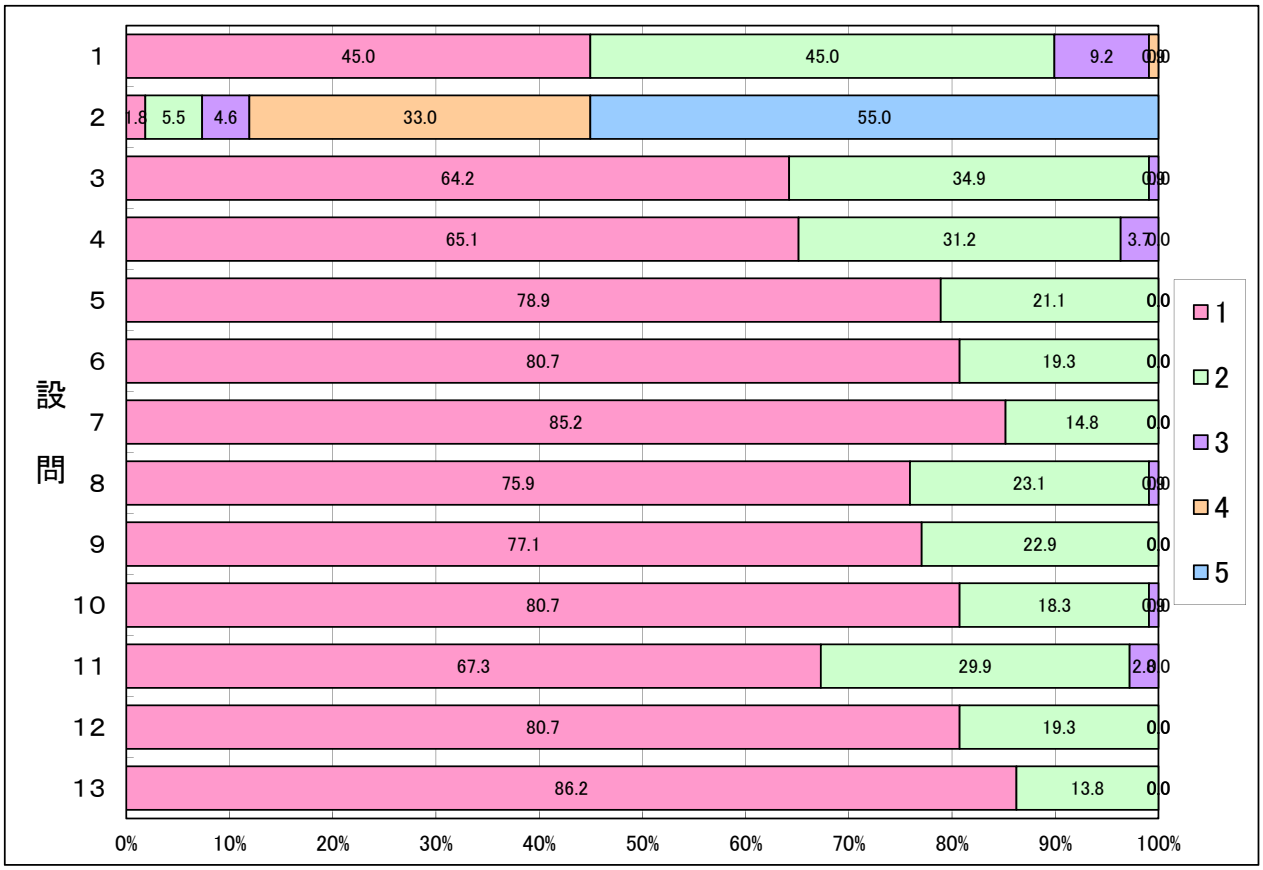
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・実習）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	49	49	10	1	0	109

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	6	5	36	60	109

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	70	38	1	0	109
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	71	34	4	0	109
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	86	23	0	0	109
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	88	21	0	0	109
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	92	16	0	0	108
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	82	25	1	0	108
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	84	25	0	0	109
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	88	20	1	0	109
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	72	32	3	0	107
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	88	21	0	0	109
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	94	15	0	0	109



2016年度前期　科目別

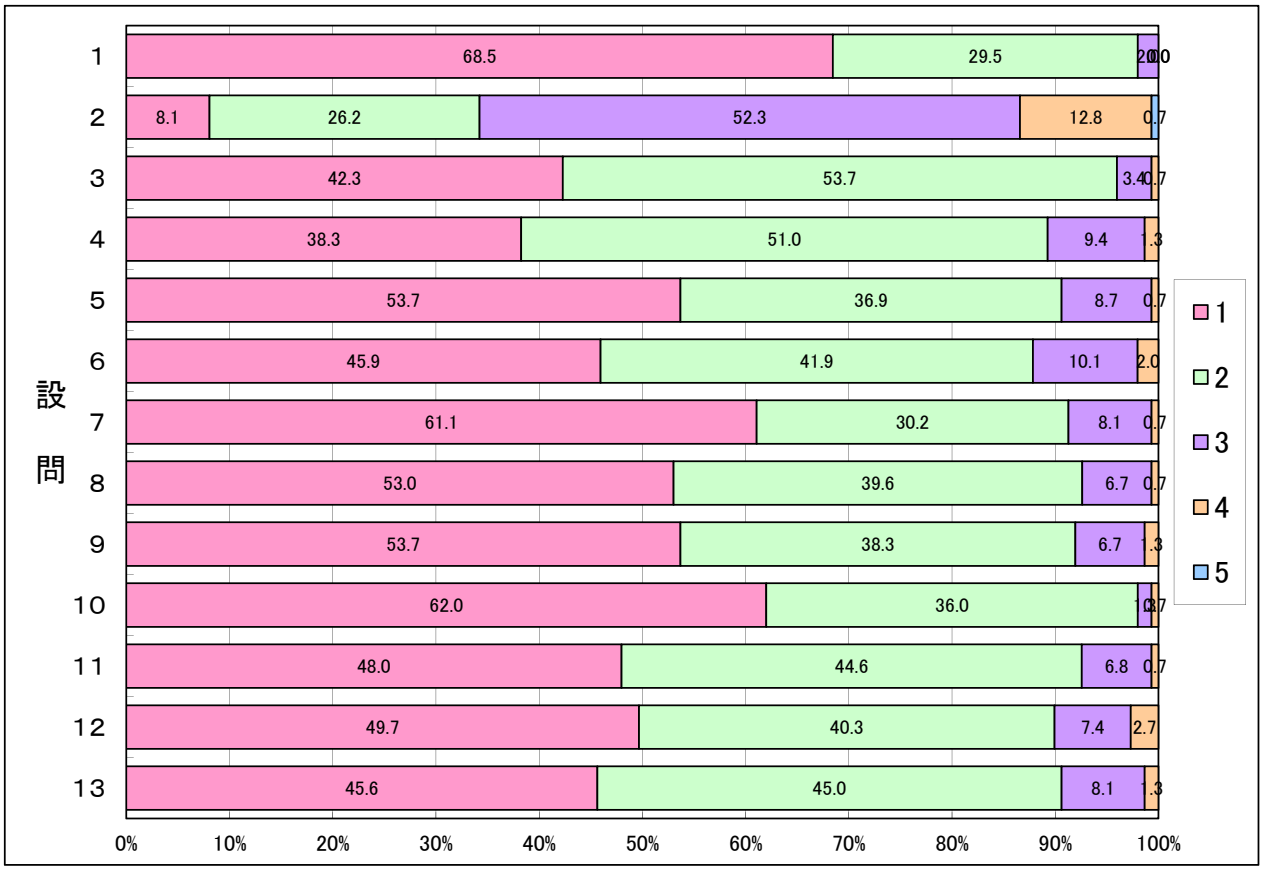
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（演習）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	102	44	3	0	0	149

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	12	39	78	19	1	149

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	63	80	5	1	149
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	57	76	14	2	149
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	80	55	13	1	149
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	68	62	15	3	148
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	91	45	12	1	149
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	79	59	10	1	149
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	80	57	10	2	149
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	93	54	2	1	150
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	71	66	10	1	148
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	74	60	11	4	149
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	68	67	12	2	149



2016年度前期　科目別

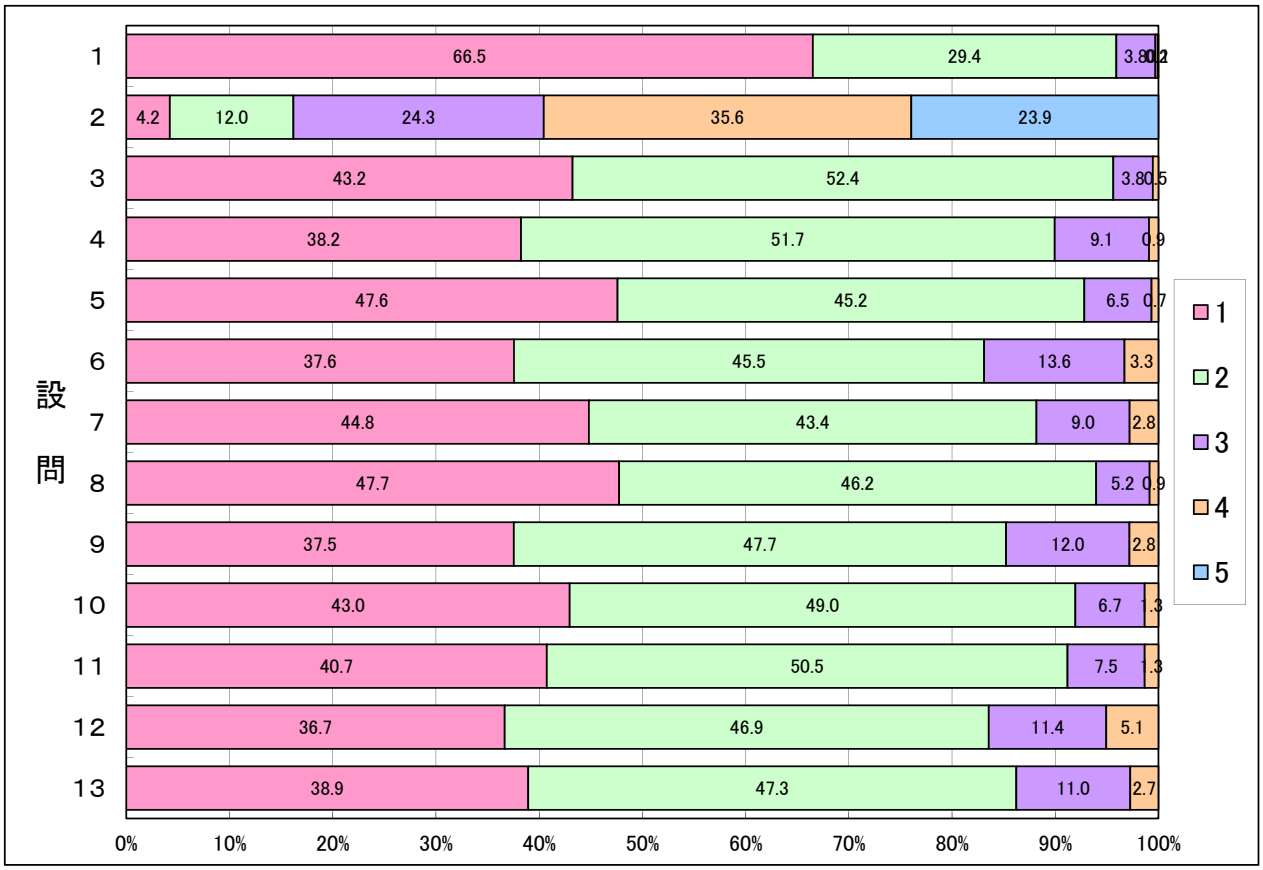
授業評価アンケート集計結果

キリスト教学科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1,092	483	62	4	1	1,642

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	69	196	397	583	392	1,637

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	710	860	63	9	1,642
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	627	848	150	15	1,640
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	781	742	107	11	1,641
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	616	747	223	54	1,640
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	735	711	148	46	1,640
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	782	757	85	14	1,638
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	615	781	196	46	1,638
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	704	803	110	22	1,639
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	666	825	122	22	1,635
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	602	770	187	83	1,642
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	639	776	181	45	1,641



2016年度前期　科目別

授業評価アンケート集計結果

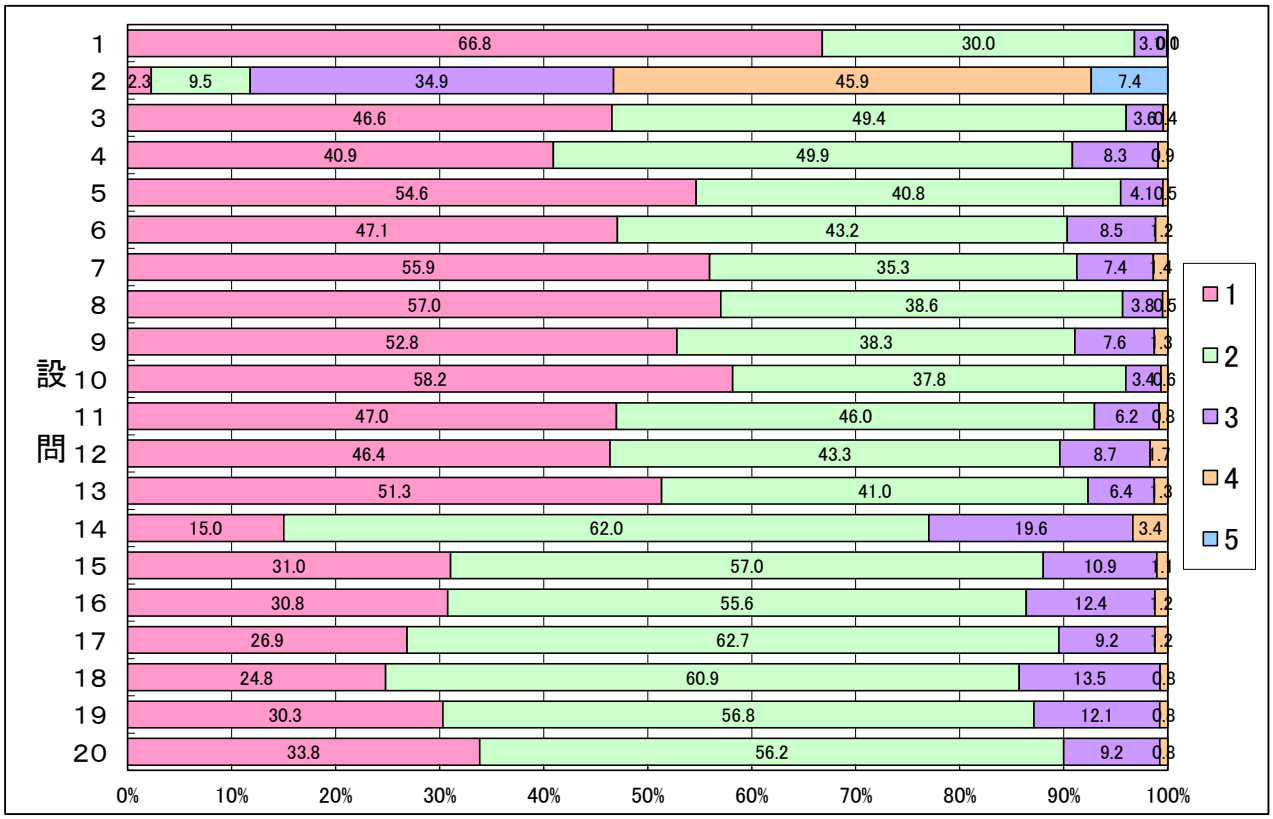
アカデミック・スキル科目

（※フランス語（選択）、スペイン語（選択）、ギリシア語・ラテン語各1件を含む）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	4,811	2,162	224	6	1	7,204

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	163	682	2,509	3,299	528	7,181

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	3,357	3,564	259	30	7,210
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	2,952	3,598	596	66	7,212
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	3,935	2,941	292	33	7,201
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	3,395	3,118	613	84	7,210
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	4,032	2,546	530	99	7,207
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	4,110	2,784	276	36	7,206
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	3,805	2,757	549	93	7,204
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	4,192	2,723	244	46	7,205
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	3,377	3,304	446	60	7,187
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	3,335	3,111	625	121	7,192
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	3,694	2,950	458	94	7,196
設問14	（この授業が英語ReadingⅠ又はReadingⅡの場合）読解力が向上しましたか。	255	1,054	333	57	1,699
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	500	918	176	17	1,611
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	495	894	199	20	1,608
設問17	（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	195	455	67	9	726
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	33	81	18	1	133
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	40	75	16	1	132
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	44	73	12	1	130



2016年度前期　科目別

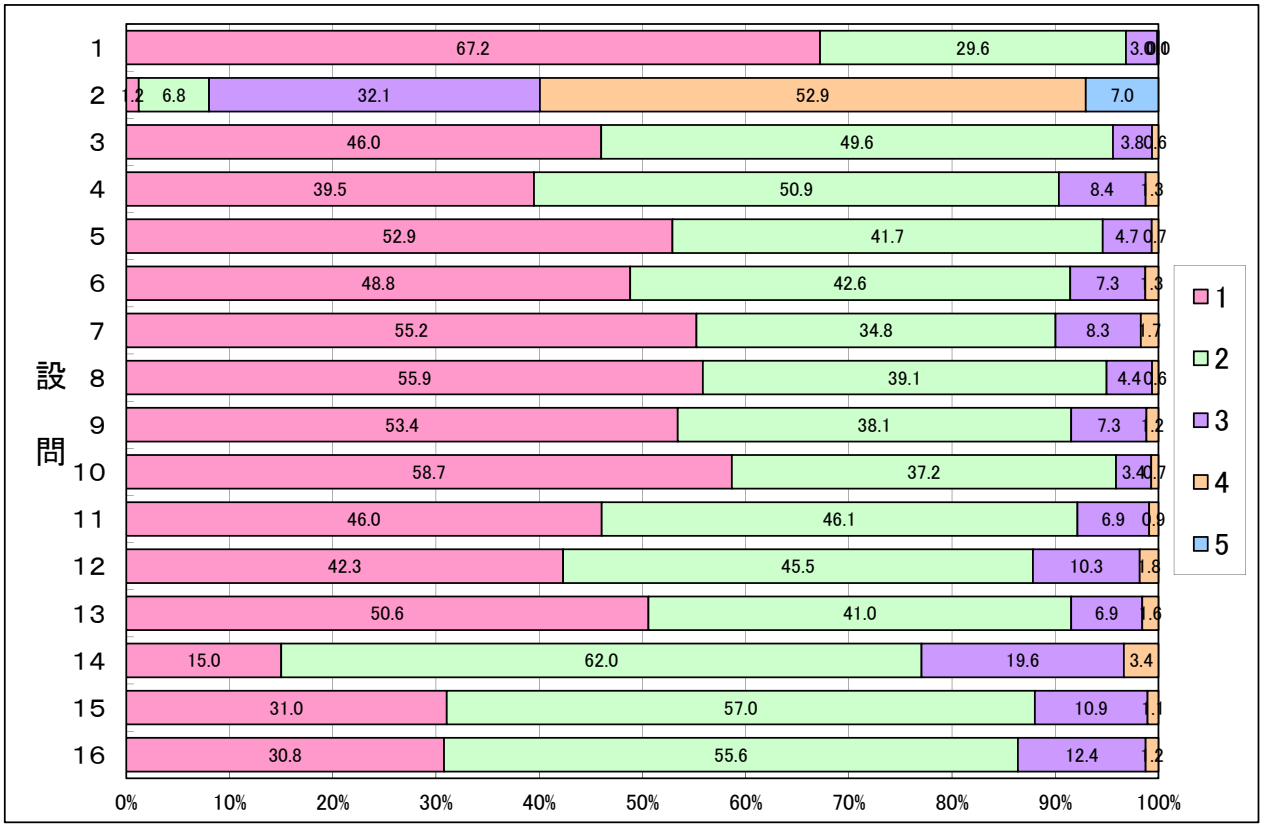
授業評価アンケート集計結果

英語（必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	2,363	1,042	107	3	1	3,516

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	42	239	1,124	1,855	247	3,507

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	1,618	1,744	133	22	3,517
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	1,390	1,790	296	44	3,520
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,861	1,466	167	23	3,517
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,719	1,501	256	45	3,521
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,944	1,224	291	60	3,519
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,964	1,375	155	22	3,516
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	1,877	1,340	256	41	3,514
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	2,063	1,309	120	25	3,517
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	1,614	1,616	243	32	3,505
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	1,486	1,599	363	64	3,512
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,777	1,439	242	55	3,513
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	255	1,054	333	57	1,699
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	500	918	176	17	1,611
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	495	894	199	20	1,608



2016年度前期　科目別

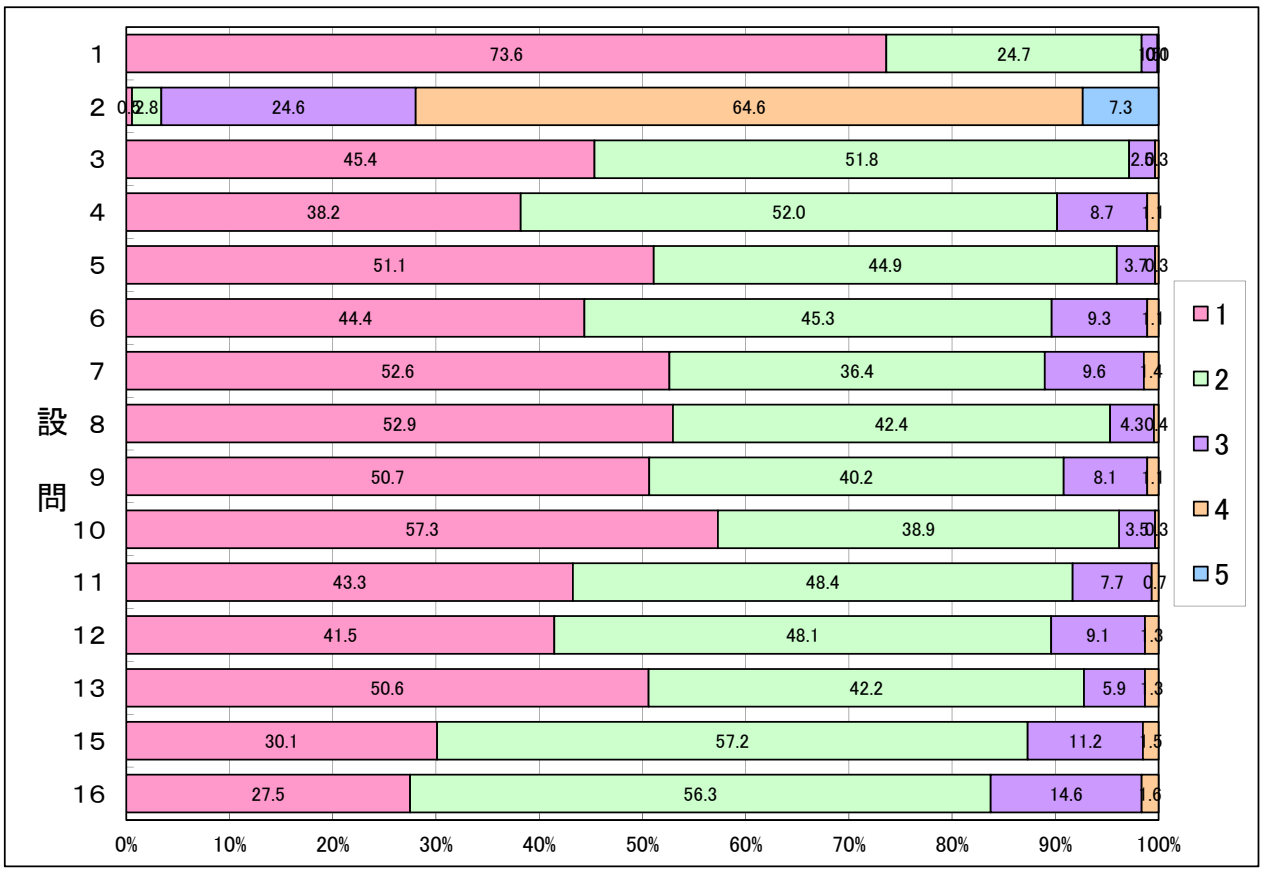
授業評価アンケート集計結果

Communication Skills

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	673	226	14	0	1	914

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	26	225	590	67	913

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	415	474	23	3	915
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	350	476	80	10	916
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	468	411	34	3	916
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	407	415	85	10	917
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	482	333	88	13	916
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	485	388	39	4	916
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	463	367	74	10	914
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	525	356	32	3	916
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	395	442	70	6	913
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	379	440	83	12	914
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	463	386	54	12	915
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	259	492	96	13	860
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	235	481	125	14	855



2016年度前期　科目別

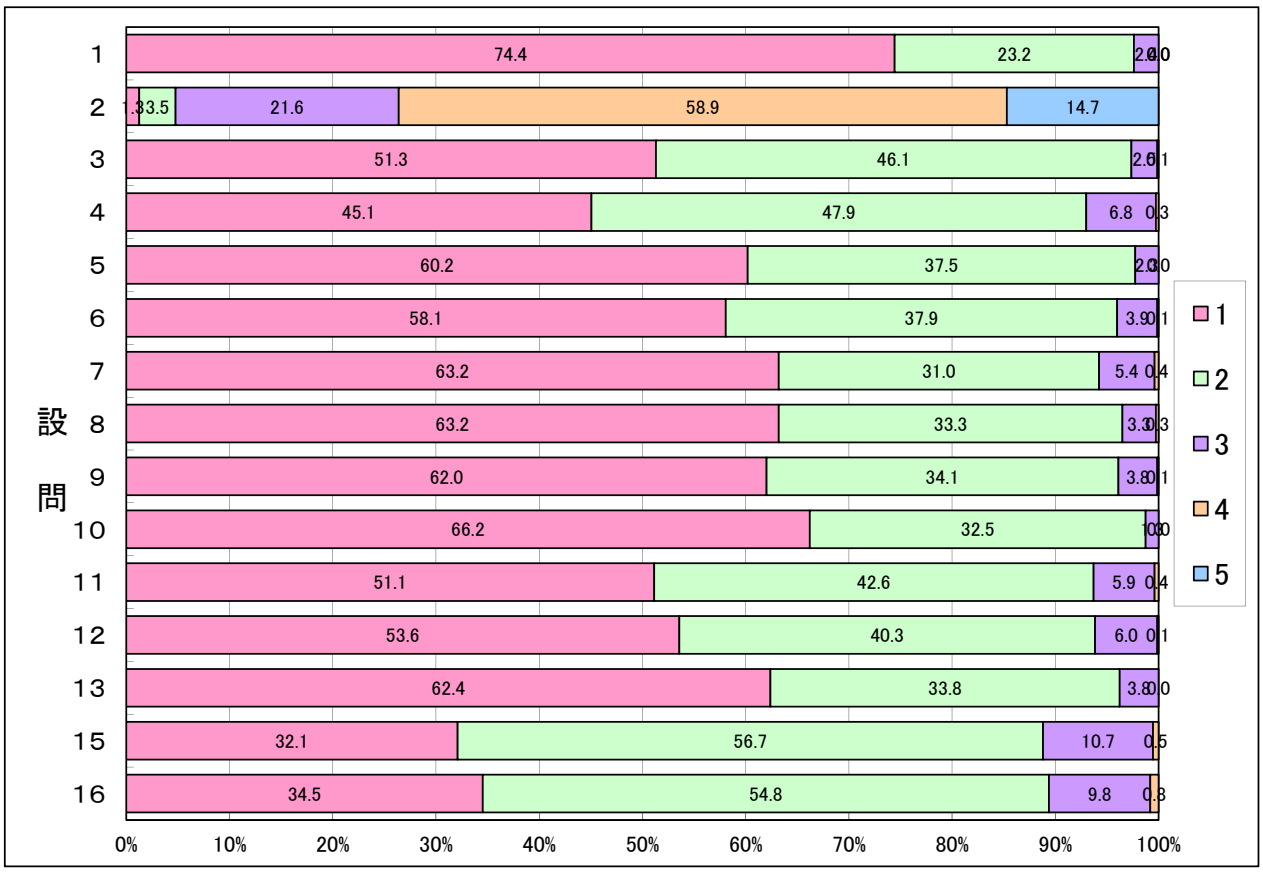
授業評価アンケート集計結果

Discussion Skills

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	594	185	19	0	0	798

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	10	28	172	469	117	796

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	410	368	20	1	799
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	360	383	54	2	799
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	481	300	18	0	799
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	464	303	31	1	799
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	505	248	43	3	799
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	505	266	26	2	799
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	495	272	30	1	798
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	529	260	10	0	799
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	406	338	47	3	794
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	427	321	48	1	797
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	498	270	30	0	798
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	241	426	80	4	751
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	260	413	74	6	753



2016年度前期　科目別

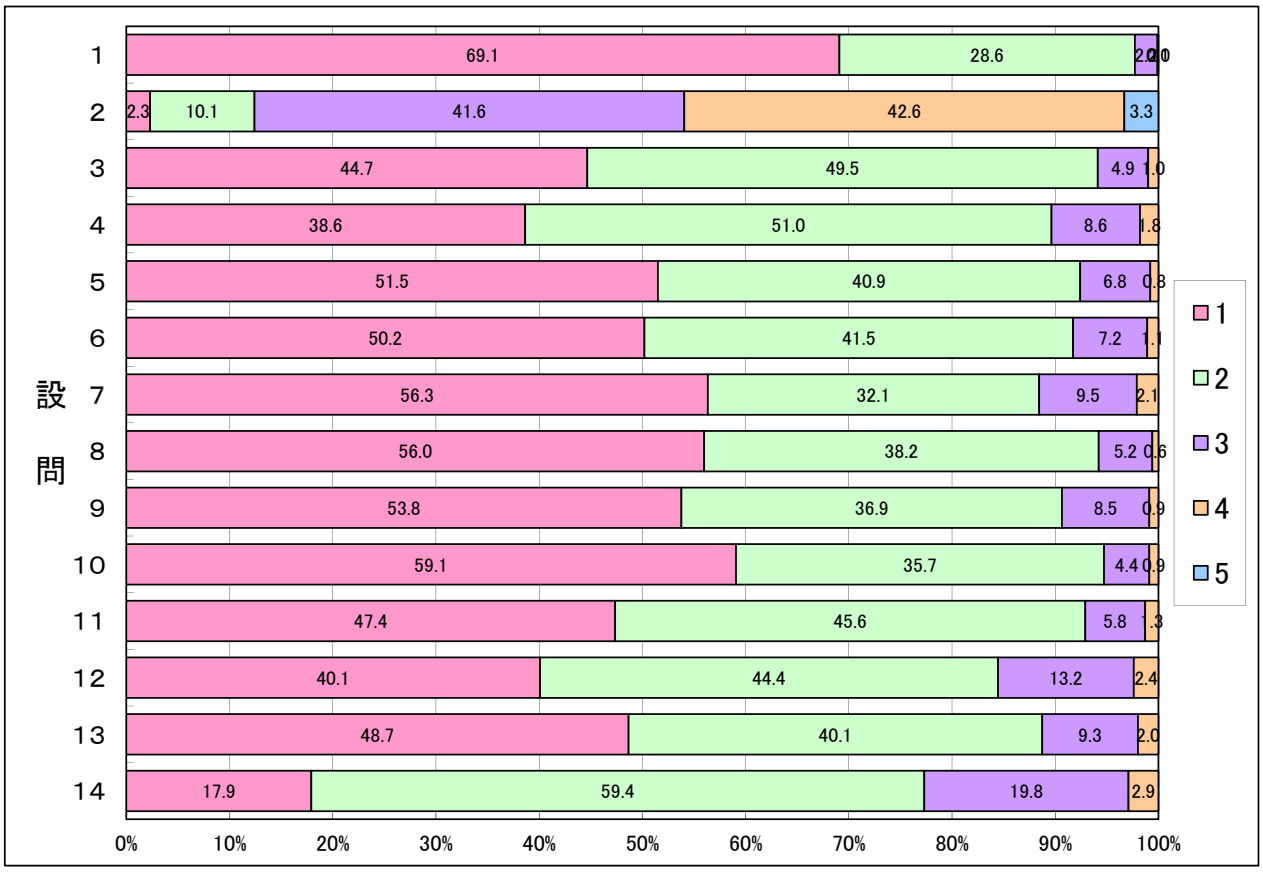
授業評価アンケート集計結果

Reading Ⅰ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	693	287	22	1	0	1,003

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	23	101	416	426	33	999

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	448	496	49	10	1,003
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	388	512	86	18	1,004
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	516	410	68	8	1,002
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	504	417	72	11	1,004
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	565	322	95	21	1,003
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	561	383	52	6	1,002
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	540	370	85	9	1,004
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	593	358	44	9	1,004
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	474	456	58	13	1,001
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	402	445	132	24	1,003
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	488	402	93	20	1,003
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReadingⅡの場合）読解力が向上しましたか。	173	573	191	28	965



2016年度前期　科目別

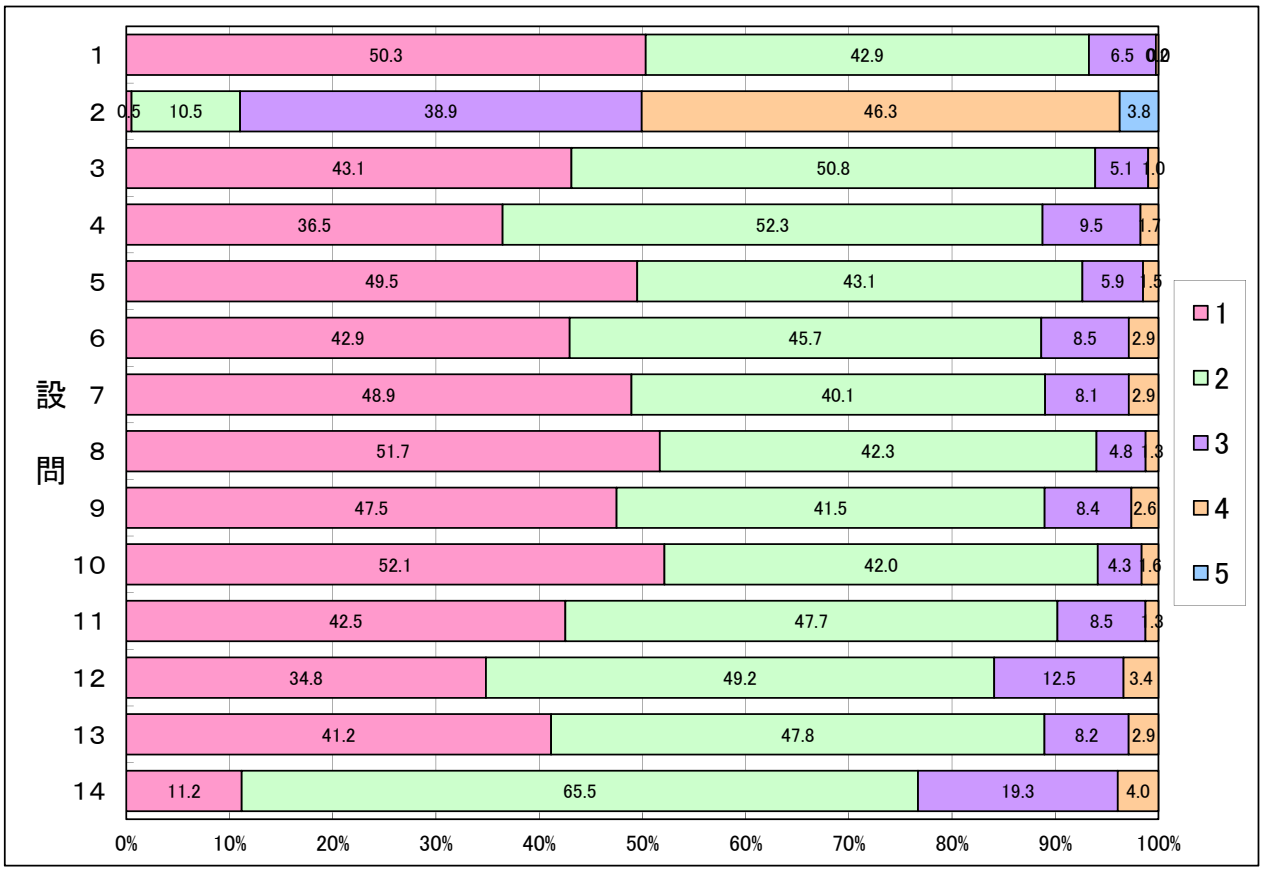
授業評価アンケート集計結果

Reading Ⅱ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	403	344	52	2	0	801

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	84	311	370	30	799

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	345	406	41	8	800
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	292	419	76	14	801
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	396	345	47	12	800
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	344	366	68	23	801
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	392	321	65	23	801
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	413	338	38	10	799
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	379	331	67	21	798
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	416	335	34	13	798
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	339	380	68	10	797
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	278	393	100	27	798
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	328	381	65	23	797
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	82	481	142	29	734



2016年度前期　科目別

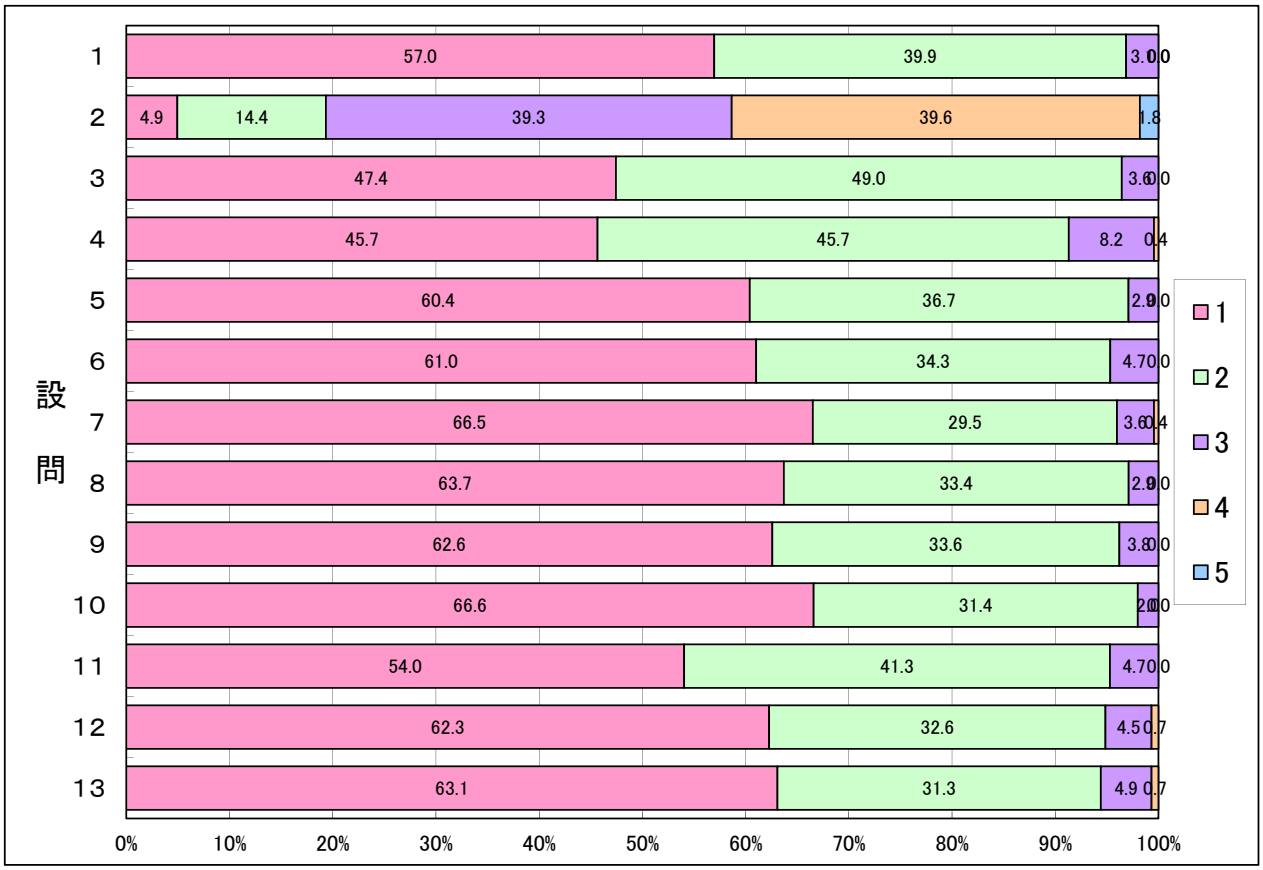
授業評価アンケート集計結果

英語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	254	178	14	0	0	446

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	22	64	175	176	8	445

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	213	220	16	0	449
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	205	205	37	2	449
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	270	164	13	0	447
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	274	154	21	0	449
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	298	132	16	2	448
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	286	150	13	0	449
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	281	151	17	0	449
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	299	141	9	0	449
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	241	184	21	0	446
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	279	146	20	3	448
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	282	140	22	3	447



2016年度前期　科目別

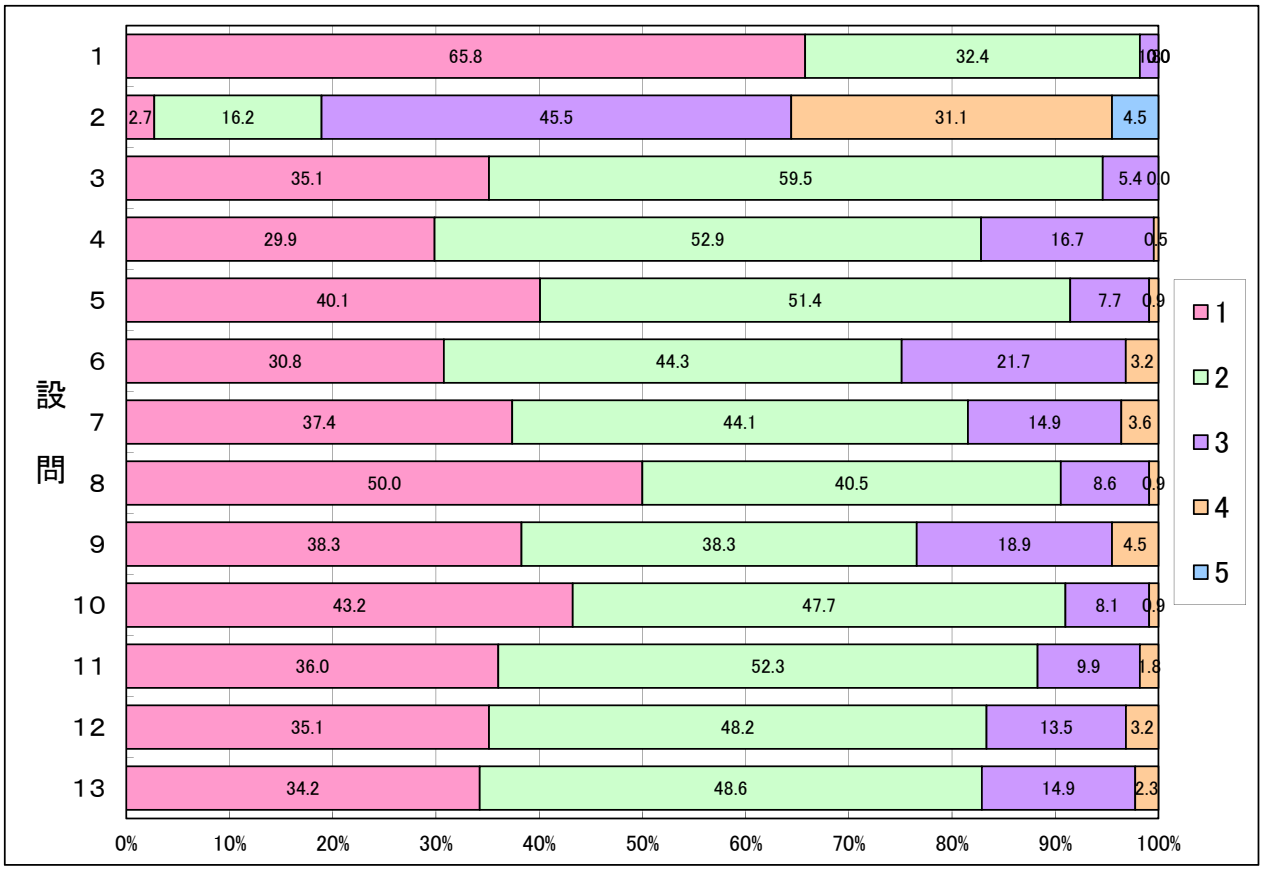
授業評価アンケート集計結果

ドイツ語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	146	72	4	0	0	222

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	6	36	101	69	10	222

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	78	132	12	0	222
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	66	117	37	1	221
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	89	114	17	2	222
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	68	98	48	7	221
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	83	98	33	8	222
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	111	90	19	2	222
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	85	85	42	10	222
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	96	106	18	2	222
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	80	116	22	4	222
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	78	107	30	7	222
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	76	108	33	5	222



2016年度前期　科目別

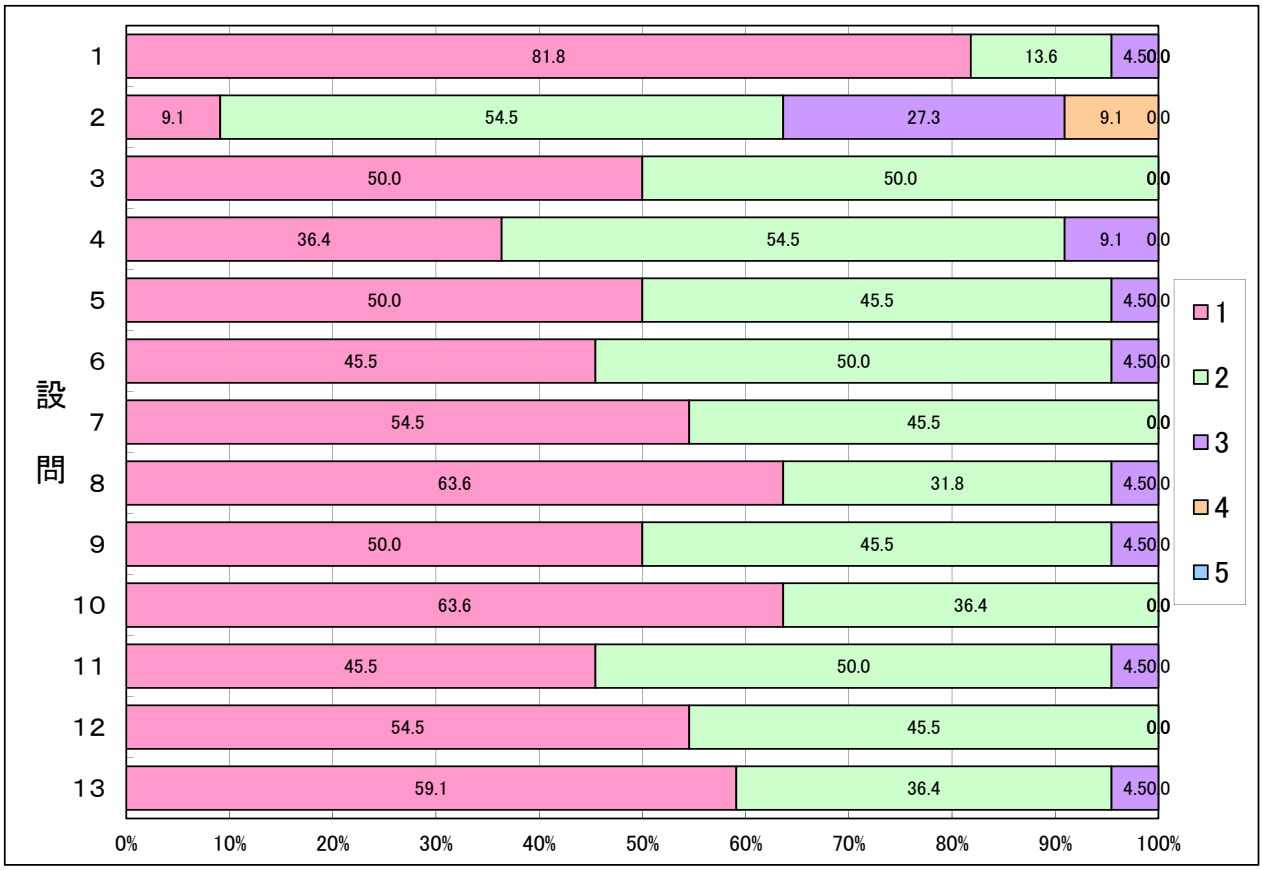
授業評価アンケート集計結果

ドイツ語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	18	3	1	0	0	22

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	12	6	2	0	22

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	11	11	0	0	22
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	8	12	2	0	22
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	11	10	1	0	22
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	10	11	1	0	22
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	12	10	0	0	22
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	14	7	1	0	22
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	11	10	1	0	22
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	14	8	0	0	22
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	10	11	1	0	22
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	12	10	0	0	22
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	13	8	1	0	22



2016年度前期　科目別

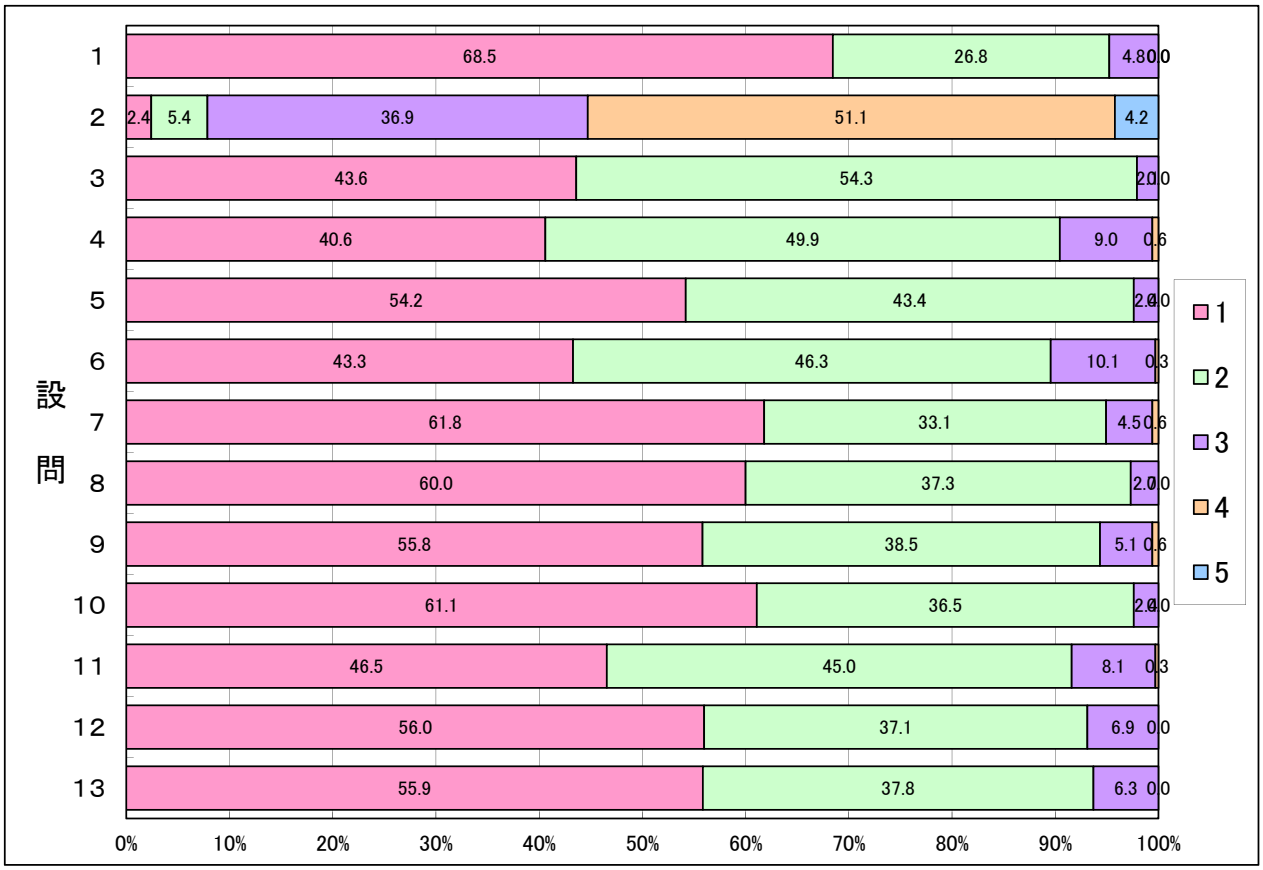
授業評価アンケート集計結果

フランス語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	230	90	16	0	0	336

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	8	18	122	169	14	331

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	146	182	7	0	335
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	136	167	30	2	335
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	181	145	8	0	334
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	145	155	34	1	335
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	207	111	15	2	335
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	201	125	9	0	335
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	187	129	17	2	335
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	204	122	8	0	334
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	155	150	27	1	333
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	187	124	23	0	334
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	186	126	21	0	333



2016年度前期　科目別

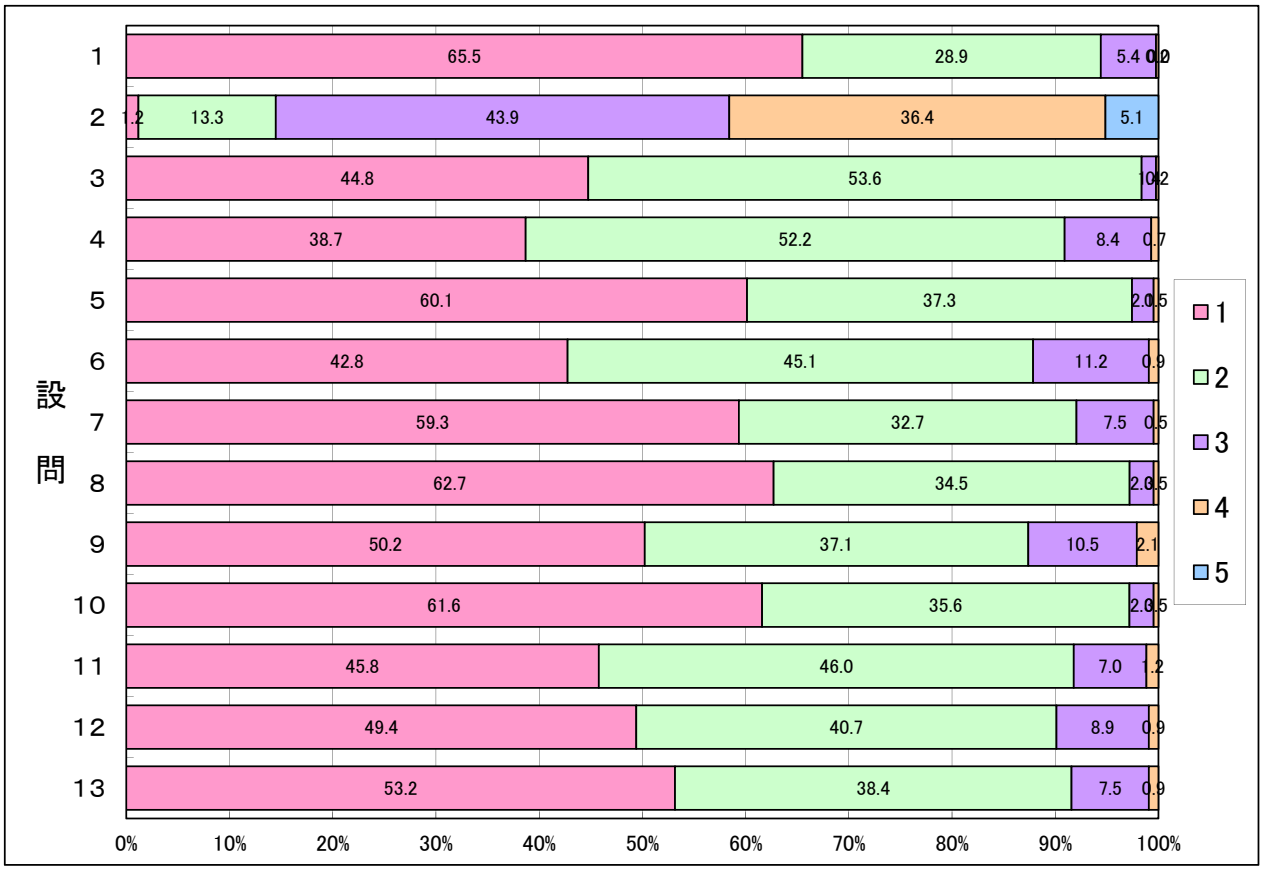
授業評価アンケート集計結果

スペイン語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	281	124	23	1	0	429

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	57	188	156	22	428

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	192	230	6	1	429
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	166	224	36	3	429
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	258	160	9	2	429
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	183	193	48	4	428
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	254	140	32	2	428
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	269	148	10	2	429
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	215	159	45	9	428
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	263	152	10	2	427
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	195	196	30	5	426
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	210	173	38	4	425
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	227	164	32	4	427



2016年度前期　科目別

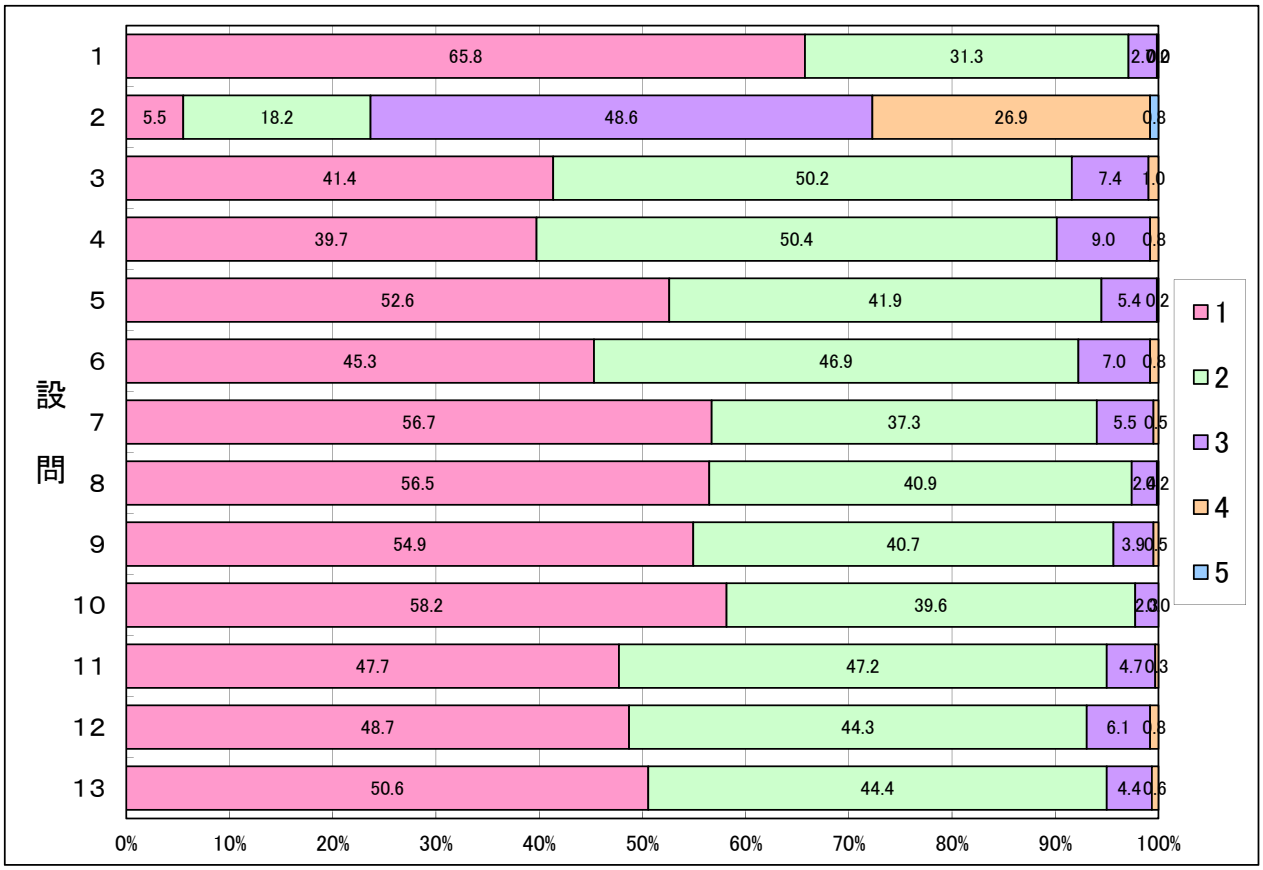
授業評価アンケート集計結果

中国語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	407	194	17	1	0	619

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	34	112	300	166	5	617

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	256	311	46	6	619
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	246	312	56	5	619
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	324	258	33	1	616
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	280	290	43	5	618
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	351	231	34	3	619
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	349	253	15	1	618
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	340	252	24	3	619
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	360	245	14	0	619
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	295	292	29	2	618
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	301	274	38	5	618
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	313	275	27	4	619



2016年度前期　科目別

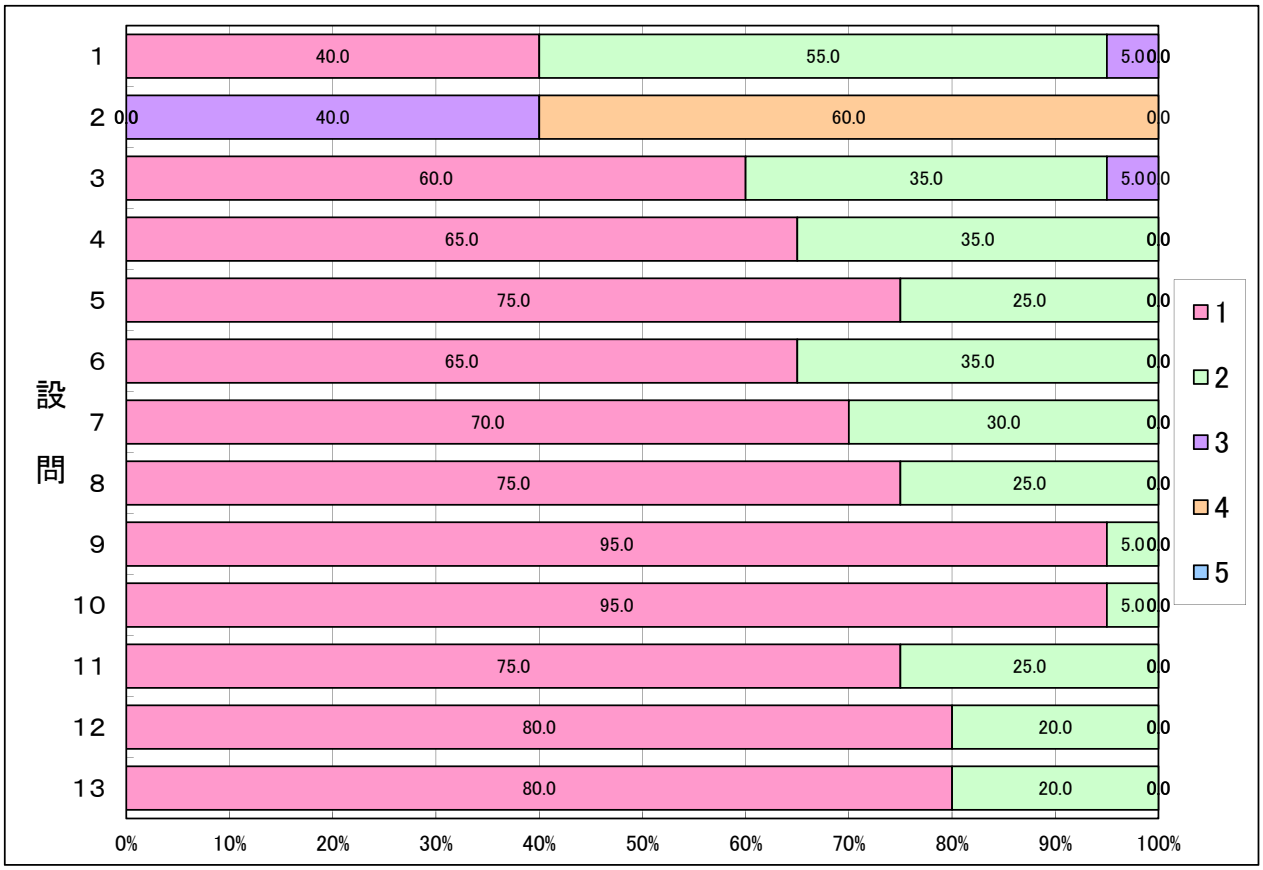
授業評価アンケート集計結果

中国語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	8	11	1	0	0	20

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	0	8	12	0	20

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	12	7	1	0	20
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	13	7	0	0	20
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	15	5	0	0	20
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	13	7	0	0	20
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	14	6	0	0	20
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	15	5	0	0	20
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	19	1	0	0	20
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	19	1	0	0	20
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	15	5	0	0	20
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	16	4	0	0	20
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	16	4	0	0	20



2016年度前期　科目別

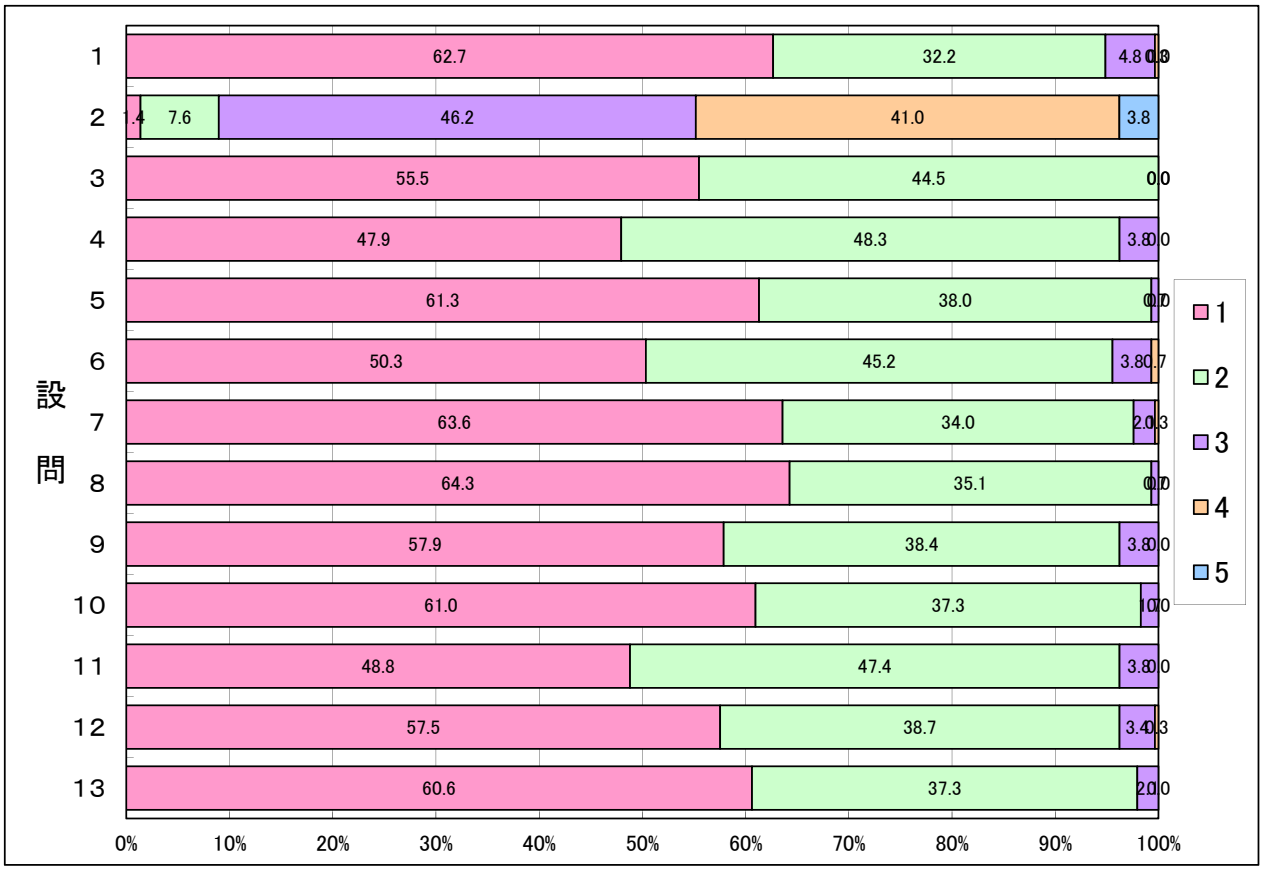
授業評価アンケート集計結果

韓国語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	183	94	14	1	0	292

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	22	134	119	11	290

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	162	130	0	0	292
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	140	141	11	0	292
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	179	111	2	0	292
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	147	132	11	2	292
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	185	99	6	1	291
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	187	102	2	0	291
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	169	112	11	0	292
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	178	109	5	0	292
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	142	138	11	0	291
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	168	113	10	1	292
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	177	109	6	0	292



2016年度前期　科目別

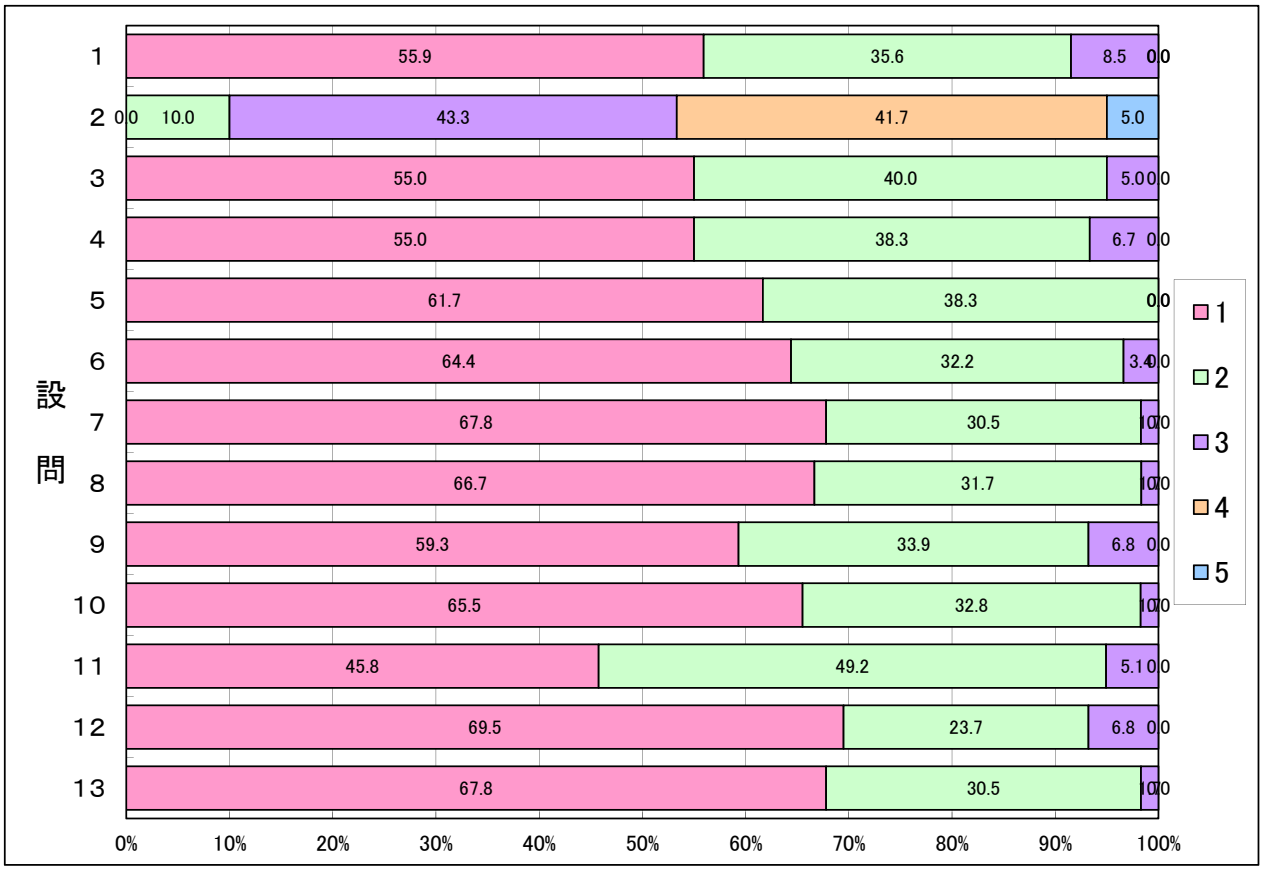
授業評価アンケート集計結果

韓国語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	33	21	5	0	0	59

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	6	26	25	3	60

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	33	24	3	0	60
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	33	23	4	0	60
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	37	23	0	0	60
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	38	19	2	0	59
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	40	18	1	0	59
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	40	19	1	0	60
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	35	20	4	0	59
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	38	19	1	0	58
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	27	29	3	0	59
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	41	14	4	0	59
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	40	18	1	0	59



2016年度前期　科目別

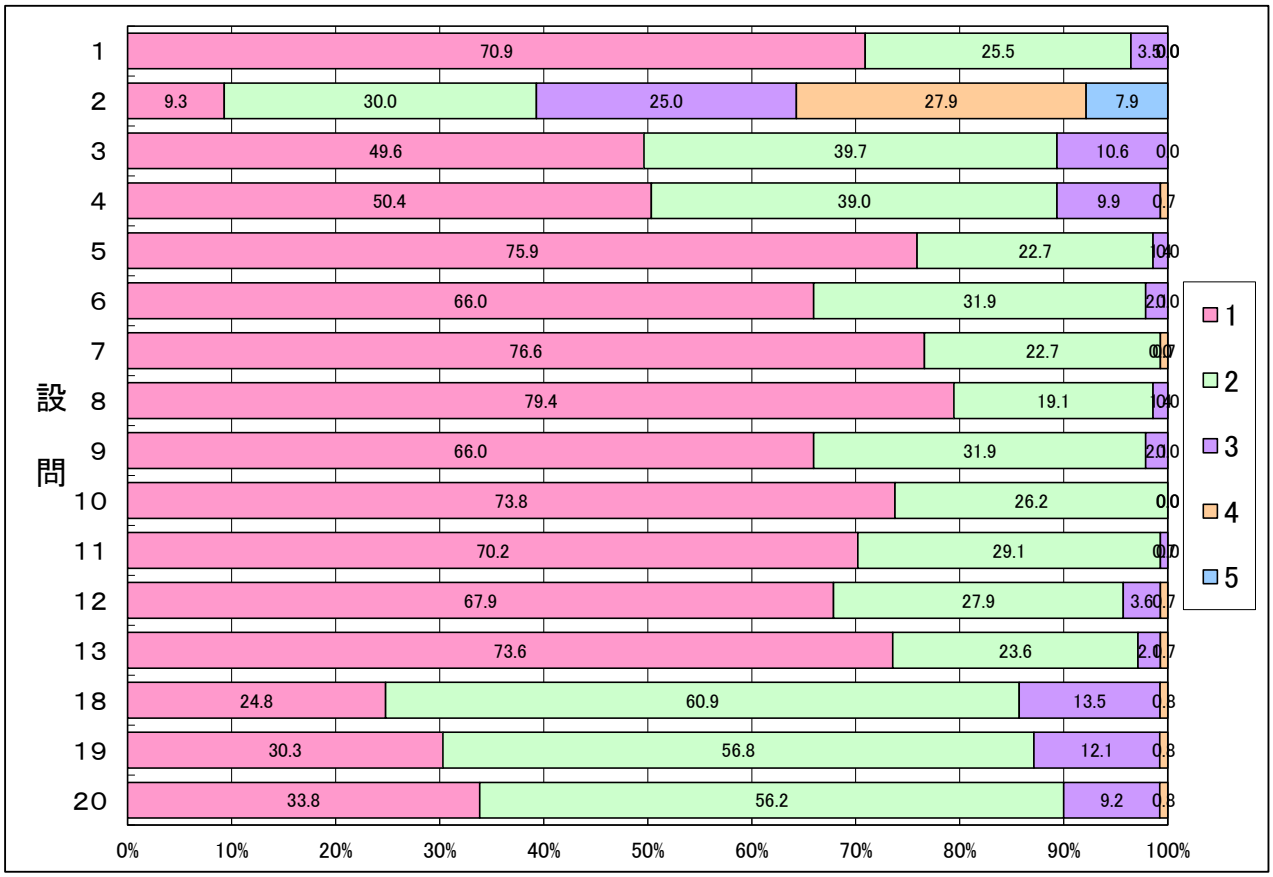
授業評価アンケート集計結果

日本語科目（日本語表現法Ⅰ）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	100	36	5	0	0	141

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	13	42	35	39	11	140

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	70	56	15	0	141
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	71	55	14	1	141
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	107	32	2	0	141
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	93	45	3	0	141
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	108	32	0	1	141
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	112	27	2	0	141
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	93	45	3	0	141
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	104	37	0	0	141
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	99	41	1	0	141
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	95	39	5	1	140
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	103	33	3	1	140
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	33	81	18	1	133
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	40	75	16	1	132
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	44	73	12	1	130



2016年度前期　科目別

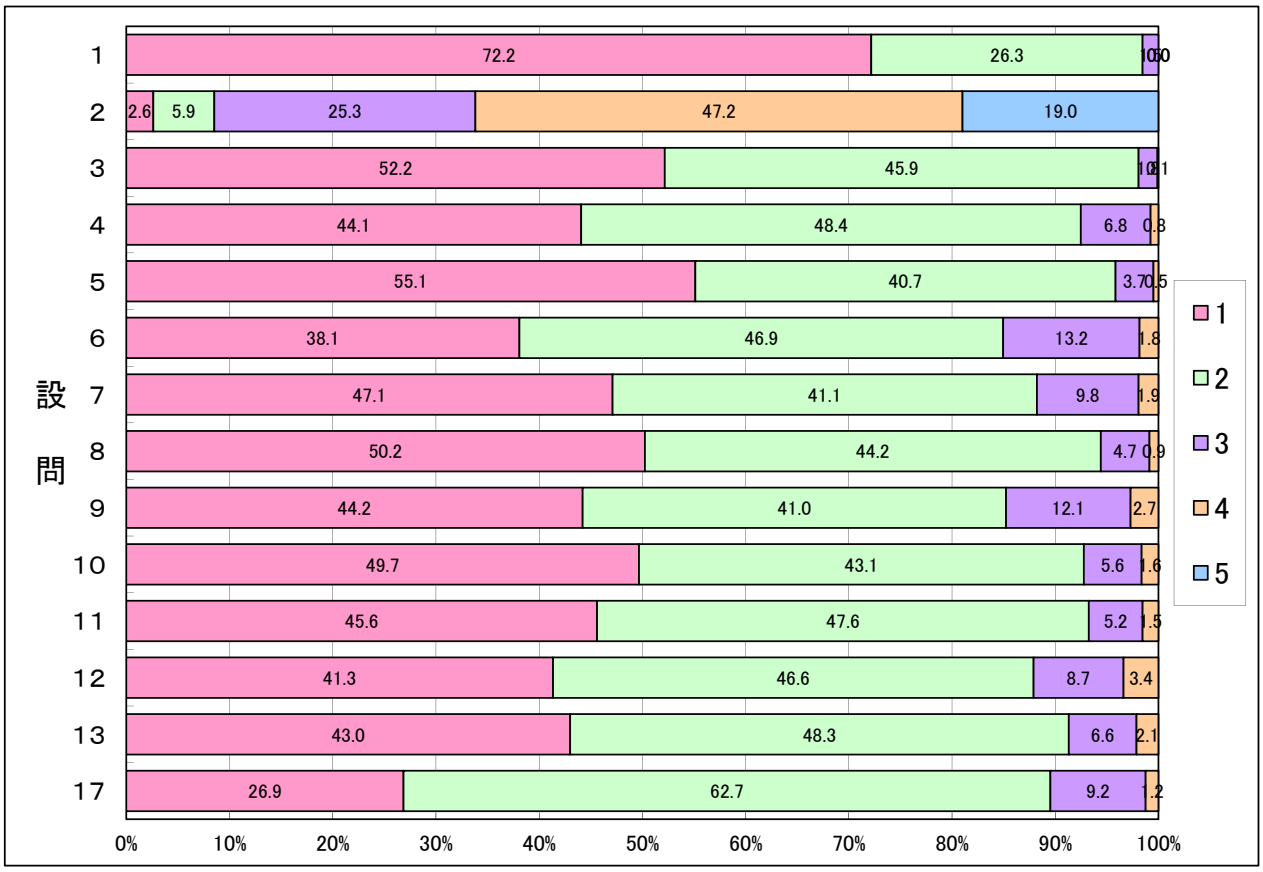
授業評価アンケート集計結果

情報処理科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	747	272	16	0	0	1,035

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	27	61	261	487	196	1,032

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	541	476	19	1	1,037
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	457	502	70	8	1,037
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	570	421	38	5	1,034
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	395	486	137	19	1,037
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	488	426	102	20	1,036
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	521	458	49	9	1,037
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	458	425	125	28	1,036
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	515	447	58	17	1,037
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	473	494	54	16	1,037
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	427	481	90	35	1,033
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	445	500	68	22	1,035
設問17	（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ｉの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	195	455	67	9	726



2016年度前期　科目別

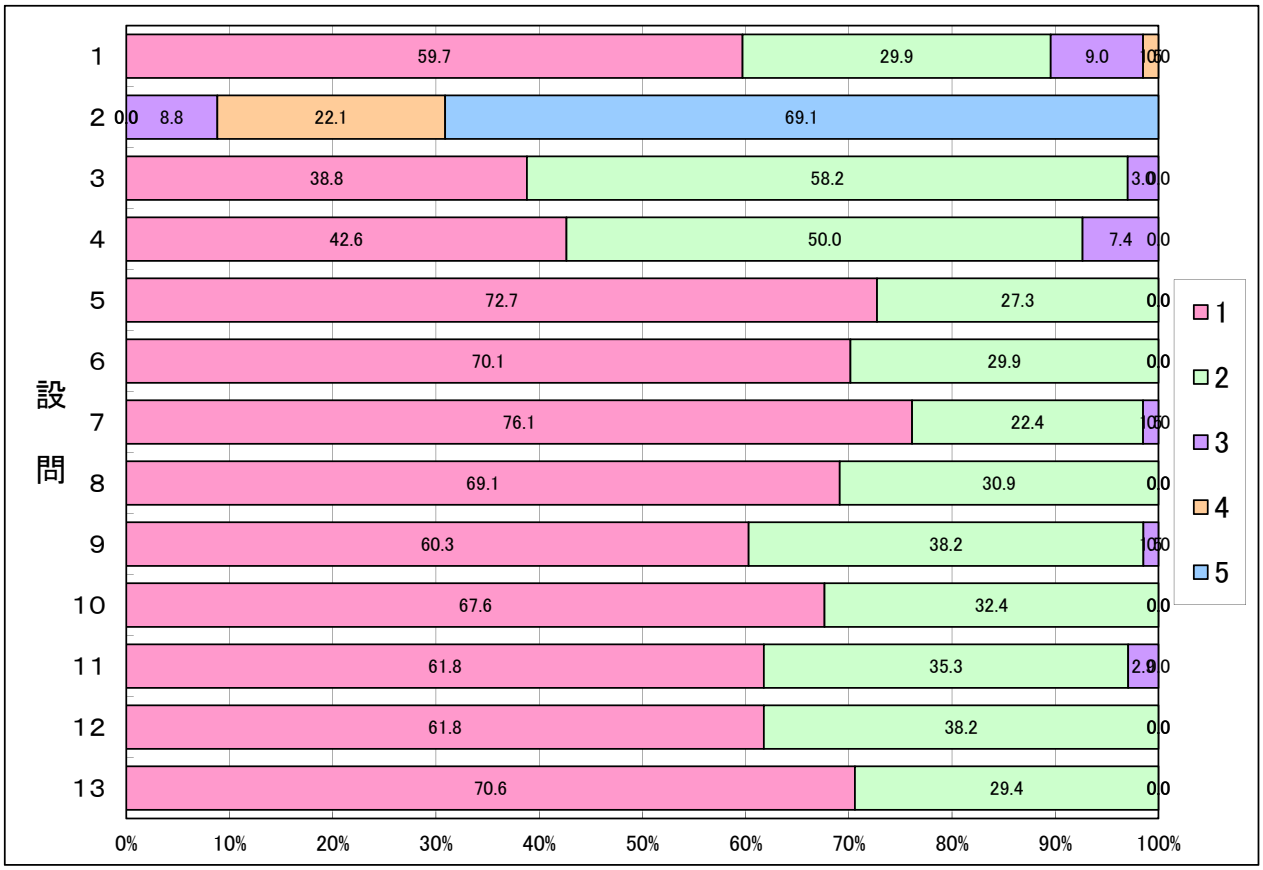
授業評価アンケート集計結果

教職特設科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	40	20	6	1	0	67

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	0	6	15	47	68

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	26	39	2	0	67
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	29	34	5	0	68
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	48	18	0	0	66
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	47	20	0	0	67
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	51	15	1	0	67
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	47	21	0	0	68
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	41	26	1	0	68
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	46	22	0	0	68
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	42	24	2	0	68
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	42	26	0	0	68
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	48	20	0	0	68



2016年度前期　科目別

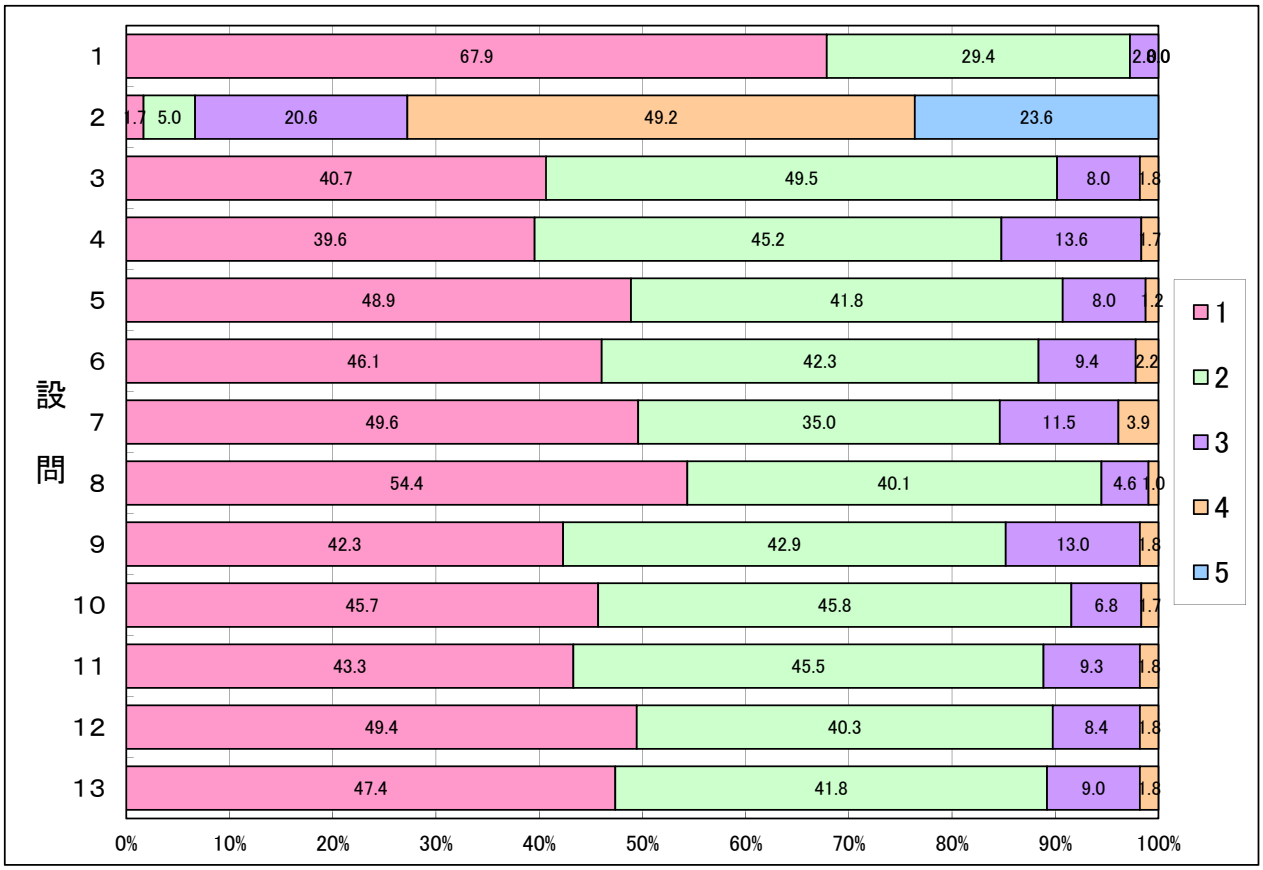
授業評価アンケート集計結果

教職課程科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	490	212	20	0	0	722

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	12	36	148	354	170	720

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	294	358	58	13	723
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	286	327	98	12	723
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	353	302	58	9	722
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	333	306	68	16	723
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	358	253	83	28	722
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	393	290	33	7	723
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	306	310	94	13	723
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	330	331	49	12	722
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	311	327	67	13	718
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	357	291	61	13	722
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	342	302	65	13	722



2016年度前期　科目別

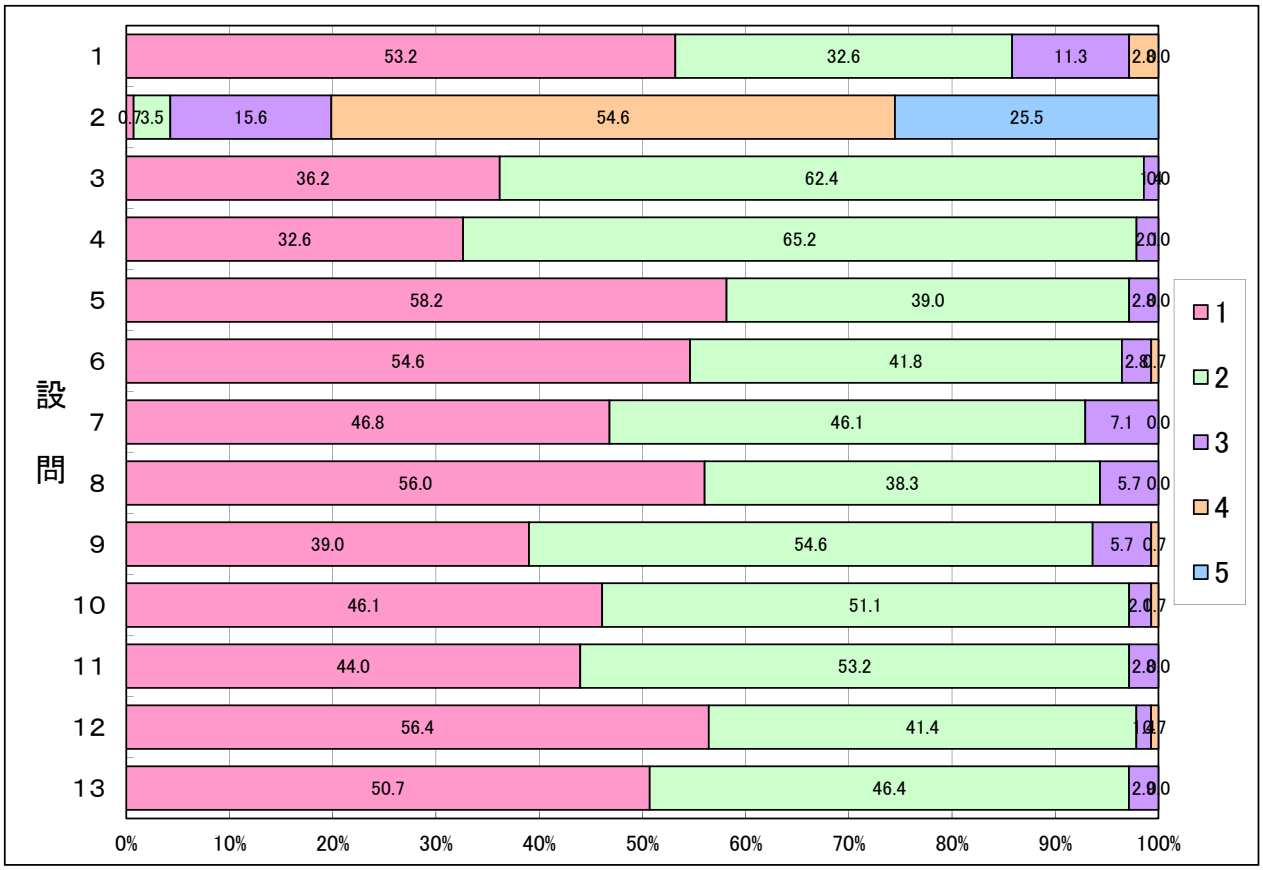
授業評価アンケート集計結果

学芸員課程科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	75	46	16	4	0	141

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	5	22	77	36	141

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	51	88	2	0	141
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	46	92	3	0	141
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	82	55	4	0	141
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	77	59	4	1	141
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	66	65	10	0	141
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	79	54	8	0	141
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	55	77	8	1	141
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	65	72	3	1	141
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	62	75	4	0	141
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	79	58	2	1	140
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	71	65	4	0	140



2016年度前期　女性学・ジェンダー関係科目

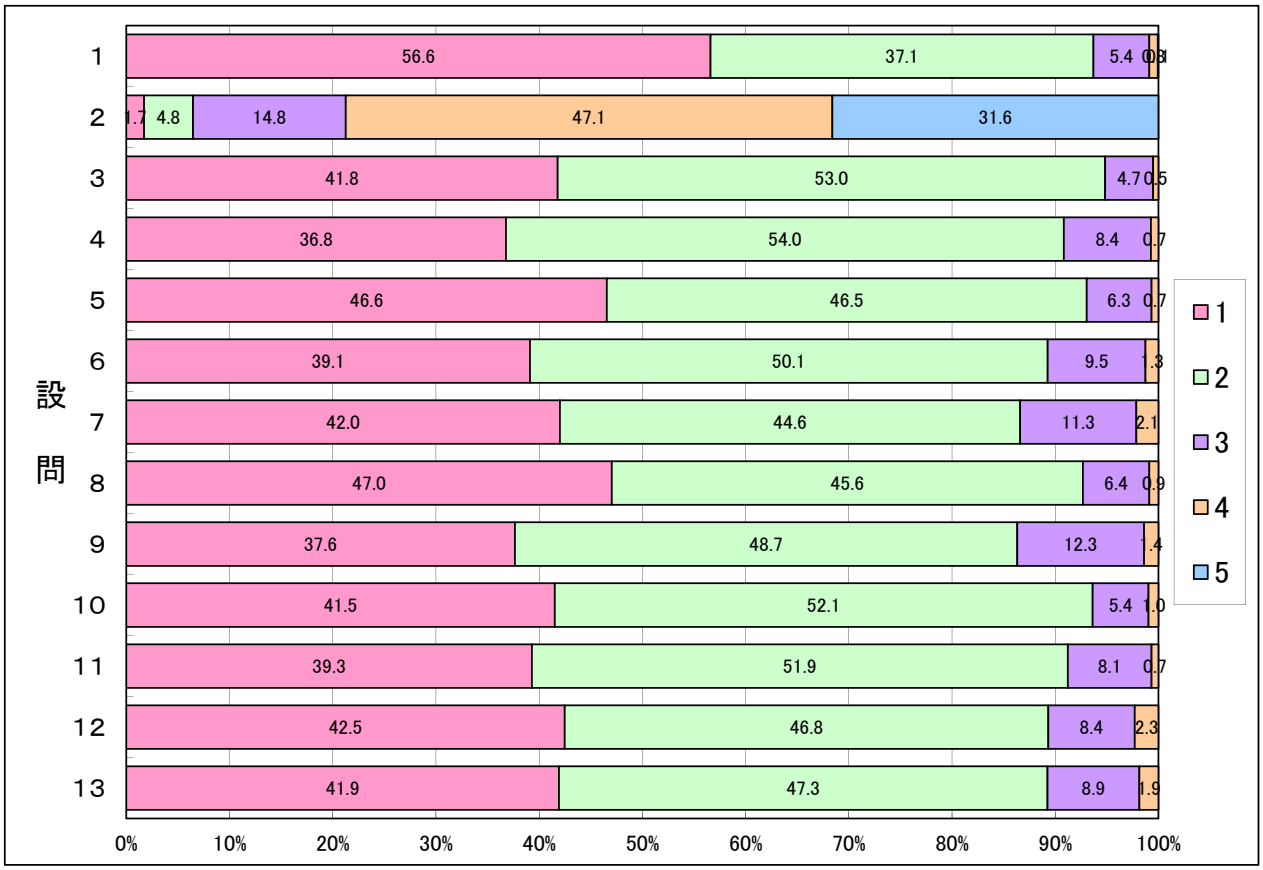
授業評価アンケート集計結果

学科科目以外

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	763	500	73	11	1	1,348

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	23	64	199	634	425	1,345

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	565	717	63	7	1,352
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	497	730	114	10	1,351
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	629	628	85	9	1,351
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	528	677	128	17	1,350
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	567	602	152	29	1,350
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	635	616	87	12	1,350
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	509	658	166	19	1,352
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	560	703	73	13	1,349
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	528	698	109	9	1,344
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	573	632	113	31	1,349
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	565	638	120	25	1,348



2016年度前期　履修者数別

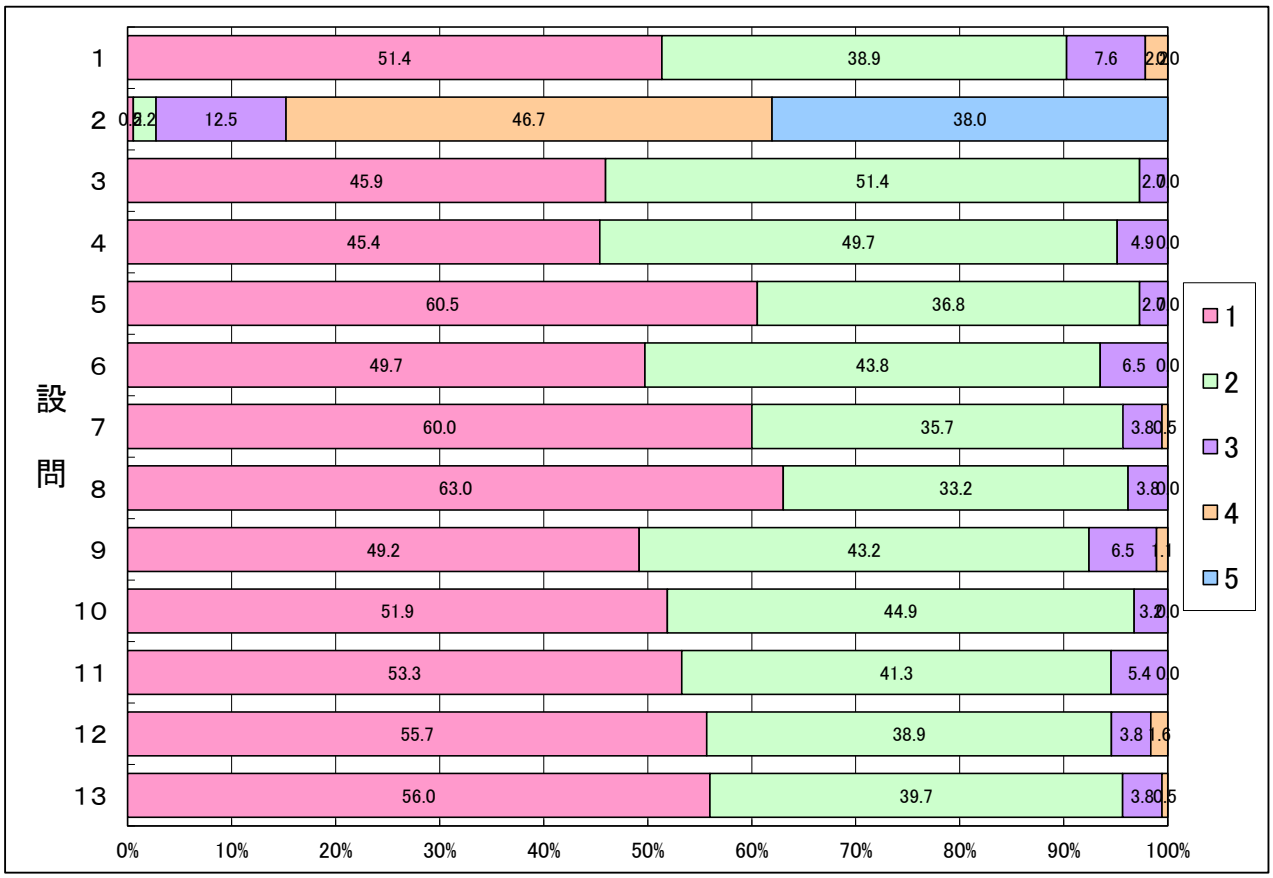
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性の生きる力）101名以上200名以下（100名以下の科目1件は除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	95	72	14	4	0	185

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	4	23	86	70	184

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	85	95	5	0	185
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	84	92	9	0	185
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	112	68	5	0	185
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	92	81	12	0	185
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	111	66	7	1	185
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	116	61	7	0	184
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	91	80	12	2	185
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	96	83	6	0	185
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	98	76	10	0	184
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	103	72	7	3	185
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	103	73	7	1	184



2016年度前期　履修者数別

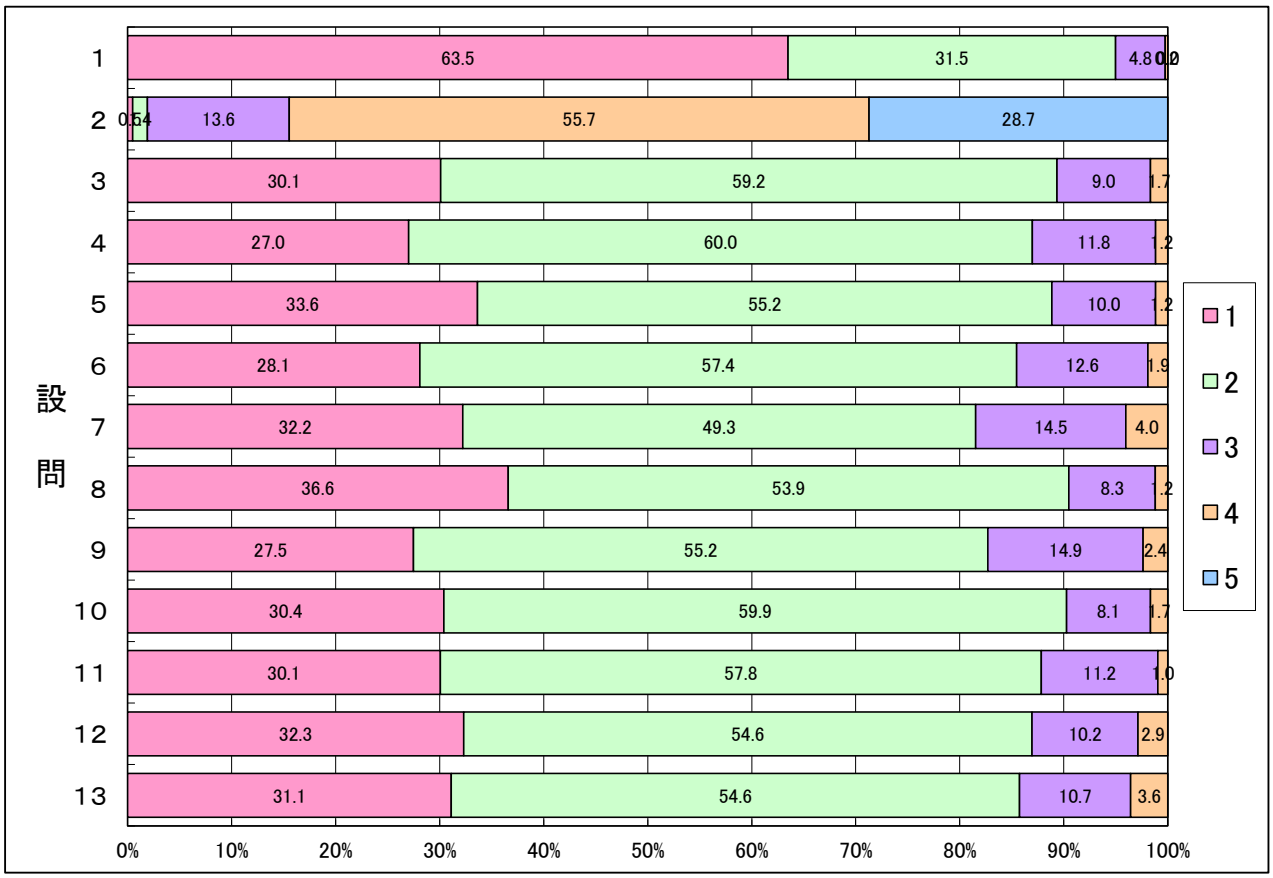
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性の生きる力）201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	266	132	20	1	0	419

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	6	57	233	120	418

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	127	250	38	7	422
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	114	253	50	5	422
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	142	233	42	5	422
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	118	241	53	8	420
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	136	208	61	17	422
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	154	227	35	5	421
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	116	233	63	10	422
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	128	252	34	7	421
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	126	242	47	4	419
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	136	230	43	12	421
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	131	230	45	15	421



2016年度前期　履修者数別

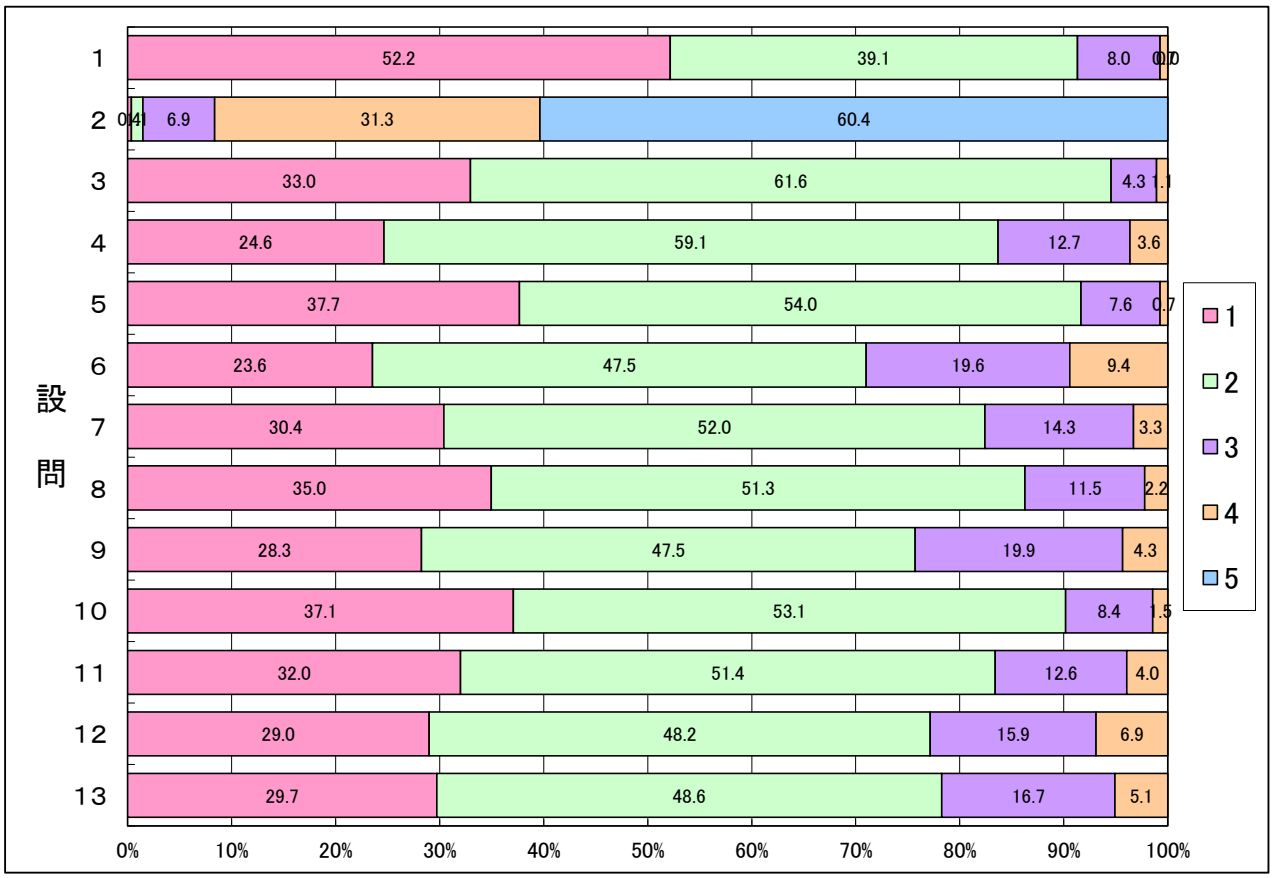
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	144	108	22	2	0	276

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	3	19	86	166	275

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	91	170	12	3	276
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	68	163	35	10	276
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	104	149	21	2	276
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	65	131	54	26	276
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	83	142	39	9	273
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	79	116	26	5	226
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	78	131	55	12	276
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	102	146	23	4	275
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	81	130	32	10	253
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	80	133	44	19	276
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	82	134	46	14	276



2016年度前期　履修者数別

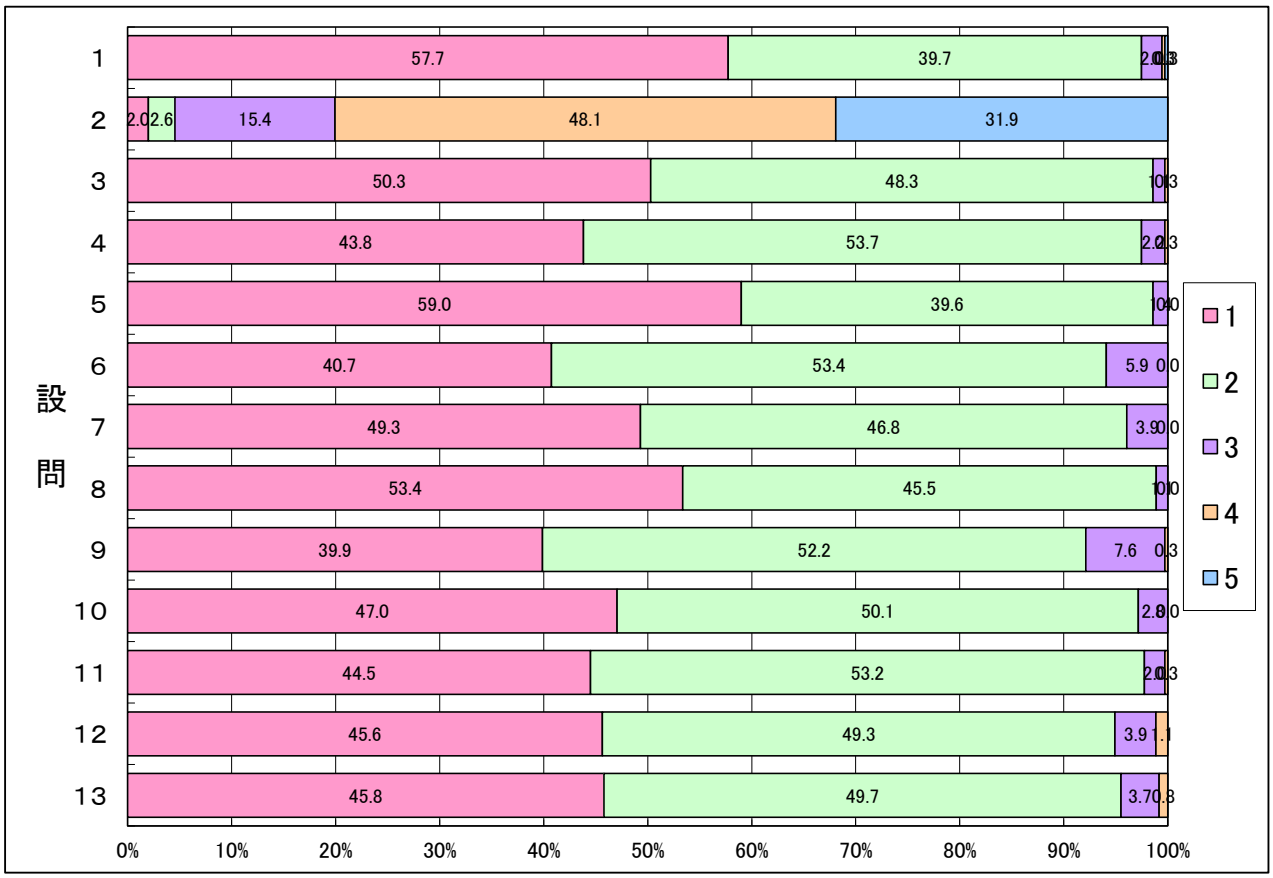
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	205	141	7	1	1	355

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	7	9	54	169	112	351

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	179	172	4	1	356
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	156	191	8	1	356
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	210	141	5	0	356
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	145	190	21	0	356
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	175	166	14	0	355
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	190	162	4	0	356
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	142	186	27	1	356
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	167	178	10	0	355
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	158	189	7	1	355
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	162	175	14	4	355
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	163	177	13	3	356



2016年度前期　履修者数別

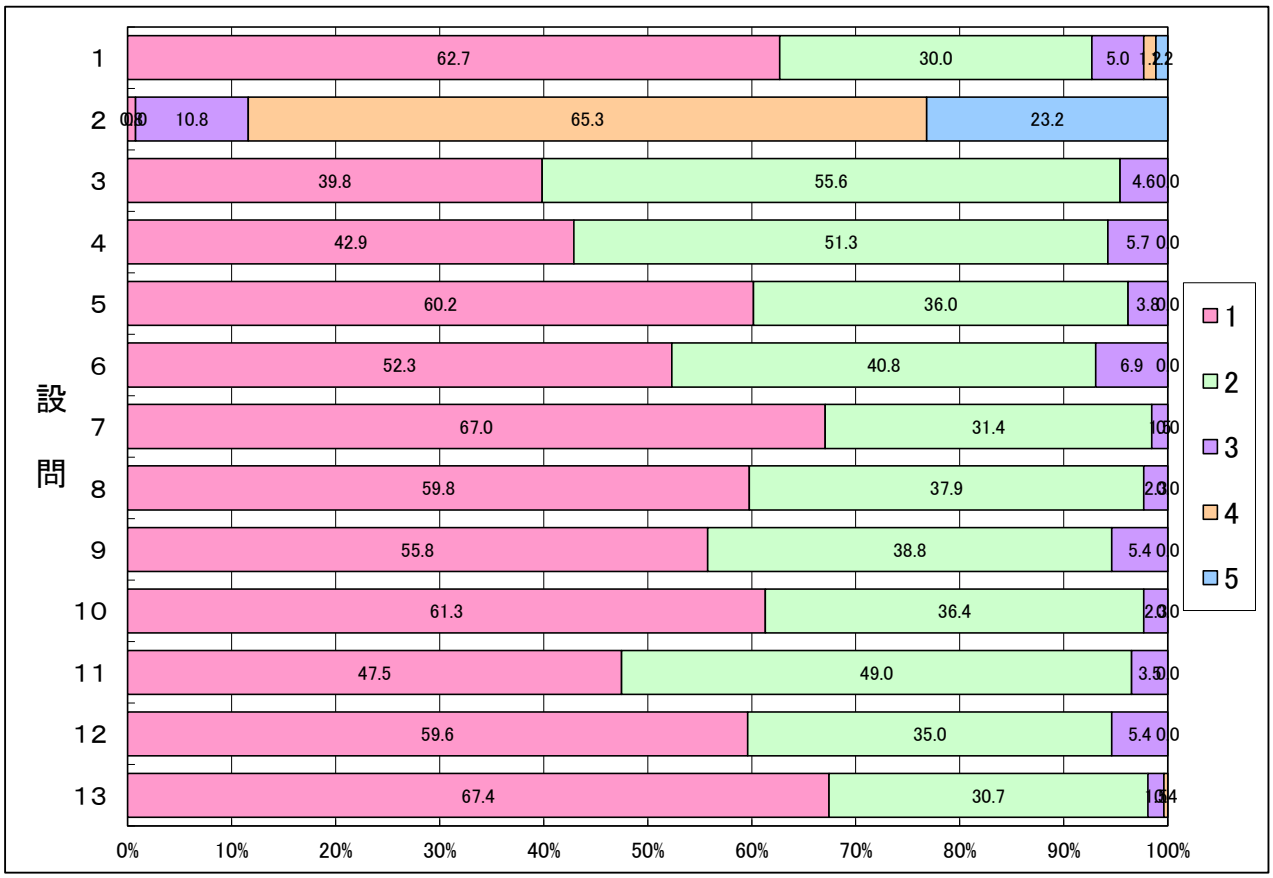
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	163	78	13	3	3	260

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	0	28	169	60	259

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	104	145	12	0	261
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	112	134	15	0	261
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	157	94	10	0	261
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	136	106	18	0	260
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	175	82	4	0	261
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	156	99	6	0	261
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	145	101	14	0	260
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	160	95	6	0	261
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	123	127	9	0	259
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	155	91	14	0	260
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	176	80	4	1	261



2016年度前期　履修者数別

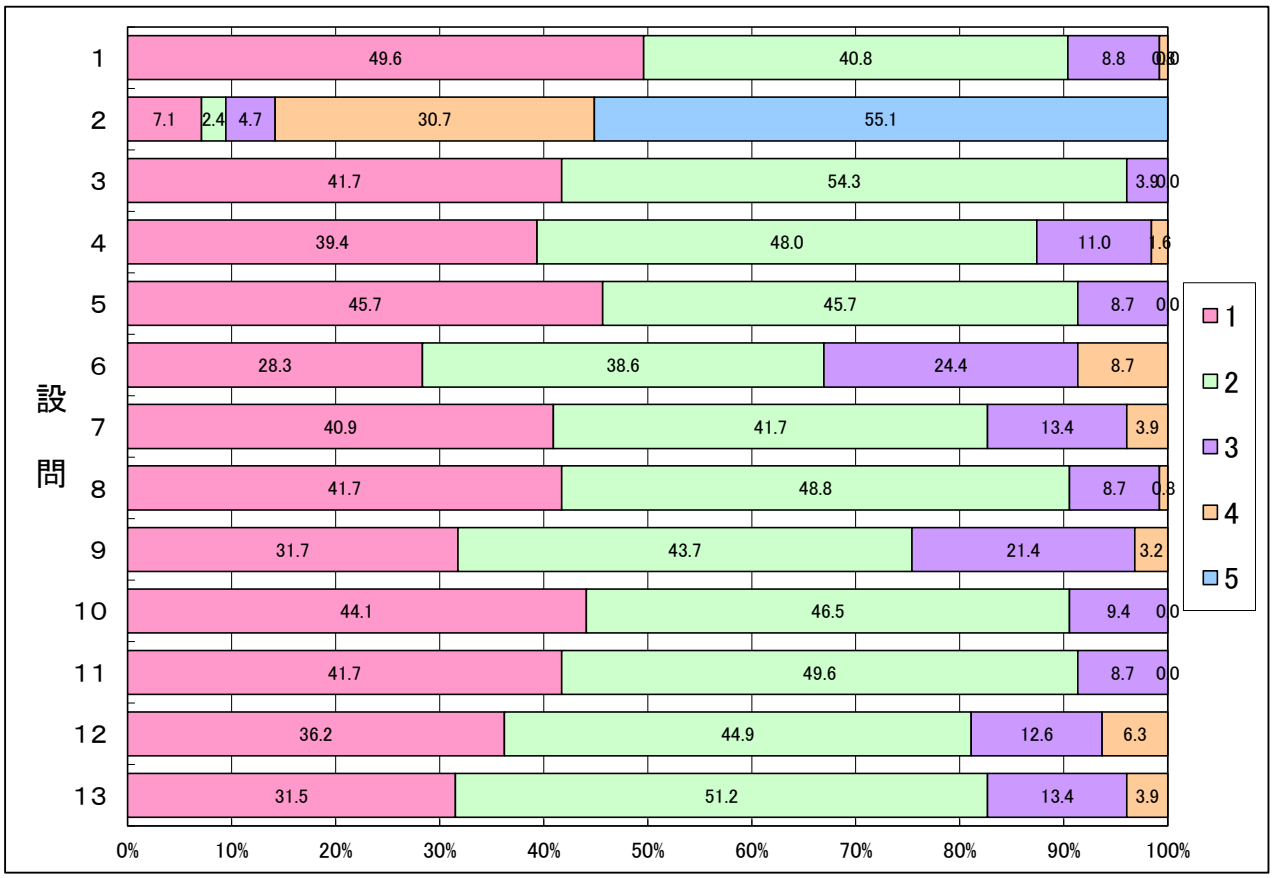
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間自身を知る）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	62	51	11	1	0	125

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	3	6	39	70	127

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	53	69	5	0	127
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	50	61	14	2	127
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	58	58	11	0	127
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	36	49	31	11	127
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	52	53	17	5	127
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	53	62	11	1	127
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	40	55	27	4	126
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	56	59	12	0	127
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	53	63	11	0	127
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	46	57	16	8	127
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	40	65	17	5	127



2016年度前期　履修者数別

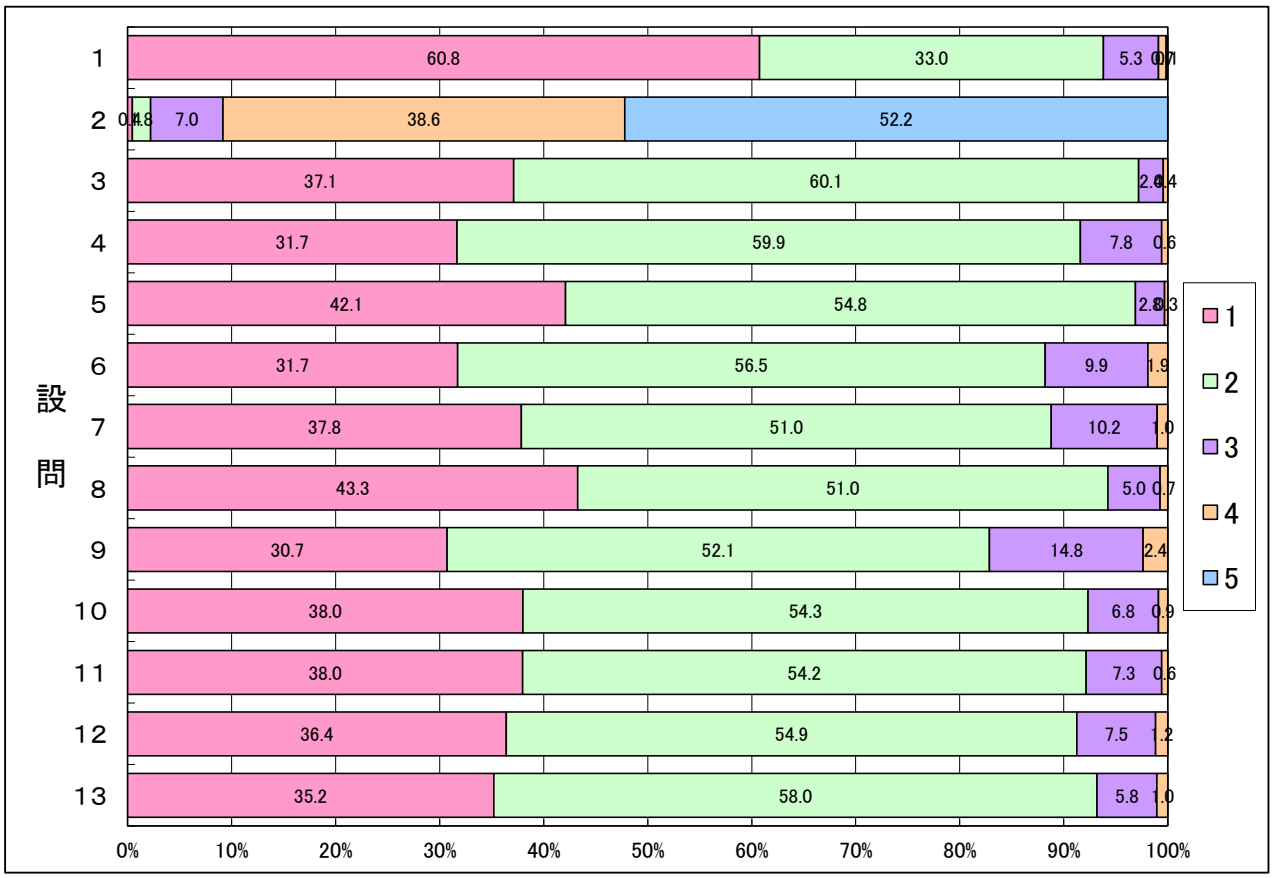
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間自身を知る）101名以上300名以下（201名以上300名以下の科目1件を含む）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	412	224	36	5	1	678

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	12	47	261	353	676

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	252	408	16	3	679
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	215	407	53	4	679
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	285	371	19	2	677
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	215	383	67	13	678
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	257	346	69	7	679
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	293	345	34	5	677
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	208	353	100	16	677
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	258	369	46	6	679
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	256	365	49	4	674
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	246	371	51	8	676
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	238	392	39	7	676



2016年度前期　履修者数別

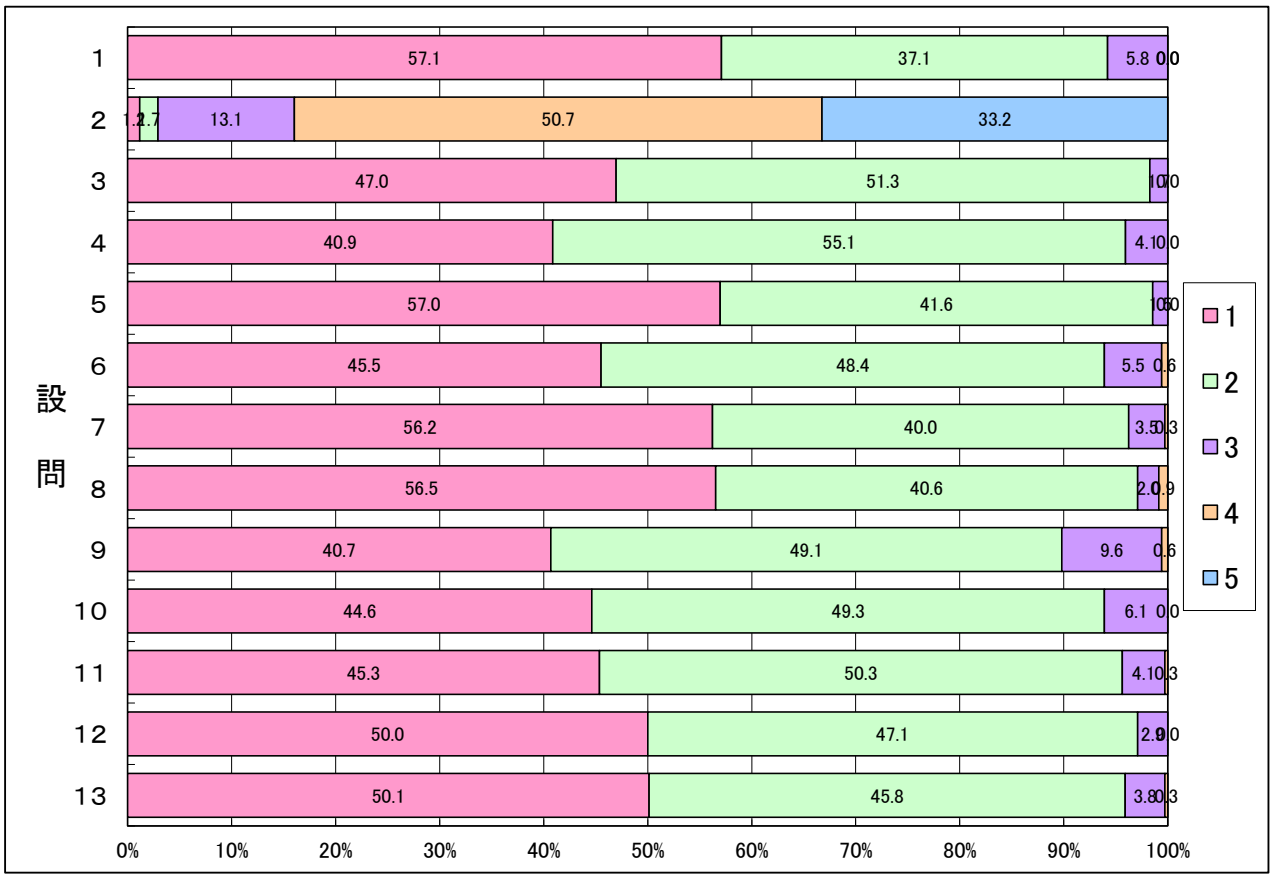
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	197	128	20	0	0	345

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	6	45	174	114	343

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	162	177	6	0	345
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	141	190	14	0	345
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	196	143	5	0	344
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	157	167	19	2	345
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	194	138	12	1	345
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	195	140	7	3	345
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	140	169	33	2	344
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	154	170	21	0	345
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	156	173	14	1	344
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	172	162	10	0	344
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	172	157	13	1	343



2016年度前期　履修者数別

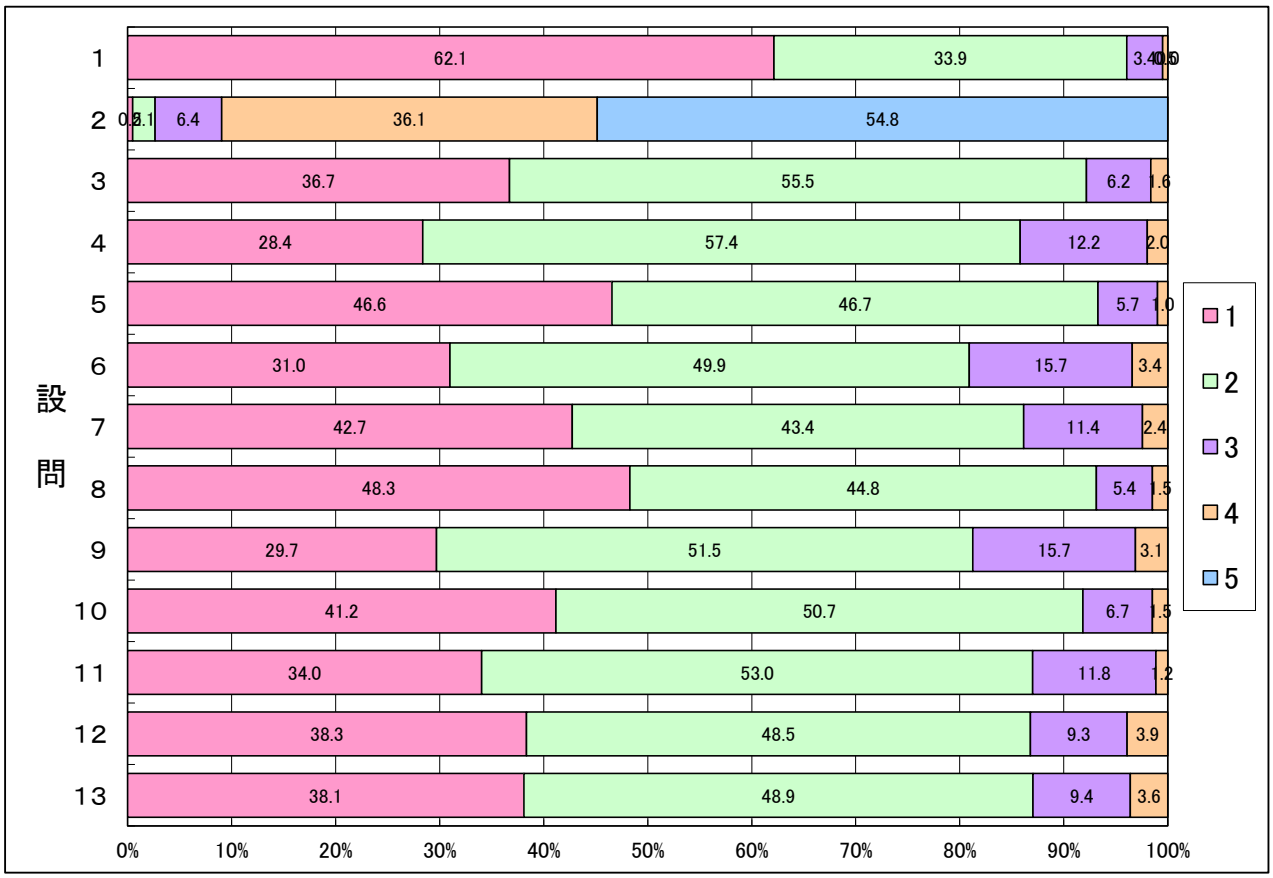
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	379	207	21	3	0	610

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	13	39	220	334	609

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	225	340	38	10	613
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	174	352	75	12	613
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	285	286	35	6	612
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	190	306	96	21	613
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	262	266	70	15	613
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	295	274	33	9	611
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	182	316	96	19	613
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	252	310	41	9	612
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	207	322	72	7	608
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	235	297	57	24	613
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	232	298	57	22	609



2016年度前期　履修者数別

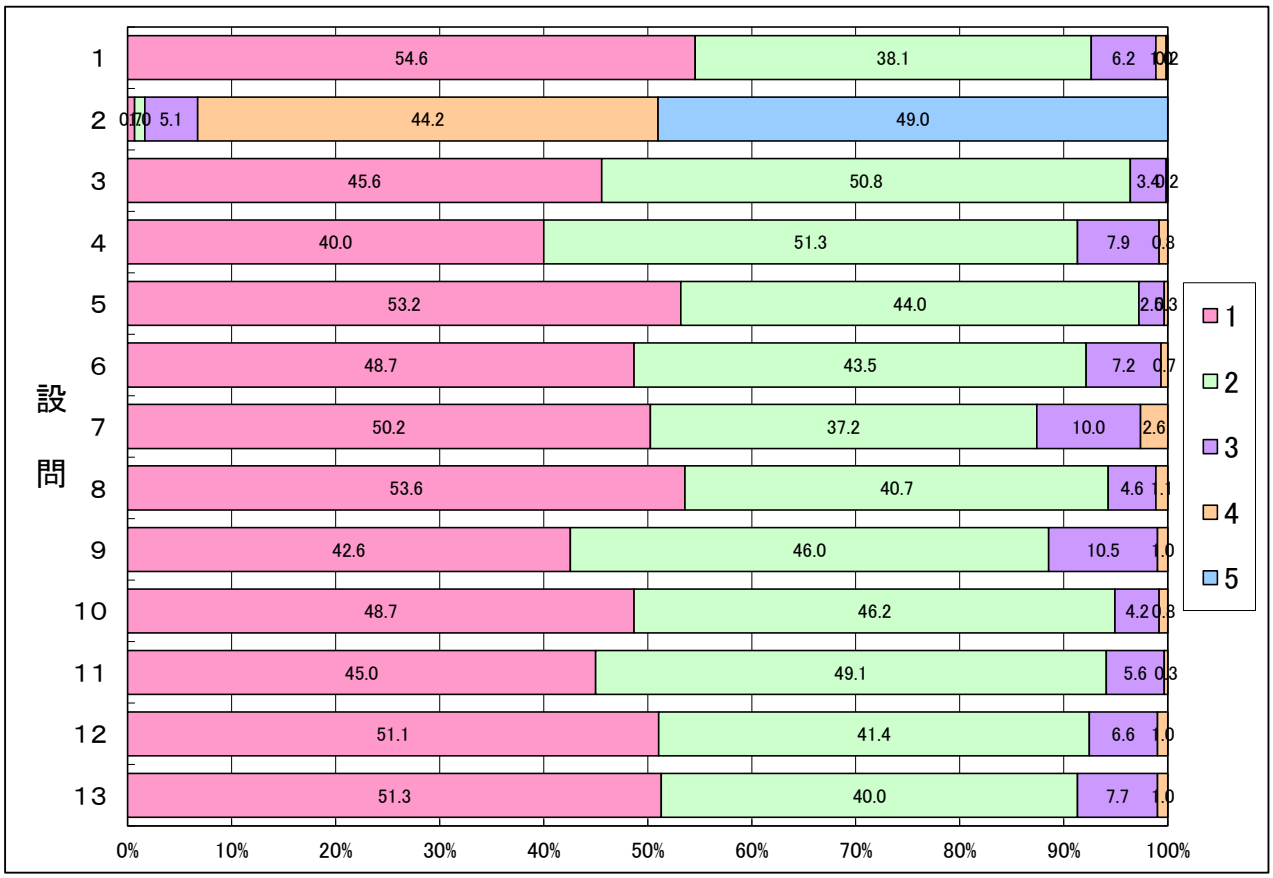
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	334	233	38	6	1	612

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	6	31	269	298	608

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	279	311	21	1	612
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	244	313	48	5	610
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	325	269	15	2	611
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	298	266	44	4	612
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	307	227	61	16	611
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	328	249	28	7	612
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	260	281	64	6	611
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	298	283	26	5	612
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	274	299	34	2	609
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	311	252	40	6	609
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	313	244	47	6	610



2016年度前期　履修者数別

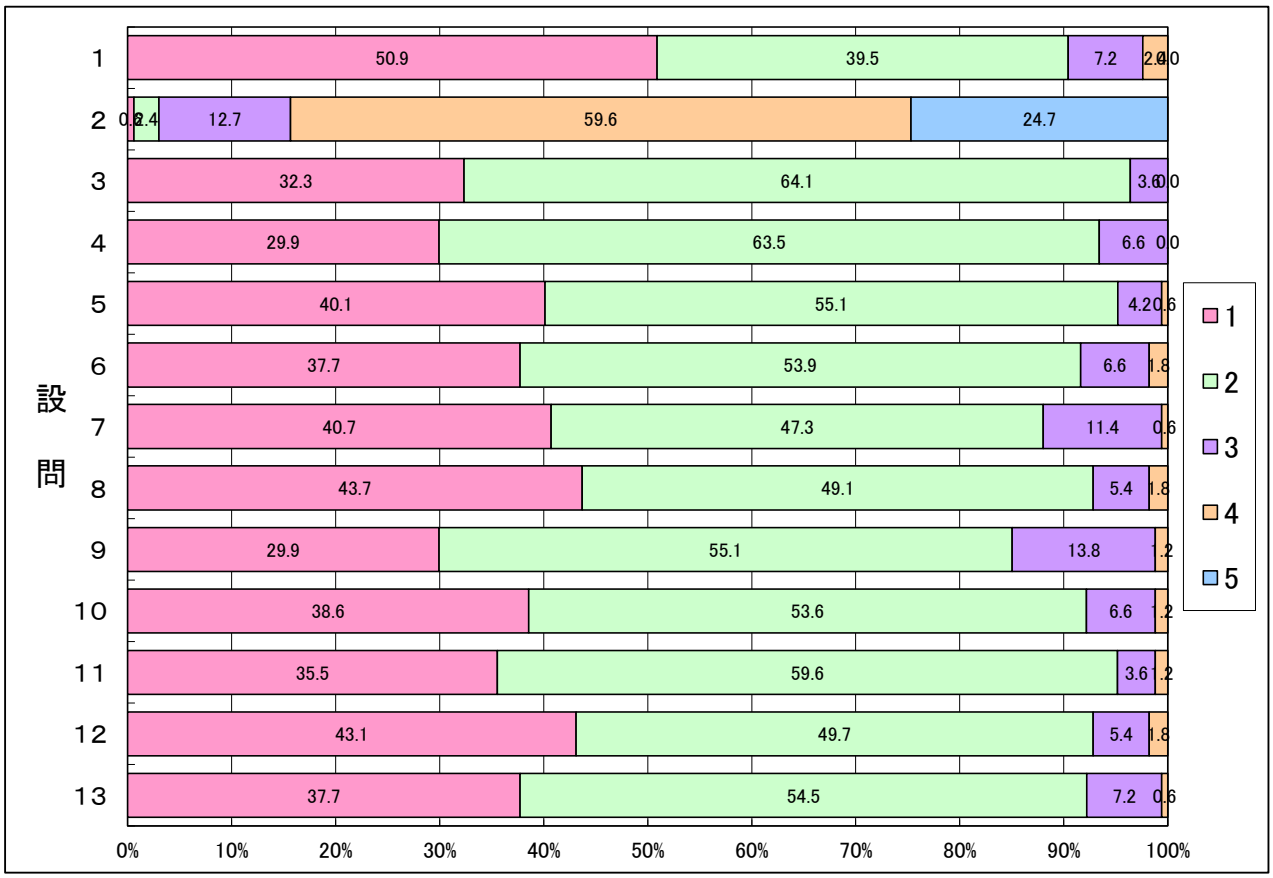
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	85	66	12	4	0	167

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	4	21	99	41	166

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	54	107	6	0	167
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	50	106	11	0	167
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	67	92	7	1	167
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	63	90	11	3	167
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	68	79	19	1	167
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	73	82	9	3	167
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	50	92	23	2	167
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	64	89	11	2	166
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	59	99	6	2	166
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	72	83	9	3	167
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	63	91	12	1	167



2016年度前期　履修者数別

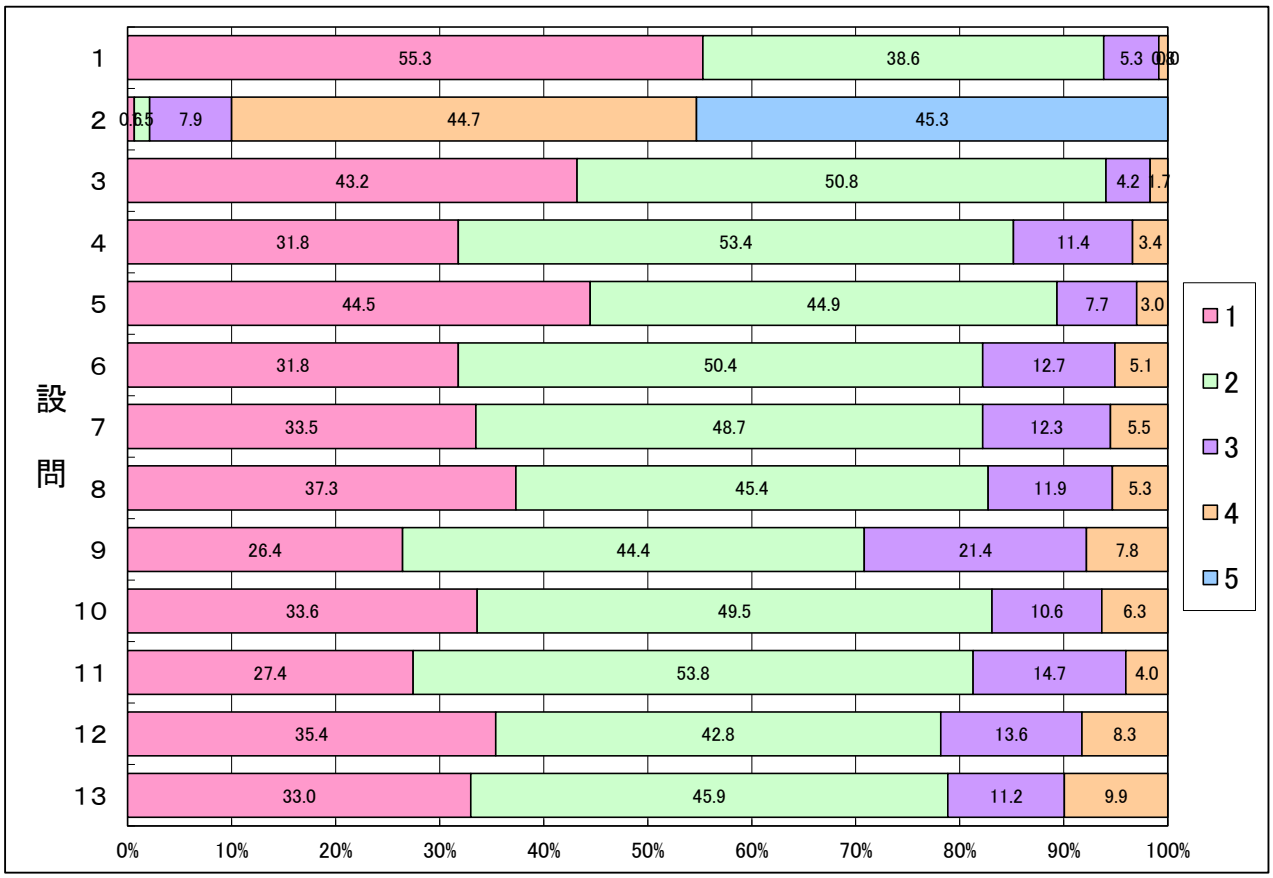
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	261	182	25	4	0	472

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	7	37	210	213	470

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	204	240	20	8	472
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	150	252	54	16	472
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	209	211	36	14	470
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	150	238	60	24	472
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	158	230	58	26	472
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	175	213	56	25	469
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	125	210	101	37	473
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	159	234	50	30	473
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	129	253	69	19	470
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	167	202	64	39	472
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	156	217	53	47	473



2016年度前期　履修者数別

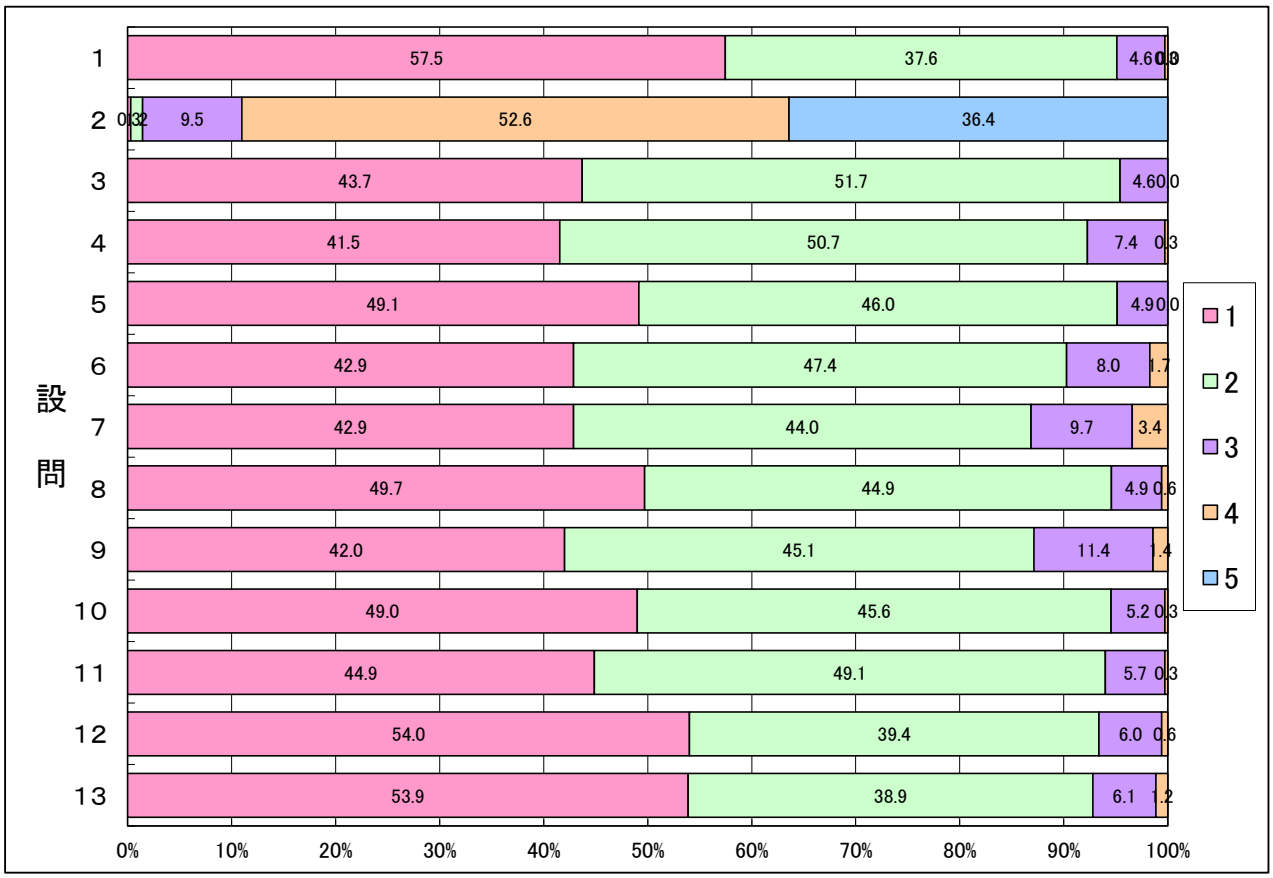
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	200	131	16	1	0	348

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	4	33	182	126	346

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	153	181	16	0	350
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	145	177	26	1	349
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	172	161	17	0	350
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	150	166	28	6	350
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	150	154	34	12	350
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	174	157	17	2	350
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	147	158	40	5	350
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	171	159	18	1	349
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	157	172	20	1	350
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	188	137	21	2	348
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	187	135	21	4	347



2016年度前期　履修者数別

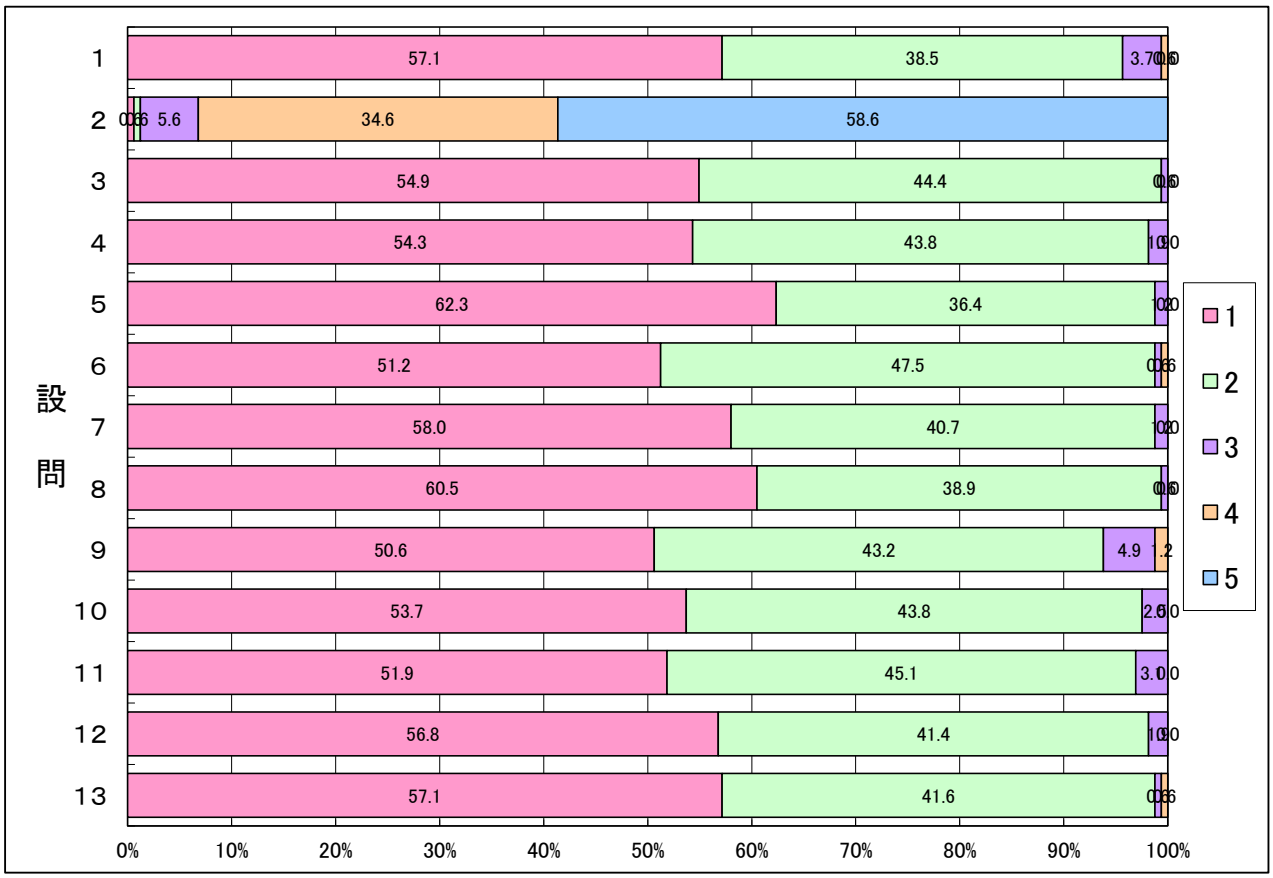
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）101名以上200名以下（100名以下の科目、301名以上400名以下の科目各1件は除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	92	62	6	1	0	161

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	1	9	56	95	162

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	89	72	1	0	162
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	88	71	3	0	162
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	101	59	2	0	162
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	83	77	1	1	162
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	94	66	2	0	162
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	98	63	1	0	162
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	82	70	8	2	162
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	87	71	4	0	162
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	84	73	5	0	162
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	92	67	3	0	162
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	92	67	1	1	161

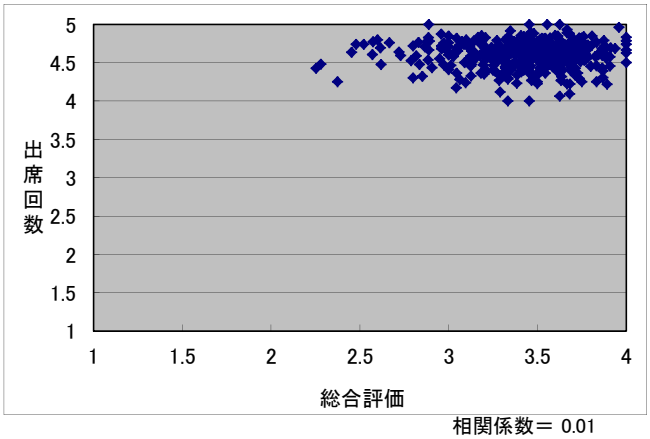


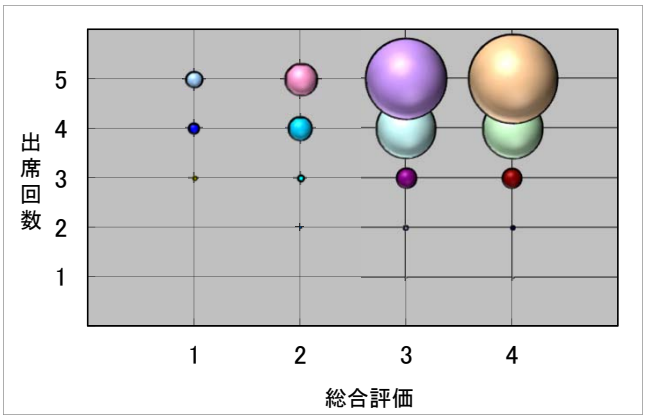
授業評価アンケート集計結果

2016年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

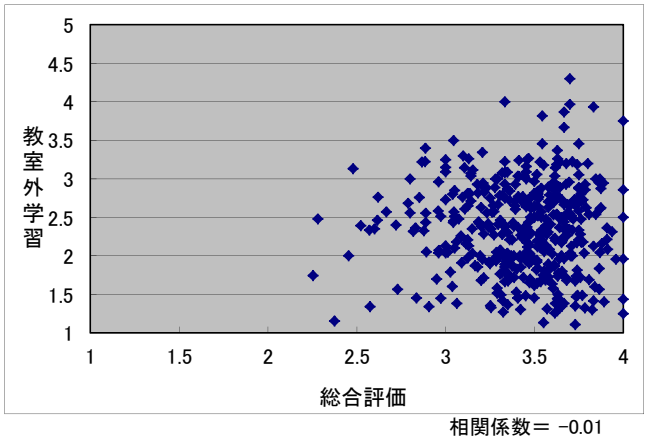
総合評価と出席回数（設問1）の関係

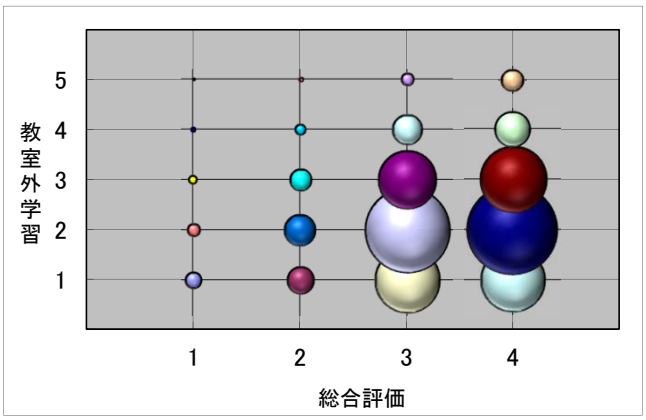




相関係数＝ 0.01

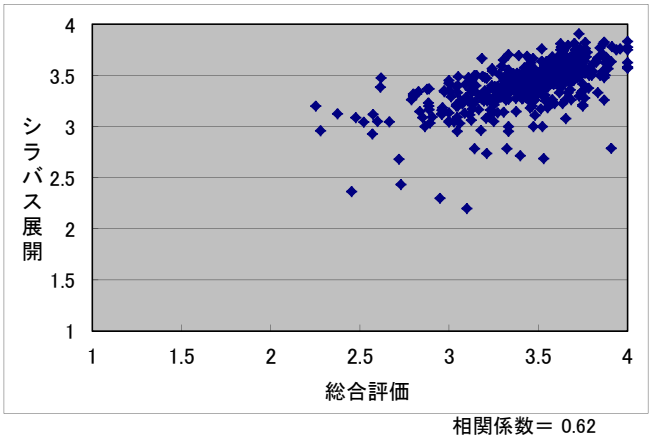
総合評価と教室外学習（設問2）の関係

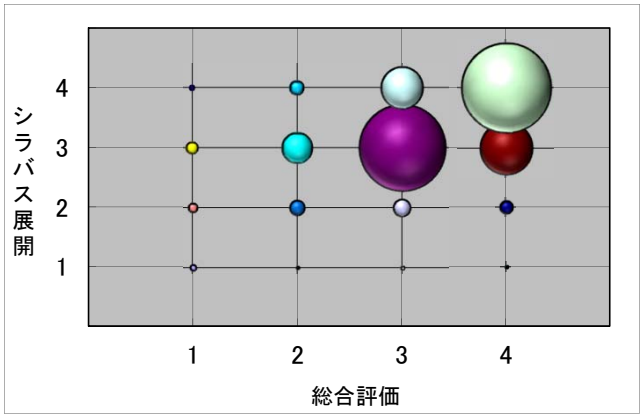




相関係数＝ -0.01

総合評価とシラバス展開（設問3）の関係





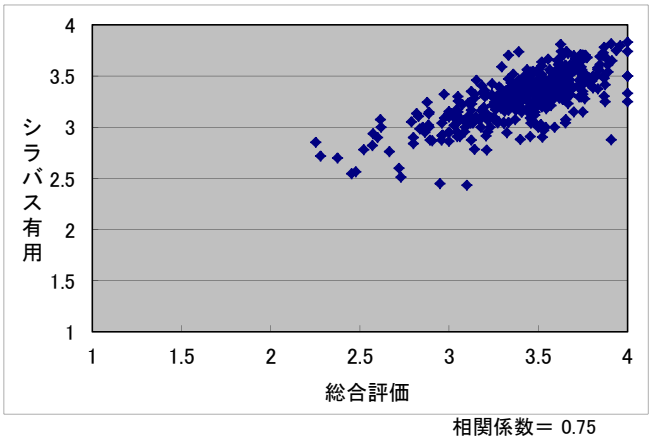
相関係数＝ 0.62

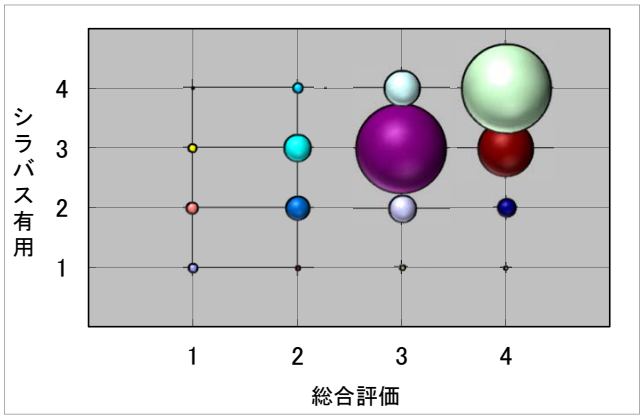
授業評価アンケート集計結果

2016年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

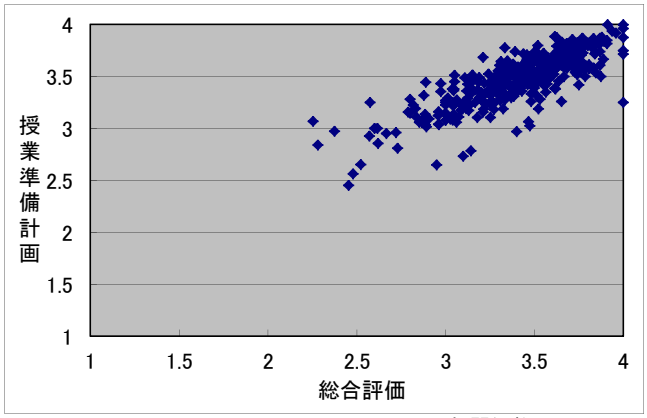
総合評価とシラバス有用（設問4）の関係

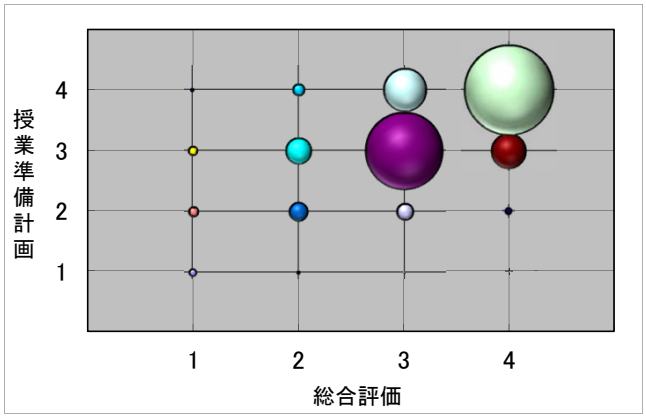




相関係数＝ 0.75

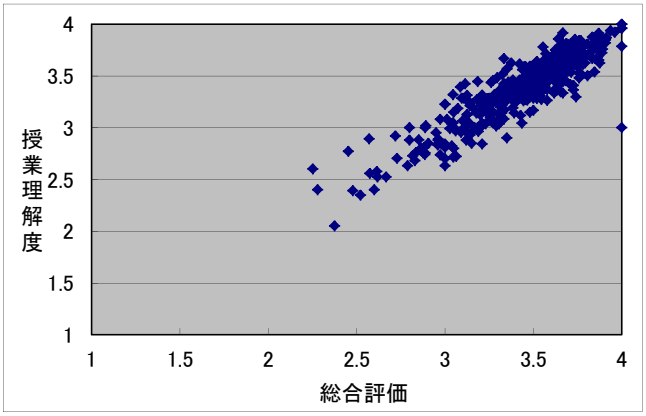
総合評価と授業準備計画（設問5）の関係

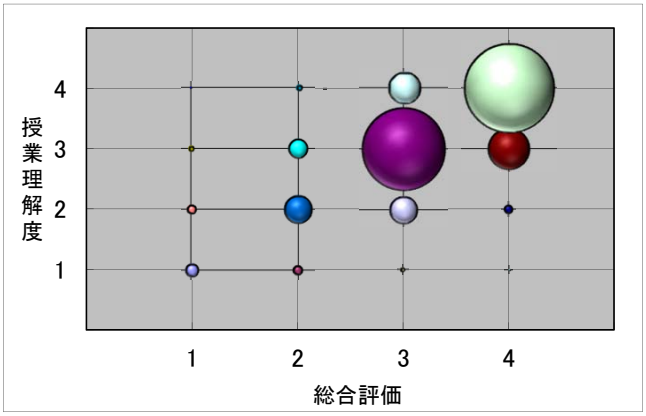




相関係数＝ 0.83

総合評価と授業理解度（設問6）の関係





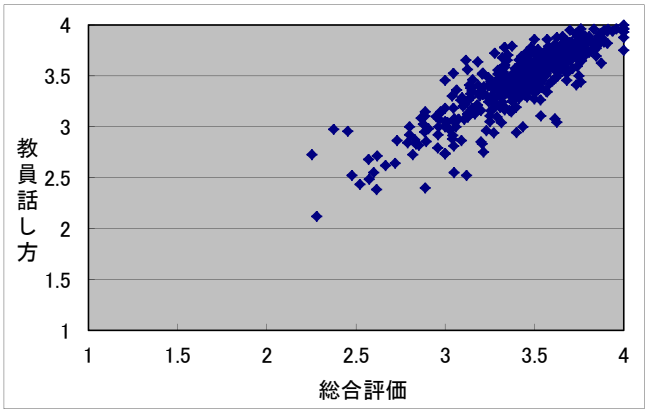
相関係数＝ 0.90

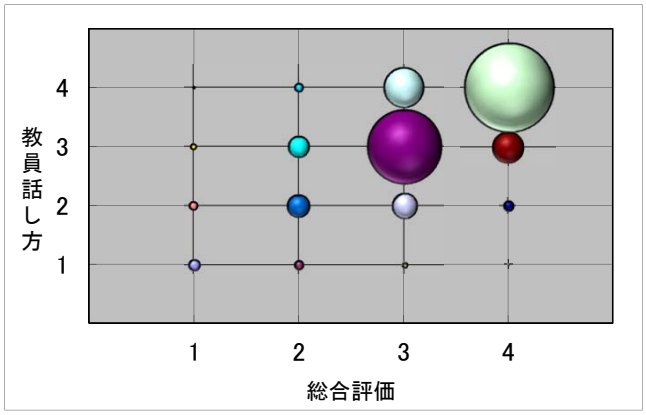
授業評価アンケート集計結果

2016年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

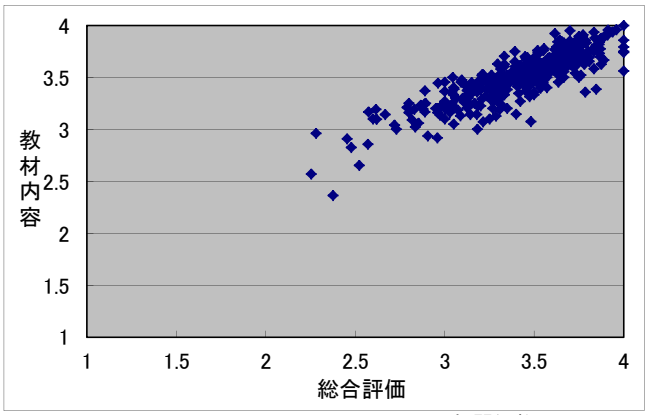
総合評価と教員話し方（設問7）の関係

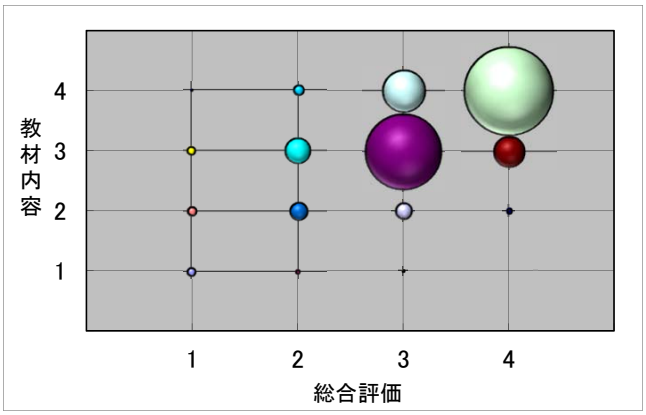




相関係数＝ 0.86

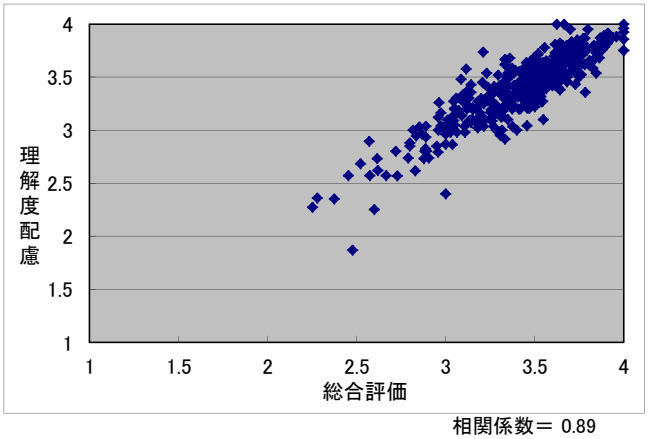
総合評価と教材内容（設問8）の関係

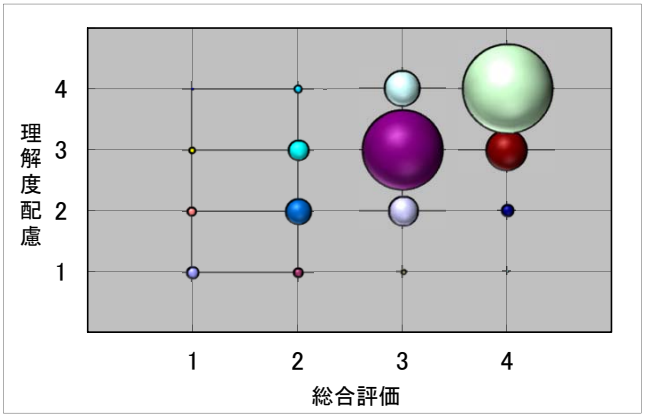




相関係数＝ 0.87

総合評価と理解度配慮（設問9）の関係





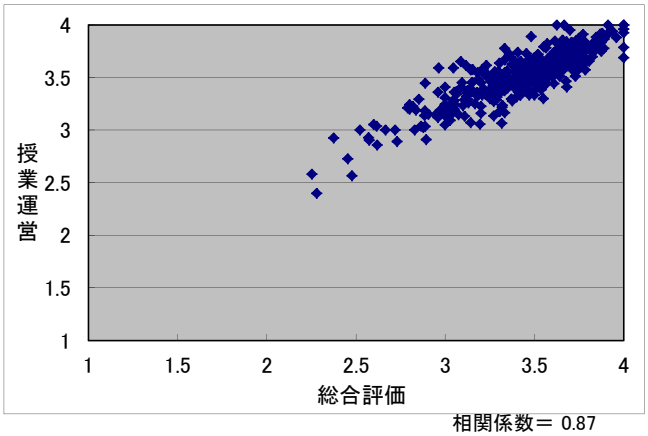
相関係数＝ 0.89

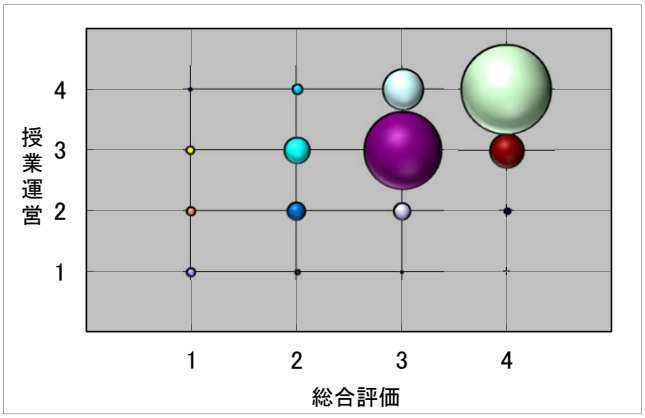
授業評価アンケート集計結果

2016年度前期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

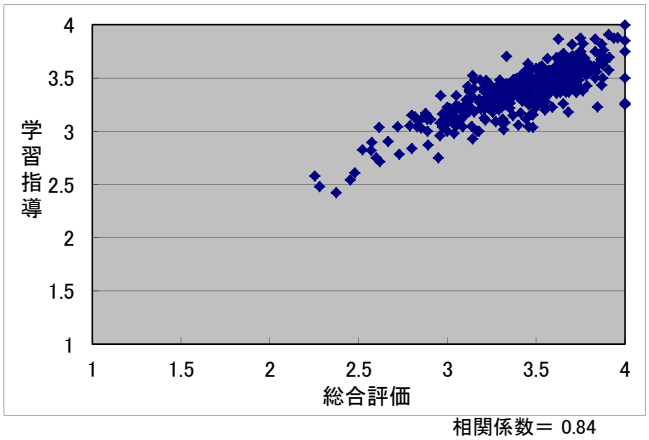
総合評価と授業運営（設問10）の関係

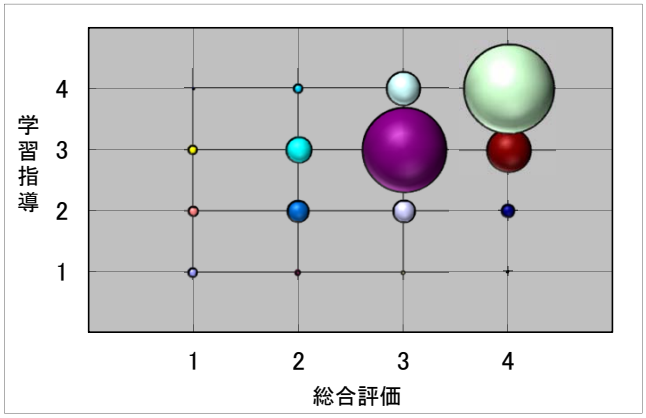




相関係数＝ 0.87

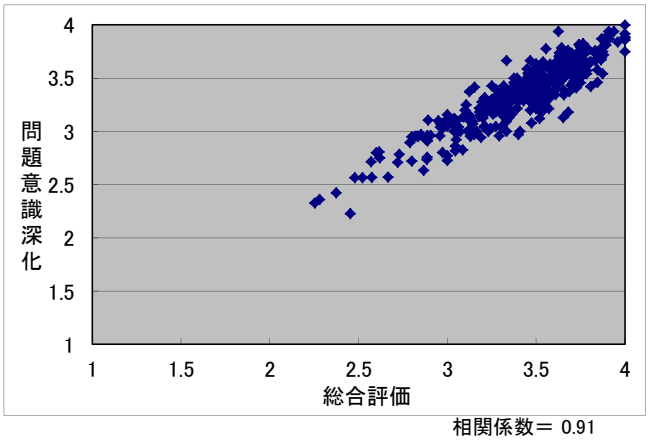
総合評価と学習指導（設問11）の関係

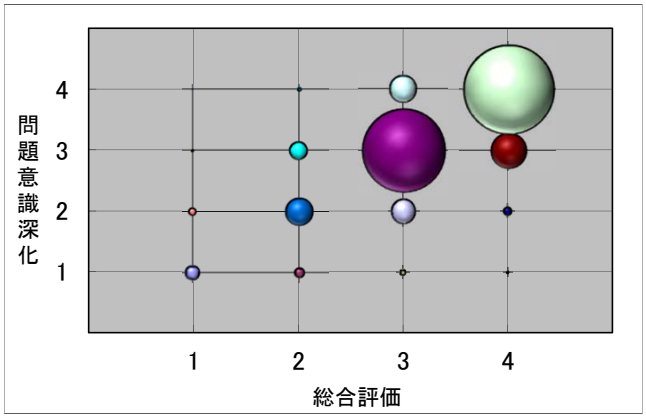




相関係数＝ 0.84

総合評価と問題意識深化（設問12）の関係





相関係数＝ 0.91

２０１７年度後期

「学生による授業評価」アンケート集計結果

学科科目以外の授業科目

2018年４月

東京女子大学ＦＤ委員会

2017 年度後期「学生による授業評価」アンケート実施結果概要

今回のアンケートも、先生方及び履修者の協力を得て、下記の通り多くの対象科目で実施することができました。

個別の授業別集計結果については、2018 年 3 月上旬に担当教員にお渡ししています。

学部全体集計、科目別集計等については、次頁以降に掲載します。

記

実施機関：　東京女子大学ＦＤ委員会

目　　的：　受講者の意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における学科科目等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的とする。

実施期間：　2017 年 12 月 20 日（水）～2018 年 1 月 22 日（月）　※各授業、期間中に 1 回実施

実施対象：　学科科目以外の授業科目

対象科目：　437 科目

＊現代教養学部 2013 課程（2013 年度以降入学者に適用）が、現代教養学部 2009 課程（2012 年度以前入学者に適用）と共通開講の場合は、現代教養学部 2013 課程の授業として実施・集計した。

実施科目：　375 科目

実 施 率：　85.8%

開　　示：　専任教職員・本学学生には本学公式 Web サイト上でインターネット開示するとともに、学内の次の場所で紙媒体で開示します。非常勤講師には紙媒体で開示します。

本学公式 Web サイト

教職員（専任教職員のみ）　http://office.twcu.ac.jp/univ/about/gp/fd/

学　生　http://office.twcu.ac.jp/univ/about/gp/fd/

紙媒体閲覧場所

教職員（非常勤講師を含む）

図書館、教育研究支援課、学科・専攻オフィス、全学共通教育センター、教職課程・学芸員課程、女性学研究所

学　生　図書館、教育研究支援課

SAMPLE

「学生による授業評価」アンケート

2017年度(後期)

このアンケートは、受講者の皆さんの意見により、授業の実態を把握し、来学期以降における全学共通カリキュラム等の授業の教育方法を検討し、授業改善・充実に役立てることを目的として実施します。
回答は、無記名です。裏面の自由回答も含め、回答の内容は集計され、担当教員等が閲覧しますが、誰がどのように回答したかわかることは一切ありません。
成績評価に反映されることもありません。
アンケートの回収、封入は皆さんの中の協力者にお願いします。
全体集計、科目別集計等の集計結果は、来学期初めに本学公式ウェブサイト、図書館、教育研究支援課で閲覧することができます。

東京女子大学ＦＤ委員会

注意事項	
	・この用紙を折ったり、汚したりしないでください。 ・マークは直接機械にかけるため、選択肢の ⬭ 印を例のように塗りつぶしてください。 ・回答には必ずＨＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。 (例)　良いマーク ●　悪いマーク ●⬭　✓　⬭　●

A．学年　(1)1年　(2)2年　(3)3年　(4)4年　(5)院生　(6)それ以外	① ⑥	②	③	④	⑤
B．専攻　(1)哲　(2)日　(3)英　(4)史　(5)国 (6)経　(7)社　(8)心　(9)コミュ　(10)言 (11)数　(12)情	① ⑥ ⑪	② ⑦ ⑫	③ ⑧	④ ⑨	⑤ ⑩

	すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった
1）あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	①	②	③	④	⑤

	週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない
2）この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	①	②	③	④	⑤

	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
3）この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	①	②	③	④
4）この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	①	②	③	④
5）この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	①	②	③	④
6）授業の内容は、よく理解できましたか。	①	②	③	④
7）教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	①	②	③	④
8）教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	①	②	③	④
9）教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	①	②	③	④
10）教員は授業運営(質問の機会等)を適切かつ公正に行っていましたか。	①	②	③	④
11）教室外学習の指導(参考文献の提示、文献の調べ方など)は、適切でしたか。	①	②	③	④
12）授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	①	②	③	④
13）総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	①	②	③	④

●以下の問14～16は、この授業が、外国語英語(必修)の場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
14）(この授業が英語ReadingⅠ又はReadingⅡの場合) 読解力が向上しましたか。	①	②	③	④
15）(この授業が英語CS又はDSの場合) 聴く力が向上しましたか。	①	②	③	④
16）(この授業が英語CS又はDSの場合) 話す力が向上しましたか。	①	②	③	④

●以下の問17は、この授業が、情報処理技法(リテラシ)Ⅰの場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
17）(この授業が情報処理技法(リテラシ)Ⅰの場合) コンピュータスキルは向上しましたか。	①	②	③	④

●以下の問18～20は、この授業が、日本語表現法Ⅰの場合のみ回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
18）(この授業が日本語表現法Ⅰの場合) 文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	①	②	③	④
19）(この授業が日本語表現法Ⅰの場合) 論理的・説得的な文章表現・口頭表現ができるようになりましたか。	①	②	③	④
20）(この授業が日本語表現法Ⅰの場合) 学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	①	②	③	④

●以下の問21～23は、この授業担当教員の個別の設問ですので、教員の指示に従って回答して下さい。	非常にそう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
21）個別設問 1	①	②	③	④
22）個別設問 2	①	②	③	④
23）個別設問 3	①	②	③	④

(裏面に続く)

自由回答欄

この授業の良かった点、あるいは改善すべき点は何ですか。改善すべき点については、単なる批判でなく授業の改善につながるような建設的な意見を、簡潔に50字程度で書いて下さい。

ここに記入された自由回答は、誰が回答したかわからないよう集計され、この授業を担当した教員等が閲覧し、授業の改善に役立てられます。

2017年度後期　授業評価アンケート集計結果

§§　目次　§§

全体集計	（※外国人留学生科目1件を含む）	1
科目別集計	リベラル・スタディーズ	２－１
	総合教養科目	２－１－１
	総合教養科目（女性の生きる力）	２－１－１－１
	総合教養科目（人間と自然科学）	２－１－１－２
	総合教養科目（人間自身を知る）	２－１－１－３
	総合教養科目（人間の知的生産）	２－１－１－４
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）	２－１－１－５
	総合教養科目（女性のウェルネス）	２－１－１－６
	総合教養科目（女性のウェルネス）（必修）	２－１－１－６－１
	総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）	２－１－１－６－２
	総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・実習）	２－１－１－６－３
	総合教養科目（演習）	２－１－１－７
	キリスト教学科目	２－１－２
	アカデミック・スキル科目（※ギリシア語・ラテン語1件を含む）	２－２
	英語（必修）	２－２－１
	Communication Skills	２－２－１－１
	Discussion Skills	２－２－１－２
	Reading Ⅰ	２－２－１－３
	Reading Ⅱ	２－２－１－４
	英語（選択）	２－２－２
	ドイツ語（選択必修）	２－２－３
	フランス語（選択必修）	２－２－４
	スペイン語（選択必修）	２－２－５
	スペイン語（選択）	２－２－６
	中国語（選択必修）	２－２－７
	韓国語（選択必修）	２－２－８
	韓国語（選択）	２－２－９
	日本語科目（日本語表現法Ⅰ）	２－２-１０
	情報処理科目	２－２-１１
	教職特設科目	２－３
	教職課程科目	２－４
	学芸員課程科目	２－５
女性学・ジェンダー関係科目集計	学科科目以外	3
履修者数別集計	総合教養科目（女性の生きる力）　101名以上200名以下（100名以下の科目1件は除く）	４－１
	総合教養科目（女性の生きる力）　201名以上400名以下	４－２
	総合教養科目（人間と自然科学）　100名以下	４－３
	総合教養科目（人間と自然科学）　101名以上200名以下	４－４
	総合教養科目（人間と自然科学）　301名以上500名以下	４－５
	総合教養科目（人間自身を知る）　101名以上200名以下（100名以下の科目1件は除く）	４－６
	総合教養科目（人間自身を知る）　201名以上300名以下（401名以上500名以下の科目1件は除く）	４－７
	総合教養科目（人間の知的生産）　100名以下	４－８
	総合教養科目（人間の知的生産）　101名以上200名以下	４－９
	総合教養科目（人間の知的生産）　201名以上300名以下	４-１０
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）　100名以下	４-１１
	総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）　101名以上300名以下（201名以上300名以下の科目1件を含む）	４-１２
	総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）　101名以上200名以下（100名以下、201名以上300名以下の科目各1件は除く）	４-１３
散布図＋バブルチャート	設問13（総合評価）	5

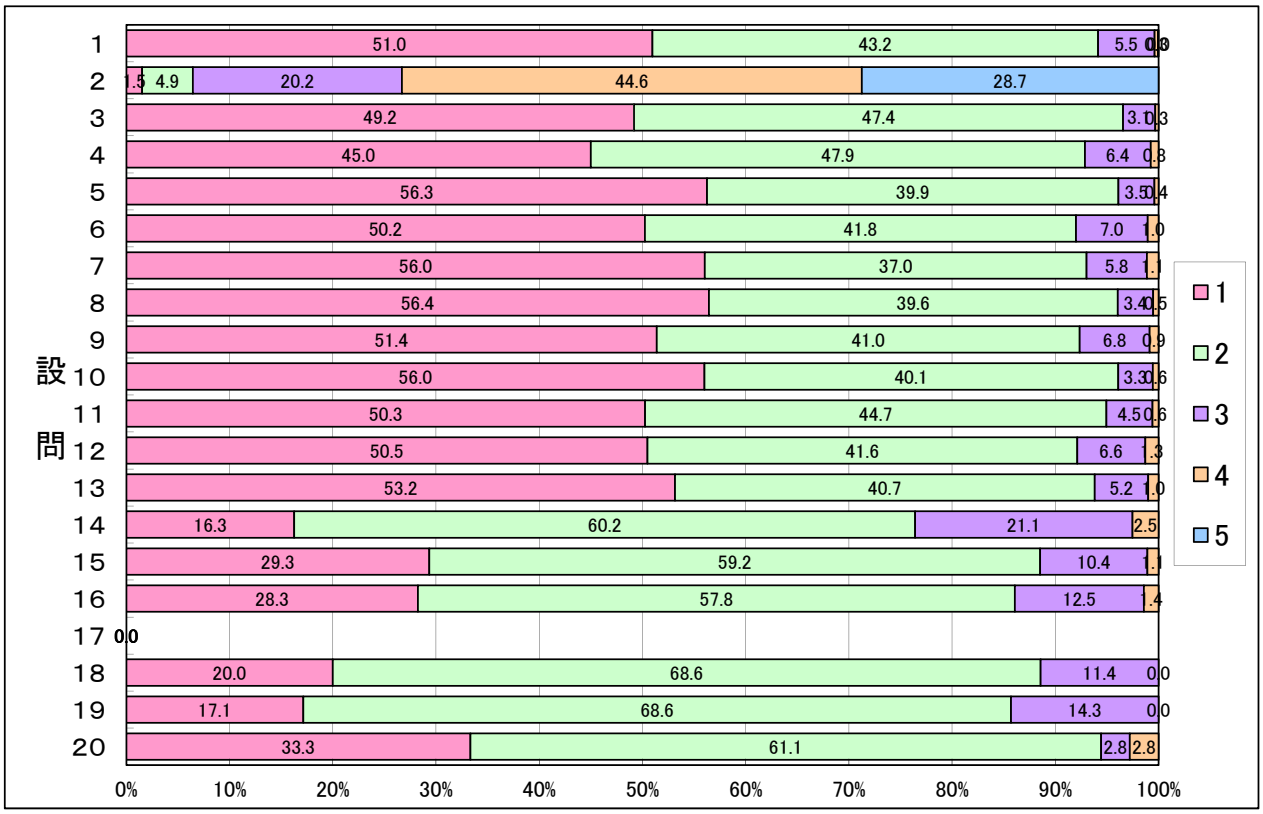
2017年度後期　全体集計

授業評価アンケート集計結果

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	7,394	6,263	793	50	6	14,506

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	221	711	2,928	6,444	4,156	14,460

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	7,143	6,880	453	46	14,522
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	6,532	6,948	926	109	14,515
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	8,168	5,786	506	57	14,517
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	7,293	6,061	1,009	152	14,515
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	8,133	5,367	847	164	14,511
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	8,191	5,749	498	75	14,513
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	7,456	5,946	984	124	14,510
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	8,128	5,819	486	80	14,513
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	7,247	6,443	644	84	14,418
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	7,326	6,041	956	186	14,509
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	7,708	5,894	753	144	14,499
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	271	1,003	351	42	1,667
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	353	712	125	13	1,203
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	339	694	150	17	1,200
設問17	（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	0	0	0	0	0
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	7	24	4	0	35
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	6	24	5	0	35
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	12	22	1	1	36



2017年度後期　科目別

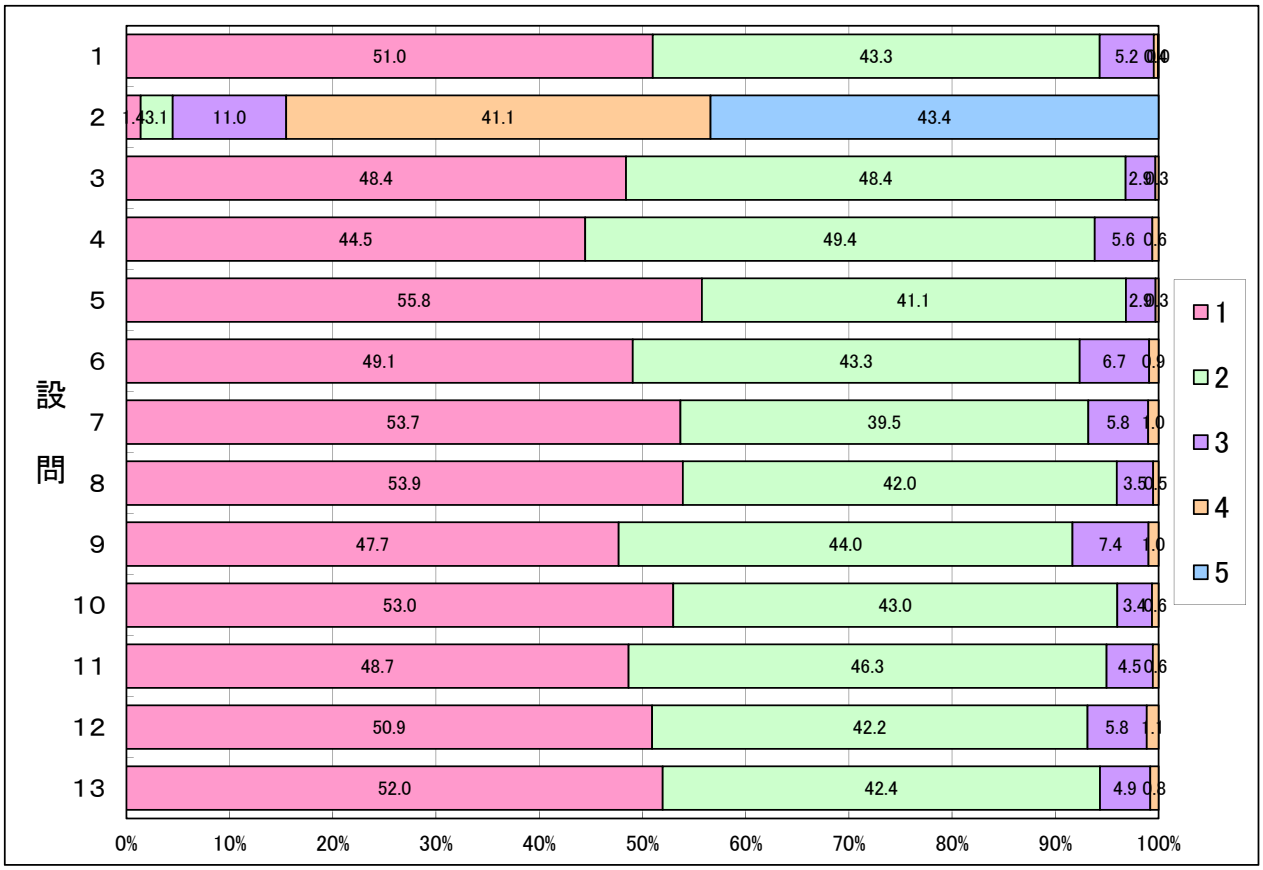
授業評価アンケート集計結果

リベラル・スタディーズ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	4, 185	3, 553	430	34	4	8, 206

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	113	254	899	3, 360	3, 548	8, 174

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	3, 977	3, 977	237	25	8, 216
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	3, 651	4, 054	458	49	8, 212
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	4, 578	3, 374	235	24	8, 211
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	4, 029	3, 556	552	75	8, 212
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	4, 408	3, 245	476	82	8, 211
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	4, 425	3, 451	288	43	8, 207
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	3, 915	3, 608	604	80	8, 207
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	4, 349	3, 531	277	51	8, 208
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	3, 957	3, 765	364	45	8, 131
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	4, 181	3, 461	472	93	8, 207
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	4, 260	3, 474	400	65	8, 199



2017年度後期　科目別

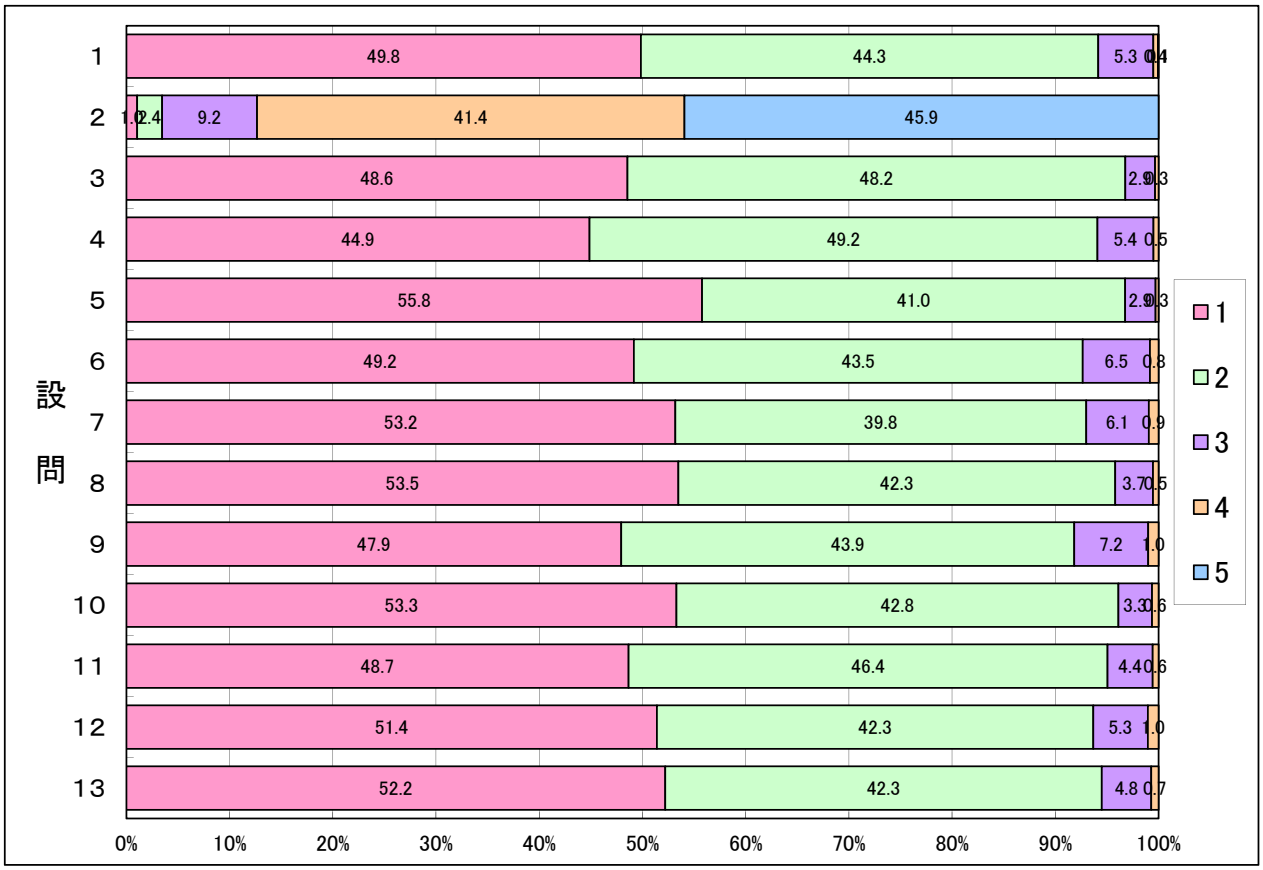
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	3,314	2,946	355	29	4	6,648

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	69	160	609	2,741	3,041	6,620

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	3,231	3,209	192	22	6,654
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	2,984	3,273	360	33	6,650
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	3,709	2,725	196	19	6,649
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	3,270	2,892	433	55	6,650
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	3,536	2,647	404	62	6,649
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	3,554	2,813	243	36	6,646
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	3,186	2,917	476	67	6,646
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	3,542	2,846	216	42	6,646
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	3,197	3,049	288	37	6,571
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	3,417	2,810	351	69	6,647
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	3,467	2,808	318	47	6,640



2017年度後期　科目別

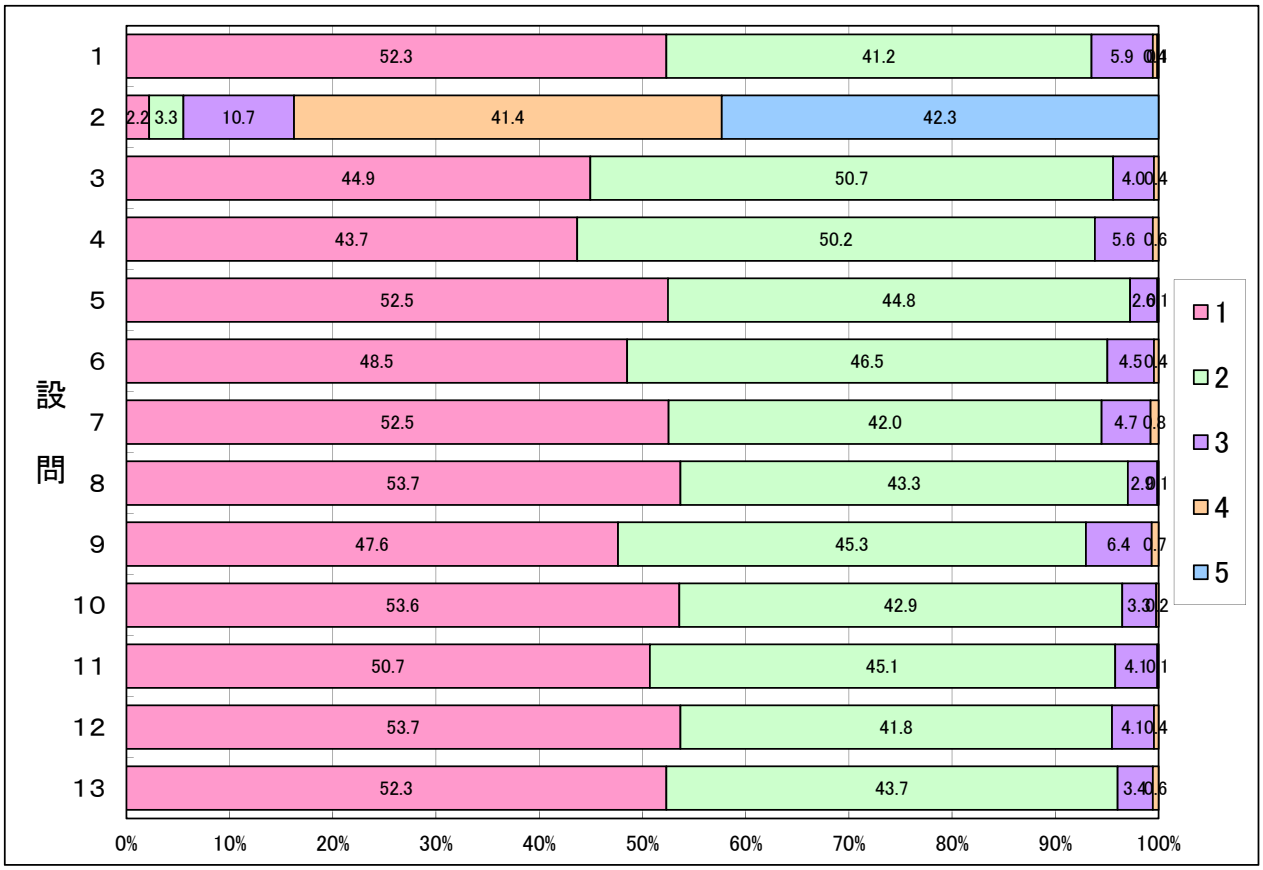
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性の生きる力）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	475	374	54	4	1	908

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	20	30	97	375	383	905

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	409	461	36	4	910
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	397	456	51	5	909
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	477	407	24	1	909
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	441	423	41	4	909
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	477	381	43	7	908
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	488	394	26	1	909
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	433	412	58	6	909
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	487	390	30	2	909
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	460	409	37	1	907
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	488	380	37	4	909
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	475	397	31	5	908



2017年度後期　科目別

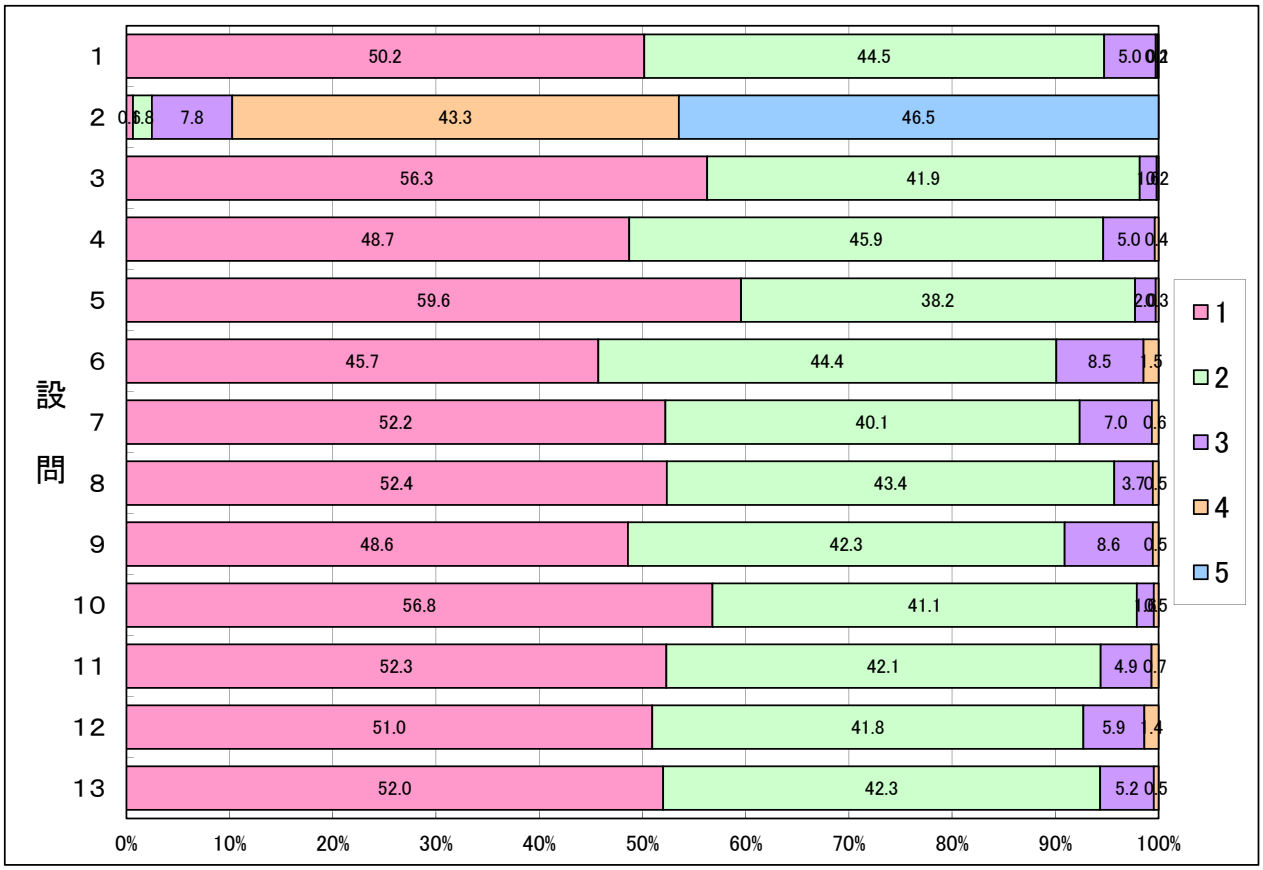
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	552	490	55	2	1	1,100

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	7	20	85	472	507	1,091

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	619	461	18	2	1,100
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	536	505	55	4	1,100
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	654	419	22	3	1,098
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	503	488	93	16	1,100
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	574	441	77	7	1,099
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	575	476	41	6	1,098
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	534	465	94	6	1,099
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	623	451	18	5	1,097
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	541	435	51	7	1,034
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	560	459	65	15	1,099
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	571	465	57	5	1,098



2017年度後期　科目別

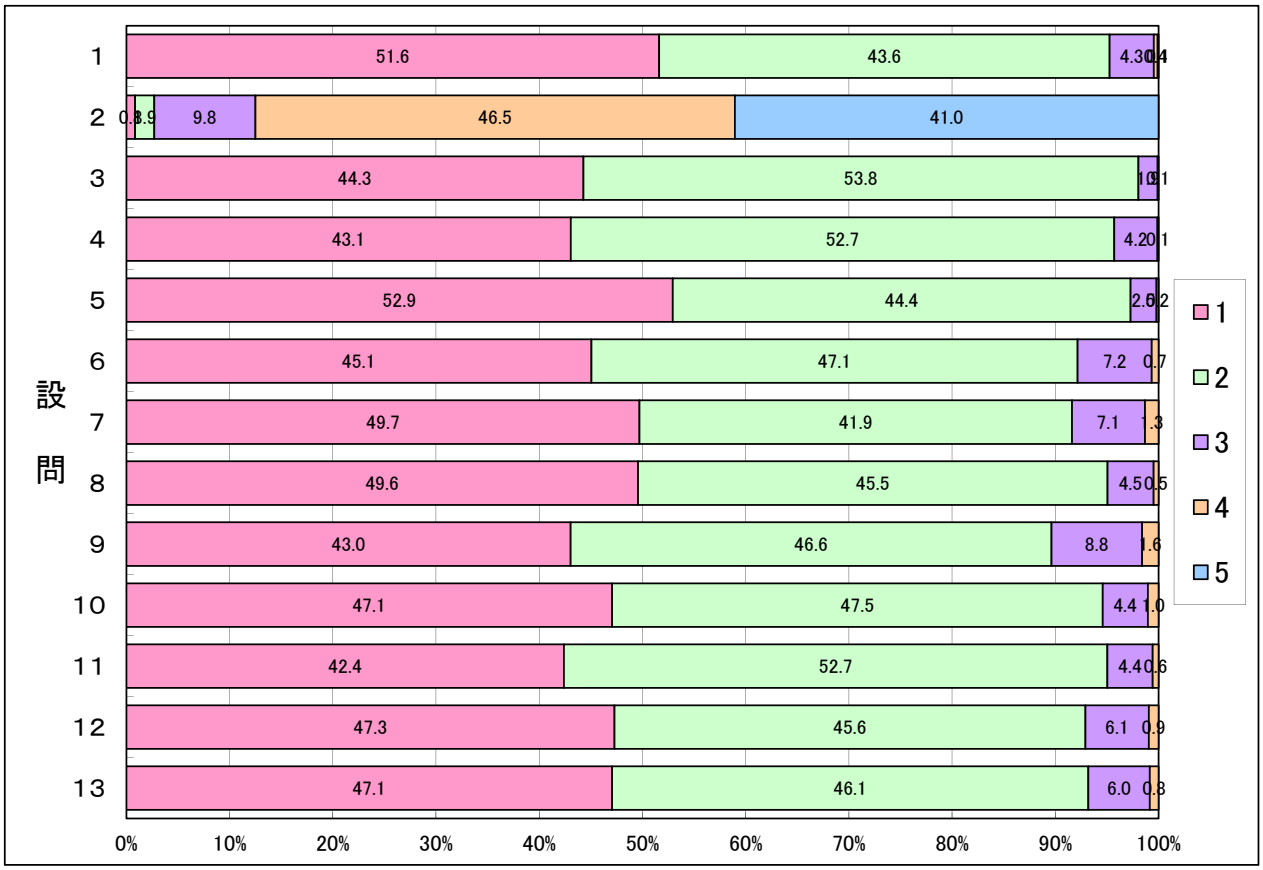
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間自身を知る）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	555	469	46	4	1	1,075

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	20	105	498	440	1,072

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	476	578	20	1	1,075
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	462	565	45	1	1,073
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	568	476	27	2	1,073
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	483	505	77	7	1,072
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	534	450	76	14	1,074
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	532	488	48	5	1,073
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	461	499	94	17	1,071
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	505	510	47	11	1,073
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	454	564	47	6	1,071
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	508	490	66	10	1,074
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	505	495	64	9	1,073



2017年度後期　科目別

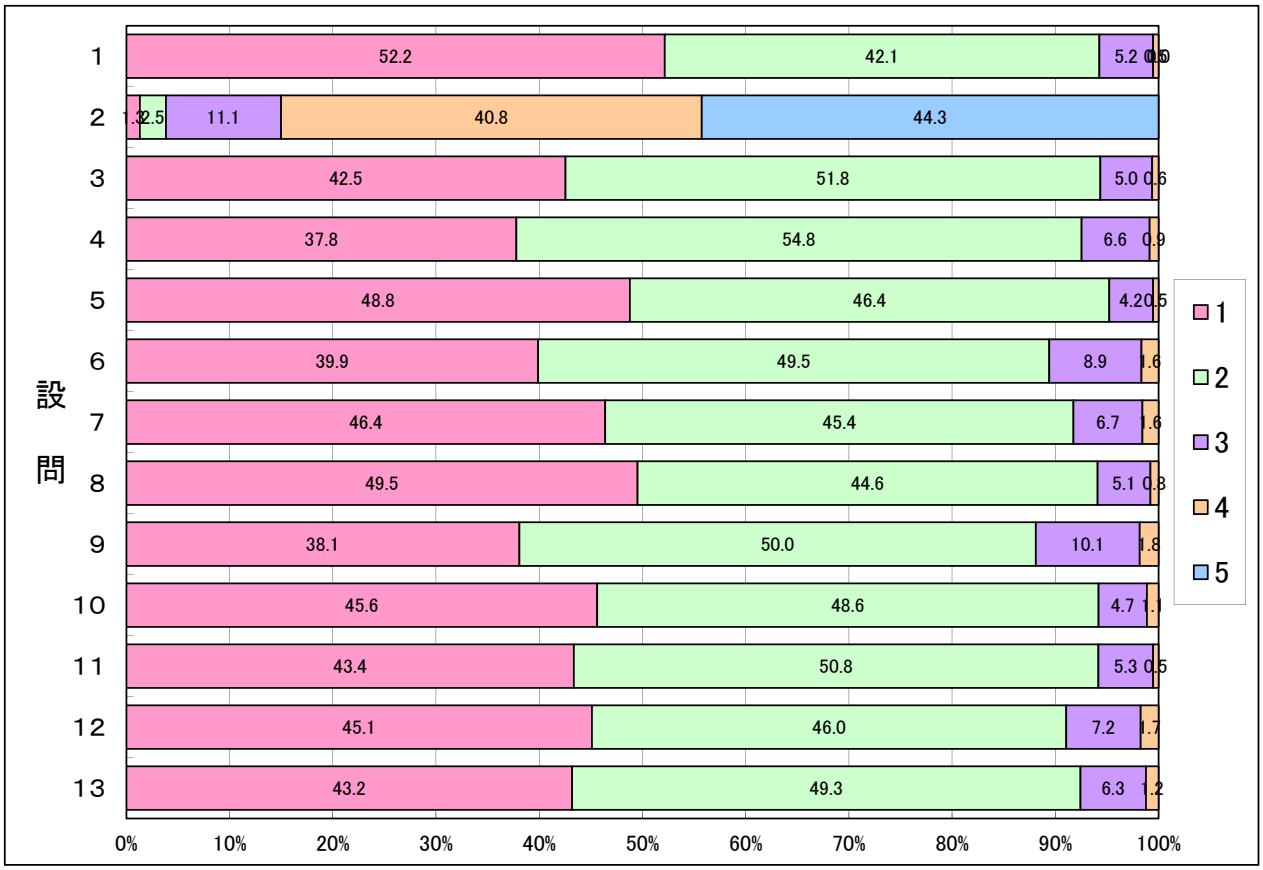
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	601	485	60	6	0	1,152

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	15	29	128	468	508	1,148

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	491	598	58	7	1,154
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	436	632	76	10	1,154
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	563	536	49	6	1,154
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	460	571	103	19	1,153
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	535	523	77	18	1,153
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	571	514	59	9	1,153
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	439	577	116	21	1,153
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	526	560	54	13	1,153
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	499	585	61	6	1,151
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	520	530	83	20	1,153
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	497	567	73	14	1,151



2017年度後期　科目別

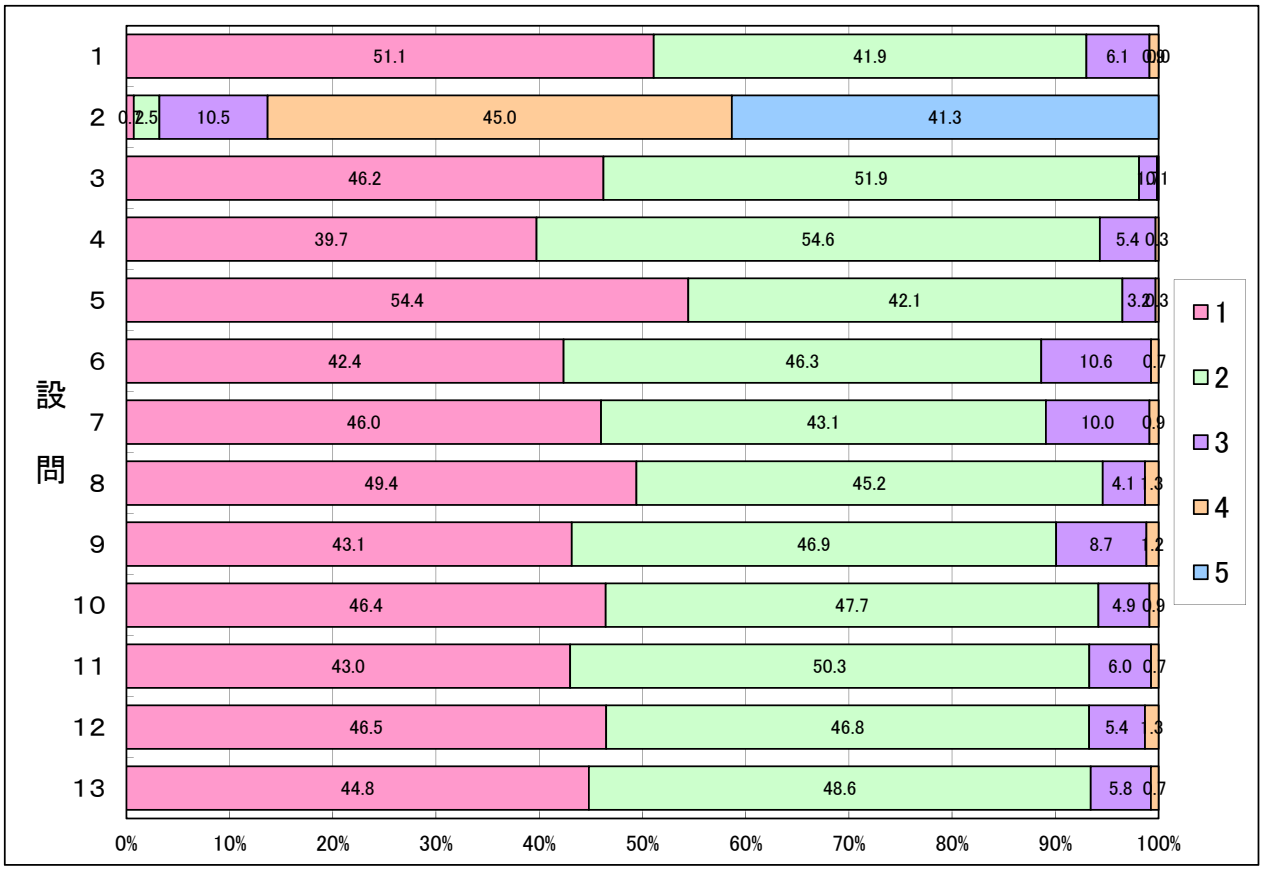
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	351	288	42	6	0	687

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	17	72	309	284	687

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	318	357	12	1	688
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	273	375	37	2	687
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	374	289	22	2	687
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	291	318	73	5	687
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	316	296	69	6	687
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	338	309	28	9	684
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	296	322	60	8	686
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	319	328	34	6	687
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	295	345	41	5	686
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	318	320	37	9	684
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	307	333	40	5	685



2017年度後期　科目別

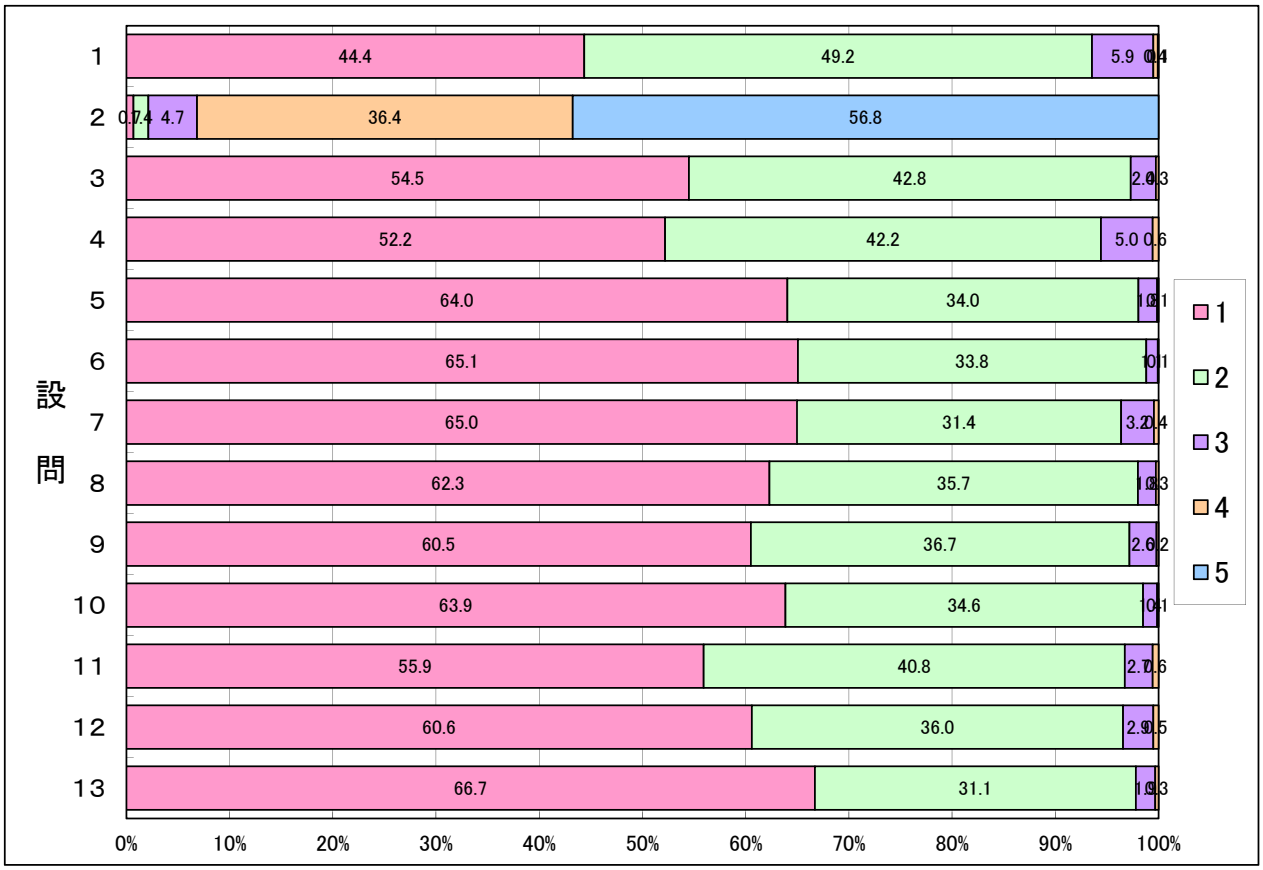
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	709	786	95	7	1	1,598

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	11	23	75	579	903	1,591

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	871	684	39	4	1,598
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	834	675	80	9	1,598
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,024	544	29	2	1,599
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,041	540	18	1	1,600
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,039	502	51	7	1,599
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	997	571	28	4	1,600
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	968	587	42	3	1,600
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,021	554	22	2	1,599
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	891	650	43	9	1,593
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	969	575	47	8	1,599
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,066	497	30	5	1,598



2017年度後期　科目別

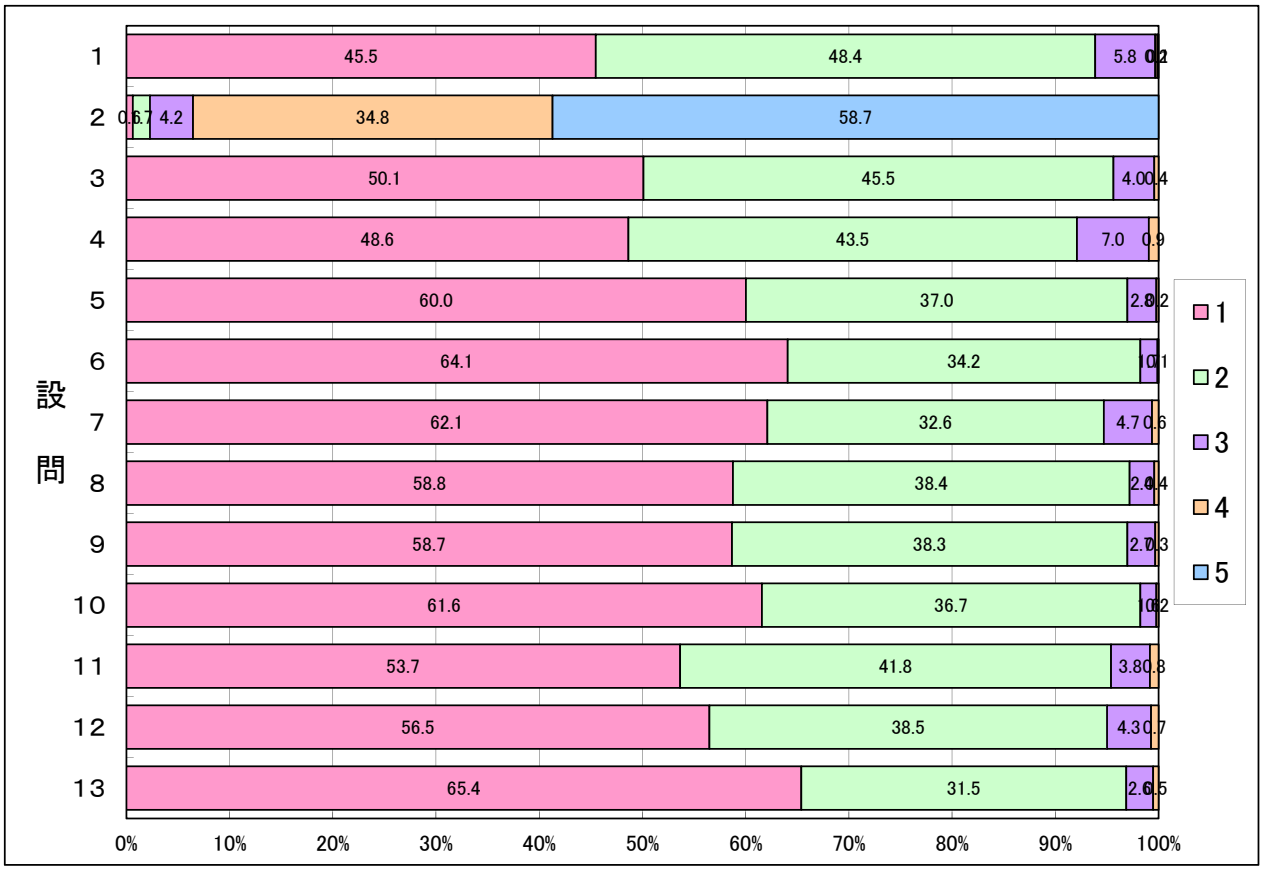
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	437	465	56	2	1	961

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	6	16	40	334	563	959

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	482	438	38	4	962
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	468	418	67	9	962
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	578	356	27	2	963
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	617	329	16	1	963
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	598	314	45	6	963
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	566	370	23	4	963
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	565	369	26	3	963
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	593	353	15	2	963
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	514	400	36	8	958
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	544	371	41	7	963
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	629	303	25	5	962



2017年度後期　科目別

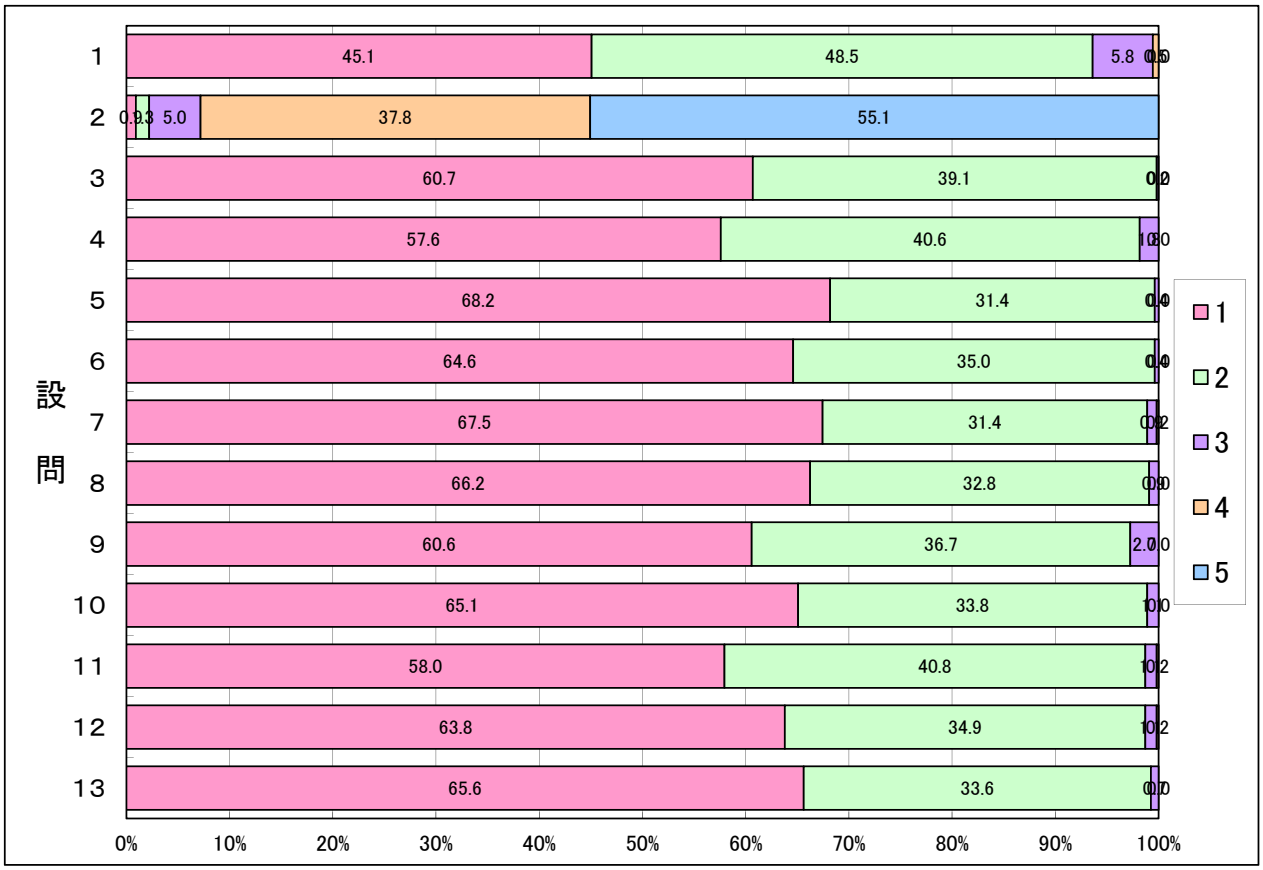
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	247	266	32	3	0	548

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	7	27	205	299	543

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	332	214	1	0	547
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	315	222	10	0	547
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	373	172	2	0	547
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	354	192	2	0	548
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	369	172	5	1	547
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	363	180	5	0	548
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	332	201	15	0	548
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	356	185	6	0	547
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	317	223	6	1	547
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	349	191	6	1	547
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	359	184	4	0	547



2017年度後期　科目別

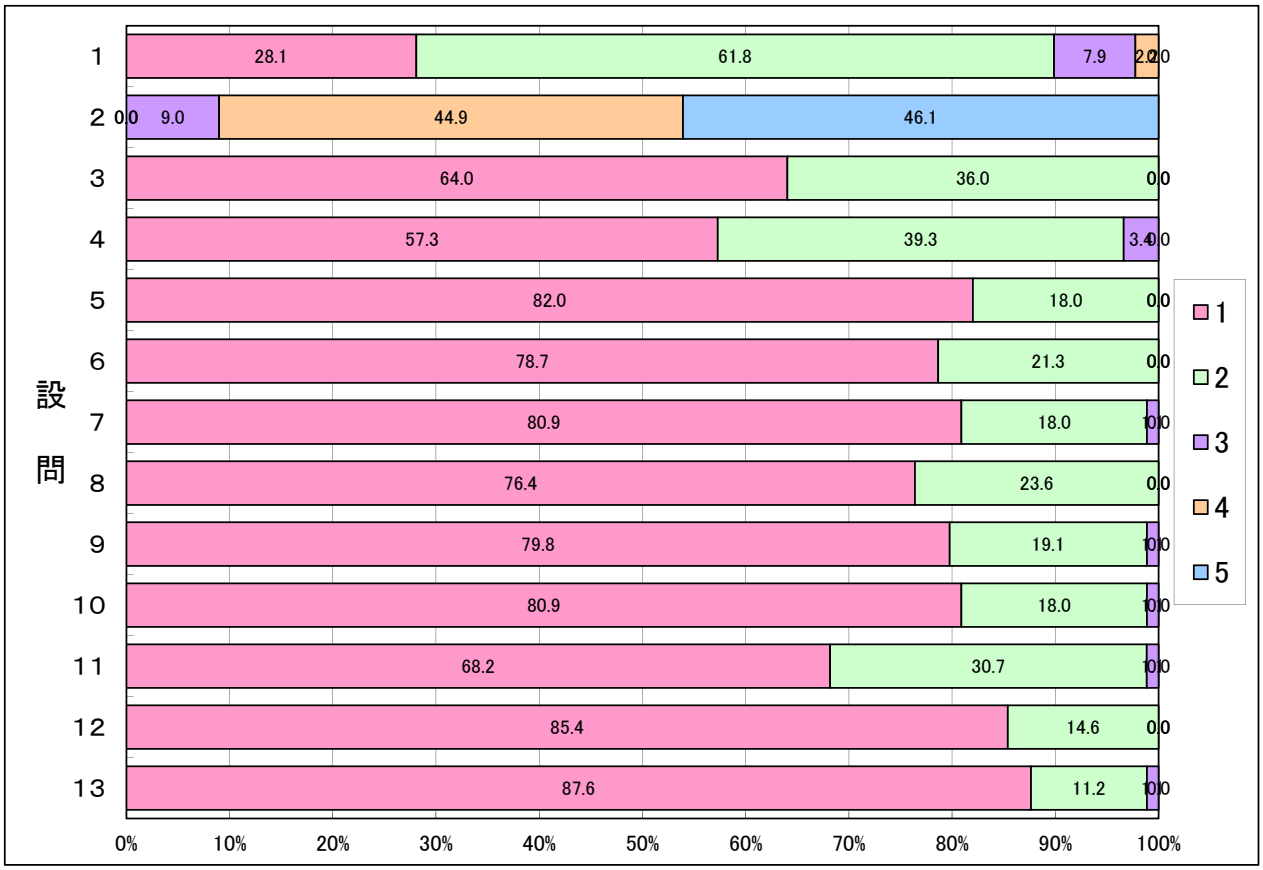
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・実習）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	25	55	7	2	0	89

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	0	8	40	41	89

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	57	32	0	0	89
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	51	35	3	0	89
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	73	16	0	0	89
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	70	19	0	0	89
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	72	16	1	0	89
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	68	21	0	0	89
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	71	17	1	0	89
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	72	16	1	0	89
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	60	27	1	0	88
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	76	13	0	0	89
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	78	10	1	0	89



2017年度後期　科目別

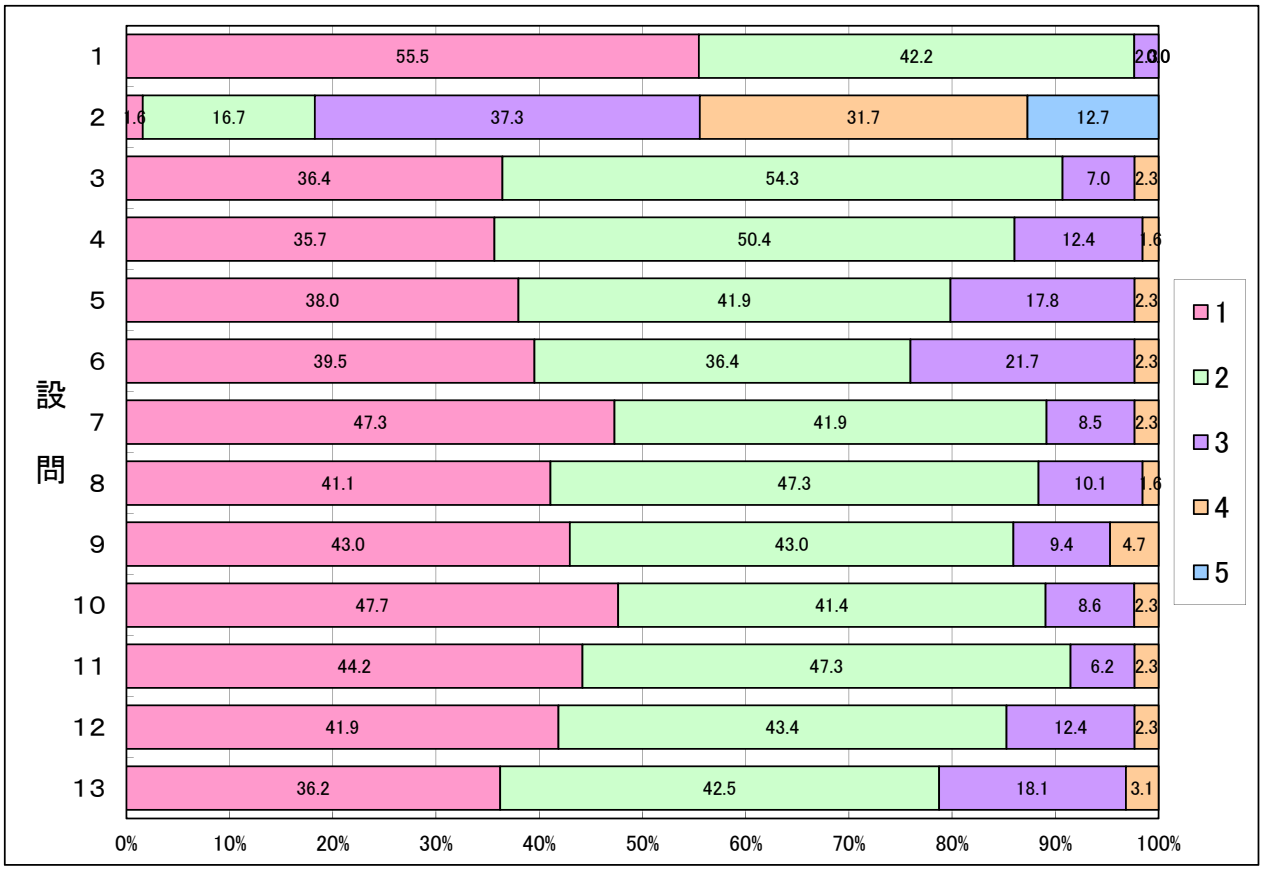
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（演習）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	71	54	3	0	0	128

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	21	47	40	16	126

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	47	70	9	3	129
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	46	65	16	2	129
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	49	54	23	3	129
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	51	47	28	3	129
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	61	54	11	3	129
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	53	61	13	2	129
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	55	55	12	6	128
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	61	53	11	3	128
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	57	61	8	3	129
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	54	56	16	3	129
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	46	54	23	4	127



2017年度後期　科目別

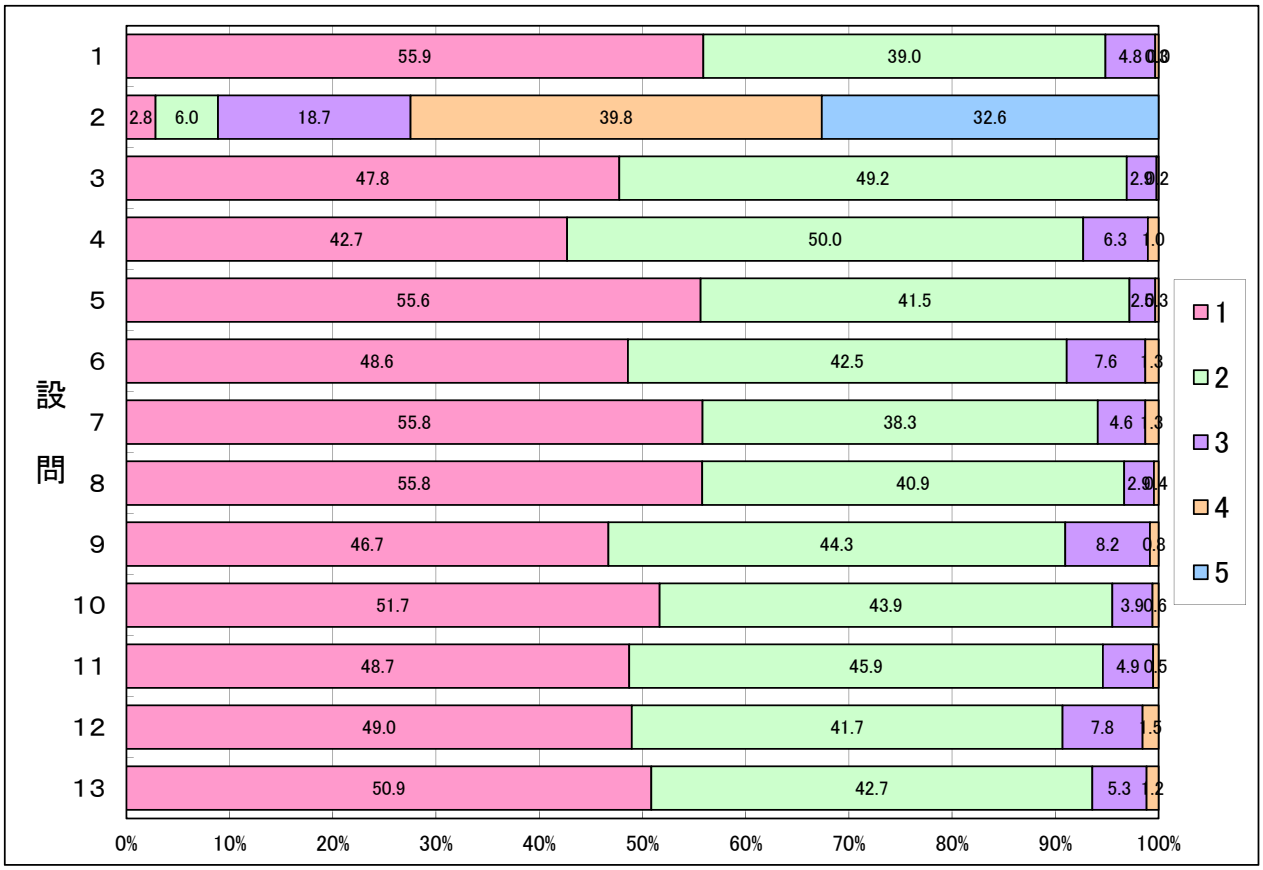
授業評価アンケート集計結果

キリスト教学科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	871	607	75	5	0	1,558

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	44	94	290	619	507	1,554

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	746	768	45	3	1,562
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	667	781	98	16	1,562
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	869	649	39	5	1,562
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	759	664	119	20	1,562
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	872	598	72	20	1,562
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	871	638	45	7	1,561
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	729	691	128	13	1,561
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	807	685	61	9	1,562
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	760	716	76	8	1,560
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	764	651	121	24	1,560
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	793	666	82	18	1,559



2017年度後期　科目別

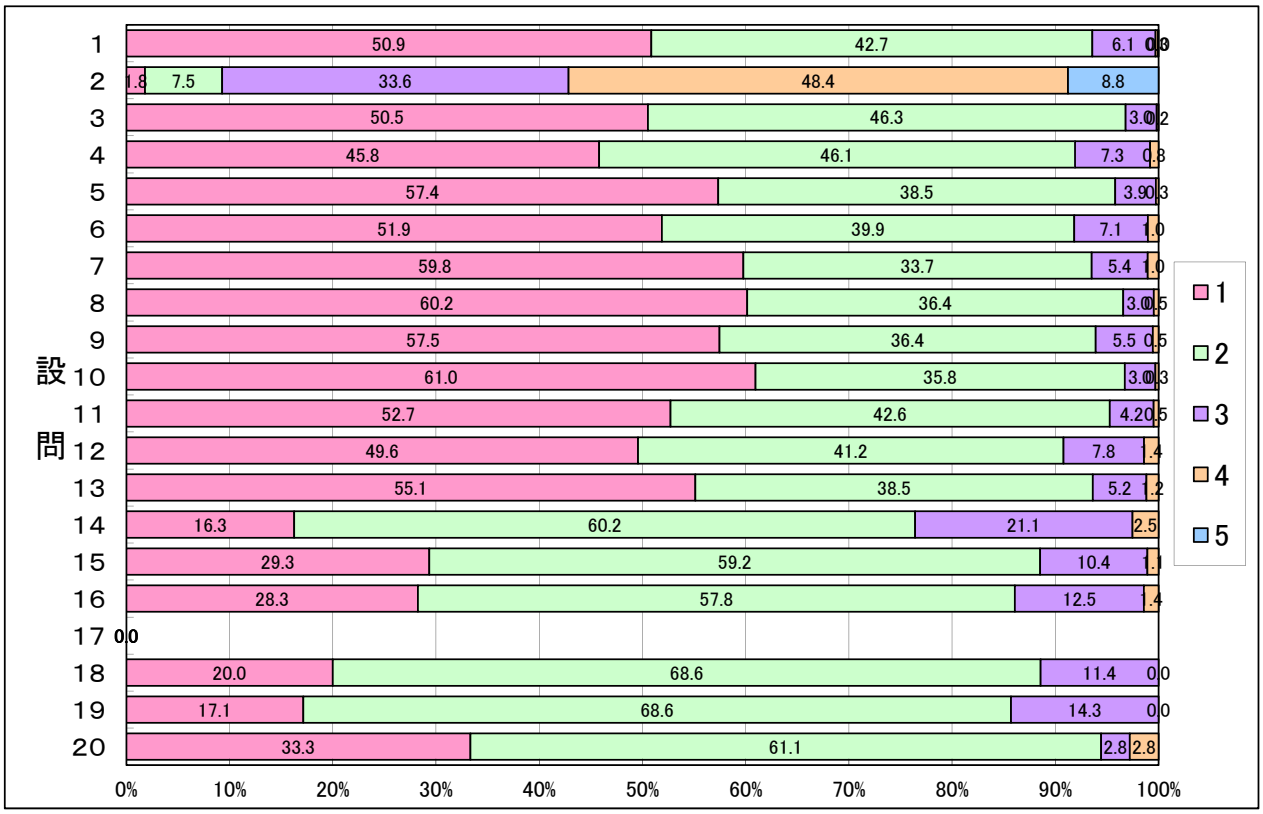
授業評価アンケート集計結果

アカデミック・スキル科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	2,790	2,344	336	14	2	5,486

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	99	409	1,837	2,649	480	5,474

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	2,774	2,540	165	10	5,489
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	2,513	2,529	399	45	5,486
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	3,148	2,111	216	14	5,489
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	2,847	2,192	391	57	5,487
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	3,278	1,850	298	57	5,483
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	3,302	1,999	163	25	5,489
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	3,153	1,999	304	30	5,486
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	3,345	1,964	162	17	5,488
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	2,885	2,329	232	26	5,472
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	2,719	2,261	428	77	5,485
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	3,023	2,112	285	64	5,484
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	271	1,003	351	42	1,667
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	353	712	125	13	1,203
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	339	694	150	17	1,200
設問17	（この授業が情報処理技法（リテラシ）Ⅰの場合）コンピュータスキルは向上しましたか。	0	0	0	0	0
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	7	24	4	0	35
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	6	24	5	0	35
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	12	22	1	1	36



2017年度後期　科目別

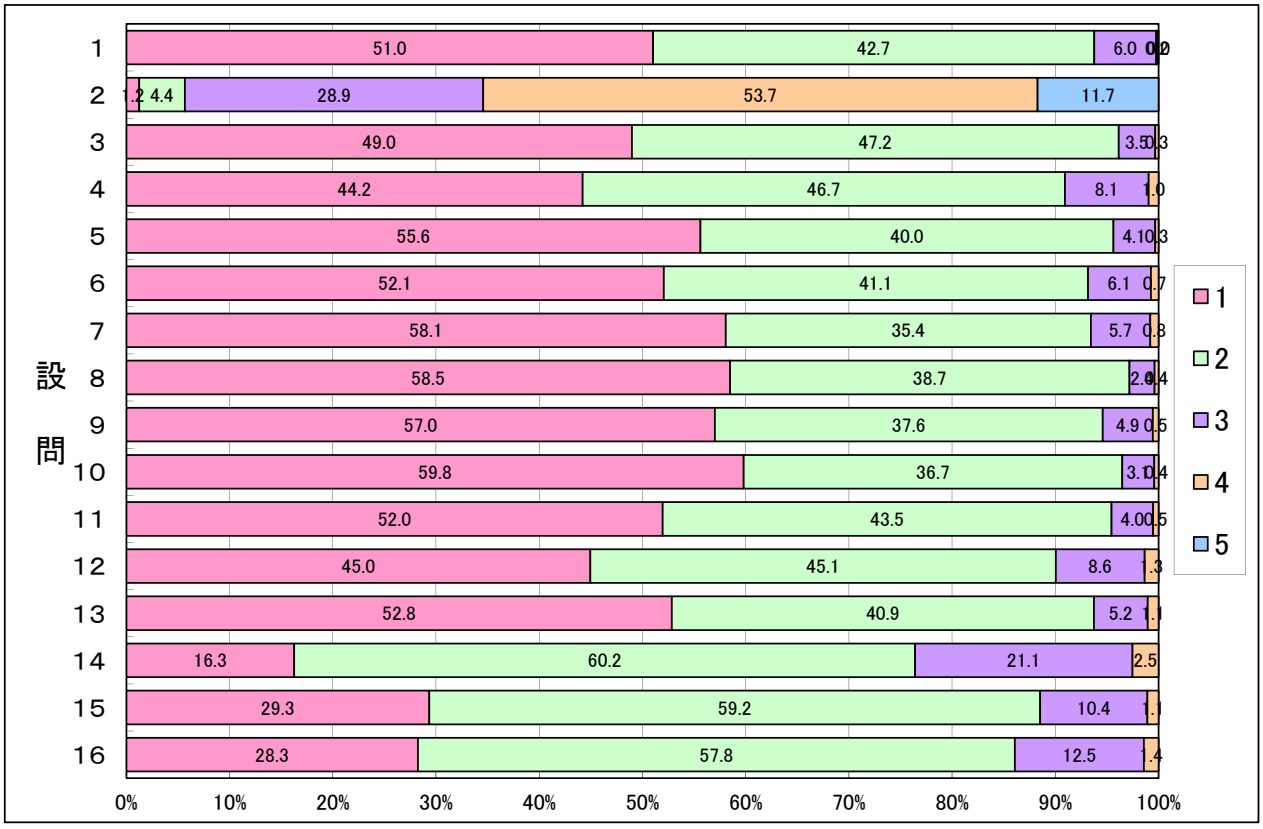
授業評価アンケート集計結果

英語（必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1,599	1,339	188	6	1	3,133

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	39	138	903	1,678	366	3,124

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	1,535	1,478	111	10	3,134
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	1,385	1,464	254	30	3,133
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	1,743	1,254	127	10	3,134
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	1,632	1,288	191	23	3,134
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	1,818	1,108	180	25	3,131
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	1,833	1,213	76	12	3,134
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	1,785	1,177	152	17	3,131
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	1,875	1,150	97	13	3,135
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	1,623	1,358	126	16	3,123
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	1,409	1,413	270	42	3,134
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	1,656	1,282	163	33	3,134
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReadingⅡの場合）読解力が向上しましたか。	271	1,003	351	42	1,667
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	353	712	125	13	1,203
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	339	694	150	17	1,200



2017年度後期　科目別

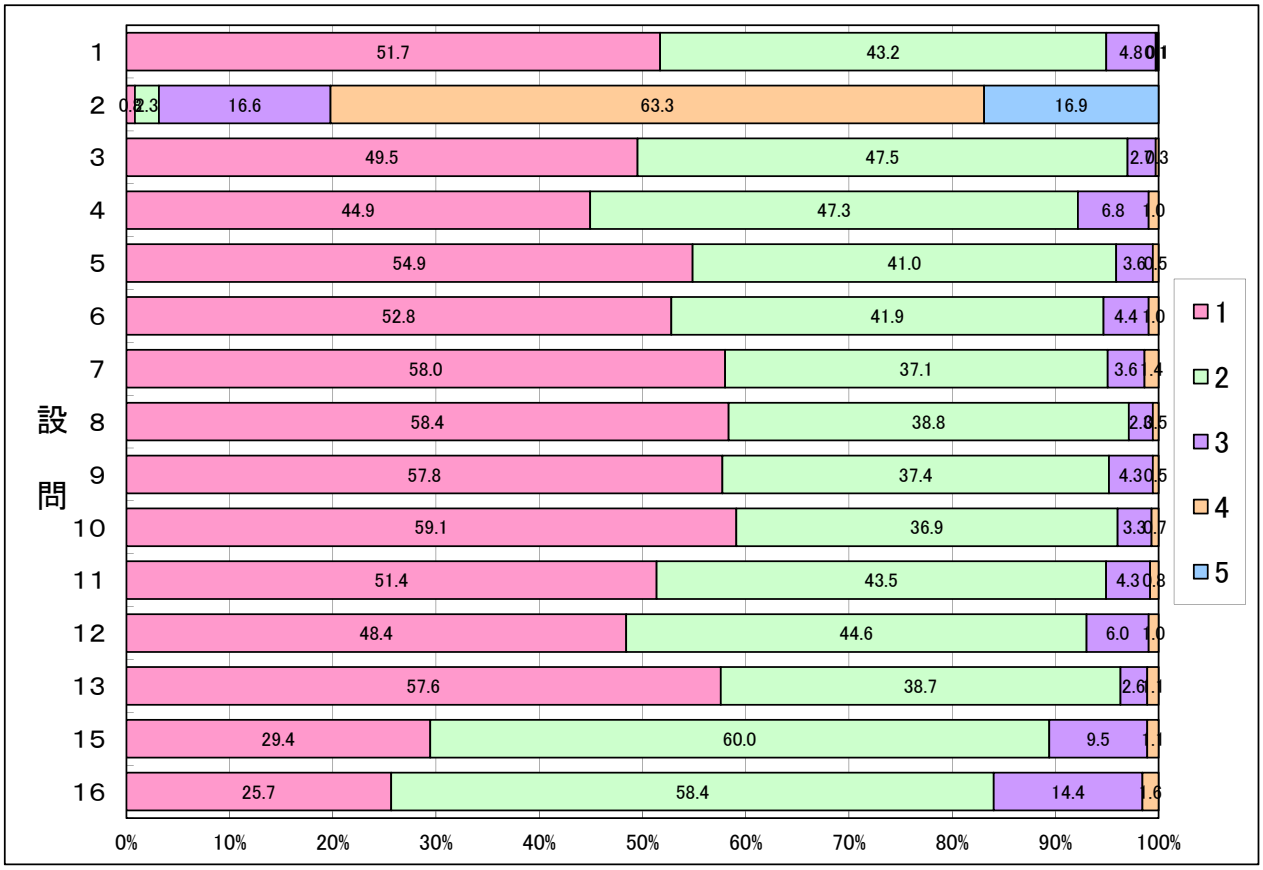
授業評価アンケート集計結果

Communication Skills

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	378	316	35	1	1	731

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	6	17	121	461	123	728

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	362	347	20	2	731
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	328	345	50	7	730
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	401	300	26	4	731
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	386	306	32	7	731
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	424	271	26	10	731
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	426	283	17	4	730
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	421	273	31	4	729
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	432	270	24	5	731
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	374	317	31	6	728
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	354	326	44	7	731
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	421	283	19	8	731
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	189	385	61	7	642
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	164	373	92	10	639



2017年度後期　科目別

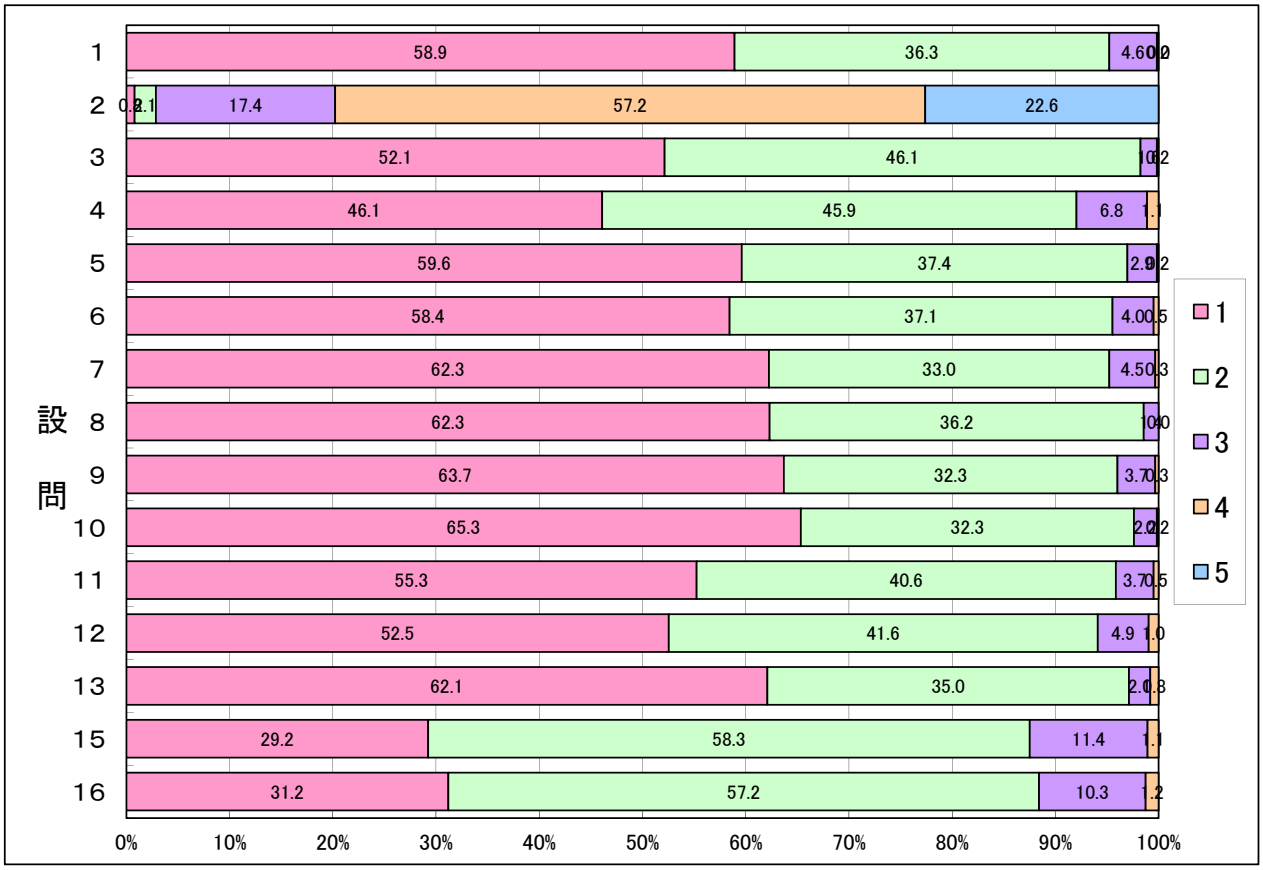
授業評価アンケート集計結果

Discussion Skills

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	370	228	29	1	0	628

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	13	109	359	142	628

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	328	290	10	1	629
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	290	289	43	7	629
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	375	235	18	1	629
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	367	233	25	3	628
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	391	207	28	2	628
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	392	228	9	0	629
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	400	203	23	2	628
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	411	203	14	1	629
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	347	255	23	3	628
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	330	261	31	6	628
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	390	220	13	5	628
設問15	（この授業が英語CS又はDSの場合）聴く力が向上しましたか。	164	327	64	6	561
設問16	（この授業が英語CS又はDSの場合）話す力が向上しましたか。	175	321	58	7	561



2017年度後期　科目別

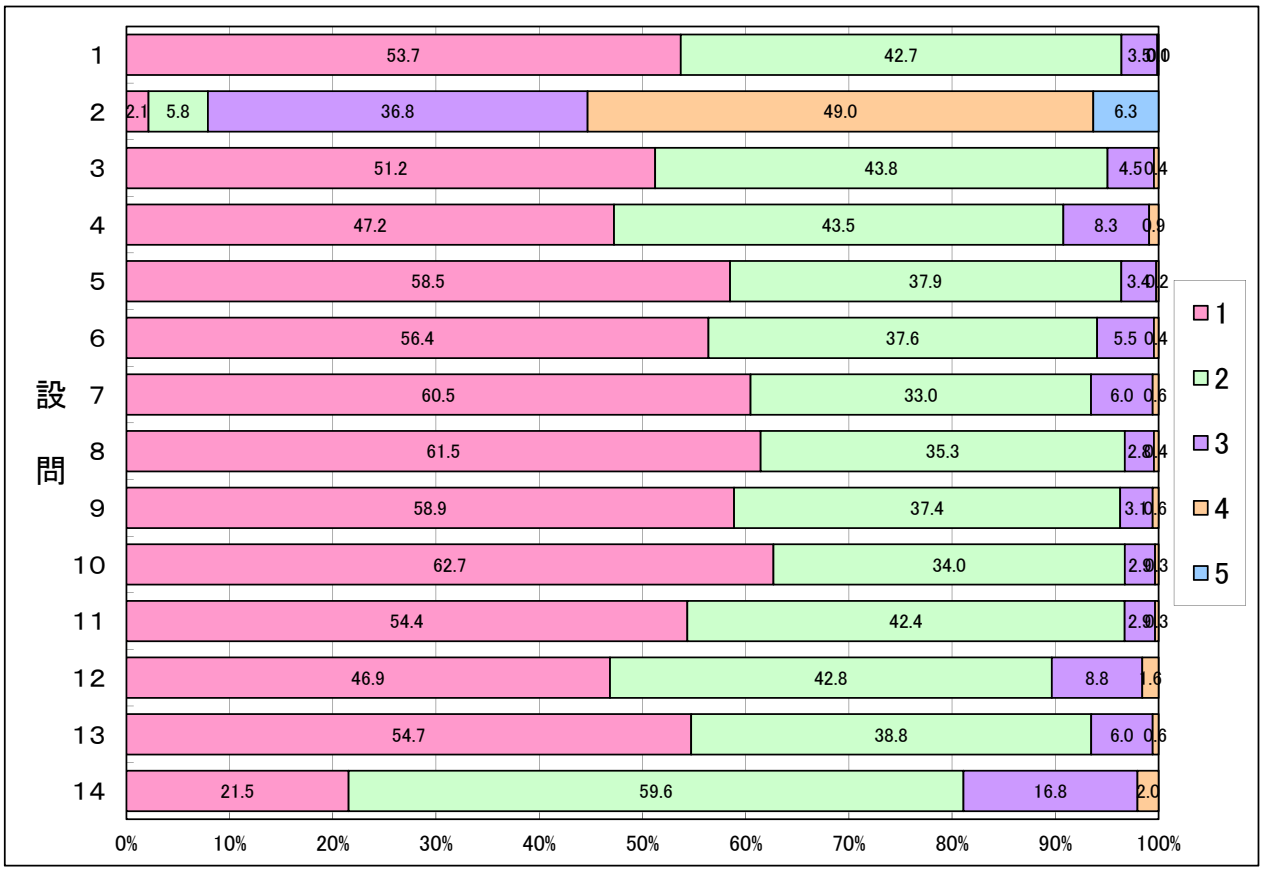
授業評価アンケート集計結果

Reading Ⅰ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	478	380	31	1	0	890

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	19	51	326	434	56	886

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	456	390	40	4	890
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	420	387	74	8	889
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	520	337	30	2	889
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	502	335	49	4	890
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	537	293	53	5	888
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	547	314	25	4	890
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	524	333	28	5	890
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	558	303	26	3	890
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	481	375	26	3	885
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	417	381	78	14	890
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	487	345	53	5	890
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	179	495	140	17	831



2017年度後期　科目別

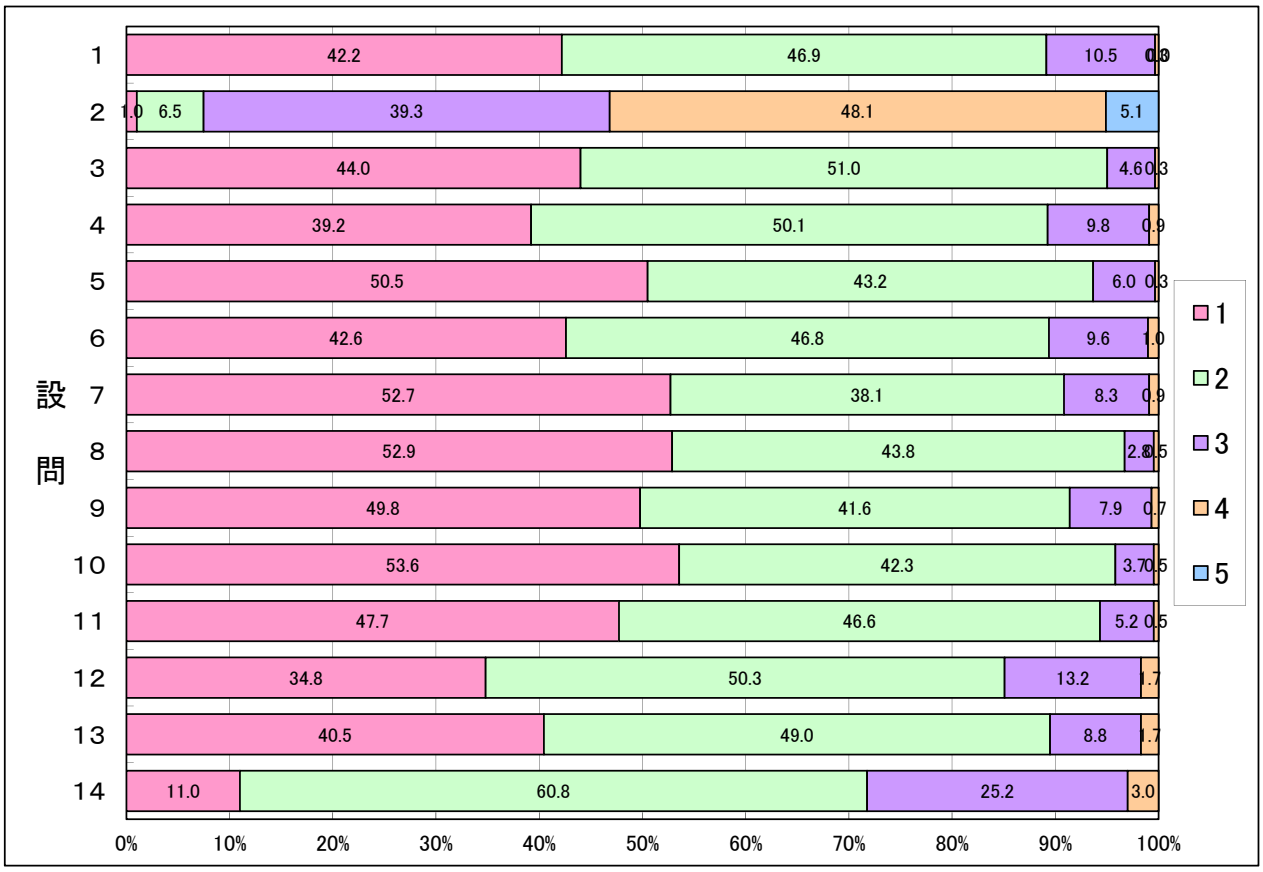
授業評価アンケート集計結果

Reading Ⅱ

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	373	415	93	3	0	884

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	57	347	424	45	882

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	389	451	41	3	884
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	347	443	87	8	885
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	447	382	53	3	885
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	377	414	85	9	885
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	466	337	73	8	884
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	468	388	25	4	885
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	440	368	70	6	884
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	474	374	33	4	885
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	421	411	46	4	882
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	308	445	117	15	885
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	358	434	78	15	885
設問14	（この授業が英語Reading Ⅰ又はReading Ⅱの場合）読解力が向上しましたか。	92	508	211	25	836



2017年度後期　科目別

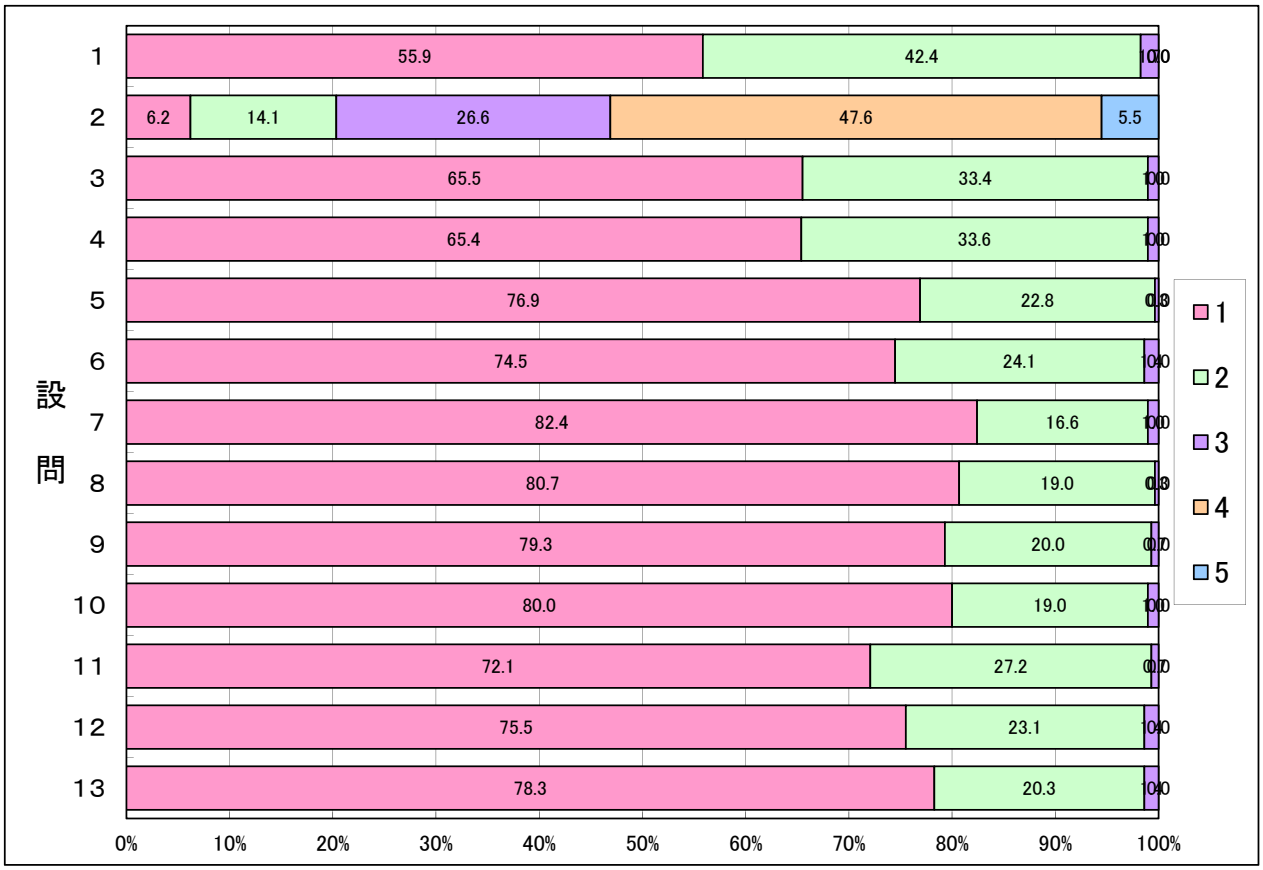
授業評価アンケート集計結果

英語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	162	123	5	0	0	290

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	18	41	77	138	16	290

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	190	97	3	0	290
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	189	97	3	0	289
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	223	66	1	0	290
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	216	70	4	0	290
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	239	48	3	0	290
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	234	55	1	0	290
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	230	58	2	0	290
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	232	55	3	0	290
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	209	79	2	0	290
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	219	67	4	0	290
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	227	59	4	0	290



2017年度後期　科目別

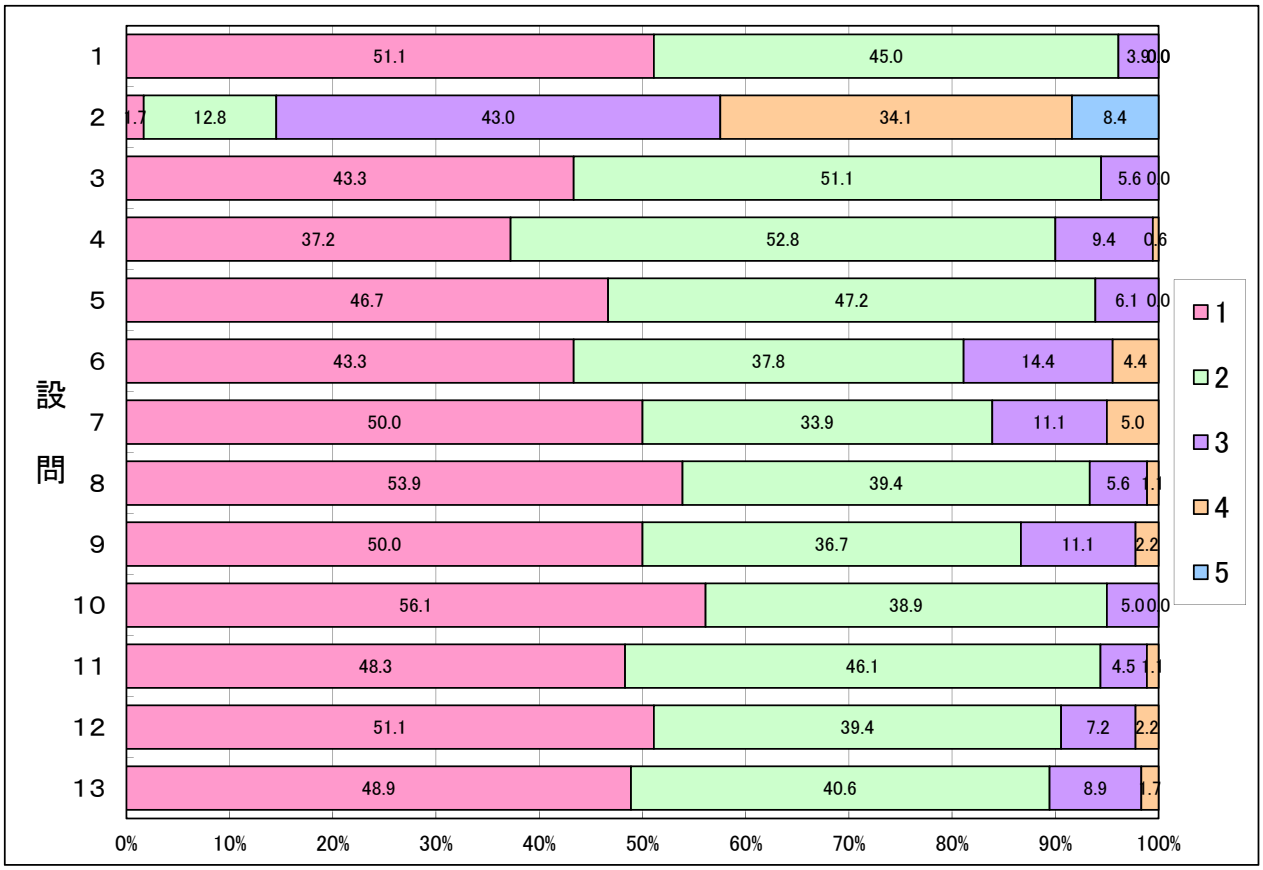
授業評価アンケート集計結果

ドイツ語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	92	81	7	0	0	180

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	23	77	61	15	179

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	78	92	10	0	180
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	67	95	17	1	180
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	84	85	11	0	180
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	78	68	26	8	180
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	90	61	20	9	180
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	97	71	10	2	180
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	90	66	20	4	180
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	101	70	9	0	180
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	86	82	8	2	178
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	92	71	13	4	180
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	88	73	16	3	180



2017年度後期　科目別

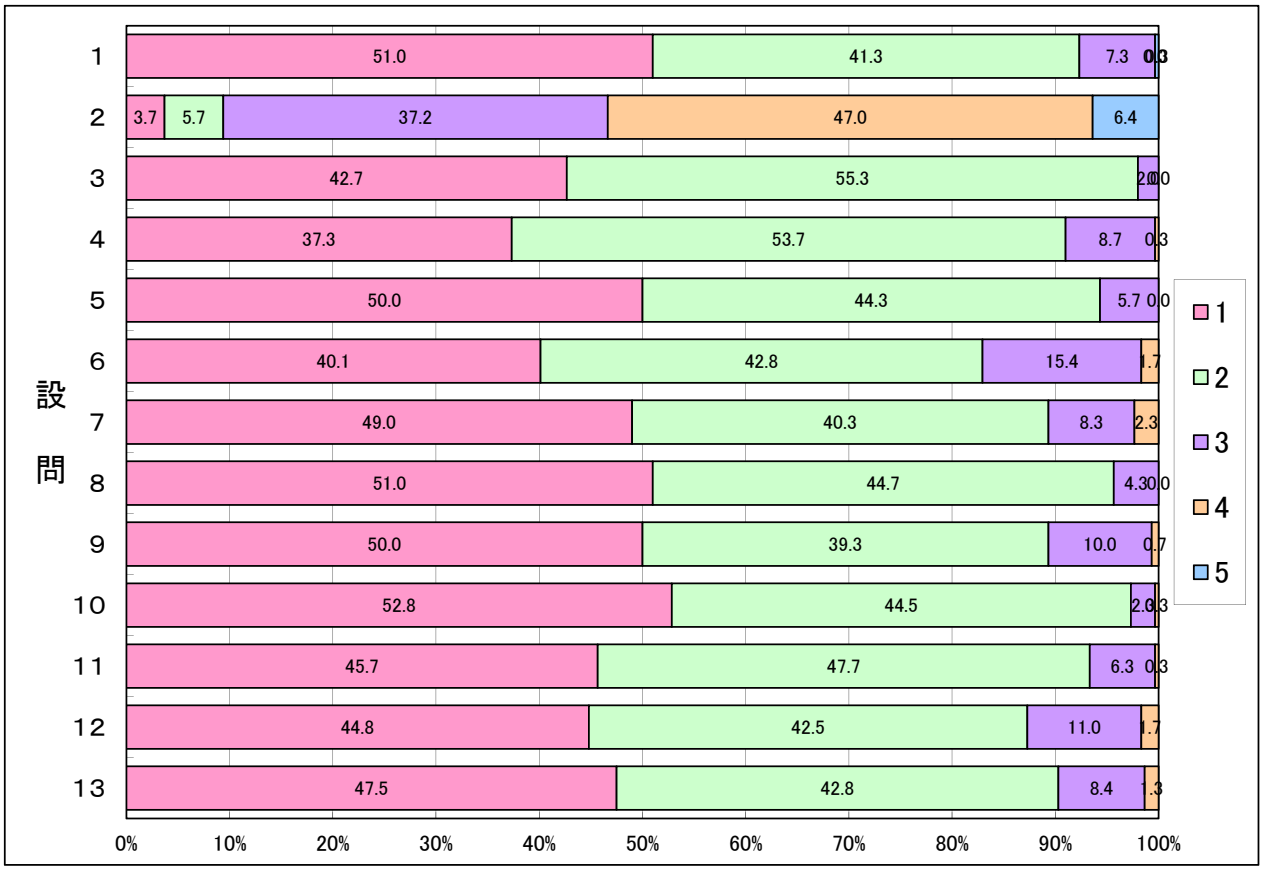
授業評価アンケート集計結果

フランス語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	153	124	22	0	1	300

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	11	17	111	140	19	298

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	128	166	6	0	300
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	112	161	26	1	300
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	150	133	17	0	300
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	120	128	46	5	299
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	147	121	25	7	300
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	153	134	13	0	300
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	150	118	30	2	300
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	158	133	7	1	299
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	137	143	19	1	300
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	134	127	33	5	299
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	142	128	25	4	299



2017年度後期　科目別

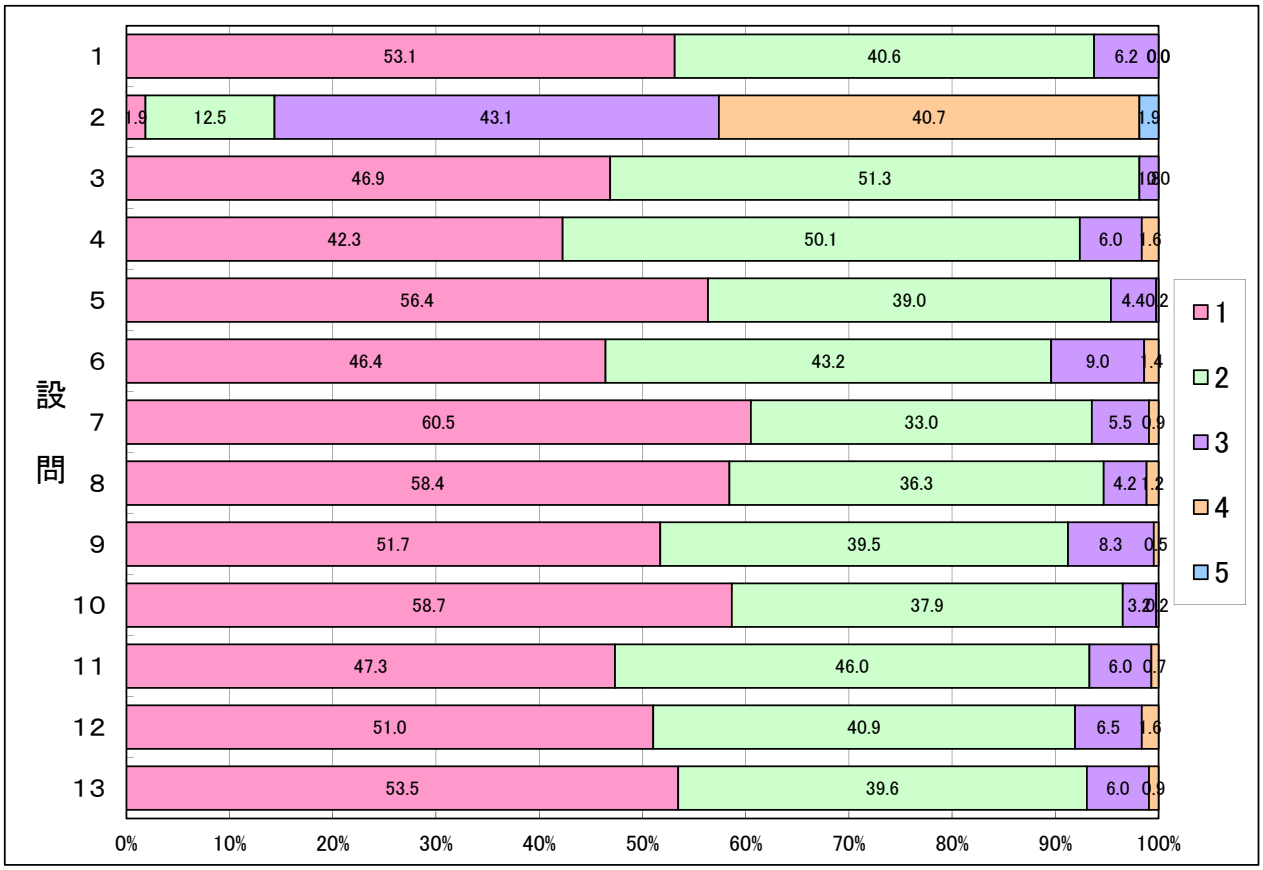
授業評価アンケート集計結果

スペイン語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	230	176	27	0	0	433

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	8	54	186	176	8	432

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	203	222	8	0	433
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	183	217	26	7	433
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	244	169	19	1	433
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	201	187	39	6	433
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	262	143	24	4	433
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	253	157	18	5	433
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	224	171	36	2	433
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	254	164	14	1	433
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	205	199	26	3	433
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	221	177	28	7	433
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	231	171	26	4	432



2017年度後期　科目別

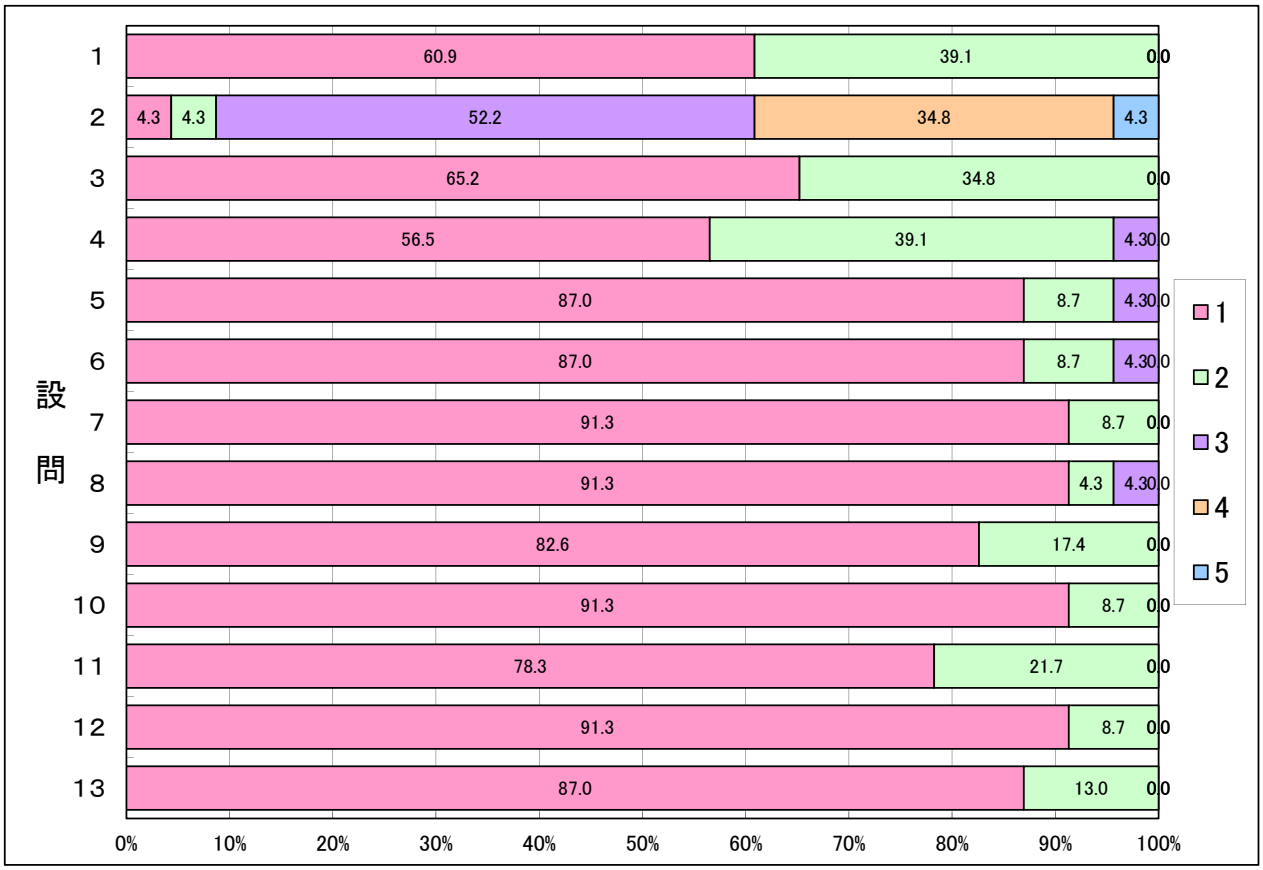
授業評価アンケート集計結果

スペイン語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	14	9	0	0	0	23

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	1	12	8	1	23

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	15	8	0	0	23
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	13	9	1	0	23
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	20	2	1	0	23
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	20	2	1	0	23
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	21	2	0	0	23
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	21	1	1	0	23
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	19	4	0	0	23
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	21	2	0	0	23
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	18	5	0	0	23
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	21	2	0	0	23
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	20	3	0	0	23



2017年度後期　科目別

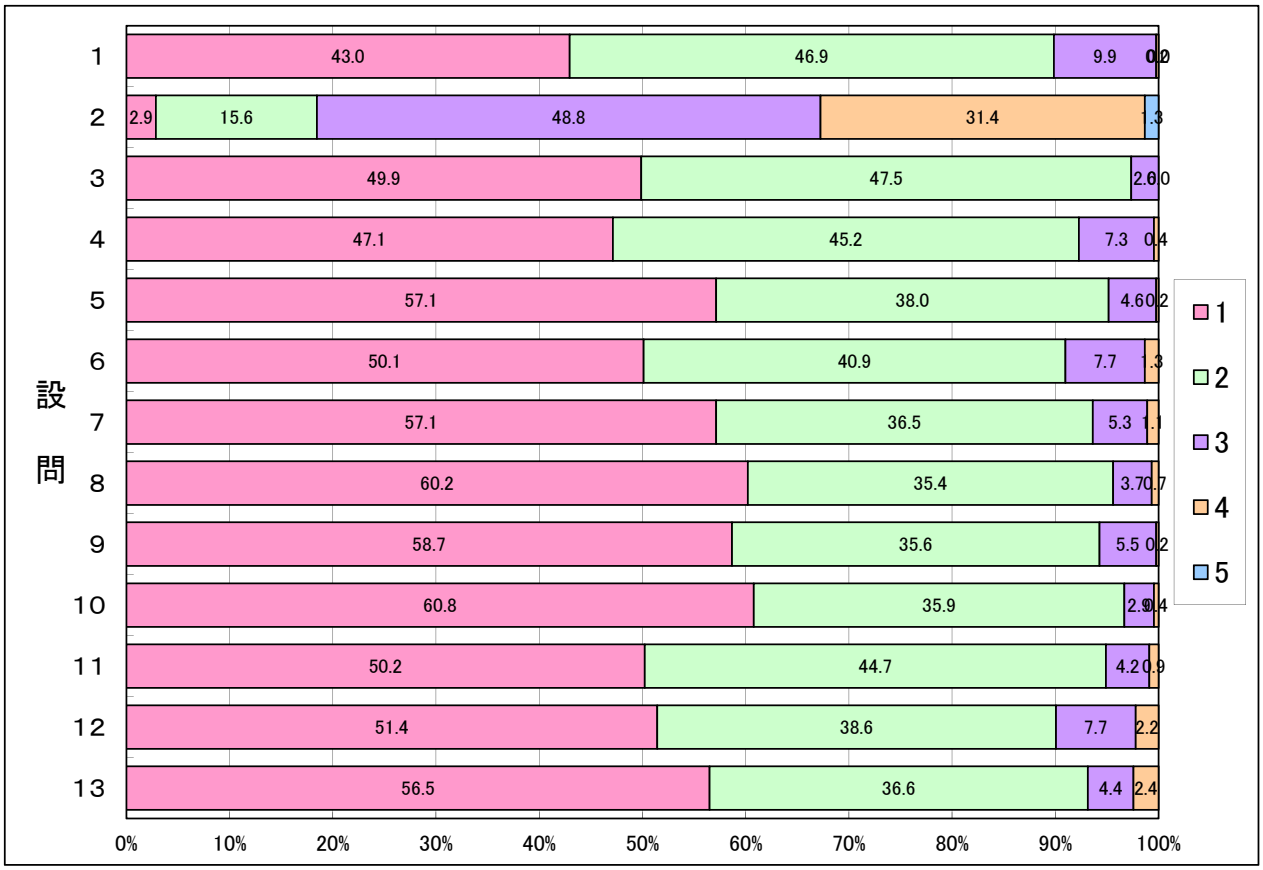
授業評価アンケート集計結果

中国語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	195	213	45	1	0	454

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	13	71	222	143	6	455

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	227	216	12	0	455
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	214	205	33	2	454
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	260	173	21	1	455
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	228	186	35	6	455
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	260	166	24	5	455
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	274	161	17	3	455
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	267	162	25	1	455
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	276	163	13	2	454
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	227	202	19	4	452
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	233	175	35	10	453
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	256	166	20	11	453



2017年度後期　科目別

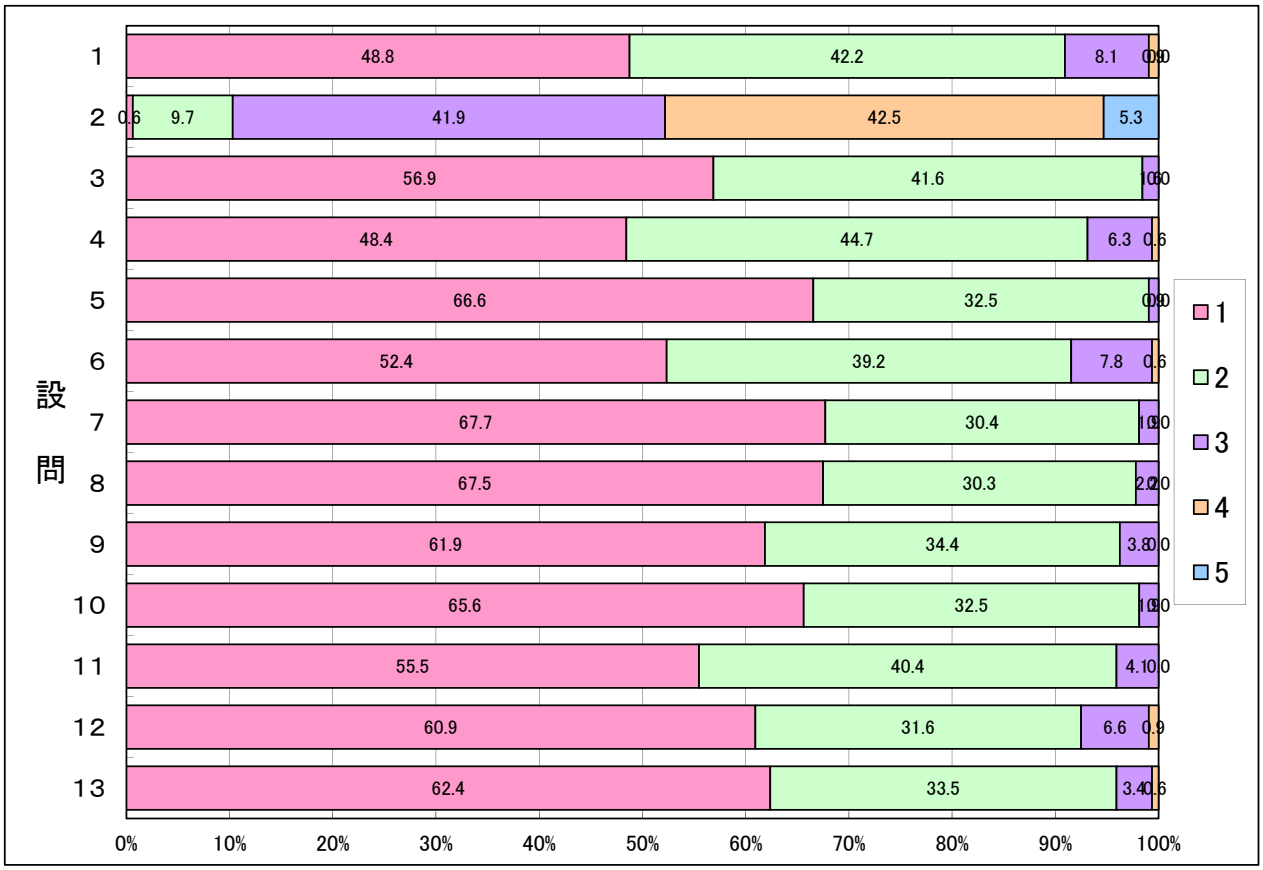
授業評価アンケート集計結果

韓国語（選択必修）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	156	135	26	3	0	320

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	31	134	136	17	320

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	182	133	5	0	320
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	155	143	20	2	320
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	213	104	3	0	320
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	167	125	25	2	319
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	216	97	6	0	319
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	216	97	7	0	320
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	198	110	12	0	320
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	210	104	6	0	320
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	177	129	13	0	319
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	195	101	21	3	320
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	199	107	11	2	319



2017年度後期　科目別

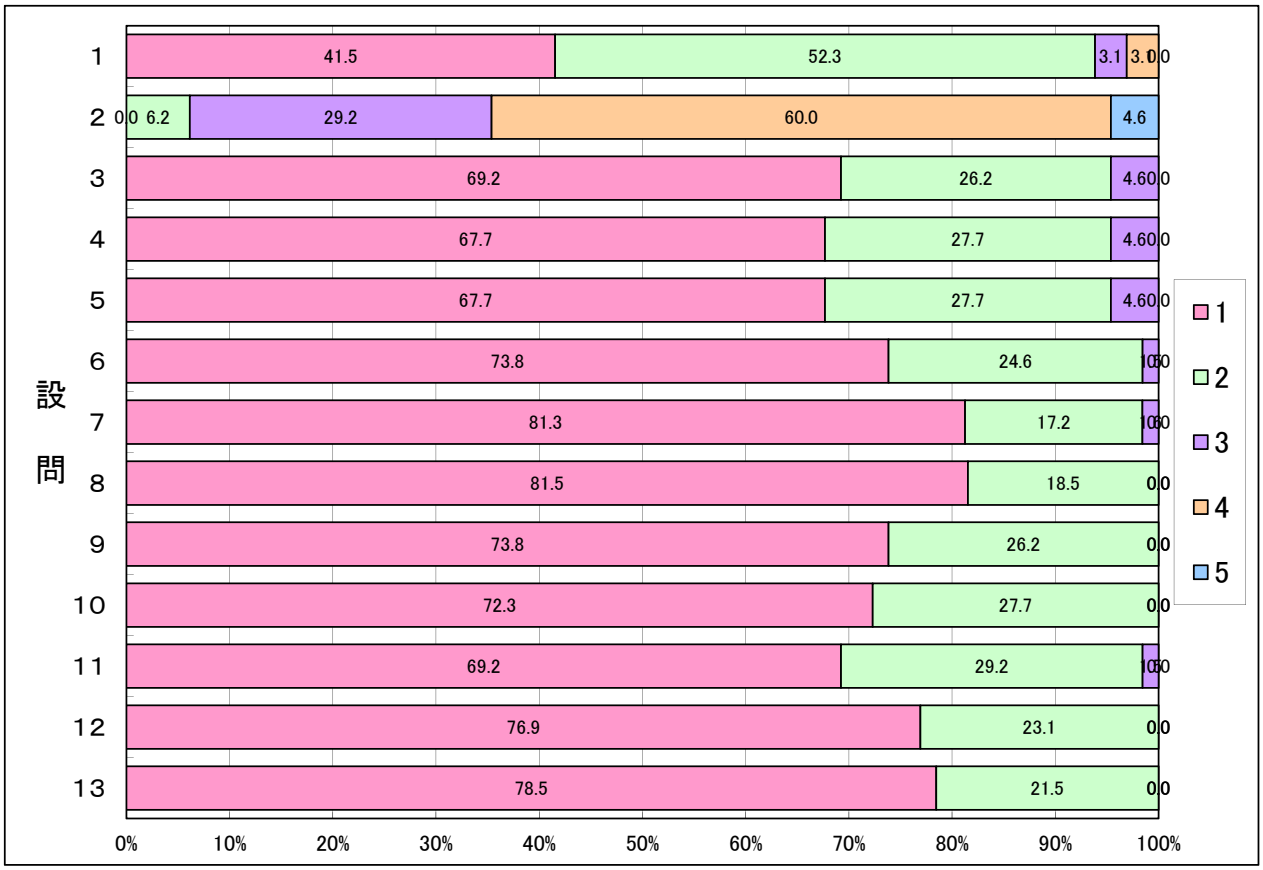
授業評価アンケート集計結果

韓国語（選択）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	27	34	2	2	0	65

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	4	19	39	3	65

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	45	17	3	0	65
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	44	18	3	0	65
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	44	18	3	0	65
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	48	16	1	0	65
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	52	11	1	0	64
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	53	12	0	0	65
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	48	17	0	0	65
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	47	18	0	0	65
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	45	19	1	0	65
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	50	15	0	0	65
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	51	14	0	0	65



2017年度後期　科目別

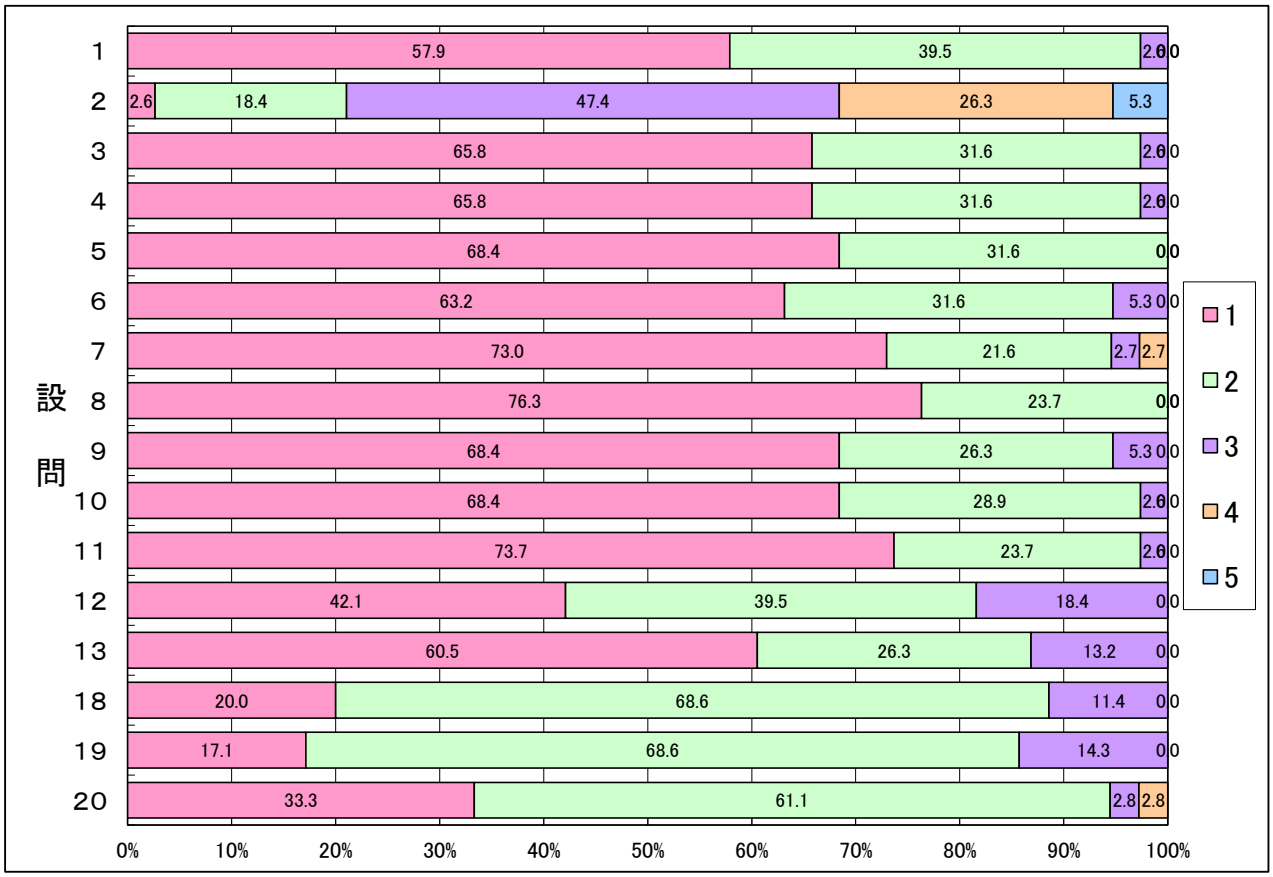
授業評価アンケート集計結果

日本語科目（日本語表現法Ⅰ）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	22	15	1	0	0	38

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	7	18	10	2	38

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	25	12	1	0	38
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	25	12	1	0	38
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	26	12	0	0	38
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	24	12	2	0	38
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	27	8	1	1	37
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	29	9	0	0	38
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	26	10	2	0	38
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	26	11	1	0	38
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	28	9	1	0	38
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	16	15	7	0	38
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	23	10	5	0	38
設問18	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)文章を読んでポイントをつかみ要約できるようになりましたか。	7	24	4	0	35
設問19	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)論理的･説得的な文章表現･口頭表現ができるようになりましたか。	6	24	5	0	35
設問20	(この授業が日本語表現法Ⅰの場合)学習成果を十分に踏まえた2000字の論述文を作成できましたか。	12	22	1	1	36



2017年度後期　科目別

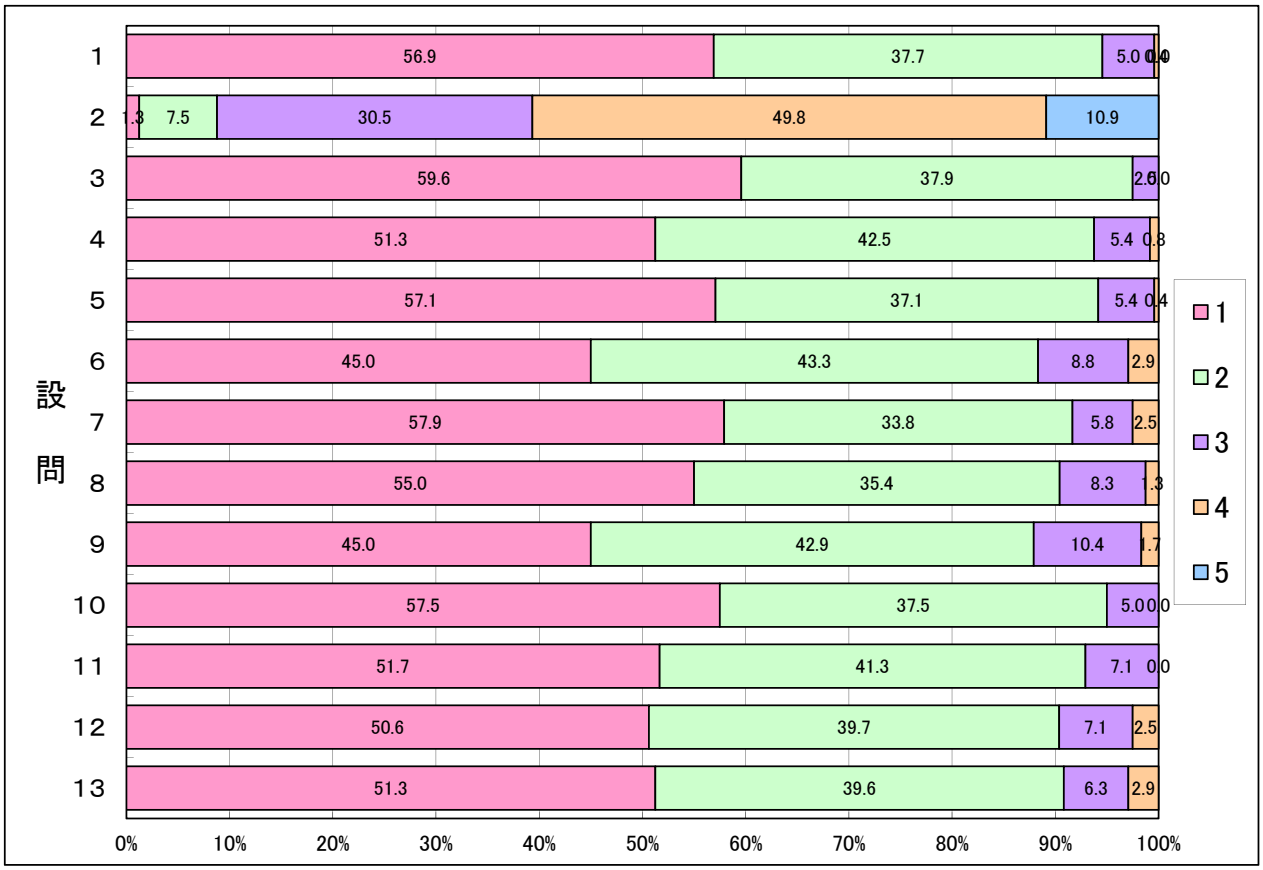
授業評価アンケート集計結果

情報処理科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	136	90	12	1	0	239

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	18	73	119	26	239

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	143	91	6	0	240
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	123	102	13	2	240
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	137	89	13	1	240
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	108	104	21	7	240
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	139	81	14	6	240
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	132	85	20	3	240
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	108	103	25	4	240
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	138	90	12	0	240
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	124	99	17	0	240
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	121	95	17	6	239
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	123	95	15	7	240



2017年度後期　科目別

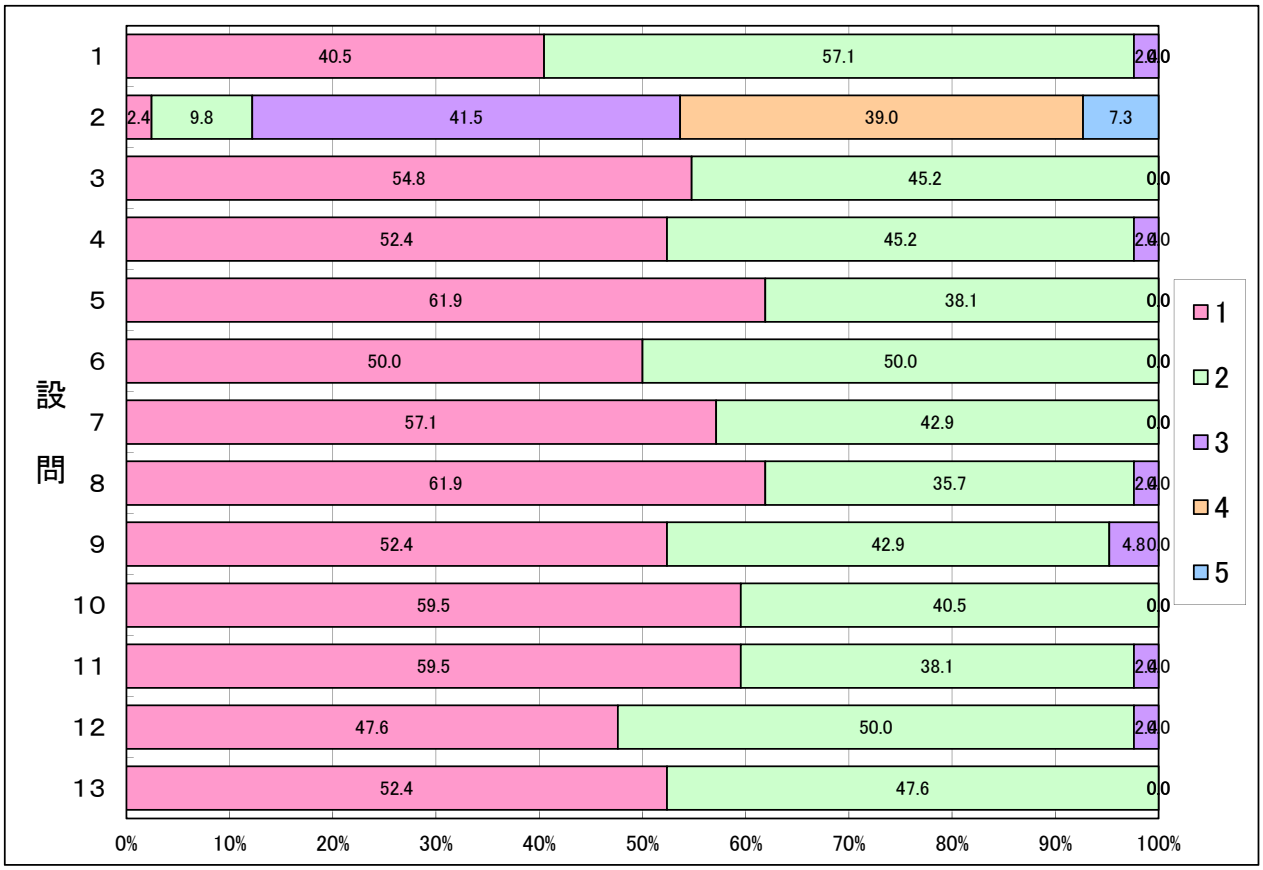
授業評価アンケート集計結果

教職特設科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	17	24	1	0	0	42

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	4	17	16	3	41

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	23	19	0	0	42
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	22	19	1	0	42
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	26	16	0	0	42
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	21	21	0	0	42
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	24	18	0	0	42
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	26	15	1	0	42
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	22	18	2	0	42
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	25	17	0	0	42
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	25	16	1	0	42
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	20	21	1	0	42
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	22	20	0	0	42



2017年度後期　科目別

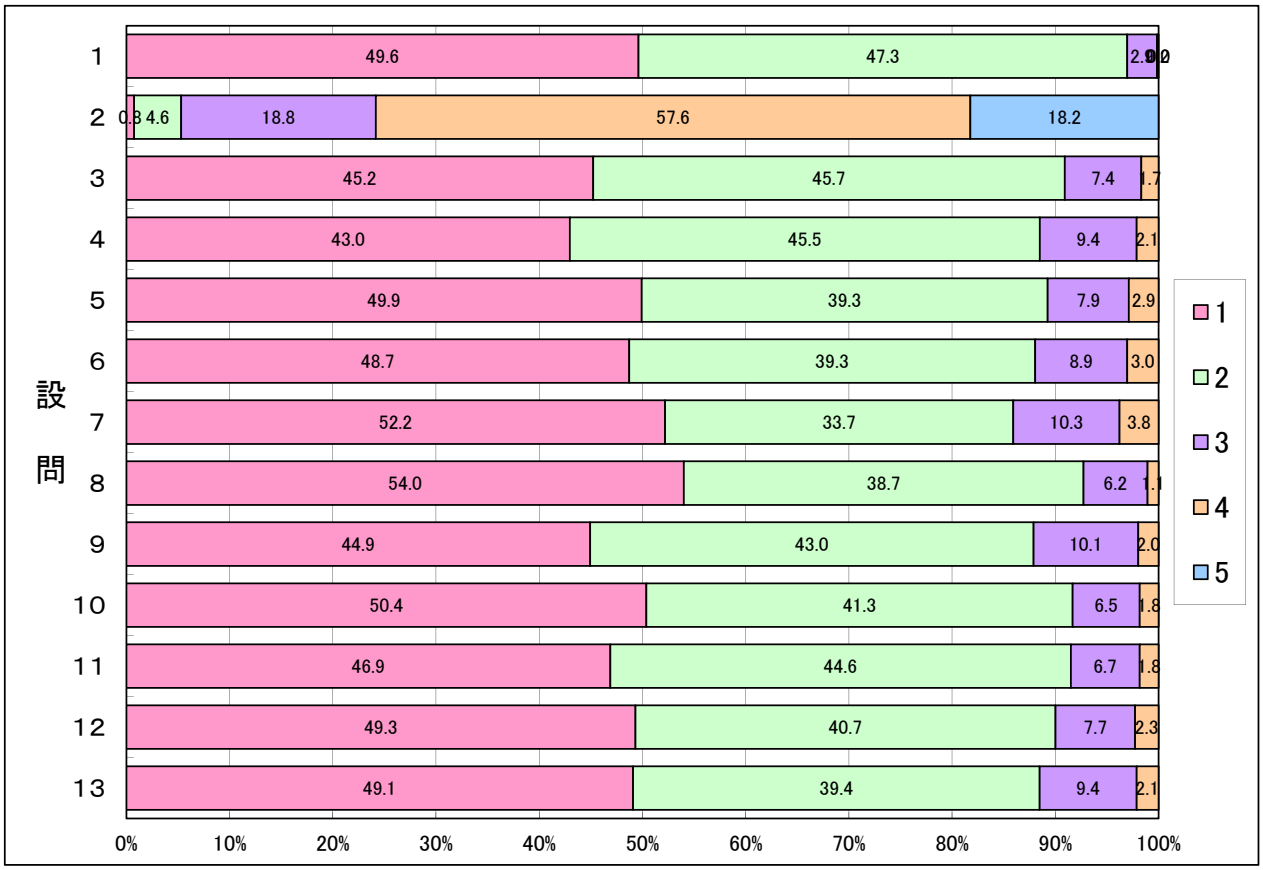
授業評価アンケート集計結果

教職課程科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	327	312	19	1	0	659

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	30	124	379	120	658

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	299	302	49	11	661
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	284	301	62	14	661
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	330	260	52	19	661
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	322	260	59	20	661
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	345	223	68	25	661
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	357	256	41	7	661
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	297	284	67	13	661
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	333	273	43	12	661
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	309	294	44	12	659
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	326	269	51	15	661
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	324	260	62	14	660



2017年度後期　科目別

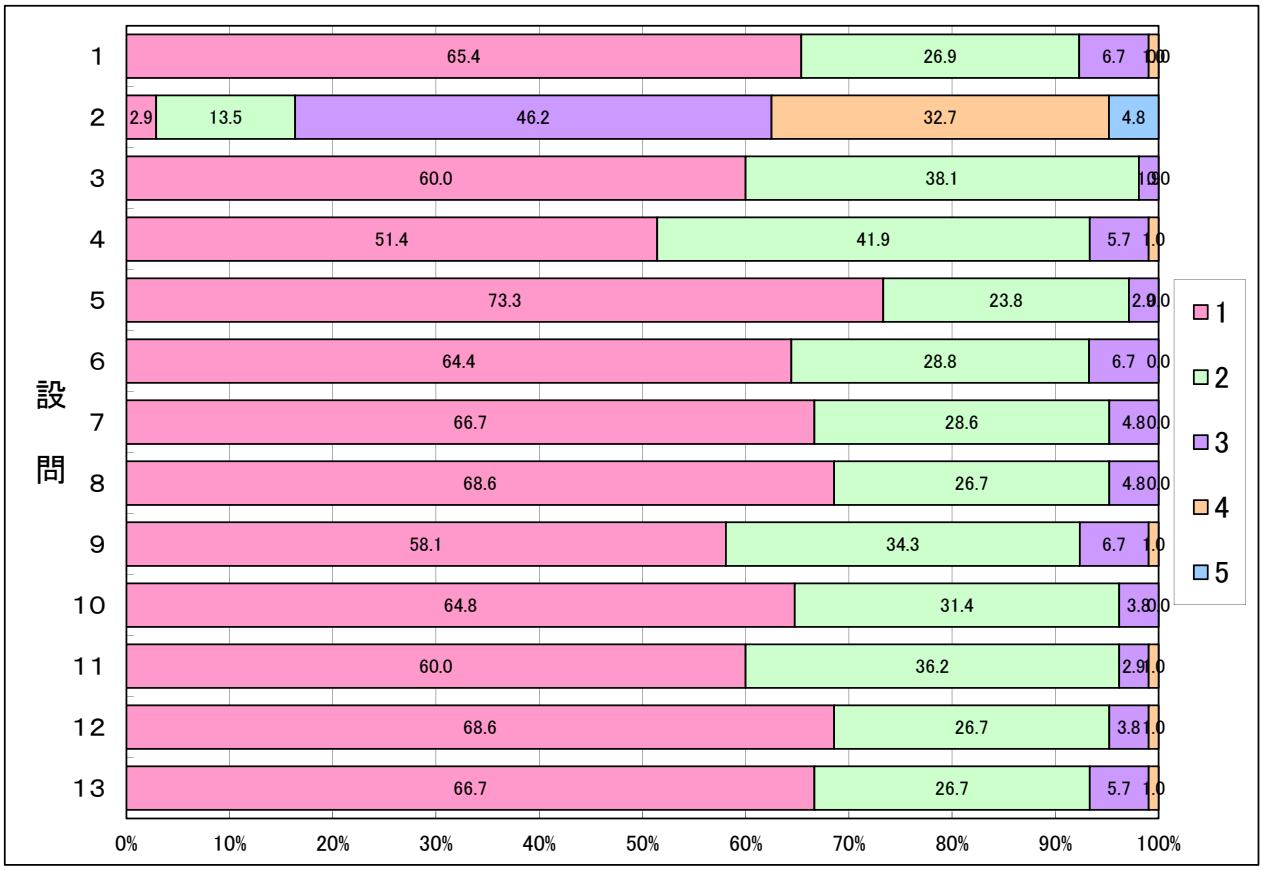
授業評価アンケート集計結果

学芸員課程科目

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	68	28	7	1	0	104

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	14	48	34	5	104

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	63	40	2	0	105
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	54	44	6	1	105
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	77	25	3	0	105
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	67	30	7	0	104
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	70	30	5	0	105
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	72	28	5	0	105
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	61	36	7	1	105
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	68	33	4	0	105
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	63	38	3	1	105
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	72	28	4	1	105
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	70	28	6	1	105



2017年度後期　女性学・ジェンダー関係科目

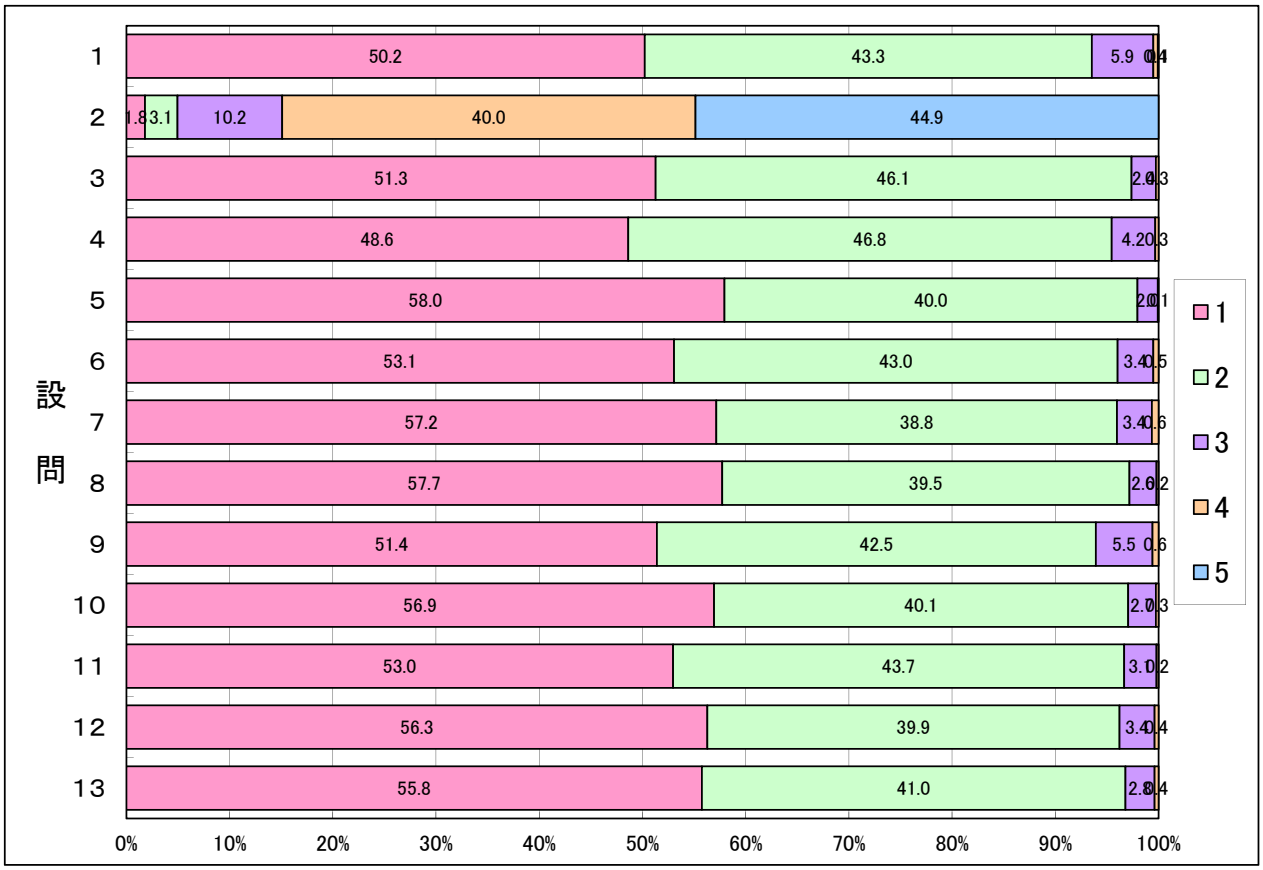
授業評価アンケート集計結果

学科科目以外

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	786	678	93	7	1	1,565

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	28	49	158	623	698	1,556

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	803	722	37	4	1,566
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	761	733	66	5	1,565
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	907	626	31	1	1,565
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	831	673	54	8	1,566
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	894	607	53	10	1,564
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	904	618	41	3	1,566
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	805	666	86	9	1,566
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	891	628	42	4	1,565
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	828	683	49	3	1,563
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	881	625	53	6	1,565
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	872	642	44	6	1,564



2017年度後期　履修者数別

授業評価アンケート集計結果

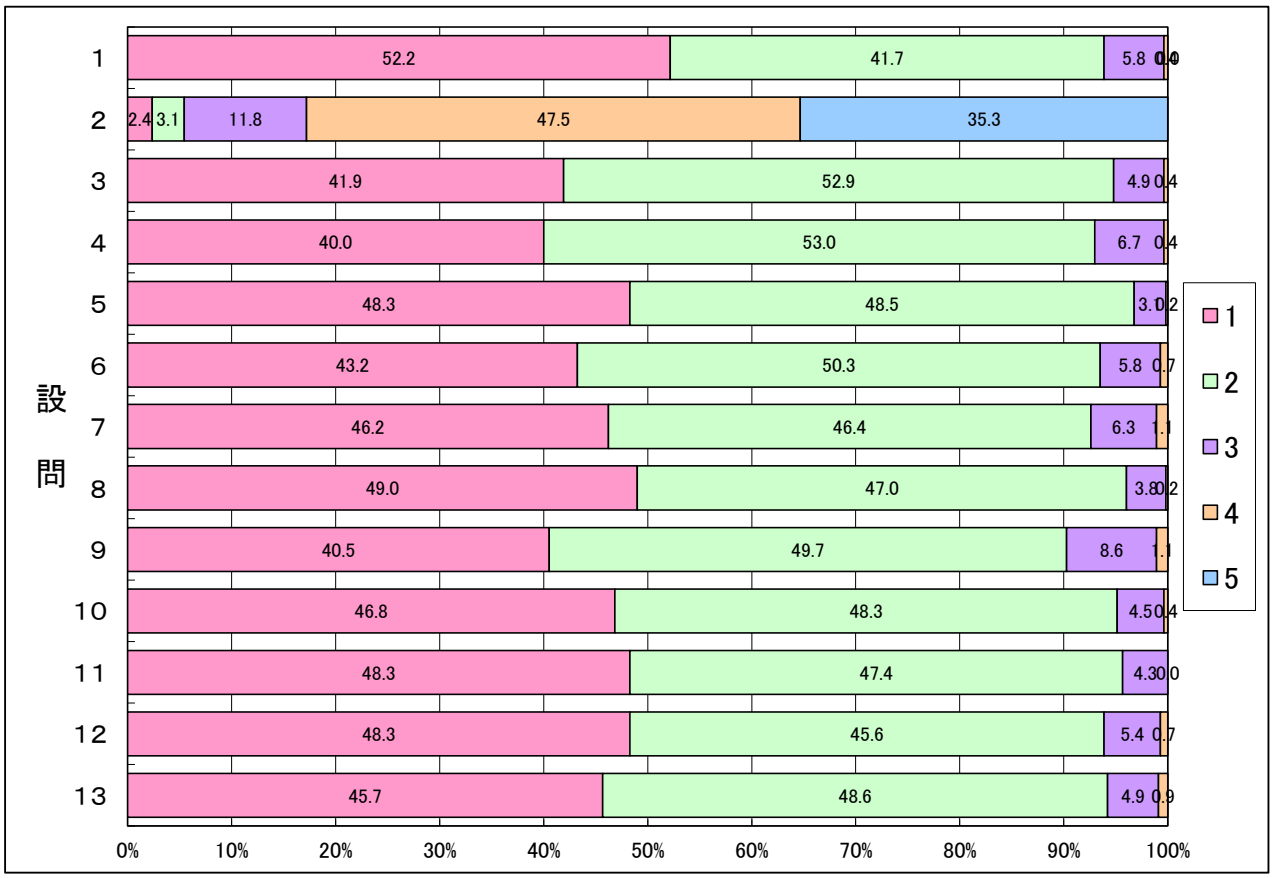
総合教養科目（女性の生きる力）101名以上200名以下

（100名以下の科目1件は除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	289	231	32	2	0	554

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	13	17	65	262	195	552

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	233	294	27	2	556
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	222	294	37	2	555
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	268	269	17	1	555
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	240	279	32	4	555
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	256	257	35	6	554
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	272	261	21	1	555
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	225	276	48	6	555
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	260	268	25	2	555
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	267	262	24	0	553
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	268	253	30	4	555
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	253	269	27	5	554



2017年度後期　履修者数別

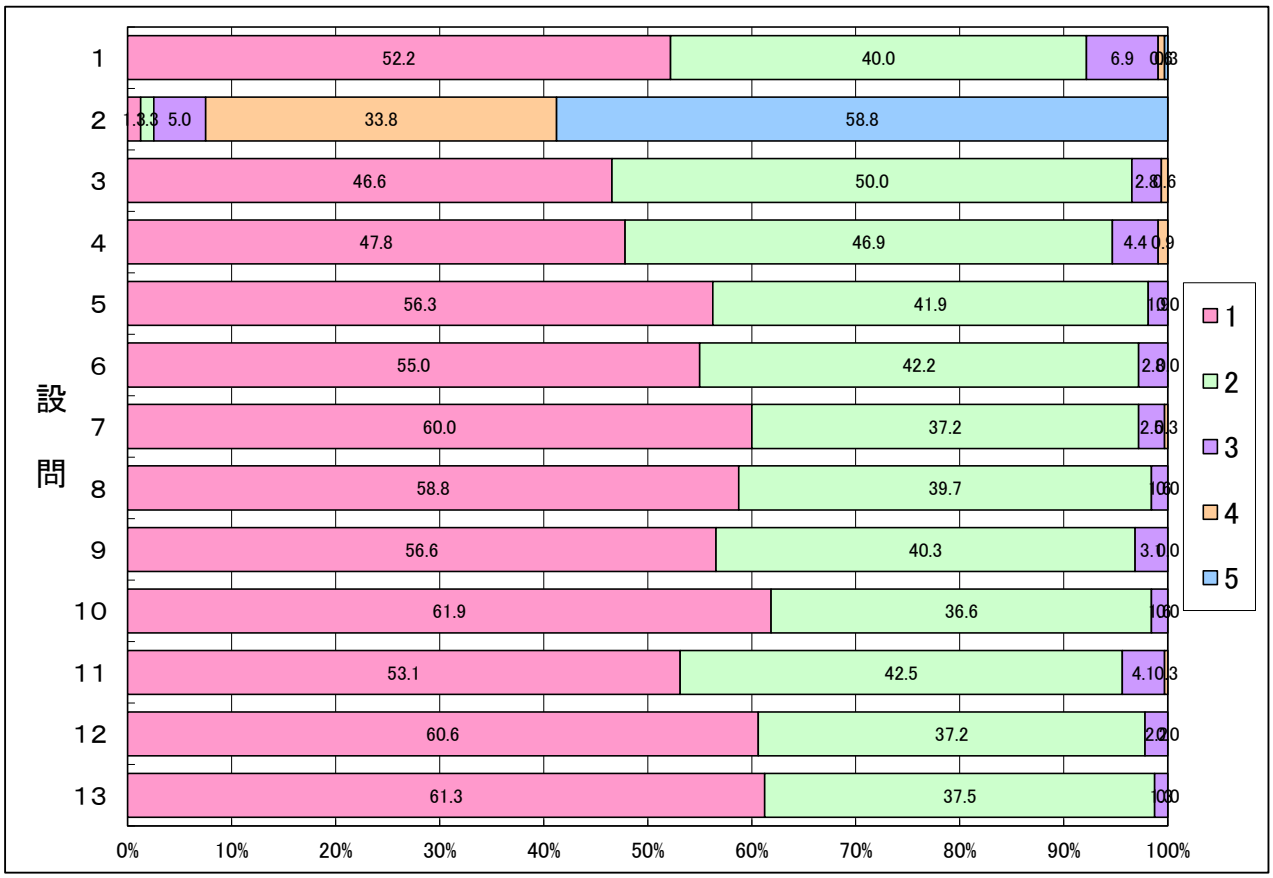
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（女性の生きる力）201名以上400名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	167	128	22	2	1	320

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	4	16	108	188	320

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	149	160	9	2	320
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	153	150	14	3	320
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	180	134	6	0	320
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	176	135	9	0	320
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	192	119	8	1	320
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	188	127	5	0	320
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	181	129	10	0	320
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	198	117	5	0	320
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	170	136	13	1	320
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	194	119	7	0	320
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	196	120	4	0	320



2017年度後期　履修者数別

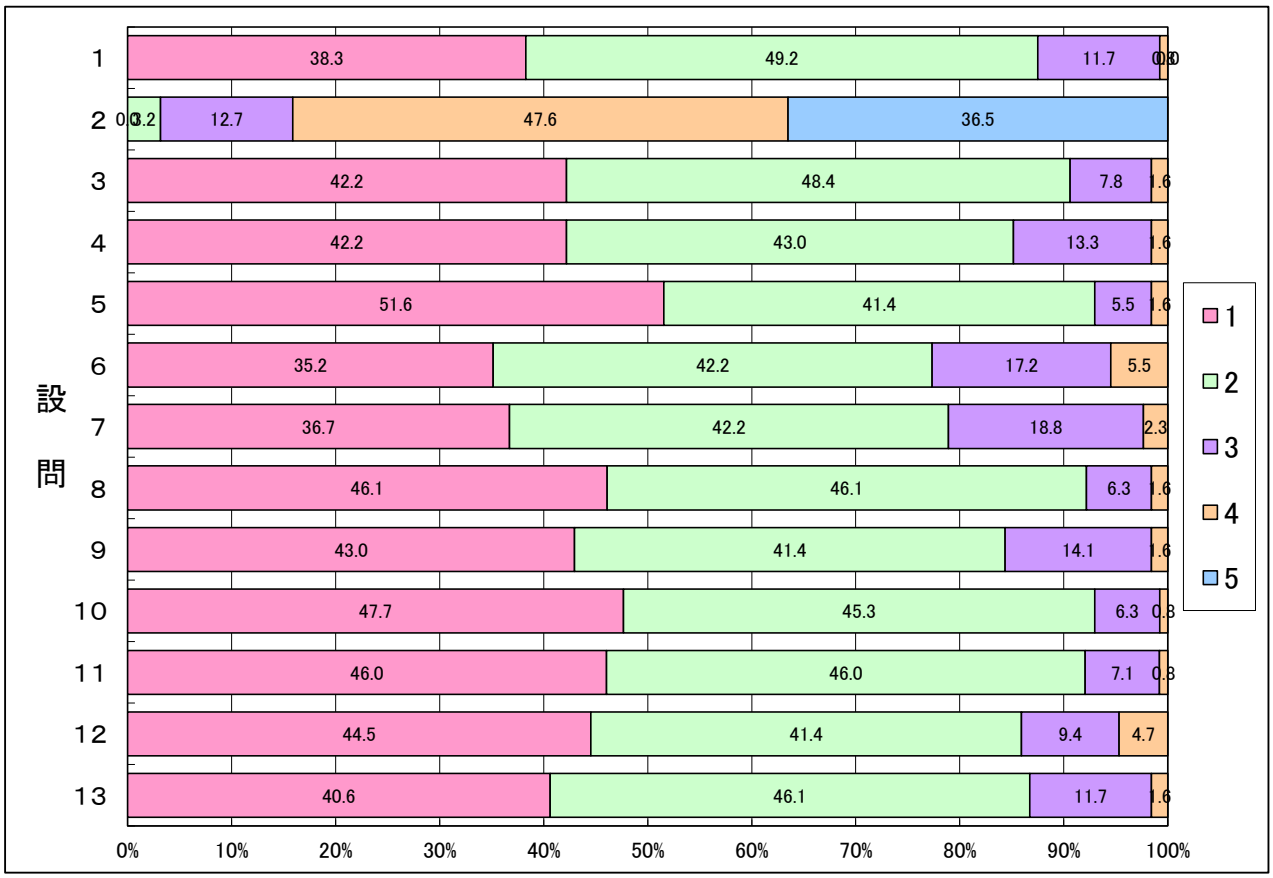
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	49	63	15	1	0	128

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	0	4	16	60	46	126

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	54	62	10	2	128
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	54	55	17	2	128
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	66	53	7	2	128
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	45	54	22	7	128
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	47	54	24	3	128
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	59	59	8	2	128
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	55	53	18	2	128
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	61	58	8	1	128
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	58	58	9	1	126
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	57	53	12	6	128
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	52	59	15	2	128



2017年度後期　履修者数別

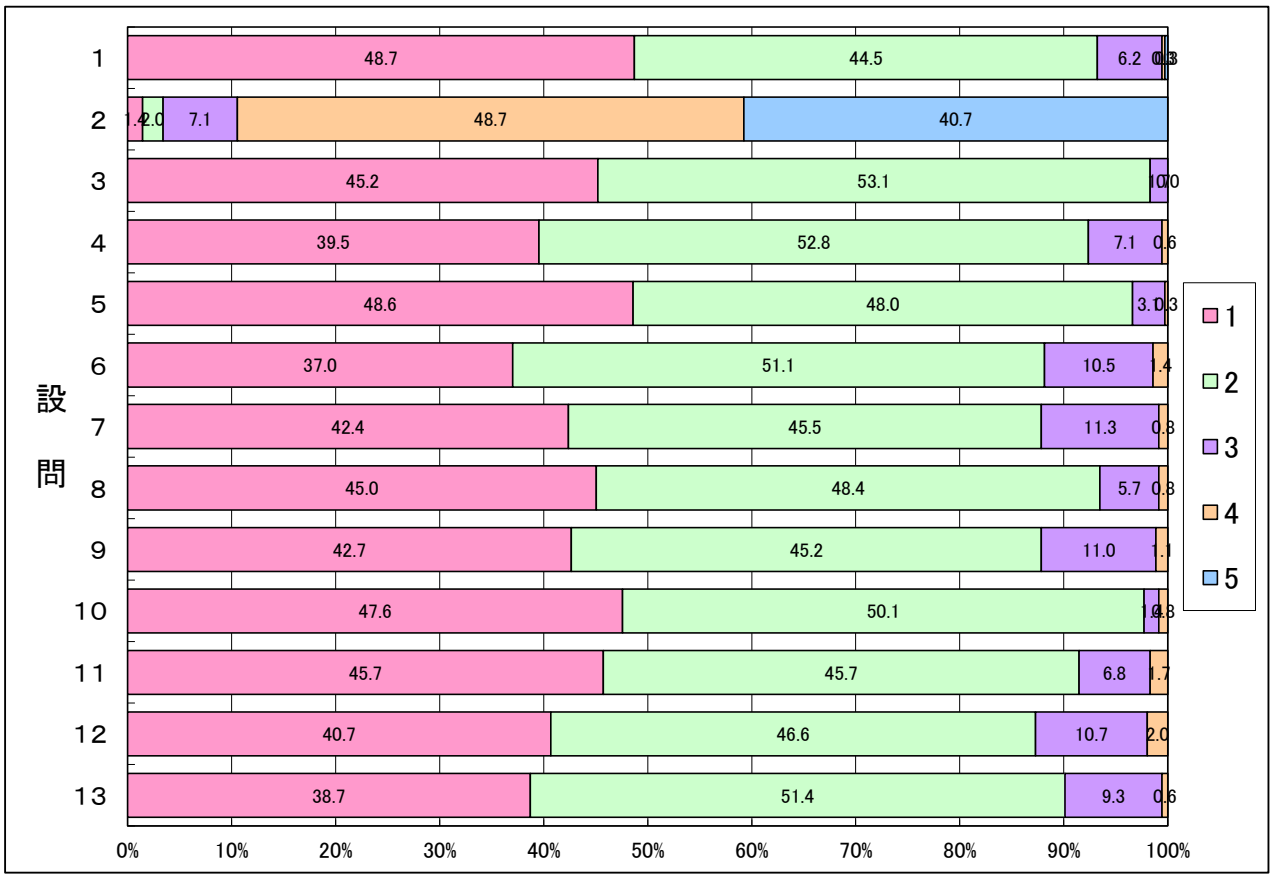
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	173	158	22	1	1	355

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	5	7	25	171	143	351

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	160	188	6	0	354
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	140	187	25	2	354
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	172	170	11	1	354
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	131	181	37	5	354
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	150	161	40	3	354
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	159	171	20	3	353
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	151	160	39	4	354
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	168	177	5	3	353
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	134	134	20	5	293
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	144	165	38	7	354
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	137	182	33	2	354



2017年度後期　履修者数別

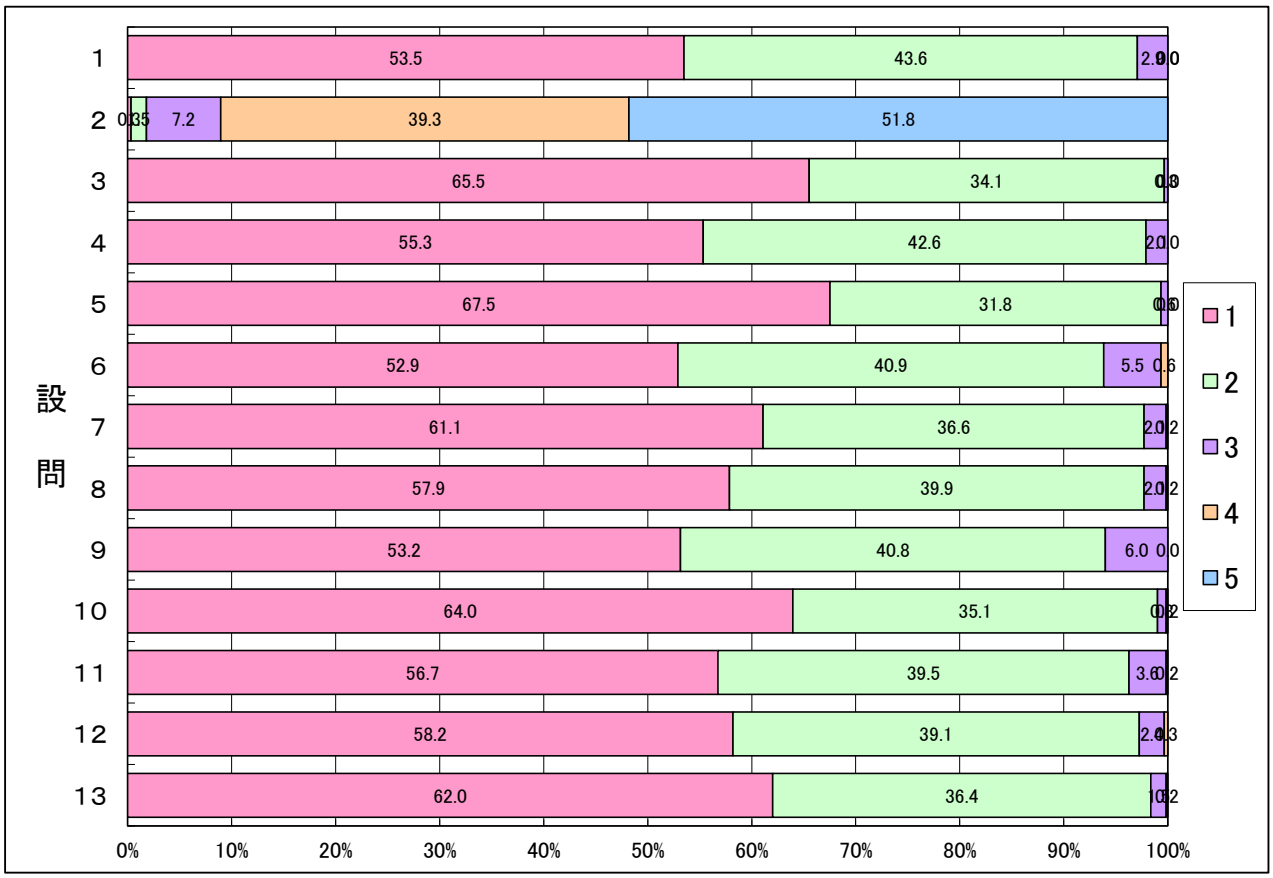
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間と自然科学）301名以上500名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	330	269	18	0	0	617

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	9	44	241	318	614

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	405	211	2	0	618
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	342	263	13	0	618
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	416	196	4	0	616
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	327	253	34	4	618
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	377	226	13	1	617
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	357	246	13	1	617
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	328	252	37	0	617
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	394	216	5	1	616
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	349	243	22	1	615
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	359	241	15	2	617
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	382	224	9	1	616



2017年度後期　履修者数別

授業評価アンケート集計結果

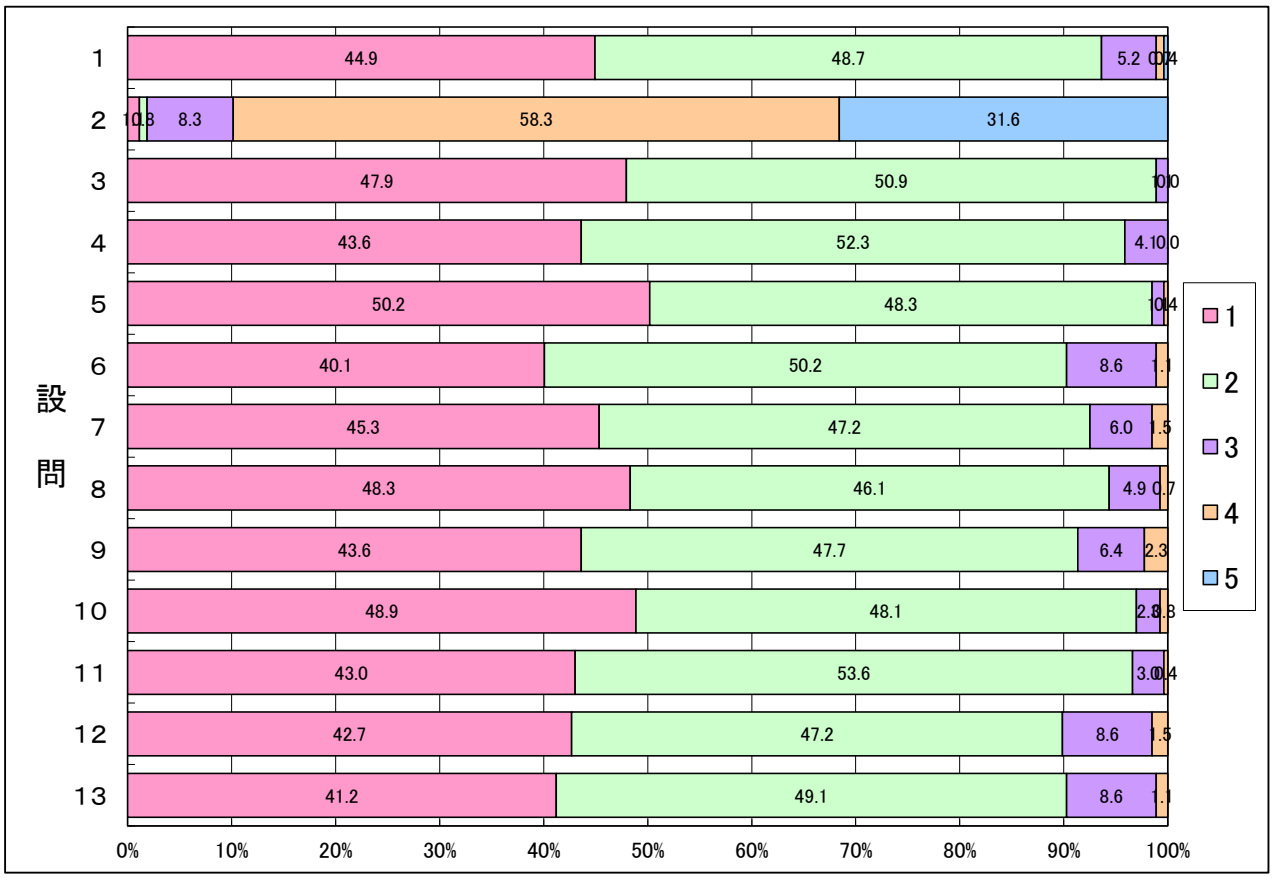
総合教養科目（人間自身を知る）101名以上200名以下

（100名以下の科目1件は除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	120	130	14	2	1	267

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	2	22	155	84	266

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	128	136	3	0	267
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	116	139	11	0	266
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	134	129	3	1	267
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	107	134	23	3	267
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	121	126	16	4	267
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	129	123	13	2	267
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	116	127	17	6	266
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	130	128	6	2	266
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	114	142	8	1	265
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	114	126	23	4	267
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	110	131	23	3	267



2017年度後期　履修者数別

授業評価アンケート集計結果

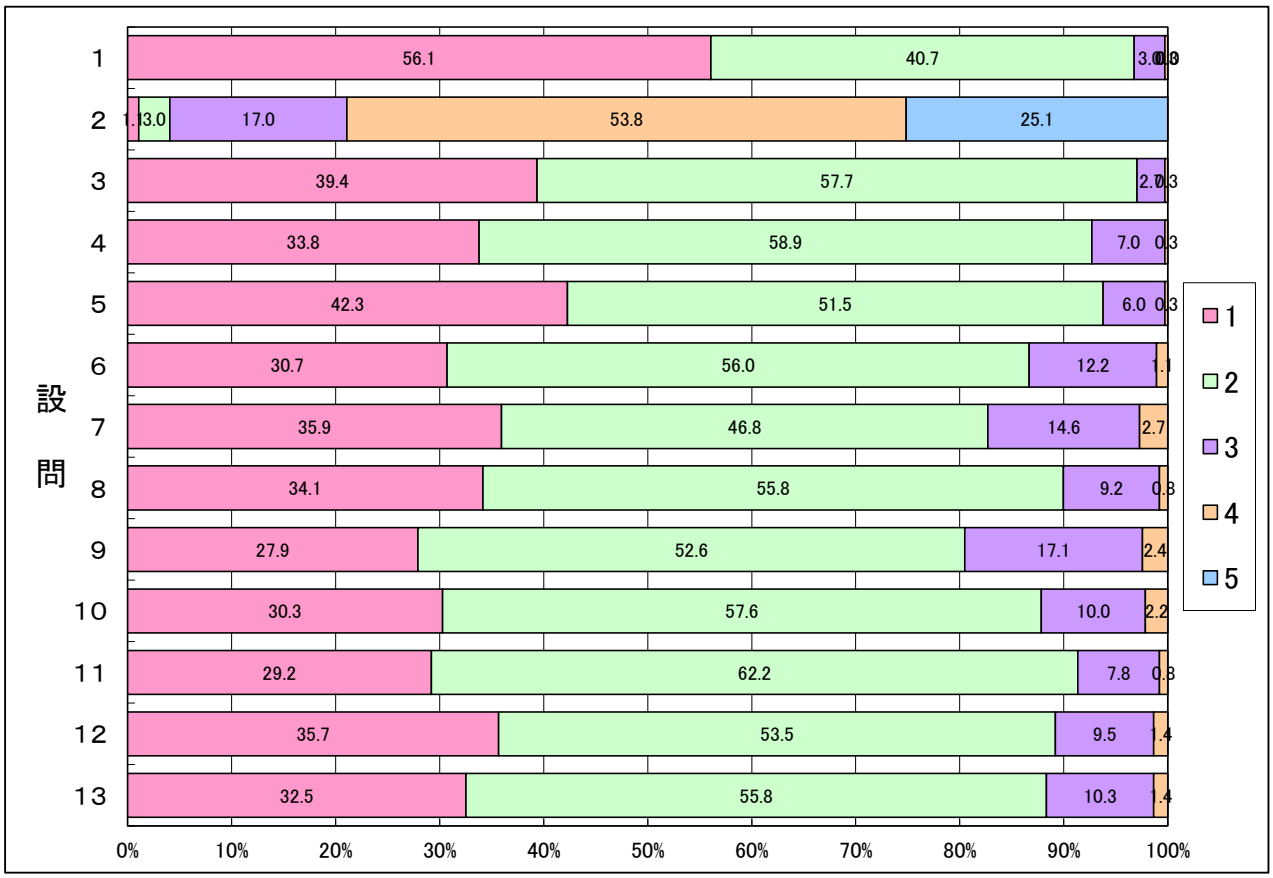
総合教養科目（人間自身を知る）201名以上300名以下

（401名以上500名以下の科目1件は除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	208	151	11	1	0	371

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	11	63	199	93	370

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	146	214	10	1	371
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	125	218	26	1	370
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	156	190	22	1	369
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	113	206	45	4	368
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	133	173	54	10	370
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	126	206	34	3	369
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	103	194	63	9	369
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	112	213	37	8	370
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	108	230	29	3	370
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	132	198	35	5	370
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	120	206	38	5	369



2017年度後期　履修者数別

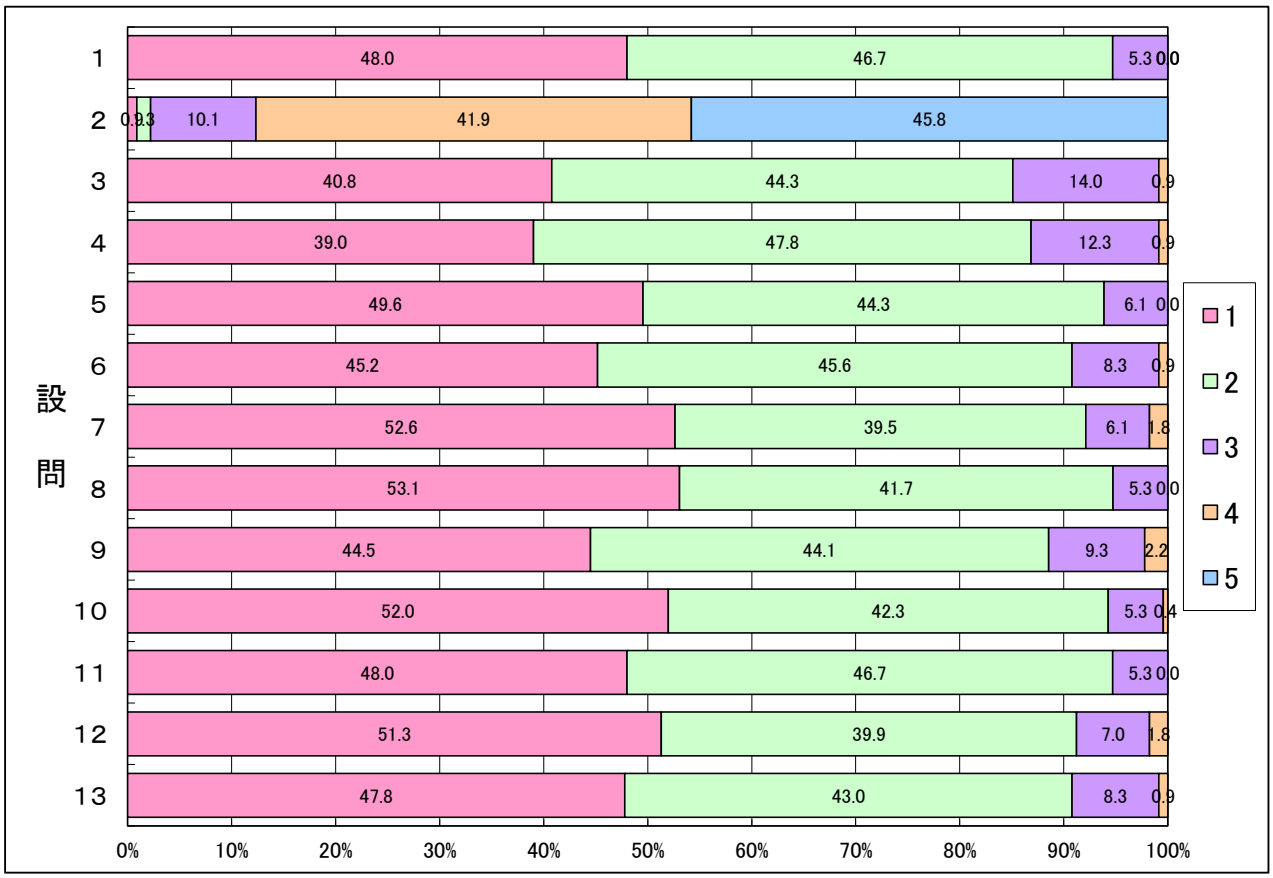
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	109	106	12	0	0	227

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	2	3	23	95	104	227

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	93	101	32	2	228
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	89	109	28	2	228
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	113	101	14	0	228
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	103	104	19	2	228
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	120	90	14	4	228
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	121	95	12	0	228
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	101	100	21	5	227
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	118	96	12	1	227
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	109	106	12	0	227
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	117	91	16	4	228
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	109	98	19	2	228



2017年度後期　履修者数別

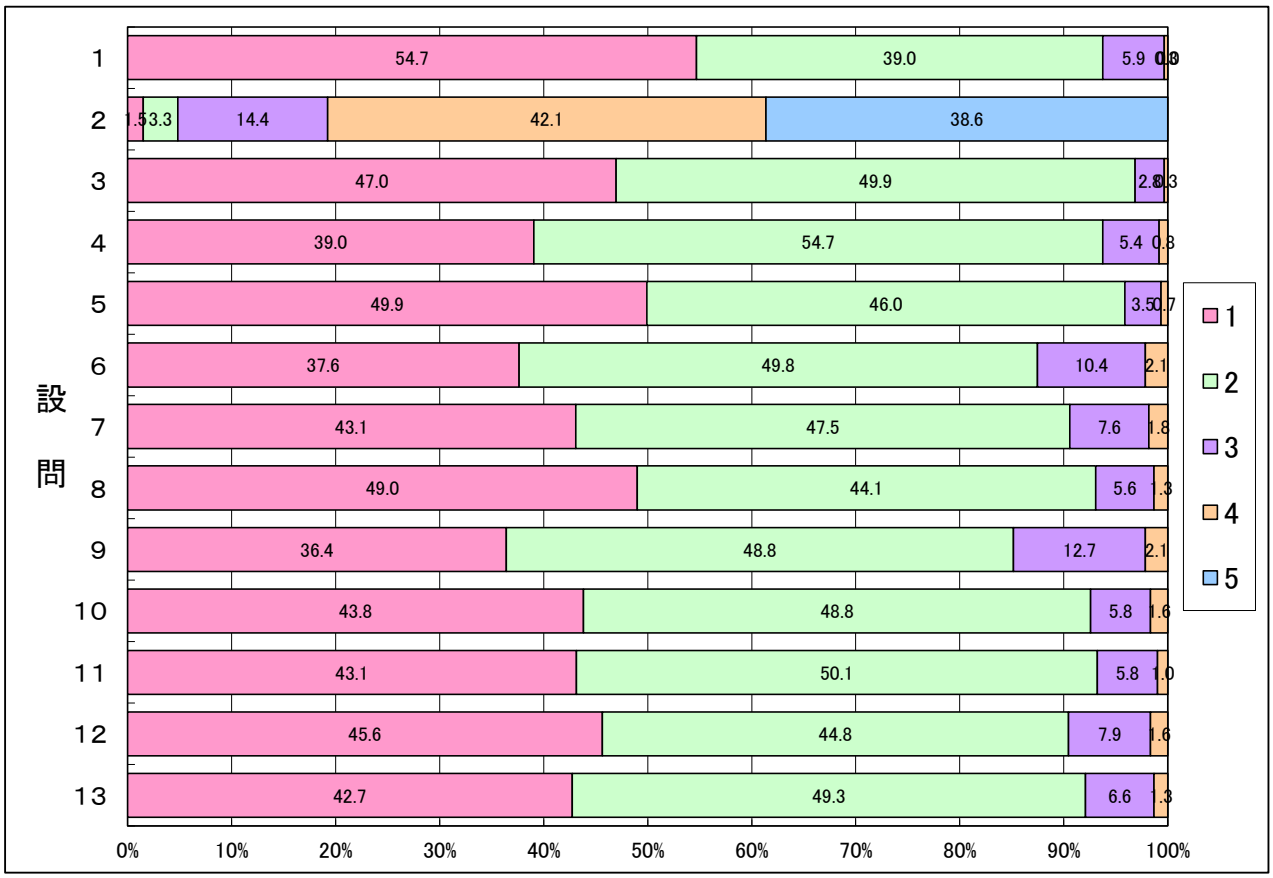
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）101名以上200名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	332	237	36	2	0	607

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	9	20	87	254	233	603

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	285	303	17	2	607
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	237	332	33	5	607
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	303	279	21	4	607
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	228	302	63	13	606
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	261	288	46	11	606
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	297	267	34	8	606
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	221	296	77	13	607
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	266	296	35	10	607
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	261	303	35	6	605
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	277	272	48	10	607
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	259	299	40	8	606



2017年度後期　履修者数別

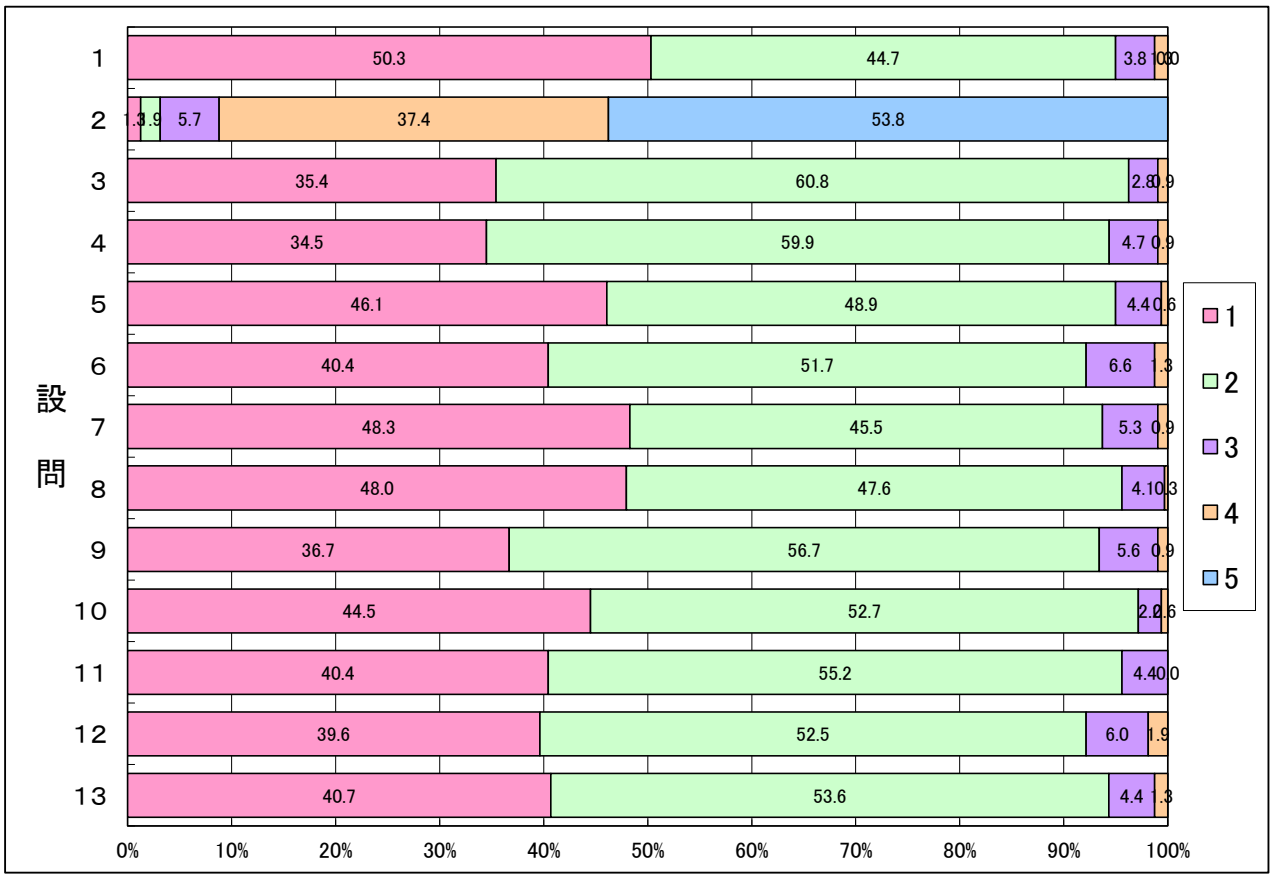
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間の知的生産）201名以上300名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	160	142	12	4	0	318

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	6	18	119	171	318

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	113	194	9	3	319
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	110	191	15	3	319
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	147	156	14	2	319
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	129	165	21	4	319
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	154	145	17	3	319
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	153	152	13	1	319
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	117	181	18	3	319
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	142	168	7	2	319
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	129	176	14	0	319
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	126	167	19	6	318
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	129	170	14	4	317



2017年度後期　履修者数別

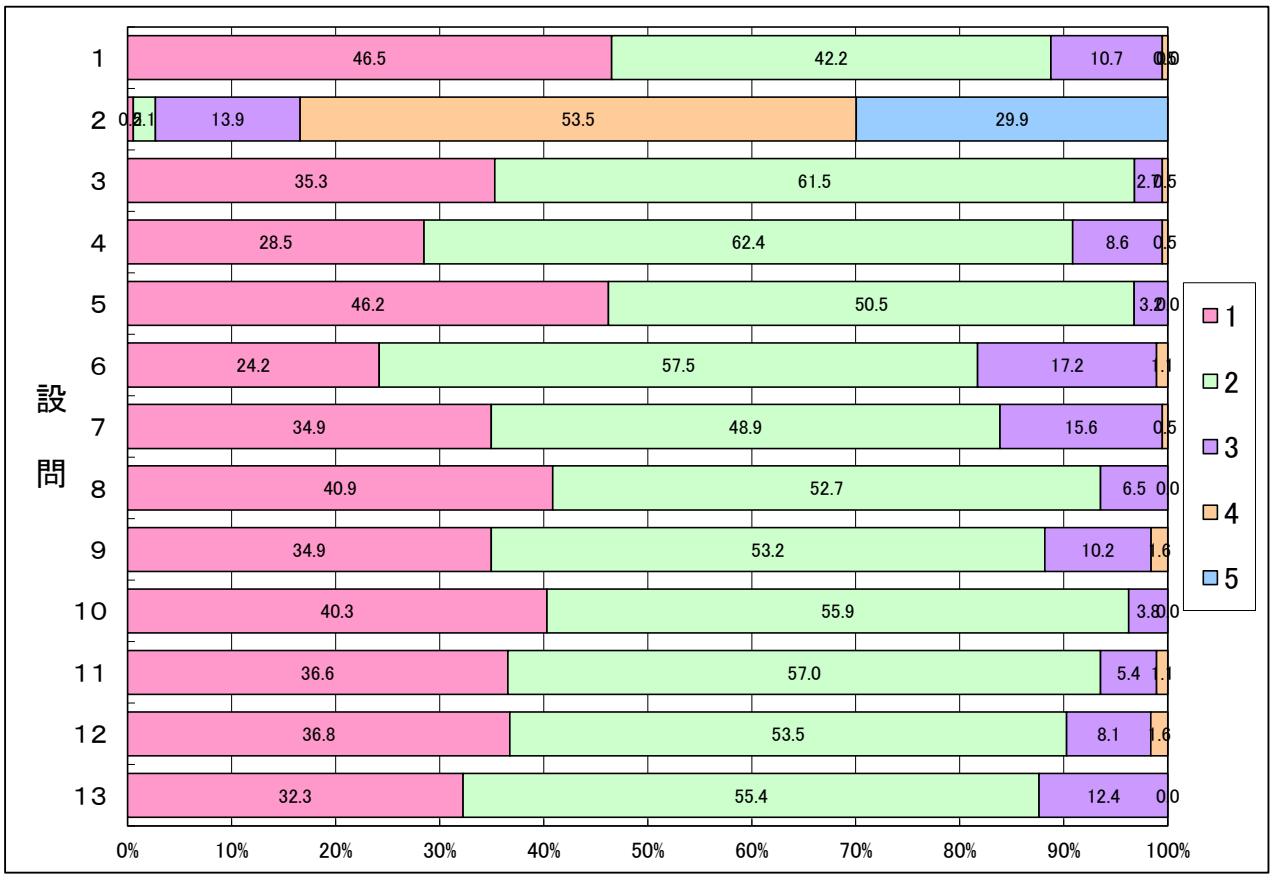
授業評価アンケート集計結果

総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）100名以下

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	87	79	20	1	0	187

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	1	4	26	100	56	187

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	66	115	5	1	187
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	53	116	16	1	186
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	86	94	6	0	186
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	45	107	32	2	186
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	65	91	29	1	186
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	76	98	12	0	186
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	65	99	19	3	186
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	75	104	7	0	186
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	68	106	10	2	186
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	68	99	15	3	185
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	60	103	23	0	186



2017年度後期　履修者数別

授業評価アンケート集計結果

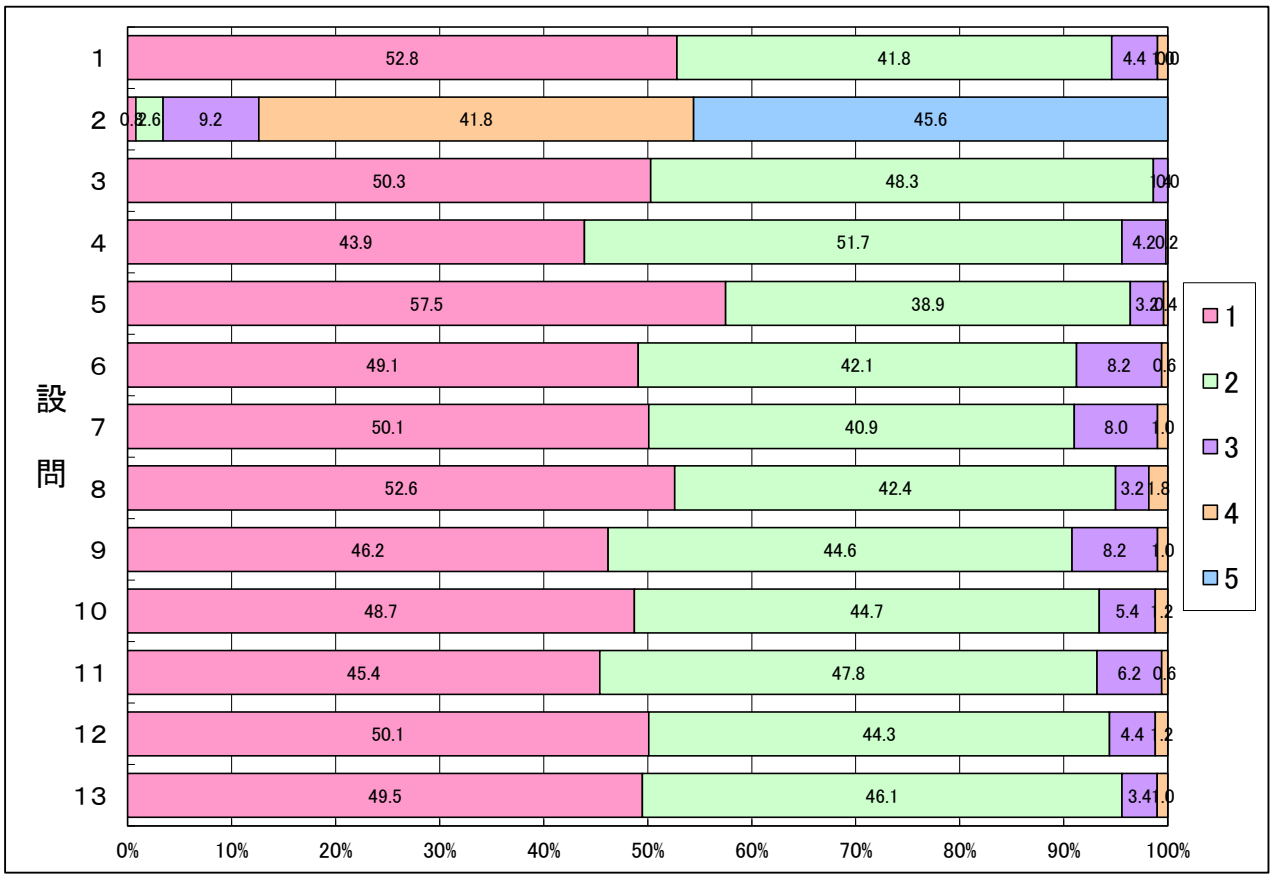
総合教養科目（人間社会の仕組みと問題）101名以上300名以下

（201名以上300名以下の科目1件を含む）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	264	209	22	5	0	500

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	4	13	46	209	228	500

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	252	242	7	0	501
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	220	259	21	1	501
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	288	195	16	2	501
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	246	211	41	3	501
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	251	205	40	5	501
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	262	211	16	9	498
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	231	223	41	5	500
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	244	224	27	6	501
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	227	239	31	3	500
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	250	221	22	6	499
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	247	230	17	5	499



2017年度後期　履修者数別

授業評価アンケート集計結果

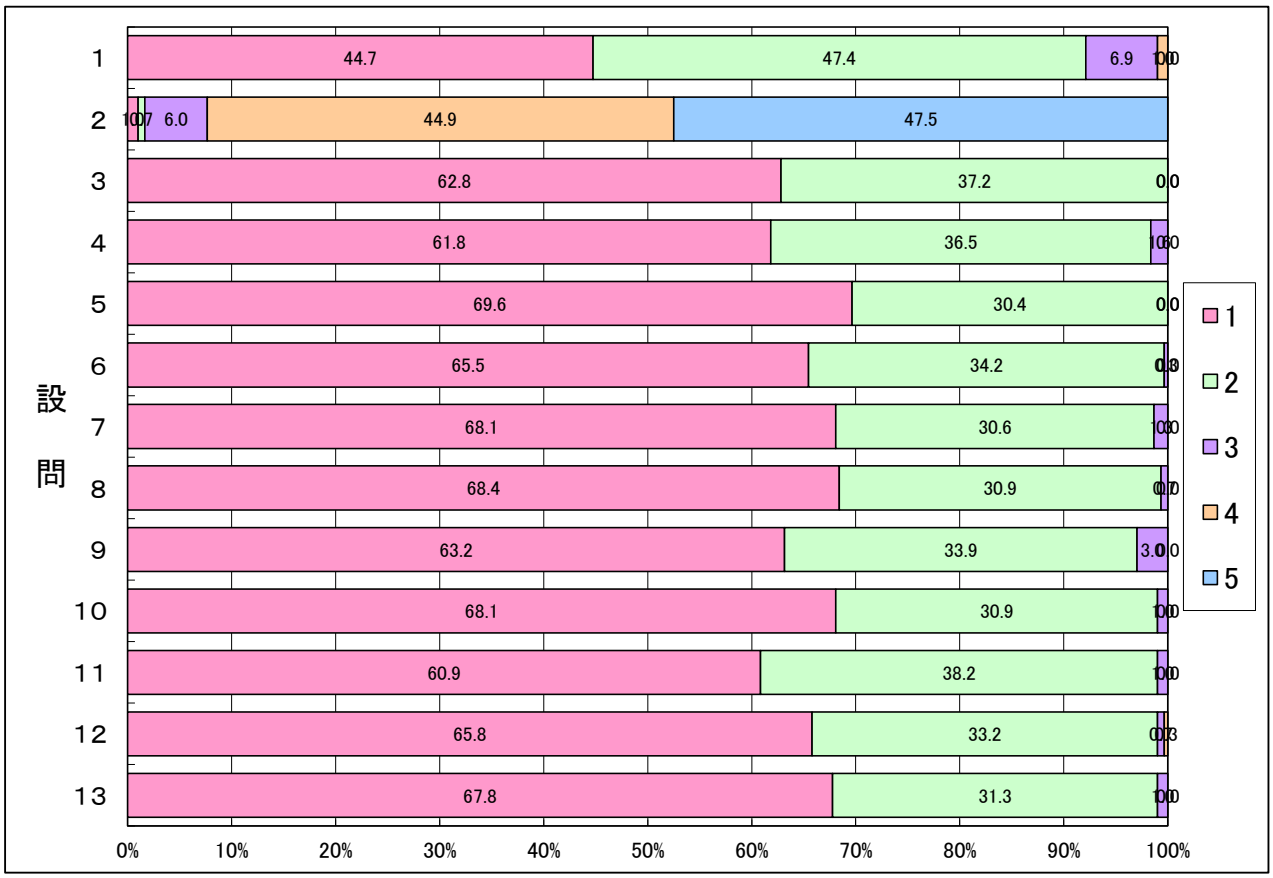
総合教養科目（女性のウェルネス）（選択・講義）101名以上200名以下

（100名以下、201名以上300名以下の科目各1件は除く）

		すべて出席した	1～2度欠席した	3分の2程度出席	3分の1程度出席	ほとんど出席しなかった	有効回答数
設問1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	136	144	21	3	0	304

		週4時間以上	週2時間以上4時間未満	週1時間以上2時間未満	週1時間未満	全くしていない	有効回答数
設問2	この授業のために、教室外学習にどの程度時間をかけましたか。	3	2	18	135	143	301

		非常にそう思う（評価4点）	ある程度そう思う（評価3点）	あまりそう思わない（評価2点）	全くそう思わない（評価1点）	有効回答数
設問3	この授業は、シラバスに基づいて展開されていましたか。	191	113	0	0	304
設問4	この授業のシラバスは、授業を理解し学習を進めていく上で役に立ちましたか。	188	111	5	0	304
設問5	この授業は、よく準備・計画されていたと思いますか。	211	92	0	0	303
設問6	授業の内容は、よく理解できましたか。	199	104	1	0	304
設問7	教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	207	93	4	0	304
設問8	教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか。	208	94	2	0	304
設問9	教員は受講者の理解の程度を、点検・配慮していましたか。	192	103	9	0	304
設問10	教員は授業運営（質問の機会等）を適切かつ公正に行っていましたか。	207	94	3	0	304
設問11	教室外学習の指導（参考文献の提示、文献の調べ方など）は、適切でしたか。	185	116	3	0	304
設問12	授業を受講して、この授業が対象とする分野への問題意識や関心が深まりましたか。	200	101	2	1	304
設問13	総合的に判断して、あなたはこの授業に満足しましたか。	206	95	3	0	304

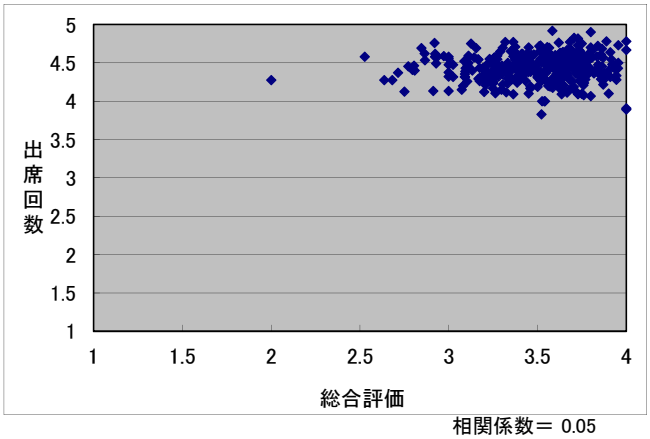


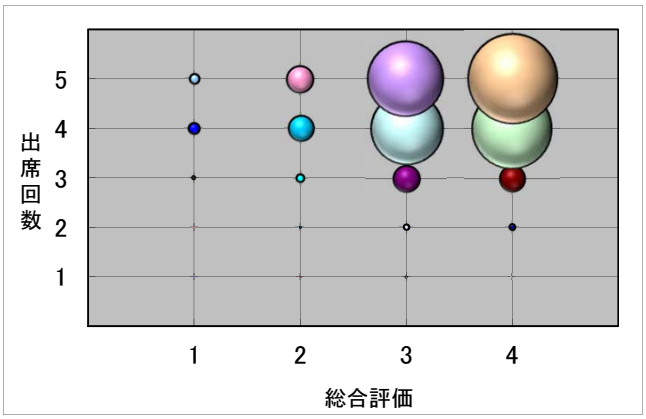
授業評価アンケート集計結果

2017年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

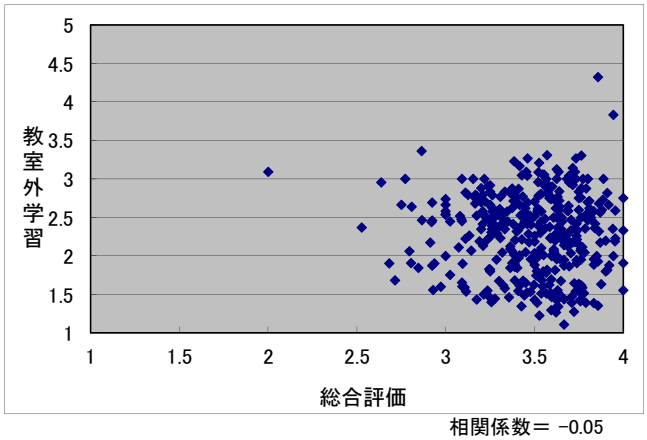
総合評価と出席回数（設問1）の関係

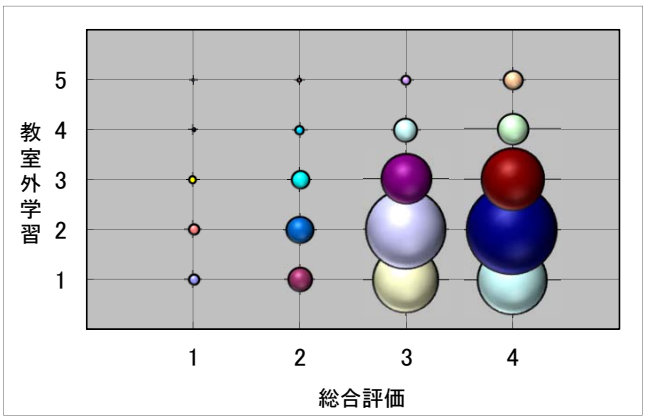




相関係数＝ 0.05

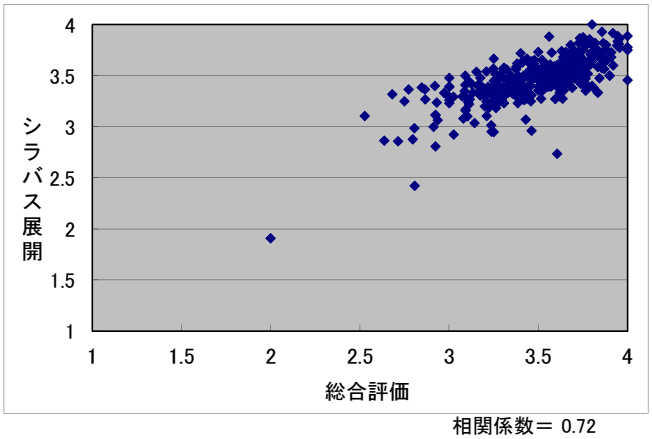
総合評価と教室外学習（設問2）の関係

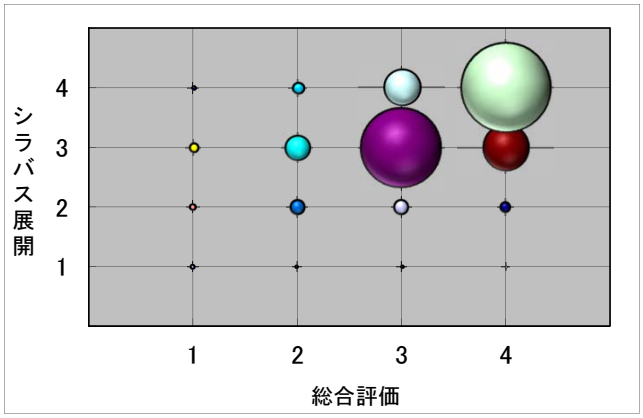




相関係数＝ -0.05

総合評価とシラバス展開（設問3）の関係





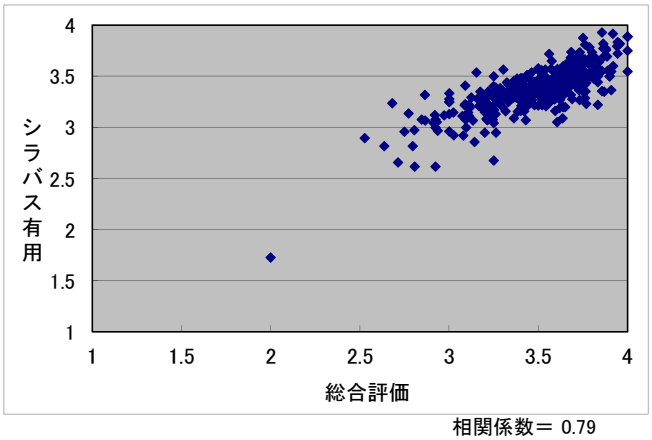
相関係数＝ 0.72

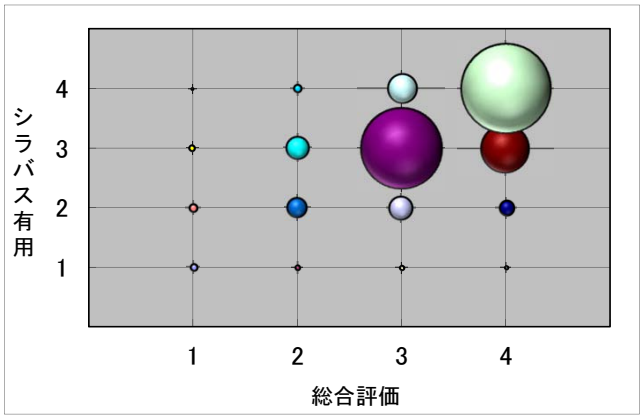
授業評価アンケート集計結果

2017年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

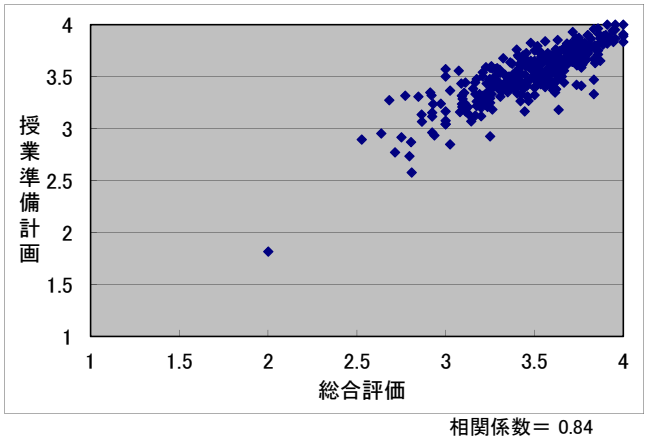
総合評価とシラバス有用（設問4）の関係

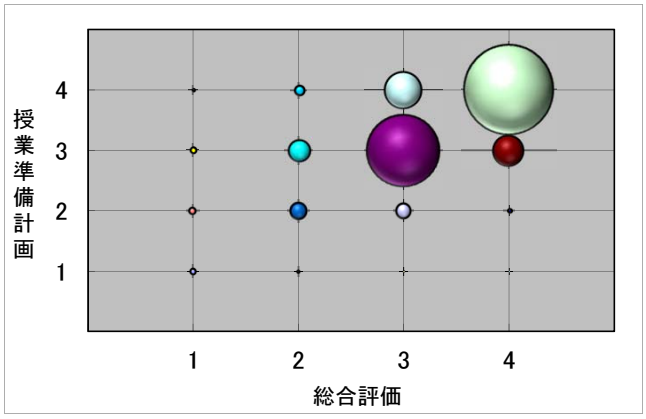




相関係数＝ 0.79

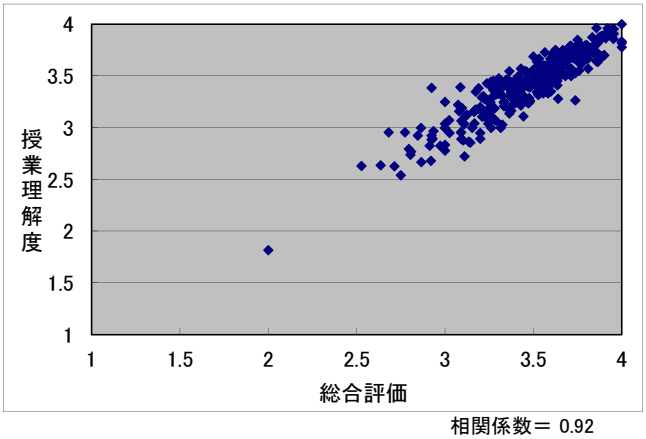
総合評価と授業準備計画（設問5）の関係

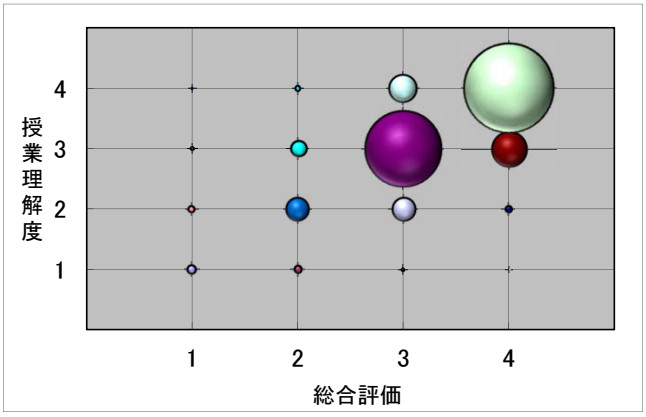




相関係数＝ 0.84

総合評価と授業理解度（設問6）の関係





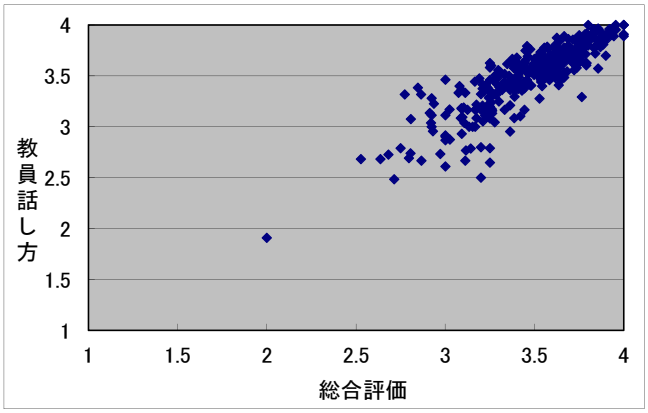
相関係数＝ 0.92

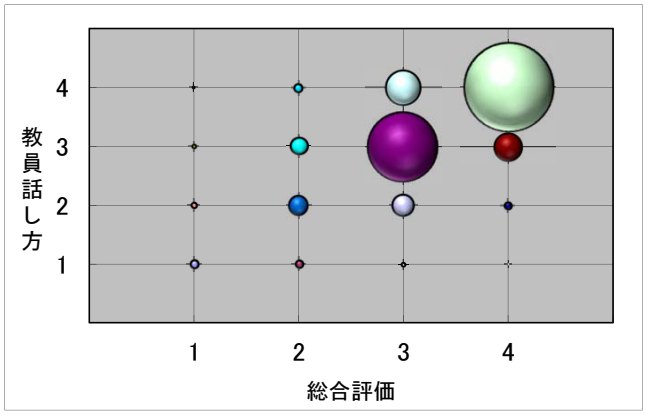
授業評価アンケート集計結果

2017年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

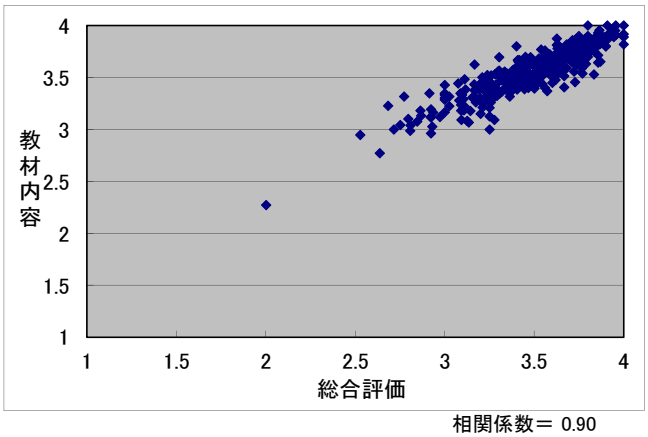
総合評価と教員話し方（設問7）の関係

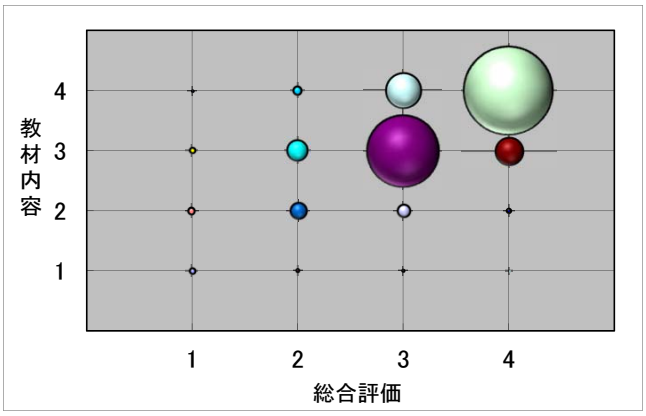




相関係数＝ 0.87

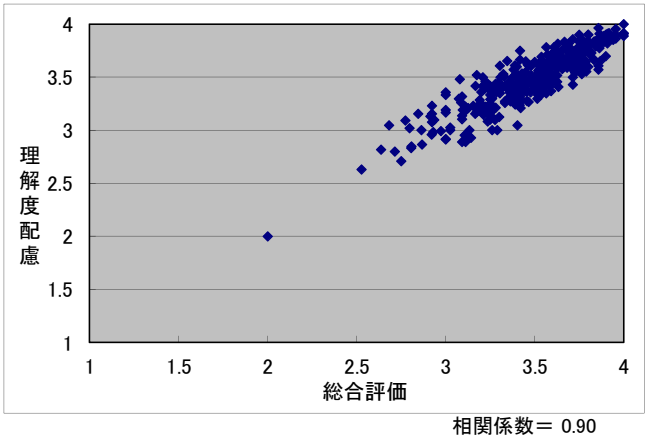
総合評価と教材内容（設問8）の関係

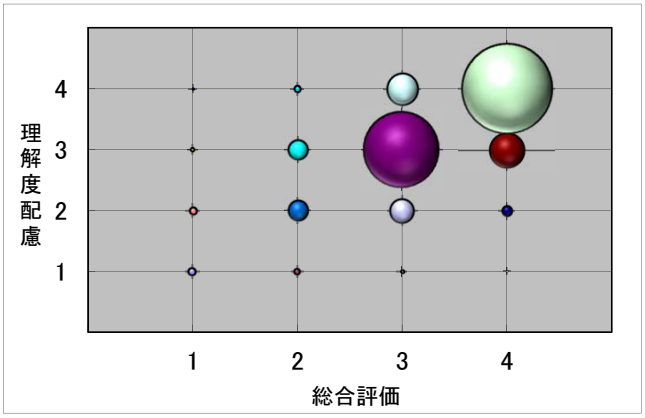




相関係数＝ 0.90

総合評価と理解度配慮（設問9）の関係





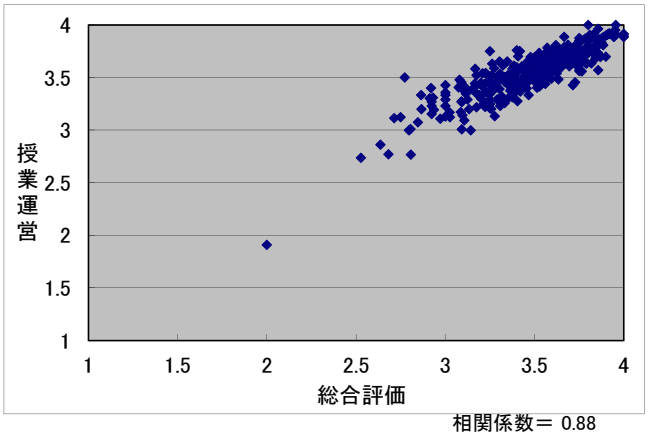
相関係数＝ 0.90

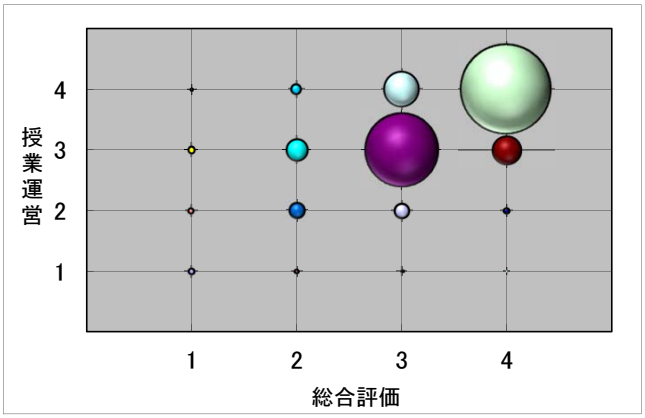
授業評価アンケート集計結果

2017年度後期

総合評価（設問１３）に対する各設問の散布図＆バブルチャート

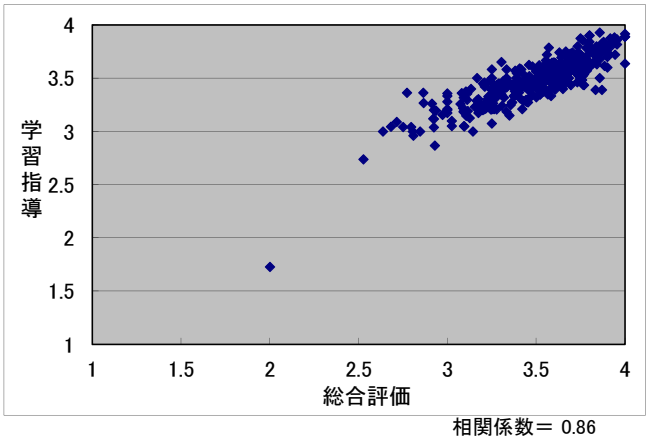
総合評価と授業運営（設問10）の関係

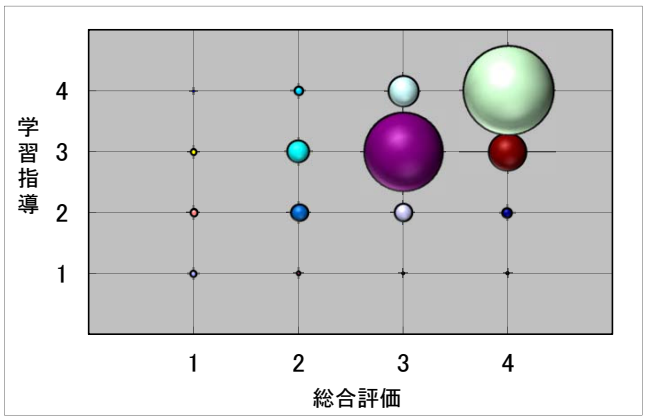




相関係数＝ 0.88

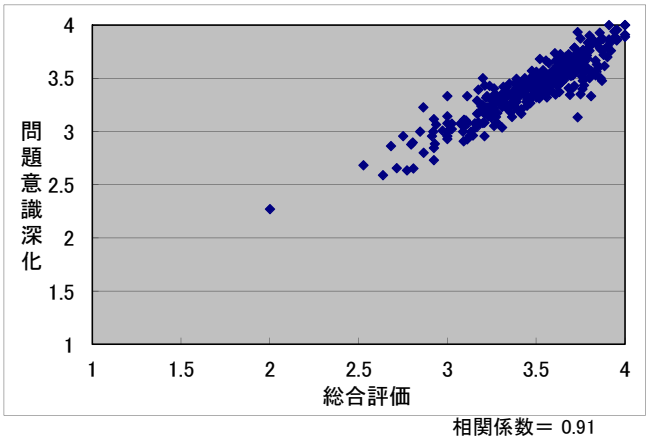
総合評価と学習指導（設問11）の関係

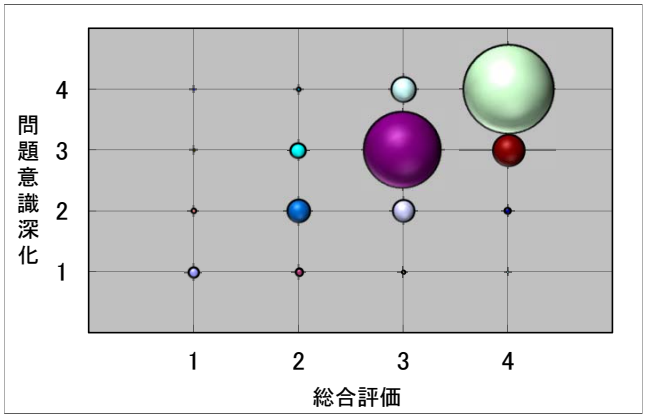




相関係数＝ 0.86

総合評価と問題意識深化（設問12）の関係





相関係数＝ 0.91

「授業および修士論文指導についての検討会」「授業および博士論文指導についての検討会」報告書

(2016 年度･2017 年度)

目　　次

I．　2016 年度　東京女子大学大学院
「授業および修士論文指導についての検討会」報告書/
「授業および博士論文指導についての検討会」報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
1.人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士前期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・・3
(1)　哲学・思想文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(2)　日本文学文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
(3)　英語文学文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
(4)　歴史文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
(5)　現代日本語・日本語教育分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
2．人間科学研究科　人間社会科学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
(1)　臨床心理学分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(2)　心理・コミュニケーション科学分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
(3)　グローバル共生社会分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
3．人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・16
4．人間科学研究科　生涯人間科学専攻（博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・16
5．理学研究科　数学専攻（博士前期課程・博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・18

II．2017 年度　東京女子大学大学院
「授業および修士論文指導についての検討会」報告書/
「授業および博士論文指導についての検討会」報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
1.人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士前期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
(1)　哲学・思想文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
(2)　日本文学文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
(3)　英語文学文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
(4)　歴史文化分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
(5)　現代日本語・日本語教育分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
2．人間科学研究科　人間社会科学専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
(1)　臨床心理学分野　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
(2)　心理・コミュニケーション科学分野　・・・・・・・・・・・・・・・・・33
(3)　グローバル共生社会分野　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
3．人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・36
4．人間科学研究科　生涯人間科学専攻（博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・・37
5．理学研究科　数学専攻（博士前期課程・博士後期課程）・・・・・・・・・・・・・・・39

2016 年度　東京女子大学大学院
「授業および修士論文指導についての検討会」報告書
「授業および博士論文指導についての検討会」報告書

大学院合同研究科会議議長　栗田啓子

＜経緯＞

東京女子大学では、2003 年度より大学院の教育研究指導の充実を図るために、各担当教員が「授業および論文指導について」個別報告書を作成するとともに、各専攻で「授業および論文指導についての検討会」を実施してきた。また、2010 年度からは検討結果の報告書を大学院担当教員全員に配布して、大学院教育上の成果と問題点の共有に努めてきた。2012 年度の改組を受け、2013 年度以降、大学院博士前期課程・博士後期課程における諸問題を改善するために、各専攻で FD 活動の一環として、「授業および修士（博士）論文指導についての検討会」を実施し、報告書を作成している。

（なお、2016 年度からは、自己点検評価委員会の決定を受け、博士前期課程は 2 年ごと、博士後期課程は 3 年ごとに、項目を定めて自己点検評価を実施することとし、2016 年度は、博士前期課程において３ポリシーの検証を行った。）

＜2016 年度報告書の内容＞

１．教育上の工夫・成果

・人間科学研究科では、各専攻・研究分野に共通科目を設置して、専門分野を超えた学際的で幅広い教育が可能になるように工夫がはかられている。また、専攻共通科目では授業アンケートを実施し、教育上の成果と問題点の解明に努力している。その結果、ポジティブな評価が多くなっている。
・日本文学文化領域では、アクティブ・ラーニングの導入が教育効果を上げている。
・人間科学研究科および理学研究科の博士前期課程・博士後期課程ともに、学内における院生研究発表会や学外の研究会への参加を奨励し、学内外の研究者との交流を積極的に推進している。その結果、院生の視野の拡大、研究の動機付けの強化や研究の深化、研究に主体的に取り組む姿勢の強化など、効果が上がっている。
・人間科学研究科博士前期課程人間社会科学専攻臨床心理学分野や博士後期課程生涯人間科学専攻および理学研究科数学専攻博士前期課程・博士後期課程では、複数指導体制の効果が報告されている。

２．問題点および改善計画

２‐１．全般

・人間科学研究科の共通科目については、学際的なアプローチを経験するというメリットはあるものの、大学院生に自らの専門分野外の研究に関心を持たせ、その内容を理解させる工夫が必要である。毎年指摘されているが、とくに、チェーン・レクチャー方式の科目は、授業担当教員相互の一層の連携が課題となっている。
・学部と大学院での専門が異なる学生や社会人入学の学生の存在は多様な見解をもたらす一方で、研究面での基礎的知識をどのように付与するのかという課題がある。とくに、心理学領域では、学部科目の聴講では補完できない現状である。
・心理・コミュニケーション科学、グローバル共生社会では、科目の増加を要望している。理由は、前者については、隣接領域の科目履修が多く、学生が自分の研究に集中できない状況であること、後者については、授業科目が半期のみの教員が授業外で指導しているので、単位化を望んでいることである。これらについては、科目増が可能か、検討することにした。

２‐２．論文指導・資格取得への対応

・博士論文指導に関しては、丁寧な研究指導がおこなわれているものの、論文完成までには相応の時間がかかるため、大学院生の研究継続を支援する努力が必要とされている。
・特定の分野や教員に大学院生が集中するために生じている論文指導負担の軽減策が検討されるべきだという意見が多い。
・臨床心理学分野では、資格取得のために多くの授業を提供しており、教員の負担が大きい。

２‐３．学生の確保・支援

・学部学生に大学院に関心を持ってもらい、大学院を目指して学習してもらうために、修論中

間報告会など、大学院生との交流を推進する。
・「学部学生の大学院科目等履修制度」は極めて有効に機能していると高く評価されている。
・育児中の学生に対して、保育所の設置等、研究環境の整備に関する要望がある。これに対して、育児奨学金制度の活用率を上げるよう改善を検討すると共に、女性研究者研究活動支援員制度を大学院生にも適用できるように拡充をエンパワーメント・センターに依頼することとした。

２-４．キャリア支援
・博士前期課程の説明会では、修了後のキャリア支援について紹介するようになったが、博士後期課程においても、なんらかのキャリア支援が必要であるとの要望があった。

＜課題に対する検討＞
2017 年 6 月 7 日開催の大学院委員会で、以上の成果や問題点を共有し、以下のように、解決策の検討を開始した。１）論文指導演習担当者の過重負担については、副指導教員や学外の研究者からコメントを得るなどの対策が可能ではないかとの意見が出された。２）大学院学生の確保については、進学を見据えた学部での履修計画を指導するなど、大学院と学部の連携を強化すること、「ディスタンスラーニング」や「履修証明制度」などが提言された。定員確保の方策については、検討のためのワーキンググループの設置が自己点検評価委員会で承認され、組織された。この WG は３ポリシーの改定の原案も検討する。

人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士前期課程）

専攻主任（記載責任者）黒崎　政男　記載日 2017 年 3 月 10 日

１．検討会実施日　2017 年 3 月 10 日（金）11 時 00 分～11 時 30 分

２．検討会の形式

2016 年度人間文化科学専攻の授業および修士論文指導について分野責任者を中心に担当教員が参加。授業については専攻共通科目を中心に相互に吟味検討し、さらに専攻全体にかかわる問題について話し合った。

３．検討会の主な内容

検討会では、2016 年度の教育、わけても専攻共通科目の意義と有効性について、意見が交わされた。

本専攻は次の 5 つの研究分野から構成されている。哲学・思想文化分野、日本文学文化分野、英語文学文化分野、歴史文化分野、現代日本語・日本語教育分野。

大学院生はこれらの分野に分かれて所属するが、専攻の全学生が受講する専攻共通科目として、「人間文化科学基礎演習」（必修）、「人間文化科学研究法」（選択必修）、「人間文化交流研究」（選択必修）が設けられている。いずれも 1 年次の履修科目であり、計 4 単位が必修である。

それぞれの科目の 2016 年度の担当者は次の通り。

○人間文化科学基礎演習（必修：オムニバス形式）
担当者：佐々木能章（哲学・思想文化分野）、中野貴文（日本文学文化分野）、
溝口昭子（英語文学文化分野）、高田陽介（歴史文化分野）、
石井恵理子（現代日本語・日本語教育分野）

○人間文化科学研究法（選択必修：オムニバス形式）
担当者：David Ewick（英語による講義）、植村恒一郎（日本語による講義）

○人間文化交流研究（選択必修）
担当者：田中美保子

これらの科目は、人間文化科学専攻の 5 研究分野の教員と学生が分野をこえて交流することによって学生に学際的・複眼的な視野を獲得させ、各研究分野の修士論文作成に役立たせることを目的としている。それぞれの科目についての検討結果は次の通り。

「人間文化科学基礎演習」

異分野との交流を活発にすることで自分自身の研究を活性化させ相対化させ認識を深化させられるという経験を履修者が共有できたと思われる。2016 年度の受講者は、日本文学文化 2 名、英語文学文化 2 名、歴史文化 5 名、現代日本語・日本語教育 2 名、計 11 名。

アンケートによると「有益な刺激を与えられたか」では、非常にそう思う、そう思う、のポジティブな割合が 100%であり、非常に評価が高かった。自由記述では「専門的なことを分かりやすく伝える手段を学べた」や「今まで深く考える機会のなかった問題に触れることができた」など高く評価する反応が圧倒的だった。今年度で 5 回目を迎え、授業担当者間の連絡や授業方法の統一などがよりスムーズに図られるようになってきている。

問題点としては、アクティブ・ラーニング的に、学生の議論を活発化させたことはきわめてよかったのであるが、その分教員の役割（発言や意見の開陳）をどの程度にするのか、そのバランスを考えることが重要な課題となった。

さらに、5 名の教師の持ち回りで授業が進行するため、担当回での役割が正確には把握できていない場合があった。とりまとめ担当の教員は、他の教員に担当について適宜リマインドする必要があると思われる。

「人間文化科学研究法」

この授業は英語のネイティブ・スピーカー教員と日本人教員が交互に担当するもので、バイリンガルの講義である。受講者は、英語文学文化 2 名、歴史文化 5 名、現代日本語・日本語教育 1 名の計 8 名。

2015 年度に続き、2016 年度も授業内容について、受講者へのアンケートを行った。「哲学の思考法はすべての学問の基礎となるもので、学ぶ機会を得られてよかった」や「少し難しい文章を読み解き、理解する筋道を得られた」など内容に関する評価、また、「英語での論文・レポートの書き方を学ぶことができた」や「英語の論文を読む際にとても参考になる示唆をたくさんもらった」などとても評価が高かった。問題点は、ネイティブ・スピーカー教員との英語での受け答えの際、英語を完全には理解できない学生が存在することであって、この問題については工夫と努力を要すると思われる。

「人間文化交流研究法」

受講者は日本文学文化 2 名、英語文学文化 3 名、現代日本語・日本語教育 1 名の計 6 名（内 1 名は 2 年次学生、また、2 名は社会人学生）。英文テキストを用い、毎週、履修者 1～2 名が担当箇所の要点と問題提起をレジュメを用いて口頭発表、それについて担当教員がコメント後、全体で質疑応答と討議をする形で進められた。更に、発表の翌週に、事後レポート（必要な場合には修正版レジュメ等）を提出させ、翌々週に講評を添えて返却した。

テキストの学際的な内容に加え、専門が異なるゆえの多様な着眼点に基づく大変活発な議論が毎週展開し、履修者同士のよい知的刺激にもなっていた。知識習得のみならず、レジュメ作成・口頭発表・小論文執筆の基礎を習得する助けにもなるよう工夫した点も好評であった。

このような共通科目は、院生相互の知的好奇心を刺激し、発想の違いを認識できるので、学生たちにとって大変意義深い。それと同時に、担当者にとっても得るところの多い科目である。

受講生へのアンケートでも、翻訳という視点からみると、「文化の違いが鮮明に見えて興味深かった」や「自分自身の研究の幅を広げることができた」などたいへん評価の高い授業である。

4．成果と今後の改善計画

共通科目については、昨年度の反省を踏まえて今年度の授業がおこなわれた結果、異なる研究分野に所属する学生が相互に刺激し合うという本来の目的が、少なからず実際の成果として感じられたことがアンケートから窺われる。

修士論文指導では、従来から指摘されてきたが、科目としての「論文指導演習」は 1 コマのみであるため、一人の教員が複数の学生の指導を担当する場合の担当者の過重負担への懸念は解消されていない。

院生の成果発表の機会をさらに増やしたい。外部の学会などに積極的に参加するように指導するとともに、学内での院生の発表会の機会も充実するようにしたい。

院進学希望の学部生が、院の授業を受けることができる「学部学生の大学院科目等履修生」制度は、きわめて有効に機能している。今後もこの制度を充実させていきたい。

人間文化科学専攻　哲学・思想文化分野

分野責任者（記載責任者）黒崎　政男　記載日 2017 年 2 月 28 日

1．検討会実施日　2017 年 2 月 9 日（木）　10 時 00 分～11 時 00 分

2．検討会の形式

分野担当者 4 名全員による検討会

3．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

哲学・思想文化分野でこの１年で行った教育プログラムを時系列に沿って確認し、評価を加えた。また、本年度授業・論文指導担当のなかった教員１名を除く教員３名の個別報告書原案を持ち寄り、授業内容や指導事例を報告しあい、相互に検討し、問題点について議論を重ねた上で、今後の課題を整理した。

４．結果と今後の改善計画

今年度は、新入生はなく、2 年次 3 名のみの在籍となった。修士論文執筆予定者は 3 名（検討会時点で論文提出済み）であった。

(1)授業

各教員はテキスト中心の堅実な授業内容を充実させることに努めており、さらに、単なる字句の解釈にとどまることなく、哲学史的、思想史的な文脈からの理解、あるいは他分野との共通点を自覚した解釈など、テキスト解釈の可能性の拡大にも努めていた。こうした姿勢はこれまでも続けられていたことであるが、大学院における授業にとっては今後も引き続き行われるべきものと考えられる。

現在在籍している大学院生について学力に関する不安はないと言って良い。本人たちの努力や資質によるところが大きいものの、学部教育が地道な成果を上げていることも考えられる。

(2)論文指導

各学生は、指導教員による「論文指導演習」を受講し、自分のテーマによる論文執筆のための集中的な指導を受けている。この場合には、講義や通常の演習でのテキスト理解が基礎になることは言うまでもないが、先行研究の調査、論文の構成など、個別テーマに応じたきめ細かな指導が必要になる。各教員はこの点でも十分に時間をかけて指導をしていたことが報告された。これによって、各学生の修士論文は完成度の高いものとなった。こうした指導体制も今後とも引き続きとっていきたい。

(3)院生研究発表会

2016 年 7 月 6 日 13:30～18:00 に開催した。この会はこれまでも毎年開催してきたもので、前期課程入学の学生は卒業論文紹介とこれからの研究計画の紹介、修士論文執筆予定の学生は論文の中間発表をするものである。3 名全員が報告レジュメと必要に応じて資料を提出し、口頭での報告後質疑応答を行い、一人当たり 30～50 分を要した。出席者は、前期課程の学生に加え、後期課程の思想文化領域に在籍している 3 名、2、3 年次の学部生が 3 名ほどであった。教員は分野教員 4 名全員が参加した。

これに先立ち、各院生は指導教員から綿密な指導を受けており、その時点での成果と問題点が明らかになるような発表となった。質疑の場では、他の院生や学部生からもさまざまな質問がなされ、必ずしも十分に答えられない点があったことが今後の課題として自覚されるきっかけとなった。また、研究の進め方や質疑応答の仕方について、学部生も含めて学ぶ機会となった。出席した学部生の中には進学希望をしている者もおり、大学院での研究の仕方とその厳しさを理解できたのではと思う。彼女達の卒業論文執筆にこれが良い影響を与えてくれるのではと期待している。

この会はさまざまな意味で有益なので、今後も継続して開催したい。時期を秋にした方がよいのではという意見もあったが、夏期休暇前に自覚を固めるためにはやはりこの時期が適切であるということになった。

(4)学外の学会・研究会等への参加

大学院生は、自分の研究テーマと関連する学会や研究会に参加することで、最新の研究に触れ、また専門分野での著名な学者や若い研究者たちとの交流をもつことができる。そのため、学外の学会・研究会等にも積極的に参加することを促した。その結果、イギリス哲学会、日本記号学会などへの参加の実績があった。

(5)その他

院生室においては、研究の基礎となる辞典類や共通資料も充実してきたが、これによってさらに互いに高めあるような環境が熟していくことを期待する。また今年度は前期課程への進学者がいなかったので、今後も更に大学院進学を希望する学生の確保に努めたい。この点で「院

生研究発表会」はよい機会となっているし、学部生と院生とが交流できる機会を他にも設けるべきだと感じている。

人間文化科学専攻　日本文学文化分野

分野責任者（記載責任者）金子　彰　記載日　2017 年 2 月 15 日

１．検討会実施日　2017 年 2 月 15 日（水）16 時 30 分～17 時 45 分

２．検討会の形式

2016 年度日本文学文化分野の授業及び修士論文指導を担当した教員７名全員による検討会。各人の個別報告書等を持ち寄ってそれぞれ報告を行い、共通合意点、改善点などを討議確認した。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

(1)授業

院生は、共通科目、基礎演習に参加することで、自分野を超えた学問研究に接し、自己の研究領域を超えて各自の研究を見つめ直す刺激ともなったようである。

各教員の個別授業では、より積極的な授業形態を目指して、受講生のデイスカッツション等を中心としたアクティブ・ラーニング形式の授業を実践し、成果が上がったとの報告もあった。ゲストスピーカー招聘で、より多彩な授業を提供し、院生への学問的刺激を図り効果的であった。

(2)論文指導

分野全体としては、次のスケジュールに従って論文指導を行った。修士１年次の 5 月に提出の「研究計画書」、2 年次 4 月に提出の「修士論文計画書」（A4　40×30 3 枚以上）、7 月下旬の「修士論文中間発表会」（1 人 35 分、質疑 10 分）。論文指導開始時に担当指導教員と院生とがよく討議し合い、研究者としての主体的な問題意識を明確化させるようにした。実際の論文演習では自発的な議論、質疑応答を促すよう指導し、その成果も確認された。専攻全体としては丁寧な指導が行われているが、一層工夫を重ねてさらに高い水準の論文指導が行われることを確認した。

(3)院生の研究発表

院生間の自主的な活動として、修士１年次が運営する形で「修士論文発表会」を修士論文口述試験前に開催し、学生間で学術交流が行われた。又、卒業生・学部生も含めた古典文学の大学院の研究会や、日本語史研究会が学生奨励研究費を得て研究を行い、その成果を『東京女子大学日本文学』誌で発表した。更に学外研究者も含めた近代文学や日本語史研究会が開かれ、参加した院生が研究発表を行い、討議に参加して多くの学問的知見を得ることが出来た。

(4)学外の学会・研究会等への参加

多くの院生に参加を促し、学問的刺激を得ることが出来るよう、積極的に指導している。学外の学会等で研究発表を勧め、研究者との交流を行って、論文作成に向けて顕著な成果があがったという報告もあった。

(5)その他

4 月に学部生向けの分野独自の大学院紹介の場を設けて、教員と大学院生による各専門の紹介を行い、大学院への進学を宣伝した。学外の教員研修会に参加する機会を作り、ＴＡと併せ教職への動機づけを行った。今年度、100 周年記念の本学古典籍の展示企画の準備や文献解説等の原稿作成に院生の参加を得ることが出来た。

４．成果と今後の改善計画

今年度は修士１年次 2 名、2 年次 7 名（別に休学者１名）の指導が行われた。修士論文提出者は 7 名であった。学生が大学院進学後１回りも 2 回りも成長して次のステップに進めるよう、教員は授業、論文指導を厳しく行うことを強く認識している。

人間文化科学専攻　英語文学文化分野

分野責任者（記載責任者）原　英一　記載日 2017 年 3 月 10 日

1．検討会実施日　2017 年 3 月 10 日（金）10 時 30 分～11 時 00 分

2．検討会の形式

2016 年度に英語文学文化分野で授業及び修士論文指導を担当または担当予定であった全教員が参集して、検討会を開催した。

3．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

検討会では、各担当者から、それぞれの授業において用いられているさまざまな方策について報告がなされた。その後、授業及び修士論文指導の改善のための実際的な方策について種々意見交換を行った。問題点とその改善方法についても、検討が行われた。

個別報告書でも述べられていることであるが、英語文学文化分野に所属する大学院生が少数となったことから、いろいろな問題が生じていることが指摘された。2013 年度と 2014 年度には 13 名の在籍者がいたが、2015 年度には 6 名と半減し、2016 年度はさらに減って、4 名となった。その結果、受講者がおらず閉講となる科目もあった。開講された授業でも受講者が 1、2 名というものがほとんどであった。そのような少人数化は、教育効果に関して、正負の両面があった。良い面としては、本分野の性格上、英語テキストの高度な読解能力が求められるが、その涵養には理想的な環境であったことがあげられる。受講生は毎週十分な精読による準備が必要であり、教員の側では受講者一人一人にきめ細かな指導をすることができた。その一方で、負の側面として、多面的な見方を学んだり、受講生が相互に刺激しあったり、切磋琢磨したりすることが不十分にならざるをえなかった。

4．成果と今後の改善計画

2016 年度に英語文学文化分野で修士論文を提出した大学院生は 2 名であった。ともに審査結果で合格と判定され、成績も高評価であった。二人とも実用的な英語運用能力はかなり卓越していたのみならず、研究のモーチベーションも堅固であり、修士論文も非常に意欲的な内容であった。英語学（英語教育）専攻の学生が提出した修士論文は、150 ページに及んだ。指導する側の熱意に学生の意欲が呼応した結果であると考えられる。

この 2 名の学生は、社会人入学ではないが、やや年長であり、大学院での研究について十分な心構えを最初から持っていた。大学院への入学者が大きく減っている現状を改善するための示唆が、そこから得られるのではないかという意見があった。学部から直接進学する学生を増やす努力は継続しなければならないが、ある程度の社会経験を経ている者を受け入れる体制を十分に整えていけば、入学者増につながると見込まれる。修士論文提出者のうち 1 名は育児をしながらの研究であった。そのため、保育所の送迎に時間を取られ、受講できる授業が制約を受けていた。学内に保育所を設けることができれば、こうした学生にとって良好な研究環境を整備することになるだろう。この問題は後期課程でも同様である。

修士論文中間発表会は、例年通り、11 月に公開で実施し、英語と日本語による発表が行われた。大学院在学者が減少しているため、下級生や学部学生からの発言は少なかったが、指導教員を含む各教員から詳細な助言が行われた。中間発表の内容と最終的に提出された論文とを比較すると、長足の進歩、改善が見られる。例年のことであるが、中間発表会の意義があらためて確認されたといえるだろう

12 の私立大学大学院の英文学専攻によって構成される「大学院英文学専攻課程協議会」（以下「英専協」）が主催する研究発表会は、今年度は聖心女子大学で行われた。英専協で研究発表を行うことは、他大学の専門家から直接アドバイスを受けることができる貴重な機会であるので、大学院生には進んで研究発表をするように奨励したが、１名が申し込みをしたものの、結局発表に至らなかった。英専協加盟大学間の単位互換制度による他大学院授業の積極的な履修とともに、研究発表大会への参加を引き続き促していく予定である。

人間文化科学専攻　歴史文化分野

分野責任者（記載責任者）勝浦　令子　記載日 2017 年 3 月 1 日

１．検討会実施日　2017 年 2 月 28 日（火）11 時 00 分～12 時 00 分

２．検討会の形式

各自が提出した個別報告書をもとに、指導の成果と問題点を報告し、これに参加者全員で質疑応答を行い、分野全体の問題点や改善点を検討した。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

①授業について

今年度は新入院生 5 名を迎えることができ活気のある年度となった。その中には社会人入学者もおり、院生相互の刺激もあったと思われる。

また院生本人の専門以外の時代や領域の科目も受講する意欲的な院生がおり、実質的に開講された科目数も例年より多かった。

そして院生の人数の増加、他専攻の院生の受講例もあり、全体的に活発な討論が成立する科目が多かったことが指摘された。

②研究指導・論文指導について

今年度は 2 年次院生の在籍がなく、修士論文の指導は行われなかった。

このため、1 年次院生が 2 年次院生の修士論文中間報告などを経験する機会もなかった。このことを考慮しつつ、1 年次院生への研究指導は、指導担当教員がそれぞれの研究計画に基づき、きめ細かく指導することを実践した。

直接研究テーマに関係する先行研究の把握はもとより、視野を広げる研究論文等を検討するように指導を行ったことが報告された。

４．成果と今後の改善計画

①学年間の交流と修士論文中間報告について

前述したように、今年度は院生の増加がもたらす教育効果がみられた。逆にそのことで問題となる点は特になかった。しかし上級生の不在により、新入生は上級生が修士論文を作成し努力する姿に直接触れて学ぶ経験がなかった。

以上の点、および以前から中間報告の時期を早めることが院生から要望されていたことを踏まえて、来年度の中間報告の時期を可能なかぎり早め、きめ細かく論文の進行状況などを把握することにしたい。

②院生の書評執筆について

院生が自らのテーマにかかわる重要な研究書の書評を執筆し、これを東京女子大学の史学専攻・歴史文化分野の会誌『史論』に掲載することを長年継続していた。しかし 2015 年度は発表書評がなかったことが改善課題であった。これに対して 2016 年度は『史論』に、1 名の書評掲載を予定し、教員の指導のもと執筆を行っていた。しかし最終的に掲載の締め切りに間に合わせるに至らなかった。このほかに 2016 年度は掲載予定には入っていなかったが、演習課題として書評執筆を進行している院生がいる。

来年度は入学する院生を含め、掲載可能な質を持った書評を完成させる指導を継続していきたい。

③入学者確保について

今年度は学内推薦と 1 月期入学試験によって、歴史文化分野の入学予定者 2 名を確保することができた。今後も引き続き、卒業論文の指導を通じて教員が学部学生の間に大学院への関心を持続的に喚起していきたい。

人間文化科学専攻　現代日本語・日本語教育分野

分野責任者（記載責任者）丸山　直子　記載日　2017 年 3 月 1 日

１．検討会実施日　2017 年 3 月 1 日（水）12 時 45 分〜13 時 20 分

２．検討会の形式

現代日本語・日本語教育分野の教員 5 名全員が集まり、各々が持ち寄った個別報告書、および全体的な問題について話し合った。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

各人が担当授業および研究指導・論文指導においてどのようなことを行い、どのような工夫をしているかを報告し合い、情報を交換した。評価できる点と同時に、今後の課題についても検討した。

①　担当授業

担当する授業で全員が重視しているのは、受講者各自の研究上の関心に配慮して講読論文や議論のテーマを選択し、当該の授業の内容を受講者が自身の関心にひきつけて学べるよう勘案していることであった。また、本分野は研究分野（現代日本語学、日本語教育学、社会言語学）の異なりだけでなく、留学生や社会人なども含め、多様な経験をもつ院生が在籍している。それにより、各人の前提や知識が異なることが少なくない。このことは、授業運営や議論などで留意が必要であるが、逆にそれを生かすような課題設定を行うことで、相互の刺激や発見につながり、積極的な意見交換が可能になっていることが確認された。さらに今年度は前期に学部生が大学院入学前の既修得単位認定制度を利用した授業があり、来年度専任教員の研究休暇が予定されている分を前倒しで補完することができ、有意義であった。（来年度は来年度で、非常勤講師が授業を持つので、学生は、新しい切り口で専門分野を学ぶことができる。学生にとって、教員の研究休暇がマイナスではなくプラスのものになったと言えよう。）

②研究指導・論文指導

研究・論文指導については、主・副の指導教員が院生に対し、参考となる文献・資料の検索方法、調査や分析の方法についての助言・議論などを行うことで、修士論文研究の進捗をはかった。2016 年 7 月の中間発表会、2017 年 2 月の口述試験は公開で行い、分野の教員全員と院生も参加した。院生たちにとっては、発表資料の作り方、発表や質疑応答の仕方について学ぶ機会になったと考えられる。

また、各教員による多角的な観点からの質問や問題点の指摘は、発表者のみならず参加した院生たちにとっても良い刺激や参考になることであり、こうした機会を増やしていくことも有効であろうと話し合った。

その他、指導について担当者間で情報交換・意見交換を行うとともに、各種の学会・研究会への参加や発表の機会を院生がより多くもつことの必要性・重要性について話し合った。

４．成果と今後の改善計画

授業でのタスクや議論の問題設定を工夫することにより、多様な背景をもつ院生たちが活発な議論を行い、自発的に資料を持ち寄るなど、積極的な授業参加を促すことができている点が評価できると考える。

課題としては、授業や研究指導についての検討でもふれたが、院生たちが自分の研究についてまとめ、所定の時間内で発表して質疑応答にも対応する経験を積む機会を増やすことがあげられる。このことは、修論研究の進展を助け、院生相互の刺激にもつながる。外部の研究会や学会だけでなく、学内の発表会や授業の中でもそうした機会を意識的に増やしていくことは必要であろう。近年、院生の数が減少傾向にあり、そうした現状の中で、相互の議論や研究への刺激を高めていけるような発表や意見交換の機会を増やすことは有効であろう。

人間科学研究科　人間社会科学専攻

専攻主任（記載責任者）李　津娥　記載日 2017 年 3 月 27 日

1．検討会実施日　2017 年 3 月 17 日（金）12 時 00 分～13 時 00 分

2．検討会の形式

臨床心理学分野、心理・コミュニケーション科学分野、グローバル共生社会分野でそれぞれ検討会を実施し、その結果を 3 分野の責任者が持ち寄り、分野での検討会報告書、アンケートの報告書、個別報告書をもとに意見交換を行い、人間社会科学全体の検討会とした。

3．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

検討会では、分野ごとに現状について報告してもらい、各分野の問題点、共通の問題点について共有した。また、改善点や工夫などについて話し合った。専攻の共通科目についても検討を行った。主に学部での専攻や学科の異なる学生、学力に差がある学生に対してどのように対応するか、学生同士の交流をいかに促進するか、学生の研究に対する主体性をいかに伸ばすか、などについて話し合った。

臨床心理学分野では、今年度、学部での専攻が心理学でない学生が多く在籍し、研究デザインや研究方法、研究実施に関する知識を欠いていることもあり、これまで学部の関連授業の聴講を指導してきたが、大学院の授業や課題も増え、学部授業の聴講で補うことが難しくなってきている。大学院での指導の工夫が必要であり、個別に対応するなど対策が話し合われた。

2015 年から実施している杉並区発達障害児地域支援講座に大学院生が協力しており、地域と連携しながら学ぶ機会となり就職につながるケースもあることが報告された。今年度から、修士論文口述試験を、修士 1 年次を含む大学院生に公開する形式で行った。個別指導でパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行い、一定の成果を得た。共通科目の「論文作成・プレゼンテーション技法」などの科目とも連携しながら、学会などでパワーポイントやポスターなどを用いてより分かりやすいプレゼンテーションができるように指導していきたいとの意見が出された。

心理・コミュニケーション科学分野では、入学後に学習意欲が低下するなど、指導の困難な学生に対する今後の指導の方針と対策が議論された。また、領域の異なる専攻や学科から入学した学生の場合、研究法や統計的分析についての知識とスキルを欠いていることがあり、個別対応が行われた。このような学生の場合、教室外学習がさらに重要であり、自主的な学習を促進させる工夫が必要であるとの意見が出された。今年度から 1 年次の発表会を実施し、前期から夏期休暇終了までに行った作業や先行研究をまとめ、研究の目的･意義を一層明確化する良い機会となった。分野内でそれぞれの領域の科目のバリエーションがなく学生の負担感を高めるケースがあり、補完する仕組みとして特論科目の新設などで対応する必要があるという意見が出された。分野で 1 対 1 や少人数の授業が増えてきており、院生同士の交流、学内外の研究会への参加を推奨するなど、学生同士で切磋琢磨できる機会を増やしていきたいとの意見が出された。

グローバル共生社会分野では、主に分野のチェーンレクチャー、1 年次の指導、学生募集について話し合った。まず、「グローバル共生社会論」の場合、領域横断的な内容を学ぶ意義をいかに伝えるか、担当者間の連携や情報共有などの工夫が必要であることが報告された。1 年次の指導については、1 年次学生が指導教員の授業を履修しない学期は、定期的な面談などで個別に対応しており、1 年次学生の個別指導を何らかの形で単位化できないか、教務委員会で検討していただきたいとの要望があった。学生募集については、これまでシンポジウムなども実施したが、それほど効果はなかった。学部生の大学院に対する認知度が低いので、どういう研究活動を行っているか、具体的な情報を発信し、学外に向けてどのようなアピールができるかについて検討していく必要があるという意見が出された。他の分野も同様の状況にあり、大学院生と学部生との交流を促し、修了者の就職状況などの情報を発信することが重要であるとの認識が共有された。

なお専攻の共通科目については、本年度の履修者は「人間社会科学基礎論」18 名、「国際コミュニケーションワークショップ」8 名、「論文作成・プレゼンテーション技法」18 名であり、履修者は比較的多かった。授業は概ね好評であったが、とりわけ異なる分野や領域横断的な内容を扱うチェーンレクチャーについては、教員間の情報共有や連携をいかに進めるかが課題であるとの認識が共有された。各共通科目の報告については以下の通りである。

「人間社会科学基礎論」

チェーンレクチャー形式の授業である。9 割の受講者が授業内容に関心を持ち、専門分野以外の領域に対する関心を広げるのに役立ったと回答している。他領域の学生とのディスカッションが興味深かったので、そのような機会を増やしてほしいという意見、自分の専門に対する他の人の見方を知る機会となったという意見があった。人間に関するあらゆる知識が必要なのでそれらに触れることができ、有意義であったとの意見、自分の分野に集中することが多いので専門以外の内容を聞いて関心が広くなったとの意見があった。その一方で、研究分野と重なる部分があまりなく、かけ離れていると感じる受講生もいた。

「国際コミュニケーションワークショップ」

英語によるプレゼンテーション能力の向上を目的とした授業である。受講者全員が授業内容に関心を持ち、専門分野以外の領域に対する関心を広げるのに役立ったと回答している。また全員が、異なる専門分野の学生たちと一緒に授業を受け刺激になったと回答した。他の受講生の発表を聞く機会があり、自分の研究と異なる分野の研究にも関心をもったという意見、英語で説明するため、自分の研究をより分かりやすく整理し理解を深めたという意見もあった。

「論文作成・プレゼンテーション技法」

チェーンレクチャー形式の授業である。8 割の受講者が興味深く、関心を広めるのに役立ったと回答している。具体的な研究倫理、まったく知識のなかった分野の研究方法、論文の書き方などを知ることができ参考になったという意見がある一方で、専門分野とは関係がなく、既に知っていることが多かったという意見もあった。「人間社会科学基礎論」と同様、他の分野の受講生とディスカッションする機会があり、よい刺激になったという意見があった。

次に、「論文指導演習Ⅰ、Ⅱ」では、とりわけ領域の異なる専攻や学科からの学生にきめ細かな指導を行い、計画的に修士論文作成に取り組むように指導することができた。それぞれの分野で実施している発表会などに対してもきめ細かな指導を行うことができた。

４．　成果と今後の改善計画

今年度の成果については、学会、学内外の研究会への参加の推奨、公開形式の中間発表会、修士論文口述試験の実施などで、学生の主体的な研究を促し、一定の成果をあげている。異なる専攻や学科からの学生、学力に差のある学生に対し、きめ細かな個別指導を行うなどの工夫がされている。

今後の改善計画としては、領域横断的な内容のチェーンレクチャーにおいて、様々な領域にまたがる内容を学ぶ意義や、各講義の関連性が実感されにくいという問題が指摘された。他領域の講義や研究方法論が、視野を広げ、自分の研究を深めることにつながることができるような工夫が必要であり、そのため、担当者間の連携や情報共有が重要である。

人間社会科学専攻　臨床心理学分野

分野責任者（記載責任者）前川　あさ美　記載日 2017 年 3 月 9 日

１．検討会実施日　2017 年 3 月 9 日（木）12 時 00 分～13 時 00 分

２．検討会の形式

臨床心理学分野の専任教員 5 人それぞれから提出された個別報告書をもとに、全員集まって検討を行った。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

①授業について：

「臨床心理学特論」ならびに「臨床心理学面接特論」

2014 年度より 2 コマ続きで実施し、PCA、認知行動療法、精神分析的心理療法、家族療法といった重要なアプローチの違いと共通点への理解を深め、臨床的スキルの応用へと結びつけることが可能になった。一方で、一つのアプローチに対する時間が十分ではなく、表面的な理解にとどまってしまったり、それぞれを組み合わせた柔軟なアプローチを展開するところまで理解が進まなかったりということがあった。授業外学習は指示通りにすすめるものの、最低限の準備しかしていない様子がみられ、授業時間内の討論において積極性が十分ではないという傾向があった。

「臨床心理実習」ならびに「臨床心理基礎実習」

1 年次はロールプレイングなどを通して、面接スキルのレベルを向上させ、2 年次はケースを通して学生がカウンセラーである自分自身を振り返る過程を大切にした場が保障されたと思われる。また、複数の教員がファシリテートすることで、1 年次と 2 年次合同のカンファレンスでは様々な角度からケース理解を深められるようになっている。また、昨年度より、1 年次の学生が後期の後半以降からケースの陪席や査定などの実践的実習を心理臨床センターで開始できるようにしたが、緊張感ならびに責任意識を明確にもって臨む姿勢がみられた。

「臨床心理学査定演習」

本来専任が担当する必修科目だが、2015 年度より、担当予定者が分野責任者となったことから、後期の授業は非常勤が担当している。前年度と異なり、学部が心理学でない学生が多かったため、検査導入や倫理的配慮などにかなりの時間をかけることになった。その結果、後期の短い期間で投影法のやり方や解釈まで扱うこととなり、やや時間が足りなかったところがあるように思われた（授業外学習の時間を増やし、非常勤講師が授業時間外に指導してくださることがあった）。

②その他

心理臨床センターが主催する公開講演会を複数回設けた。また、2014 年度から本学が共催となっている杉並区の発達障害児地域支援講座（支援者のためのワークショップ計 5 回、発達障害に関する講演会計 4 回、実践報告会 1 回）では、一年を通じて学生が受付や会場係として協力し、さらに実際に参加もして、地域と協働して支援をすすめる姿勢について学ぶ機会をもつことができた。

③研究指導・論文指導について

学部での専攻が心理学ではない学生が多かったため、ゼミの時間を超えて、個別の指導を必要とした担当者もいたが、多くは、各指導教員とのゼミ、また 5 人の教員が全員参加し、さらには 1 年次も 2 年次もともに参加する論文指導の時間（前期、後期それぞれにある中間発表、2016 年度は合計 5 回）をもうけることで、主査だけでなく副査やそれ以外の教員からも指導をうけることができ、より効率的な学びの場が提供できたと思われる。さらに、修士論文の口述試験を 1 年次にも公開することとし、また、事前に 2 年次にはプレゼンの資料のありかたについても指導を行った。さらに、心理臨床センターが出している紀要に、優れた修士論文を掲載するよう修了生に声をかけることにした。2017 年度に発刊される号には 2 つの論文が掲載予定である。

４．成果と今後の改善計画

①授業について

「臨床心理学特論」ならびに「臨床心理学面接特論」

学部の一般実験演習とこれらの授業時間が重なるため、TA として院生が学部の授業にかかわることができなかった。TA の経験は、心理学的研究についての理解を身につけ、また、指導の下に学生に助言をすることを通して、知識をさらに深めることが可能であるためとても重要な体験である。そのため、来年度より、後期の両授業は学部の一般実験演習と重ならない時間帯に移動させることにした。また、4 つのアプローチの関連性をもっとわかりやすく指導し、それぞれを極めるということを目標とするのではなく、多様なアプローチの中から、自分にあ

ったスタイルやクライアントにあわせたアプローチを柔軟に試行錯誤していくことの意味について理解を深められるよう指導をしていきたい。そのために、特に後期の授業の方法について検討し、来年度合同で教授する時間を取り入れるなどの新しいやり方を試みてみたいと考える。授業外学習については、学生の負担を考慮しつつ、積極的に授業参加できるよう具体的に指示していくようにする。

「臨床心理実習」ならびに「臨床心理基礎実習」

1 年次にはリフレクティングプロセスを採用することで討論が活発に行えるような指導を続ける。また、今後も、複数の教員がファシリテートすることで、学生たちの理解の視点を広げられるよう工夫をする。また、指導相談員が参加できるような機会も設け、連携をしていきたい。さらに、1 年次の学生が心理臨床センターで活動を開始する時期を今年度と同様に早め、実践力を身につける機会を増やすつもりでいる。

「臨床心理学査定演習」

後期に担当する非常勤の教員との連携を一層強めるとともに、夏期休暇を使って集中で特定の心理査定法の実習を実施したいと考えている。

②その他

心理臨床センターが主催する公開講演会ならびに杉並区の講座など、学生たちに刺激を与えるような学外の研究者や地域の支援者との交流を深めるような機会を今後も設けていき、学生たちが積極的に参加するよう呼び掛けをしていきたい。

③研究指導・論文指導について

学部での専攻が心理学ではない学生に対しての指導の工夫について、研究法の授業を取るようにオリエンテーションを行い、担当教員に負担が偏らないよう検討していきたい。

木曜日の 3 時間目に原則主査の教員とともに 1 年次と上級生が一緒になって合同の論文指導が行われているが、この時間は、1 年次にとっては早期から専門的論文に触れ、心理学の研究デザインを様々な角度から検討できる機会となり、上級生にとっては分析や考察のプロセスで丁寧に討論を積み上げる機会となっている。

現在も行っているが、一層、学会への所属、学会での発表の意欲を高めるように指導していきたい。

現在でも、副査や他の教員からも自由に指導を受けるよう促し、実際に、その成果が出ているが、学生の個人差がみられるため、一層、そうした指導環境を整えて周知していきたい。

中間発表を繰り返すことでプレゼンテーションのスキルも成長している様子がみられたが、今後もプレゼンテーションの方法について具体的に指導をしていく。

人間社会科学専攻　心理・コミュニケーション科学分野

分野責任者（記載責任者）李　津娥　記載日 2017 年 3 月 13 日

1．検討会実施日　2017 年 3 月 1 日（水）15 時 15 分～16 時 15 分

2．検討会の形式

事前に個別報告書を作成し、それに基づき意見交換を行った。

3．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

①学生の指導について

参加者全員に授業、研究指導・論文指導などについて報告してもらい、問題点について共有し、改善点や工夫などについて話し合った。

指導の困難な学生が複数あることが報告され、それぞれの事例について、授業への参加状況、経過などが報告され、今後の指導の方針について情報を共有した。

また、領域の異なる専攻や学科から入学した学生の場合、研究法や統計的分析についての知識とスキルを欠いていることがあり、同じ領域の専攻や学科から入学した学生より、修士論文

研究に時間がかかる傾向があるため、研究に早めに取り組むように指導する必要があることが指摘された。

②共通科目について

学力や出身学科の異なる学生に対する対応について意見交換が行われた。共通科目の授業内容は、領域が異なる専攻や学科から入学した学生は、基礎概念に関する知識を欠いているため、難しいと感じる傾向があり、同じ領域の専攻や学科から入学した学生は、物足りないと感じるところがある。共通科目で認知神経科学を扱った内容は、概ね前年度より成果があったと評価できる。専門の異なる学生においては、予習などの教室外学習がさらに重要であり、自主的な予習を促進させる工夫が必要である。研究倫理に関する共通科目の内容は、各自の研究で活用できる内容であり、一定の効果があった。

③その他

会社勤務をしている学部卒業生から、専門の勉強をしたいという要望があり、現在の博士前期課程には社会人のまま教育を行う仕組みがないので、自主ゼミとしてカリキュラムの範囲外で授業を実施したことが報告された。このように社会に出た卒業生のニーズがあるので、今後、大学院で社会人が受講できる仕組みについて検討する必要があるという意見が出された。

４．成果と今後の改善計画

①修士論文の中間報告について

計画的に研究が進められるよう、2 年次の修士論文中間発表を引き続き実施し、今年度から 1 年次の発表会も実施した。1 年次学生には、前期から夏期休暇終了までに行った作業や先行研究をまとめ、研究の目的･意義を一層明確化する良い機会となった。時期については、10 月の時点で準備が十分でなく、学生の負担となるケースもあったため、来年度は 10 月から 12 月までの期間に変更して実施することとする。また、日程などの理由で、発表会の参加者数が少ない場合があったため、次年度以降はより多くの院生と教員が参加できるよう、実施方法などを工夫する。

②科目新設の検討について

1 年次学生の授業負担が大きいこと、開講されている科目数が限られていることから、必ずしも院生の専門分野と関連が高くない科目を多数受講することとなり、それが学生の負担感を高めるケースもあることが議論された。多様な科目を受講できる一方で、それぞれの領域の科目のバリエーションがあまりないという側面もあり、それを補完する仕組みとして、特論科目を新設し対応することはできないか、検討していくこととした。

③その他

受講者数の多い授業は活発な議論が交わされたが、1 対 1 や少人数の授業が増えてきており、分野として、院生室の活用などによる院生同士の交流、博士後期課程の学生との交流、発表会や学内外の研究会への参加など、学生同士で切磋琢磨できる機会を増やしていく。

人間社会科学専攻　グローバル共生社会分野

分野責任者（記載責任者）湯浅　成大　記載日 2017 年 3 月 31 日

１．検討会実施日　2017 年 3 月 1 日（水）15 時 30 分～17 時 00 分

２．検討会の形式

構成員による討論

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

検討課題は 2 つ。1 つ目はチェーンレクチャーである「グローバル共生社会論」、「グローバルジェンダー分析」の 2 科目について検討を行った。

議論のポイントは 2 つで、まず、領域的横断的な授業を学ぶ意味を参加者にどう伝えるかという問題である。これについては、コーディネーター的な役割を持つ担当者（あるいは初回の担当者）が意識して参加者にそのメリットを伝えるとともに、2 番目との問題にも絡むが、担当者ごとの授業内容の関連についても、それぞれの担当者が自分より前の担当者の授業とどう関連付けるかについて、参加者に説明することが望ましいとの意見が出された。

2 つ目として、チェーンレクチャーの各担当者間の連携について議論したが、「グローバルジェンダー分析」に関してはかなりうまくいっているとの報告がなされた。テキストやレジュメについての情報共有をしっかり行うべきだという方向で合意がなされた。

検討課題の 2 点目は修士論文指導についてである。本年度の論文提出者に関しては、各担当者はそれぞれ適切な指導を行ったということであったが、1 年次の院生の指導について昨年度に続いて問題提起がなされた。具体的には、指導教員が担当科目のない学期における指導を何らかの形で単位化できないかということである。現在 2 年次だけに設置されている「論文指導演習」的な科目を 1 年次にも設置するなどの提案がいくつかなされた。

４．成果と今後の改善計画

授業及び論文指導の成果としては、少人数のメリットを生かしてのきめ細かな指導が行われたことと、参加者間で積極的な討論が授業内でなされたことがあげられる。チェーンレクチャーにおける担当者間での調整については、具体的な方向性が示されたので、それを実行していくことが確認された。

また、1 年次の指導については、「論文指導演習」的な科目の設置等いくつかの方策が考えられるが、その点については、しかるべき委員会等で検討をお願いすることが確認された。

人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士後期課程）

専攻主任（記載責任者）今井　久代　記載日 2017 年 3 月 10 日

１．検討会実施日　2017 年 3 月 10 日（金）11 時 30 分～12 時 00 分

２．検討会の形式
事前に学生指導のあった教員から、個別報告書を提出してもらい、それをもとに検討した。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）
①大学院生の研究体制（特に大学院生同士での交流）
本学は小さい大学院でもあり、同じ学問領域の大学院生が必ずしも在籍しているとは限らず、どうしても教員と院生だけの１対１に近い、小さなコミュニティでの指導になりやすい。しかしながら今後、同じ立場である大学院生同士の交流がもっと必要なのではないか、特に研究者としての自立や自覚に有効ではないか、という意見が出された。

②博士論文執筆までの指導の問題
上記と重なるが、１対１で、全面的に教員の指導に依存するような形でなく、一研究者として自立するような方向にいかに促していくべきかが話し合われた。

③卒業後の進路と大学院進学の促し
アカデミックポストが少なく、研究者として残るのが難しい現状のなかで、大学院進学を勧める限界について話し合われた。

４．成果と今後の改善計画
研究体制・指導体制について：
研究室を共有しているという環境のお陰もあって、ある程度の交流はあるようだが、もっと学問的な刺激を受け合う院生同士の交流が必要ではないかと検討した。そこで一つには、外の研究会などで発表することの有効性が提言され、そしてもう一つ、本学の院生同士のなかでも研究成果を発表し合う（中間報告会に至る以前の段階で）会を、なるべく大学院生の自主的な活動としてもつよう、促そうということになった。また、学会への参加、発表をできるだけ促す重要性についても確認された。
卒業後の進路については、社会全体の問題でもあるので、改善点は見出しにくかった。アカデミックポストと結びつかない高度な教養教育として後期課程を希望する学生に対する対応（博士論文の水準など）を検討した。

人間科学研究科　生涯人間科学専攻（博士後期課程）

専攻主任（記載責任者）柴山　雅俊　記載日 2017 年 3 月 30 日

１．検討会実施日 2017 年 3 月　1 日（水）検討会　14 時 30 分～15 時 00 分
2017 年 3 月 30 日（木）メール審議による検討会

２．検討会の形式
ミーティング形式で検討会を行なったが、全員が出席できなかったため、後日討論の内容、個別報告書、本報告書の草稿をあらためてメーリングリストで回覧し、意見交換を重ね、最終的な検討案をまとめた。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

(1)個別報告書の検討と問題点

個別報告に関しては、指導が１対１の関係になりやすいため、他の学生を招いてディスカッションを行なうなど、閉鎖的にならないようにさまざまな工夫がなされている。

この数年間は、博士論文の提出まで到達できなかったり、家庭の事情で転居し、通学に困難をきたしたり、休学や退学を余儀なくされる学生がみられた。研究の中断に至る背景のひとつが、家庭、とりわけ育児と研究の両立の難しさであり、引き続き支援体制について検討する必要がある。

(2)今年度の取り組みと成果

生涯人間科学専攻では、2016 年度に 2 名の入学者があり、在学生は 8 名（内 2 名休学）である。入学者のうち１名は、これまで受験者の確保が難しかった生涯発達臨床領域であった。臨床経験のある社会人層にも博士学位取得の一定のニーズがあり、働きかけの効果が見込めることが推察された。

各指導教員のレベルでは、関連研究会や学会への積極的な参加を促したり、専門分野の研究者との交流の機会を設けたりするなど、研究者としてのネットワークの形成・拡大のための支援を引き続き行なってきた。これらの支援は休学者や再入学を望む退学者に対しても行なわれている。

(3)成果と今後の改善計画

博士後期課程の学生数は領域によって異なるが、概して学生は少なく、特に入学者を継続的に得られていない領域での入学者確保が課題になっている。その一方で、3 名の後期課程学生を指導している教員もおり、そうした教員の負担軽減措置についても今後の検討課題である。

生涯発達臨床領域の 2016 年度入学者は１名であり、領域としては久しぶりの入学者であった。後期課程学生が主題と臨床的意義を深化させるためには十分な臨床経験を積んでいることが望ましい。今後はさまざまな交流を通して、臨床経験を十分に積んだ社会人層への積極的な働きがけを行なっていく予定である。ただ臨床経験を積む中で、さまざまな理由から博士後期課程への動機付けが希薄化する傾向がみられることも事実であり、学生の確保は今後も困難であることが予想されるが、引き続き働きかけを行なっていきたい。

今後、社会人の論文博士を積極的に出していく方向についても、積極的に検討すべきであろう。

学内外の研究者、教員、院生との交流の機会を持つことで、学生が思わぬ刺激を得たり、視野が広がったりする可能性がある。今後はこうした交流の機会を増やしていくことが望ましい。こうしたヨコの関係に加えて、さらに前期学生と後期学生との交流の機会もまた必要であろう。一部の領域では、こうしたタテのつながりのある研究会が定期的に行なわれており、実際に後期課程への動機付けとなることが期待される。

今後、学生が安心して研究が続けられるよう広範囲の支援体制が整備される必要がある。子育てと研究の両立についてはキャリア・カウンセラーとの相談や連携、育児支援などより踏み込んだサポート体制の整備を検討したい。休学者や退学者に復学や研究継続を促す支援としては、メーリングリストによる情報提供、エンパワーメントセンターによるキャリア・カウンセリングなども活用したい。さらに心身の健康についても十分な配慮と相談の機会提供が不可欠であろう。

理学研究科　数学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

専攻主任（記載責任者）大阿久俊則　記載日 2017 年 3 月 22 日

１．検討会実施日　2017 年 2 月 13 日（月）15 時 00 分～16 時 00 分

２．検討会の形式
修士論文最終試験およびその判定会議の後、引き続き標記の検討会を実施した。

３．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

(1)論文指導について
[博士前期課程]
今年度の博士前期課程修了者は１名（応用数理学分野）のみであった。学生の自主性を重視して、研究テーマの設定や文献調査などについて学生が自力で遂行できるように促したことが報告された。数理的な手法であるフーリエ解析を用いて音声認証を目指すというテーマを自ら設定し、試行錯誤を行いながら修士論文としてまとめあげるという過程を楽しんでいた様子が修士論文の発表からも窺えた。研究テーマを指導教員が一方的に与えるのではなく、学生自身が試行錯誤しながらテーマを選ぶことが教育上も重要であることが確認された。

[博士後期課程]
後期課程においても、院生の自主性を重んじ、研究テーマの設定から文献の調査、内容の説明まで、可能な限り学生が自力で遂行できるように促していることが報告された。また研究内容を論文としてまとめるために、積極的に国内外の学会や研究会に参加や発表を行わせ、発表時の質問やコメントを研究内容にフィードバックさせているとのことである。学生の研究報告書からも論文発表や学会発表を積極的に行なっていることが確認できる。特に博士後期課程の学生については、学外者から意見や質問や評価を受けることは、自らの研究を客観的に考察するための契機として必要不可欠であると考えられる。

(2)授業について
前期課程でも後期課程でも授業の受講者が少数であったため、逆にそのことを活かして、シラバスに従いながらも受講者の予備知識、理解度、興味に応じて扱う題材や方法を微調整したり、必要な予備知識を補ったりしたことが報告された。また、今年度は大学院入学前の既修得単位認定制度を利用した学部生が受講した科目もあったが、授業内容のレベルを下げずに理解できるよう工夫したことも報告された。
今年度は大学院在籍者数が少なかったが、大学院生は 2 つの分野の科目を積極的に履修しており、授業担当者は他分野の学生に対しても教育的な見地から授業を行っていることが確認された。

(3)大学院生の確保について
博士前期課程在籍者は、2016 年度は 3 名、2017 年度は 6 名の予定である。まだ収容人員を満たしてはいないが確実な改善が見込まれる。理学研究科は 2015 年度から大学院説明会に参加しているが、その当時の 3 年生が 2017 年度に複数入学することから、説明会は一定の効果をおさめたと考えてもよいであろう。

４．成果と今後の改善計画
①論文指導、授業など
論文指導については、各指導教員が学生の興味や学力を考慮して、きめ細かい指導をしていることが確認された。また、前期課程では副指導教員、後期課程では研究報告講評者が授業等を通してアドバイスを行っており、実質的な複数指導の体制が実現されていることが確認された。今後も副指導教員や講評者担当の授業も含めて、広い分野の授業を履修して数理科学全般についての広い視野を持つことを推奨したい。それに対応して、授業担当教員も、レベルを下げることなく他分野を専攻する学生も理解できて役立つような授業を工夫する必要があろう。

博士前期課程では 2017 年度から 2 年次で「数理学講究」と並行して「論文指導演習」が必修科目として設置され、論文指導が授業科目として実質化される。これによって教員が修士論文執筆へ向けての指導を今まで以上にきめ細かく行なえるようになるとともに、学生の論文執筆への意欲を高めることが期待される。また、この改定に伴い、学生は従来より多くの授業科目を履修する必要があるため、専門分野以外の授業も積極的に履修して数理科学全般についての素養を高めることが期待される。

②学生の確保

大学院の活性化のためにも、優秀な大学院生を確保することが重要である。そのための方策として、2015 年度から理学研究科でも学部生および学外者向けの説明会を実施しており、毎年 3 年生を中心に 10 名以上が出席している。また説明会だけでなく、日頃から学部学生に対して大学院進学のメリットを積極的に宣伝すると共に、大学院進学を視野に入れた履修指導を行うことも必要であろう。

2017 年度　東京女子大学大学院
「授業および修士論文指導についての検討会」報告書
「授業および博士論文指導についての検討会」報告書

大学院合同研究科会議議長　栗田啓子

総括

＜経緯＞

東京女子大学では、2003 年度より大学院の教育研究指導の充実を図るために、各担当教員が「授業および論文指導について」個別報告書を作成するとともに、各専攻で「授業および論文指導についての検討会」を実施してきた。また、2010 年度からは検討結果の報告書を大学院担当教員全員に配布して、大学院教育上の成果と問題点の共有に努めてきた。2012 年度の改組を受け、2013 年度以降、大学院博士前期課程・博士後期課程における諸問題を改善するために、各専攻で FD 活動の一環として、「授業および修士（博士）論文指導についての検討会」を実施している。各専攻が作成した報告書は大学院委員会で検討し、そこでの議論を加えた形で、合同研究科会議で報告している。

（なお、2016 年度からは、自己点検評価委員会の決定を受け、博士前期課程は 2 年ごと、博士後期課程は 3 年ごとに、項目を定めて自己点検評価を実施している。2017 年度は、2015 年度認証評価の結果を受け、博士前期課程・博士後期課程ともに、従来のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを見直し、大学の建学の精神および教育目的と整合的な新たなポリシーを作成した。また、2017 年度には、複数の履修者がいる全科目について、授業評価アンケートの実施を開始した。）

＜2017 年度報告書の内容＞

１．教育上の工夫・成果

＜異なる専攻、領域との交流＞

人間科学研究科では、各専攻・研究分野に共通科目を設置して、専門分野を超えた学際的で幅広い教育が可能になるように工夫がはかられている。異なる分野の学生との交流が各人の研究に広い視野を与えるとともに、認識を進化させているというポジティヴな評価が多い。大学院の学生間の交流については、学内における院生研究発表会も効果的である。

＜学外の研究者との交流による学生の研究の活性化＞

人間科学研究科および理学研究科ともに、学外の学会や研究会への参加を奨励し、学外の研究者との交流を積極的に推進している。その結果、院生の視野の拡大、研究の動機付けの強化や研究の深化、研究に主体的に取り組む姿勢の強化など、効果が上がっている。規模の小さな本学では、切磋琢磨する環境を学生に与える重要な方法だと考えられる。

＜学部との交流の強化＞　昨年度の報告書で課題に挙げられた学部学生との交流が強化された。大学院入試説明会だけでなく、研究発表会や修士論文中間報告会の学部学生への公開を通じて、学部学生に対して大学院の魅力を伝える機会を増やした。

２．問題点および改善計画

２‐１．授業科目

＜チェーン・レクチャーの改善＞

人間科学研究科人間社会科学専攻の共通科目については、学際的なアプローチを経験するというメリットはあるものの、従来から指摘されているチェーン・レクチャー方式の欠陥が克服されていない。大学院生に自らの専門分野外の研究に関心を持たせ、その内容を理解させる工夫が必要である。毎年指摘されているが、とくに、チェーン・レクチャー方式の科目は、授業担当教員相互の一層の連携が課題となっている。

＜多様な学生への対応＞

他大学からの入学者、学部と大学院での専門が異なる学生や社会人入学の学生あるいは留学生の存在は多様な思考法や見解をもたらす一方で、研究面での基礎的知識をどのように付与するのかという課題がある。とくに、心理学領域では、学部科目の聴講では補完できない現状である。

２‐２．論文指導・資格取得への対応

＜過重な指導の負担＞

・ 博士論文指導に関しては、丁寧な研究指導がおこなわれているものの、論文完成までには相応の時間がかかるため、大学院生の研究継続を支援する努力が必要とされている。
・ 特定の分野や教員に大学院生が集中するために生じている論文指導負担の軽減策が検討されるべきだという意見が多い。
・ 臨床心理学分野では、公認心理師資格取得のために多くの授業を提供することになり、今後教員の負担増がみこまれる。

２-３．学生の確保・支援

＜入試制度の改革＞

筆記試験の見直し、特定の分野での 9 月期入試の導入など、入学定員の確保のための方策の検討が活発に進められている。博士前期課程への男子学生の受け入れも検討課題に上っている。

＜学生支援＞

博士前期課程の学生に対して、現行では海外の学会参加を対象としている研究奨学金制度の拡充が要望された。これについては、国内の学会参加（ポスター発表などを含む）も対象とするように大学院学生委員会に要望書を提出した。

＜課題に対する検討体制＞

2018 年 7 月 11 日開催の大学院委員会で以上の成果や問題点を共有し、解決策の検討については、昨年度組織されたワーキング・グループ（2018 年度は大学院の自己点検評価専門委員会を兼ねる）に委ねた。報告書に関連する WG の検討課題としては、１）論文指導演習担当者の過重負担については、大学院の担当について、多様な視点から検討する、２）学生の確保については、進学を見据えた学部での履修計画の指導（「学部生の大学院入学前の既修得単位認定制度の活用」など）、入試制度の改革、学士・修士 5 年プログラムの導入などの２点である。

人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士前期課程）

主任（記載責任者）和田　博文　　記載日　2018 年 3 月 15 日

１．検討会実施日　2018 年 3 月 10 日（土）　　16 時 30 分～17 時 30 分

２．参加者氏名　　乗立雄輝・和田博文・本合陽・勝浦令子・丸山直子

３．検討会の形式

人間文化科学専攻の 5 分野（哲学・思想文化分野、日本文学文化分野、英語文学文化分野、歴史文化分野、現代日本語・日本語教育分野）において、分野単位でまず検討を行った。そのうえで 2017 年度の専攻全体にかかわる授業・修士論文指導について、分野責任者が集まって討議を行った。専攻共通科目の担当者には各科目の報告書を出していただき、専攻全体のアンケート結果や 2016 年度の報告書も比較対象として検討した。

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

2017 年度の教育のなかでも、特に共通科目のあり方と有効性について、意見を交換して議論した。

院生は各分野に分かれて在籍しているが、分野の内部に閉じてしまうのではなく、相互に交流して刺激を与え合うことが必要である。そのため専攻の全学生が受講する専攻共通科目を設置して、分野を越えて情報交換し、共に議論をすることができるようになっている。「人間文化科学基礎演習」（必修）、「人間文化科学研究法」（選択必修）、「人間文化交流研究」（選択必修）が、その科目にあたる。いずれも 1 年次の履修科目に位置付けられ、計 4 単位が必修となっている。

各科目の 2017 年度の担当者を次に記載する。

□人間文化科学基礎演習（必修、オムニバス形式）
　担当者：黒崎政男（哲学・思想文化分野）、光延真哉（日本文学文化分野）、
　　本合陽（英語文学文化分野）、樋脇博敏（歴史文化分野）、
　　松尾慎（現代日本語・日本語教育分野）
□人間文化科学研究法（選択必修、オムニバス形式）
　担当者：David Ewick（英語による講義）、植村恒一郎（日本語による講義）
□人間文化交流研究（選択必修）
　担当者：原英一

以上の科目は、人間文化科学専攻の 5 分野の教員と院生が、分野の枠を越えて交流することで、学際的かつ複眼的な視野を獲得し、各研究分野の修士論文を豊かにすることを目的としている。それぞれの科目についての検討結果は、以下の通りである。

「人間文化科学基礎演習」

異分野との交流を活発にすることで、自分自身の研究を活性化させ、相対化させ、認識を深化させられるという経験を、履修者が共有できたと思われる。2017 年度の受講者は、哲学・思想文化分野 4 名、日本文学文化分野 5 名、歴史文化分野 2 名、現代日本語・日本語教育分野 2 名の計 13 名であった。

例年通り、学生には発表だけでなく、コメンテーターや司会も担当してもらっている。議論を活性化するためには、どのようなコメントをし、オーディエンスに対してどのような問いかけをすればいいかの、トレーニングを積ませるという点で、今後も継続していくべき施策であると思われる。ただし、実際にこのような方法で授業を進めても、学生の能力の限界もあってか、議論を望ましい方向に導くことができた事例は、あまり多くなかった。教員は極力議論の場に口を出さないことを担当教員共有の方針としたが、状況によっては積極的に介入することも必要であろう。また、教員による十分なコメントや、アドバイスの時間を確保するためにも、1 回の授業の発表者は１人であることが望ましい。その点において、今年度の 13 名という履修者数は、ぎりぎりの人数であったと言える。この人数を超える場合には、次年度の授業の進め方において、何らかの対処が必要となるであろう。

「人間文化科学研究法」

この授業は、英語が母語の教員と、日本語が母語の教員が、交互に担当していく、バイリンガルの形式の講義である。2017 年度の受講者は、哲学・思想文化分野が 4 名、現代日本語・日本語教育分野が 2 名の計 6 名だった。

アンケートの自由記述欄には、さまざまな声が寄せられている。異なる分野の院生と一緒に学ぶことについて、「発想や視点の違いに刺激された」とか、「その違いを分野や文化の差異とリンクさせて考えることができた」という、多くの肯定的な意見が認められる。英語が母語の教員から学ぶことについては、「英語の論文や参考文献の書き方が参考になった」、「外国語論文の検索方法を学べた」、「英語の文献により視野が広がった」などの感想が記されている。

昨年は、英語での受け答えの際に、英語をあまり理解できない学生が含まれていることが問題点としてあげられていた。今年度の受講者に、英語文学文化分野の院生がいないので、単純な比較はできないが、今年度の授業では、その問題は顕在化していなかったようである。

「人間文化交流研究」

哲学・思想文化分野 3 名、日本文学文化分野 5 名、歴史文化分野 2 名、英語文学文化分野 2 名の計 12 名が受講した。他に英語文学文化専攻の学部生 1 名が大学院入学前の既修得単位認定制度利用者（授業には積極的に参加）として履修している。

授業内容は、文化の越境と融合がかつてない規模と速さで進行する中、日本と世界の現代文学が、世界をどのように表象し、どのような問題提起をしているのかを追求したもの。取り上げた日本人作家は、柴崎友香、西加奈子、滝口悠生、外国人作家は、カズオ・イシグロ（イギリス）、ロベルト・ボラーニョ（チリ）、バルガス・リョサ（ペルー）、ハン・ガン（韓国）。外国文学のテキストは日本語訳を使用した。

一つの作品を何人かで分担して担当させ、発表をさせた。異なる分野の学生の間での捉え方、考え方の違いが鮮明になった。一つの作品を読了した後は、全員に 600 字程度の感想を書かせ、次回の授業でそれをプリントして配布し、共有することにより、作品への理解と問題意識をさらに深化させるようにした。滝口悠生の芥川賞受賞作と『源氏物語』との類似など、新聞・雑誌の書評でも気づかれていなかった指摘がなされる場合があり、学生にとっても、担当教員にとっても、刺激と発見に満ちた、インタラクティブ授業となった。学生が、普段は読まない日本現代小説のみならず、さまざまな文化の背景を持つ各国文学と対峙して、濃密な異文化体験となった結果、予定していた多和田葉子、中村文則、村上春樹（以上日本）、ジュノ・ディアス（アメリカ）、ローラン・ビネ（フランス）を扱う時間がなくなったことが反省点である。

5．成果と今後の改善計画

「論文指導演習Ⅰ、Ⅱ」については、修士論文の作成過程に沿う形で、個々の教員の指導が行われている。それ以外に分野単位で、中間発表会や修士論文成果報告会を開いている。修士論文の口述試験を公開にしている分野もあり、学部生に大きな刺激を与えていることが報告された。

今後の大きな課題の一つに、入試制度の改革の問題がある。2017 年度の人間文化科学専攻博士前期課程の入学定員 22 名に対して、入学者は 13 名と約 6 割で、入学者 0 名の分野もあった。定員を充たす方法として、男子学生の受け入れや、９月期入試の導入、卒業論文提出時期の検討など、分野によって活発な議論が行われていることが紹介され、分野間で意見交換を行った。

アンケートの実施については、複数の分野責任者から疑問の声が寄せられている。２名以上の受講者がいる科目を対象に、アンケートを実施しているが、少人数なので回答者が特定されてしまうのではないか、そのような圧迫感を抱く院生が多くいるのではないかという声である。教員と学生の信頼関係を壊す、契機になってしまうのではないかという危惧も聞かれた。またアンケートを行うにしても、座談会など形式上の工夫を凝らす余地があるのではないかという提案もあった。修士論文の役に立つかどうか、先行研究を学べたかなど、科目の性格に関係なく、質問が一律であることへの違和感も表明されている。

共通科目のあり方も、課題がないわけではない。他分野の発想や考え方に触れることで多くの刺激を受けられるという積極的な学生の感想がある一方で、それらの科目の発表準備に追われて、自分の専門領域を深める時間がなかなか確保できないという不満もあることが紹介された。少人数での演習形式が各科目で続くと、受講生の負担は大きくなる。今後も注意深く見守りながら、検討していくべき課題であろう。

人間文化科学専攻　哲学・思想文化分野

分野責任者（記載責任者）乗立　雄輝　　記載日　2018 年　3 月 21 日

１．検討会実施日　　2018 年 3 月 9 日（金）　13 時 00 分～14 時 00 分

２．参加者氏名　　佐々木能章、黒崎政男、馬場朗、乗立雄輝

３．検討会の形式

サバティカル・リーブ取得者、前期課程での担当のない者も含め、分野担当者 4 名全員による検討会。授業アンケートの結果、個別報告書も参照しながら議論を行った。

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

１）授業アンケートの結果検討
２）各個別報告書の検討
３）講義・演習プログラムの検討
４）分野全体の方向性についての議論
５）大学院生の活動状況全般について
６）その他

５．　成果と今後の改善計画

上記の各項目について列挙する。

1) 授業アンケートの結果検討

専門科目、専攻共通科目とも、概ね、学生の評価は良好であった。ただし、参加者からの反省点として、もう少しテキストを読むスピードを上げ、幅広い文献に当たらせるべきであったというものが挙げられた。今後は、講義・演習の最初に提示する講義計画の速度を厳守するなどの改善策が提案された。

2）各個別報告書の検討

なかなか二次文献を読むというレベルにまで学生を導くことが出来なかったという反省点が挙げられた。これについては、年度の初めの研究計画において、読むべき文献の量の数値目標を挙げるなど、具体的な計画を立てることが提案された。

3）講義・演習プログラムの検討

哲学・思想文化分野で学ぶ学生たちの研究対象が広範囲にわたるため、全てを網羅することは難しいものの、概ね、バランスの取れた講義・演習配置になっているという自己評価が挙げられた。内容の広範化と専門性の深化とは、相反する方向性を持っているため、そのバランスを取ることは決して容易ではないが、今後もこの点に留意しつつ、講義・演習プログラムの策定に努めていくという方針が確認された。

4）分野全体の方向性についての議論

まず、2018 年度から 9 月期入試を導入し、さらに外国語を 1 科目の選択制にするという方向性について、あらためて議論を重ねた。この新方針は、まず第一に、9 月期に入試を行っている他大学、特に国立大学への人材流出を避けることを目的としているが、その他にも、他大学から本学の大学院への志望者を増やすという目的も掲げられている。このことによって、本学の大学院志願者が、卒業直前の 1 月まで進路が決まらずに、不安を覚えるといったことがなくなることも期待される。

デメリットとして挙げられるのは、外国語科目が 1 科目に減ることにより、進学する院生の語学力が低下し、対象とすることが出来る外国語文献の幅が狭くなるという点があるが、これについては、9 月期で進学が内定した者に語学の指導を予め行うことが提案された。また、9 月期に入試を行うことによって、論文を書く能力の見極めが難しくなるというのもデメリットであるが、これも事前の指導を丹念に行うことによってカバーすべきであるという提案がなされた。さらに学外への広報活動も今後の検討課題として提案された。

5）大学院生の活動状況全般について

2017 年 7 月 5 日 13:30~16:00 に各院生が研究状況を報告し、相互に議論を重ねた。これには分野担当の教員 4 人全員と、前期課程の院生 4 人、後期課程の院生 3 人が参加し、相互に刺激を与え合うよい機会になったと考える。

また、大学院に入ったばかりの院生および大学院志望の学部生に、哲学の世界の一端を知ってもらうため、6 月 24、25 の両日に本学で開催された「アメリカ哲学フォーラム」の年次大会に有給のボランティアとして参加してもらった。学外のさまざまな研究者、特に大学院生や博士号を取得したばかりの方との交流があり、学生たちには大いに刺激になり、研究意欲が増したとの報告があった。そして、これを機会に、そこで知り合った研究者たちが開いている研究会へ参加する院生も見られ、非常に有意義な経験になったと考える。

本学で学会の研究大会を開催することは、事務方などに相応の負担をお願いすることにはなるが、学生の見聞や人的ネットワークを拡げるためにも、今後も積極的に大会開催を目指していきたい。

また、全体として院生の研究速度がスローペースであることも指摘されたが、この点については、各院生に対する指導をさらに綿密にし、フォローしていく体制が提案された。

6）その他

前期課程の院生向けの予算消化があまり進んでいない点が挙げられた。これについては、ガイダンスのときなどを通じて、予算執行の仕組みなどを再確認することが提案された。

また 2018 年度は前期課程の院生 4 人が修士論文の作成に取りかかることになるが、綿密な指導を行うため、一人の院生（スピノザが主たる研究対象）の指導教員を、より専門性の近い教授に変更することが提案され、了承された。

人間文化科学専攻　日本文学文化分野

分野責任者（記載責任者）和田　博文　　記載日　2018 年 3 月 15 日

1．検討会実施日　2018 年 3 月 10 日（土）　　14 時 00 分～15 時 00 分

2．参加者氏名

今井久代・中野貴文・光延真哉・和田博文・近藤裕子・安藤信廣

3．検討会の形式

2017 年度の日本文学文化分野の授業・論文指導を担当した教員６名が、1 時間余り会議を行った。当日は全員が個別報告書を用意して、それぞれ報告を行い、質疑応答をしながら共通認識を形成している。またアンケートの集計結果を確認して、改善点がないかどうかを討議した。

4．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

(1)授業

博士前期課程で大切なことの一つは、視野を広げることである。共通科目や基礎演習での学びを通して、自分の専門領域以外の学問の知見に触れることが可能になる。それ

は単に視野の拡大を意味するだけではなく、自らの専門領域を相対化して、獲得した「知」を考え直す契機になっている。

個々の授業では、できるだけ一方向講義を行わないように努めてきた。ディスカッションによって新たな研究テーマと向き合い、調査や分析の方法を身に付ける、より積極的な授業形態を模索している。外部からゲストスピーカーを招聘することで、新たな学問的刺激を与える実践も試みている。

(2)論文指導

論文指導は、専攻全体の指導と個別の指導に分かれる。前者は、例年と比べて大きな変化はない。院生は博士前期課程 1 年次の 5 月に、まず「研究計画書」を提出する。2 年次の 4 月には「修士論文計画書」（40 字×30 行×3 枚以上）をまとめて、7 月の修士論文中間発表会に向けて作業を蓄積する。発表会では 1 人あたり 40 分程度の発表を行うが、その後に教員や他の大学院生との質疑応答の時間を設けている。

後者は、論文指導のスタート段階で、指導教員と院生が話し合い、年間の指導計画を立案する。研究における主体的な問題意識を明確化させるように、作品や先行研究の分析結果を共に検証する。後期の論文指導演習Ⅱでは、修士論文を節ごとにチェックし、修士論文の形式や叙述にも目を通している。

(3)院生の研究発表

前期課程の 1 年次が運営する形で、修士論文の口述試験前に、修士論文発表会を実施した。院生同士の学術交流という意味だけではなく、１年次にとっては、修士論文に取り組むための準備という意味も持っている。近現代文学の場合は、学外の研究者を含めた研究会の開催により、多様な学問的刺激を得られる機会を作っている。

(4)学外の学会・研究会等への参加

2017 年度は中古文学会や近世文学会の全国大会が東京女子大学で開かれ、他大学の研究者や大学院生と交流することで、自身の研究活動を振り返る機会を得ることができた。中古文学会のシンポジウムの録音は、授業でも活用し、院生が新たな思考を展開する契機としている。また学外で開かれた昭和文学会などへの参加を通して、研究の最前線に触れてもらうことができた。修士論文の執筆に向けて、調査や分析の仕方の大きなヒントが得られたという報告があった。

(5)その他

東京女子大学創立 100 周年記念の本学古典籍の展示企画に、院生が参加している。また他大学の院生が授業に加わることで、新しい刺激が生まれている。科目等履修生としての受講者が本学大学院への進学を決めたケースもあった。

５． 成果と今後の改善計画

2017 年度は博士前期課程１年次５名、２年次２名（別に休学者１名）への指導を行っている。修士論文を提出したのは２名である。例年通り、指導や論文審査は厳しく行い、その成果を外部に出しても遜色がないように努めた。修了後の進路はさまざまだが、本学大学院で学ぶことによって成長し、大きく飛躍できるように心がけている。

アンケートでは前期・後期を通して、先行研究の紹介があまり多くないという回答が見られた。自由記述欄は概ね好評だが、目が悪いためにプリントの字が読みにくいという指摘がある。科目の性格と関わるのかもしれないが、これらは次年度に工夫すべき課題と考えたい。

学外からの進学者は、今年は 1 名いたものの、入学者数が少ないという問題を継続して抱えている。そのため入試制度を改善するための話し合いを何度か実施して、次年度に向けた具体案を提出している。

人間文化科学専攻　英語文学文化分野

分野責任者（記載責任者）本合　陽　　記載日　2018 年 3 月 9 日

1．検討会実施日　2018 年 3 月 9 日（金）　16 時 00 分～　17 時 00 分
2．参加者氏名
原英一、浜名恵美、原田範行、溝口昭子、野村恵造、塩原佳世乃、本合陽

3．検討会の形式　会議形式の議論
各自が事前に提出した個別報告書に基づき、会議の席上、指導の成果や問題点を整理し、これに対して参加者全員で議論を行った。

4．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）
検討会では各担当者が、それぞれの授業において用いられている様々な方策についてまずは報告しあった。次に、授業評価アンケート結果を参照し、授業の問題点などがないかを検討した。それから受験者増のための方策について議論した。そして、修士論文発表会で気がついた問題について話し合った。
まずはそれぞれの授業で、学生の自主的な姿勢を高めるためにそれぞれの教員が行っている方策について報告した。英語での資料収集と読解も必要なため、英語力を伸ばすための方策についても検討した。学生数が少ないため、教員の個人指導の側面が大きくなっているが、個人指導により、きめ細かく学生の進捗状況を把握できる点は良い面であることを確認した。
授業評価アンケートでは受講生が満足していることが確認できた。これは上記の個人指導の側面が大きく関係するであろうとの結論になった。
しかし、大学院生の数が少ないため、アンケートの回答者の数も当然少ない。それゆえ、大学院生を増やすための方策について話し合った。従来の試験形式は受験生に、卒業論文執筆時に受験準備のための大きな負担を求めていることから、卒業論文を中心に審査する方法を取ることが出来ないか、検討を開始した。
また、修士論文発表会の反省として、修士論文執筆者の隣接分野の基礎的知識が不足している点に問題があるのではないかとの指摘があり、改善策を議論した。

5．　成果と今後の改善計画
2017 年度に英語文学文化分野で修士論文を提出した大学院生は 2 名であった。修士論文の質が良くても、関連する分野における基礎知識が不足している場合もあり、改善に向けての方策を議論できたことはよかった。
今後の改善計画として、特に一年次が多く受講する授業について、関連する基礎知識を与えることの重要性を確認した。
また、今年度、学内推薦制度での入学予定者が家庭の事情のために進学を諦め、結果として 1 年次がいなかった。その点から出発し、今後の入試体制について議論できたことは成果であった。

人間文化科学専攻　歴史文化分野

分野責任者（記載責任者）勝浦　令子　　記載日　2018 年 3 月 12 日

1．検討会実施日　2018 年　2　月　9　日（火）13 時 30 分～14 時 30 分

2．参加者氏名
茂木敏夫・高田陽介・黒沢文貴・樋脇博敏・坂下史・柳原伸洋・藤野裕子・勝浦令子

3．検討会の形式

各自が提出した個別報告書をもとに、指導の成果と問題点を報告し、これに参加者全員で質疑応答を行い、分野全体の問題点や改善点を検討した。

なお 3 月 1 日に入手した授業評価アンケート結果については、メール審議として検討した。

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

①授業について

今年度は 2 年次 4 名に新入生 2 名が加わり、6 名による年度となった。本人の専門以外の時代や領域の科目も受講する意欲的な院生がおり、実質的に開講された科目数も昨年度と同様に多かった。たとえば全時代にかかわる輪講「日本史研究法」には 6 名全員の受講があり、活発な討論がなされたことが報告された。ただし専門分野の院生と、時代や地域分野がかなり離れた院生が同一科目を履修した場合に、専門分野の大学院レベルの内容を同時に維持して教授する工夫が必要となることも指摘された。

②研究指導・論文指導について

2 年次については、修士論文作成に関して、学外の研究会などに参加させ、史料情報の取得、講読や研究の取り組みに刺激を与える指導を行った例も多かった。これにより研究を進展させることができた院生も存在した。

今年度は 1 名が修士論文作成を見送り、構想を練り直すことになった。1 年次に対する研究指導は、指導担当教員が学生の研究計画に基づき、きめ細かく指導することを実践した。直接研究テーマに関係する先行研究の把握はもとより、視野を広げる研究論文等を検討するように指導を行ったことが報告された。

③アンケート結果について

前期は 8 項目の質問に対して概ね肯定的な回答であり、特に問題はなかった。しかし後期では、授業内容の難易度は適切だったか、修士論文執筆に役だったか、研究対象に関する先行研究を学べたかの 3 項目について、専門の違いもあり、院生間で認識に差が生じており、肯定的な回答の他に、やや否定的にとらえている院生もいたことが読みとれた。これらの点の検討が今後の課題であることが共有された。

５． 成果と今後の改善計画

①学年間の交流と修士論文中間報告について

昨年度は修士論文作成を行う院生の不在により、新入生が上級生の論文作成過程から直接学ぶ機会がなかった。このことから中間報告の時期を早めることを検討し、本年度は 10 月中旬に中間報告を行った。この時期に行ったことによって、院生から早めに問題点を把握し、構想の見直しや研究の進行状況などを把握することができたとの感想があった。来年度もほぼ同じ時期に行うことにより、修士論文作成予定の院生はもとより、進学希望の学部生に対しても教育的効果が期待される。

中間報告の内容については、論文構想と共に、さらに研究史整理・史料解読を提示した踏み込んだ報告を行わせる必要が指摘された。

②入学者確保について

2018 年度の入試では、学内推薦希望者がいなかった。他大学院への受験を希望する者が増えていることも原因の一つといえる。一方、1 月期入試では学内 2 名、学外 2 名の受験者がいた。今年度は進学希望の学部生に 10 月の中間報告への参加を積極的に呼びかけた。実際に参加者の中から受験して進学が確定した者もでた。今後も引き続き、中間報告への参加を含め、日常的に院生と学部生の交流の機会を増やし、また教員が卒業論文の指導を通じて学部生に本学大学院への進学に関する情報提供を行っていく必要が確認された。

人間文化科学専攻　現代日本語・日本語教育分野

分野責任者（記載責任者）丸山　直子　　記載日　2018 年 3 月 10 日

１．検討会実施日　　2018 年　3 月　10 日（土）14 時 20 分～15 時 00 分

２．参加者氏名　　篠崎晃一・松尾慎・丸山直子（・熊谷智子）

３．検討会の形式

現代日本語・日本語教育分野の教員 4 名で、各々が書いた個別報告書、および全体的な問題について話し合った。熊谷智子氏は、当日体調不良で欠席したが、メールで議論に加わった。（分野の専任教員は 5 名だが、石井恵理子氏はサバティカル・リーブのため議論に加わっていない。）

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

各人が担当授業および研究指導・論文指導においてどのようなことを行い、どのような工夫をしているかを報告し合い、情報を交換した。評価できる点と同時に、今後の課題についても検討した。

①担当授業

担当する授業で全員が重視しているのは、受講者各自の研究上の関心に配慮して講読論文や議論のテーマを選択し、当該の授業の内容を受講者が自身の関心にひきつけて学べるよう勘案していることであった。また、本分野は研究分野（現代日本語学、日本語教育学、社会言語学）の異なりだけでなく、留学生や社会人なども含め、多様な経験をもつ院生が在籍している。それにより、各人の前提や知識が異なることが少なくない。このことは、授業運営や議論などで留意が必要であるが、逆にそれを生かすような課題設定を行うことで、相互の刺激や発見につながり、積極的な意見交換が可能になっていることが確認された。

②研究指導・論文指導

研究・論文指導については、主・副の指導教員が院生に対し、参考となる文献・資料の検索方法、調査や分析の方法についての助言・議論などを行うことで、修論研究の進捗をはかった。2017 年 7 月の中間発表会、2018 年 2 月の口述試験は公開で行い、分野の教員全員と在学中の院生だけでなく、修了生や入学予定者も参加した（入学予定者は口述試験の方のみ）。在学中の院生たちにとっては、発表資料の作り方、発表や質疑応答の仕方について学ぶ機会になったと考えられる。特に、中間発表会における修了生の助言は役に立ったようである。

また、各教員による多角的な観点からの質問や問題点の指摘は、発表者のみならず参加した在学中の院生たちにとっても良い刺激や参考になることであり、こうした機会を増やしていくことも有効であろうと話し合った。

その他、指導について担当者間で情報交換・意見交換を行うとともに、各種の学会・研究会への参加や発表の機会を院生がより多くもつことの必要性・重要性について話し合った。

③授業評価アンケートについて

今年度初めて実施された、各分野の授業ごとのアンケートについて、すべきではないという意見が出され、全員の賛同を得た。1 名しか受講生がいない授業では実施されなかったが、2 名の授業では実施された。今回回答しなくてもよいと教員が言ったために、現代日本語・日本語教育分野では回答していない学生が多い。2 名・3 名という少人数では、誰の回答か特定されやすく、学生にとって精神的負担になる恐れがある。授業ごとではなく、大学院の授業全体についての意見を聴取するアンケートにした方がよいという意見が出された。

５．成果と今後の改善計画

授業でのタスクや議論の問題設定を工夫することにより、多様な背景をもつ院生たちが活発な議論を行い、自発的に資料を持ち寄るなど、積極的な授業参加を促すことができている点が評価できると考える。

課題としては、授業や研究指導についての検討でもふれたが、院生たちが自分の研究についてまとめ、所定の時間内で発表して質疑応答にも対応する経験を積む機会を増やすことがあげられる。このことは、修論研究への進展を助け、院生相互の刺激にもつながる。

外部の研究会や学会だけでなく、学内の発表会や授業の中でもそうした機会を意識的に増やしていくことは必要であろう。今年度は、修了生の協力を得て、かなり効果を上げることができた。今後も、相互の議論や研究への刺激を高めていけるような発表や意見交換の機会を増やすことは有効であろう。

人間科学研究科　人間社会科学専攻

専攻主任（記載責任者）李　津娥　　記載日　2018 年 3 月 19 日

1．検討会実施日　　2018 年 3 月 16 日（金）　　14 時 50 分～15 時 50 分

2．参加者氏名　湯浅成大　前川あさ美　李津娥

3．検討会の形式

臨床心理学分野、心理・コミュニケーション科学分野、グローバル共生社会分野でそれぞれ検討会を実施し、その結果を分野での検討会報告、個別報告、アンケート報告をもとに、分野の責任者が対面とメールでの意見交換を行った。その後も本報告の初校を回覧し、意見交換を重ねた。

4．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

検討会では、分野ごとに現状について報告してもらい、各分野が抱えている問題および専攻全体の問題を共有し、今後の改善点や工夫について意見交換を行った。

(1) 授業について

専攻の共通科目については、学部の専門が異なる学生、意欲や学力等において差のある学生に対する指導の工夫について意見交換を行った。領域横断的な内容を扱うチェーンレクチャーは、異なる専門分野の学生たちと一緒に授業を受け、意見交換をすることで大変良い刺激となり、専門分野以外の領域に対する学生の関心を広げることができるため、共通科目の充実に向けて教員間の情報共有や連携をより一層進める必要があるという認識が共有された。

専攻全体で 1 対 1 や少人数の授業が増えてきており、授業時間外も含めた定期的な指導を行っているが、院生同士、大学院博士後期課程の学生との交流、学内外の研究会や学会への参加を推奨し、積極的に研究交流の機会を設けた。学内外での研究交流に参加し、学会・研究会発表を行った学生の事例について報告された。また、共通科目を通して専攻の学生同士の交流をより促進する必要があることが確認された。

臨床心理学分野の場合、学部で心理学を専攻していない学生の中には、心理学の基礎的な研究方法やレポートのしかた、また、臨床心理学的研究論文のありかたに関する知識や実際に書いてまとめる経験を欠いている者がいる。現在は、指導教員が個別指導で対応しており、その負担も大きくなっている。大学院生の学部授業の聴講も、大学院の授業や課題の関係で難しくなっていることが報告された。

研究意欲が高く、授業外学習をしっかりしている学生とは大変有意義な授業を進めることができたが、分野によっては体調や就職活動などとの兼ね合いで学習意欲が低下するなど、指導の困難なケースもあった。引き続き、指導の工夫について情報を共有していくこととした。

(2) 論文指導について

学部で当該分野を専攻していない学生に対してきめ細かな指導を行った。それぞれの分野で実施している発表会・中間報告等により、計画的に修士論文作成に取り組むように指導することができた。1 年次の発表会等では先行研究をまとめ、研究の目的･意義を一層明確化する良い機会となった。1 年次から学会や研究会に積極的に参加してもらい、様々な研究報告を聴くことで刺激を受けたという報告があった。2 年次の中間報告会や、学内外の学会と研究会での研究発表は修士論文を執筆する上で非常に有効であった。修士論文中間報告会、修士論文発表会等に 1 年次の学生や学部生も参加し、研究発表や質

疑応答の様子を体験する良い機会となった。専攻全体で学内外の研究会、学会等への参加や発表を推奨し、成果を上げている。

(3) 大学院生の確保について

臨床心理学分野では、前期と後期の独自の説明会や研究室訪問、予備校主催の臨床心理士コースの説明会に参加していることが報告された。臨床心理学分野の競合校が増えてきており、こうした学外が主催する説明会にも積極的に参加したいが、学内の授業担当や実習の指導を授業時間外で行っていることもあり、専任教員の多忙さにより、教員の参加が難しいこともあり、事務職員に対応してもらっている側面もあることが報告された。

今年度、臨床心理学分野で実施された拡大ケースカンファレンスには、多くの在学生、修了生が参加し、大変有意義な交流を行えた。在学生にとってはキャリアを育み、生涯学習を続けるうえでよい刺激を先輩たちから受ける場となり、修了生らは、生涯に渡るキャリアとして修了後の研修の場となった。こうした修了後の教育体制構築にも力を入れていく必要があることが確認された。

グローバル共生社会分野では、学外に向けて具体的な情報を発信し、アピールしていく方法として、大学のホームページの大学院に関するところに、大学院関係で開催している研究会や報告会のうち、公開可能なものはリンクを掲載することとした。

心理・コミュニケーション科学分野でも、学生の確保が最重要課題となっており、1 月期入試方法の検討等、他の専攻とも連携しながら検討していくこととした。

5．成果と今後の改善計画

(1) 授業と論文指導

学生同士の交流、在学生と修了生との交流の促進、学内外の研究会や学会への参加と発表の推奨、分野別に行われている中間発表会、修士論文口述試験等で学生の主体的な研究を促し、一定の成果をあげている。今後も大学院生の学会活動、学会発表を積極的に推奨していきたい。

前期課程の学生の学会参加と発表も増えており、遠方で開催される学会に参加する学生の負担を軽減し、研究意欲や学会参加への意欲を高めるためにも、後期課程の学生を対象としている研究奨励金制度を前期課程の学生にも拡大することを要望することとした。

昨年度、領域横断的な内容を扱うチェーンレクチャー形式の共通科目において、各講義の関連性が実感されにくい、様々な領域にまたがる内容を学ぶ意義をなかなか認識してもらえない、という問題が指摘された。検討会等での情報共有と担当者間の連携により、興味を持ちやすい共通テーマを取り上げ、多数の文献紹介により教室外学習を促すことで、様々な領域の専門と研究方法を理解し、自分の問題関心と研究を深めていくことにつながるなど、一定の成果を上げている。

また授業評価アンケートについて、受講生に応じた授業展開が必要とされる大学院の授業において、また主として実験や調査等の実証研究を行う領域においてシラバスの有用性を問う評価項目はあまり意味がないと思われる。今後、評価項目の見直しが必要である。

(2) 大学院生の確保

大学院の活性化のために、大学院生を確保することは極めて重要な課題である。学生募集に関してシンポジウム、研究会等の開催による大学院生と学部生との交流の促進、修了生との交流が重要であるとの認識が共有された。学生募集に関しては、分野や専攻だけでなく、大学院全体で議論していく必要がある。臨床心理学分野の事例から、大学院の予備校や外部の関連機関との連携、学外の説明会への参加等、新たな広報機会の開拓が必要とされる。また、国家資格化された公認心理師の資格取得が可能なコースをつくることとなったが、教員の過剰な負担を軽減し、かつ学生からみて信頼できる実習の実現を可能にするためにも、事務職員ではなく専門性をもった人員の大学院における確保が、競合校と切磋琢磨していくうえで不可欠であるという報告もあった。

人間社会学専攻　臨床心理学分野

分野責任者（記載責任者）前川　あさ美　　記載日　2018 年 3 月 14 日

１．検討会実施日　　2018 年 3 月 14 日（水）　16 時 00 分～17 時 00 分

２．参加者氏名　　柴山雅俊、田中健夫、花田里欧子、前川あさ美、森田慎一郎

３．検討会の形式　　一堂に会して共有

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

大学院説明会は本学主催のものもあるが、分野独自のものが前期と後期に一回ずつあり、オフィス訪問も受け付けている。さらに、河合塾や中央ゼミナールといった予備校主催の説明会があり、多忙の中、専任教員も加わり、広報課にもお手伝いをいただいて本学の特徴を説明する機会を得た。説明会への参加者は増えている（特に他大学学生など）が、競合校も増え、必ずしも受験生は増えていないのが現状である。

公認心理師法が施行され、後期からカリキュラムの整備で学内の協力を得た。本学は、これまでのように、学部がどこであれ、臨床心理士として専門的知識と技能を身につけたいという学生と、公認心理師に必要な学部での科目を履修し、大学院に進学して資格取得をめざす学生も引き受けていくことに決め、その分、専任教員の負担は時間的にも物理的にも心理的にも重くなることが予想される。

学会活動を推進しており、積極的に学会に入会したり参加をしたりする学生がいた。学会参加は良い刺激にもなるので今後も奨励していきたいが、後期課程の学生にあるような研究奨励金を設けて、前期課程の学生にも国内外の学会での発表（ポスター発表やシンポジウム、ラウンドテーブルなどの討論者等）を行なった場合に、わずか（たとえば 1 万円）でも支給できたらと考えている。

出身学部の専攻が心理学とは異なっている学生に 2 年間で臨床心理学領域の専門的な論文を書かせることは例年、大きな課題となっている。TA 業務があったり、授業が増えたりしたことで、以前のように学部の実験授業を履修させる時間的な余裕はないため、指導教員が授業時間外で個別に対応して指導をすることになっているが、教員の負担も大きい。何らかの対処が必要であると考える。

臨床心理学特論と臨床心理学面接特論のすすめかた、時間の配分のしかたについて、意見がでた。学生にとって、いろいろなアプローチや理論の理解がスムーズにいくよう、時間の組み合わせ方を工夫したいと考える。

臨床心理学的研究について、その固有性や特徴、重要なポイントなどについて、全体で講義する時間をとることを検討したいと考える。

大学院生を対象としたハラスメント研修があった。院生たちは被害者にもなりうるが TA などとして学部学生との関係で加害者ともなりうる。そのため、このような基本的なハラスメントの知識を得る機会はとても有意義であったと思われる。

５．　成果と今後の改善計画

一般の人向けの無料の公開講演会を開催したり、杉並区から業務委託をうけた「発達障害児地域支援講座」に講師、司会、企画、受付などで専任教員や院生が協力したりして、本学大学院の臨床心理学分野の存在ならびに心理臨床センターをアピールするとともに、地域貢献を実現してきた。さらに、今年度は初めての試みとして、臨床心理学分野の大学院開設後の修了生と在学生に呼びかけて、拡大ケースカンファランスを開催した。それぞれの専門分野で心理臨床家として活躍する修了生が顔をあわせ、いろいろと情報交換ができたことはよかったと思う。今後も地域貢献の場と、修了生の生涯教育・訓練の場を提供していきたいと思う。

国家試験のためのコースが開設されたことで、専任教員にかなりの負担がかかる可能性が考えられる（すでに今年度厚生労働省とのやり取りを含めてかなりの負担があった）。今年度は認めていただけなかったが、専門性をもって、学外実習機関との打ち合わせをしながら、学生の実習における学びをより確かなものとするためのサポートをしていただけ

る助教、あるいは助手（事務処理だけでなく、公認心理師などの資格をもち、専門性をもった人材）等の手配を大学側に求めていきたいと考える。

臨床心理学特論と臨床心理学面接特論のすすめかた、時間の配分のしかたについて、一部が公認心理師資格取得に必要な科目ともなることから、来年度以降、再検討をしていきたい。

履修すべき科目が多く、実習に取られる時間も増えることから、効率的で意義のある「臨床心理学的研究」を主体的にすすめていけるように、教員と学生全体で、その固有性や意義、方法のありかた、重要なポイントなどについて検討し、これから求められる「臨床心理学的研究」への理解を共有し、深めていきたい。

人間社会科学専攻　心理・コミュニケーション科学分野

分野責任者（記載責任者）李　津娥　　記載日　2018 年 3 月 5 日

1．検討会実施日　　2018 年 2 月 28 日（水）　15 時 20 分～16 時 20 分

2．参加者氏名
有馬明恵、加藤尚吾、唐澤真弓、工藤恵理子、田中章浩、平林秀美、
渡辺隆行、李津娥

3．検討会の形式
分野構成員全員が 2 月 15 日から検討会前日の 2 月 27 日の期間中に個別報告書を作成し、それに基づき意見交換を行った。

4．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

(1) 授業と論文指導

検討会の参加者全員に担当授業、指導学生のいる教員には研究指導・論文指導などについて報告してもらい、問題点について共有し、改善点や工夫などについて話し合った。

まず、研究意欲が高く、予習をしっかりしてきている学生とは大変有意義な議論ができたことが報告された。また、授業時間外も含めた定期的な指導を行い、学内外での研究交流に参加し、学会や研究会で発表を行った学生の事例についても報告された。

また、入学後の学習意欲の維持、学内推薦の学生に対する論文作成指導の工夫、あるいはその後の卒業論文に対する取り組みが不十分だったり、大学院に進学する目的がはっきりしなかったり、指導が難しいケースが増えている。就職活動、体調不良などへの柔軟な対応など、引き続き指導の方針や工夫について情報を共有していくことにした。

(2) 大学院共通科目

前年度に引き続き、研究倫理に関する共通科目は、具体的な事例を確認し、研究のリスクとメリットを議論した上で、クイズ形式で知識を確認し、全員で e-Learning を受講し基礎コースを終了した。

論文作成・プレゼンテーションに関する共通科目は、章立ての仕方や引用の方法、学会発表などアカデミックなプレゼンテーションにおける発表の仕方と質疑応答の仕方などについて、講義と演習を交えて学習した。

また、これまでも問題になっていた共通科目における学科・専門の異なる学生に対する対応について話し合った。領域が異なる学科・専攻から入学した学生は基礎的内容に関する知識を欠いている場合があり、授業内容に対して難しいと感じる傾向があるが、同じ領域の学科・専攻から入学した学生には、かなり物足りない内容になってしまうことが多い。こうした領域や関心度の異なる多様な学生を指導する場合の工夫などについて意見交換が行われた。誰でも興味を持ちやすい共通テーマを取り上げ、多数の文献紹介を行い、教室外学習を促している事例などが報告された。

(3) 授業アンケートにおけるシラバスの有用性評価

心理・コミュニケーション科学分野の学生において、シラバスがあまり役に立たなかったという回答がやや多い傾向がある。しかし、受講生に応じた授業展開が必要とされる大学院の授業において、また論文指導演習など、受講生の進捗状況に応じて具体的な指導を行う必要がある大学院の授業において、シラバスの有用性を問う評価項目はあまり意味がないという意見が出された。心理・コミュニケーション科学分野は、主として実験や調査などの実証研究を行う領域であり、受講生の研究テーマに応じた授業を展開していく必要があるため、シラバスの有用性を問う設問を評価項目に入れることに疑問を感じるので、評価項目の見直しを要望することとした。

5．　成果と今後の改善計画

(1) 少人数授業

1 対 1 の授業や受講生の少ない授業が増えており、授業の工夫として、当該領域に詳しい若手研究者との研究会などを設定し、報告を行うなど積極的に参加させた。研究を進める上で良い目標となるなど、一定の効果が得られたことが報告された。また、1 対 1 の授業でディスカッションをすることができないという問題を改善するため、後期課程の学生と議論をする機会も設けた。

(2) 修士論文の中間報告

昨年度から始めた 1 年次の発表会は、先行研究や予備研究をまとめ、研究のさらなる課題や方向性をより明確化する機会となったと評価できる。2 年次の中間報告も、計画的に研究を進める上で良い機会となっている。

一方で、修士論文において、中間報告で指摘された問題点などが改善されていないケースもあり、中間報告や発表会のフィードバックを研究に活かせるよう指導する必要がある。修士論文の口述試験の際に、中間報告での主なコメントとそれを踏まえた分析や論文の改善などを確認する、などの方法が考えられる。

(3) 特論科目の新設

昨年度の FD 検討会において、博士前期課程において開講されている科目数が限られていることから、必ずしも学生の専門分野と関連が高くない科目を多数受講するケースもあることが議論された。学生が多様な科目を受講できる一方で、それぞれの領域の科目のバリエーションがあまりないという側面もあり、それを補完する仕組みとして、心理・コミュニケーション科学特論 A、 B を新設し、その時点で学生のニーズの高い分野を取り上げることとなった。

(4) 入学試験

1 月期入学試験について、昨年度から意見が出ていた卒業論文などを活用した大学院入試の導入について、引き続き検討することとなった。

人間社会科学専攻　グローバル共生社会分野

分野責任者（記載責任者）湯浅　成大　　記載日　2018 年 3 月 25 日

1．検討会実施日　　2018 年 3 月 5 日（月）　14 時 00 分～15 時 00 分

2．参加者氏名　赤堀三郎、金野美奈子、聶莉莉、古沢希代子、湯浅成大

3．検討会の形式　　参加者全員による意見交換、討論。

4．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）

授業に関しては、昨年度に続いて、領域横断的な内容を扱うチェーンレクチャー形式の共通科目において、各講義の関連性が実感されにくい、様々な領域にまたがる内容を学ぶ意義をなかなか認識してもらえない、という問題について議論した。昨年の議論を受けて

担当者も内容面で工夫して、その点では改善がみられたが、グローバル共生社会分野の院生数が他の分野の院生数に比べて少ないため、若干アンバランスな面が残っているという意見もあった。

論文指導に関しては、本年度は、完成に向けて学生が苦労した面はあったが、指導上の問題点としては緊急に解決を要するものはなかった。

学生の研究意欲を高めるために、1 年次から学会や研究会に積極的に参加してもらい、様々な研究報告を見ることで刺激を受けたという報告があった。

また、院生の数を増やすための方策として、学外に向けて具体的な情報を今後も継続して発信しアピールしていくことが確認された。その方法として、大学のホームページの大学院に関するところに、大学院関係で開催している研究会や報告会のうち、公開可能なものはリンクを掲載し、発信の機会をできるだけ増やすことで合意した。

5． 成果と今後の改善計画

昨年度、領域横断的な内容を扱うチェーンレクチャー形式の共通科目において、各講義の関連性が実感されにくい、様々な領域にまたがる内容を学ぶ意義をなかなか認識してもらえない、という問題が指摘された。検討会等を通した情報共有と担当者間の連携により、興味を持ちやすい共通テーマを取り上げ、多数の文献紹介により教室外学習を促すことで、様々な領域の専門と研究方法を理解し、自分の問題関心と研究を深めていくことにつながるなど、一定の成果を上げたといえる。今後もこの方向性を維持していくことを確認した。

院生確保の方策としては、2017 年度修了生の話を聞く会を開いて、学部生の関心を引くことが試みられたが、そのような取り組みを今後も継続してくことを確認した。

人間科学研究科　人間文化科学専攻（博士後期課程）

専攻主任（記載責任者）今井　久代　　記載日　2018 年 3 月 15 日

１．検討会実施日　　2018 年 3 月 10 日（土）　16 時 00 分～　17 時 00 分

２．参加者氏名
黒崎政男、小檜山ルイ、聶莉莉、原田範行、茂木敏夫、今井久代

３．検討会の形式
事前に個別報告書を提出し、当日それぞれを見ながら、各自の指導上の体験などを話し合った。

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）
現在個別の授業を受けているのは一人で、ほぼ博士論文の執筆に向けての指導に移っているので、実際に論文執筆に向けてどう指導しているかについて話し合った。特に 2017 年度は、本学の院生の特徴として、やや自主性に乏しく、自身のオリジナリティが求められる論文執筆という部分で少し不安が残ることが話題となった。また、社会人で後期課程に進んだ院生も多く、その一部は必ずしもアカデミックな世界に職を得ることを求めているわけではないので、すべての院生において同じ高い研究水準を求めるというわけにはいかないのではないかということも話題となった。そうした問題点を振り返りながら話し合った。

５．成果と今後の改善計画
本年は博士論文を提出し、合格した院生がいた。この院生はすでに博士後期に入学する前から研究者として論文を発表してきた院生で、前任者が長く指導してきたのを引き継いだ形である。その意味では既に完成した研究ともいえるが、新しい視点からもう一人の指導を受けることで、全体の構成等がよくまとまり、別の指導者の指導を受けるメリットが確認された。
他に、院生の研究上の自立という点で、他大学の非常勤(語学や集中講義)という体験を通して、自身の学びが深まり、自立が促されたという体験が共有された。特に後者の院生は昨年度自立性についての不安も話題になっていた院生で、学年が進んで学問が深まった事とも相まって、今年は研究論文をまとめることもできたという点で大変喜ばしい。また、院生の研究を深め自立性を促すという点で、本学に TA 制度があるが、これをもっと考えても良いのではないか(現状はなるべく成績判定等に関わらせない形だが、もっと授業に関わる形でも良いのではないか)。
また、特に海外の学会での発表など、学会での体験が重要ということも提言された。海外に限らず、学会発表や、学会参加が、院生の自立性を深めるのに重要であることは言うまでもないことで、今後も積極的な参加への促しが肝要と思われる。
最後に、博士後期課程の学生は、年齢も、また前歴もさまざまであり、その意味ではそれぞれの個性にあったきめ細かい指導の必要性も共有された。すでに研究者としてある程度の経験を持ったうえで入学してくる院生もあり、逆に長い社会人経験のあとの学び直しの一つの完成した形を求めて、大学院に入学してくる（修了後アカデミックな世界に入るとは限らない）院生もいる。それぞれに応じて柔軟な指導が求められるし、それぞれに応じた博士論文の形があるのではないかといった意見が出された。

人間科学研究科　生涯人間科学専攻（博士後期課程）

専攻主任（記載責任者）柴山　雅俊　　記載日　2018 年 3 月 24 日

１．検討会実施日　　2018 年 3 月 22 日（木）12 時 30 分～13 時 30 分

２．参加者氏名
事前検討会参加者　　田中健夫、柴山雅俊、唐澤真弓、小田浩一、金野美奈子、栗田啓子
検 討 会 参 加 者　　柴山雅俊、小田浩一、金野美奈子、栗田啓子

３．検討会の形式
生涯発達臨床、認知社会適応、共生社会開発の各領域でそれぞれ事前検討会を実施し、その結果を 3 領域の責任者が検討会報告書、個別報告書をもとに検討会（3 月 22 日）を開催し、それによって作成した報告書のドラフトをメーリングリストであらためて回覧し、メールで意見を交換することで、生涯人間科学全体の検討案をまとめた。

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）
①担当授業に関して
後期課程の授業であったが、前期課程の院生もオブザーバーとして参加し、また議論にも参加できるように配慮した。このことによって前期課程および後期課程の学生の相互に刺激となった。前期学生の後期課程への進学につながることが期待されるため、定期的に行なっていきたい。
英語論文やテキストを積極的に取り上げたことや、院生が中心となって翻訳作業を進めたことで、論文主題がより明確となり、また研究計画書の作成につながったように思われる。
共通科目としては女性学を２名の院生が選択した。受講生それぞれの研究対象におけるジェンダー的側面の考察とその共有について、複数のアプローチの組み合わせにより角度を変えながら理解を促すことができた。ただ共通科目でも夜間開講が可能なことが周知されていなかったために、社会人学生が職場を定期的に休まざるをえなかったことがあったので、登録以前に、情報が学生にきちんと伝わっているかを事務職員および教員が確認する必要があると思われた。

②研究指導・論文指導について
指導時のファイルのやりとりや進捗の確認、共同プロジェクトの連携、指導時間以外の情報の共有など、連絡を促進するために、slack というコミュニケーションツールが有効であることを、複数の教員から報告された。今後こうしたツールが利用されることが望ましい。
複数の領域で院生が中心となって諸々の研究会が定期的に開かれ、他の研究者や学生（他大学の学生を含む）との交流がさかんに行なわれた。またそこに前期課程の学生が参加する場合もあり、後期課程への進学意欲が期待される。
博士論文の中間報告時にコメントを受け取っても、そのすべてに対応できなかったことがあり、中間報告審査の報告も文書化してフィードバックすることが望ましいとの意見も出された。

③問題点
博士後期課程の学生数は領域によって異なるが、概して学生数は少ない。しかし、一部の教員が４名の院生の指導を行なっている場合もあり、負担が教員間で均等ではない。そのため、負担軽減の措置が望まれる。担当学生が多い場合には、授業コマ数の軽減など相応の措置が必要である。
今後、学生が安心して研究が続けられるよう広い範囲の支援体制が整備される必要がある。この数年間、博士論文の提出まで到達できなかったり、家庭の事情で休学や退学を余儀なくされたりする学生が散見された。研究の中断に至る背景のひとつが、家庭とりわけ出産や育児、介護などと研究の両立の難しさである。こうした困難を支援する体制が望ましいと思われる。保育支援やキャリア・カウンセラーとの相談や連携などを活

用することも促したい。エンパワーメント・センターの支援を院生も受けられないかという意見も出された。

５．成果と今後の改善計画

学内外の研究者、教員、院生との交流は不可欠であり、こうした交流の機会を持つことで、学生が思わぬ刺激を受けたり、視野が広がったりすることは多い。今後こうした交流の機会をさらに広げていきたい。

一部の領域で、拡大ケースカンファレンスが行なわれた。これは外部の著名な専門家をお招きして、複数のスーパーバイザーにより行なう症例検討会である。後期課程の学生が症例提供者となり、多くの大学院修了生および院生（計 45 名前後）が集まり、症例の見立て、カウンセリングについて議論した。こうした場がタテのつながりを形成し、研究者同士の交流の場となったように思われる。こうした修了生を中心とした交流の場をさらに展開していきたい。

生涯発達臨床、認知社会適応、共生社会開発の学生にとって、刺激となるような講演会を開催することで、院生や教員同士のヨコのつながりを深めたいという意見が出された。今後、各領域の持ち回りで開催していきたい。

理学研究科　数学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

専攻主任（記載責任者）宮地　晶彦　　記載日　2018 年 3 月 10 日

１．検討会実施日　　2017 年　9 月 21 日（木）　10 時 00 分～　11 時 00 分
　　2018 年　3 月 10 日（土）　11 時 00 分～　12 時 00 分

２．参加者氏名
上記 2 回の検討会とも
吉荒聡、山内博、宮地晶彦、大阿久俊則、大山淑之、新國亮、
山里眞、荻田武史、加藤由花、春名太一、林青司、安藤耕司

３．検討会の形式
学生の授業評価アンケートを持ち寄り、それぞれの担当教員がアンケートの分析と授業の工夫などを発表した後、参加者全員で意見交換した。さらに、論文指導や大学院のあり方について話し合った。

４．検討会の主な内容（「個別報告書」の内容も含め検討）
今年度の在学生は、大学院博士前期課程新入生が４人、同 2 年次が２人、博士後期課程３年次が１人であった。博士前期課程 2 年次 2 名のうち、１名は前期末に修士論文を完成して学位を取得し、もう１名は年度末に修士論文を完成して学位を取得した。また博士後期課程３年次年度末に博士論文を完成して学位を取得した。学位を取得した３名の学生の指導教員はいずれも、学生の自主性を重んじて可能な限り自身の力で研究を遂行するよう促し、副指導教員とも協力して、研究の進展に応じて必要な助言を行った。
博士前期課程の今年度の新入生は、海外留学中の１名を除いた３名が授業を受けた。3 名の学生は、たいへん熱心に授業を受けており、自主的な勉強も活発に行っている。教員も新入生の熱意を受けて意欲的に指導を行っている。
前期末と後期末に行った 2 回の学生による授業評価アンケートで、「修士論文執筆や研究に対する視野を広げるのに役立つと思うか」という問いに対する回答では、自分の専門に研究している分野と異なる分野の授業について、やや評価が低かった。博士前期課程の学生の指導においては、修士論文のテーマに直接関係しない分野でも専門知識の修得をうながし専攻分野にとどまらない知的興味を喚起することが大切であることについて、教員全員が話し合い認識を同じくした。

５．成果と今後の改善計画
大学院の入学志願者が少ないことについて意見を交換した。本学でこの数年、博士前期課程の志願者が少ないのは、学部生の就職状況がよいことも関係している。就職していく学生の中にも、数理科学の研究を深めたいという希望も同時に持っている学生が少なからずいると考えられる。理系大学院博士後期課程の志願者が減少しているのは、全国的な傾向と思われる。
大学院志願者を増やす対策として、大学院での研究の魅力や本学大学院の研究状況などを、機会のあるごとに学部生に説明しアピールしていくことを確認した。更に、受入学生の範囲の拡大、広報活動、学生への種々の経済的支援の拡大など、理学研究科数学専攻だけでは対応しきれないことも含め、様々な方策について意見交換した。一つの方策として大学院の入試方法の変更の可能性も検討したが、入学試験は安易にやさしくせず入学後に研究を行えるだけの基礎学力をしっかり確認する必要がある、との意見もあり、具体的な結論には至らなかった。また、2018 年度以降、本学では、学部の数学専門科目が削減されるが、内部進学生の学力を保証しつつ大学院入学者数を確保することを真剣に考えなくてはならない、大学院を設置している大学として学部と大学院の双方の充実について整合性のある運営対応を求めたい、との意見もあった。
授業評価アンケートを行った講義・ゼミはいずれも 2 名から 3 名程度の少人数で行っており、どの授業でも担当教員は普段から、授業内で受講生の意見や要望を直接聞き、その

都度、適切に対応している。前期後期 2 回のアンケート結果はいずれの授業も比較的好評価で、特に改善の要望や批判的な意見は出なかったが、それはアンケートを少人数で行っていることによるものかもしれない。検討会では、個別授業のアンケートという形式は数学専攻の授業改善には実質的に寄与するところが少ないのではないか、という意見もあった。

東京女子大学
「学生による授業評価」アンケート報告書
「授業および修士論文指導についての検討会」報告書/
「授業および博士論文指導についての検討会」報告書
（2016 年度・2017 年度）

2019 年 3 月 22 日発行

編　集　　東京女子大学ＦＤ委員会
発　行　　東京女子大学
〒167-8585　東京都杉並区善福寺 2－6－1

事務局　　教育研究支援部 教育研究支援課
TEL: 03-5382-6453　FAX: 03-5382-6479
support@office.twcu.ac.jp